

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 320 集

峠山牧場 I 遺跡 B 地区発掘調査報告書

東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査



(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第320集
 峠山牧場 I 遺跡 B 地区発掘調査報告書 正誤表

頁	行 (位置)	誤	正
2	14行	主要な交通の要所で、	主要な交通の要衝で、
2	17行	東西を結ぶ交通の要所である。	東西を結ぶ交通の要衝である。
5	17行	古くから交通の要所に位置し、	古くから交通の要衝に位置し、
22	23行	石屑	屑片
23	7行	石屑	屑片
24	第11図 凡例	□ 石削	□ 屑片
25	第12図 凡例	□ 石削	□ 屑片
26	第13図 凡例	□ 石削	□ 屑片
117	第63図	RD11の平・断面図中の縦線Ⅲは植物遺体(ドングリ)の出土した範囲を示す。	
190	4行	石器大コロンテナ20箱(重量171.2476kg)	石器大コロンテナ20箱(重量1712.476kg)
283	2行	大コロンテナ20箱(総重量171.2476kg)	大コロンテナ20箱(総重量1712.476kg)
423	23行	大コロンテナで20箱(総重量171.2467kg)	大コロンテナ20箱(総重量1712.476kg)
443	写真図版3	右3段目の写真(旧石器出土状況)は天地逆。	

※巻頭カラー2の1段目の写真(旧石器出土状況)と同一。

とうげ やま ぼく じょう
峠山牧場 I 遺跡 B 地区発掘調査報告書

東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査



遺跡遠景



大形住居跡群

巻頭カラー1：縄文時代



旧石器出土状況



旧石器

巻頭カラー2：旧石器時代

序

本県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、平成11年3月現在10,000箇所以上に及ぶ遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策であります。特に高速道路網の整備は産業経済開発の大動脈として多方面から期待されるところであります。

このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和も今日的な課題であり、岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、東北横断自動車道秋田線建設事業に関連して、平成8年度に発掘調査を行った峠山牧場I遺跡B地区の調査結果をまとめたものであります。峠山牧場I遺跡B地区は、和賀川右岸の南本内川との合流点付近の河岸段丘上に立地し、調査の結果、旧石器時代と縄文時代前期の複合遺跡であることが明らかになり、多数の遺構、多量の遺物が発見され、貴重な資料を提供することができました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず、埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご援助・ご協力を賜りました日本道路公団東北支社・湯田町教育委員会をはじめとする関係者各位に衷心より謝意を表します。

平成12年2月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 船越昭治

例 言

1. 本報告書は岩手県和賀郡湯田町第46地割125-25ほか、に所在する峠山牧場 I 遺跡 B 地区の発掘調査の結果を収録したものである。
2. 本遺跡の調査は、東北横断自動車道秋田線建設事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会文化課と日本道路公団東北支社との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本遺跡の調査成果は、先に現地説明会資料（平成 8 年 9 月 7 日）と『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 8 年度分）』（岩埋文第266集）に発表しているが、本書の内容が優先するものである。
4. 岩手県遺跡台帳に登録される遺跡番号と遺跡略号は次のとおりである。

遺跡番号 ME06-0106、遺跡略号 TYIB-96
5. 本調査に先だって、平成 6 年度に範囲確認調査が行われている。使用した遺跡略号は「TYIB-94」であり、調査成果については『峠山牧場 I 遺跡 B 地区範囲確認調査報告書』（岩埋文第233集）（1996）として、既に刊行されている。
6. 発掘調査面積・調査期間と担当者は、以下のとおりである。

発掘調査面積：6,120㎡。
発掘調査期間：平成 8 年 6 月 3 日～10月22日、担当者：阿部勝則・鈴木聡・川向聖子。
7. 整理期間と担当者は、以下のとおりである。

整理期間：平成 8 年11月 1 日～平成 9 年 3 月31日、担当者：阿部勝則・鈴木聡・川向聖子。
平成10年 4 月 1 日～平成11年 3 月31日、担当者：阿部勝則。
8. 本報告書の執筆・編集・校正は阿部勝則が担当した。
9. 土層の観察にあたっては『新版標準土色帖』1990年版（1990 小山正忠・竹原秀雄編・著）を参考にした。
10. 遺物の鑑定にあたっては次の方々に依頼した。

石材鑑定：花崗岩研究会（代表矢内桂三） 炭化材樹種鑑定：早坂松次郎（岩手県木炭協会）
植物遺体鑑定：渡辺誠（名古屋大学） ¹⁴C 年代測定：パリノ・サーヴェイ株式会社
11. 基準点測量は、株式会社ハイマーテックに委託した。
12. 空中写真撮影は、株式会社ハイマーテック、東邦航空株式会社に委託した。
13. 石器の実測・トレースの一部は、エーティック環境文化研究所、株式会社アルカに委託した。
14. 発掘・整理・執筆にあたっては次の方々に御協力、御指導をいただいた（順不同・敬称略）。

高橋信雄 佐々木勝 佐藤嘉広（岩手県教育委員会文化課）、日下和寿（岩手県立博物館）、中村良幸（大迫町教育委員会）、佐藤浩彦（遠野市教育委員会）、稲野裕介・小田嶋知世（北上市教育委員会）、本堂寿一（北上市立博物館）、稲野彰子（いろは写房）、梁木誠（宇都宮市教育委員会）、菊地強一（県立伊保内高等学校）、湯田町教育委員会。
15. 本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。
16. 本書で使用した地形図は以下のとおりである。
 - a. 建設省国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図「川尻」、同 2 万 5 千分の 1 地形図「陸中川尻」。
 - b. 日本道路公団作成の1000分 1 地形図。

目 次

本 文 目 次

序

例言

I. 調査に至る経過	1
II. 遺跡の位置と立地	2
1. 遺跡の位置および地理的環境	2
2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質	2
3. 基本土層	3
4. 周辺の遺跡	4
III. 調査・整理の方法	15
1. 範囲確認調査について	15
2. 野外調査	15
3. 室内整理	18
4. 掲載図版等について	19
IV. 旧石器時代	22
V. 縄文時代—検出遺構—	35
1. 竪穴住居跡	35
2. 土坑	92
3. 墓壇	112
4. 陥し穴状遺構	113
5. 焼土遺構	129
6. 集石遺構	133
7. 土器埋設遺構	134
8. 柱穴群	143
9. 遺物包含層	146
VI. 縄文時代—出土遺物—	190
1. 縄文土器	190
2. 土製品	282
3. 石器	283
4. 石製品	377
VII. 考察とまとめ	423
1. 遺跡の性格—調査成果の概要—	423
2. 旧石器時代	425
3. 縄文時代	426
4. 総括	431
VIII. 分析・鑑定	433
1. ¹⁴ C年代測定	433
2. 植物遺体	434
報告書抄録	632

表 目 次

第1表	周辺の遺跡	12
第2表	旧石器観察表	34
第3表	住居跡観察表	91
第4表	グリッド別出土遺物一覧	147
第5表	土製品観察表	282
第6表	土器観察表	385
第7表	石器観察表	406
第8表	石製品観察表	422

図 版 目 次

第1図	岩手県全図	6	第28図	RA02 住居跡	59
第2図	遺跡位置図	7	第29図	RA04 住居跡(1)	60
第3図	遺跡地形図・調査区位置図	8	第30図	RA04 住居跡(2)	61
第4図	地形分類図	9	第31図	RA05・06 住居跡(1)	62
第5図	基本土層模式図	10	第32図	RA05・06 住居跡(2)	63
第6図	湯田町境界と周辺の遺跡図幅位置図	11	第33図	RA07 住居跡(1)	64
第7図	周辺の遺跡(1)川尻以東	12	第34図	RA07 住居跡(2)	65
第8図	周辺の遺跡(2)川尻以北	13	第35図	RA08 住居跡(1)	66
第9図	周辺の遺跡(3)川尻以西	14	第36図	RA08 住居跡(2)	67
第10図	グリッド配置図	21	第37図	RA09 住居跡(1)	68
第11図	石器水平垂直分布図第1・第2集中区	24	第38図	RA09 住居跡(2)	69
第12図	器種別分布図第1集中区	25	第39図	RA10 住居跡	70
第13図	器種別分布図第2集中区	26	第40図	RA11 住居跡	71
第14図	旧石器(1)	27	第41図	RA12・16 住居跡	72
第15図	旧石器(2)	28	第42図	RA13 住居跡	73
第16図	旧石器(3)	29	第43図	RA14 住居跡	74
第17図	旧石器(4)	30	第44図	RA15 住居跡(1)	75
第18図	旧石器(5)	31	第45図	RA15 住居跡(2)	76
第19図	旧石器(6)	32	第46図	RA17 住居跡	77
第20図	旧石器(7)	33	第47図	RA18 住居跡	78
第21図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置全体図	36	第48図	RA19 住居跡	79
第22図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置部分図 A・B 区	37	第49図	RA20 住居跡	80
第23図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置部分図 C 区	38	第50図	RA21 住居跡	81
第24図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置部分図 D 区	39	第51図	RA22 住居跡	82
第25図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置部分図 E 区	40	第52図	RA23 住居跡	83
第26図	峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置部分図 F・G・H 区	41	第53図	RA24 住居跡(1)	84
第27図	RA01・03 住居跡	58	第54図	RA24 住居跡(2)	85
			第55図	RA25 住居跡	86
			第56図	RA26 住居跡	87
			第57図	RA27・29 住居跡	88
			第58図	RA28 住居跡	89
			第59図	RA30・31 住居跡	90

第60図	RD01・02・03 土坑	114	第103図	RA08 (1)出土遺物	168
第61図	RD04・05・06 土坑	115	第104図	RA08 (2)・09 (1)出土遺物	169
第62図	RD07・08・09 土坑	116	第105図	RA09 (2)出土遺物	170
第63図	RD10・11・12 土坑	117	第106図	RA09 (3)出土遺物	171
第64図	RD13・14・15・16 土坑	118	第107図	RA09 (4)出土遺物	172
第65図	RD17・18・19・20 土坑	119	第108図	RA09 (5)出土遺物	173
第66図	RD21・22・23・24・25 土坑	120	第109図	RA10・11 (1)出土遺物	174
第67図	RD26・27・29・30 土坑	121	第110図	RA11 (2)・12 (1)出土遺物	175
第68図	RD31・32・33 土坑	122	第111図	RA12 (2)・13 (1)出土遺物	176
第69図	RD34・35 土坑	123	第112図	RA13 (2)・14 出土遺物	177
第70図	RD36・37・38・39 土坑	124	第113図	RA15 (1)出土遺物	178
第71図	RD40・41・42・43 土坑	125	第114図	RA15 (2)・16・17 出土遺物	179
第72図	RD44・45・46・47 坑	126	第115図	RA18・19 (1)出土遺物	180
第73図	RD48・49・50 土坑	127	第116図	RA19 (2)・20・21 (1)出土遺物	181
第74図	RD51・52 土坑・RD28・53 陥し穴状遺構	128	第117図	RA21 (2)・22・23 (1)出土遺物	182
第75図	RF01・02・03・05 焼土遺構	131	第118図	RA23 (2)出土遺物	183
第76図	RF04 焼土遺構	132	第119図	RA23 (3)出土遺物	184
第77図	RH01 集石遺構	133	第120図	RA23 (4)出土遺物	185
第78図	RZ01・02・03・04・05 土器埋設遺構	140	第121図	RA23 (5)・24 (1)出土遺物	186
第79図	RZ06・07・08・09・10・11 土器埋設遺構	141	第122図	RA24 (2)・26・27・28・29・31 出土遺物	187
第80図	RZ12・13・14・15・16 土器埋設遺構	142	第123図	RD04・06 (1)出土遺物	188
第81図	柱穴群(1)	144	第124図	RD06 (2)・07・12 出土遺物	189
第82図	柱穴群(2)	145	第125図	土器(1)：RA04・05 (1)	194
第83図	縄文土器出土重量分布図	148	第126図	土器(2)：RA05 (2)・06	195
第84図	石器出土重量分布図	149	第127図	土器(3)：RA07 (1)	196
第85図	遺物包含層(B IV w1)遺物出土状況	150	第128図	土器(4)：RA07 (2)	197
第86図	遺物包含層(B IV w2)遺物出土状況	151	第129図	土器(5)：RA07 (3)	198
第87図	遺物包含層(B IV w3)遺物出土状況	152	第130図	土器(6)：RA07 (4)・08 (1)	199
第88図	遺物包含層(B IV x6)遺物出土状況	153	第131図	土器(7)：RA08 (2)・09 (1)	200
第89図	遺物包含層(B IV x7)遺物出土状況	154	第132図	土器(8)：RA11・12	201
第90図	遺物包含層(B IV x8)遺物出土状況	155	第133図	土器(9)：RA13・15	202
第91図	RA07 住居跡遺物出土状況	156	第134図	土器(10)：RA17・18・19・20・21・22	203
第92図	RD04・06・11 土坑遺物出土状況	157	第135図	土器(11)：RA23 (1)	204
第93図	RA01・02・03・04 (1)出土遺物	158	第136図	土器(12)：RA23 (2)	205
第94図	RA04 (2)出土遺物	159	第137図	土器(13)：RA23 (3)	206
第95図	RA04 (3)・05 (1)出土遺物	160	第138図	土器(14)：RA23 (4)	207
第96図	RA05 (2)出土遺物	161	第139図	土器(15)：RA24・26・28	208
第97図	RA05 (3)出土遺物	162	第140図	土器(16)：RA29	209
第98図	RA06・07 (1)出土遺物	163	第141図	土器(17)：RD04	210
第99図	RA07 (2)出土遺物	164	第142図	土器(18)：RD05・06	211
第100図	RA07 (3)出土遺物	165	第143図	土器(19)：RD07 (1)	212
第101図	RA07 (4)出土遺物	166	第144図	土器(20)：RD07 (2)・08・09・12	213
第102図	RA07 (5)出土遺物	167	第145図	土器(21)：RD16・17・19・34・36	214

第146图 土器(22) : RD37 · 40、RZ01 · 07 · 08	215	第186图 土器(62) : RD06 · 08 · 09	255
第147图 土器(23) : RZ05 · 06 · 09 · 10	216	第187图 土器(63) : RD10 · 11 · 12 · 14 · 15	256
第148图 土器(24) : RZ12 · 13 · 14 · 15 · 16、 B IV q22-PP1	217	第188图 土器(64) : RD16 · 17 · 18 · 19 (1)	257
第149图 土器(25) : B III t23、u23、B IV u2、 v1 · v3	218	第189图 土器(65) : RD19 (2) · 22 · 23 · 24 · 25 · 27	258
第150图 土器(26) : B IV v10 (1)	219	第190图 土器(66) : RD28 · 29 · 30 · 31 · 32 · 33 · 34	259
第151图 土器(27) : B IV v10 (2)	220	第191图 土器(67) : RD35 · 36 · 37 (1)	260
第152图 土器(28) : B IV v11、w1	221	第192图 土器(68) : RD37 (2) · 38 · 39 · 40 · 41 · 42 · 43 · 44 · 45 · 46 · 47 · 50 · 51 · 52	261
第153图 土器(29) : B IV w2 (1)	222	第193图 土器(69) : RF01 · 04、RZ02 · 03 · 04 · 05 · 07 · 09 · 10 · 11、 B III m14-PP2、B III n15-PP1、 B IV q22-PP2、B IV r23-PP4	262
第154图 土器(30) : B IV w2 (2) · w3 (1)	223	第194图 土器(70) : B III t23、u22 · u23 · u24 · u25 (1)	263
第155图 土器(31) : B IV w3 (2)	224	第195图 土器(71) : B III u25 (2)、w25、 B IV u2 · u11、v1 (1)	264
第156图 土器(32) : B IV w3 (3) · w4 (1)	225	第196图 土器(72) : B IV v1 (2) · v2 (1)	265
第157图 土器(33) : B IV w4 (2) · w5 (1)	226	第197图 土器(73) : B IV v2 (2) · v3	266
第158图 土器(34) : B IV w5 (2)	227	第198图 土器(74) : B IV v4 · v10 (1)	267
第159图 土器(35) : B IV w5 (3) · w6 · w7	228	第199图 土器(75) : B IV v10 (2) · v11、w1 (1)	268
第160图 土器(36) : B IV w8 · w10 · w11	229	第200图 土器(76) : B IV w1 (2) · w2 (1)	269
第161图 土器(37) : B IV x4 · x5	230	第201图 土器(77) : B IV w2 (2) · w3 (1)	270
第162图 土器(38) : B IV x6 (1)	231	第202图 土器(78) : B IV w3 (2)	271
第163图 土器(39) : B IV x6 (2)	232	第203图 土器(79) : B IV w4 · w5	272
第164图 土器(40) : B IV x7	233	第204图 土器(80) : B IV w6 · w7 · w10 (1)	273
第165图 土器(41) : B IV x8 · x11 (1)	234	第205图 土器(81) : B IV w10 (2) · w11 · w12、x4 (1)	274
第166图 土器(42) : B IV x11 (2) · x12、y8 · y11	235	第206图 土器(82) : B IV x4 (2) · x5 (1)	275
第167图 土器(43) : B IV y12、C IV a12、q14、 B IV q6、s8、D IV r6	236	第207图 土器(83) : B IV x5 (2) · x6	276
第168图 土器(44) : RA01 · 02 · 03 · 04 (1)	237	第208图 土器(84) : B IV x7	277
第169图 土器(45) : RA04 (2) · 05 (1)	238	第209图 土器(85) : B IV x8 · x11 (1)	278
第170图 土器(46) : RA05 (2) · 06 (1)	239	第210图 土器(86) : B IV x11 (2) · x12、y8 (1)	279
第171图 土器(47) : RA06 (2) · 07 (1)	240	第211图 土器(87) : B IV y8 (2) · y10 · y11 · y12	280
第172图 土器(48) : RA07 (2)	241	第212图 土器(88) : C IV a10 · a11 · a12、 c12、d12、g14、h15	281
第173图 土器(49) : RA07 (3) · 08 (1)	242	第213图 土製品	282
第174图 土器(50) : RA08 (2)	243	第214图 石器(1)	287
第175图 土器(51) : RA09 (1)	244	第215图 石器(2)	288
第176图 土器(52) : RA09 (2) · 10	245	第216图 石器(3)	289
第177图 土器(53) : RA11	246	第217图 石器(4)	290
第178图 土器(54) : RA12 · 13 (1)	247	第218图 石器(5)	291
第179图 土器(55) : RA13 (2) · 14 · 15	248	第219图 石器(6)	292
第180图 土器(56) : RA16 · 17 · 18 · 19 · 20 · 21 (1)	249		
第181图 土器(57) : RA21 (2) · 22 · 23 (1)	250		
第182图 土器(58) : RA23 (2)	251		
第183图 土器(59) : RA23 (3)	252		
第184图 土器(60) : RA24 · 26 · 29 · 31	253		
第185图 土器(61) : RD01 · 02 · 03 · 04 · 05	254		

第220图 石器(7)	293	第264图 石器(51)	337
第221图 石器(8)	294	第265图 石器(52)	338
第222图 石器(9)	295	第266图 石器(53)	339
第223图 石器(10)	296	第267图 石器(54)	340
第224图 石器(11)	297	第268图 石器(55)	341
第225图 石器(12)	298	第269图 石器(56)	342
第226图 石器(13)	299	第270图 石器(57)	343
第227图 石器(14)	300	第271图 石器(58)	344
第228图 石器(15)	301	第272图 石器(59)	345
第229图 石器(16)	302	第273图 石器(60)	346
第230图 石器(17)	303	第274图 石器(61)	347
第231图 石器(18)	304	第275图 石器(62)	348
第232图 石器(19)	305	第276图 石器(63)	349
第233图 石器(20)	306	第277图 石器(64)	350
第234图 石器(21)	307	第278图 石器(65)	351
第235图 石器(22)	308	第279图 石器(66)	352
第236图 石器(23)	309	第280图 石器(67)	353
第237图 石器(24)	310	第281图 石器(68)	354
第238图 石器(25)	311	第282图 石器(69)	355
第239图 石器(26)	312	第283图 石器(70)	356
第240图 石器(27)	313	第284图 石器(71)	357
第241图 石器(28)	314	第285图 石器(72)	358
第242图 石器(29)	315	第286图 石器(73)	359
第243图 石器(30)	316	第287图 石器(74)	360
第244图 石器(31)	317	第288图 石器(75)	361
第245图 石器(32)	318	第289图 石器(76)	362
第246图 石器(33)	319	第290图 石器(77)	363
第247图 石器(34)	320	第291图 石器(78)	364
第248图 石器(35)	321	第292图 石器(79)	365
第249图 石器(36)	322	第293图 石器(80)	366
第250图 石器(37)	323	第294图 石器(81)	367
第251图 石器(38)	324	第295图 石器(82)	368
第252图 石器(39)	325	第296图 石器(83)	369
第253图 石器(40)	326	第297图 石器(84)	370
第254图 石器(41)	327	第298图 石器(85)	371
第255图 石器(42)	328	第299图 石器(86)	372
第256图 石器(43)	329	第300图 石器(87)	373
第257图 石器(44)	330	第301图 石器(88)	374
第258图 石器(45)	331	第302图 石器(89)	375
第259图 石器(46)	332	第303图 石器(90)	376
第260图 石器(47)	333	第304图 石製品(1)	379
第261图 石器(48)	334	第305图 石製品(2)	380
第262图 石器(49)	335	第306图 石製品(3)	381
第263图 石器(50)	336	第307图 石製品(4)	382

第308図 石製品(5)	383
第309図 石製品(6)	384
第310図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置図	424
第311図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区	

縄文時代集落概念図	428
第312図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区 遺構配置図(拡大)	429

写真図版

巻頭カラー 1：縄文時代

巻頭カラー 2：旧石器時代

写真図版 1 遺跡全景	441
写真図版 2 調査前風景・基本土層	442
写真図版 3 旧石器出土状況	443
写真図版 4 旧石器(1).....	444
写真図版 5 旧石器(2).....	445
写真図版 6 旧石器(3).....	446
写真図版 7 旧石器(4).....	447
写真図版 8 BIV区全景・大形住居跡群	448
写真図版 9 RA01・03 住居跡	449
写真図版10 RA02・04 住居跡	450
写真図版11 RA05・06 住居跡	451
写真図版12 RA07 住居跡(1)	452
写真図版13 RA07 住居跡(2)	453
写真図版14 RA08 住居跡	454
写真図版15 RA09 住居跡	455
写真図版16 RA10・11 住居跡、RD07 土坑	456
写真図版17 RA13 住居跡	457
写真図版18 RA14 住居跡	458
写真図版19 RA15・17 住居跡	459
写真図版20 RA12・16 住居跡	460
写真図版21 RA18 住居跡	461
写真図版22 RA19 住居跡	462
写真図版23 RA20 住居跡	463
写真図版24 RA22 住居跡	464
写真図版25 RA26 住居跡	465
写真図版26 RA27 住居跡	466
写真図版27 RA28 住居跡	467
写真図版28 RA29 住居跡	468
写真図版29 RA24・30 住居跡	469
写真図版30 RA21・23・31 住居跡	470
写真図版31 RD01~04 土坑	471
写真図版32 RD05・06・08・09 土坑	472
写真図版33 RD10~13 土坑	473
写真図版34 RD14~16・18 土坑	474
写真図版35 RD17・19~23 土坑	475
写真図版36 RD24~27・29 土坑	476

写真図版37 RD30~33 土坑	477
写真図版38 RD34~37 土坑	478
写真図版39 RD38~42 土坑	479
写真図版40 RD43~46 土坑	480
写真図版41 RD47~50 土坑	481
写真図版42 RD51・52 土坑、RD28・ 53 陥し穴	482
写真図版43 RF01~03・05 焼土遺構	483
写真図版44 RF04 焼土遺構、RH01 集石遺構	484
写真図版45 RZ01~05 土器埋設遺構	485
写真図版46 RZ06~12 土器埋設遺構	486
写真図版47 RZ13~16 土器埋設遺構	487
写真図版48 遺物包含層	488
写真図版49 土器(1)	489
写真図版50 土器(2)	490
写真図版51 土器(3)	491
写真図版52 土器(4)	492
写真図版53 土器(5)	493
写真図版54 土器(6)	494
写真図版55 土器(7)	495
写真図版56 土器(8)	496
写真図版57 土器(9)	497
写真図版58 土器(10)	498
写真図版59 土器(11)	499
写真図版60 土器(12)	500
写真図版61 土器(13)	501
写真図版62 土器(14)	502
写真図版63 土器(15)	503
写真図版64 土器(16)	504
写真図版65 土器(17)	505
写真図版66 土器(18)	506
写真図版67 土器(19)	507
写真図版68 土器(20)	508
写真図版69 土器(21)	509
写真図版70 土器(22)	510
写真図版71 土器(23)	511
写真図版72 土器(24)	512
写真図版73 土器(25)	513

写真図版74 土器(26)	514	写真図版118 土器(70)	558
写真図版75 土器(27)	515	写真図版119 土器(71)	559
写真図版76 土器(28)	516	写真図版120 土器(72)	560
写真図版77 土器(29)	517	写真図版121 土器(73)	561
写真図版78 土器(30)	518	写真図版122 土器(74)	562
写真図版79 土器(31)	519	写真図版123 土製品	563
写真図版80 土器(32)	520	写真図版124 石器(1)	564
写真図版81 土器(33)	521	写真図版125 石器(2)	565
写真図版82 土器(34)	522	写真図版126 石器(3)	566
写真図版83 土器(35)	523	写真図版127 石器(4)	567
写真図版84 土器(36)	524	写真図版128 石器(5)	568
写真図版85 土器(37)	525	写真図版129 石器(6)	569
写真図版86 土器(38)	526	写真図版130 石器(7)	570
写真図版87 土器(39)	527	写真図版131 石器(8)	571
写真図版88 土器(40)	528	写真図版132 石器(9)	572
写真図版89 土器(41)	529	写真図版133 石器(10)	573
写真図版90 土器(42)	530	写真図版134 石器(11)	574
写真図版91 土器(43)	531	写真図版135 石器(12)	575
写真図版92 土器(44)	532	写真図版136 石器(13)	576
写真図版93 土器(45)	533	写真図版137 石器(14)	577
写真図版94 土器(46)	534	写真図版138 石器(15)	578
写真図版95 土器(47)	535	写真図版139 石器(16)	579
写真図版96 土器(48)	536	写真図版140 石器(17)	580
写真図版97 土器(49)	537	写真図版141 石器(18)	581
写真図版98 土器(50)	538	写真図版142 石器(19)	582
写真図版99 土器(51)	539	写真図版143 石器(20)	583
写真図版100 土器(52)	540	写真図版144 石器(21)	584
写真図版101 土器(53)	541	写真図版145 石器(22)	585
写真図版102 土器(54)	542	写真図版146 石器(23)	586
写真図版103 土器(55)	543	写真図版147 石器(24)	587
写真図版104 土器(56)	544	写真図版148 石器(25)	588
写真図版105 土器(57)	545	写真図版149 石器(26)	589
写真図版106 土器(58)	546	写真図版150 石器(27)	590
写真図版107 土器(59)	547	写真図版151 石器(28)	591
写真図版108 土器(60)	548	写真図版152 石器(29)	592
写真図版109 土器(61)	549	写真図版153 石器(30)	593
写真図版110 土器(62)	550	写真図版154 石器(31)	594
写真図版111 土器(63)	551	写真図版155 石器(32)	595
写真図版112 土器(64)	552	写真図版156 石器(33)	596
写真図版113 土器(65)	553	写真図版157 石器(34)	597
写真図版114 土器(66)	554	写真図版158 石器(35)	598
写真図版115 土器(67)	555	写真図版159 石器(36)	599
写真図版116 土器(68)	556	写真図版160 石器(37)	600
写真図版117 土器(69)	557	写真図版161 石器(38)	601

写真図版162 石器(39)	602	写真図版177 石器(54)	617
写真図版163 石器(40)	603	写真図版178 石器(55)	618
写真図版164 石器(41)	604	写真図版179 石器(56)	619
写真図版165 石器(42)	605	写真図版180 石器(57)	620
写真図版166 石器(43)	606	写真図版181 石器(58)	621
写真図版167 石器(44)	607	写真図版182 石器(59)	622
写真図版168 石器(45)	608	写真図版183 石器(60)	623
写真図版169 石器(46)	609	写真図版184 石器(61)	624
写真図版170 石器(47)	610	写真図版185 石器(62)	625
写真図版171 石器(48)	611	写真図版186 石器(63)	626
写真図版172 石器(49)	612	写真図版187 石器(64)	627
写真図版173 石器(50)	613	写真図版188 石製品(1)	628
写真図版174 石器(51)	614	写真図版189 石製品(2)	629
写真図版175 石器(52)	615	写真図版190 石製品(3)	630
写真図版176 石器(53)	616	写真図版191 石製品(4)	631

I. 調査に至る経過

東北地方を縦に貫く大動脈「東北縦貫自動車道」に対し、これと交差し、あるいはこれを起点に横に延びる「東北横断自動車道」のひとつである秋田自動車道は、岩手県北上市で東北縦貫自動車道より分岐し、秋田県横手市を経て秋田市に至る延長123kmの高速道路である。昭和61年と昭和63年に施行命令が出された第9次、第10次区間のうち、北上ジャンクションから秋田県境までは延長33.9kmである。

この区間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が昭和63年から分布調査を行い、昭和62年4月13日付「仙建北工第35号」による依頼を受けて、同年5月25日付「教文第117号」により日本道路公団仙台建設局に結果を回答している。それにもとづいて両者が協議を行い、やむを得ず消滅する遺跡については事前に発掘調査を実施することとし、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受諾事業とすることとした。

それを受けて、昭和63年以降、岩手県教育委員会が日本道路公団仙台建設局に発掘調査事業について照会して回答を得たのち、日本道路公団仙台建設局と岩手県教育委員会・(財)岩手県文化振興事業団の3者が協議を行い、当埋蔵文化財センターが発掘調査を実施してきた。

峠山牧場I遺跡の調査は、平成5年3月1日付「教文第1169号」による岩手県教育委員会からの通知を受けて、平成5年度埋蔵文化財調査事業として着手されることになった。発掘調査対象面積は43,000㎡である。当埋蔵文化財センターは平成5年4月1日付で委託契約を結んで同年4月20日から発掘調査に着手し、10月29日に終了したが、予想された旧石器が広範囲に分布することから、22,000㎡を終了面積とし、残り21,000㎡は翌平成6年度に調査することとした。

平成6年度は、平成6年2月21日付「教文第944号」による平成6年度埋蔵文化財調査事業についての通知を受けた。峠山牧場I遺跡に造られる錦秋湖サービスエリア予定地は約150,000㎡に及ぶ。当初予定の43,000㎡の緊急発掘調査のほかに、平成6年度は、残り約107,000㎡を対象にした範囲確認調査および部分調査も埋蔵文化財調査事業として通知された。このため地区を分割して、前者を峠山牧場I遺跡A地区、後者を峠山牧場I遺跡B地区と呼称することとした。同年4月1日付委託契約にもとづいて、同年4月12日に両地区同時に調査を開始した。

平成8年度は、峠山牧場I遺跡B地区内に、錦秋湖サービスエリアに付属する遊歩道を建設することとなった。そのため範囲確認調査の成果を受けて建設に先立ち、同年4月1日付の委託契約にもとづいて、遊歩道建設部分6,120㎡について同年6月3日から調査を開始した。

II. 遺跡の位置と立地

1. 遺跡の位置および地理的環境（第1・2図）

峠山牧場I遺跡B地区の所在する湯田町は、岩手県央の西端（秋田県境）に位置し、岩手県内では、北は沢内村、東は北上市、南は胆沢町に接し、秋田県側では、北は仙北郡千畑町、仙北郡六郷町、西は平鹿郡山内村、南は雄勝郡東成瀬村と接している。町域東境に兎森山(1054.3m)、鷲ヶ森山(1207.4m)、牛形山(1339.8m)の山々、西側には、奥羽山脈との分水嶺をなす三森山(1102.2m)、蟻巣山(1162m)、三界山(1381m)などの山々が連なる。和賀岳(1,440m)を源流とする和賀川(全長75.3km)は、同町を北から南流し、川尻付近で東流して、北上川と合流する。町域は、多くが山林で、奥羽山脈のかつての地殻運動により枝脈が分かれ、地形は複雑である。銅鉱床などで地下資源、温泉の湧出も多く、湯本温泉や湯川温泉などが観光地のひとつとなっている。面積304.69km²、人口4,316人である(註1)。年平均気温は9.0℃、年間降水量は2,000mmを超え、平均積雪が2mを超える豪雪地帯で、寒さの厳しい日本海岸式気候の特徴を示している。

湯田町の歴史について簡単に触れる。近世には盛岡藩領で沢内通に属した。沢内通と旧秀衡街道は盛岡藩と秋田藩とを結ぶ主要な交通の要所で、街道沿いにはいくつかの一里塚が遺されている。その後、明治20年(1887)に平和街道(秋田横手―川尻間)が開通し、北上和賀―山内村・横手(現107号線)は、東北北部において、安代―鹿角(現282号線)、盛岡・雫石―田沢湖町(現46号線)とともに、北上川中流域と秋田県内陸地方を結ぶ道路として重要で、東日本旅客鉄道北上線とともに奥羽山脈の東西を結ぶ交通の要所である。

湯田町の成立について簡単に触れる。明治22年(1889)の町村制の施行時に湯田村になり、昭和39年(1964)に町制を施行して湯田町となり、現在に至る。その後、町に大きな影響を与えた事業に湯田ダム建設がある。湯田ダムは治水・発電を目的として昭和23年(1948)に着工し、昭和39年、北上川水系最大のダムとして建設され、人造湖は錦秋湖と名付けられる。同地は昭和36年(1961)、付近の峡谷や錦秋湖を含めて湯田温泉峡県立自然公園に指定された。しかし同ダム建設に伴う国鉄北上線延べ15kmの水没、約565世帯の周辺地域(現北上市)への移転や昭和51年(1976)の鉱山閉山など町に与えた影響は大きく、総じて過疎化が進んでいる。

一方、東北横断自動車道秋田線の湯田―北上西間が平成9年(1997)7月に開通し、峠山地区に温泉施設「オアシス館」を備えたサービスエリアが開設され、新たな観光スポットを形成した。高冷地の気象条件を活かした野菜類やリンドウ栽培(西和賀リンドウ)などと併せて、新たな展開が期待される。

峠山牧場I遺跡B地区は、和賀郡湯田町第46地割125-25ほかに所在し、東日本旅客鉄道北上線ゆだ錦秋湖駅の北東約1km付近、北緯39度17分51秒、東経140度50分56秒付近に位置し、国土地理院発行の5万分の1地形図「川尻」(NJ-54-20-1)および2万5千分の1地形図「陸中川尻」(NJ-54-20-1-3)の図幅に含まれる。

2. 遺跡の立地および周辺の地形・地質（第3・4図）

(1) 遺跡の立地と周辺の地形

湯田町は和賀川の上流、奥羽山脈とその山あいを開けた沢内盆地の南端に位置する。町域のほとんどが山地丘陵に属し、町面積の90%が山林で占められる。町の中央を和賀川が北から南に南流し、川尻付近で東流する。支流には下前川・左草川・湯之沢川・鬼ヶ瀬川・小鬼ヶ瀬川・廻戸川・南本内川があり、周辺山地から和賀川に注ぐこれらの沢沿いに段丘面(沖積層)が形成され、人々の居住域・耕地となっている。

遺跡周辺の和賀川流域の地形は、峠山牧場高位面・峠山牧場低位面・大荒沢面・大台野面・小繋沢面の5つに区分が可能である。峠山牧場高位面・峠山牧場低位面は、南北にほぼ直線状の段丘崖をもって並行し、

その高さはそれぞれ370m・340mである。大荒沢面は峠山北麓から旧本内の東にかけて発達し、耳取の西側にも部分的に残存し、高さは320～280mである(註2)。大台野面は耳取付近を中心に分布し、高さは約240mで大荒沢面との比高は約40mある。小繋沢面は和賀川上流域のほぼ全域に分布し、高さは約220mである。

上記の地形区分で、峠山牧場I遺跡B地区は、和賀川右岸の標高285m～293mを示す大荒沢面に立地している。本内川との比高は約60mで、南から北に極めて緩く傾斜する。遺跡の現況の土地利用は山林で、約800本の栗の木が数m間隔で規則的に植えられている。遺跡の北西側(錦秋湖寄りの北側半分)は幅約50mにわたり最大1mの深さで土取りされ、褐色土上に若い松が生育している。

(2) 周辺の地質

湯田町付近の地質分布は、背斜部は主に第三系中新統下部、大荒沢層、大石層、小繋沢層などのグリーンタフ系の凝灰岩により構成される。向斜部、平鹿盆地には、前記グリーンタフ系の凝灰質岩を基盤として、砂岩を主とする中新統上部の黒沢層、同じく砂岩を主とする中新統上部～鮮新統の花山層が堆積する。これらを不整合に被い、未固結の砂礫・粘土を主とする亜炭化した泥炭層を伴う第四系の花山層が堆積する芳沢層は、扇状地堆積物の層相を呈する。

川尻付近の地質は、下位から先第三系基盤岩・新第三系中新統(大荒沢層・川尻層・小繋沢層・山内層・黒沢層)・鮮新統の花山層・第四系の芳沢層・三森安山岩・沖積層に区分される。そのうち大荒沢層は、変質した安山岩溶岩・同質火砕岩からなり、礫岩・砂岩・シルト岩を伴う。大石層は、泥岩・凝灰岩・安山岩・玄武岩・火砕岩からなる。本遺跡が位置する南本内川周辺には、大石層に属する泥岩が広く分布する。

3. 基本土層(第5図)

基本土層は基本的に範囲確認調査で把握されたものに準じているが、実際の調査にあたり一部認識を異にしたところがある。層位の名称は、大別層はI・II・III…のローマ数字で表わし、細別層についてはa・b・c…のアルファベット小文字を付して表わした。本調査では、はじめに試掘調査の際に確認されたC III m14地点で土層の確認を行い、以後調査区内において各地点ごとに基本土層の確認を行った。土層は大きくI・II・III層に大別される。I層は黒色土を主体とする腐植土層でI a～I e層に細分される。II層はI層とIII層の漸移層で、III層以下は基盤となる層でVI層の礫層まで細分される。各層の特徴は以下のとおりである。

I a 層	10YR1.7/1	黒色	0～30cm、現表土層：攪乱層で動いている。
I b 層	10YR2/2	黒褐色	0～10cm、遺物量は僅少。
I c 層	10YR2/3	黒褐色	0～20cm、遺跡全体に広がる。遺物量は僅少。
I d 層	10YR3/2	黒褐色	0～30cm、縄文時代の遺物包含層。炭化物・焼土が混入する。
I e 層	10YR3/1	黒褐色	0～10cm、I d層の下位の土層でI c層より黒みが強い。遺物量は僅少。
II 層	10YR3/4	暗褐色	0～30cm、I層とIII層の漸移層。
III a 層	10YR4/6	褐色	0～20cm、旧石器時代の遺物包含層。
III b 層	10YR5/6	黄褐色	0～30cm、締まり中。
IV 層	7.5YR5/6	明褐色	20～30cm、締まり密。
V a 層	10YR5/6	黄褐色	10cm、発泡の悪い軽石を含み、白みがかって見える。
V b 層	7.5YR5/6	明褐色	15cm、褐鉄鉱の集積層を含む。
V c 層	10YR5/6	黄褐色	30cm、締まり中。
VI 層	礫層		

次に、各グリッドで確認した土層について述べ、調査区における土層の様相について概観する。

BIVx7グリッド：縄文時代の遺物集中区内に位置する。基本層位I a・I b・I c・I d・I e・II・III a・III b・IV層を検出した。I b層は場所により不鮮明になる。

CIVb11グリッド：BIVx7グリッドより20m東側に位置する。基本層位I a・I b・I c・II・III・IV層を検出した。II層～III層上位を中心に旧石器時代の遺物が出土する。

CIV114グリッド：東側は沢跡にむかって斜面になっている。基本層位I a・I b・I c・II・III・VI層を検出した。

DIVp5グリッド：基本層位I a・I b・I c・II・III層を検出した。周辺では場所によりIII層上位まで攪乱を受けている。

DII n4グリッド：基本層位I a・I c・II・III層を検出した。

CHy11グリッド：基本層位I a・I b・I c・II・III層を検出した。

CHo7グリッド：基本層位I a・II・III層を検出した。

以上の各地点における土層の観察から、調査区内の土層は概ね以下のように把握された。BIII区は土取りされ、50cm～1m以上削られ、IV層が露出している。南側はI a～I c・II・III層が確認されたが、I d層は確認できず、本来的に形成されていないものと判断された。縄文時代の遺構・遺物は確認されていない。BIV区ではI d層の広がり確認されたが、東区のBIVr9グリッド以北と以西、CIVb11グリッド以南と以東では確認されていない。

4. 周辺の遺跡（第6・7・8・9図）

現在、湯田町内では78遺跡が確認されている（註3）。町内の遺跡を概観すると、時代は旧石器時代～近世まであり、遺跡の立地は和賀川およびその支流の段丘・沖積地にほぼ限定される。湯田町における遺跡の調査は、昭和45～57年の大台野遺跡の調査が有名で、その後は平成3年～8年の東北横断自動車道秋田線建設事業に関連して、16遺跡が岩手県埋蔵文化財センターにより調査が行われて現在にいたる。湯田町内の遺跡や調査の概要は『峠山牧場I遺跡B地区範囲確認調査報告書』（岩埋文233集）、『本内II遺跡発掘調査報告書』（岩埋文271集）に詳しいので、参照していただき、ここでは峠山牧場I遺跡B地区に関連して、（1）旧石器時代の遺跡、（2）縄文時代前期の遺跡、（3）錦秋湖周辺の遺跡について概観し、本報告の参考としたい。

（1）旧石器時代の遺跡

大台野遺跡は、昭和45年（1970）～57年（1982）で9次の調査が行われた。調査では、5層の文化層が確認され、主要文化層からナイフ形石器・彫刻刀形石器・搔器・楔形石器など約1万点の遺物が出土している。

1990年代になって東北横断自動車道建設事業に関連して、大渡II遺跡、峠山牧場I遺跡A地区・B地区、耳取I遺跡A地区・B地区の調査で、旧石器時代の遺物が出土している。大渡II遺跡は、平成3～5年度に調査が行われ、年代測定の鍵層となるAT火山灰の堆積が泥炭層内で検出され、注目された。遺物集中区18箇所とともに旧石器・加工痕のある木製品・自然遺物・昆虫遺体などが出土している。峠山牧場遺跡は、平成5・6年度に調査が行われ、A地区では20箇所の旧石器集中区が検出され、細石刃と舟形石核、柳葉形のナイフ形石器・尖頭器・彫刻刀形石器が出土している。B地区では集中区5ヶ所が検出されている。C地区は平成6年に町教育委員会で調査が行われている。耳取I遺跡は平成5・6年度に調査が行われ、遺物集中区および周辺のローム層から5,000点を超える旧石器が出土している。

（2）縄文時代前期の遺跡

過去に調査された16遺跡では、土坑類・陥し穴類が検出された遺跡が多く、縄文時代の集落跡の調査事例としては本内II遺跡が挙げられるに留まる。過去の調査で、前期の遺構・遺物が検出された遺跡には、耳取I遺跡で竪穴住居跡5棟が検出され、塚野II遺跡・白木野I遺跡・越中畑V遺跡・大渡II遺跡などで前期の遺物が少量出土している。この他『湯田町史』には、前期の遺物が出土した遺跡として清水ヶ野遺跡が記載されている。湯本温泉峡の約2km北側に位置し、南流する和賀川右岸の段丘に立地する同遺跡は、遺跡の立地からみて大規模な集落跡である可能性が高い。

(3) 錦秋湖周辺の遺跡

錦秋湖周辺に分布する遺跡は20遺跡で、分布する遺跡の立地をみると、和賀川に注ぎ込む支流域と密接に関わって立地していることが解る。とくに鬼ヶ瀬川・鷲之巢川・南本内川など大きな支流が南側から和賀川に注ぎ込む合流点が比較的開けており、多くの遺跡が立地する。そのなかで調査された遺跡は、南本内川下流域では峠山牧場I遺跡、本内I・II遺跡、耳取I遺跡があり、鬼ヶ瀬川流域では上野々遺跡がある。

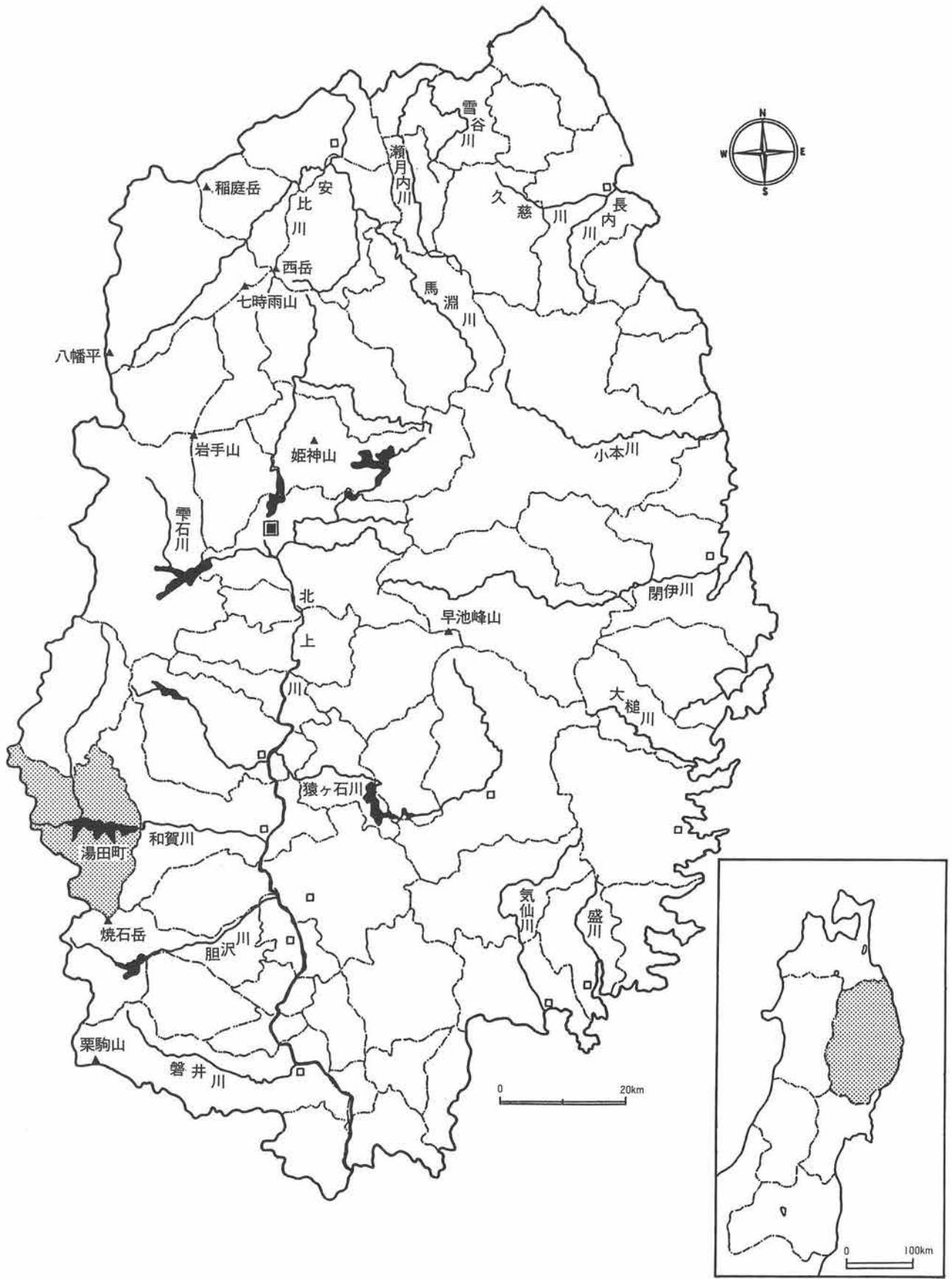
遺跡の時代に視点を据えると、縄文時代では前・中期の遺跡が多く、後・晩期の遺跡が少ないことが指摘できる。『湯田町史』には湯田ダムの完成時に湖底(錦秋湖)で出土したとされる早期の遺物が掲載され、『遺跡台帳』には後・晩期の遺跡として杉名畑遺跡(水没)の記載がある。現在の遺跡群は比較的高い面に立地しており、錦秋湖周辺の遺跡にみられる時期の偏りは、湯田ダム完成時に水没した遺跡群と係わる問題かもしれない。時代は異なるが、中世では沢の下流域で舌状に張り出す地点に城館が分布している。また湯田町は古くから交通の要所に位置し、かつては和賀川の南側が街道として利用されていた。近世には街道沿いに一里塚が築かれ、峠山牧場周辺では峠山一里塚が残っており、町の文化財に指定されている。

註

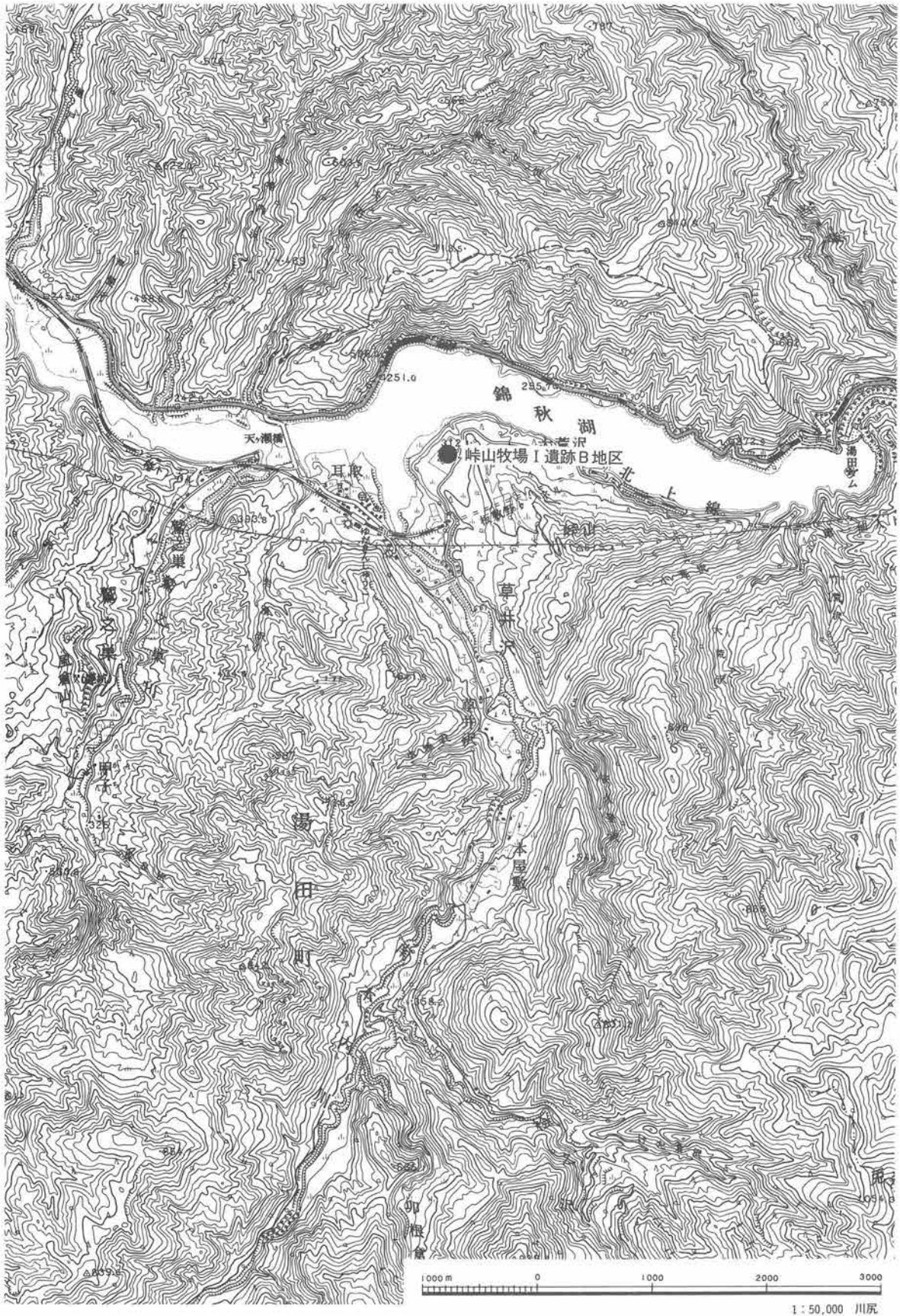
- (1) 岩手日報社 1998。
- (2) 大荒沢面は、北上低地内で区分された中位面である堀切段丘か、それ以前の古期の段丘に対比が可能であることが指摘されている(岩埋文233集)。
- (3) 岩手県教育委員会 1998『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覽』。

参考文献

- 「岩手県の地名」『日本歴史地名大系』第3巻 1990 平凡社。
岩手県教育委員会 1998『岩手県埋蔵文化財包蔵地一覽』。
岩手日報社 1998『岩手年鑑』1999年版。
大沢穠、舟山裕士・北村 信、1971『川尻地域の地質』地質調査所。
大台野研究グループ 1975『大台野遺跡』湯田町教育委員会。
菊池強一 1975「大台野遺跡」『日本の旧石器文化』2 湯田町教育委員会。
(財)岩埋文 1993『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成4年度分)』岩埋文第195集。
(財)岩埋文 1993『塚野I・II遺跡発掘調査報告書』岩埋文第199集。
(財)岩埋文 1994『白木野I・II・III遺跡発掘調査報告書』岩埋文第200集。
(財)岩埋文 1994『越中畑IV・V遺跡発掘調査報告書』岩埋文第201集。
(財)岩埋文 1994『本内I遺跡発掘調査報告書』岩埋文第211集。
(財)岩埋文 1994『上野々遺跡発掘調査報告書』岩埋文第212集。
(財)岩埋文 1994『大渡II遺跡発掘調査報告書』岩埋文第215集。
(財)岩埋文 1995『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成6年度分)』岩埋文第229集。
(財)岩埋文 1996『耳取I遺跡A地区発掘調査報告書』岩埋文第232集。
(財)岩埋文 1996『峠山牧場I遺跡B地区範囲確認調査報告書』岩埋文第233集。
(財)岩埋文 1997『本内II遺跡発掘調査報告書』岩埋文第271集。
湯田町史編纂委員会 1979『湯田町史』湯田町教育委員会。



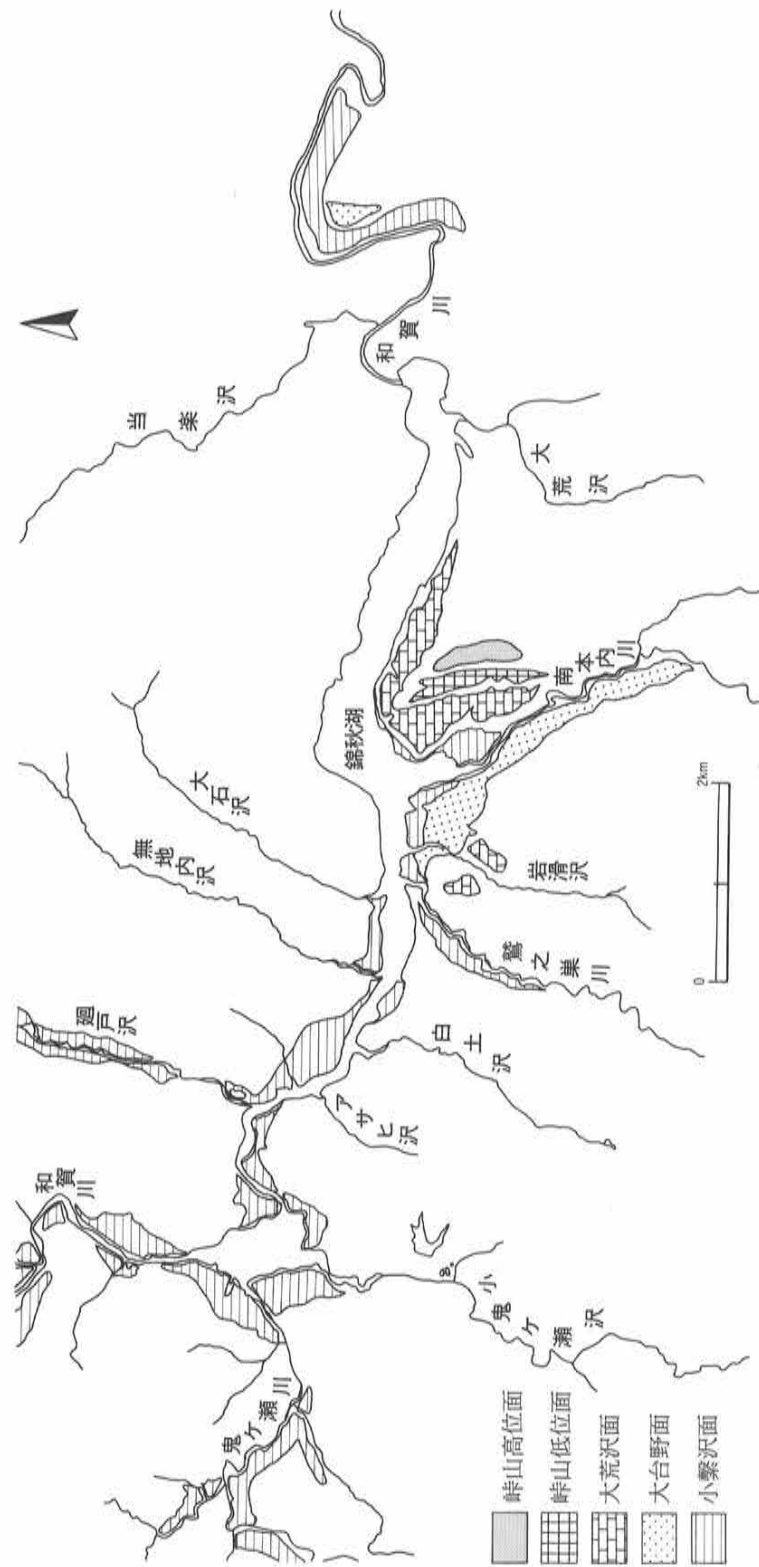
第1図 岩手県全図



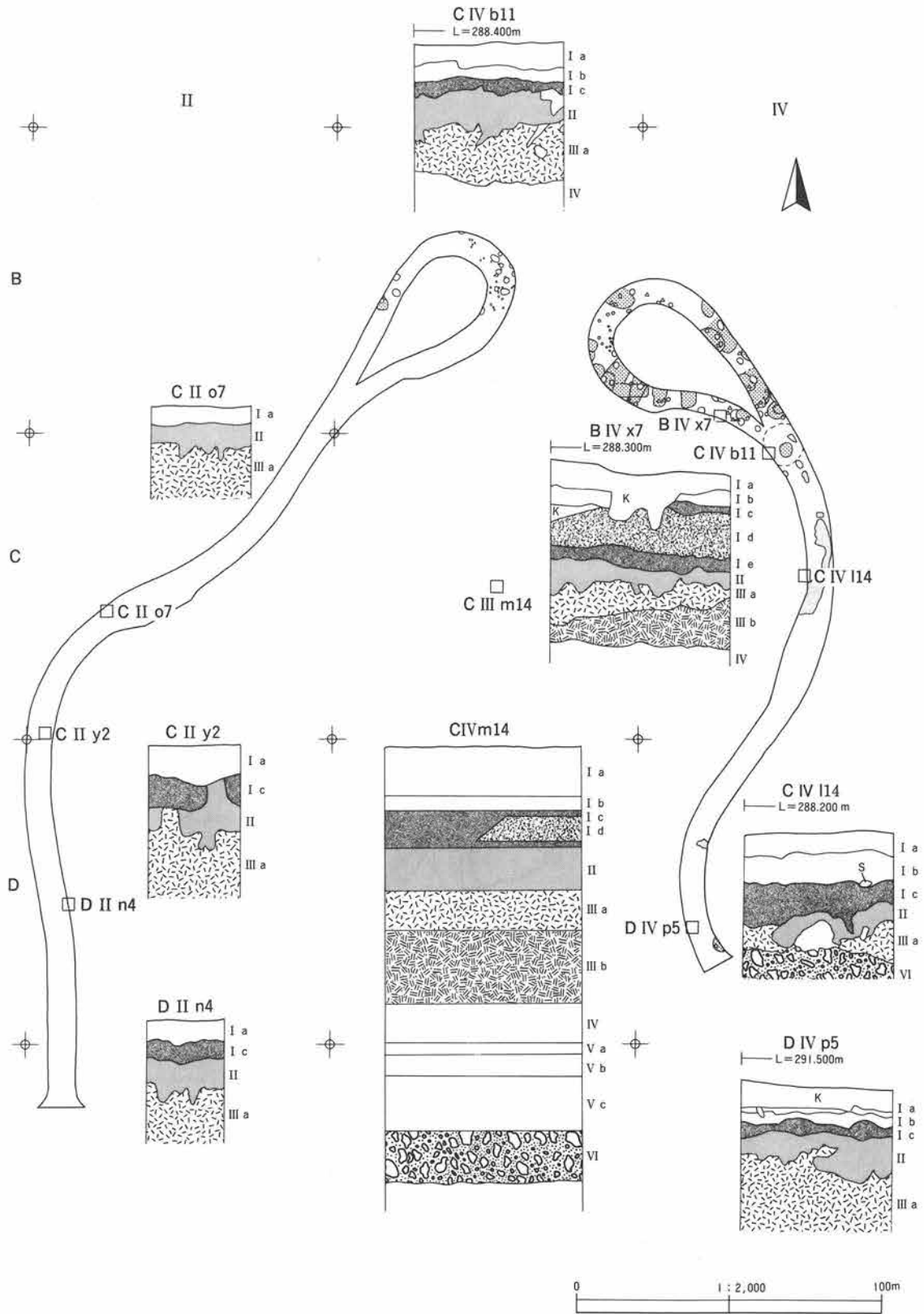
第2図 遺跡位置図



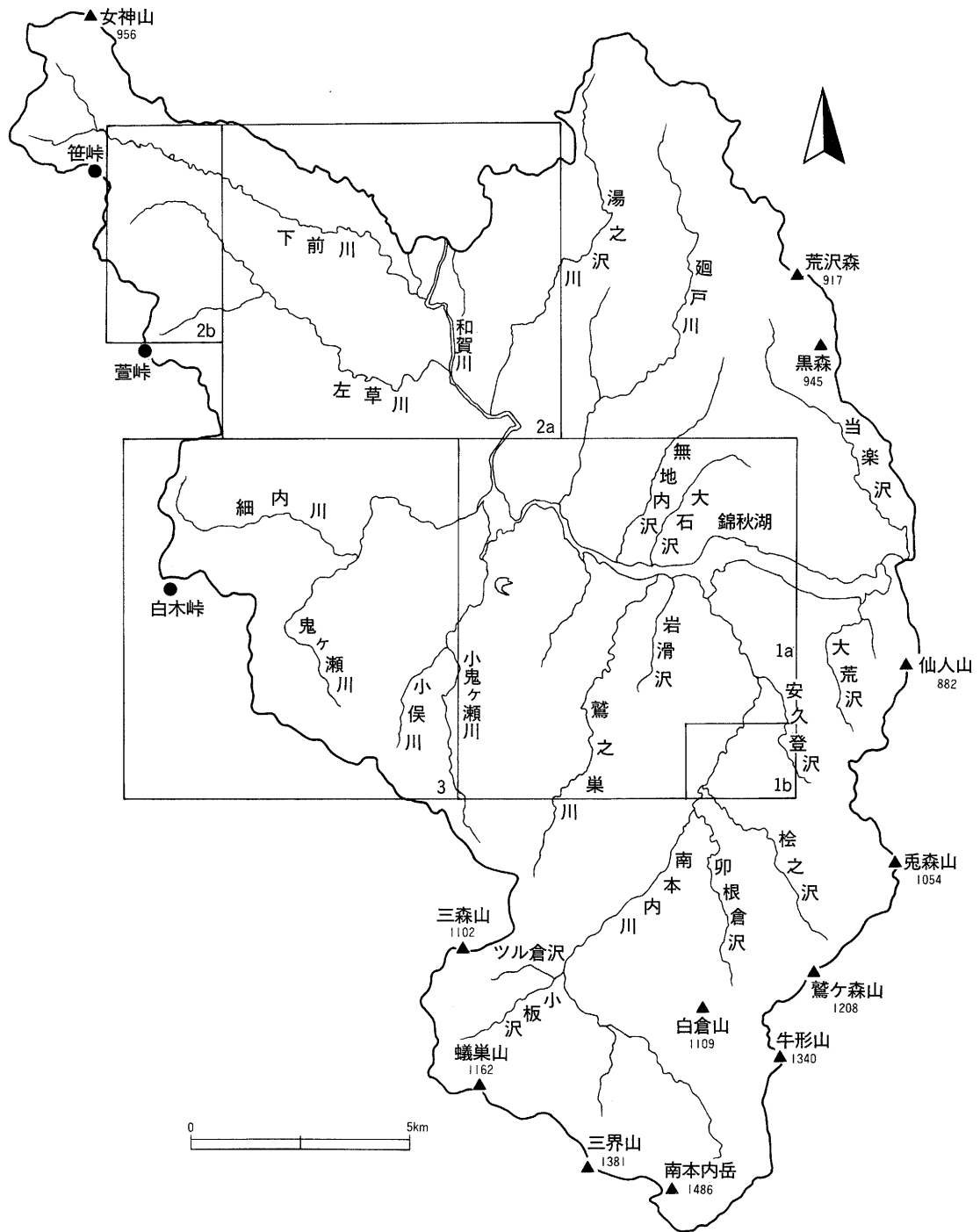
第3図 遺跡の地形図・調査区位置図



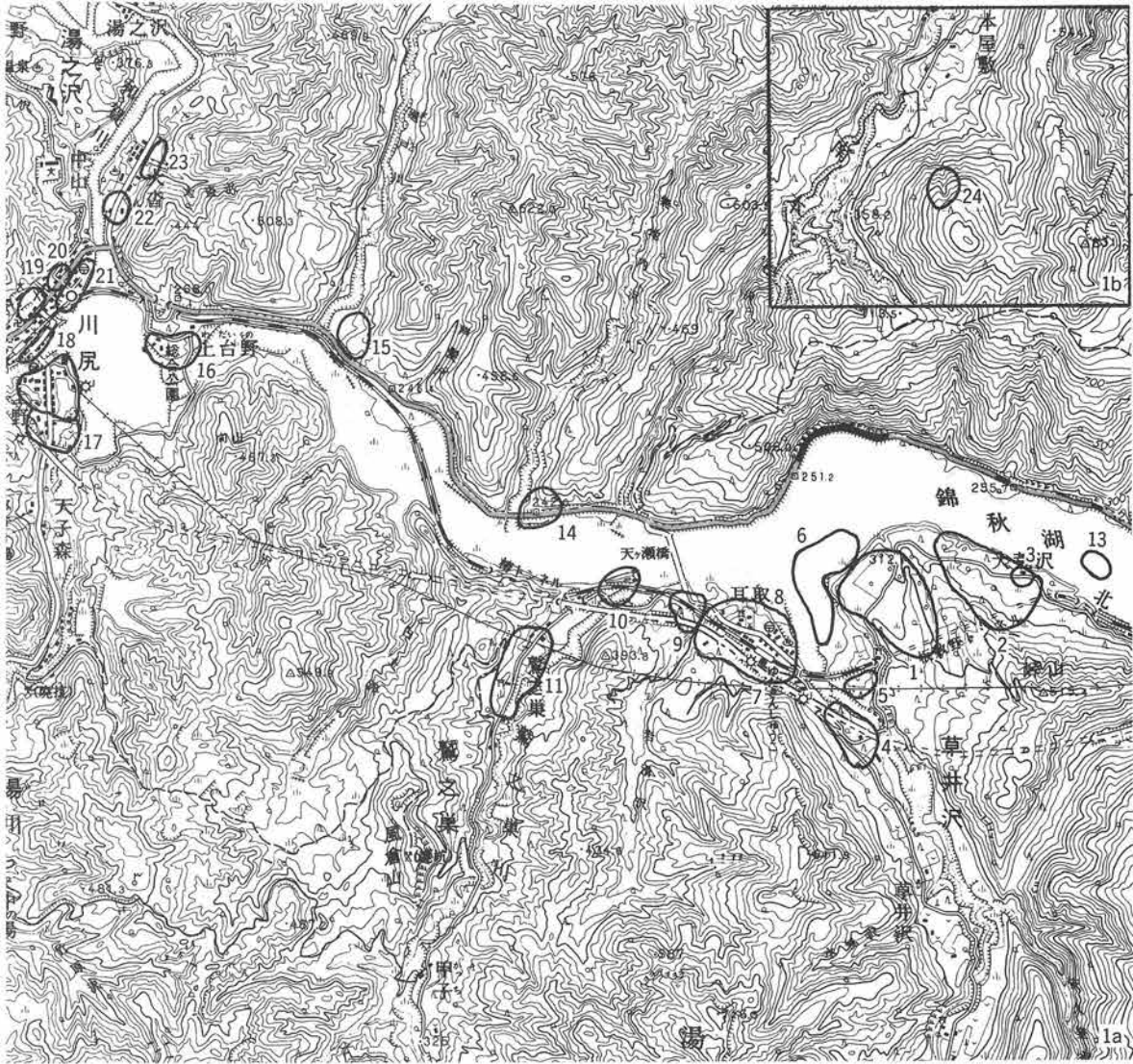
第4図 地形分類図



第5图 基本土层模式图



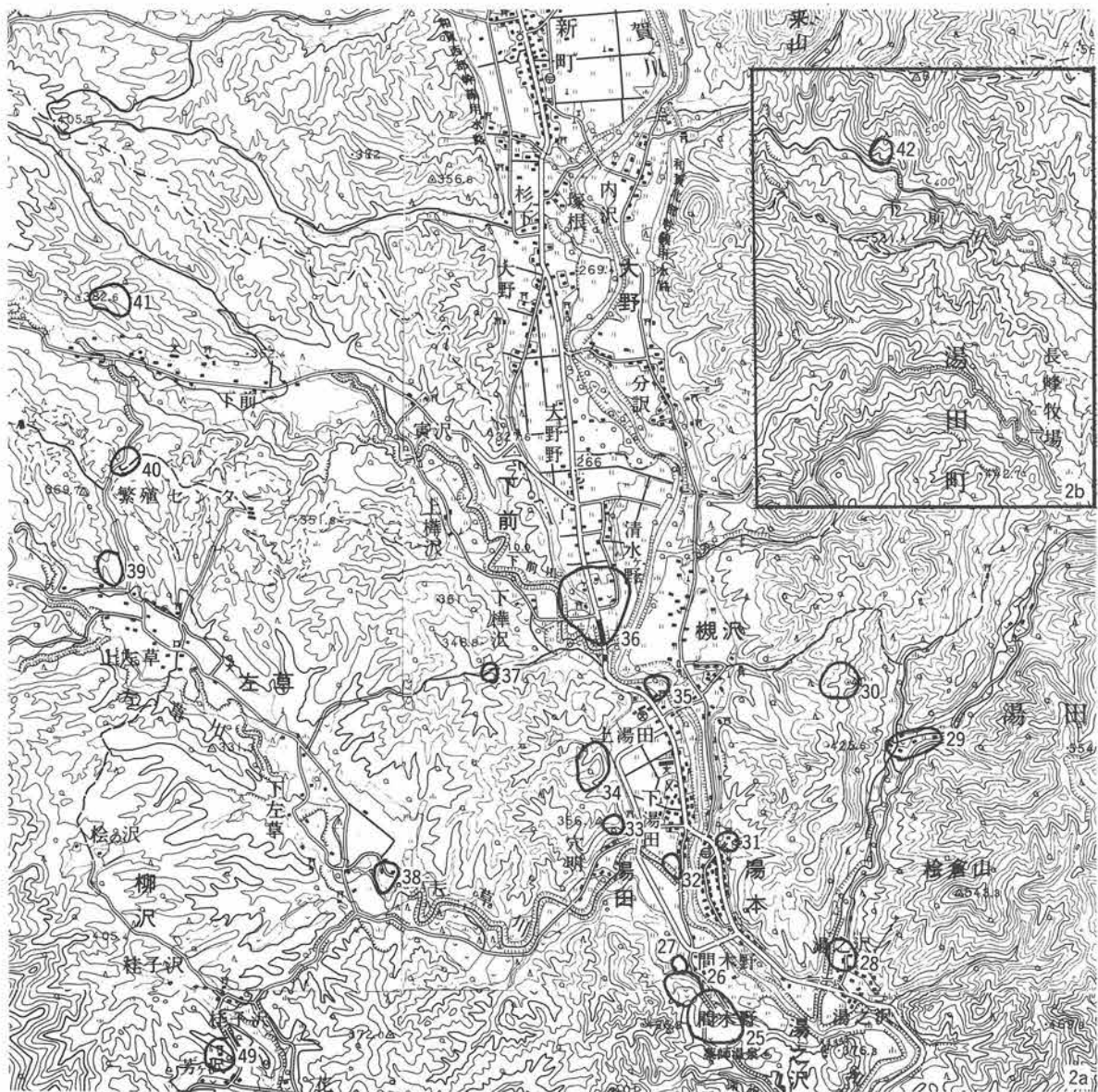
第6図 湯田町境界と周辺の遺跡図幅位置図



第1表 周辺の遺跡(1)

No.	遺跡名	種別	時代	所在地(湯田町)	備考	調査:報告
1	峠山牧場I	集落跡	旧石器・縄文(前・中)	第46地割	A・B・C区に分割	H5・6・8調査:岩第233集
2	峠山牧場II	散布地	縄文	第45地割(峠山牧場内)		
3	峠山一里塚	塚跡	近世	第45地割(峠山牧場内)	町指定史跡	
4	本内I	散布地	縄文・近世	第46地割125番		H5調査:岩第212集
5	本内II	集落跡	縄文(早・中～晩)・弥生	第47地割		H5・6調査:岩第271集
6	本内III	散布地	縄文	第46地割		
7	耳取I	集落跡	旧石器・縄文(前・中)	第49地割2番	A・B区に分割	H5・6調査:岩第232集
8	耳取II	散布地	縄文	第49地割		
9	耳取III	散布地	縄文	第49地割		
10	八幡館	城館跡	中世	第41地割		
11	鷺之巣	散布地	縄文(中)	第50地割101番		
12	草井沢	散布地	縄文	第45地割1番	水没	
13	杉名畑	散布地	縄文(中・後)	第44地割	水没	
14	安倍館	城館跡	中世	-	伝承地	
15	廻戸	散布地	縄文(中・後)	第42地割2番		H2調査
16	川尻中学校	散布地	縄文(中)	第41地割59番	損壊	
17	上野々	散布地	縄文・近世	第39地割149番		H5調査:岩第211集
18	川尻I	散布地	縄文	陸中川尻駅周辺		
19	川尻II	-	-	川尻小学校周辺		98遺跡台帳記載なし
20	川尻館	城館跡	中世	第40地割149番		
21	館	集落跡	縄文(前・中)	第40地割166番	損壊	
22	大杓I	散布地	縄文(中)	第36地割63番		
23	大杓II	散布地	縄文	第36地割27番		
24	藤倉館	城館跡	中世	大字本屋敷		S58調査

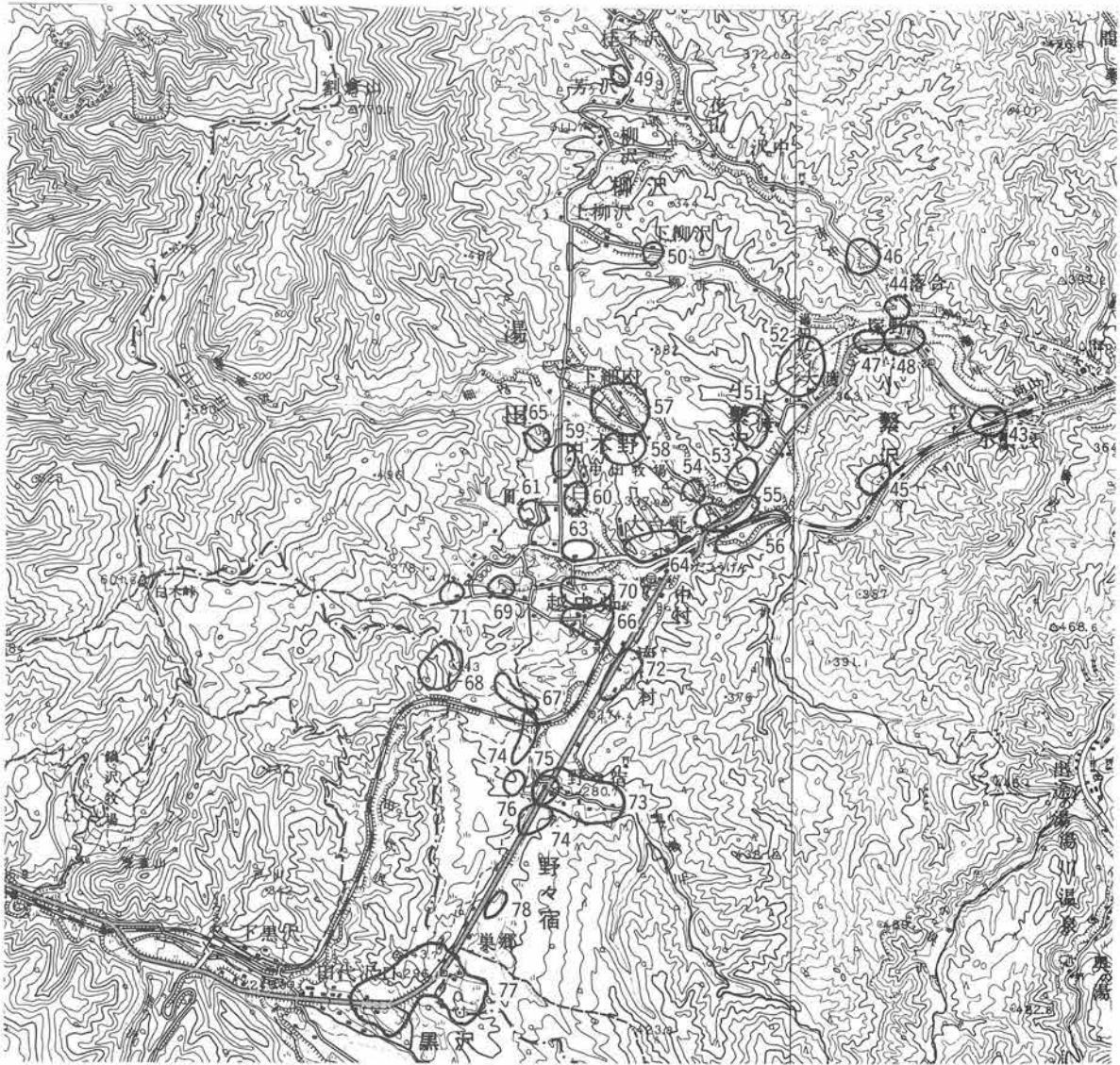
第7図 周辺の遺跡(1)川尻以東



第1表 周辺の遺跡(2)

No	遺跡名	種別	時代	所在地(湯田町)	備考	調査: 報告
25	間木野 I	散布地	旧石器	第30地割24番	S 59調査	
26	間木野 II	散布地	旧石器	第30地割24番	S 59調査	
27	間木野 III	散布地	縄文	第24地割136番		
28	湯ノ沢	散布地	縄文	湯之沢		
29	大水上	散布地	縄文	大水上		
30	とんねじろ	城館跡	中世	槻沢館		
31	湯本温泉	散布地	縄文 (中・晩期)	第30地割39番		
32	虎間館	城館跡	中世	第21地割205番		
33	西山	祭祀跡	平安	湯田		
34	中館	城館跡	中世	上湯田		
35	上湯田	集落跡	古代	湯田		
36	豊ヶ沢一里塚	塚跡	近世	豊沢		
37	清水ヶ野	集落跡	縄文 (前期)	第18地割122番		
38	火石長根	散布地	縄文	第79地割69番		
39	左草館	城館跡	中世	上左草		
40	長峰	散布地	旧石器	第2地割146番	H 2 調査	
41	虎館	城館跡	中世	下前		
42	下前	散布地	縄文	西山国有林138林班	H 2 調査	
43	合野々	散布地	縄文	第55地割84番		
44	小繫沢 I	散布地	縄文	小繫沢		
45	小繫沢 II	散布地	縄文	第55地割34番		
46	落合	集落跡	縄文	第56地割15番		
47	塚野 I	散布地	縄文 (前・中・後)	第55地割145番		H 4 調査: 岩第199集
48	塚野 II	散布地	縄文 (前・後)	第55地割157番		H 4 調査: 岩第199集
49	芳ヶ沢一里塚	塚跡	近世	第72地割51番		

第8図 周辺の遺跡(2)川尻以北



第1表 周辺の遺跡(3)

No.	遺跡名	種別	時代	所在地(湯町)	備考	調査：報告
50	柳沢 I	散布地	縄文	下柳沢70-80-1		
51	大渡 I	散布地	縄文	第57地割37番		H 4 調査：岩第195集
52	大渡 II	キャンプ跡	旧石器・縄文(前～後)	第57地割12番		H 3・4・5 調査：岩第215集
53	大渡 III	キャンプ跡	旧石器	第57地割40番		
54	大渡 IV	集落跡	縄文	第57地割		
55	大台野	集落跡	旧石器・縄文・弥生	第66地割253番		S 45～57調査
56	大台野 II	集落跡	縄文	第68地割		
57	細内 I	散布地	旧石器	第69地割66番		
58	細内 II	キャンプ跡	旧石器	第69地割		
59	白木野 I	散布地	縄文(前・中)	第68地割265番		H 4 調査：岩第200集
60	白木野 II	散布地	近世	第67地割150番		H 4 調査：岩第200集
61	白木野 III	散布地	近世	第67地割 6 番		H 4 調査：岩第200集
62	白木野 IV	散布地	縄文	第67地割166番	98遺跡台帳に不掲載	
63	白木野 V	散布地	縄文	第67地割262番		
64	白木野 VI	散布地	旧石器	第67地割315番		
65	白木野 VII	キャンプ跡	旧石器	第67地割		
66	越中畑 I	散布地	縄文	第64地割		
67	越中畑 II	散布地	旧石器	第64地割		
68	越中畑 III	散布地	縄文	第64地割		
69	越中畑 IV	散布地	縄文・近世	第64地割		H 4 調査：岩第201集
70	越中畑 V	散布地	縄文	第64地割		H 3・4 調査：岩第201集
71	越中畑番所跡	番所跡	近世	第64地割100番		
72	中村	散布地	旧石器	第59地割52番		
73	野々宿 I	集落跡	縄文	第64地割50番		
74	野々宿 II	散布地	旧石器	第62地割90番		
75	野々宿 III	キャンプ跡	旧石器	第62地割77番		
76	野々宿北	散布地	旧石器	第62地割77番		
77	巢郷 I	散布地	縄文	第63地割		
78	巢郷 II	散布地	旧石器	第63地割10番		

第9図 周辺の遺跡(3)川尻以西

III. 調査・整理の方法

1. 範囲確認調査について

(1) 範囲確認調査の概要

本調査に先だって平成6年度に範囲確認調査が行われており、その成果については既に報告されている(岩埋文233集)。ここでは本報告に関わることについて簡単に触れておきたい。

試掘調査は4m四方のグリッドを単位として約13,800m²(I遺跡B地区全体の面積45,000m²の約3割)について調査が行われた。具体的には遺物集中区を除いてIII層まで掘り下げ、遺物集中区については数カ所をIII層まで掘り下げて遺物の出土状況を精査し、その他は遺物包含層(I d層)を検出した段階で試掘を止めている。ただし狭い試掘範囲のなかで、遺物包含層と同一の土層からなる遺構内埋土を、それと識別できずにIII層まで精査したグリッドが数カ所ある。

試掘の結果、遺跡の南西側で旧石器集中区5箇所、北東側で縄文時代の遺物集中区(遺物包含層)の存在を確認し、いくつかの遺構について精査をおこなっている。

縄文時代の遺物集中区の広がり、おもに遺物包含層(I d層)の広がりや遺構の範囲から把握されたものである。包含層の厚さは20cm~40cmで縄文時代前期末葉を主体とする遺物を包含することが明らかにされたが、その形成過程や遺構との関わりおよび個々の遺構の内容を把握するまでには至っていない。

本調査においては、とくに遺物包含層(I d層)の範囲とその性格、個々の遺構の内容把握が調査課題として設定された。

旧石器時代については、5ヶ所の遺物集中区が確認されている。位置はいずれも遺跡の南側でI A地区に近い。今回は限定された調査範囲であるが、集中区の分布の北側への広がりやの有無が調査課題のひとつとなった。

(2) 峠山牧場I遺跡の地区割について

峠山牧場I遺跡は、総面積約150,000m²に及ぶ遺跡である。遺跡としては一括されるが実際の調査にあたっては、便宜的に調査地別の地区割が行われている。県埋蔵文化財センターで調査した2地点については、遺跡南側をA地区、北側をB地区と呼び、遺跡の東側で湯田町教育委員会で調査した地点をC地区と呼んでいる。

2. 野外調査

(1) 調査区の設定と遺構の命名

野外調査の方法については、基本的には平成6年度に行われた範囲確認調査の際に設定されたものを踏襲したが、一部変更したところもある。具体的には以下のとおりである。

a. 基準点の設置

三等三角点八幡館と四等三角点峠山牧場を使用し、以下の基準点・補点を設定した。基準点1・2と補点1~6は範囲確認調査の際に設定された既点で、それ以外は新設した点である。

基準点1 X = -78,000.000m Y = +1,200.000m、H = 290.292m (既点)

基準点2 X = -78,000.000m Y = +1,300.000m、H = 290.549m (既点)

補点1 X = -77,900.000m Y = +1,200.000m (既点)

補点2 X = -77,900.000m Y = +1,300.000m (既点)

補点3	X = -77,960.000m	Y = +1,300.000m	(既点)
補点4	X = -78,000.000m	Y = +1,100.000m	(既点)
補点5	X = -78,100.000m	Y = +1,100.000m	(既点)
補点6	X = -78,100.000m	Y = +1,200.000m	(既点)
補点7	X = -78,050.000m	Y = +1,100.000m	(新点)
補点8	X = -78,000.000m	Y = +1,150.000m	(新点)
補点9	X = -77,950.000m	Y = +1,150.000m	(新点)
補点10	X = -77,850.000m	Y = +1,220.000m	(新点)
補点11	X = -77,870.000m	Y = +1,250.000m	(新点)
補点12	X = -77,850.000m	Y = +1,250.000m	(新点)
補点13	X = -77,850.000m	Y = +1,300.000m	(新点)
補点14	X = -77,890.000m	Y = +1,300.000m	(新点)
補点15	X = -77,890.000m	Y = +1,320.000m	(新点)
補点16	X = -77,900.000m	Y = +1,350.000m	(新点)
補点17	X = -78,000.000m	Y = +1,350.000m	(新点)
補点18	X = -78,050.000m	Y = +1,320.000m	(新点)

b. グリッドの設定 (第10図)

調査区の地区割りにあたっては、遺跡全体をカバーするように基盤状の格子を組むグリッド方式を用い、平成6年度の試掘調査の際に設定されたグリッドを踏襲した。具体的には上記基準点と補点をもとに平面直角座標の第X系の公共座標軸にのる100m四方の大グリッドを組み、更に4m四方の小グリッドを設定した。グリッドの名称は、大グリッドは北から南にむかってA・B・C… (アルファベット大文字)、西から東にむかってI・II・III… (ローマ数字) を用い、その組み合わせでA I区・A II区などと呼び、小グリッドは北から南にむかってa～y (アルファベット小文字)、西から東にむかって1～25 (算用数字) にそれぞれ25等分した。区画左上 (北西隅) の杭をもってグリッドの名称を表し、遺構の位置や遺物の取り上げは大小グリッドの組み合わせで、DIV a10グリッドなどと表わした。

c. 調査区

調査面積は6,120㎡である。調査区は錦秋湖サーブスエリアに付設される栗林内の遊歩道部分で大きく西側 (3,360㎡) と東側 (2,760㎡) の2箇所に分かれる。それぞれ幅8m～10mで、西側は長さ420m、東側は長さ330mである。西区、東区と仮称した。

d. 遺構の命名

遺構の命名にあたっては次の略号を用いて検出順に行った。基本的に平成6年度調査と同一略号を用いているが、一部変更したものもある。

RA：竪穴住居跡、RE：竪穴状遺構、RB：掘立柱建物跡、RD：土坑、RF：焼土遺構

RH：集石遺構、RZ：土器埋設遺構

e. 検出された遺構数

検出された遺構の名称 (数) は以下のとおりである。遺構数は各遺構とも本調査について付したNO. (1～) であり、平成6年度調査で命名・報告されたものとの整合性はない。

竪穴住居跡：RA01～31 (31)、土坑類 (墓壇・陥し穴舎)：RD01～53 (53)、

焼土遺構：RF01～05（5）、集石遺構：RH01（1）、土器埋設遺構：RZ01～16（16）、
柱穴状土坑51基、遺物包含層1箇所、
旧石器集中区2箇所

（2）調査の経過

調査は、当初、6月～9月（4ヶ月）の予定であったが、遺構・遺物が予想以上に出土したことから、10月22日まで延長して行われた。作業員の登録員数は、当初33名で、7月に11名増員して、以降44名である。平均の稼働人数は32名ほどであった。以下に、調査経過を簡単に記す。

- 6月3日（月） 午前10時、資材搬入・調査開始、作業員登録33名。
- 6月5日（水） 阿部・鈴木異動、本調査に入る。
- 7月16日（火） 川向異動、調査に入る（調査員3人体制）。
- 7月22日（月） 作業員登録44名（11名増員）。
- 9月5日（木） 空中写真撮影（全体）。
- 9月7日（土） 午後1時30分～3時、現地説明会。参加者90人。
- 9月9日（月） 午後3時、部分終了確認（西区：3,360㎡）。
- 9月30日（月） 川向異動（調査員2人体制）。
- 10月8日（火） 空中写真撮影（東区）。
- 10月11日（金） 午後2時、終了確認（東区：2,760㎡）。
- 10月22日（水） 調査終了、撤収。

（3）粗掘り、精査

当初、2m幅のトレンチを任意に地形に応じて入れ、遺跡の状況把握につとめた。その結果、表土の厚さは10cm～15cmであり、削られているところ、遺物包含層の有無など地点により層位・層厚の違いが把握された。基本的には表土部分を重機を用いて剥ぎ、それ以下の層位は人力で精査を行なった。各区域における遺構検出・遺構精査の状況は、以下のとおりである。

西区：北側は50cm～100cmほど土取りされ、III層～IV層面まで削平されていた。南側では遺物包含層が無いことを確認し、重機により表土を除去した後、試掘調査を行こなった。その結果、西区の北側で縄文時代の土坑群がまとめて検出されたが、南側では遺構・遺物は確認されなかった。

東区：北側で遺物包含層が確認されたため、表土を重機で除去した後、遺物包含層の広がりを検出し、以下人力で精査を行った。南側では遺物包含層は無く、南端においてはIII層まで削られていたことから重機で表土を除去した後、試掘調査を行い、遺構・遺物の精査を行こなった。

旧石器については、4m×4mのグリッドを基本として全域にわたり試掘調査を行った。集中区を確認できたところは、東区北側の地点のみである。

検出された遺構は、原則として住居跡の場合は4分法、土坑類は2分法を行ったが、必要に応じてその他の方法も併用した。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適宜行った。

遺構内出土の遺物は、埋土では分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。その他にも適時写真撮影・図面作成をして取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則として小グリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適時写真撮影・図面作成をしている。

（4）実測・写真撮影

平面実測は、グリッドに合わせた1mメッシュを基本とした。住居跡・土坑類は平面図・断面図とも1/20

の縮尺を基本とした。遺構の埋土が単層である場合は、その状態を Field Card に記し、土層断面図の作成は省略した。レベルは、基準点をもとに絶対高で測った。

旧石器の遺物集中区の図化・遺物の取り上げについては、トータルステーションを使用した。

写真撮影は35mmモノクロームとカラースライド各1台、モノクローム6×9cm判1台を使用した。撮影にあたっては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを利用した。実際の撮影は、各種の埋土堆積状況や、遺物の出土状況、完掘状況、全景などについて行い、調査の終了段階で空中写真撮影を行っている。

3. 室内整理

室内整理の期間は、平成8年11月～平成9年3月(5ヶ月間：整理員7名)、平成10年4月～平成11年3月(12ヶ月)である。平成8年度整理では、遺物の水洗、仕分け・登録、遺構図面の点検・合成、遺構トレースなどの作業を行った。平成10年度整理においては、4月～10月(7ヶ月：室内整理員16名)に、注記、土器の接合・復元、実測、拓影、遺物写真撮影を行い、11月～同11年3月(5ヶ月：室内整理員8名)に、遺物トレース・図版作成を行った。調査員は、全体計画の進行管理・各作業の指示・点検と原稿執筆を行った。

野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理し、報告書作成とともに資料化を行った。

(1) 遺構に係わる記録

各実測図面ごとに分類し、図面点検のうえ、必要なものについては第二原図を作成し、トレースを行った。撮影されたフィルムは、ネガアルバムに密着写真と一組にして収納した。カラースライドフィルムはスライドファイルに撮影順に収納した。

(2) 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、細片は別として、遺跡略号・出土地点・層位を全破片について注記を行った。その後、遺構ごと、遺物包含層に付いては、グリッド・層位ごとに接合・復元を行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮尺して図化した。炭化物・植物遺存体・石材の分析は、外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影は、センターの専門技師二人が撮影を行った。遺物の整理・報告に当たって作業・記録作成は以下の方針で進めた。

(3) 遺物の選別基準

報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理の中で設定された基準をもとに選別された一部の資料である。ここでは掲載資料の選別基準を明示することで、掲載資料のもつ意味が相対的に高まるものと考え、以下に資料の選別基準を明示する。また、資料化は図化・写真がすべてではない。不掲載資料であっても可能な限り数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

a. 土器

土器の注記と並行して重量の計測を行い、出土した土器の量的な把握を試みた。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合された土器については、原則として計測値(器高・口径・底径)2点以上、計測可能なもの(器形が把握できるもの)を立体土器として登録し、図化を進めた。実際の作業にあたっては、接合率が低かったため、遺構内出土については上記の基準を満たさないものでも一部、登録・図化し、掲載している

破片資料については、口縁部破片は径5cm以上の大きさを破片とした。ただし遺構内出土遺物については、上記基準を満たさないものでも一部、図化している。その他の口縁部破片については、該当すると思われる

土器の型式名を記録し数的処理を行った。

胴部破片は、原則として不掲載としたが、輪積痕・補修孔など特異な文様など実見に際して必要と思われた破片について選別し、図化した。

底部破片については、全破片について、4分1未満、4分1以上～2分1未満、2分の1以上、完形品の基準を設けて残存率の数的処理を行った。そのうち完形品、破片でも底部圧痕、施文などが認められる破片や、特異な形状をしている破片は、選別し、図化した。

b. 石器

石器は、個々に仕分けを行い、製品については登録・計測・分類を行った。未製品については重量計測のみを行った。時間の制約上、全点掲載は叶わないため、図化・掲載したのは一部の資料である。他に出土遺物全体の傾向が把握できるように可能なかぎり数的処理に努めた。基本的に遺構内出土の石器を優先して図化した。包含層及び遺構外の石器については特異な器種についてのみ図化・掲載を行った。器種別には、以下の基準による。

剥片石器は、遺構内出土の石器は原則として全点掲載した。不定形石器については類似資料をできるだけ除き、可能なかぎり選別し、特徴的な石器のみ図化している。

礫石器は、遺構内出土の石器を優先し、著しく欠損しているものを除いて図化した。

旧石器は、集中区およびそれ以外の出土地点の製品・素材を図化し、掲載した。剥片類は図化していない。

c. 土製品

出土地点を問わず、全点図化し、掲載した。

d. 石製品

全体として未製品（素材）が多いため、著しく欠損しているものを除いて、製品については原則として全点図化し、掲載した。素材については、特徴的なもののみ図化した。

(4) 出土した土器の型式と対応する時期の本文記載および分類について

出土した土器には前期・中期・後期に属するものがある。遺構の時期判定については出土した土器型式の比定に拠ることから、I群：前期、II群：中期、III群：後期と大別し、出土量の多い前期・中期については対応する土器型式により細分類し、時期の本文記載を行った。土器型式と本文記載の時期および分類の対応関係は以下のとおりである。個々の土器の比定される土器型式については観察表の分類項目で記したが、細分の叶わない土器については大別のみを記している。

土器型式（分類）：時期の本文記載

上川名II式（I群1類）：前期初頭、大木1～2 a式（-）：前期前葉、大木2 b式（I群2類）、大木3式（-）：前期中葉、大木4式（I群3類）・大木5式（I群4類）：前期後葉、大木6式（I群5類）：前期末葉、大木7 a式（II群1類）：中期初頭、大木7 b式（II群2類）：中期前葉、大木8 a・8 b式（-）：中期中葉、大木9式（-）：中期後葉、大木10式（II群3類） 中期末葉。

4. 掲載図版等について

(1) 掲載図版の構成

掲載図版は、遺構図版と遺物図版に分けている。遺構図版は、遺構の種別ごとに掲載した。遺物図版は、土器・土製品・石器・石製品などの種類ごとに、遺構内・遺構外の順に掲載した。各遺物図版のなかでは、遺構毎・出土地点、層位を基準として掲載することにした。石器については、器種ごとに分類したなかで、

遺構毎・出土地点・層位を基準として、掲載した。遺物の種類ごとに分けることにより、遺跡全体の出土遺物全体の傾向を把握し易くすることを意図している。一方で各遺構毎の出土遺物の傾向を把握し易くすることを意図して、遺構毎の出土遺物の集成図を遺構の図版の後に付して利用の便を図った。ただし、住居跡については出土遺物の多寡に係わらず、すべての住居跡について作成したが、他の遺構については、まとまった出土遺物がみられた遺構（土坑）についてのみ作成した。

掲載遺物には観察表を付した。観察表の（ ）内数値は残存値である。遺物の図版掲載番号は各種遺物ごとに各遺構・出土地点ごとに連番を付し、写真番号も同一のものとした。

(2) 図版の縮尺

掲載した遺構・遺物の図版の縮尺は次のとおりである。

a. 遺構図版

各遺構の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。住居跡の平・断面図1/60、炉の断面図1/60、土坑の平・断面図1/40、集石遺構・土器埋設遺構1/40。

b. 遺物図版

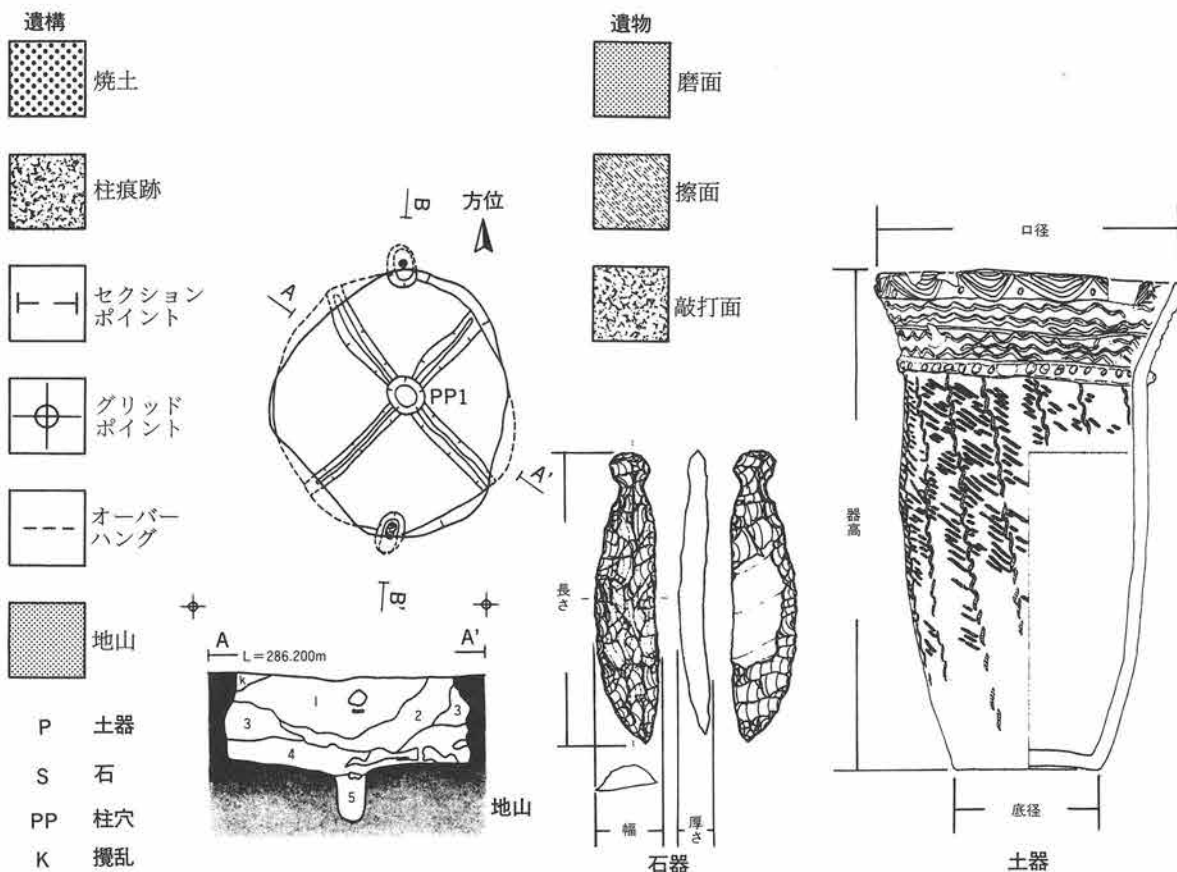
各遺物の図面は以下の縮尺を原則としたが、一部変更したものもあり、各図にスケール・縮尺を付した。旧石器2/3、立体土器1/3、破片土器1/3、土製品1/2、剥片石器1/2、礫石器1/3、石製品1/2。

c. 写真図版

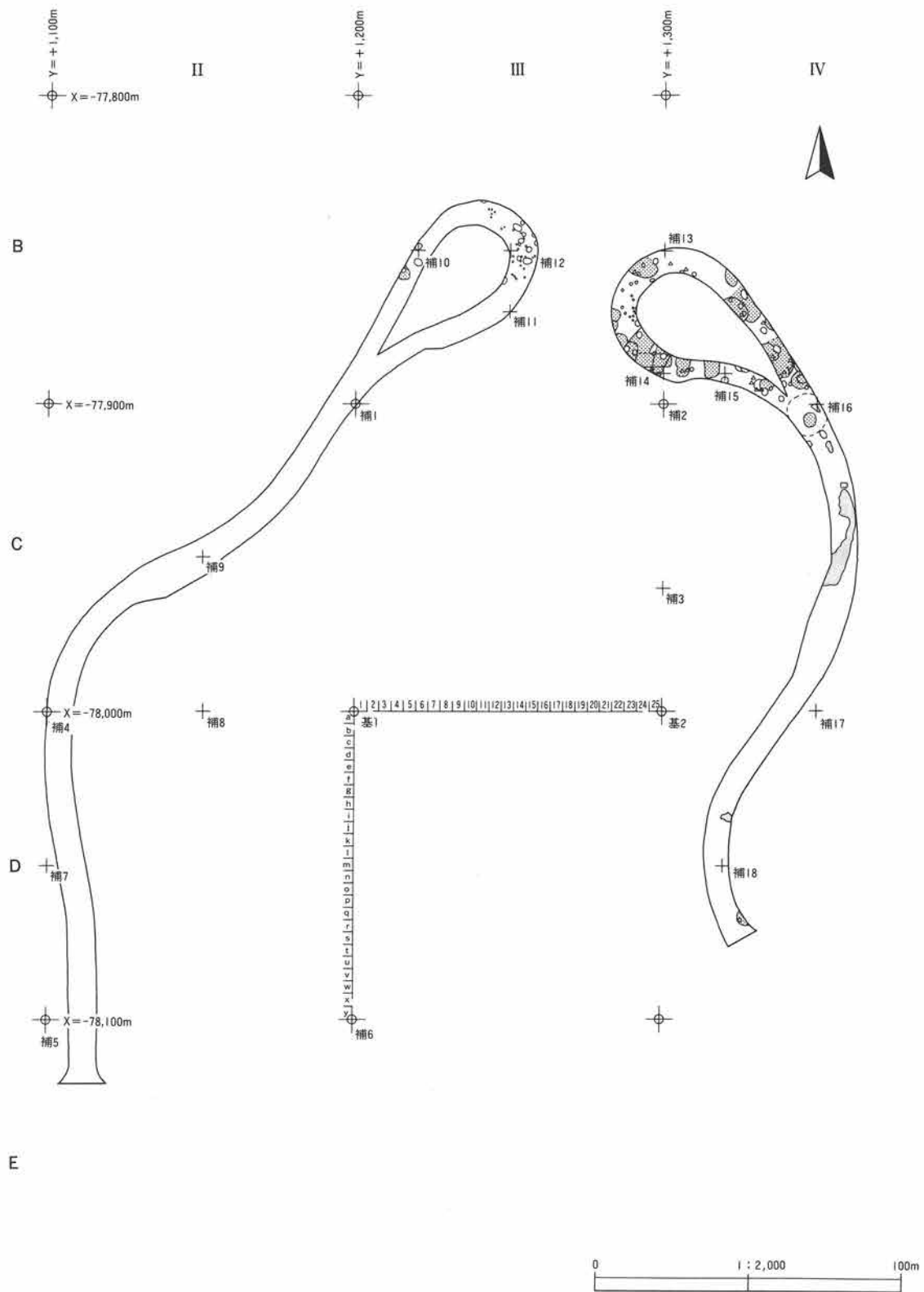
遺構の写真図版は縮尺不定である。遺物の写真図版については、各図に縮尺を付した。

(3) 図版の凡例

図中に使用した記号とスクリーン・トーンの凡例は次のとおりである。



凡例



第10図 グリッド配置図

IV. 旧石器時代

今回の調査で旧石器が出土している。出土地点は調査区北側で、B IV y10～y12グリッドから C IV d12グリッドでまとまって出土し、B IV y12グリッド付近と C IV a10～a11グリッド付近の2カ所が集中区と判断された。他に縄文時代の遺構埋土など元位置を留めていない旧石器も少量出土している。

集中区で出土した石器の総点数は300点、炭は200点である。以下に概要を記す。なお炭化物については、¹⁴C年代測定で鑑定したところ、縄文時代前期との鑑定が出ている(No. 2・3)。周辺や後世の土壌汚染が考えられる結果であり、出土した資料の実年代を類推するには至らなかった。

第1集中区

遺構(第11・12図、写真図版3)

〈位置・検出状況〉B IV y12グリッド。遺跡内で確認された集中区としては最北端に位置する。段丘縁からは50m南側に位置する。南西側5mの地点には第2集中区が位置する。縄文時代の遺構のRH01集石遺構の精査中、断面裁ち割りの段階で、集石の下位の土層に彫刻刀形石器(No. 1)を確認し、その後、集石の除去後に彫刻刀形石器(2)・搔器(7)の2点が発見され、計3点がまとまって出土したことから集中区と判断した。

〈重複〉集中区の上位に縄文時代の遺構であるRH01集石遺構が位置する。

〈規模・平面形〉径3m前後と推定されるが、詳細は不明である。石器の周辺には炭も分布している。

〈遺物の出土層位〉II層(漸移層)。

〈遺物の出土レベル〉表土から最終検出面までの深さは72.8cmである。出土遺物の最高位は287.681m(No. 8)、最低位は287.576m(No.10)で、遺物の出土地点の高低差は10.5cmの間に収まる。

遺物(第14・15図、写真図版4・5)

〈出土状況〉II層の漸移層から径3m前後の範囲で出土している。

〈石器〉彫刻刀形石器6点、搔器1点、石刃7点、剥片10点、石屑30点、総計74点が出土している。石材は頁岩が卓越する。産地は和賀川流域である。ここでは彫刻刀形石器6点、搔器1点、石刃7点を掲載した。

1～6は彫刻刀形石器である。小形～大形の縦長の剥片(石刃)を素材とし、腹面の末端の左側縁の上端に細部加工を施して打面の調整を施したのちに、背面の右上方から一撃を加えて彫刀面を作り出している。1は腹面に彫刀面が作り出されている。2は、素材(石刃)の基部(打面)側を石器の先端部として使用している。腹面に打面調整を施した後に背面右上方から一撃を加えて彫刀面を作り出している。もう一方の先端にも類似の調整がある。5・6は彫刻刀として使用されたか、もしくは未製品の可能性がある。彫刻刀面は判然としないが、腹面の上端左側縁に細部加工を施す技法は他の彫刻刀形石器に分類したものと同様である。7は搔器である。表皮の残る縦長剥片(石刃)の末端の背面に刃部が作り出されている。使用時に破損したと思われる欠損が刃部に見られる。8～14は石刃で、12の腹面の右の側縁には微細な剝離が見られる。

第2集中区

遺構(第11・13図、写真図版3)

〈位置・検出状況〉C IV a10～a11グリッド。遺跡内で確認された集中区としては第一集中区とともに最北端に位置する。段丘縁からは50m南側に位置する。北東側5mの地点に第1集中区が位置する。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉 径 3 m 前後で、円形基調と推定されるが、詳細は不明である。

〈遺物の出土層位〉 II 層（漸位層）～III a 層（ローム）。

〈遺物の出土レベル〉 表土から最終検出面までの深さは 73cm である。最高位は 287.804m (No.24)、最低位は 287.593m (No.32) で、遺物の出土地点の高低差は 21.0cm の間に収まる。

遺物（第 16～19 図、写真図版 5・6・7）

〈出土状況〉 II 層の漸位層から III a 層。

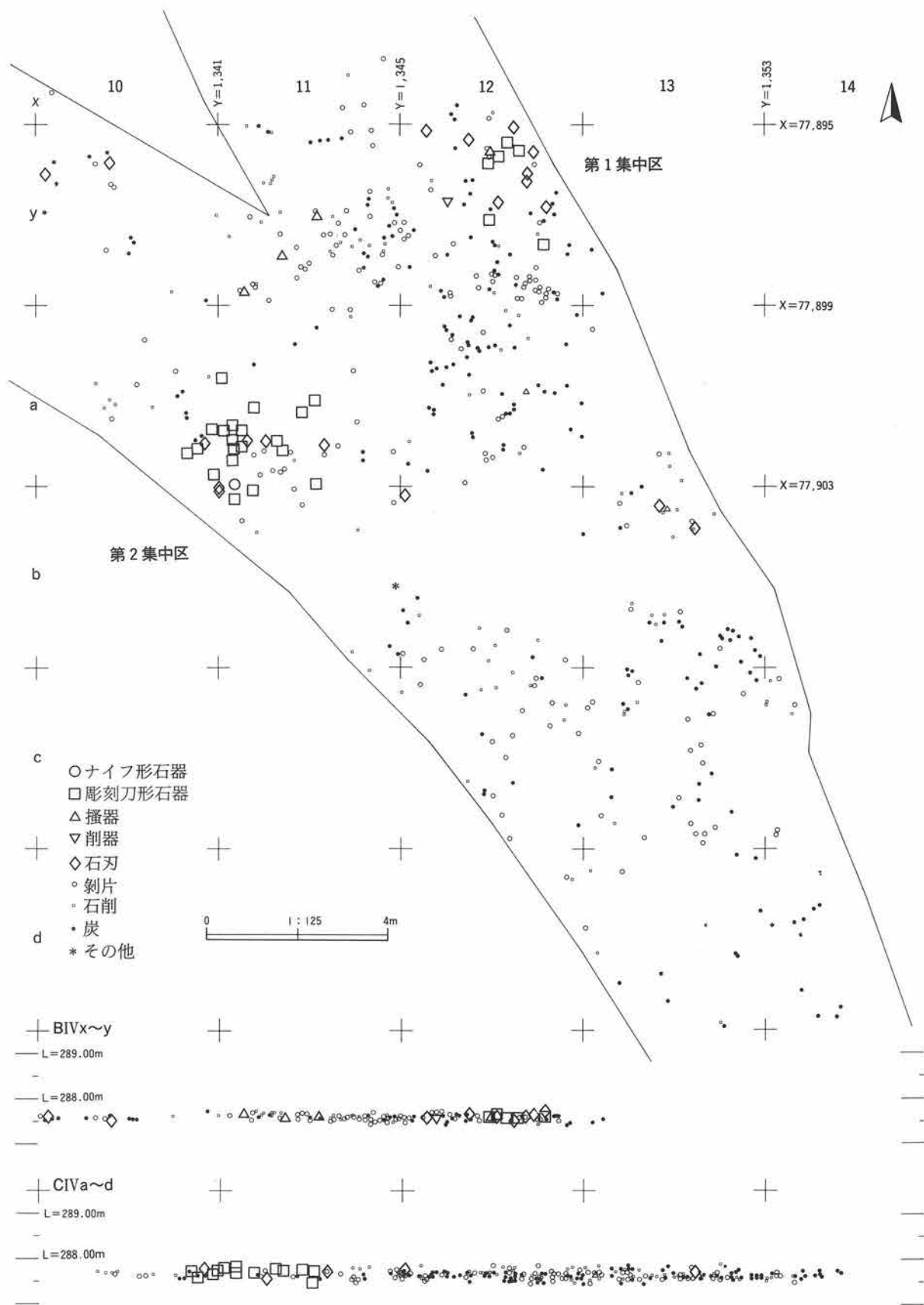
〈石器〉 ナイフ形石器 1 点、彫刻刀形石器 18 点、削器 1 点、石刃 6 点、剥片 30 点、石屑 50 点、削片 1 点、合計 107 点が出土している。石材は頁岩が卓越し、珪質頁岩や流紋岩が少量ある。産地は和賀川流域である。このうちナイフ形石器 1 点、彫刻刀形石器 18 点、削器 1 点、石刃 6 点を掲載した。

15 はナイフ形石器で、上半分を欠損している。腹面の両側縁に調整が加えられている。16 はナイフ形石器を彫刻刀形石器に転用したものと考えられる。基部は両側縁に調整を施し、打面を取り除いている。先端部は無加工のようである。背面の左側縁に 3 回の彫刀面の作り出しがみられる。17～36 は彫刻刀形石器あるいはそれに類似する調整が見られるものを挙げた。未製品が含まれているかもしれない。いずれも中形～小形の石刃を用いて、腹面の左側縁の上端に調整を加え、打面調整を行った後に背面の右上端から左下に向けて一撃を加えて彫刀面を作り出している。20 は 2 回、21 は交差するように彫刀面が作り出されている。20・22 は素材である大形の縦長剥片を折半しているようで、彫刻刀としての長さを調整した可能性がある。現状の長さは他の彫刻刀とほぼ同じである。24 は腹面に付着物がみられる。これらと比較して、29～35 は明瞭な彫刀面が確認できないが、腹面の左側縁上端に施される調整は類似する。未製品の可能性もあるかもしれない。37 は彫刻刀の削片の可能性のあるものとして図示したものである。石材（色調）からすると 26 と同一であるが接合はしない。32a と 32b は同一個体で 1.4m 離れた地点で出土している。43a と 43b の出土地点はほぼ同一地点であり、欠損したものと思われる。38 は縦長剥片の背面の右側縁に調整が施されている削器である。40～44 は、以上の素材となった石刃と比較して、小形の薄い石刃である。

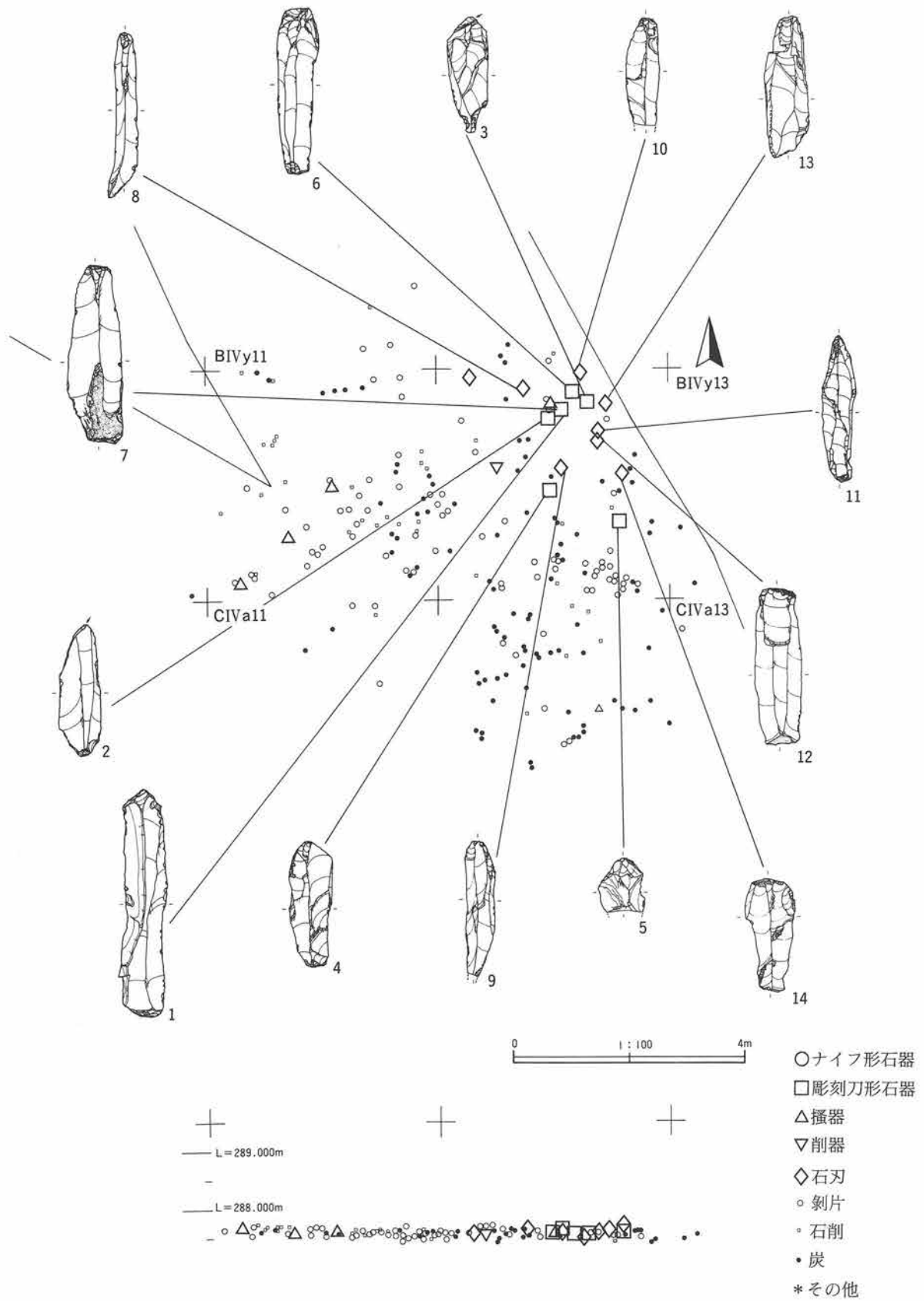
集中区外出土の旧石器（第 20 図、写真図版 7）

集中区以外からも旧石器が出土している。遺物包含層中と竪穴住居跡の埋土から出土している。出土地点に特にまとまりはみられない。ナイフ形石器 4 点、彫刻刀形石器 3 点、石刃 2 点、細石刃 1 点の計 10 点を掲載した。石材はいずれも頁岩で、産地は和賀川流域である。

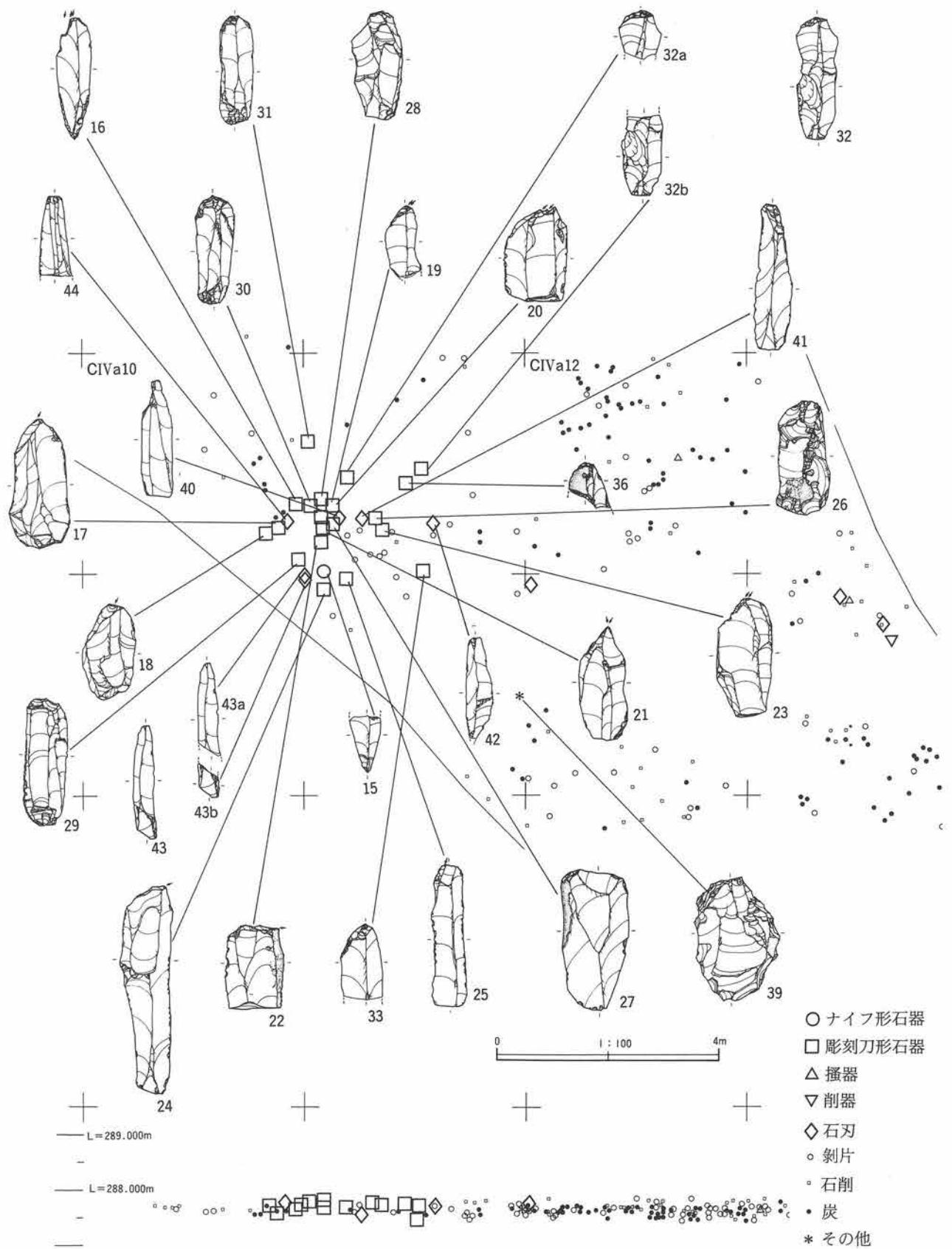
45～47 はナイフ形石器で、上端部を欠損する。端部の両側縁に調整を加え、打面を除去している。48 はナイフ形石器であるが、両側縁に微細な調整が加えられている。打面は除去されていない。49 は彫刻刀形石器で、基部は両面調整ですぼまった形に仕上げられている。腹面の左上端に微細な加工が加えられ、打面調整を施した後に、背面の右上方から一撃で彫刀面を 1 回作り出している。色調がにぶい橙色を示し、他の石器と異なる。ナイフ形石器からの転用か。50・51 は彫刻刀形石器で、50 は 2 回、51 は 3 回の彫刀面が作り出されている。いずれも腹面の端部左側縁に打面調整を施した後に、背面右上から左下に一撃で彫刀面がつけられている。51 は、背面の末端に搔器様の刃部を合わせもつ複合石器である。52 は小形の石刃で、腹面の左側縁の上端部に調整が入る。53 は石刃の欠損品と思われる。詳細は不明だが、腹面の左側縁に調整が入る。彫刀面を作り出すための打面調整の可能性がある。54 は細石刃で上部を欠損している。背面の右側縁に微細な剥離がみられる。



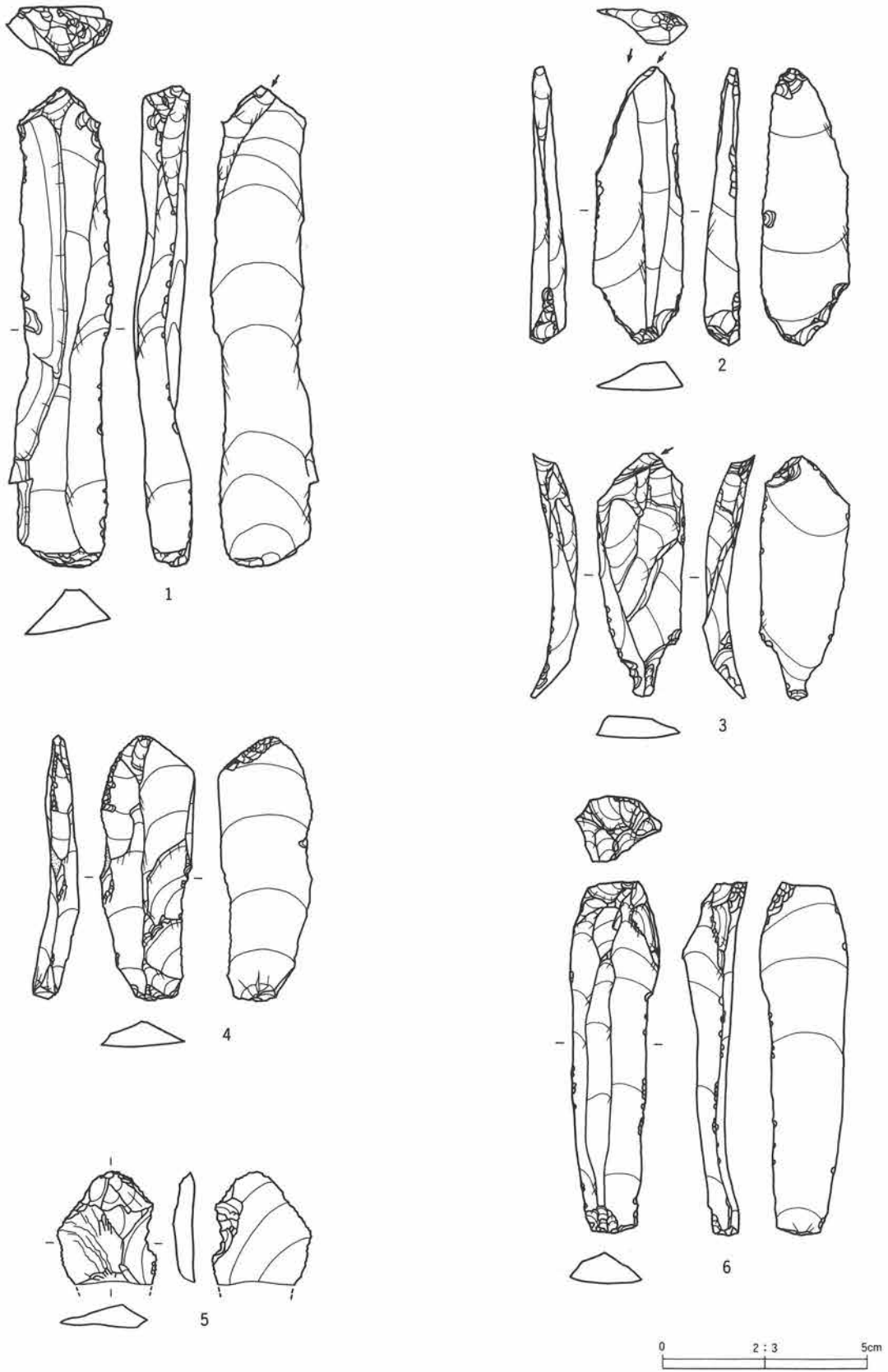
第11図 石器水平垂直分布図 (第1・2遺物集中区)



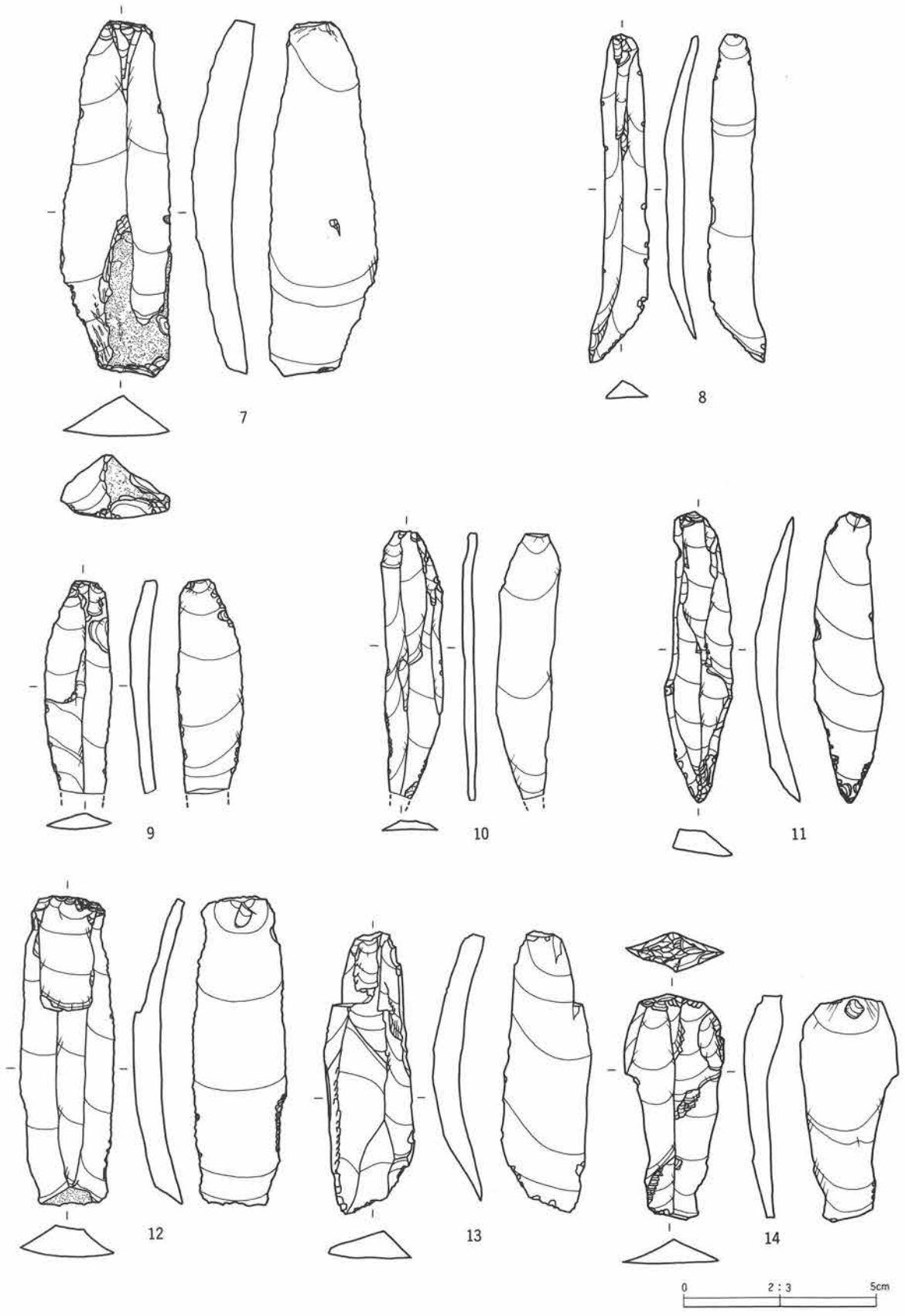
第12図 器種別石器分布図 (第1集中区)



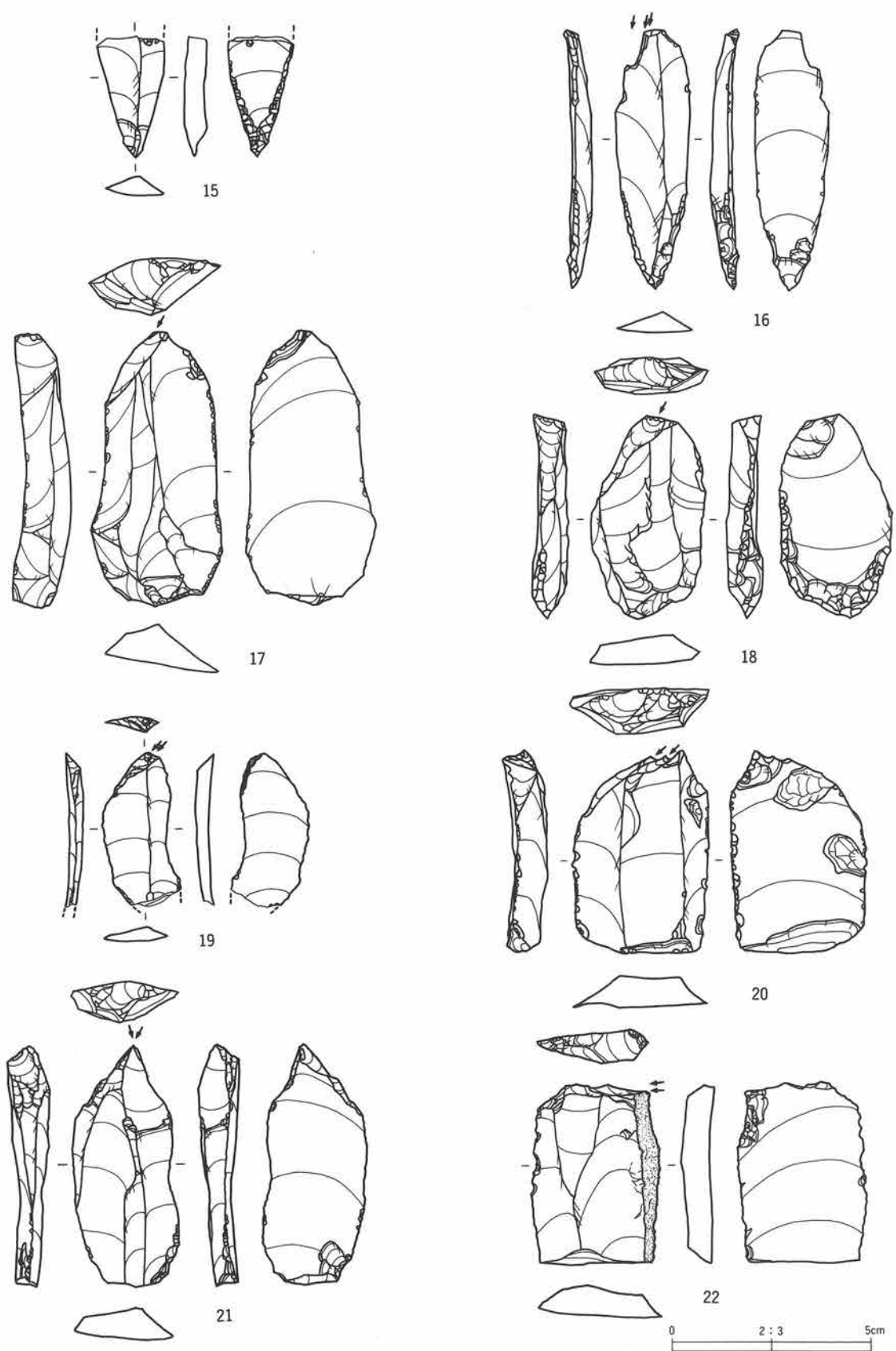
第13図 器種別石器分布図 (第2集中区)



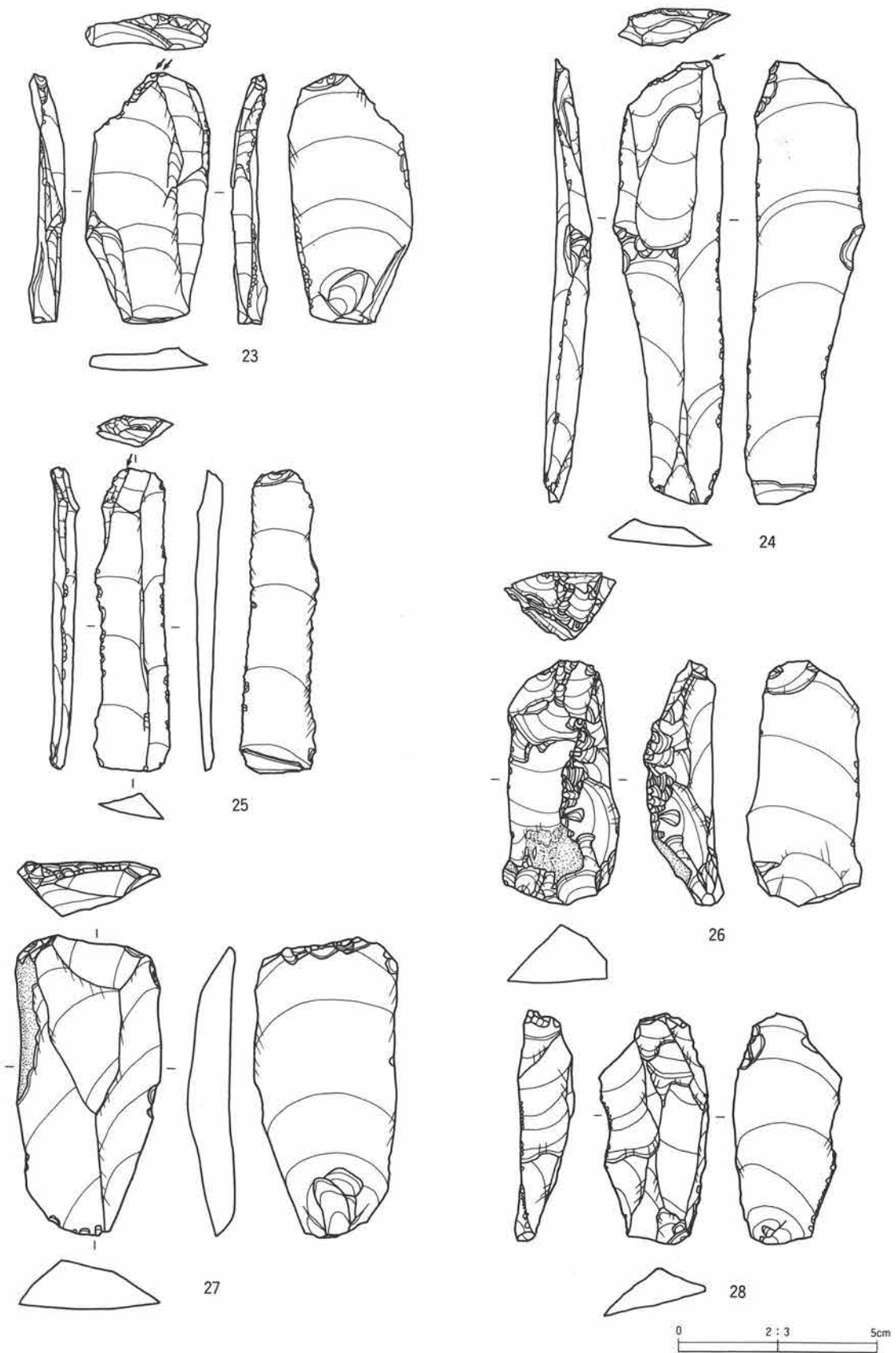
第14图 旧石器(1)



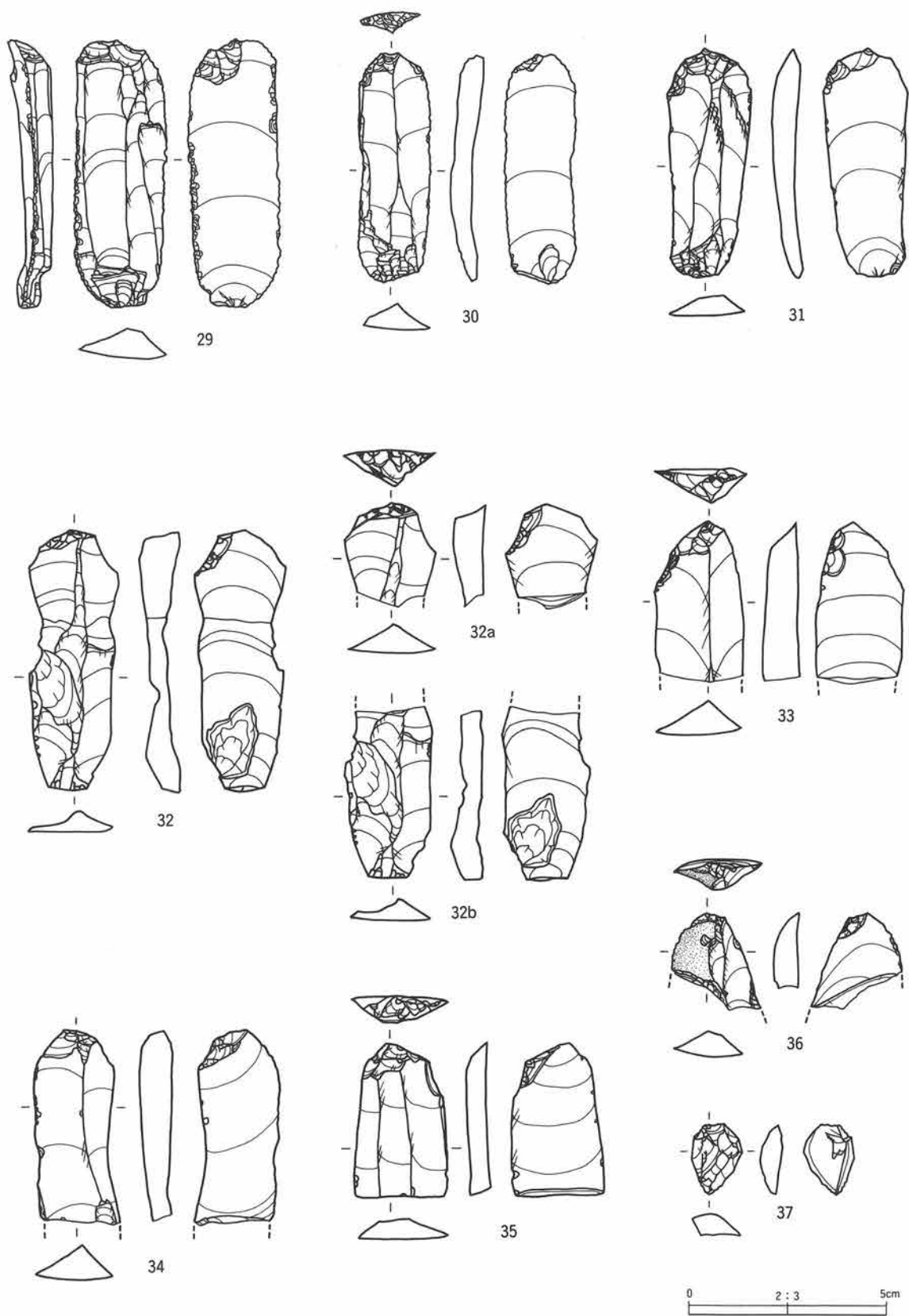
第15图 旧石器(2)



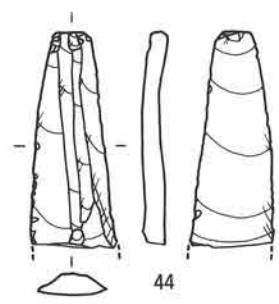
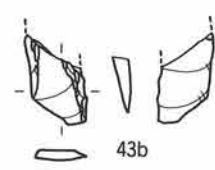
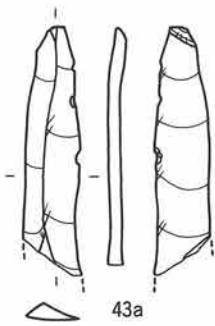
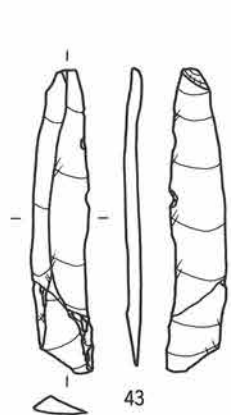
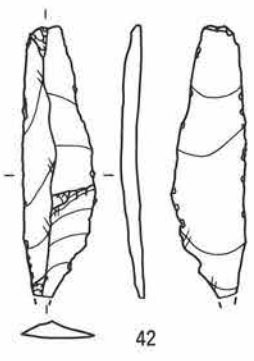
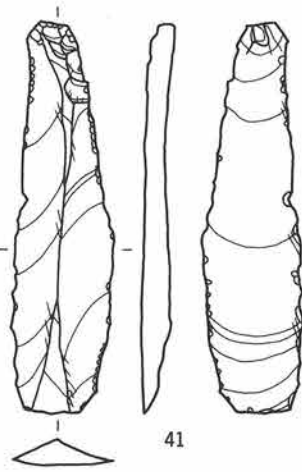
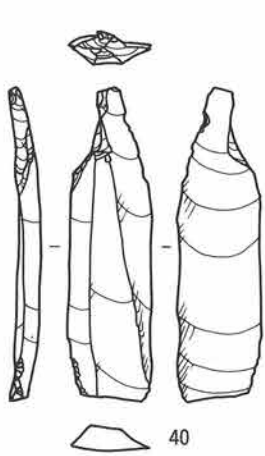
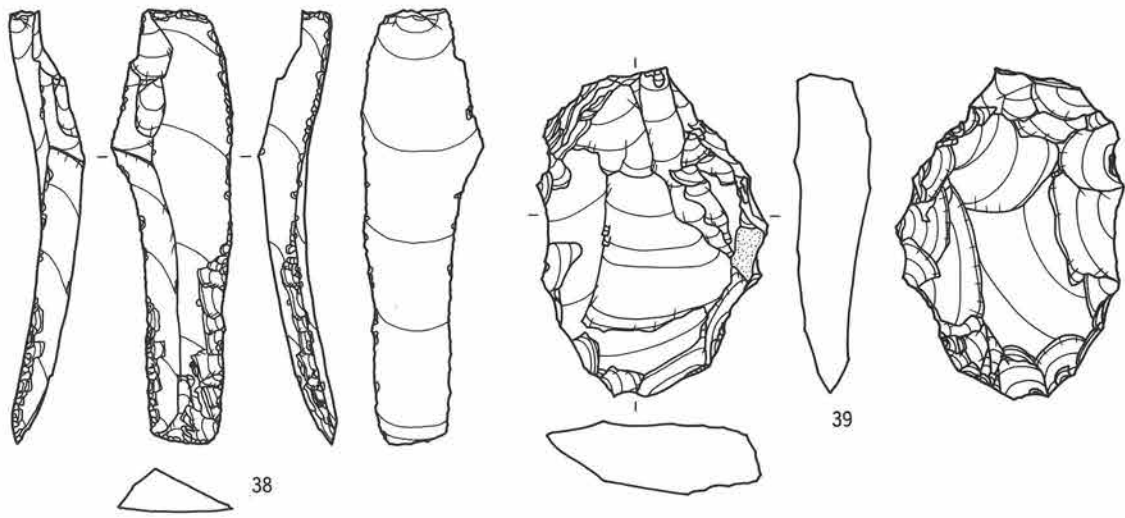
第16図 旧石器(3)



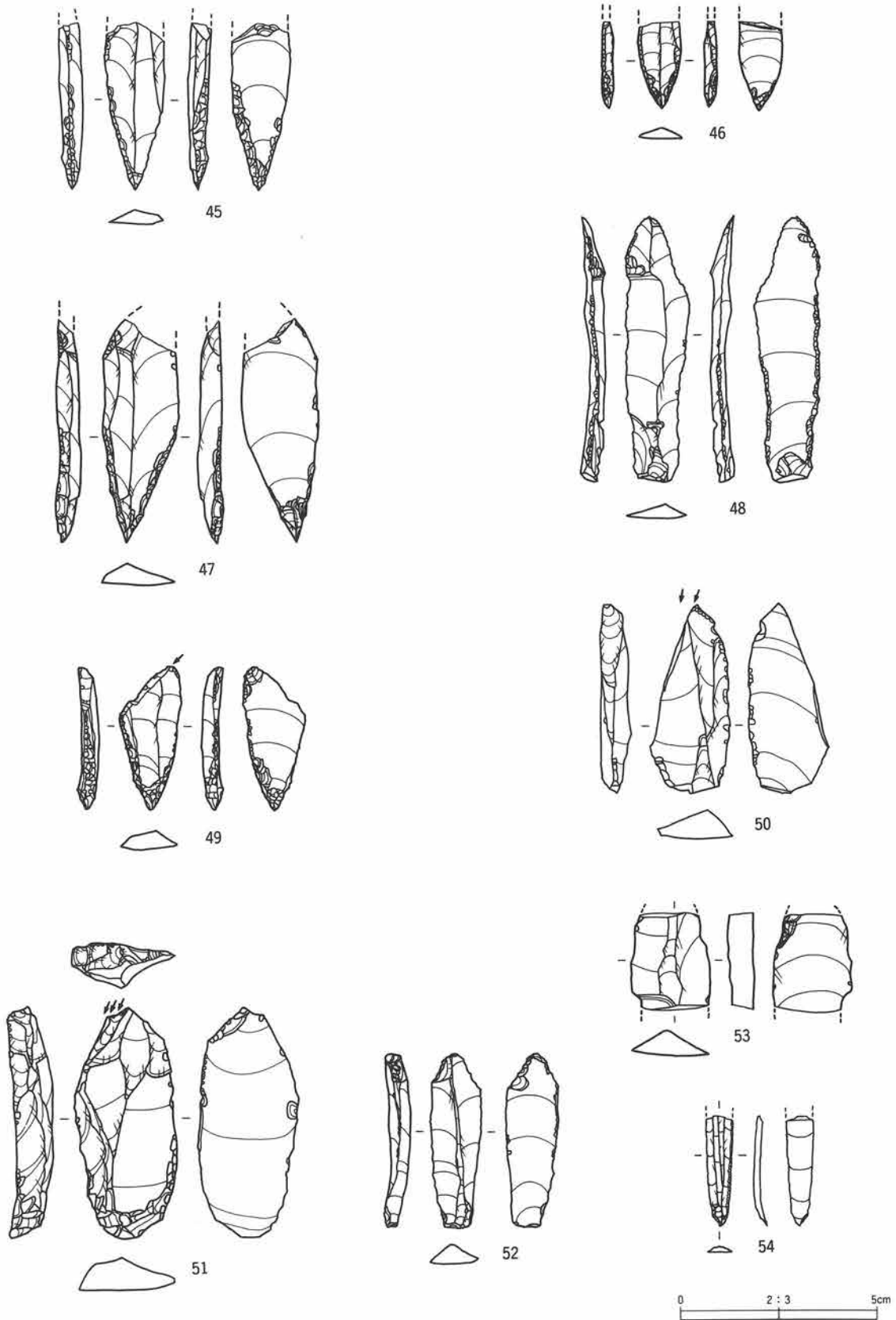
第17図 旧石器(4)



第18图 旧石器(5)



第19图 旧石器(6)



第20図 旧石器(7)

第2表 旧石器観察表

図版 No	掲載 No	器 種	出土地点	層 位	標高(m)	計測値(cm)			重量(g)	石 材	産 地
						長 さ	幅	厚 さ			
14	1	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.600	11.8	2.5	1.4	31.7	A	W
14	2	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.602	6.8	2.1	0.9	11.8	A	W
14	3	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.617	6.0	2.1	1.1	8.6	A	W
14	4	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.601	6.5	2.3	1.1	9.8	A	W
14	5	彫刻刀形石器	B IV y12	I	287.677	(2.8)	2.4	0.6	3.06	A	W
14	6	彫刻刀形石器	B IV y12	II	287.589	8.6	2.1	1.3	17.1	A	W
15	7	搔器	B IV y12	II	287.758	9.3	2.8	1.7	23.6	A	W
15	8	石刃	B IV y12	I	287.681	8.5	1.5	0.9	4.9	A	W
15	9	石刃	B IV y12	II	287.596	(6.9)	1.6	0.4	3.5	A	W
15	10	石刃	B IV y12	II	287.576	(5.5)	1.7	0.7	4.22	A	W
15	11	石刃	B IV y12	II	287.618	7.6	1.8	1.2	8.5	A	W
15	12	石刃	B IV y12	II	287.617	6.0	2.1	1.1	8.6	A	W
15	13	石刃	B IV y12	II	287.650	7.3	2.4	1.4	9.16	A	W
15	14	石刃	B IV y12	II	287.672	5.9	2.6	1.0	13.2	A	W
16	15	ナイフ形石器	C IV a11	III a	287.680	3.0	1.7	0.5	2.2	A	W
16	16	彫刻刀形石器	C IV a10	III a	287.666	(6.5)	1.9	0.7	6.2	A	W
16	17	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.677	6.9	3.3	1.4	25.8	A	W
16	18	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.778	5.1	2.7	0.9	12.7	A	W
16	19	彫刻刀形石器?	C IV a11	III a	287.682	3.9	2.0	0.5	2.1	A	W
16	20	彫刻刀形石器	C IV a11	III a	287.643	5.1	3.4	1.1	8.2	A	W
16	21	彫刻刀形石器	C IV a11	III a	287.619	6.1	2.7	1.1	13.2	A	W
16	22	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.710	4.7	2.0	0.7	5.8	A	W
17	23	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.762	6.4	3.1	0.9	14.7	A	W
17	24	彫刻刀形石器	C IV b11	II	287.804	11.2	2.8	1.1	18.7	A	W
17	25	彫刻刀形石器	C IV b11	II-20cm	—	7.7	2.0	0.7	8.4	A	W
17	26	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.766	6.2	2.9	2.0	27.5	I	W
17	27	彫刻刀形石器?	C IV a11	III a	287.631	7.5	3.1	1.4	32.2	A	W
17	28	彫刻刀形石器?	C IV a11	II	287.765	5.8	2.8	1.4	15.9	B	W
18	29	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.758	6.8	2.4	1.1	13.8	A	W
18	30	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.775	5.8	2.1	0.7	20.3	A	W
18	31	彫刻刀形石器	C IV a10	II	287.773	5.9	1.8	0.8	5.7	L	W
18	32	彫刻刀形石器?	C IV a10	II	287.593	6.6	2.3	1.0	9.7	A	W
18	33	彫刻刀形石器	C IV a11	II	287.717	4.1	2.2	0.9	7.5	A	W
18	34	彫刻刀形石器?	C IV a11	II	—	(5.0)	2.2	0.9	7.6	A	W
18	35	彫刻刀形石器?	C IV a11	II	—	4.9	2.3	0.6	5.2	A	W
18	36	彫刻刀形石器?	C IV a10	II	287.720	(2.4)	2.3	0.7	2.9	A	W
18	37	削片	C IV a10	III a	287.636	1.8	1.3	0.6	1.05	I	W
19	38	削器	C IV a10	I	—	8.8	2.4	1.6	15.1	A	W
19	39	鋸齒縁石器?	C IV b11	II	287.696	6.7	4.7	1.6	44.3	I	W
19	40	石刃	C IV a11	III a	287.654	6.3	1.7	0.6	5.1	A	W
19	41	石刃	C IV a11	III a	287.699	7.9	2.0	0.7	7.5	A	W
19	42	石刃	C IV a11	III	287.605	(5.5)	1.5	0.4	2.3	A	W
19	43	石刃	C IV a10	II	287.738	(6.1)	2.2	0.4	2.2	A	W
19	44	石刃	C IV a10	I c	287.796	(4.3)	1.7	0.5	2.7	A	W
20	45	ナイフ形石器	RA24	埋土	—	(4.3)	1.5	0.6	2.9	A	W
20	46	ナイフ形石器	RA05	床直	—	(2.2)	1.1	0.3	0.7	A	W
20	47	ナイフ形石器	RA10	埋土	—	(5.7)	1.9	0.7	6.1	A	W
20	48	ナイフ形石器	B IV w11	I d-10cm	—	6.8	1.7	0.6	4.5	A	W
20	49	彫刻刀形石器	RA08	南半埋土	—	3.7	1.6	0.6	1.8	A	W
20	50	彫刻刀形石器	B IV w25	II-20cm	—	4.7	2.0	0.7	5.8	A	W
20	51	彫刻刀形石器	RA23	埋土	—	5.8	2.6	1.1	13.8	A	W
20	52	石刃?	C IV b12	III a	287.717	4.4	1.4	0.7	2.8	A	W
20	53	石刃?	C IV b13	II	287.633	(2.5)	2.0	0.6	3.6	A	W
20	54	細石刃	RA17	埋土	—	12.8	0.7	0.4	0.4	A	W

※石材・産地の略号は石器観察表を参照のこと。

V. 縄文時代一検出遺構一

1. 竪穴住居跡 (第27～59図、写真図版9～30)

竪穴住居跡は31棟を検出した。調査区の制約と北側の遺存状態が悪かったため不明な部分が多く、全体を把握しえた住居跡は少ないが、平面形は円形と方形を基調とするものがあり、炉は地床炉が主体をなし、住居の配置に規則性が窺えるなどの特徴が挙げられる。時期は縄文時代前期後葉～末葉を主体とする。

R A 01住居跡

遺構 (第27図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉 B III r21～B IV S22グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は植樹痕による攪乱を受け、西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉 南側で RA03住居跡と重複し、RA01住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉 (3.5)×(2.45)m 以上・円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 上位の黒褐色土と下位の暗褐色土からなる。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれており、壁高は10cmで、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 東壁側に5本検出された。規模は径20～43cm、深さ28～58cmである。埋土は黒褐色土の単層である。配置は不明である。

〈炉〉 地床炉が1基検出された。径85×(15)cmの不整な形状である。焼土の厚さは最大14cmである。

〈その他の付属施設〉 検出されていない。

遺物 (第93・168・214・245・284図、写真図版90・124・144・172)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (340)。

〈石器〉 石鏃 (1301・1302)、石錘 (1725)、敲磨器 B 類 (2047)。

時期 縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

R A 02住居跡

遺構 (第28図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉 B III t22～u22グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。南側は調査区域外にかかる。

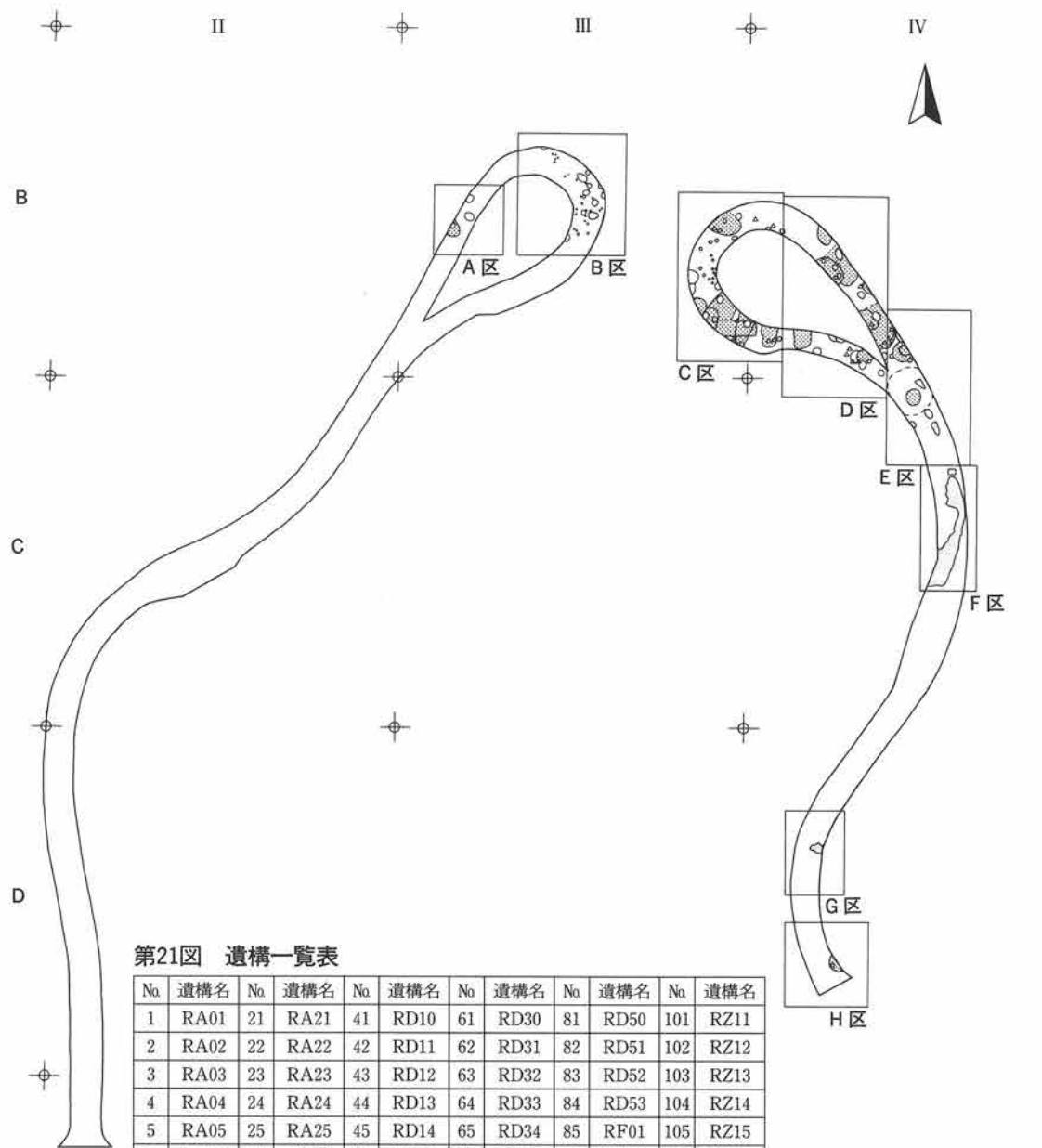
〈重複〉 東側で、RA05・06住居跡と重複し、RA02住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (5.0)×(2.8)m 以上、検出した範囲では円形基調と推定されるが、大形住居跡の端部の可能性がある。その場合、長軸方向は、N-15° -E である。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土からなる。焼土と炭化材が埋土の下位～床上で面的に広がっていた。焼失住居の可能性はある。

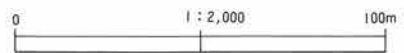
〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれている。壁高は5cmほどで外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられている。概ね平坦だが、西側に周囲より一段低くなる部分がある。東側の一部に周溝が廻る。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP20が検出されている。規模は径20～50cm、深さ16～58cmで、埋土は黒褐色土で、

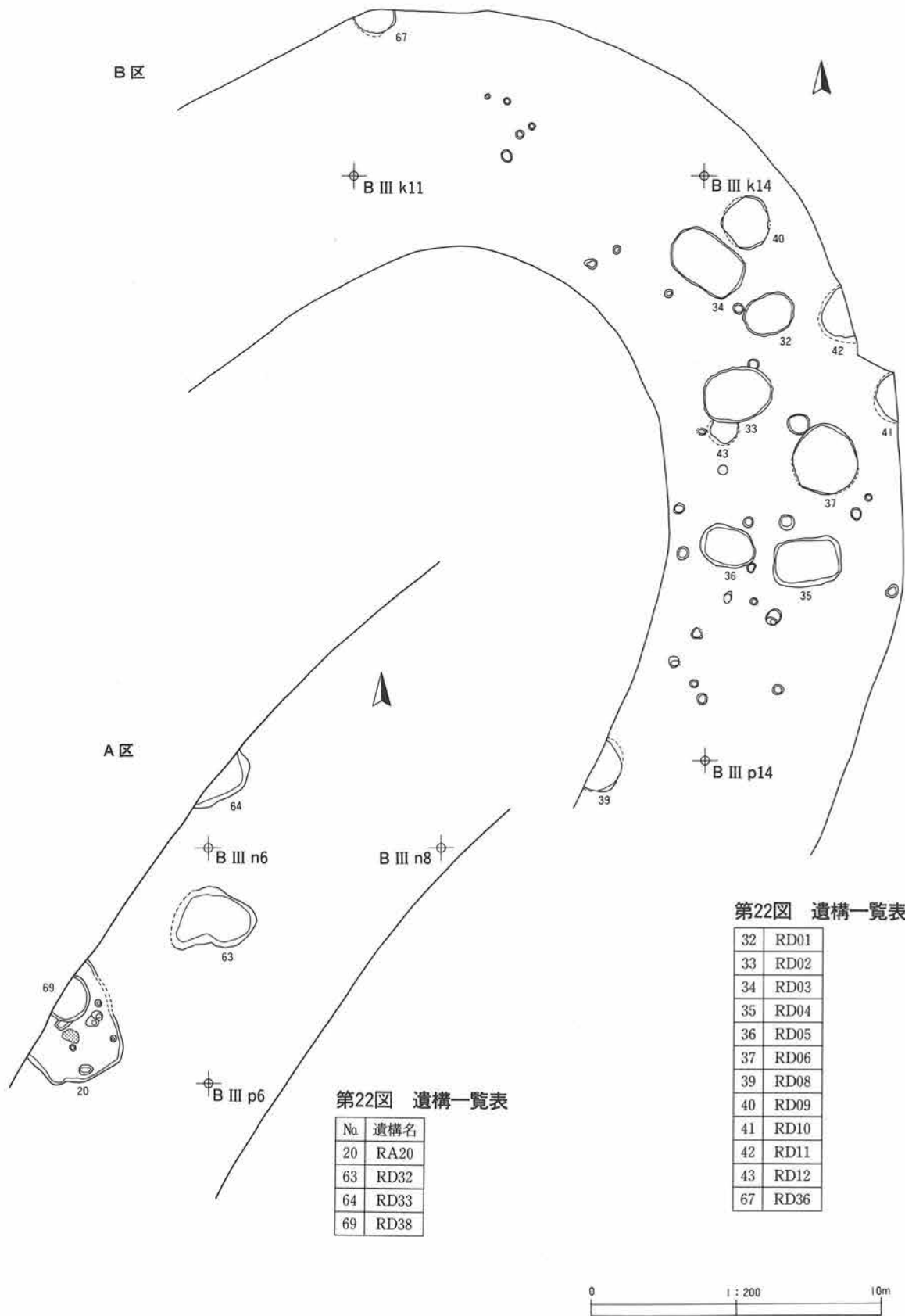


第21図 遺構一覧表

No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名	No.	遺構名
1	RA01	21	RA21	41	RD10	61	RD30	81	RD50
2	RA02	22	RA22	42	RD11	62	RD31	82	RD51
3	RA03	23	RA23	43	RD12	63	RD32	83	RD52
4	RA04	24	RA24	44	RD13	64	RD33	84	RD53
5	RA05	25	RA25	45	RD14	65	RD34	85	RF01
6	RA06	26	RA26	46	RD15	66	RD35	86	RF02
7	RA07	27	RA27	47	RD16	67	RD36	87	RF03
8	RA08	28	RA28	48	RD17	68	RD37	88	RF04
9	RA09	29	RA29	49	RD18	69	RD38	89	RF05
10	RA10	30	RA30	50	RD19	70	RD39	90	RH01
11	RA11	31	RA31	51	RD20	71	RD40	91	RZ01
12	RA12	32	RD01	52	RD21	72	RD41	92	RZ02
13	RA13	33	RD02	53	RD22	73	RD42	93	RZ03
14	RA14	34	RD03	54	RD23	74	RD43	94	RZ04
15	RA15	35	RD04	55	RD24	75	RD44	95	RZ05
16	RA16	36	RD05	56	RD25	76	RD45	96	RZ06
17	RA17	37	RD06	57	RD26	77	RD46	97	RZ07
18	RA18	38	RD07	58	RD27	78	RD47	98	RZ08
19	RA19	39	RD08	59	RD28	79	RD48	99	RZ09
20	RA20	40	RD09	60	RD29	80	RD49	100	RZ10
									RZ11
									RZ12
									RZ13
									RZ14
									RZ15
									RZ16



第21図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置全体図



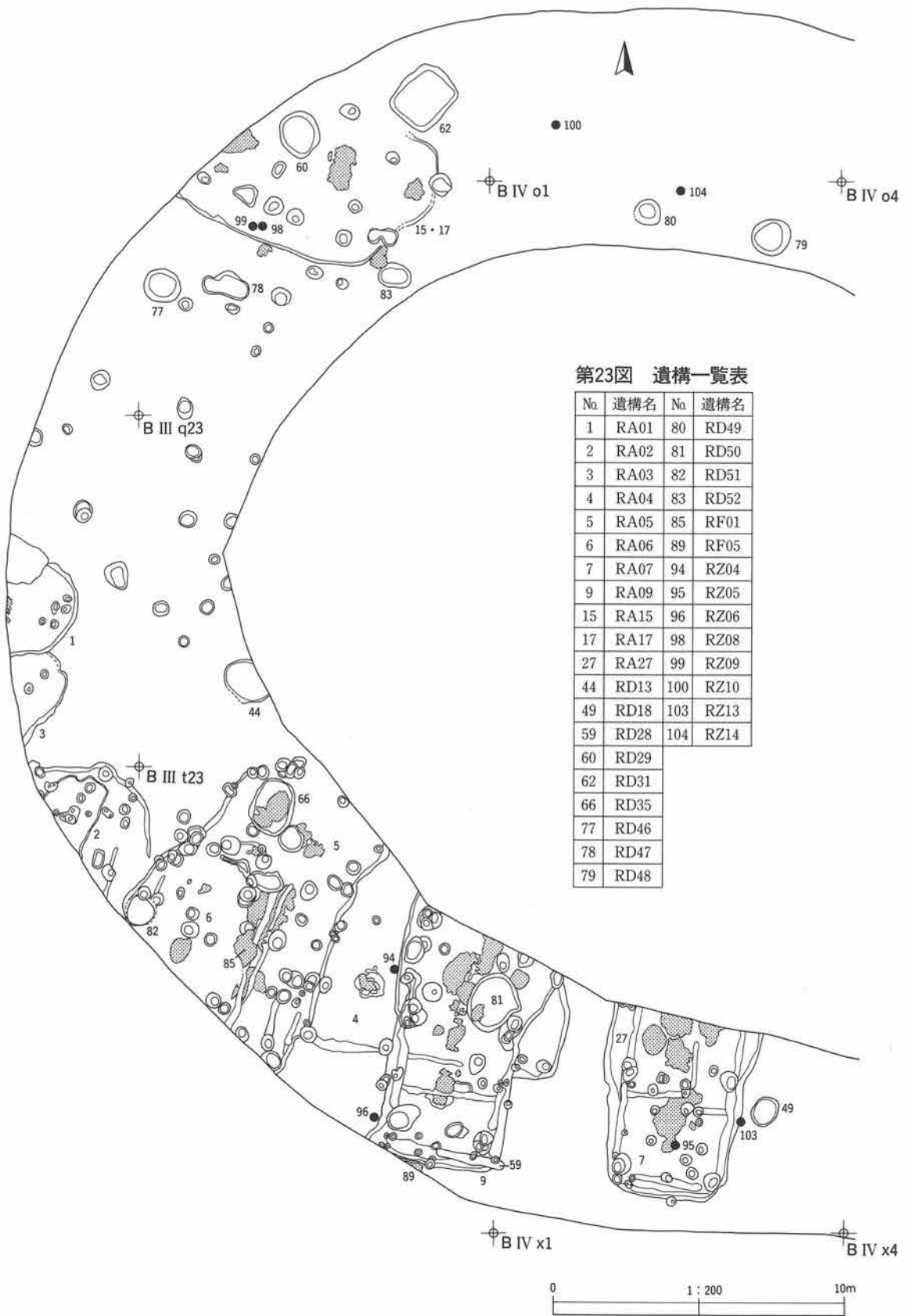
第22図 遺構一覧表

No.	遺構名
20	RA20
63	RD32
64	RD33
69	RD38

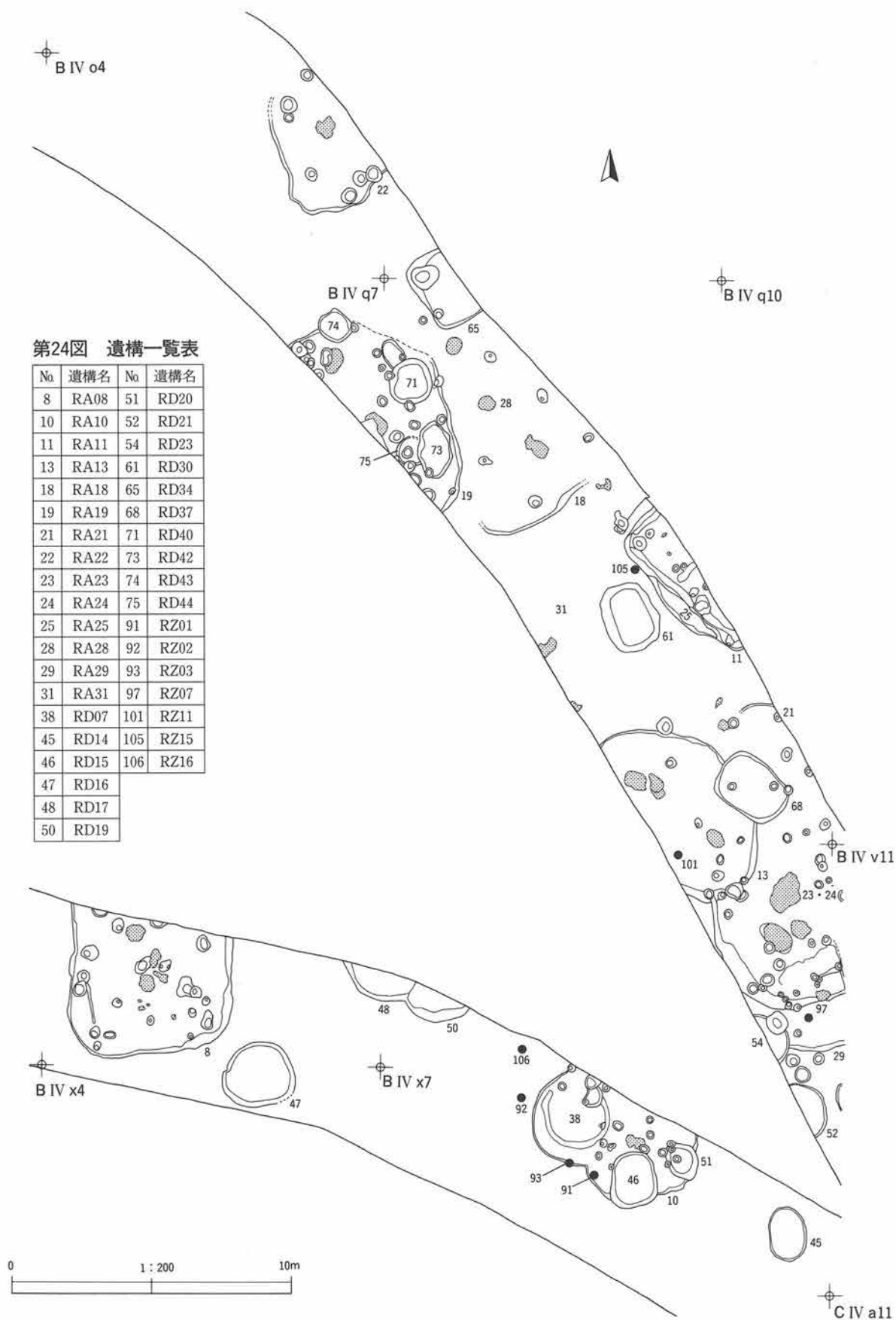
第22図 遺構一覧表

32	RD01
33	RD02
34	RD03
35	RD04
36	RD05
37	RD06
39	RD08
40	RD09
41	RD10
42	RD11
43	RD12
67	RD36

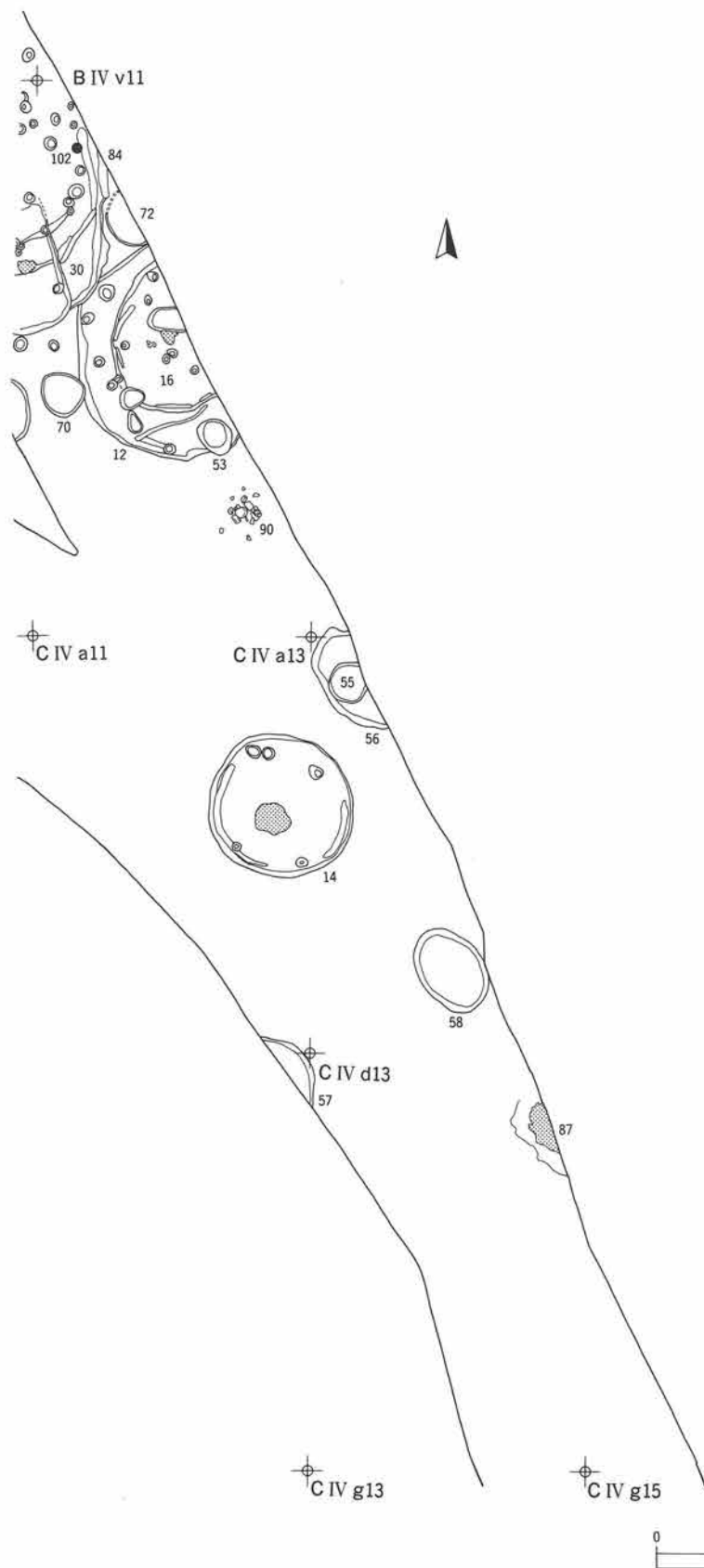
第22図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置部分図A・B区



第23図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置部分図C区



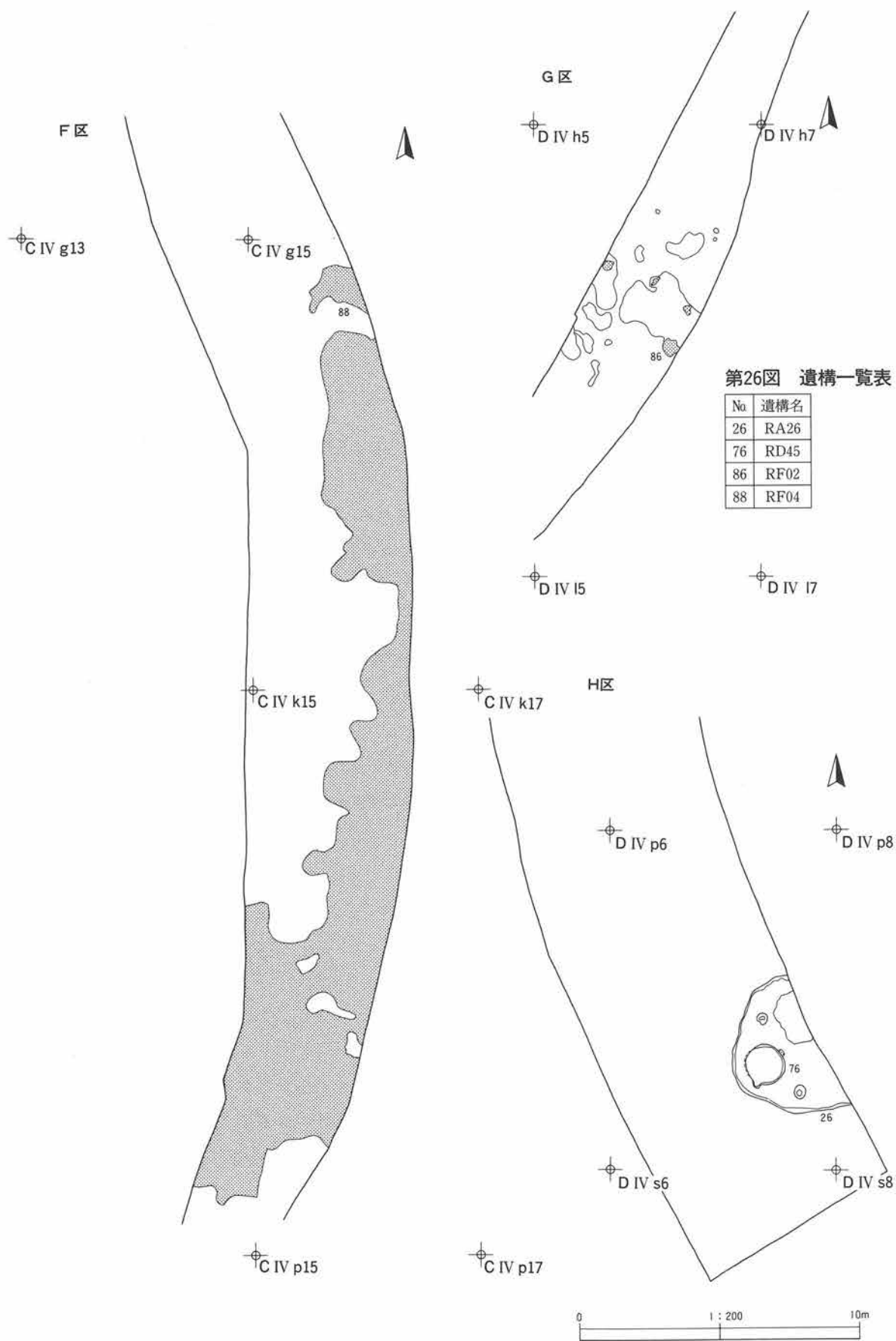
第24図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置部分図D区



第25図 遺構一覧表

No.	遺構名
12	RA12
14	RA14
16	RA16
30	RA30
53	RD22
55	RD24
56	RD25
57	RD26
58	RD27
70	RD39
72	RD41
84	RD53
87	RF03
90	RH01
102	RZ12

第25図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置部分図E区



第26図 峠山牧場 I 遺跡B地区遺構配置部分図F・G・H区

当たりと掘り方を確認できた柱穴もある。PP7-PP2-PP10-PP19が支柱穴を構成すると思われる。柱間は150～200cmである。

〈炉〉 検出されていない。

〈その他の付属施設〉 東側の一部に幅12cm、深さ5cmの周溝が廻る。

遺物 (第93・168・214・245・270図、写真図版90・124・144・162)

〈出土状況〉 土器 (Pot 1) が、埋土中で焼土・炭化材 (クリ) が広がる面よりやや低い位置で出土している。

〈土器〉 破片 (341～348)。

〈石器〉 石鏃 (1303～1305)、石錘 (1726)、敲磨器 Ac 類 (1955)。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。

R A 03住居跡

遺構 (第27図、写真図版9)

〈位置・検出状況〉 B III s21グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉 北側でRA01住居跡と重複し、RA03住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (3.0)×(1.8)m 以上で、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれており、壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、中央付近に向かい緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉 3基検出された。径38×26cm、深さ34～76cmで、埋土は黒褐色土の単層で、配置は不明。

〈炉〉 不明。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第93・168・214・303・306図、写真図版90・124・187・189)

〈出土状況〉 PP2の北側の床面から石皿 (2160) が、PP3の埋土から剥片232.37gが出土している。

〈土器〉 破片 (349・350)。

〈石器〉 石鏃 (1306・1307)、石皿 (2160)。

〈石製品〉 線刻礫 (2174)。

時期 縄文時代前期と思われる。

R A 04住居跡

遺構 (第29・30図、写真図版10)

〈位置・検出状況〉 B III u23～B IV v1グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 西側でRA05・06住居跡、東側でRA09住居跡と重複し、いずれもRA04住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉 (14.0) 以上×(4.7)m で、隅丸長方形と推定されるが、精査時の不手際で掘り下げた部分があり、西側の先端部分が不明である。長軸方向はN-80°-Wである。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c層から掘り込まれている。壁高は南壁で18cmあり、外傾して立ち上がる。北側は不明である。床面はIII層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉 PP1～PP16が検出された。径92～20cm、深さ22～89cmで、埋土は黒褐色土からなる。PP1-

PP2-PP3-PP4-PP5-PP6-PP11-PP12-PP14-PP16の10本が、主柱穴を構成する可能性があるものと判断した。壁際に対になるように5本の柱穴が並ぶ配置である。柱間は250～300cmである。

〈炉〉地床炉が1基検出された。住居跡の長軸中心線上に位置する。65×35cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大10cmである。

〈その他の付属施設〉南壁際の一部に幅30cm、深さ20cmの周溝が廻る。

遺物 (第93・94・95・125・168・169・213・214・222・231・234・243・244・245・270・271・284図、写真図版49・90・123・124・129・135・137・143・144・162・163・172)

〈出土状況〉床面上から Pot 1 (103)・2 (104・368)・3 (369・370) が出土している。

〈土器〉立体 (101～104)、破片 (351～370)。

〈土製品〉土偶 (1253)。

〈石器〉石鏃 (1308～1319)、石匙 (1524～1529)、石筥 (1630)、不定形石器 (1652～1656)、打製石斧 (1709・1710)、磨製石斧 (1715)、石錘 (1727～1733)、敲磨器 Ac 類 (1956～1963)・B 類 (2048～2050)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R A 05住居跡

遺構 (第31・32図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉B III t23～v24グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側と南側が調査区域外にかかる。

〈重複〉南側で RA06住居跡、東側で RA04住居跡と重複する。新旧関係は、RA05住居跡→RA06住居跡→RA04住居跡である。

〈規模・平面形〉(8.7) 以上×5.4m、長方形か長楕円形と推定される。長軸方向は N-25° -E である。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁は I c 層から掘り込まれている。壁高は東壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP56 (RA05・06含) の柱穴が検出された。他の遺構に伴うものも含まれている可能性はある。径68～17cm、深さ76～8cmで、埋土は黒褐色土である。本住居跡の柱配置は、PP1・PP3-PP5-PP13-PP39-PP11-PP43-PP6、PP25-PP40-PP10-PP46-PP53で、主柱穴を構成するものと思われ、壁際に対になるような柱配置を示す。柱間は300cmである。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉が3基検出された。炉1・2はRA06住居跡の周溝に切られている。もっとも大きな炉2は、径95×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大10cmである。

〈その他の付属施設〉東壁際に周溝が廻る。2時期以上の建替が考えられる。

遺物 (第95・96・97・125・126・169・170・214・221～223・231・234・244～246・268・269・271・272・284～286・299・307・309図、写真図版49・50・91・124・128・129・135・137・143・144・161・163・172～174・184・190・191)

〈出土状況〉土器 (Pot 1 : 107) が、炉3の南側の床上から横転した状態で出土している。

〈土器〉立体 (105～110)、破片 (371～386)。

〈石器〉石鏃 (1320～1329)、光頭器 (1511)、石匙 (1530～1535)、石筥 (1631・1632)、不定形石器 (1657) 磨製石斧 (1716)、石鏝 (1723)、石錘 (1734～1737)、敲磨器 Aa 類 (1942)・Ab 類 (1948)・Ac 類 (1964～1970)、

B類 (2051～2063、2142)。

〈石製品〉 块状耳飾り (2178)、石製模造品 (2205)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A06住居跡

遺構 (第31・32図、写真図版11)

〈位置・検出状況〉 B III t23～v24グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 北側で、RA05住居跡、西側でRA02住居跡と重複し、いずれもRA06住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉 (5.2)以上×(5.2)mで、長楕円形と推定される。長軸方向はN-35°-Eである。検出されたのは住居跡の北端部分のようである。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c層から掘り込まれている。壁高は西壁で12cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP1～PP56 (RA05・06含) の柱穴が検出された。径68～17cm、深さ76～8cmで、埋土は黒褐色土である。他の遺構に伴うものも含まれている可能性がある。PP21-PP55-PP24-PP29-PP41-PP42、PP35、PP37が支柱穴を構成するものと思われる。柱間は200cmであり、壁際に対になるように柱配置を示す。

〈炉〉 住居跡の中軸線上に地床炉が2基検出された。炉1は、95×65cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは最大6cmである。

〈その他の付属施設〉 東側と北側、西側の一部に周溝が廻る。周溝の最大幅は20cm、深さ20cmである。東側と北側に廻る周溝は一部重複するものの2本あり、建て替えがあったことを示している。

遺物 (第98・126・170・171・213・214・215・221・223・234・244・246・272・286図、写真図版50・91・92・123・124・128・129・137・143・145・163・164・174)

〈出土状況〉 埋土から土器・土製品・石器が出土している。炭化材(クリ)が出土している。

〈土器〉 立体 (111・112)、破片 (387～398)。

〈土製品〉 土玉 (1256)。

〈石器〉 石鏃 (1330～1336)、石錐 (1515)、石匙 (1536・1537)、不定形石器 (1658)、磨製石斧 (1717)、石錘 (1739～1741)、敲磨器 Ac類 (1971～1973)・B類 (2064)。

時期 縄文時代前期後期～末葉と思われる。

R A07住居跡

遺構 (第33・34・91図、写真図版12・13)

〈位置・検出状況〉 B IV v2グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RA27住居跡と重複する。RA07住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉 (6.2)以上×4.6mで、隅丸長方形と推定される。長軸方向はN-80°-Wである。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴〉 PP1～PP31を検出した。埋土はおもに黒褐色土である。PP1-PP2-PP3-PP4が支柱穴を構成するもの

と思われる。壁際に対になる配置を示す。これらの規模は、径74～54cm、深さ62～82cm、柱間は350cmである。それぞれ、2～3回の建替えの痕跡を遺している。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉を4基を確認した。もっとも大きい炉1は、235×105cmの不整な長方形で、焼土の厚さは最大8cmである。

〈その他の付属施設〉幅30cm、深さ20cmの周溝が廻る。南壁側では二重になる。炉1に切られる周溝もある。

拡張・建て替えが考えられる。

遺物 (第98・99・100・101・102・127～130・171～173・215・216・223・224・231・234・235・243・246～248・269・273・287・299・302・305・307～309図、写真図版51～54・92・93・124・125・129・130・135・137・138・143・145・146・161・164・174・175・184・187・189・190・191)

〈出土状況〉覆土下位～床上で炭化材(ク)、土器・石器、琥珀片が出土している(第91図)。

〈土器〉立体(113～131)、破片(399～450)。

〈石器〉石鏃(1337～1364)、石匙(1538～1551)、石篋(1633・1634)、不定形石器(1659～1666)、打製石斧(1711)、石錘(1742～1757)、敲磨器 Ab 類(1949・1950)、Ac 類(1974～1979)・B 類(2065～2071・2143)、台石(2158)。

〈石製品〉石剣(2167)、珓状耳飾り(2179)、石製模造品(2201・2206・2208・2213)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A 08住居跡

遺構 (第35・36図、写真図版14)

〈位置・検出状況〉B IV w 4～W 5グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈規模・平面形〉(4.8)×5.65m、隅丸長方形と推定される。長軸方向はN-5°-Wである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒色土・黒褐色土であり、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はI c 層から掘り込まれている。壁高は南壁で15cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP 21が検出された。埋土は黒褐色土である。PP 2-PP 5-PP 8-PP 10、PP 4-PP 9の組み合わせによる壁際に対になる配置を示す。軸線を移動しての建て替えが考えられる。柱間は280cmである。

〈炉〉住居跡の中軸線上で地床炉が4基検出された。径65～50cmの不整な円形を示す、焼土の厚さは、最大5cmである。

〈その他の付属施設〉南壁際で埋設土器が検出された。深鉢の底部付近で、正立で埋設されていた。東側の一部に幅10cm、深さ13cmの周溝が廻る。

遺物 (第103・104・130・131・173・174・216・221・224・231・235・236・243・248・249・274・288・307・308図、写真図版54・55・93・94・125・128・130・135・138・143・146・147・164・175・190)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉立体(132～135)、破片(451～470)。

〈石器〉石鏃(1365～1379)、尖頭器(1513)、石匙(1552～1558)、石篋(1635)、不定形石器(1667～1669)、打製石斧(1712)、石錘(1758～1766)、敲磨器 Ac 類(1980～1983)・B 類(2072)。

〈石製品〉珓状耳飾り(2180)、垂飾り(2191)、石製模造品(2197)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A 09住居跡

遺構 (第37・38図、写真図版15)

〈位置・検出状況〉 B III u25～B IV w 1 グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RA04住居跡・RD50土坑・RD28陥し穴と重複する RD50・RD28→ RA09→ RA04の関係がある。

〈規模・平面形〉 (8.8)以上×4.6m、隅丸長方形と推定される。長軸方向はN-6°-Eである。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c 層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP42が検出された。埋土はおもに黒褐色土であるが、柱当たりの痕跡を遺すものもある。PP 1-PP 2-PP 3-PP 4-PP 5-PP 6 が主柱穴を構成するものと思われる。壁際に対に並ぶ配置である。これらの規模は径117～35cm、深さ44～85cmで、柱間は350cmである。柱穴は2～3度の使用の痕跡がみられることから、2～3回の建て替えが考えられる。

〈炉〉住居跡の中軸線上で地床炉が5基検出された。炉1は径120×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大16cmである。

〈その他の付属施設〉 北側で埋設土器が検出された。深鉢の底部が正立で埋設されていた。住居跡の南側に幅30cm、深さ15cmの周溝が廻る。図上で炉1を切る周溝は、周溝が旧いようである。

遺物 (第104・105・106・107・108・131・175・176・216・217・221・224・225・236・239・244・249～251・269・274～276・288～290・299・304・307・308図、写真図版55・94・95・125・128・130・131・135・138・139・140・143・147・148・161・165・166・175～177・184・188・190・191)

〈出土状況〉 埋土から出土している。PP10埋土から植物遺体(ドングリ)が出土している。

〈土器〉 立体(136～139)、破片(471～503)。

〈石器〉 石鏃(1380～1394)、石錐(1516)、石匙(1559～1571)、石篋(1636)、不定形石器(1670～1673)、異形石器(1697)、石鑿(1724)、石錘(1767～1787)、敲磨器 Ab 類(1951・1952)・Ac 類(1984～1998)・B 類(2073～2091・2144～2146)。

〈石製品〉 石棒(2162)、瑛状耳飾り(2181・2182)、石製模造品(2195・2202)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A 10住居跡

遺構 (第39図、写真図版16)

〈位置・検出状況〉 B IV x 8～y 9 グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD15・20土坑と重複する。新旧関係は不明である。

〈規模・平面形〉 (4.0)×(3.9)m、円形を基調とするものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれている。壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を

掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP24が検出された。径65～15cm、深さ51～12cmでバラツキがある。埋土はおもに黒褐色からなる。炉の周囲に柱穴が廻るようであるが、配置は不明である。

〈炉〉地床炉が1基検出された。径70×40cmの不整形を呈する。焼土の厚さは最大6cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第109・176・217・221・225・226・251・252・277図、写真図版95・96・125・126・128・131・148・149・166・167)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片 (504～511)。

〈石器〉石鏃 (1395～1398)、石錐 (1517)、石匙 (1572・1573)、石錘 (1788～1793)、敲磨器 Ac 類 (1999・2000)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A11住居跡

遺構 (第40図、写真図版16)

〈位置・検出状況〉B IV s9～t20グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA25住居跡と重複し、RA11住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉(5.8)×(1.7)m以上、方形を基調とするものと推定される。長軸はN-45°-Wである。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はII層から掘り込まれている。壁高は北壁で65cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIV層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP8が検出された。埋土は黒褐色土である。PP1-PP5が支柱穴を構成するものと思われる。規模は、径66～45cm、深さ73～61cmで、柱間は315cmである。

〈炉〉不明である。

〈その他の付属施設〉幅30cm 深さ20cmの周溝が廻る。

遺物 (第109・110・132・177・217・226・252・269・277・291・300・304・307図、写真図版55・96・126・131・149・162・167・178・185・188・190)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・土製品・炭化材(クリ)が出土している。

〈土器〉立体 (140)・破片 (512～531)。

〈石器〉石鏃 (1399・1400)、石匙 (1574)、石錘 (1794～1799)、敲磨器 Ab 類 (1953・1954)・Ac 類 (2001・2002)・B 類 (2092～2097・2147・2148)。

〈石製品〉石棒 (2163)、块状耳飾り (2183)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A12住居跡

遺構 (第41図、写真図版20)

〈位置・検出状況〉B IV w11～x12グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域

外にかかる。

〈重複〉 RA16住居跡と重複する。RA12住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉 6.4×(3.5)m以上、円形を基調とするものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c層から掘り込まれている。壁高は南壁で25cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIV層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP1～PP9が検出された。径73～19cm、深さ16～54cmである。埋土は黒褐色土である。いずれも壁寄りに位置する。

〈炉〉 不明である。

〈その他の付属施設〉 南側の一部に幅10cm、深さ6cmの周溝が廻る。

遺物 (第110・111・132・178・217・226・231・236・243・244・253・254・277・292・304図、写真図版55・56・96・97・126・131・135・139・143・149・150・167・178・188)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉 立体(141～146)・破片(532～548)。

〈石器〉 石鏃(1401・1402)、石匙(1575～1577)、石篋(1637)、不定形石器(1674)、打製石斧(1713)、磨製石斧(1718)、石錘(1800～1810)、敲磨器Ac類(2003・2004)・B類(2098・2099)。

〈石製品〉 石棒(2164)。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。

RA13住居跡

遺構 (第42図、写真図版17)

〈位置・検出状況〉 BIVu9～V20グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD30土坑・RZ11土器埋設遺構と重複する。いずれもRA13住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 7.5×(3.5)m以上、円形を基調とする(楕円形?)ものと推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はI c層から掘り込まれている。壁高は南壁で30cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP1～PP4が検出された。径36～23cm、深さ11～77cmである。埋土は黒褐色土からなる。

〈炉〉 地床炉1基が検出されている。径75×50cmの楕円形で、焼土の厚さは最大12cmである。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第111・112・133・178・179・217・220・221・226・237・254・277・292・300・307・308図、写真図版56・57・97・126・128・132・139・150・167・179・185・190・191)

〈出土状況〉 埋土中、底面より10cm上から土器(Pot1～7)が出土している。炭化材(ナラ)が出土している。

〈土器〉 立体(147～149)・破片(549～558)。

〈石器〉 石鏃(1403～1414)、尖頭状石器(1507)、石錐(1518・1519)、石匙(1578～1580)、不定形石器(1675・1676)、石錘(1811)、敲磨器Ac類(2005・2006)・B類(2100・2101・2149)。

〈石製品〉 珓状耳飾り(2184)・石製模造品(2203)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A 14住居跡

遺構 (第43図、写真図版18)

〈位置・検出状況〉 C IV b12～b13グリッド。II層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈規模・平面形〉 4.15×4.1m、円形。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれている。壁高は南壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP 5が検出された。径46～25cm、深さ17～33cmで、柱間は200～250cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は4本の配置と思われる。

〈炉〉地床炉1基が住居跡の中央よりやや南側で検出されている。径100×90cmの円形で、焼土の厚さは最大6cmである。

〈その他の付属施設〉 東壁と西壁際に幅18cm、深さ10cmの周溝が廻る。

遺物 (第112・179・217・220・237・254・278・292図、写真図版97・98・126・128・139・150・167・179)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (559～568)。

〈石器〉 石鏃 (1415～1419)、尖頭状石器 (1508)、不定形石器 (1677・1678)、石錘 (1812・1813)、敲磨器 A c 類 (2007・2008)・B 類 (2102・2103・2104)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A 15住居跡

遺構 (第44・45図、写真図版19)

〈位置・検出状況〉 B III n23～o25グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RA17住居跡と重複し、RA15住居跡が新しい。RZ08・09土器埋設遺構と重複し、RA15住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (8.6)以上×(5.0)m、長楕円形を呈するものと推定される。長軸はN-65°-Eである。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土と黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉 壁はII層から掘り込まれている。壁高は南壁で10cmあり、外傾して立ち上がる。北側の壁は不明瞭である。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP10が検出された。PP 1-PP 3-PP 4-PP 5-PP 7が支柱穴を構成するものと思われる。径47～59cm、深さ38～69cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉地床炉が住居跡の中軸線上で3基検出されている。炉2は径150×70cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは最大12cmである。

〈その他の付属施設〉 PP 3の西側に埋設土器がある。掘り方の規模は径24cm、深さ20cmの掘り方に土器が正立で埋設されている。

遺物 (第113・114・133・179・217・218・221・232・237・254～256・278・293・300・301・309図、写真

図版57・98・126・128・135・139・150～152・168・179・185・186・191)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・土製品・植物遺体（オニグルミ）が出土している。

〈土器〉立体（150～152）、破片（569～574）。

〈石器〉石鏃（1420～1424）、尖頭器（1512）、石篋（1638）、不定形石器（1679）、石錘（1814～1831）、敲磨器 Ac 類（2009～2011）・B 類（2105～2107・2150～2153）。

〈石製品〉石製模造品（2207）。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。

R A 16住居跡

遺構（第41図、写真図版20）

〈位置・検出状況〉B IV w11～x12グリッド。RA12住居跡の精査中に黒褐色土の広がりとして検出した。東側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA12住居跡と重複する。RA16住居跡が古い。

〈規模・平面形〉4.4×(2.5)m 以上、円形基調と思われる。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土で、自然堆積と思われる。

〈壁・床面〉壁はII層から掘り込まれている。壁高は南壁で20cmあり、外傾して立ち上がる。床面はIV層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP12が検出された。径13～35cm、深さ14～63cmである。埋土は黒褐色土である。壁際に位置する柱穴と、炉の周囲に位置する柱穴があるが、柱配置は不明である。

〈炉〉地床炉が1基検出されている。径50×40cmの三角形で、焼土の厚さは最大4cmである。

〈その他の付属施設〉壁際に部分的に周溝が廻る。幅12cm、深さ8cmである。住居中央に110×70cmの楕円形、深さ10cmの落ち込みがある。

遺物（第114・180・218・238・256・278図、写真図版98・126・139・152・168）

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片（575～578）。

〈石器〉石鏃（1425）、不定形石器（1680）、石錘（1832・1833）、敲磨器 Ac 類（2012）。

時期 縄文時代前期と思われる。

R A 17住居跡

遺構（第46図、写真図版19）

〈位置・検出状況〉B III o23～p24グリッド。RA15住居跡の精査中に炉跡を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA15住居跡と重複し、RA17住居跡が古い。RZ08・09土器埋設遺構と重複し、RA17住居跡が古い。

〈規模・平面形〉(8.0)×(4.0)m 以上、平面形は不明である。長軸方向はN-90° -W と推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土と思われる。不明。

〈壁・床面〉壁の状態は不明である。床面はIII層を掘り込んでつくられている。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP10が検出された。PP 1-PP 3-PP 4-PP 6-PP10が支柱穴を構成するものと思われる。径34～66cm、深さ32～58cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉住居跡の中軸線上に地床炉が2基検出されている。炉1の径80×60cm、焼土の厚さは最大8cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第114・134・180・256・279図、写真図版57・98・152・168)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉立体(153)、破片(579・580)。

〈石器〉石錘(1834~1836)、敲磨器Ac類(2013)。

時期 縄文時代前期後葉~末葉と思われる。

R A 18住居跡

遺構 (第47図、写真図版21)

〈位置・検出状況〉B III r 7~r 8 グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA19・28住居跡と重複する。いずれもRA18住居跡が新しい。

〈規模・平面形〉(5.3)×(3.9)m以上、平面形は不明である。長軸方向はN-40°-Wである。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉南壁の一部が遺る。壁高は7cmで外傾する。床面はIII層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。

〈柱穴・配置〉PP 1~PP 4が検出された。径31~52cm、深さ59~75cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は炉の周囲に4本が配置される。

〈炉〉石囲炉が1基検出されている。径100×50cmの焼土の両側縁に石組みがある。焼土の厚さは最大10cmである。炉石の石材は安山岩で、1点は石皿を転用している。石組が焼土と遊離しており、地床炉を再利用した石囲炉の可能性はある。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第115・134・180・218・221・226・244・256・279・302~305・307図、写真図版58・98・126・128・132・143・152・168・187~189・190)

〈出土状況〉埋土から出土している。石皿(2161)は、石囲炉の組石に転用されている。

〈土器〉立体(154)、破片(581~583)。

〈石器〉石鏃(1426)、石錐(1520)、石匙(1581)、磨製石斧(1719・1720)、石錘(1837・1838)、敲磨器Ac類(2014)、台石(2159)、石皿(2161)。

〈石製品〉石棒(2165)、石剣(2168)・玦状耳飾り(2185)。

時期 縄文時代中期初頭と推定される。

R A 19住居跡

遺構 (第48図、写真図版22)

〈位置・検出状況〉B IV q 6~r 7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉RD40・42・43・44土坑、RA18住居跡と重複する。RA19住居跡は土坑群より新しく、RA18住居跡より古い。

〈規模・平面形〉 8.1×(3.4)m 以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉 壁高は16cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP28が検出された。これらの規模は径17～65cm、深さ11～65cmで、バラツキがある。埋土は黒褐色土である。柱配置は不明である。

〈炉〉 地床炉を 2 基検出した。径90×45cmで、焼土の厚さは最大18cmである。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第115・116・134・180・218・226・232・238・258・268・279・293・301・308図、写真図版58・98・126・132・135・139・140・152・153・161・168・180・186・191)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・石製品、炉 2 から炭化材（ナラ）が出土している。

〈土器〉 立体（155・156）、破片（584～589）。

〈石器〉 石鏃（1427～1431）、石匙（1582）、石筥（1639）、不定形石器（1681・1682）、石錘（1839～1848）、敲磨器 Aa 類（1943）・Ac 類（2015・2016）・B 類（2108～2110・2154）。

〈石製品〉 石製模造品（2198・2199）。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A 20住居跡

遺構 (第49図、写真図版23)

〈位置・検出状況〉 B III o4～o5グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。北東側の一部が攪乱を受けている。

〈重複〉 RD38土坑と重複する。RA20住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (2.8)×3.8m 以上、方形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉 壁はⅡ層から掘り込まれており、壁高は南壁で24cmである。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP 1～PP 6 が検出された。規模は径46～20cm、深さ 9～39cmである。埋土は黒褐色土である。PP 1-PP 2・3 が支柱穴を構成するものと思われる。

〈炉〉 地床炉が 1 基検出されている。径60×40cmで、焼土の厚さは最大 5 cmである。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第116・134・180・226・279・294図、写真図版58・98・132・168・180)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器、PP 3 北側の床上より土器（Pot：157）が出土している。

〈土器〉 立体（157）、破片（590）。

〈石器〉 石匙（1583・1584）、敲磨器 Ac 類（2017）・B 類（2111・2112）。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A 21住居跡

遺構 (第50図、写真図版30)

〈位置・検出状況〉 B III u20～v10グリッド。Ⅲ層で炉と柱穴を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD38と重複する。RA21住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (7.0)×(4.6)m 以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 不明である。

〈壁・床面〉 北側で僅かに立ち上がりが確認された。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP 4 が検出された。規模は径20～92cm、深さ22～89cmである。埋土は黒褐色土である。

柱配置は不明である。

〈炉〉 地床炉 2 基が検出されている。規模は径40cmで、焼土の厚さは最大2.5cmである。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第116・117・134・180・181・218・227・258・259・279・294図、写真図版58・98・99・126・132・153・154・168・169・180)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 立体 (158・159)、破片 (591～599)。

〈石器〉 石鏃(1432・1433)、石匙(1585)、石錘(1849～1861)、敲磨器 Ac 類(2018・2019)・B 類(2113・2114)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A 22住居跡

遺構 (第51図、写真図版24)

〈位置・検出状況〉 B IV o6～p 6 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。北東側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 なし。

〈規模・平面形〉 (5.0)×(3.45)m 以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉 壁高は5cmである。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP 6 が検出された。規模は径20～46cm、深さ9～39cmである。埋土は黒褐色土で、炉の周囲で壁寄りに廻る配置と思われる。建て替えもあった可能性がある。

〈炉〉 地床炉 1 基が検出されている。径70×65cmの不整な円形で、焼土の厚さは最大15cmである。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第117・134・181・244・280・294図、写真図版58・99・143・169・180)

〈出土状況〉 土器 (pot: 160) が、PP 4 の東側の床上から横転した状態で出土している。

〈土器〉 立体 (160)、破片 (600)。

〈石器〉 磨製石斧 (1721)、敲磨器 Ac 類 (2020)・B 類 (2115)。

時期 縄文時代前期と思われる。

R A 23住居跡

遺構 (第52図、写真図版30)

〈位置・検出状況〉 B IV v10～w10グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA29住居跡と重複する。RA23住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 6.0×4.0m 以上、不明である。長軸方向は N-20° -W と推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり自然堆積である。

〈壁・床面〉不明。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉不明。

〈炉〉地床炉3基を検出した。径60×40cmの不整形で、焼土の厚さは最大15cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第117・118・119・120・121・135～138・181～183・218～220・227・232・238・243・259～262・280・281・294・295・301・307・308図、写真図版59～67・99～101・126～128・132・135・140・143・154～156・169・180・181・186・190・191)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材(クリ)が出土している。

〈土器〉立体(161～177)、破片(601～643)。

〈石器〉石鏃(1434～1458)、尖頭状石器(1509)、石匙(1586～1596)、石篋(1640・1641)、不定形石器(1683)、打製石斧(1714)、石錘(1862～1887)、敲磨器 Ac 類(2021～2028)・B 類(2116～2122・2155)

〈石製品〉玦状耳飾り(2186)、石製模造品(2204)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R A 24住居跡

遺構 (第53・54図、写真図版29)

〈位置・検出状況〉B IV v10～w10グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA29住居跡と重複する。RA23住居跡が古い。

〈規模・平面形〉11.0×6.0m以上、不明である。長軸方向はN-20°-Wと推定される。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり自然堆積である。

〈壁・床面〉壁は25cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP40が検出された。規模は径20～92cm、深さ22～89cmである。埋土は黒褐色土で、柱当たりの痕跡を遺すものもある。PP5-PP6-PP7、PP31-PP1-PP37-PP11-PP22が、対に配置される可能性がある。

〈炉〉地床炉が3基検出されている。径115×65cm、焼土の厚さは最大15cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第121・122・139・184・219・221・227・232・239・262・263・281・296・301・305図、写真図版62・63・101・127・128・133・136・140・156・157・170・181・186・189)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材(ナラ)が出土している。

〈土器〉立体(178～182)、破片(644～658)。

〈石器〉石鏃(1459～1463)、石錐(1521・1522)、石匙(1597)、石篋(1642)、両極石器(1693)、石錘(1888～1896)、敲磨器 Ac 類(2029)・B 類(2123・2124・2156)。

〈石製品〉燕尾形石製品(2171)。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。

R A 25住居跡

遺構 (第55図、写真図版一)

〈位置・検出状況〉B IV s9～t10グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側が調査区域外

にかかると。

〈重複〉 RA11住居跡と重複する。RA25住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (8.2) × (1.7)m、不明である。

〈埋土・堆積状況〉 不明。

〈壁・床面〉 壁はⅢ層から掘り込まれており、壁高は西壁で25cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 不明。

〈炉〉 不明。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

R A26住居跡

遺構 (第56図、写真図版25)

〈位置・検出状況〉 DIV q7～r7グリッド。I c層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかり、一部攪乱を受けている。

〈重複〉 なし。

〈規模・平面形〉 5.2 × (3.2)m以上、円形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土からなり、自然堆積と思われるが、不明瞭である。

〈壁・床面〉 壁は15cmある。床面はⅢ層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP1～PP3が検出された。規模は径47～30cm、深さ42～44cmである。埋土は黒褐色土である。PP1-PP2が支柱を構成するものと思われる。PP3は炉跡に近く、建て替えがあった可能性もある。

〈炉〉 地床炉が1基検出された。径135 × 95cmの不整な形状で、焼土の厚さは最大10cmである。焼土中から土器が出土している。破碎していたが土器埋設炉であった可能性がある。

〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第122・139・184・221図、写真図版63・101・128)

〈出土状況〉 炉の焼土中から土器 (183)・炭化材 (クリ) が出土している。

〈土器〉 立体 (183)、破片 (659)

〈石器〉 尖頭状石器 (1510)。

時期 縄文時代中期末葉以降と思われる。

R A27住居跡

遺構 (第57図、写真図版26)

〈位置・検出状況〉 B IV v2グリッド。RA07住居跡の精査中に検出した。北側は調査区域外にかかると。

〈重複〉 RA07住居跡と重複する。RA27住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (3.0) 以上 × (3.15)m、方形基調と推定される。

〈埋土・堆積状況〉 不明。

〈壁・床面〉不明。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉PP1～PP11が検出された。径44～14cm、深さ22～68cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は、壁際に廻る配置のようである。

〈炉〉地床炉が1基検出されている。径105×80cmの楕円形で、焼土の厚さは最大8cmである。

〈その他の付属施設〉南側と東側に周溝が廻る。幅22cm、深さ8cmである。

遺物 (第122・219・227・308図、写真図版127・133・191)

〈出土状況〉埋土から石器・石製品が出土している。

〈石器〉石鏃(1464～1467)、石匙(1598)。

〈石製品〉石製模造品(2200)。

時期 時期決定の遺物を欠くが、縄文時代前期と推定される。

R A 28住居跡

遺構 (第58図、写真図版27)

〈位置・検出状況〉BIV q7～q8グリッド。RA18住居跡の下位で検出した。南北が調査区域外にかかる。

〈重複〉RA18住居跡と重複する。RA28住居跡が古い。

〈規模・平面形〉(11.0)×(4.0)m、不明である。長軸方向はN-50°-Wと推定される。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈壁・床面〉壁は不明である。床面はIII層を掘り込んでつくられており、南側から北側に緩く傾斜する。精査時(記録作成時)に柱穴の検出が容易でなく、床面を5～10cmほど下げている。

〈柱穴・配置〉PP1～PP8が検出された。規模は径27～59cm、深さ30～81cmである。埋土は黒褐色土である。柱配置は、炉を中心に対になるように3基の柱穴が配置され、炉の並ぶ線上の両端に柱穴が位置する。

〈炉〉地床炉が4基検出されている。4基の軸線は若干のズレがある。炉2の規模は、径95×65cmの楕円形で、焼土の厚さは最大16cmである。

〈その他の付属施設〉なし。

遺物 (第122・139・263・296図、写真図版63・157・182)

〈出土状況〉床上から出土している。

〈土器〉立体(184)。

〈石器〉石錘(1897)、敲磨器B類(2125)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R A 29住居跡

遺構 (第57図、写真図版28)

〈位置・検出状況〉BIV w10～w11グリッド。RA23住居跡の精査中に検出した。

〈重複〉RA23住居跡・RD23土坑と重複する。RA23住居跡→RA29住居跡→RD23土坑の関係がある。

〈規模・平面形〉(3.5)×(3.5)m以上、不明である。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土からなり、自然堆積である。

〈壁・床面〉壁はI d層を掘り込み、壁高は南壁で12cmある。床面はIII層を掘り込んでつくられており、ほぼ平坦である。RA23住居跡と重複する部分には、RA23住居跡埋土の上に貼床を施している。

〈柱穴・配置〉 PP 1～PP 3 が検出された。PP 1-PP 2 が支柱穴と思われる。径30～26cm、深さ22～29cmである。埋土は黒褐色土である。

〈炉〉 地床炉が1基検出されている。径50×40cmの楕円形で、焼土の厚さは最大5cmである。

〈その他の付属施設〉 東壁際に幅16cm、深さ9cmの周溝が廻る。

遺物 (第122・140・184・263・296図、写真図版63・101・157・182)

〈出土状況〉 PP 3 の埋土から土器 (Pot:185) と床上から土器 (Pot:186) が出土している。

〈土器〉 立体 (185・186)、破片 (660～663)。

〈石器〉 石錘 (1898)、敲磨器 B 類 (2126)。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。

R A 30住居跡

遺構 (第59図、写真図版29)

〈位置・検出状況〉 B IV w11グリッド。RA29住居跡の精査中に検出した。

〈重複〉 RA29住居跡と重複する。RA30住居跡が古い。

〈規模・平面形〉 (1.65)×(1.05)m 以上、不明である。

〈埋土・堆積状況〉 不明。

〈壁・床面〉 壁はIII層を掘り込み、壁高は17cmある。床面はIII層を掘り込んでつくられ、ほぼ平坦である。

〈柱穴・配置〉 不明。

〈炉〉 不明。

〈その他の付属施設〉 幅25cm、深さ11cmの周溝が廻る。

遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

R A 31住居跡

遺構 (第59図、写真図版30)

〈位置・検出状況〉 B IV t8グリッド。III層で炉跡を検出した。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 なし。

〈規模・平面形〉 6m 以上と推定される。不明である。長軸方向はN-35°-Wと推定される。

〈埋土・堆積状況〉 暗褐色土で、自然堆積と推定される。

〈壁・床面〉 壁は不明である。床はIII層を掘り込んでつくられており、炉の周辺は平坦である。

〈柱穴・配置〉 PP 1 が検出された。規模は径58～55cm、深さ64cm、埋土は黒褐色土である。配置は不明である。

〈炉〉 地床炉2基が検出されている。炉1の規模は(70)×50cm、焼土の厚さは最大5cmである。

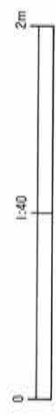
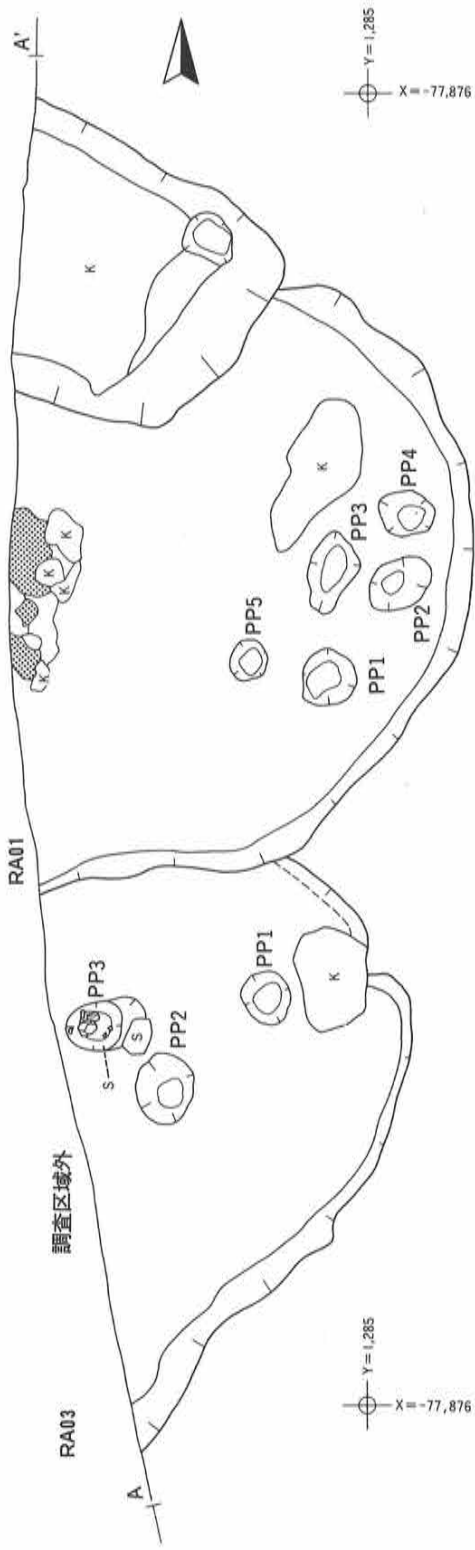
〈その他の付属施設〉 なし。

遺物 (第122・184図、写真図版101)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (664)。

時期 縄文時代前期後葉と思われる。



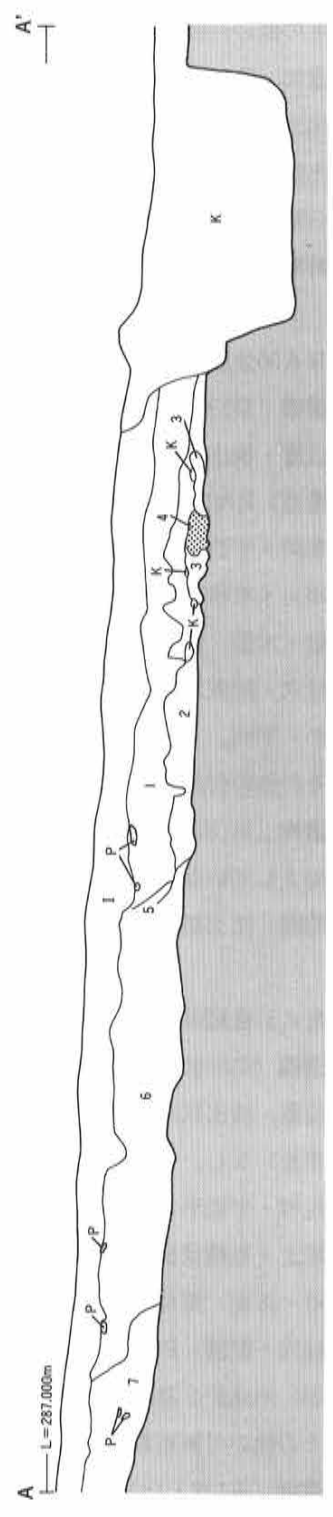
- RA01・03 A-A'
- 層位 色調 土性
- 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 - 2 10YR3/3 暗褐色 締まり中、焼土混入。
 - 3 10YR3/3 暗褐色 締まり中。
 - 4 5YR3/6 暗赤褐色 締まり中、炭化材10%混入、焼土。
 - 5 10YR4/6 褐色 締まり中。
 - 6 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 - 7 10YR2/3 黒褐色 締まり中。

RA03

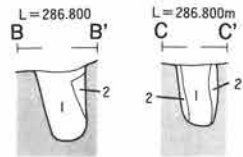
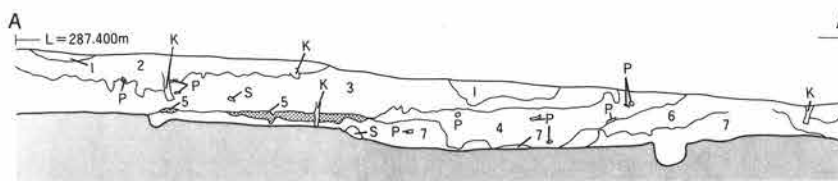
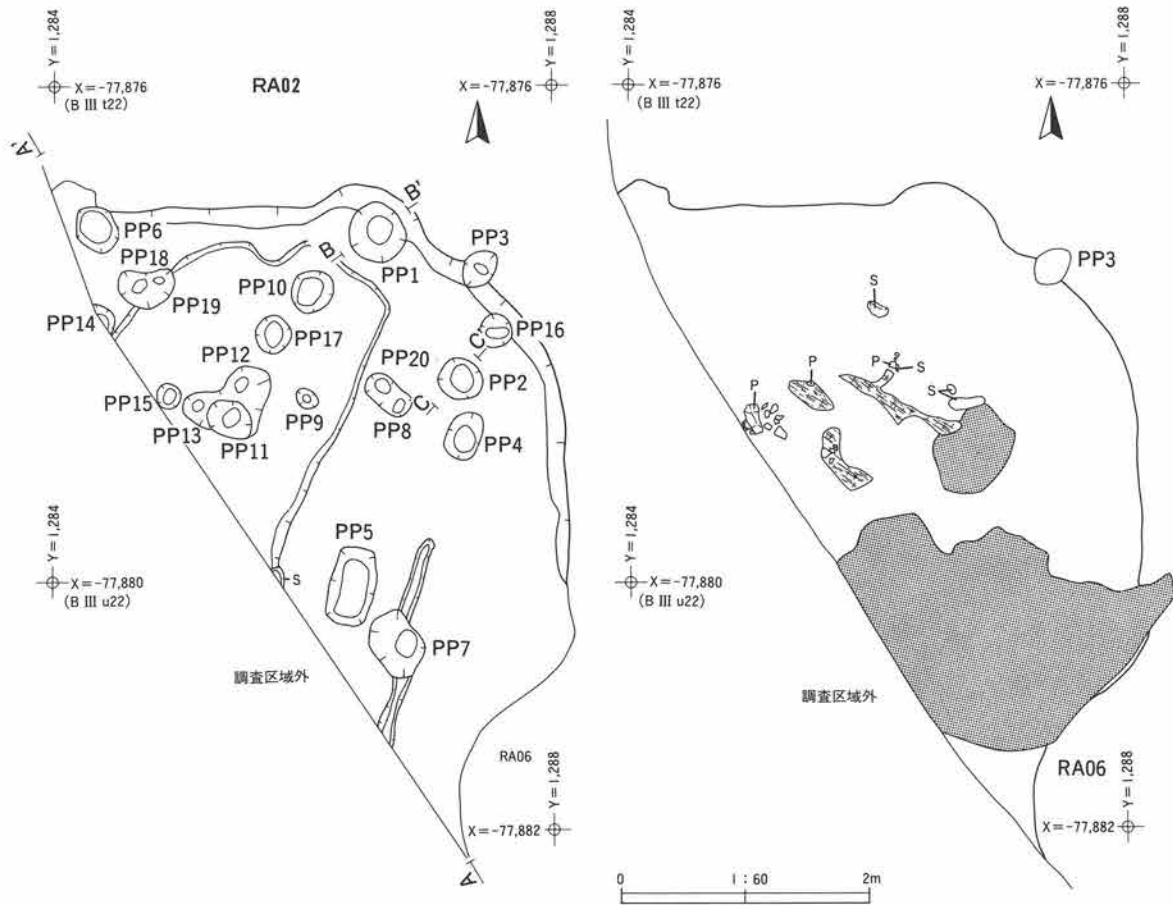
No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	30	25	38
深さ (cm)	57	76	34

RA01

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	31	29	37	26	43
深さ (cm)	54	58	38	37	28



第27図 RA01・03住居跡



RA02

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	50×45	35×35	35×26	40×28	63×37	40×32	55×42
深さ (cm)	58	60	23	34	16	21	48

No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	22×16	20×17	37×33	45×30	(40)×35	(40)×28	27×(12)
深さ (cm)	43	35	39	40	30	19	17

No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20
径 (cm)	21×21	28×27	32×29	45×28	25×(25)	33×22
深さ (cm)	16	29	60	24	20	33

RA02 A-A'

- 層位 色調 土性
- 10YR1.7/1 黒色 締まり疎。
 - 10YR2/2 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/2 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・焼土ブロック混入。
 - 5YR3/6 暗赤褐色 締まり中、焼土。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
 - 10YR3/2 黒褐色 締まり中。

RA02-PP1 B-B'

- 層位 色調 土性
- 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。

RA02-PP2 C-C'

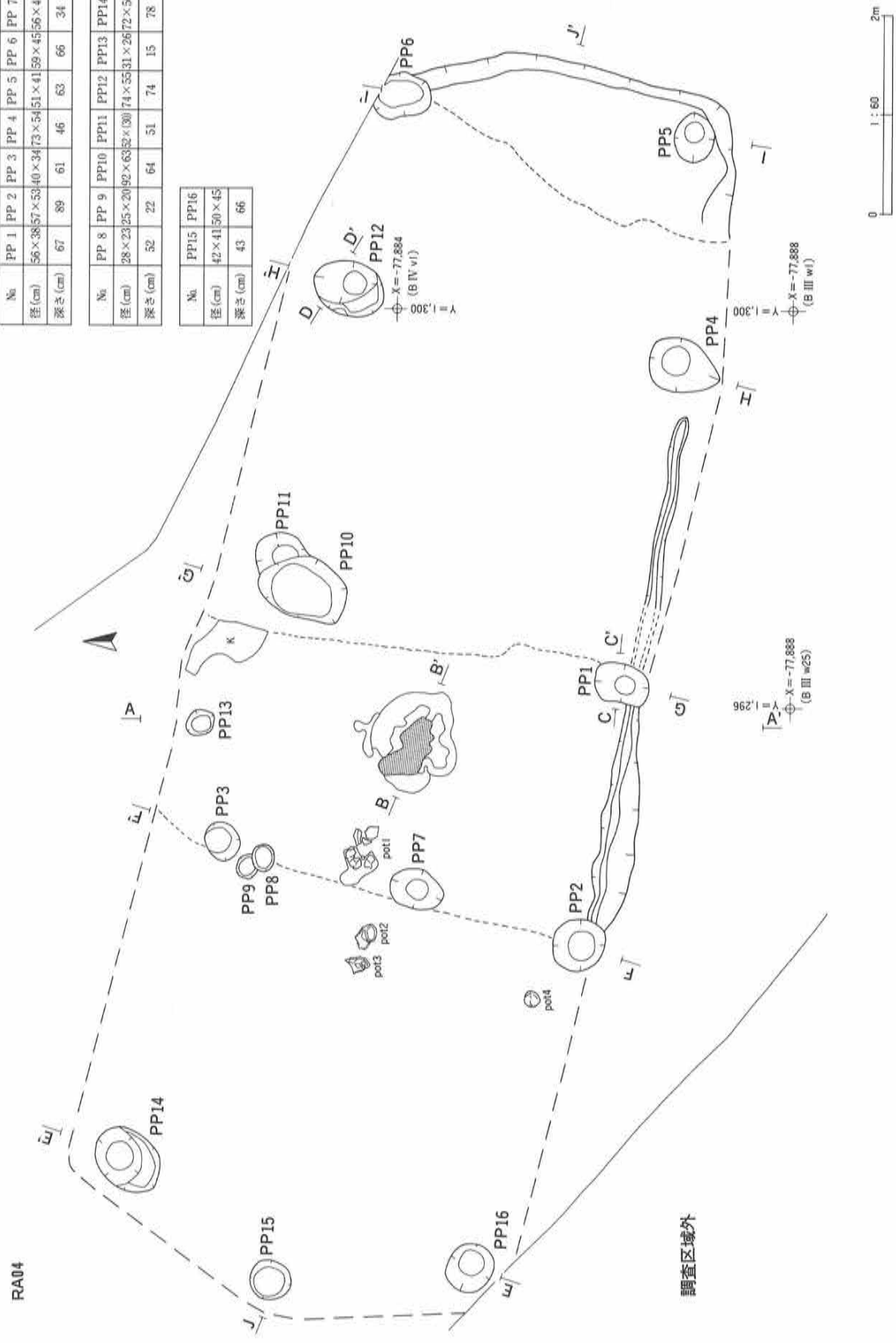
- 層位 色調 土性
- 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 - 10YR4/6 褐色 締まり中。

第28図 RA02住居跡

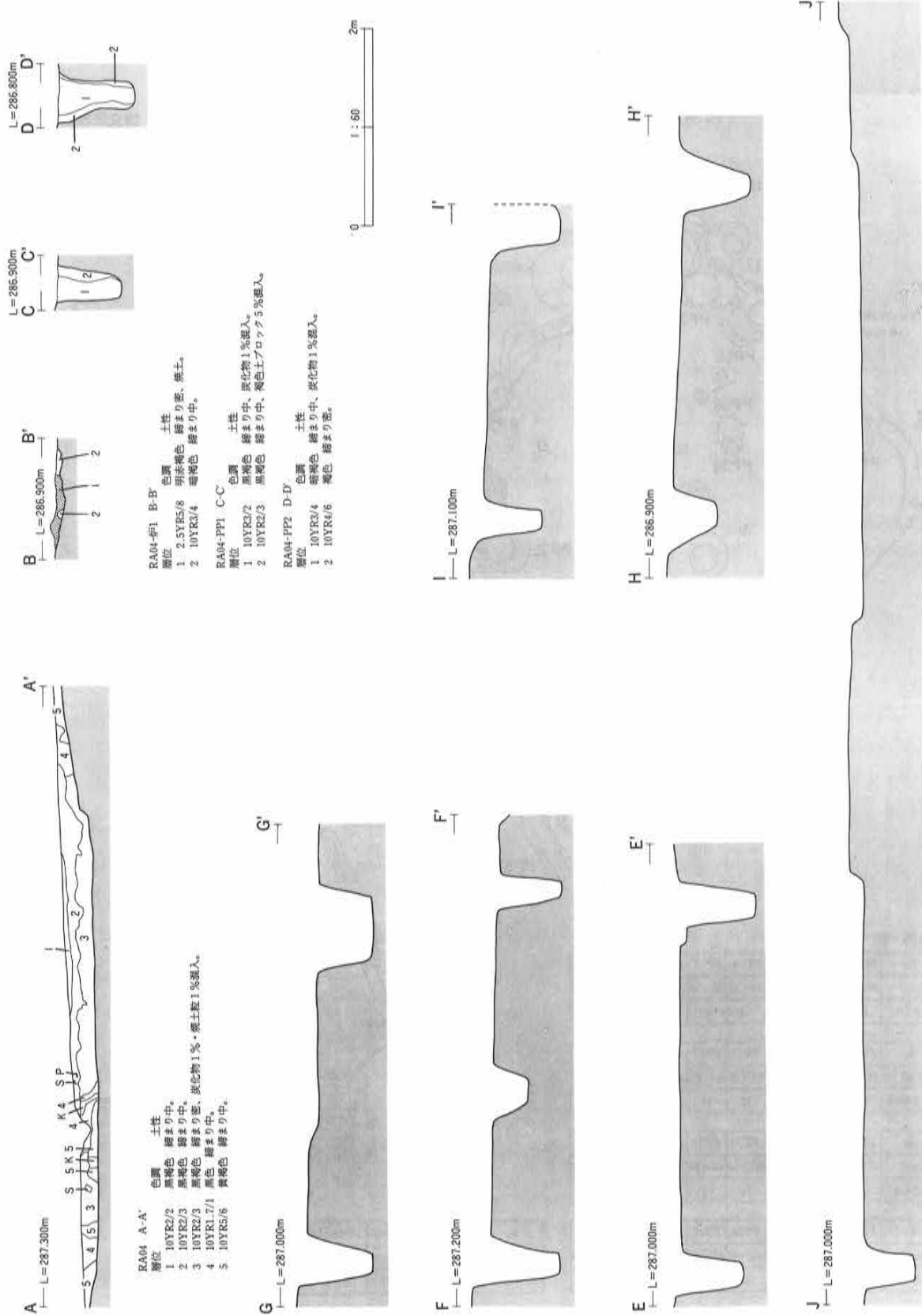
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	56	38	57	53	40	34	73
深さ (cm)	67	89	61	46	63	66	34

No	PP 8	PP 9	PP 10	PP 11	PP 12	PP 13	PP 14
径 (cm)	28	23	25	20	92	63	92
深さ (cm)	52	22	64	51	74	55	31

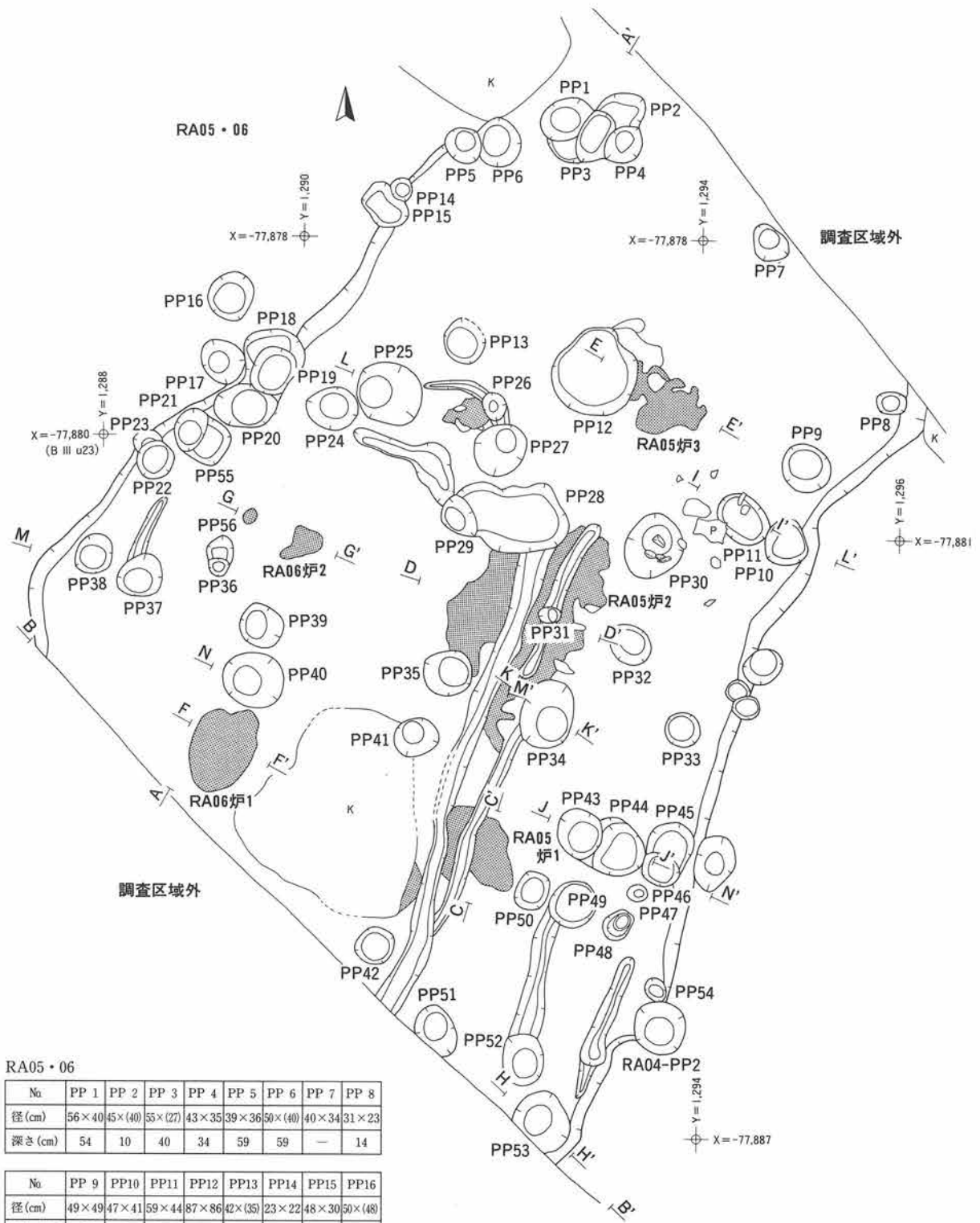
No	PP 15	PP 16
径 (cm)	42	41
深さ (cm)	50	45



第29図 RA04住居跡(1)



第30図 RA04住居跡(2)



RA05・06

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径 (cm)	56×40	45×(40)	55×(27)	43×35	39×36	50×(40)	40×34	31×23
深さ (cm)	54	10	40	34	59	59	—	14

No.	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16
径 (cm)	49×49	47×41	59×44	87×86	42×(35)	23×22	48×30	50×(48)
深さ (cm)	21	34	65	10	14	12	8	64

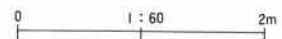
No.	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24
径 (cm)	47×41	60×(17)	49×39	63×44	46×30	39×37	29×(19)	53×44
深さ (cm)	71	35	68	88	52	44	30	65

No.	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29	PP30	PP31	PP32
径 (cm)	65×61	28×25	56×49	(92)×67	45×32	67×59	23×16	45×38
深さ (cm)	68	22	50	27	59	67	28	17

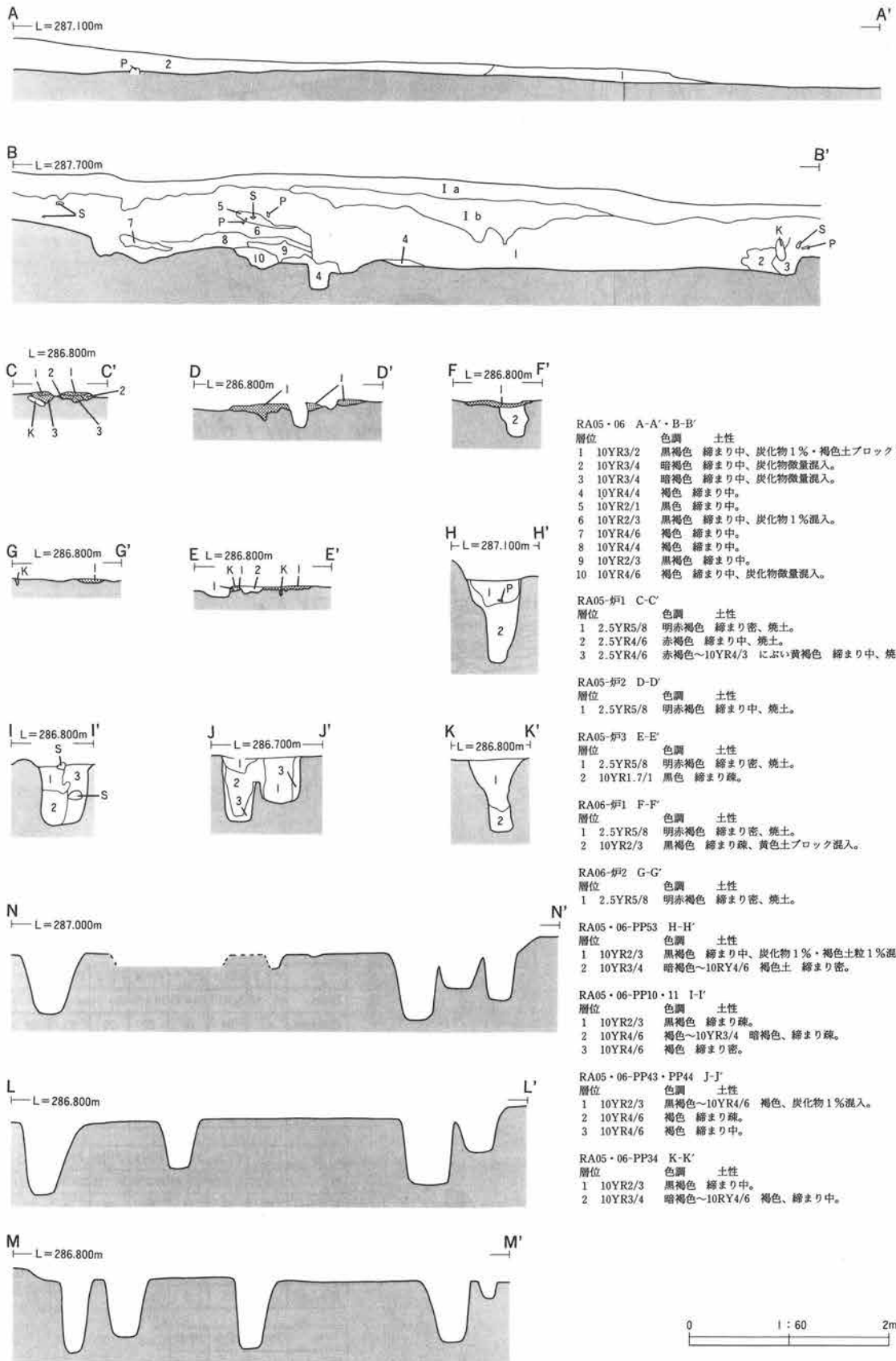
No.	PP33	PP34	PP35	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40
径 (cm)	36×36	68×59	49×47	20×14	48×41	43×37	44×42	62×55
深さ (cm)	15	76	60	23	55	76	66	59

No.	PP41	PP42	PP43	PP44	PP45	PP46	PP47	PP48
径 (cm)	43×38	41×38	52×46	56×50	43×(36)	37×33	21×17	34×27
深さ (cm)	69	14	67	51	30	47	15	39

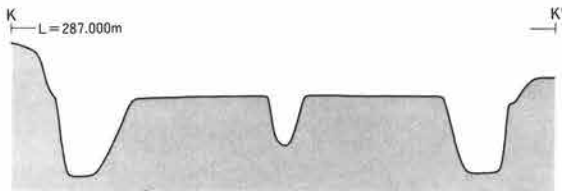
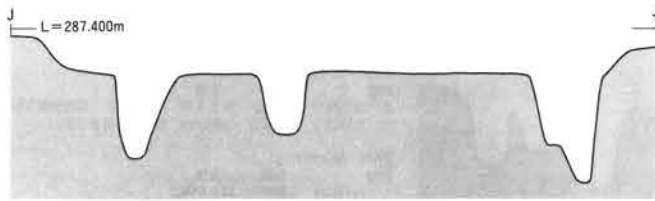
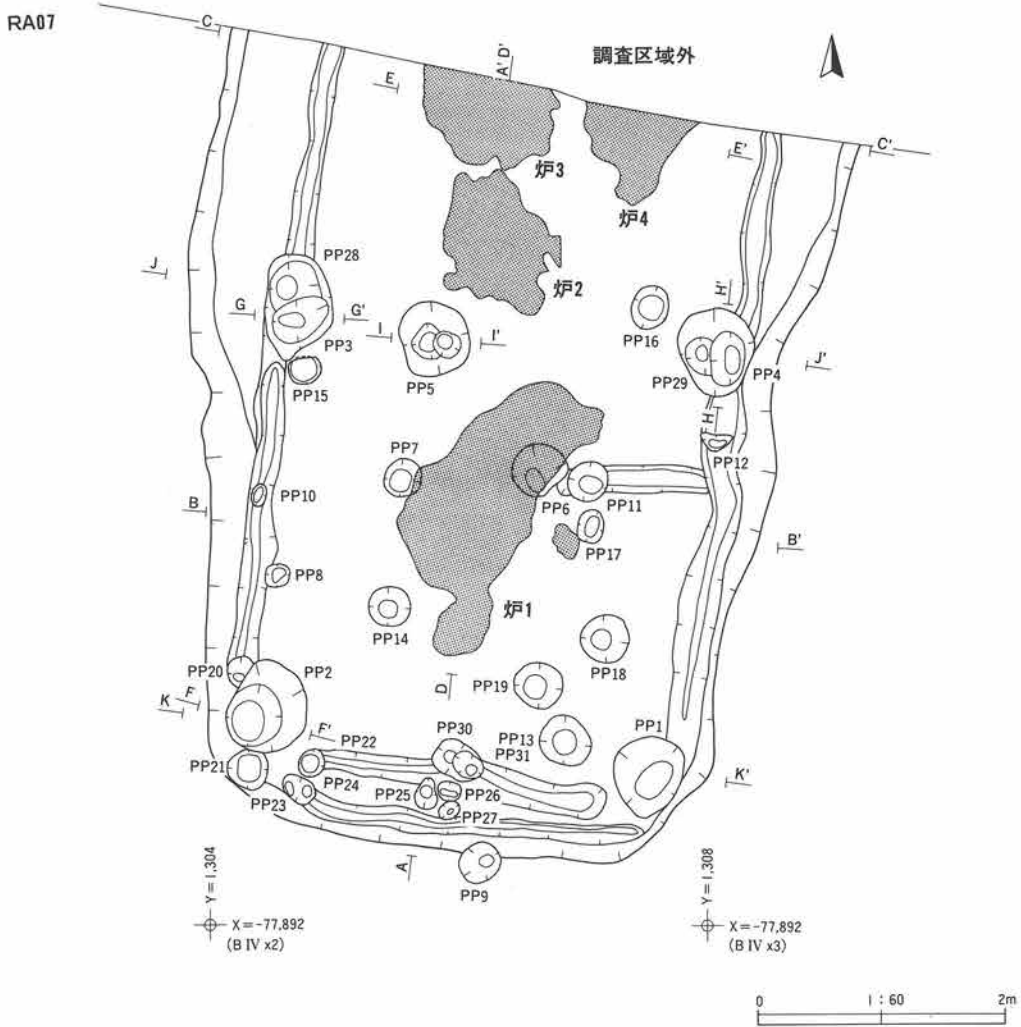
No.	PP49	PP50	PP51	PP52	PP53	PP54	PP55	PP56
径 (cm)	50×44	38×32	51×(35)	52×42	73×(49)	25×21	45×(36)	28×(22)
深さ (cm)	24	15	33	66	84	14	40	15



第31図 RA05・06住居跡(1)



第32図 RA05・06住居跡(2)



RA07

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	62×56	74×67	60×55	70×60	60×54	44×38	31×29
深さ (cm)	62	64	69	82	79	22	20

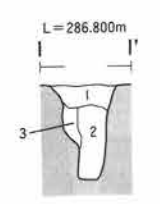
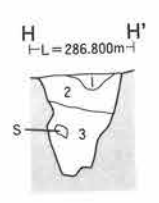
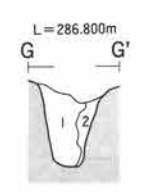
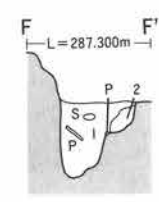
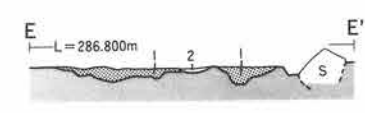
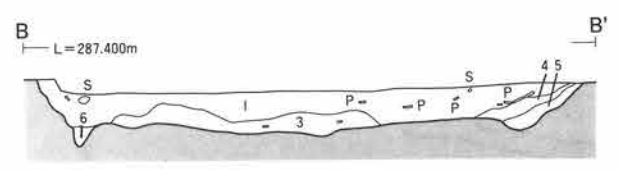
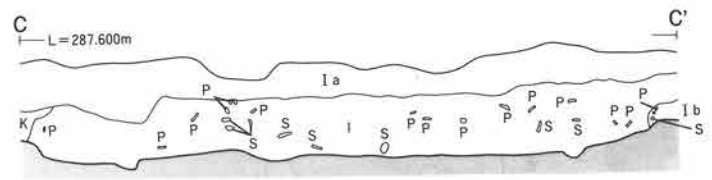
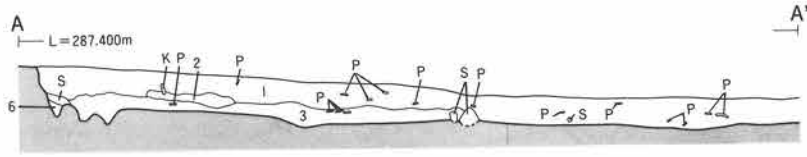
No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	20×18	35×30	18×12	34×31	27×13	43×38	34×32
深さ (cm)	19	41	35	41	67	45	17

No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径 (cm)	28×21	46×33	27×22	39×38	39×36	25×(16)	33×31
深さ (cm)	60	64	11	33	22	12	20

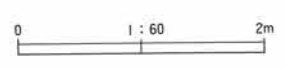
No.	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径 (cm)	23×20	28×19	28×19	24×18	20×15	18×13	46×46
深さ (cm)	41	23	23	23	21	9	67

No.	PP29	PP30	PP31
径 (cm)	70×60	42×30	25×20
深さ (cm)	54	32	59

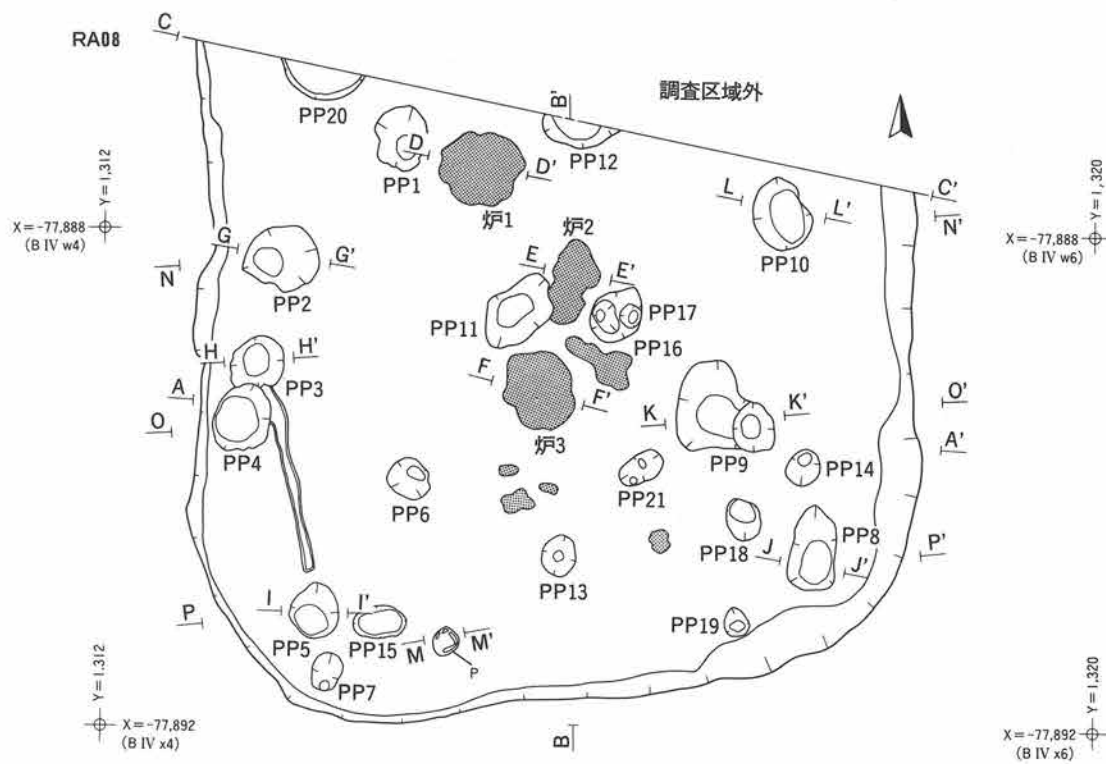
第33図 RA07住居跡(1)



- RA07 A-A'・B-B'・C-C'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|------------------------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、炭化物10%・焼土粒1%・土器片混入。 |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色 締まり中。 |
| 3 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、炭化物多量に混入。 |
| 4 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中。 |
| 5 | 10YR2/1 | 黒色 締まり中。 |
| 6 | 10YR3/4 | 暗褐色~10RY4/6 褐色 締まり中。 |
- RA07-伊1・2・3 D-D'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|----------|---------------|
| 1 | 2.5YR5/8 | 明赤褐色 締まり中、焼土。 |
- RA07-伊3・4 E-E'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|---------------|
| 1 | 10YR5/8 | 明赤褐色 締まり中、焼土。 |
| 2 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中。 |
- RA07-PP2 F-F'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|------------------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、土器片・焼土粒・炭化物多量混入。 |
| 2 | 10YR3/4 | 暗褐色~10RY4/6 褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
- RA07-PP3 G-G'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|-----------------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり疎、褐色土ブロック5%・炭化物1%混入。 |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
- RA07-PP4 H-H'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|-----------------|
| 1 | 10YR4/6 | 褐色 締まり密。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり疎、褐色土混入。 |
| 3 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり疎、礫混入。 |
- RA07-PP5 I-I'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|-------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり疎、褐色土5%混入。 |
| 3 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、褐色土1%混入。 |

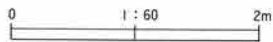


第34図 RA07住居跡(2)

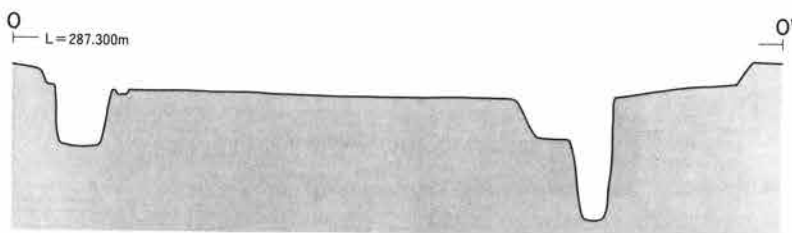
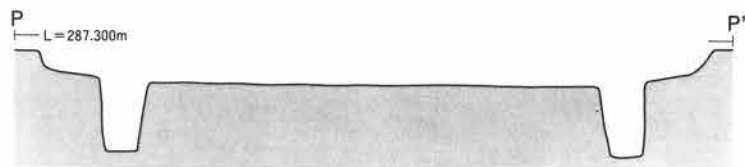
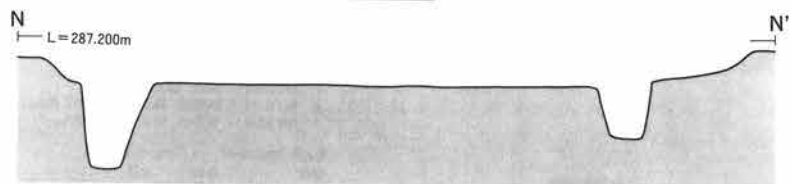


RA08

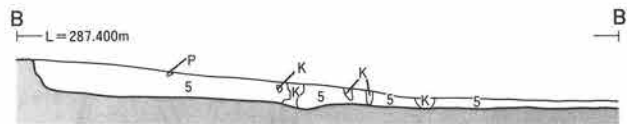
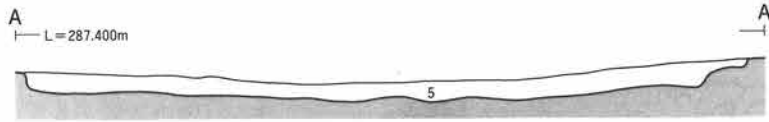
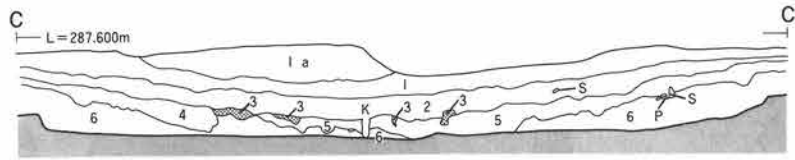
No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8	PP 9	PP 10	PP 11
径 (cm)	53×43	60×52	49×40	52×44	45×39	35×30	32×24	68×35	88×73	57×43	68×40
深さ (cm)	55	63	44	48	58	75	37	60	93	44	27



No.	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径 (cm)	62×(22)	33×28	30×28	43×27	40×24	35×18	34×27	24×19	65×(25)	40×21
深さ (cm)	22	30	47	11	45	34	20	20	10	30



第35図 RA08住居跡(1)



RA08: A-A'・B-B'・C-C'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-----------|--------------------------|
| 1 | 10YR1.7/1 | 黒色 締まり中。 |
| 2 | 10YR2/2 | 黒褐色 締まり中。 |
| 3 | 10YR5/6 | 明黄褐色 締まり中、焼土。 |
| 4 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |
| 5 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、炭化物1%・焼土ブロック混入。 |
| 6 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、焼土ブロック混入。 |

RA08-炉1 D-D'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------|
| 1 | 10YR5/6 | 黄褐色 締まり中、焼土。 |

RA08-炉2 E-E'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------|
| 1 | 10YR5/6 | 黄褐色 締まり中、焼土。 |

RA08-炉3 F-F'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------|
| 1 | 10YR5/6 | 黄褐色 締まり中、焼土。 |

RA08-PP2 G-G'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、褐色土粒3%混入。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、炭化物50%混入。 |

RA08-PP3 H-H'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、炭化物30%混入。 |

RA08-PP5 I-I'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|-----------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |

RA08-PP8 J-J'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、褐色土粒混入。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、炭化物10%混入。 |
| 3 | 10YR5/6 | 黄褐色 締まり中。 |

RA08-PP9 K-K'

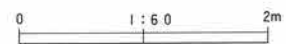
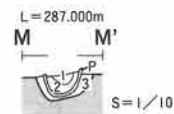
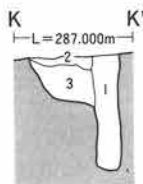
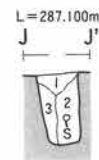
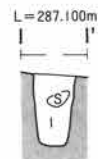
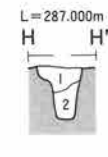
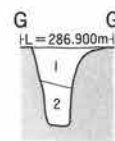
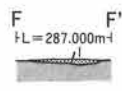
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|-------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中。 |
| 3 | 10YR4/6 | 褐色 締まり中、暗褐色土3%混入。 |

RA08-PP10 L-L'

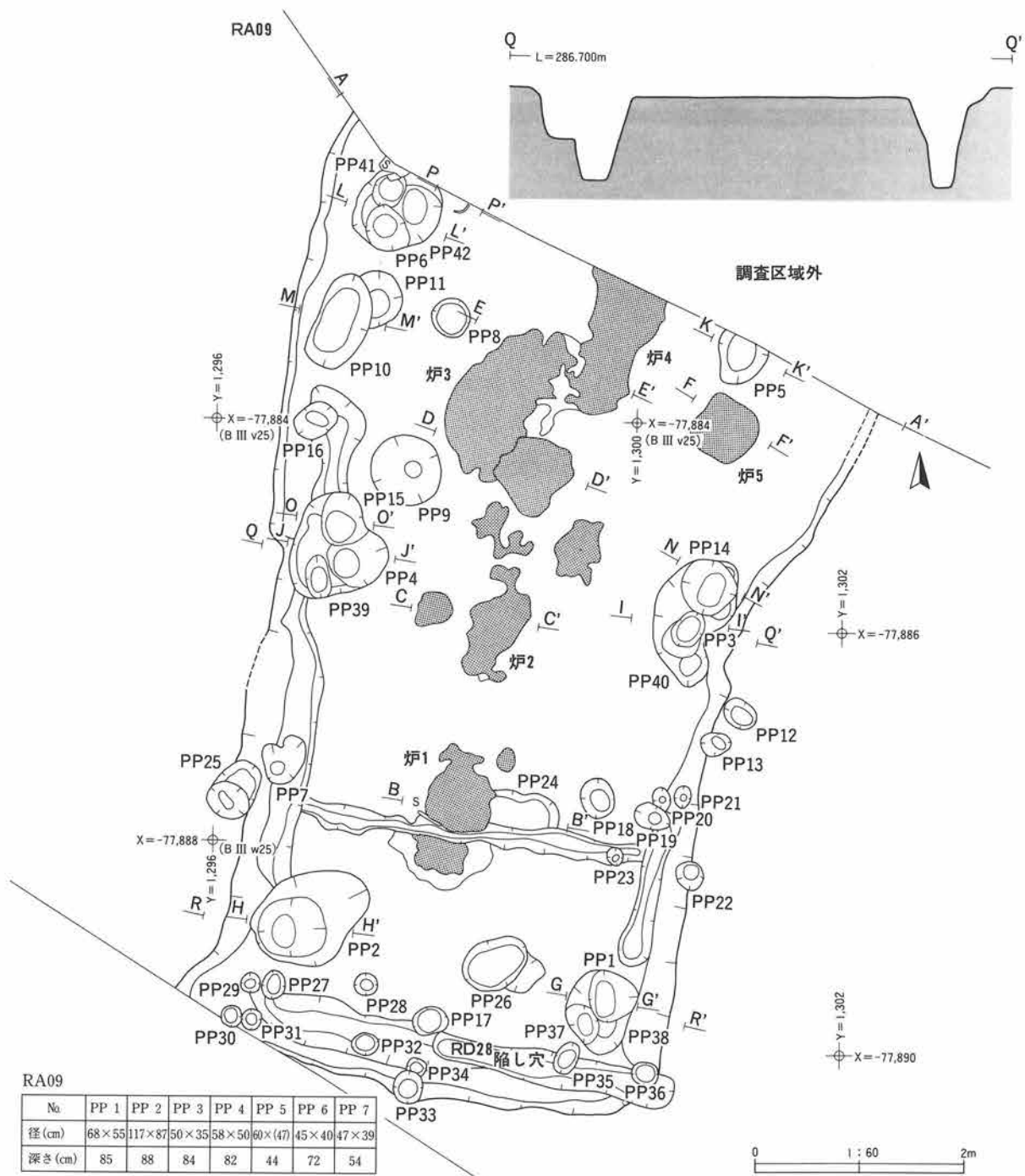
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|--------------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒3%混入。 |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色 締まり中。 |

RA08-埋設土器 M-M'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|------------------|
| 1 | 10YR4/6 | 褐色 締まり中、炭化物5%混入。 |
| 2 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中。 |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中。 |



第36図 RA08住居跡(2)



RA09

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	68×55	117×87	50×35	58×50	60×(47)	45×40	47×39
深さ (cm)	85	88	84	82	44	72	54

No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	37×36	69×67	92×63	52×(30)	33×27	29×28	54×51
深さ (cm)	17	33	64	51	13	37	87

No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径 (cm)	51×45	41×32	34×26	38×32	34×25	(20)×18	22×16
深さ (cm)	80	67	62	16	50	—	—

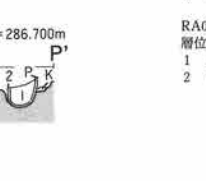
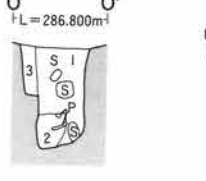
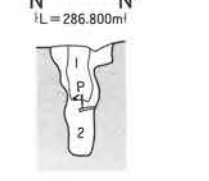
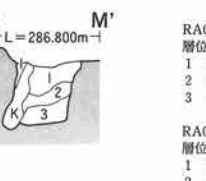
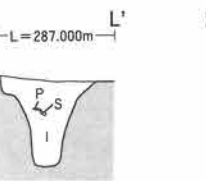
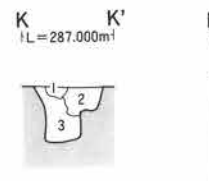
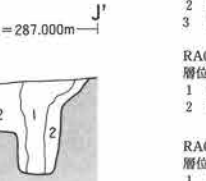
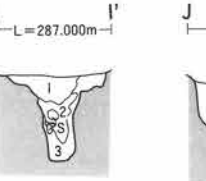
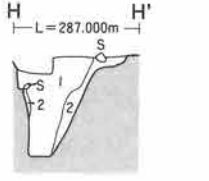
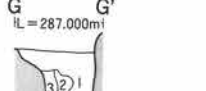
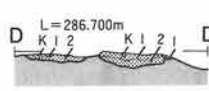
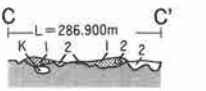
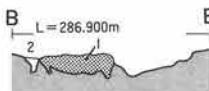
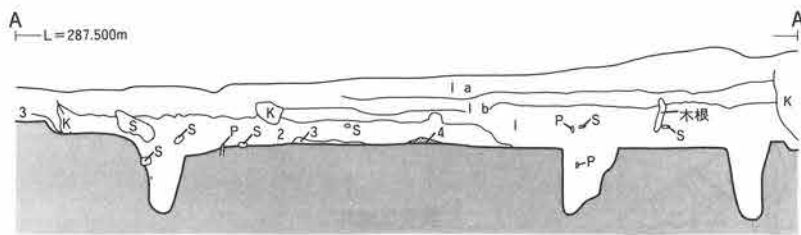
No.	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径 (cm)	28×25	17×14	(63)×(34)	59×41	65×49	28×22	22×21
深さ (cm)	35	27	13	65	19	43	8

No.	PP29	PP30	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35
径 (cm)	20×19	20×19	20×19	26×21	32×27	19×(17)	31×21
深さ (cm)	32	19	24	11	55	10	54

No.	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40	PP41	PP42
径 (cm)	26×23	40×30	50×(50)	40×22	40×(30)	34×28	60×50
深さ (cm)	47	65	53	68	49	93	68

調査区域外

第37図 RA09住居跡(1)



RA09 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物3%・褐色土ブロック1%・土器片混入。
 3 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
 4 2.5YR5/6 明赤褐色 締まり中、焼土。

RA09-炉1・2 B-B'・C-C'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり密、焼土。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり密、炭化物1%混入。

RA09-炉3 D-D'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり密、焼土。
 2 2.5YR5/6 明赤褐色 締まり密、焼土。

RA09-炉4 E-E'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/6 明赤褐色 締まり密、焼土。
 2 2.5YR5/6 明赤褐色 締まりやや疎、炭化物1%混入。

RA09-炉5 F-F'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/6 明赤褐色 締まり密、焼土。
 2 2.5YR5/6 明赤褐色 締まりやや疎、炭化物1%混入。

RA09-PP1 G-G'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物10%・褐色土ブロック1%・土器片混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック混入。
 3 10YR4/6 褐色 締まり密。

RA09-PP2 H-H'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まりやや疎、炭化物1%混入。
 2 10YR4/6 褐色 締まり密。

RA09-PP3 I-I'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物3%混入。
 2 10YR3/3 黒褐色 締まり中、焼土ブロック30%混入。
 3 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック混入。

RA09-PP4 J-J'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR4/6 褐色 締まり密。

RA09-PP5 K-K'
 層位 色調 土性
 1 10YR1.7/1 黒色 締まり中。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック混入。
 3 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・土器片混入。

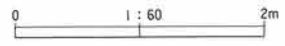
RA09-PP6 L-L'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。

RA09-PP10 M-M'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物・堅果類多量混入。
 3 10YR5/6 黄褐色 締まり中。

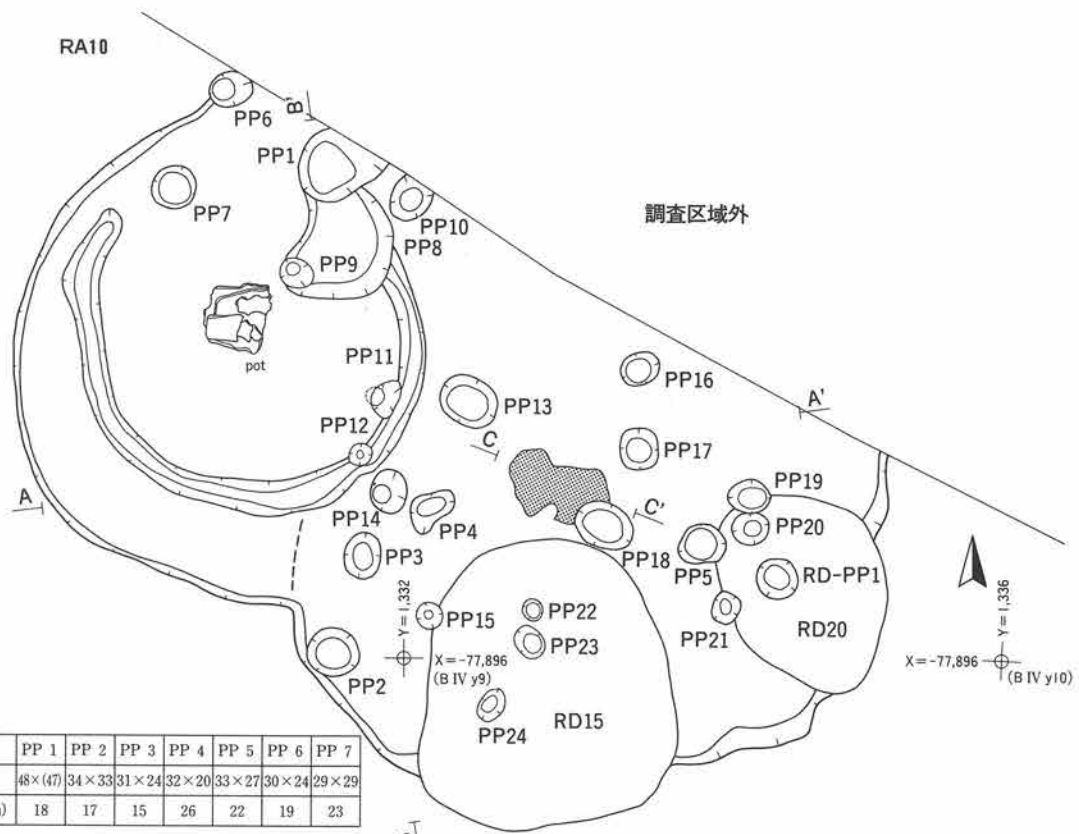
RA09-PP14 N-N'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり疎、黄褐色土混入。

RA09-PP15 O-O'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり密、炭化物1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色~10YR2/3 黒褐色、締まり中、炭化物3%混入。
 3 10YR5/6 黄褐色 締まり密。

RA09-埋設土器 P-P'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・焼土粒混入。
 2 10YR3/2 黒褐色 締まり中。



第38図 RA09住居跡(2)



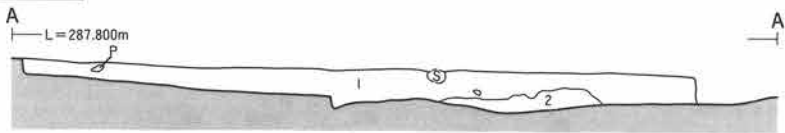
RA10

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	48×(47)	34×33	31×24	32×20	33×27	30×24	29×29
深さ (cm)	18	17	15	26	22	19	23

No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	(65)×60	23×19	(28)×25	26×18	16×15	40×32	30×25
深さ (cm)	12	51	45	39	30	13	45

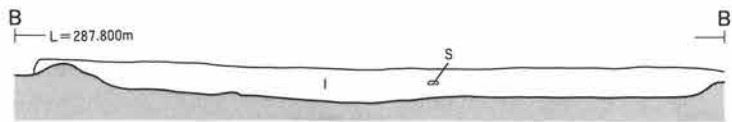
No.	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径 (cm)	18×17	26×21	28×25	41×31	28×22	24×20	20×18
深さ (cm)	13	39	26	15	38	22	19

No.	PP22	PP23	PP24
径 (cm)	14×12	22×18	22×16
深さ (cm)	25	35	26



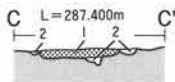
RA10 A-A'

- 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%・土器片混入。
 2 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。



RA10 B-B'

- 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%混入。

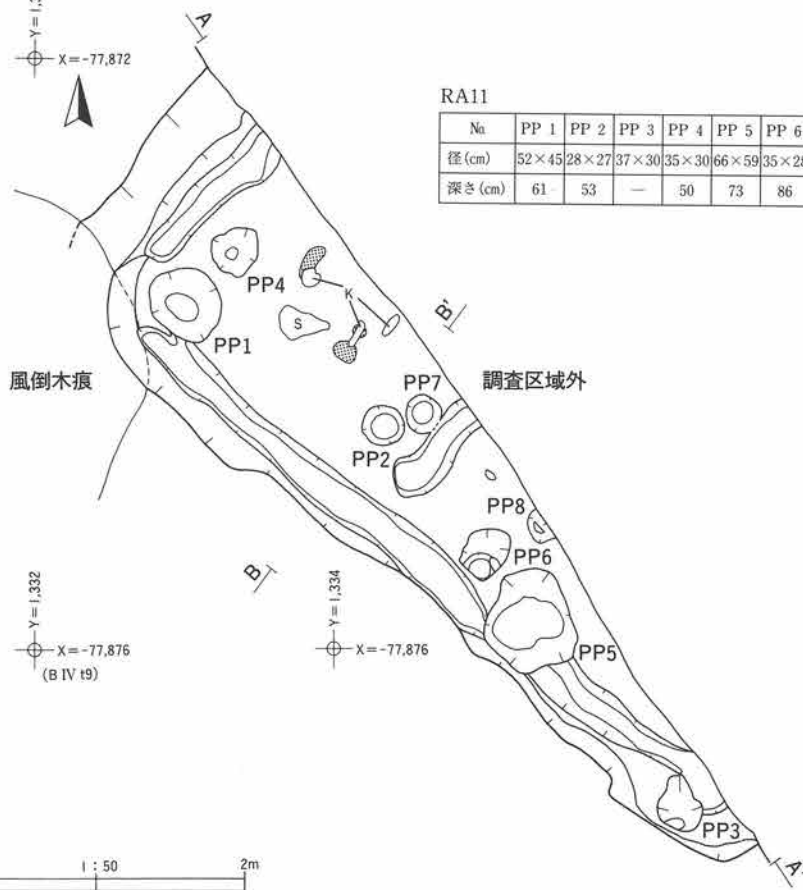
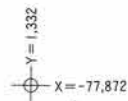


RA10-伊 C-C'

- 層位 色調 土性
 1 5YR5/8 明赤褐色 締まり中、焼土。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり疎。

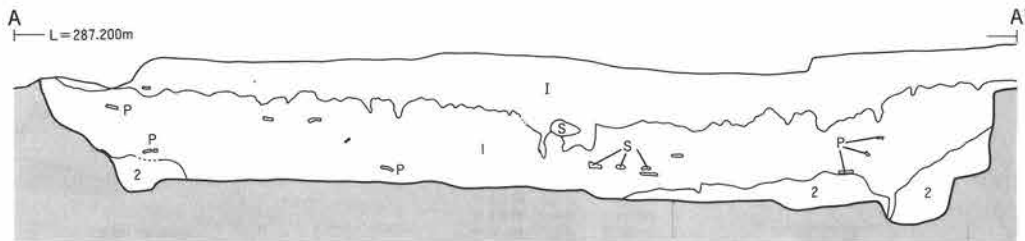
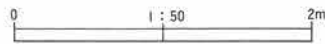
第39図 RA10住居跡

RA11

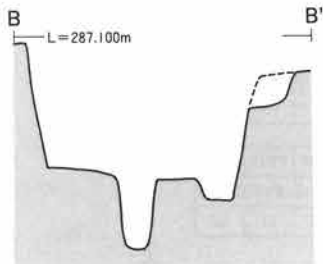


RA11

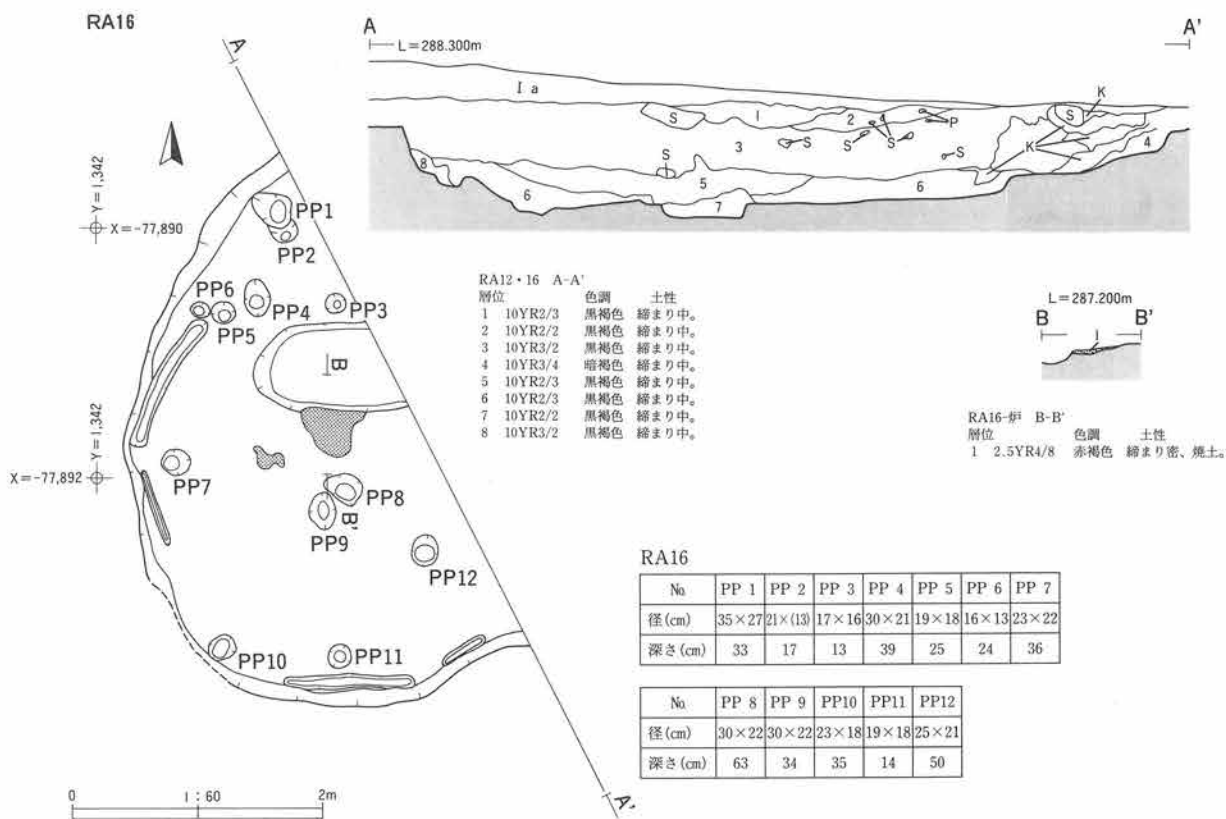
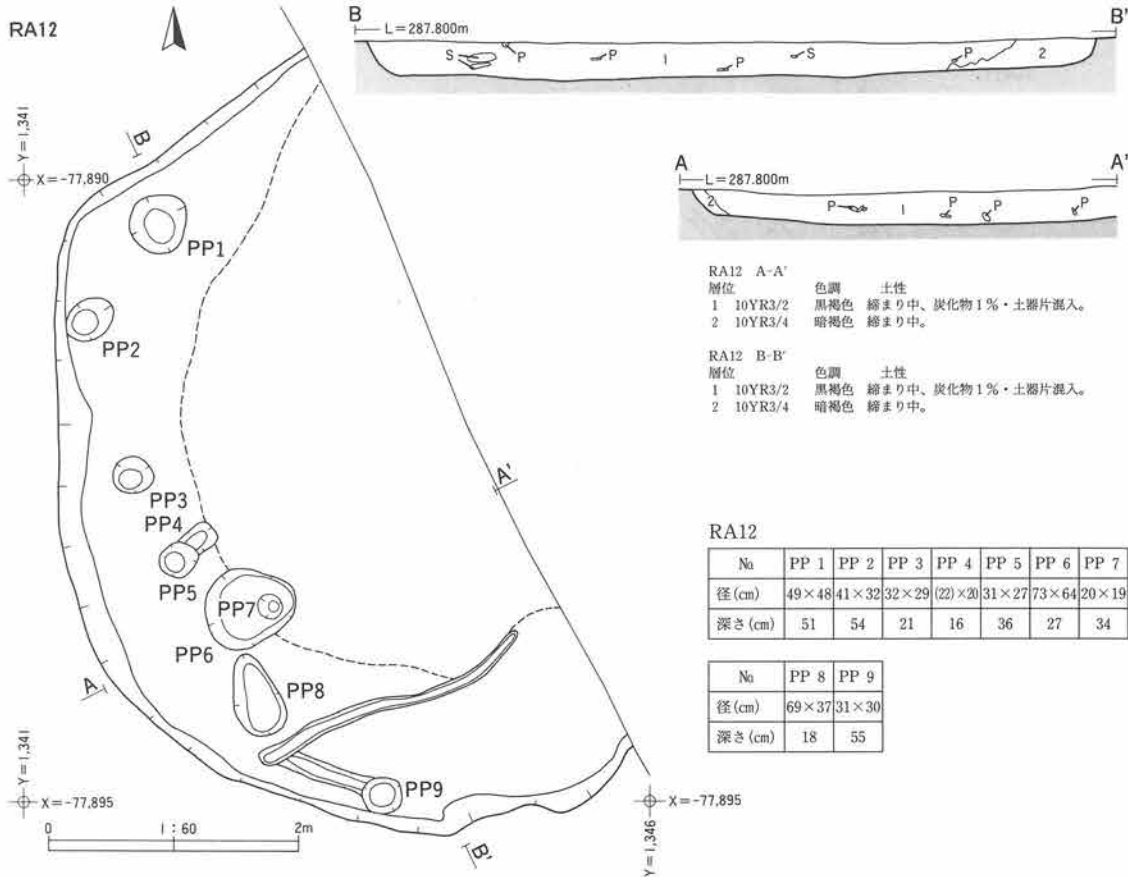
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径 (cm)	52×45	28×27	37×30	35×30	66×59	35×28	26×23	22×12
深さ (cm)	61	53	—	50	73	86	19	19



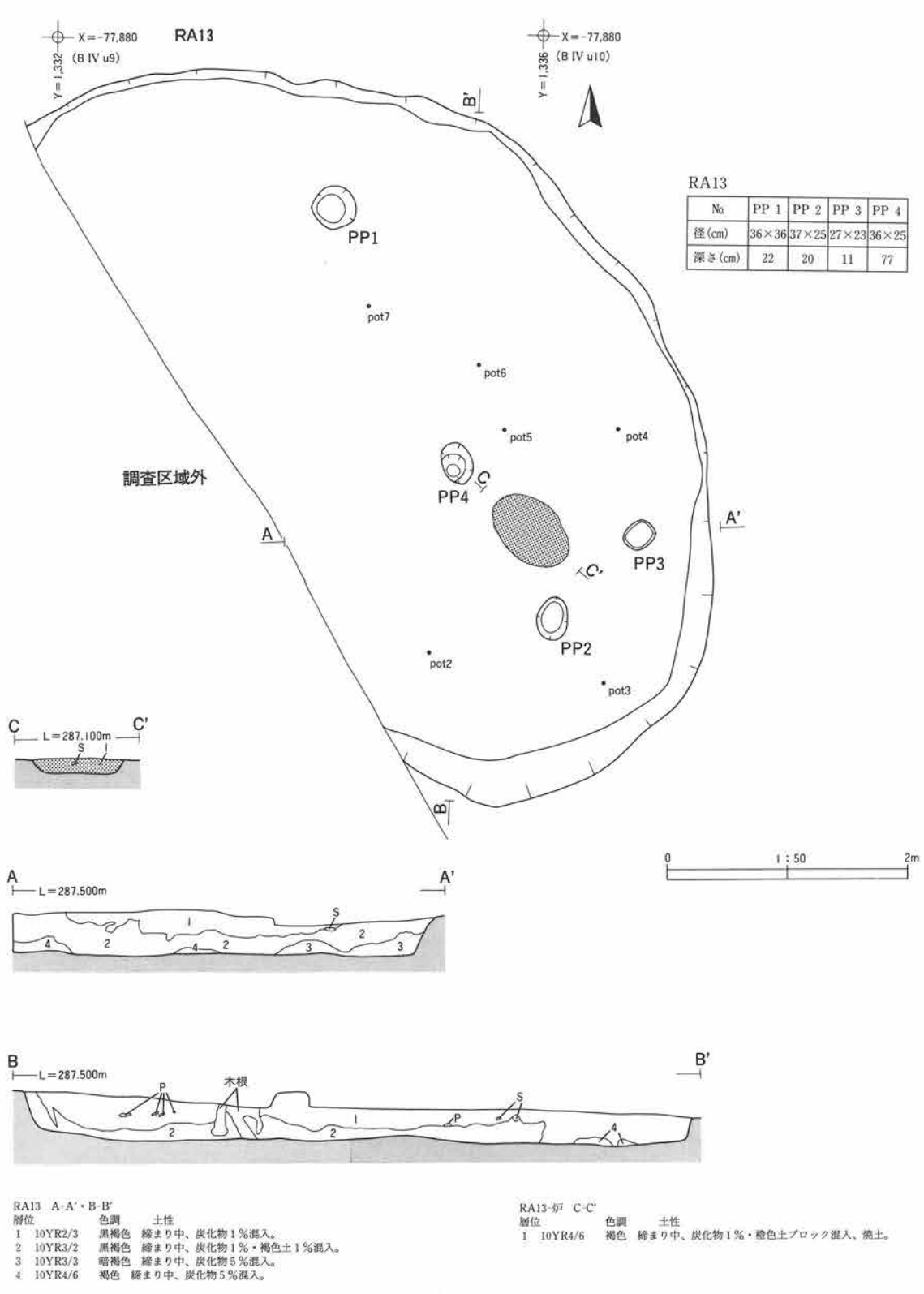
RA11 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%・土器片・礫混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック1%混入。



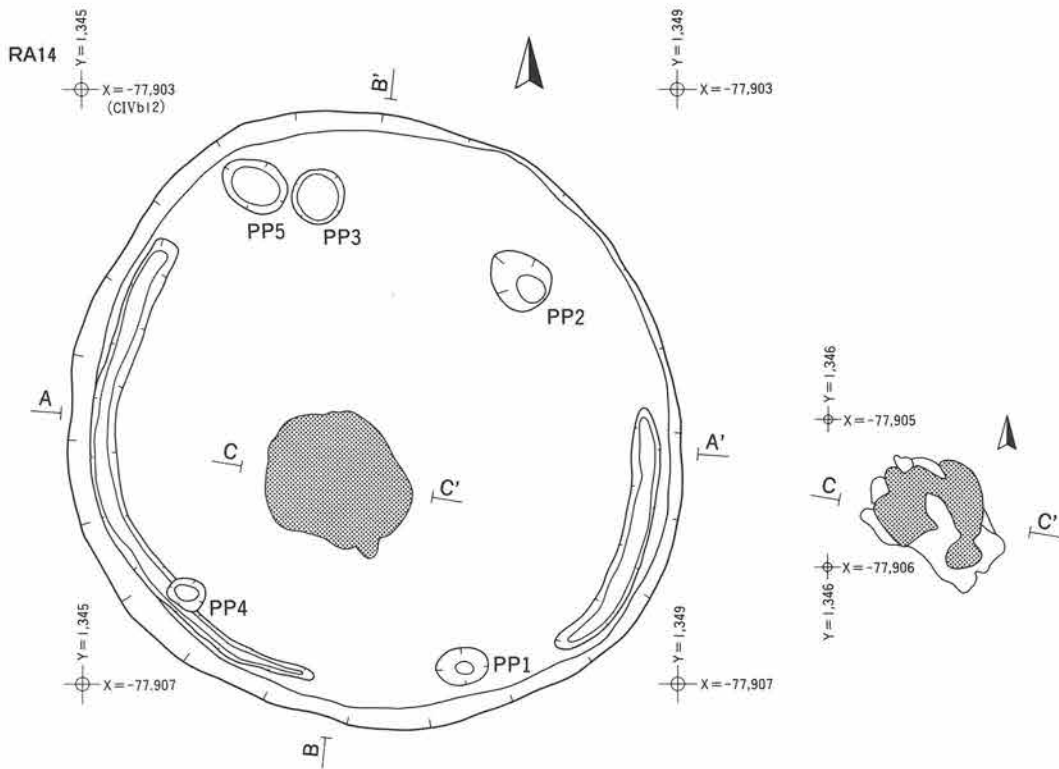
第40図 RA11住居跡



第41図 RA12・16住居跡

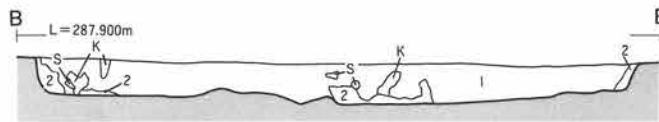
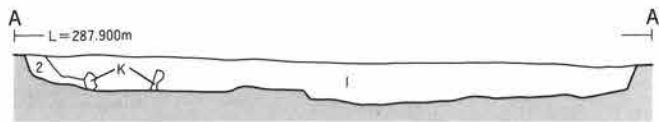
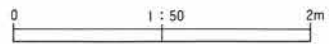


第42図 RA13住居跡

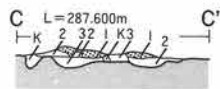


RA14

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	35×25	45×36	37×35	25×21	46×35
深さ (cm)	17	12	21	33	29



RA14 A-A'・B-B'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
 2 10YR4/6 褐色 締まり中。



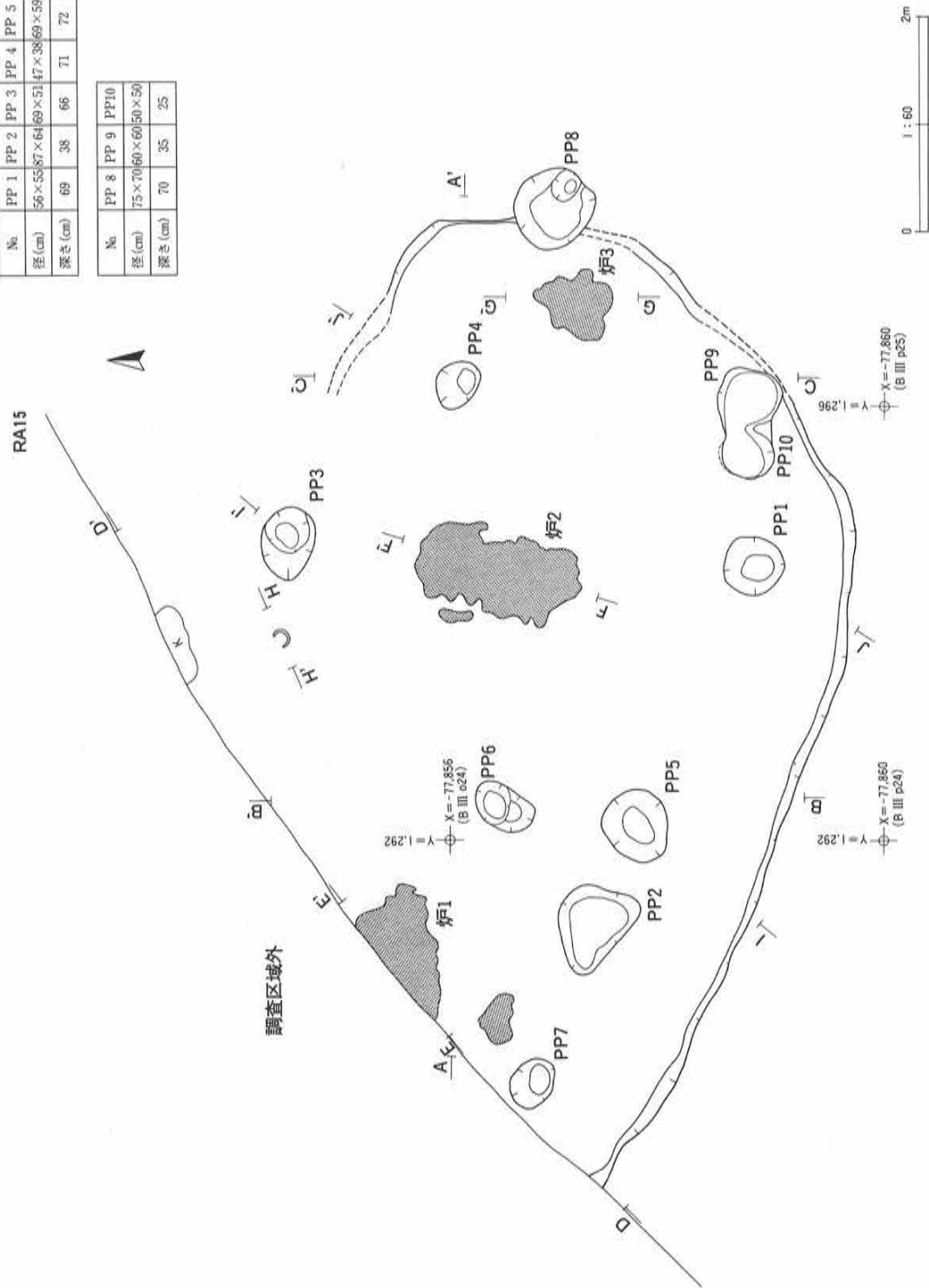
RA14-併 C-C'
 層位 色調 土性
 1 5YR4/8 赤褐色 締まり密、焼土。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり疎。
 3 10YR3/4 暗褐色 締まり密。

第43図 RA14住居跡

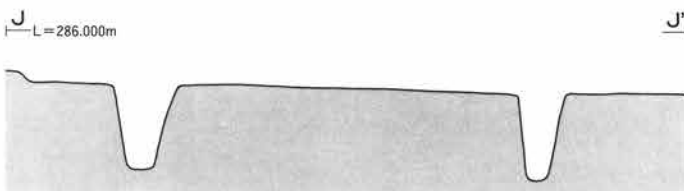
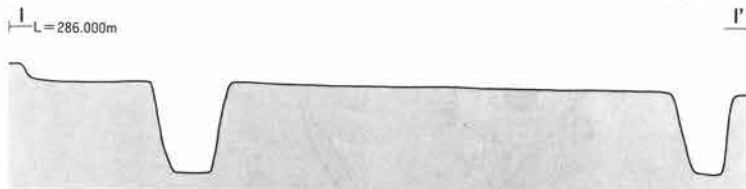
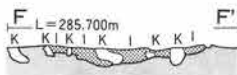
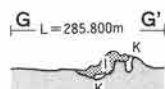
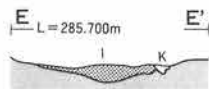
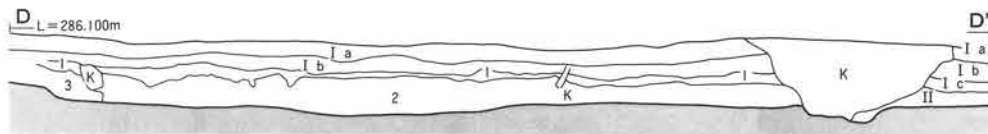
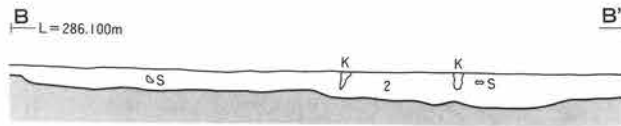
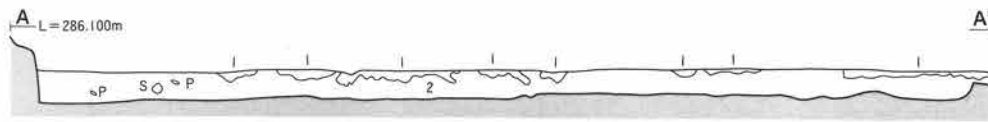
RA15

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	56	55.87	64.69	51.47	38.69	59.59	37.49
深さ (cm)	69	38	66	71	72	44.68	38

No.	PP 8	PP 9	PP10
径 (cm)	75	70.60	60.50
深さ (cm)	70	35	25



第44図 RA15(住居跡1)



RA15 A-A' B-B'・C-C'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり疎。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・土器片・礫混入。

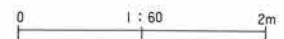
RA15 D-D'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり疎。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・土器片・礫混入。
 3 10YR4/6 褐色 締まり中。

RA15-#1 E-E'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり密、焼土。

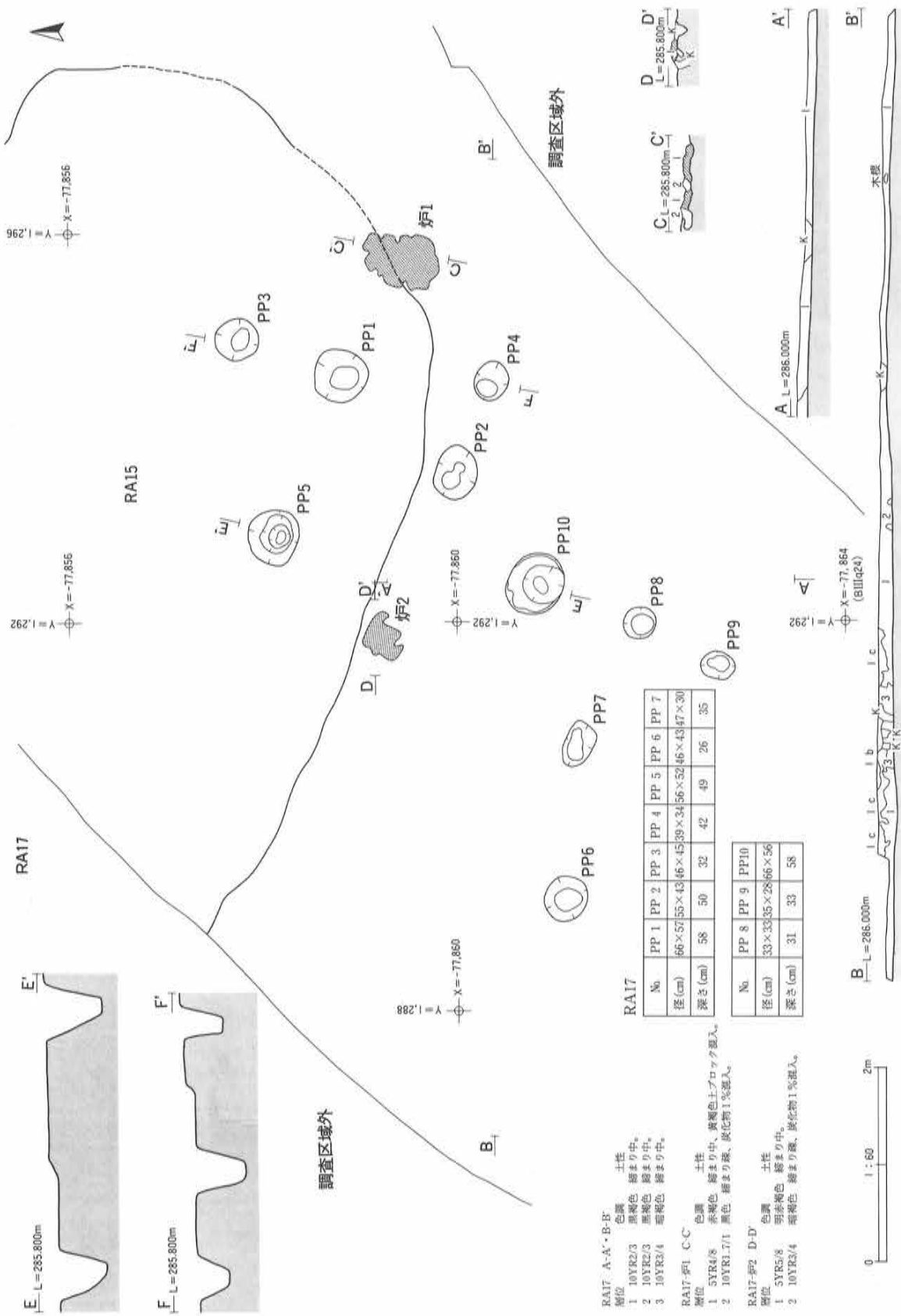
RA15-#2 F-F'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり密、焼土。

RA15-#3 G-G'
 層位 色調 土性
 1 5YR4/8 赤褐色 締まり中、焼土、明赤褐色焼土ブロック混入。

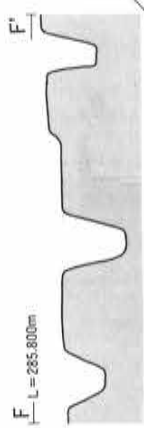
RA15-埋設土器 H-H'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土混入。



第45図 RA15住居跡(2)



第46図 RA17住居跡



- RA17 A-A'・B-B'
- 層位 土性 色調
- 10YR2/3 黒褐色 粘まり中。
 - 10YR2/3 黒褐色 粘まり中。
 - 10YR3/4 暗褐色 粘まり中。

- RA17-炉1 C-C'
- 層位 土性 色調
- 5YR4/8 赤褐色 粘まり中、炭屑色土・プロック混入。
 - 10YR1.7/1 黒色 粘まり弱、炭化物1%混入。

- RA17-炉2 D-D'
- 層位 土性 色調
- 5YR5/8 明赤褐色 粘まり中。
 - 10YR3/4 暗褐色 粘まり弱、炭化物1%混入。

RA17

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	66	57	55	43	46	45	39
深さ (cm)	58	50	32	42	49	26	35

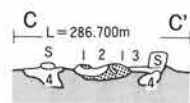
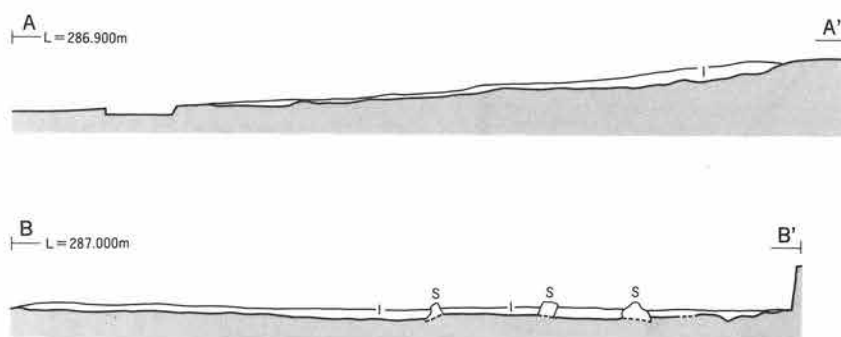
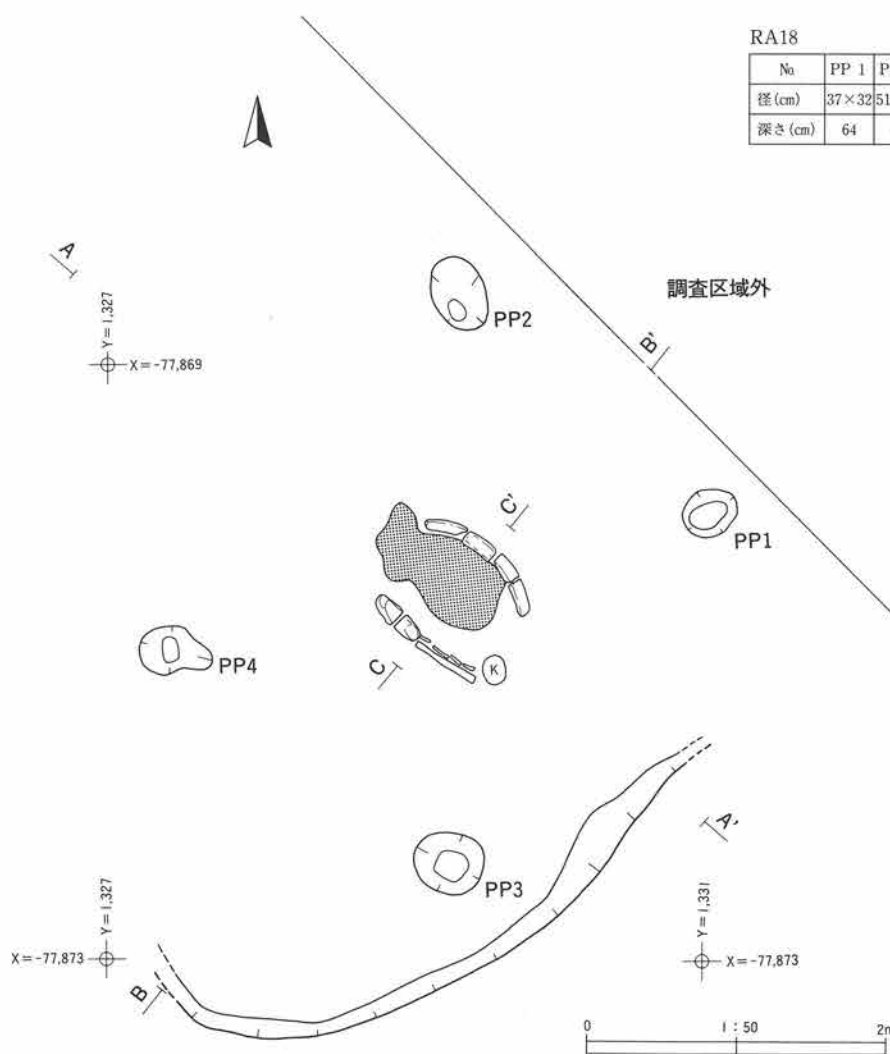
No.	PP 8	PP 9	PP10
径 (cm)	33	33	35
深さ (cm)	31	33	38



RA18

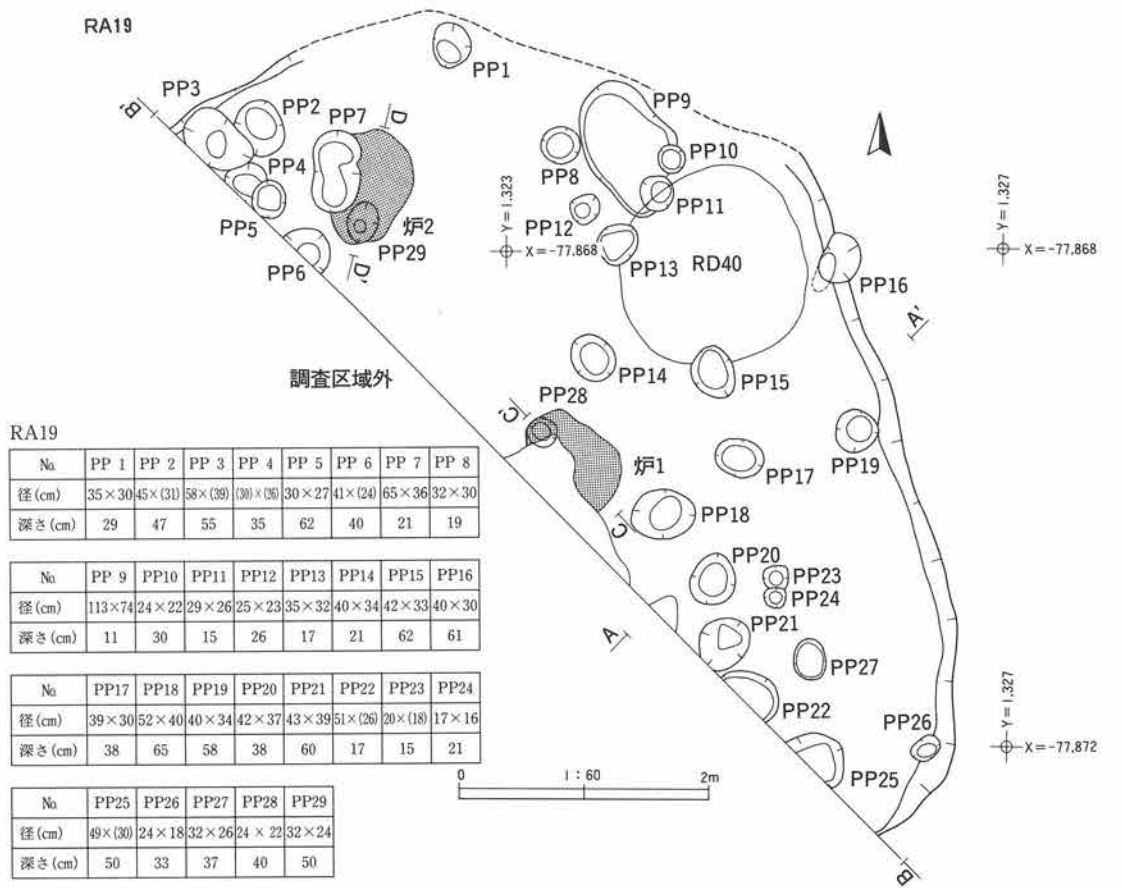
RA18

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 (cm)	37×32	51×36	47×41	50×32
深さ (cm)	64	68	75	59



- RA18 A-A'・B-B'
- 層位 色調 土性
- 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
- RA18-跡 C-C'
- 層位 色調 土性
- 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり中、焼土。
- 2 10YR4/6 褐色 締まり疎、焼土ブロック混入。
- 3 10YR1.7/1 黒色 締まり疎。
- 4 10YR3/4 暗褐色 締まり疎。

第47図 RA18住居跡

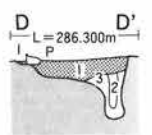
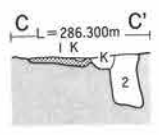
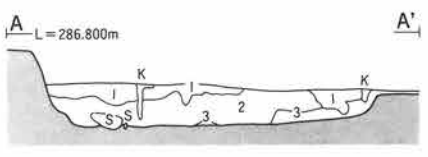
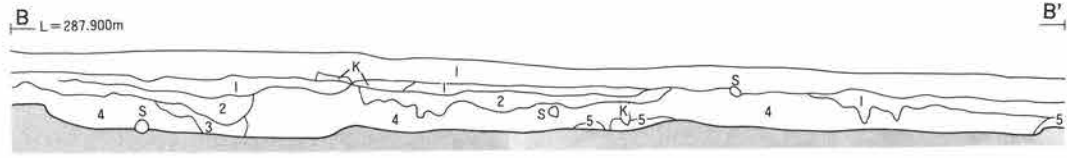


No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径 (cm)	35×30	45×(31)	58×(39)	(30)×(36)	30×27	41×(24)	65×36	32×30
深さ (cm)	29	47	55	35	62	40	21	19

No.	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16
径 (cm)	113×74	24×22	29×26	25×23	35×32	40×34	42×33	40×30
深さ (cm)	11	30	15	26	17	21	62	61

No.	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24
径 (cm)	39×30	52×40	40×34	42×37	43×39	51×(26)	20×(18)	17×16
深さ (cm)	38	65	58	38	60	17	15	21

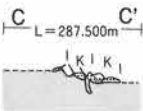
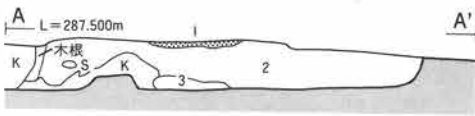
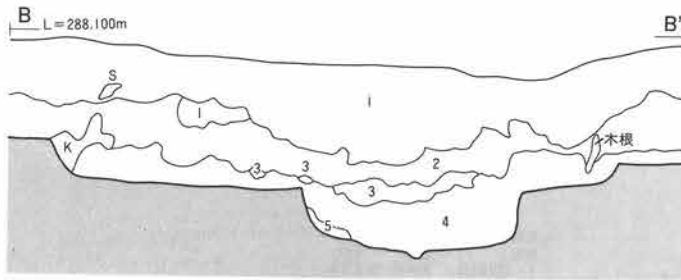
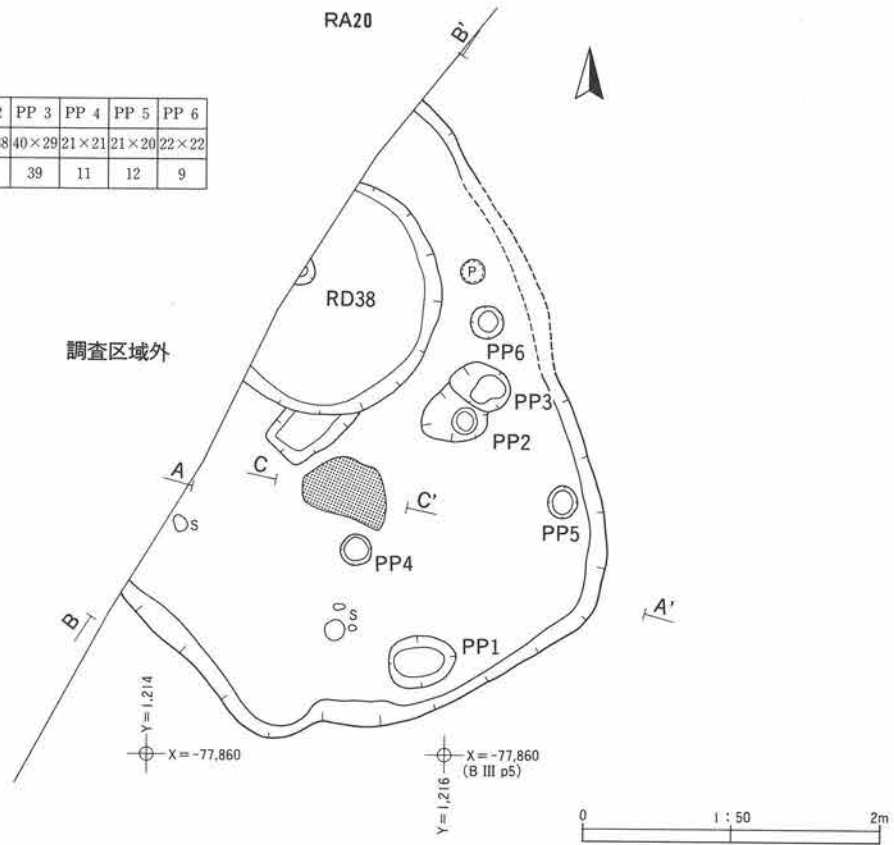
No.	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29
径 (cm)	49×(30)	24×18	32×26	24×22	32×24
深さ (cm)	50	33	37	40	50



- RA19 A-A'
- 層位 色調 土性
- 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/2 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
- RA19 A-A'・B-B'
- 層位 色調 土性
- 10YR2/2 黒褐色 締まり中。
 - 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 - 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/2 黒褐色 締まり中。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
- RA19-炉1 C-C'
- 層位 色調 土性
- 10YR3/4 暗褐色 締まり中、焼土粒混入。
 - 10YR4/3 にぶい黄褐色 締まり中。
- RA19-炉2 D-D'
- 層位 色調 土性
- 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・焼土ブロック1%混入。
 - 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%混入。
 - 10YR4/4 褐色 締まり中、炭化物1%混入。

第48図 RA19住居跡

RA20						
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	46×35	45×38	40×29	21×21	21×20	22×22
深さ (cm)	22	35	39	11	12	9



- RA20 A-A'
 層位 色調 土性
 1 5YR3/4 暗赤褐色 締まりやや疎、焼土。
 2 10YR2/3 暗褐色 締まりやや密、褐色土ブロック1%・炭化物微量混入。
 3 10YR4/6 褐色 締まり密、焼土ブロック混入。
- RA20 B-B'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり疎。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まりやや密。
 3 10YR2/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 4 10YR3/4 暗褐色 締まりやや密、褐色土ブロック15%混入。
 5 10YR2/1 黒色 締まり中、褐色土ブロック5%混入。
- RA20-伊 C-C'
 層位 色調 土性
 1 7.5YR5/8 明褐色 締まり中、焼土。

第49図 RA20住居跡

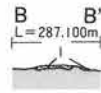
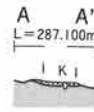
RA21

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	35×33	28×26	31×29	33×27	20×18	34×(23)	32×31
深さ (cm)	23	40	11	69	26	73	13

No.	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13
径 (cm)	29×28	48×34	36×24	39×30	32×29	23×22
深さ (cm)	10	54	72	20	13	13

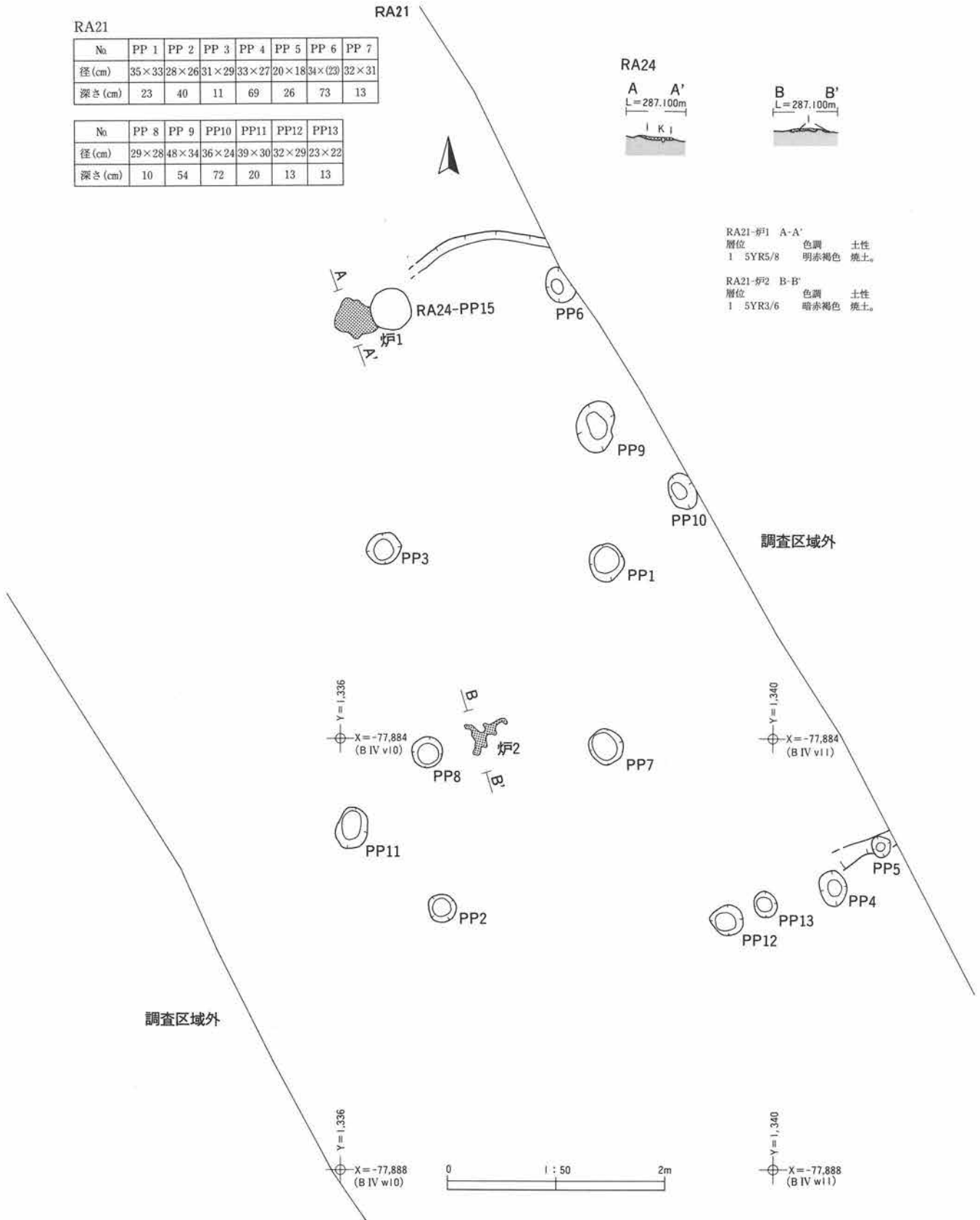
RA21

RA24



RA21-炉1 A-A'
 層位 色調 土性
 1 5YR5/8 明赤褐色 焼土。

RA21-炉2 B-B'
 層位 色調 土性
 1 5YR3/6 暗赤褐色 焼土。

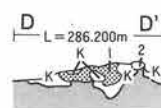
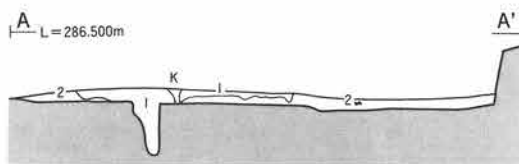
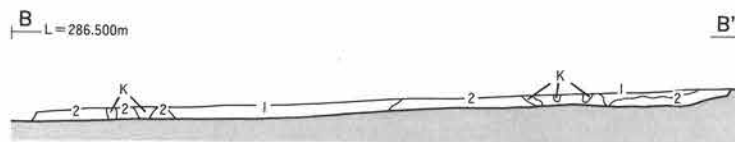
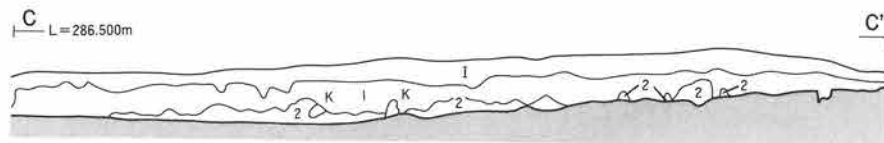
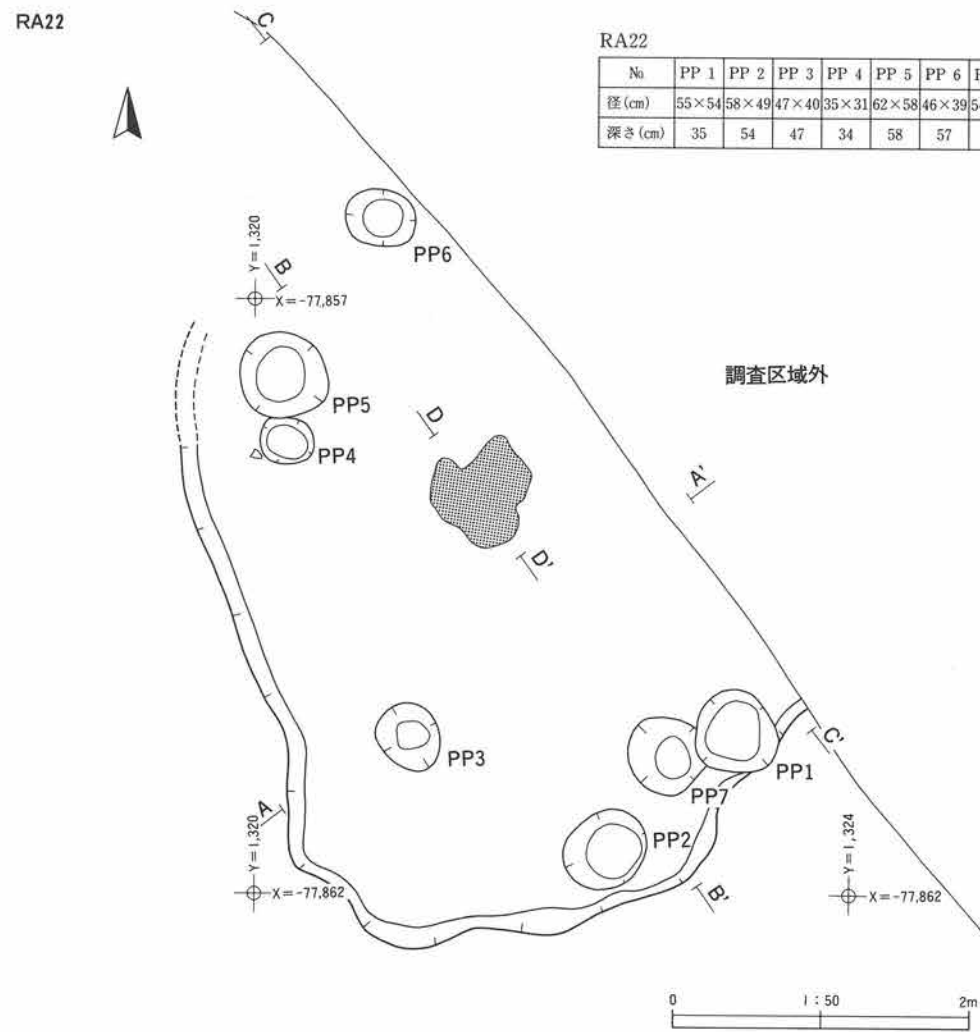


第50図 RA21住居跡

RA22

RA22

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	55×54	58×49	47×40	35×31	62×58	46×39	54×51
深さ (cm)	35	54	47	34	58	57	35



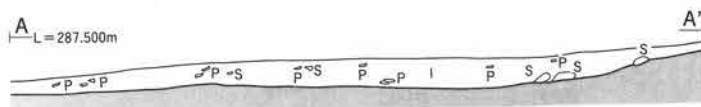
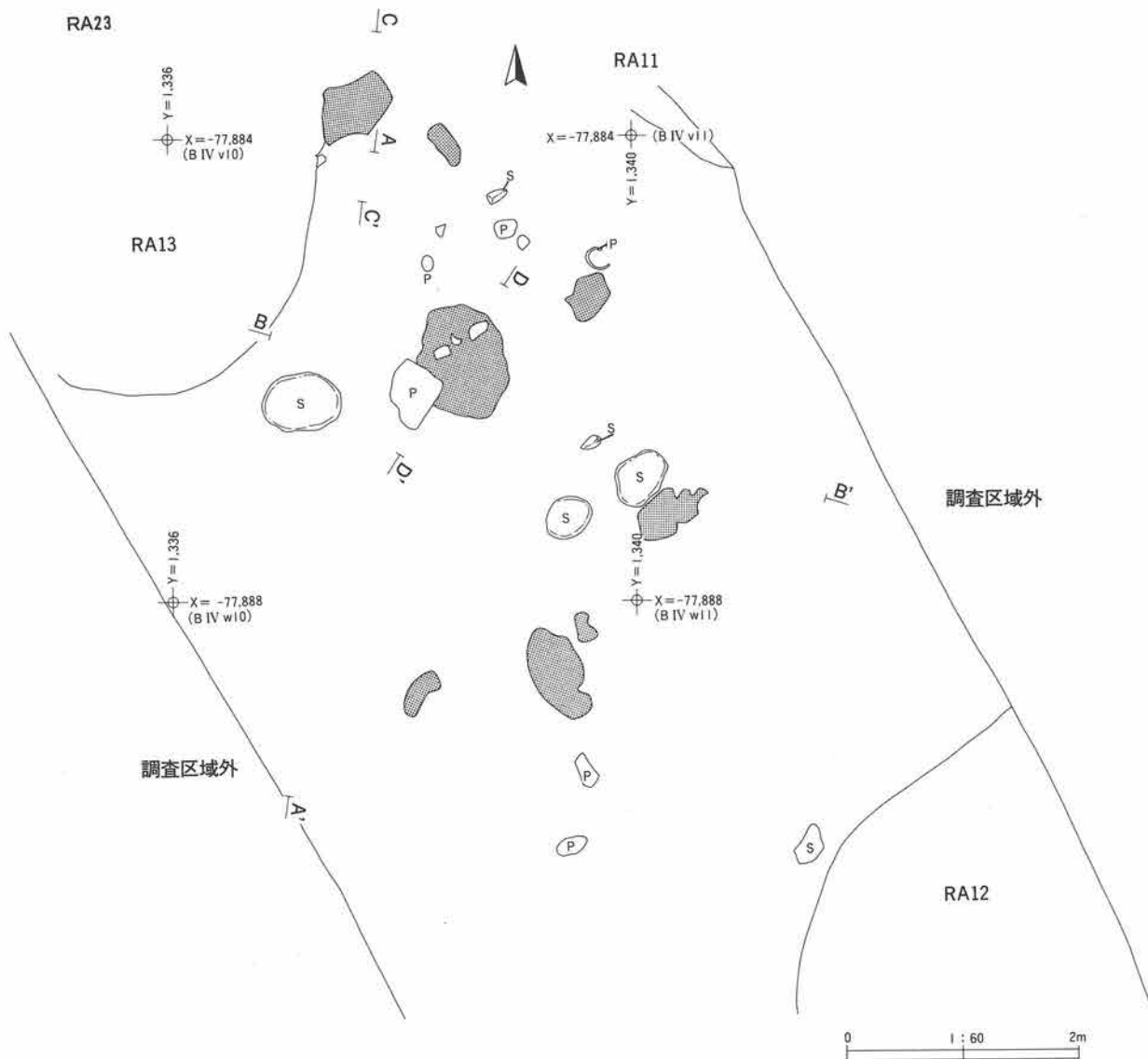
RA22 A-A'・B-B'・C-C'

- 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。

RA22-伊 D-D'

- 層位 色調 土性
 1 5YR5/8 明赤褐色 締まり中、明赤褐土ブロック混入、焼土。
 2 10YR5/6 黄褐色 締まり中。

第51図 RA22住居跡

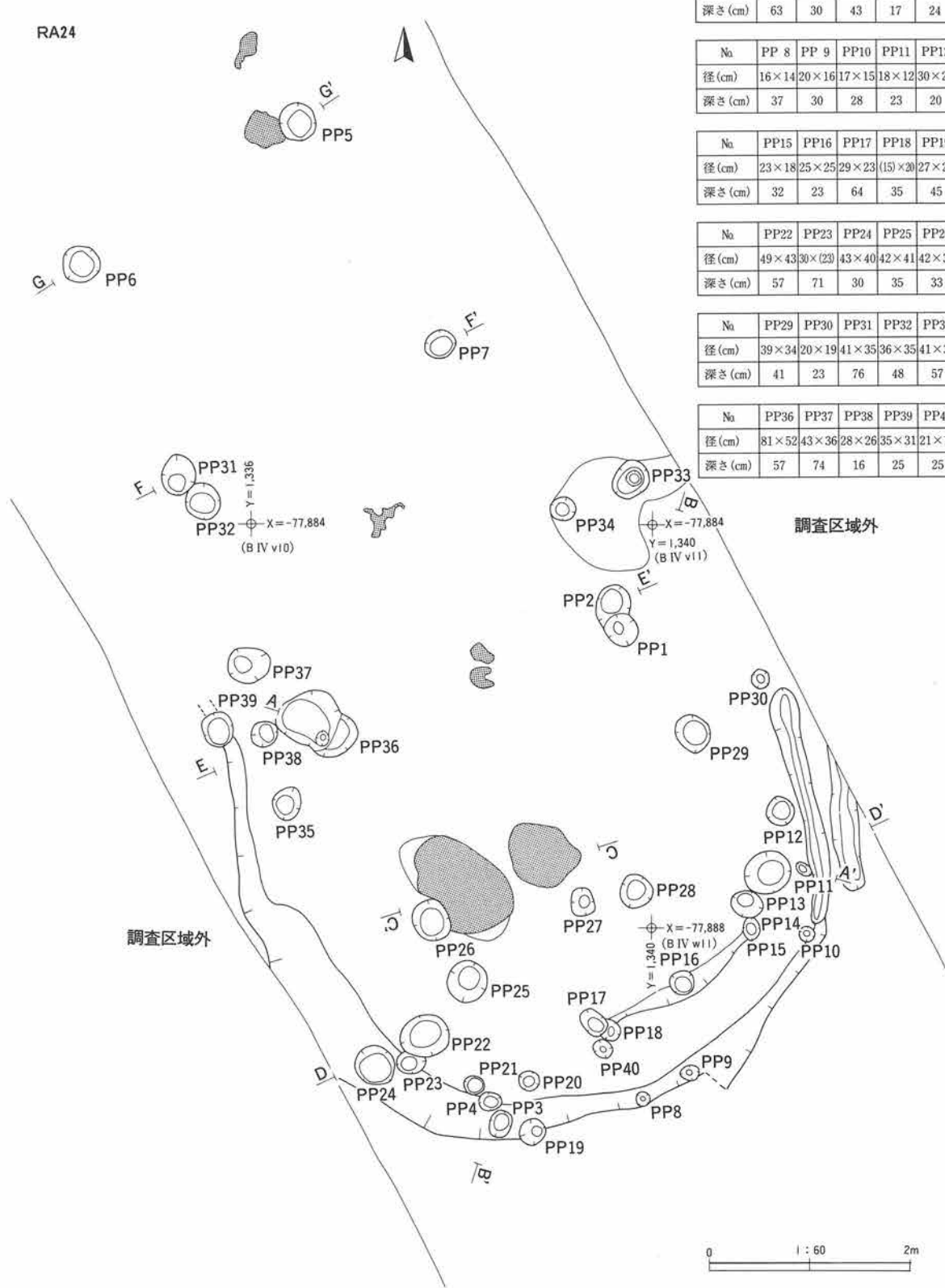


RA23 A-A'・B-B'
 層位 色調 土性
 1 10YR4/6 褐色 締まり密、炭化物1%・焼土粒1%混入。

RA23-跡1 C-C'
 層位 色調 土性
 1 5YR6/6 橙色 締まり中、焼土。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 3 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。

RA23-跡2 D-D'
 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/6 明赤褐色 締まり中、焼土。

第52図 RA23住居跡



RA24

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	32×30	33×30	30×23	23×19	39×36	39×38	31×28
深さ (cm)	63	30	43	17	24	30	24

No	PP 8	PP 9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14
径 (cm)	16×14	20×16	17×15	18×12	30×29	48×42	34×27
深さ (cm)	37	30	28	23	20	52	78

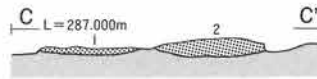
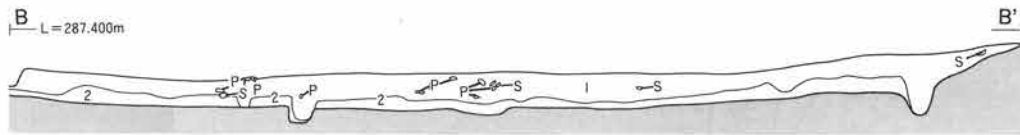
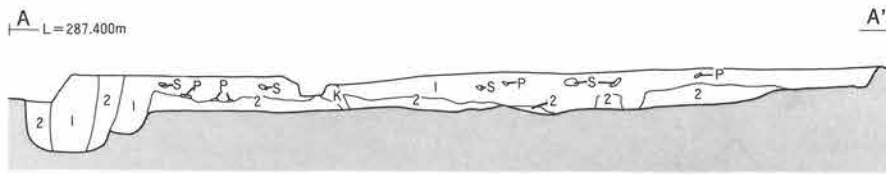
No	PP15	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21
径 (cm)	23×18	25×25	29×23	(15)×20	27×26	22×20	21×19
深さ (cm)	32	23	64	35	45	29	20

No	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28
径 (cm)	49×43	30×(23)	43×40	42×41	42×36	28×24	35×33
深さ (cm)	57	71	30	35	33	28	20

No	PP29	PP30	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35
径 (cm)	39×34	20×19	41×35	36×35	41×34	25×24	35×30
深さ (cm)	41	23	76	48	57	30	6

No	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40
径 (cm)	81×52	43×36	28×26	35×31	21×18
深さ (cm)	57	74	16	25	25

第53図 RA24住居跡(1)

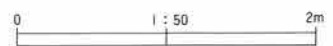
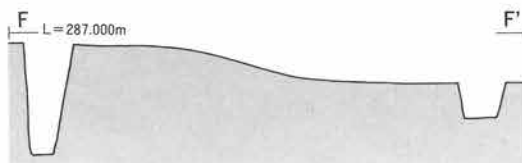
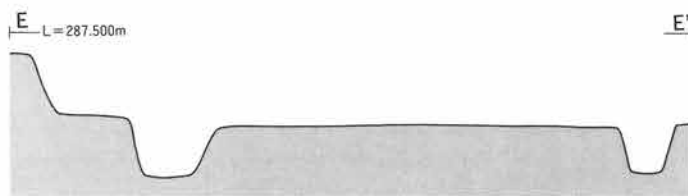
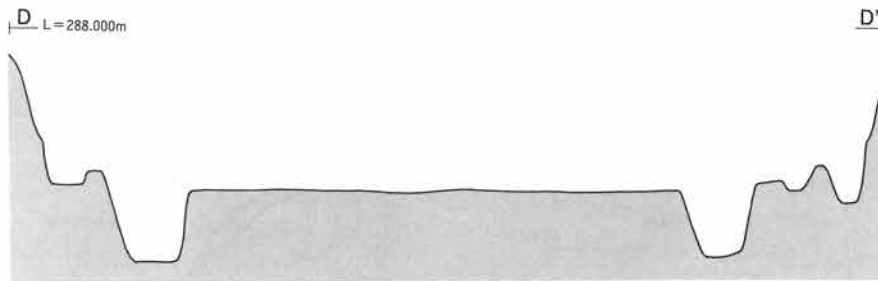


RA24 A-A'・B-B'

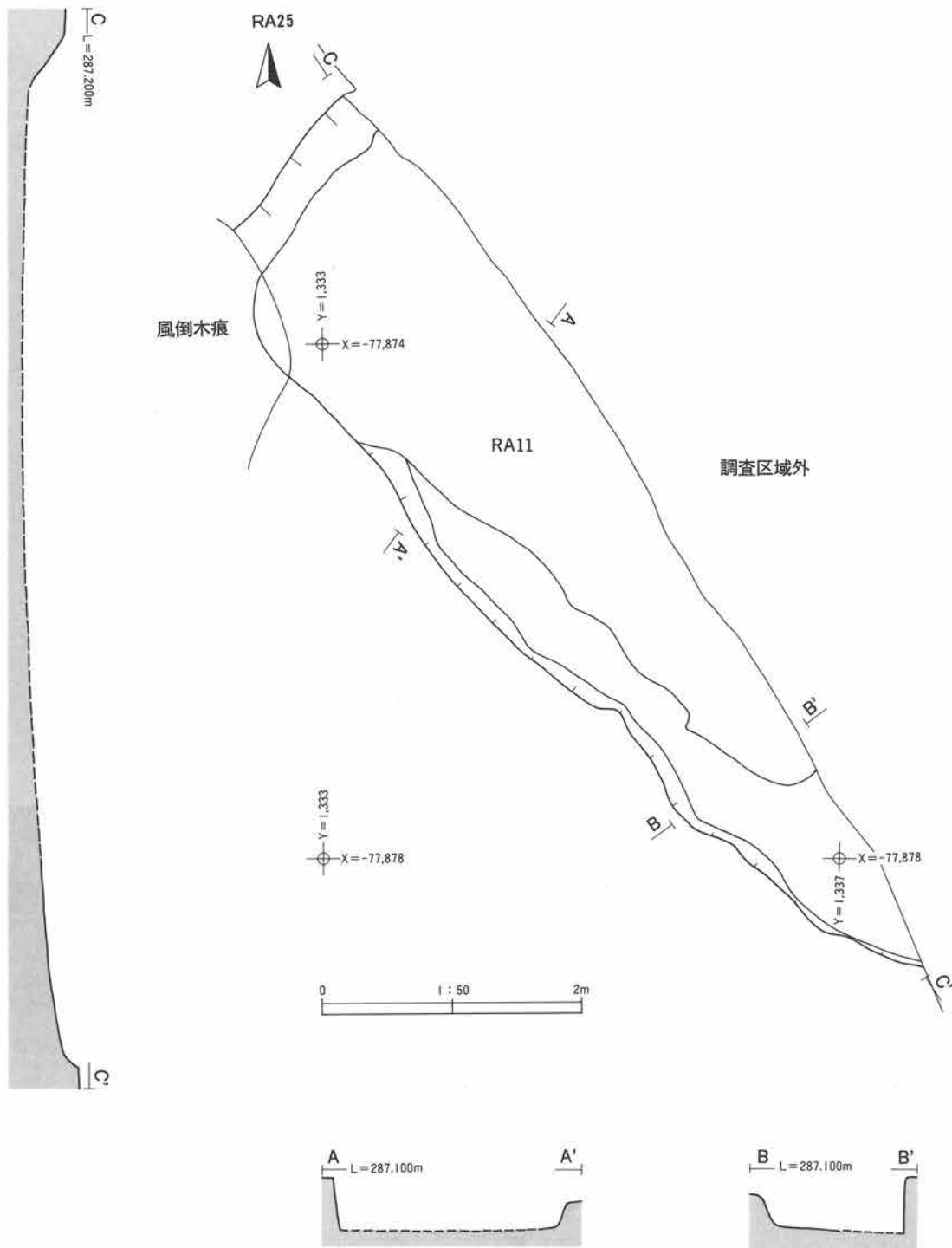
層位	色調	土性
1	10YR3/2 黒褐色	締まり中、炭化物1%・土器片・燻混入。
2	10YR4/6 褐色	締まり密、炭化物1%・焼土粒1%混入。

RA24-跡1・2 C-C'

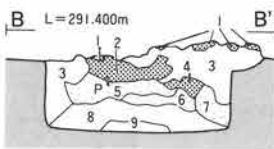
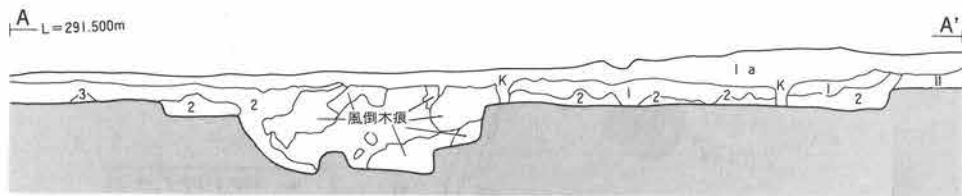
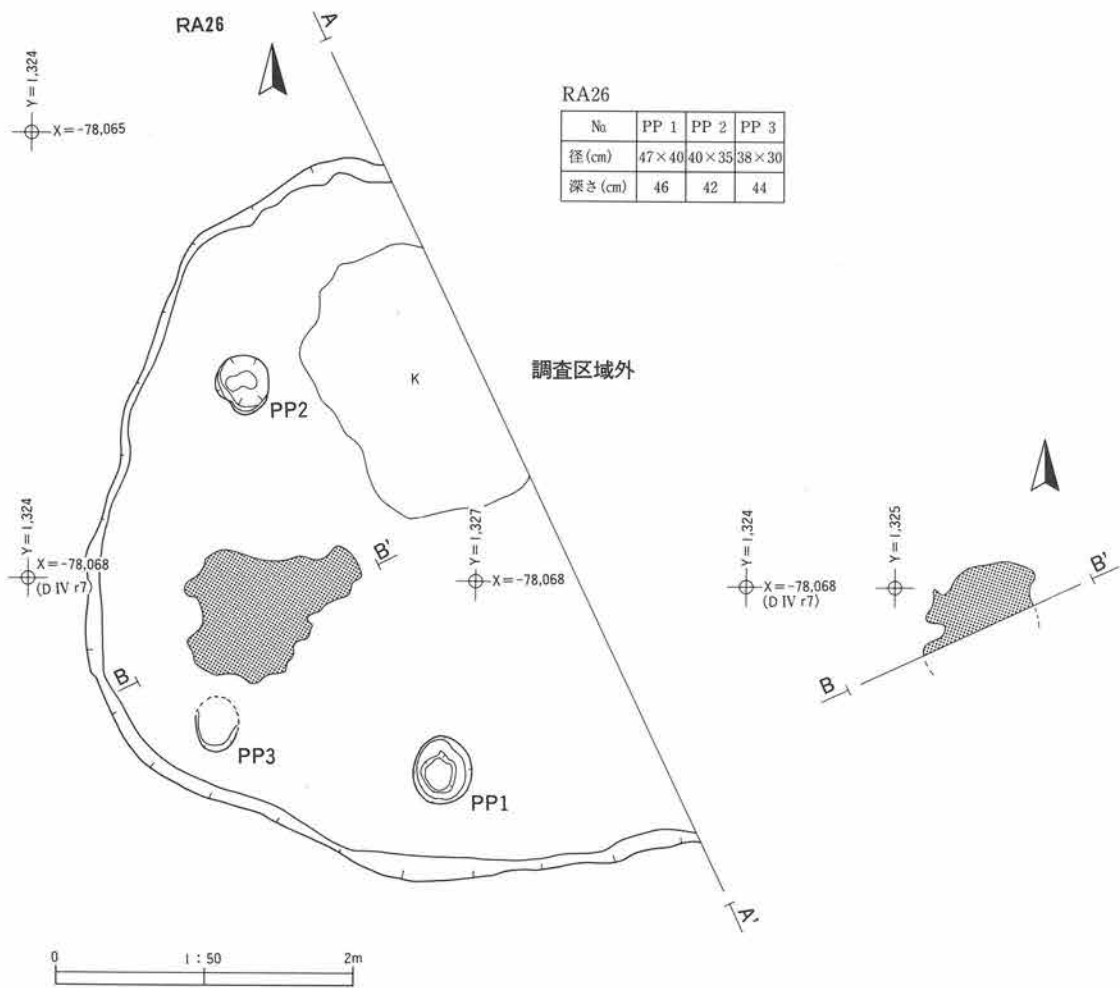
層位	色調	土性
1	2.5YR5/8 明赤褐色	締まり密。
2	2.5YR4/8 赤褐色	締まり密。



第54図 RA24住居跡(2)



第55図 RA25住居跡

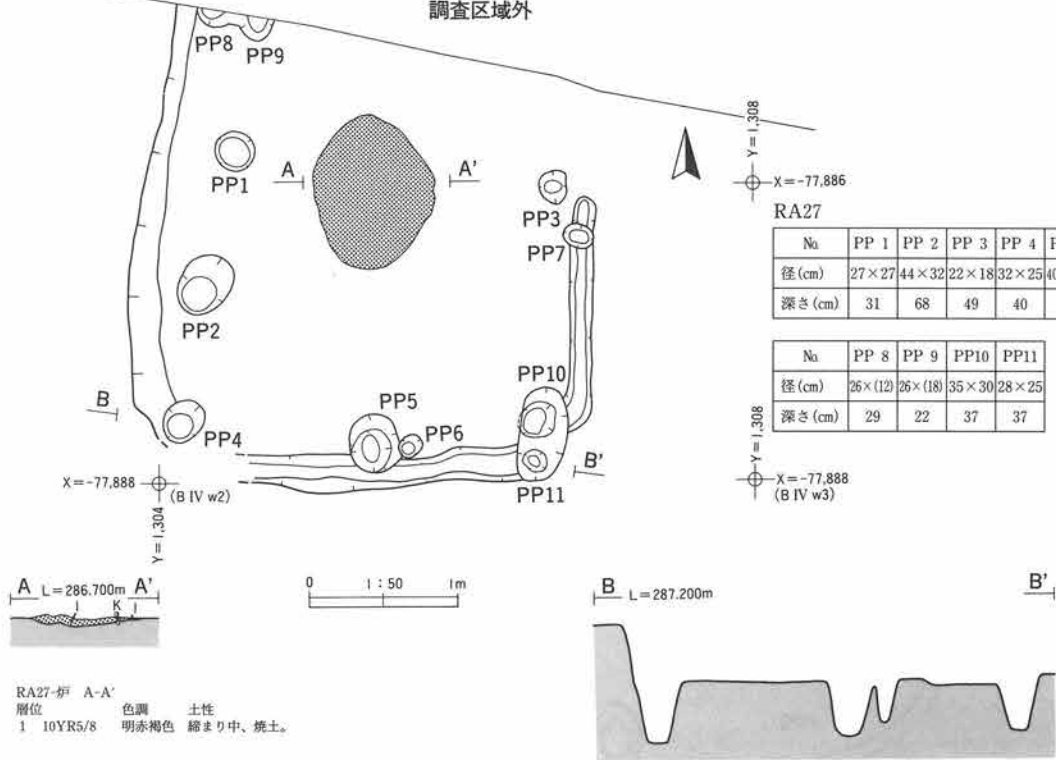


- RA26 A-A'
- 層位 色調 土性
- 10YR2/3 黒褐色 締まりやや密。
 - 10YR3/4 暗褐色~10YR4/6 褐色 締まりやや疎。
- RD26-戸・RD45 B-B'
- 層位 色調 土性
- 5YR4/8 赤褐色 締まりやや密、焼土。
 - 5YR4/6 赤褐色 締まりやや密、焼土。
 - 10YR3/2 黒褐色 締まりやや疎。
 - 10YR4/4 褐色 締まり密、焼土。
 - 5YR5/8 明赤褐色 締まりやや疎、焼土ブロック10%混入。
 - 10YR3/4 暗褐色 締まりやや密、炭化物5%・焼土3%混入。
 - 7.5YR4/6 褐色 締まりやや疎、焼土多量混入。
 - 10YR4/6 褐色 締まりやや密。
 - 10YR2/3 黒褐色 締まりやや密、褐色土5%混入。

第56図 RA26住居跡

RA27

調査区域外



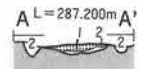
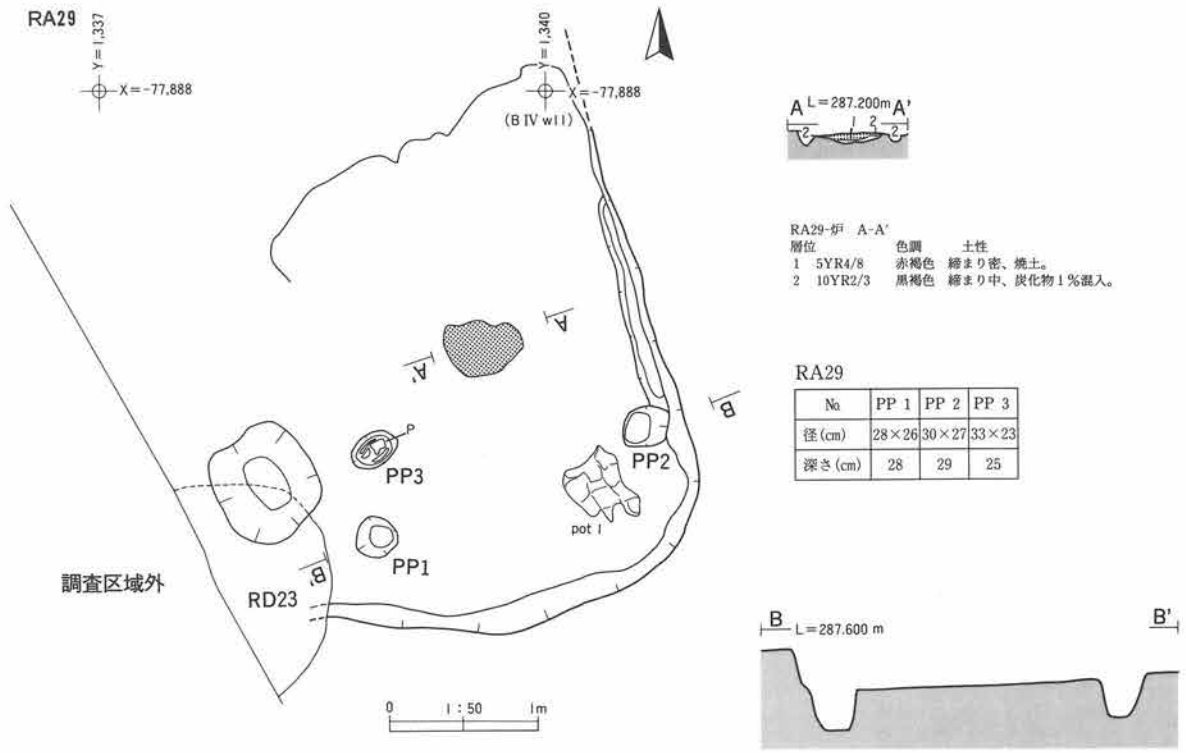
RA27

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6	PP 7
径 (cm)	27×27	44×32	22×18	32×25	40×34	17×14	21×17
深さ (cm)	31	68	49	40	35	17	30

No	PP 8	PP 9	PP10	PP11
径 (cm)	26×(12)	26×(18)	35×30	28×25
深さ (cm)	29	22	37	37

RA27-跡 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR5/8 明赤褐色 締まり中、焼土。

RA29

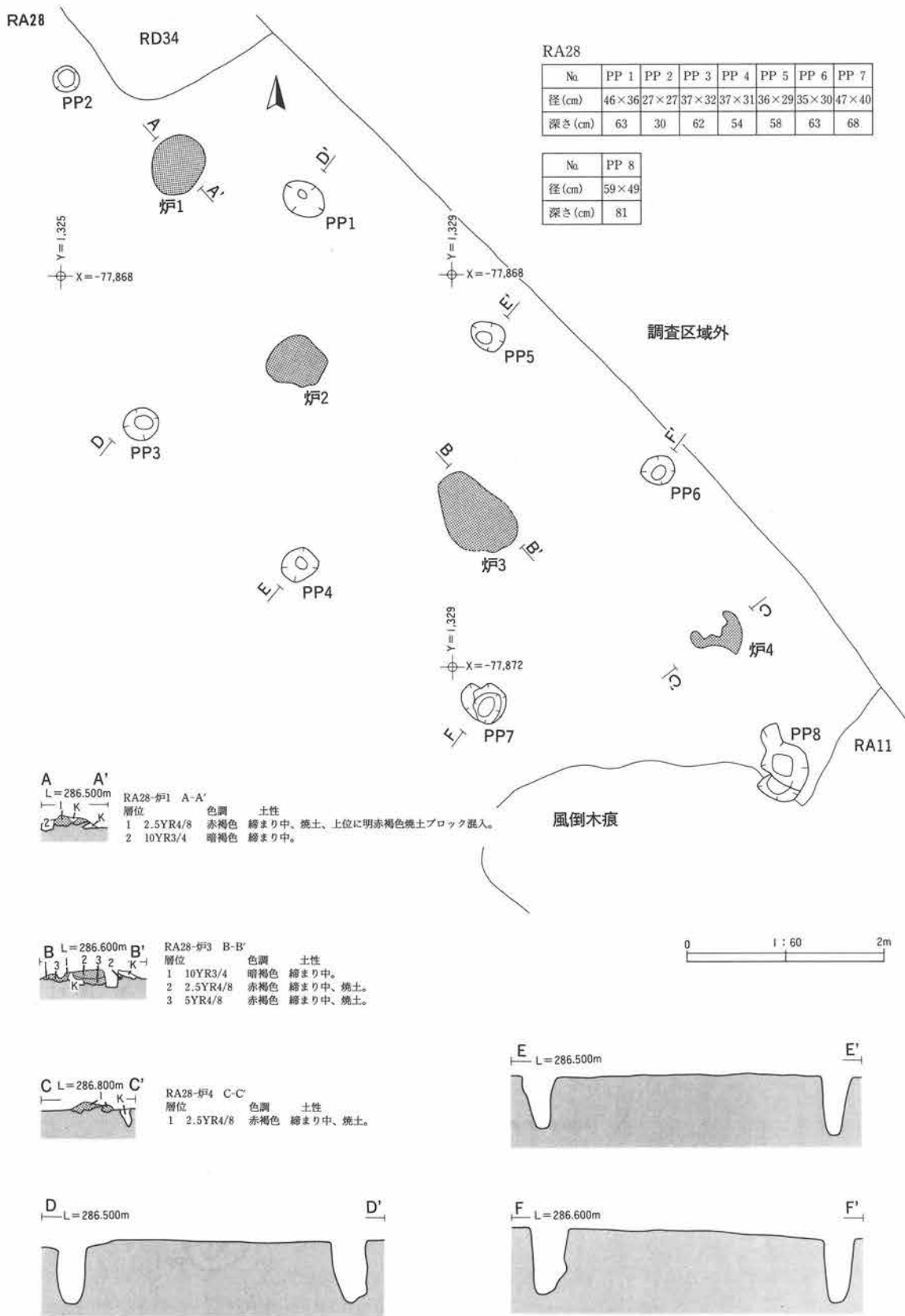


RA29-跡 A-A'
 層位 色調 土性
 1 5YR4/8 赤褐色 締まり密、焼土。
 2 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。

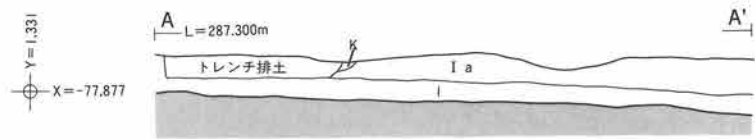
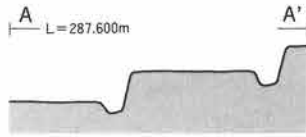
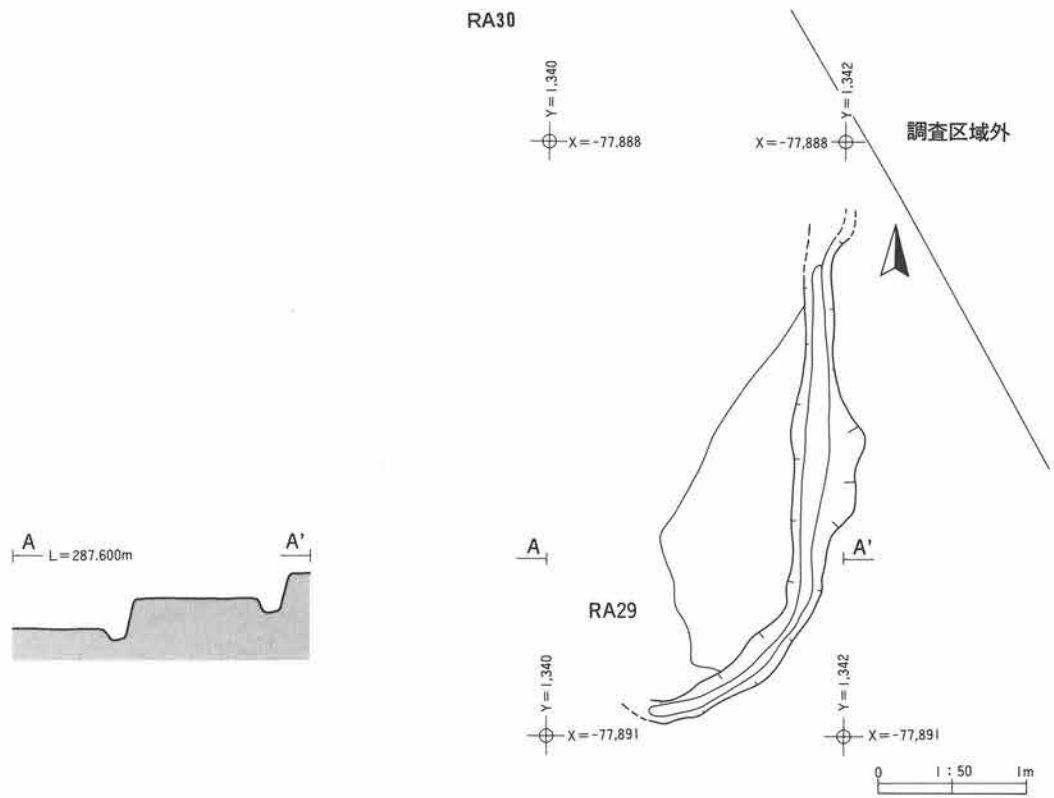
RA29

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	28×26	30×27	33×23
深さ (cm)	28	29	25

第57図 RA27・29住居跡



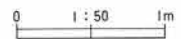
第58図 RA28住居跡



RA31 A-A'
層位 色調 土性
I 10YR3/4 暗褐色 締まり中。

RA31

No	PP 1
径 (cm)	58×55
深さ (cm)	64



第59図 RA30・31住居跡

第3表 住居跡観察表

No.	遺構名	位置	平面形	規模 (m)	主軸	柱配置	炉の形態	炉の規模 (cm)	周溝	重複 (旧→新)	特記事項	出土遺物	
												土器 (g)	石器 (g)
1	RA01	B IV R21~B IV S22	円形?	(3.5) × (2.45)	—	不明	地床炉(1)	85 × (15)		RA03 → RA01		712	201.6
2	RA02	B III t22~u22	隅丸長方形?	(5.0) × (2.8)	N-15°-E	2 × 2 以上?	不明	—	○	RA02 → RA05	焼失	5410	752.8
3	RA03	B III S21	円形?	(3.0) × (1.8)	—	不明	不明	—		RA03 → RA01	剝片貯蔵?	817	409.5
4	RA04	B III u23~B IV v01	隅丸長方形?	(14.0) × (4.7)	N-80°-W	2 × (5 以上)	地床炉(1)	65 × 35	○	RA05 → RA04, RA09 → RA04		20359	2892.2
5	RA05	B III t23~B III v24	隅丸長方形?	(8.7) × 5.4	N-25°-E	2 × (3 以上)	地床炉(3)	230 × 135		RA05 → RA06		17313	3774.3
6	RA06	B III t23~B III v24	隅丸長方形?	(5.2) × (5.2)	N-35°-E	2 × (2 以上)	地床炉(2)	95 × 65	○	RA05 → RA06		12040	1274.9
7	RA07	B IV v02	隅丸長方形?	(6.2) × 4.6	N-10°-E	2 × (2 以上)	地床炉(4)	235 × 105	○	RA27 → RA07	建替	91375	8561.7
8	RA08	B IV w04~w05	隅丸長方形?	(4.8) × 5.65	N-5°-W	2 × (2 以上)	地床炉(3)	65 × 55	○	なし	建替	30336	4747.3
9	RA09	B III u25~B IV w01	隅丸長方形?	(8.8) × 4.6	N-6°-E	2 × (3 以上)	地床炉(5)	120 × 65	○	RA09 → RA04, RD50 → RA09	埋設土器	52135	7295.1
10	RA10	B IV x08~y09	円形?	6.0 × (3.9)	—	不明	地床炉(1)	70 × 40		RD07, 15, 20 と重複		7005	1855.2
11	RA11	B IV s09~t10	隅丸長方形?	(5.8) × (1.7)	N-45°-W	不明	不明	—	○	RA25 → RA11		21253	793.0
12	RA12	B IV w11~x12	円形?	6.4 × (3.5)	—	不明	不明	—	○	RA16 → RA12		19943	2581.8
13	RA13	B IV u09~v20	円形?	7.0 × (3.5)	—	不明	地床炉(1)	75 × 50		RA13 → RD30, RA13 → RZ11		17905	2123.0
14	RA14	C IV b12~b13	円形	4.15 × 4.1	—	4	地床炉(1)	100 × 90	○	なし		5442	1653.5
15	RA15	B III n23~o25	長槽円形?	(8.6) × (5.0)	N-65°-E	2 × (2 以上)	地床炉(3)	150 × 70		RA17 → RA15 → RD29, RZ08, 09		8260	1936.9
16	RA16	B IV w11~x12	円形?	4.4 × 2.5	—	不明	地床炉(1)	50 × 40	○	RA16 → RA12		2431	1121.3
17	RA17	B III o23~p24	?	(8.0) × (4.0)	N-90°-W	不明	地床炉(2)	50 × 35		RA17 → RA15		1749	67.7
18	RA18	B III r07~r08	?	(5.3) × (3.9)	N-40°-W	4	石囲炉(1)	129 × 90		RA28 → RA18		3149	1312.5
19	RA19	B IV q06~r07	円形?	8.1 × (3.4)	—	不明	地床炉(2)	95 × 60		RD40, 42, 43, 44 → RA19		5047	3035.9
20	RA20	B III o04~o05	隅丸方形?	(2.8) × 3.8	—	不明	地床炉(1)	60 × 40		RA20 → RD38		4739	93.4
21	RA21	B IV u10~v10	?	(7.0) × (4.6)	—	不明	地床炉(2)	40 × 40		なし		6638	1435.9
22	RA22	B IV o06~p06	方形?	(5.0) × (3.45)	—	不明	地床炉(1)	70 × 65		なし		308	88.7
23	RA23	B IV v10~w10	?	(6.0 × 4.0)	N-20°-W	不明	地床炉(3)	100 × 80		RA23 → RA29		59616	6542.9
24	RA24	B IV v10~w10	?	11.0 × 6.0	N-20°-W	不明	地床炉(3)	115 × 65	○	RA24 → RA23		15225	2548.0
25	RA25	B IV s09~t10	?	(8.2) × (1.7)	—	不明	不明	—		RA25 → RA11		0	0
26	RA26	B IV q07~r07	円形?	5.2 × (3.2)	—	不明	地床炉(1)	135 × 95		RD45 → RA26		247	170.3
27	RA27	B IV v02	方形?	(3.0) × (3.15)	N-10°-E	不明	地床炉(1)	105 × 80	○	RA27 → RA07		151	40.9
28	RA28	B IV q07~q08	?	(11.0) × (4.0)	N-50°-W	2 × 3 ?	地床炉(4)	95 × 65		RA28 → RA18		1540	31.6
29	RA29	B IV w10~w11	方形?	(3.5) × (3.5)	—	不明	地床炉(1)	50 × 40	○	RA23 → RA29, RA29 → RD23		4083	439.6
30	RA30	B IV w11	?	(1.65) × (1.05)	—	不明	不明	—	○	RA30 → RA29		90	118.2
31	RA31	B IV t08	?	6 以上?	N-35°-W	不明	地床炉(2)	(70) × 50	○	なし		103	1.4

土器は総重量
石器は製品を除く剝片の重量

2. 土坑（第60～74図、写真図版31～42）

50基検出された。平面形は円形を基調とするものが多く、特に B III区でまとまって検出している。RD11・12・42土坑からドングリ・クリなどの植物遺体、RD04・06から土器がまとまって出土している。

R D01土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉 B III 114グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉 開口部径175cm×140cm、底部径165cm×130cm、楕円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ20cm。壁は底部付近の立ち上がりが僅かに確認できるのみ。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 底面中央に副穴1基を伴い。四方に広がる溝をもつ。副穴は、規模24×20cm、深さ21cm、埋土は黒褐色土の単層である。

遺物（第185・263・296図、写真図版101・157・182）

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉 破片（665）。

〈石器〉 石錘（1899）、敲磨器 B 類（2127）。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D02土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉 B III 114～m14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 南側で RD12土坑と重複する。RD02土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径240×185cm、底部径225×175cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 底面中央と長軸の両端壁際に2基、計3基の柱穴を伴う。埋土は黒褐色土である。また中央から四方に延びる溝状の施設を伴う。

遺物（第185・219・232・268・296図、写真図版101・127・136・161・182）

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・炭化材（クリ）が出土している。

〈土器〉 破片（666～669）。

〈石器〉 石鏃（1468・1469）、石篋（1643）、敲磨器 Aa 類（1944）・B 類（2128・2129）。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D03土坑

遺構（第60図、写真図版31）

〈位置・検出状況〉 B III k13～k14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉 開口部径272×180cm、底部径260×165cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ20cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 中央と長軸両端に3基の副穴を伴う。

遺物 (第185・228・268図、写真図版101・133・161)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (670)。

〈石器〉 石匙 (1599)、敲磨器 Aa 類 (1945)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

R D05土坑

遺構 (第61図、写真図版32)

〈位置・検出状況〉 B III n14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土で構成される。

〈規模・形態〉 開口部径185×140cm、底部径165×120cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ24cm。壁は外傾して立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 中央 (PP 1) と長軸片側の壁際 (PP 3) に2基の副穴を伴う。PP 1埋土には礫が混入していた。新PPはこの土坑を切る柱穴状土坑である。

遺物 (第142・185・219・228・281図、写真図版64・102・127・133・170)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 立体 (192)、(685・686)。

〈石器〉 石鏃 (1472・1473)、石匙 (1600・1601)。敲磨器 Ac 類 (2031)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

R D06土坑

遺構 (第61・92図、写真図版32)

〈位置・検出状況〉 B III m14～n14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色と黒褐色土からなる。

〈規模・形態〉 開口部径240×225cm、底部径230×225cm・円形。

〈断面形・深さ〉 フラスコ状・深さ75cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 中央と軸線上の両壁際に3基の副穴を伴う。PP 2の覆土と底部は柱当たりの痕跡を遺

す。また中央から四方に延びる溝状の施設を伴う。

遺物 (第123・124・142・186・219・228・238・263・264・297・301図、写真図版64・65・102・127・133・140・157・158・182・186)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・炭化材(クリ)が出土している(第92図)。

〈土器〉立体(193・194・195・196)、破片(687～694)。

〈石器〉石鏃(1474)、石匙(1602・1603)、不定形石器(1684)、石錘(1900～1905)、敲磨器B類(2130・2157)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D07土坑

遺構 (第62図、写真図版16)

〈位置・検出状況〉B IV x 8～x 9 グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡と重複する。新旧関係は不明である。

〈埋土・堆積状況〉不明。

〈規模・形態〉推定で径260×240cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉不明。5 cm以上。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉円形を呈する周溝と周溝内に副穴の可能性をもつ小柱穴を検出した。

遺物 (第124・143・144図、写真図版65・66)

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉立体(197～203)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

R D08土坑

遺構 (第62図、写真図版32)

〈位置・検出状況〉B III o13～p13グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側は調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と褐色土からなる。

〈規模・形態〉開口部径175×(95)cm、底部径195×(95)cm・円形基調。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ115cm。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底部中央付近に副穴を1基伴い、溝状の施設1条が中央から北西に延びている。

遺物 (第144・186・219・239・268図、写真図版66・102・127・140・161)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉立体(204)、破片(695～697)。

〈石器〉石鏃(1475・1476)、両極石器(1694)、敲磨器Aa類(1947)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R D09土坑

遺構 (第62図、写真図版32)

〈位置・検出状況〉 B III k14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土と褐色土で構成される。

〈規模・形態〉 開口部径175×160cm、底部径165×165cm・円形。

〈断面形・深さ〉 フラスコ状・深さ70cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 底部中央と両壁際に計3基の副穴を伴う。埋土は暗褐色土の単層で、PP1・PP3は底面に柱当たりの痕跡を遺す。また溝状施設が中央から四方に延びる。

遺物 (第144・186・219・228・232・264図、写真図版66・102・127・133・136・158)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・炭化材(クリ)が出土している。

〈土器〉 立体(205)、破片(698~709)。

〈石器〉 石鏃(1477・1478)、石匙(1604)、石篋(1645)、石錘(1906)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉~中期初頭と思われる。

R D10土坑

遺構 (第63図、写真図版33)

〈位置・検出状況〉 B III l15~m15グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土・暗褐色土・にぶい黄褐色土からなる。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径160×(70)cm、底部径180×(80)cm・円形基調。

〈断面形・深さ〉 フラスコ状・深さ125cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 底部中央付近に副穴を1基伴い、中央から壁際に延びる1条の溝状の施設をもつ。

遺物 (第187・219・238・264図、写真図版102・127・140・158)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・炭化材(クリ・ナラ)が出土している。

〈土器〉 破片(710~713)。

〈石器〉 石鏃(1479・1480)、不定形石器(1685)、石錘(1907)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D11土坑

遺構 (第63・92図、写真図版33)

〈位置・検出状況〉 B III l15グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径170×(98)cm、底部径200×(110)cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 フラスコ状・深さ98cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉底部中央付近に副穴を1基伴い、中央から壁際に延びる溝状施設を1条もつ。

遺物 (第187・239・264図、写真図版103・140・158)

〈出土状況〉埋土2層から炭化材(クリ)、埋土5層から植物遺体(ドングリ)、床上から7層で土器が出土している(第92図)。

〈土器〉破片(714~724)。

〈石器〉両極石器(1695・1696)、石錘(1908~1913)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D12土坑

遺構 (第63図、写真図版33)

〈位置・検出状況〉B III m14グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。

〈重複〉RD02土坑と重複する。RD12土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径95×(80)cm、底部径110×(80)cm・円形。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ50cm。壁は内湾しながら立ち上がる。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第124・144・187・220・265・281図、写真図版66・103・127・158・170)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・植物遺体(クリ)が出土している。

〈土器〉立体(206・207)、破片(725~730)。

〈石器〉石鏃(1481)、石錘(1914)、敲磨器Ac類(2032・2033)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D13土坑

遺構 (第64図、写真図版33)

〈位置・検出状況〉B III s23グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。西側は一部攪乱を受けている。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉暗褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径140×(145)cm、底部径120×(135)cm・楕円形?

〈断面形・深さ〉皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。北から南へ緩く傾斜する。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第220・282図、写真図版127・170)

〈出土状況〉埋土から石器・炭化材(クリ)が出土している。

〈石器〉石鏃(1482)、敲磨器Ac類(2034)。

時期 時期決定の遺物を欠くが、縄文時代前期と推定される。

R D 14土坑

遺構 (第64図、写真図版34)

〈位置・検出状況〉B III y10グリッド。III層で楕円形の広がりとして検出された。東側は調査区域外にかかる。西側は一部攪乱を受けている。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径195×135cm、底部径180×125cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ25cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面ほぼ中央に副穴1基を伴う。

遺物 (第187・297図、写真図版103・182)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片 (731)。

〈石器〉敲磨器 B 類 (2131)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D 15土坑

遺構 (第64図、写真図版34)

〈位置・検出状況〉B IV y9グリッド。III層でI e層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA10住居跡と重複する。

〈埋土・堆積状況〉黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉開口部径193×170cm、底部径170×135cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ27cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面ほぼ中央に副穴1基と四方に広がる溝状施設を伴う。

遺物 (第187・220・307図、写真図版103・127・190)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉破片 (732～734)。

〈石器〉石鏃 (1483)。

〈石製品〉岩偶 (2176)、玦状耳飾り (2187)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

R D 16土坑

遺構 (第64図、写真図版34)

〈位置・検出状況〉B IV w5～x6グリッド。I e層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径265×230cm、底部径240×230cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ16cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 底面は南東壁際に副穴2基を伴う。

遺物 (第145・188・220・228・238・239・304・307図、写真図版67・103・104・127・133・140・188・190)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉 立体 (208～211)、破片 (735～745)。

〈石器〉 石鏃 (1484)、石匙 (1605)、不定形石器 (1686・1687)。

〈石製品〉 石棒 (2166)。珧状耳飾り (2187)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

RD17土坑

遺構 (第65図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉 B IV w 6～7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。北側は調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD19土坑と重複する。RD17土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径280×153cm、底部径260×140cm・楕円形？

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ35cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第145・188・220・239・265・305図、写真図版67・104・127・140・158・189)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉 立体 (212)、破片 (746～748)。

〈石器〉 石鏃 (1485・1486)、不定形石器 (1688)、石錘 (1915)。

〈石製品〉 鯉節形石製品 (2170)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

RD18土坑

遺構 (第65図、写真図版34)

〈位置・検出状況〉 B IV w 3 グリッド。I c 層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径105×82cm、底部径92×72cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第188・220・228図、写真図版104・127・133)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (749・750)。

〈石器〉 石鏃 (1487)、石匙 (1606)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D19土坑

遺構 (第65図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉 B IV w 7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RD17土坑と重複する。RD19土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径 (220)×(110)cm、底部径 (190)×(180)cm・楕円形?

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。やや凸凹をもつ。

〈副穴等の付属施設〉 PP 1～PP 5 の副穴を伴う。

遺物 (第145・188・189・228・229・233・265・282・297図、写真図版67・104・133・136・158・159・170・183)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器・土偶が出土している。

〈土器〉 立体 (213)、破片 (751～764)。

〈土製品〉 土偶 (1254)。

〈石器〉 石匙 (1607～1609)、石篋 (1646)、石錘 (1916)、敲磨器 Ac 類 (2035)・B 類 (2132・2133)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R D20土坑

遺構 (第65図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉 B IV x 9 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA10住居跡と重複する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径140×110cm、底部径95×85cm・楕円形

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 PP 1・2 の 2 基の副穴を伴う。

遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

時期 出土遺物は無く、詳細は不明だが、縄文時代前期と推定される。

R D21土坑

遺構 (第66図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉B IV x10グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径203×(85)cm、底部径195×(75)cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ10cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

時期 出土遺物は無く、詳細は不明である。

R D22土坑

遺構 (第66図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉B IV x12グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径110×85cm、底部径65×75cm・円形。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ28cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。やや凸凹がある。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第189図、写真図版104)

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片 (765・766)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉以降と思われる。

R D23土坑

遺構 (第66図、写真図版35)

〈位置・検出状況〉B IV w10グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色土と黄褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径150×(80)cm、底部径130×(65)cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉皿状・深さ35cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第189図、写真図版104)

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (767・768・769)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D24土坑

遺構 (第66図、写真図版36)

〈位置・検出状況〉 C IV a13グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD25土坑と重複する。RD24土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径110×(115)cm、底部径120×110cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ30cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第189図、写真図版104)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (770)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D25土坑

遺構 (第66図、写真図版36)

〈位置・検出状況〉 C IV a13グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RD24土坑と重複する。RD25土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径325×(130)cm、底部径280×115cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ20cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第189図、写真図版104)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (771)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D26土坑

遺構 (第67図、写真図版36)

〈位置・検出状況〉 C IV d12グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径245×(70)cm、底部径230×50cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ20cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第297図、写真図版183)

〈出土状況〉 埋土から石器が出土している。

〈石器〉 敲磨器 B 類 (2134)。

時期 時期決定の遺物を欠き、詳細は不明であるが、縄文時代前期と思われる。

R D 27土坑

遺構 (第67図、写真図版36)

〈位置・検出状況〉 C IV c13グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径255×185cm、底部径225×155cm・円形基調と思われる。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ35cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第189・229・239図、写真図版104・133・140)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (772)。

〈石器〉 石匙 (1610)、不定形石器 (1689)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D 29土坑

遺構 (第67図、写真図版36)

〈位置・検出状況〉 B III n24グリッド。RA15住居跡の精査後に検出された。

〈重複〉 RA15住居跡と重複する。RD29土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉 おもに褐色土である。人為堆積？

〈規模・形態〉 開口部径155×135cm、底部径130×105cm・円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第190・229図、写真図版105・133)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (774・775)。

〈石器〉 石匙 (1612)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D 30土坑

遺構 (第67図、写真図版37)

〈位置・検出状況〉 B IV s 9～t 9 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土である。人為堆積？

〈規模・形態〉 開口部径240×190cm、底部径195×120cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ68cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第190・220・229・233・265・282図、写真図版105・127・133・136・159・170)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (776～786)。

〈石器〉 石鏃 (1488)、石匙 (1613)、石筥 (1647)、石錘 (1917・1918)、敲磨器 Ac 類 (2036)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

R D 31土坑

遺構 (第68図、写真図版37)

〈位置・検出状況〉 B IV n25グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土と黒褐色土である。人為堆積？

〈規模・形態〉 開口部径210×170cm、底部径180×140cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第190・265図、写真図版105・159)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (787)。

〈石器〉 石錘 (1917・1918)。

時期 出土遺物から縄文時代前期中葉と思われる。

R D 32土坑

遺構 (第68図、写真図版37)

〈位置・検出状況〉 B IV n05～06グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。西側が攪乱を受けている。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土とである。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径240×170cm、底部径205×140cm・隅丸方形。
〈断面形・深さ〉 皿状・深さ60cm。壁は外傾する。
〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉 底面中央に副穴1基、長軸壁際に副穴2基と、四方に広がる溝状施設をもつ。
遺物 (第190・265・282・298図、写真図版105・159・171・183)
〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉 破片 (788～791)。
〈石器〉 石錘 (1919)、敲磨器 Ac類 (2037・2038)・B類 (2135・2136)。
時期 出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

R D33土坑

遺構 (第68図、写真図版37)

〈位置・検出状況〉 B III m6グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径250×(90)cm、底部径 (230)×(80)cm・隅丸方形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ53cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 底面中央から壁際に延びる溝状の施設を1条伴う。

遺物 (第190図、写真図版105)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (792～793)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D34土坑

遺構 (第69図、写真図版38)

〈位置・検出状況〉 B III q7グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。東側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 B IV q7-PP4・PP5と重複する。RD34が切られている。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径270×(150)cm、底部径 (230)×135cm・隅丸方形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ80cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 副穴を1基伴う。

遺物 (第145・190・220・282・298図、写真図版67・105・127・171・183)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 立体 (214・215)。破片 (794～799)。

〈石器〉 石鏃 (1489)、敲磨器 Ac 類 (2039)・B 類 (2137)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

R D35土坑

遺構 (第69図、写真図版38)

〈位置・検出状況〉 B III t23～24グリッド。RA05住居跡の精査中に暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA05住居跡と重複し、RA05住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土と黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径185×150cm、底部径165×120cm・隅丸方形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ60cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第191・220・229・282・283図、写真図版105・127・133・171)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (800～806)。

〈石器〉 石鏃 (1490・1491)、石匙 (1614)、敲磨器 Ac 類 (2040・2041)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉～末葉と思われる。

R D36土坑

遺構 (第70図、写真図版38)

〈位置・検出状況〉 B III i11グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径140×(80)cm、底部径190×(93)cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第145・191・233図、写真図版67・105・136)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 立体 (216)、破片 (807～809)。

〈石器〉 石篋 (1647)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D37土坑

遺構 (第70図、写真図版38)

〈位置・検出状況〉 B III i11グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA13住居跡と重複し、RD37土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径265×(195)cm、底部径243×(180)cm・隅丸長方形である。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ40cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第146・191・192・220・239・265・266・283図、写真図版68・106・127・128・140・159・160・171)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 立体 (217)、破片 (810～823)。

〈石器〉 石鏃 (1492・1493)、不定形石器 (1690)、石錘 (1920～1930)、敲磨器 Ac 類 (2042)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉と思われる。

R D38土坑

遺構 (第70図、写真図版39)

〈位置・検出状況〉 B III o4グリッド。RA20住居跡の精査中に黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA20住居跡と重複し、RD38土坑が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。自然堆積。

〈規模・形態〉 開口部径160×(110)cm、底部径140×(90)cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ50cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 底面に副穴1基を伴う。

遺物 (第192図、写真図版106)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (824・825)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D39土坑

遺構 (第70図、写真図版39)

〈位置・検出状況〉 B IV x11グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉 開口部径125×(108)cm、底部径108×(99)cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第192・220図、写真図版106・128)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉 破片 (826・827)。

〈石器〉 石鏃 (1494)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

R D40土坑

遺構 (第71図、写真図版39)

〈位置・検出状況〉 B IV q7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と暗褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径155×150cm、底部径123×95cm・円形。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 副穴を1基伴う。

遺物 (第146・192図、写真図版56・106)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 立体 (218)、破片 (828・829)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

R D41土坑

遺構 (第71図、写真図版39)

〈位置・検出状況〉 B IV V11グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径 (190)×80cm、底部径175×70cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 副穴を1基伴う。

遺物 (第192図、写真図版106)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (830・831)。

時期 出土遺物から縄文時代前期中葉以降と思われる。

R D42土坑

遺構 (第71図、写真図版39)

〈位置・検出状況〉 B IV r7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。西側が調査区域外にかかる。

〈重複〉 RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 黒褐色土の単層である。

〈規模・形態〉 開口部径 (195)×120cm、底部径175×105cm・不整な楕円形である。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 南壁際に副穴を1基伴う。

遺物 (第192・220・266図、写真図版106・128・160)

〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。埋土1層から植物遺体(クリ)が出土している。

〈土器〉 破片 (832～834)。

〈石器〉 石鏃 (1495～1498)、石錘 (1931)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D43土坑

遺構 (第71図、写真図版40)

〈位置・検出状況〉 B IV q 6 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA19住居跡と重複する。RA19住居跡が新しい。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径115×105cm、底部径100×90cm・不整な楕円形である。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ28cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第192図、写真図版106)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (835・836)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D44土坑

遺構 (第72図、写真図版40)

〈位置・検出状況〉 B IV r 7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RD42土坑と重複する。RD44土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径100×72cm、底部径90×65cm・円形と推定される。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ20cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第192図、写真図版106)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (837・838)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D45土坑

遺構 (第72図、写真図版40)

〈位置・検出状況〉 B IV q 7～r 7 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA26住居跡と重複する。RD45土坑が古い。
〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土と褐色土である。
〈規模・形態〉 開口部径143×140cm、底部径134×132cm・円形と推定される。
〈断面形・深さ〉 皿状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。
〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉 なし。
遺物 (第192図、写真図版106)
〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。
〈土器〉 破片 (839)。
時期 出土遺物から縄文時代中期と思われる。

RD46土坑

遺構 (第72図、写真図版40)
〈位置・検出状況〉 B III p23～r7グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉 なし。
〈埋土・堆積状況〉 おもに暗褐色土である。
〈規模・形態〉 開口部径112×141m、底部径78×82cm・円形と推定される。
〈断面形・深さ〉 皿状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。
〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉 なし。
遺物 (第192・229図、写真図版106・134)
〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉 破片 (840・841)。
〈石器〉 石匙 (1615)。
時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

RD47土坑

遺構 (第72図、写真図版41)
〈位置・検出状況〉 B III p23グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。
〈重複〉 なし。
〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と褐色である。
〈規模・形態〉 開口部径127×85m、底部径105×65cm・楕円形。
〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ33cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。
〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。
〈副穴等の付属施設〉 なし。
遺物 (第192・229図、写真図版106・134)
〈出土状況〉 埋土から土器・石器が出土している。
〈土器〉 破片 (842)。

〈石器〉 石匙 (1616)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D 48土坑

遺構 (第73図、写真図版41)

〈位置・検出状況〉 B IV03グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土と褐色である。

〈規模・形態〉 開口部径130×125cm、底部径100×90cm・円形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ30cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第298図、写真図版183)

〈出土状況〉 埋土から石器が出土している。

〈石器〉 敲磨器 B 類 (2138)。

時期 時期決定の遺物を欠き、詳細は不明であるが、縄文時代前期と思われる。

R D 49土坑

遺構 (第73図、写真図版41)

〈位置・検出状況〉 B IV02グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 おもに褐色とにぶい黄褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径98×85cm、底部径50×50cm・円形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ32cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

時期 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代前期と推定される。

R D 50土坑

遺構 (第73図、写真図版41)

〈位置・検出状況〉 B III v25～B IV v1 グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA09住居跡と重複する。RD50土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径200×160cm、底部径172×145cm・円形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ15cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉底面に副穴4基をもつ。埋土は黒褐色土である。

遺物 (第192・229図、写真図版106・134)

〈出土状況〉埋土から土器・石器が出土している。

〈土器〉破片 (843・844)。

〈石器〉石匙 (1617)。

時期 出土遺物から縄文時代前期と思われる。

R D51土坑

遺構 (第74図、写真図版42)

〈位置・検出状況〉B III u22グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉RA06住居跡と重複する。RD51土坑が古い。

〈埋土・堆積状況〉おもに黒褐色と褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径100×90cm、底部径105×105cm・円形。

〈断面形・深さ〉フラスコ状・深さ62cm。壁は内湾する。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第192・220・229・267・307図、写真図版106・128・134・160・190)

〈出土状況〉埋土から土器・石器・石製品が出土している。

〈土器〉破片 (845～851)。

〈石器〉石鏃 (1499・1500)、石匙 (1618)、石錘 (1932・1933)。

〈石製品〉玦状耳飾り (2188)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

R D52土坑

遺構 (第74図、写真図版42)

〈位置・検出状況〉B III P25グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉なし。

〈埋土・堆積状況〉おもに暗褐色土である。

〈規模・形態〉開口部径110×85cm、底部径80×55cm・楕円形。

〈断面形・深さ〉鍋底状・深さ30cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉IV層を掘り込んでいる。やや西側が凹む。

〈副穴等の付属施設〉なし。

遺物 (第192図、写真図版107)

〈出土状況〉埋土から土器が出土している。

〈土器〉破片 (852)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉と思われる。

3. 墓壙 (第61図、写真図版31)

1 基を検出した。土坑の形状、埋土、底面付近からの遺物 (土器・石器・顔料) の出土状況から墓壙の可能性のあるものと判断した。人骨は出土していない。

R D04土坑

遺構 (第61・92図、写真図版31)

〈位置・検出状況〉 B III n14~n15グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈埋土・堆積状況〉 暗褐色土・黒褐色土・褐色土で構成される。人為堆積。

〈規模・形態〉 開口部径235×165cm、底部径215×140cm・隅丸長方形。

〈断面形・深さ〉 鍋底状・深さ60cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。平坦。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第123・141・185・219・232・263・268図、写真図版64・101・102・127・136・157・161)

〈出土状況〉 3層以下~底面にかけて、中央付近に大形の礫・炭化材 (クリ)・赤色顔料・縄文土器片が敷かれたように出土している (第92図)。

〈土器〉 立体 (187~191)・破片 (671~684)。

〈石器〉 石鏃 (1470・1471)、石筥 (1644)、石錘 (1899)、敲磨器 Aa 類 (1946)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。

4. 陥し穴状遺構 (第74図、写真図版42)

2基を検出した。離れた地点での単独での検出であり、配列等は不明である。形状から判断したもので、他遺構との重複もあり、詳細は不明である。

R D28陥し穴状遺構

遺構 (第74図、写真図版42)

〈位置・検出状況〉 B III w25~B IV w1 グリッド。RA09住居跡の精査中に検出された。

〈重複〉 RA09住居跡と重複する。新旧関係は不明である。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径235×35cm、底部径220×17cm・溝状。

〈断面形・深さ〉 皿状・深さ45cm。壁は外傾する。

〈底面の様子〉 III層を掘り込んでいる。東側がやや高まる。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

遺物 (第190図、写真図版105)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (773)。

時期 出土遺物から縄文時代前期以降と思われる。

R D53陥し穴状遺構

遺構 (第74図、写真図版42)

〈位置・検出状況〉 B IV v11グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA23住居跡と重複する。

〈埋土・堆積状況〉 おもに黒褐色土である。

〈規模・形態〉 開口部径120×28cm、底部径110×13cm・溝形。

〈断面形・深さ〉 V字状・深さ50cm。壁は直立ぎみに立ち上がる。

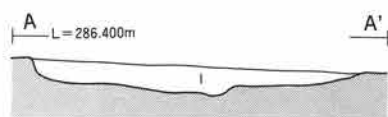
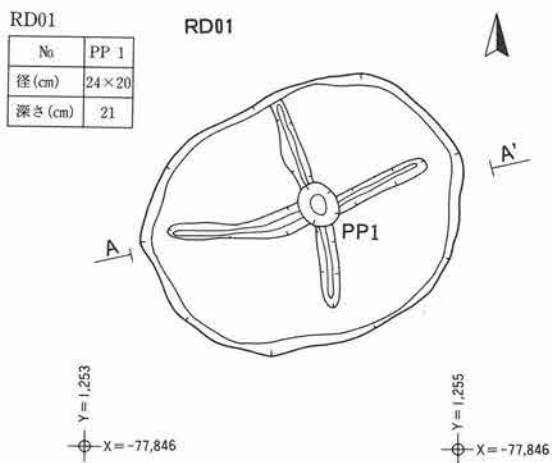
〈底面の様子〉 IV層を掘り込んでいる。ほぼ平坦である。

〈副穴等の付属施設〉 なし。

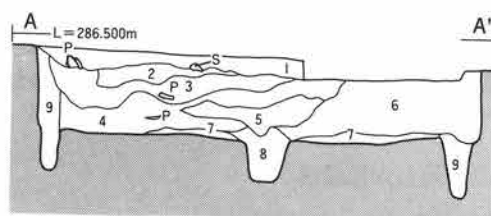
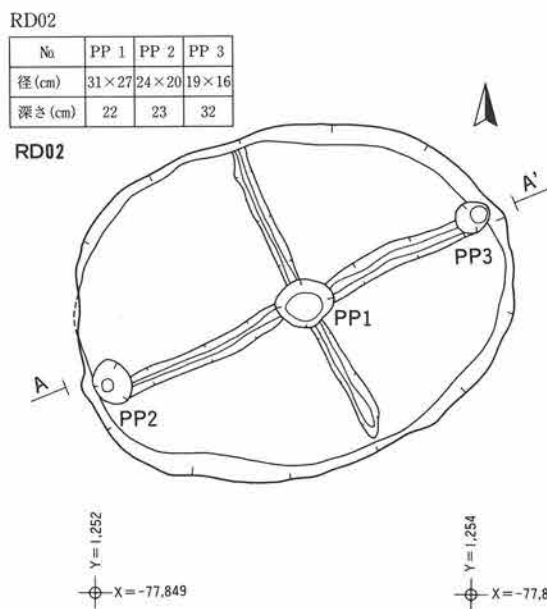
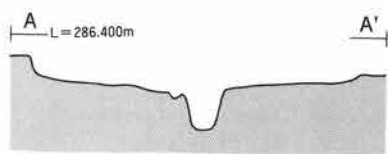
遺物 (第-図、写真図版-)

出土していない。

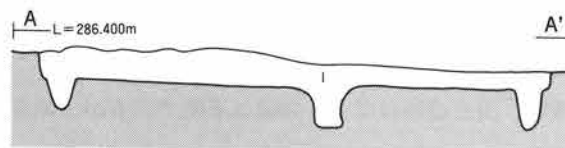
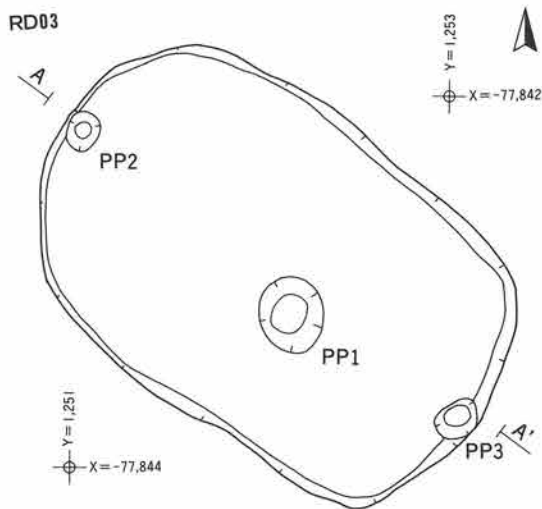
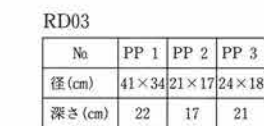
時期 出土遺物はなく、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。



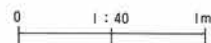
RD01 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/2 黒褐色 締まり密、炭化物1%・褐色土ブロック15%混入。



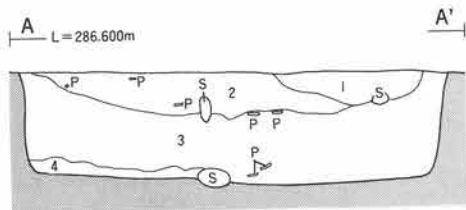
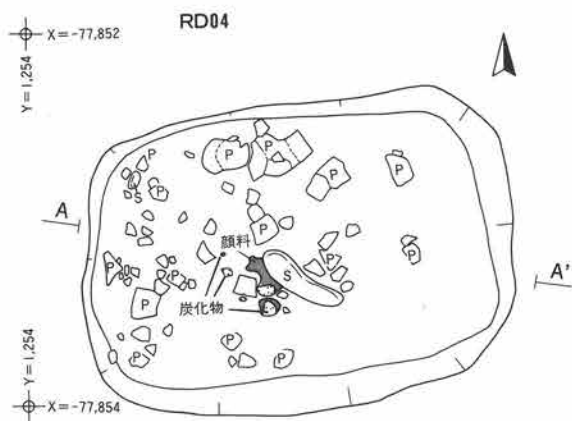
RD02 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
2 10YR3/2 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック10%・炭化物1%混入。
3 10YR2/2 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
4 10YR3/4 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック10%・炭化物1%混入。
5 10YR2/2 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
6 10YR3/2 黒褐色 締まり中。
7 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。
8 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック3%・炭化物1%混入。
9 10YR2/3 黒褐色~10YR3/3 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック1%混入。



RD03 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/2 黒褐色 締まり密、褐色土ブロック3%・炭化物1%混入。

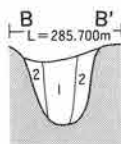


第60図 RD01・02・03土坑



RD04 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中、褐色土混入。
2	10YR2/3 黒褐色	締まり密、褐色土粒1%・炭化物1%混入。
3	10YR5/6 黄褐色	締まり密。
4	10YR4/6 褐色	締まり密。

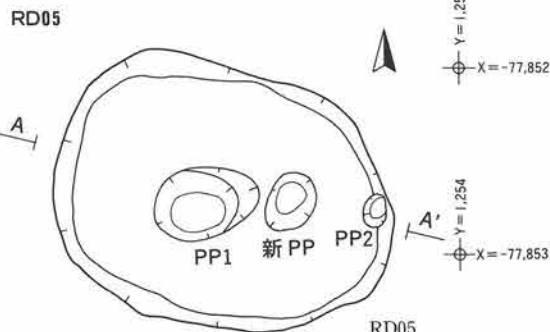
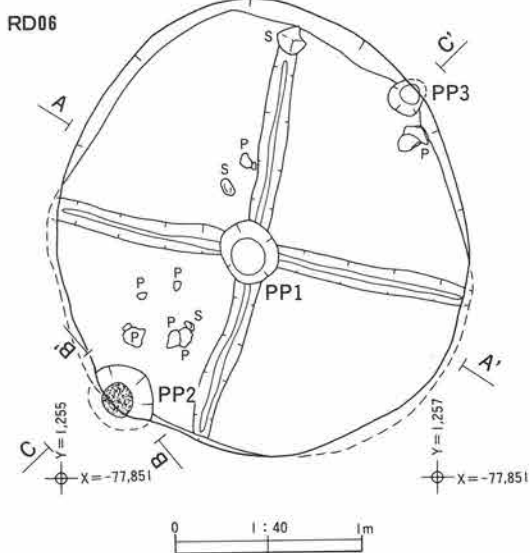


RD06-PP2 B-B'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり疎。
2	10YR5/6 黄褐色	締まり中。

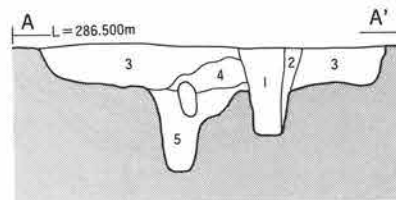
RD06

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	33×30	39×34	21×17
深さ (cm)	25	45	40



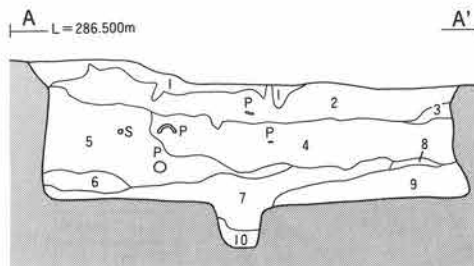
RD05

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	58×38	19×13
深さ (cm)	43	31



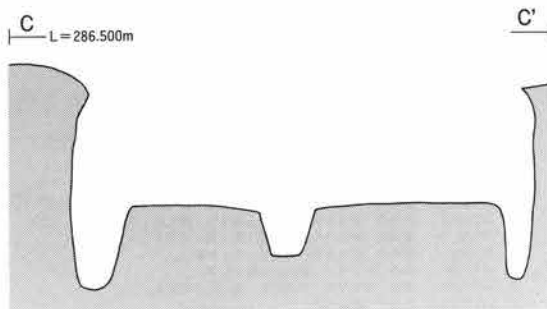
RD05 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中、炭化物1%混入。(新PP埋土)
2	10YR4/4 褐色	締まり中、暗褐色土混入。(新PP埋土)
3	10YR3/2 黒褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック1%混入。
4	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物3%混入。
5	10YR2/3 黒褐色	締まり疎、褐色土ブロック1%混入。

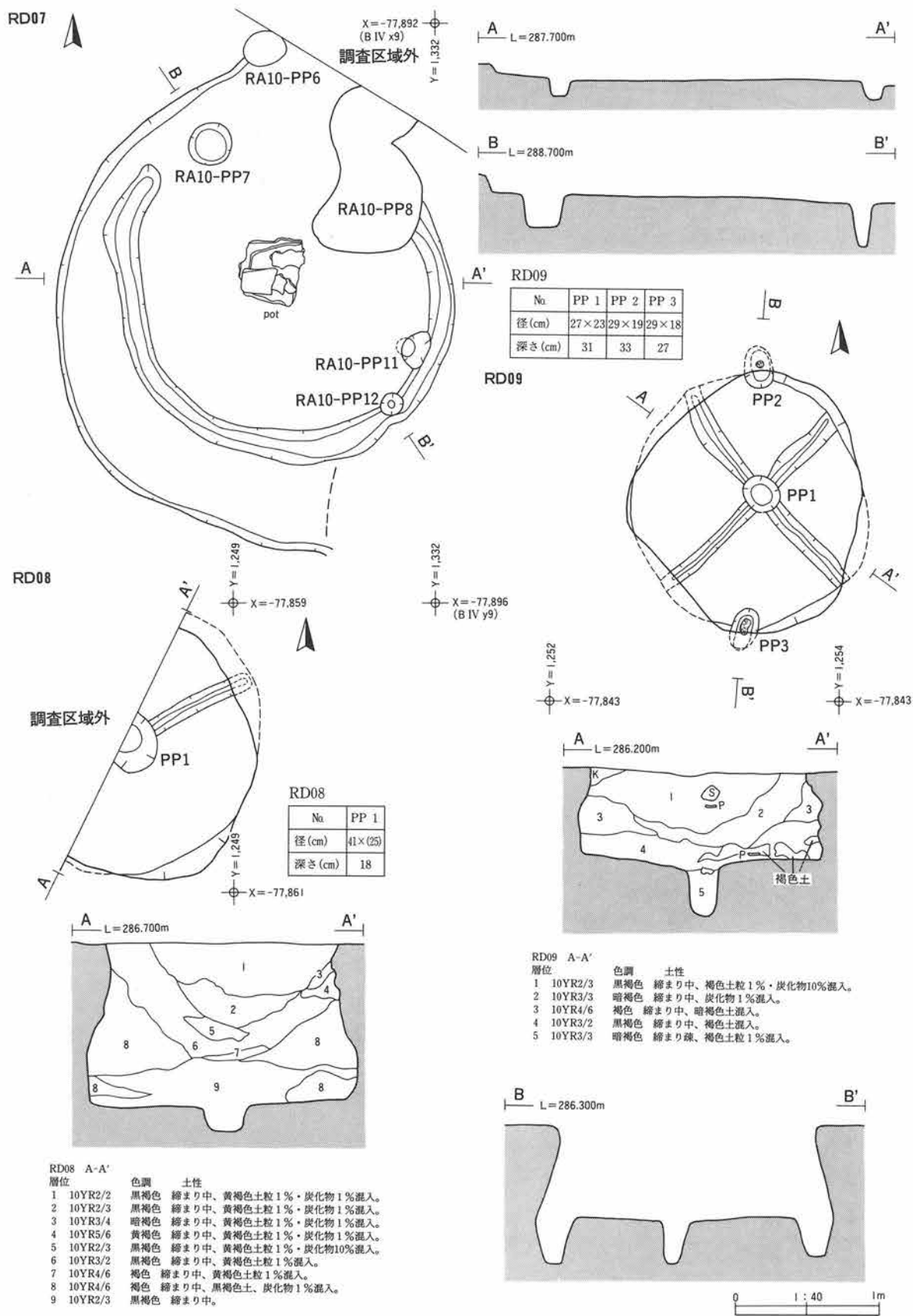


RD06 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中。
2	10YR3/3 暗褐色	締まり中、褐色土粒1%混入。
3	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
4	10YR2/3 黒褐色	締まり中、炭化物5%・褐色土粒1%混入。
5	10YR3/3 暗褐色	締まり中、褐色土粒1%混入。
6	10YR2/3 黒褐色	締まり中。
7	10YR4/6 褐色	締まり中。
8	10YR3/3 暗褐色	締まり中、焼土粒混入。
9	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
10	10YR2/3 黒褐色	締まり疎。



第61図 RD04・05・06土坑

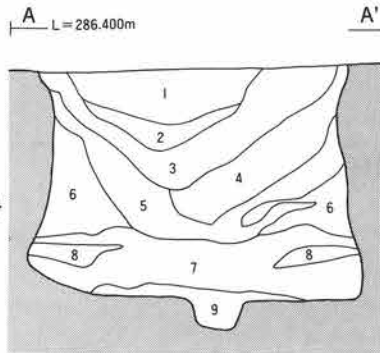
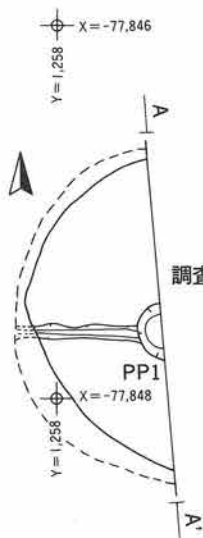


第62図 RD07・08・09土坑

RD10

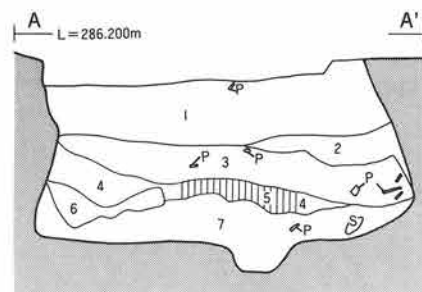
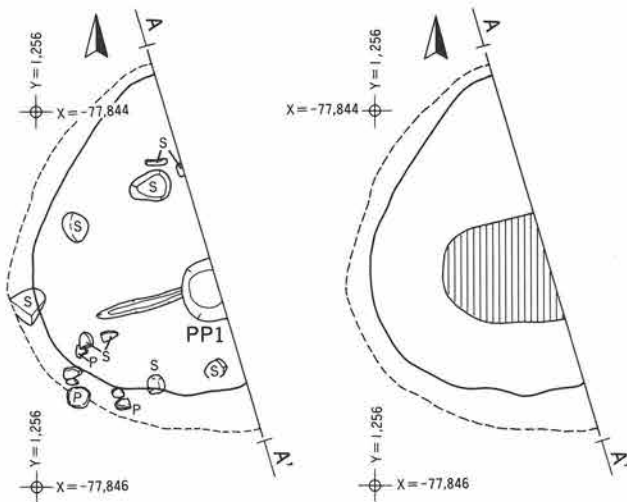
RD10

No.	PP 1
径 (cm)	29×(11)
深さ (cm)	15



- RD10 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|----------------|-------------|
| 1 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まり中。 |
| 2 | 10YR3/4 暗褐色 | 締まり中、褐色土混入。 |
| 3 | 10YR3/2 黒褐色 | 締まり中。 |
| 4 | 10YR3/3 暗褐色 | 締まり中。 |
| 5 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 締まり中。 |
| 6 | 10YR4/6 褐色 | 締まり中。 |
| 7 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まり中。 |
| 8 | 10YR4/6 褐色 | 締まり中。 |
| 9 | 10YR1.7/1 黒色 | 締まり疎。 |

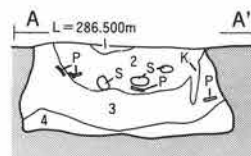
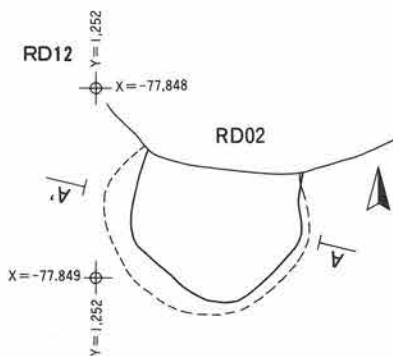
RD11



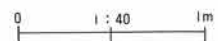
- RD11 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-------------|-----------------------|
| 1 | 10YR3/2 黒褐色 | 締まり密、褐色土ブロック1%・土器片混入。 |
| 2 | 10YR2/2 黒褐色 | 締まり疎、炭化物3%・焼土ブロック混入。 |
| 3 | 10YR2/2 黒褐色 | 締まり疎、炭化物3%混入。 |
| 4 | 10YR3/2 黒褐色 | 締まり疎。 |
| 5 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まり疎、堅果類混入。 |
| 6 | 10YR4/6 褐色 | 締まり密。 |
| 7 | 10YR3/2 黒褐色 | 締まり疎、褐色土ブロック3%混入。 |

RD11

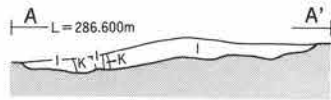
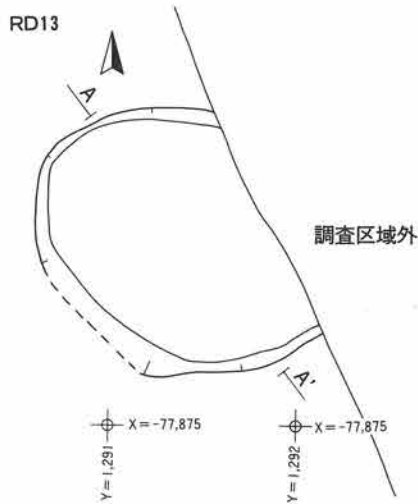
No.	PP 1
径 (cm)	33×(19)
深さ (cm)	16



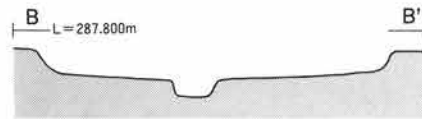
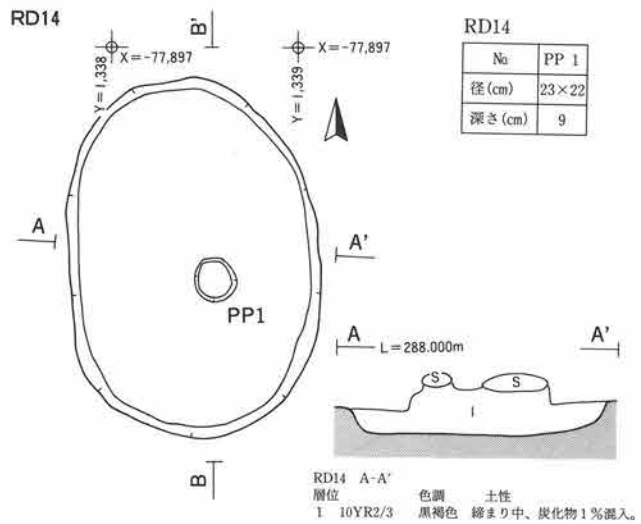
- RD12 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|----------------|--------------------|
| 1 | 10YR6/4 にぶい黄褐色 | 締まり中、炭化物3%混入。 |
| 2 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まり中、褐色土ブロック1%混入。 |
| 3 | 10YR3/3 暗褐色 | 締まり中、褐色土ブロック10%混入。 |
| 4 | 10YR3/4 暗褐色 | 締まり中。 |



第63図 RD10・11・12土坑



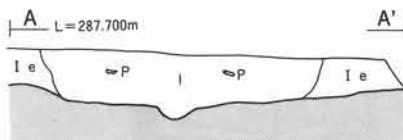
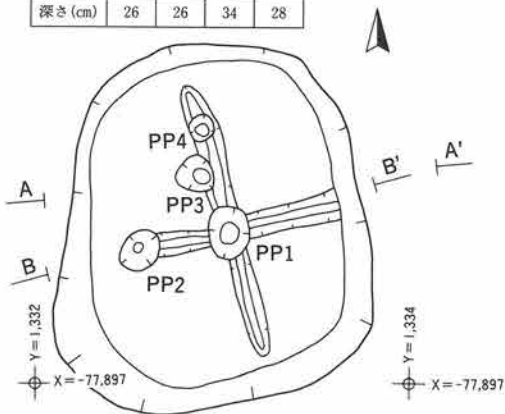
RD13 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。



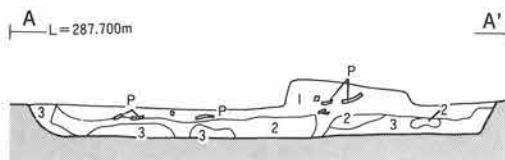
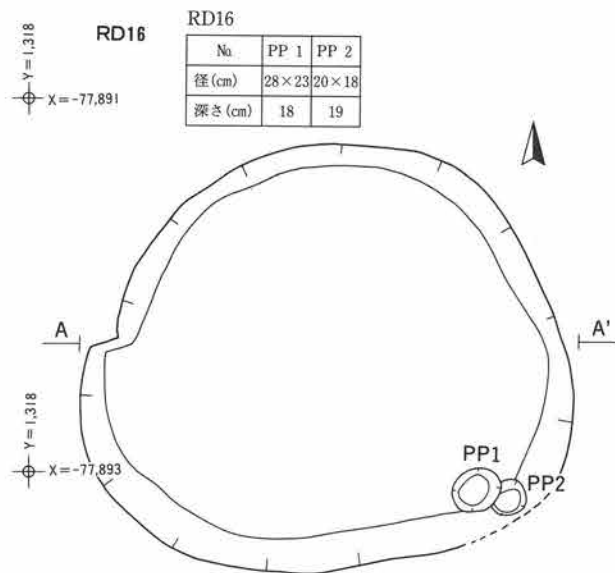
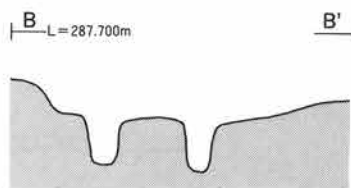
RD15

RD15

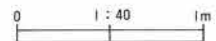
No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 (cm)	28×22	24×18	20×18	14×12
深さ (cm)	26	26	34	28



RD15 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土粒・炭化物1%・土器片混入。

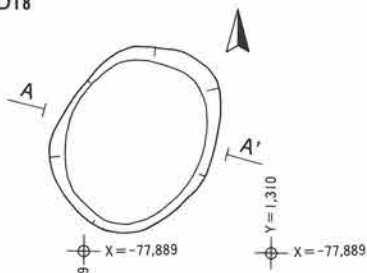


RD16 A-A'
層位 色調 土性
1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、土器片多量混入。
2 10YR3/1 黒褐色 締まり中、残土・褐色土粒・炭化物1%混入。
3 10YR3/4 暗褐色～10YR4/6 褐色 締まり中。



第64図 RD13・14・15・16土坑

RD18



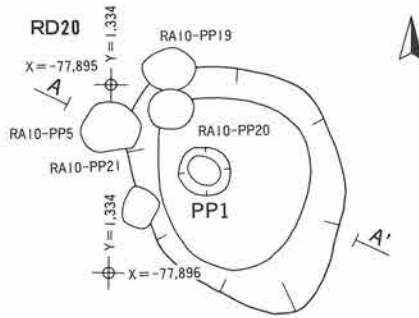
L=287.100m



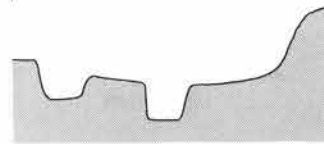
RD18 A-A'

- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|---------------------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、褐色土粒混入。 |
| 2 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック・炭化物1%混入。 |

RD20

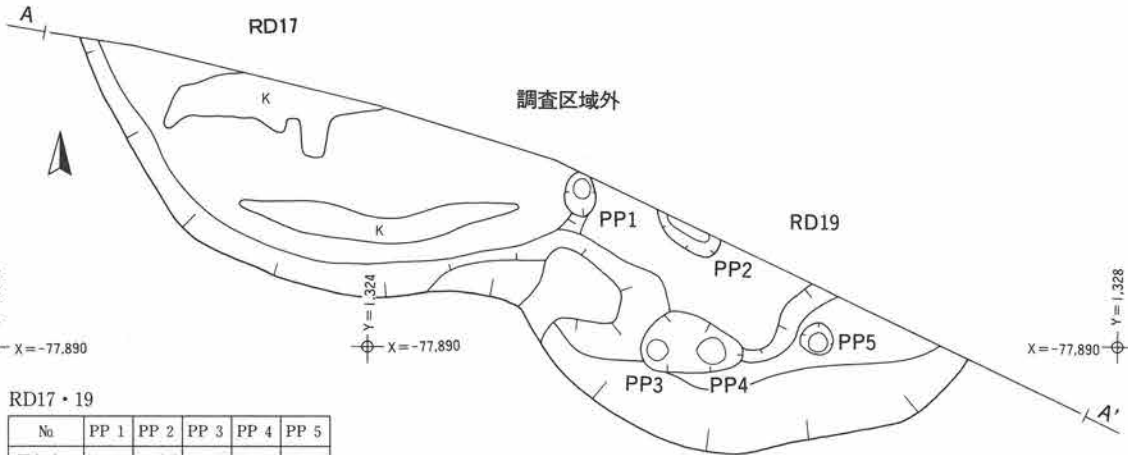


L=287.700m



RD20

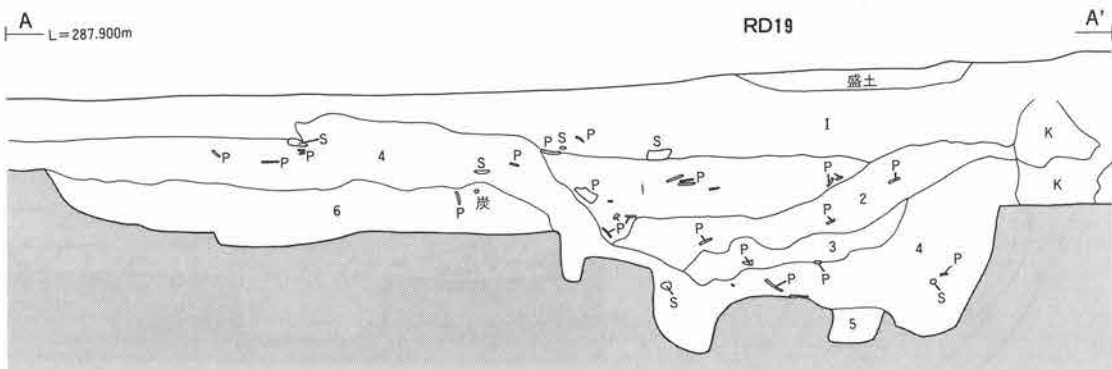
No.	PP 1
径 (cm)	28×28
深さ (cm)	20



RD17・19

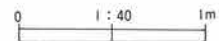
No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	23×17	44×(12)	54×33	54×33	18×16
深さ (cm)	27	47	62	56	24

L=287.900m

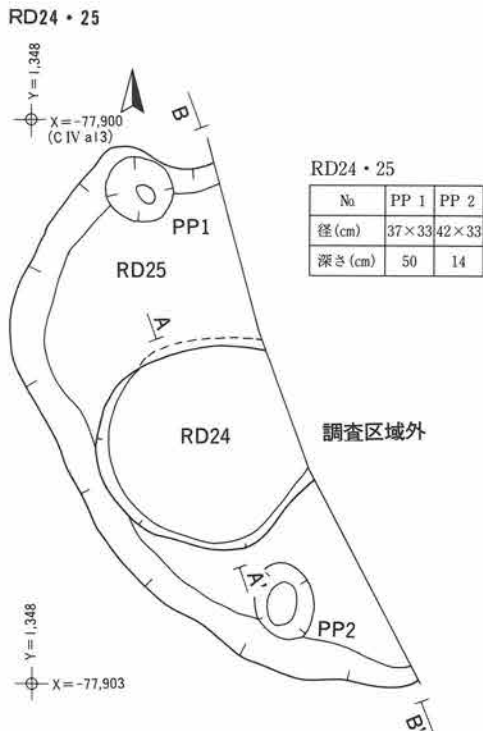
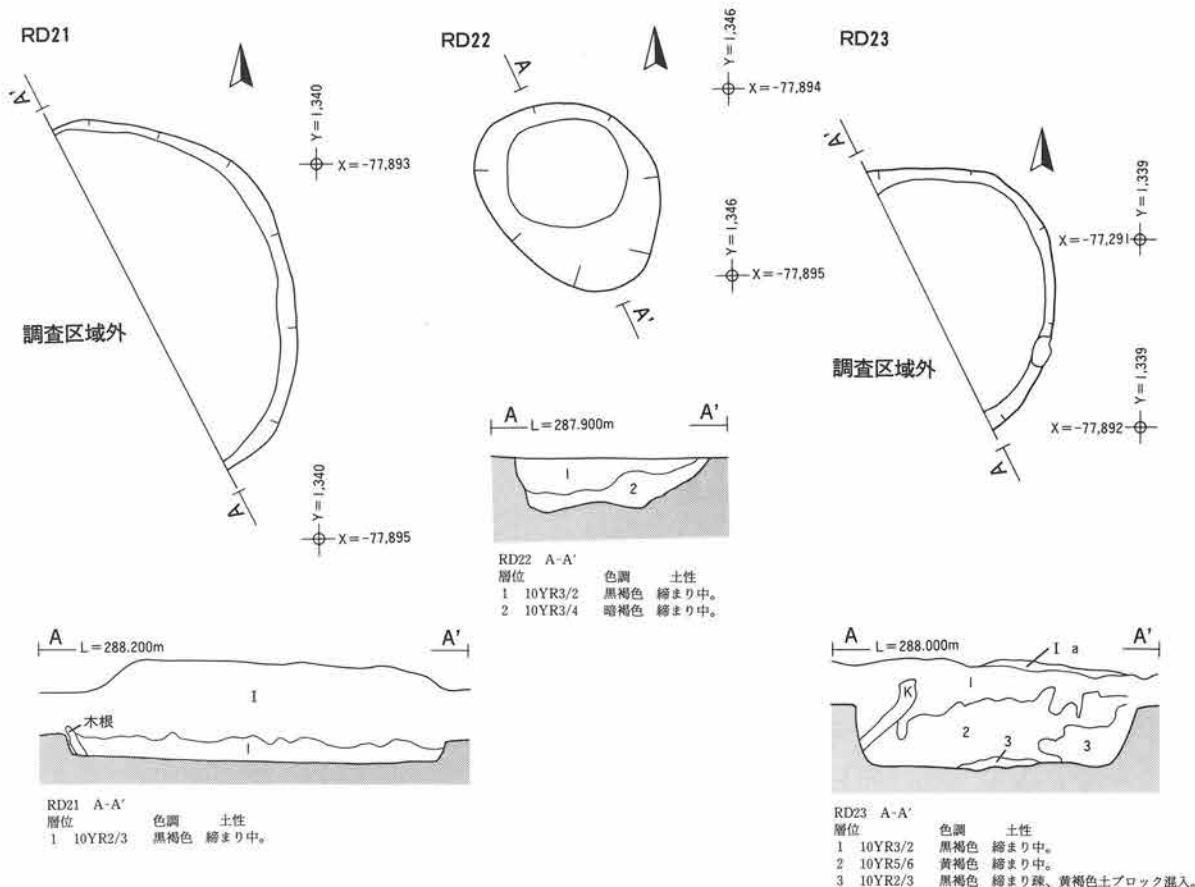


RD17・19 A-A'

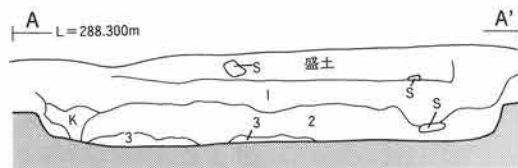
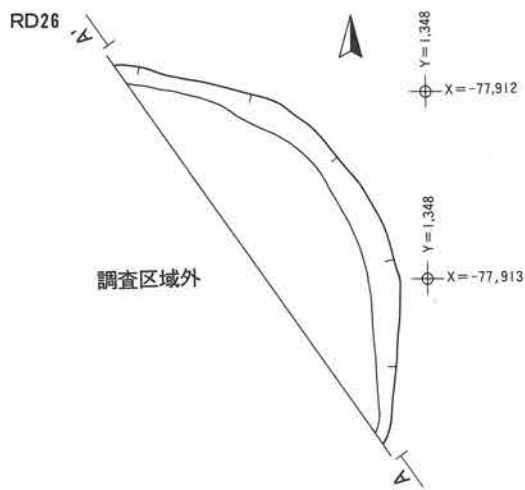
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|------------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 黒褐色 締まり中、黄色土粒混入。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、褐色土・焼土粒・炭化物5%混入。 |
| 3 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、褐色土・焼土粒1%・炭化物10%混入。 |
| 4 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、土器片混入。 |
| 5 | 10YR5/6 | 黄褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 6 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中、褐色土混入。 |



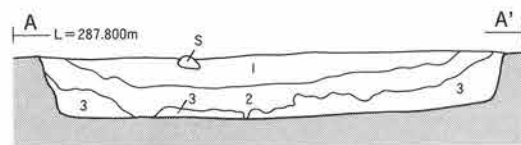
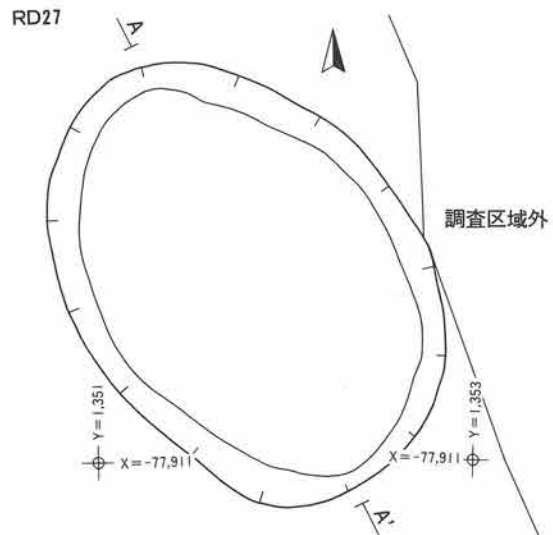
第65図 RD17・18・19・20土坑



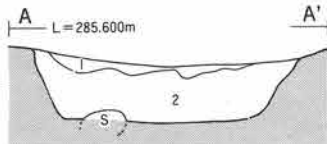
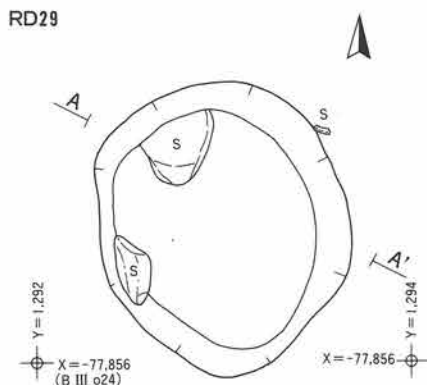
第66図 RD21・22・23・24・25土坑



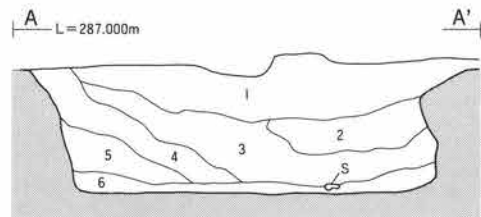
- RD26 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|------------|----------------------|
| 1 | 黒褐色 | 締まり密。 |
| 2 | 黒褐色 | 締まり密、褐色土粒1%・炭化物1%混入。 |
| 3 | 褐色~10YR3/4 | 暗褐色 締まり密。 |



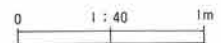
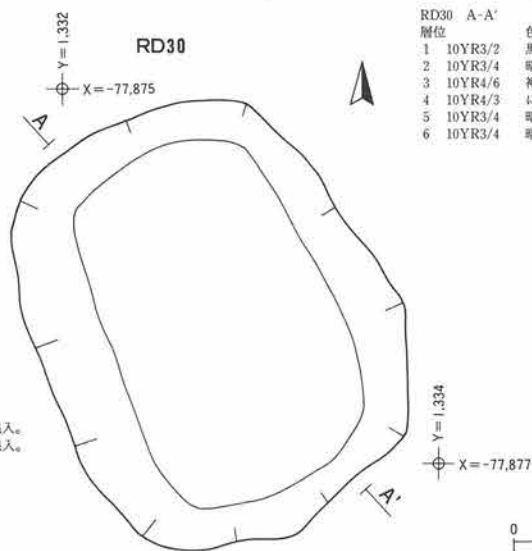
- RD27 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|------------------------|
| 1 | 10YR2/2 | 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒混入。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、炭化物1%。 |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中。 |



- RD29 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|---------------------------|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色 締まり中、黄褐色土粒1%・炭化物1%混入。 |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色 締まり密、暗褐色土微量・黄褐色土粒5%混入。 |

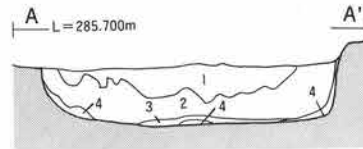
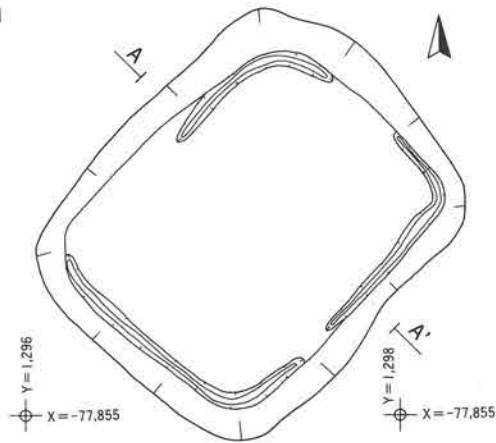


- RD30 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|---------|----------------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 2 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり密。 |
| 3 | 10YR4/6 | 褐色 締まり中。 |
| 4 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 5 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中。 |
| 6 | 10YR3/4 | 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。 |



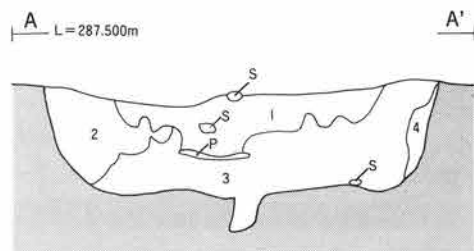
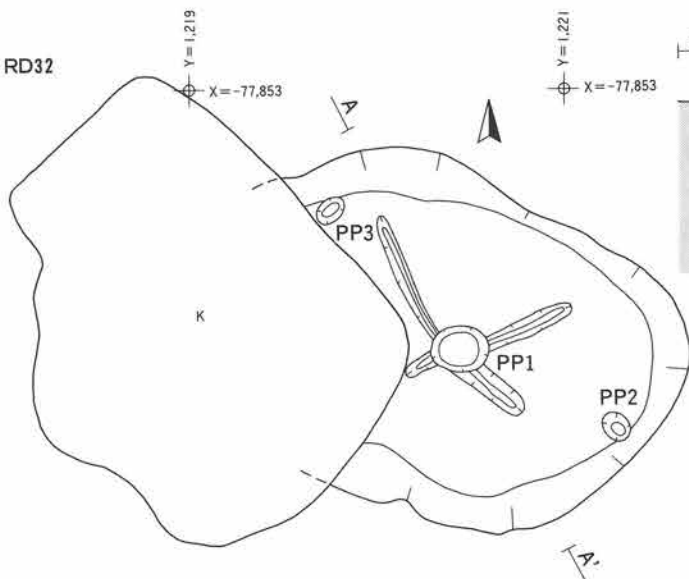
第67図 RD26・27・29・30土坑

RD31



- RD31 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-------------|---------------|
| 1 | 10YR3/4 暗褐色 | 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 2 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 3 | 10YR4/4 褐色 | 締まり中、炭化物1%混入。 |
| 4 | 10YR4/6 褐色 | 締まり中、炭化物1%混入。 |

RD32

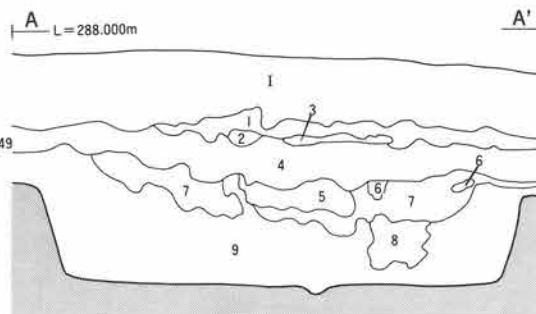
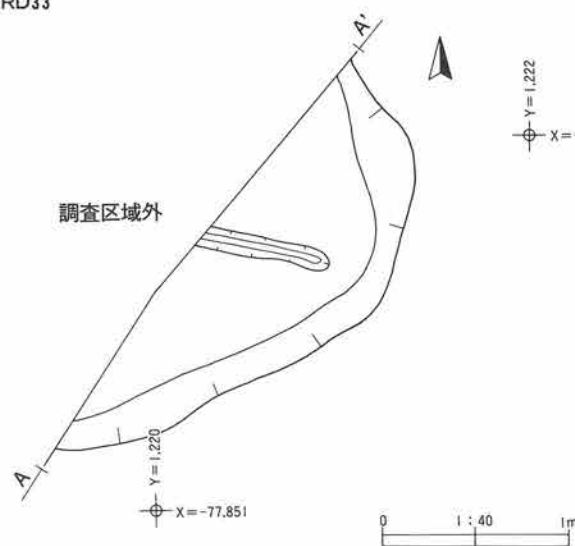


- RD32 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-------------|-------------------|
| 1 | 10YR2/2 黒褐色 | 締まりやや疎。 |
| 2 | 10YR3/4 暗褐色 | 締まり中、褐色土ブロック2%混入。 |
| 3 | 10YR3/3 暗褐色 | 締まり中、褐色土ブロック1%混入。 |
| 4 | 10YR4/4 褐色 | 締まり中。 |

RD32

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	31×25	17×13	17×12
深さ (cm)	22	20	22

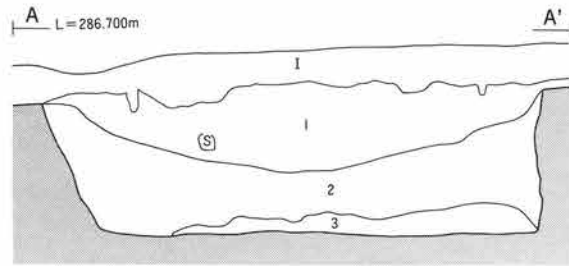
RD33



- RD33 A-A'
- | 層位 | 色調 | 土性 |
|----|-------------|-------------------|
| 1 | 10YR2/1 黒色 | 締まりやや疎。 |
| 2 | 10YR3/3 暗褐色 | 締まり中。 |
| 3 | 10YR2/2 黒褐色 | 締まりやや疎。 |
| 4 | 10YR3/3 暗褐色 | 締まりやや疎。 |
| 5 | 10YR2/3 黒褐色 | 締まりやや疎、炭化物2%混入。 |
| 6 | 10YR4/4 褐色 | 締まり中。 |
| 7 | 10YR3/4 暗褐色 | 締まり中。 |
| 8 | 10YR4/6 褐色 | 締まり中。 |
| 9 | 10YR4/4 褐色 | 締まり中、褐色土ブロック5%混入。 |

第68図 RD31・32・33土坑

RD34



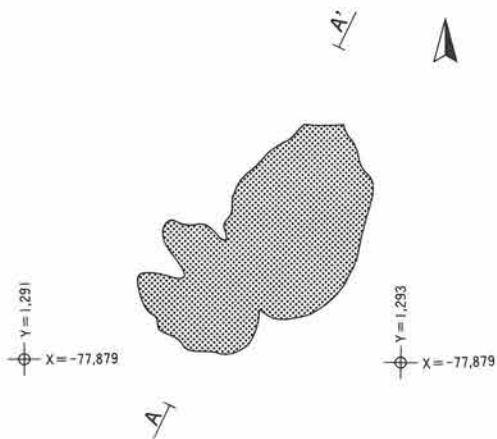
RD34 A-A'

- 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック1%・土器片混入。
 2 10YR4/6 褐色 締まり密。
 3 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。

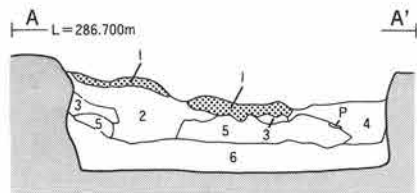
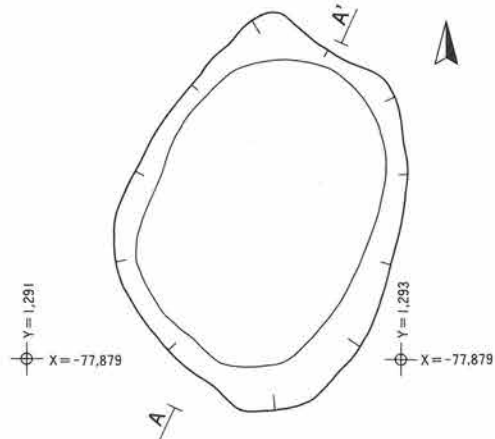
RD34

No.	PP 1
径 (cm)	35×29
深さ (cm)	32

RD35

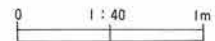


RD35

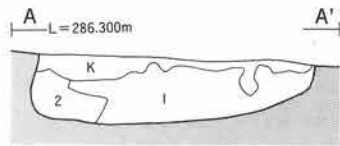
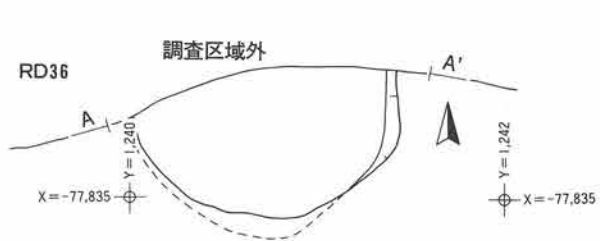


RD35 A-A'

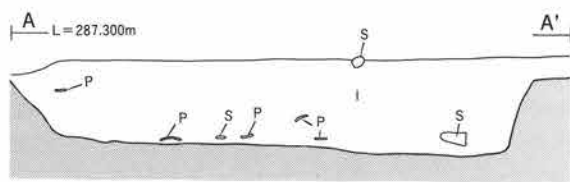
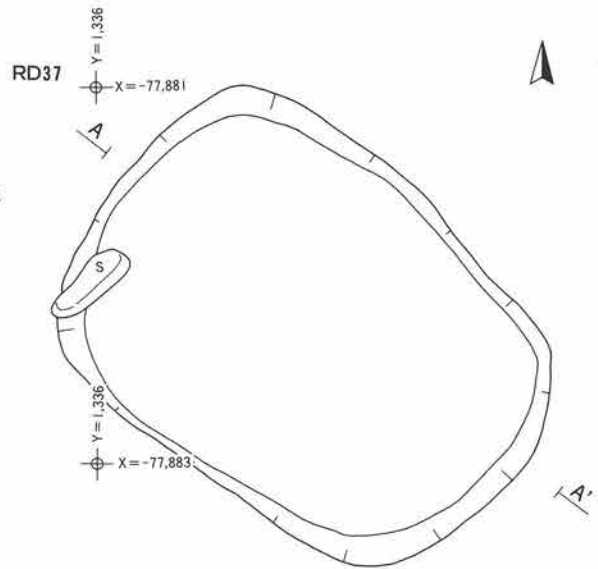
- 層位 色調 土性
 1 2.5YR5/8 明赤褐色 締まり中、炭化物1%混入、焼土。
 2 10YR4/6 褐色~10RY3/4 暗褐色 締まり中。
 3 10YR4/6 褐色 締まり中。
 4 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
 5 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック3%混入。
 6 10YR5/8 黄褐色 締まり密。



第69図 RD34・35土坑



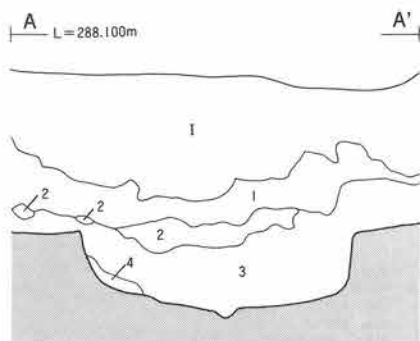
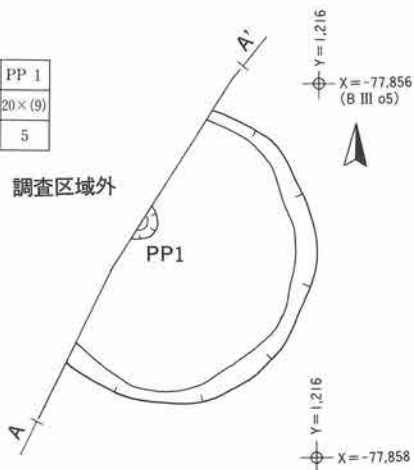
RD36 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まりやや密。
 2 10YR4/4 褐色 締まりやや密。



RD37 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入・土器片・礫混入。

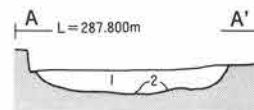
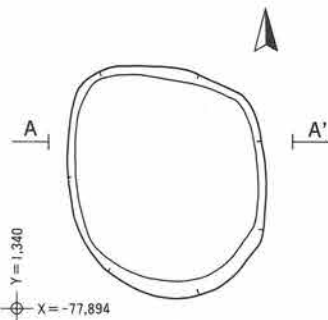
RD38

No	PP 1
径 (cm)	20 × (9)
深さ (cm)	5

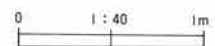


RD38 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まりやや疎。
 2 10YR2/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 3 10YR3/4 暗褐色 締まりやや疎、褐色土ブロック15%混入。
 4 10YR2/1 黒色 締まり中、褐色土ブロック5%混入。

RD39
 Y = 1,340
 X = -77,892
 (B IV x11)

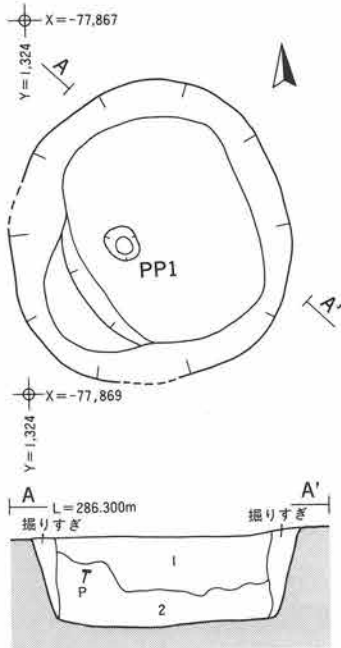


RD39 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・土器片混入。
 2 10YR4/6 褐色 締まり中。



第70図 RD36・37・38・39土坑

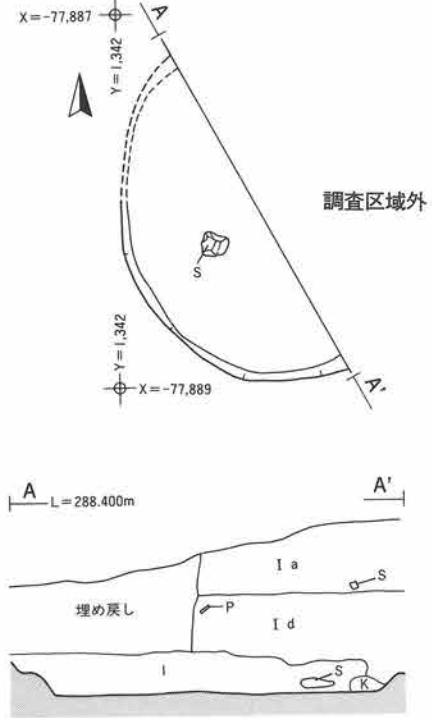
RD40



RD40

№	PP 1
径 (cm)	19×16
深さ (cm)	7

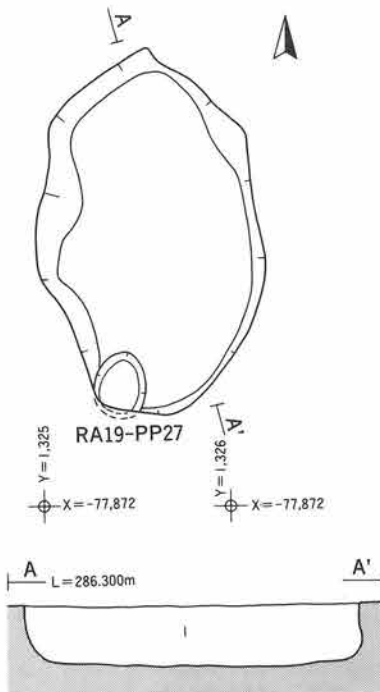
RD41



RD41 A-A'

層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック3%・雜混入。

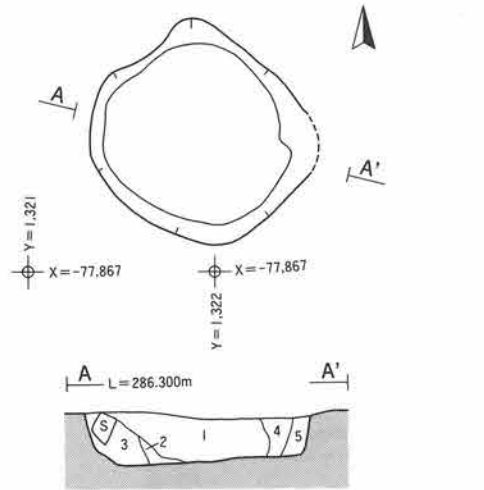
RD42



RD42 A-A'

層位 色調 土性
1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。

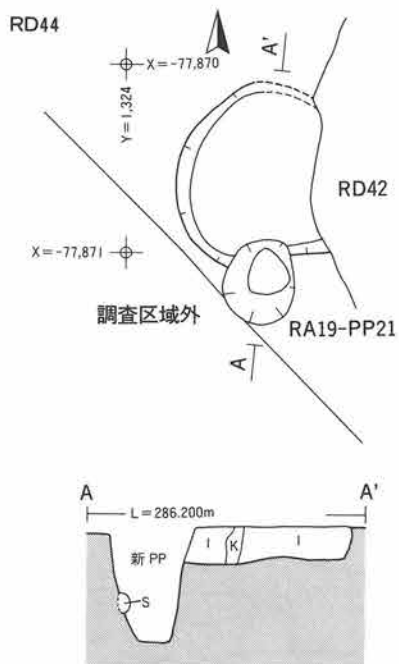
RD43



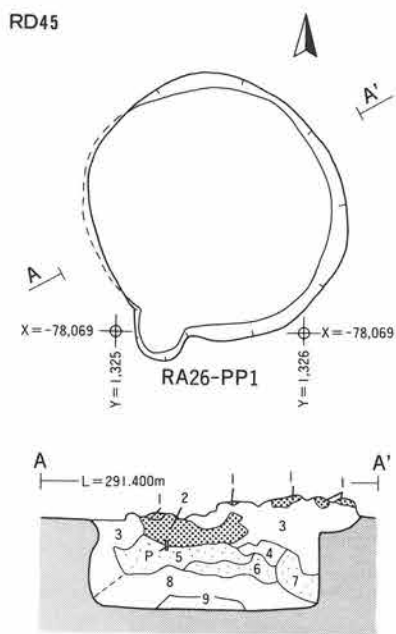
RD43 A-A'

層位 色調 土性
1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・焼土ブロック1%混入。
2 10YR5/6 黄褐色 締まり中。
3 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
4 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・焼土粒混入。
5 10YR2/3 黒褐色 締まり中。

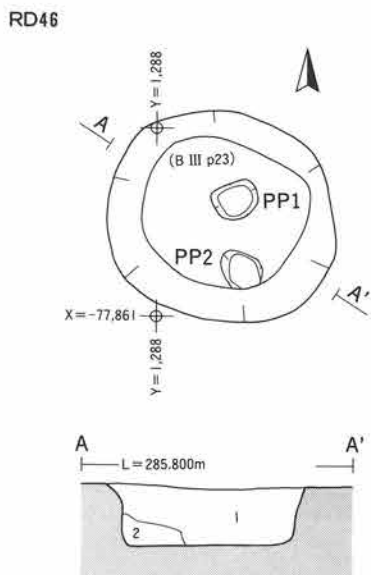
第71図 RD40・41・42・43土坑



- RD44 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土ブロック1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



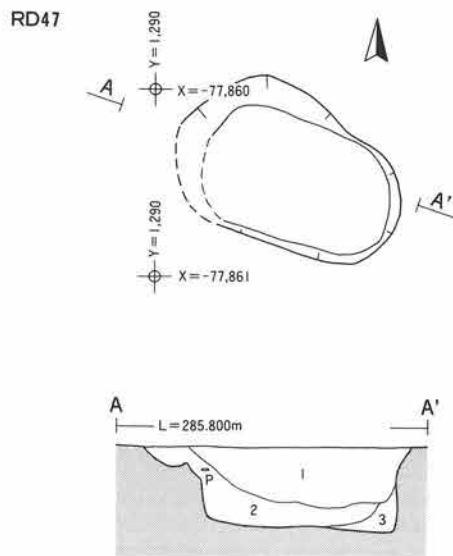
- RD45 A-A'
 層位 色調 土性
 1 5YR4/8 赤褐色 締まりやや密、焼土。
 2 5YR4/6 赤褐色 締まりやや密、焼土。
 3 10YR3/2 黒褐色 締まりやや疎。
 4 10YR4/4 褐色 締まり密。
 5 5YR5/8 明赤褐色 締まりやや疎、焼土ブロック10%混入。
 6 10YR3/4 暗褐色 締まりやや密、炭化物5%・焼土3%混入。
 7 7.5YR4/6 褐色 締まりやや疎、焼土多量混入。
 8 10YR4/6 褐色 締まりやや密。
 9 10YR2/3 黒褐色 締まりやや密、褐色土5%混入。



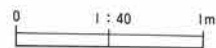
RD46

No.	PP 1	PP 2
径 (cm)	25×20	24×20
深さ (cm)	10	15

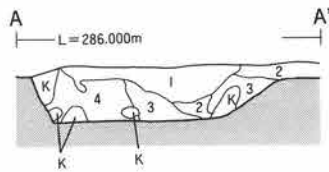
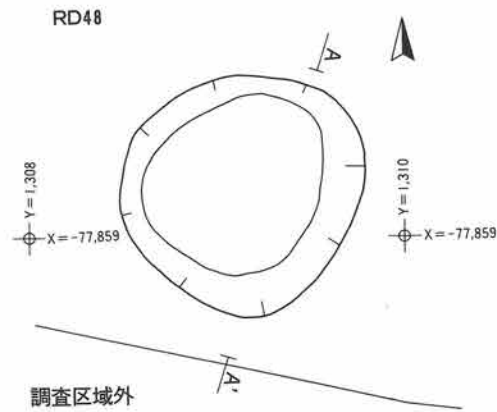
- RD46 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中。
 2 10YR4/6 褐色 締まり中、褐色土ブロック・炭化物混入。



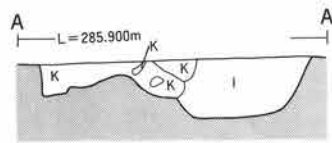
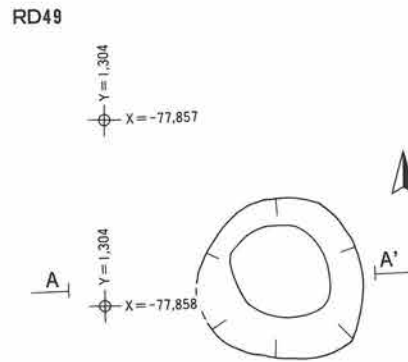
- RD47 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中。
 2 10YR4/6 褐色 締まり中。
 3 10YR4/6 褐色~10Y3/4 暗褐色 締まり中。



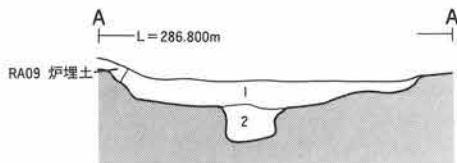
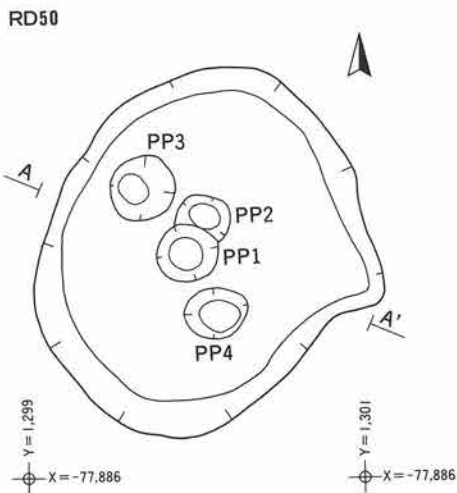
第72図 RD44・45・46・47土坑



- RD48 A-A'
- 層位 色調 土性
- 1 10YR3/4 暗褐色 締まり密、炭化物1%・焼土ブロック混入。
- 2 10YR4/6 褐色 締まり中。
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 締まり密。
- 4 10YR5/6 黄褐色 締まり密。



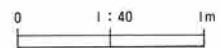
- RD49 A-A'
- 層位 色調 土性
- 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%・土器片・焼土ブロック混入。

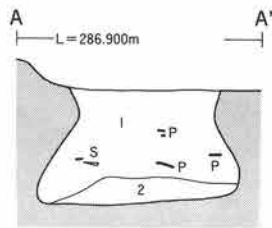
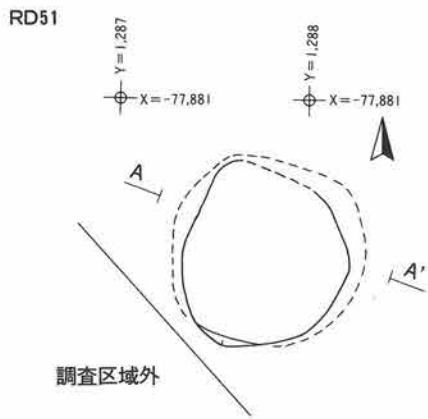


- RD50 A-A'
- 層位 色調 土性
- 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、焼土ブロック1%・炭化物1%混入。
- 2 10YR2/3 黒褐色 締まり中、焼土ブロック3%混入。

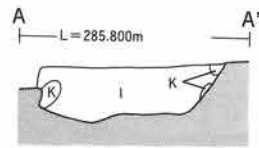
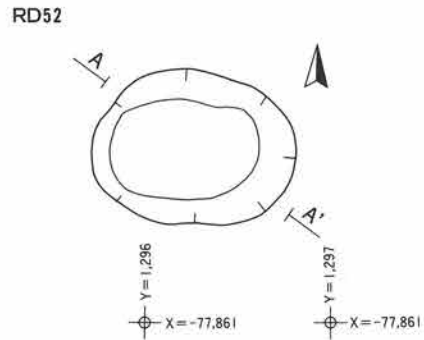
RD50

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 (cm)	32×31	29×29	37×33	35×27
深さ (cm)	20	17	5	30

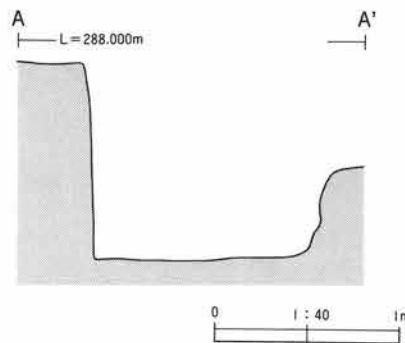
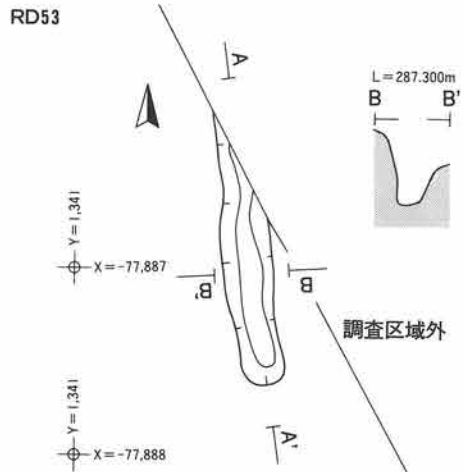
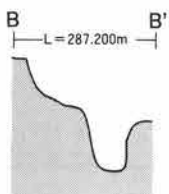
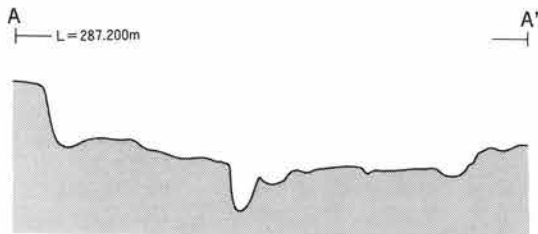
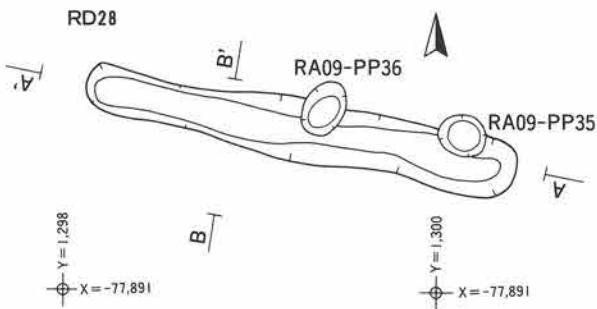




RD51 A-A'
 別位 色調 土性
 1 10YR3/2 黒褐色 締まり中、土器片・炭化物多量・褐色土粒1%混入。
 2 10YR4/4 褐色 締まり中。



RD52 A-A'
 別位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック・土器片混入。



第74図 RD51・52土坑、RD28・53陥し穴

5. 焼土遺構 (第75・76図、写真図版43・44)

焼土遺構は5基検出された。住居跡に帰属する炉跡と認定できなかった焼土遺構である。検出状況から二つに大別される。ひとつは、住居の炉跡の可能性があるので、RF01・05焼土遺構である。もうひとつは帰属する施設がなく、単独の遺構と考えられるRF02・03・05焼土遺構で、色調は前者よりぶく、位置も集落の中心から外れた位置にある。時期は、出土遺物が少なく、不明な部分もあるが、いずれも縄文時代前期後葉から末葉と思われる。

R F 01焼土遺構

遺構 (第75図、写真図版43)

〈位置・検出状況〉 B III U23グリッド。I d層で赤褐色の広がりとして検出された。周囲の黒色土には、焼土ブロックの混入が多く、輪郭はあまり鮮明ではない。

〈重複〉 RA05・06住居跡の上位で検出されている。RA05・06住居跡より新しい。

〈平面形・規模〉 不整形・径139cm×90cm。

〈断面形・厚さ〉 不整形である。赤褐色の焼土の厚さは、最大20cm。

〈帰属施設〉 確認できなかった。

遺物 (第193図、写真図版107)

〈出土状況〉 埋土から土器が出土している。

〈土器〉 破片 (853~855)。

時期 出土遺物から縄文時代前期後葉~末葉と思われる。

R F 02焼土遺構

遺構 (第75図、写真図版43)

〈位置・検出状況〉 D IV i 5~D IV i 6グリッド。I c層で赤褐色土の広がりとして検出された。東西方向が調査区域外にかかり、部分調査となった。

〈重複〉 なし。

〈平面形・規模〉 不整形な形状で、詳細は不明。(260)×(200)cm。

〈断面形・厚さ〉 不整で広範囲に広がる。赤褐色の焼土の厚さは最大15cm。

〈帰属施設〉 確認できなかった。

遺物 (第-図、写真図版-)

土器・石器は出土していないが、炭化材(ナラ)が出土している。

時期 出土遺物は無く、詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

R F 03焼土遺構

遺構 (第75図、写真図版43)

〈位置・検出状況〉 C IV d14グリッド。東側は調査区域外にかかる。II層で明赤褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈平面形・規模〉 不整形な円形基調と推定される。(160)×60cm。

〈断面形・厚さ〉まとまりはあるが、不整な形状。明赤褐色の焼土で、厚さは最大20cm。

〈帰属施設〉確認できなかった。

遺物 (第-図、写真図版-)

遺物は出土していない。

時期 出土遺物は無く、時期の詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。

R F 04焼土遺構

遺構 (第76図、写真図版44)

〈位置・検出状況〉C IV h15～n14グリッド。東側・西側とも調査区域外にかかる。I c層で、明赤褐色の広がりとして検出された。検出した位置は、西側から東側にかけての緩斜面である。

〈重複〉なし。

〈平面形・規模〉溝状と推定される。30×(4.6)m。

〈断面形・厚さ〉不整な形状で、暗赤褐色土中に赤褐色の焼土が入る。厚さは最大20cm。

〈帰属施設〉確認できなかった。

遺物 (第193・220・221・233・240～242・244・267・283図、写真図版107・128・136・141・142・143・160・171)

〈出土状況〉接合剥片、石篋など石器が焼土中から出土している。なお接合剥片は精査時にはまとまった出土状況を確認してはいない。

〈土器〉破片 (856～858)。

〈石器〉石鏃 (1501)・石錐 (1523)・石篋 (1648～1651)、接合剥片 (1698～1708)、磨製石斧 (1722)、石錘 (1934・1935)、敲磨器 Ac 類 (2043)。

時期 出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。

R F 05焼土遺構

遺構 (第75図、写真図版43)

〈位置・検出状況〉B III w25グリッド。南側は調査区域外にかかる。III層で赤褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉北側に RA07住居跡が位置する。新旧関係は、RA07住居跡より古いと思われる。

〈平面形・規模〉円形基調?。(70)×20cm。

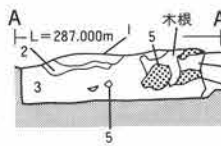
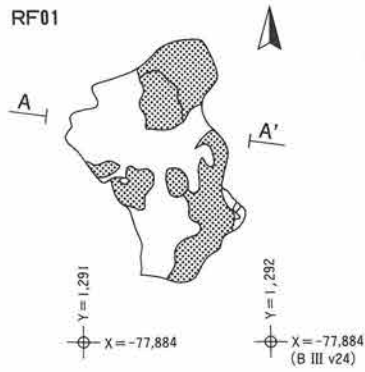
〈断面形・厚さ〉まとまりはあるが、不整な形状。赤褐色の焼土で、厚さは最大6cm。

〈帰属施設〉確認できなかったが、住居跡の炉の可能性はある。

遺物 (第-図、写真図版-)

遺物は出土していない。

時期 出土遺物は無く、時期の詳細は不明であるが、縄文時代と推定される。



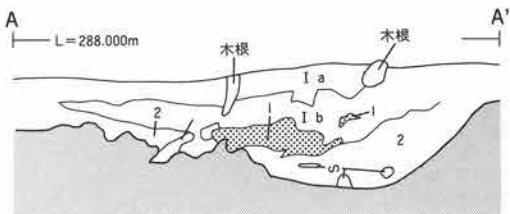
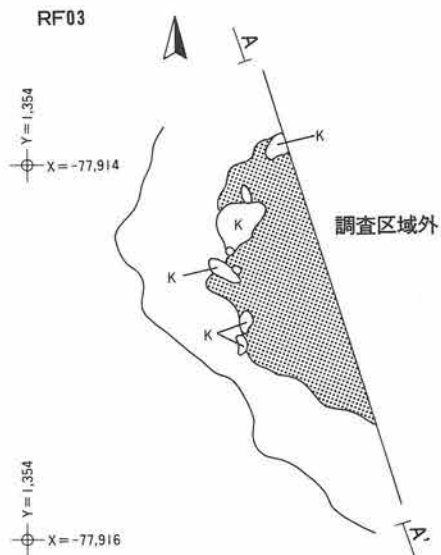
RF01 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中、焼土ブロック混入。
2	7.5YR4/6 褐色	締まり中。
3	10YR3/4 暗褐色	締まり中、炭化物1%混入。
4	7.5YR6/6 橙色	締まり中、焼土。
5	5YR4/8 赤褐色	締まり中、焼土。



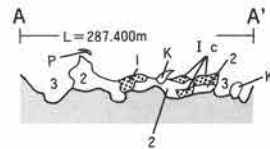
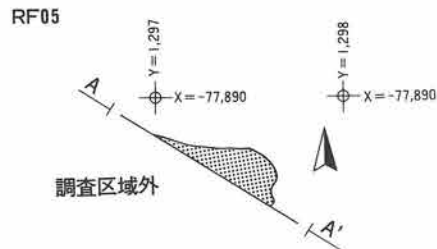
RF02 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まりやや密、焼土ブロック15%混入。



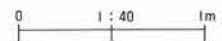
RF03 A-A'

層位	色調	土性
1	2.5YR5/6 明赤褐色	締まり中、焼土。
2	10YR3/4 暗褐色	締まり中。

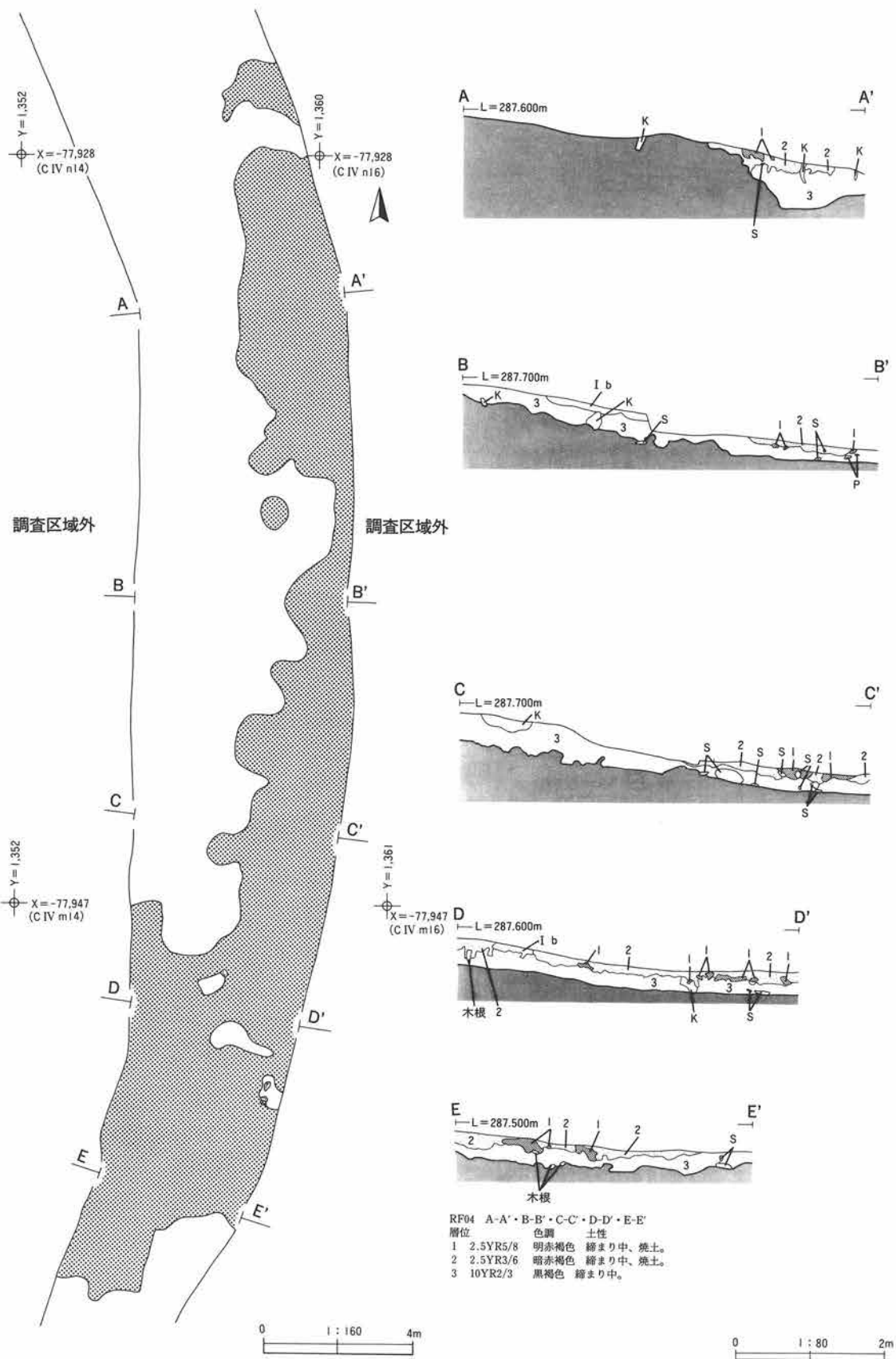


RF05 A-A'

層位	色調	土性
1	2.5YR4/8 赤褐色	締まり中、焼土。
2	10YR3/4 暗褐色	締まり中、焼土ブロック混入。
3	10YR3/4 暗褐色	締まり中、炭化物1%混入。



第75図 RF01・02・03・05焼土遺構



第76図 RF04焼土遺構

6. 集石遺構 (第77図、写真図版44)

1 基検出された。下位に土坑や埋設土器は確認されていない。集石除去後に下位から旧石器が出土している。

RH01集石遺構

遺構 (第77図、写真図版44)

〈位置・検出状況〉 B IV y12グリッド。II層でまとまった礫群を検出した。

〈重複〉 縄文の遺構の重複はなし。礫群の下位から旧石器が出土している。

〈規模・形態〉 径80×100cmの範囲に、径40cmの円礫を中心に、径5cm～20cmの亜円礫・亜角礫などで構成される集石である。

〈埋土〉 掘り方は明瞭に確認されない。礫の下位には黒褐色土が混入する。

〈付属施設〉 下位に土坑や埋設土器などは検出されなかった。

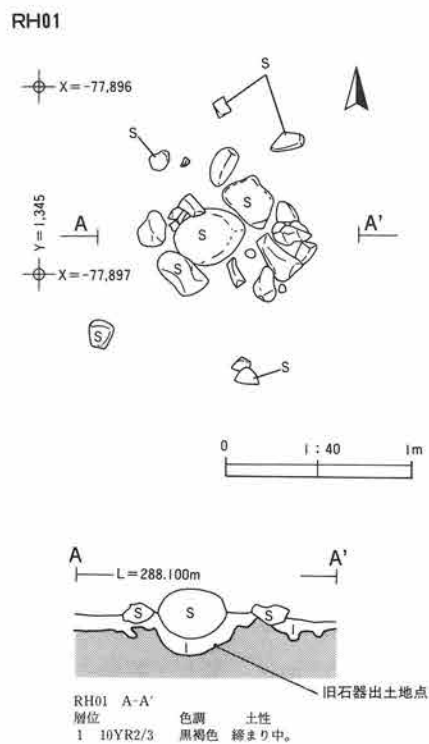
遺物 (第298図、写真図版184)

〈出土状況〉 集石を構成する礫に、断面三角形の磨石や礫石錘が含まれる。集石の除去後、下位から旧石器の遺物が出土している。

〈土器〉 なし。

〈石器〉 敲磨器 B 類 (2139)。

時期 検出状況および出土遺物から、出土遺物から縄文時代前期末葉以降と思われる。



第77図 RH01集石遺構

7. 土器埋設遺構 (第78～80図、写真図版45～47)

16基検出された。分布にとくに偏りはみられないが、竪穴住居跡など他の遺構と重複するものが多く、新旧関係は土器埋設遺構が新しい傾向がある。埋設の方法は正立あるいは斜位で、倒立したり、埋設土器に破壊行為が認められたものはない。また埋設土器内から骨・副製品の類は出土していない。

R Z 01土器埋設遺構

遺構 (第78図、写真図版45)

〈位置・検出状況〉 B IV x 8～y 8 グリッド。I d 層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA10住居跡より検出面が上位であることから、RZ01土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径50×40cm、深さ37cm。黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 暗褐色土がつまっていた。炭化物が微量混入する。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第146図、写真図版68)

〈土器〉 立体 (219)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R Z 02土器埋設遺構

遺構 (第78図、写真図版45)

〈位置・検出状況〉 B IV x 8 グリッド。I d 層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径50×40cm、深さ13cm。黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部片の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 深鉢の胴部。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土がつまっており、径10cmの礫が入っていた。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第193図、写真図版107)

〈土器〉 破片 (859)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R Z 03土器埋設遺構

遺構 (第78図、写真図版45)

〈位置・検出状況〉 B IV x 8～y 8 グリッド。I d 層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA10住居跡より検出面が上位であることから、RZ03土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径35cm、深さ25cm・不整形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土がつまっていた。炭化物が微量混入する。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第193図、写真図版107)

〈土器〉 破片 (860・861)。

時期 縄文時代前期後葉～前期末葉と思われる。

R Z 04土器埋設遺構

遺構 (第78図、写真図版45)

〈位置・検出状況〉 B III u25グリッド。I d層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA04住居跡より検出面が上位であることから、RZ04土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径35×30cm、深さ9cm・円形・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第193図、写真図版107)

〈土器〉 破片 (862)。

時期 縄文時代前期と思われる。

R Z 05土器埋設遺構

遺構 (第78図、写真図版45)

〈位置・検出状況〉 B IV w 2 グリッド。RA07住居跡の検出時に黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA07住居跡の覆土を掘り込んで埋設されている。RA07住居跡より新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径55cm、深さ38cm。円形基調・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 深鉢形の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 完形の深鉢形土器。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第147・193・283図、写真図版69・107・171)

〈土器〉 立体 (222)、破片 (863～865)。

〈石器〉 敲磨器 Ac 類 (2044)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R Z 06土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B IV w25グリッド。III a層で黒褐色の広がりとして検出された。東側は試掘溝により掘り下げている。

〈重複〉 RA09住居跡と重複する。RZ06土器埋設遺構が新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径(50)×33cm、深さ15cm・楕円形?・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の深鉢形土器が斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢形土器。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第147図、写真図版69)

〈土器〉 立体 (223)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R Z 07土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B IV w10グリッド。I d層で黒褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径50×42cm、深さ20cm・不整な円形・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢形土器。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土がつまっていた。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第146・193図、写真図版68・107)

〈土器〉 立体 (221)、破片 (866)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R Z 08土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B III o23グリッド。I b層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 東側に RZ09土器埋設遺構が隣接し、並列して埋設されていた。RA15住居跡内に位置するが、RZ08土器埋設遺構のほうが新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径25cm、深さ25cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第146図、写真図版68)

〈土器〉 立体 (220)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R Z 09土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B III o23グリッド。I b層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉西側に RZ08土器埋設遺構が位置し、並列して埋設されていた。RA15住居跡内に位置するが、RZ09土器埋設遺構のほうが新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径30cm、深さ16cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土と褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第147・193図、写真図版69・107)

〈土器〉 立体 (224)、破片 (867)。

時期 縄文時代前期後葉以降と思われる。

R Z 10土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B IV n01グリッド。III層で暗褐色の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径32cm、深さ8cm。暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 おもに暗褐色土で、黒色土が少し混じる。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第147・193図、写真図版69・107)

〈土器〉 立体 (225)、破片 (868・869)。

時期 縄文時代前期末葉と思われる。

R Z 11土器埋設遺構

遺構 (第79図、写真図版46)

〈位置・検出状況〉 B IV v9グリッド。RA13住居跡の精査中に検出された。

〈重複〉 RZ11土器埋設遺構が、RA13住居跡より新しい。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径43×28cm、深さ13cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第193図、写真図版107)

〈土器〉 破片 (870)。

時期 縄文時代前期と思われる。

R Z 12土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版46）

〈位置・検出状況〉 B IV v11グリッド。I d層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径55cm、深さ35cm・円形基調・黒褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 胴部下半の土器がやや斜位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 胴部下半の深鉢。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉 立体（226）。

時期 縄文時代前期末葉以降と思われる。

R Z 13土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉 B IV w 3グリッド。III層で黒褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 RA07住居跡の東壁付近と重複するが、RZ13土器埋設遺構が古い可能性がある。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径25×23cm、深さ8cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 底部片の土器が正位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 底部片の土器。

〈土器内部の様子〉 黒褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉 立体（227）。

時期 縄文時代前期と思われる。

R Z 14土器埋設遺構

遺構（第80図、写真図版47）

〈位置・検出状況〉 B IV o2グリッド。III a層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径50×40cm、深さ30cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 土器が横位で押し潰された状態であった。廃棄された可能性もある。

〈埋設土器〉 胴部の土器。

〈土器内部の様子〉 不明。

〈帰属施設〉 なし。

遺物（第148図、写真図版70）

〈土器〉 立体（228）。

時期 縄文時代前期末葉以降と思われる。

R Z 15土器埋設遺構

遺構 (第80図、写真図版47)

〈位置・検出状況〉 B IV s8グリッド。III a 層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径25×(18)cm、深さ10cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 土器の底部付近が正立で埋設されていた。

〈埋設土器〉 底部片の土器。

〈土器内部の様子〉 暗褐色土。

〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第148図、写真図版70)

〈土器〉 立体 (229)。

時期 縄文時代前期末葉～中期初頭と思われる。

R Z 16土器埋設遺構

遺構 (第80図、写真図版47)

〈位置・検出状況〉 B IV w8グリッド。III層で暗褐色土の広がりとして検出された。

〈重複〉 なし。

〈掘り方の規模・形状・埋土〉 径21×20cm、深さ13cm・円形・暗褐色土。

〈埋設土器の出土状況〉 土器の底部片が正位で埋設されていた。

〈埋設土器〉 底部片。

〈土器内部の様子〉 暗褐色土。

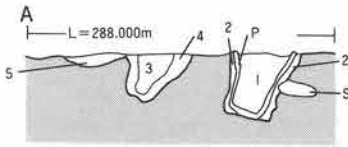
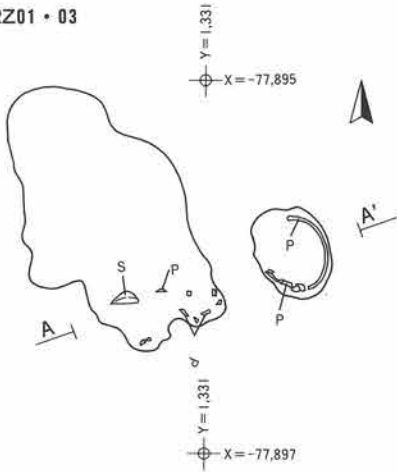
〈帰属施設〉 なし。

遺物 (第148図、写真図版70)

〈土器〉 立体 (230)。

時期 縄文時代前期と思われる。

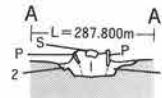
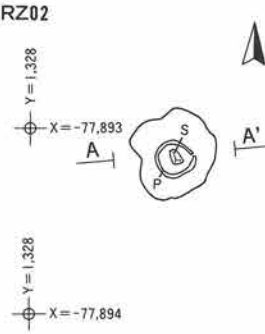
RZ01・03



RZ01・03 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR3/3 暗褐色	締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%混入。
2	10YR2/3 黒褐色	締まり中。
3	10YR2/2 黒褐色	締まり中、炭化物微量。
4	10YR3/4 暗褐色	締まり中。
5	10YR2/2 黒褐色	締まり中。

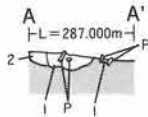
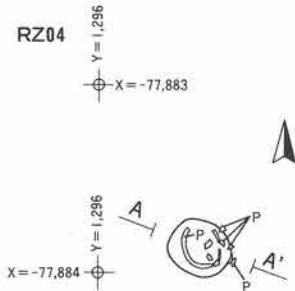
RZ02



RZ02 A-A'

層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中。
2	10YR3/2 黒褐色	締まり中。

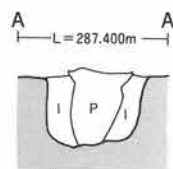
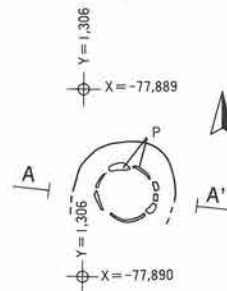
RZ04



RZ04 A-A'

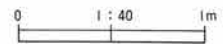
層位	色調	土性
1	10YR2/2 黒褐色	締まり中。
2	10YR3/2 黒褐色	締まり中。

RZ05

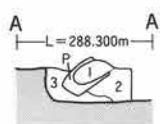
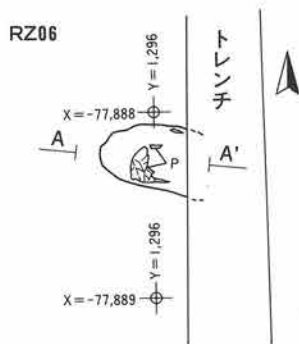


RZ05 A-A'

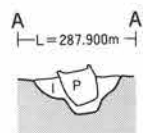
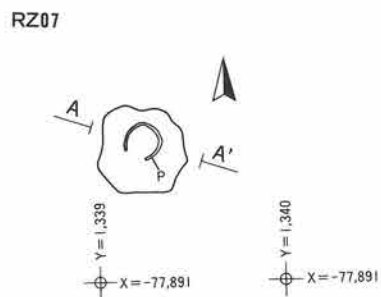
層位	色調	土性
1	10YR2/3 黒褐色	締まり中。



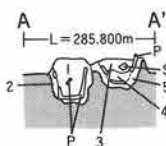
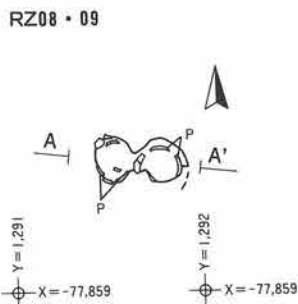
第78図 RZ01・02・03・04・05土器埋設遺構



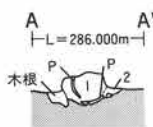
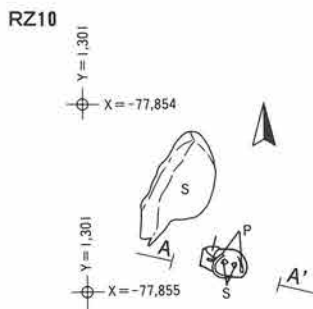
RZ06 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR3/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 3 10YR4/4 褐色 締まり中。



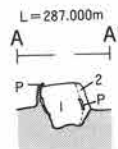
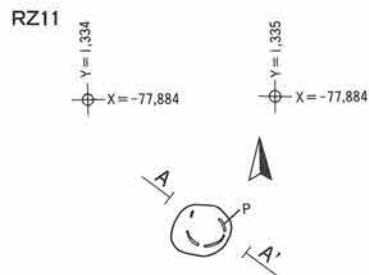
RZ07 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色~10RY2/2 黒褐色 締まり中、炭化物1%・褐色土粒1%混入。



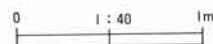
RZ08・09 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中、炭化物1%混入。
 3 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 4 10YR4/4 褐色 締まり中、黄褐色土ブロック10%混入。
 5 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



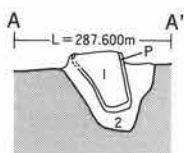
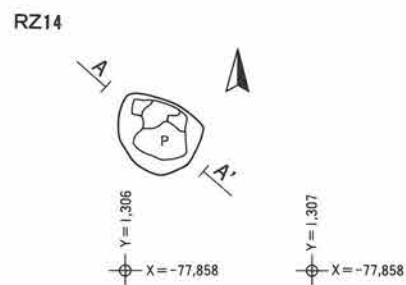
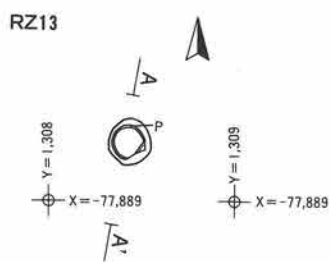
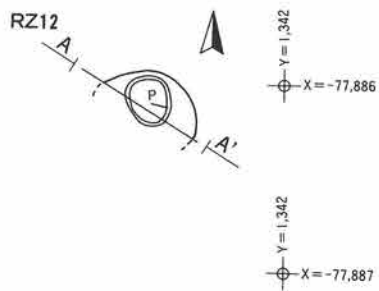
RZ10 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、黒色土少量混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



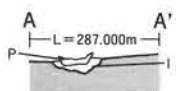
RZ11 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、黄褐色土ブロック1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



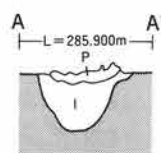
第79図 RZ06・07・08・09・10・11土器埋設遺構



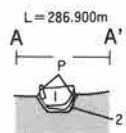
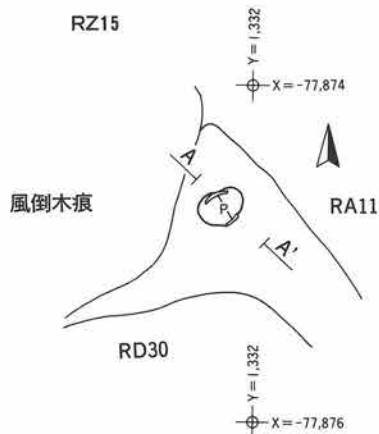
RZ12 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中。
 2 10YR3/2 黒褐色 締まり中。



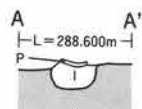
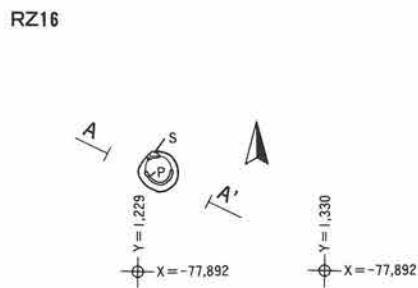
RZ13 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中。



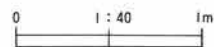
RZ14 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



RZ15 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、黄褐色土ブロック1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中。



RZ16 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/4 暗褐色 締まり中、黄褐色土ブロック1%・炭化物1%混入。



第80図 RZ12・13・14・15・16土器埋設遺構

8. 柱穴群（第81・82図、写真図版一）

柱穴群が3箇所（B III l13付近、B III q22付近、B IV q6付近）で併せて51基が検出されている。いずれも複数の柱穴がまとまって検出されたが、建物跡として確認できなかったので柱穴群として報告する。推定される建物跡については可能性を指摘するに留めた。

B III l13柱穴群

遺構（第81図、写真図版一）

〈位置・検出状況〉 B III l13～B III o15グリッド。III～IV層で検出された。

〈重複〉 重複する遺構はない。

〈規模・形態〉 概ね円形基調、径55～16cm、深さ45～7cmである。

〈埋土〉 黒褐色土の単層である。掘り方と柱痕跡を確認できた柱穴はない。

遺物（第193図、写真図版107）

〈出土状況〉 B III m14-PP 2（土器：871）、B III n15-PP 1（土器：872）から出土している。

時期 検出状況および出土遺物から縄文時代前期後葉以降の遺構と推定される。

B III q22柱穴群

遺構（第82図、写真図版一）

〈位置・検出状況〉 B III q22～B III r23グリッド。III層で検出された。

〈重複〉 重複する遺構はないが、これら柱穴群の中央付近に風倒木痕がある。

〈規模・形態〉 概ね円形基調、径75～33cm、深さ29～70cmである。B III r22-PP 1・PP 2・B III r23-PP 5・B III q23-PP 2で、4本柱の建物跡を構成する可能性がある。

〈埋土〉 黒褐色土の単層である。掘り方と柱痕跡を確認できた柱穴はない。

遺物（第229・267図、写真図版134・160）

〈出土状況〉 B III r23-PP 6（1619：石匙）、B III q23-PP 1（1937：石錘）から出土している。

時期 検出状況および出土遺物から縄文時代前期の遺構と推定される。

B IV q6柱穴群

遺構（第82図、写真図版一）

〈位置・検出状況〉 B IV q6～r7グリッド。III層で検出された。

〈重複〉 B IV q7-PP 4、PP 5とRD34が重複する。B IV q7-PP 4、PP 5が新しい。

〈規模・形態〉 概ね円形基調、径96～36cm、深さ8～69cmである。B IV q7-PP 1・PP 2・B IV q6-PP 1・B IV r6-PP 1で、4本柱の建物跡を構成する可能性がある。

〈埋土〉 黒褐色土の単層である。B IV q7-PP 2の埋土は掘り方と柱当たりの痕跡を遺す。他に底面に柱当たりの痕跡をのこす柱穴もある。

遺物（第193・267図、写真図版107・160）

〈出土状況〉 B IV q22-PP 2（873：土器）、B IV r23-PP 4（874：土器）、B IV q7-PP 2（1938：石錘）、B IV n1-PP 1（1939：石錘）から出土している。

時期 検出状況および出土遺物から縄文時代前期末葉以降の遺構と推定される。

BIIIj12

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	30×30	40×32	23×20	22×22	18×16
深さ (cm)	20	10	14	10	7

BIVk13

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	28×20	45×30
深さ (cm)	11	31

BIII l 13

No	PP 1
径 (cm)	27×25
深さ (cm)	13

BIII l 14

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	38×30	35×30
深さ (cm)	16	22

BIII m13

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	40×35	30×20
深さ (cm)	32	33

BIII m14

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 (cm)	35×30	55×50	30×28	75×70
深さ (cm)	30	43	10	13

BIII m15

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	25×23	38×35
深さ (cm)	16	19

BIII n13

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	45×40	42×35
深さ (cm)	45	44

BIII n14

No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 (cm)	45×25	52×45	30×25	25×25
深さ (cm)	25	38	6	18

BIII n15

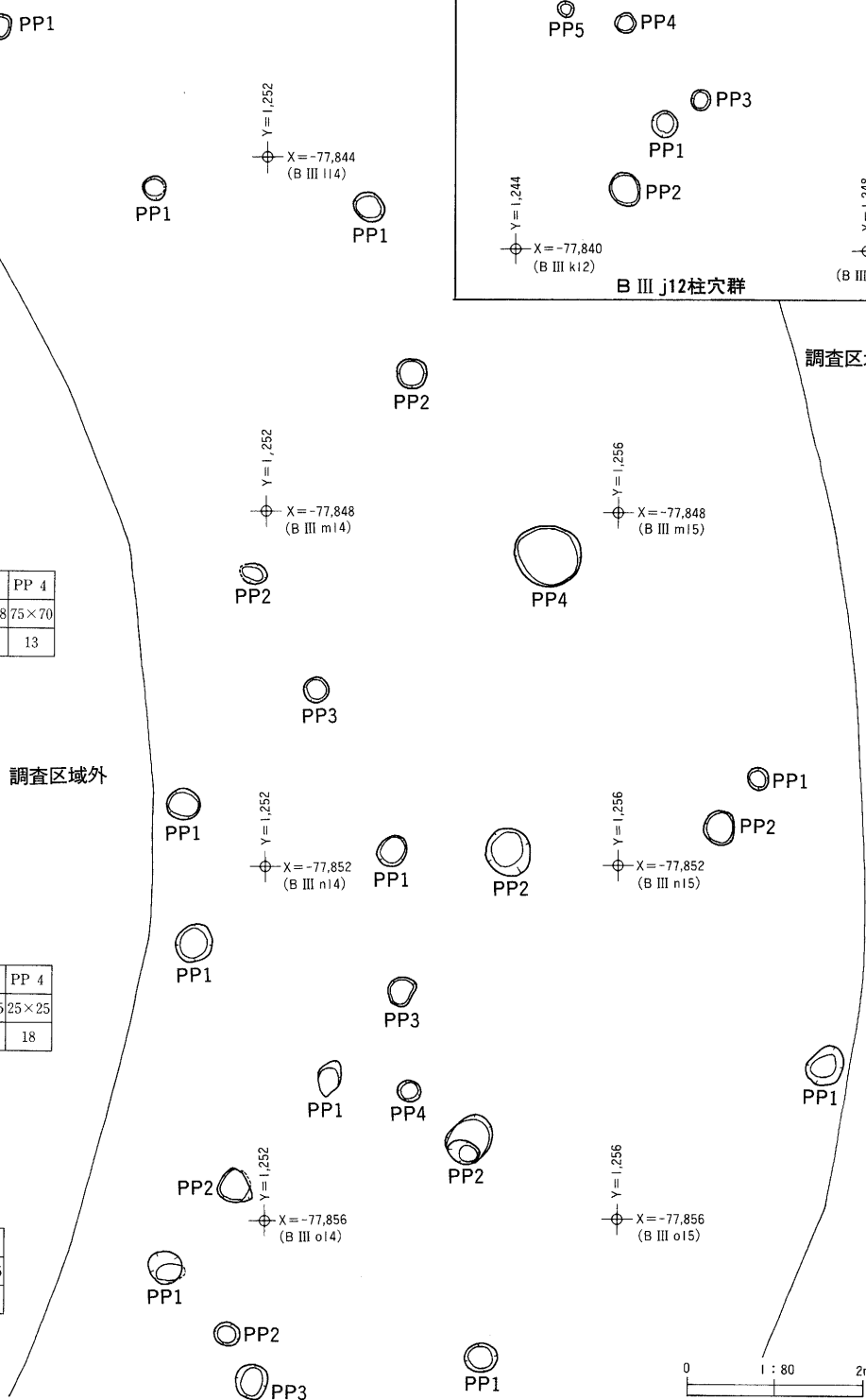
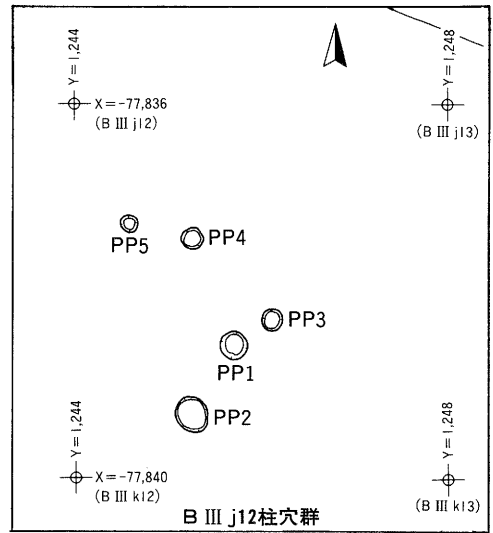
No	PP 1
径 (cm)	45×38
深さ (cm)	34

BIII o13

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	38×35	28×25	35×35
深さ (cm)	43	16	16

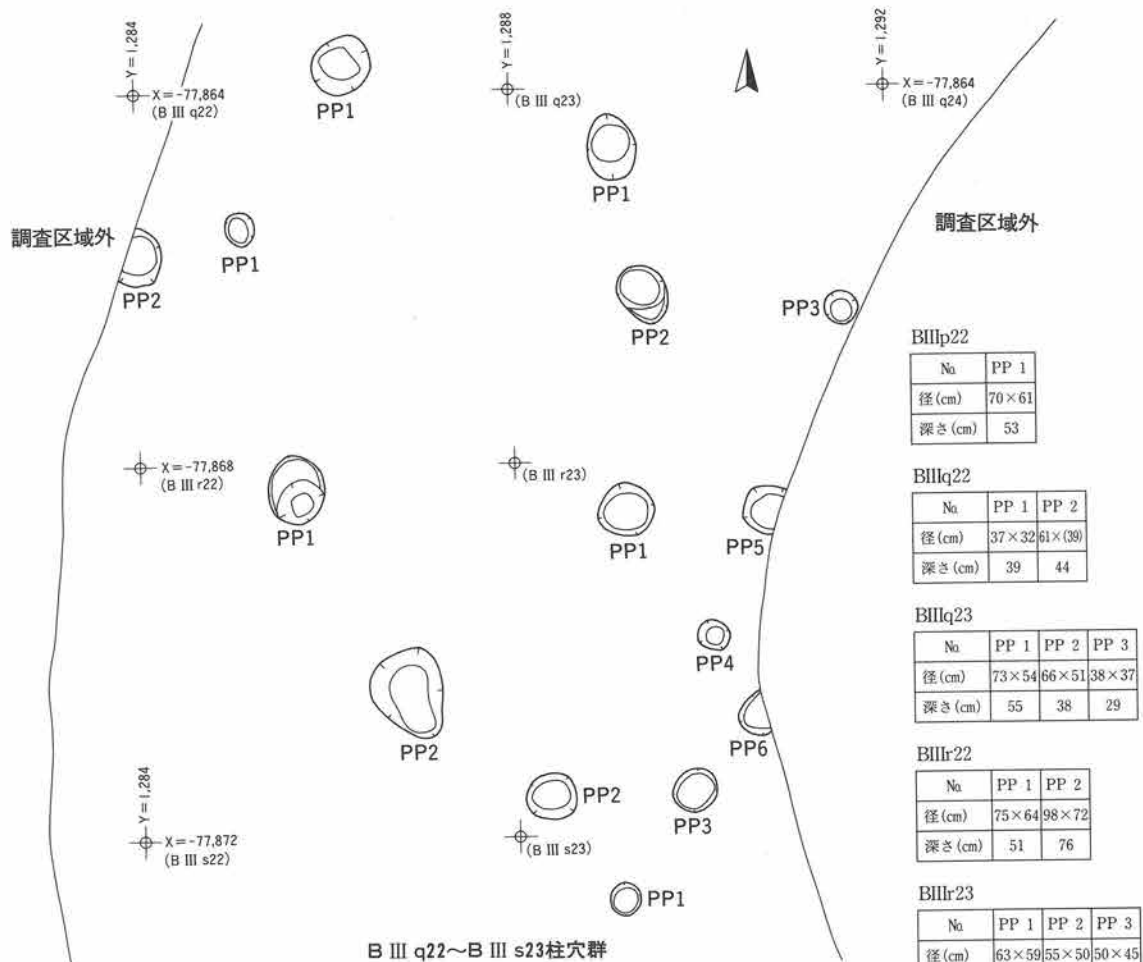
BIII o14

No	PP 1
径 (cm)	36×30
深さ (cm)	14



B III k13~B III o14柱穴群

第81図 柱穴群(1)



BIIIp22

No	PP 1
径 (cm)	70×61
深さ (cm)	53

BIIIq22

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	37×32	61×(39)
深さ (cm)	39	44

BIIIq23

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	73×54	66×51	38×37
深さ (cm)	55	38	29

BIIIr22

No	PP 1	PP 2
径 (cm)	75×64	98×72
深さ (cm)	51	76

BIIIr23

No	PP 1	PP 2	PP 3
径 (cm)	63×59	55×50	50×45
深さ (cm)	70	67	60

BIIIr23

No	PP 4	PP 5	PP 6
径 (cm)	36×35	52×(36)	46×(32)
深さ (cm)	68	46	30

BIII s23

No	PP 1
径 (cm)	36×33
深さ (cm)	60

BIVq7

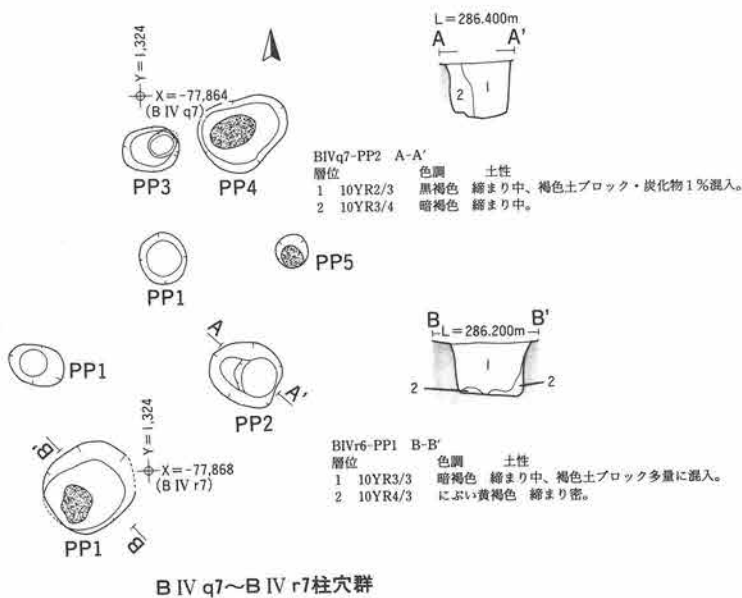
No	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5
径 (cm)	55×55	80×70	62×48	96×78	36×35
深さ (cm)	69	60	71	18	8

BIVq6

No	PP 1
径 (cm)	62×45
深さ (cm)	86

BIVr6

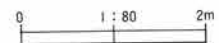
No	PP 1
径 (cm)	100×100
深さ (cm)	57



BIVq7-PP2 A-A'
 層位 色調 土性
 1 10YR2/3 黒褐色 締まり中、褐色土ブロック・炭化物1%混入。
 2 10YR3/4 暗褐色 締まり中。

BIVr6-PP1 B-B'
 層位 色調 土性
 1 10YR3/3 暗褐色 締まり中、褐色土ブロック多量に混入。
 2 10YR4/3 濃い黄褐色 締まり密。

B IV q7~B IV r7柱穴群



第82図 柱穴群(2)

9. 遺物包含層（第85～90図、写真図版48）

遺物包含層の範囲は、範囲確認調査の成果によれば、東西150m、南北150m で面積約16,000㎡に及ぶ。今回の調査で出土した遺物（縄文土器・石器）の出土量をグリッド別に集計した結果、削平された北西側を除けば、調査区北側に遺物が集中し、遺物集中区は縄文時代の遺構の分布域とほぼ重なるようである。遺跡全体における出土遺物量の多寡が明瞭で、遺物包含層の範囲（集落の範囲）も把握される。

遺物包含層と認識されたのは基本層序 I d 層である。色調は黒褐色で、炭化物・焼土粒を含むため、周囲の土層（I c・d 層）より明るい感じを受ける。I d 層の層厚は地点により若干異なるが、平均して30～40cm ある。今回の調査では I d 層を10cm単位で掘り下げて遺物の採取を行った。遺物の出土状況について記録を図化したのは、B IV w 1・w 2・w 3 グリッド・B IV x 6・x 7・x 8 グリッドの6グリッドである。

B IV w 1 グリッド（第85図）

西側に RA09住居跡、東側に RA07住居跡が位置し、このふたつの住居跡の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II・III層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は、I b・I c 層からの出土量は少なく、I d 層から遺物が多く出土している。出土遺物は、土器34.965kg、石器4.212kgが出土している。時期は縄文時代前期後葉～末葉である。

B IV w 2 グリッド（第86図）

RA07住居跡上に位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は I d 層から多く出土している。出土遺物は、土器74.739kg、石器7.789kgが出土しており、255～257・260の器形と文様構成が類似する土器が出土している。下位より RA07住居跡が検出されていることから、出土遺物は、RA07住居跡→B IV w 2 グリッド(260・261)と把握される。時期は縄文時代前期末葉である。

B IV w 3 グリッド（第87図）

西側に RA07住居跡、東側に RA08住居跡が位置し、このふたつの住居跡の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は、I b・I c 層からの出土量は少なく、I d 層から多く出土している。出土遺物は、土器54.578kg、石器8.093kgが出土しており、269の土器とともに265・268の地文のみの土器が出土している。

B IV x 6 グリッド（第88図）

同グリッド西側に RD16土坑が位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は、I b・I c 層からの出土量は少なく、I d 層から多く出土している。出土遺物は、土器37.970kg、石器5.513kgが出土している。

B IV x 7 グリッド（第89図）

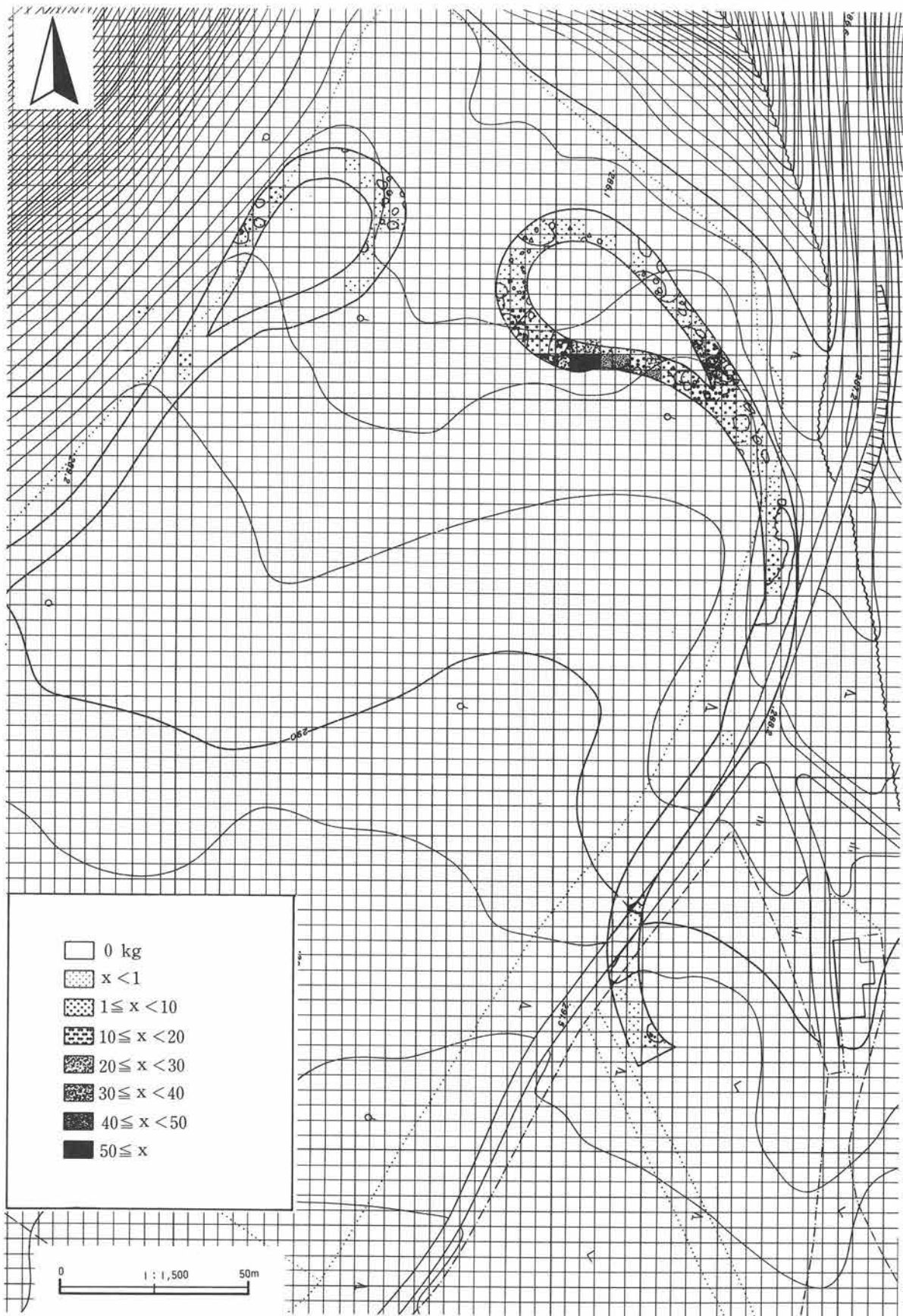
西側に RD16土坑、東側に RA10住居跡が位置し、このふたつの遺構の間に当たる。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は、I b・I c 層からの出土量は少なく、I d 層から多く出土している。出土遺物は、土器43.071kg、石器5.174kgが出土しており、一括遺物も出土している。時期は縄文時代前期後葉～末葉である。

B IV x 8 グリッド（第90図）

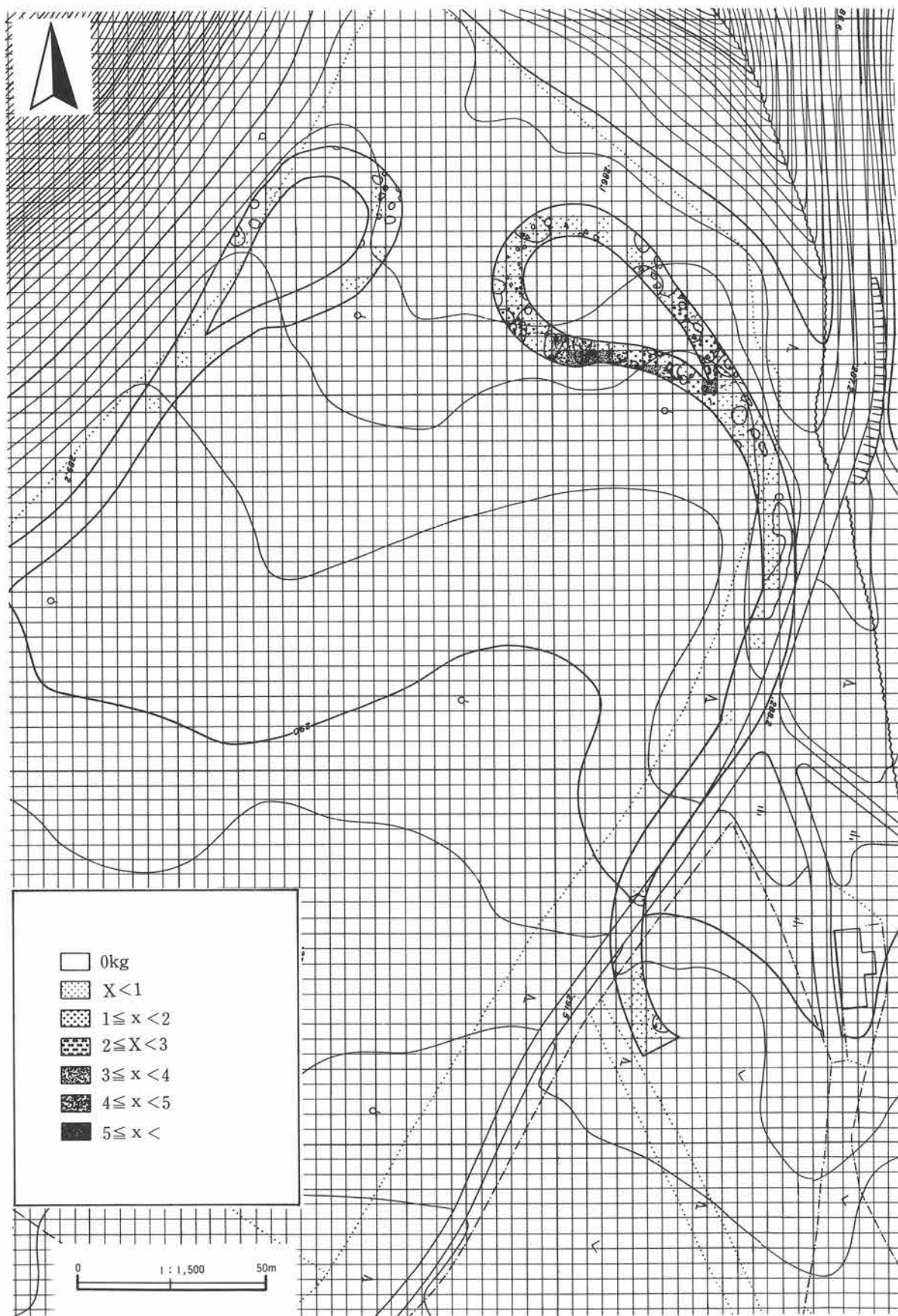
RD07土坑の上に位置する。同地点は南から北に（和賀川に向かって）緩く傾斜している。層序は I a・I b・I c・I d・II層で、I d 層の層厚は30cmである。遺物は I b・I c 層からの出土量は少なく、I d 層から多く出土している。出土遺物は、土器41.183kg、石器3.198kgが出土している。

第4表 グリッド別出土遺物一覧(掲載No.)

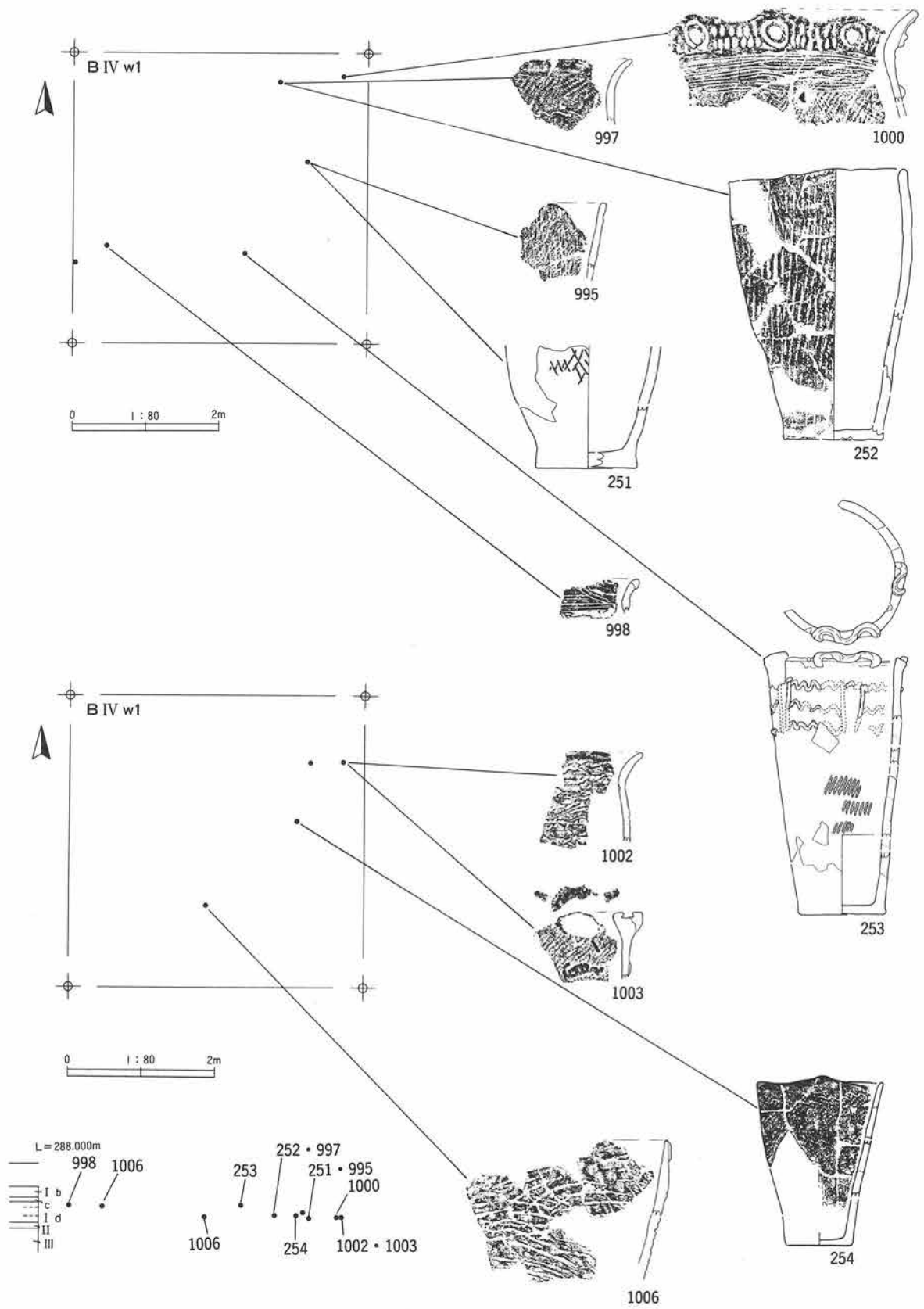
グリッド	土		土製品	石 鏃	尖頭器	石 錐	石 匙	石 鏡	不定形	両極	剝片	石 打製	斧 磨製	石 錐	I a	I b	I c	II	台石	石 製 品	重量(g)			
	立体	器 破片																			土 器	石 器		
B III t23	232	875~881																			14,694	1,386		
B III u20	—	—																		2177		4,849	518	
B III u22	—	882																				4,779	478	
B III u23	233	883~887																				16,479	2,219	
B III u24	—	888~891																				9,614	1,534	
B III u25	—	894~896																				9,309	933	
B III w24	—	—																		2210		2,665	491	
B III w25	—	897~898	1255						1691													10,538	1,742	
B IV u2	234	899~912																				11,078	122	
B IV u11	—	913~916																				2,231	—	
B IV v1	235	236	917~923				1620															13,966	3,214	
B IV v2	—	924~943					1621															29,808	3,096	
B IV v3	237	944~968		1502			1622															24,979	3,904	
B IV v4	—	438・439																				4,283	213	
B IV v10	238~248	969~991	1257																			39,736	255	
B IV v11	249	992・993																				10,907	1,553	
B IV w1	250~254	994~1006																		2196・2209		34,965	4,212	
B IV w2	255~261	1006~1029		1503																		2212	74,439	7,789
B IV w3	262~272	1030~1057																				2169・2192	54,578	8,093
B IV w4	273~278	1058~1063					1623							1940								40,405	5,496	
B IV w5	279~286	1064~1076																				45,103	4,189	
B IV w6	287~289	1077	1258				1624															17,212	1,802	
B IV w7	290	1078~1086					1625															22,692	2,685	
B IV w8	291	—																				1,495	248	
B IV w10	292	1087~1099					1626															2193	21,565	2,633
B IV w11	293~296	1100~1114					1627															2175	36,977	2,485
B IV w12	—	1115~1118																				1,384	330	
B IV x4	297~300	1119~1124																				12,287	2,588	
B IV x5	301~305	1125~1139																				34,002	2,701	
B IV x6	306~315	1140~1155																				37,900	5,513	
B IV x7	316~321	1156~1168		1504~1506										1941								43,071	5,174	
B IV x8	322~325	1170~1181																				41,183	3,198	
B IV x10	—	—																				4,737	338	
B IV x11	326~330	1182~1197																				2194	35,453	2,285
B IV x12	331	1192~1210																				15,334	1,617	
B IV y8	332	1211~1220																				12,377	—	
B IV y10	—	1221~1226																				12,739	329	
B IV y11	333	1227~1234					1628															15,491	7,443	
B IV y12	334	1235~1238																				11,108	905	
C IV a10	—	1239~1243					1629															5,544	750	
C IV a11	—	1244																				4,217	1,092	
C IV a12	335	1245~1247																				7,329	664	
C IV c12	—	1248																				3,432	245	
C IV d12	—	1249																				435	43	
C IV g14	336	1250																				1,364	115	
C IV h15	—	1251・1252																				1,084	163	
C IV I15	—	—																				2211	80	250
D IV g6	—	—							1692													2173	217	—
D IV S7	—	—																				—	—	—



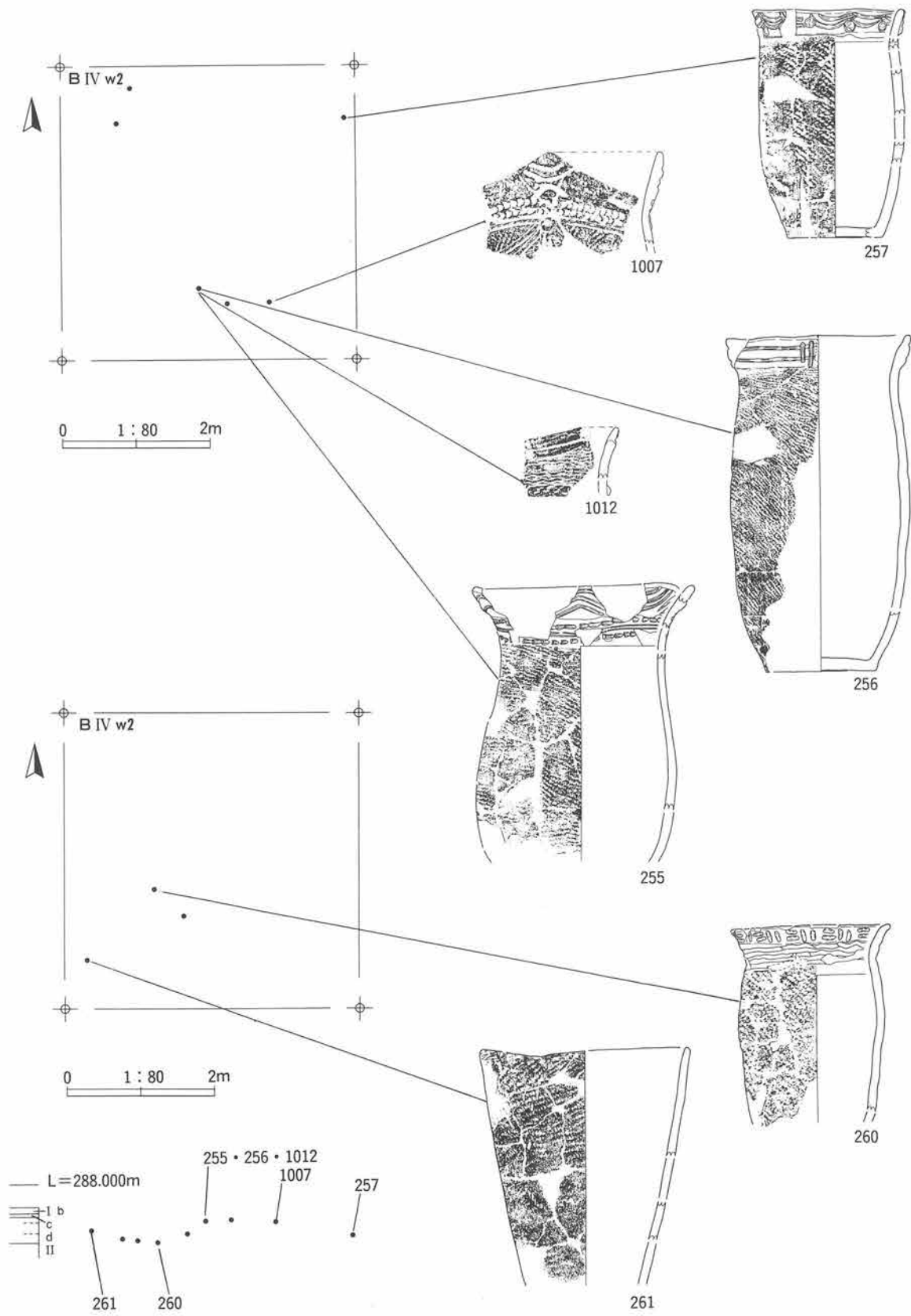
第83図 縄文土器出土重量分布図



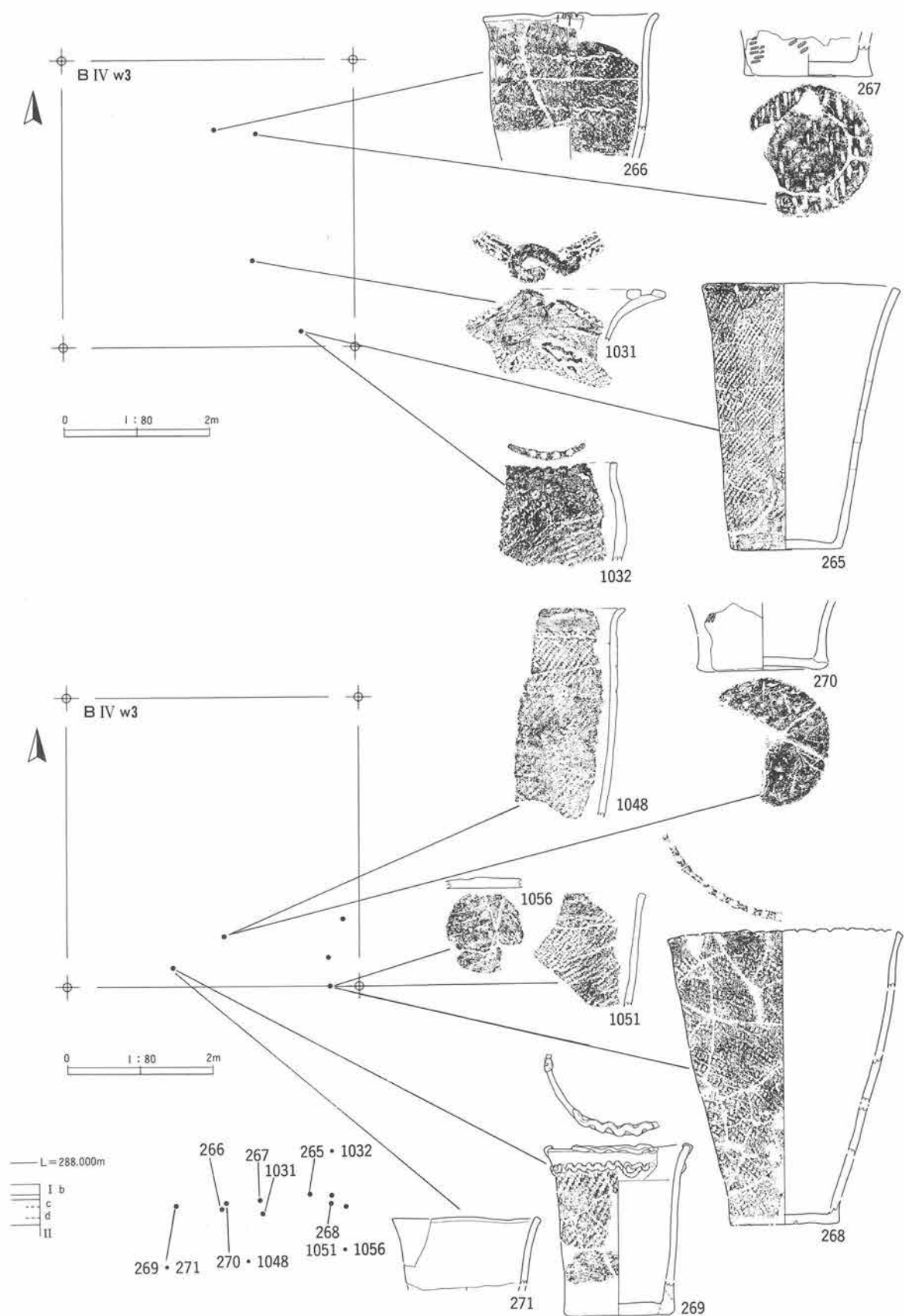
第84图 石器出土重量分布图



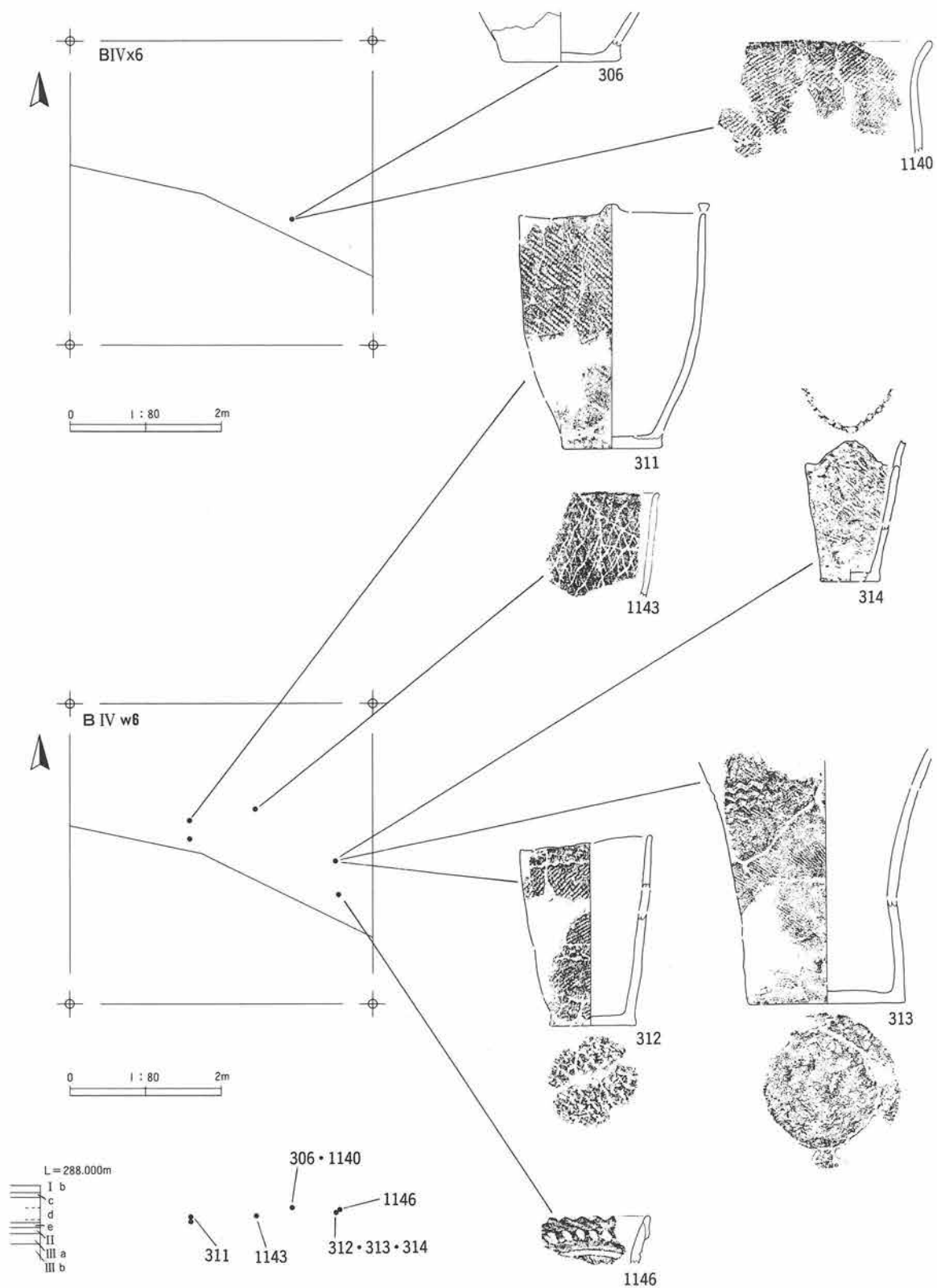
第85図 遺物包含層(BIVw1)遺物出土状況



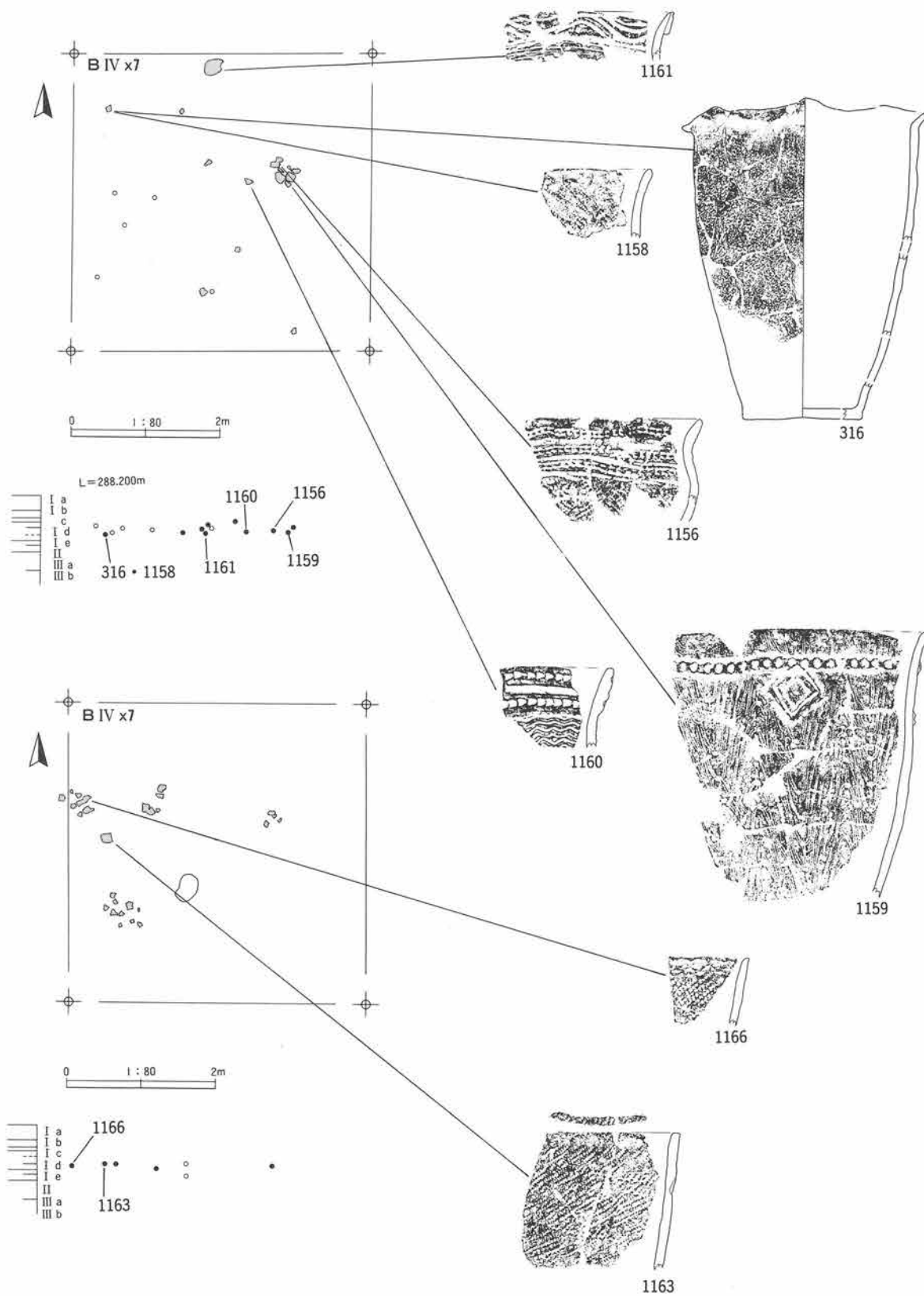
第86図 遺物包含層(BIVw2)遺物出土状況



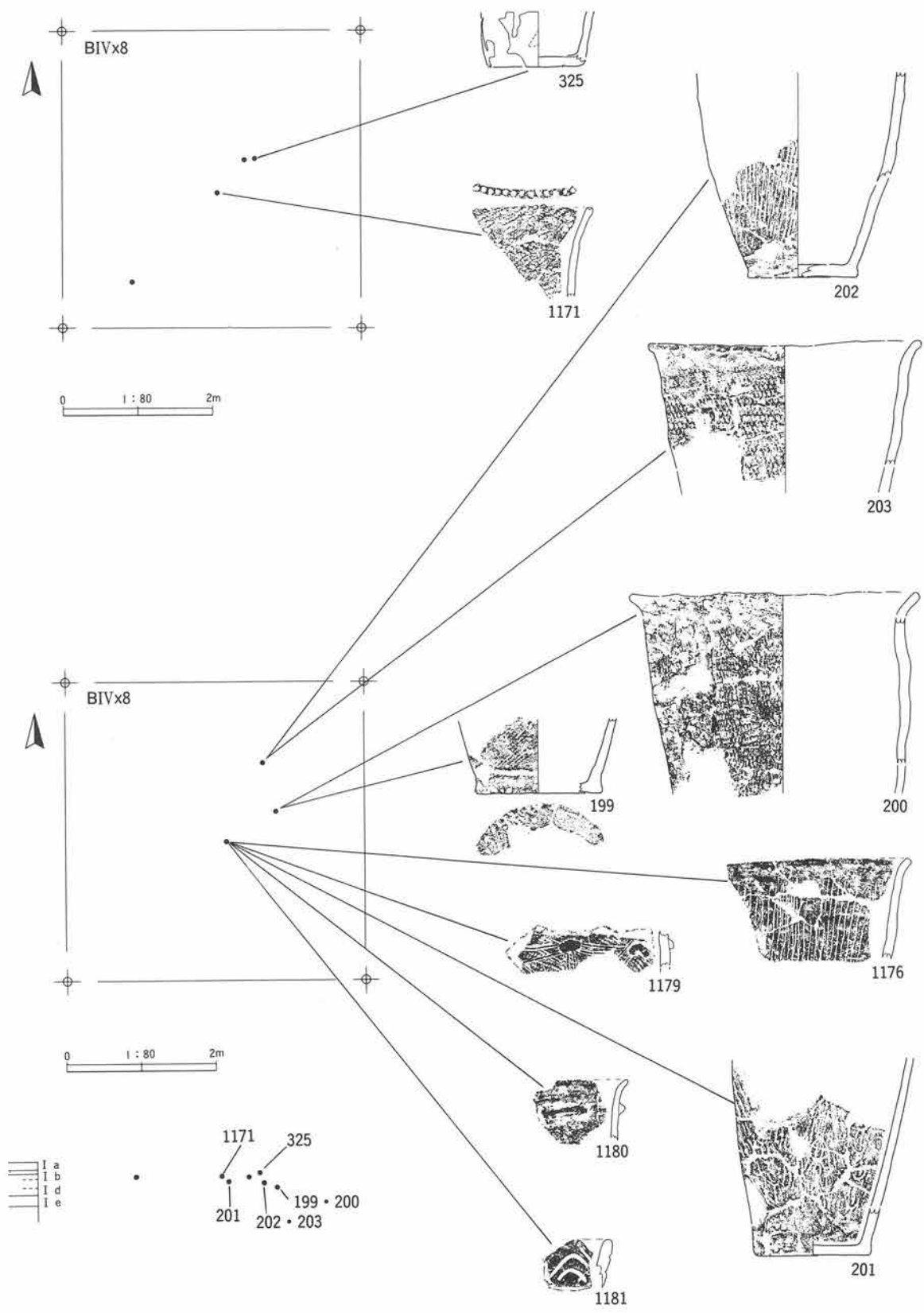
第87图 遺物包含層(BIVw3)遺物出土狀況



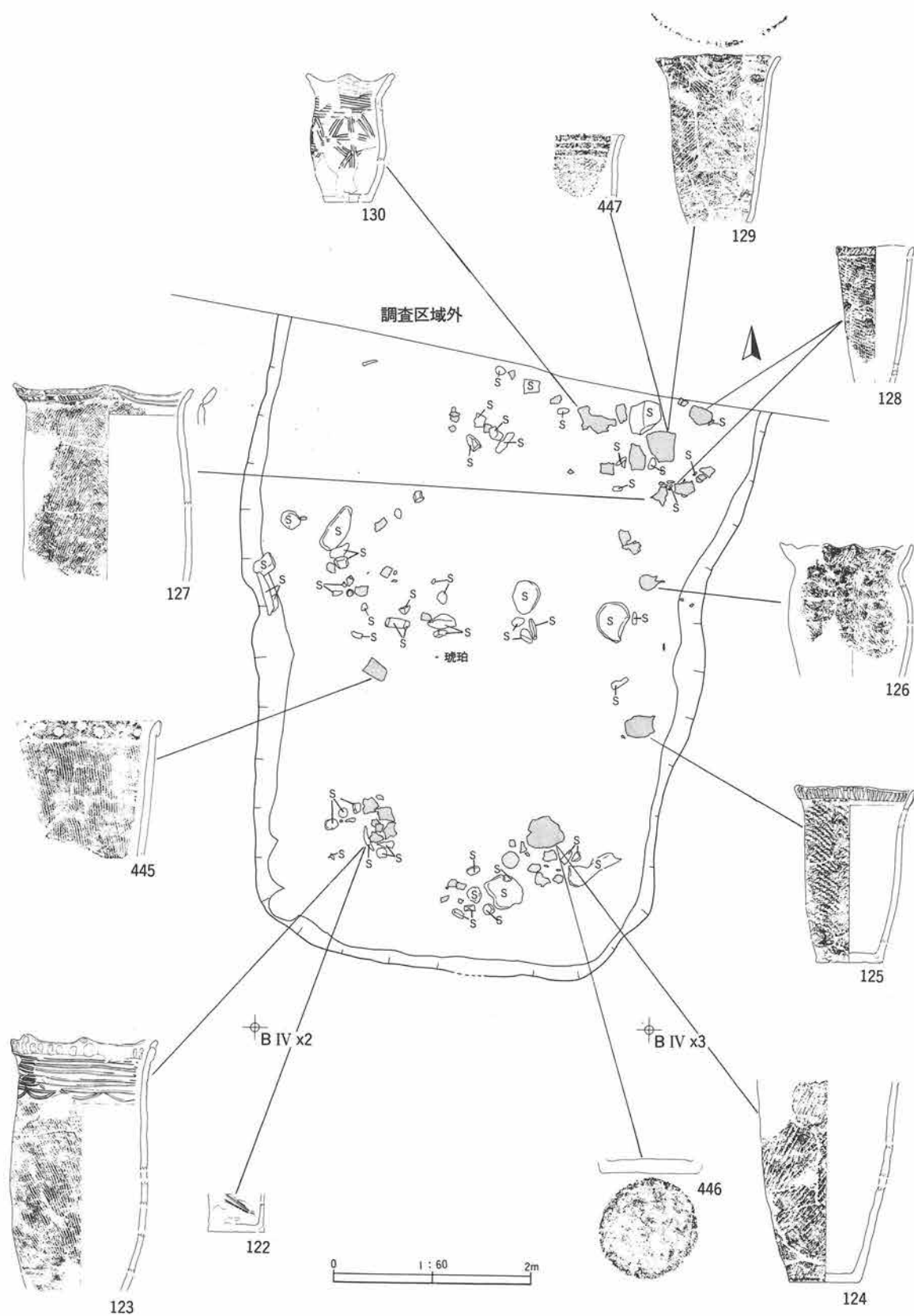
第88図 遺物包含層(BIVx6)遺物出土状況



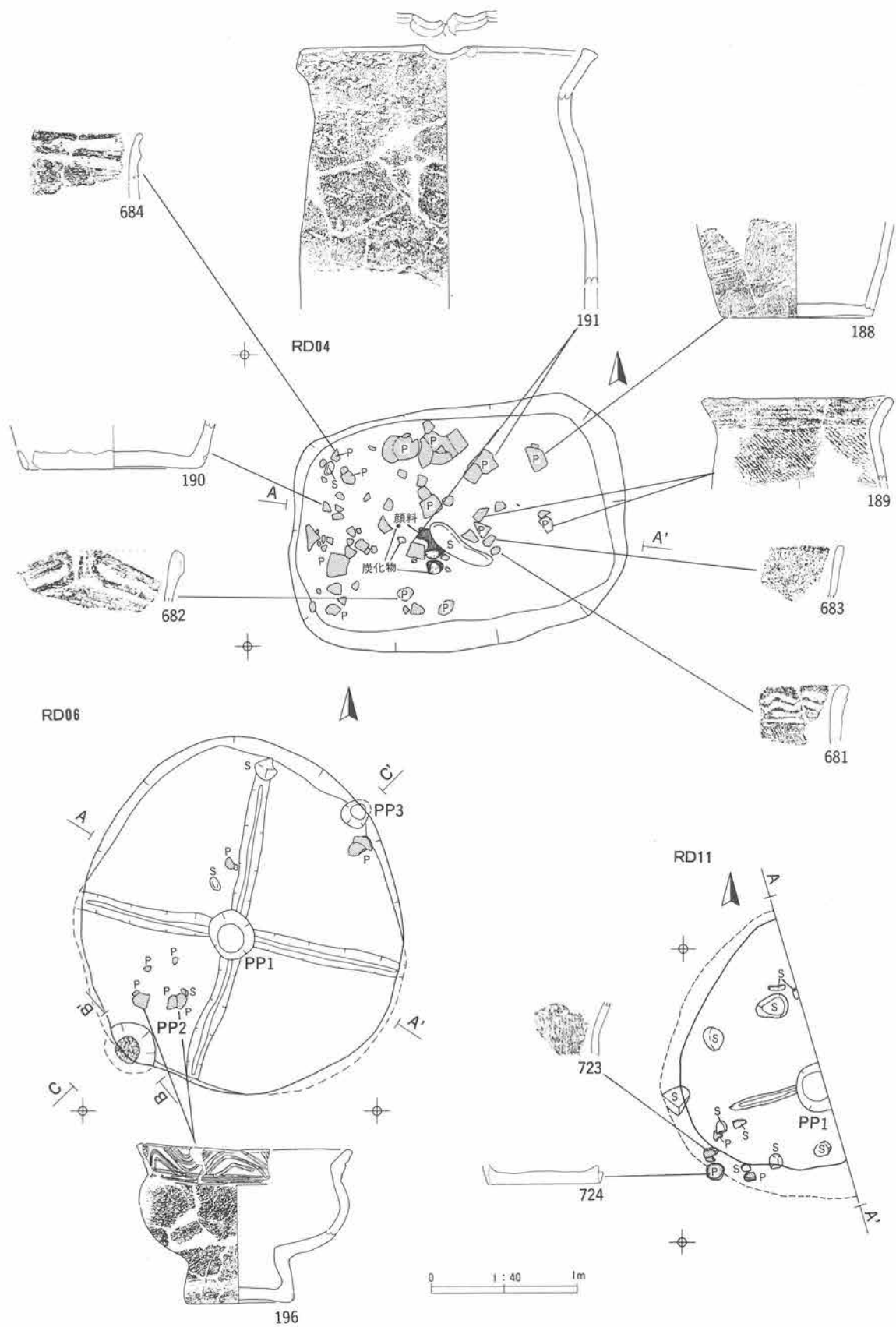
第89図 遺物包含層(BIVx7)遺物出土状況



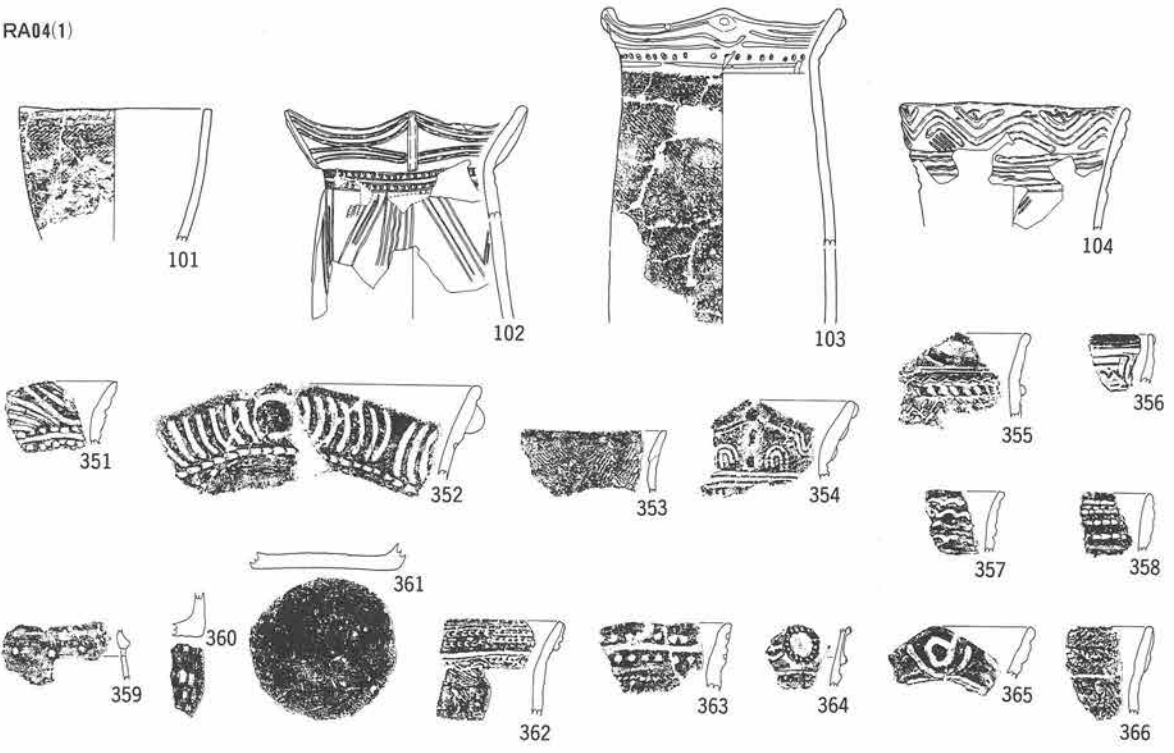
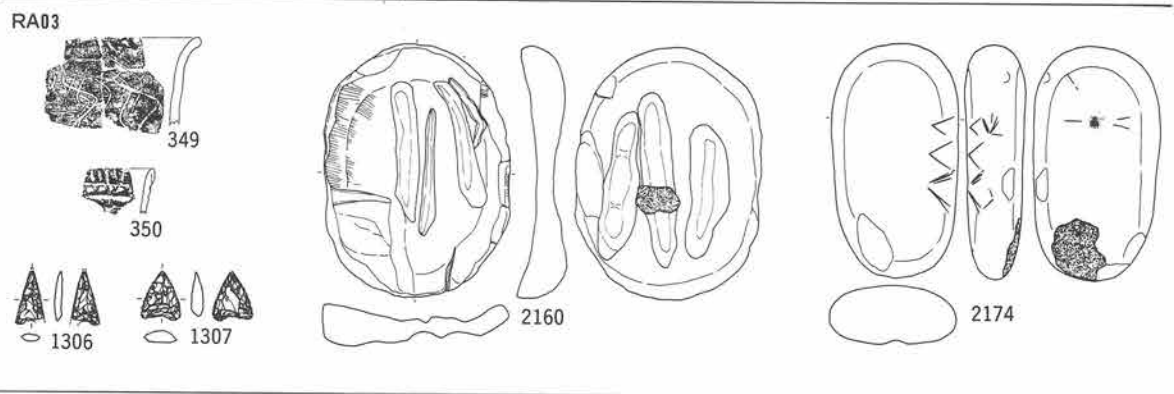
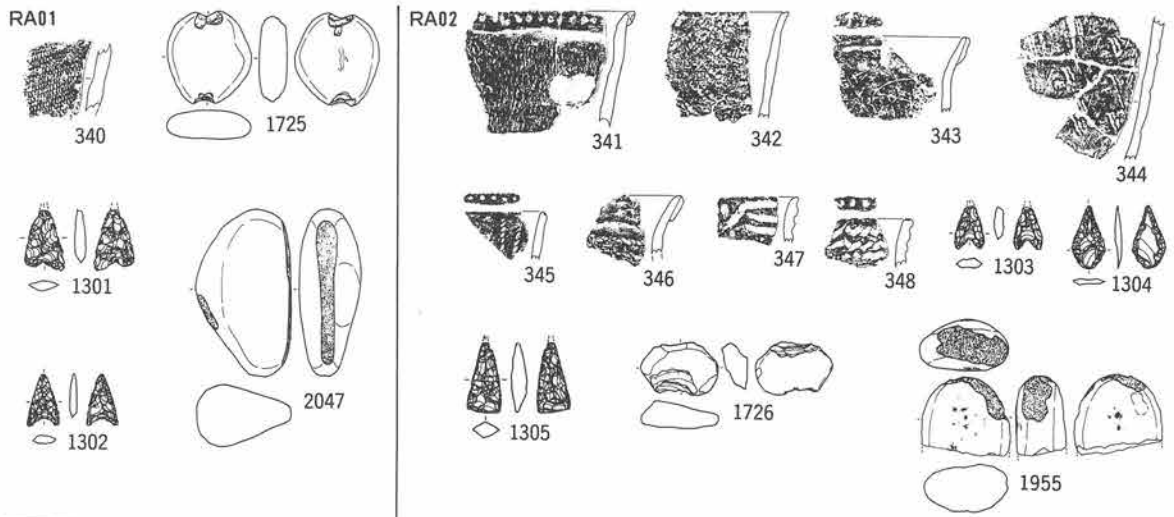
第90図 遺物包含層(BIVx8)遺物出土状況



第91図 RA07住居跡遺物出土状況

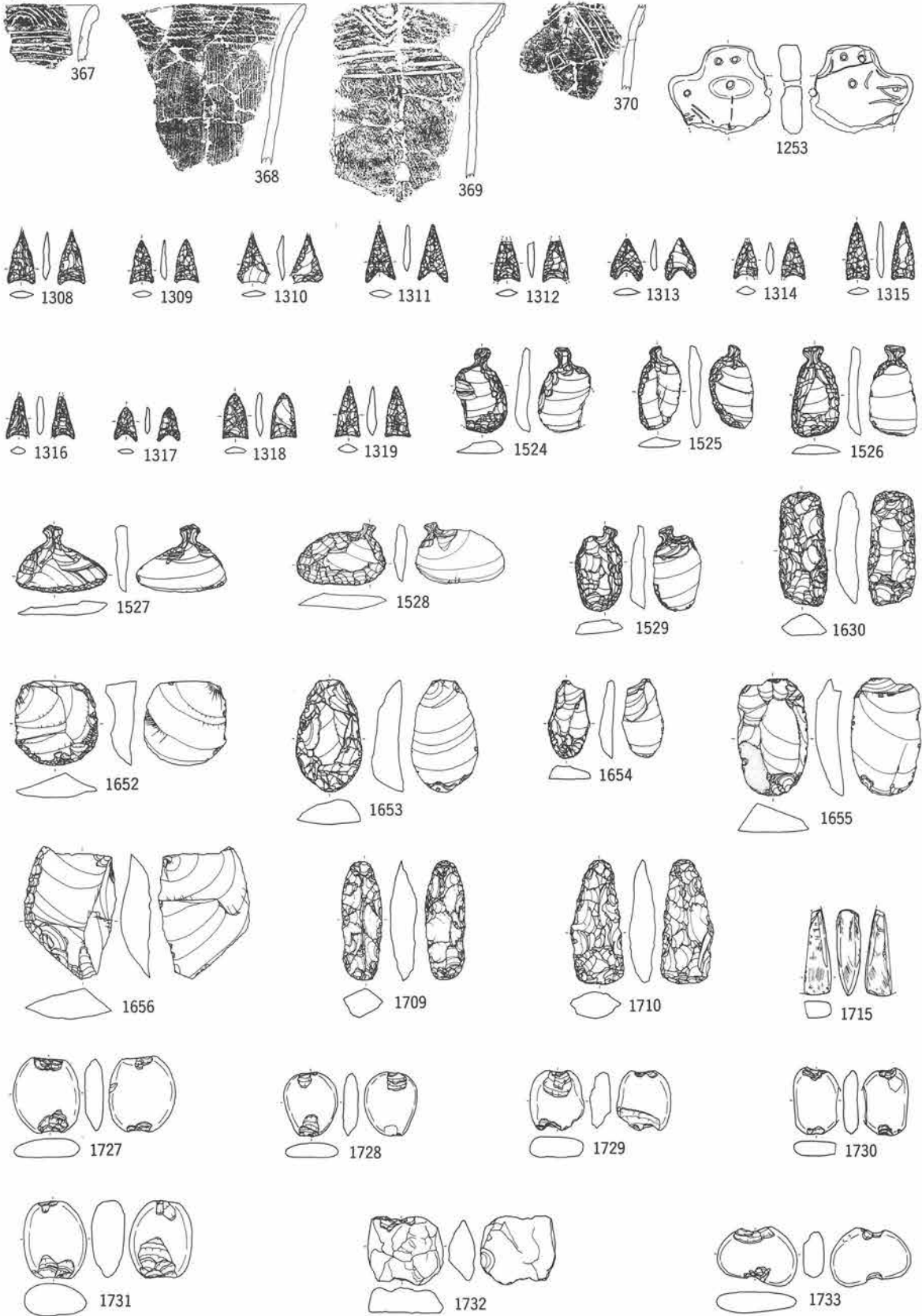


第92図 RD04・06・11土坑遺物出土状況



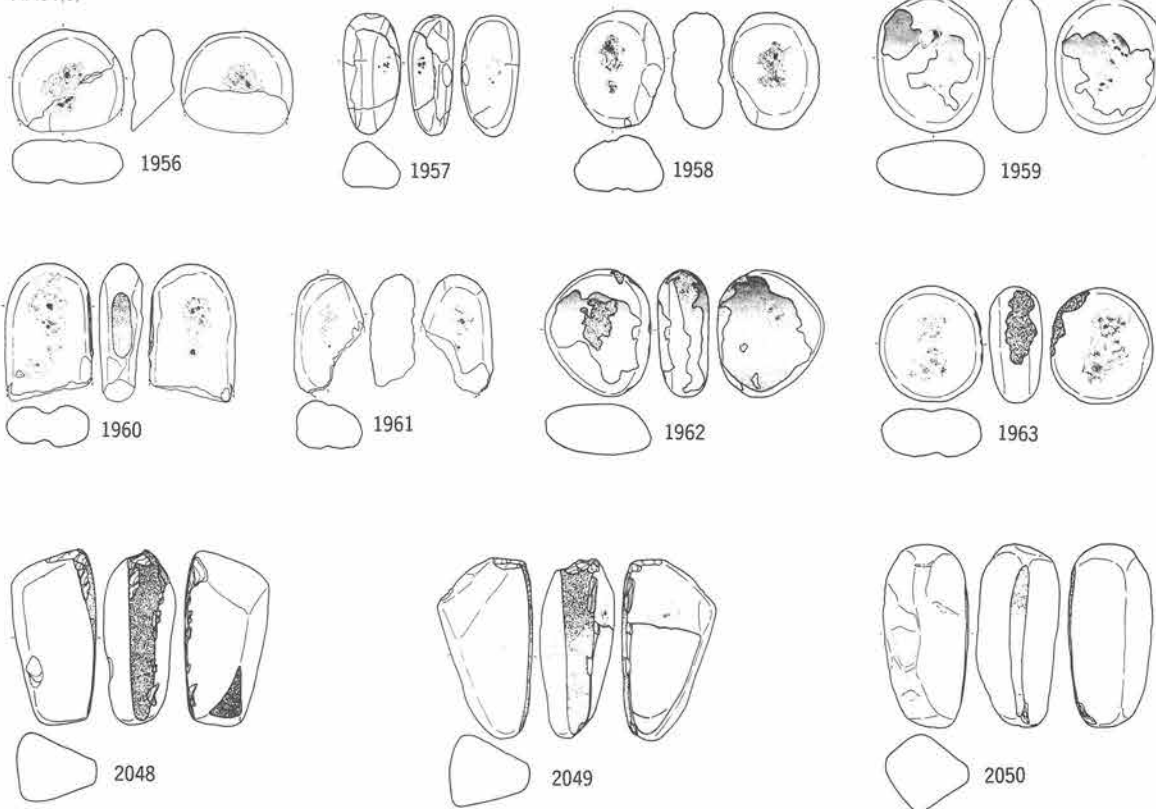
第93圖 RA01・02・03・04(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/6)

RA04(2)

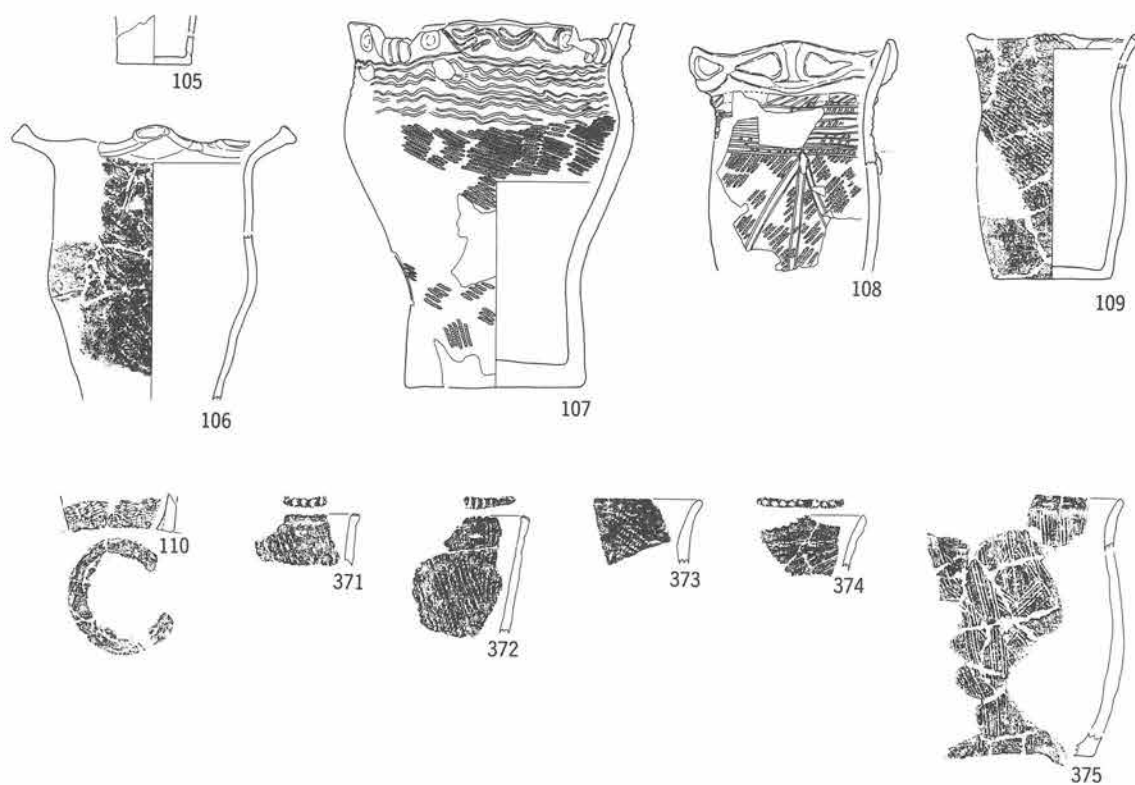


第94図 RA04(2)出土遺物(土器破片1/6・土製品1/4、石器剝片1/4・礫1/6)

RA04(3)

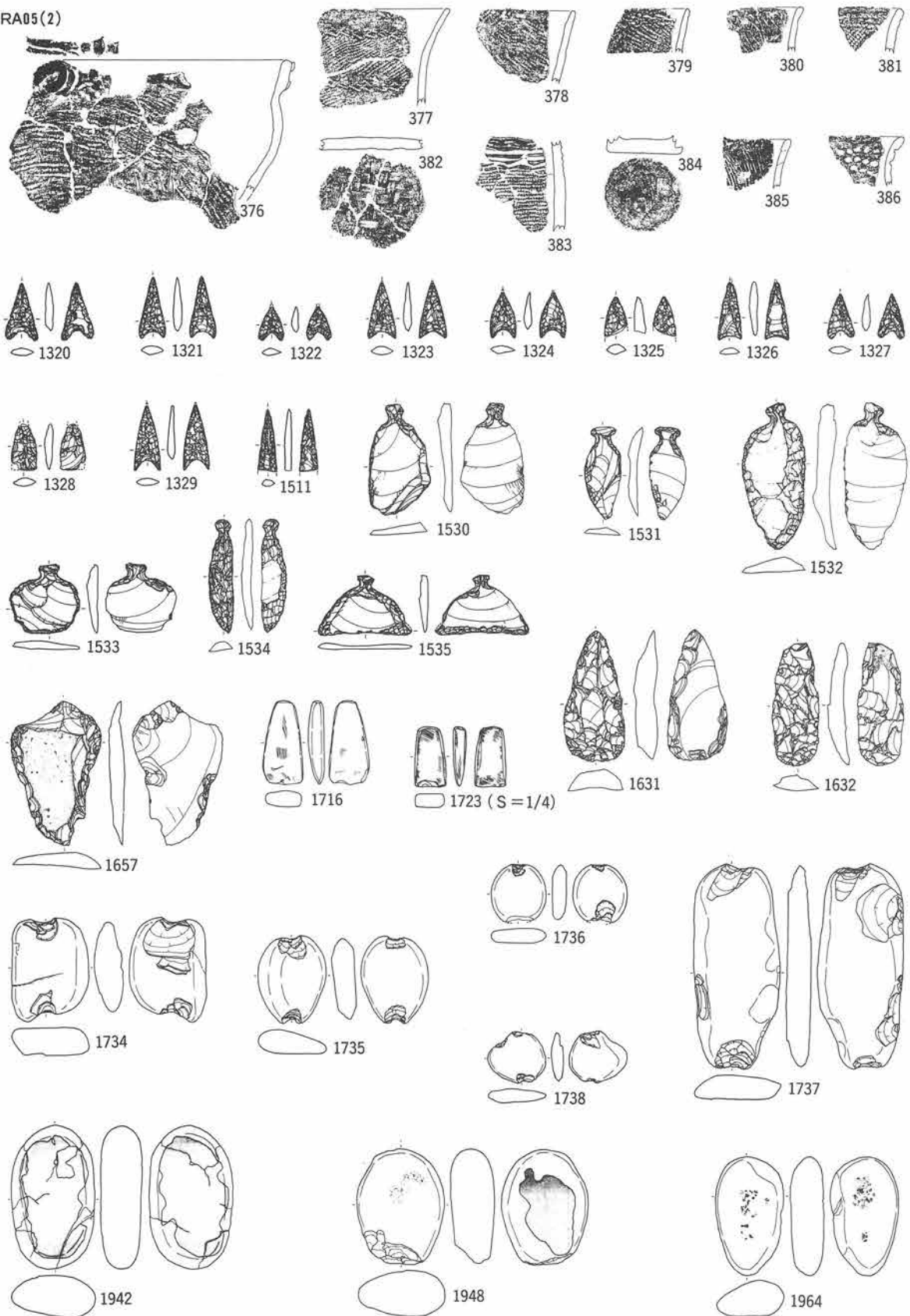


RA05(1)



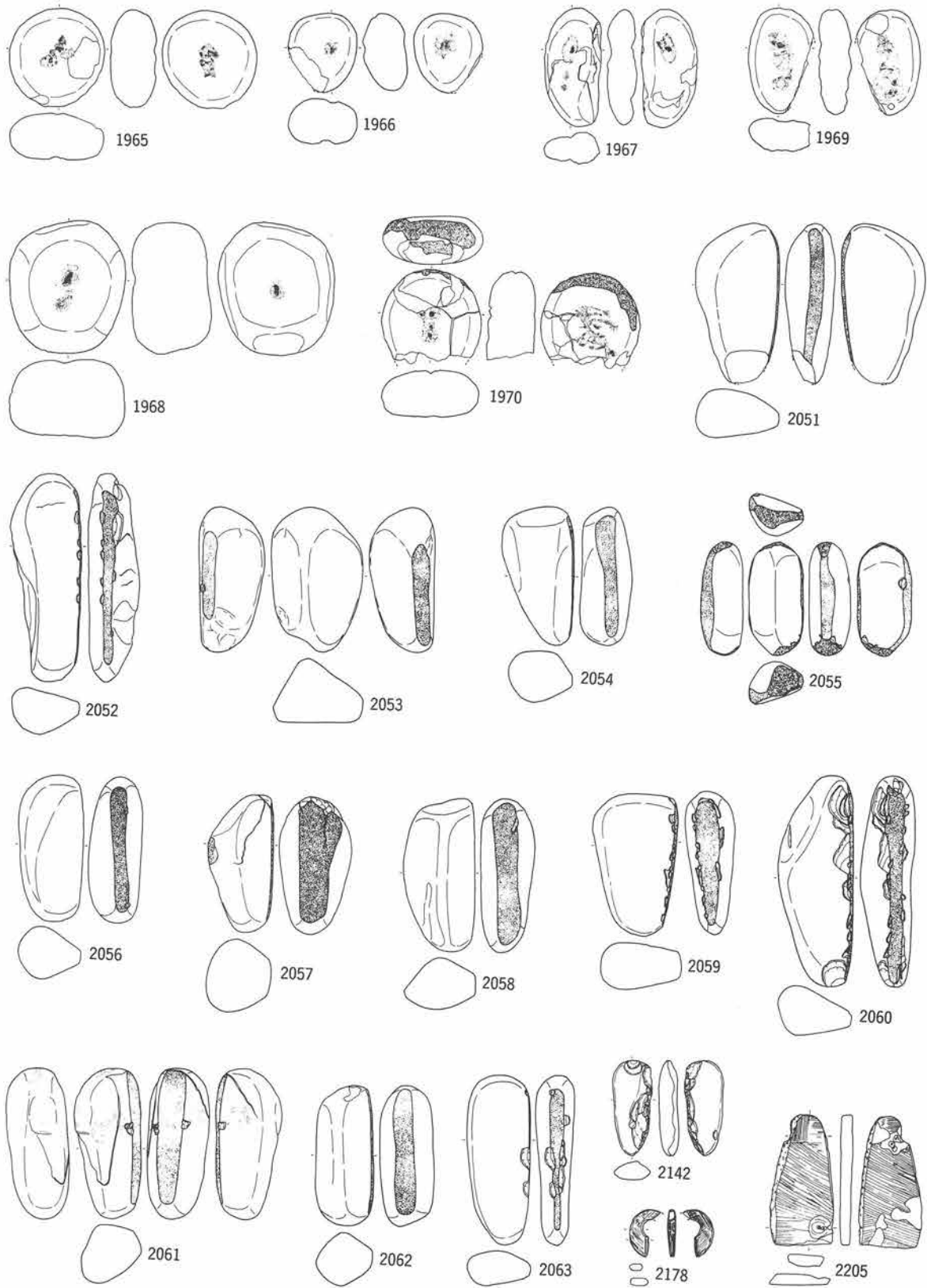
第95図 RA04(3)・05(1)出土遺物(土器立体1/6・破片1/6、石器礫1/6)

RA05(2)



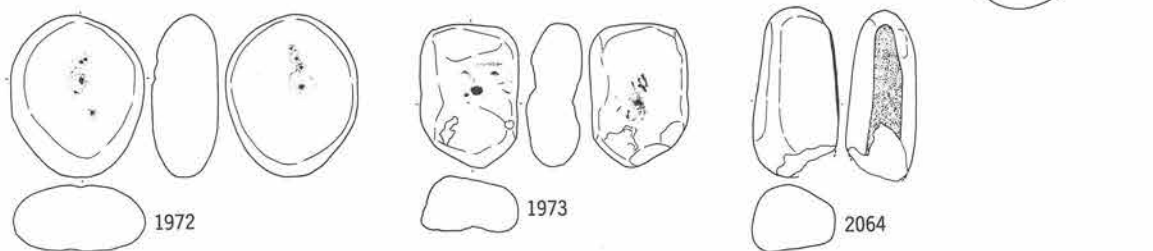
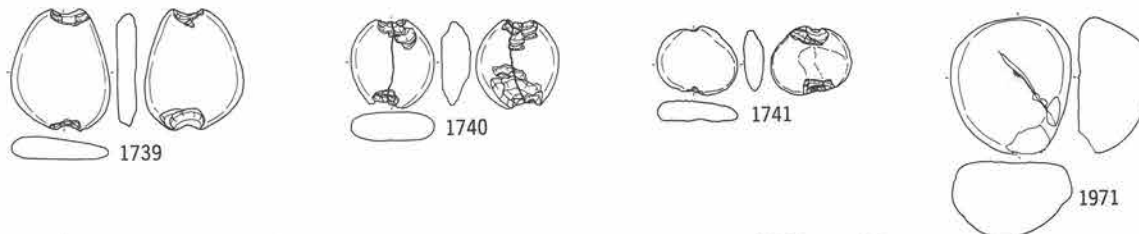
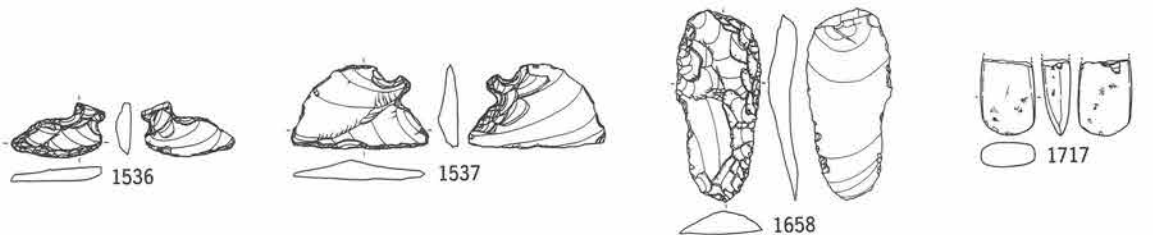
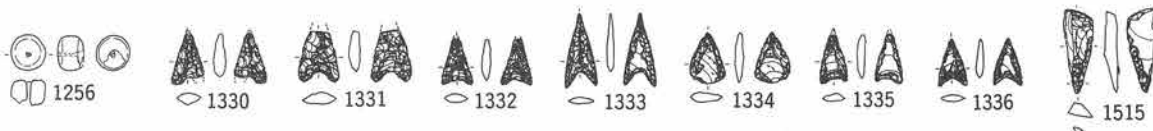
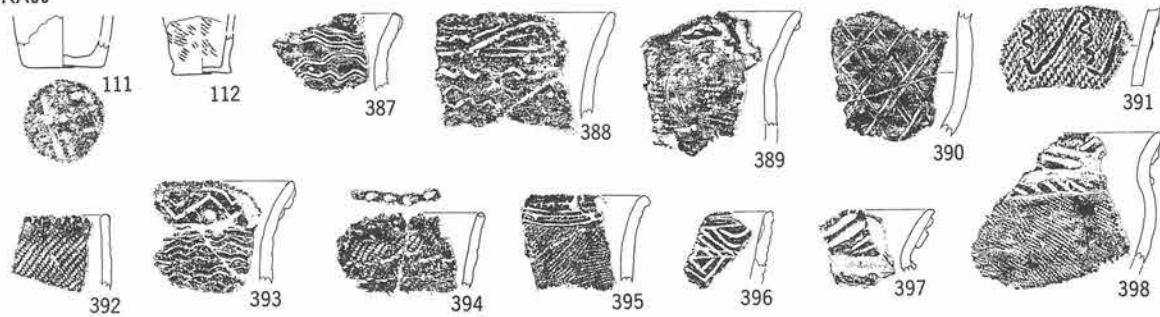
第96图 RA05(2)出土遺物 (土器破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6)

RA05(3)

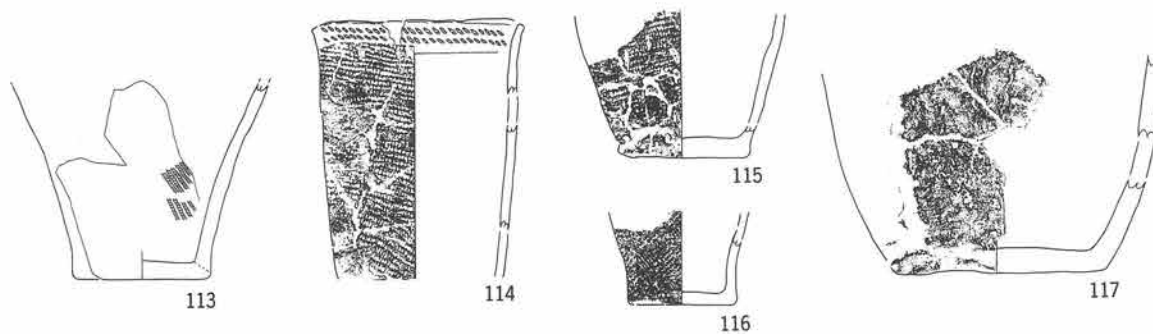


第97図 RA05(3)出土遺物(石器礫1/6・石製品1/4)

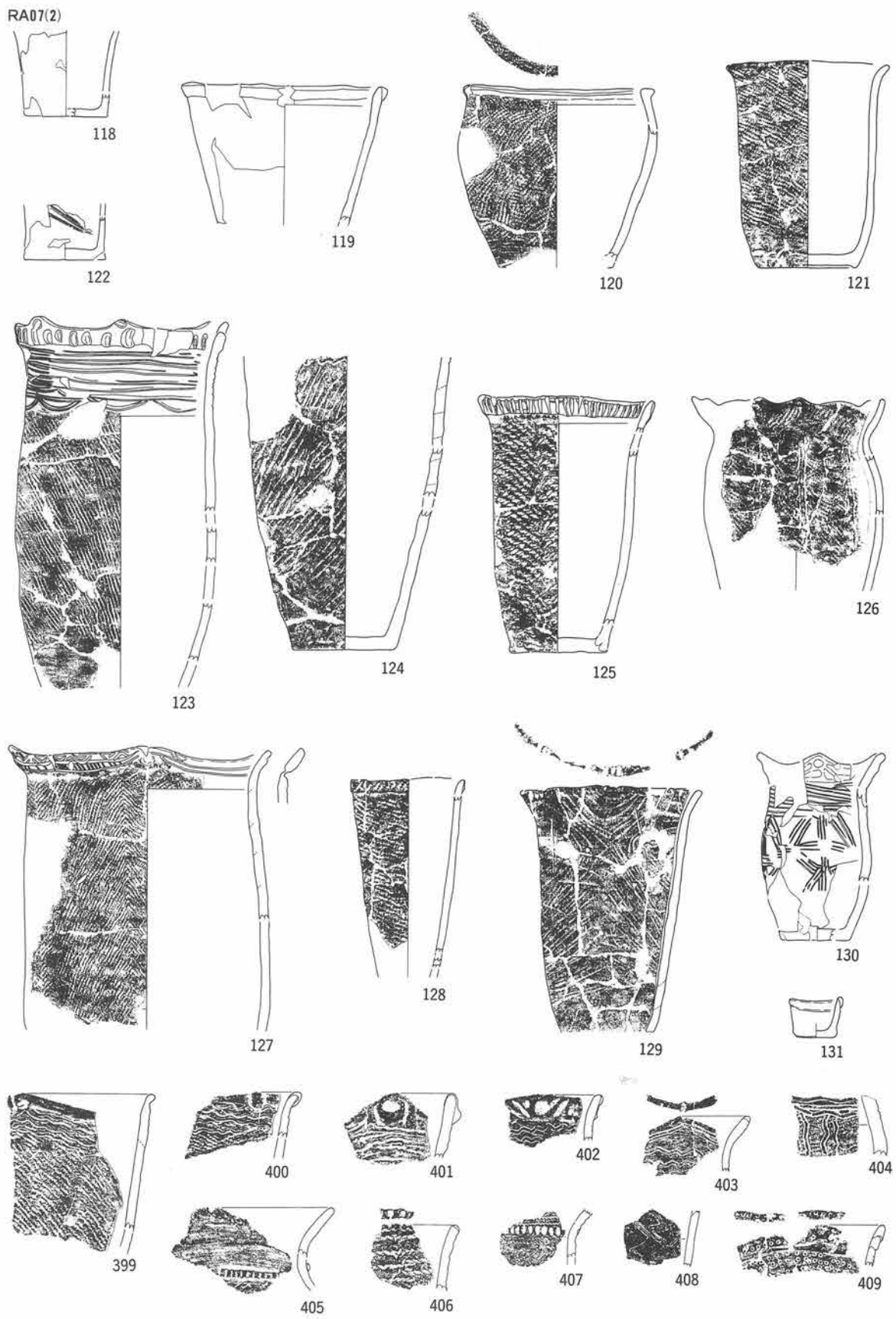
RA06



RA07(1)

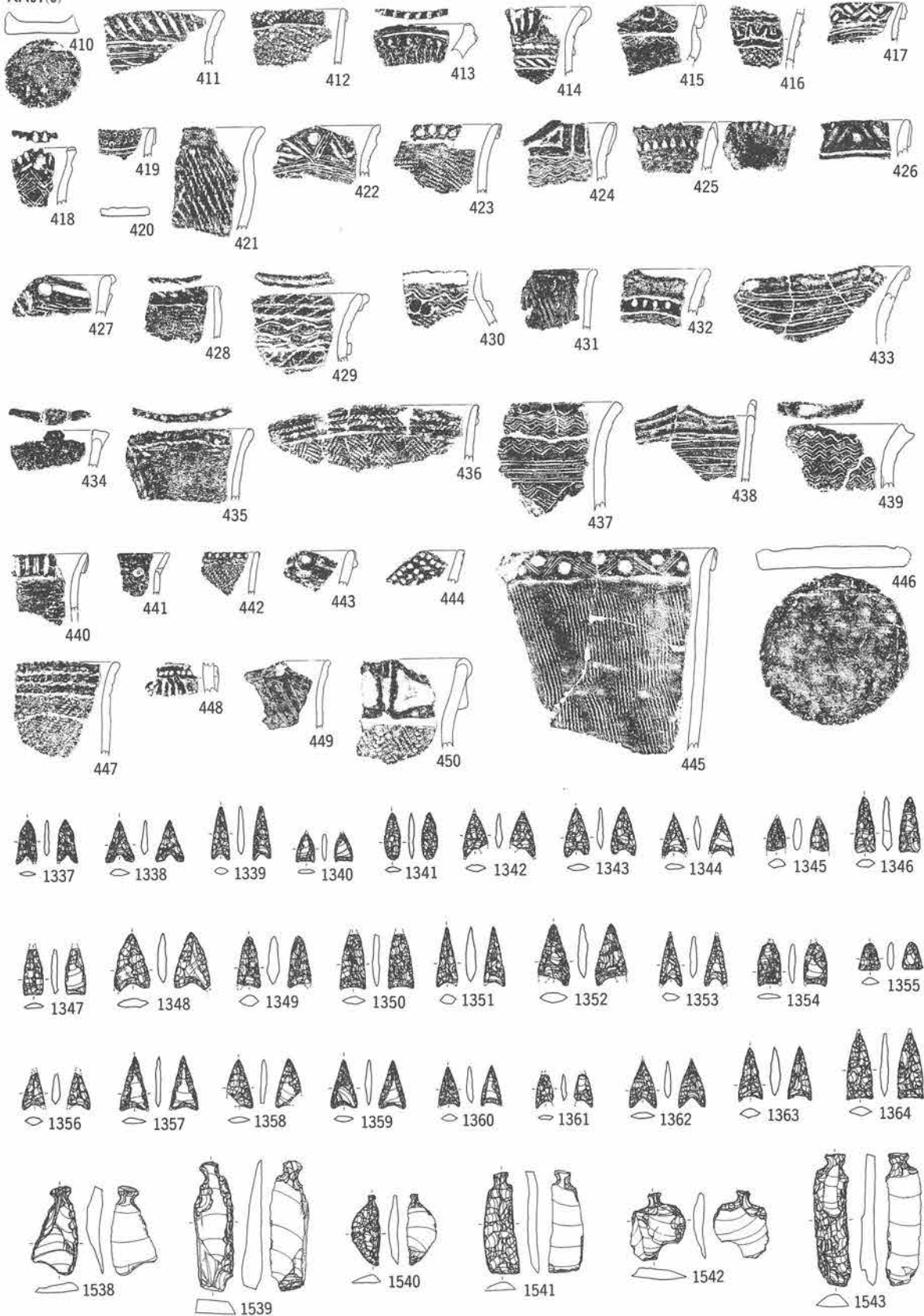


第98図 RA06・07(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6)



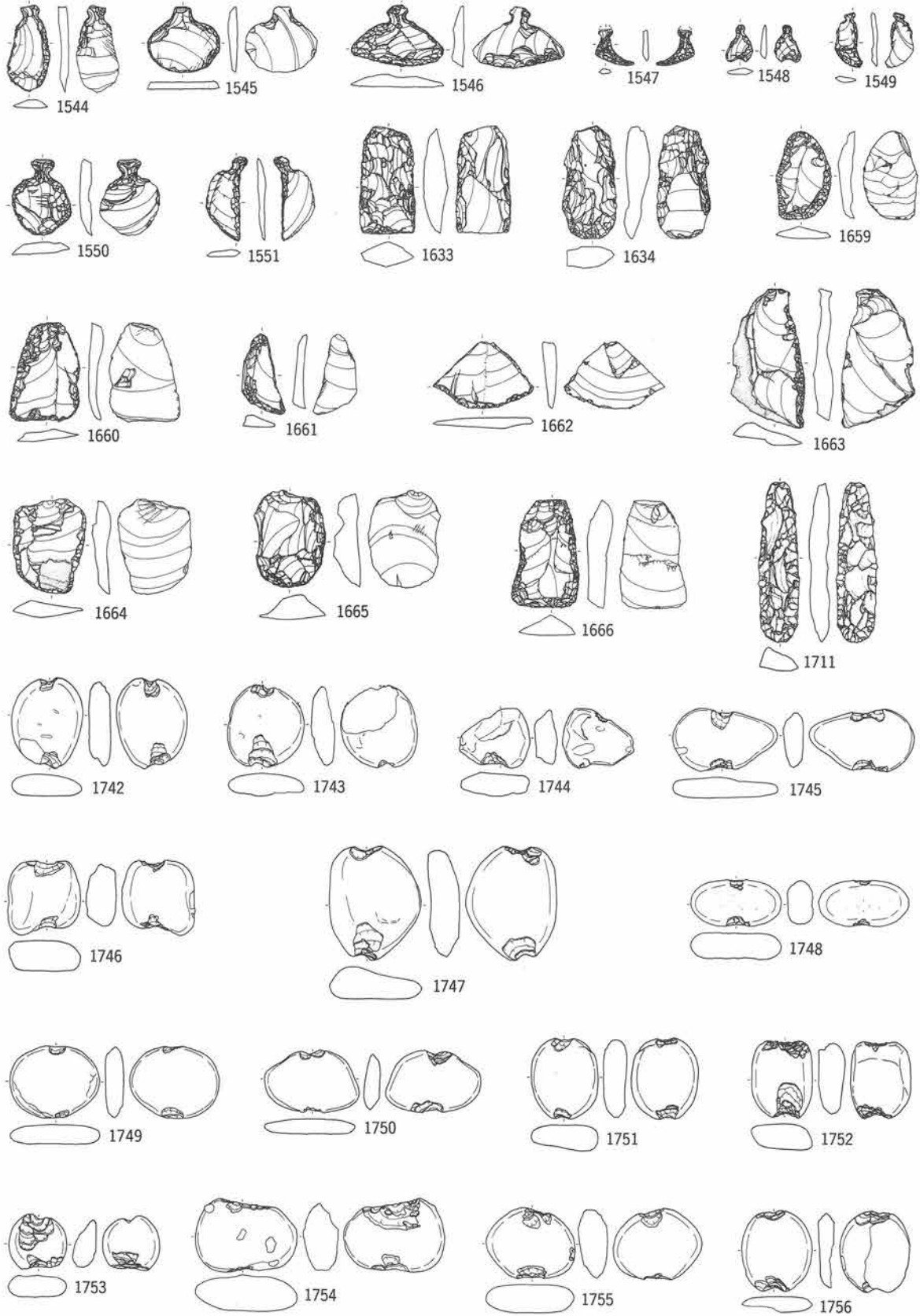
第99图 RA07(2)出土遺物(土器立体1/6・破片1/6)

RA07(3)



第100图 RA07(3)出土遺物 (土器破片1/6、石器剝片1/4)

RA07(4)



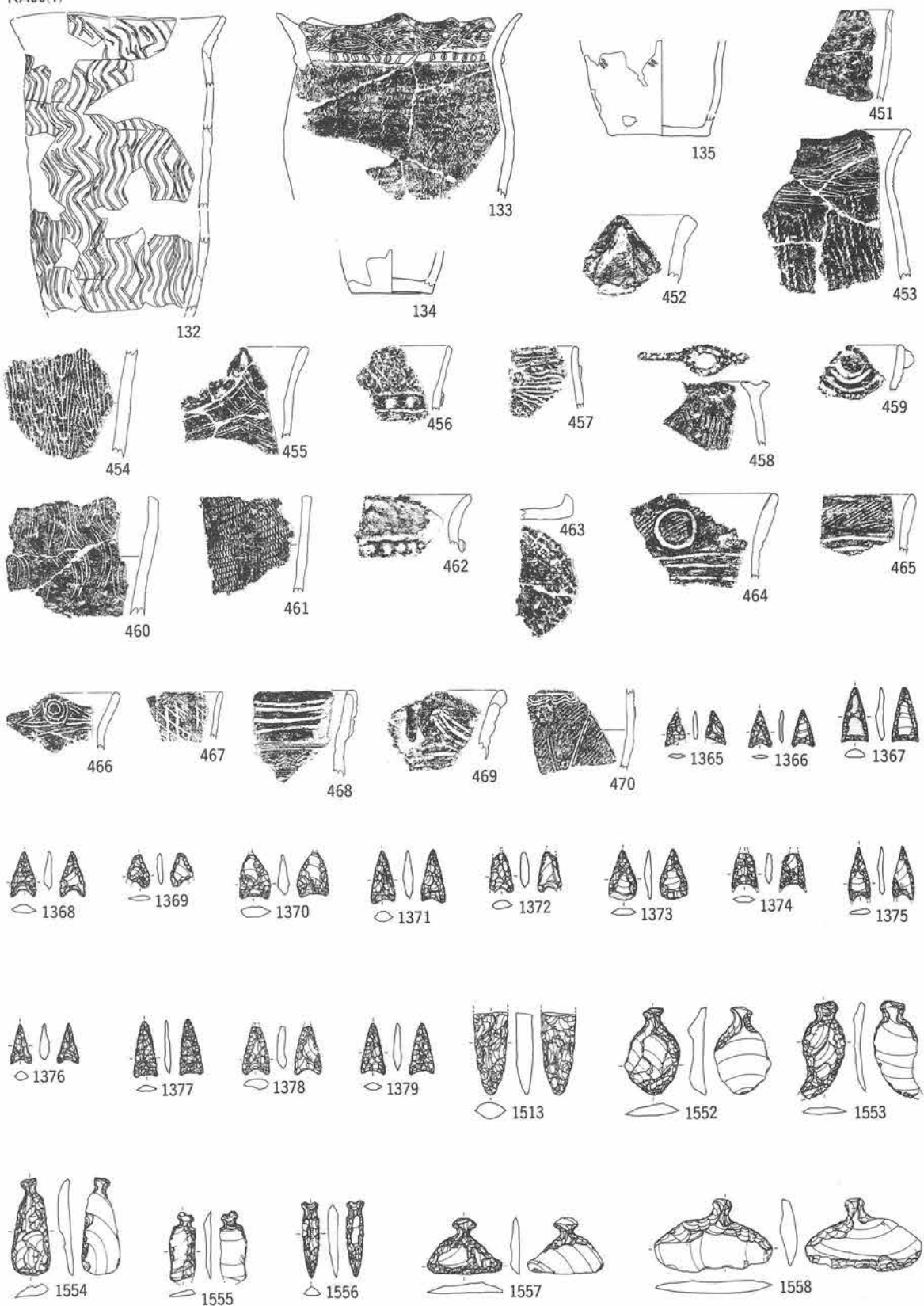
第101図 RA07(4)出土遺物 (石器剥片1/4・礫1/6)

RA07(5)



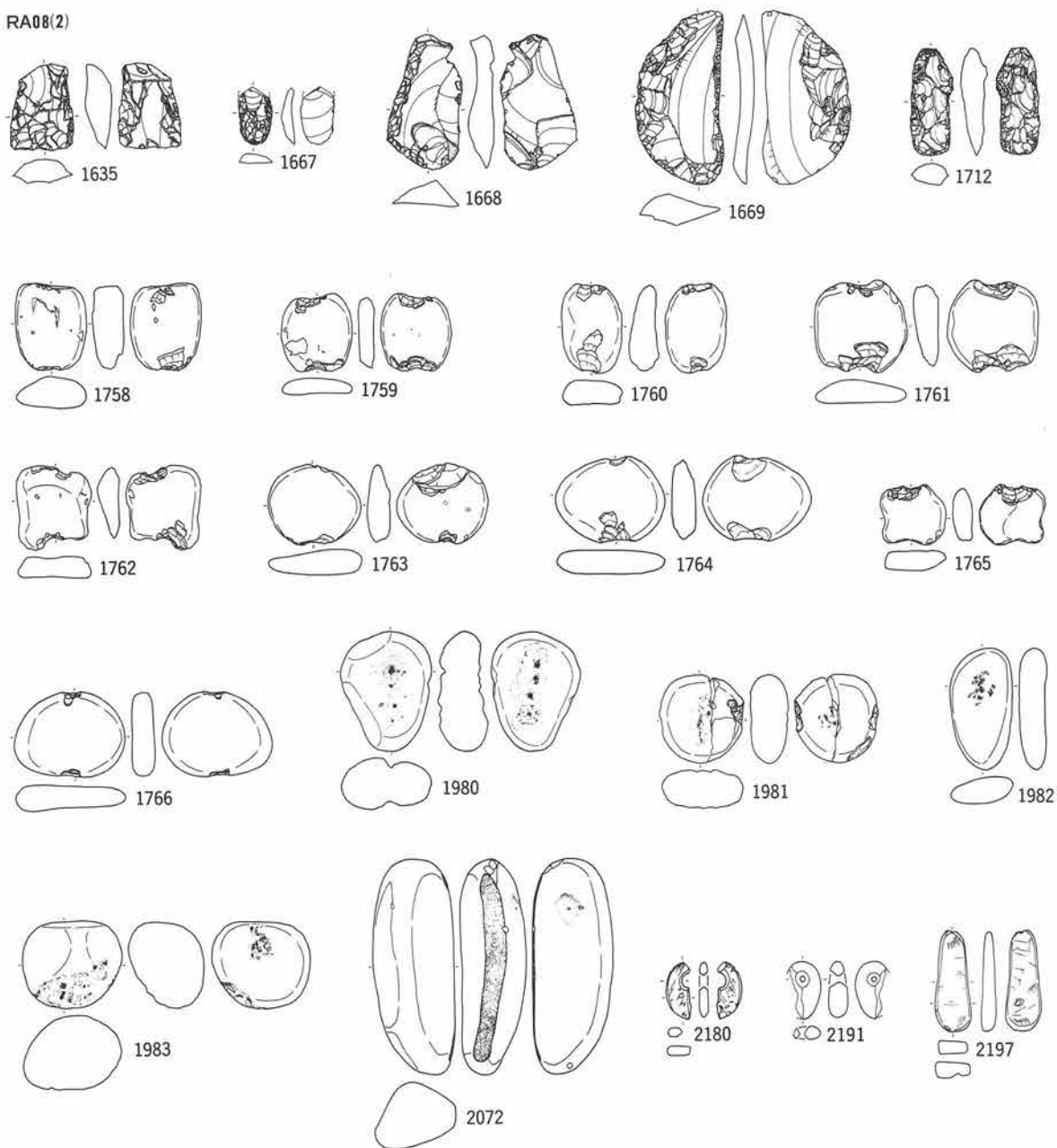
第102図 RA07(5)出土遺物 (石器礫1/6・石製品1/4)

RA08(1)

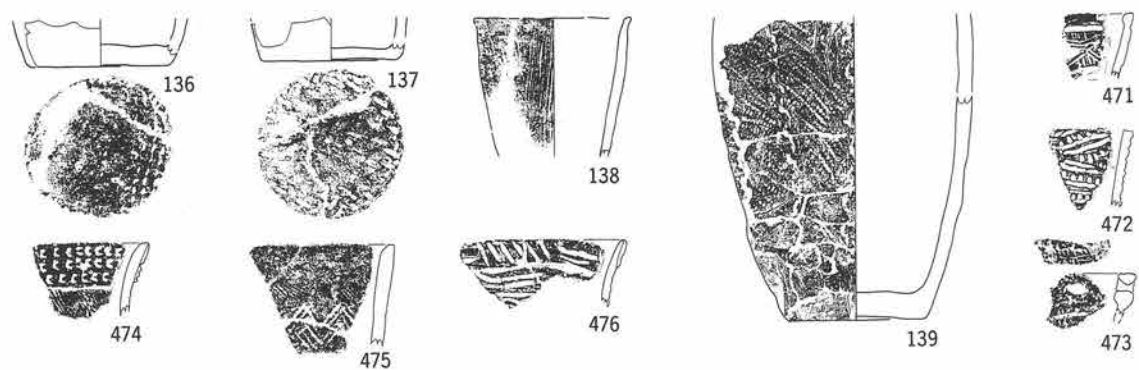


第103图 RA08(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4)

RA08(2)

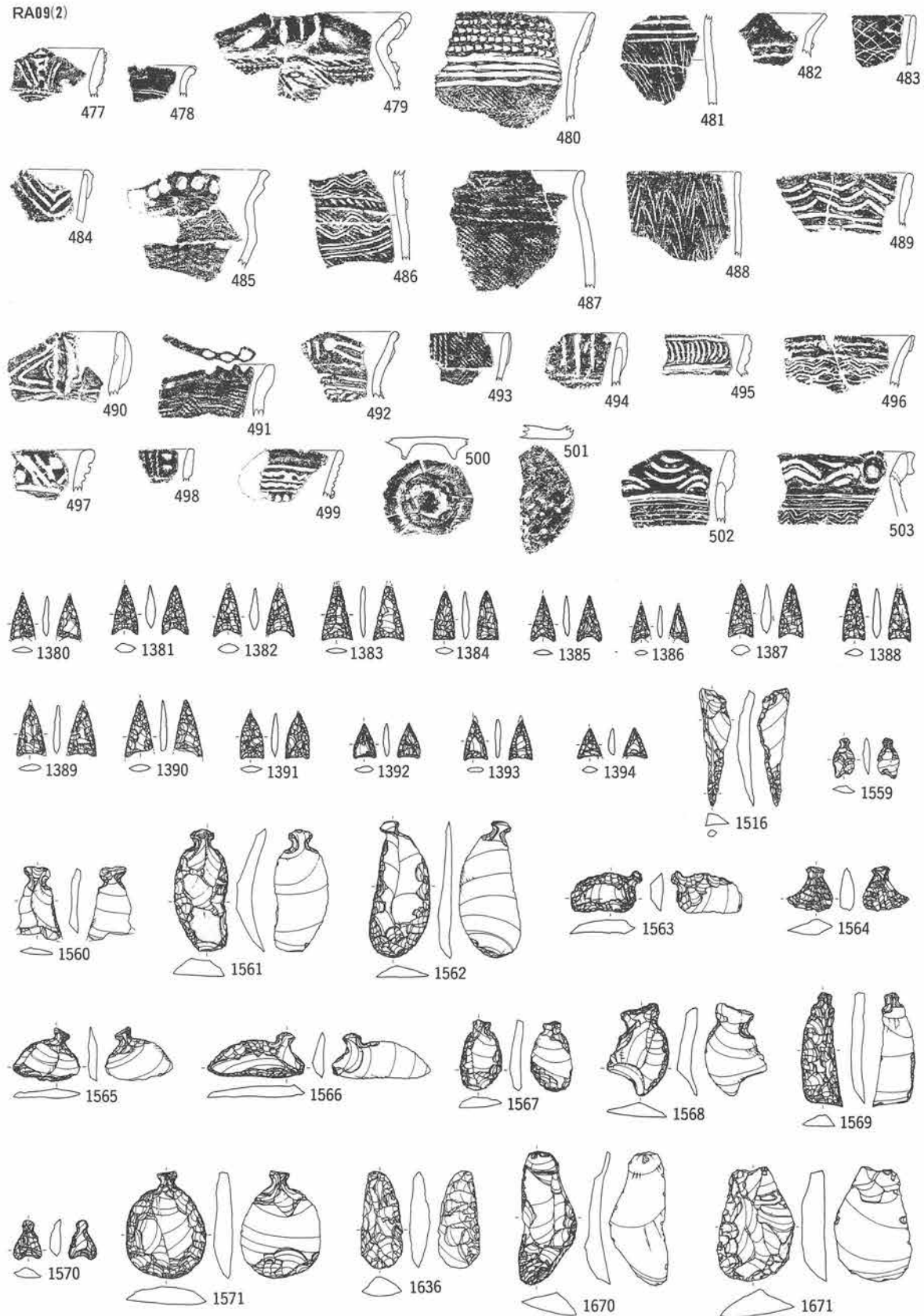


RA09(1)

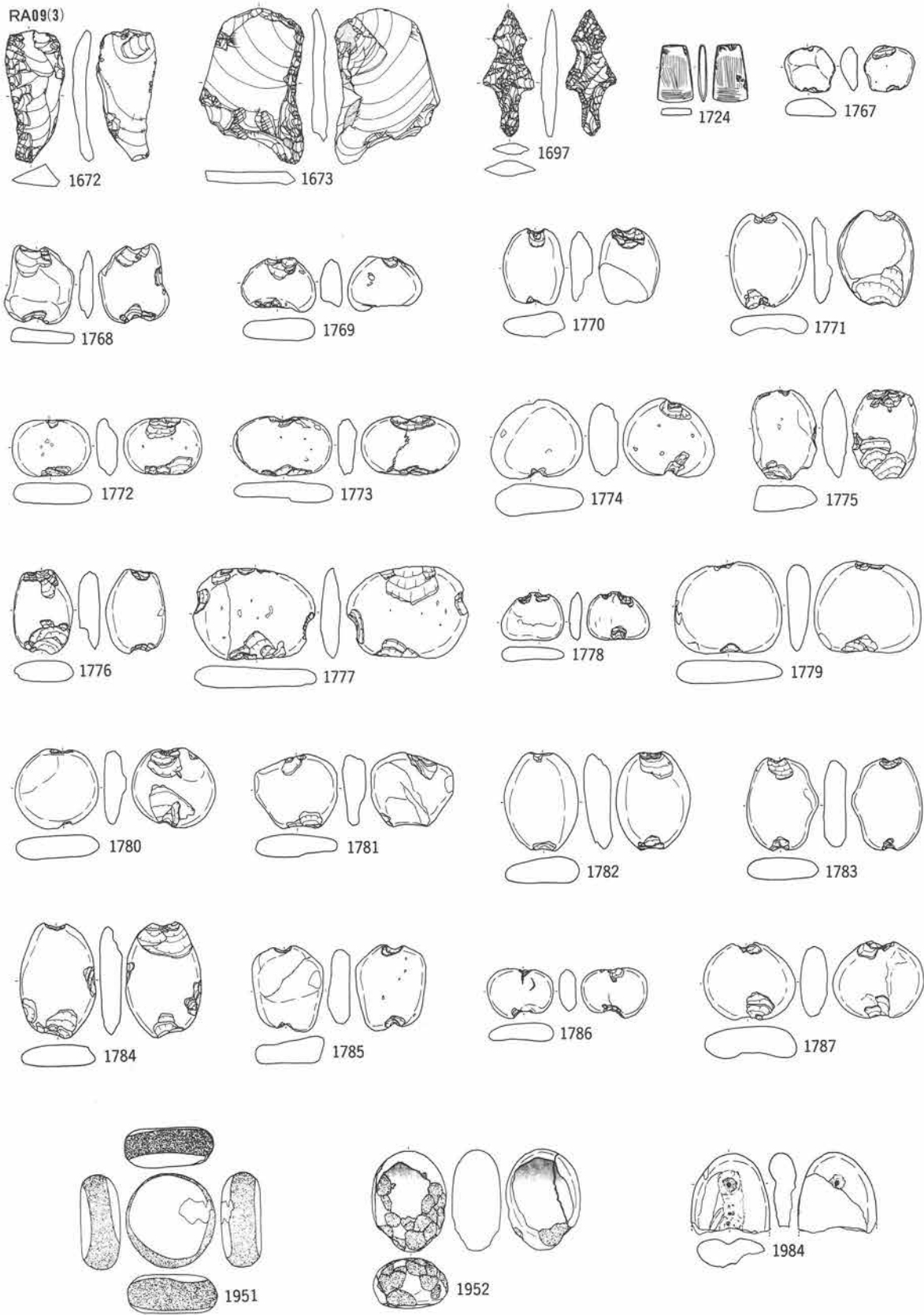


第104図 RA08(2)・09(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

RA09(2)

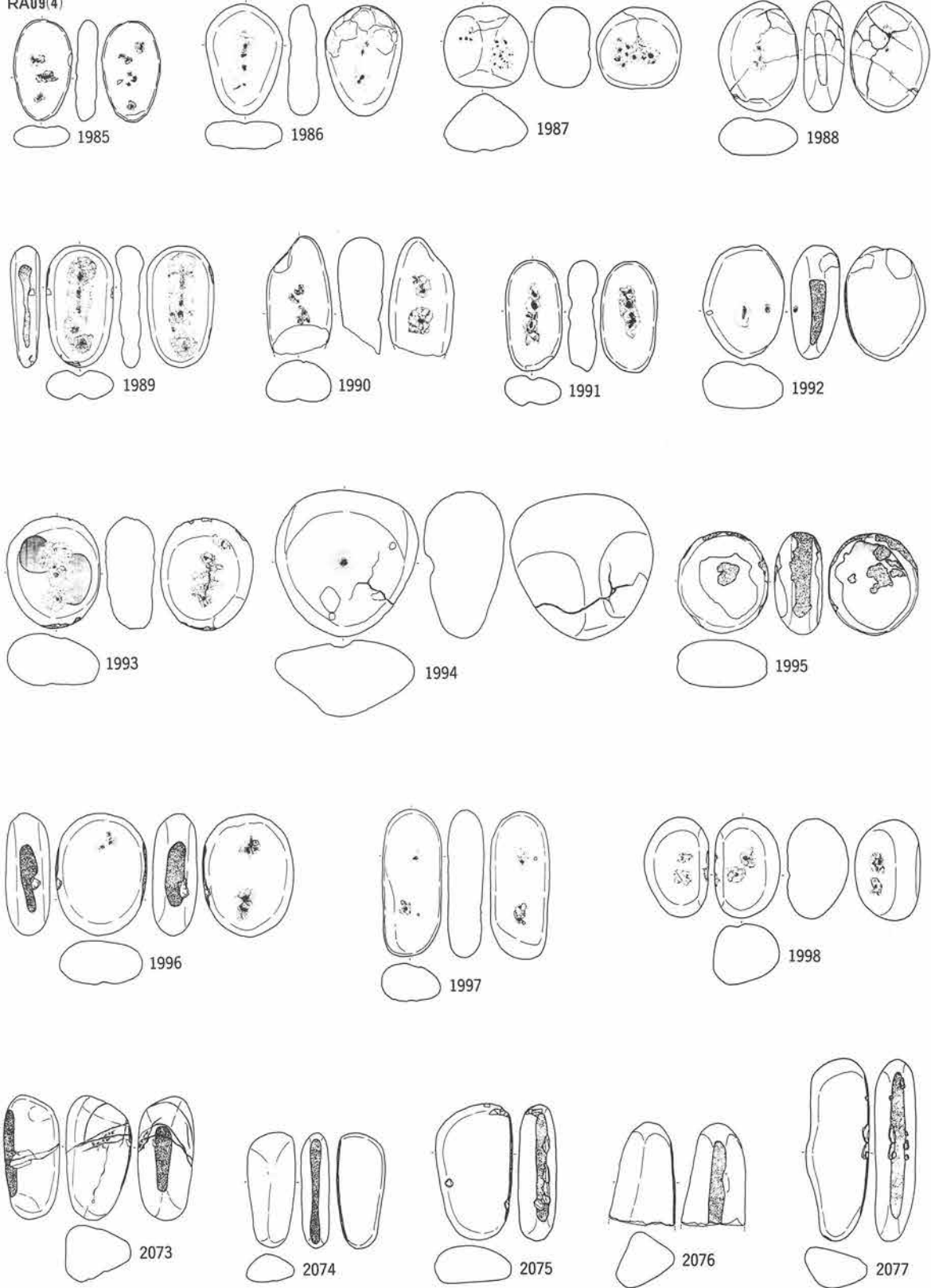


第105图 RA09(2)出土遺物 (土器破片1/6、石器剝片1/4)



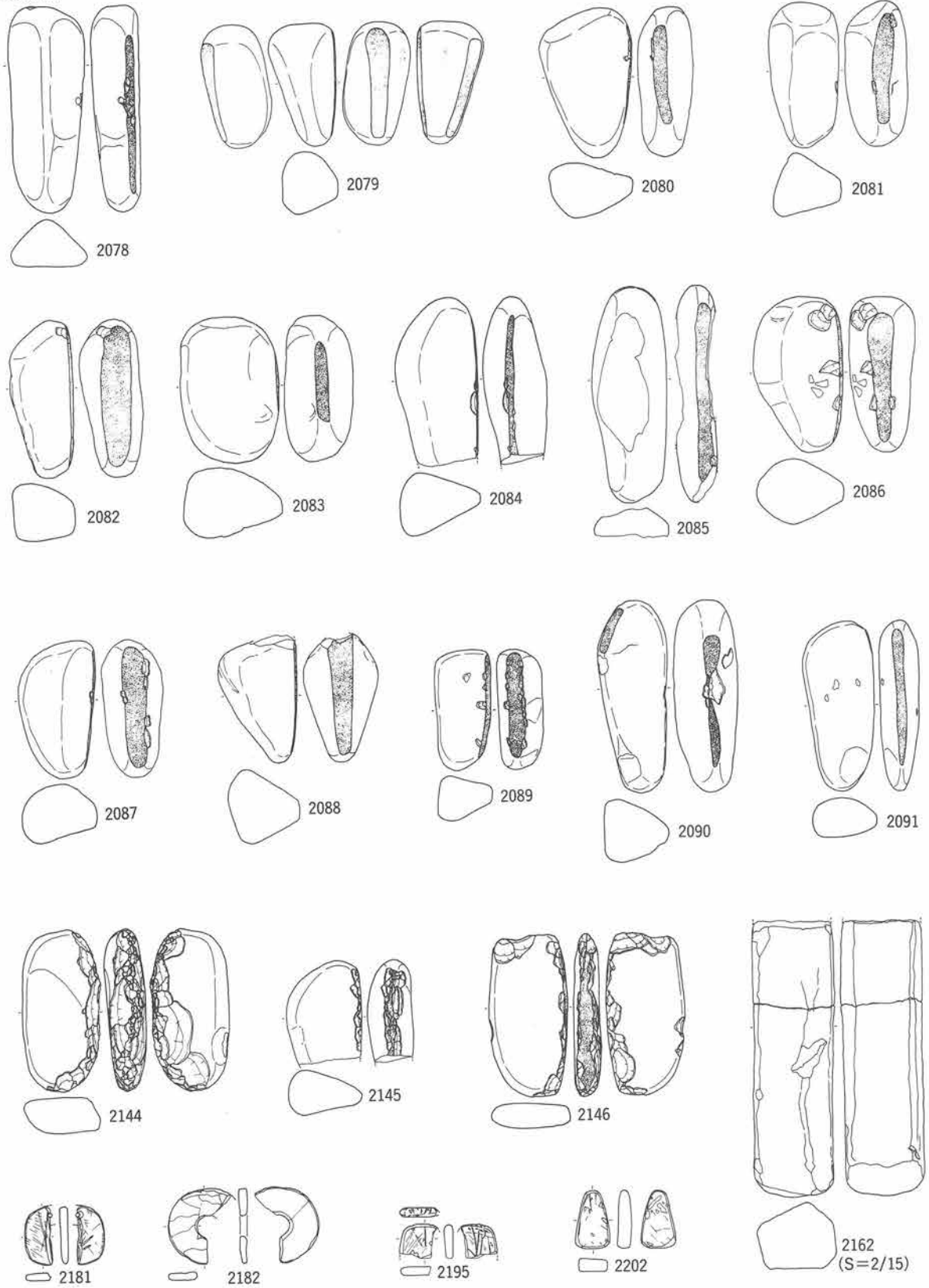
第106図 RA09(3)出土遺物 (石器剥片1/4・礫1/6)

RA09(4)



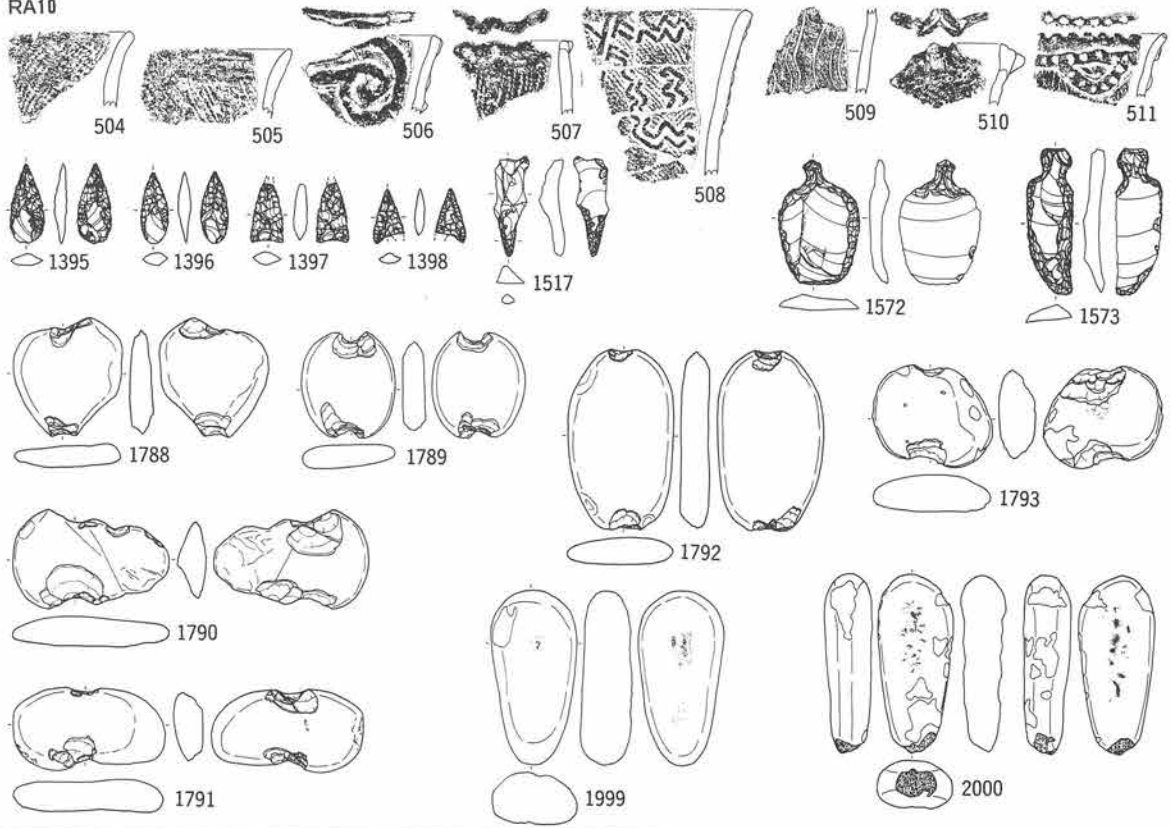
第107図 RA09(4)出土遺物 (石器礫1/6)

RA09(5)

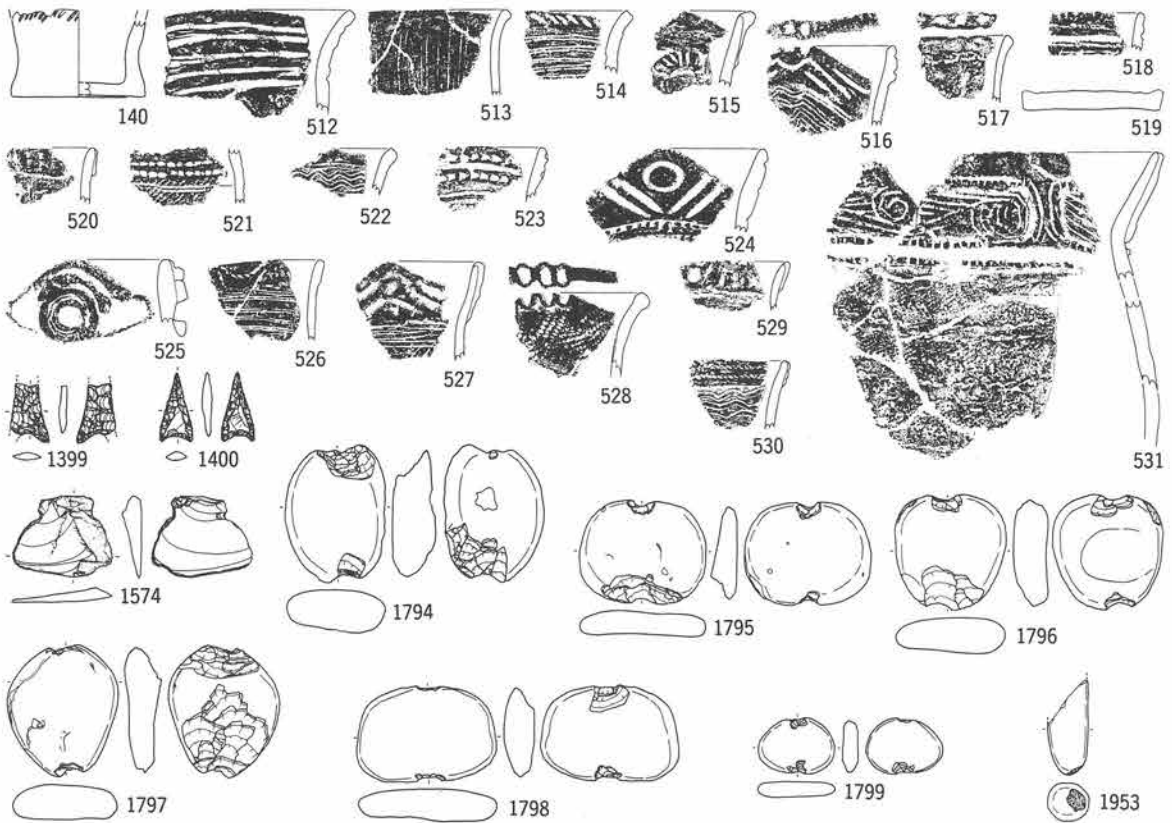


第108図 RA09(5)出土遺物 (石器礫1/6・石製品1/4)

RA10

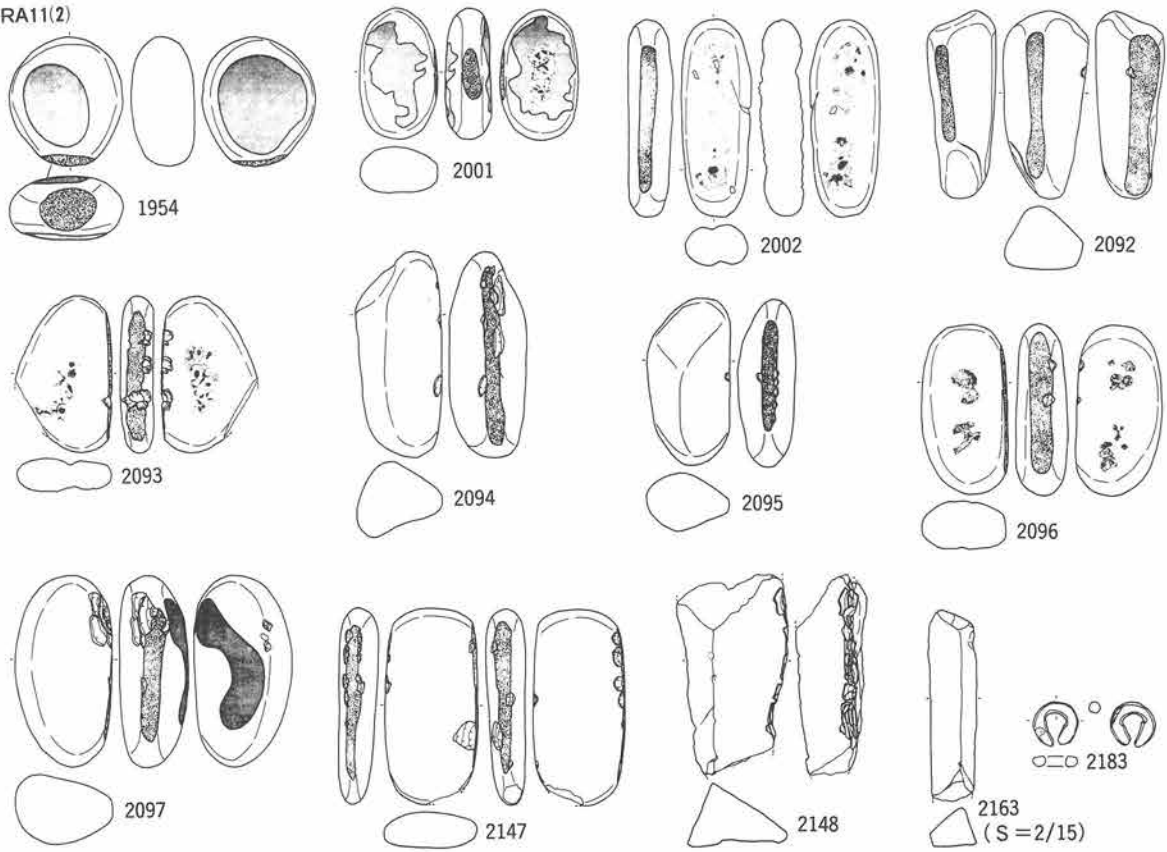


RA11(1)

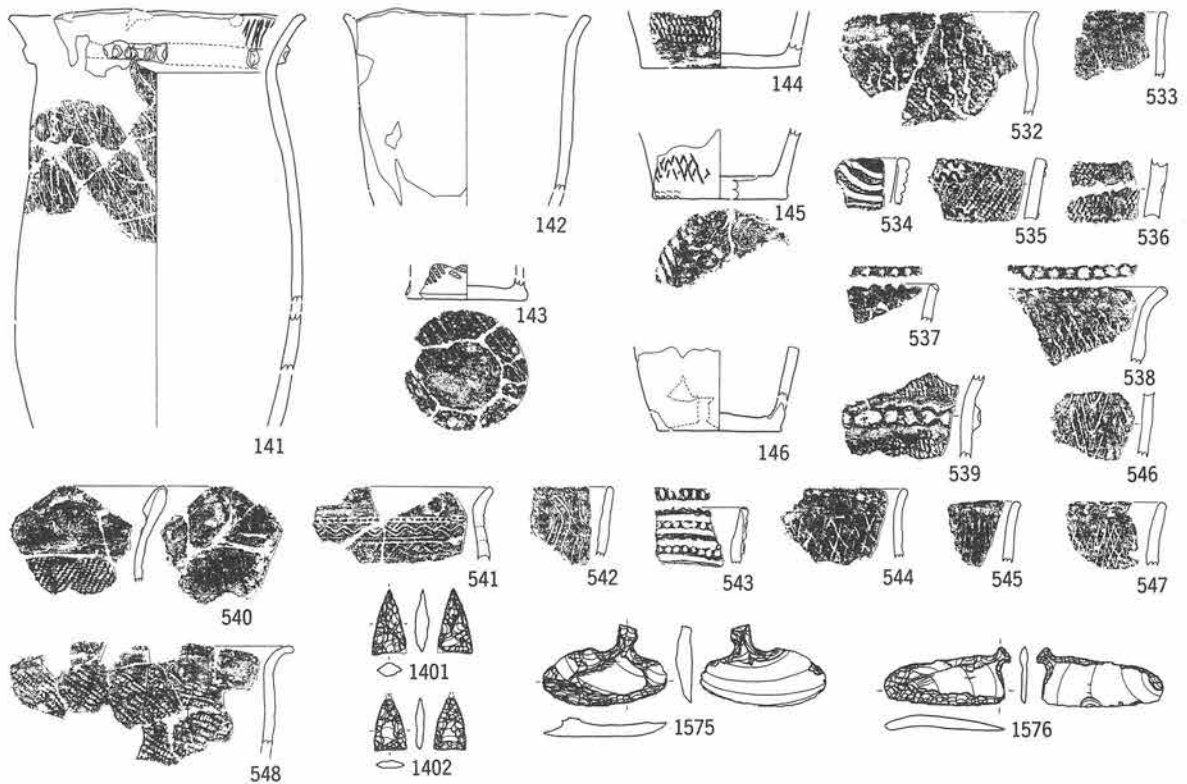


第109図 RA10・11(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6)

RA11(2)

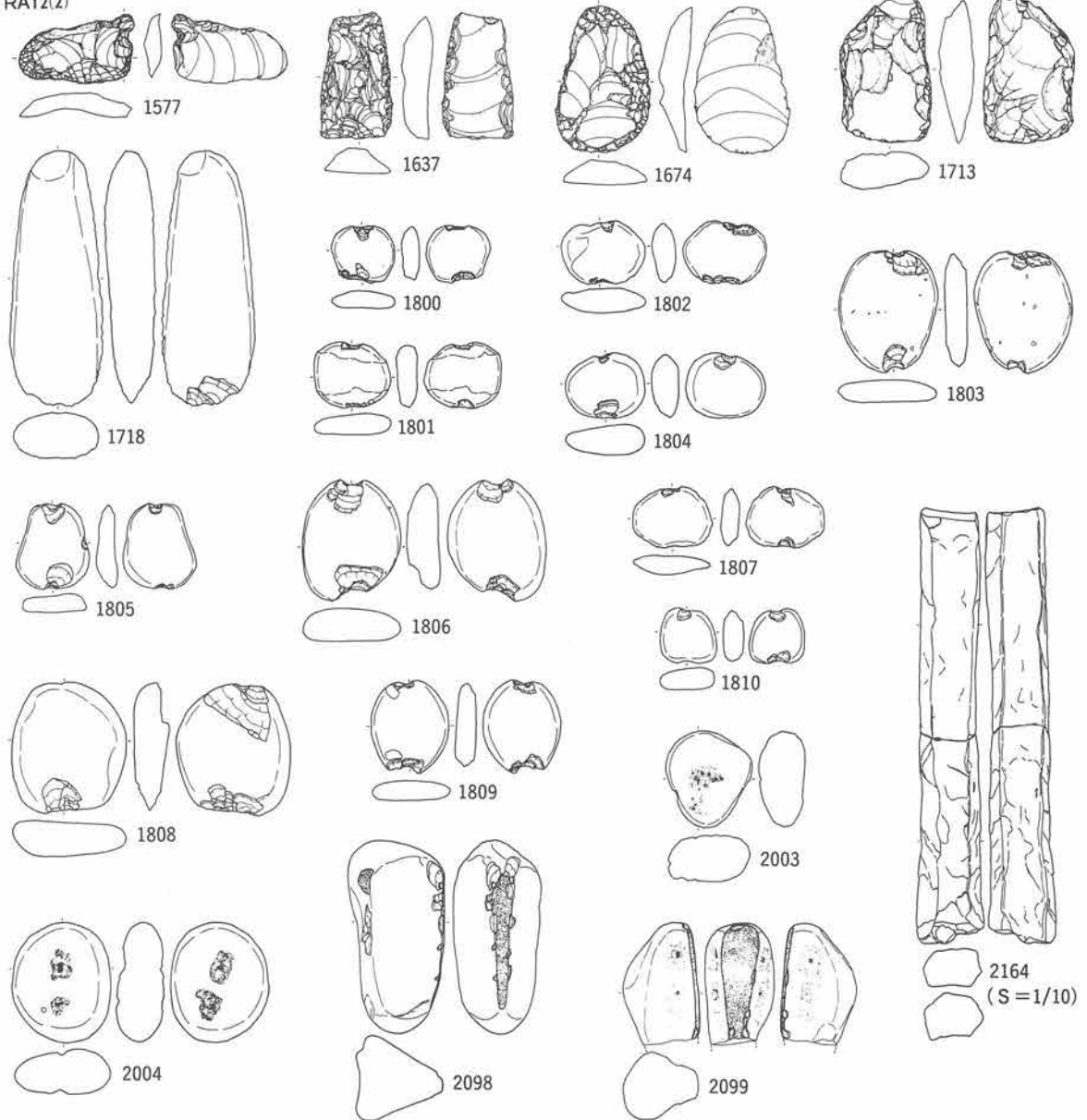


RA12(1)

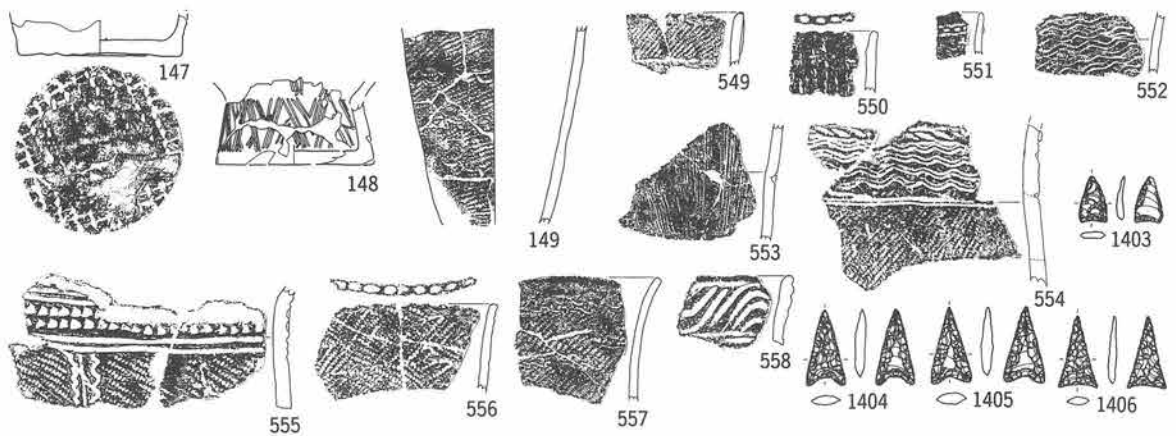


第110图 RA11(2)・12(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

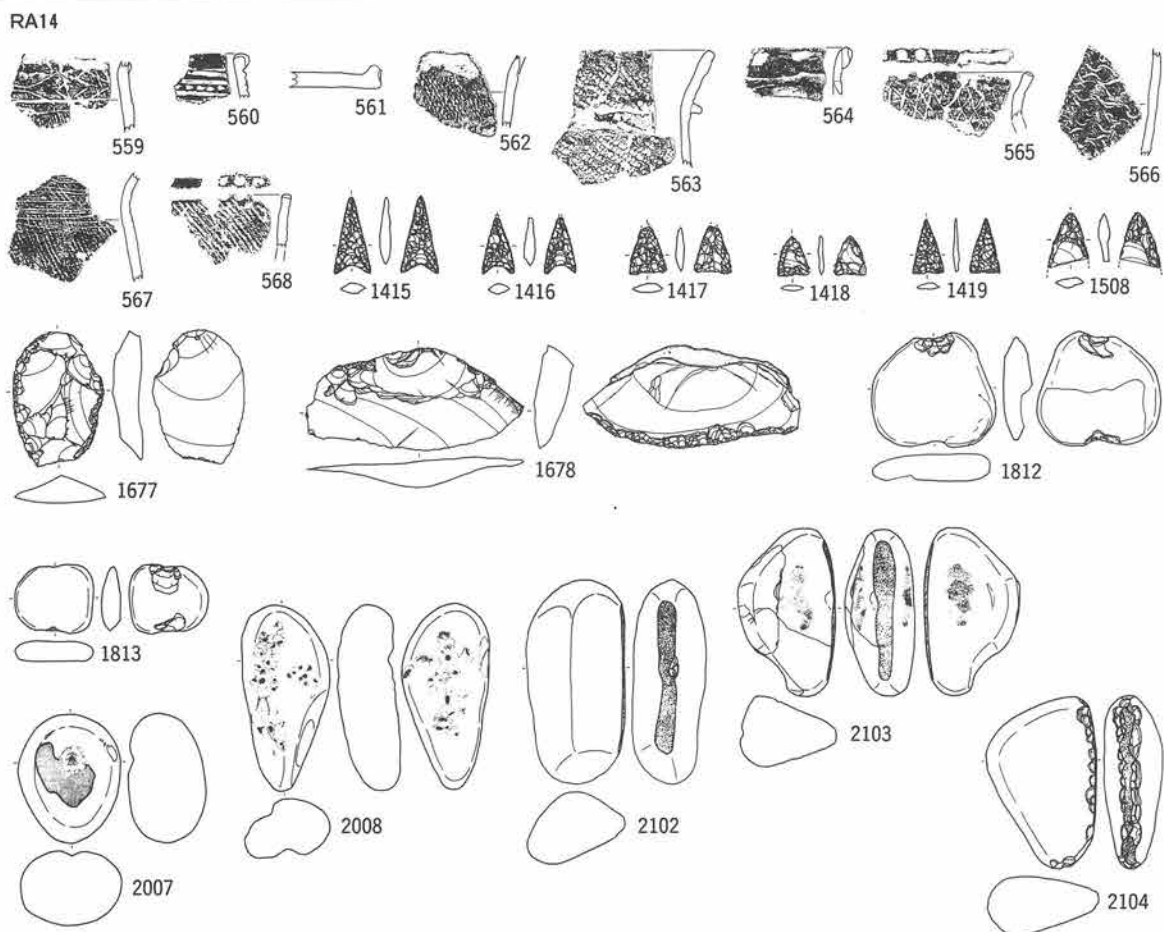
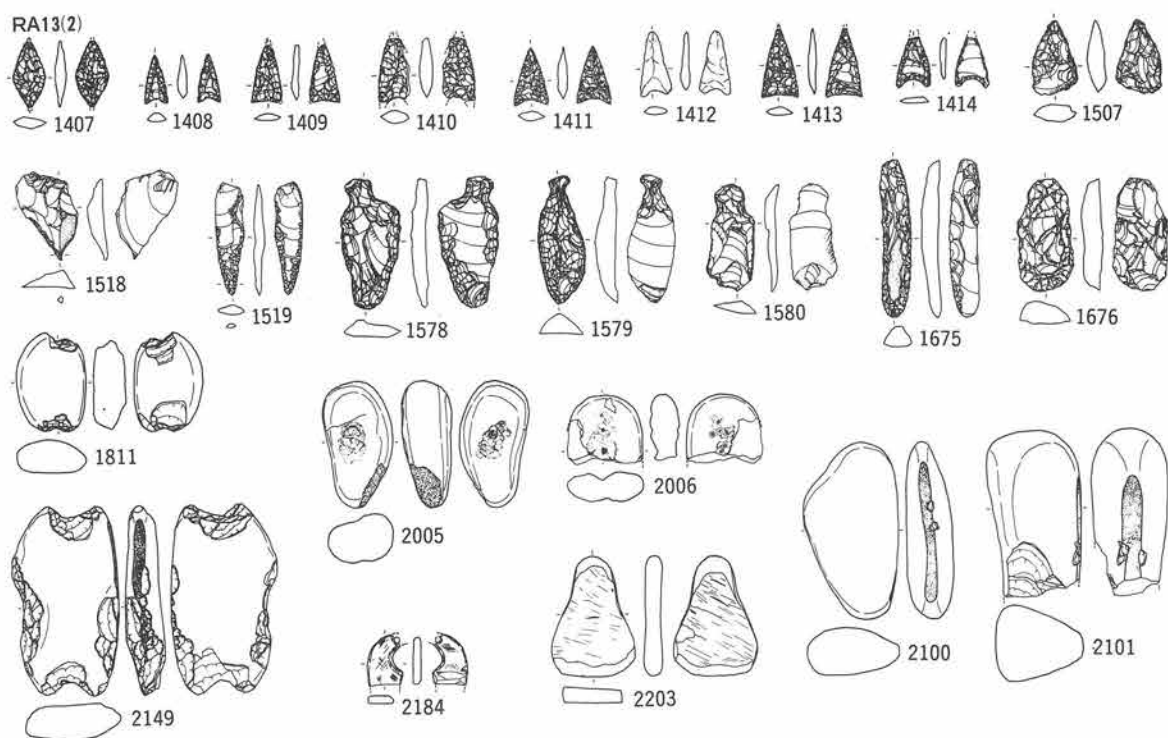
RA12(2)



RA13(1)

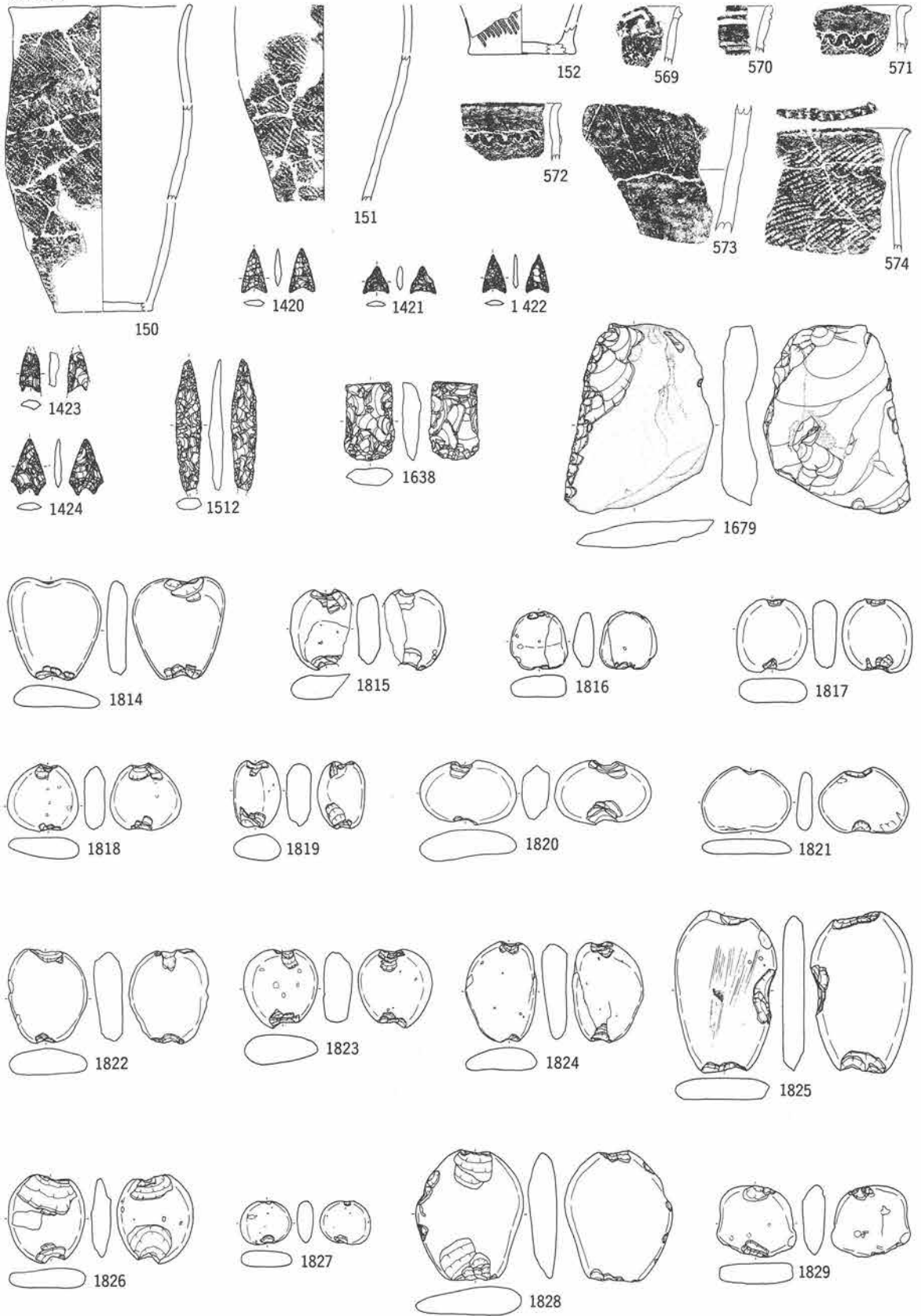


第111図 RA12(2)・13(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6)



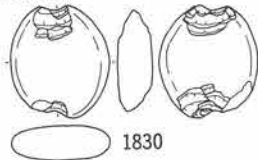
第112図 RA13(2)・14出土遺物 (土器破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

RA15(1)

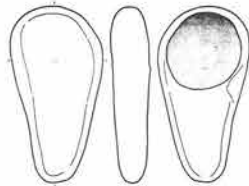


第113図 RA15(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6)

RA15(2)



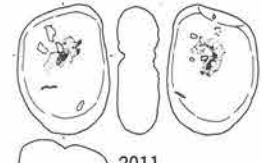
1830



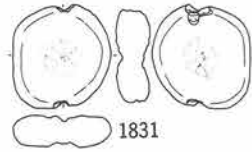
2009



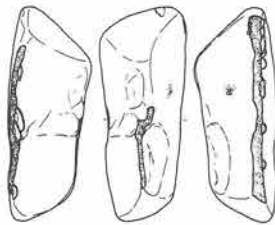
2010



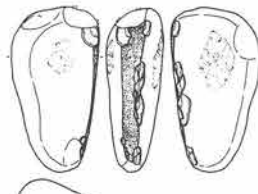
2011



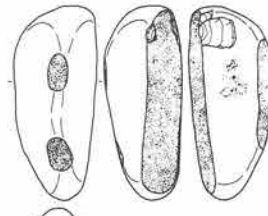
1831



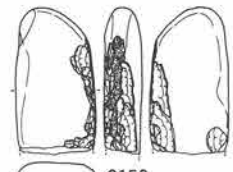
2105



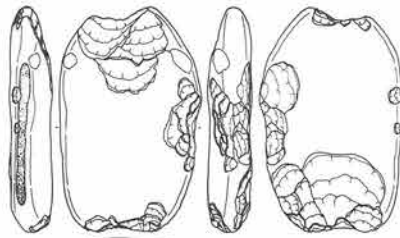
2106



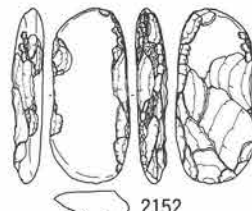
2107



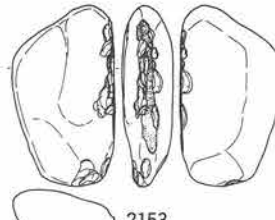
2150



2151



2152

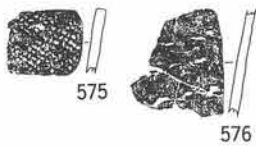


2153

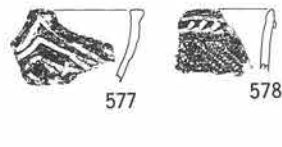


2207

RA16



575



576



577



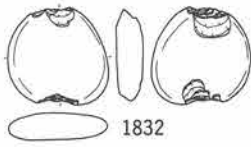
578



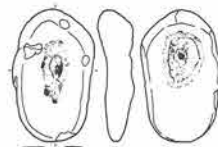
1425



1680



1832

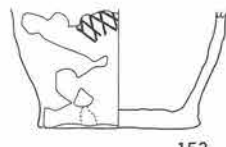


2012



1833

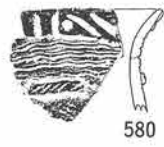
RA17



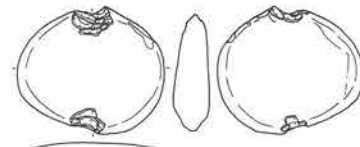
153



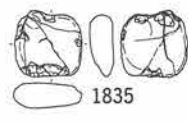
579



580



1834



1835

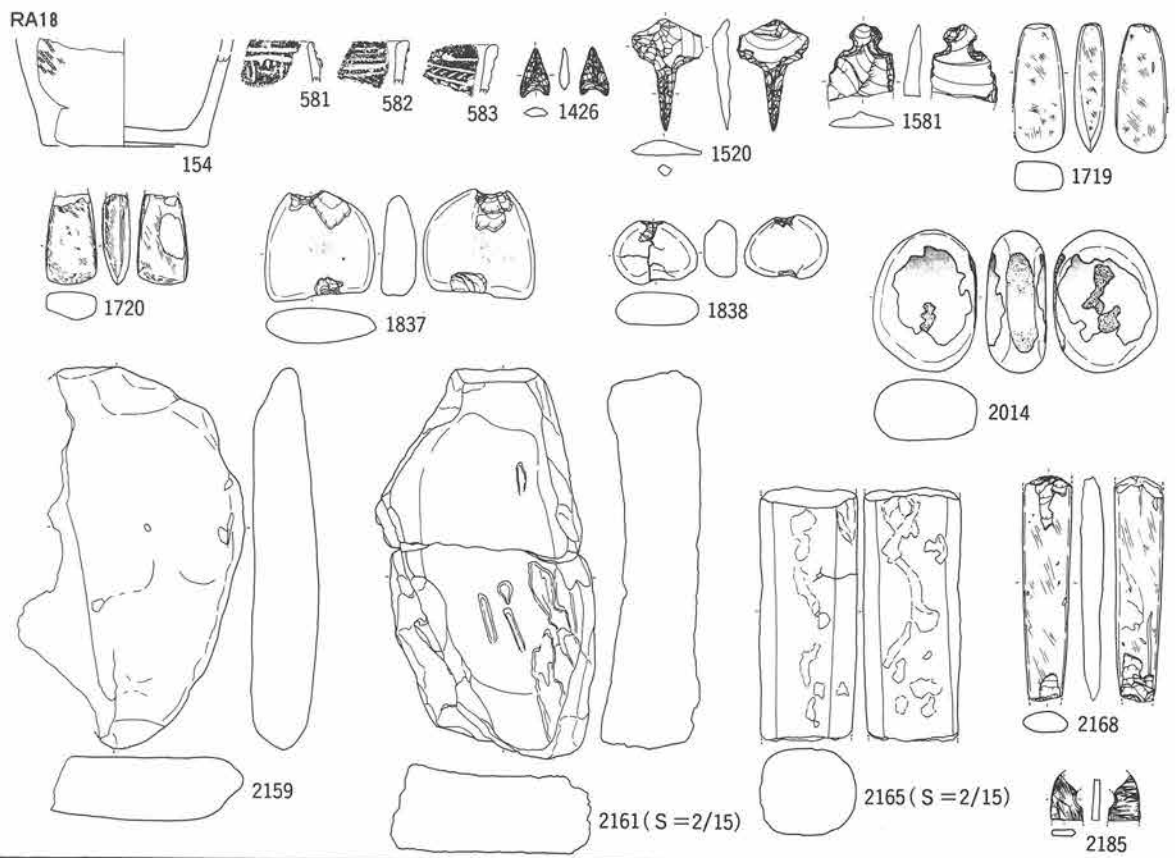


1836

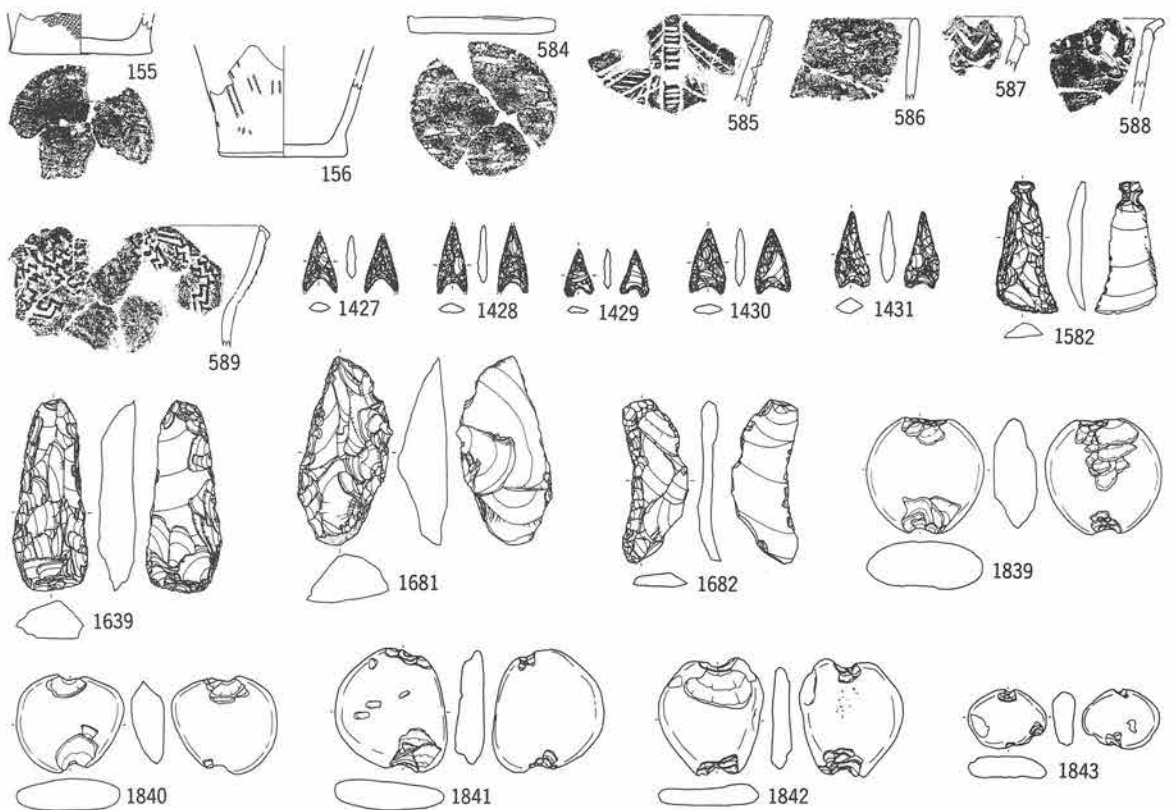


2013

第114図 RA15(2)・16・17出土遺物(土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

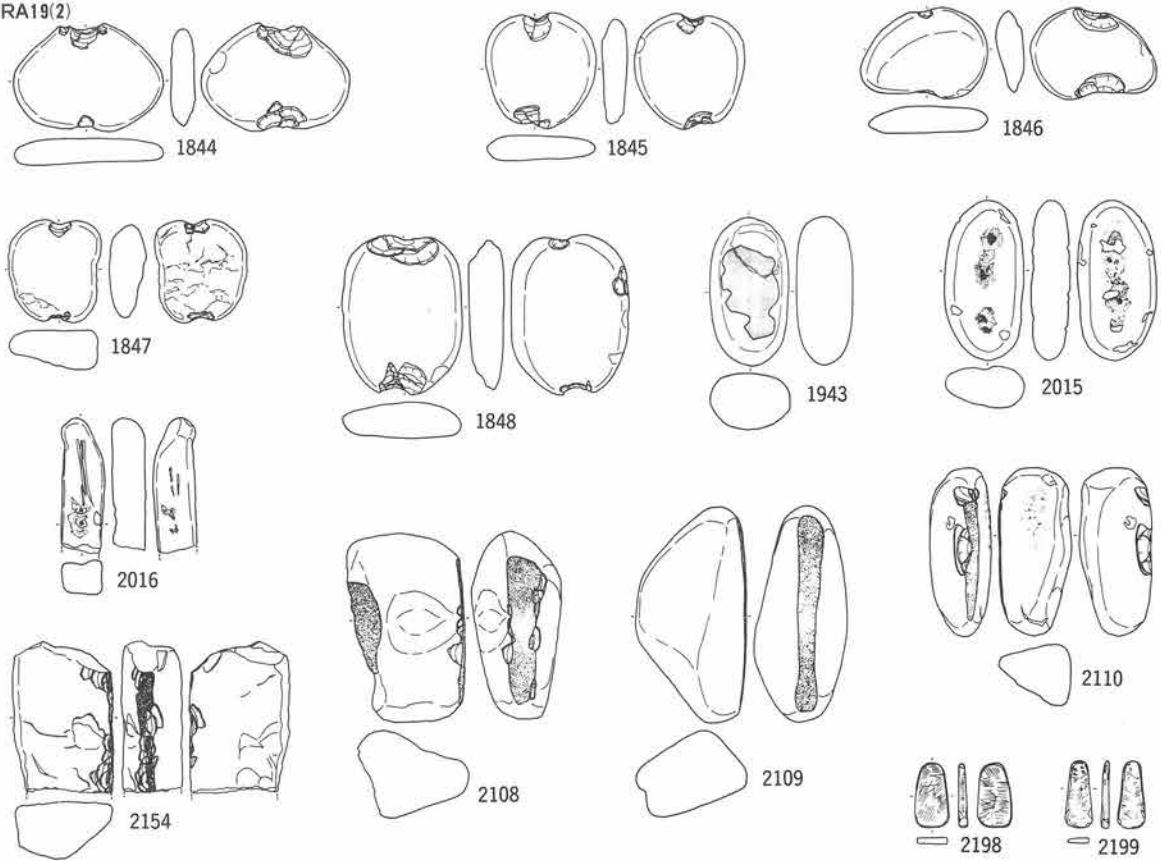


RA19(1)

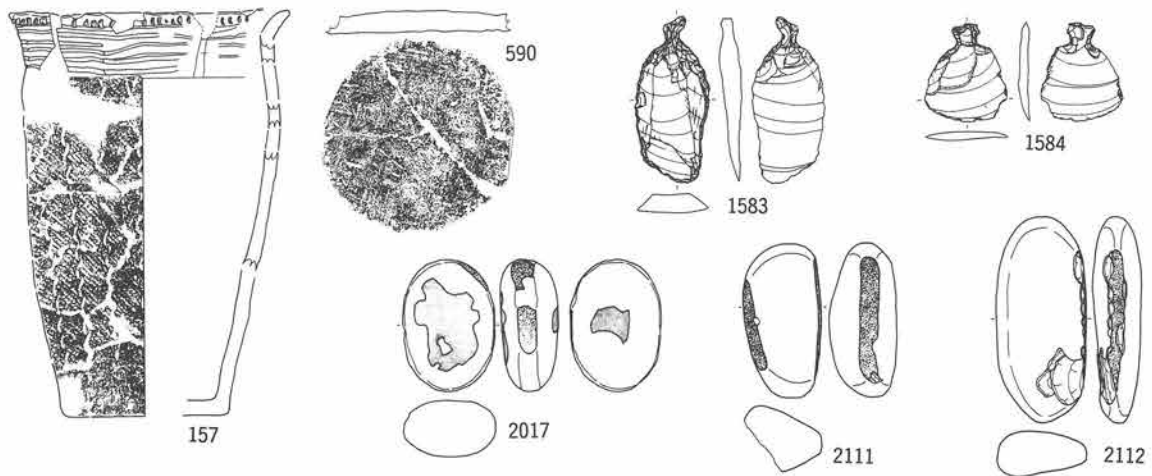


第115図 RA18・19(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

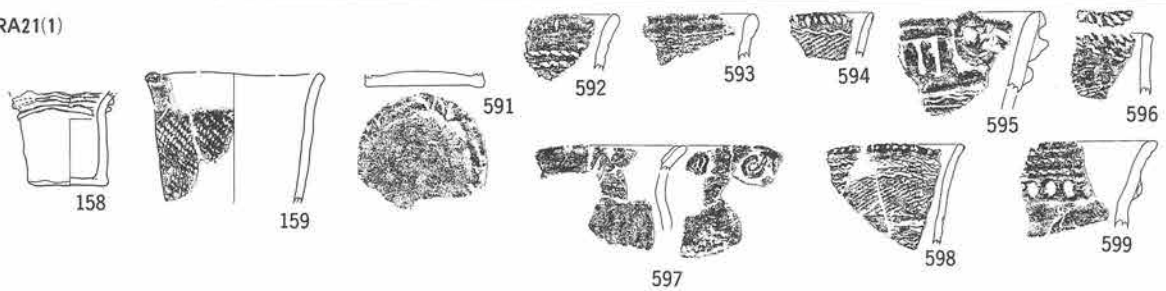
RA19(2)



RA20

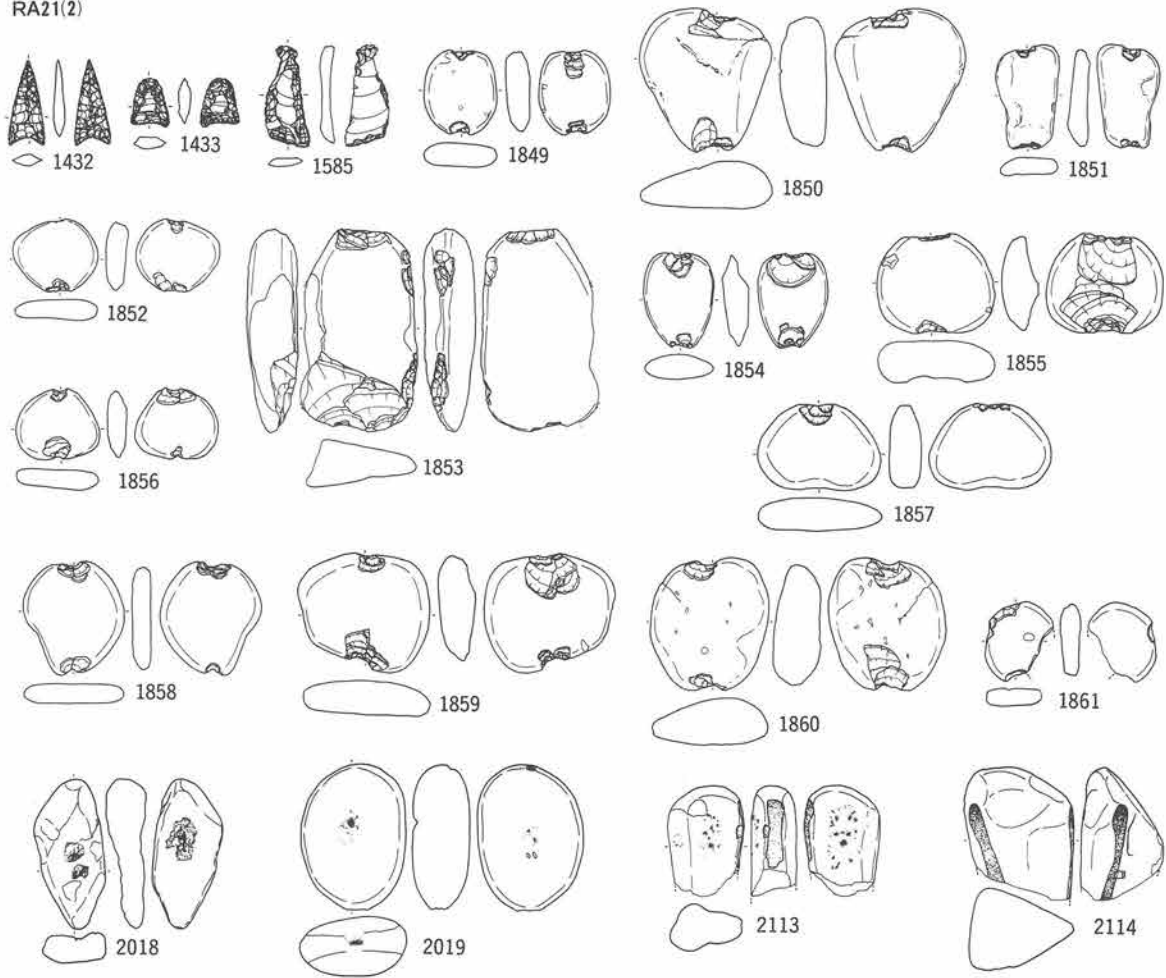


RA21(1)

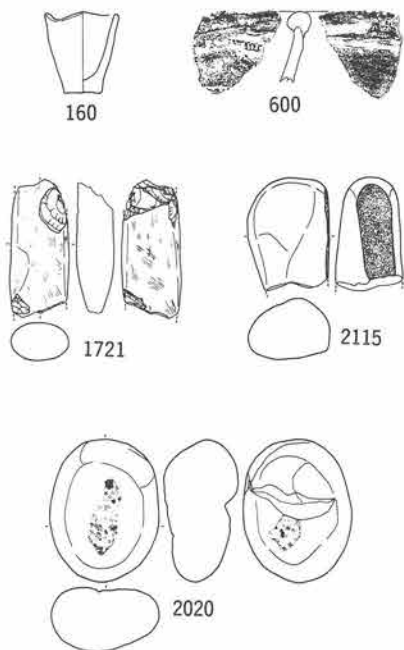


第116図 RA19(2)・20・21(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

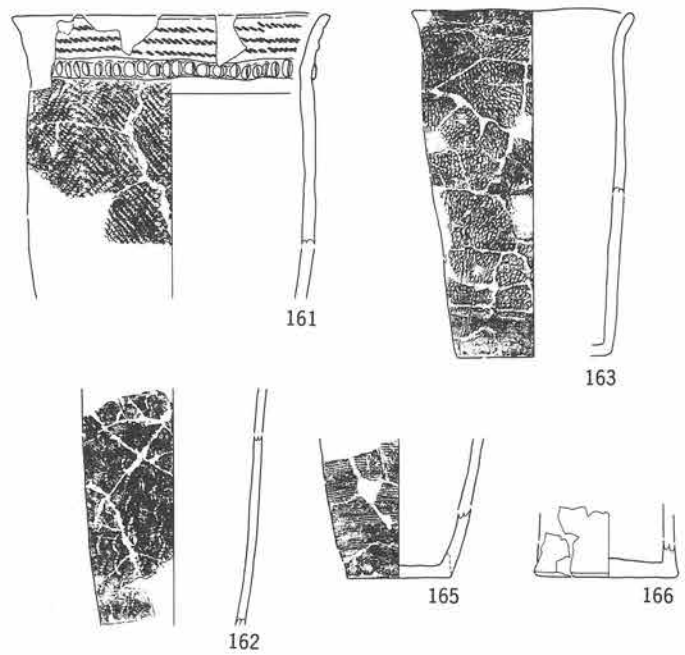
RA21(2)



RA22

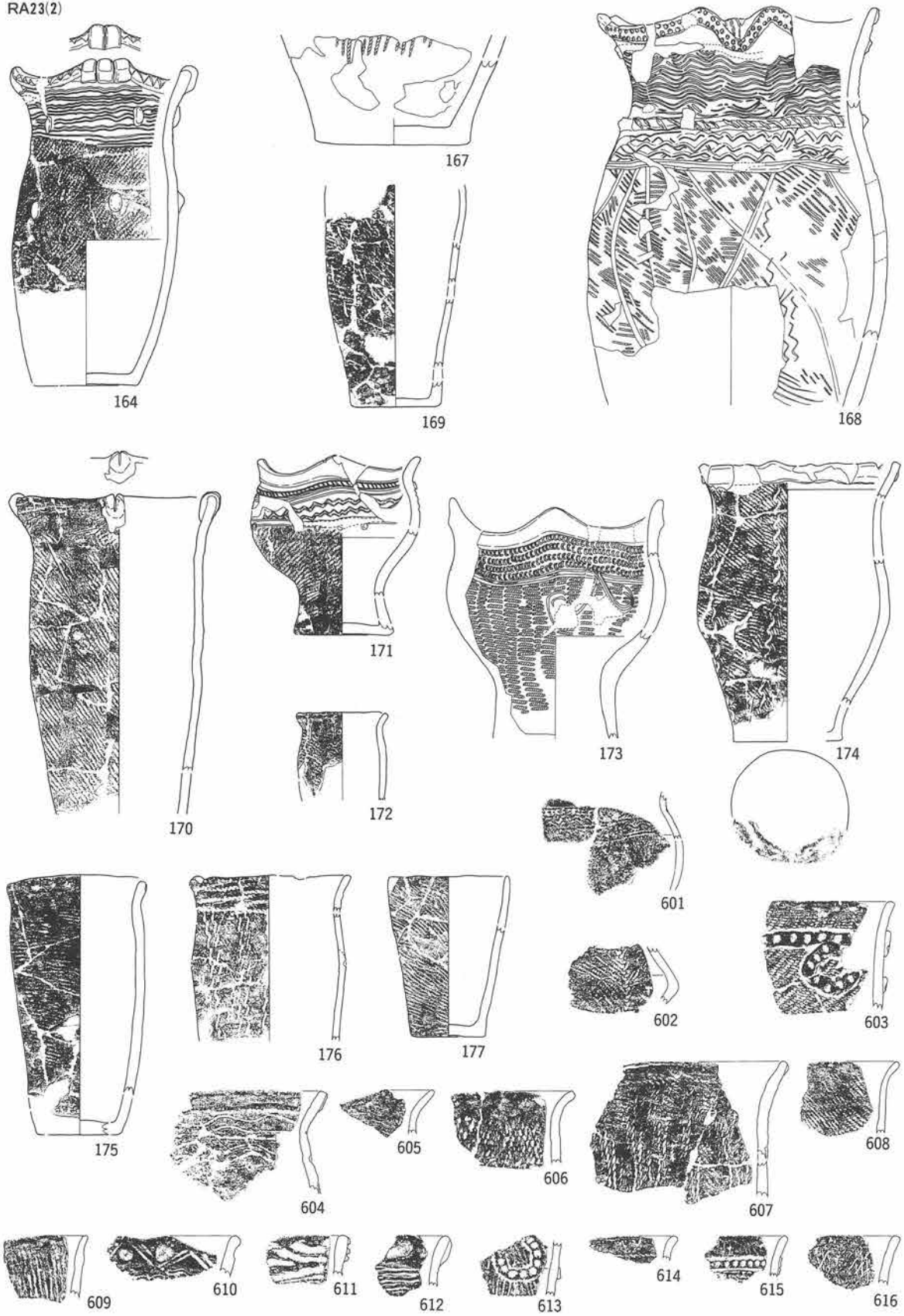


RA23(1)

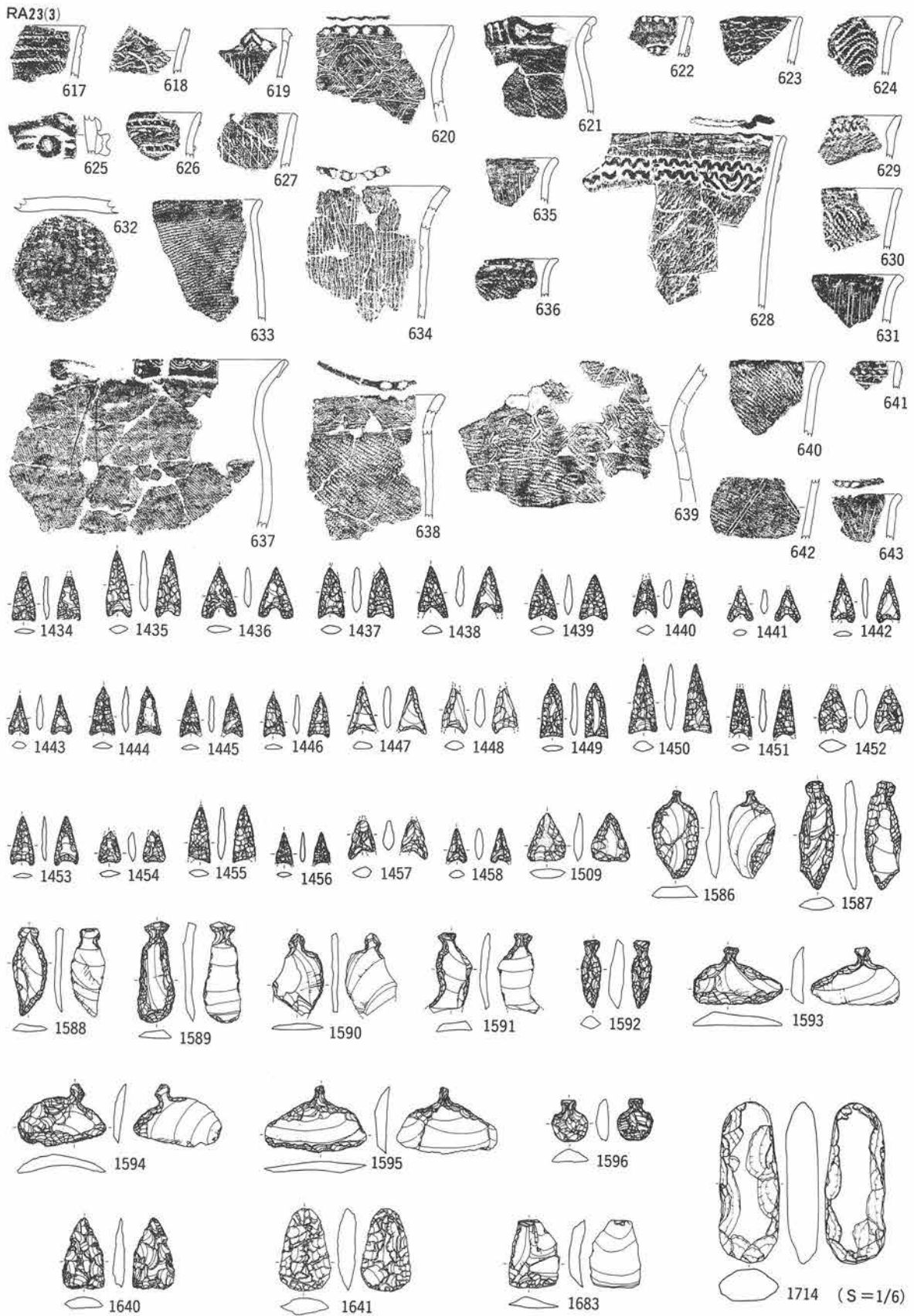


第117図 RA21(2)・22・23(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6)

RA23(2)

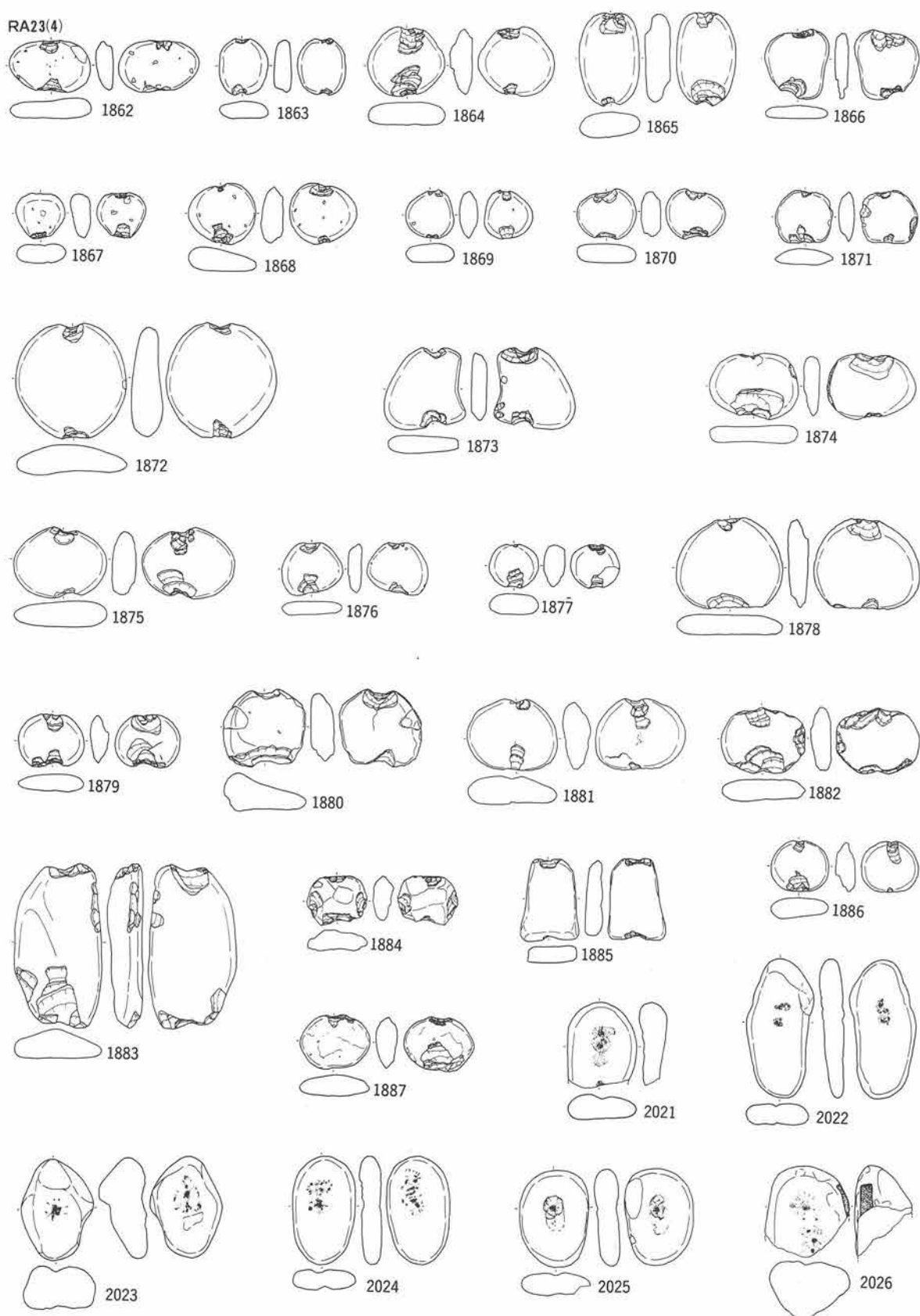


第118图 RA23(2)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6)



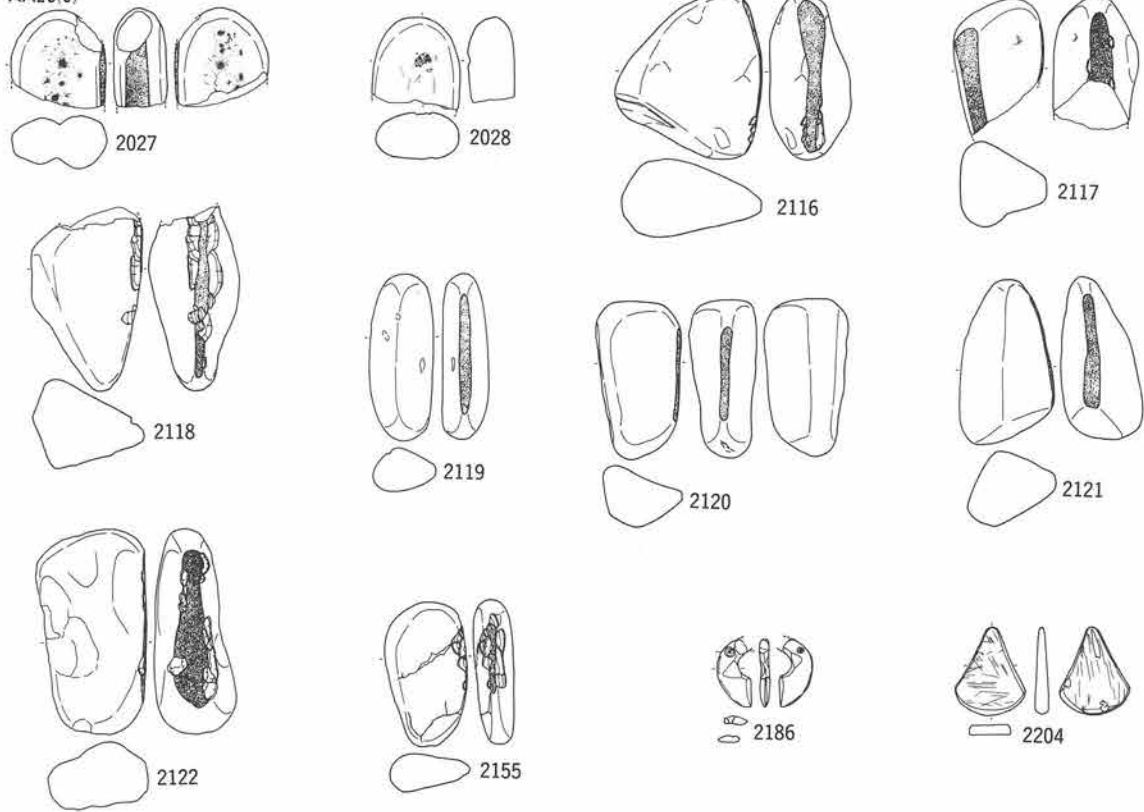
第119图 RA23(3)出土遺物 (土器破片1/6、石器剝片1/4)

RA23(4)

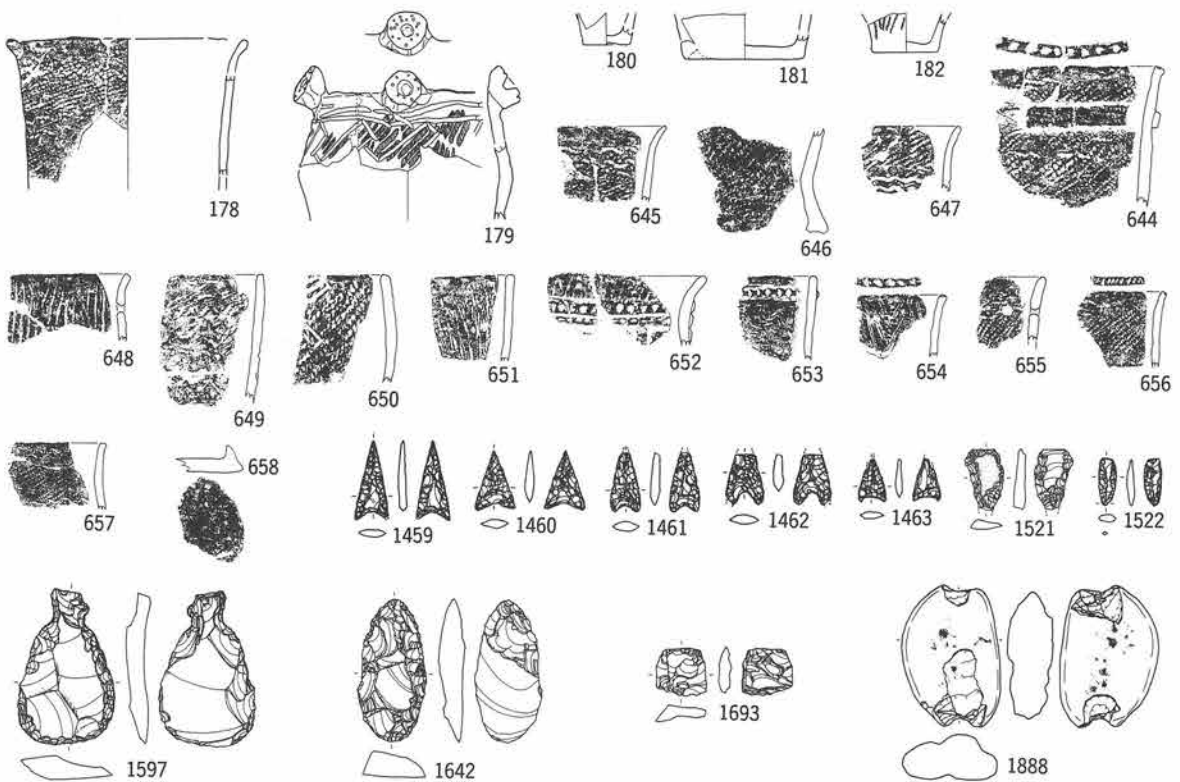


第120図 RA23(4)出土遺物 (石器磔1/6)

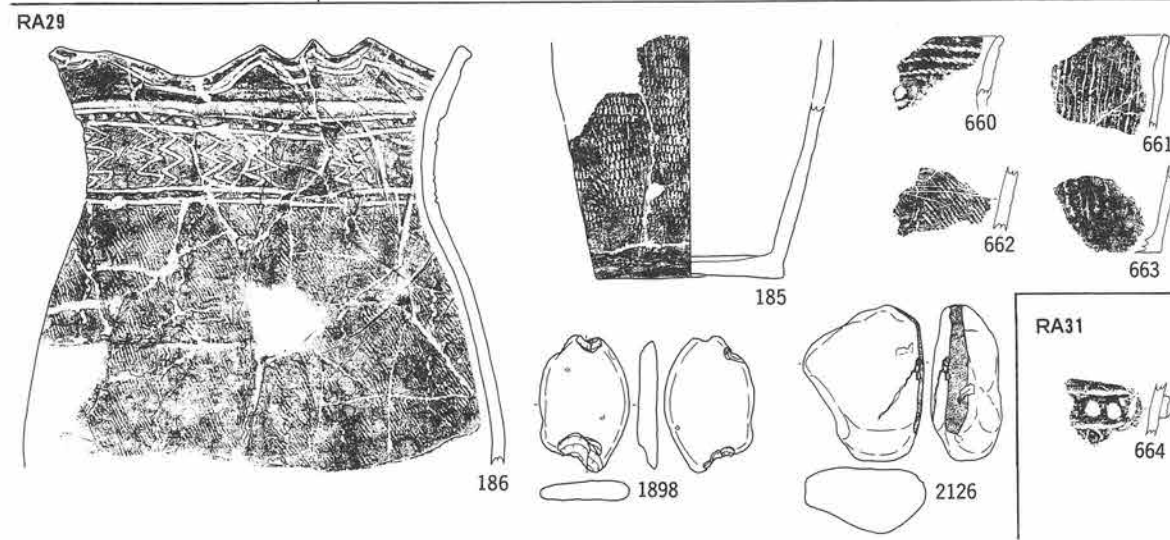
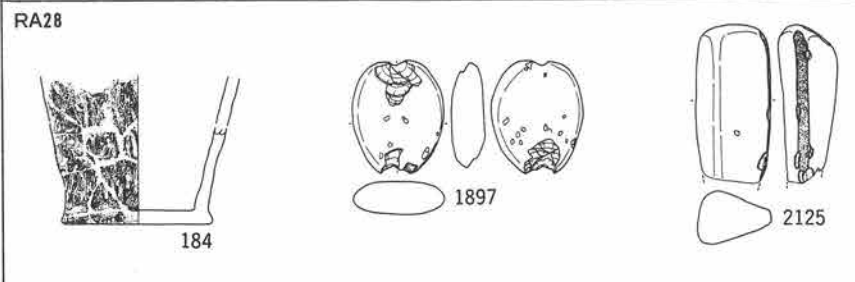
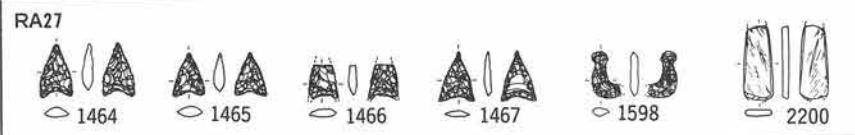
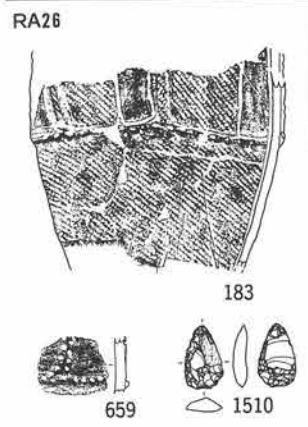
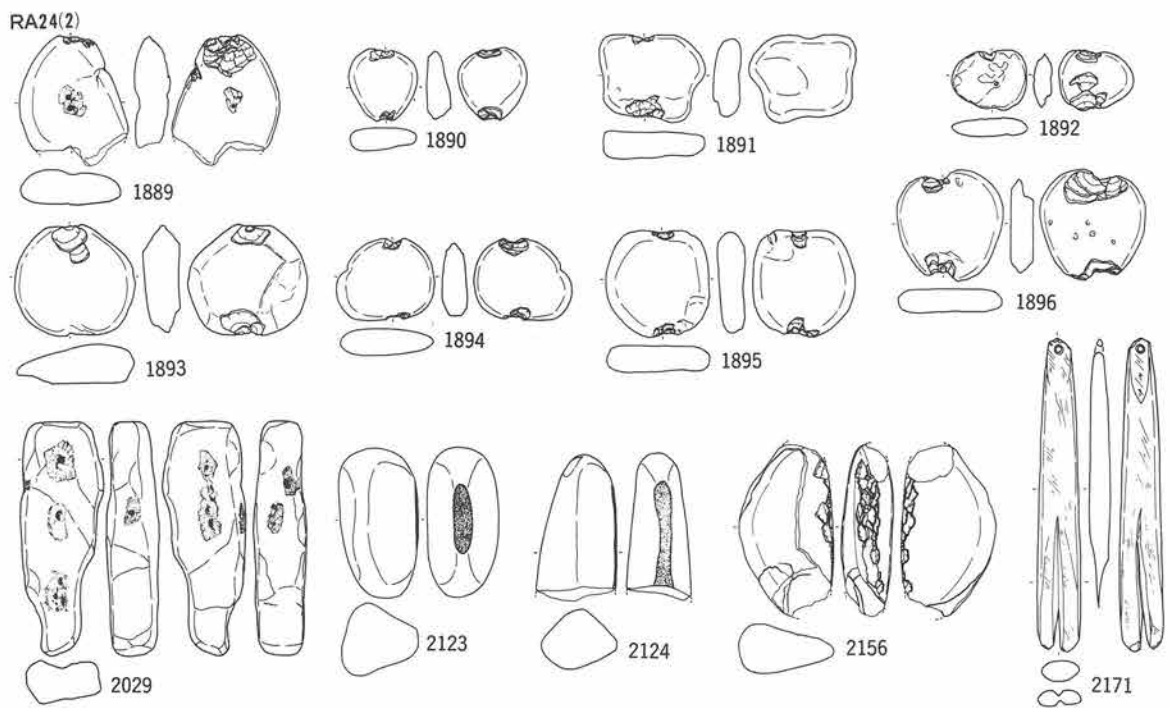
RA23(5)



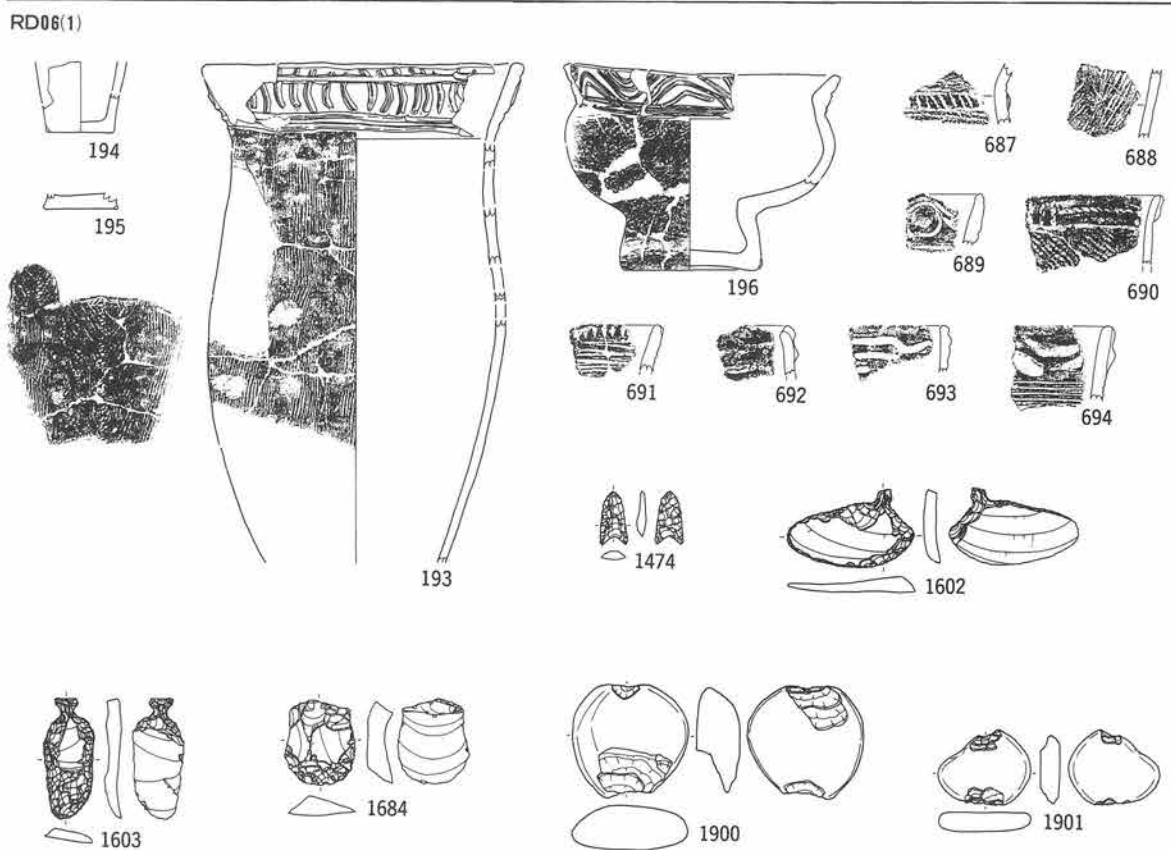
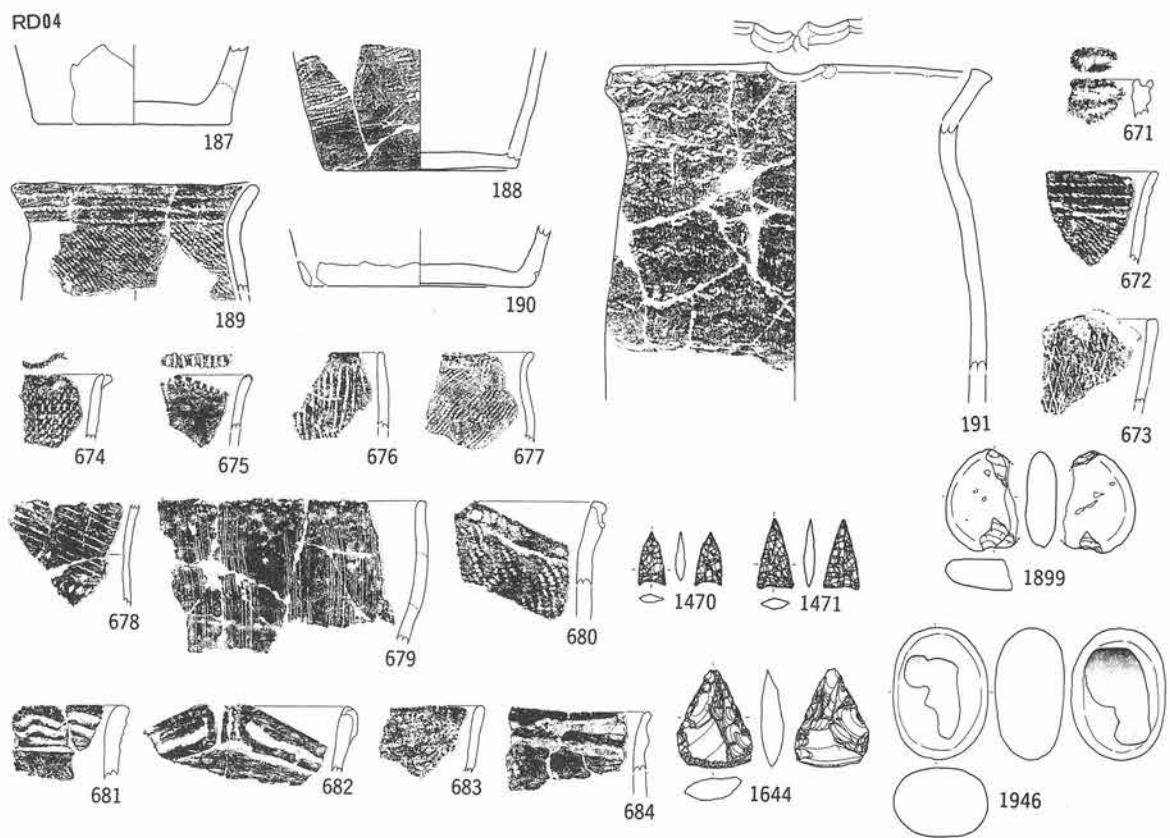
RA24(1)



第121図 RA23(5)・24(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

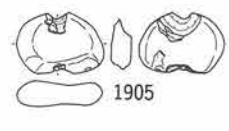
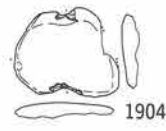
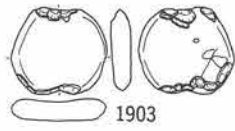
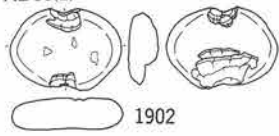


第122図 RA24(2)・26・27・28・29・31出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6・石製品1/4)

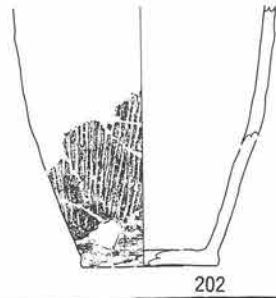
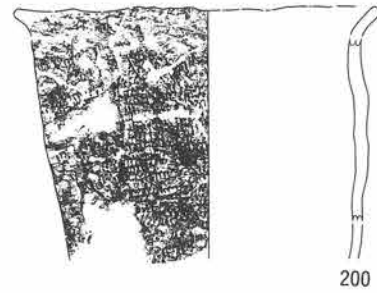
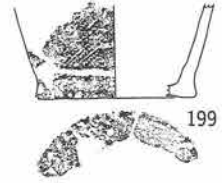
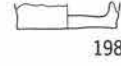
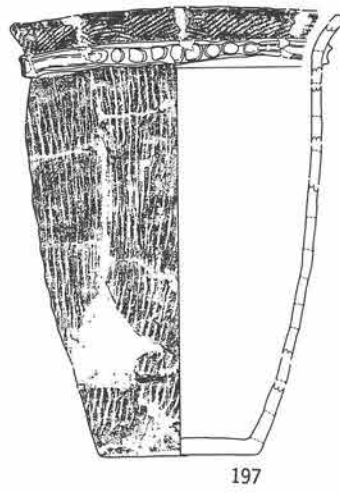
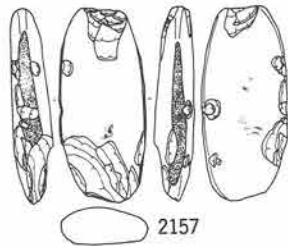
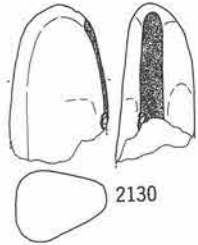


第123图 RD04・06(1)出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剝片1/4・礫1/6)

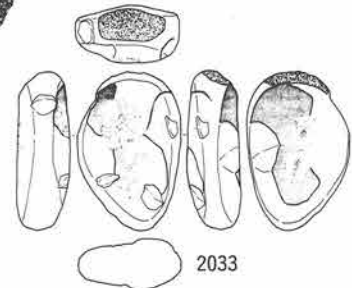
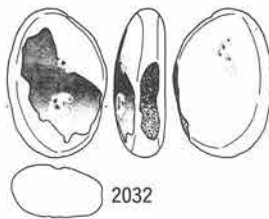
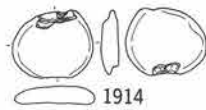
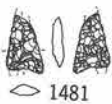
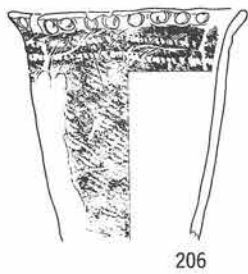
RD06(2)



RD07



RD12



第124図 RD06(2)・07・12出土遺物 (土器立体1/6・破片1/6、石器剥片1/4・礫1/6)

VI. 縄文時代—出土遺物—

峠山牧場 I 遺跡 B 地区から出土した縄文時代の遺物は、縄文土器大コンテナ (T40:30×40×30cm) で100箱 (重量1460.651kg)・土製品6点・石器大コンテナ (T40:30×40×30cm) 20箱 (重量171.2476kg)、登録点数3950点、石製品113点である。

以下に、まず掲載基準を記載し、出土土器全体の概要を述べ、次に個々の土器について、遺構の種別ごと (掲載順) に出土状況と、特記すべき事項について述べる。すべての土器について触れていないので、出土地点ごとの遺物の把握は第4表、個々の土器の特徴については第6表の土器観察表を参照されたい。

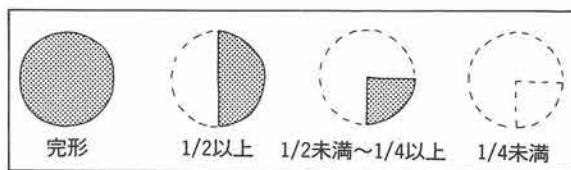
1. 縄文土器 (第125～212図、写真図版49～122:101～1252)

掲載基準について

一部、第III章の3室内整理の記載と重複するが、以下に出土遺物の掲載基準を記す。接合を行った結果、口径・器高・底径の計測値のうち、2箇所以上実数で把握可能なものを立体土器として登録・図化し、掲載した。接合資料でも上記の基準を満たさなかったものについては、観察項目を記録するに留めた。

破片資料はすべて実見し、以下の基準で選別した。掲載資料は、原則として口縁部破片とし、径5cm×5cm以上のものとした。胴部破片は文様・成形痕・特異な文様が施されているものに限定した。底部破片は残存状況について以下に示した基準を設けて統計処理を行い、掲載遺物は、底部圧痕や器形が特異なものに限定した。ただし、予想以上に土器の胎土が脆く、摩滅も著しく、接合率が悪かったため破片も小さなものが多かったが、可能な限り図化し遺物を掲載する方針で、上記の基準を満たさないものでも図化し掲載した。

観察項目：以下の項目について、観察を行った。

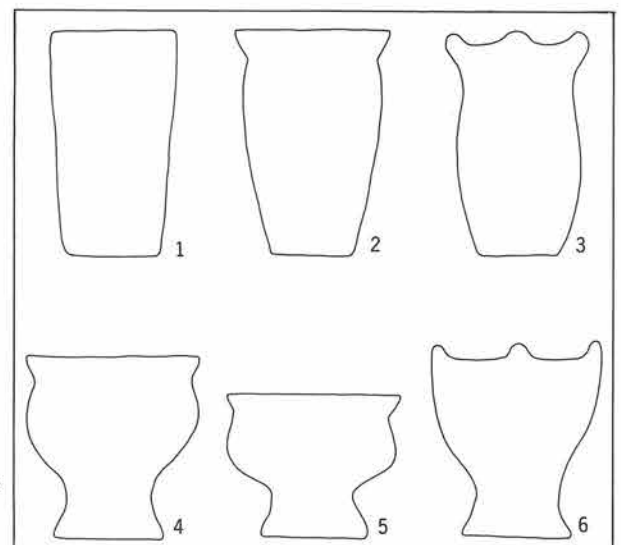


土器底部の残存状況の模式図

- ・計測値 (器高・口径・底径) ※立体土器のみ。
- ・器種：深鉢ほか
- ・器形：口縁部：平縁・波状縁他。
 頸部：括れの有無。
 胴部：直線的・曲線的／長胴形・球胴形 (註1)。
 底部：平底・上底、底部の張り出しの有無。

- ・文様：各部位の縄文原体と施文方法。
- ・色調：土色帳に照合する。
- ・胎土：繊維・礫などの混入の有無。
- ・内面調整：有無と方向。
- ・時期：次の時期を便宜的に以下のように分類し、さらに土器型式に対応するよるに細分した。(註2)

I群：前期、II群：中期、III群：後期、IV群：その他。



土器の器形分類模式図

・長胴形：1・2・3、 ・球胴形：4・5・6

・その他：成形の痕跡（輪積痕）、使用の痕跡（補修孔・煮炊の痕跡）など。

出土遺物について

総量：大コンテナ(T40：30×40×30cm)で100箱で、総重量1460.651kgが出土している。掲載した遺物は、立体土器229点、破片資料913点である。また本来の個体数を類推する手掛かりとして、底部破片の残存状況に付いて統計処理を行ったが、接合率が悪く、完形、1/2以上残存するものについてはすべて掲載している。

出土状況：100箱のほとんどが調査区北側の遺構および遺物包含層から出土しており、調査区域6,120㎡のなかにおいて著しい片寄りがある。個々の土器の出土状態については、原形を保って出土した例は稀だが、個体単位で出土している例は幾つかある。個々の土器の残存状況を見ると、胴部下半のもの、胴部上半のものが多いが、総じて接合率が低く、土器の残存状況から使用や廃棄の過程を類推することはできなかった。

接合状況：接合が叶わなかった資料については、調査精度の問題もあり、一概にいうことはできないが、多くは出土した地点もしくは隣接地点（グリッド）で接合は完了している。地点を離れての接合や遺構間で接合した事例はない。

土器の全体的な特徴について

胎土：全般に砂・礫の混入が多く胎土に緻密さは感じられず、総じて粗悪で悪い。また摩滅がひどく、焼成も良いようには思われない。

色調：赤褐色と暗～黒褐色が多く、黄褐～橙色は極少量である。時期により色調の傾向があるようである。

内面調整：ナデとミガキがあるが、いずれかが施されている。内面では口縁部は横位・胴部は縦位に調整されることが多い。底面は圧痕が残されているものを除いてミガキが施されているものが多い。

使用の痕跡：土器の内面に煤の付着が多く見られた。部位では深鉢の下半部が圧倒的に多い。

竪穴住居跡出土の土器（第125～140・168～184図、写真図版49～63・90～101：101～186、340～664）

縄文時代前期後葉から中期初頭の土器が出土している。埋土中から土器片での出土が多く、また遺跡の存続した年代を反映したかたちで時期幅のある破片が出土している。そのなかで、比較的まとまって土器が出土したのはRA07住居跡で、遺構の重複関係から、後述するRZ05土器埋設遺構より古いと考えられる土器群である。他にRA23（新）・24（旧）住居跡からも多くの土器が出土しているが、住居跡としての輪郭を明確に把握できていないので、出土した土器の同時性は高いと思われるが、一括性を画するうえで問題が残る。

RA04住居跡：101～104、351～370で、103は口縁部に沈線・刺突列による文様が施される。沈線は3～6cmの長さで左から右方向に引き継がれる。RA05住居跡：105～110、371～386で、107は球胴形深鉢で口縁は平縁だが4単位の凹部をもち、凹部には3本の隆帯を貼り巡らす。両端には円形の浅い圧痕を持ち、間には短い沈線を波状に施す。頸部は半截竹管による2本一組の沈線が7～8cmの長さで左～右へ引き継がれている。胴部には2段LR縦回転による縄文が施文されている。RA07住居跡：113～131の19個体、399～450が出土している。129・130は胴部に沈線による文様が描かれる他は地文のみの土器が多い。123は口縁部が肥厚する深鉢で、6単位の突起をもち、縦位の圧痕を横に巡らせている。頸部は半截竹管による2本一組の沈線を横位に6段に、その下位には緩い弧状文を沈線で描いている。沈線は一描き15cmほどの長さで右から左へ3回引き継いで一周している。125は平縁の深鉢で口縁部には縦位の刻目を施し、胴部には節の太い縄文が施文される。127は4波状の口縁で、波頂部の下位に円文の圧痕が施される。その下位には、補修孔を意図したかと思われる未穿孔の穴がある。131は無文の小型の土器で口縁が肥厚する。RA08住居跡：132～135、451～470で、132は平縁の深鉢で2本1組の波状の沈線を縦位に施文している。一回で引かれる沈線の長さは5～6cmである。輪積の痕跡も残る。133は胴部に膨らみを持つ深鉢で、頸部に隆帯を

貼り付けて口縁部と胴部を区画し、口縁部に半截竹管による沈線の文様を施す。胴部には2段LR、結節縄文1段Rを縦位に施文している。RA09住居跡：136～139、471～503で、138は櫛引き状の沈線を縦位に施す。RA12住居跡：141～146、532～548で、141は口縁部が外反する深鉢で、頸部に貼りつけられた隆帯は部分的にしか残らないが、圧痕が施こされている。口縁部は無文であるが、刻目状の沈線が縦位に入る箇所がある。胴部には縦・斜の沈線が施される。145は深鉢の底部で、底部縁の一部に押圧が4カ所加えられる箇所があり、凹状の刻目がみられる。RA15住居跡：150～152、569～574、150～152はいずれも2段RLの横回転で、地文のみの粗製土器である。RA20住居跡：157・590で、157は口縁部に文様帯をもち、半截竹管による沈線を7～8cmの長さで左→右に引き継いでいる。口唇部直下は半截竹管による刺突を施している。RA22住居跡：160、600で、160はミニチュアで4波状口縁で無文の深鉢で、色調は灰色を呈する。RA23住居跡：161～173、601～643で、163は、口縁部には原体の側面圧痕、胴部に横位の回転圧痕が施文されるが、原体はいわゆる縄文（縄）とは異なるようである（註3）。164は4単位の波状口縁で、波頂部は2ないし3の隆帯を貼り巡らし、口唇部には三角状の刻目を施す。口縁部には半截竹管による沈線を横位に施し、胴部には縄文を施し、その後、頸部と胴部に5単位の貼瘤を加えている。165は横位に櫛目状の沈線が施されている。RA24住居跡：174～182、644～658で、179は口縁部に環状の突起を4単位で貼り付け、環状突起の中央は凹状の円文が施され、その周囲に8～16個の刺突が施される。刺突の数は均一ではない。RA26住居跡：183、659で、183は深鉢の胴部で、隆帯を貼り付けた後に縄文を施している。灰白色を呈する薄手の土器で、色調・胎土とも他と異なる土器である。RA29住居跡：185は多軸絡条体を施文する土器、186は大型の波状口縁の深鉢で頸部に沈線と刺突による文様を施す。

土坑出土の土器（第141～146・185～192図、写真図版64～68・101～107：187～218・665～852）

縄文時代前期後葉から前期末葉の土器が出土している。総じて埋土からの破片資料が多いが、比較的まとまった資料としてはRD04・06・12土坑からの出土遺物が挙げられる。

RD04土坑：187～191はいずれも地文のみの深鉢である。191は厚手の大型の深鉢で、厚さが1.6cmあり、残存する器高も36cmあり、かなり大型の深鉢と推定される土器である。口縁部は4単位と推定され、1/4周単位のU字状、W字状の挟りが入る。671～684は口縁部の破片である。RD06土坑：193～196、687～694で、193は口縁部が外反する深鉢で、頸部に2本の沈線を巡らし、口縁部には縦位→横位の沈線による文様を施す。胴部は単軸絡条体第1類Rを縦位に施しているが、一部に結節第1種R・Lを縦位に施文する箇所がある。196は球胴形を呈する深鉢で、胴部と脚部が7：3の割合で脚部が短い。頸部に2本の沈線を巡らし、口縁部に沈線の文様を施し、胴部は地文のみとなる文様の構成は193と類似する。RD07土坑：197～203で、197は口縁部にLRの縦横、胴部は単軸絡条体第1類1段Rを縦回転している。内面および外面に幅3～3.5cmの輪積の痕跡が残る。頸部には隆帯が貼り付けられ、1/4単位で圧痕を施すが、圧痕の数は6・6・8・9と隆帯により異なる。図化は9個の圧痕部分を正面とした。RD12土坑：206・207・725～730で、206・207はいずれも口縁部が外傾する平縁の深鉢で器形が類似する。206は口縁部に横位に圧痕が施され、下位に単軸絡条体第1類1段Lの圧痕、胴部に1段Lの縦回転による無節縄文が施されている。207は口縁に4分の1単位で縦位の刻目が入り、その間を横位の平行沈線が三重に引かれる。頸部には3本一組の平行沈線が4重に巡り、6～7cmほどの長さで左から右へ引き継がれている。胴部は2段LR・RLの結節縄文が縦位に施文されている。RD16：208～211は深鉢4点で、208は網目状撚糸文を縦位に施文する深鉢で、幅が2cmの輪積みの痕跡が残る。RD35土坑：800～806で、806は注口状の破片で、口縁部の突起なのかどうか、不明であるが両端は完結している。

焼土遺構出土の土器 (第193図、写真図版107:853~858)

焼土遺構から出土した土器はいずれも破片で、個体復元できたものはない。RF01焼土遺構:853~855、RF04焼土遺構:856~858がある。時期は縄文時代前期末葉と思われる。

土器埋設遺構出土の土器 (第146・147・148・193図、写真図版68~70・107:220~230・860~870)

埋設されていた土器と掘り方に混入する土器片がある。埋設された土器は地文のみの粗製の深鉢が多く、胴部下半のものが多い。そのなかで、RZ07の埋設土器(222)が略完形の精製土器であり、またRA07住居跡(旧)→RZ05埋設土器(新)の出土状況が把握される資料である。

RZ05:222は口縁部が外反する深鉢である。頸部には隆帯を巡らし、口縁部と胴部を区画する。口縁部はやや肥厚し、13箇所刺突とその間を繋ぐ三重の沈線で文様が12単位で繰り返される。頸部は横位の沈線で上下を区画し、波状の沈線を上下2~3段に施す。頸部に巡る隆帯の上には圧痕を加える。胴部は2段LRの縦回転と1段Rの結節縄文が施文される。RZ12:226は、胴部上半を欠損する深鉢で、縦位の綾絡文を施すが、摩滅が著しく詳細は不明である。

柱穴状土坑出土の土器 (第148・193図、写真図版70・107:231・871~874)

B IV q22-PP 1:231は粗製深鉢で、他にB III m14-PP 2:871、B III m15-PP 1:872、B IV q22-PP 2:873、B IV r23-PP 4:874の破片が出土している。時期は縄文時代前期と思われる。

遺物包含層出土の土器 (第149~167・194~212図、写真図版71~89・108~122:232~339・875~1252)

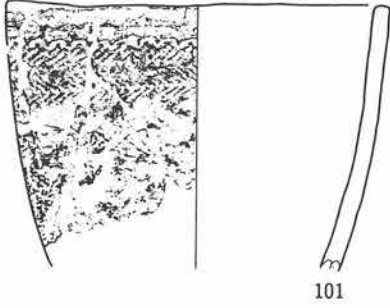
多くは遺物包含層(I d層)から出土した土器で、調査区による出土量に多寡はI d層の分布を反映している。B IV v10・B IV w 2・B IV w 3グリッドからまとめて土器が出土している。

B IV v10グリッド:238~248・969~991で、頸部から胴部上半に半截竹管による沈線文が施されること。口縁部に隆帯の貼付けによる装飾を付される特徴があるが、246の粗製の深鉢も出土している。B IV w 2グリッド:255~261・1007~1029で、255~261の深鉢はいずれも口縁部が外反する深鉢で、沈線と刺突・圧痕による文様が施され、胴部は斜縄文の地文のみの文様構成は共通する一群である。B IV w 3グリッド:262~272・1030~1057で、269は隆帯を貼り付けて文様を施すが、他は地文のみの粗製の深鉢が出土している。B IV w 5グリッド:279~286・1065~1076で、280・285は口縁が内湾ぎみ立ち上がる類似する器形の深鉢で、285には沈線による文様が施文されている。口縁が外傾する異なる器形の深鉢286が同一層から出土している。286はB IV w 3グリッドのNo.265・268の土器と類似する土器である。B IV x 7グリッド:316~321・1156~1169で、316は口縁が凹状に捲れ、胴部は地文のみの深鉢である。地文は縄文とは異なるようで、No.163と同一のものと思われる。No.1156~1169と同一レベルから出土している。B IV x11グリッド:326~330・1182~1197で、326・327・328の球胴形深鉢と329の深鉢が同一地点から出土している。328は口縁部に平行・波状の沈線を横位に2本施すが、一部分のみに原体側面圧痕が施されている。波状沈線の凹部と平行沈線の下位に円文が付されている。沈線は左から右に引き継がれている。

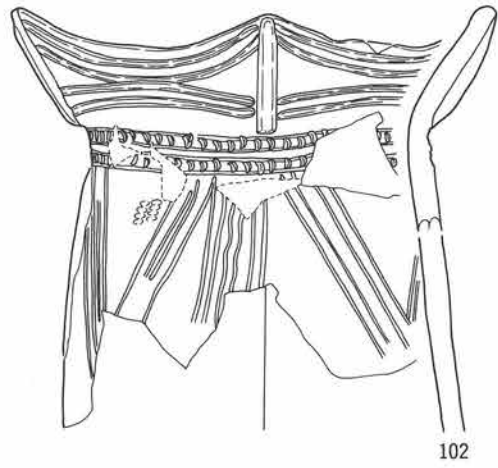
註

- (1) 稲野彰子 1991「大木式土器にみられる球胴形深鉢について一文様の多系統性に注目して」『北上市立博物館研究報告書』第8号。
- (2) 土器の型式については、興野 1967~1970、白鳥 1991を参考にして分類を行った。
- (3) (財)北海道埋蔵文化財センター 1986『登別市川上B遺跡・C地区』他に類例がある。

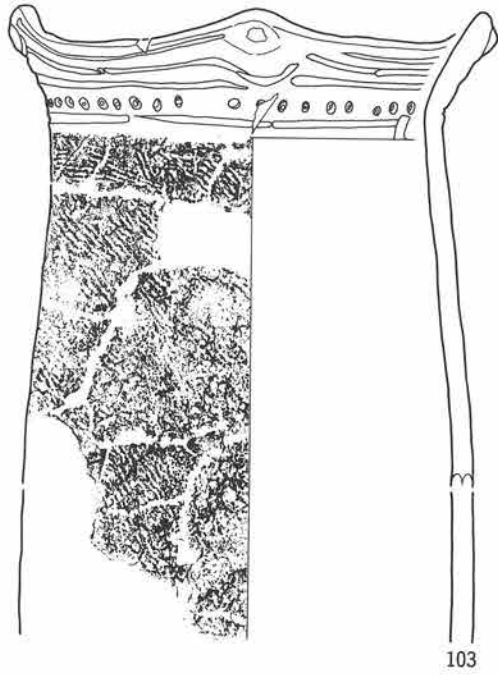
RA04



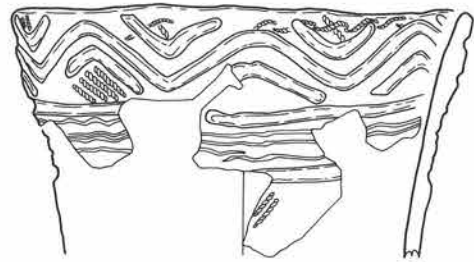
101



102

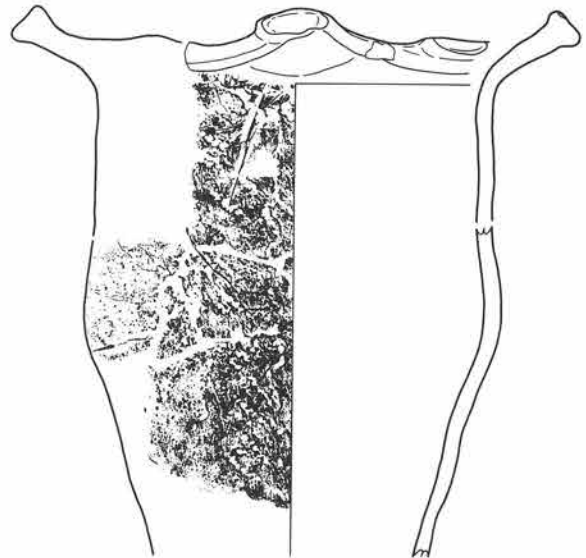


103

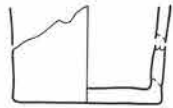


104

RA05(1)



106

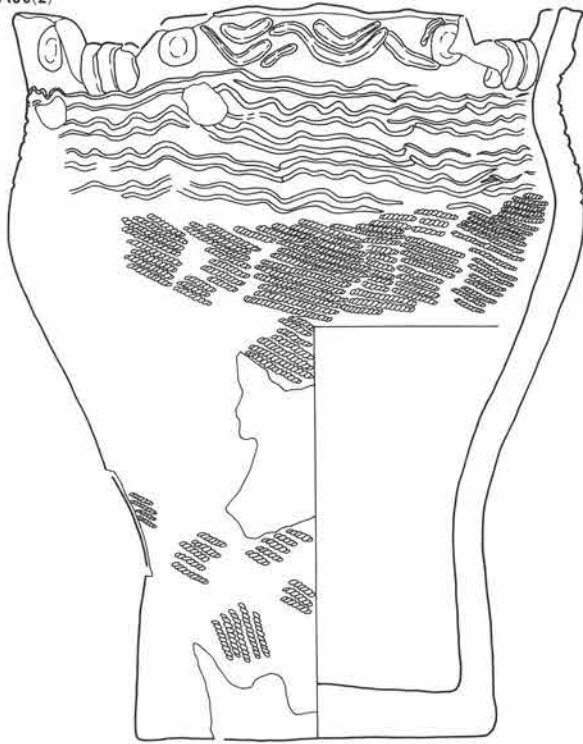


105

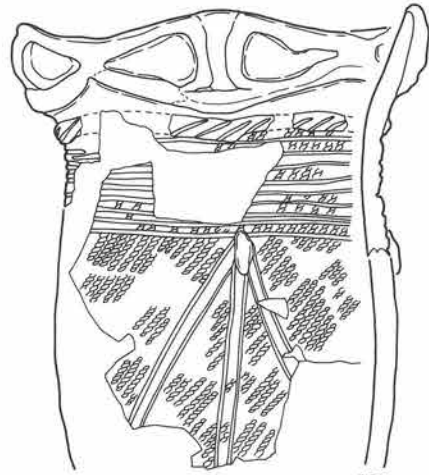
0 1 : 3 10cm

第125図 土器(1) : RA04・05(1)

RA05(2)

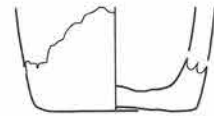


107

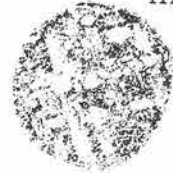


108

RA06



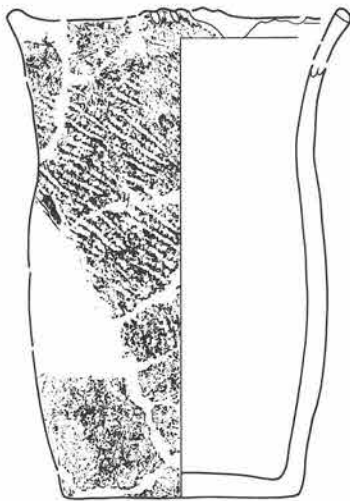
111



110



112

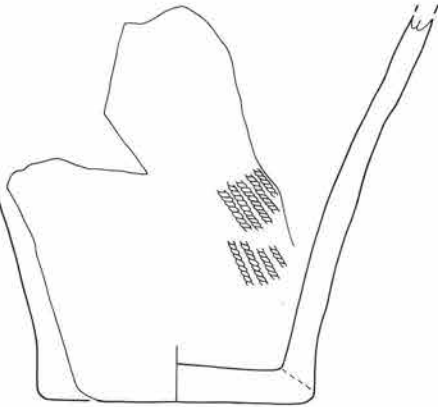


109

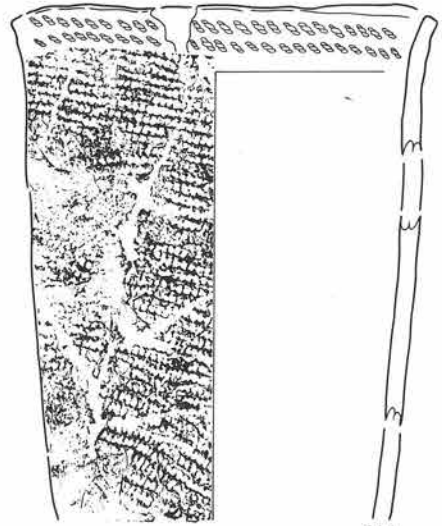
0 1 : 3 10cm

第126図 土器(2) : RA05(2)・06

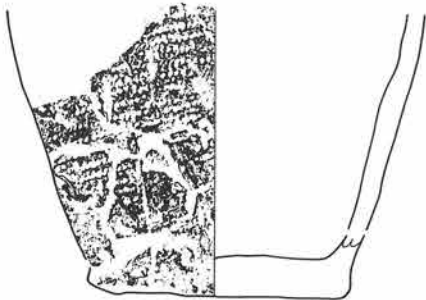
RA07(1)



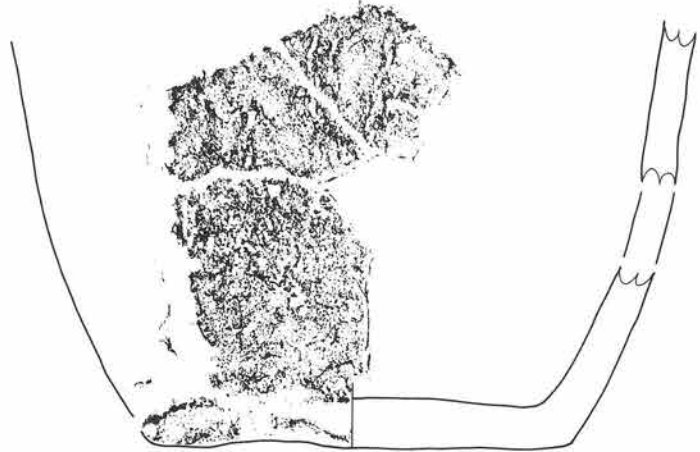
113



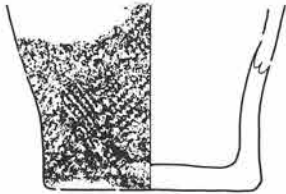
114



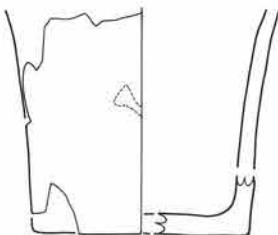
115



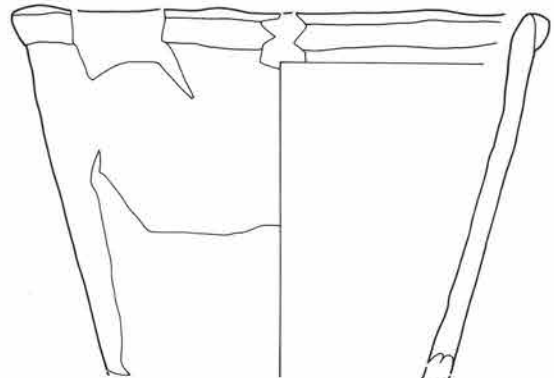
117



116



118

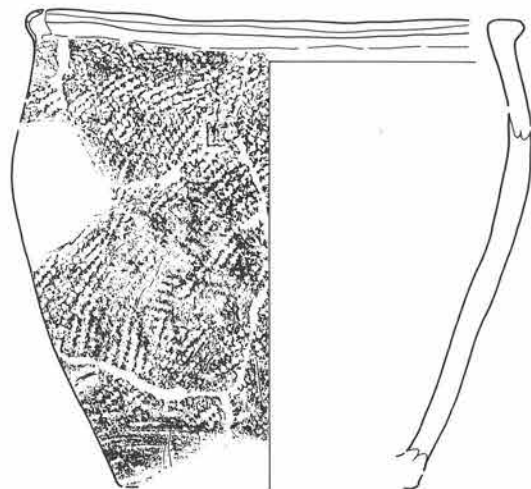


119

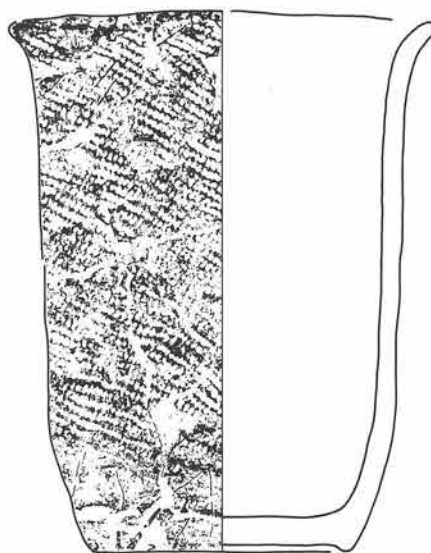
0 1 : 3 10cm

第127図 土器(3) : RA07(1)

RA07(2)



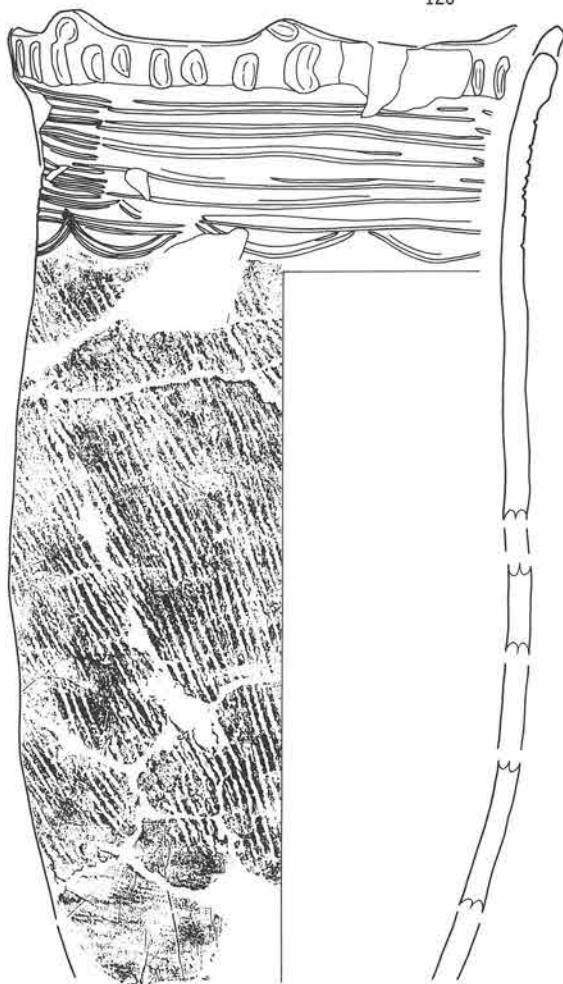
120



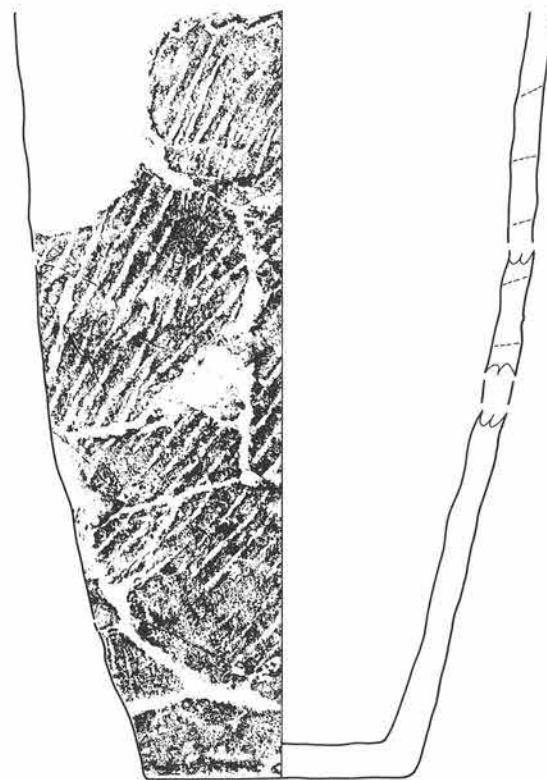
121



122



123

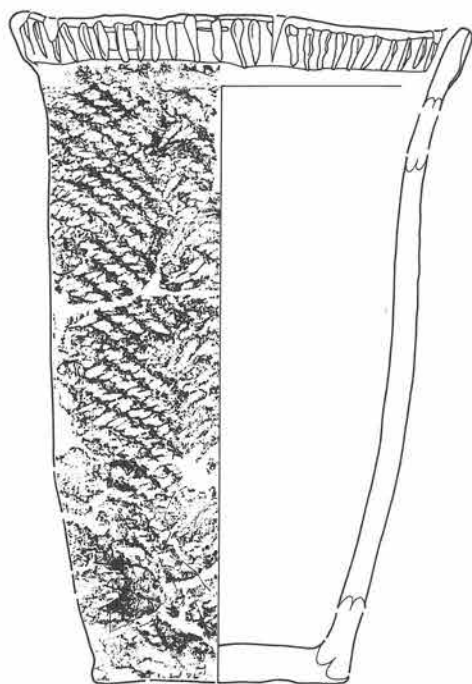


124

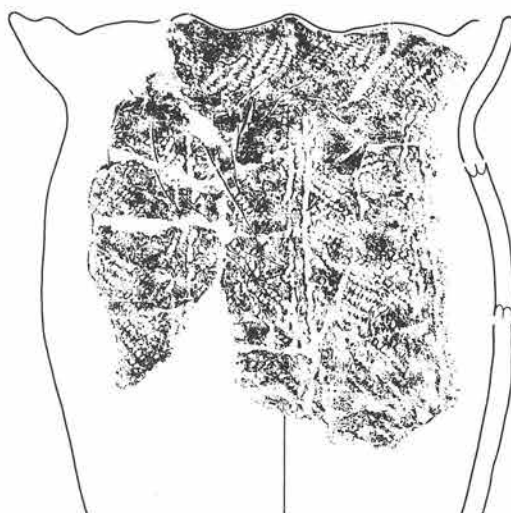
0 1:3 10cm

第128図 土器(4) : RA07(2)

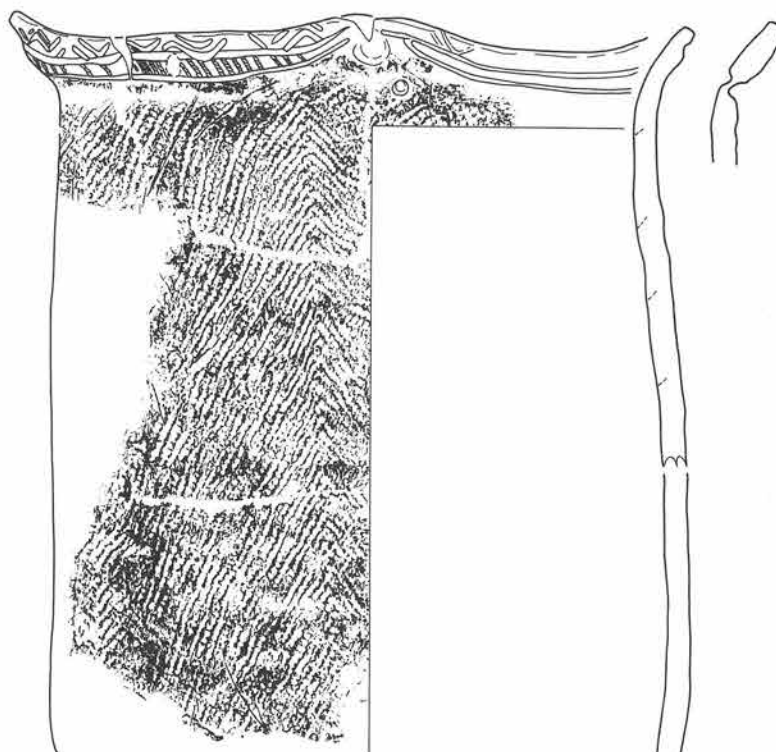
RA07(3)



125



126

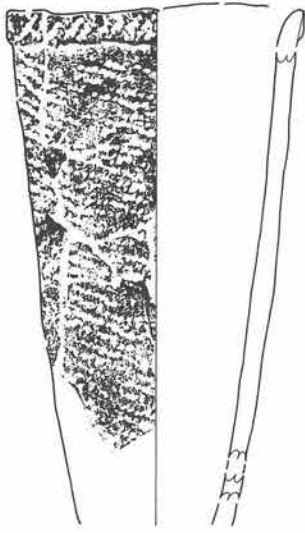


127

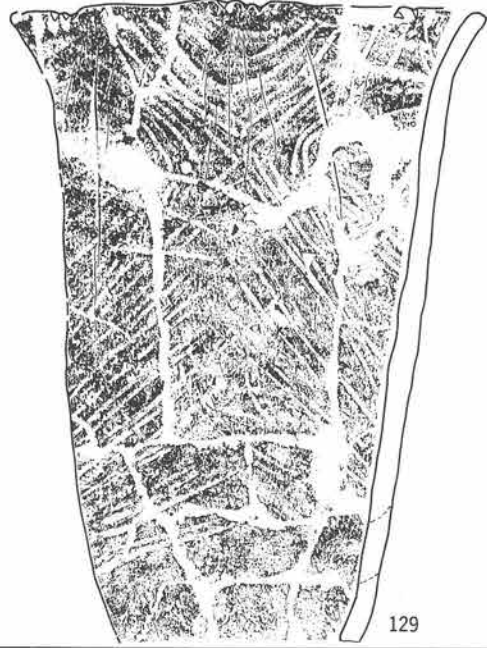
0 1 : 3 10cm

第129図 土器(5) : RA07(3)

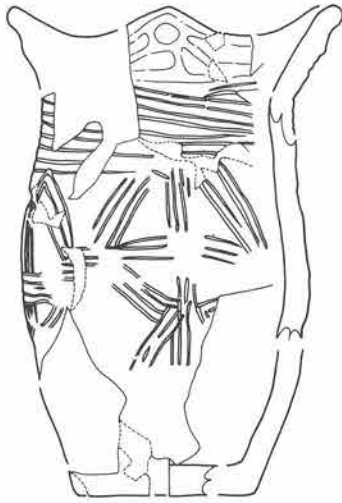
RA07(4)



128



129

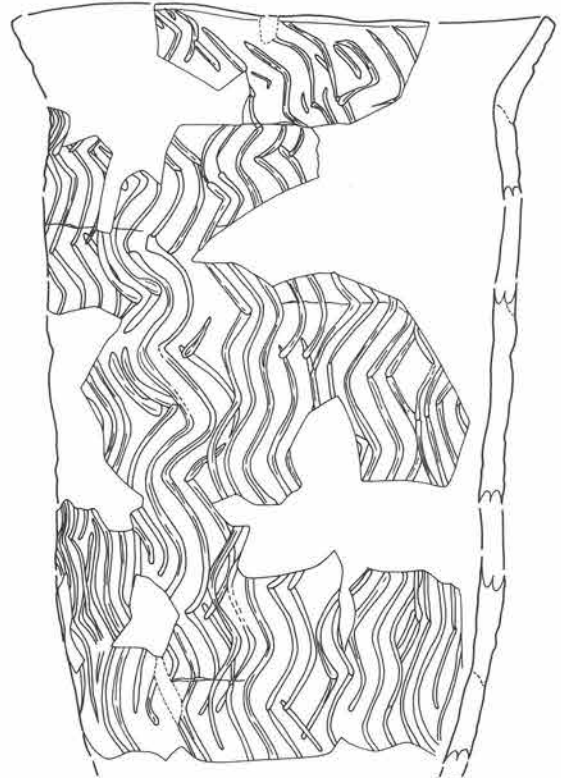


130



131

RA08(1)



132

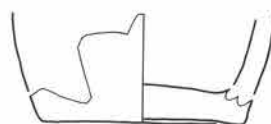
0 1 : 3 10cm

第130図 土器(6) : RA07(4)・08(1)

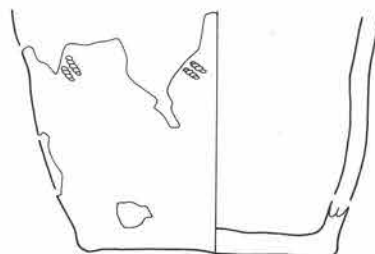
RA08(2)



133



134

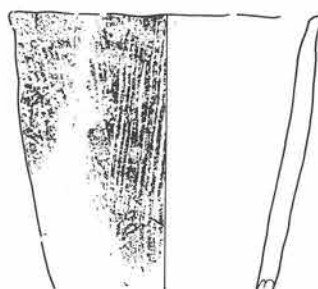
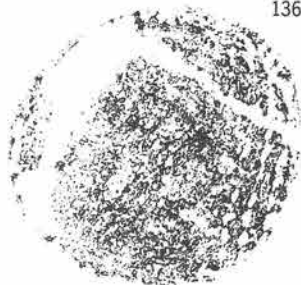


135

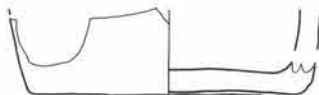
RA09(1)



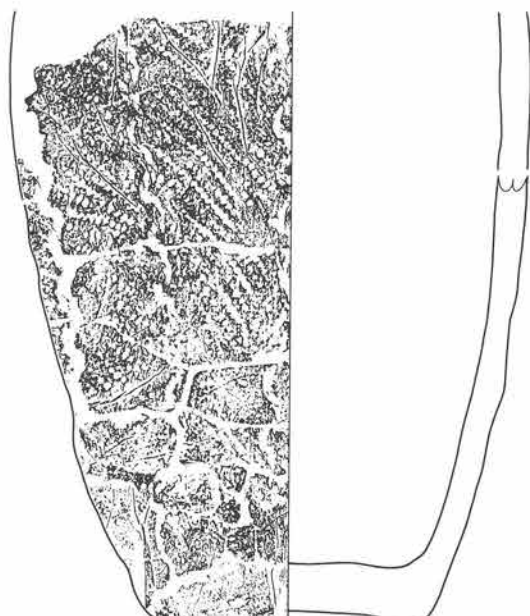
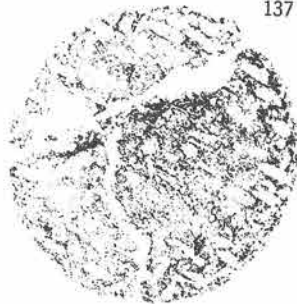
136



138



137

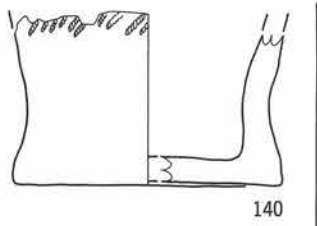


139

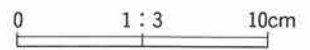
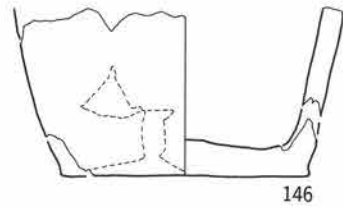
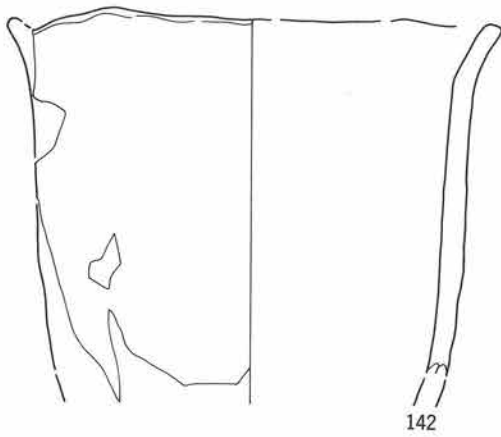
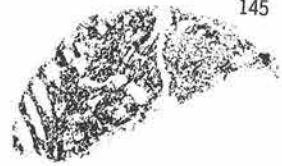
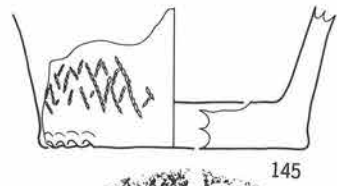
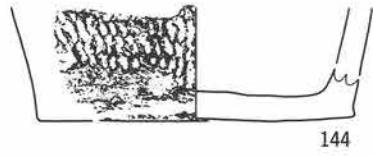
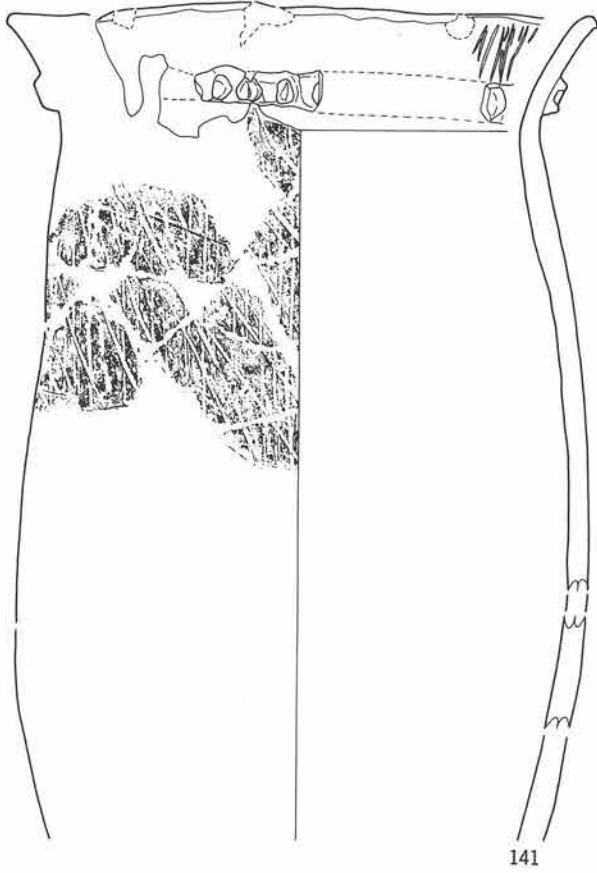
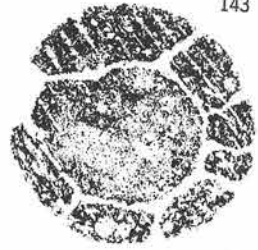
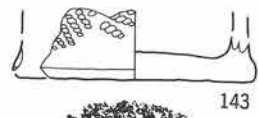
0 1 : 3 10cm

第131図 土器(7) : RA08(2)・09(1)

RA11



RA12

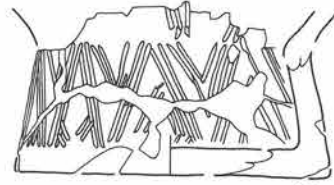


第132図 土器(8) : RA11・12

RA13

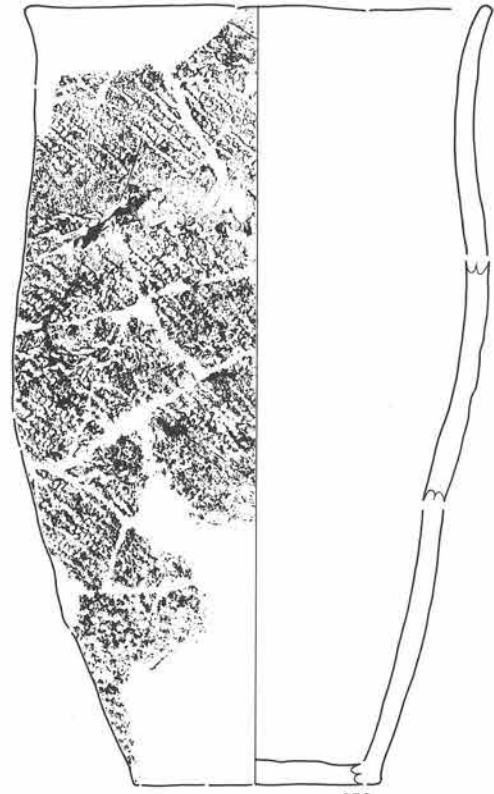


147

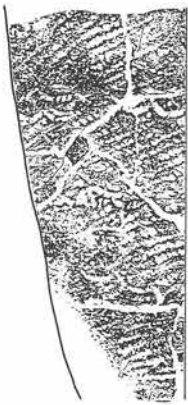


148

RA15



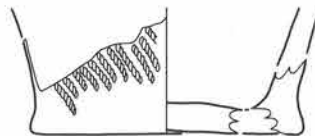
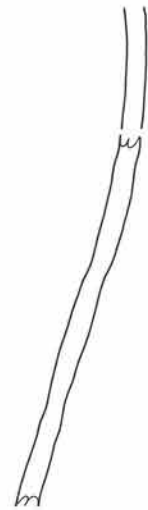
150



149



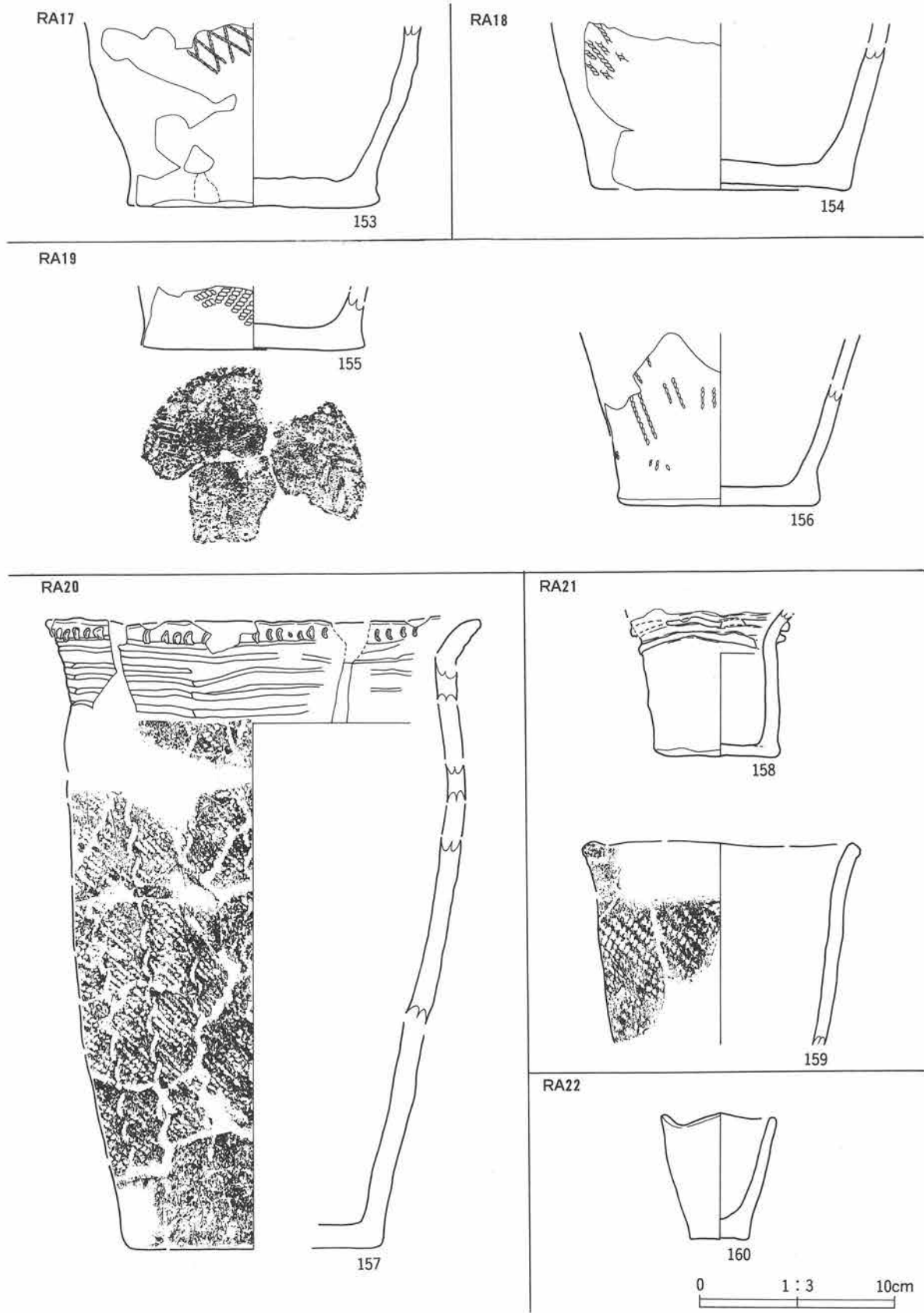
151



152

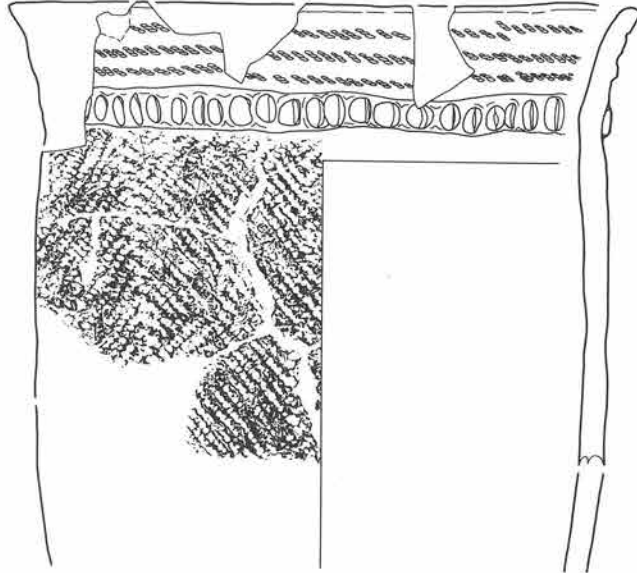
0 1 : 3 10cm

第133図 土器(9) : RA13・15

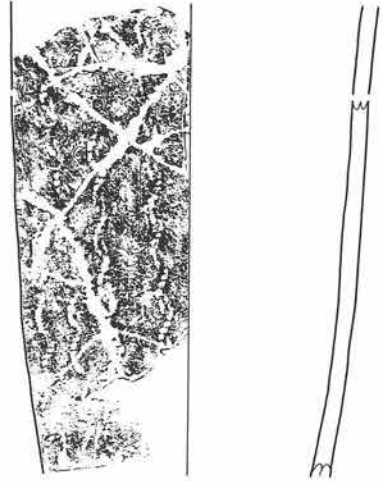


第134图 土器(10) : RA17・18・19・20・21・22

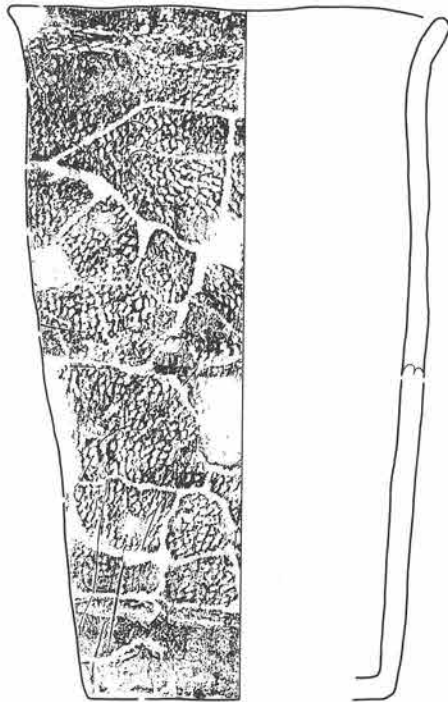
RA23(1)



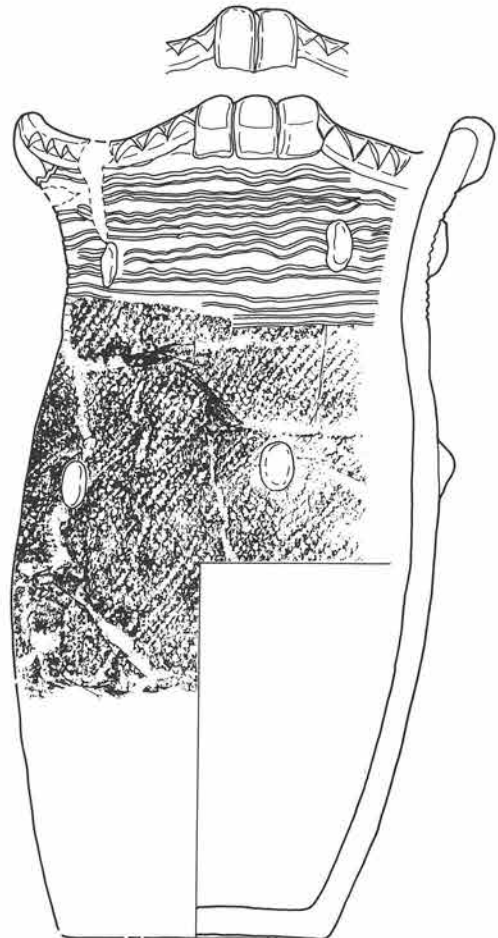
161



162



163

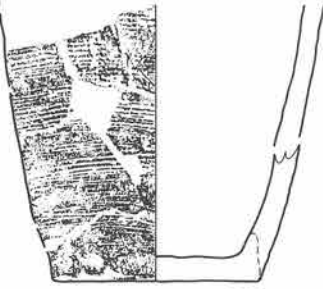


164

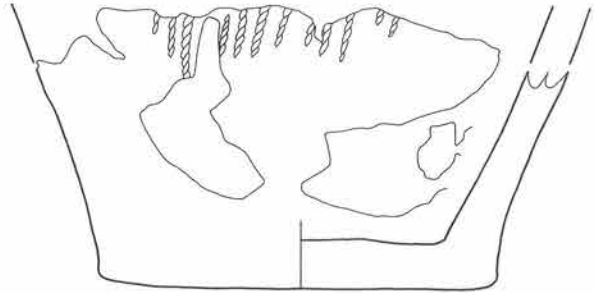
0 1:3 10cm

第135図 土器(Ⅱ): RA23(1)

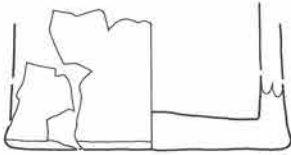
RA23(2)



165



167



166

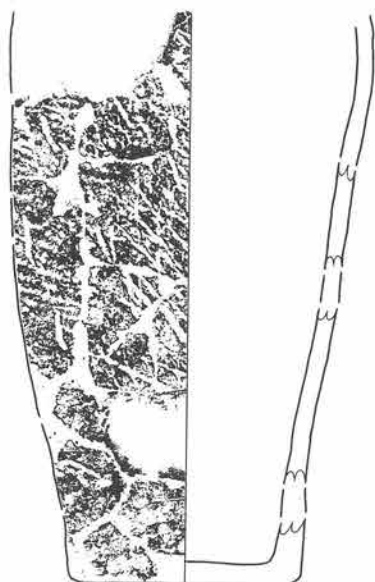


168

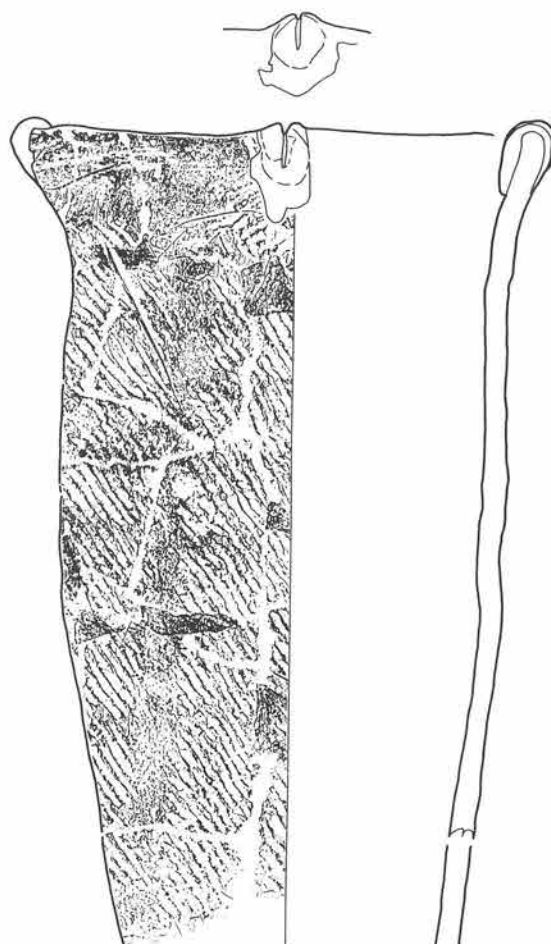
0 1 : 3 10cm

第136図 土器(12) : RA23(2)

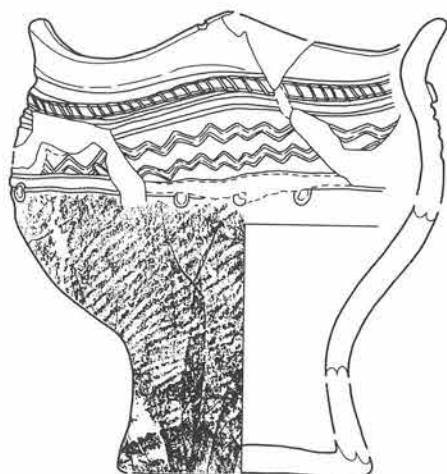
RA23(3)



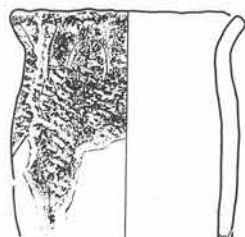
169



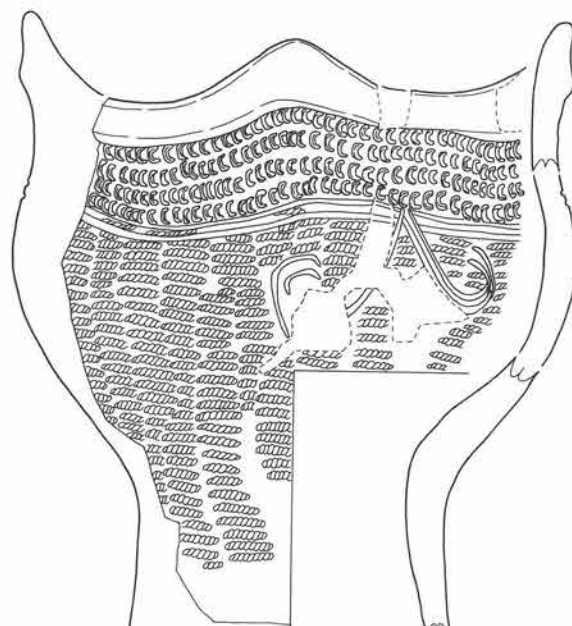
170



171



172

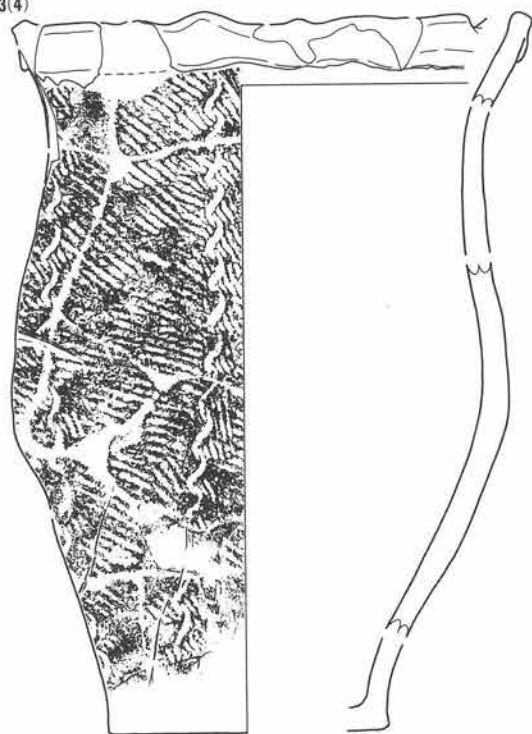


173

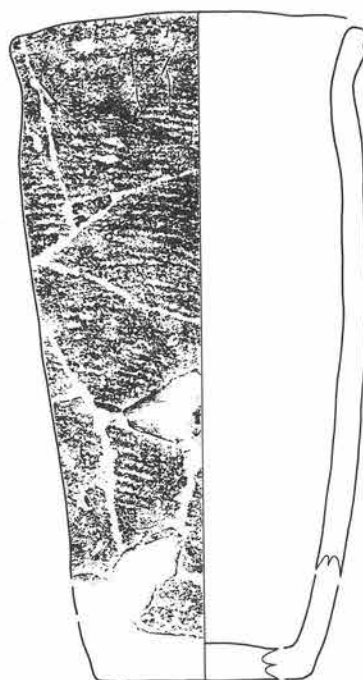
0 1:3 10cm

第137图 土器(13) : RA23(3)

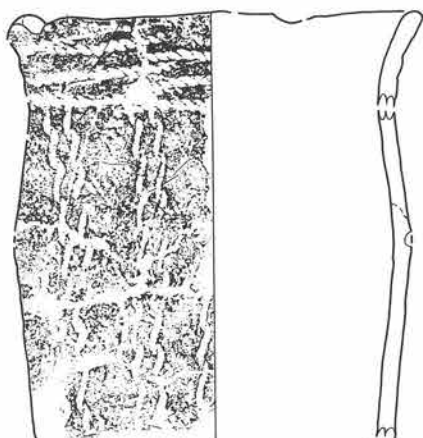
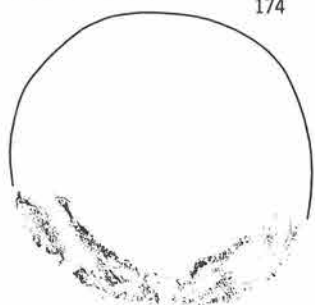
RA23(4)



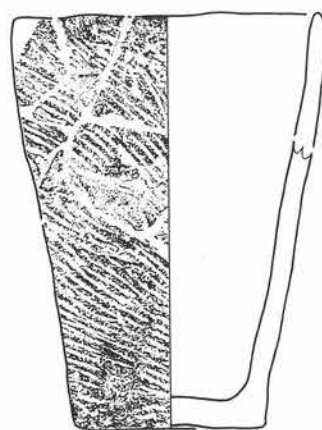
174



175



176

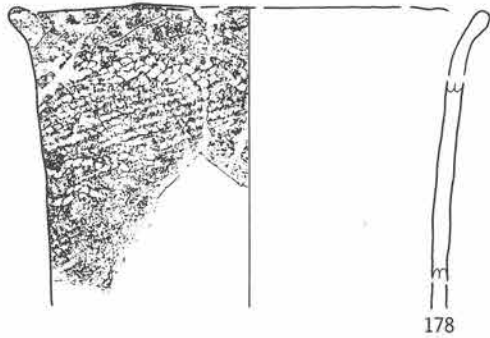


177

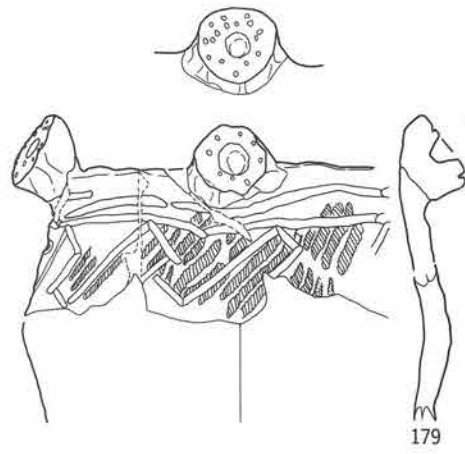
0 1 : 3 10cm

第138図 土器(14) : RA23(4)

RA24



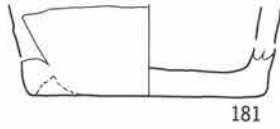
178



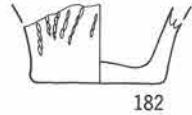
179



180

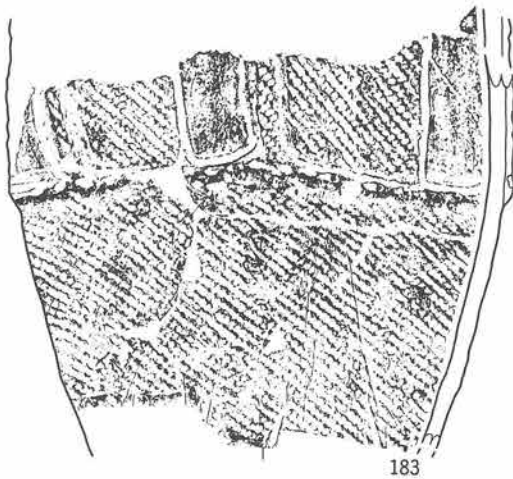


181



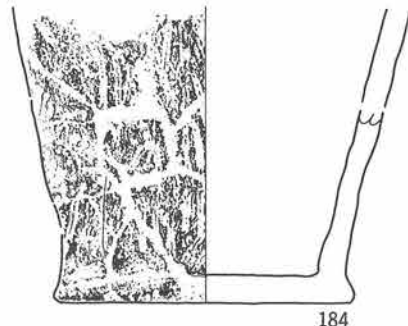
182

RA26



183

RA28



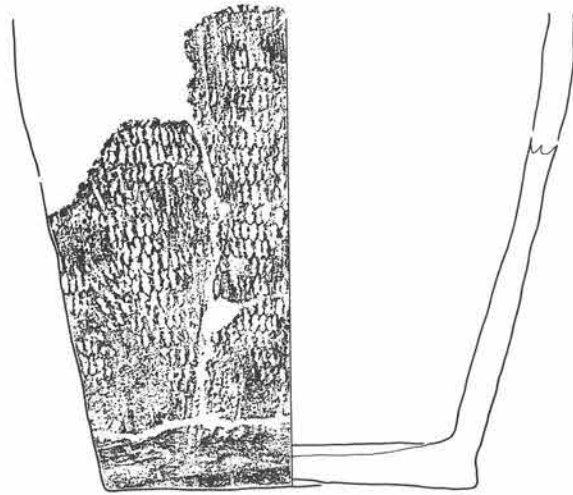
184

0 1 : 3 10cm

 A scale bar with three segments, labeled 0, 1:3, and 10cm.

第139図 土器(15) : RA24・26・28

RA29



185

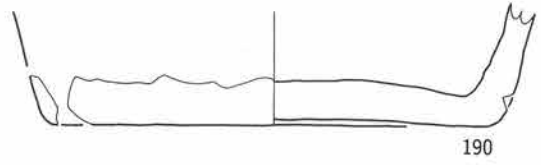
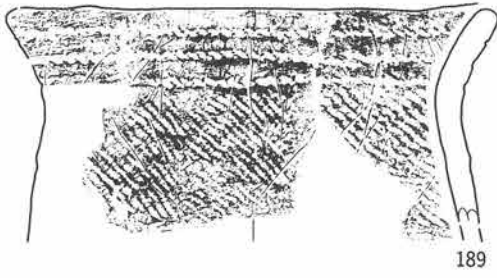
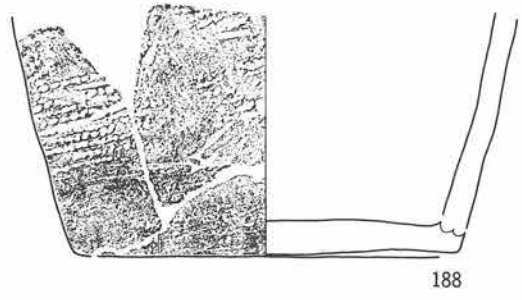
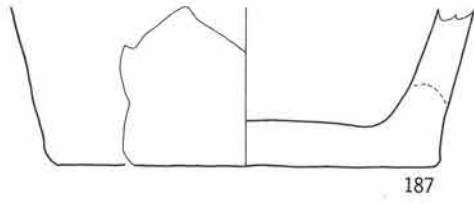


186

0 1 : 3 10cm

第140図 土器(16) : RA29

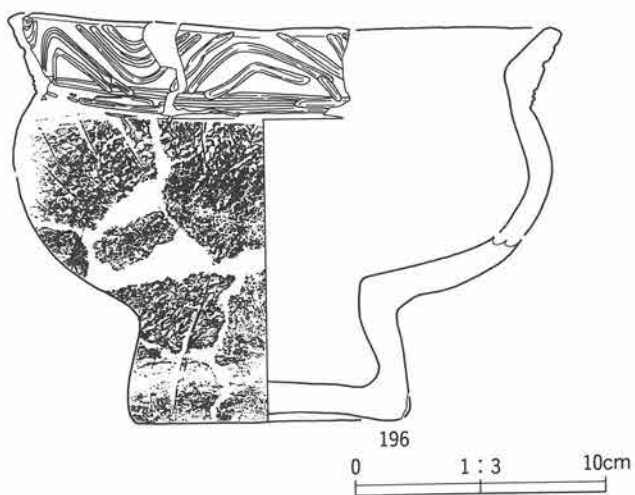
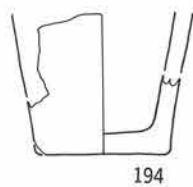
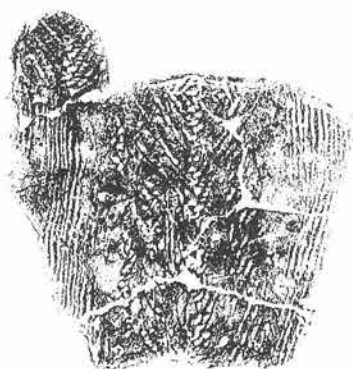
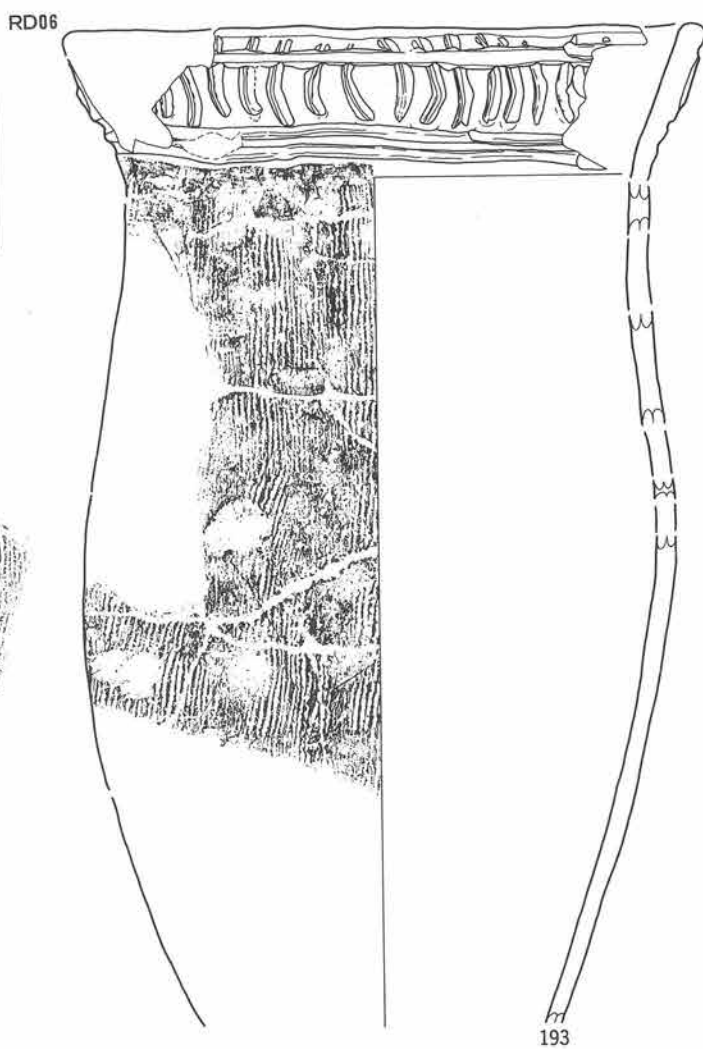
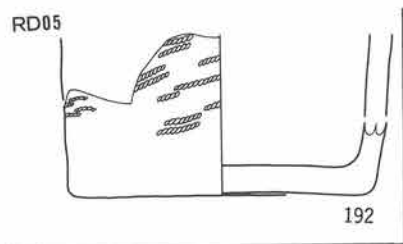
RD04



191

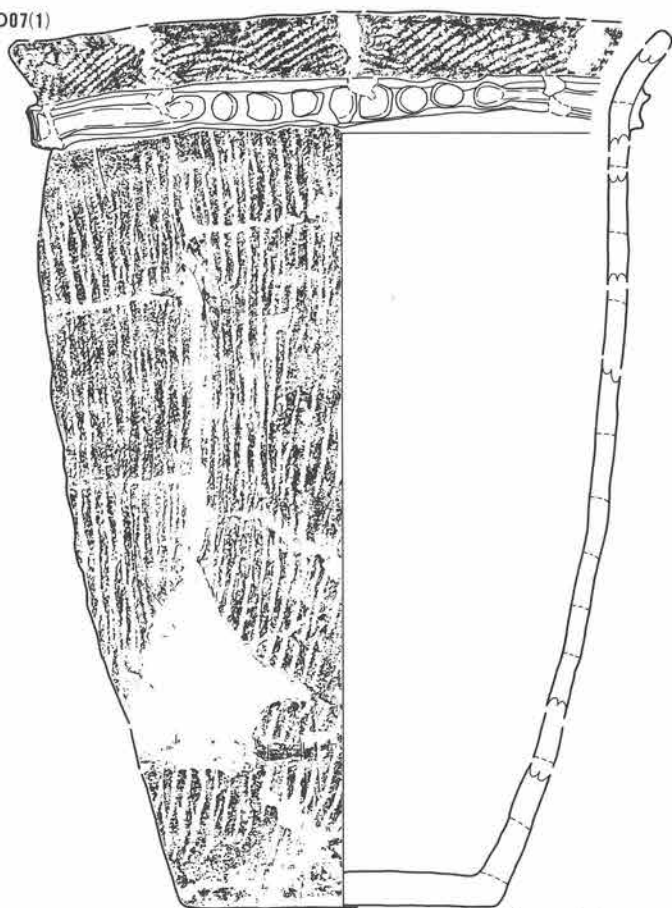
0 1:3 10cm

第141図 土器(17) : RD04



第142図 土器(18) : RD05・06

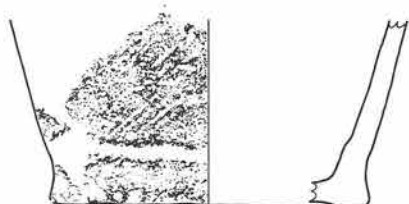
RD07(1)



197 (S=1/4)



198



199



200

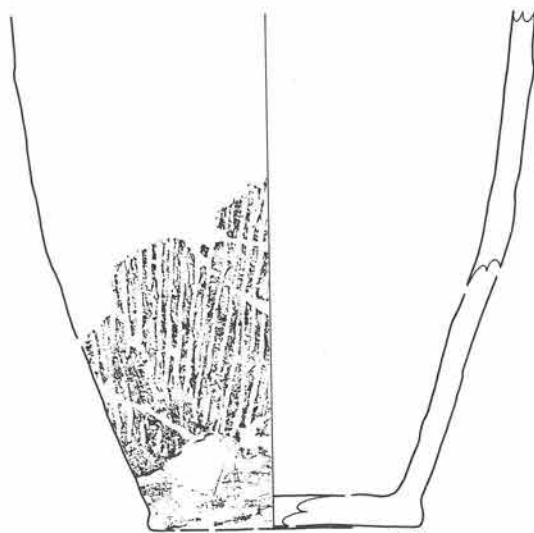
0 1:3 10cm

第143图 土器(19) : RD07(1)

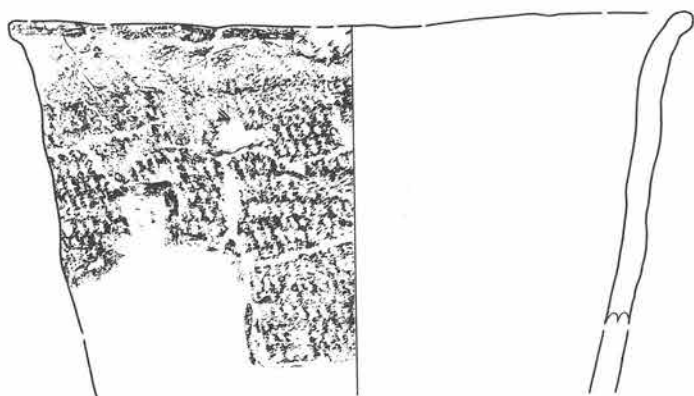
RD07(2)



201



202



203

RD08



204

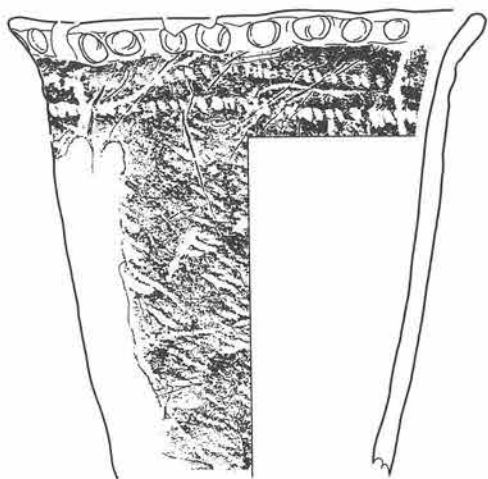
RD09



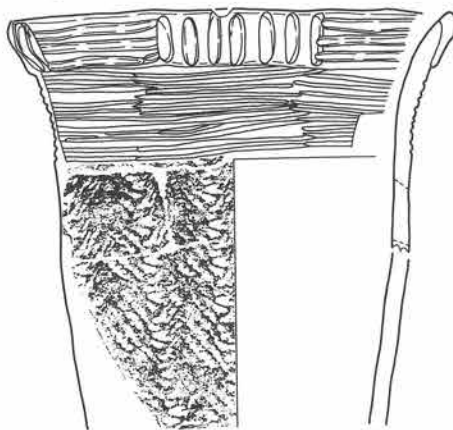
205



RD12



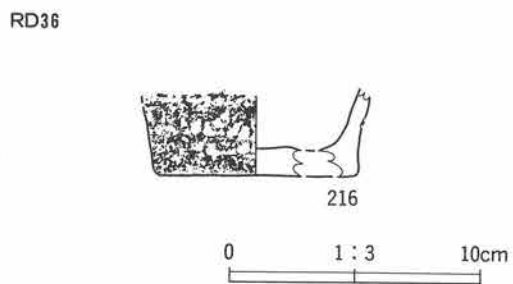
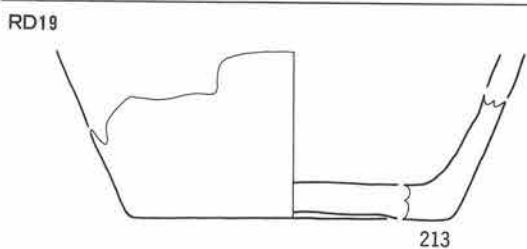
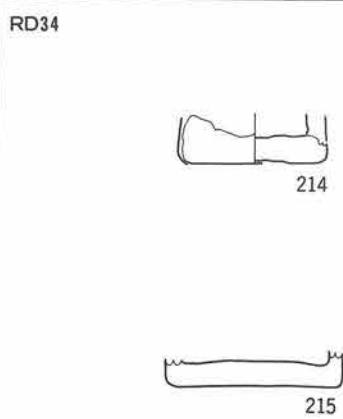
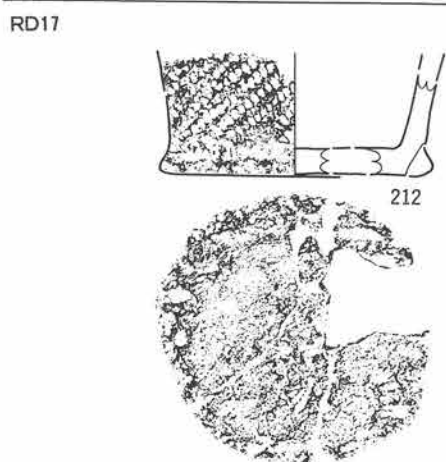
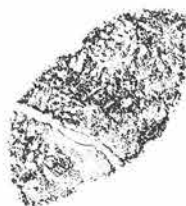
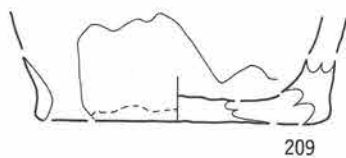
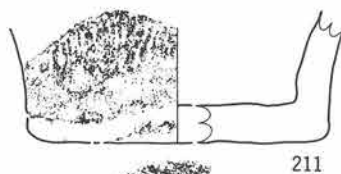
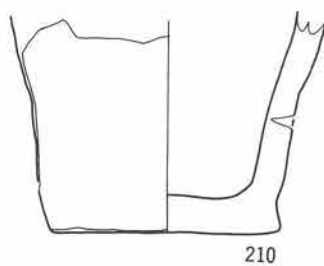
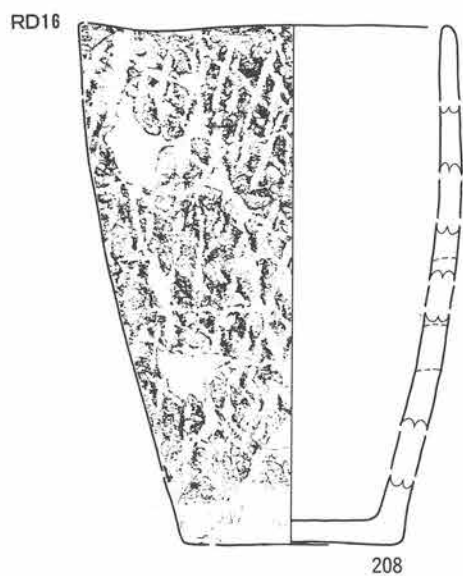
206



207

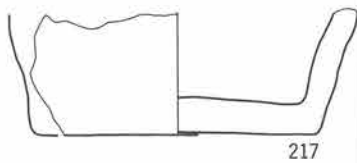
0 1:3 10cm

第144図 土器(20) : RD07(2)・08・09・12

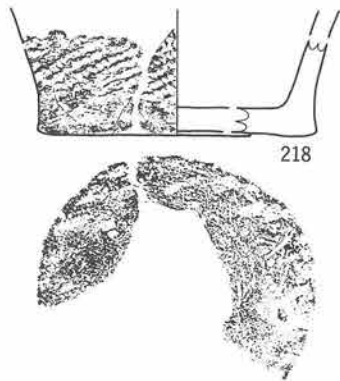


第145図 土器(2) : RD16・17・19・34・36

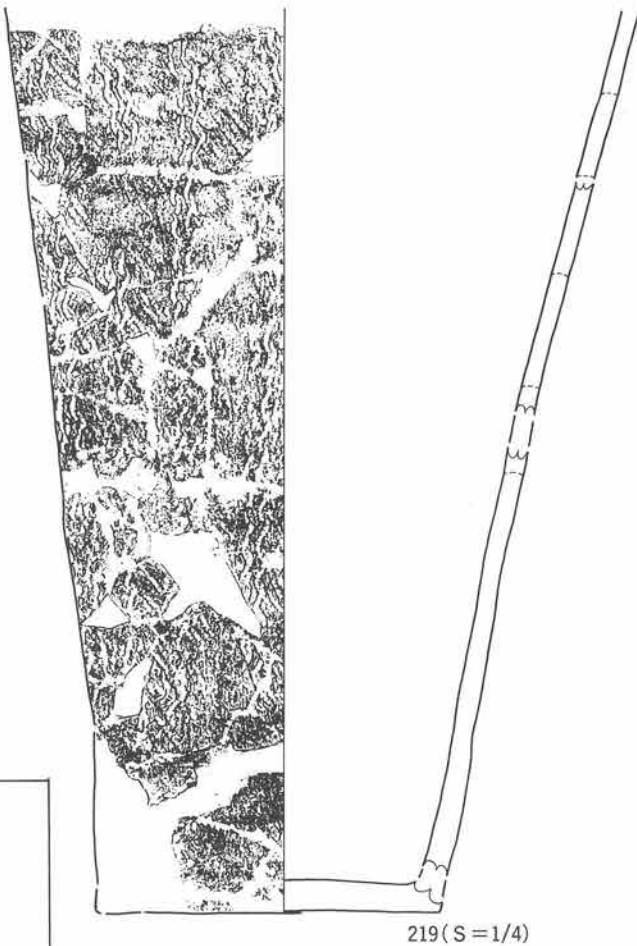
RD37



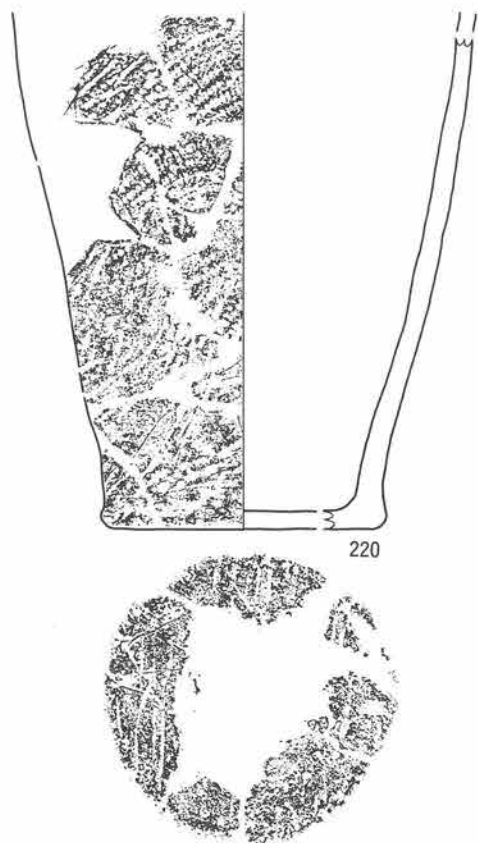
RD40



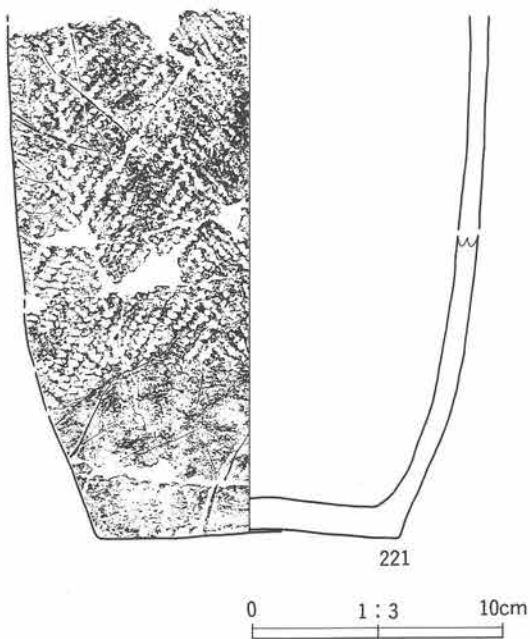
RZ01



RZ08

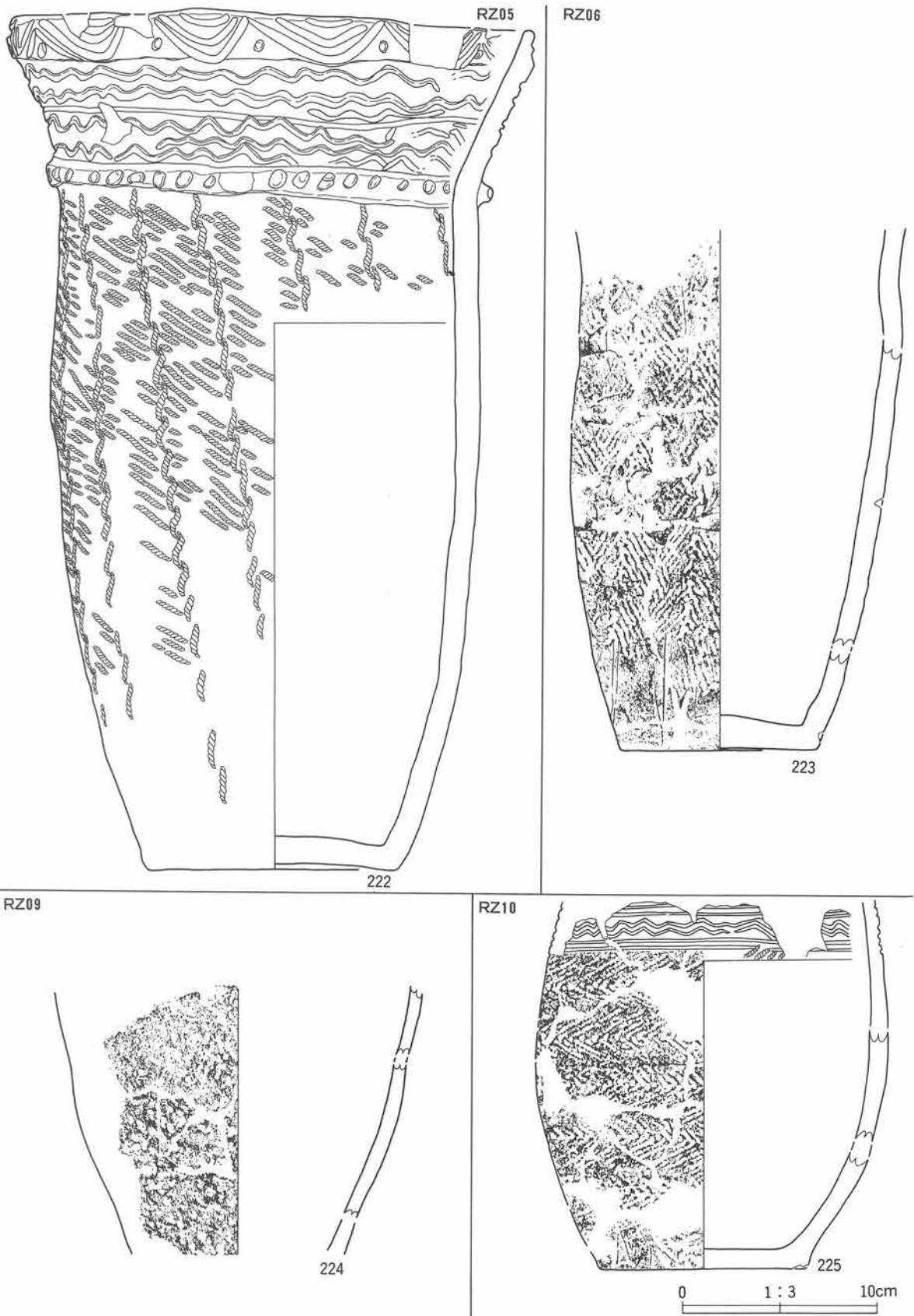


RZ07

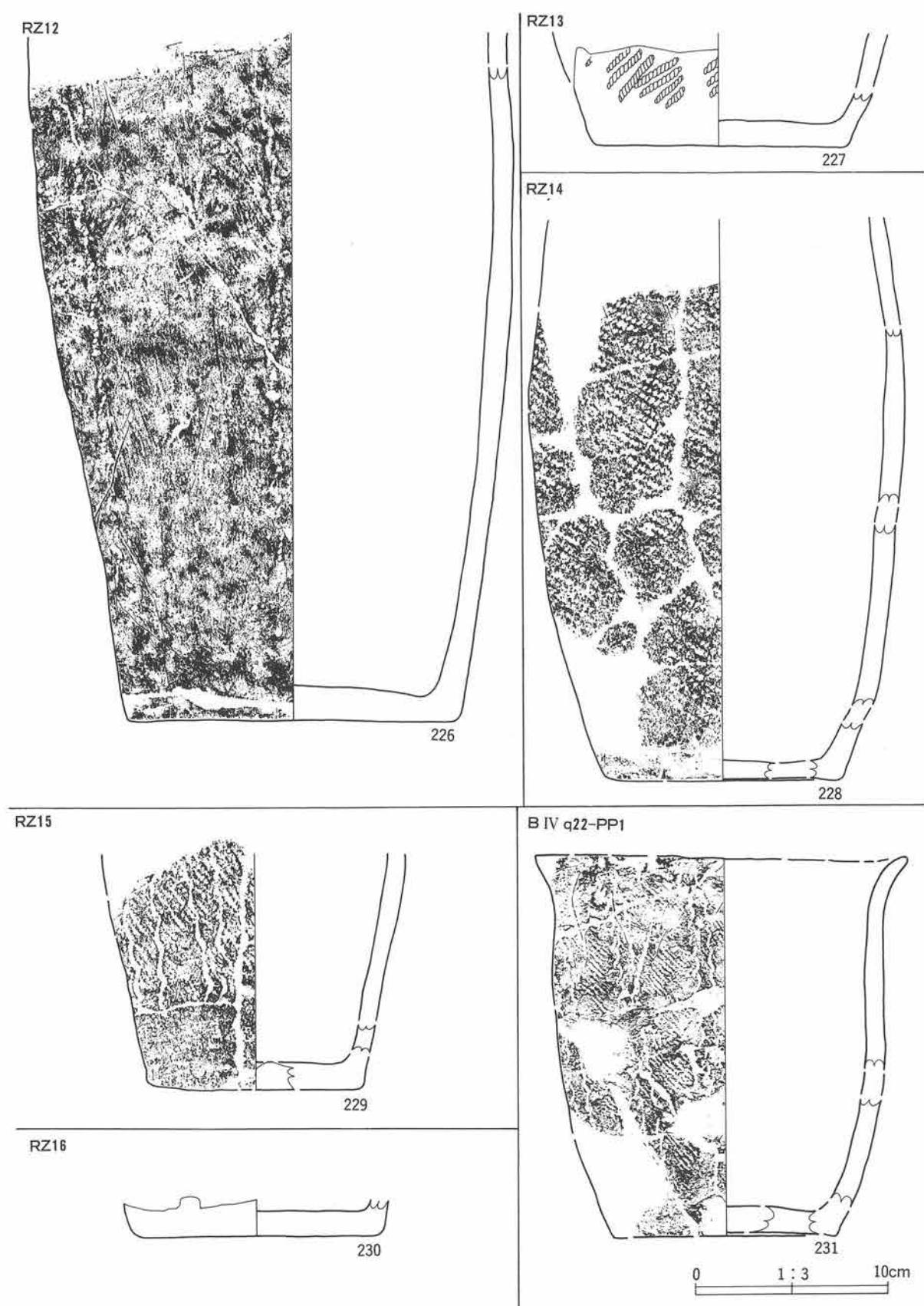


0 1 : 3 10cm

第146図 土器(2) : RD37・40、RZ01・07・08

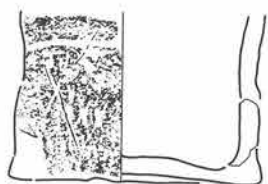


第147図 土器(23) : RZ05・06・09・10

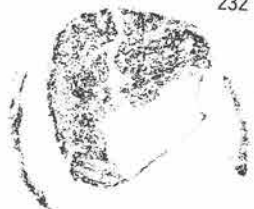


第148图 土器(24) : RZ12・13・14・15・16、B IV q22-PP1

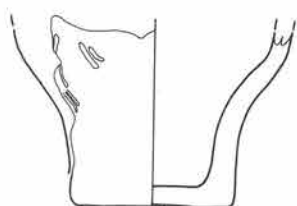
B III t23



232



B IV u2



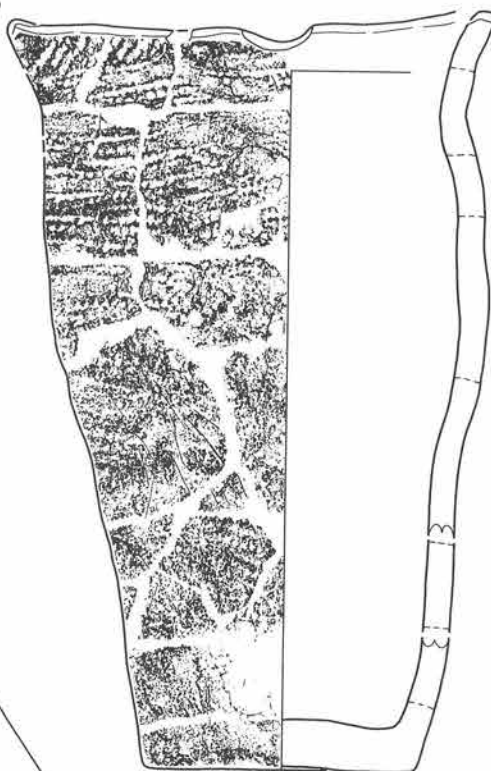
234

B IV v1



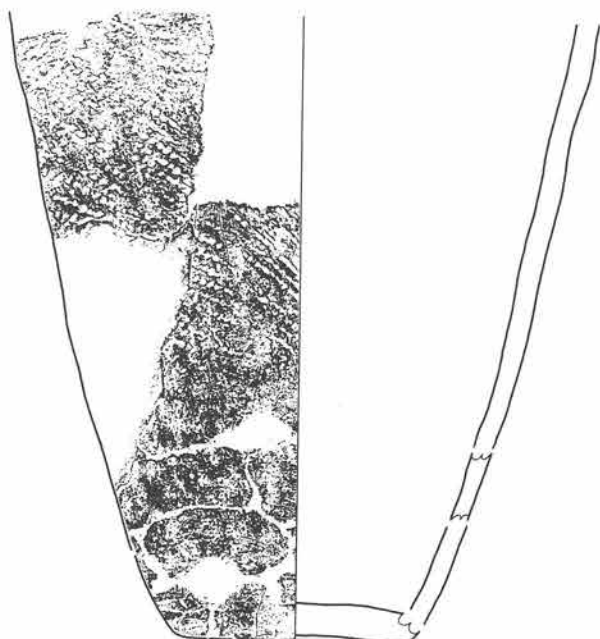
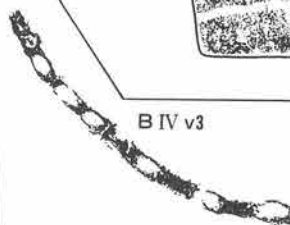
235

B III u23

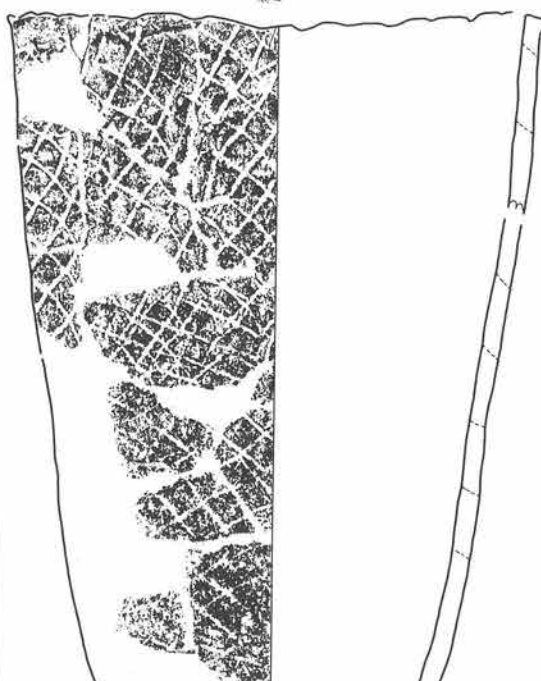


233

B IV v3



236

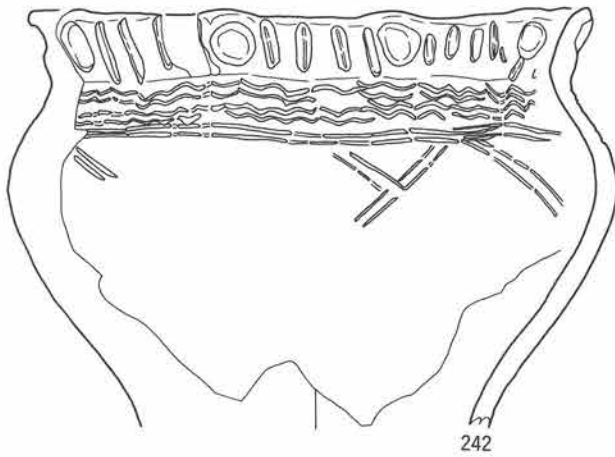
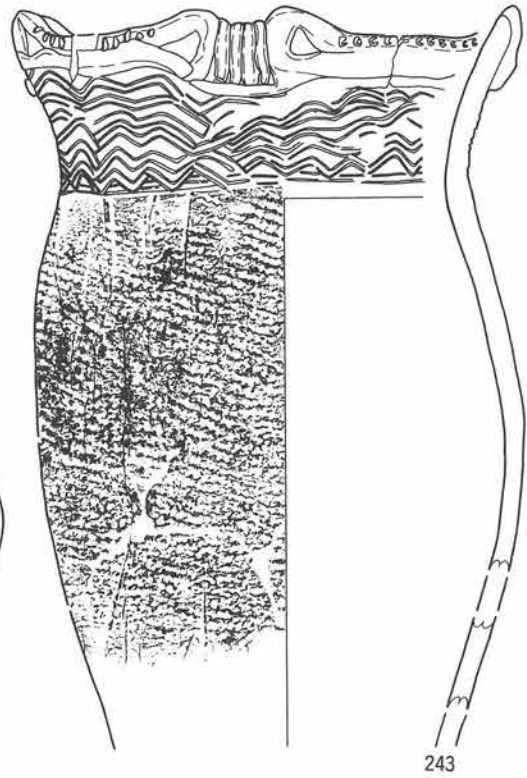
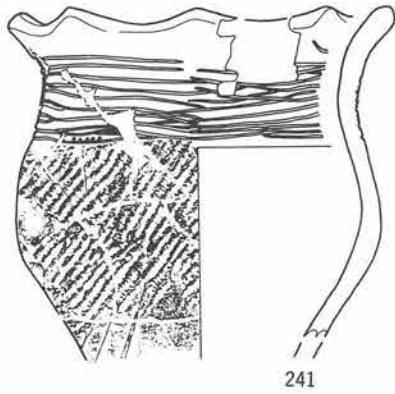
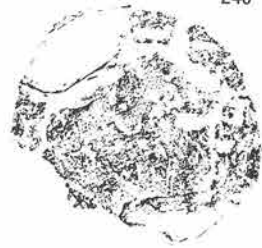
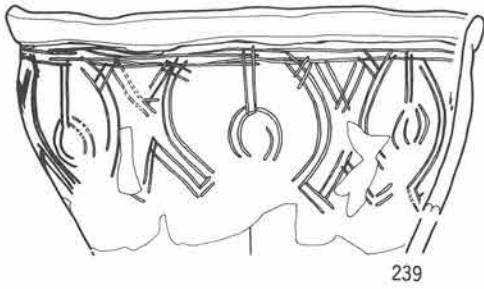
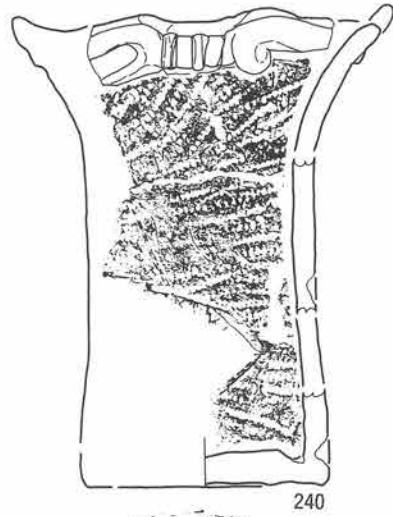
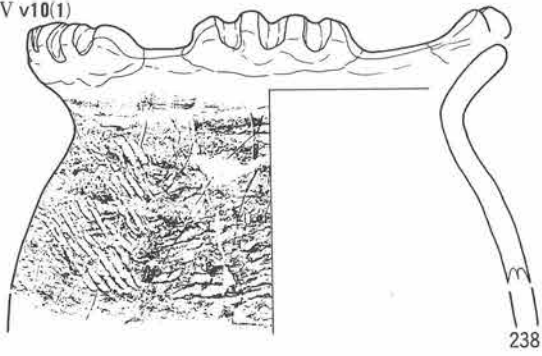


237

0 1:3 10cm

第149図 土器(25) : BIII t23、u23、BIV u2、v1、v3

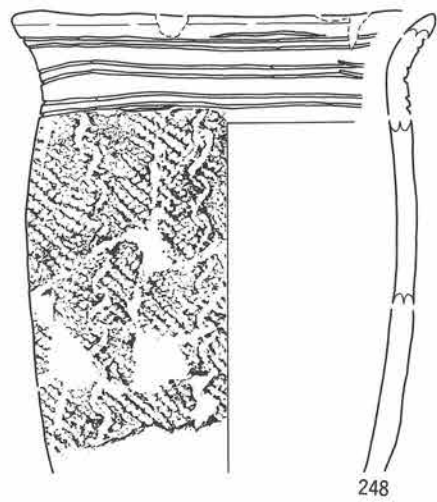
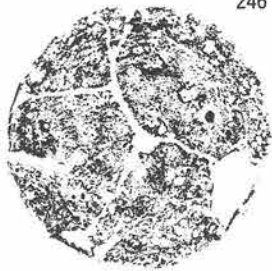
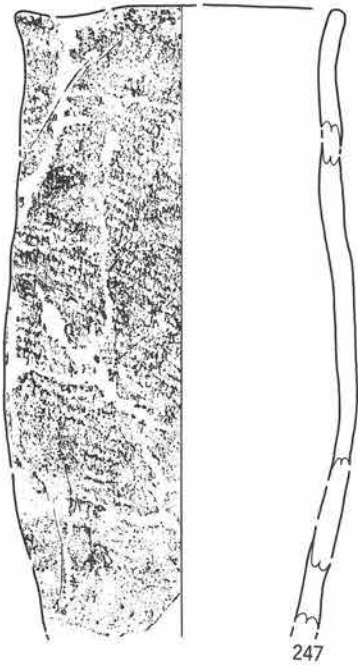
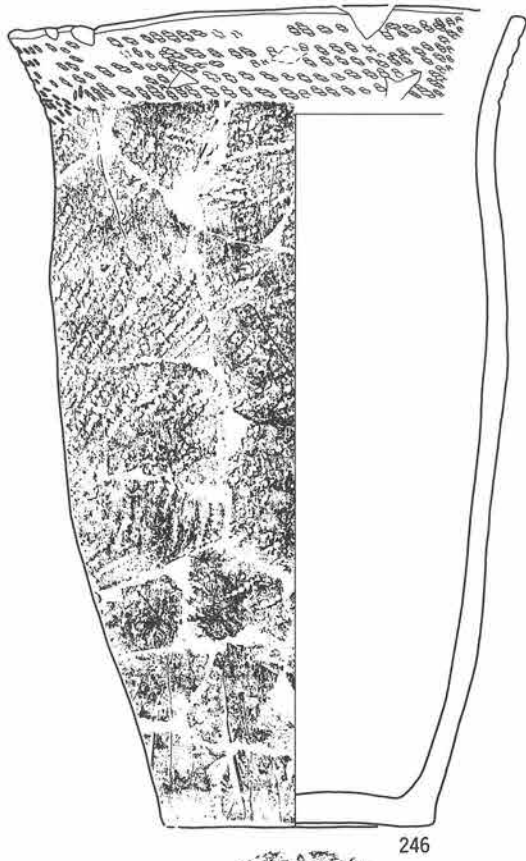
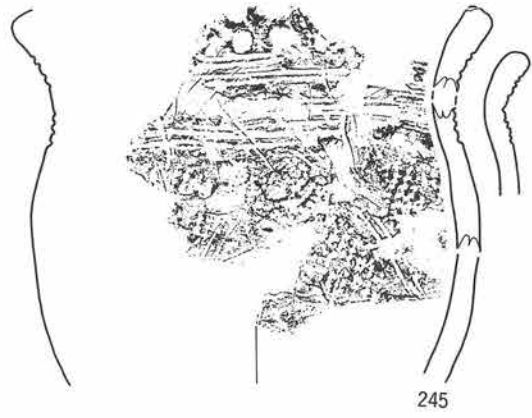
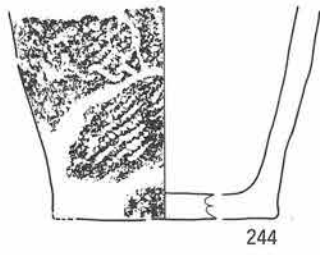
B IV v10(1)



0 1:3 10cm

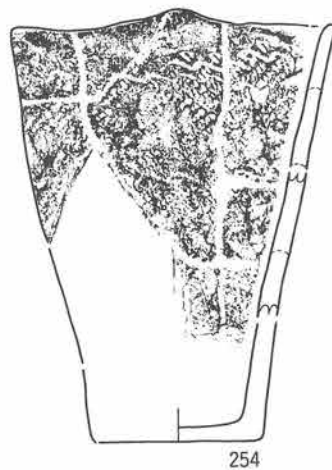
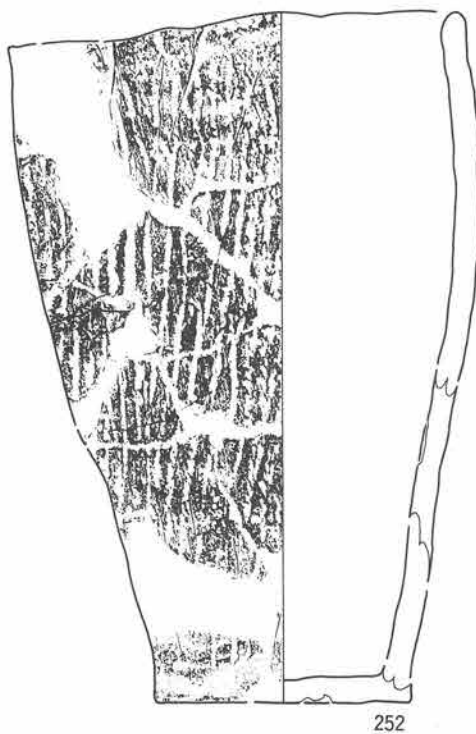
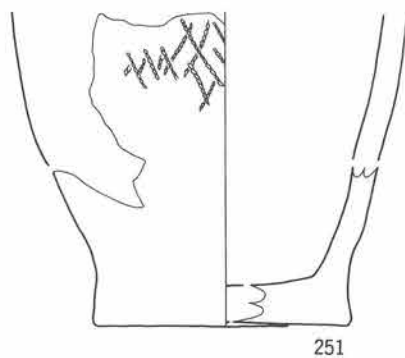
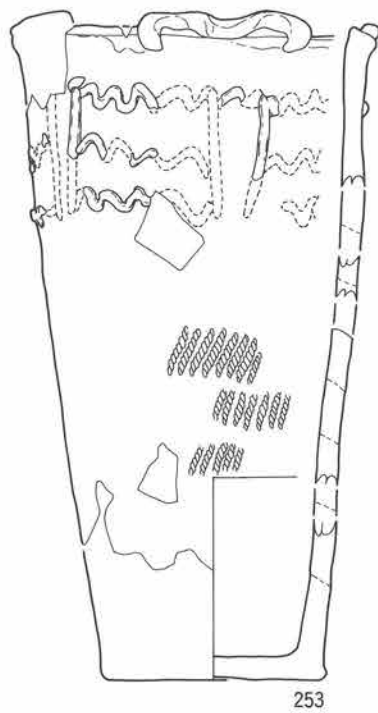
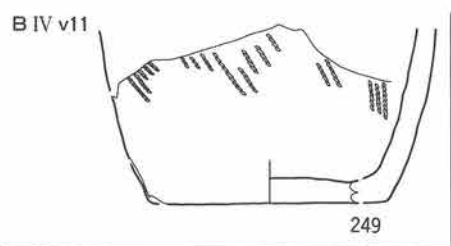
第150図 土器(26) : B IV v10(1)

B IV v10(2)



0 1 : 3 10cm

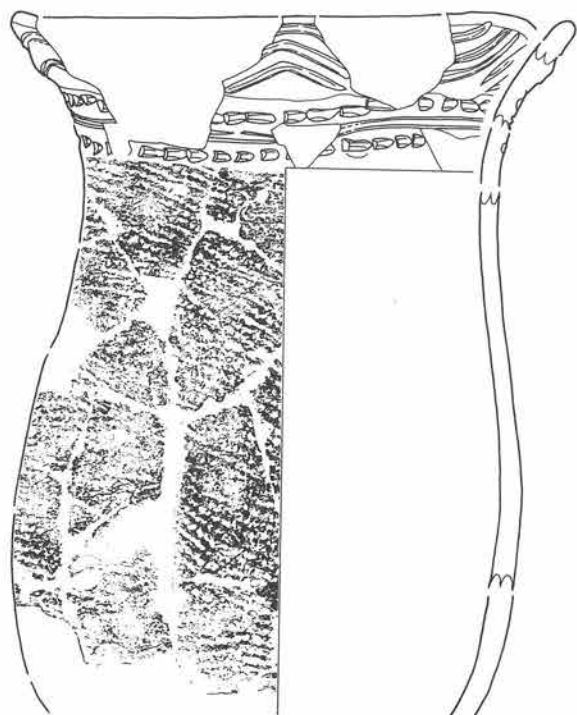
第151図 土器(27) : B IV v10(2)



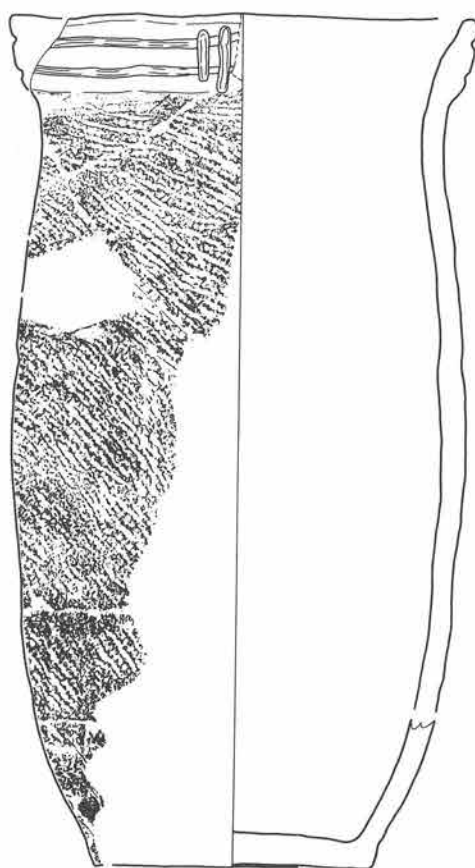
0 1 : 3 10cm

第152図 土器(28) : BIVv11・w1

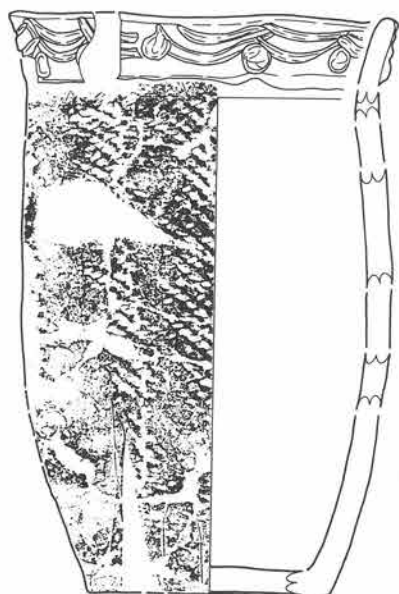
B IV w2(1)



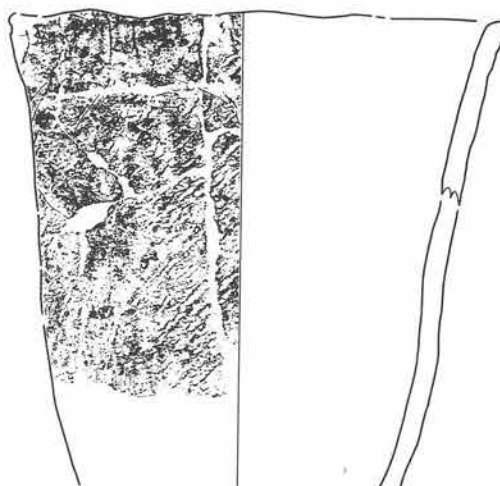
255



256



257

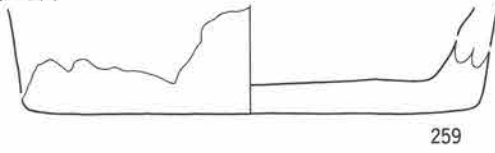


258

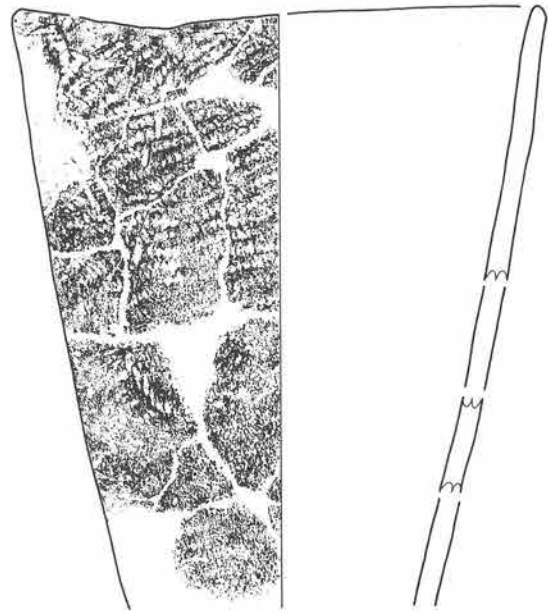
0 1:3 10cm

第153図 土器(29) : B IV w2(1)

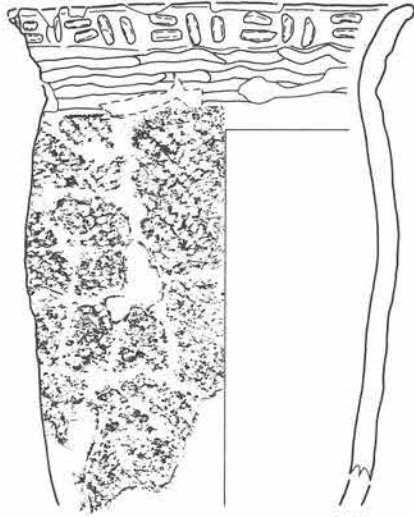
B IV w2(2)



259

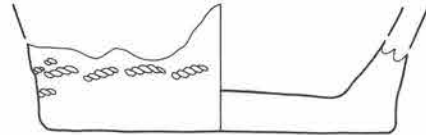


261

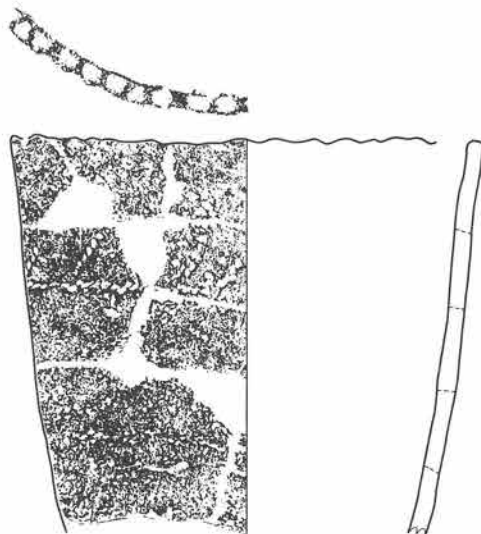


260

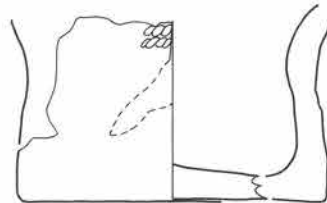
B IV w3(1)



263



262



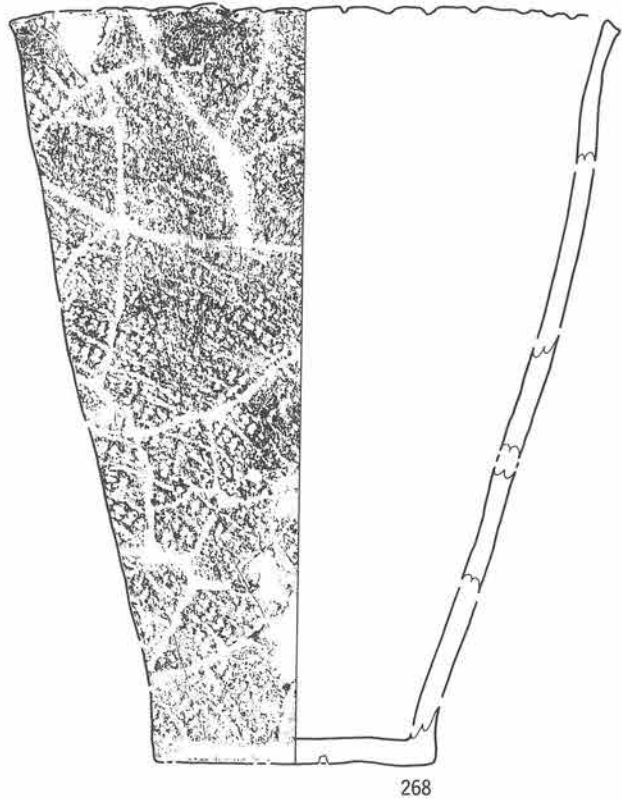
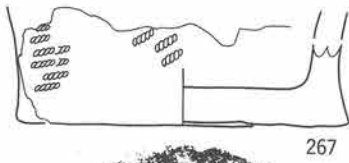
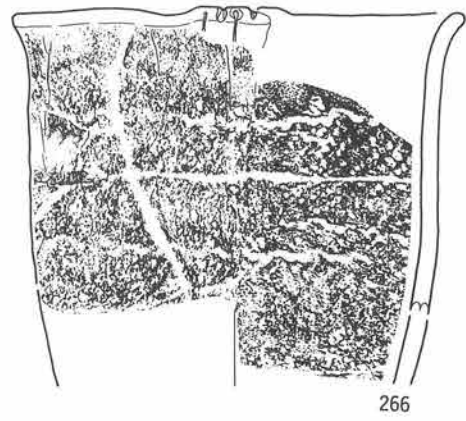
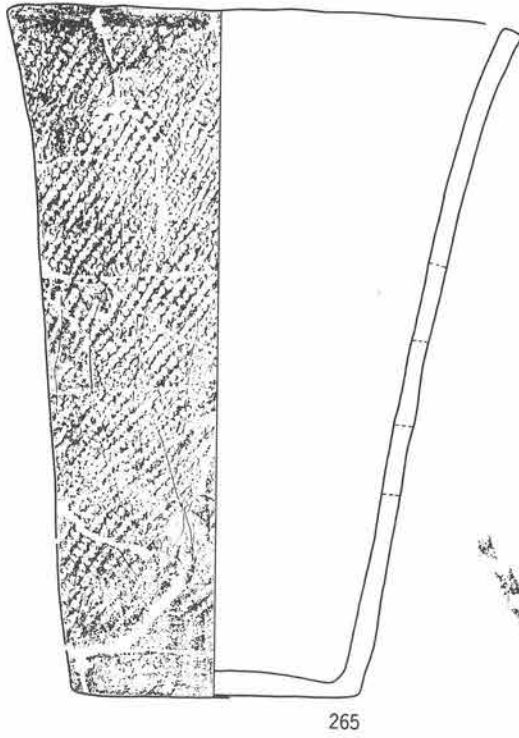
264



0 1 : 3 10cm

第154図 土器(30) : B IV w2(2)・w3(1)

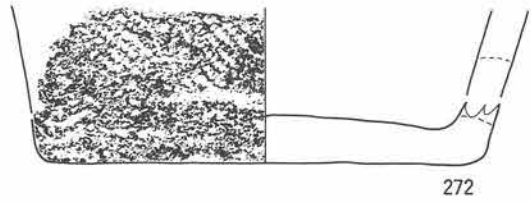
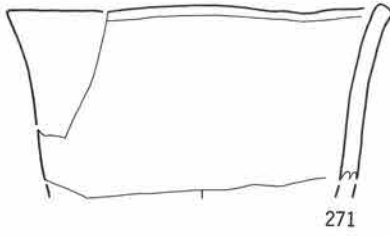
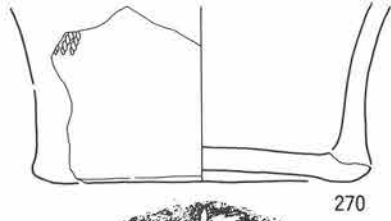
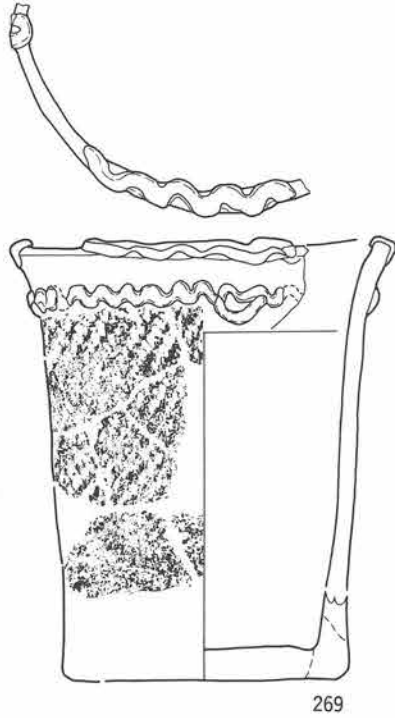
B IV w3(2)



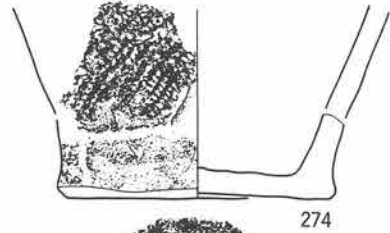
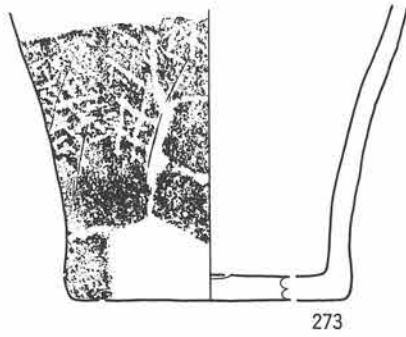
0 1:3 10cm

第155図 土器(31) : B IV w3(2)

B IV w3(3)



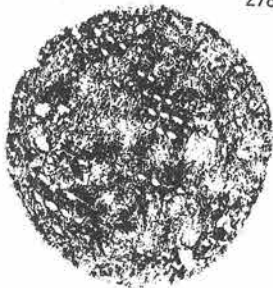
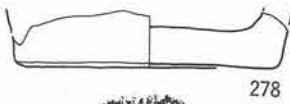
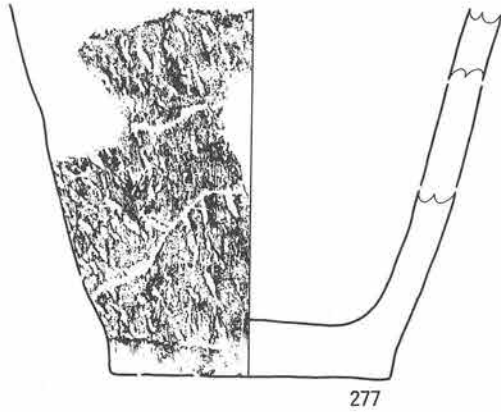
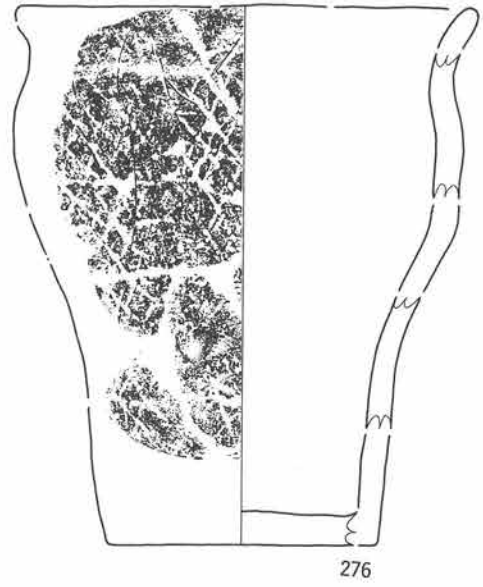
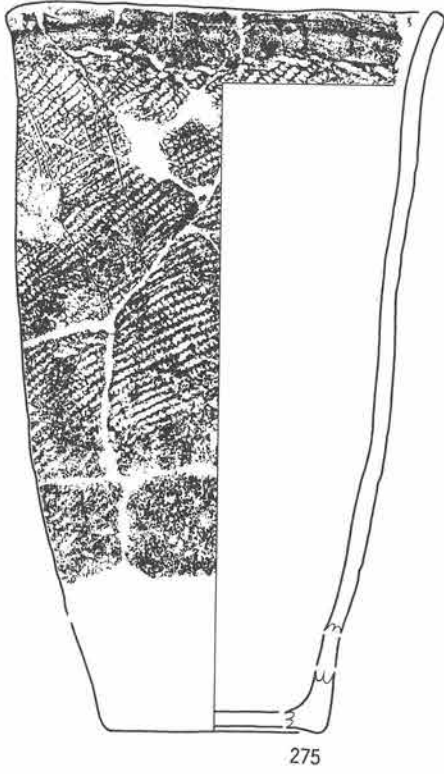
B IV w4(1)



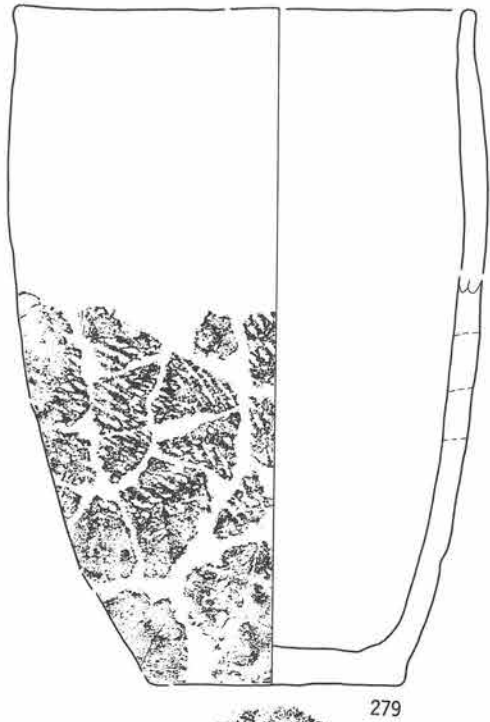
0 1:3 10cm

第156図 土器(32) : B IV w3(3)・w4(1)

B IV w4(2)

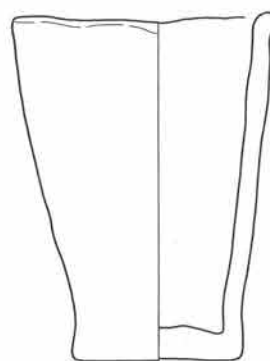


B IV w5(1)



0 1:3 10cm

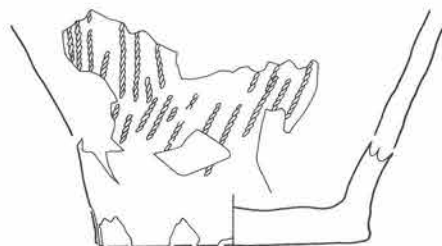
第157図 土器(33) : B IV w4(2)・w5(1)



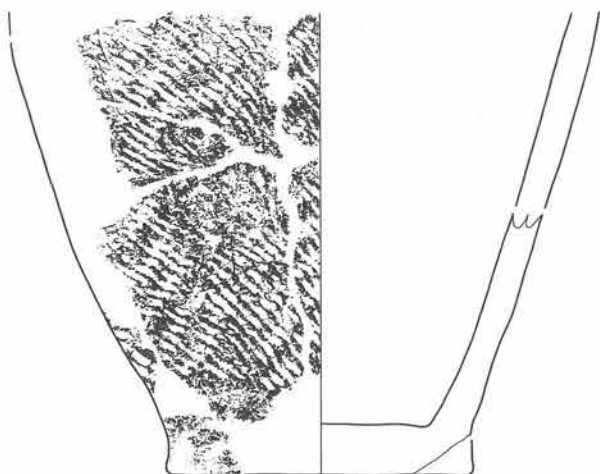
282



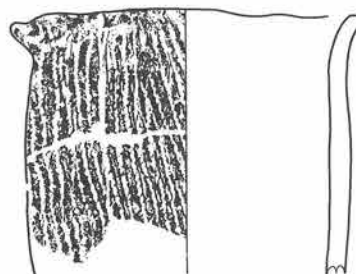
280



283



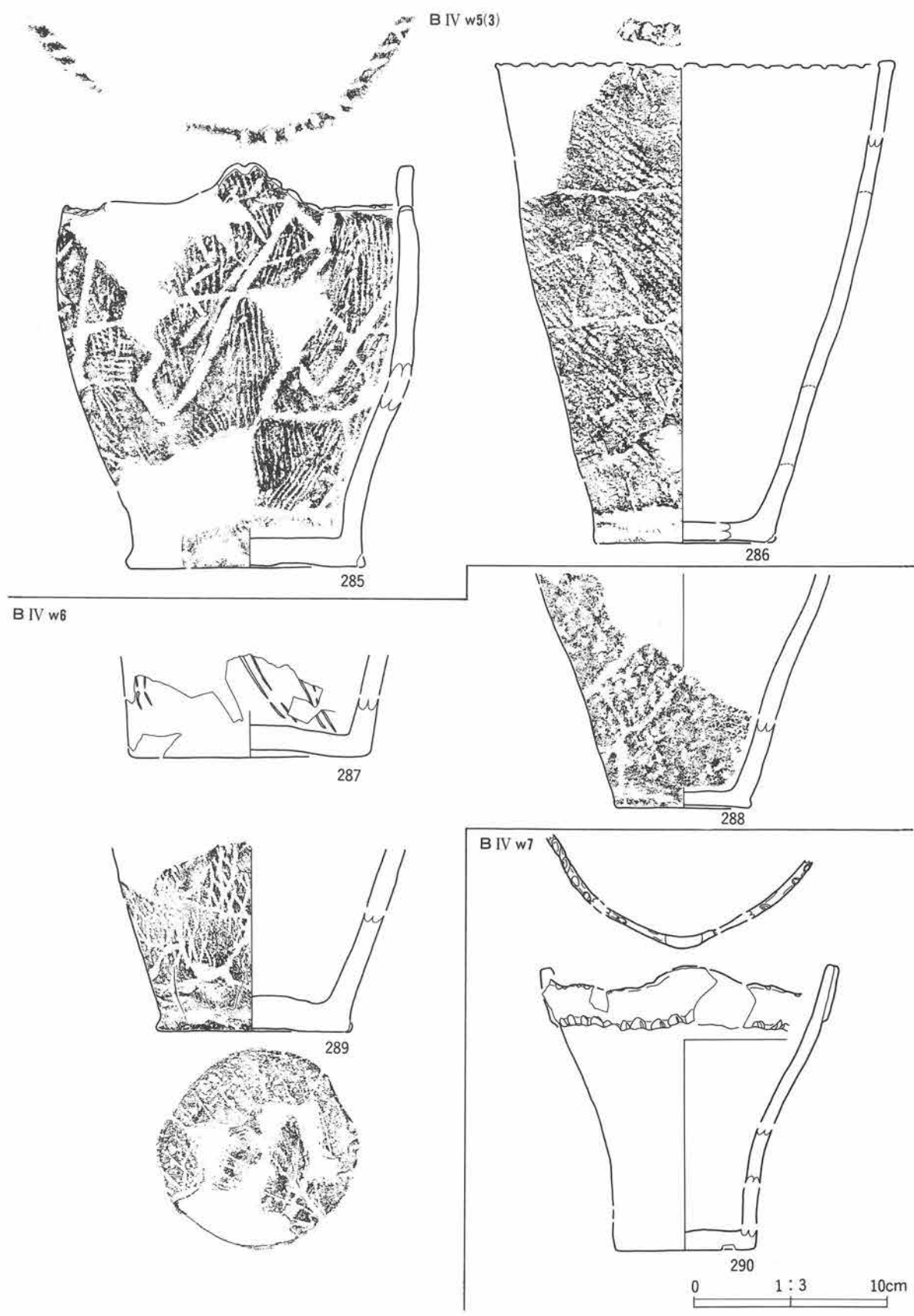
281



284

0 1 : 3 10cm

第158図 土器(34) : B IV w5(2)



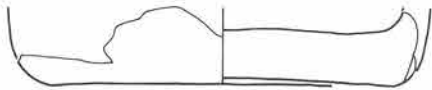
第159図 土器(35) : B IV w5(3) • w6 • w7

B IV w8



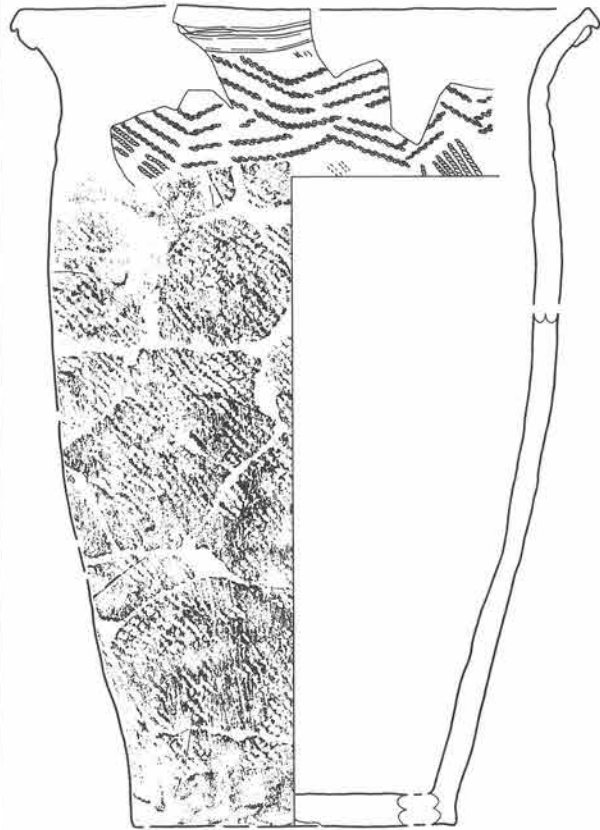
291

B IV w11

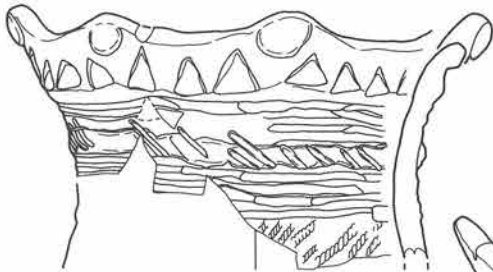


293

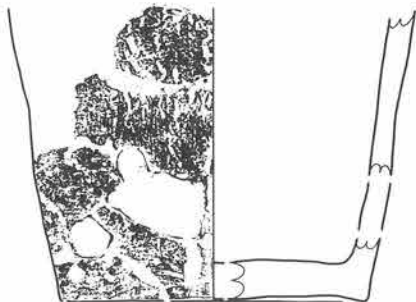
B IV w10



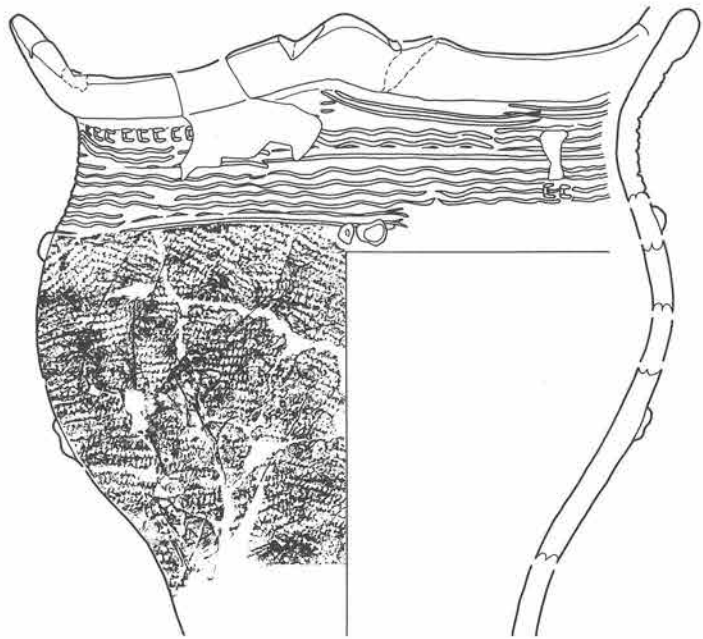
292



294



295



296

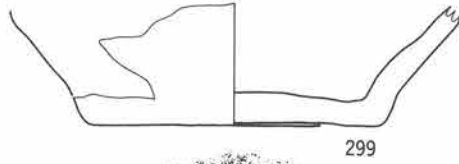
0 1:3 10cm

第160図 土器(36) : B IV w8 • w10 • w11

B IV x4



297



299



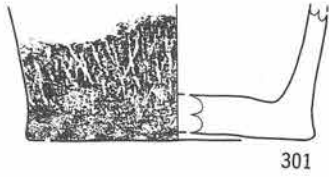
300



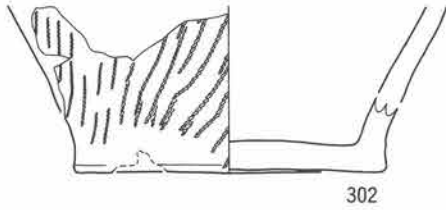
298



B IV x5



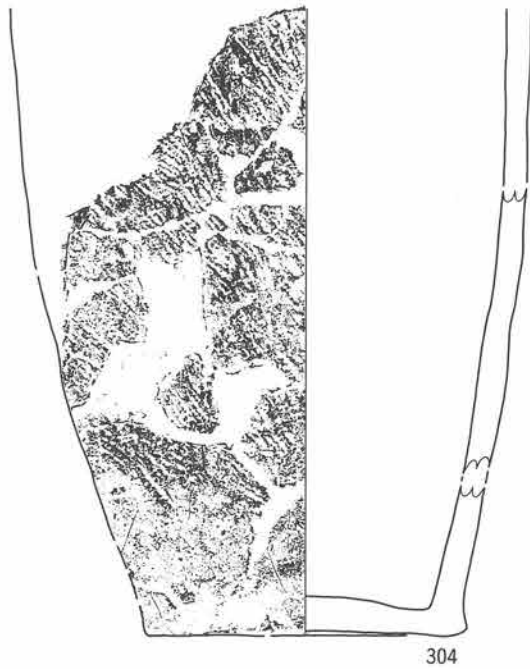
301



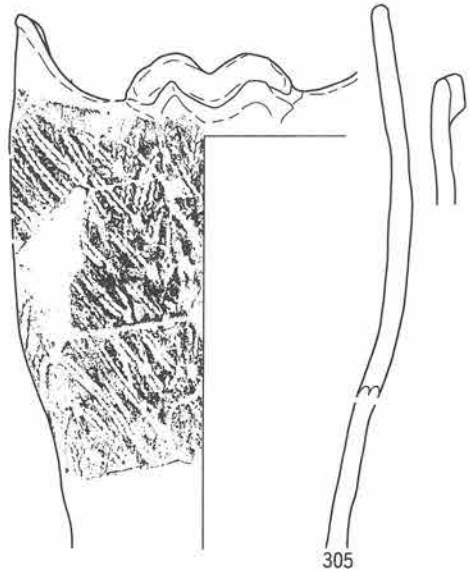
302



303



304

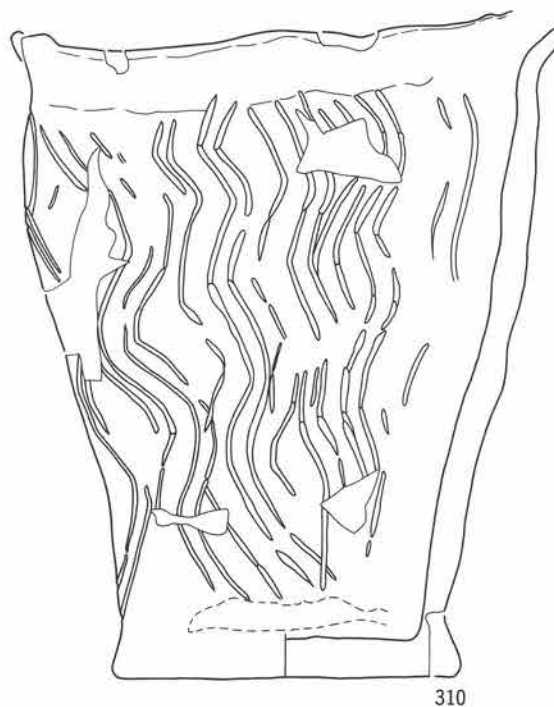
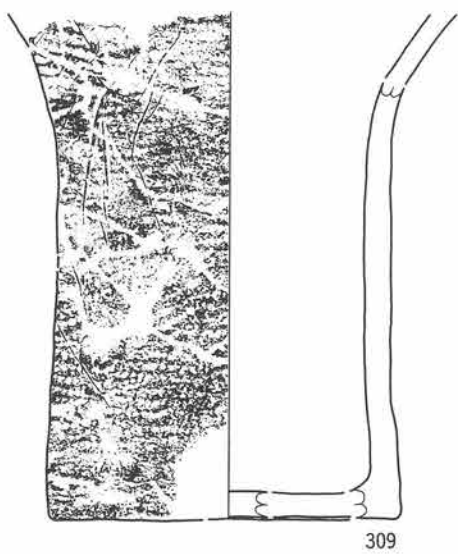
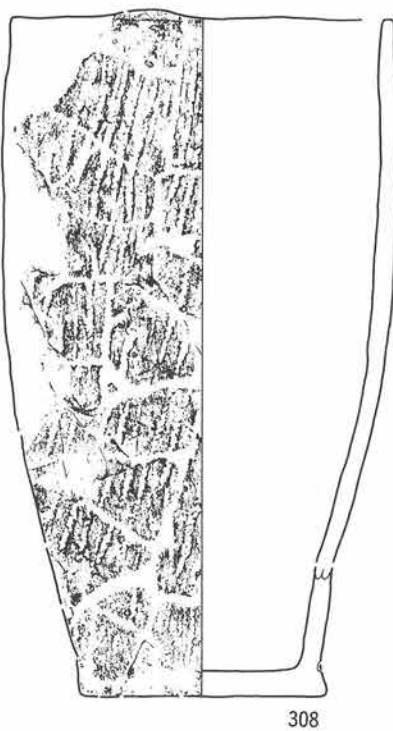
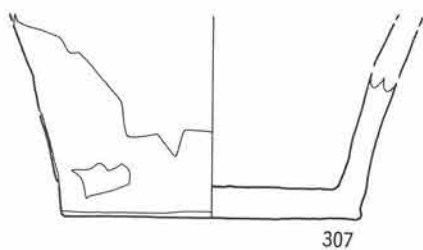
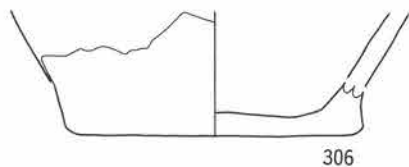


305

0 1 : 3 10cm

第161图 土器(37) : B IV x4 · x5

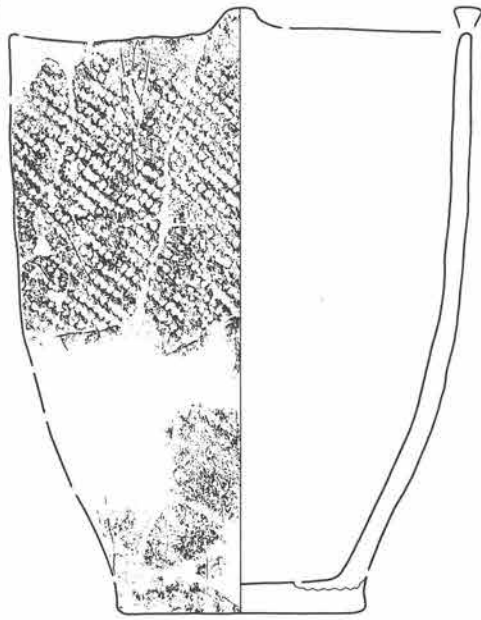
B IV x6(1)



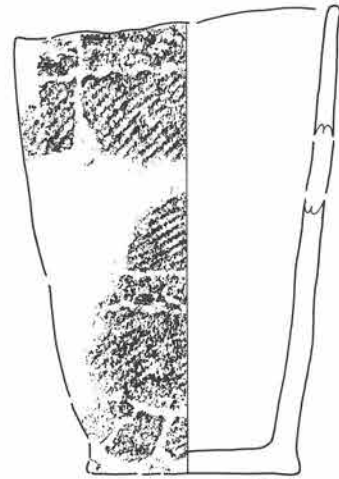
0 1 : 3 10cm

第162図 土器(30) : B IV x6(1)

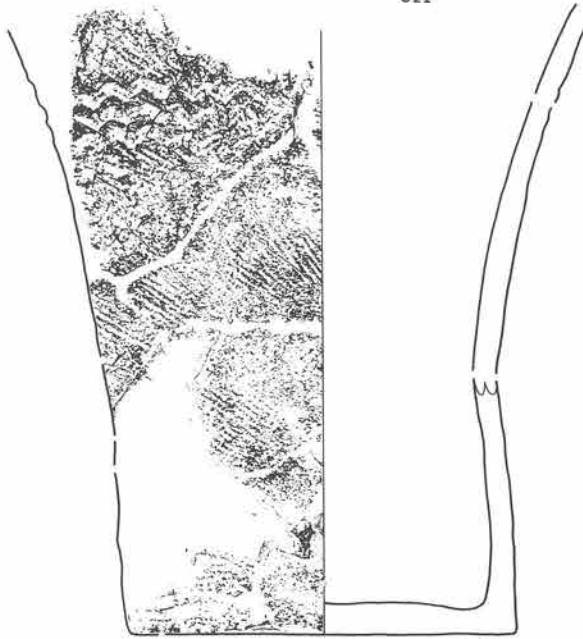
B IV x6(2)



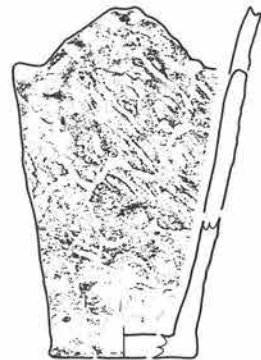
311



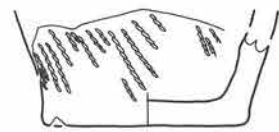
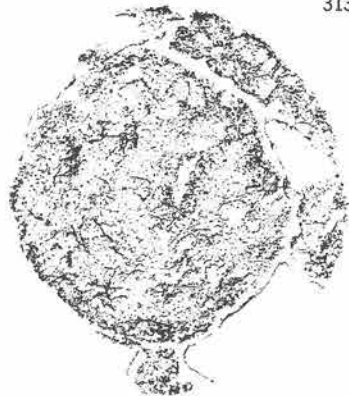
312



313



314

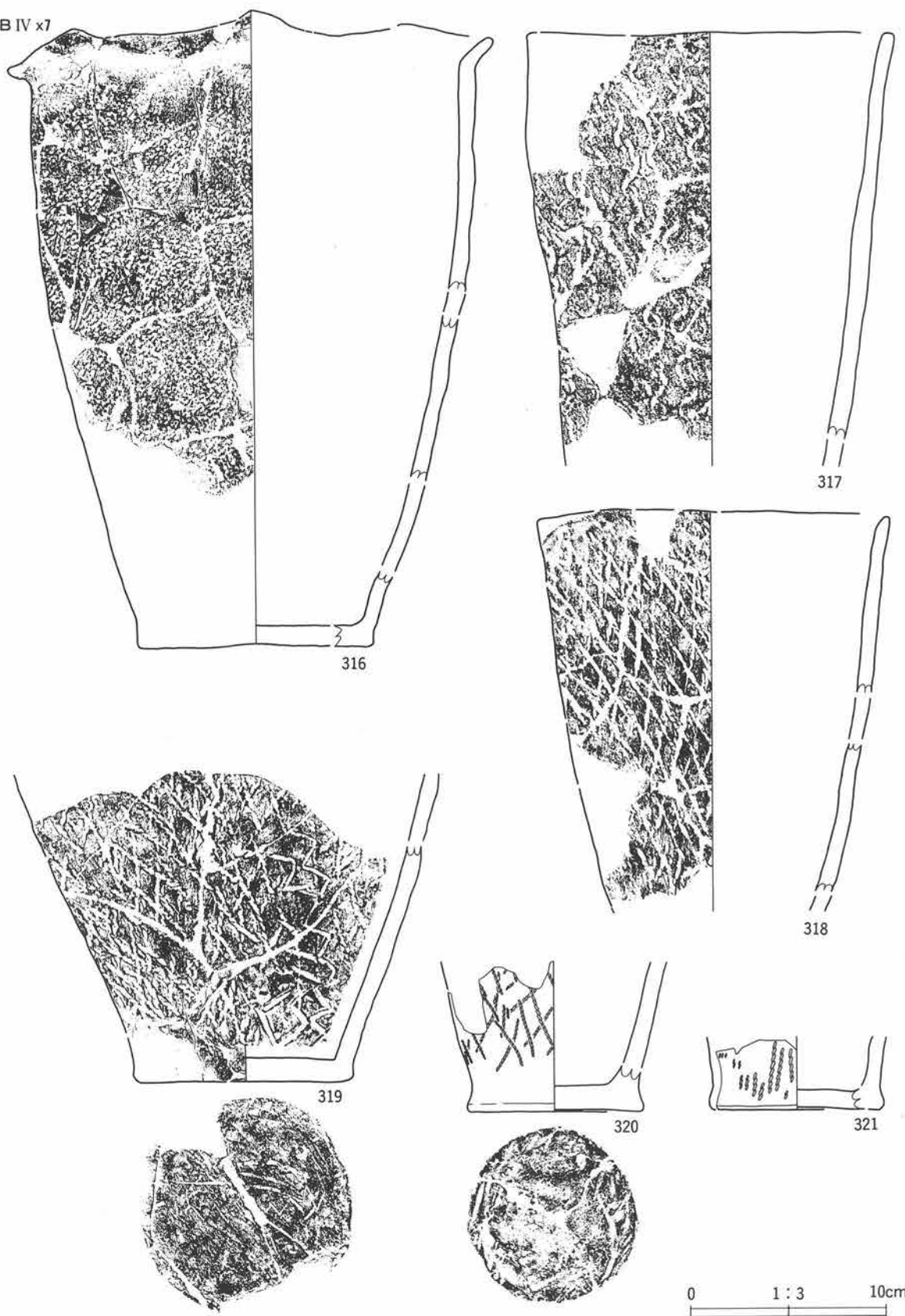


315

0 1 : 3 10cm

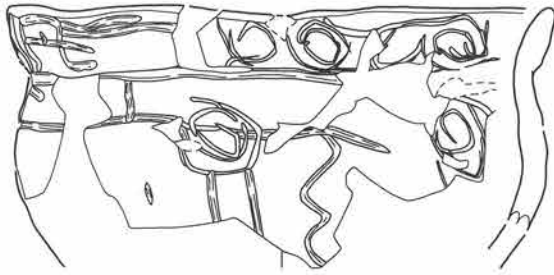
第163図 土器(39) : B IV x6(2)

B IV x7

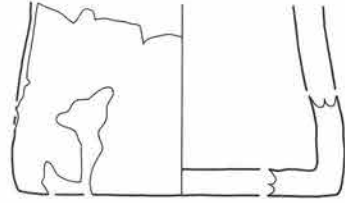


第164図 土器(40) : B IV x 7

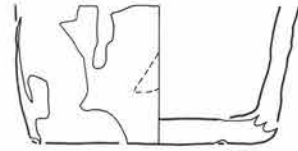
B IV x8



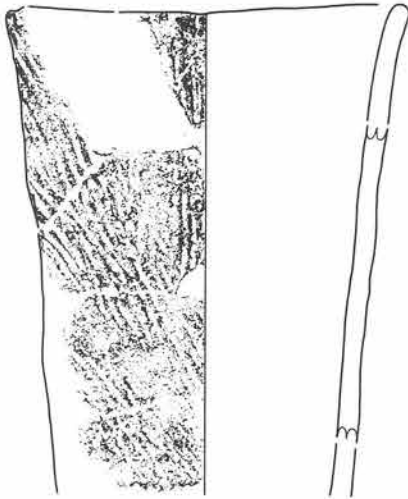
322



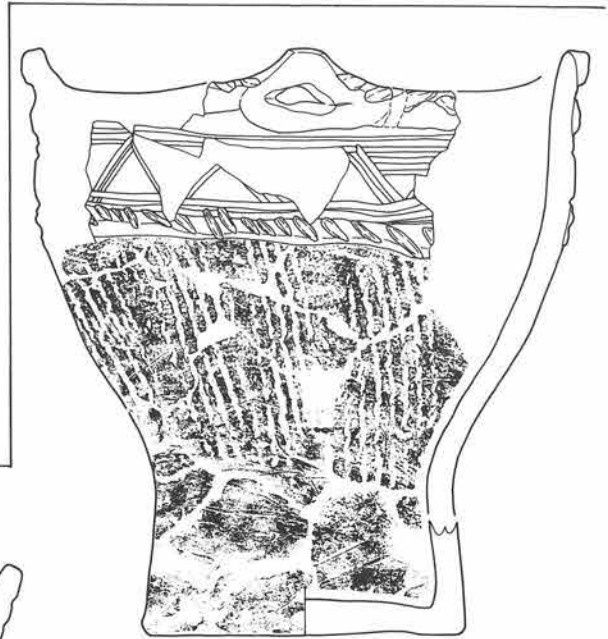
324



325

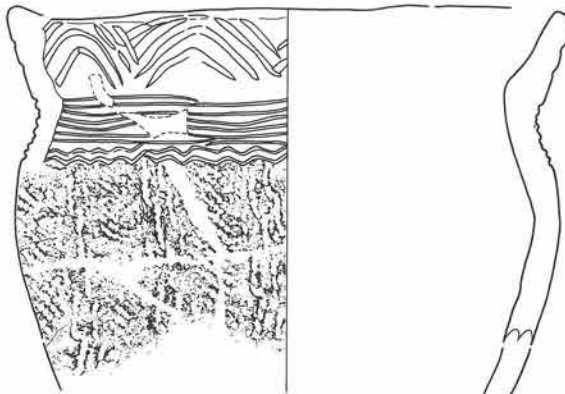


323

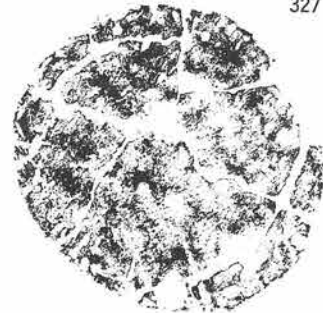


327

B IV x11(1)

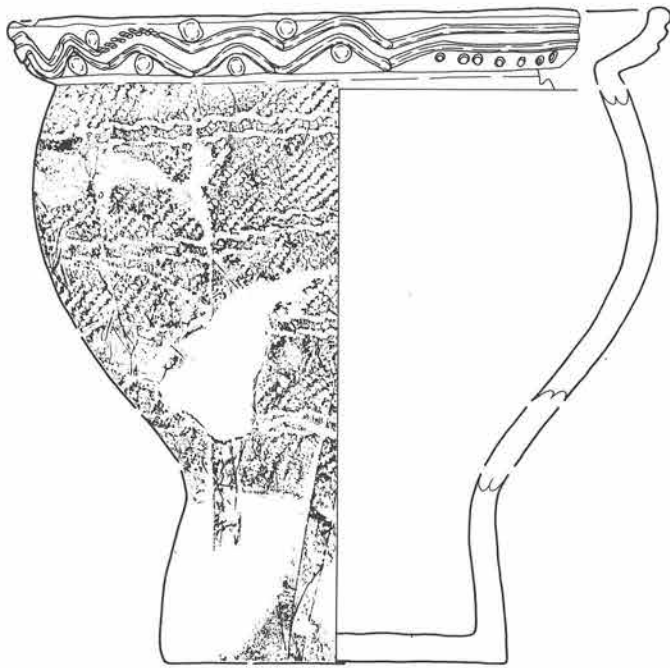


326

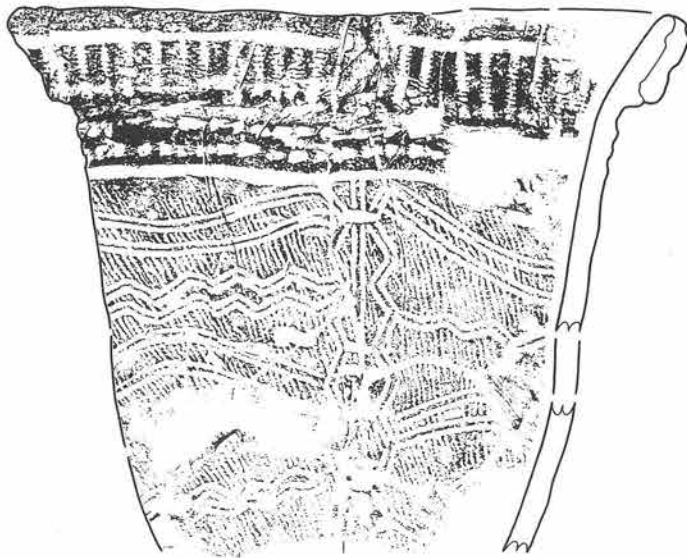


0 1 : 3 10cm

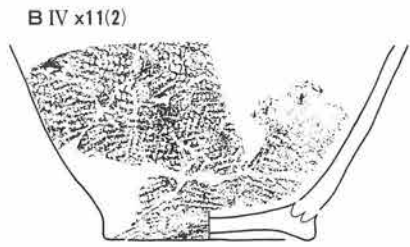
第165図 土器(4) : B IV x8 • x11(1)



328

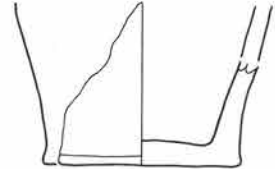


329

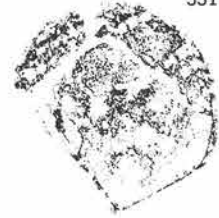


330

B IV x12



331



B IV y8



332



B IV y11

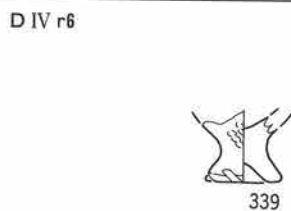
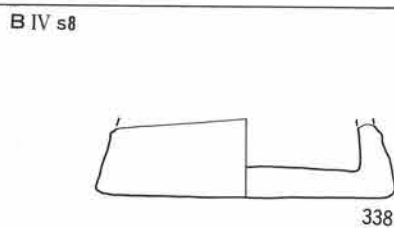
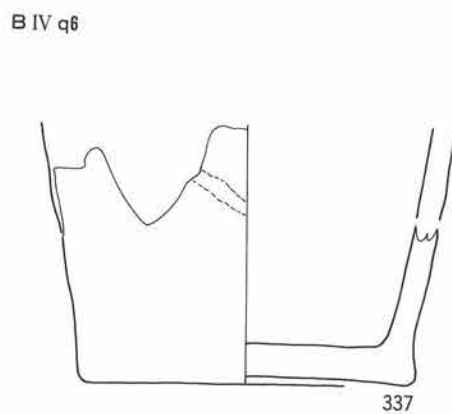
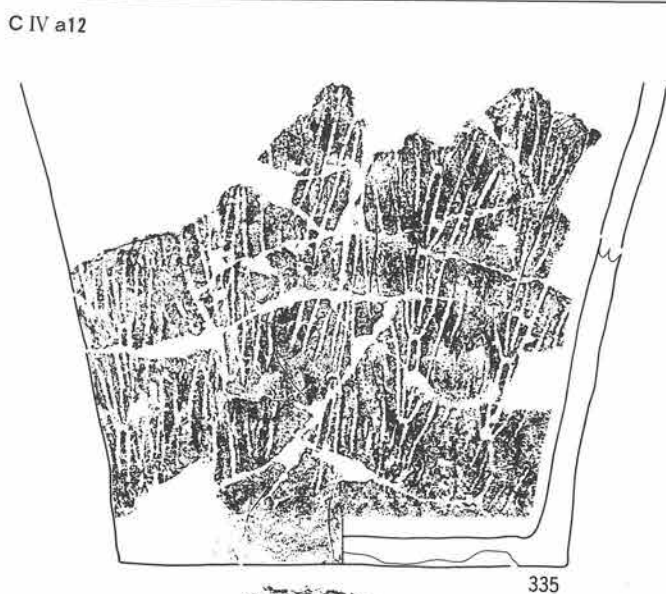
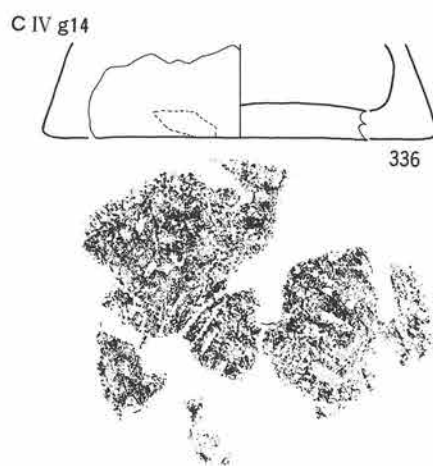
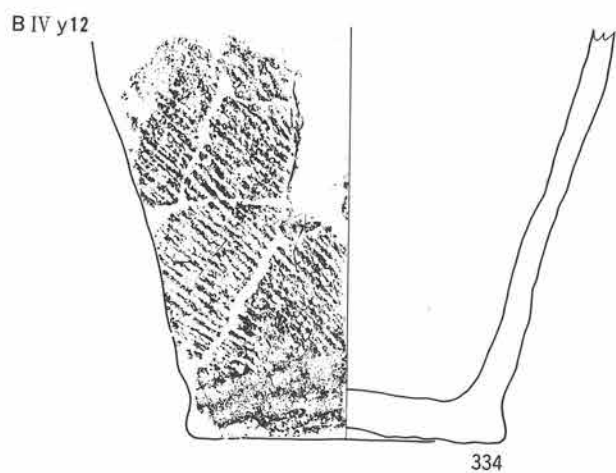


333



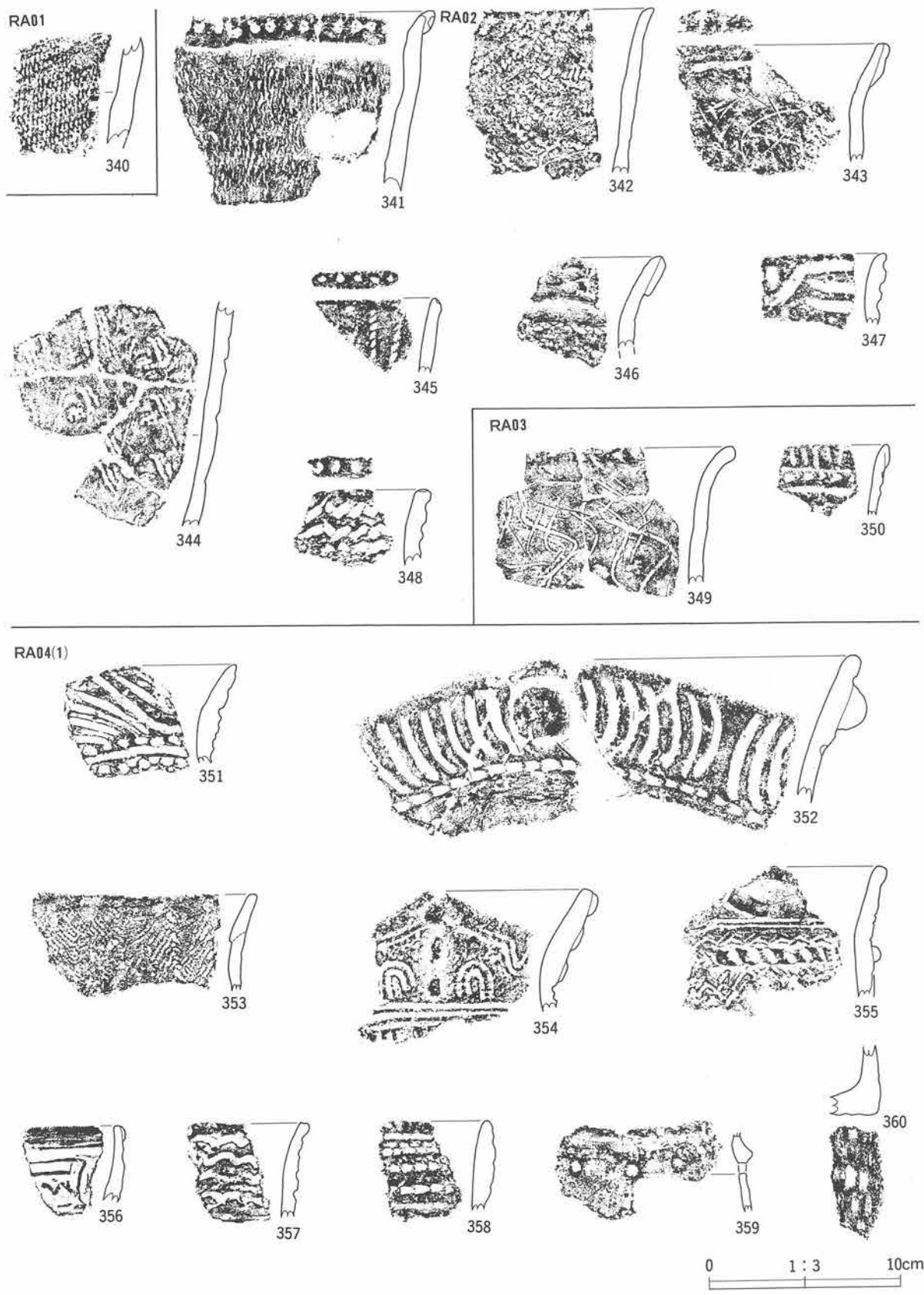
0 1 : 3 10cm

第166图 土器(42) : B IV x11(2) • x12、y8 • y11

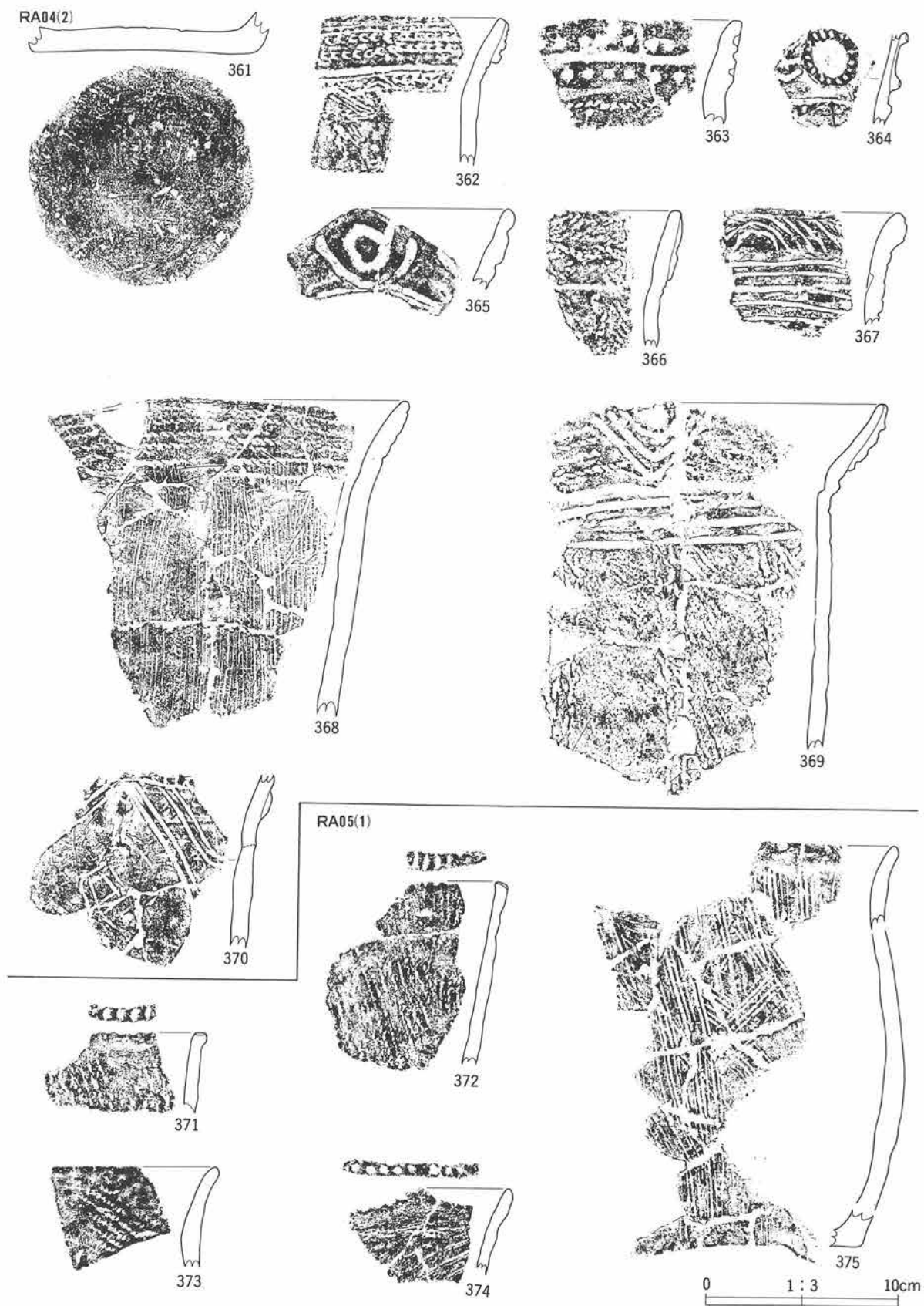


0 1 : 3 10cm

第167図 土器(43) : B IV y12、C IV a12、g14、B IV q6、s8、D IV r6

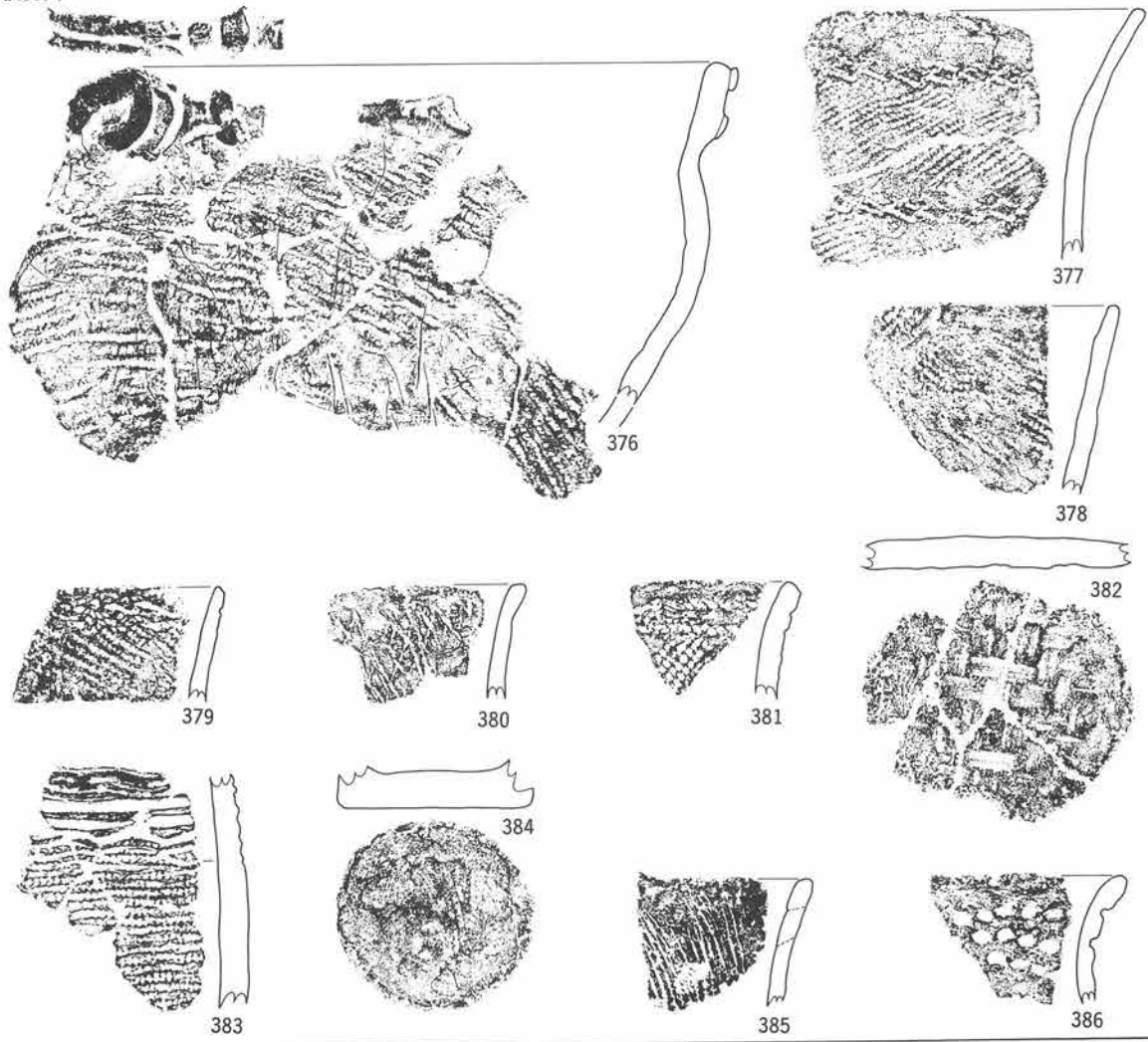


第168図 土器(44) : RA01・02・03・04(1)

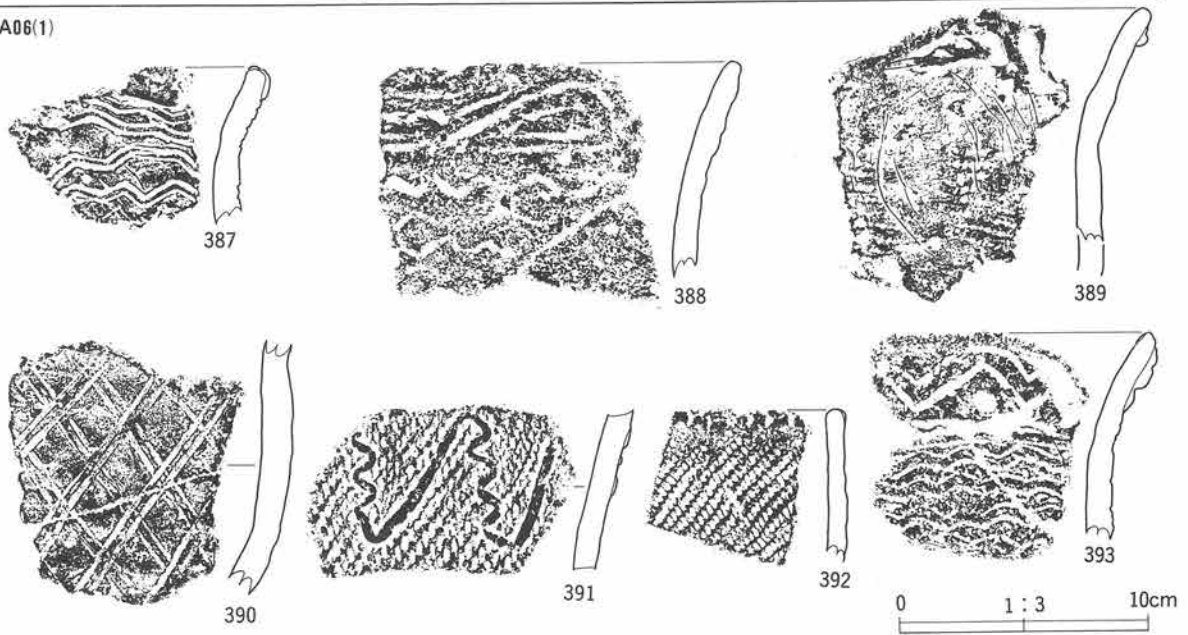


第169図 土器(45)：RA04(2)・05(1)

RA05(2)

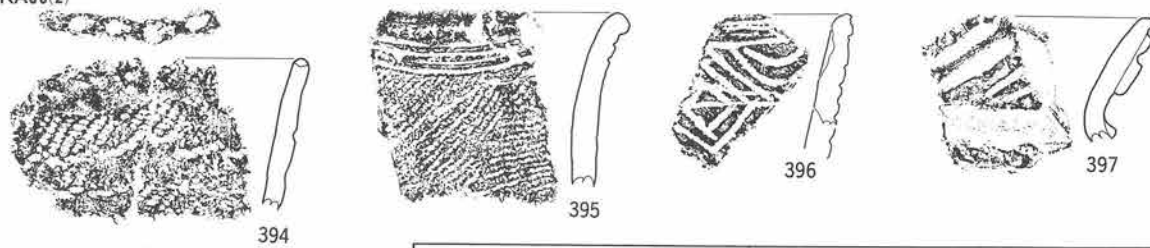


RA06(1)

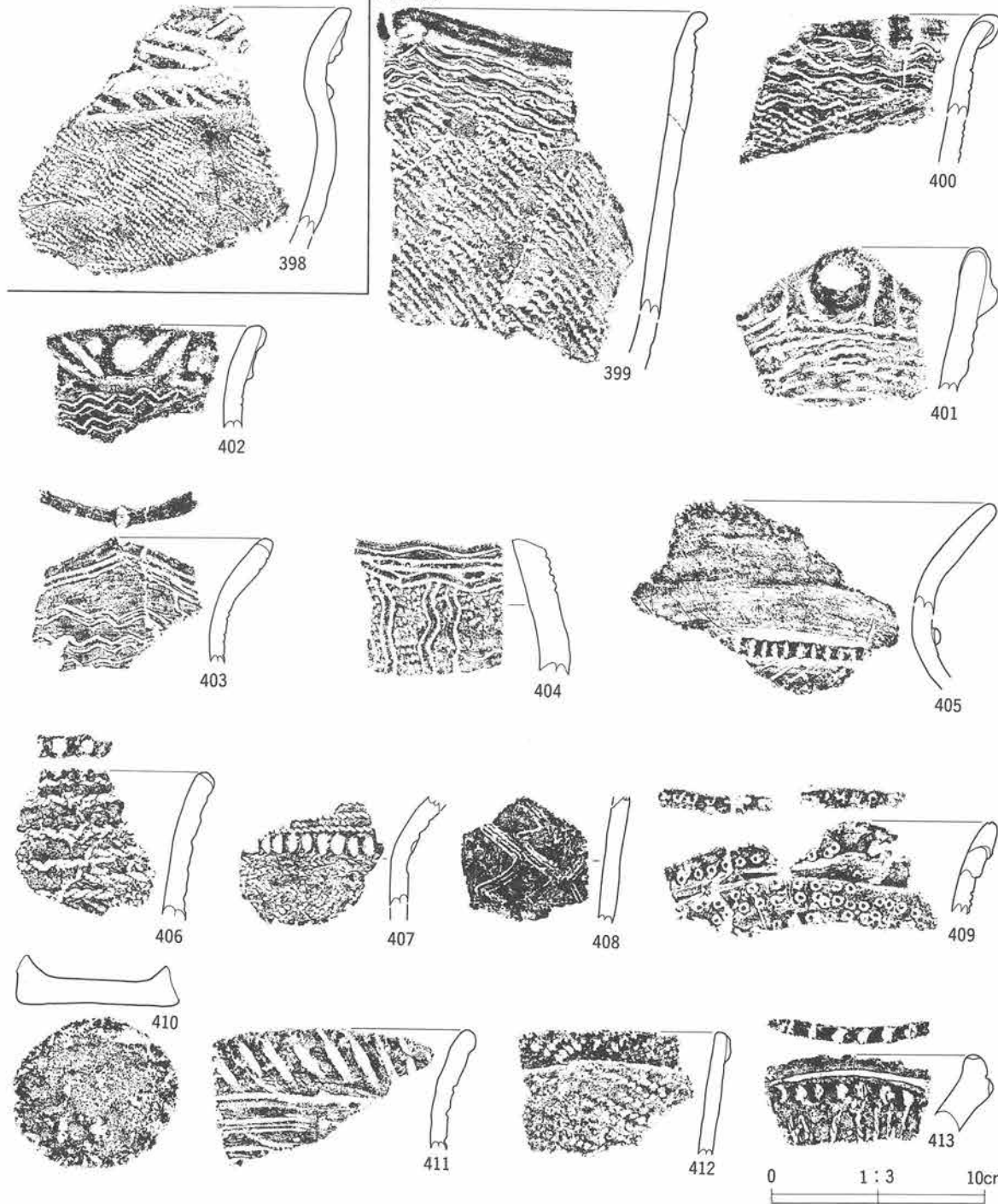


第170図 土器(46) : RA05(2)・06(1)

RA06(2)

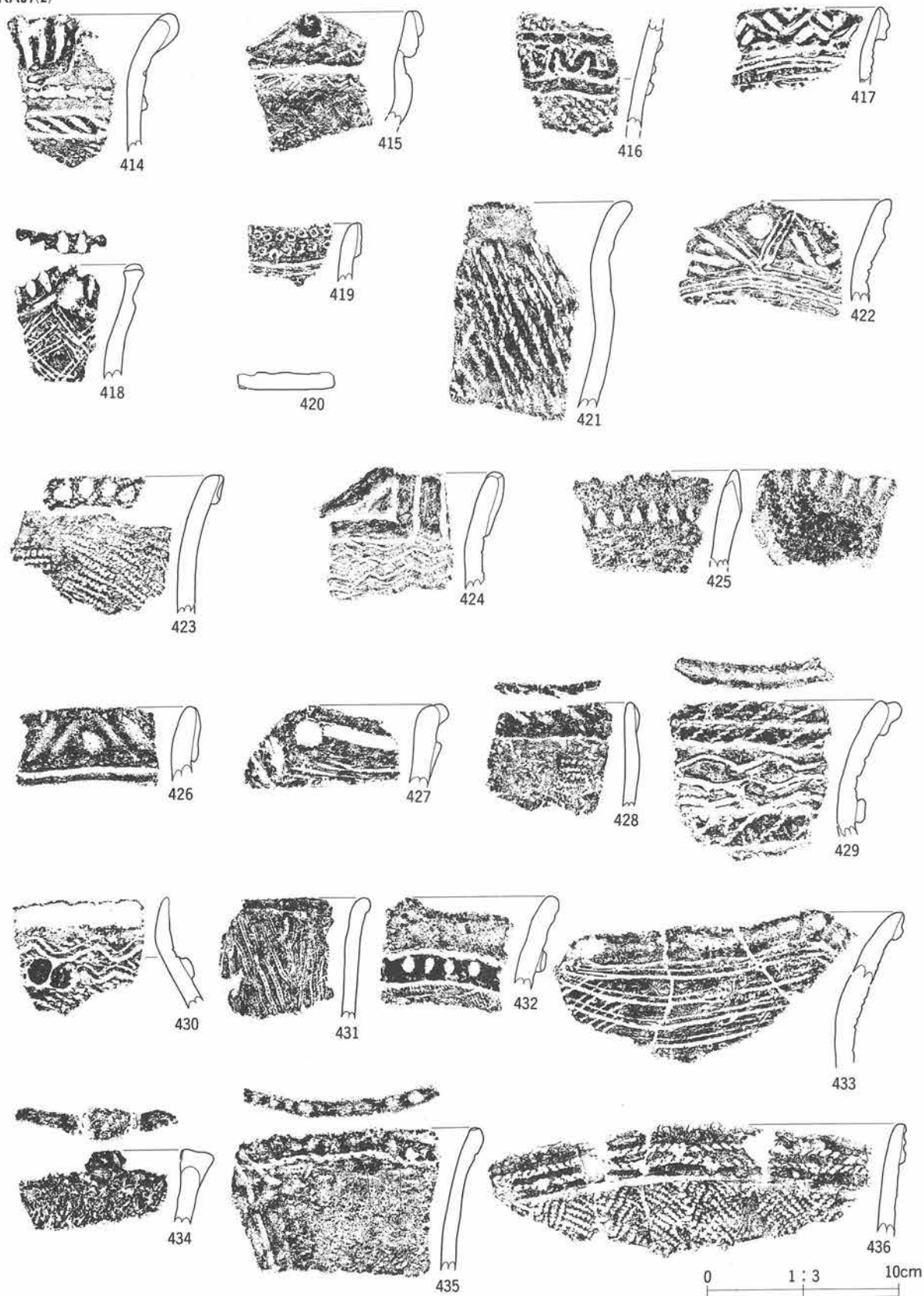


RA07(1)



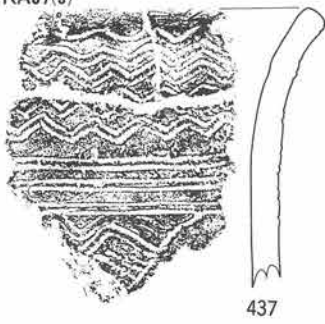
第171图 土器(47) : RA06(2)・07(1)

RA07(2)



第172図 土器(48) : RA07(2)

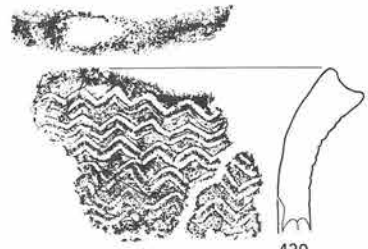
RA07(3)



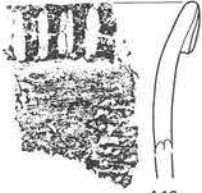
437



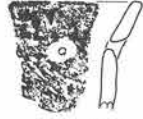
438



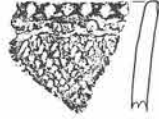
439



440



441



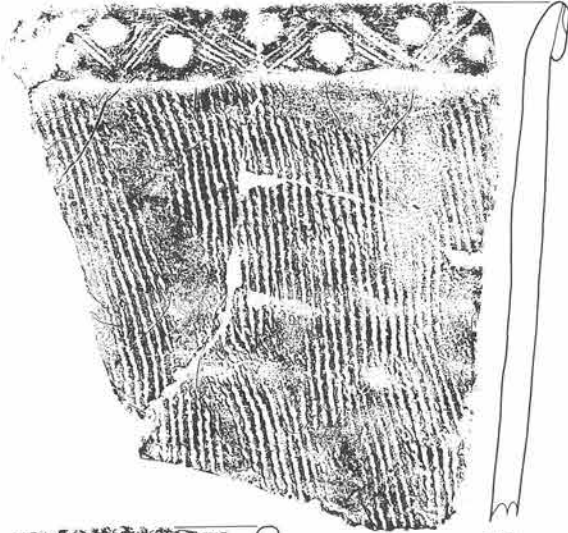
442



443



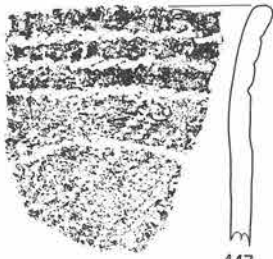
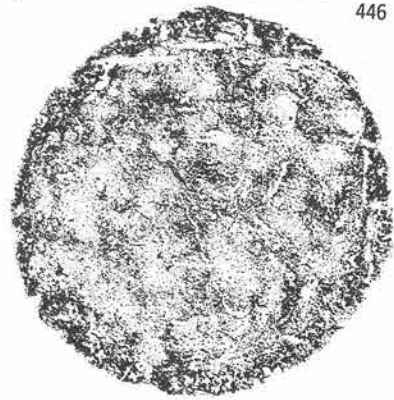
444



445



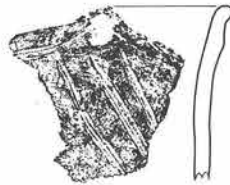
446



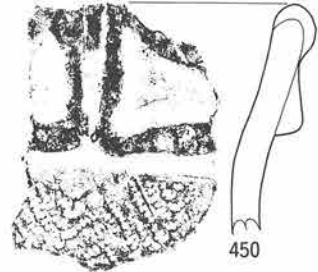
447



448

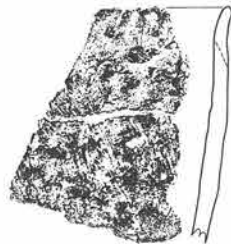


449

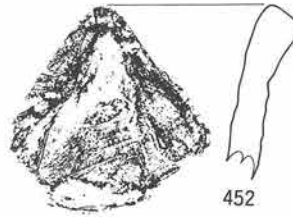


450

RA08(1)



451

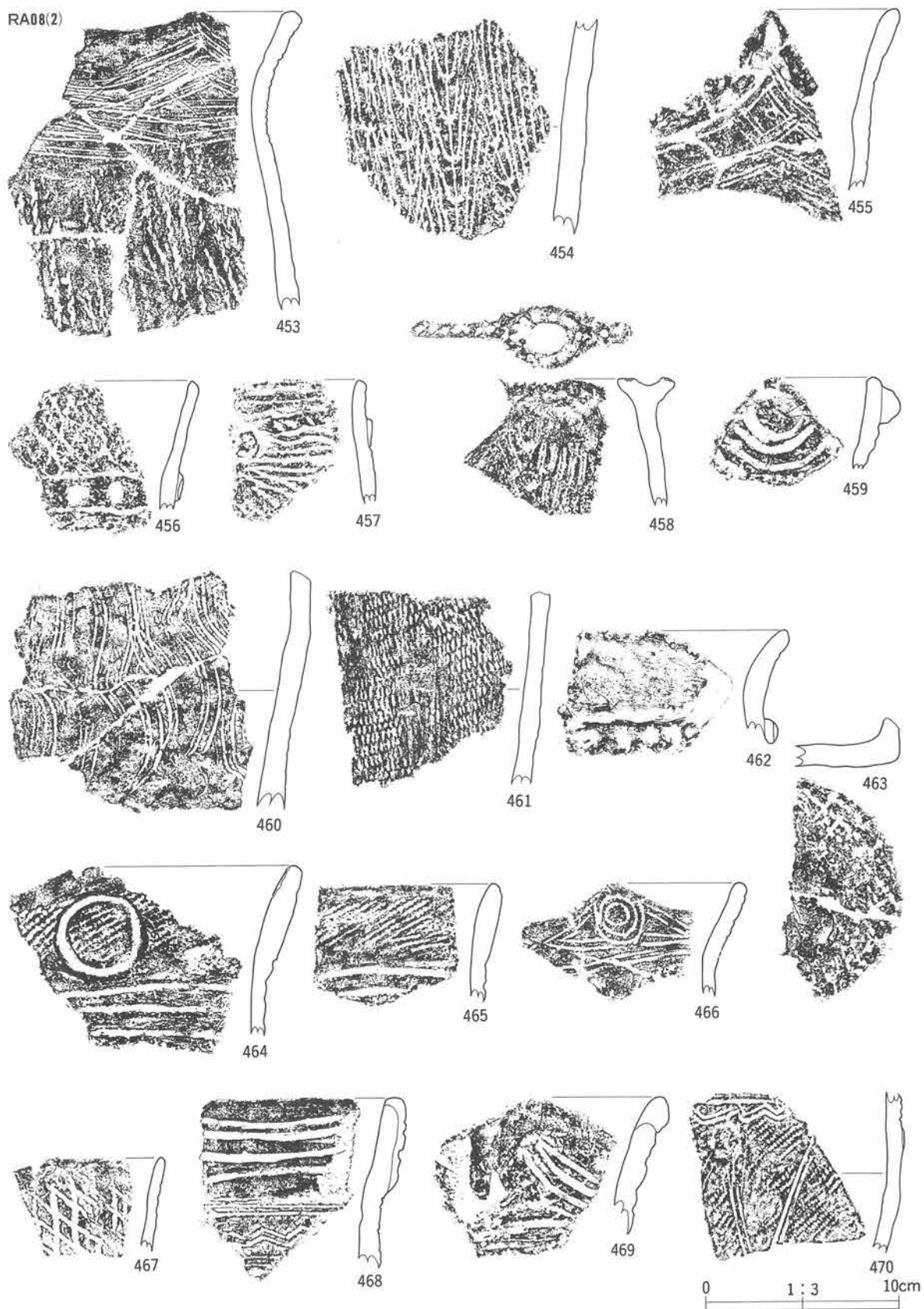


452

0 1 : 3 10cm

第173図 土器(49) : RA07(3)・08(1)

RA08(2)

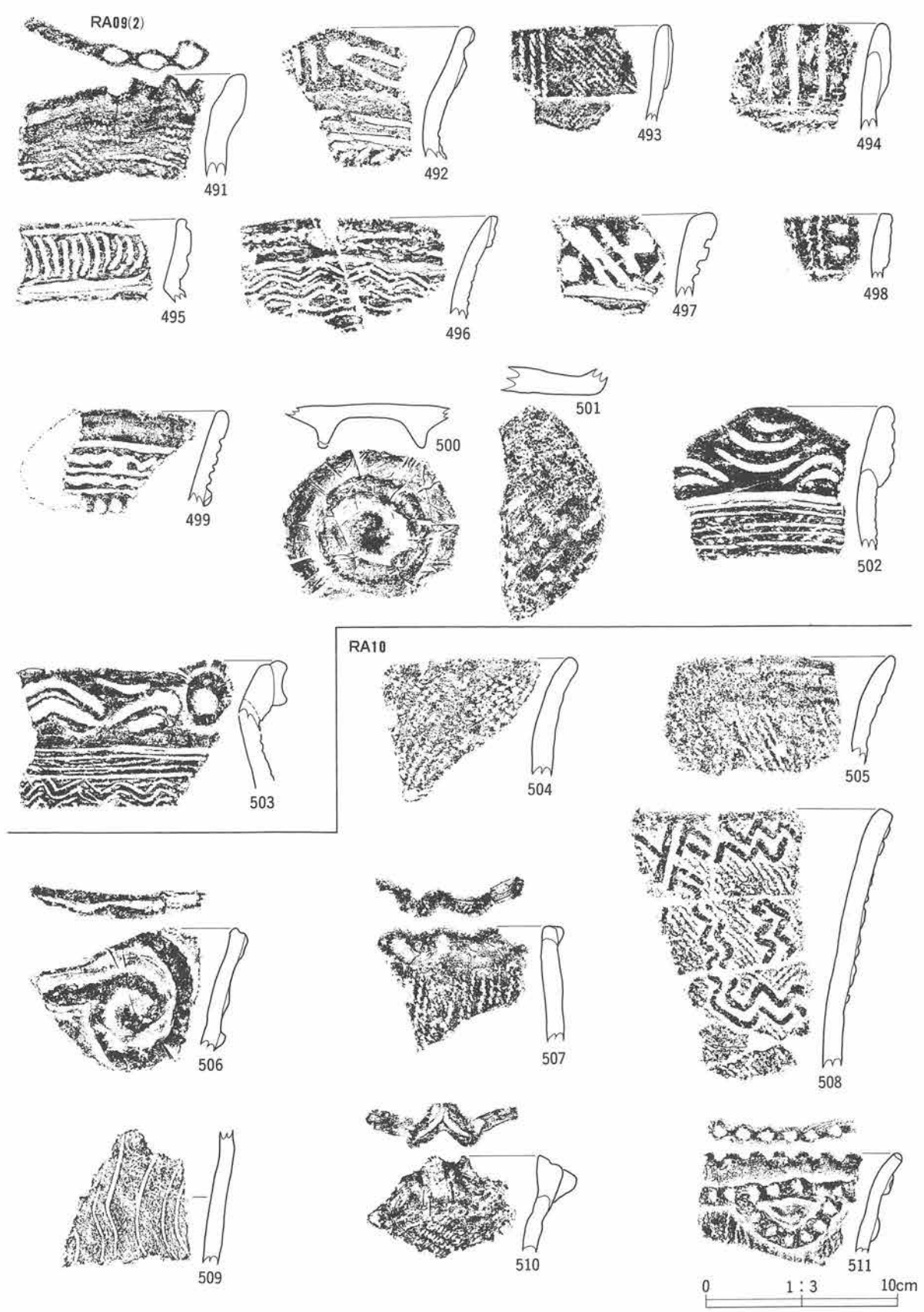


第174图 土器(50) : RA08(2)

RA09(1)

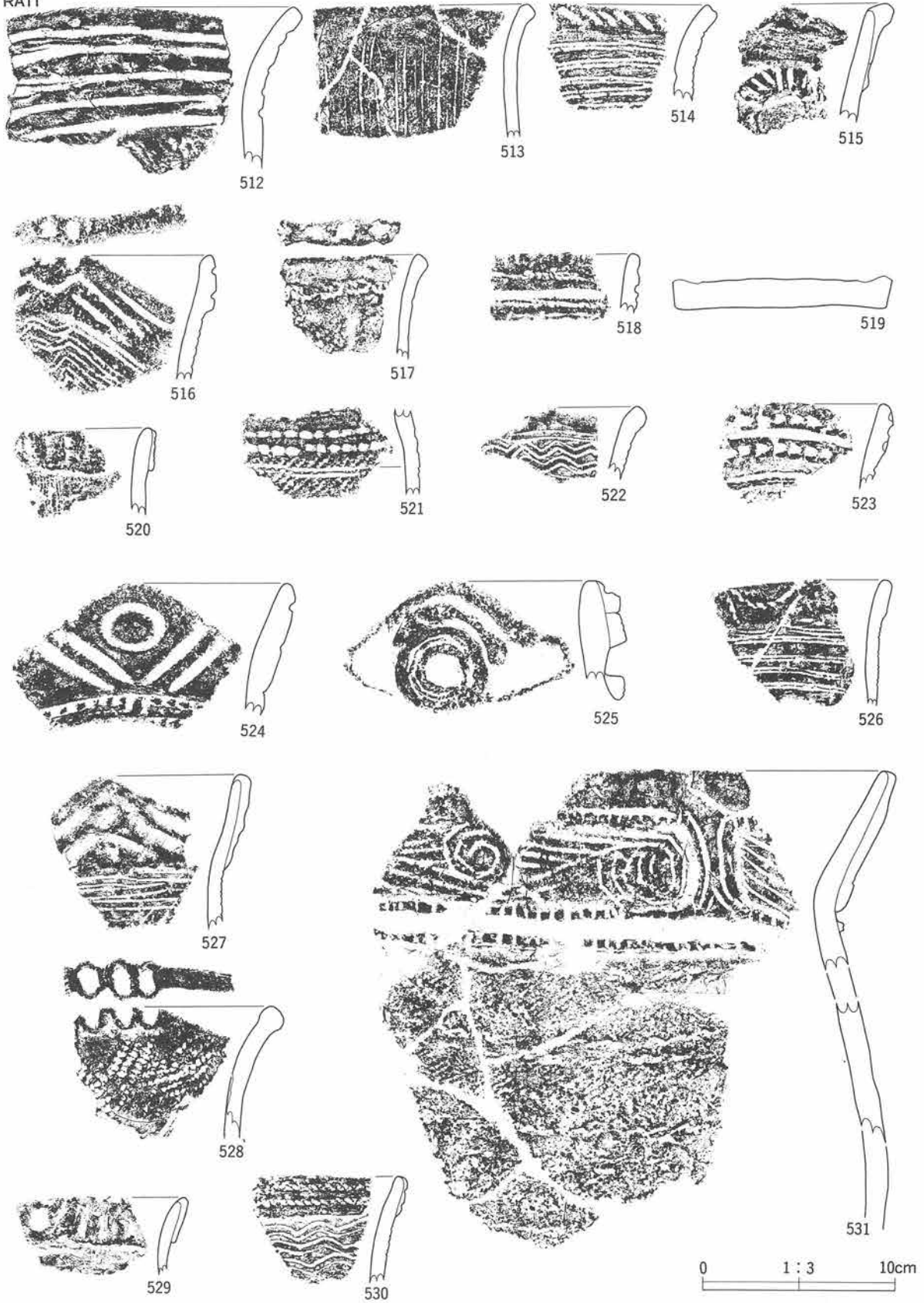


第175図 土器(51) : RA09(1)



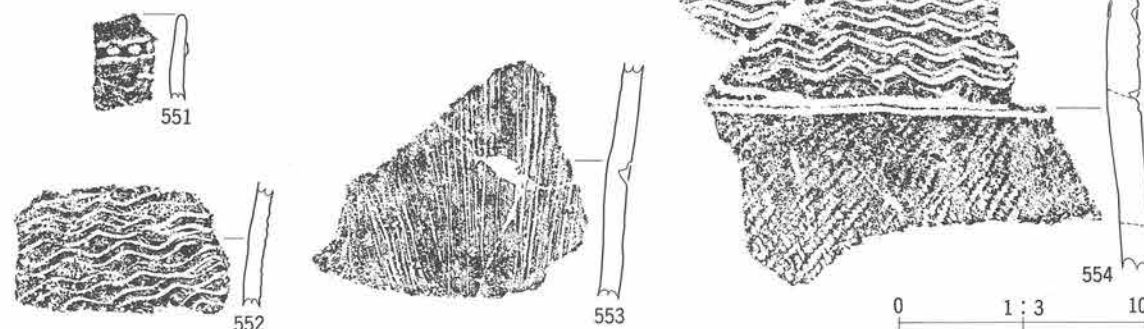
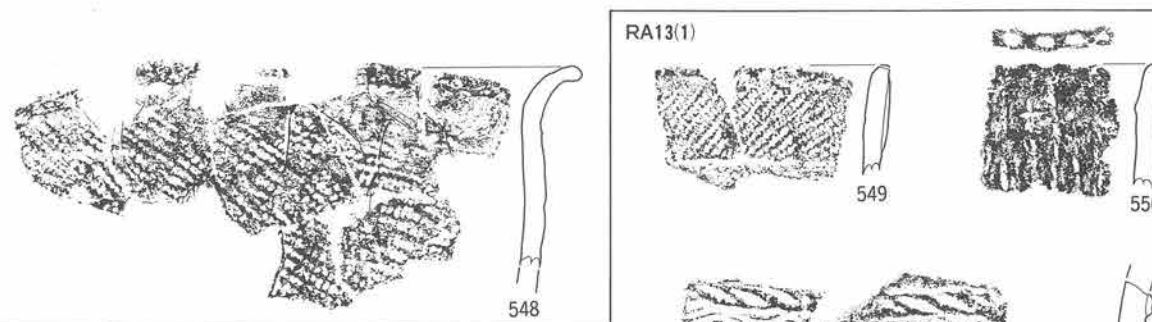
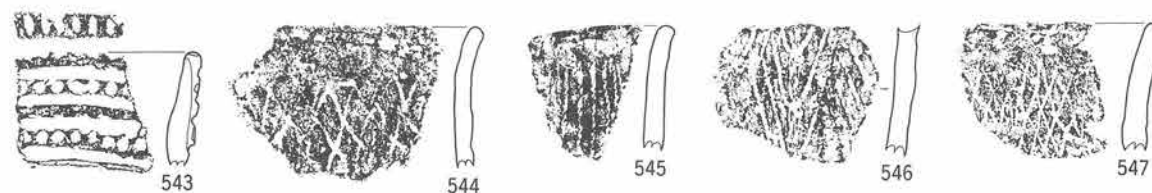
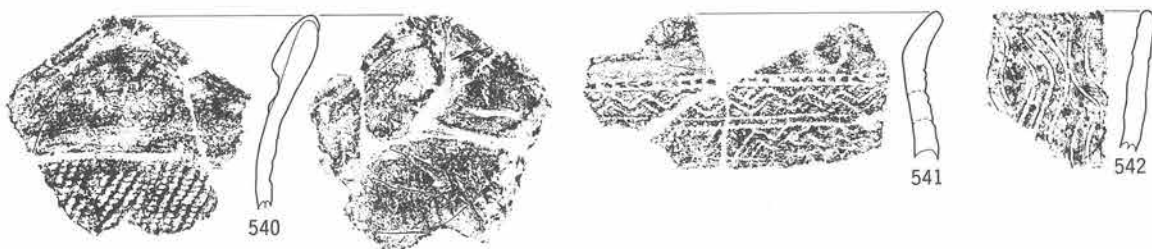
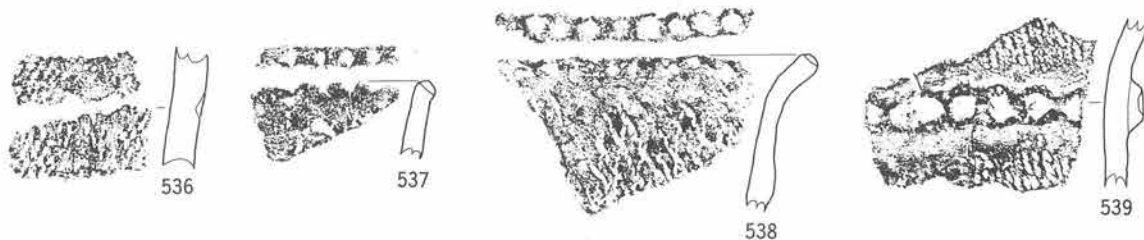
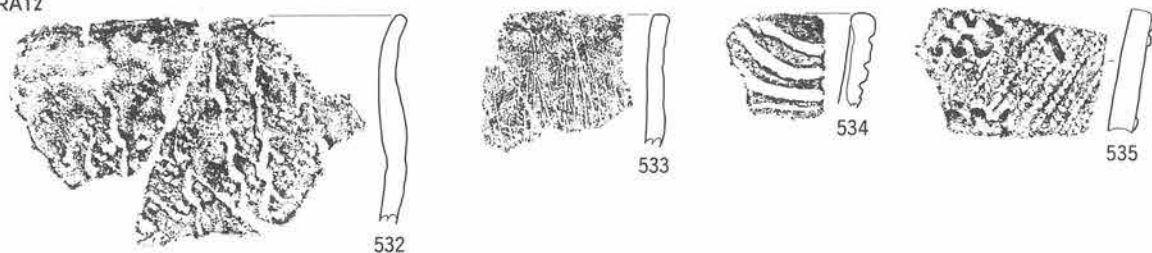
第176图 土器(5) : RA09(2) · 10

RA11



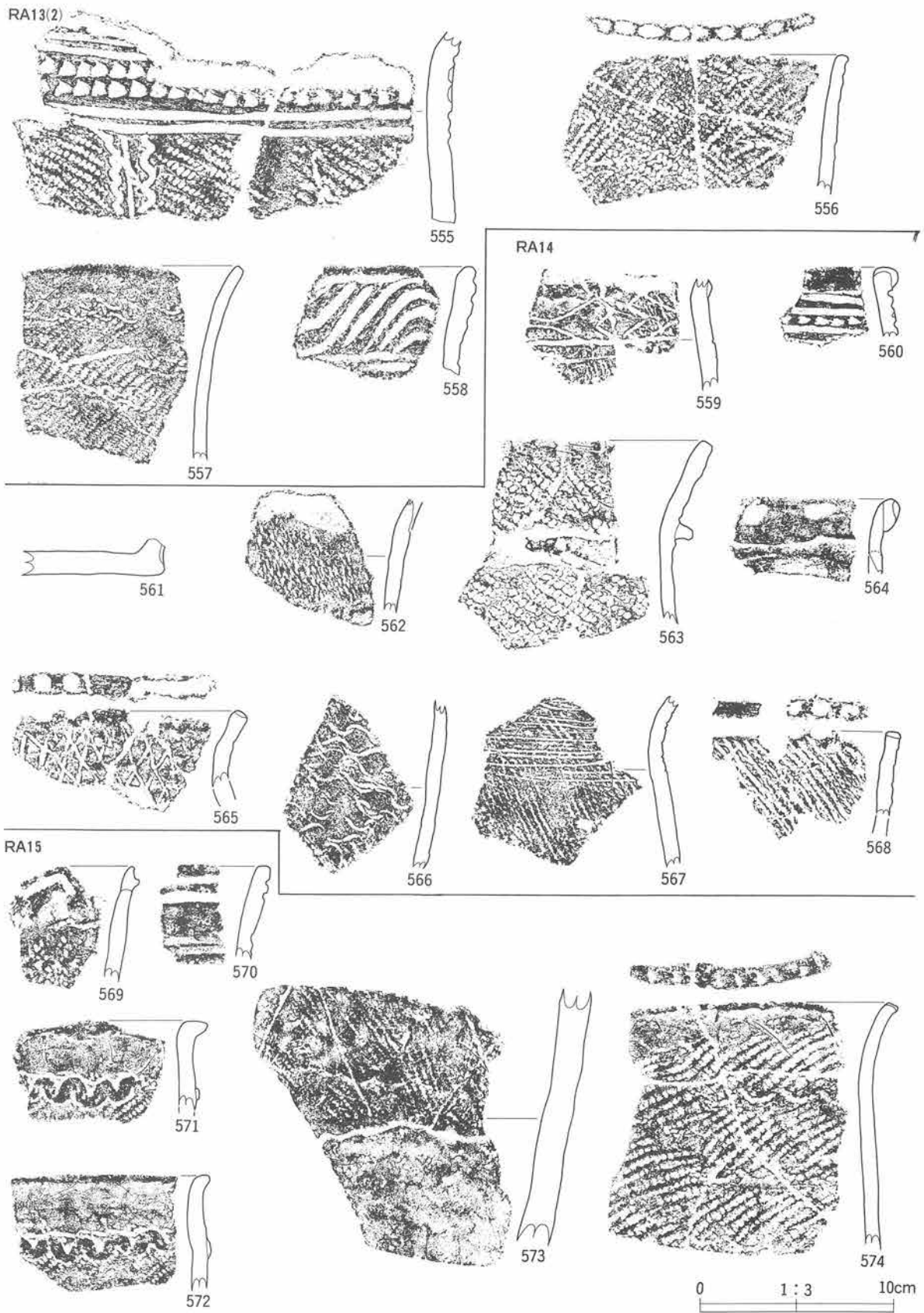
第177图 土器(53) : RA11

RA12

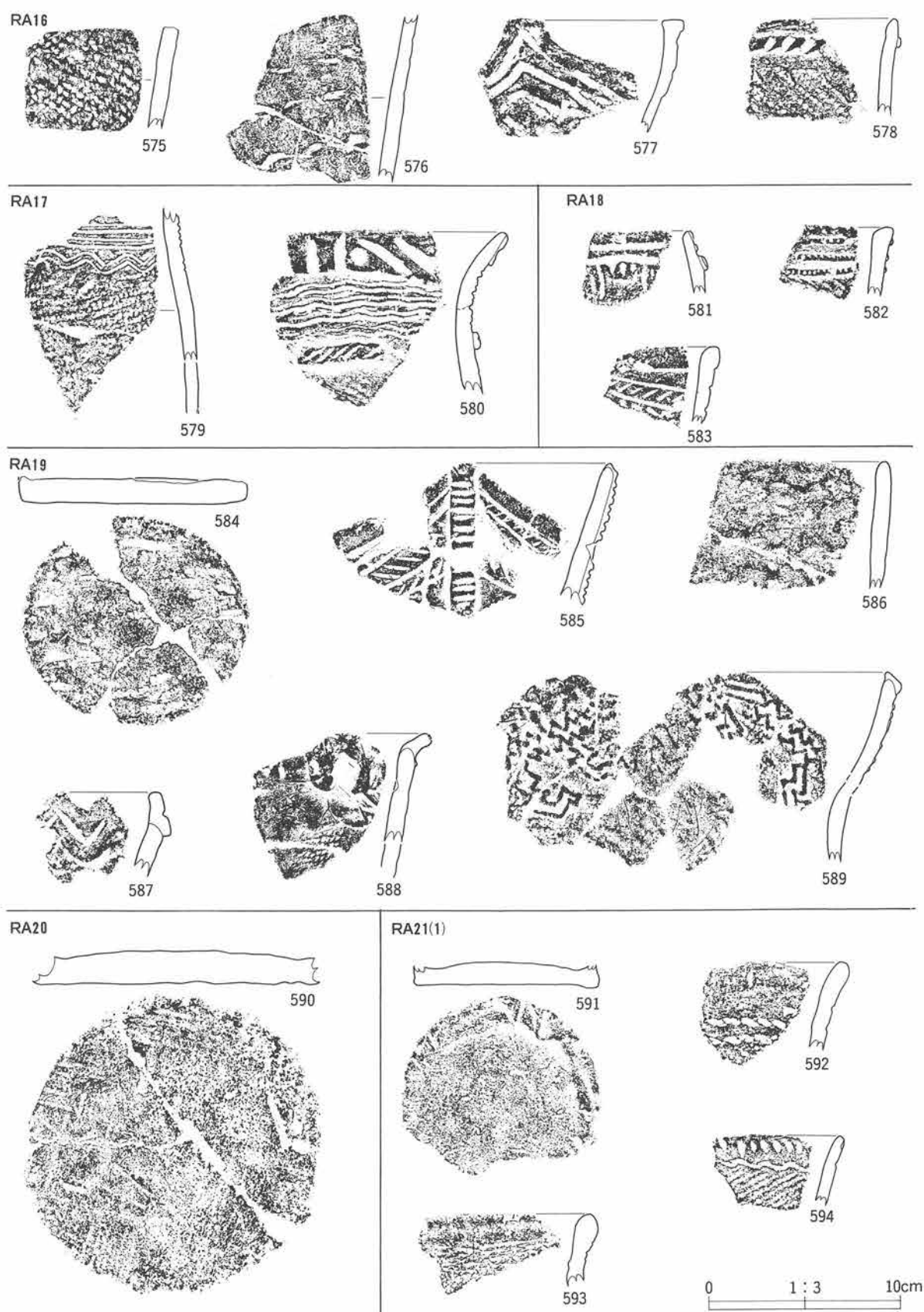


0 1 : 3 10cm

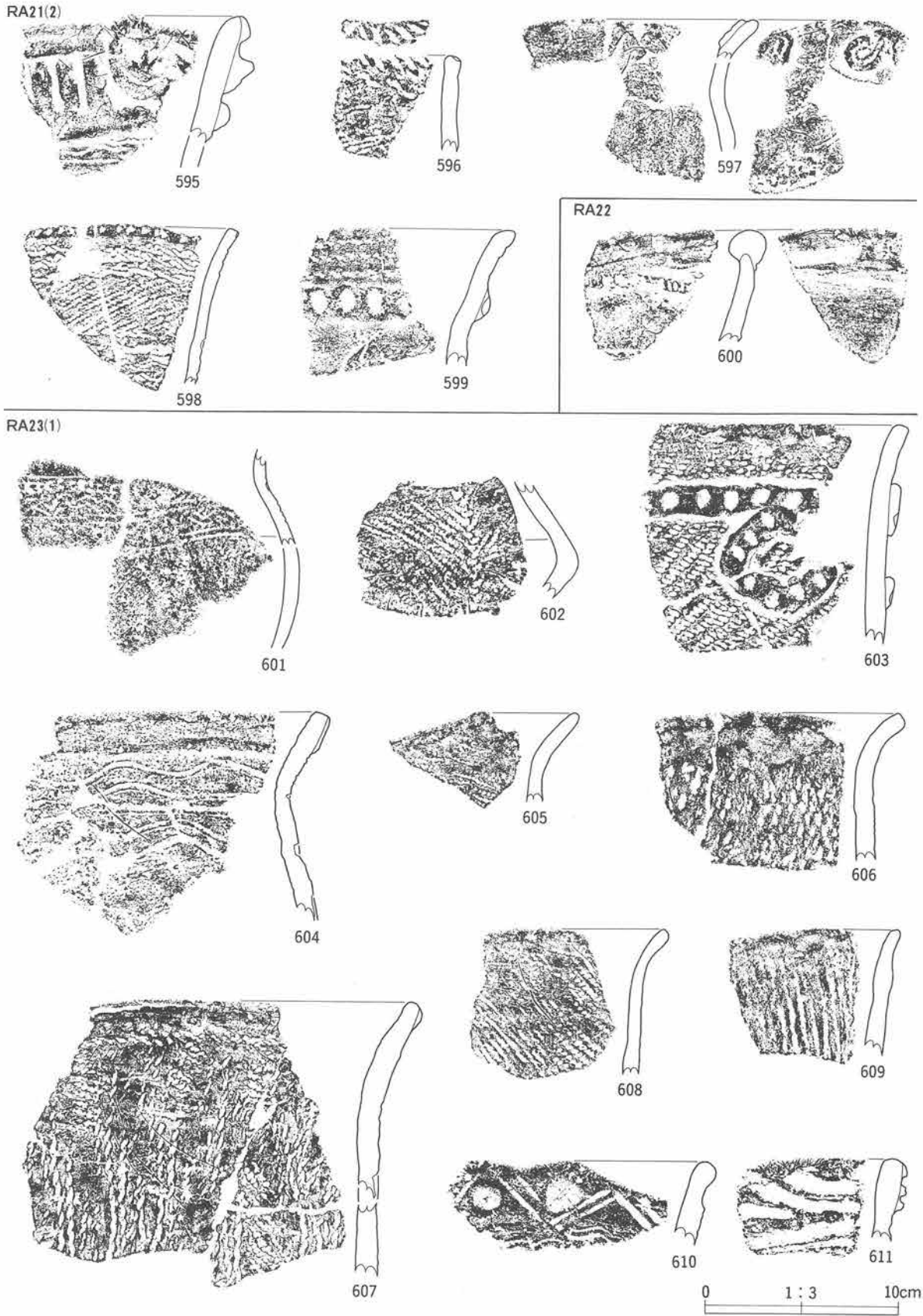
第178图 土器(54) : RA12 · 13(1)



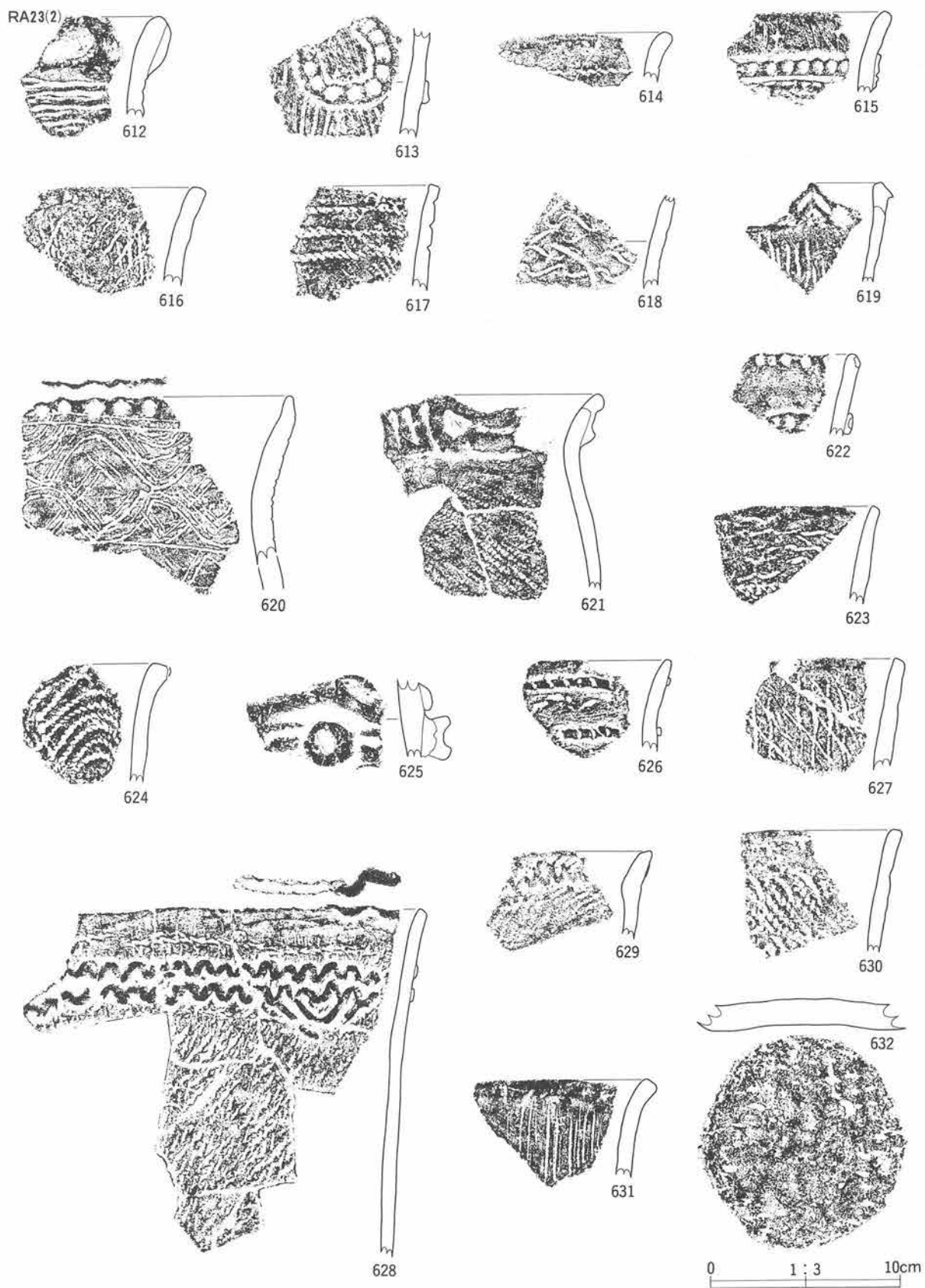
第179图 土器(55) : RA13(2) · 14 · 15



第180図 土器(56) : RA16・17・18・19・20・21(1)

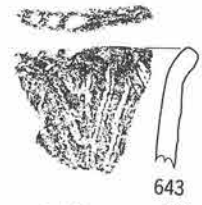
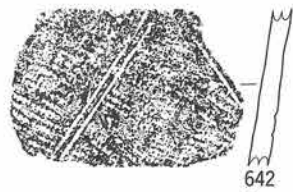
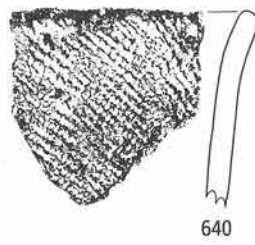
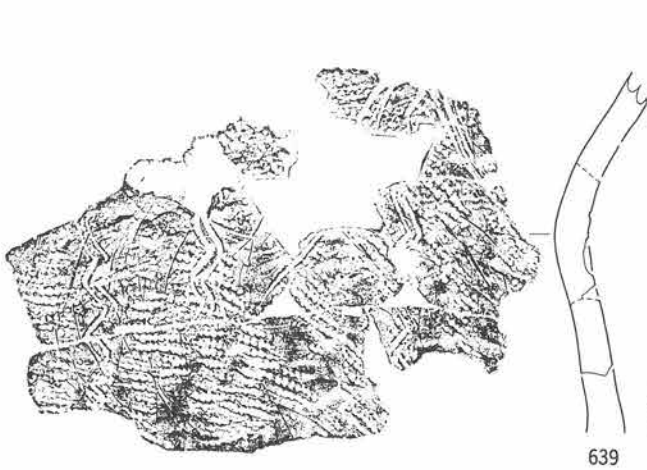
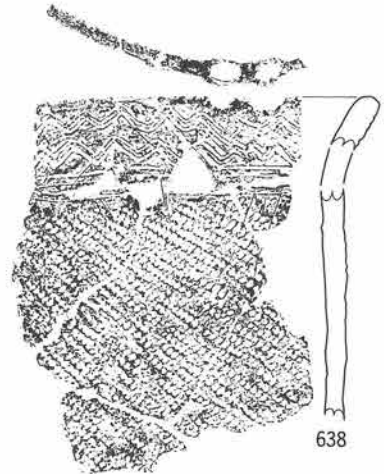
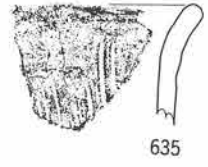
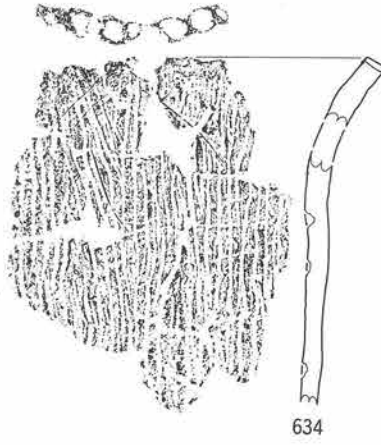


第181図 土器(5)：RA21(2)・22・23(1)



第182图 土器(58) : RA23(2)

RA23(3)



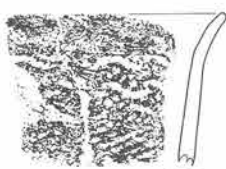
0 1 : 3 10cm

第183図 土器(59) : RA23(3)

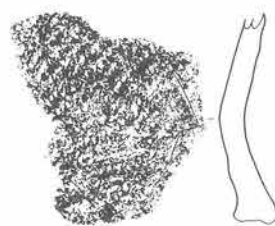
RA24



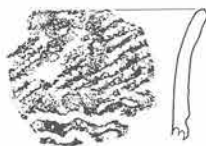
644



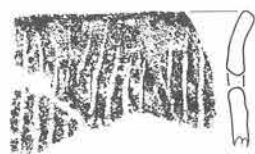
645



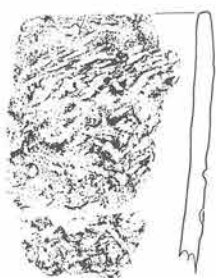
646



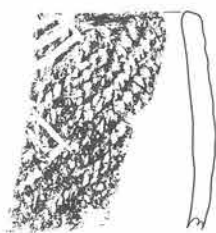
647



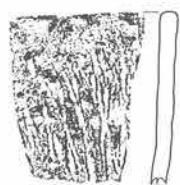
648



649



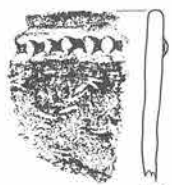
650



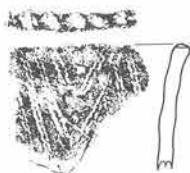
651



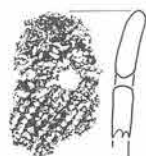
652



653



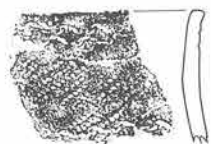
654



655



656



657



658

RA26



659

RA31

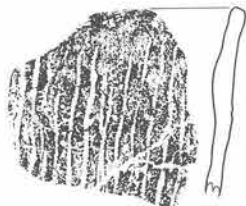


664

RA29



660



661



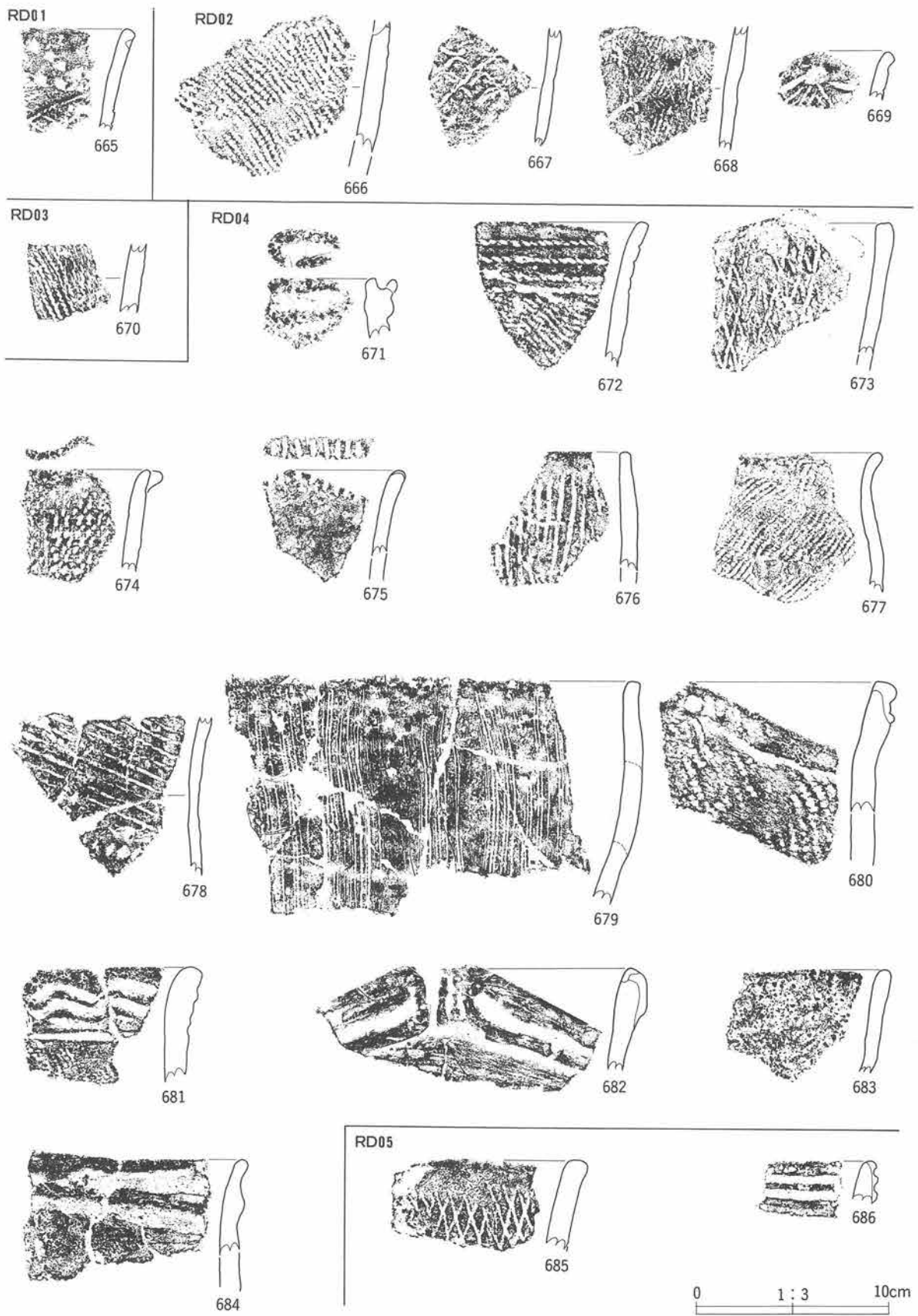
662



663

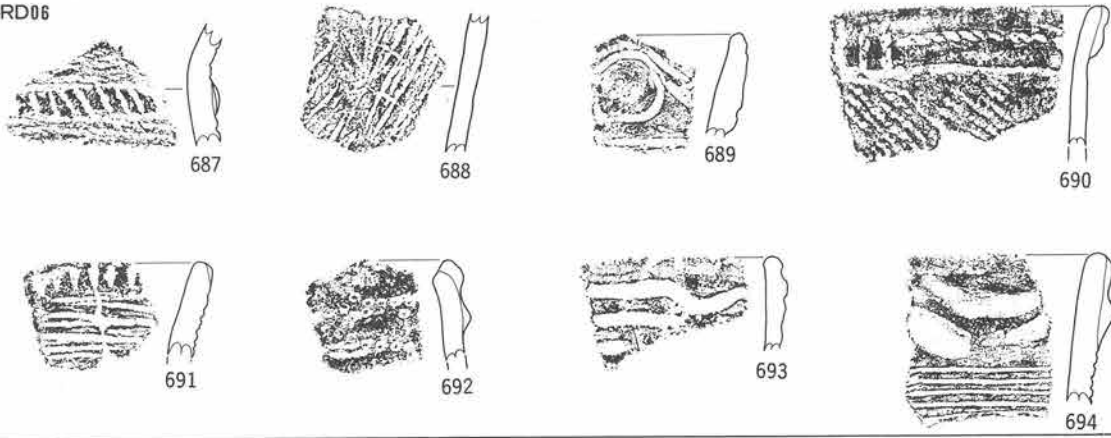
0 1:3 10cm

第184图 土器(60) : RA24 · 26 · 29 · 31

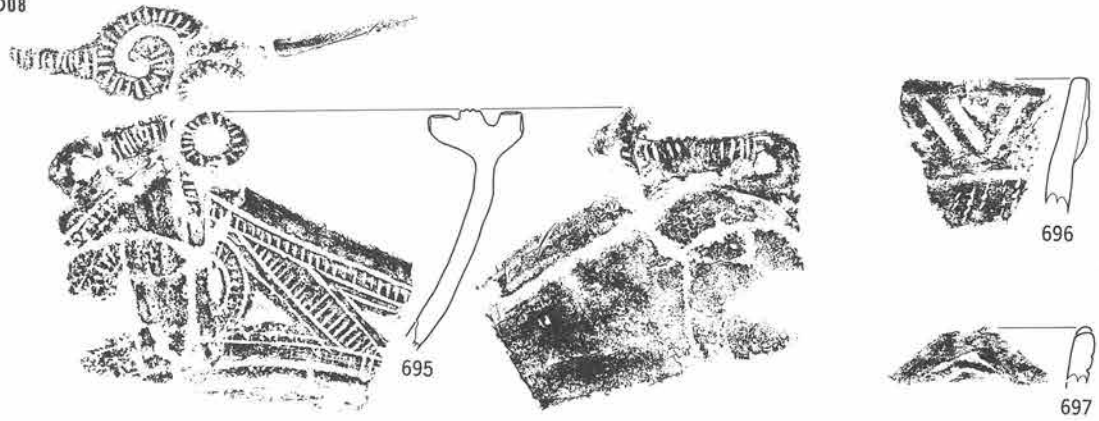


第185图 土器(61)：RD01・02・03・04・05

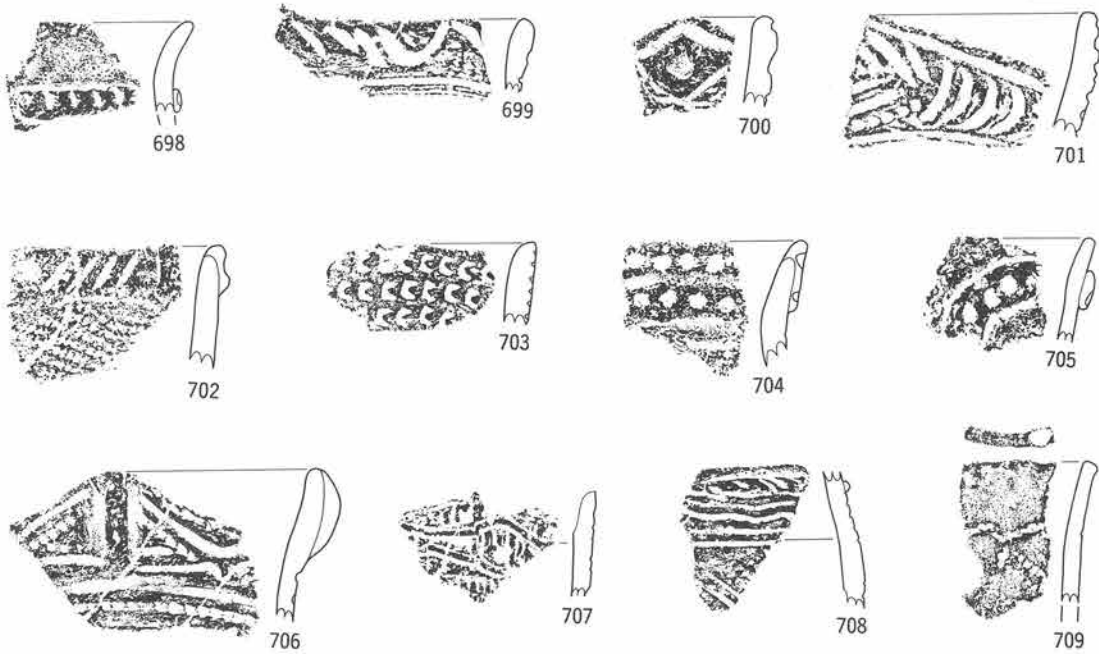
RD06



RD08

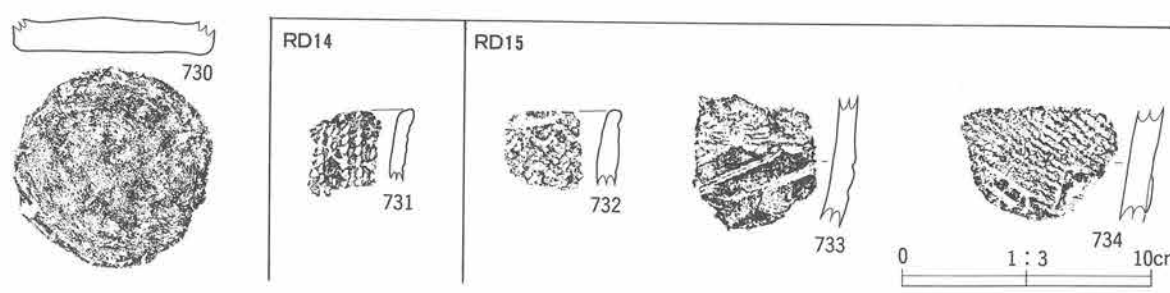
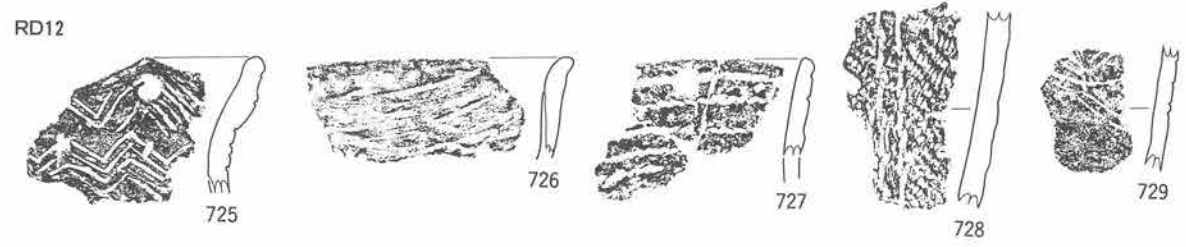
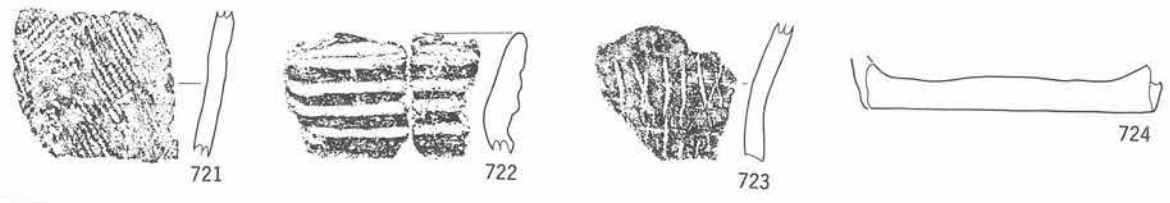
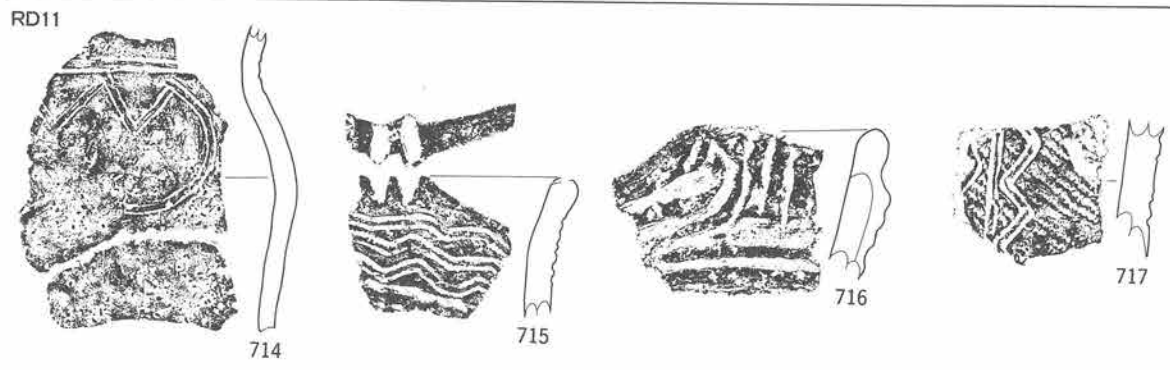
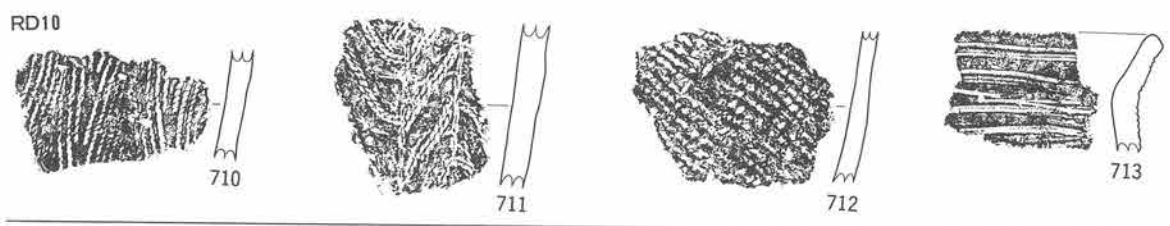


RD09

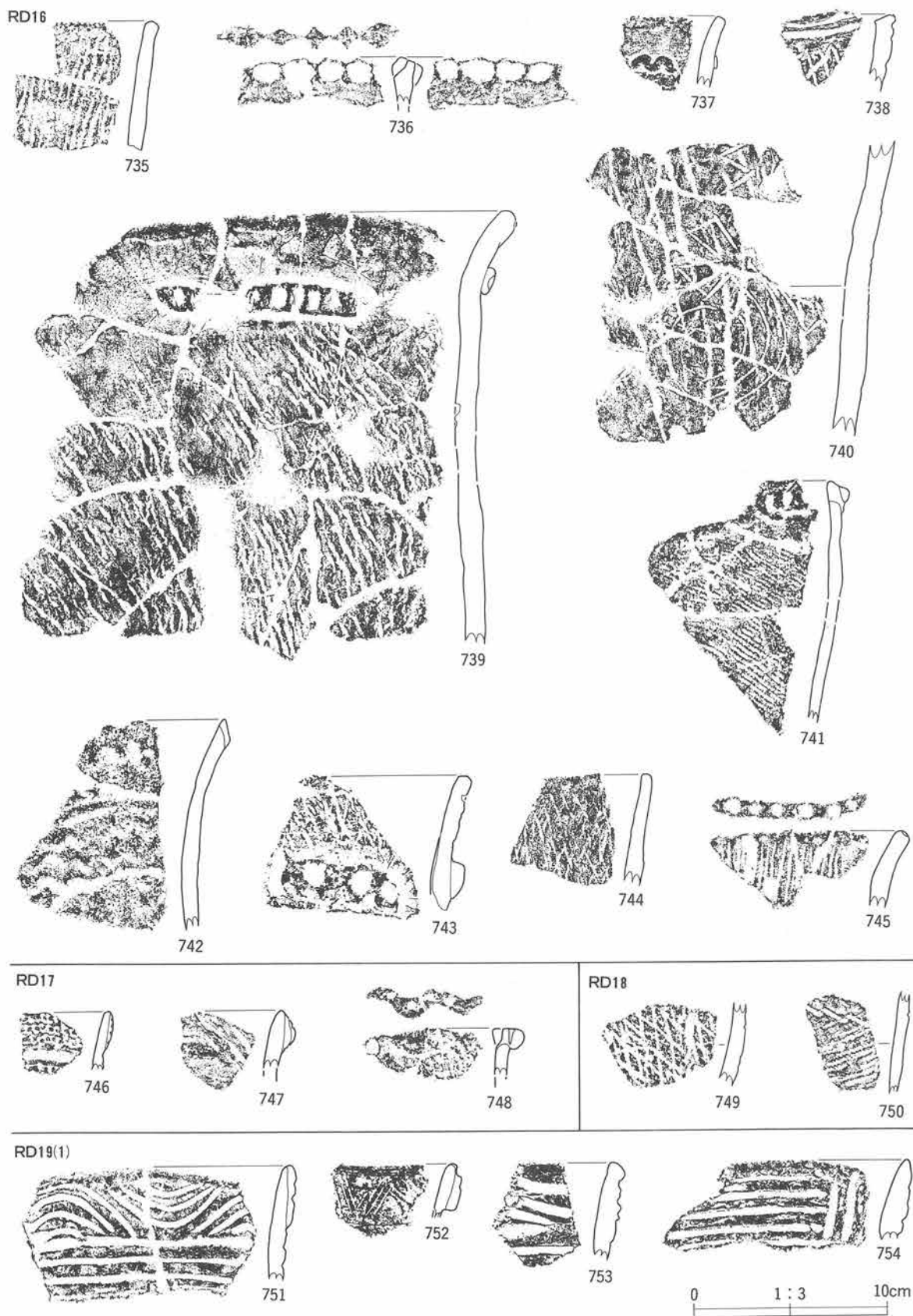


0 1 : 3 10cm

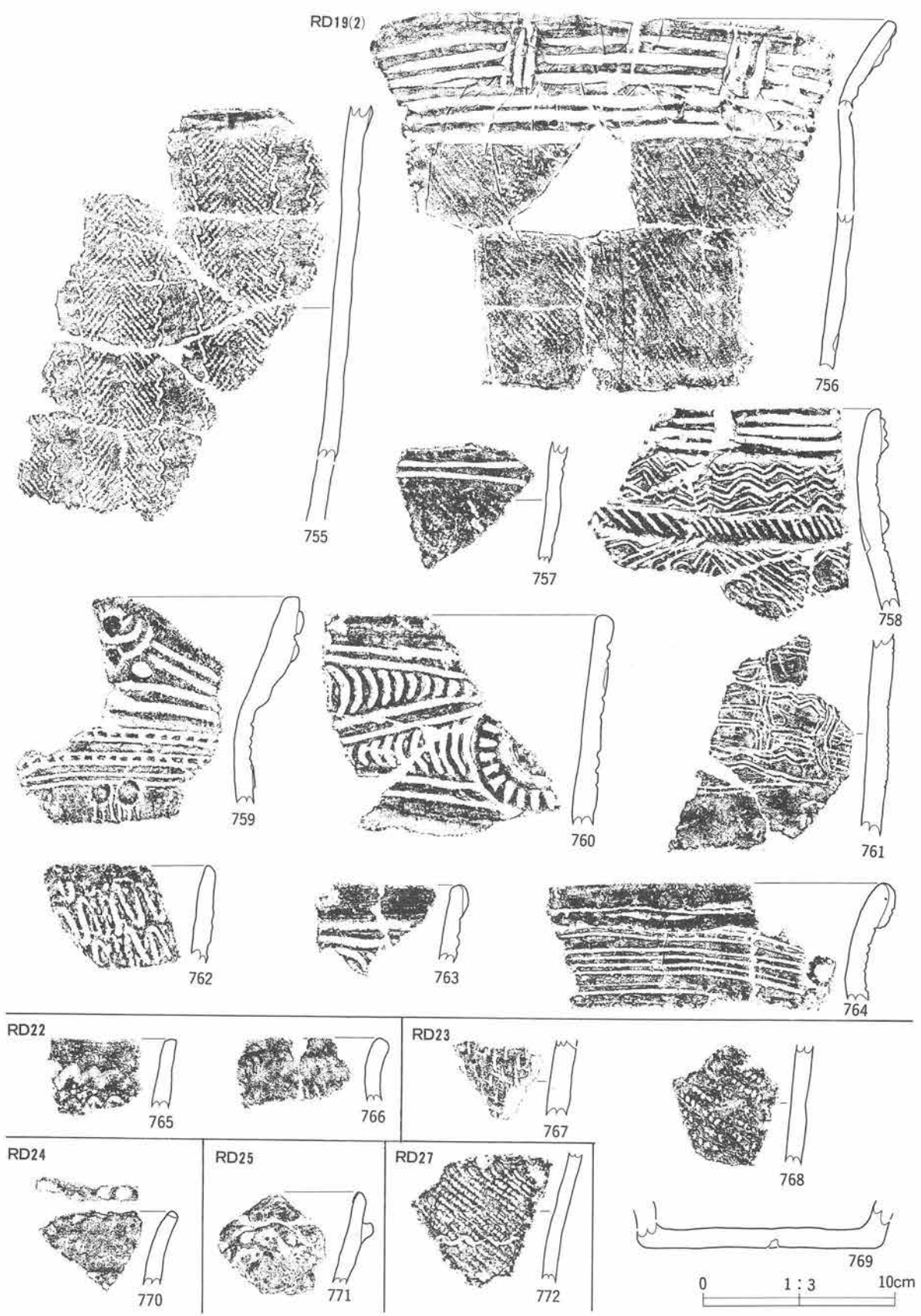
第186图 土器(62) : RD06・08・09



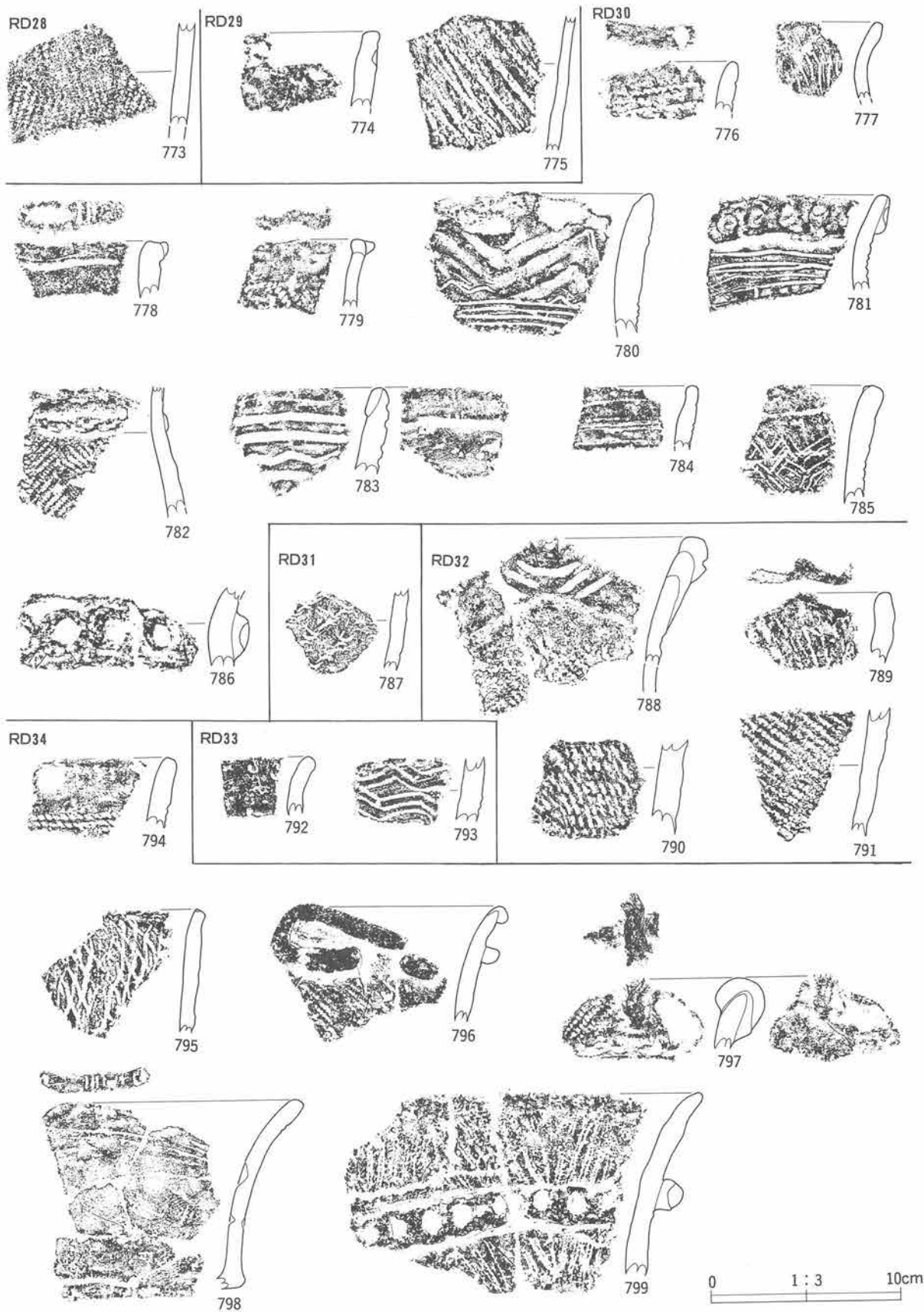
第187图 土器(63) : RD10 · 11 · 12 · 14 · 15



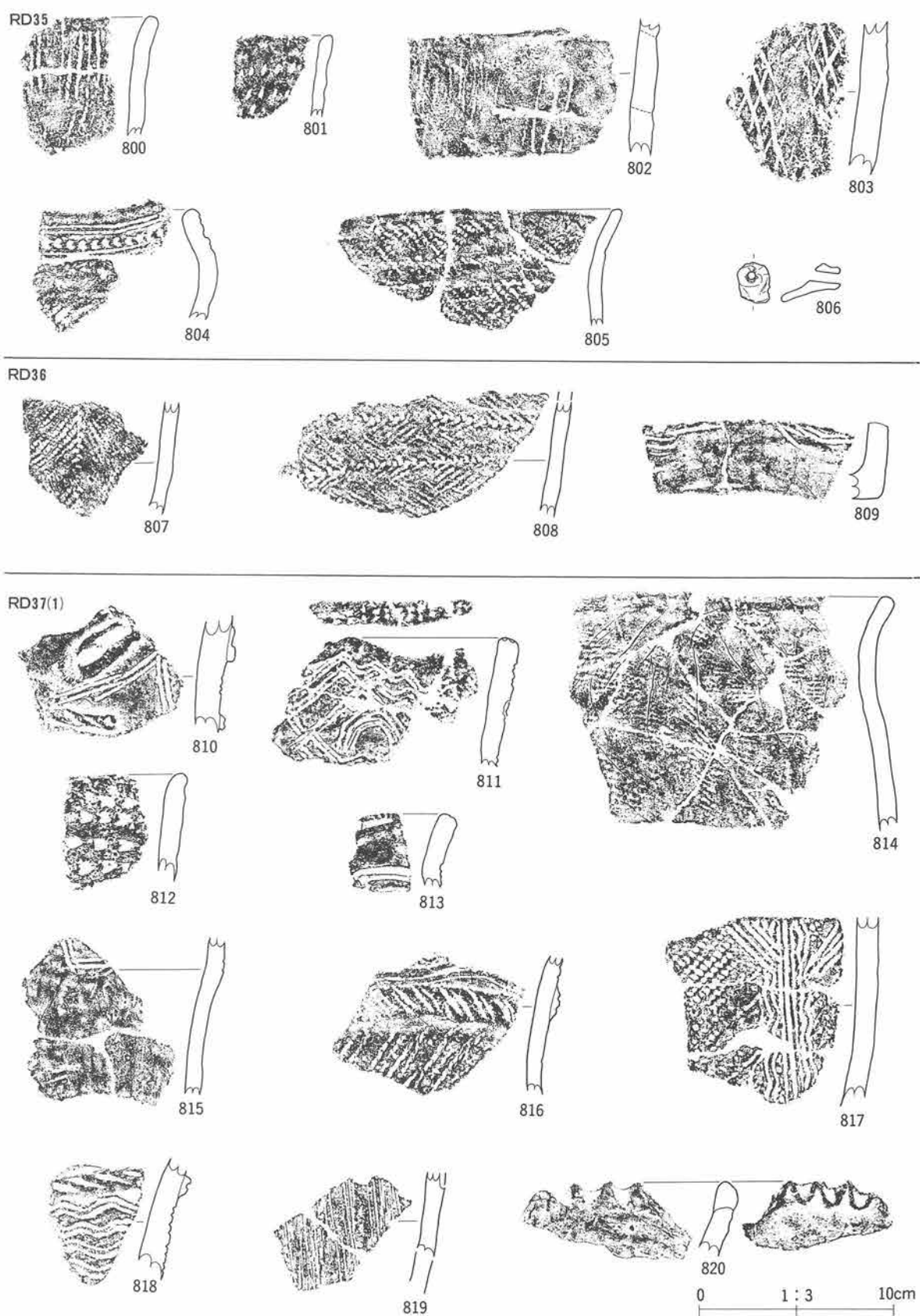
第188图 土器(64)：RD16・17・18・19(1)



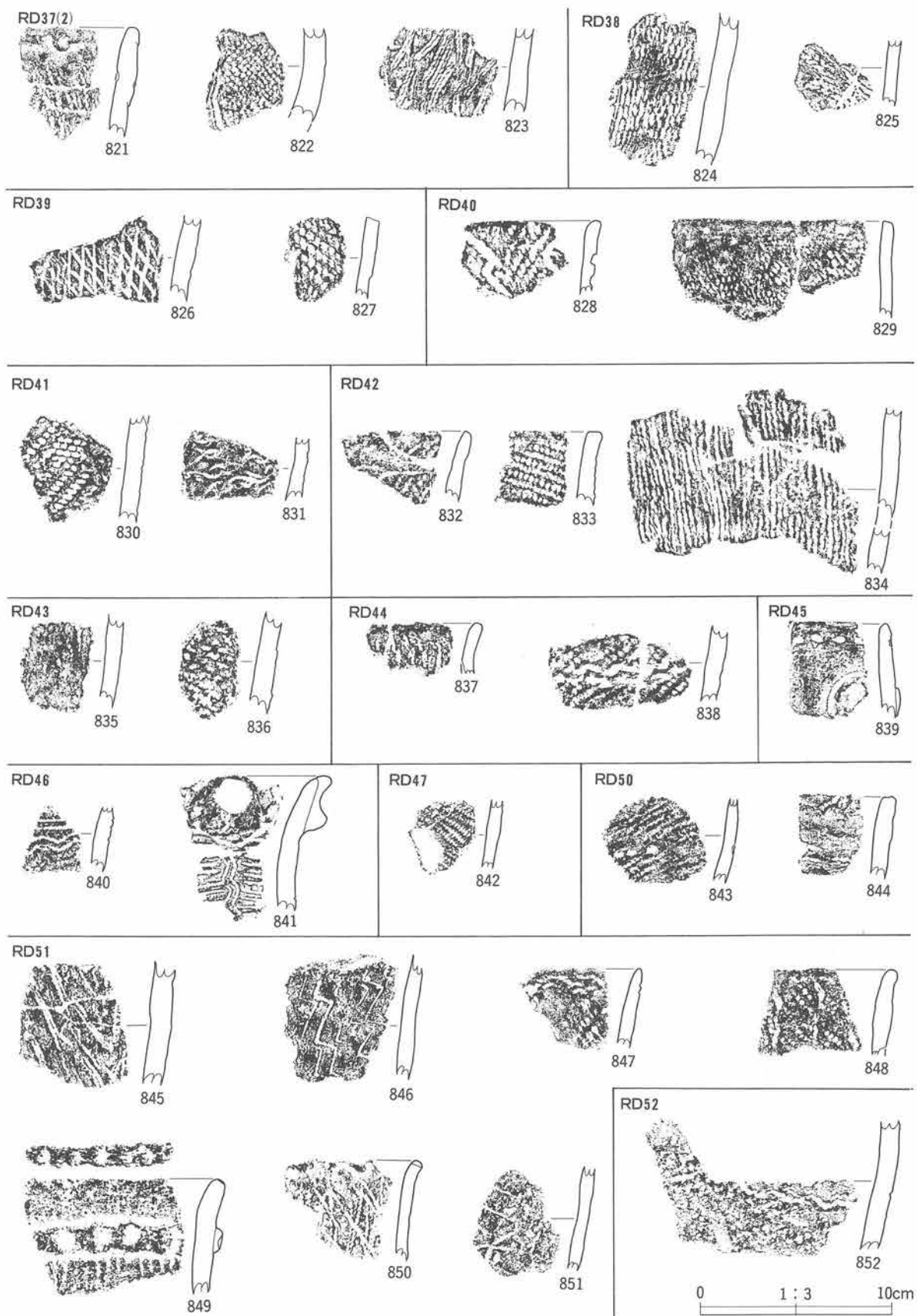
第189図 土器(65) : RD19(2)・22・23・24・25・27



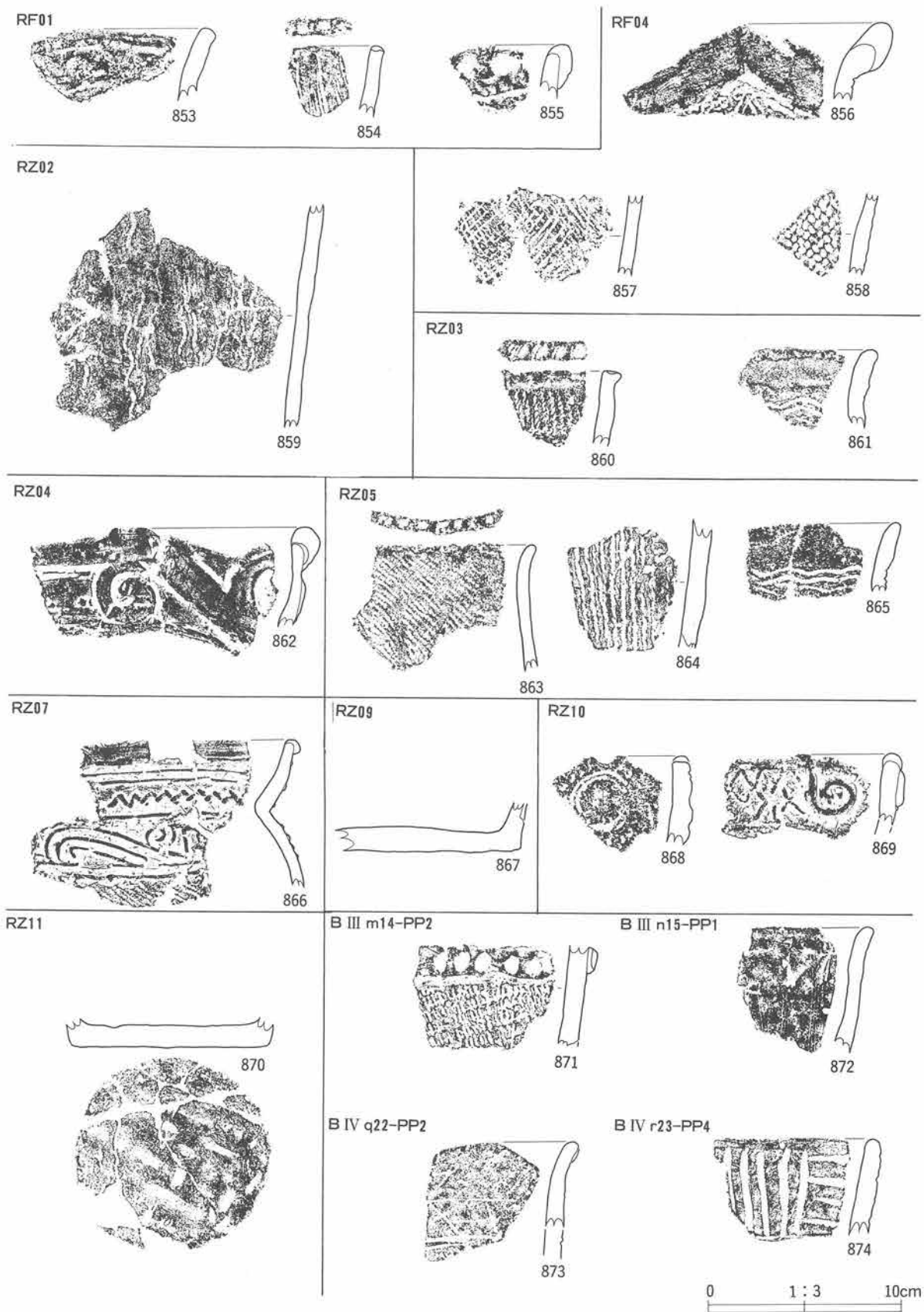
第190図 土器(66) : RD28・29・30・31・32・33・34



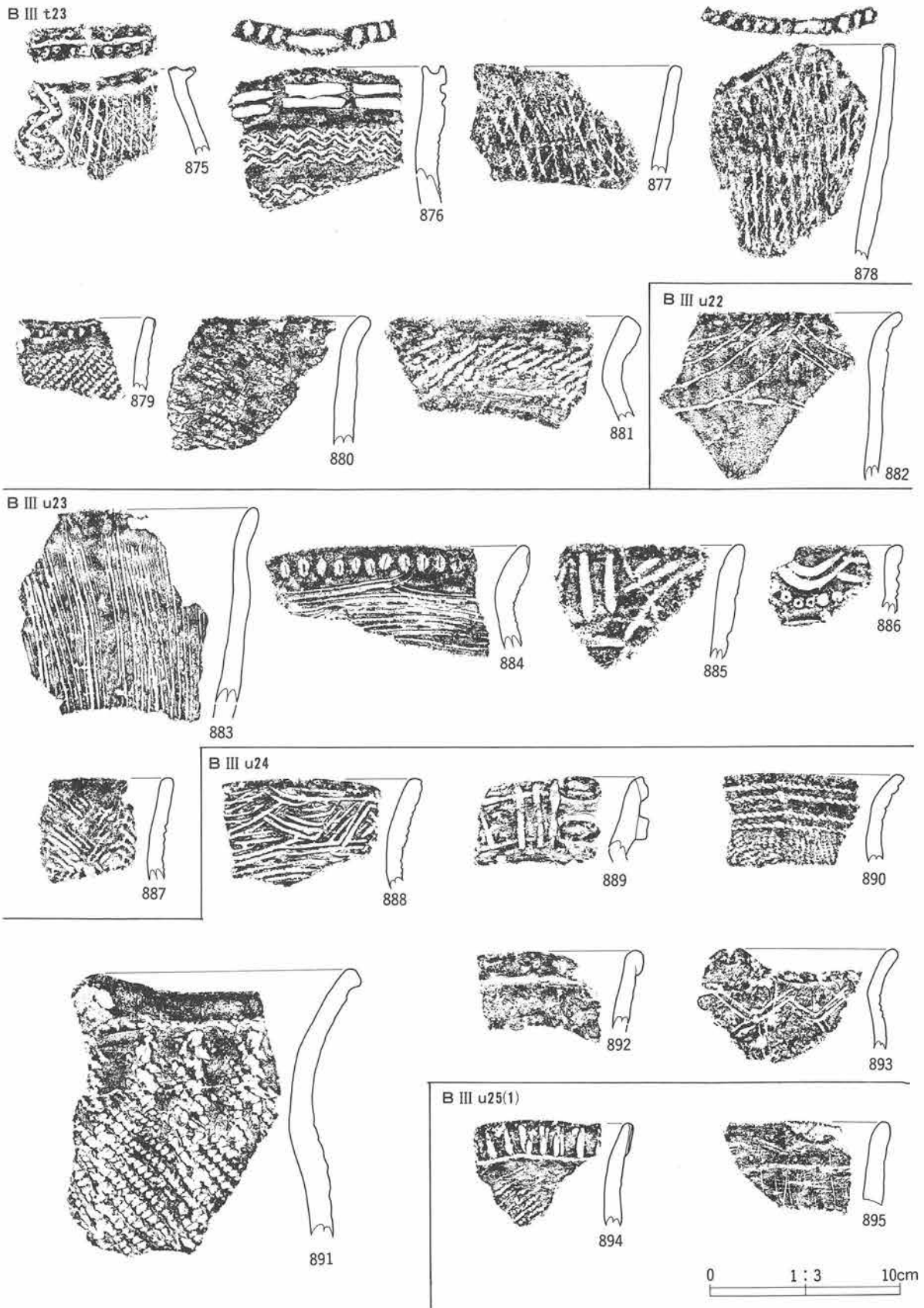
第191図 土器(67) : RD35・36・37(1)



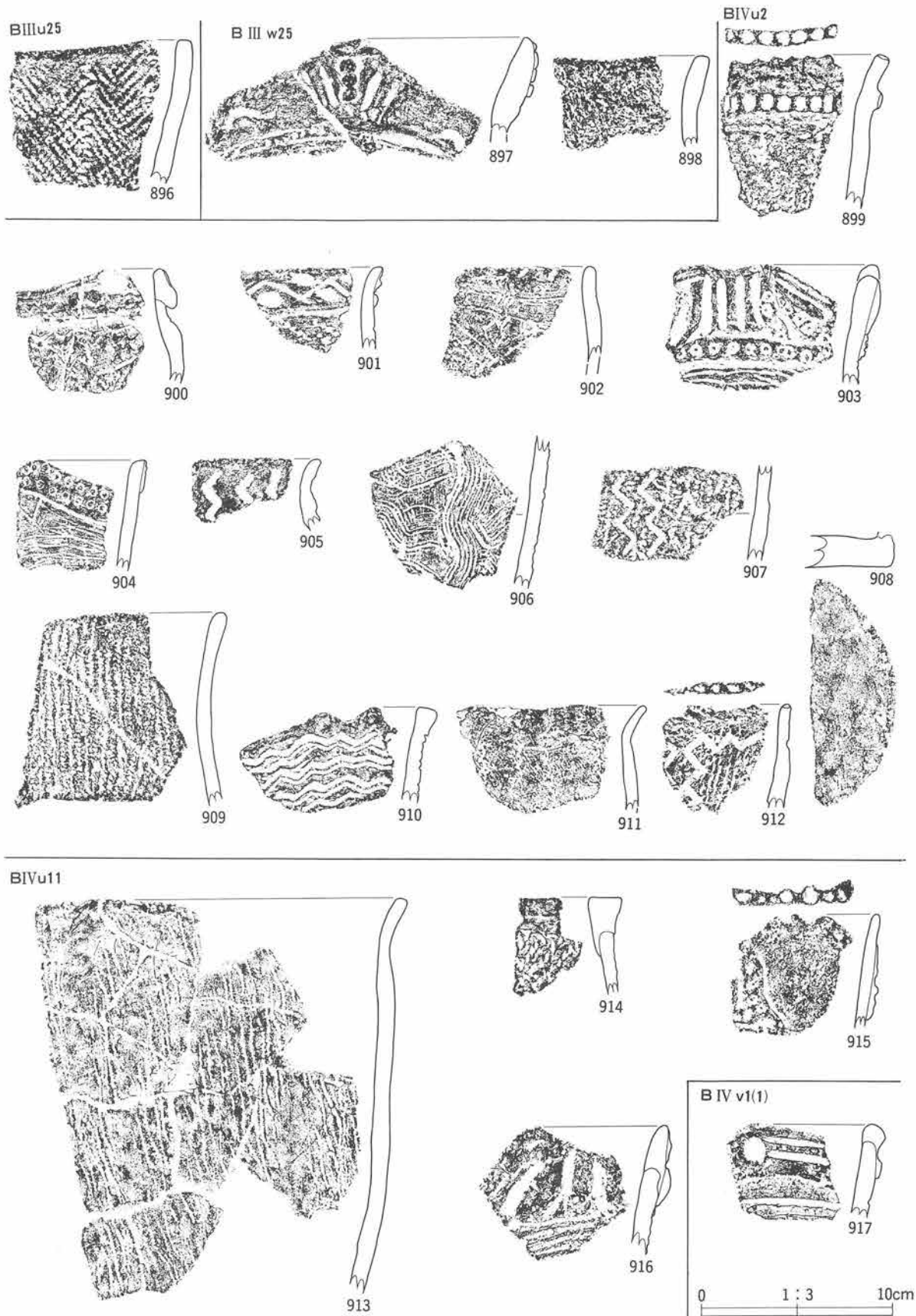
第192図 土器(68) : RD37(2)・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・51・52



第193図 土器(69) : RF01・04、RZ02・03・04・05・07・09・10・11、
B III m14-PP2、B III n15-PP1、B IV q22-PP2、B IV r23-PP4

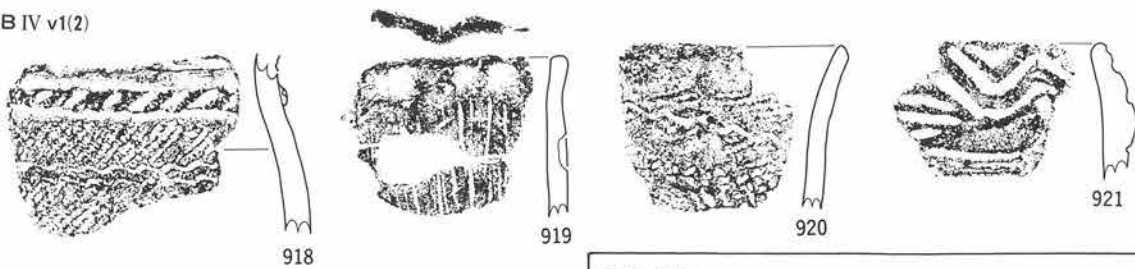


第194図 土器(70) : BIII t23、u22・u23・u24・u25(1)

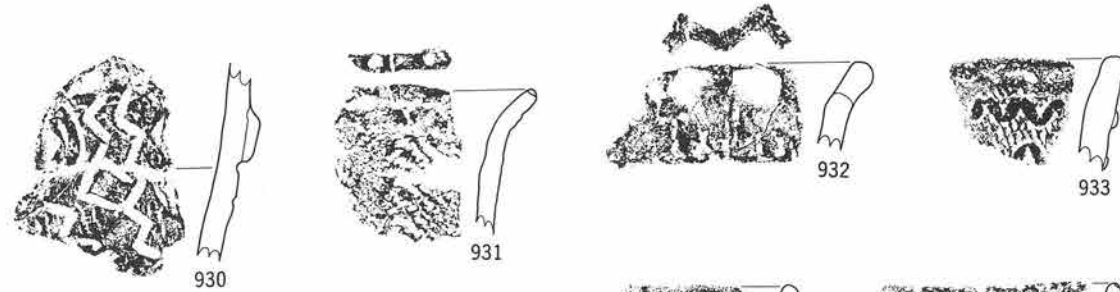
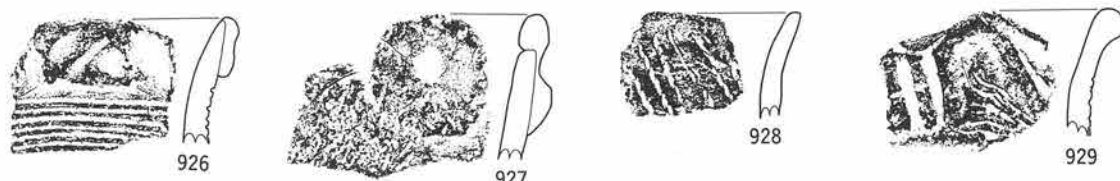
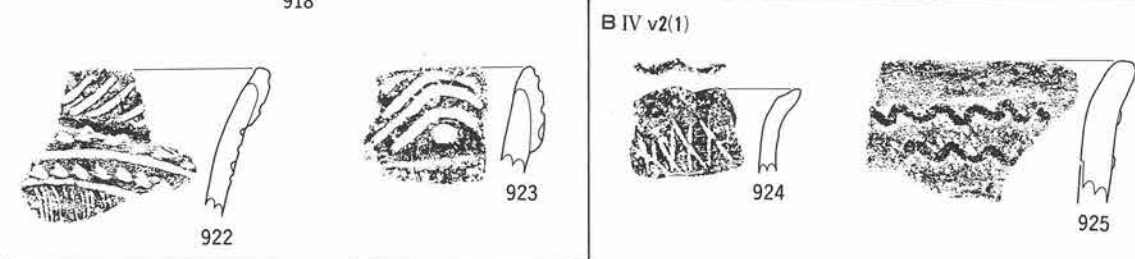


第195図 土器(71) : BIIIu25(2)・w25、BIVu2・u11・v1(1)

B IV v1(2)



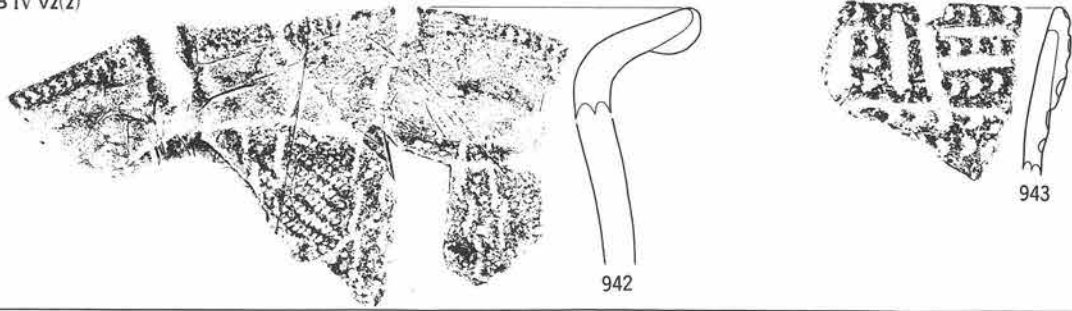
B IV v2(1)



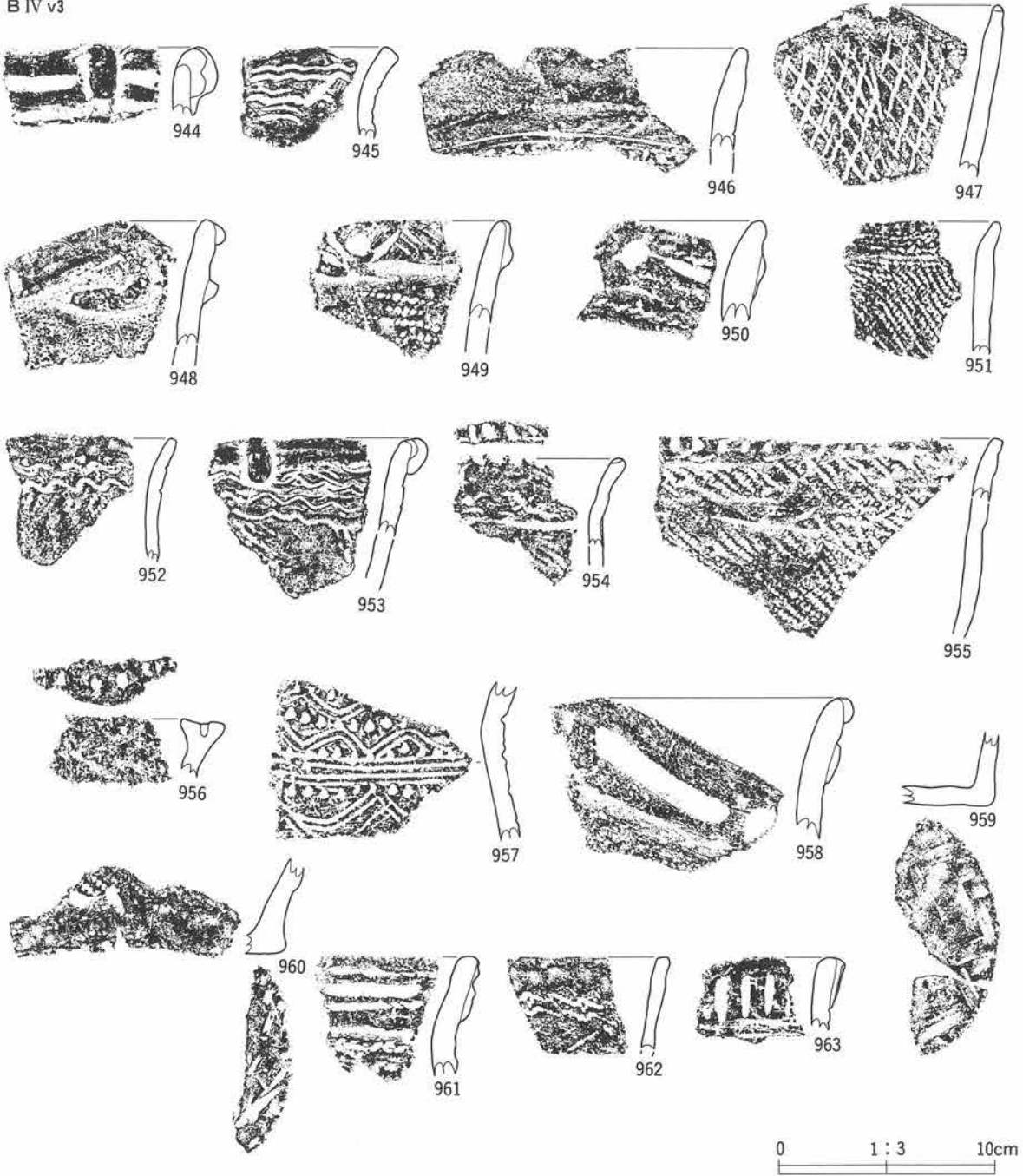
0 1 : 3 10cm

第196図 土器(7) : B IV v1(2)・v2(1)

B IV v2(2)

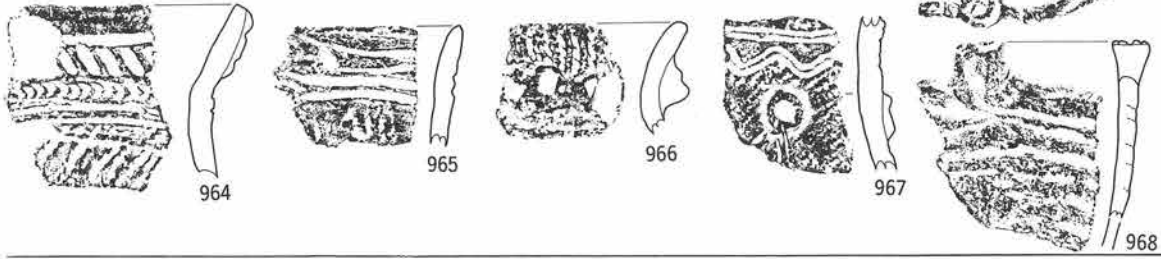


B IV v3

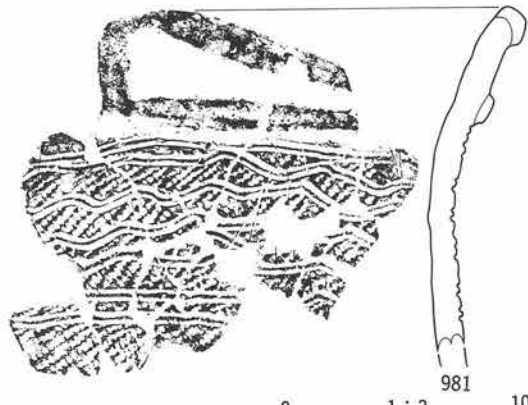
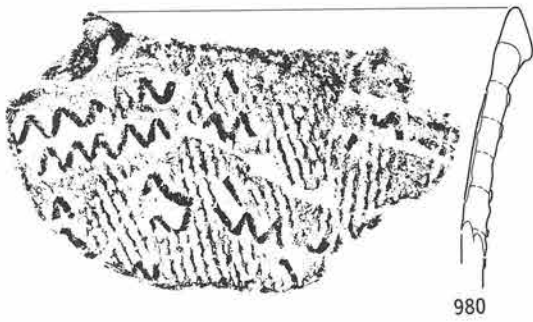
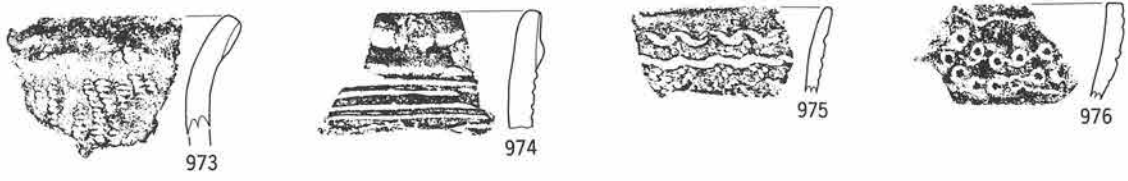
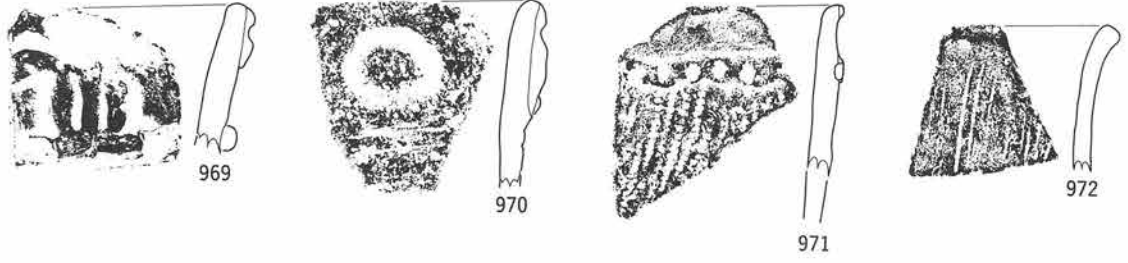


第197図 土器(73) : B IV v2(2)・v3

B IV v4



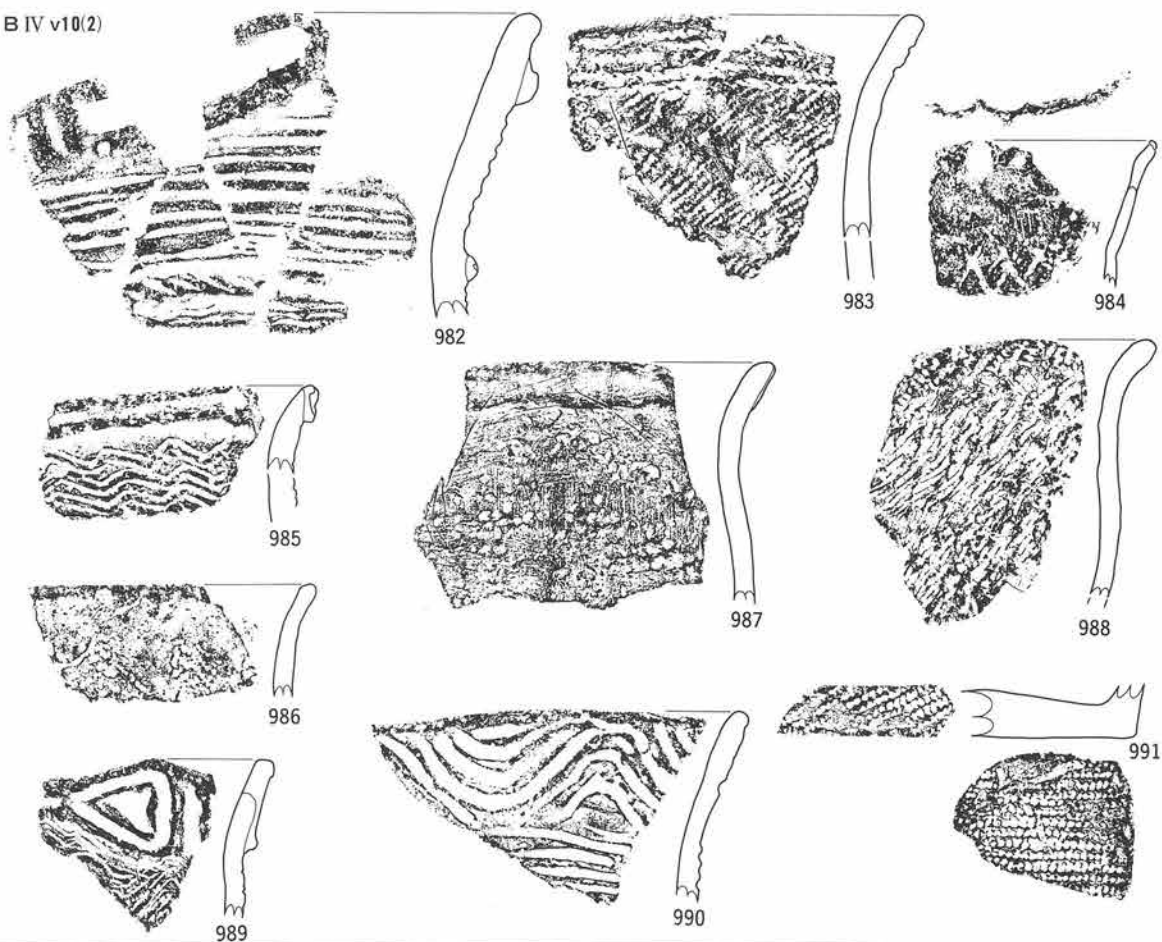
B IV v10(1)



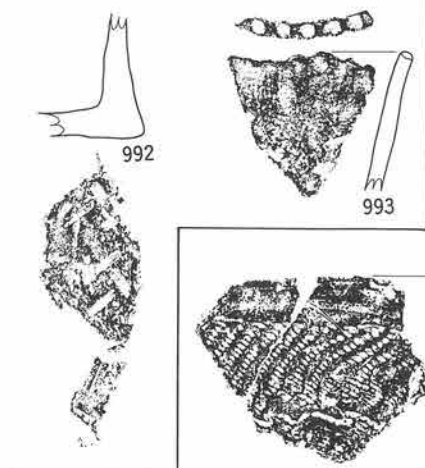
0 1 : 3 10cm

第198图 土器(74) : B IV v4 · v10(1)

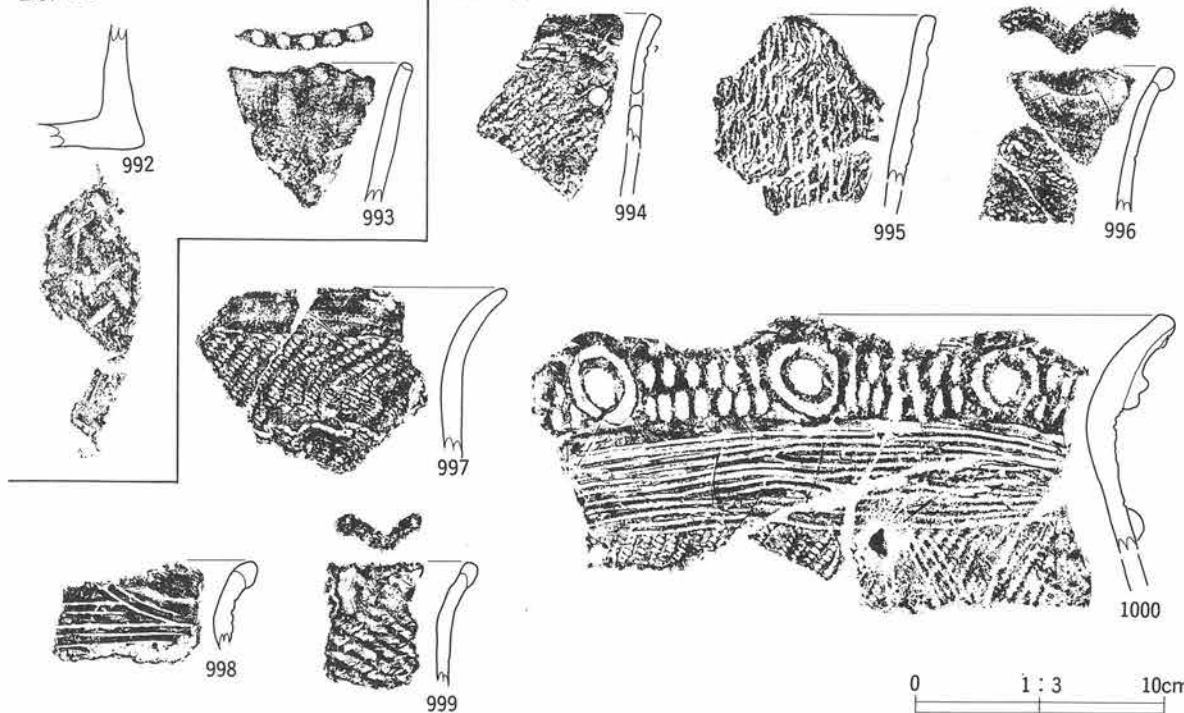
B IV v10(2)



B IV v11



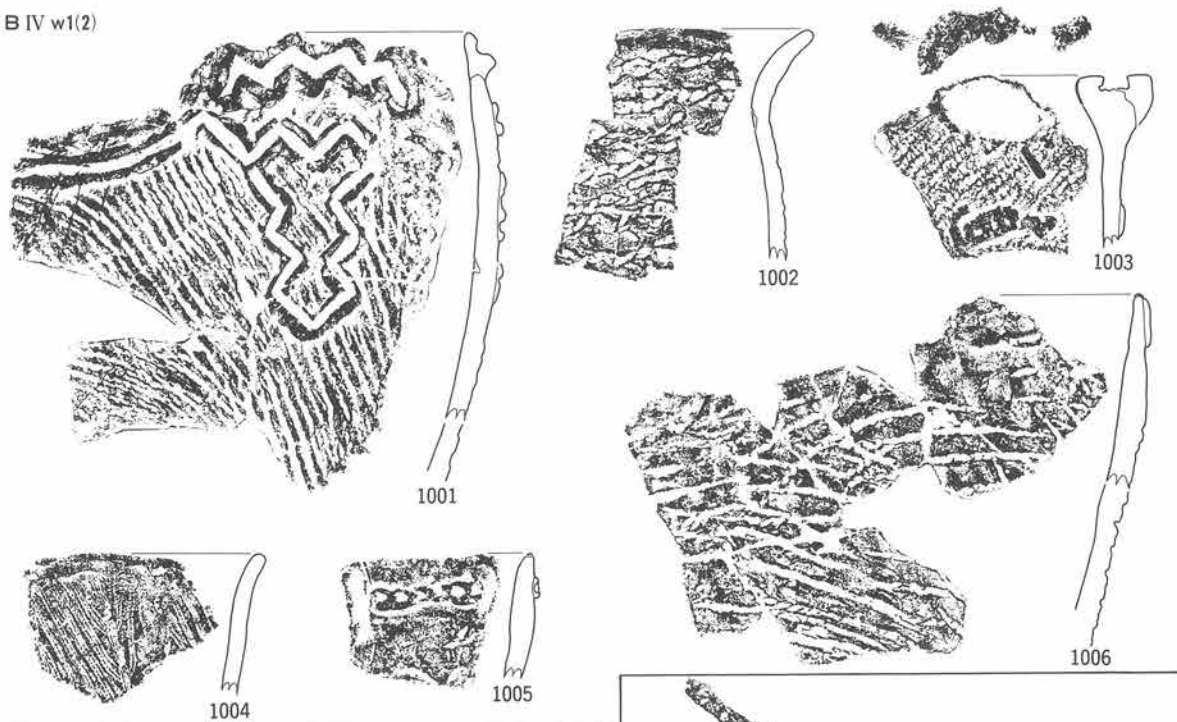
B IV w1(1)



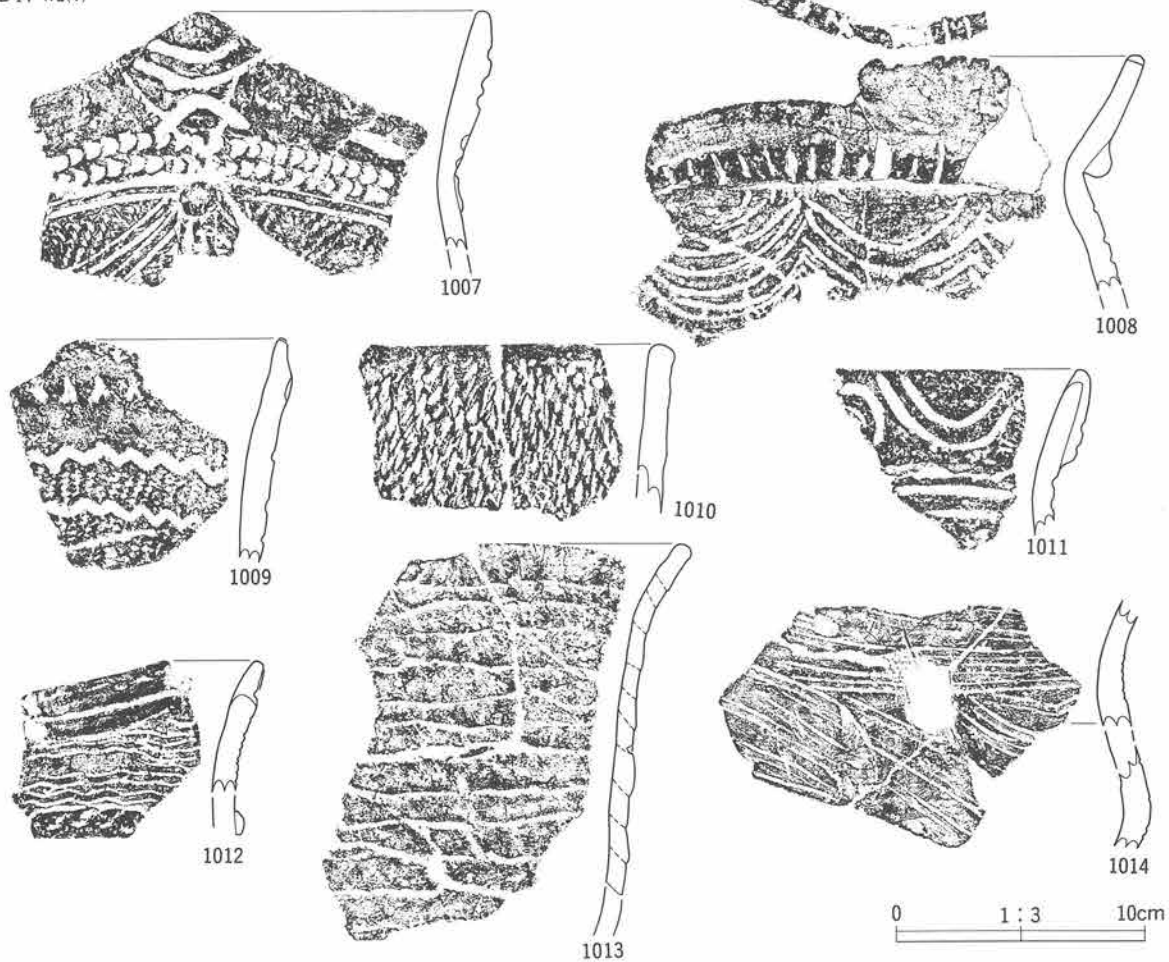
0 1 : 3 10cm

第199图 土器(75) : B IV v10(2) • v11、w1(1)

B IV w1(2)

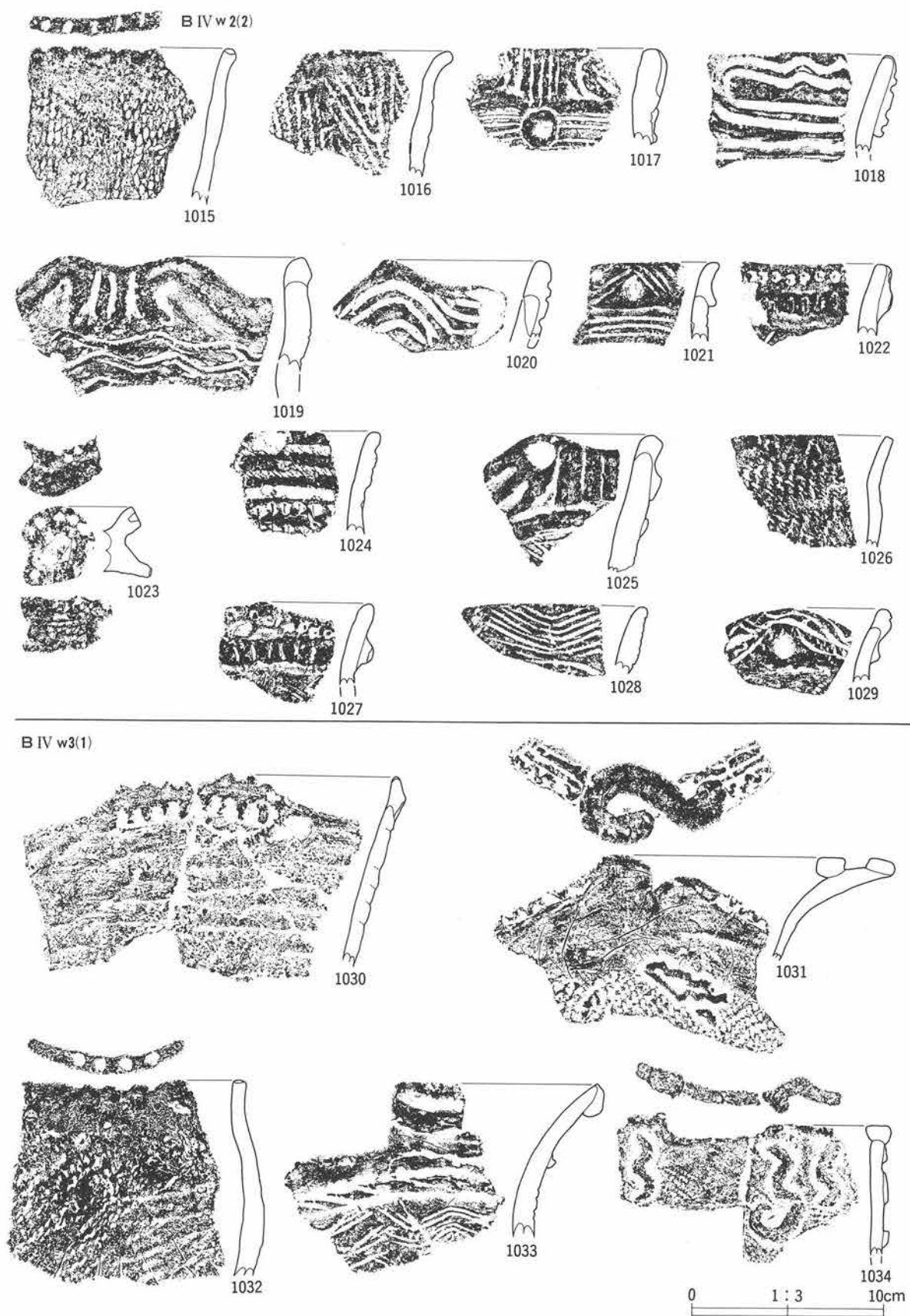


B IV w2(1)



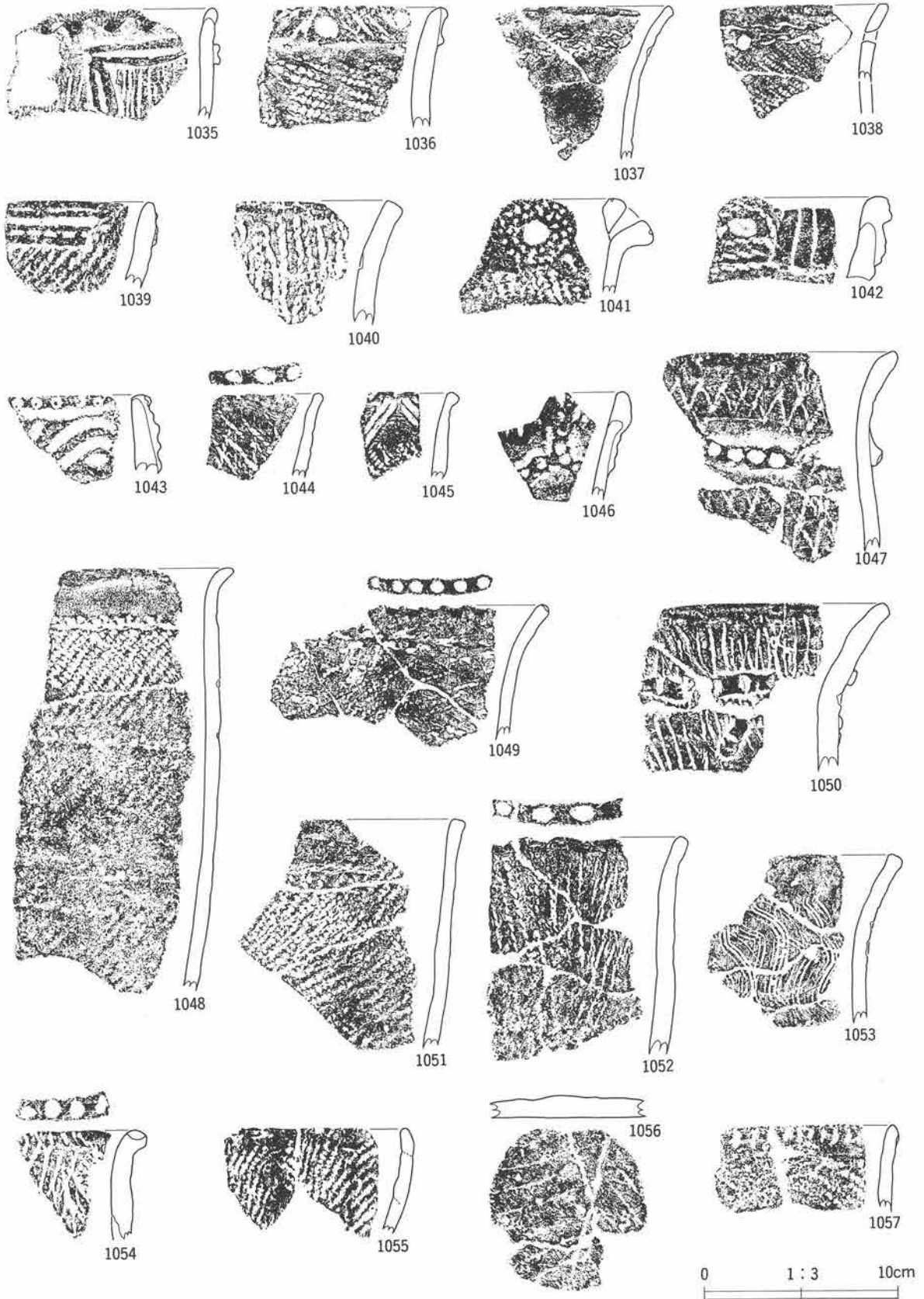
0 1:3 10cm

第200图 土器(76) : B IV w1(2) • w2(1)



第201図 土器(7)：B IV w2(2)・w3(1)

BIVw3(2)



第202図 土器(78) : B IV w3(2)

B IV w4



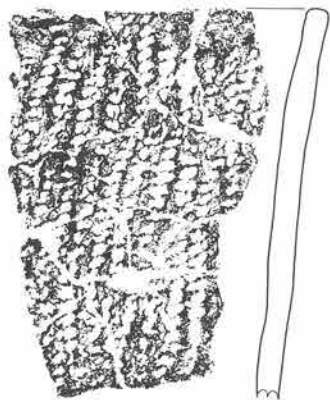
1058



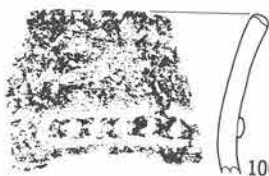
1059



1060



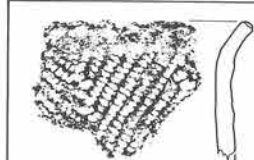
1061



1062



1063

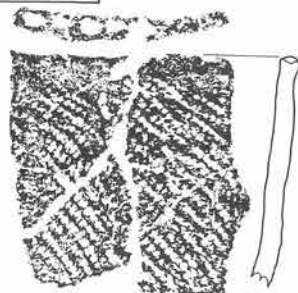


1064

B IV w5



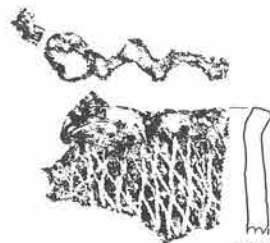
1065



1066



1067



1068



1069



1070



1071



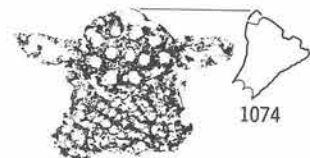
1072



1073



1074



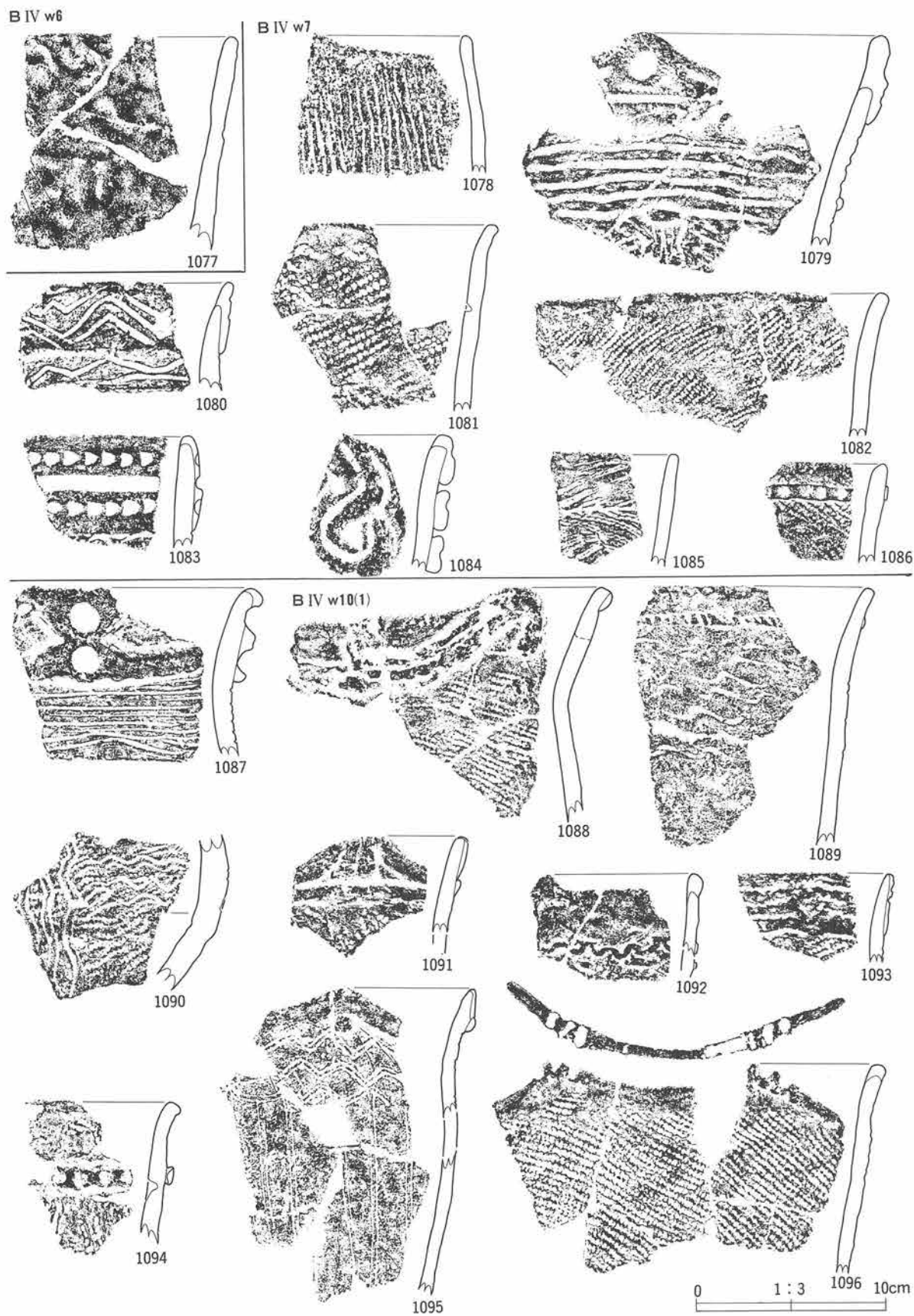
1075



1076

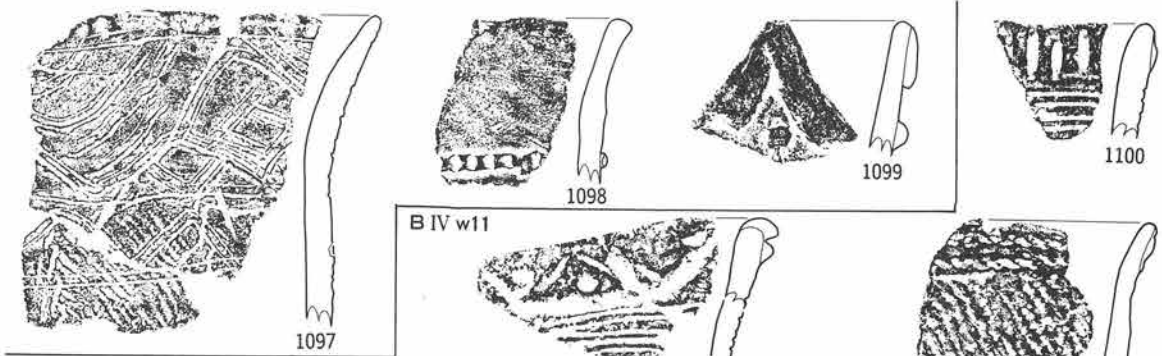


第203図 土器(79) : BIVw4・w5

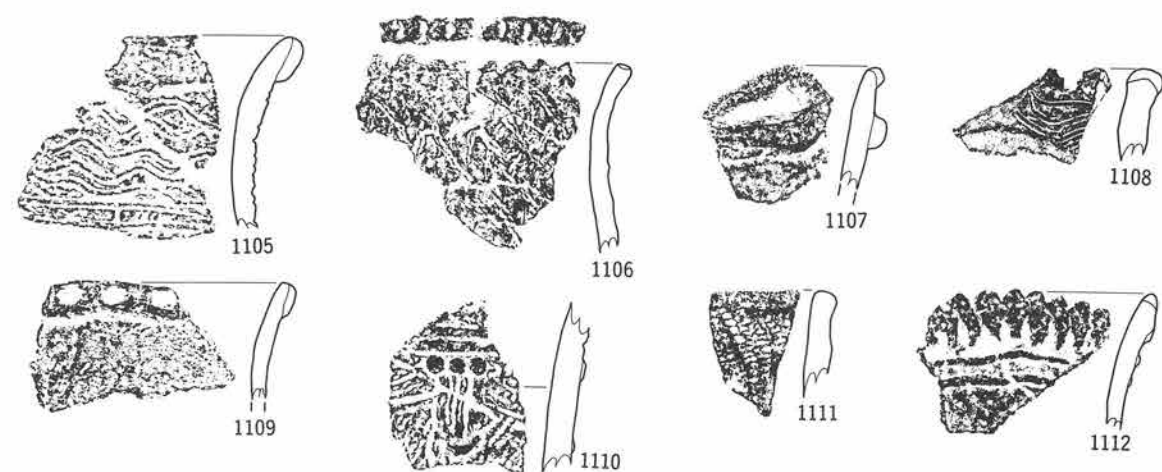
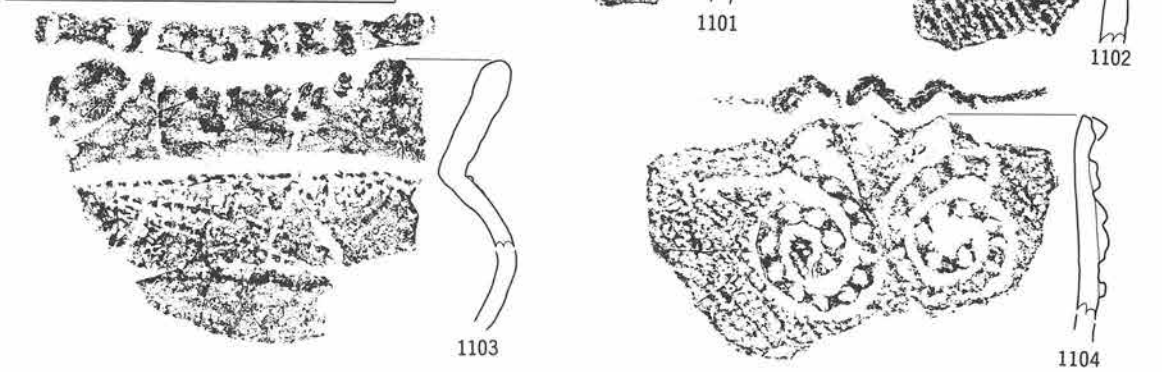


第204図 土器(80) : B IV w6・w7・w10(1)

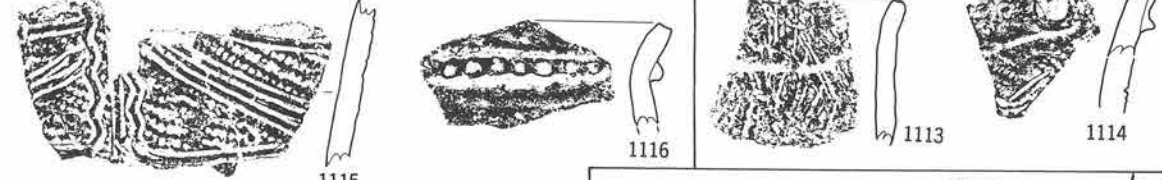
B IV w10(2)



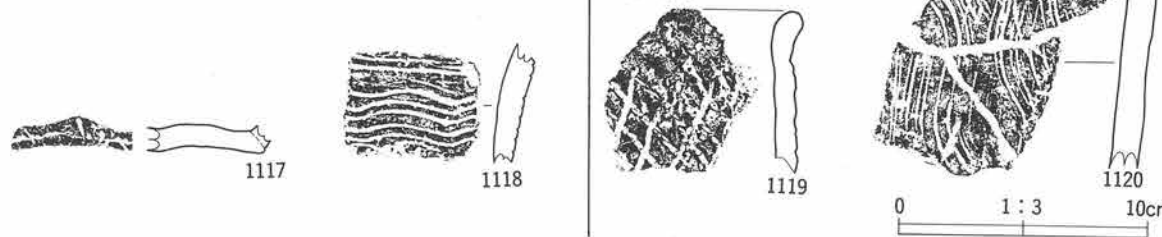
B IV w11



B IV w12



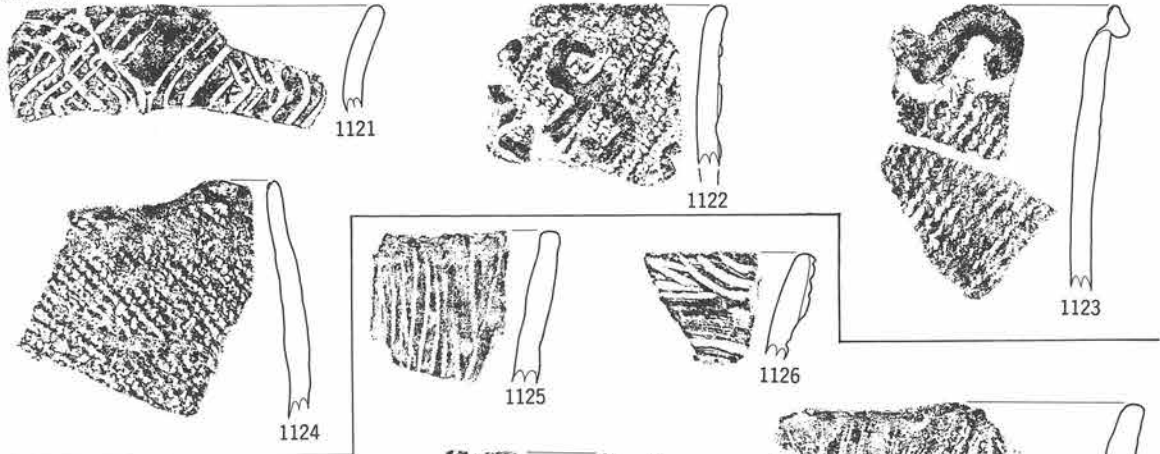
B IV x4(1)



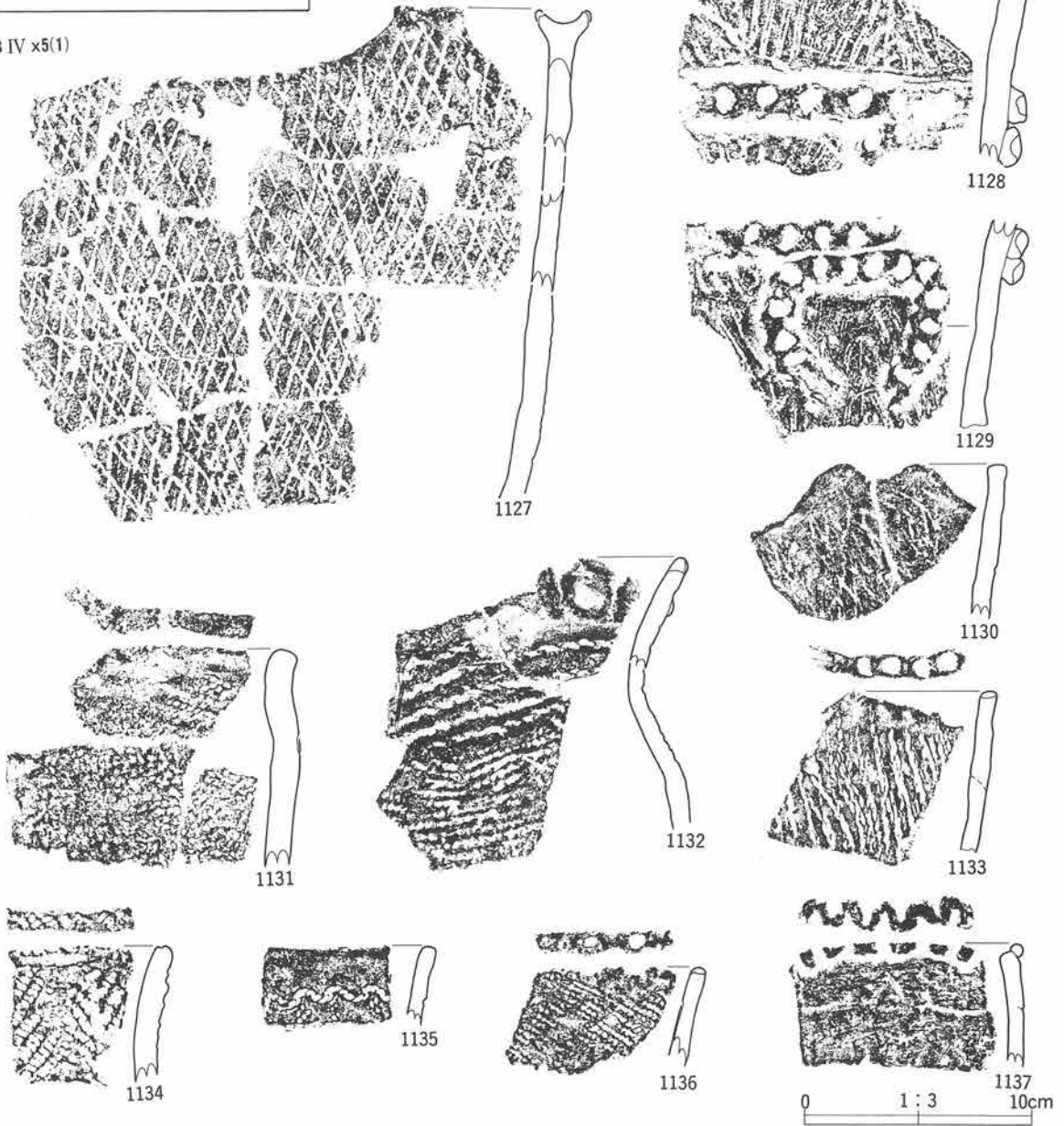
0 1:3 10cm

第205図 土器(8) : B IV w10(2)・w11・w12、x4(1)

B IV x4(2)

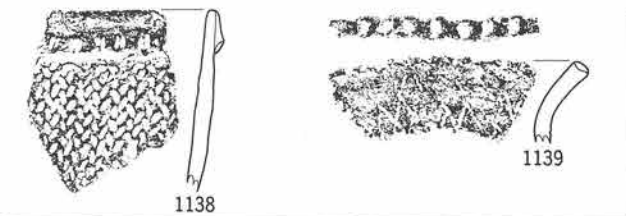


B IV x5(1)

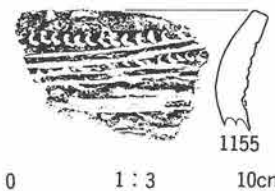
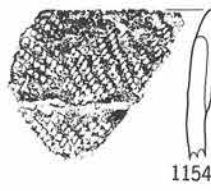
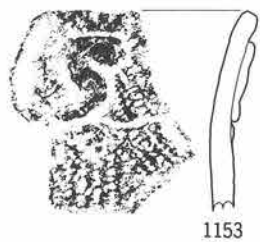
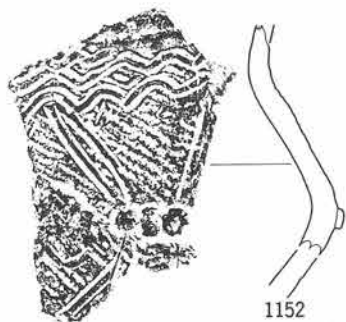
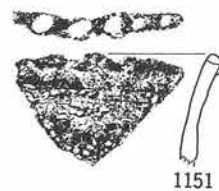
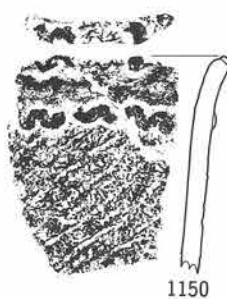
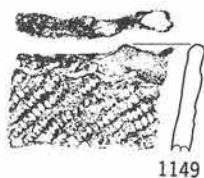
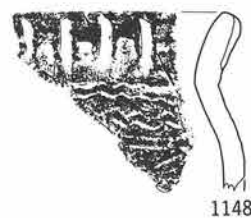
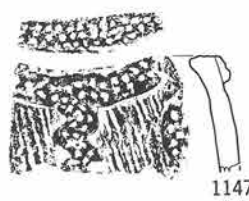
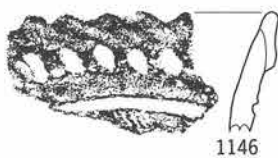
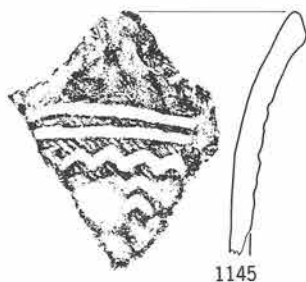
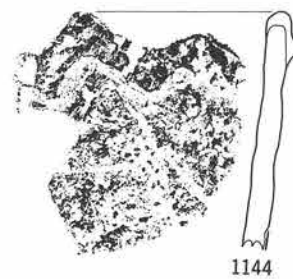
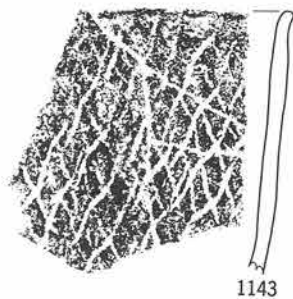
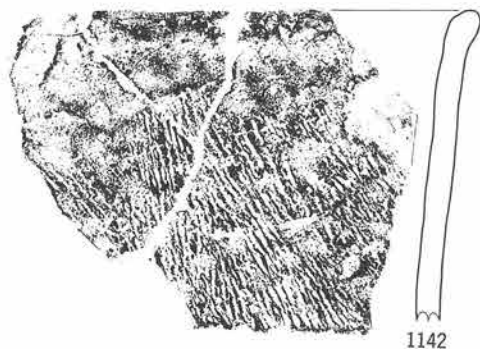
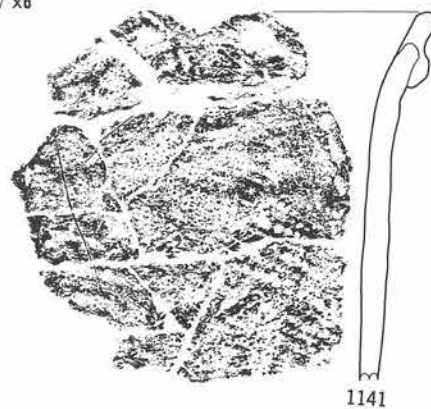


第206图 土器(2) : B IV x4(2) · x5(1)

B IV x5(2)



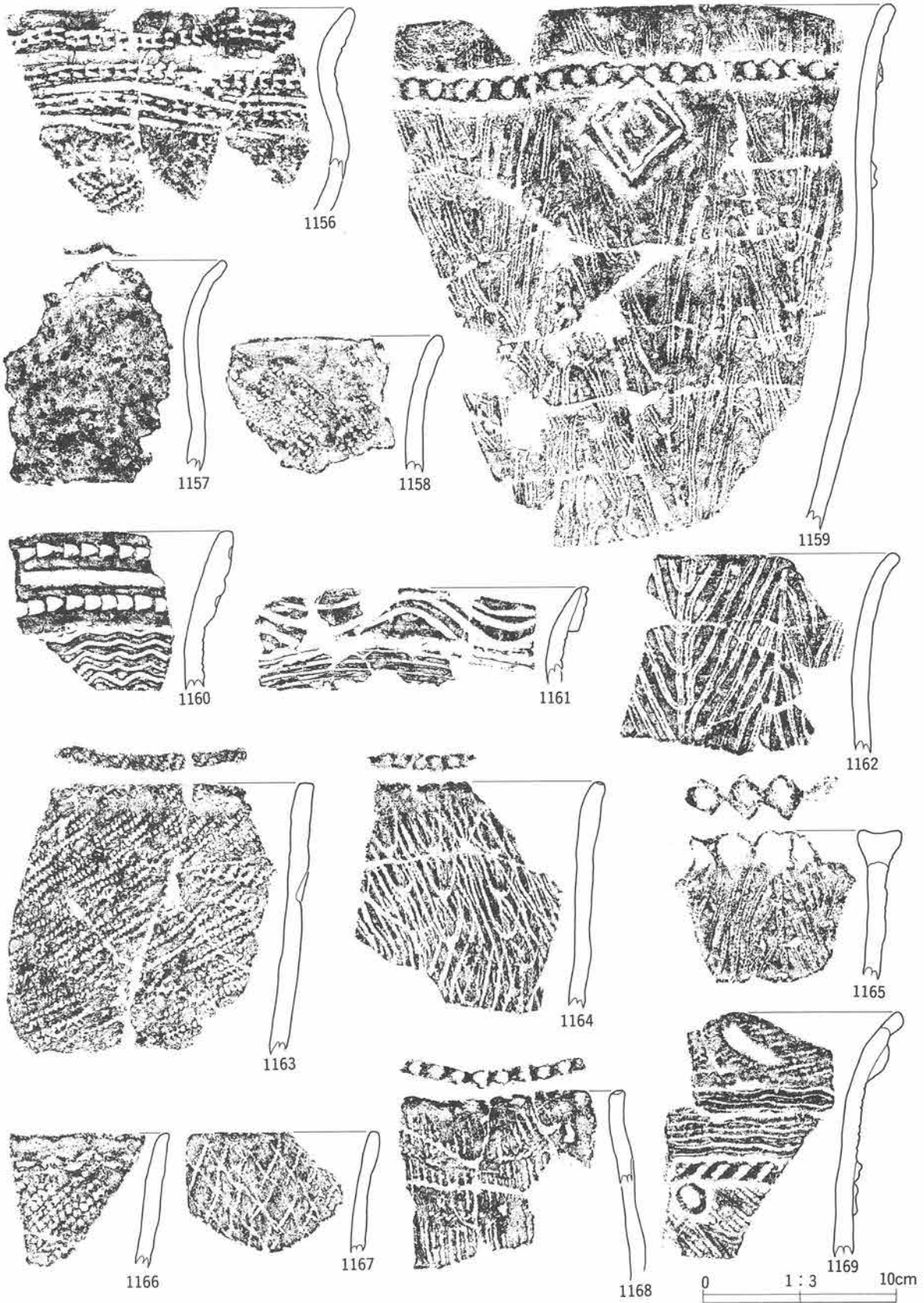
B IV x6



0 1 : 3 10cm

第207图 土器(83) : B IV x5(2) · x6

BIVx7

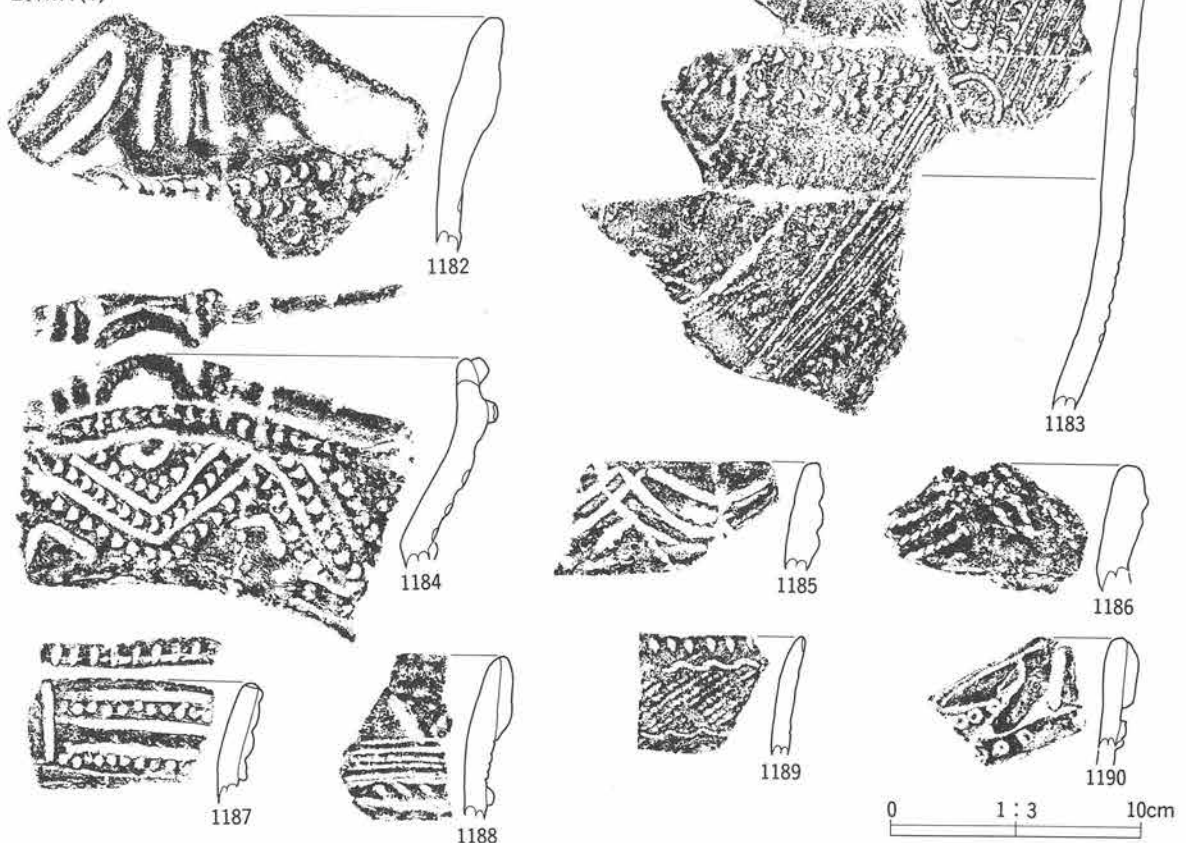


第208図 土器(84) : B IV x7

B IV x8

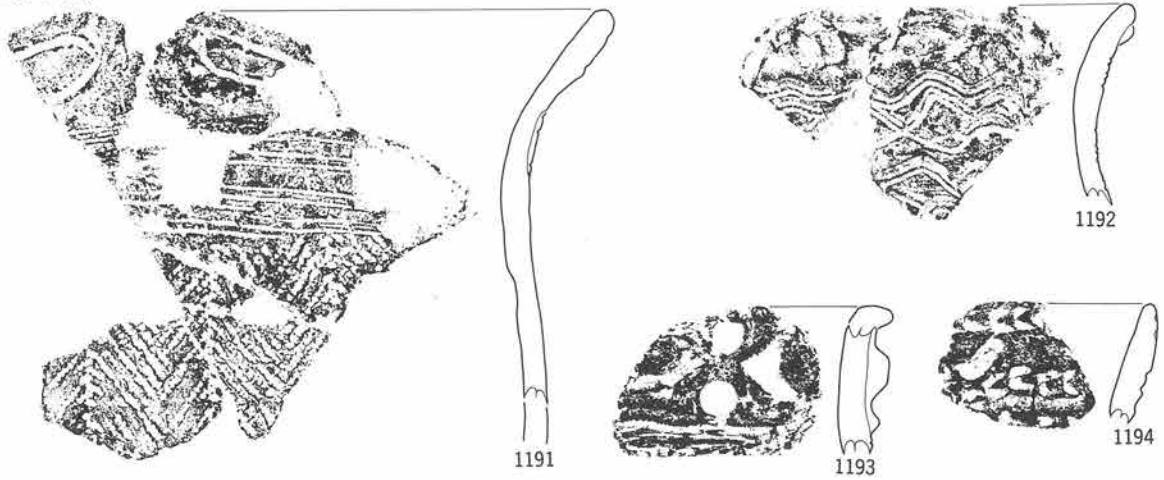


BIVx11(1)

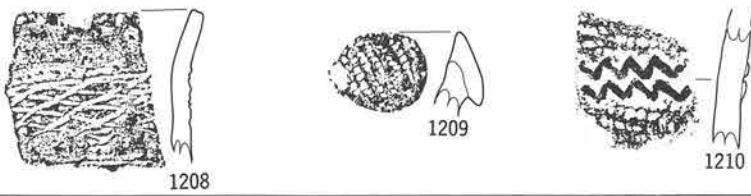
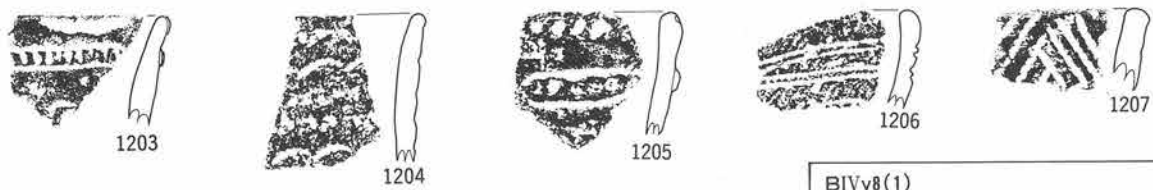
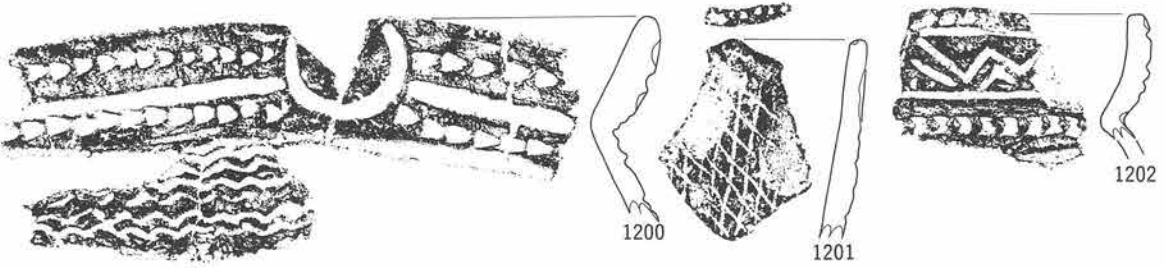
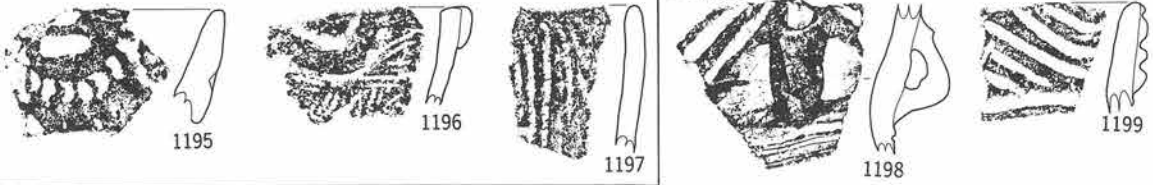


第209图 土器(85) : B IV x8 · x11(1)

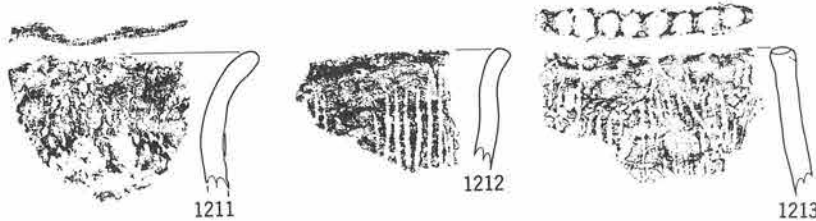
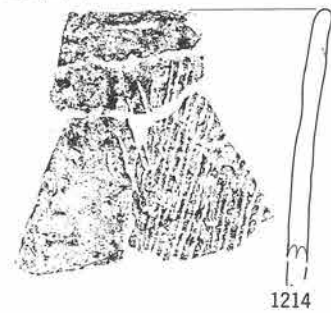
BIVx11(2)



B IV x12



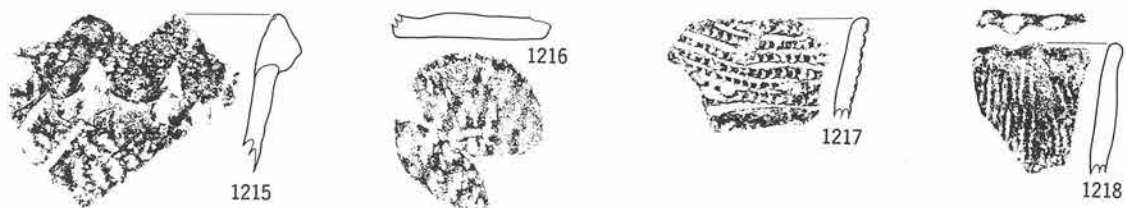
BIVy8(1)



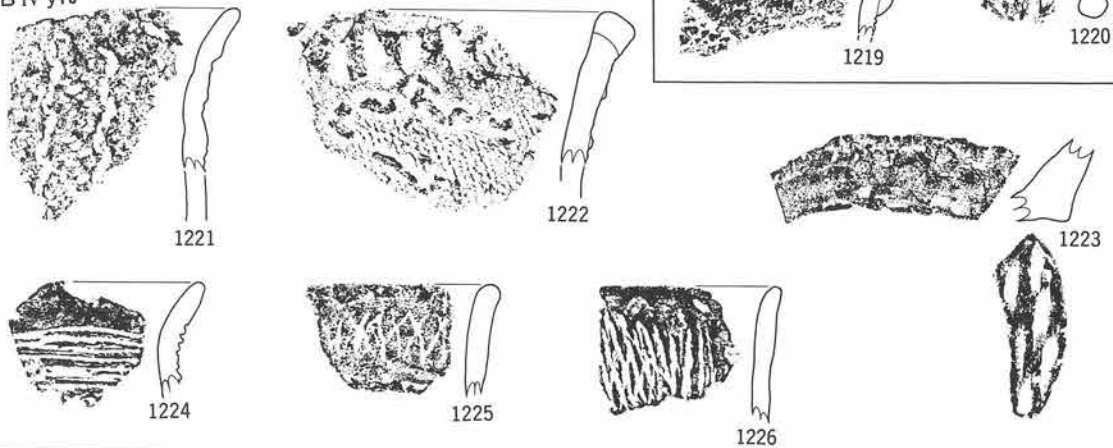
0 1 : 3 10cm

第210図 土器(86) : BIVx11(2)・x12、y8(1)

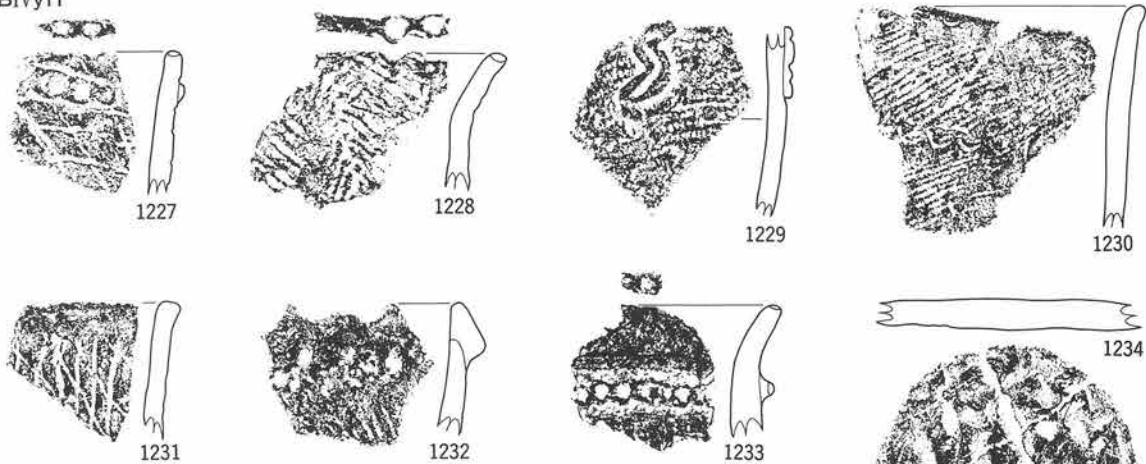
BIVy8(2)



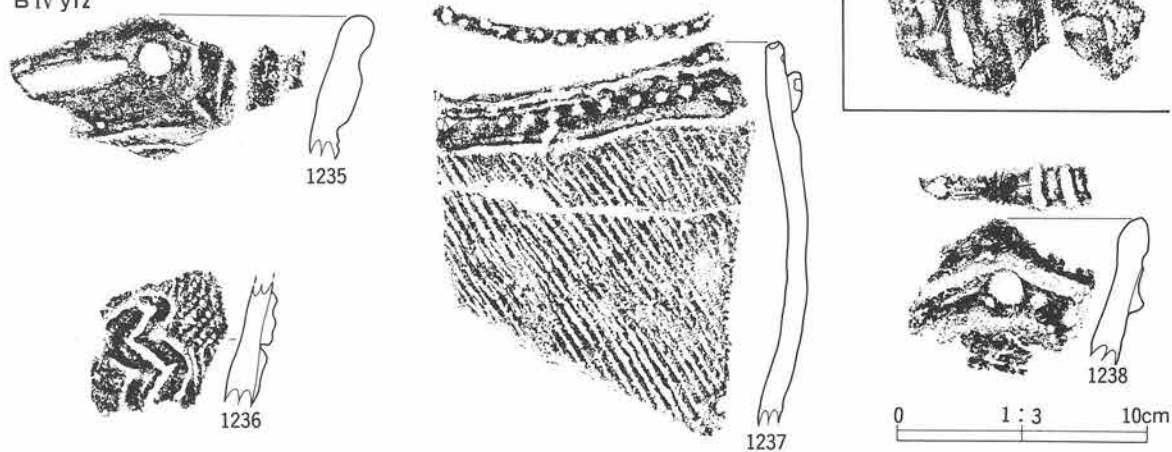
B IV y10



BIVy11

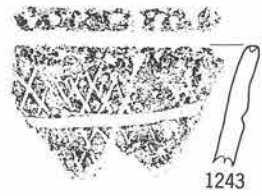
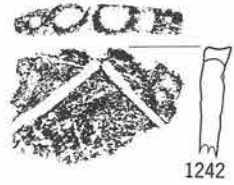
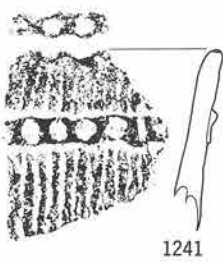
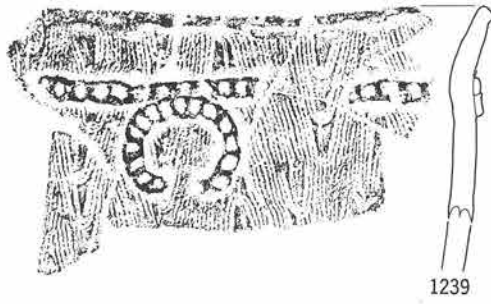


B IV y12

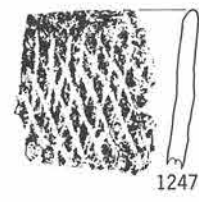
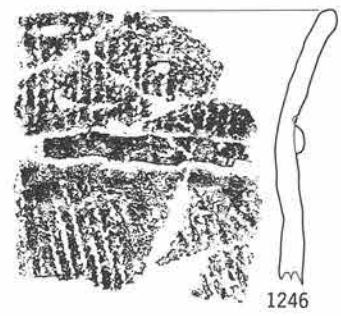
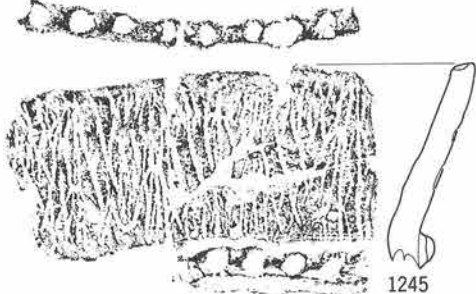


第211図 土器(87) : B IV y8(2) • y10 • y11 • y12

C IV a10



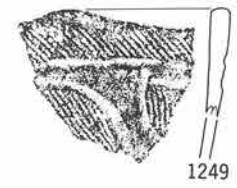
C IV a12



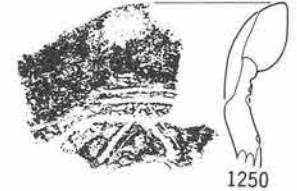
C IV c12



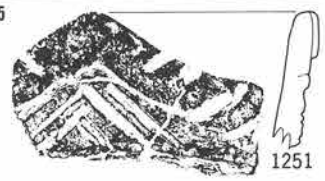
C IV d12



C IV g14



C IV h15



0 1 : 3 10cm

第212図 土器(88) : C IV a10・a11・a12、c12、d12、g14、h15

2. 土製品 (第213図、写真図版123:1253~1258)

土製品は6点が出土している。内訳は土偶3点、土玉3点である。土偶は、RA04住居跡・RD19土坑の埋土中からとBIV w25のI d層からの出土で、他の遺物と混在して出土している。いずれも欠損品で、胸部下半を欠損している。全体の形状は板状を呈し、頭部と腕部がわずかに突出する。顔部・胸部・腕部に穿孔があり、その部分を起点として、半截竹管による沈線により施文されている。

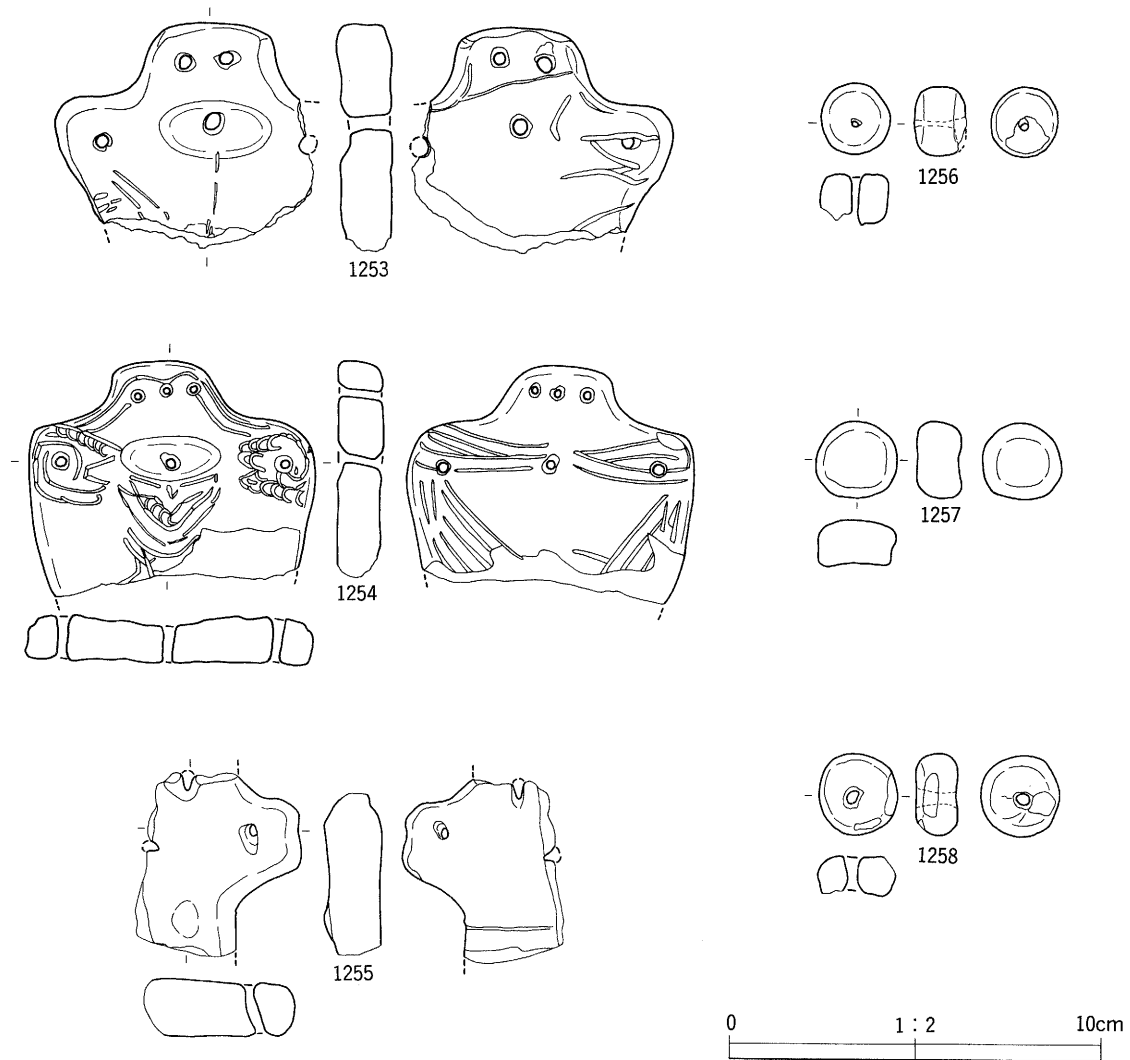
土玉は、RD06住居跡の埋土とBIV v10グリッドのI d層、BIV w6グリッドのII a層から、他の遺物と混在して出土している。径2cm、厚さ1.2~1.4cmで、重量は5g前後、色調は黄橙色を呈する。1256・1258は、中央付近に穿孔が施されている。

時期は、胎土・文様と、相伴した遺物から縄文時代前期末葉に属するものと思われる。

第5表 土製品観察表

() は残存値

図版No	掲載No	出土地点	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
213	1253	RA04	東半埋土	土偶	(6.0)	(6.9)	1.6	59.62	胸部に横長の窪み・沈線・貫通孔
213	1254	RD19	南半埋土上位	土偶	(6.4)	7.7	1.3	60.46	胸部に横長の窪み・沈線・貫通孔
213	1255	BIV w25	1層黒褐色土	土偶	(4.9)	(4.3)	1.6	31.64	貼瘤・貫通孔
213	1256	RA06	東側埋土	土玉	1.9	1.8	1.4	4.47	無文・穿孔
213	1257	BIV v10	I d層-10cm	土玉	2.0	2.1	1.2	5.03	無文
213	1258	BIV w06	II a層	土玉	2.2	2.1	1.2	4.38	無文・穿孔



第213図 土製品

3. 石器 (第140～183図、写真図版106～137：1301～2161)

石器は、大コンテナ (T40：30×40×30cm) 20箱 (総重量171.2476kg) で、製品として選別し、登録した点数は3950点である。そのうち860点を図化し、掲載した。内訳は、石鏃601点、尖頭状石器23点、尖頭器4点、石錐43点、石匙275点、石篋237点、不定形石器1020点、両極石器37点、異形石器1点、接合剥片4点、打製石斧19点、磨製石斧25点、石錘566点、敲磨器類785点 (擦石・敲打石・凹石・特殊磨石・半円状偏平打製石器)、台石・石皿類19点、石核295点である。個々の石器の計測値と石材については観察表を参照されたい。

石鏃 (第214～220図、写真図版124～128：1301～1506)

矢の先に装着して用いたと思われる石器である。601点出土しており、206点を図示した。形態的な特徴として、尖頭部と巾広の基部を有し、左右対象であること、断面形は凸レンズ状もしくは扁平である。両面を丁寧に調整しているものと周縁のみの粗い加工のものがある。大きさの平均は、長さは1.8cm～6.3cm、巾は1.0cm～1.8cm、重量は0.64g～4.42gである。基部の形態から分類が可能で、凹基無茎鏃133点・平基鏃9点・円基鏃4点・尖基鏃1点である。凹基無茎鏃が多い。各形態と時間差については不明である。欠損部位は尖頭部と基部が多い。アスファルトなど付着物を確認できたものはない。石材は、頁岩 (180)・珪質頁岩 (2)・凝灰岩 (20)・流紋岩 (1)・赤色細粒珪質岩 (1)・緑色凝灰岩 (2) が使用されており、頁岩が多く用いられている。

尖頭状石器 (第220・221図、写真図版128：1507～1510)

尖頭部を持ち、刺突具として使用された可能性があるが、石鏃より大型のものである。23点出土しており、4点を掲載した。石材は、頁岩 (3)・粘板岩 (1) が使用されている。

尖頭器 (第221図、写真図版128：1511～1514)

尖頭部を持ち、刺突具として使用されたと考えられるもので、石鏃より大型のもので石槍状のものである。出土した4点を掲載した。完形品は1514のみで他は欠損している。石材は頁岩 (4) が使用されている。

石錐 (第221図、写真図版128：1515～1523)

穿孔具として使われた可能性の高いものである。剥片の素材を残し、一端に加工を施し、錐部を作っているもの、棒状のもの、摘みを有するものがある。錐部の断面形は、菱形や四角形である。43点出土しており、9点図示した。石材は、頁岩 (7)・珪質頁岩 (1)・赤色細粒珪質岩 (1) が使用されている。

石匙 (第222～230図、写真図版129：1524～1629)

両側ないし片側より抉りを入れて作った摘み部と刃部をもつ石器である。275点出土しており、106点図示した。摘み部と刃部の位置関係から、摘み部が刃部と並行に作り出されている縦型と、摘み部が刃部に直交するように作りだされている横型に形態分類が可能で、その中間的なものもある。縦型78点、横型28点で縦型が多い。欠損部位は、縦型・横型とも刃部の先端が多い。摘み部が特徴的であることから、摘み部を欠損したものについては、後述する不定形石器に含まれている可能性もある。縦型に分類したなかには先端が尖る形態 (1534・1556・1592・1621・1623・1625・1626・1627) と、小型で刃部が抉れる形態 (1548・1559・1570・1622) や異形 (1547・1654・1598)、尖頭状 (1629) の形態があり、赤色の石材 (赤色細粒珪質岩) を使用しているのが特徴である。1596の石材は黒曜石、1547・1598は赤色細粒珪質岩、1615の石材は玉髄で、特異な形態に特異な石材が選択される傾向がある。石材

は、頁岩 (82)・珪質頁岩 (5)・赤色細粒珪質岩 (12)・凝灰岩 (1)・流紋岩 (3)・玉髓 (1)・黒曜石 (1)・桂化木 (1) が使用されており、頁岩が多く用いられている。

石篋 (第231～233図、写真図版135・136：1630～1651)

平面形は、ばち形・短冊形で、一端に刃部を作り出しているものである。237点出土しており、22点掲載した。両面加工で断面形は凸レンズ状であるが、背面は全面調整で、腹面は側縁のみの加工が施されている片面加工に近いものもある (1637・1646・1648・1649)。石材は、頁岩 (18)・珪質頁岩 (1)・砂質頁岩 (1)・凝灰岩 (1)・緑色凝灰岩 (1) が使用されており、頁岩が多く用いられている。

不定形石器 (第234～239図、写真図版140：1652～1692)

定形化していない不定形な石器で、削る搔くの用途が考えられるもので、機能からすれば、削搔器と考えられるものである。1020点出土しており、41点を図示した。刃部の形成される状況から次の形態分類が可能で、1側縁ないし2側縁に直線的な刃部を有するもの (削器)、端部に凸状で急斜度の刃部を形成しているもの (搔器) に分類でき、なかには両方の刃部を併せ持つものもある。刃部が形成される面は背面が多い。石材は、頁岩 (38)・珪質頁岩 (1)・赤色細粒珪質岩 (1)・凝灰岩 (1) が使用されており、頁岩が多く用いられる。

両極石器 (第239図、写真図版140：1693～1696)

対向する2側縁あるいは4側縁に相対する剝離をもつ石器で、両極打法によりつくられたものである。37点出土しており、4点を掲載した。形状は方形ないし台形状を呈し、大きさは、1.7～3.6cm、重さは、0.6～2.8g前後である。石材は、頁岩 (2)・珪質頁岩 (2) が用されており、頁岩が多く用いられている。

異形石器 (第239図、写真図版140：1697)

剝片石器で、定形的な規格から外れるもので1点を掲載する。1697は2段の尖頭状の石器のようでもあるがここで扱った。他に定形石器に分類されたなかにも類似例があると思われる。石材は玉髓が使用されている。

接合資料 (第240～242図、写真図版140：1698～1708)

接合した剝片・石核類で、接合した資料4点を掲載した。いずれも RF04焼土中からの出土で、石材はいずれも頁岩で同一のものである。なお掲載した以外に接合しない同様の剝片も10点、232.81g出土している。接合資料1は石核に剝片が1点が接合している。資料2は4点の剝片、資料3は3点の剝片が、資料4は2点の剝片が接合している。1708の剝片には刃部加工が加えられている。石材はいずれも頁岩である。

打製石斧 (第243図、写真図版141・142：1709～1714)

打製により石斧の形状に整えたものである。19点出土しており、6点を図示した。平面形は、ばち形を呈するものが多く、断面形は凸レンズ状を呈する。両面加工が多いが、1713・1714は整形の剝離が全面に及ばず、一部に素材の面が残る。石材は頁岩 (2)・流紋岩 (1)・ペグマタイト (2)・ホルンフェルス (1) である。

磨製石斧 (第244図、写真図版143：1715～1724)

研磨により石斧の形状に整えたものである。破片を含め25点出土しており、10点図示した。基部のみ刃部

のみなど欠損しているものが多い。1723・1724は小型のもので石盤状のものである。石材は頁岩（6）・砂質頁岩（1）・流紋岩（1）・角閃石安山岩（1）・ホルンヘルス（1）が使用されており、頁岩が多く用いられている。

石錘（第245～267図、182図、写真図版144～160：1725～1941）

扁平な礫の長軸あるいは短軸の方向の両端に打ち欠きにより、抉りを入れた石器である。566点出土しており、217点を図示した。敲磨器類（擦石・凹石）との兼用も14点ある。欠損品の割合は少なく、欠損状況にも著しい偏りは見られない。打ち欠きの箇所には、長軸の両端（I）、長軸の両端と短軸の一端（I'）、短軸の両端（II）、短軸両端と長軸の一端（II'）長軸と短軸（III）の種類があり、II類の占める割合が高い。

石材は、頁岩（1）・安山岩（65）・花崗閃緑岩（8）・ホルンヘルス（3）緑色凝灰岩（16）・デイサイト（9）・凝灰岩（52）・流紋岩（3）・細粒閃緑岩（30）・凝灰角礫岩（10）・砂岩（13）・斑岩（3）・安山岩（岩脈）（3）・玢岩（1）が使用されており、安山岩・凝灰岩・細粒閃緑岩が多く用いられている。

敲磨器類（第268～301図、写真図版161～186：1942～2157）

自然礫のままの形状を素材として利用し、その一部に、擦る・敲くなどの用途から、擦面・敲打痕・凹などの使用痕を有する石器である。使用痕は複合しているものが多いため「敲磨器類」として一括し、以下に細分して報告する。本遺跡で出土した、形態・使用痕から、大きく2つに大別が可能である。

A類：円形基調あるいは棒状を基調とした礫を素材とし、平坦面や側面が端部を使用した石器である。従来、「擦石」「敲石」「凹石」と呼ばれてきたものである。

B類：断面が三角形あるいは、扁平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。従来、「半円状扁平打製石器」、「特殊磨石」と呼ばれてきたものが含まれる。

敲磨器A類a：擦石（第268図、写真図版161：1142～1947）

円形基調の自然礫の一部や全部に擦痕を有する礫である。202点出土しており、6点を掲載した。敲打石や凹石との複合石器のものもある。石材は安山岩が使用されている。

敲磨器A類b：敲打石（第269図、写真図版161・162：1948～1954）

円形基調の自然礫の一部や全部に敲打痕を有する礫である。25点出土しており、7点を掲載した。円形基調の礫の周縁に敲打痕を有するものと、礫の一端または両端に敲打痕を有するものがある。礫の端部に敲打に伴う剥離が観察されるものもここに含めた（1948）。石材は、安山岩（3）・花崗閃緑岩（2）・緑色凝灰岩（1）・ホルンフェルス（1）で、安山岩・花崗閃緑岩が多く用いられている。

敲磨器A類c：凹石（第270～283図、写真図版162～171：1955～2046）

円形基調や棒状の自然礫の片面や両面あるいは複数面に敲打による凹を有する石器である。243点出土しており、92点を掲載した。凹の形状には円錐状、溝状、敲打が浅く凹に至らないものがある。使用される礫の形状は円形基調のものと棒状のものがある。石材は、安山岩（44）・花崗閃緑岩（13）・凝灰岩（13）・凝灰角礫岩（9）・デイサイト（4）・砂岩（3）・玢岩（2）・流紋岩（1）・細粒閃緑岩（1）・礫岩（1）・緑色凝灰岩（1）が使用されており、安山岩が多く用いられている。

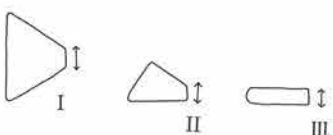
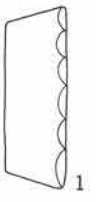
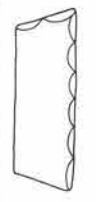
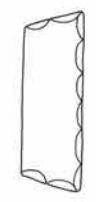
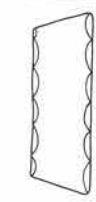

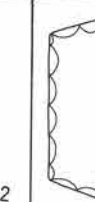
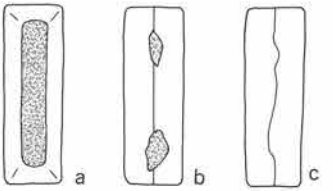

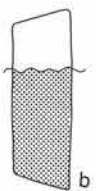
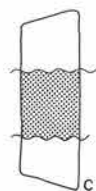
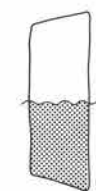


敲磨器B類 (第284～301図、写真図版172～186：2047～2157)

断面が三角形あるいは扁平な礫を素材として、一側縁あるいは複数の側縁を使用している石器である。315点出土しており、111点を図示した。断面形状・使用痕跡・礫の加工状況で分類が可能である。

礫の断面形状 (I：三角形あるいは方形。II：膨らみがある。III：扁平)

使用痕跡(a：一定幅の擦面をもつ。b：不規則な擦面をもつ。c：擦面をもち、両面からの打ち欠きによる刃部をもつ。

礫の加工状況 (1：素材をその使用し、加工無し。2：一部に加工あり。3：全体に加工を施す。)

断面の形状	周縁の加工状況					
						
機能面	欠損状況					
						

敲磨器B類の分類模式図

上記の分類ではI類の占める割合が高い。また素材となる礫の形状と加工痕・機能面との間には、以下のような特徴的な組み合わせがみられる。

I類 (71点)：使用痕は、一定の幅の擦面をもち、素材にはほとんど加工を施されない (I a類)。

II類 (35点)：使用痕は、一定の幅の擦面か、不規則な擦面と剝離による稜線を併せもつ (II a・b類)。

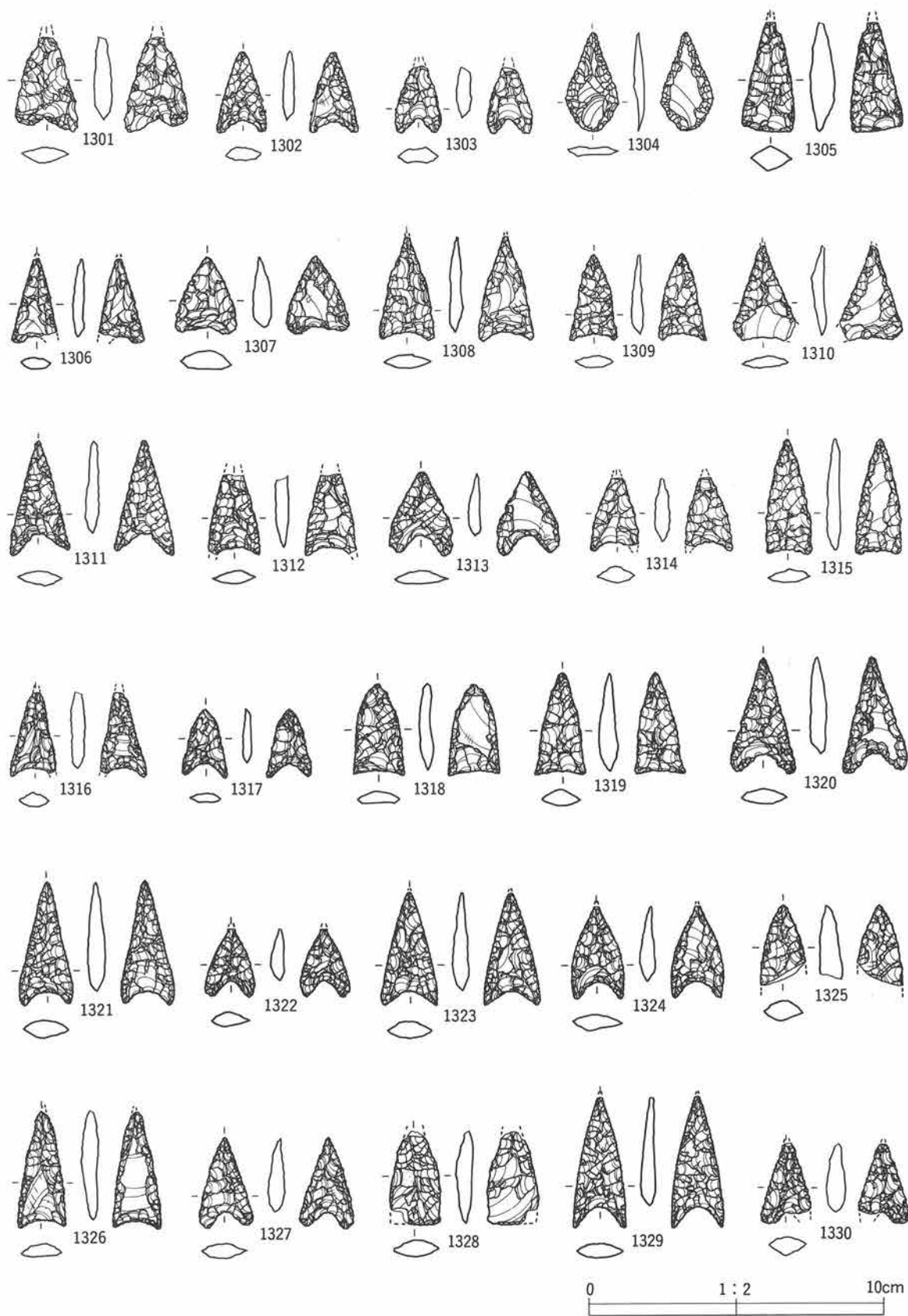
III類 (5点)：使用痕は、一定の幅の擦面 (III a類) か、不規則な擦面と剝離による稜線を併せもつ (III b類)。素材は加工されたものが多い。

擦面の幅は、最大4.2cm (2027)、最小0.3cm (2065)で、平均1.1cmほどである。重量分布は、最大1519g (2140)、最小95.4g (2142)で、平均753gである。残存状況については、掲載した111点のうち、31点 (27%) が欠損品である。欠損状況には大きく4つのタイプがあるが、ほぼ中央付近で欠損 (半欠) するもの (d：11例) と、一端を欠損するもの (b：9例、e：9例) が多い。

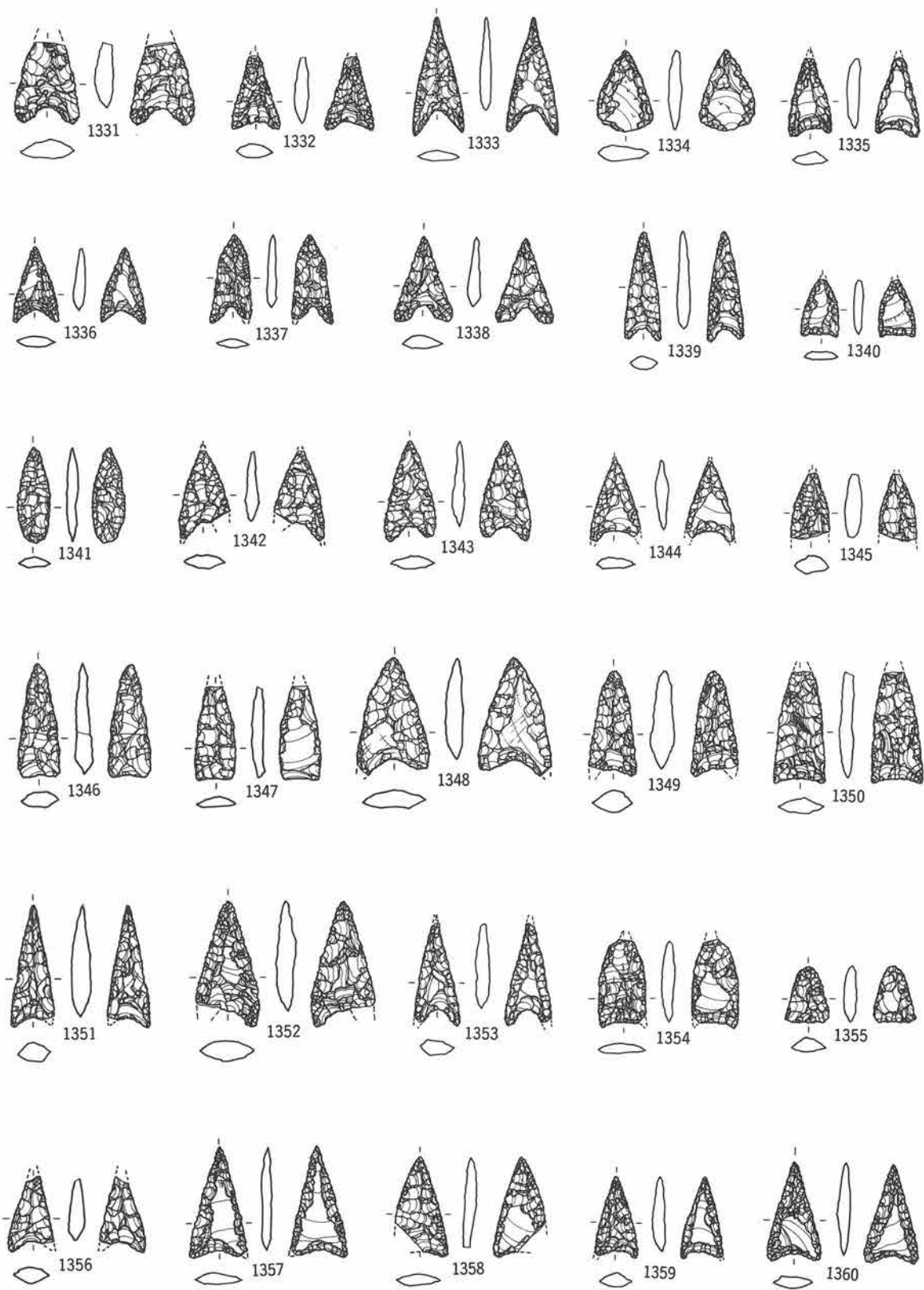
石材は、安山岩 (72)・細粒閃緑岩 (15)・デイサイト (5)・粉岩 (4)・砂岩 (3)・凝灰岩 (3)・花崗閃緑岩 (3)・流紋岩 (2)・頁岩 (1)・斑岩 (1)・緑色凝灰岩 (1)・ホルンフェルス (1) が用いられている。

台石・石皿 (第302・303図、写真図版187：2158～2161)

19点出土しており、4点掲載した。2158は扁平な自然礫の平坦な面に擦痕を有する石器である。2159は、明瞭な加工痕をもたないが、片面に平坦な面をもつ。2160は円形を呈する礫の両端に溝状の凹みと、一面に擦痕・敲打痕がある。素材の礫はかなり脆い。2161は一面が緩く凹み、皿状の用途が考えられる。炉石として使用され、一部に火を受けて中央で欠損している。石材は緑色凝灰岩・砂岩・安山岩・デイサイトである。

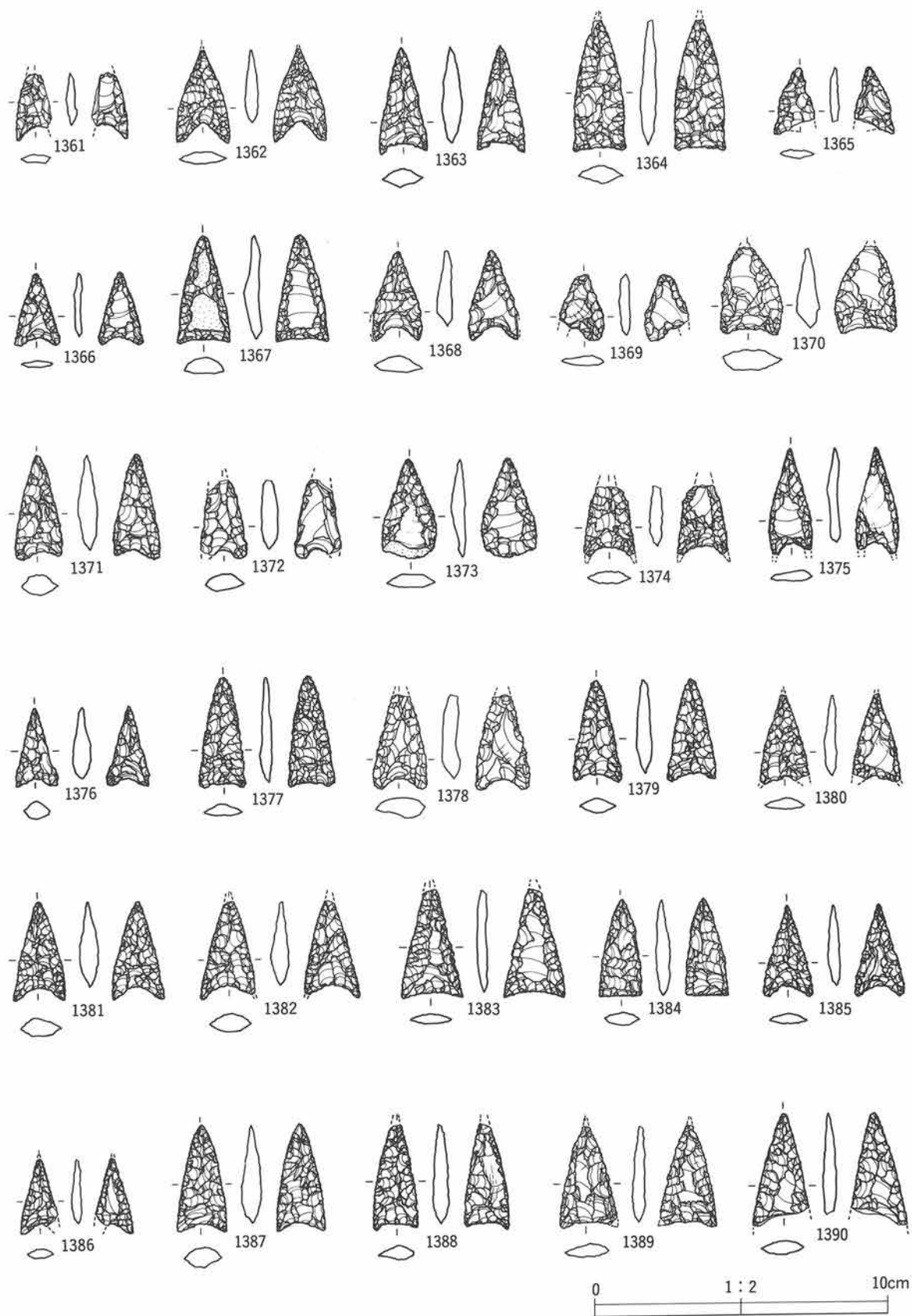


第214图 石器(1)

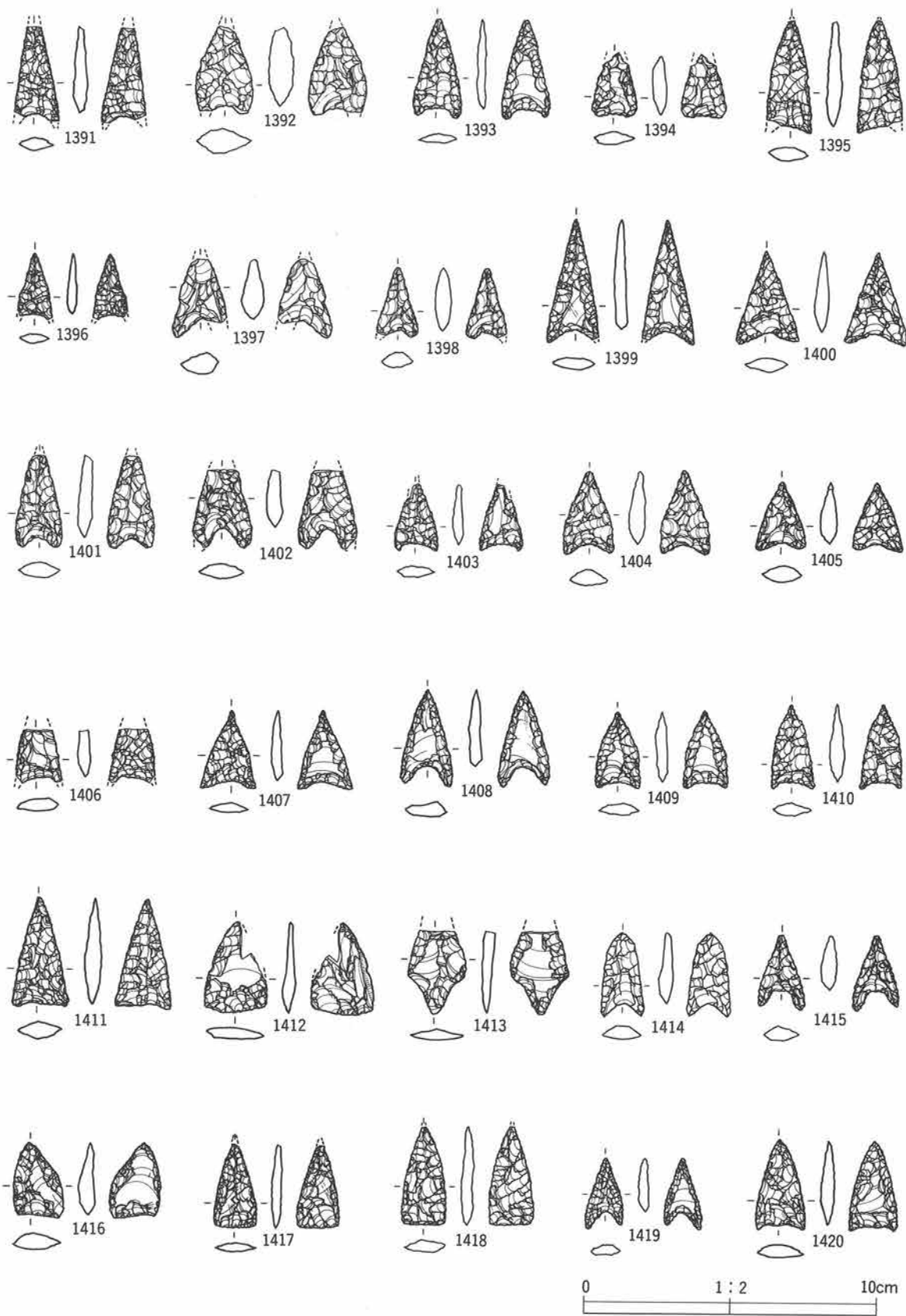


0 1:2 10cm

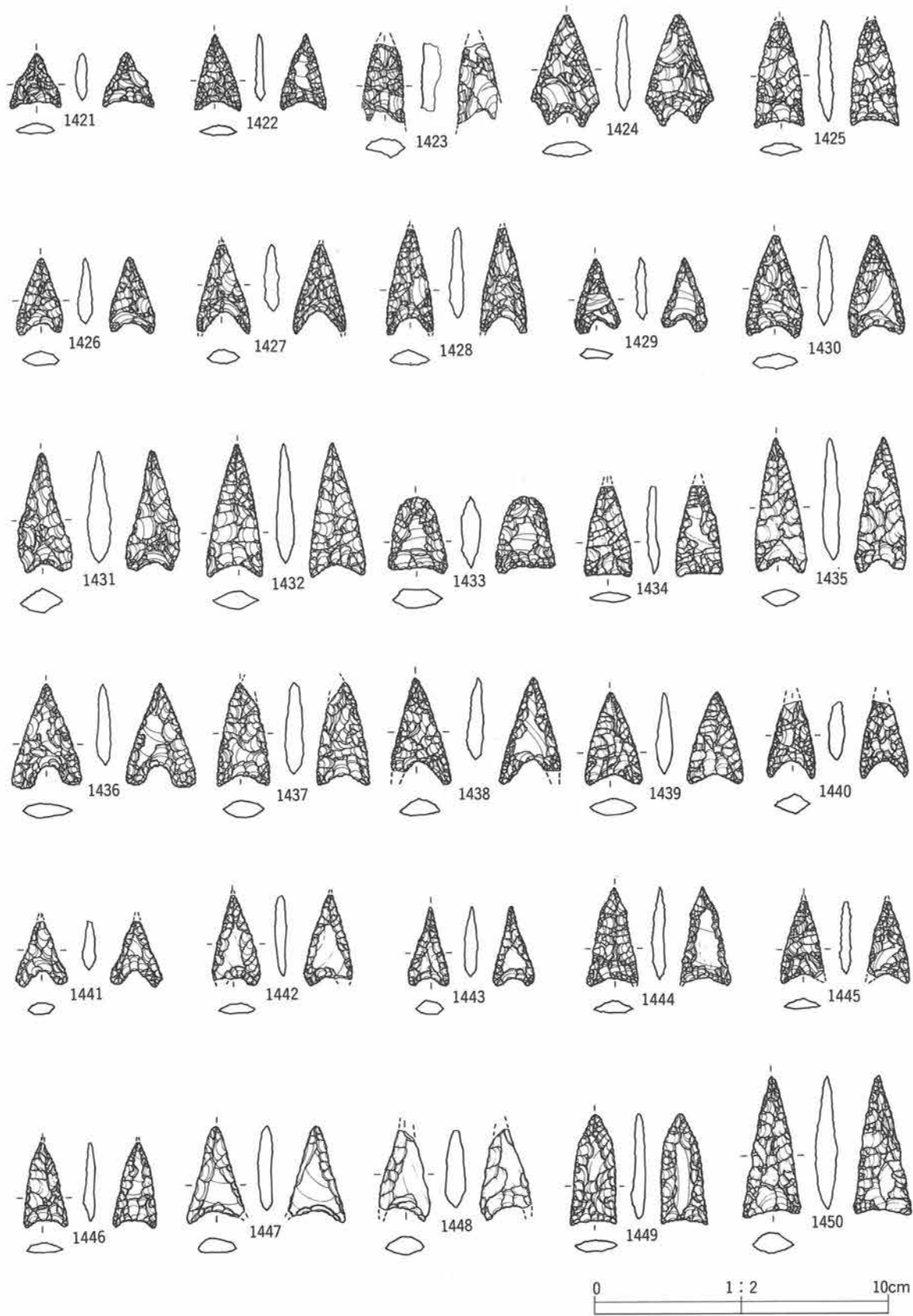
第215图 石器(2)



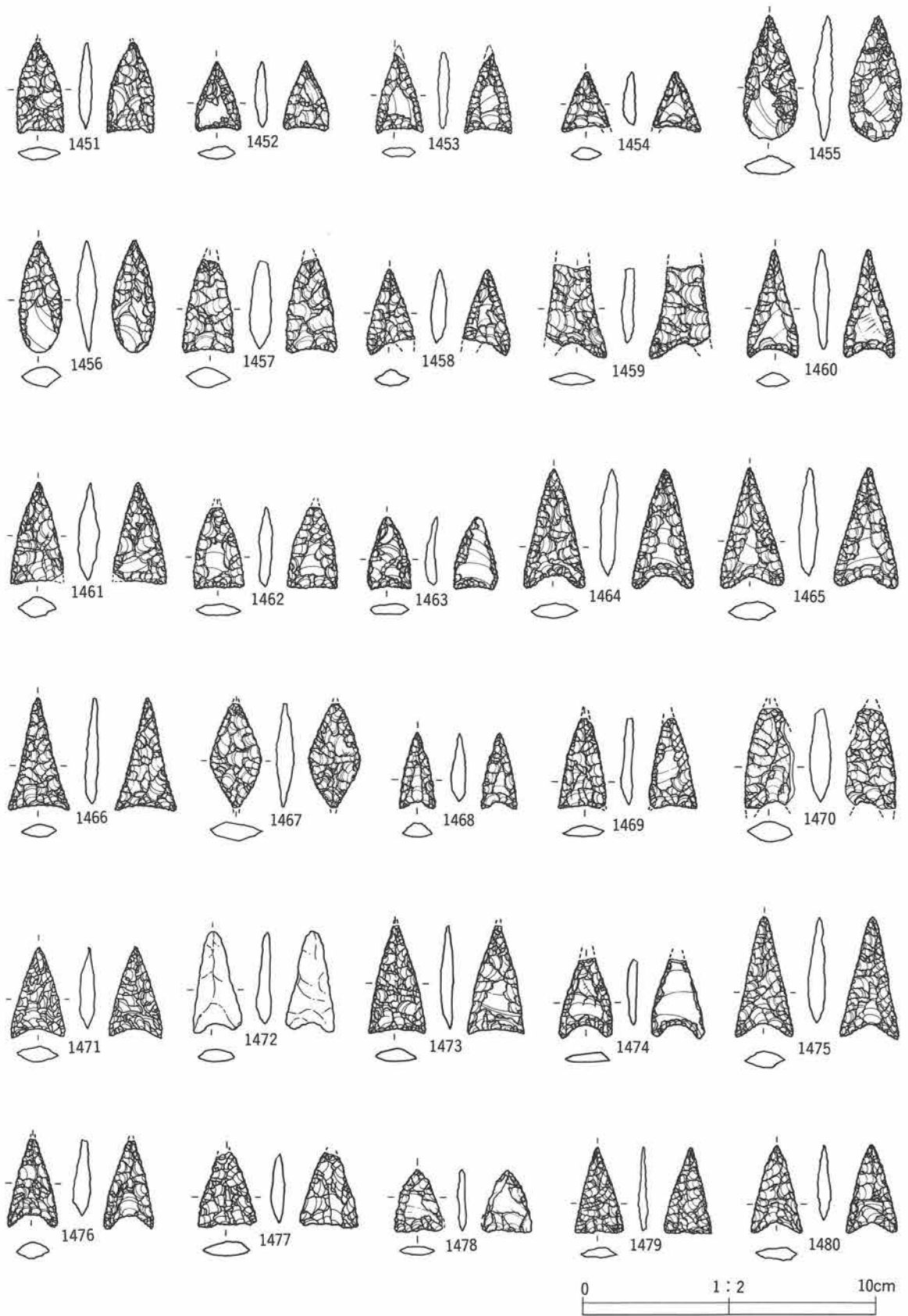
第216图 石器(3)



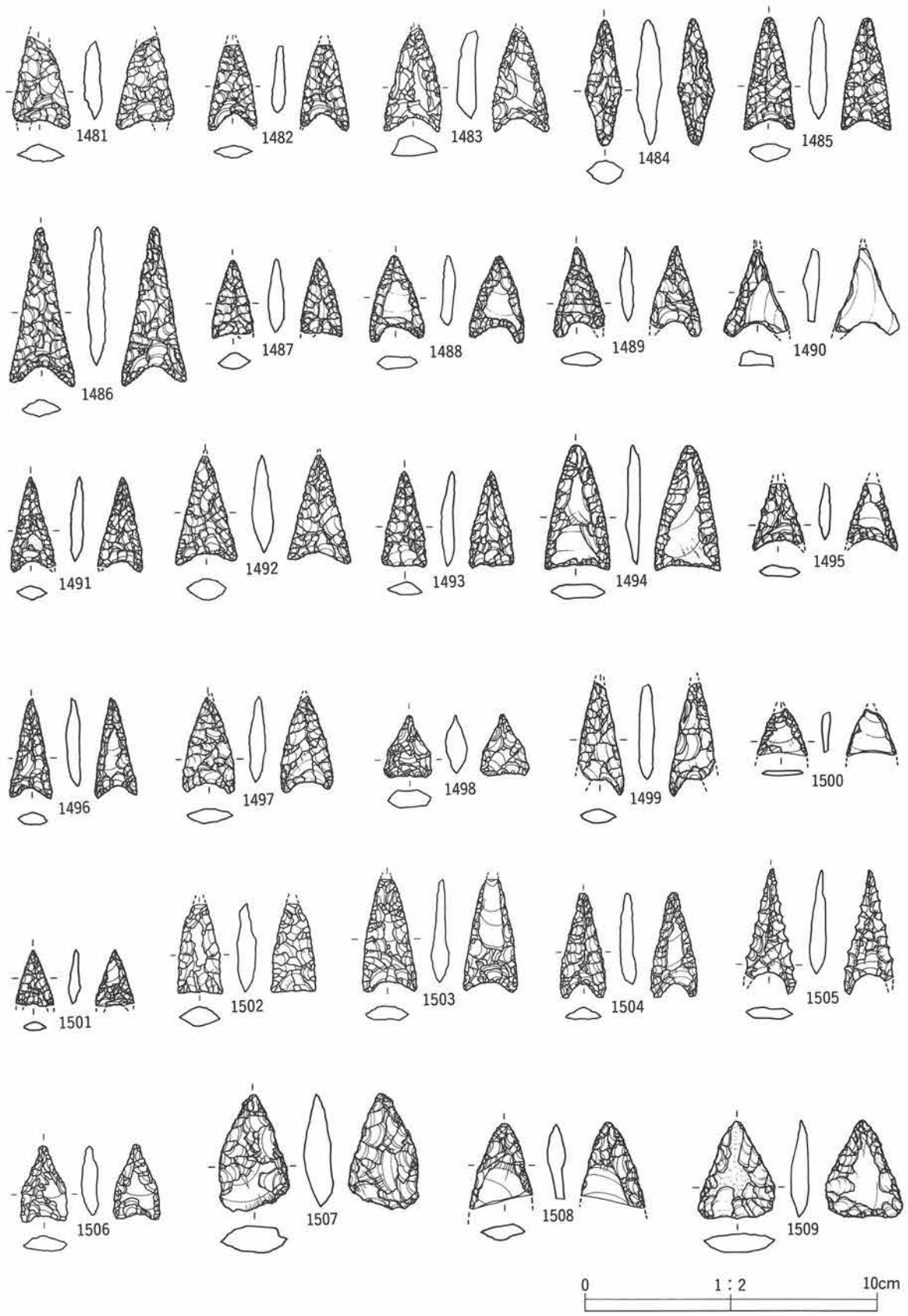
第217图 石器(4)



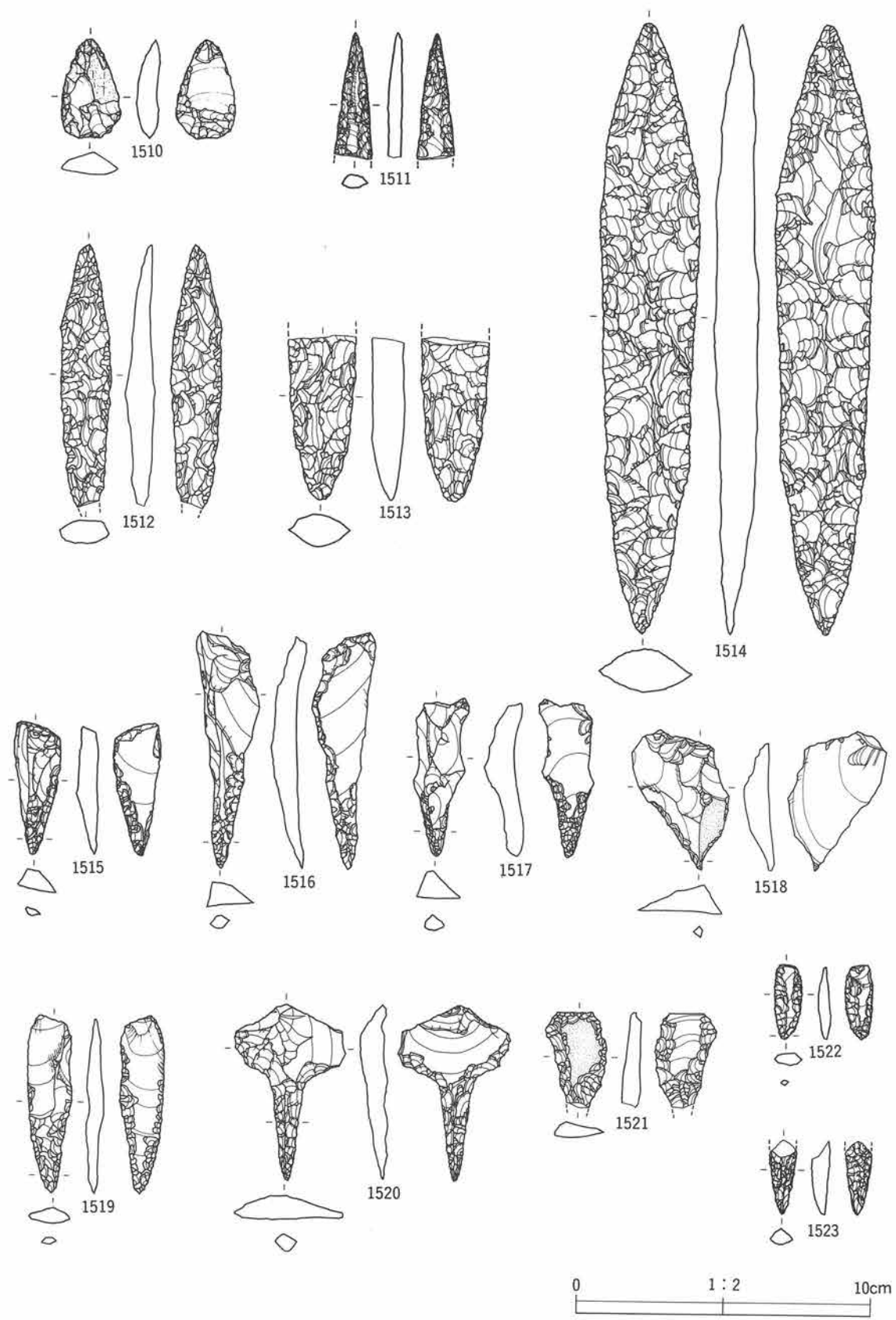
第218图 石器(5)



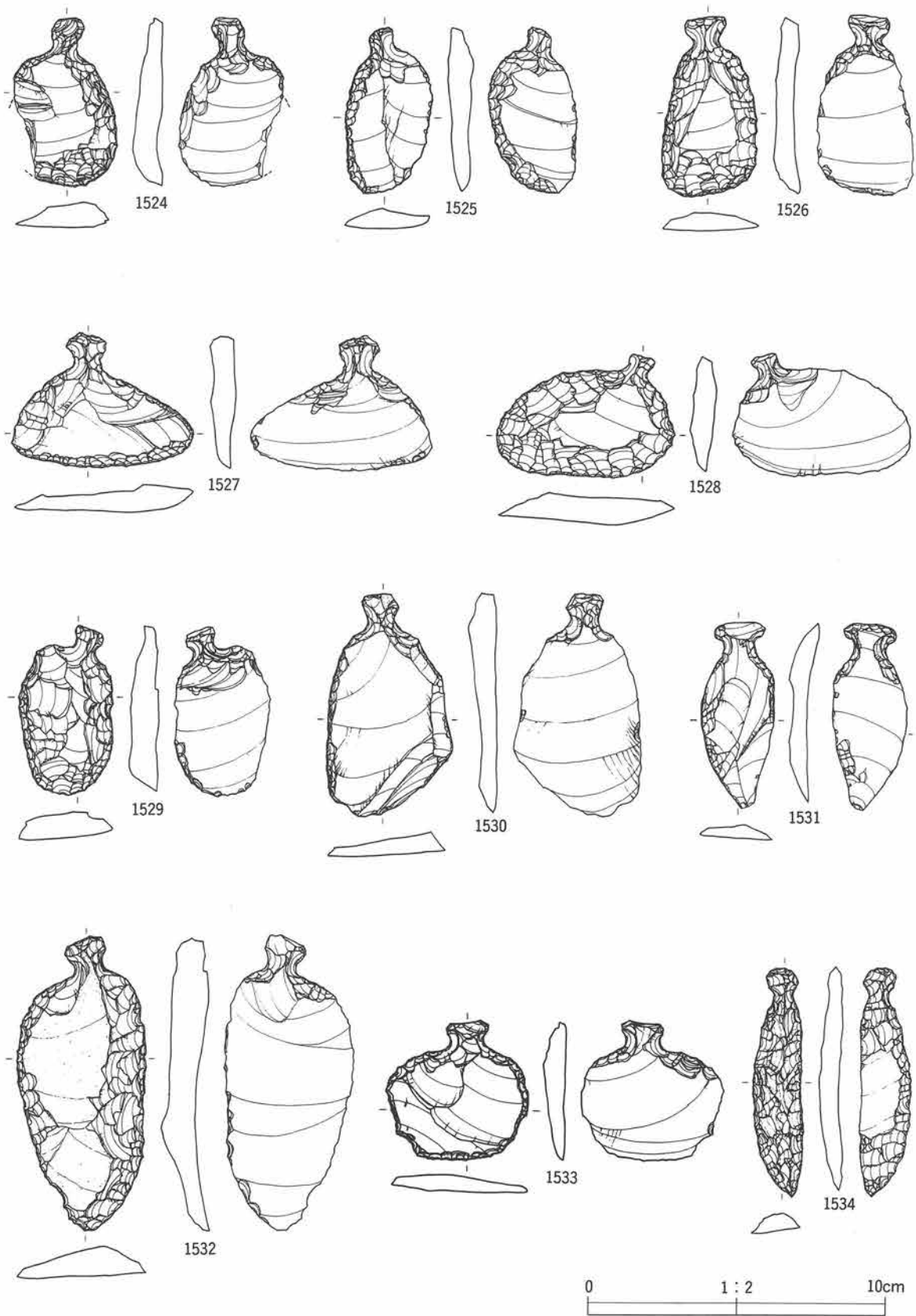
第219图 石器(6)



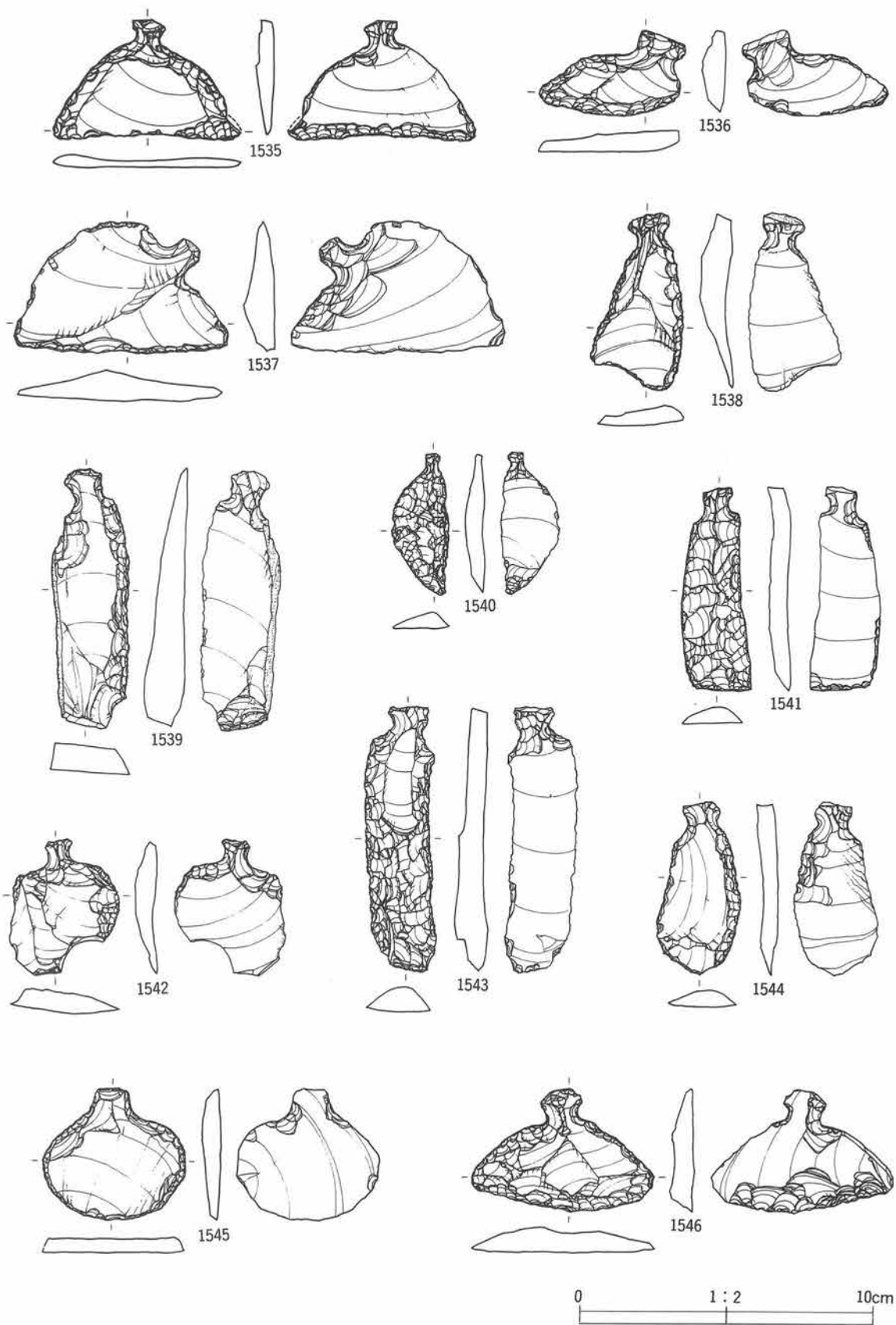
第220图 石器(7)



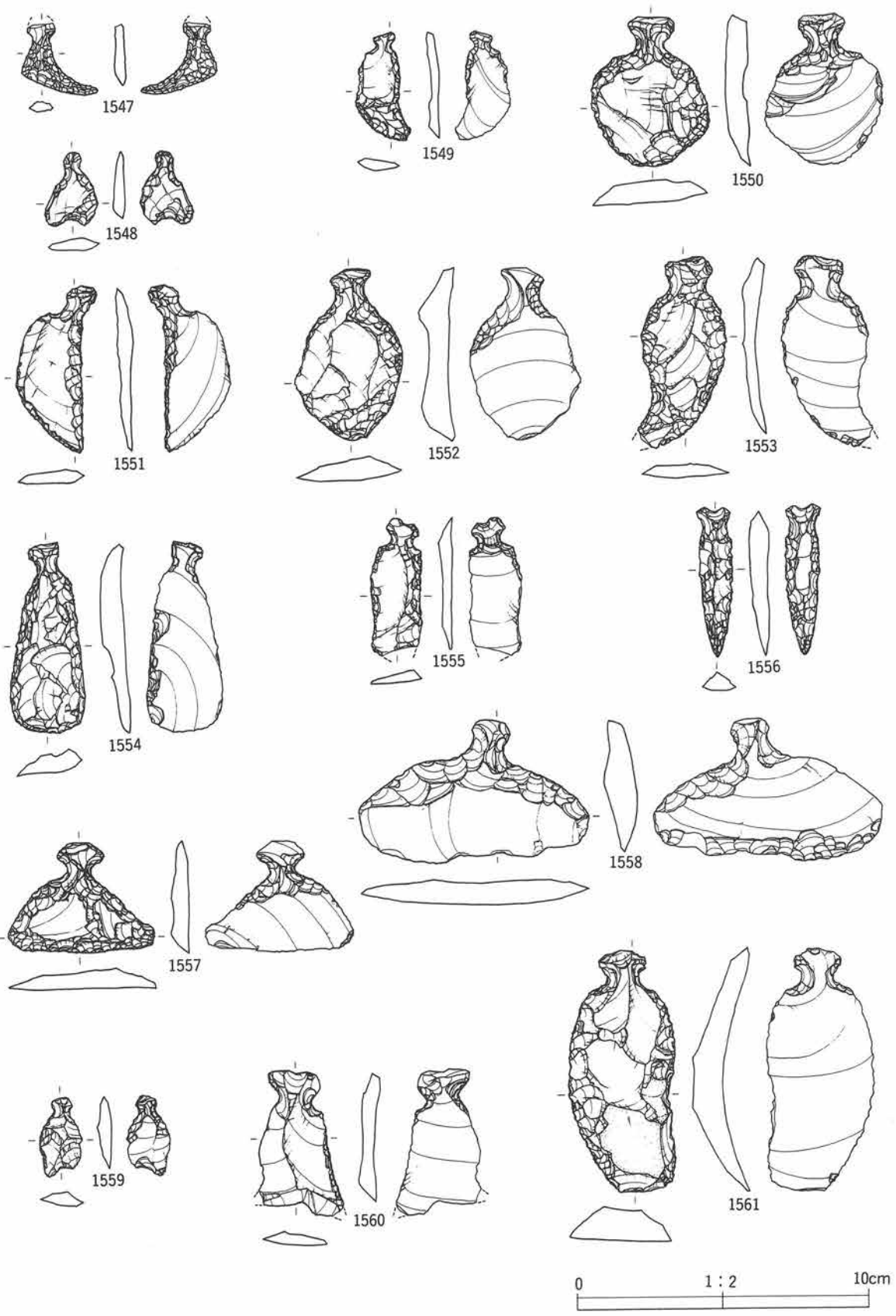
第221图 石器(8)



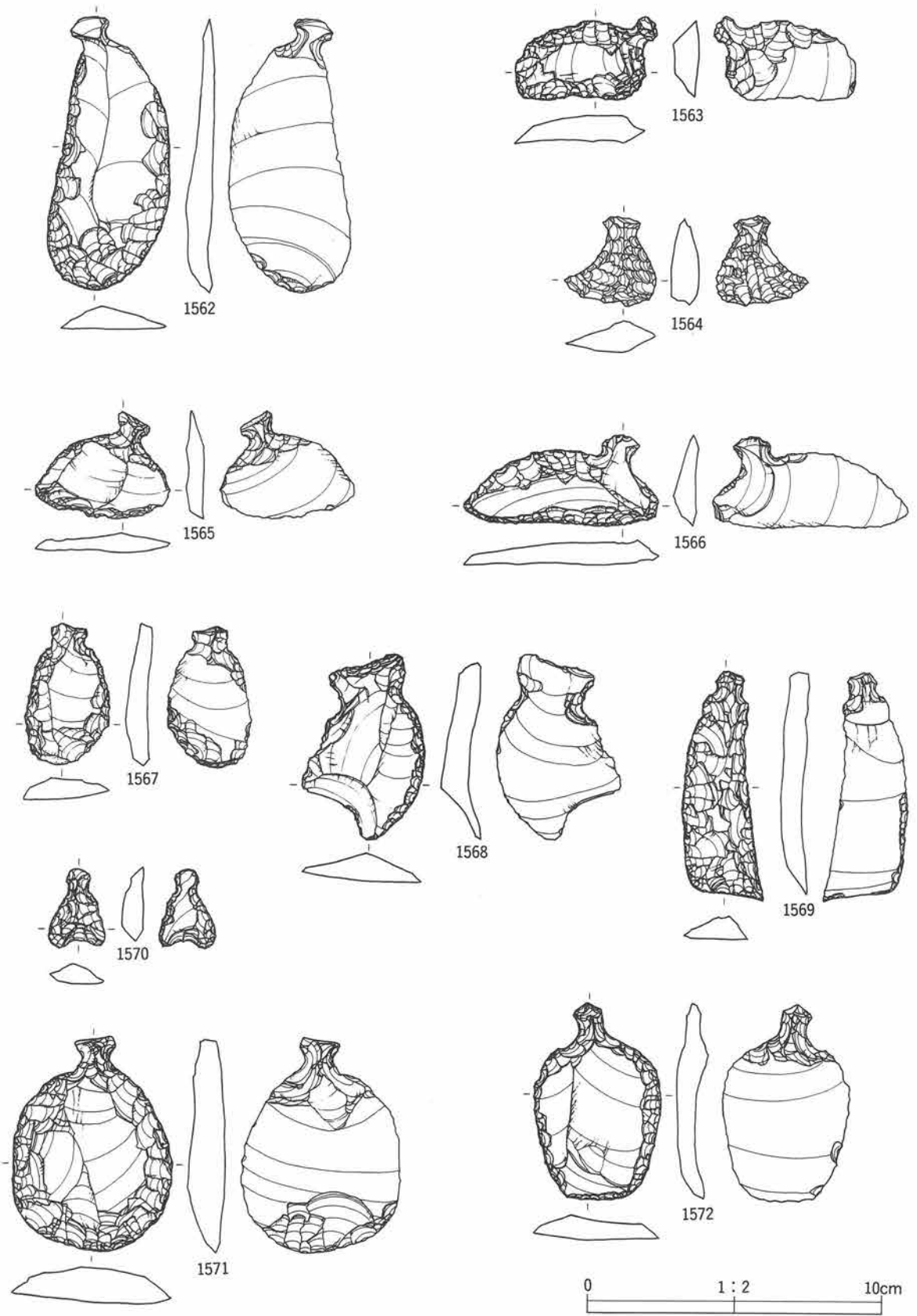
第222图 石器(9)



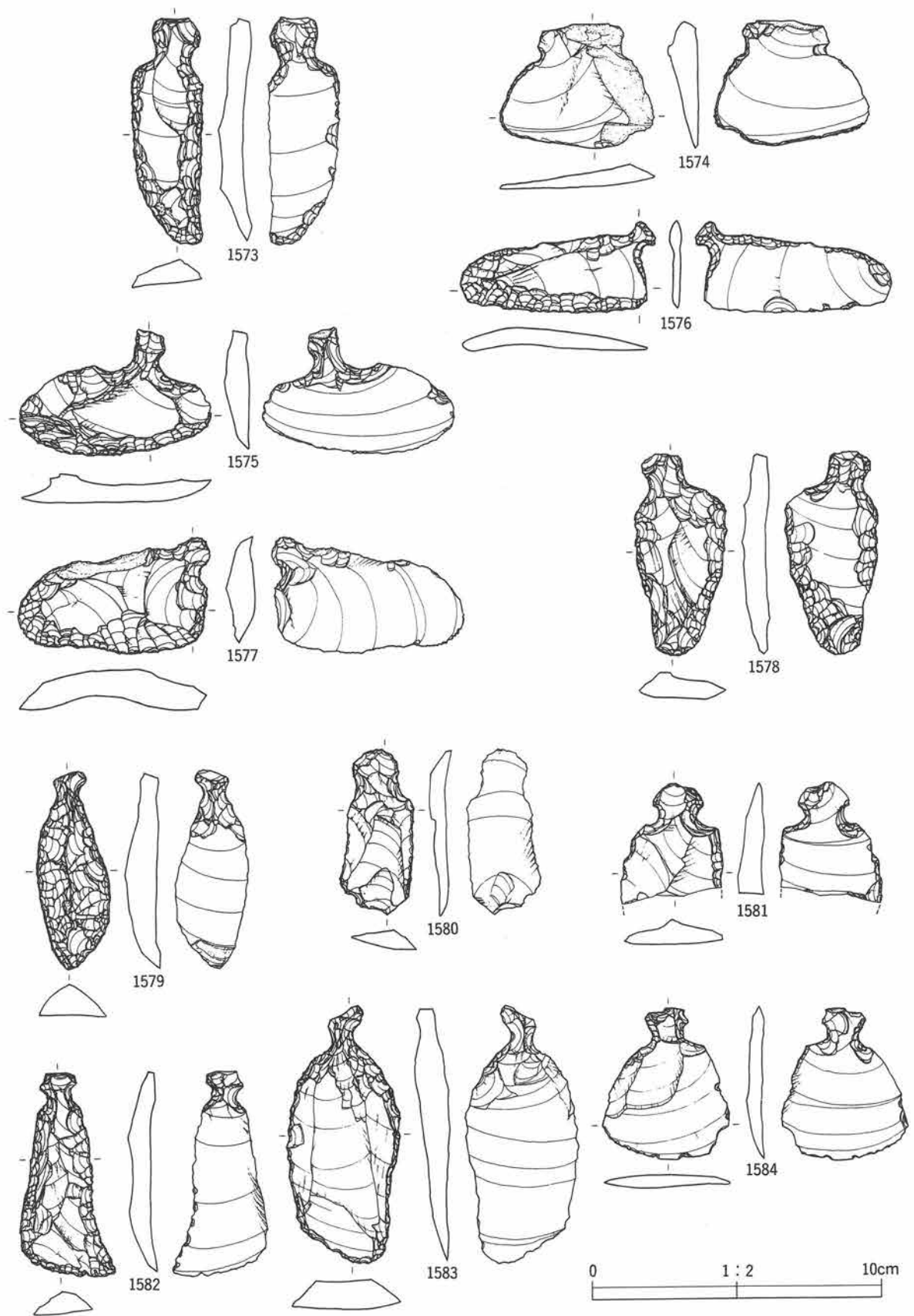
第223图 石器(10)



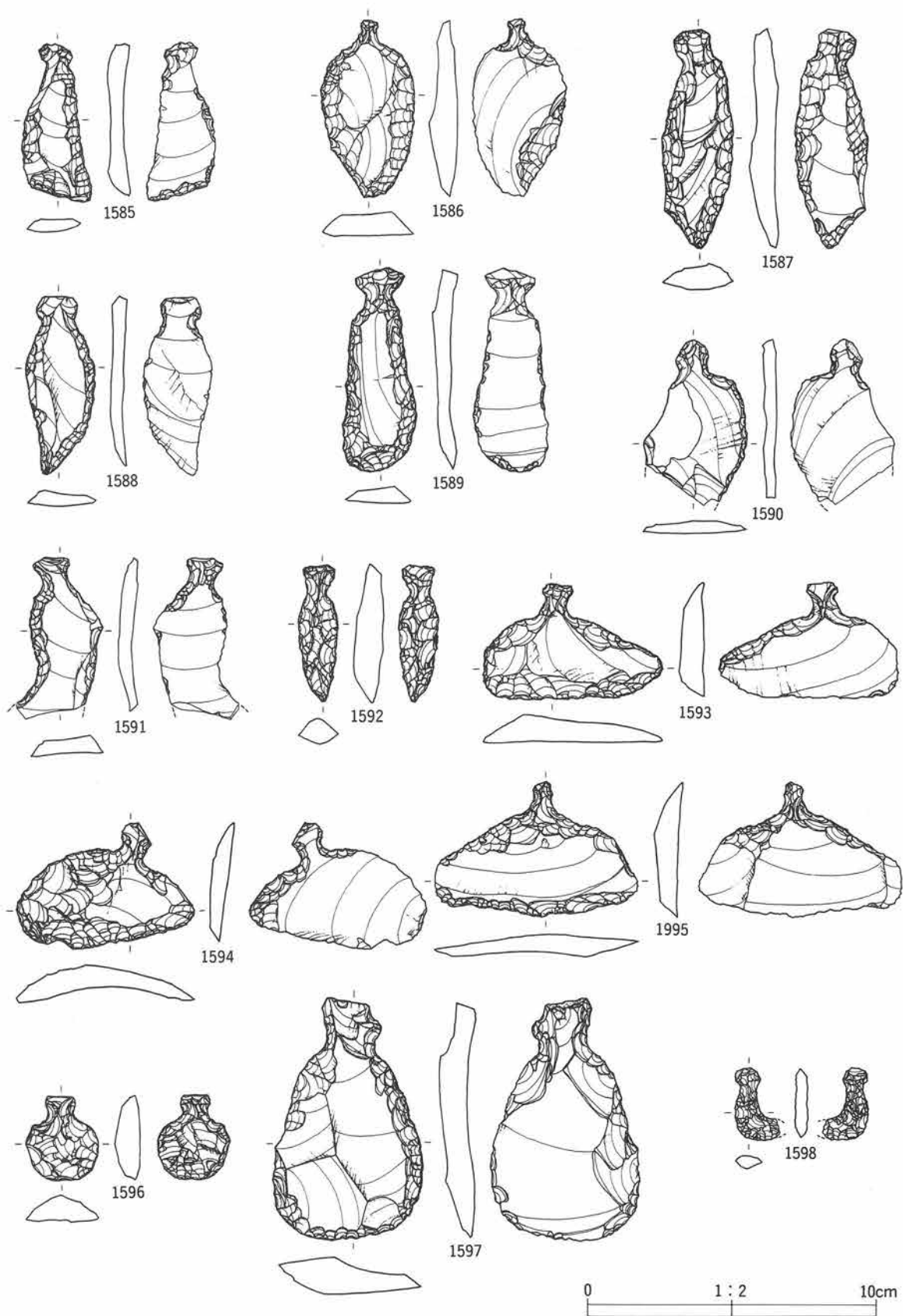
第224图 石器(II)



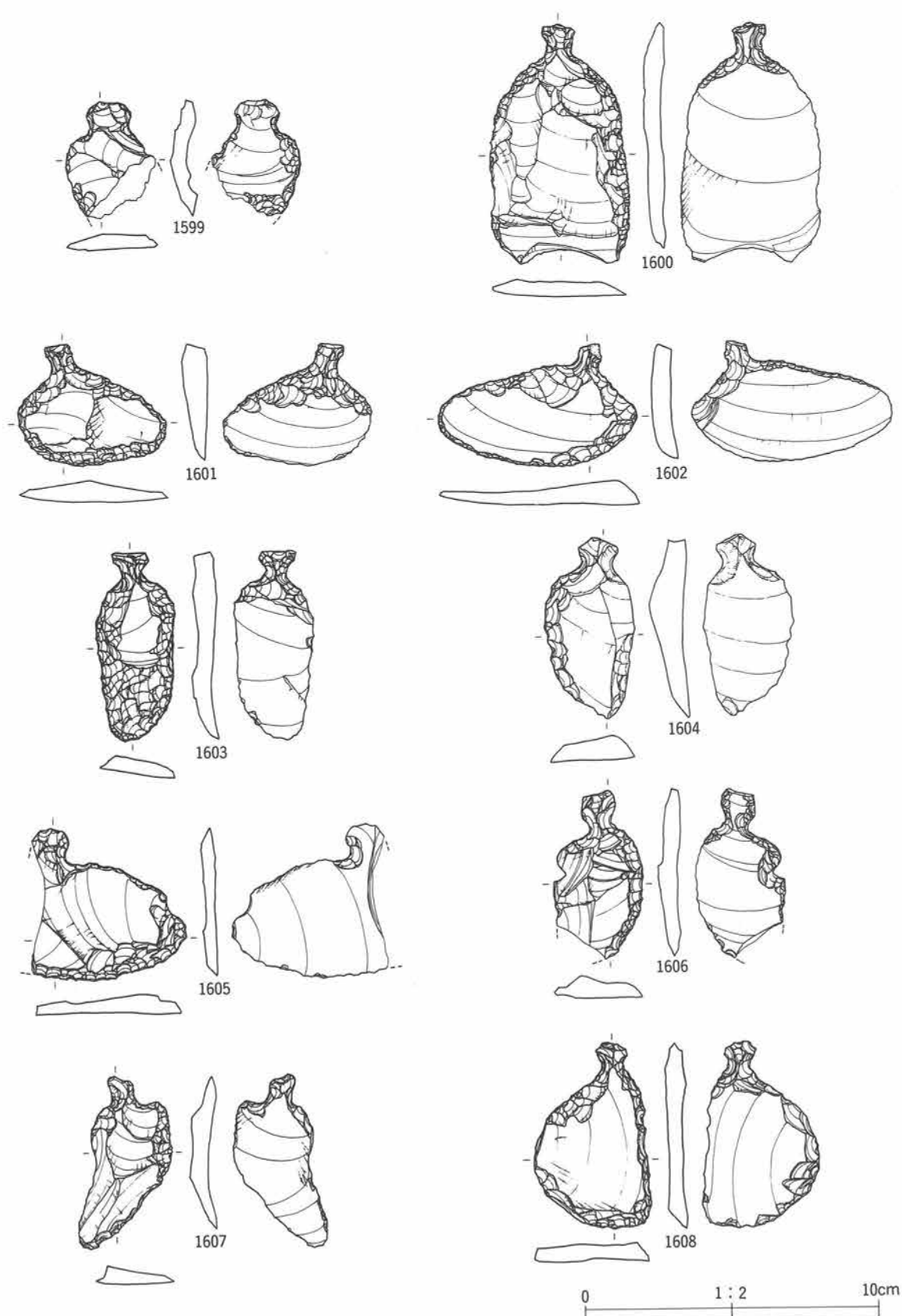
第225图 石器(12)



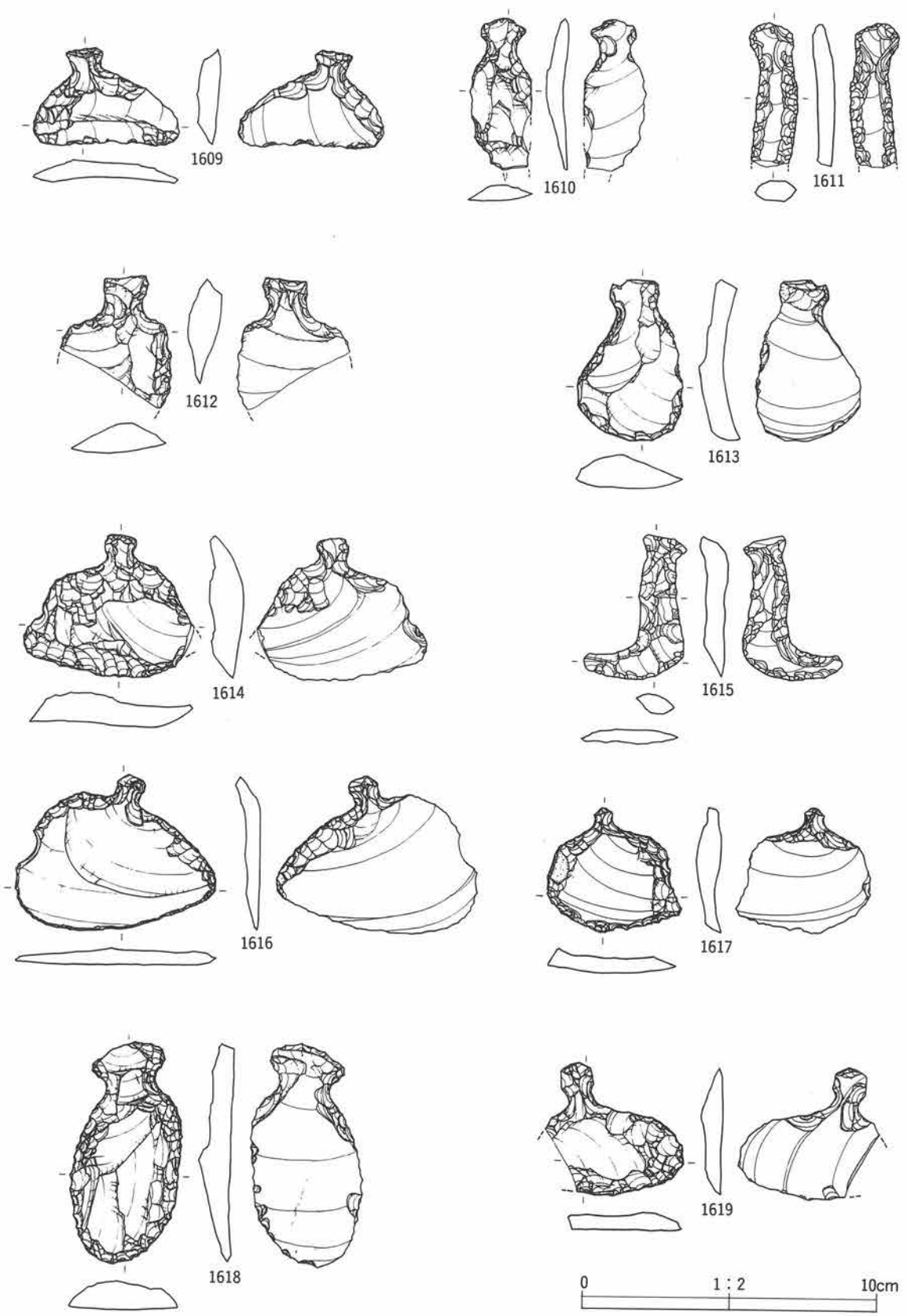
第226图 石器(13)



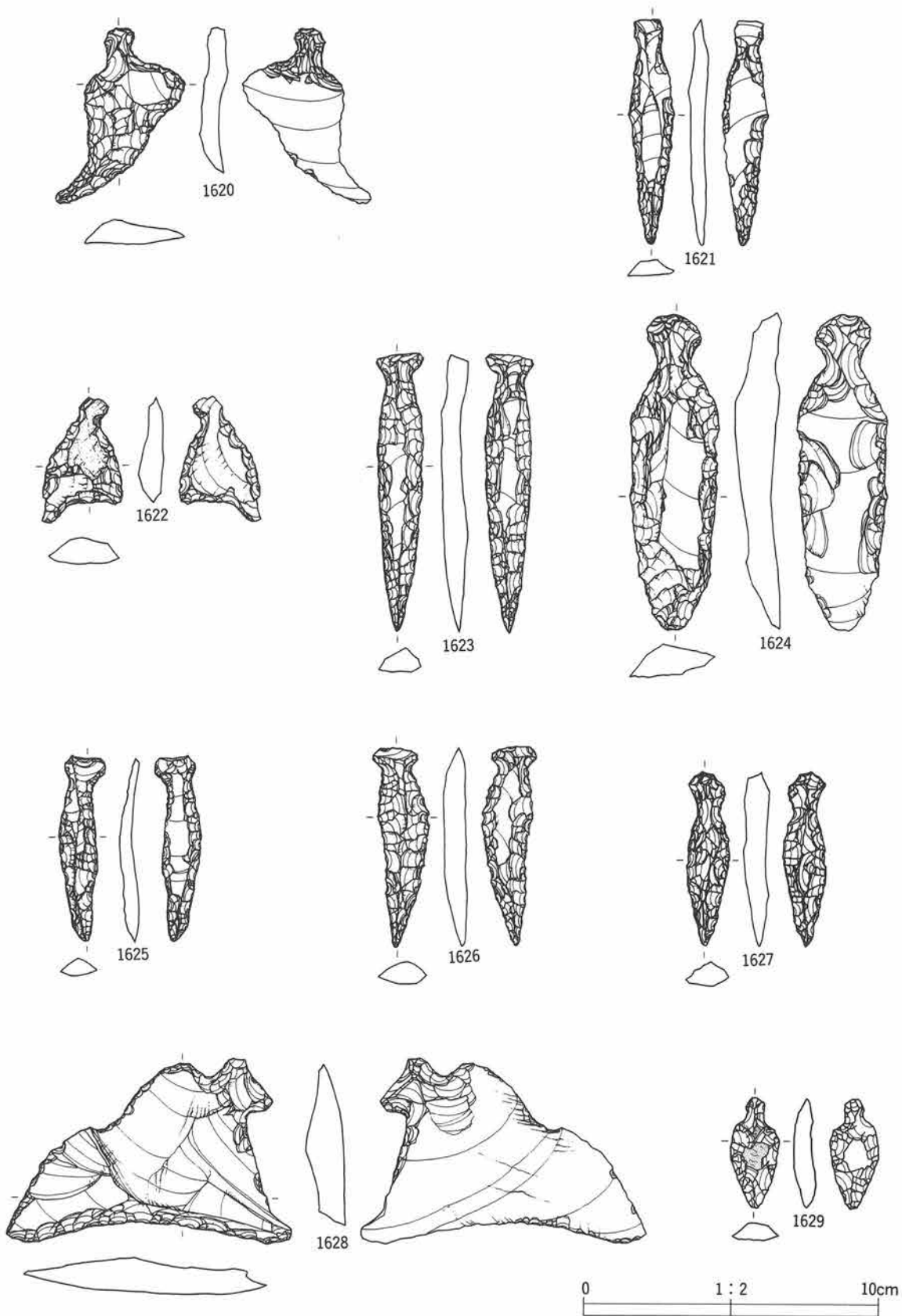
第227图 石器(14)



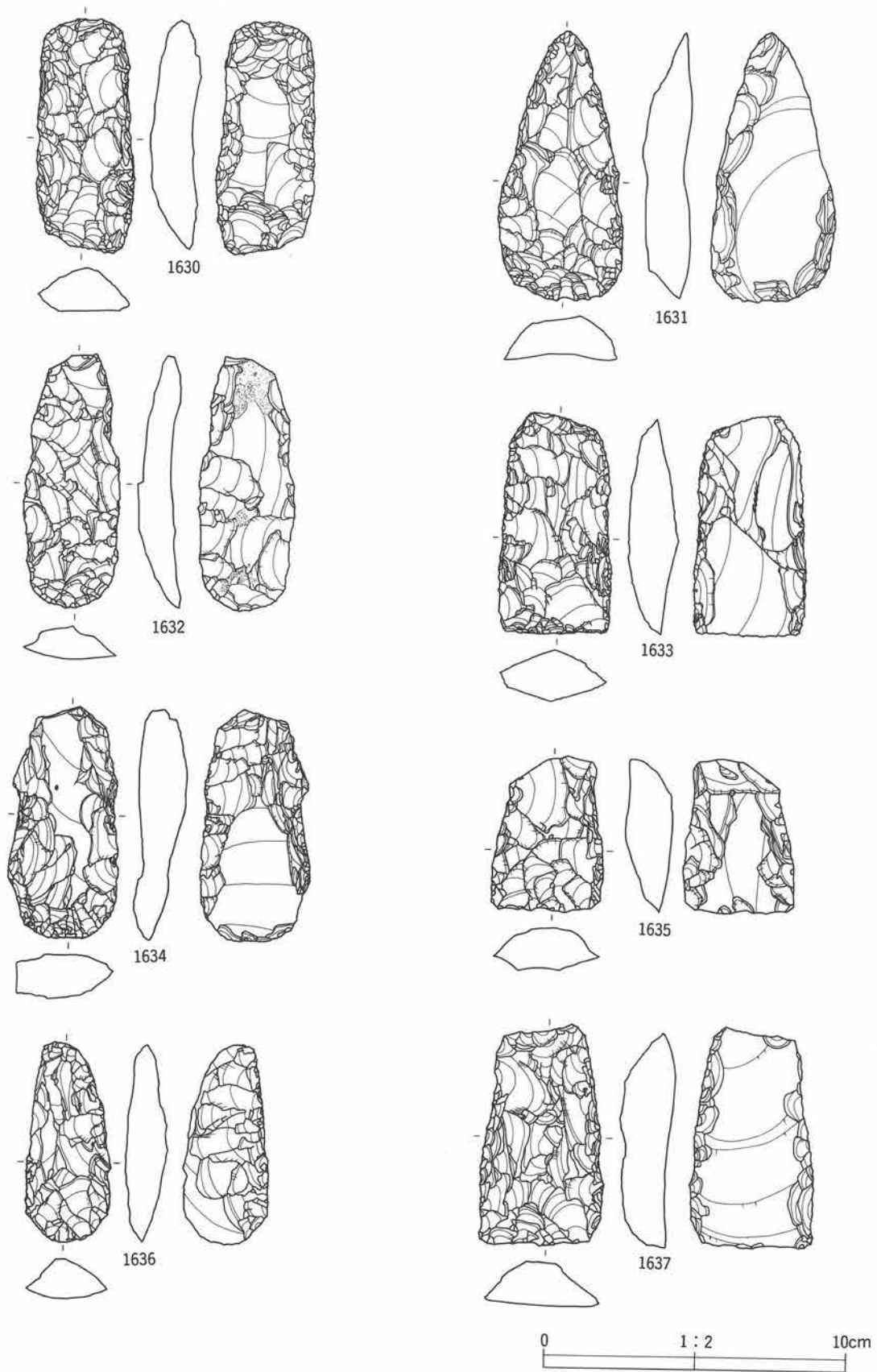
第228图 石器(15)



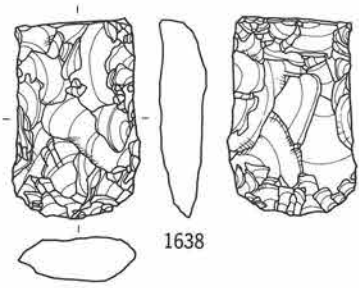
第229图 石器(16)



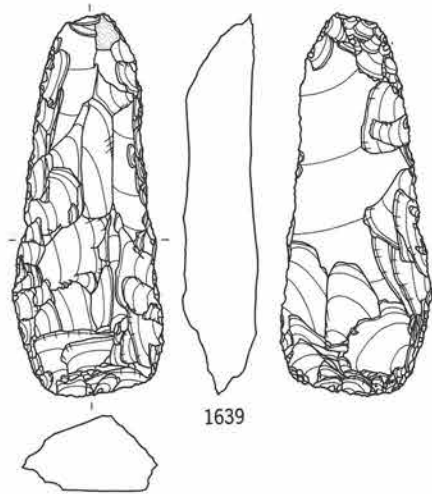
第230图 石器(17)



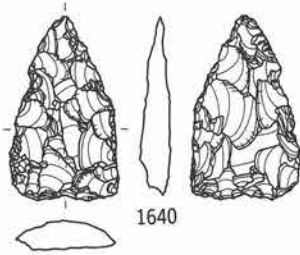
第231图 石器(18)



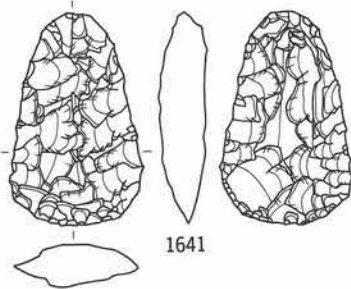
1638



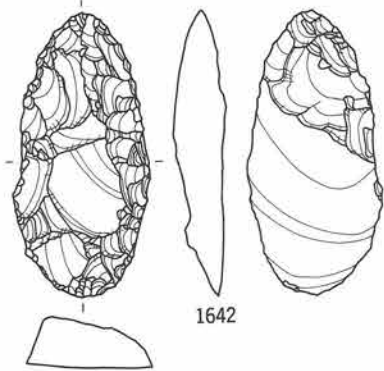
1639



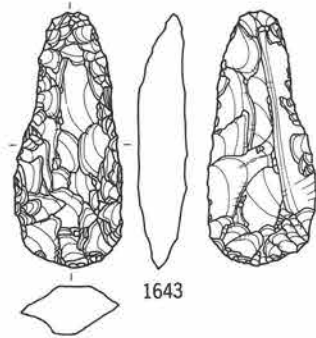
1640



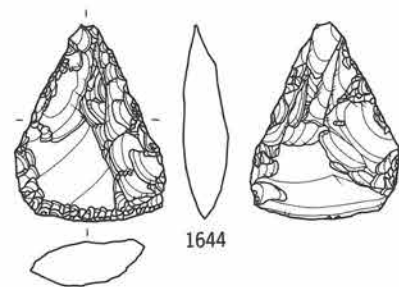
1641



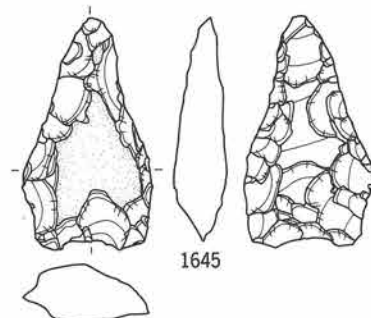
1642



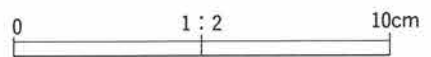
1643



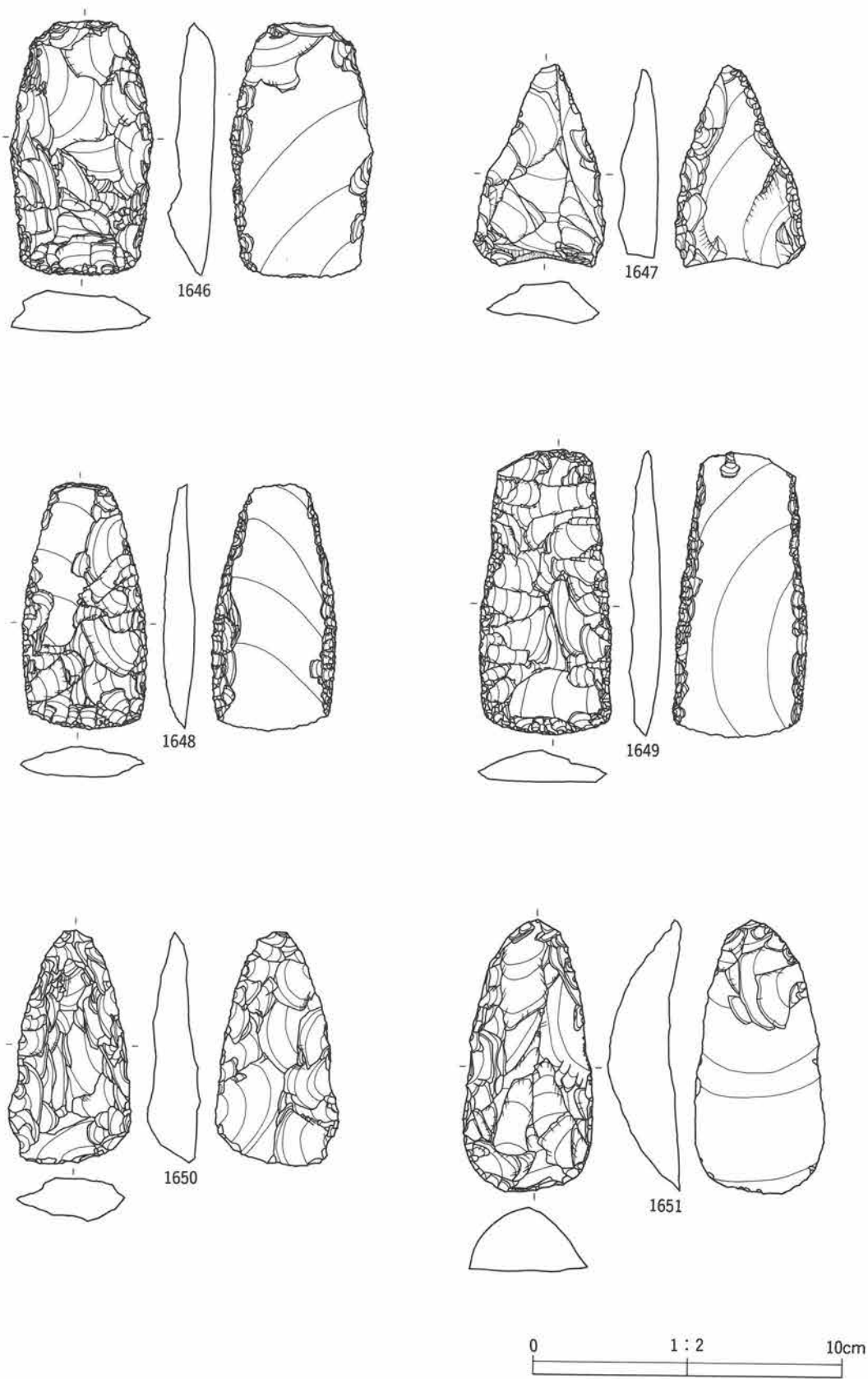
1644



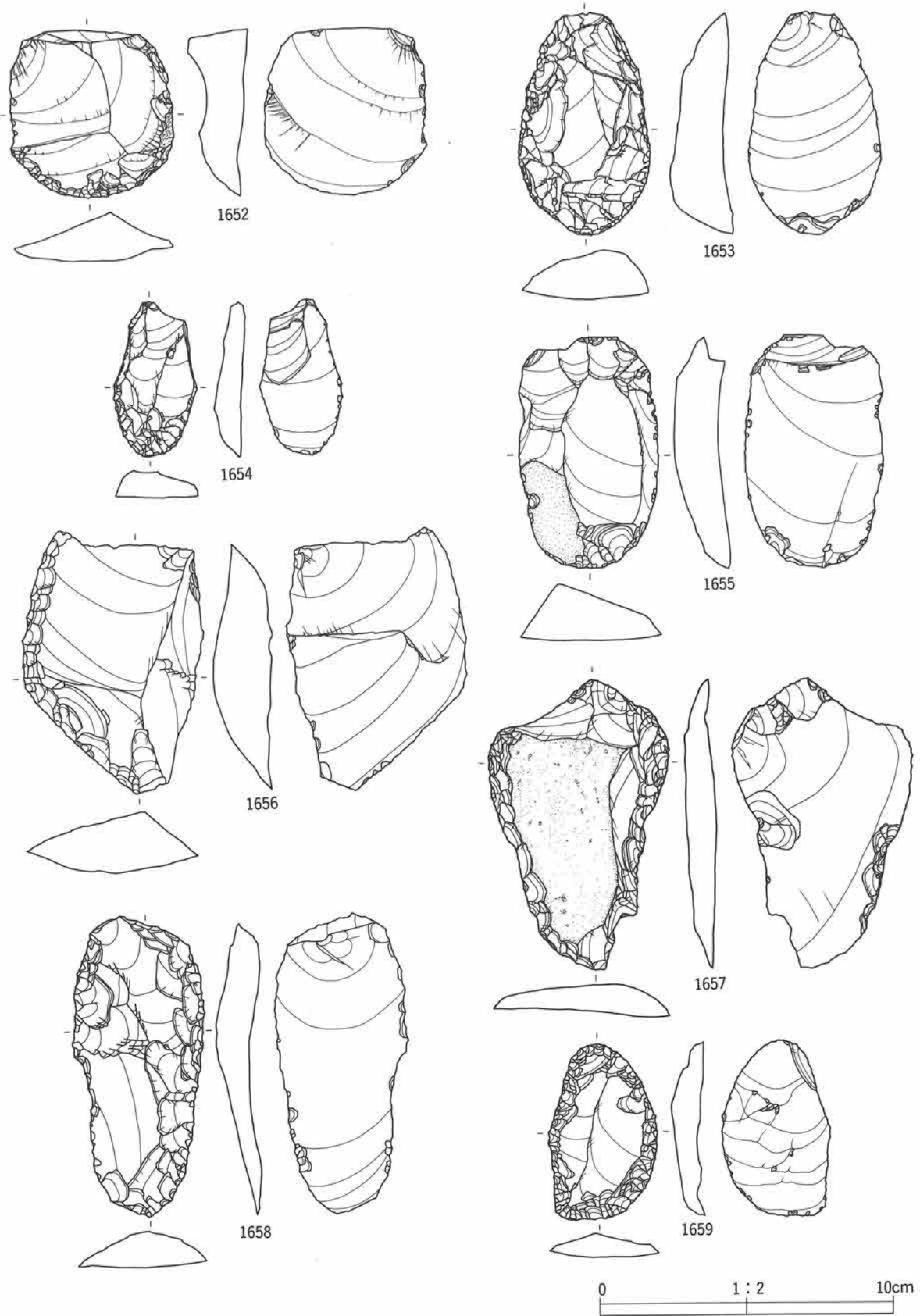
1645



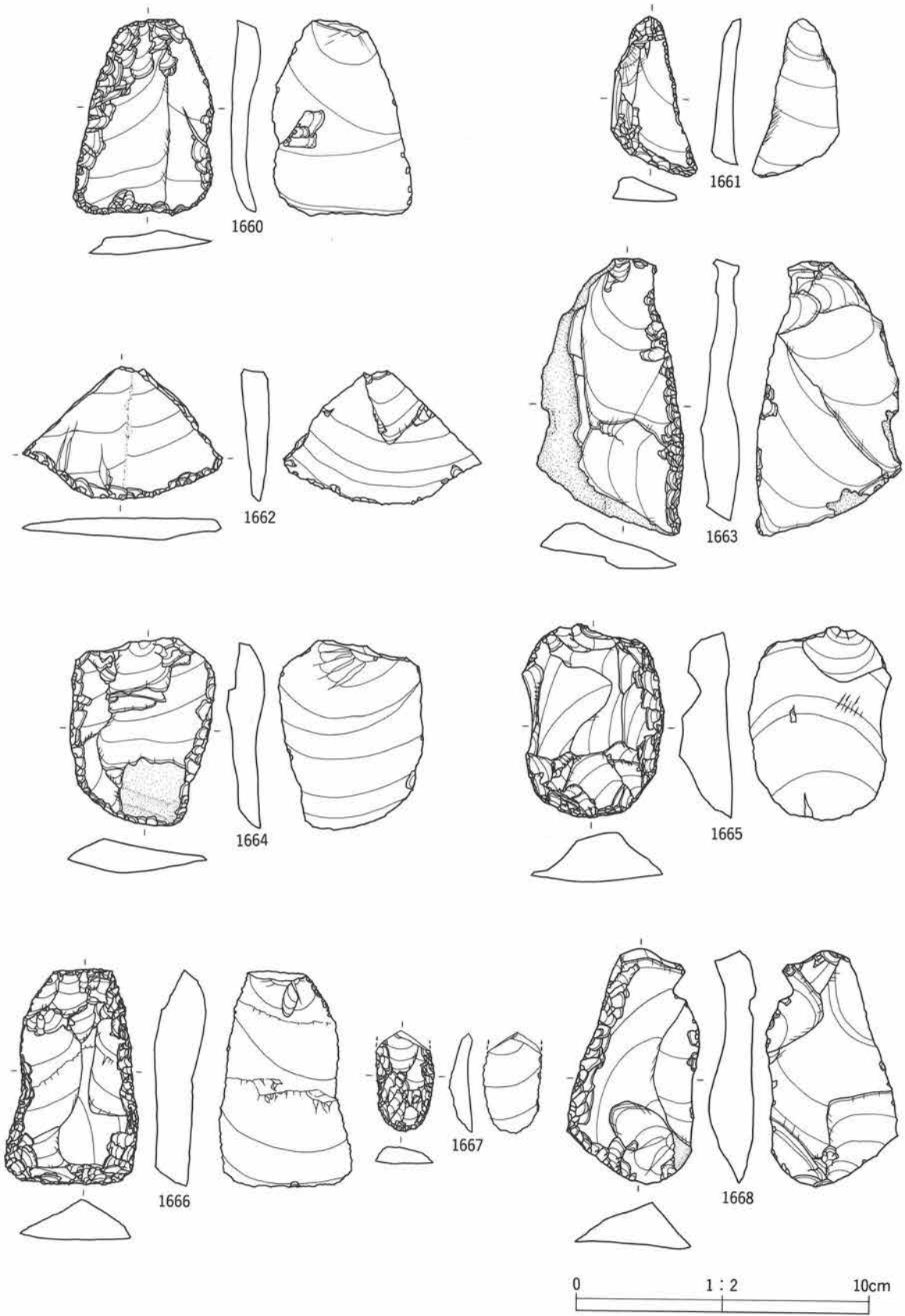
第232图 石器(19)



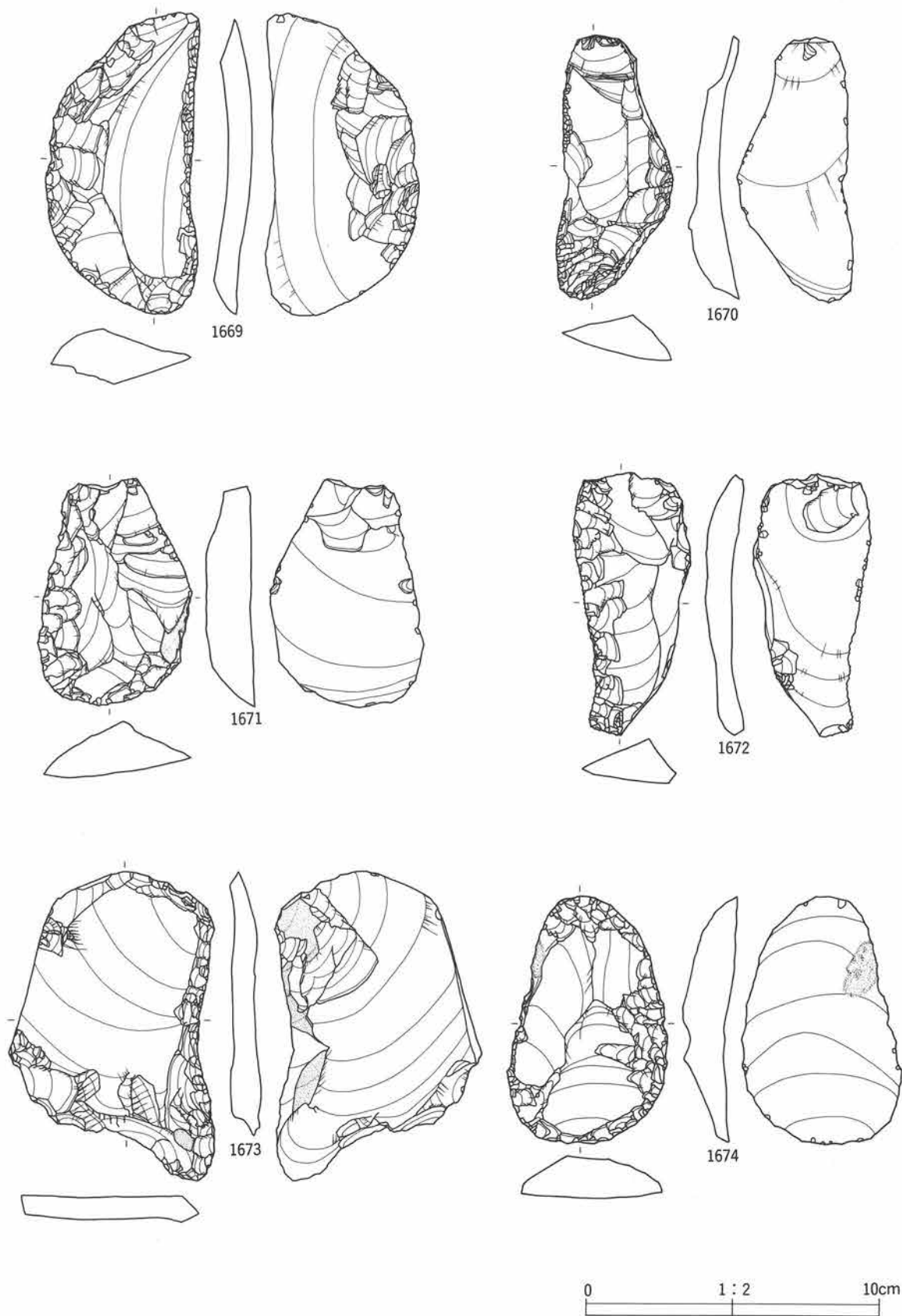
第233图 石器(20)



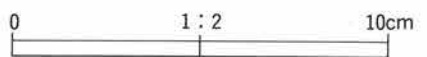
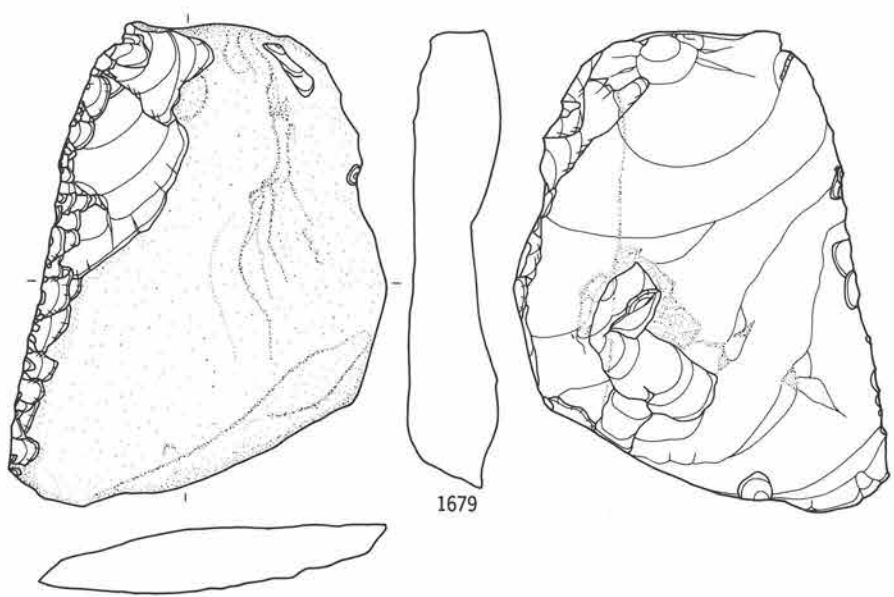
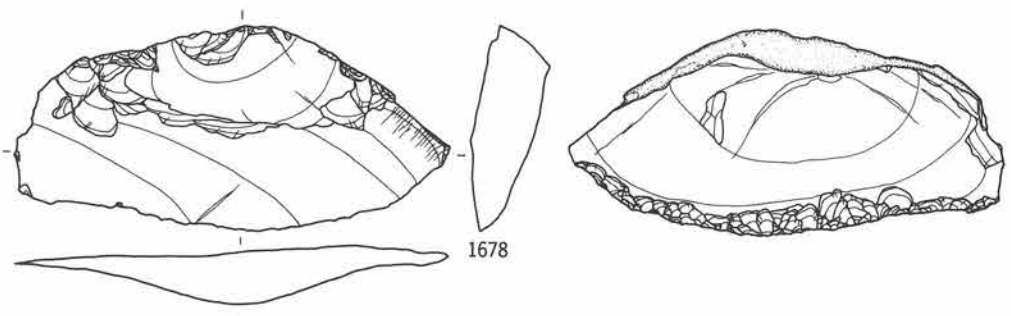
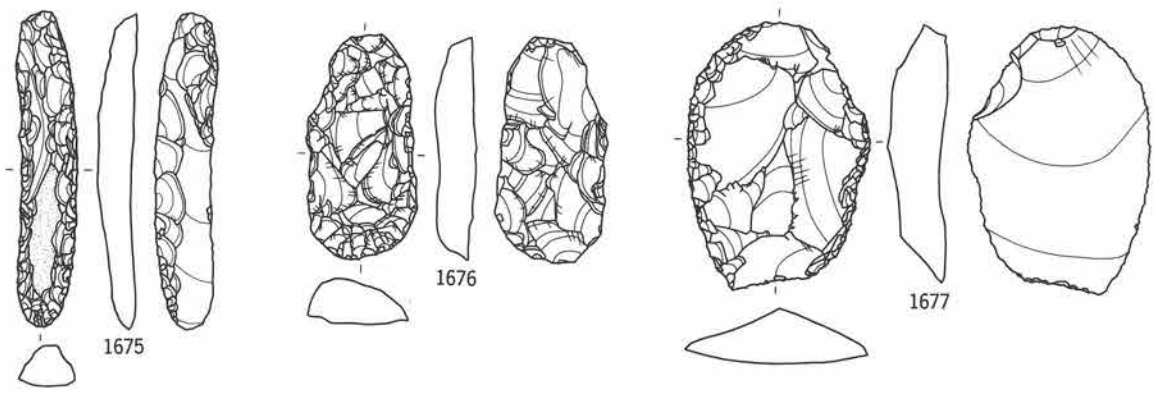
第234图 石器(2)



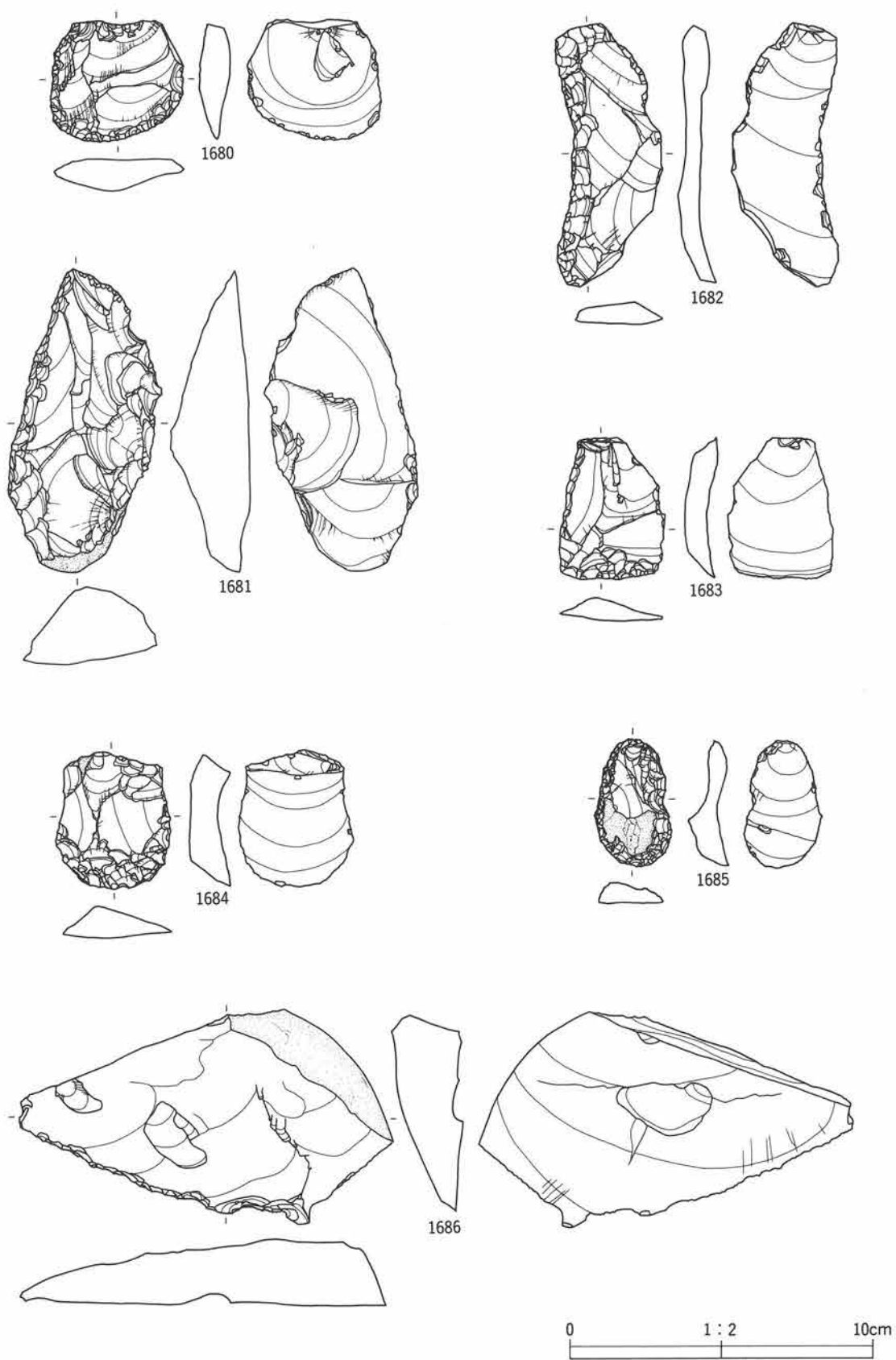
第235图 石器(2)



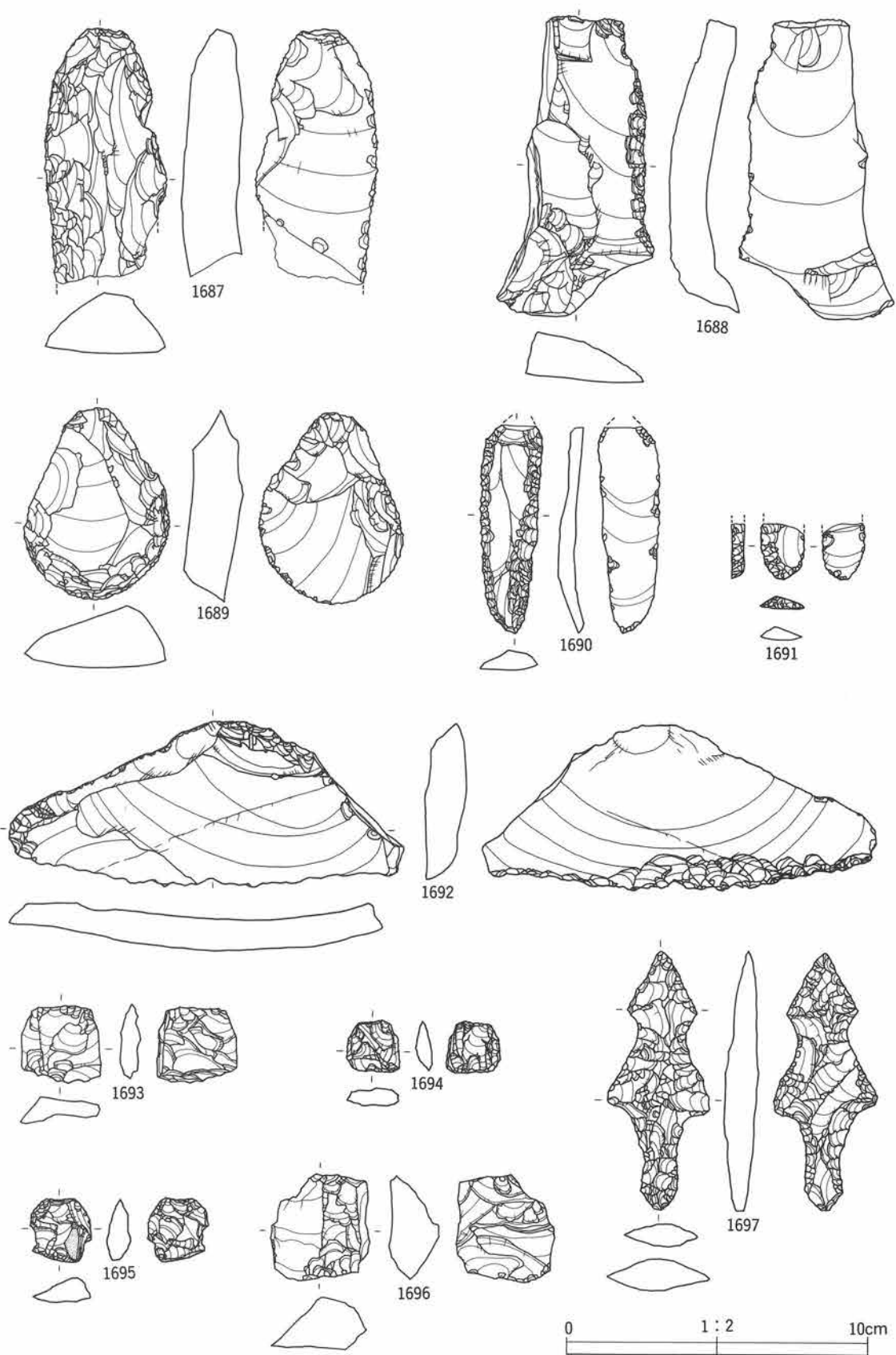
第236图 石器(23)



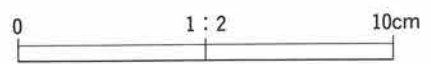
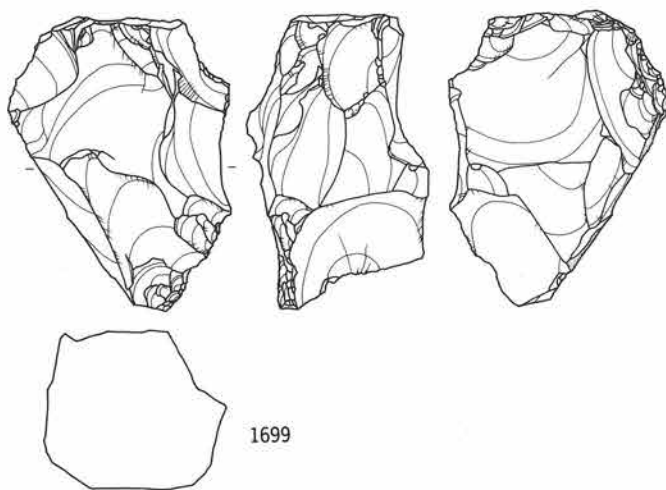
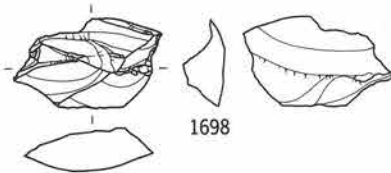
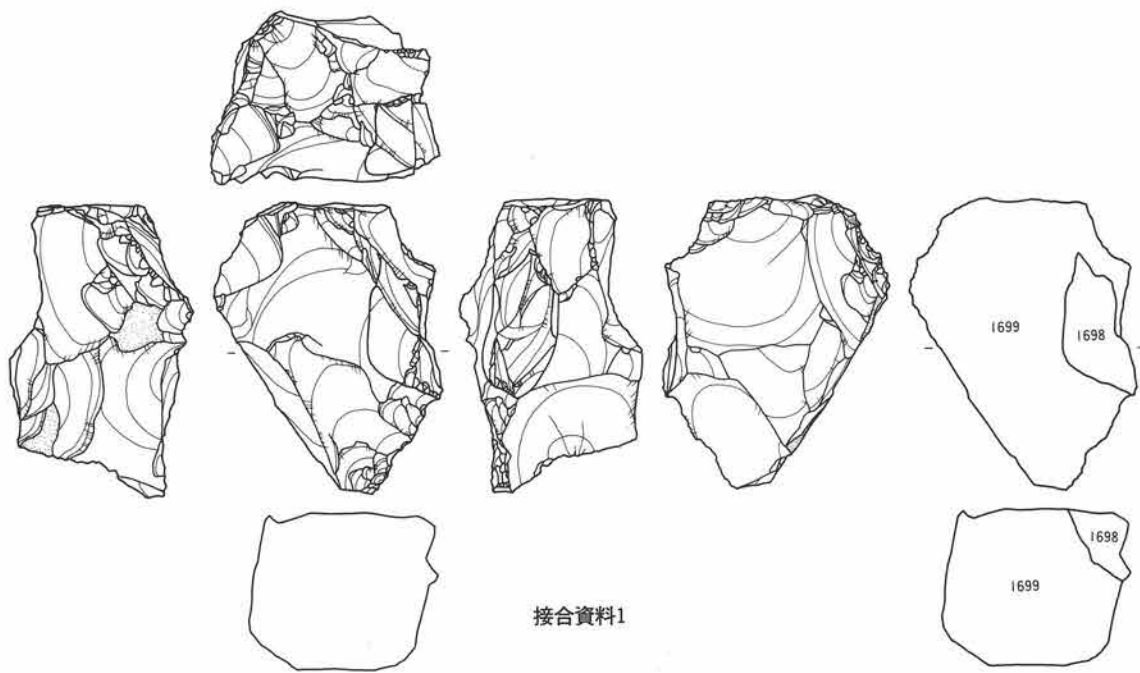
第237图 石器(24)



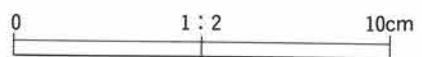
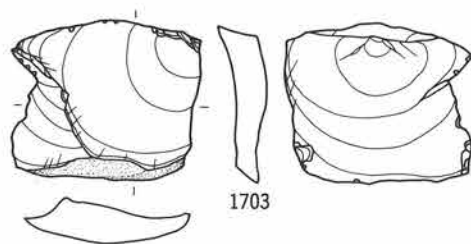
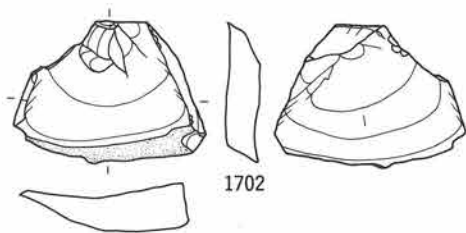
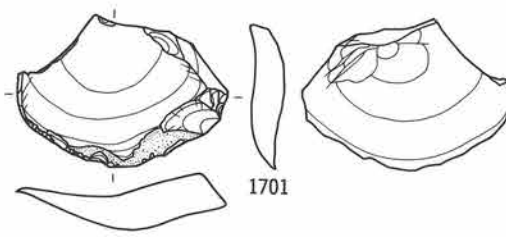
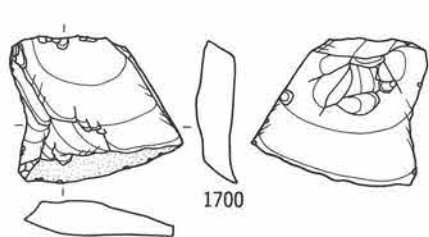
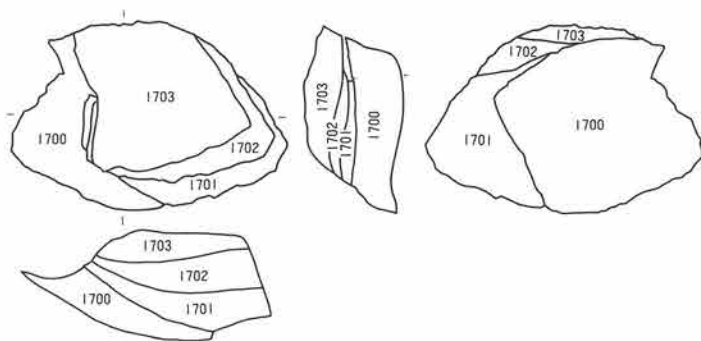
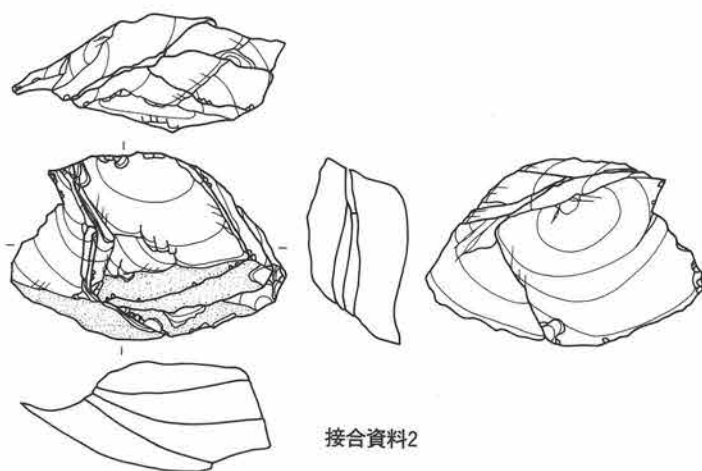
第238図 石器(25)



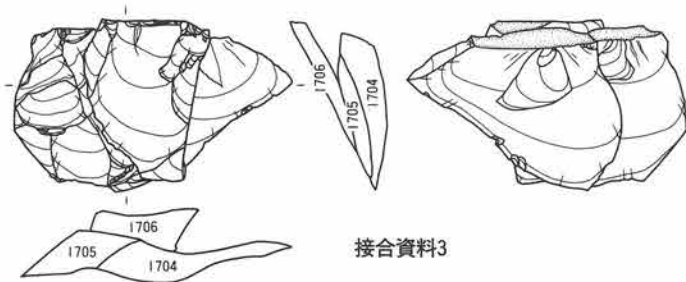
第239图 石器(26)



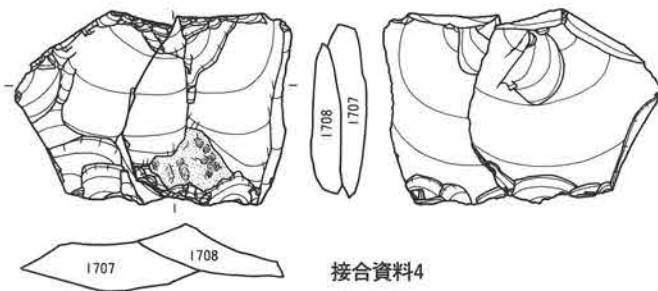
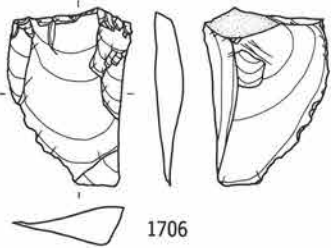
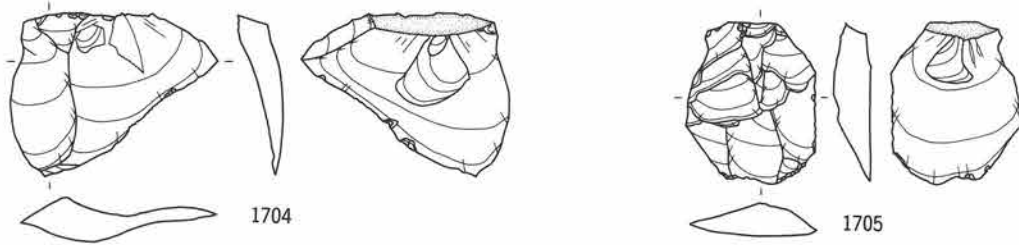
第240図 石器(27)



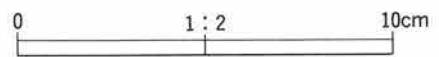
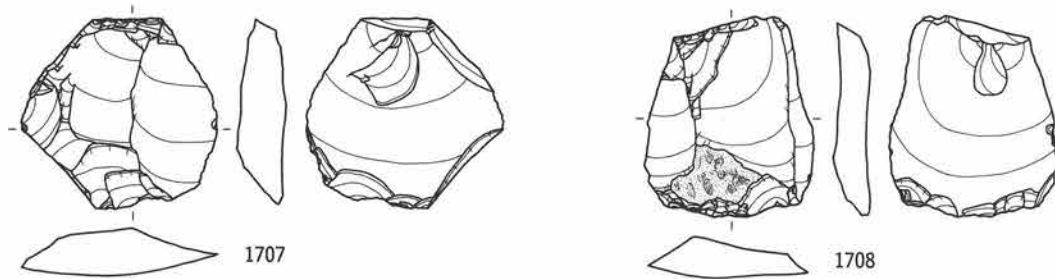
第241図 石器(28)



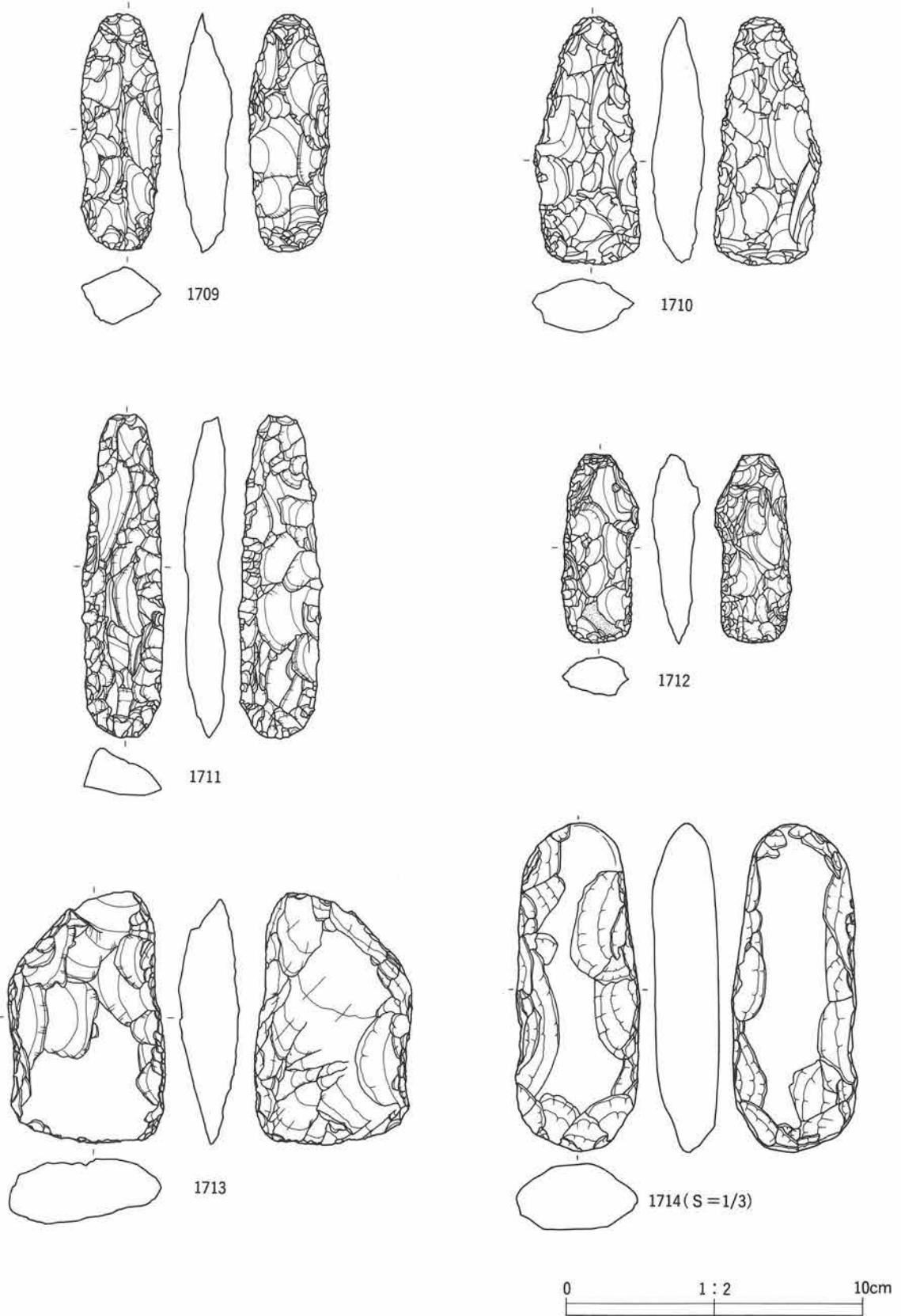
接合資料3



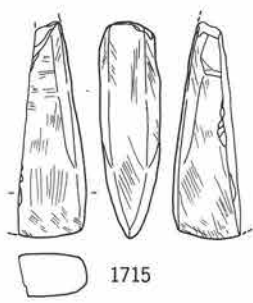
接合資料4



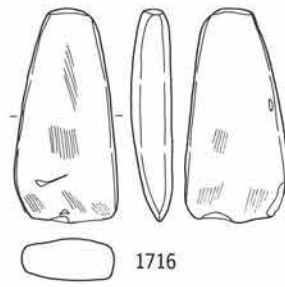
第242図 石器(29)



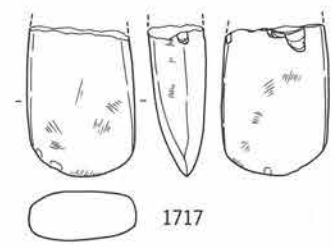
第243图 石器(30)



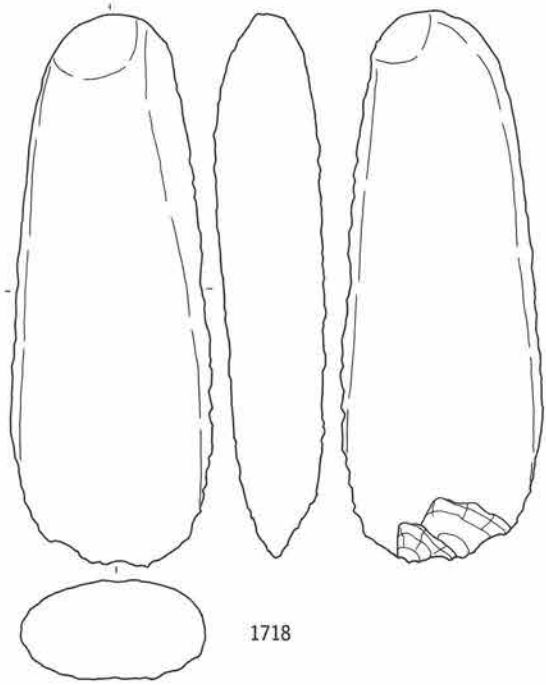
1715



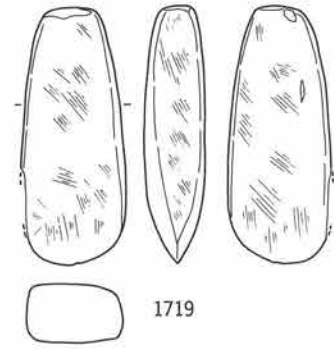
1716



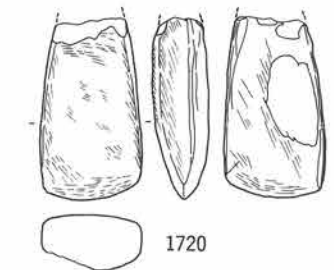
1717



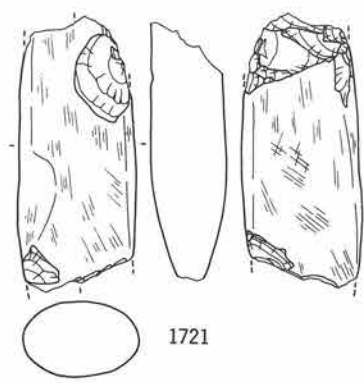
1718



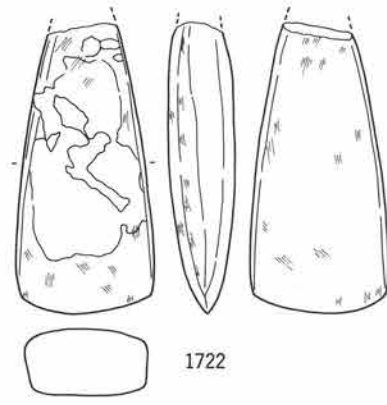
1719



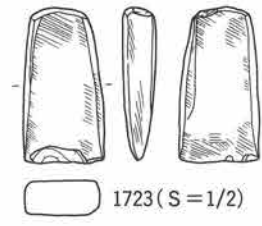
1720



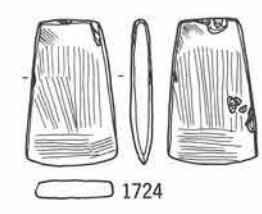
1721



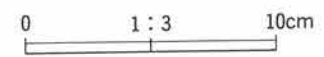
1722



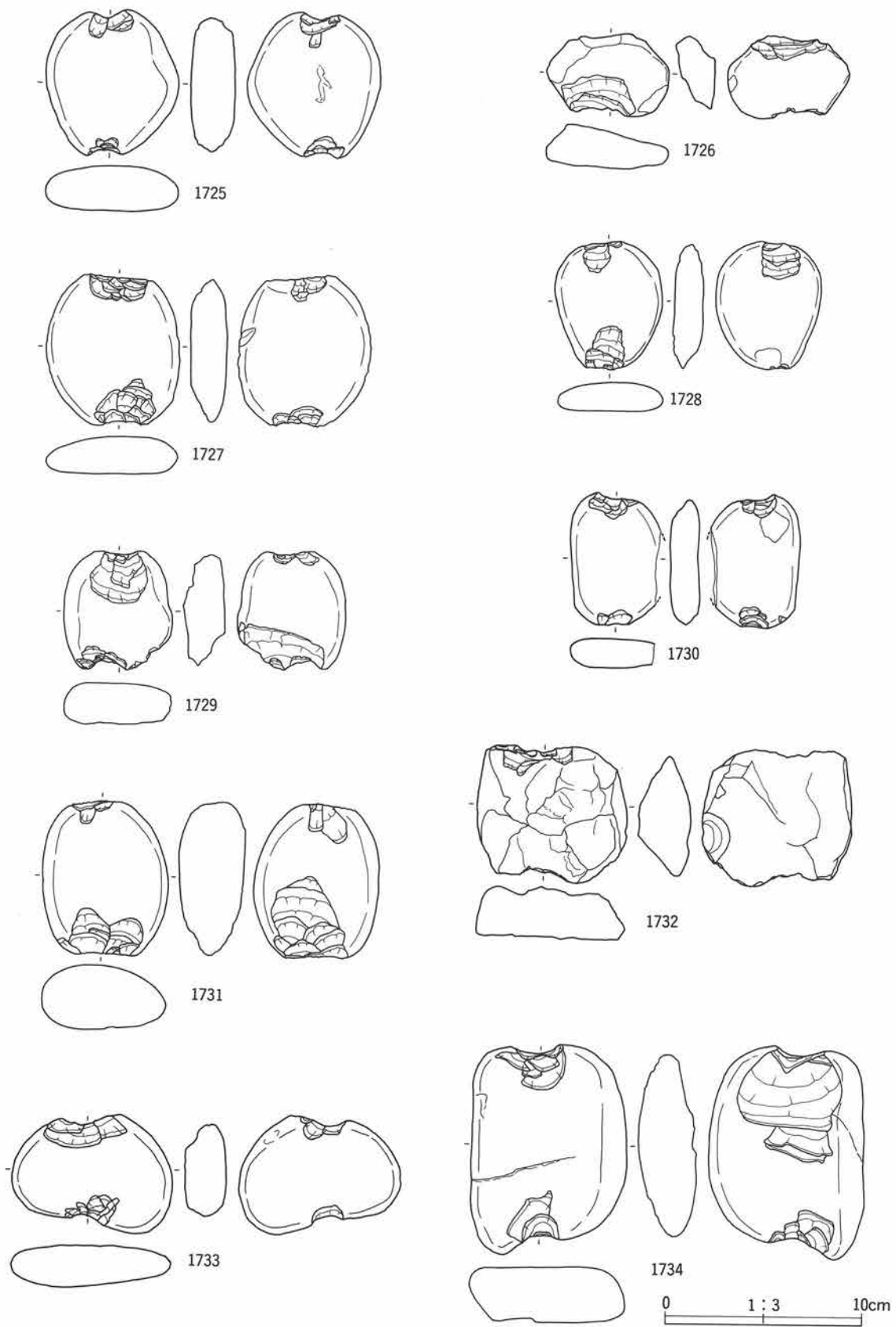
1723 (S=1/2)



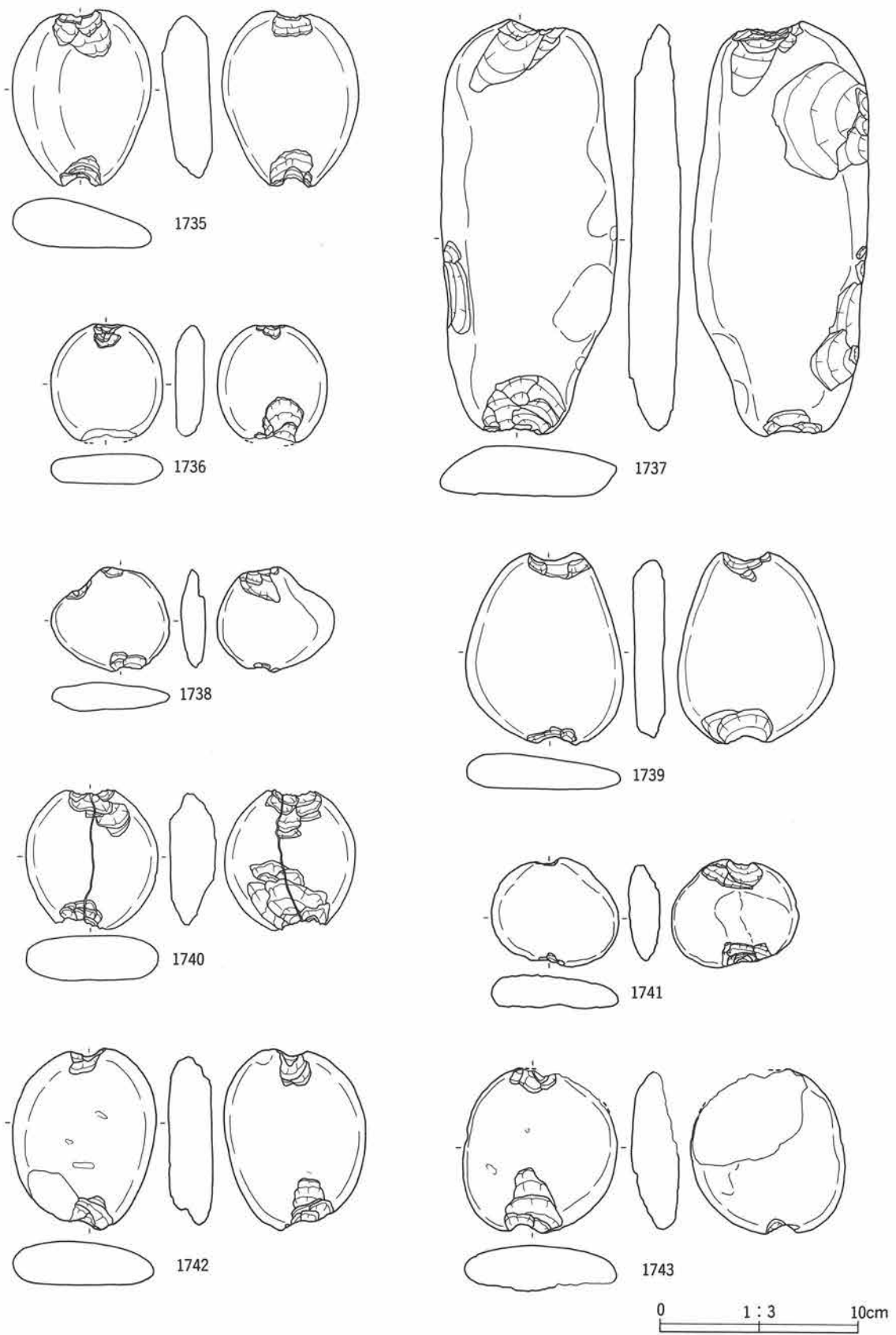
1724



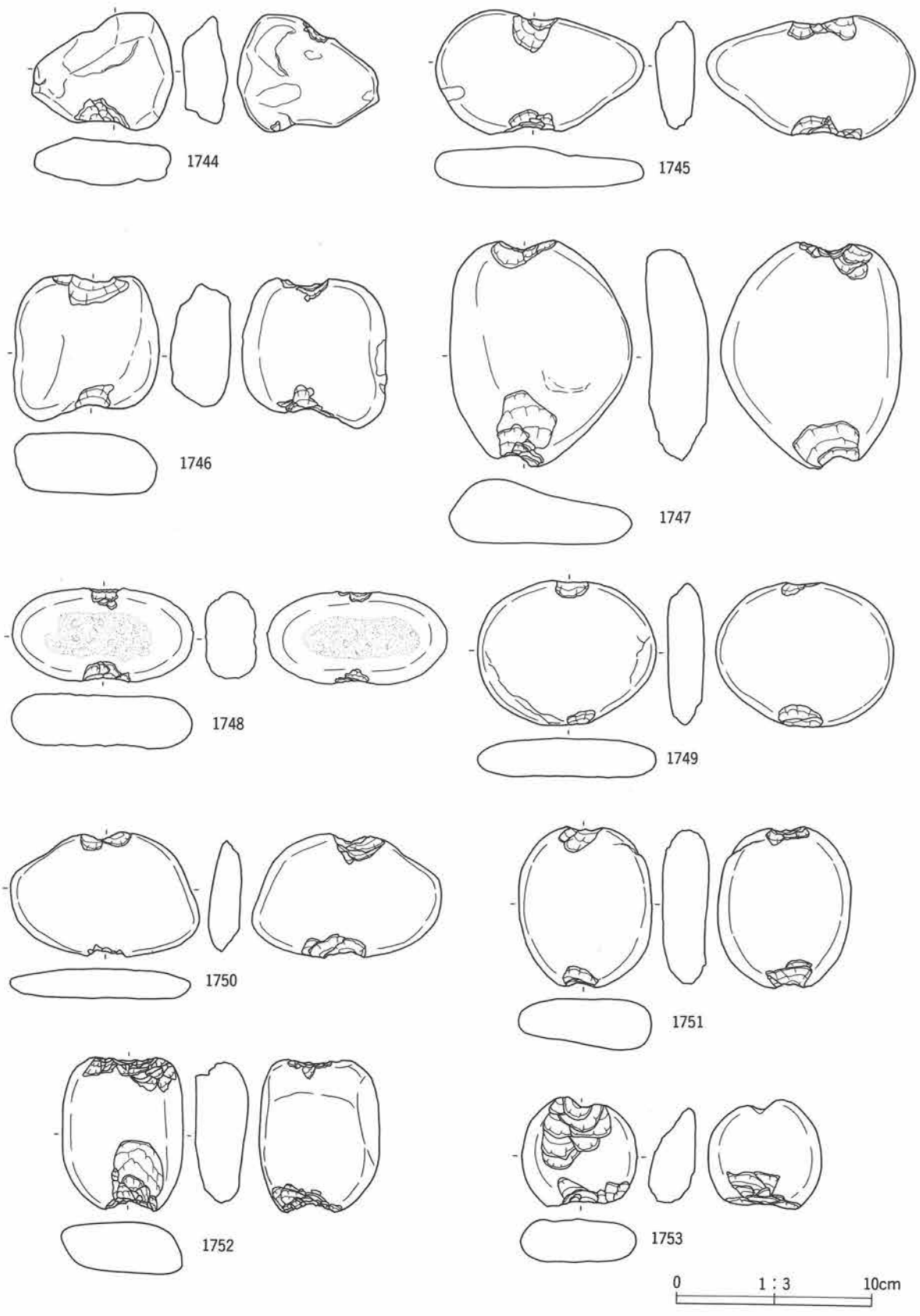
第244图 石器(31)



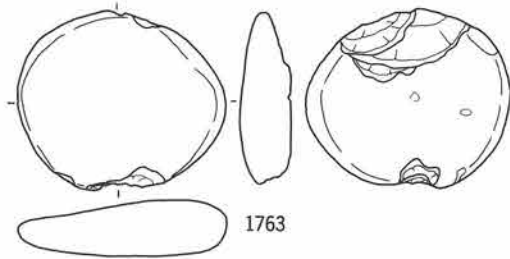
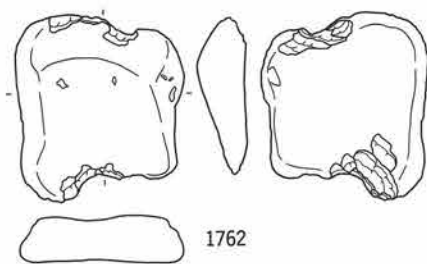
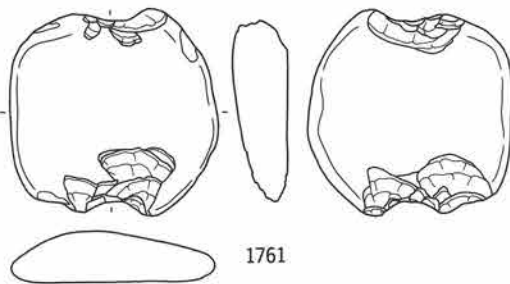
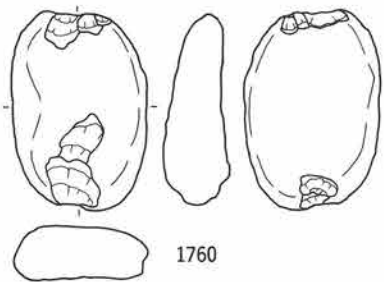
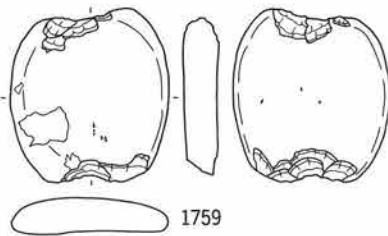
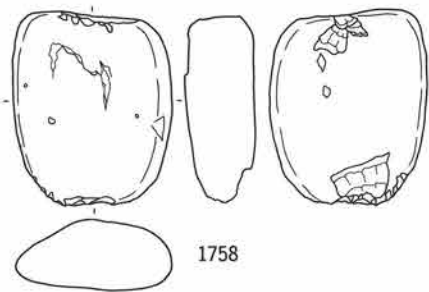
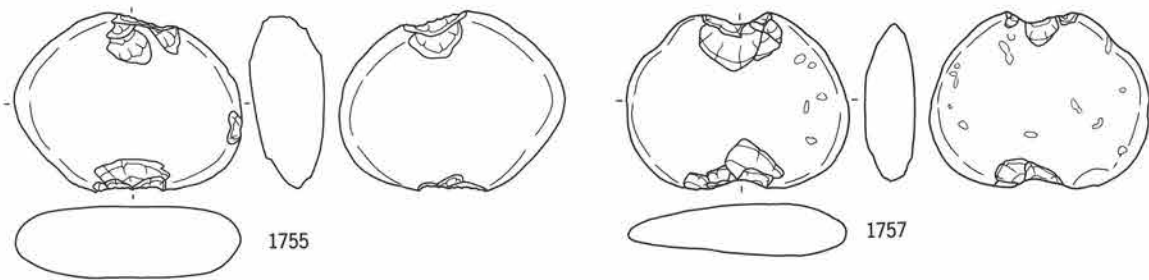
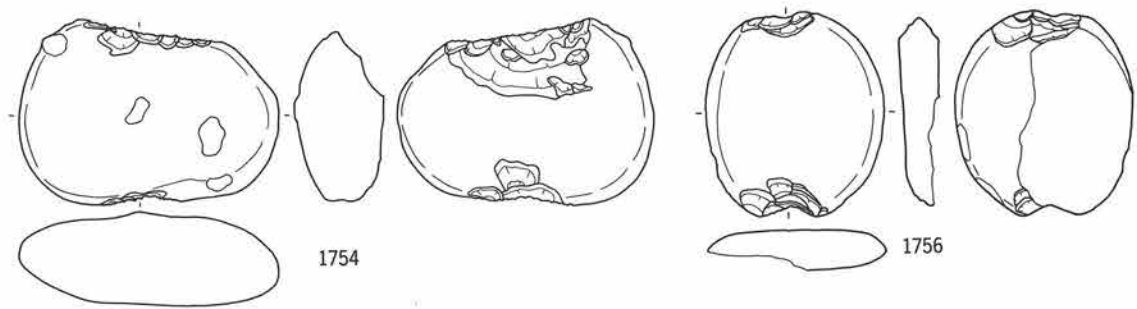
第245図 石器(32)



第246图 石器(33)

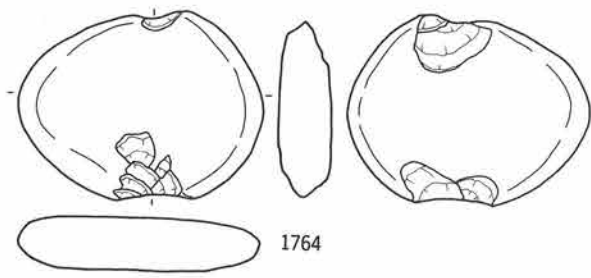


第247图 石器(34)

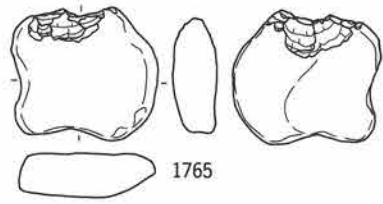


0 1:3 10cm

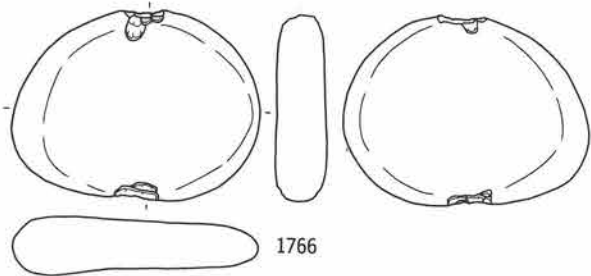
第248图 石器(35)



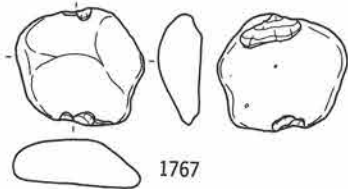
1764



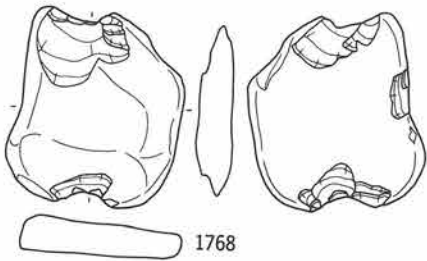
1765



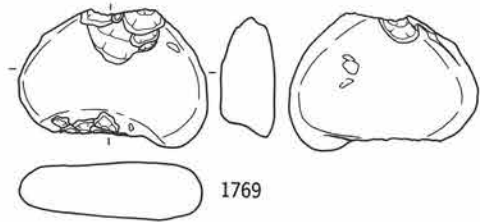
1766



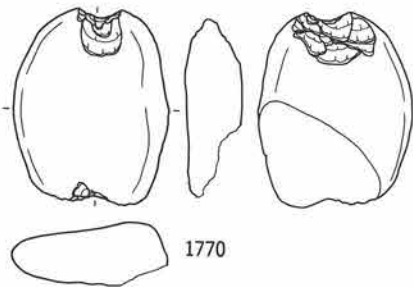
1767



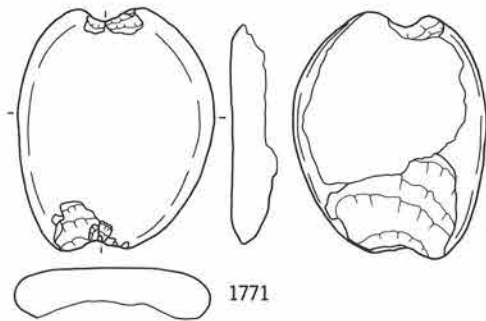
1768



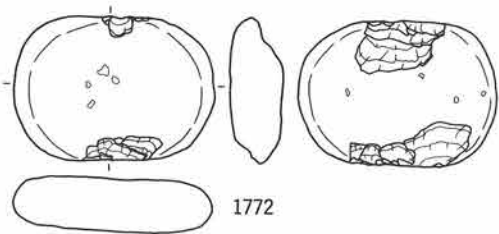
1769



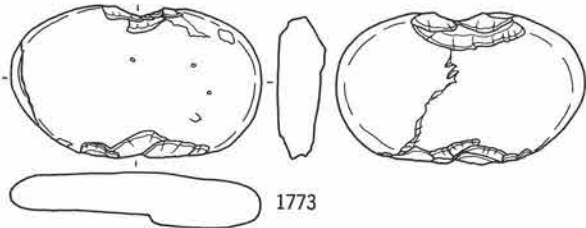
1770



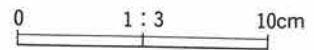
1771



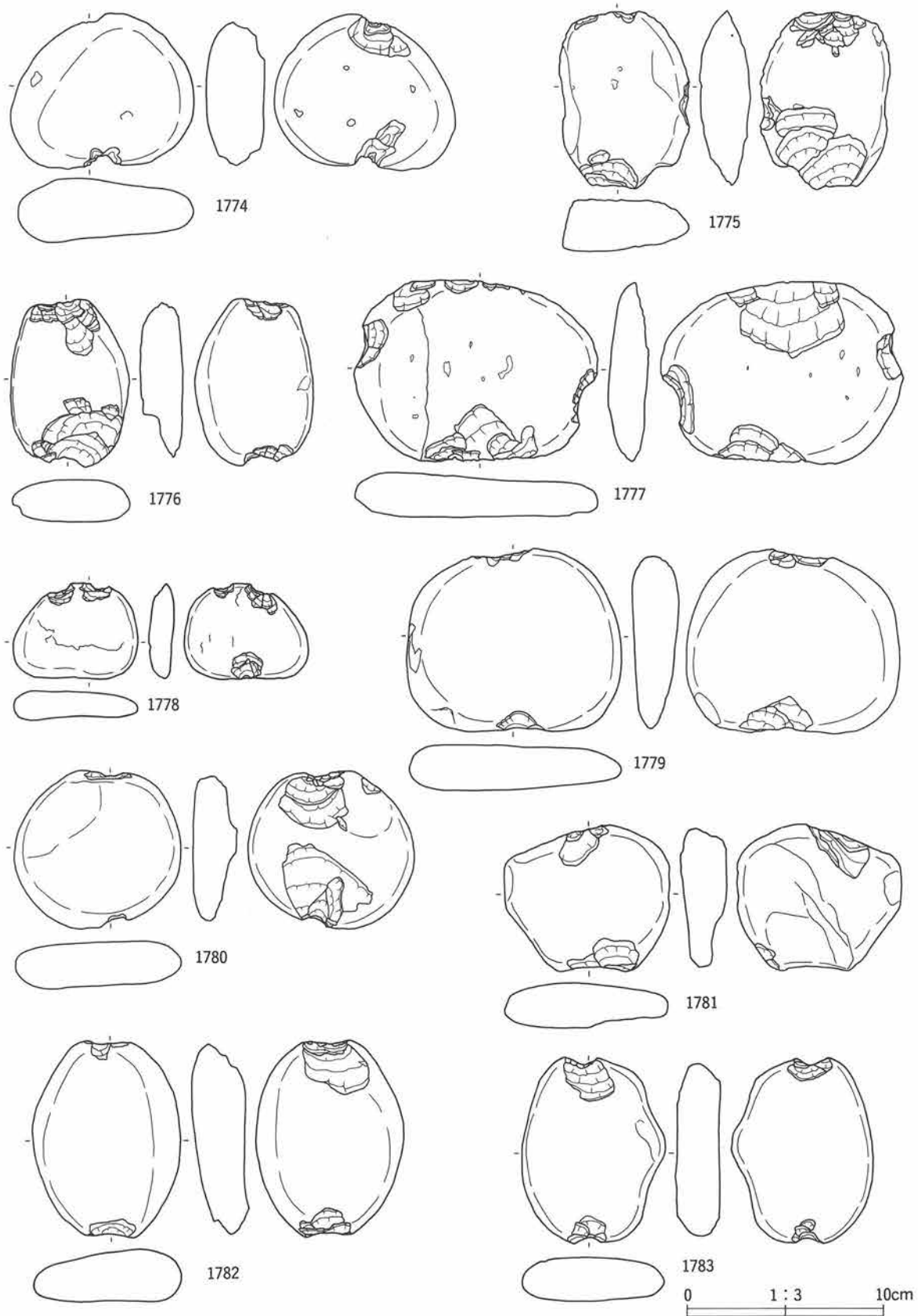
1772



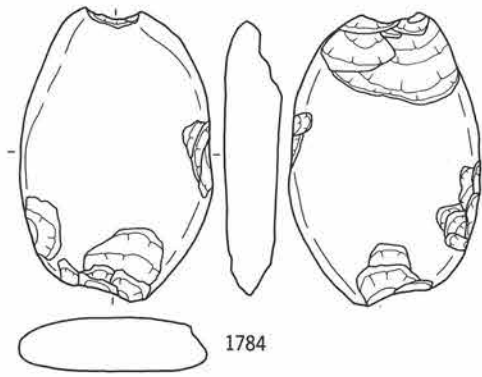
1773



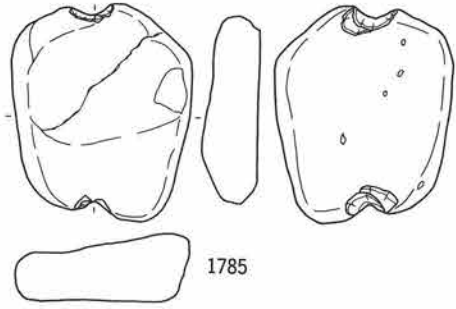
第249图 石器(36)



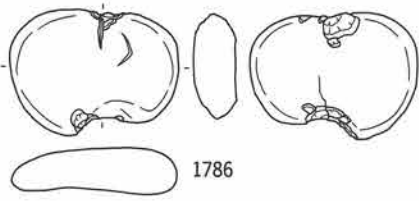
第250图 石器(37)



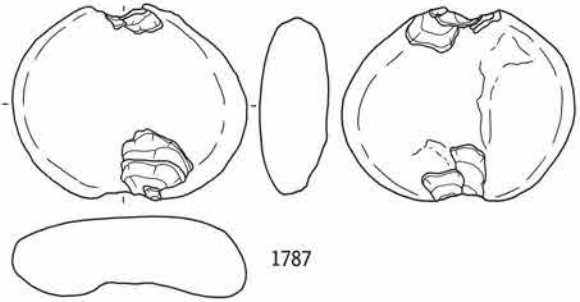
1784



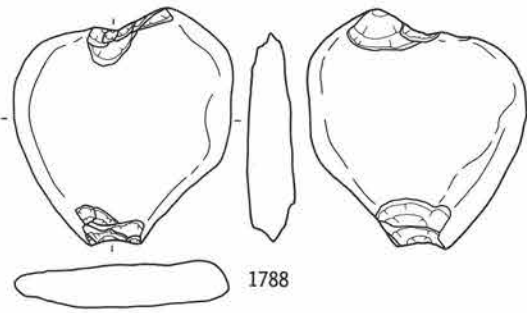
1785



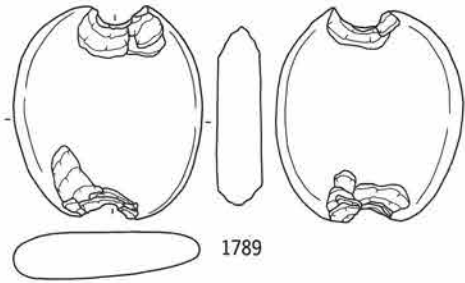
1786



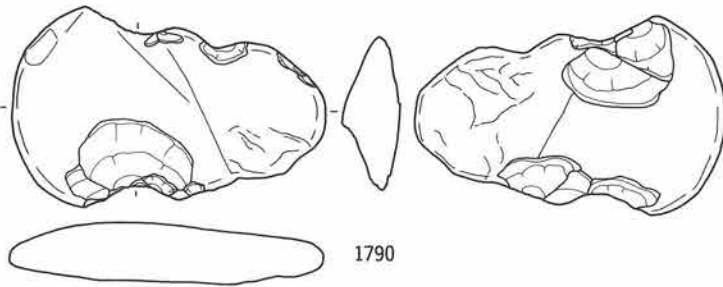
1787



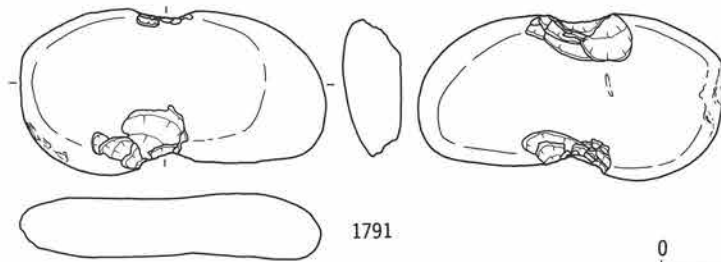
1788



1789

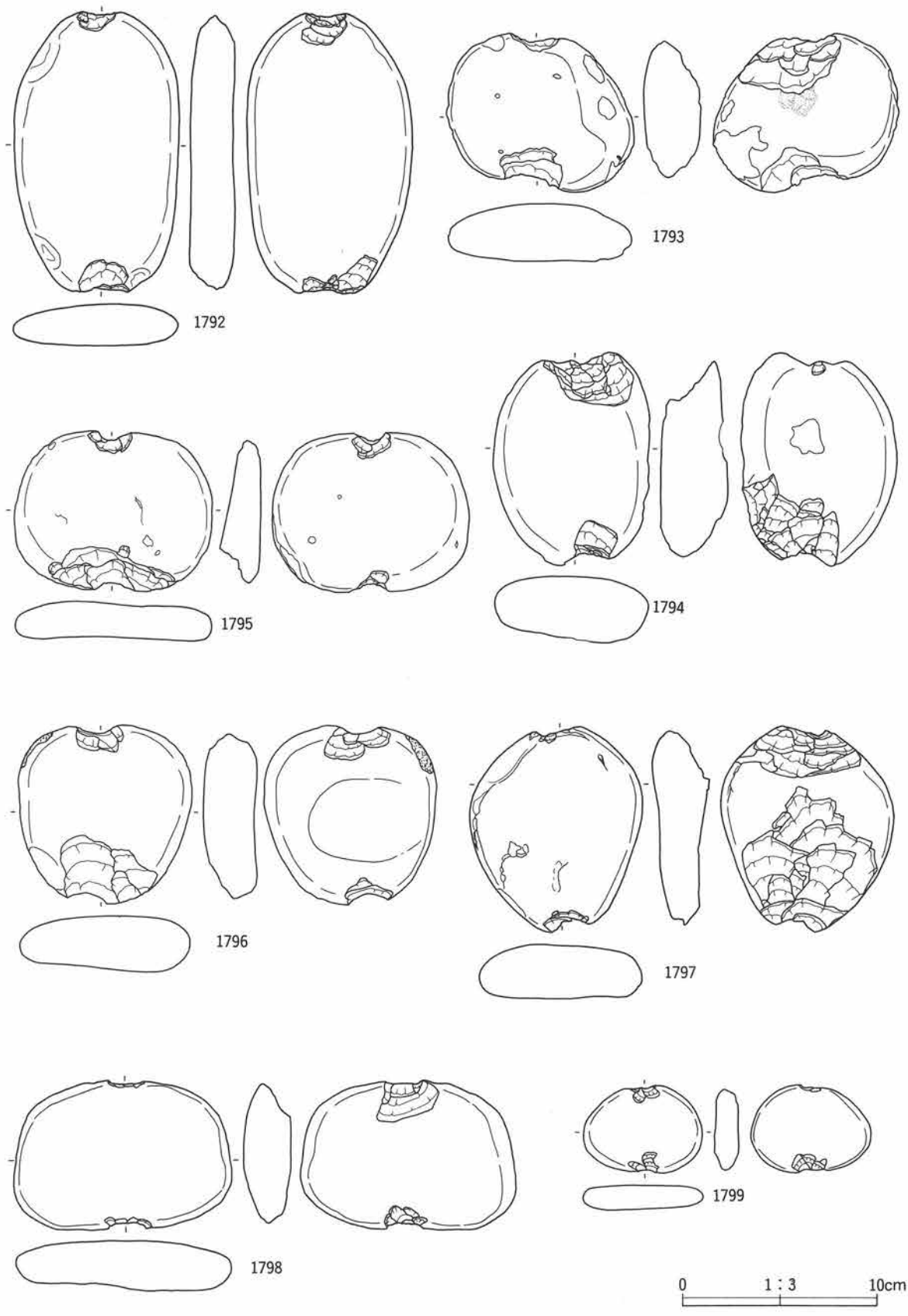


1790

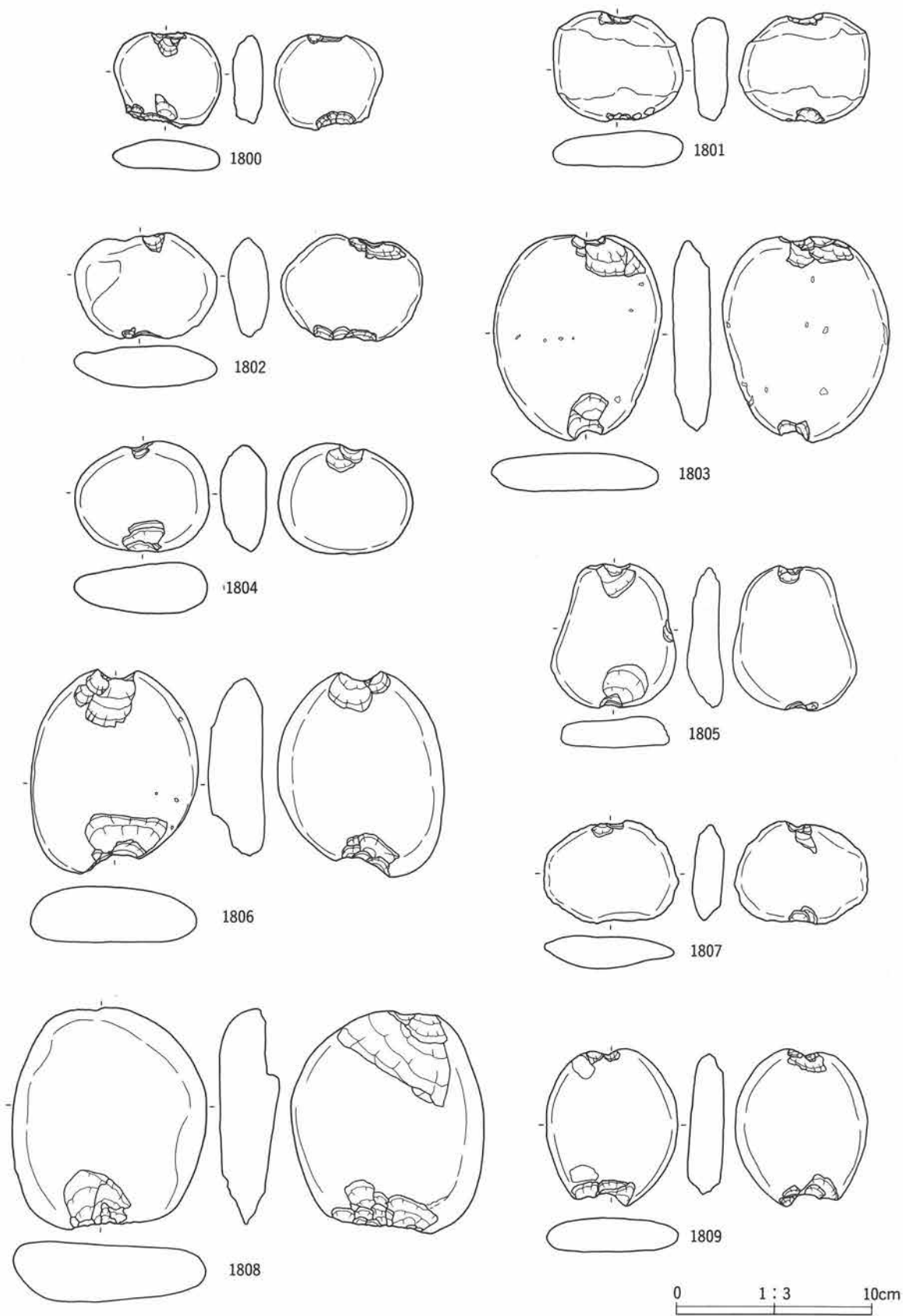


1791

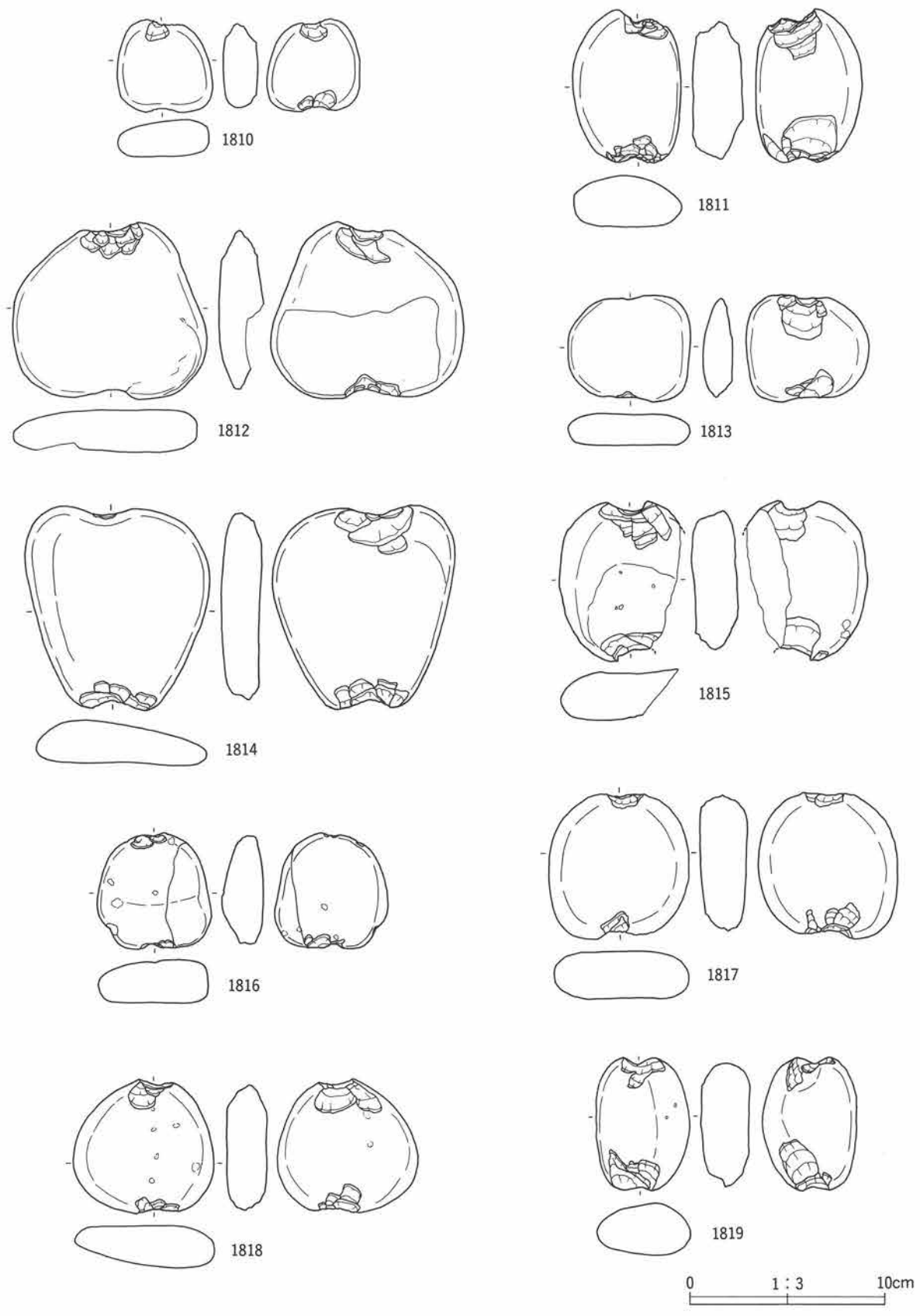
0 1:3 10cm



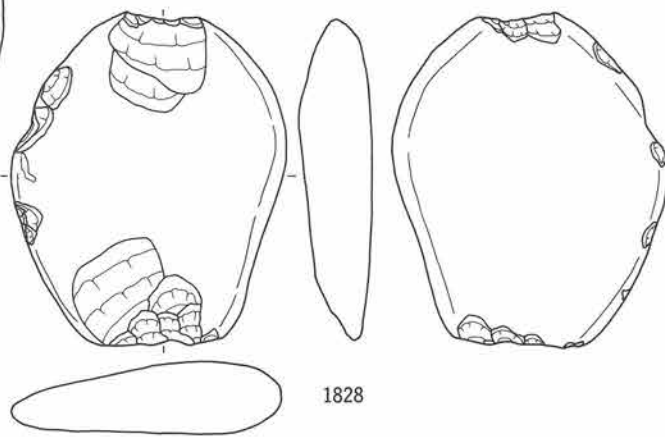
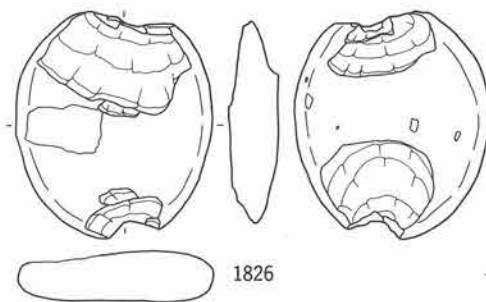
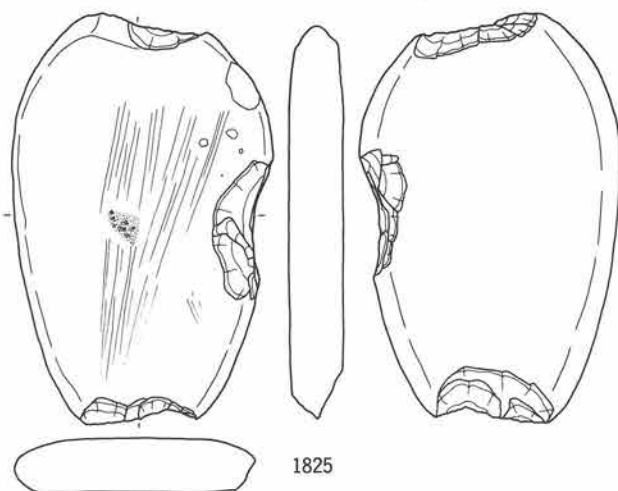
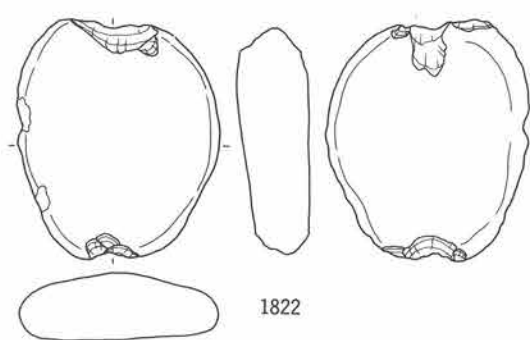
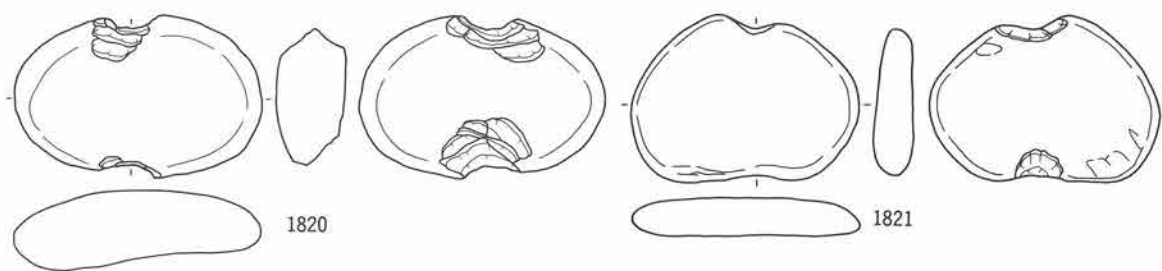
第252図 石器(39)



第253图 石器(40)

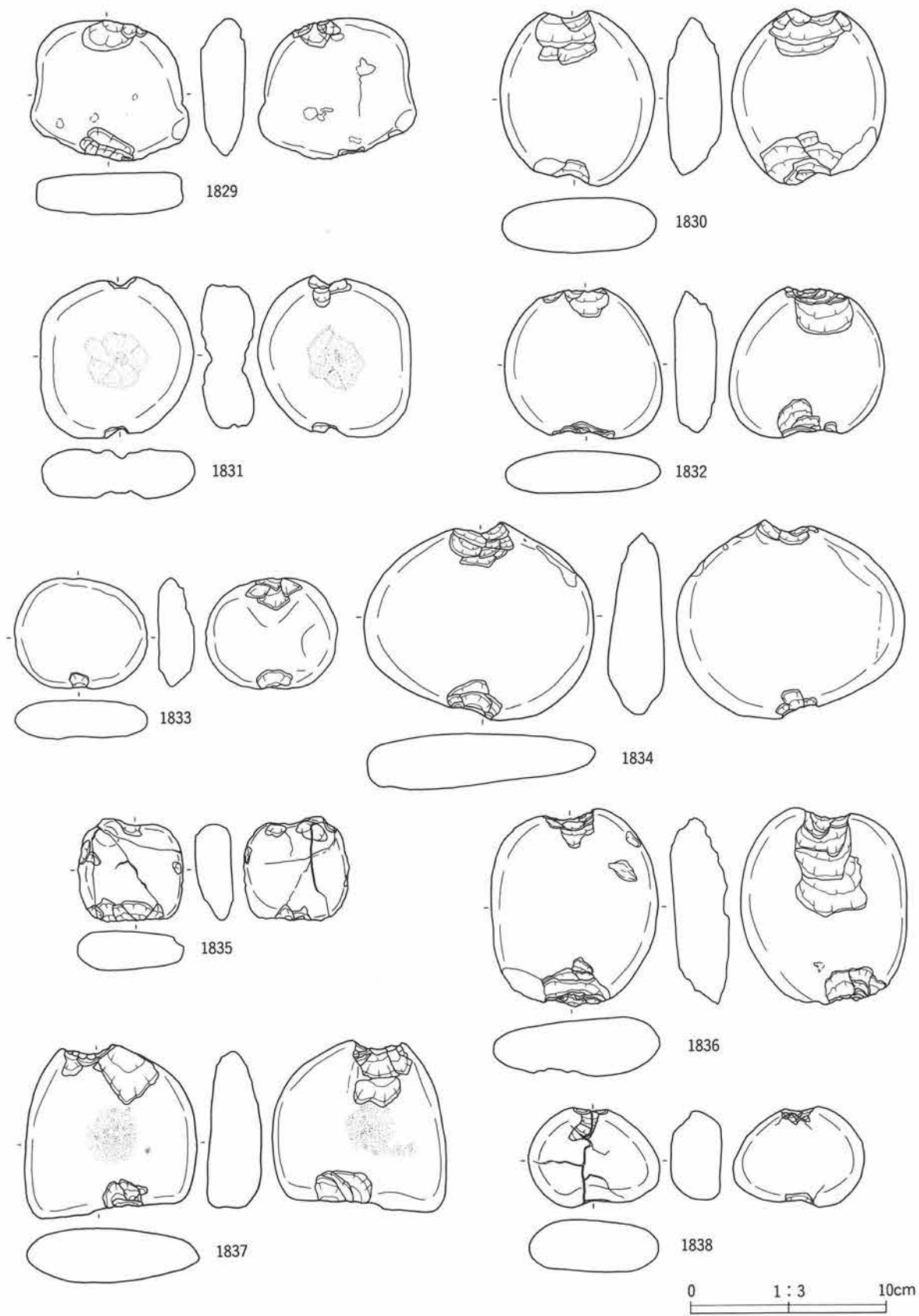


第254图 石器(41)

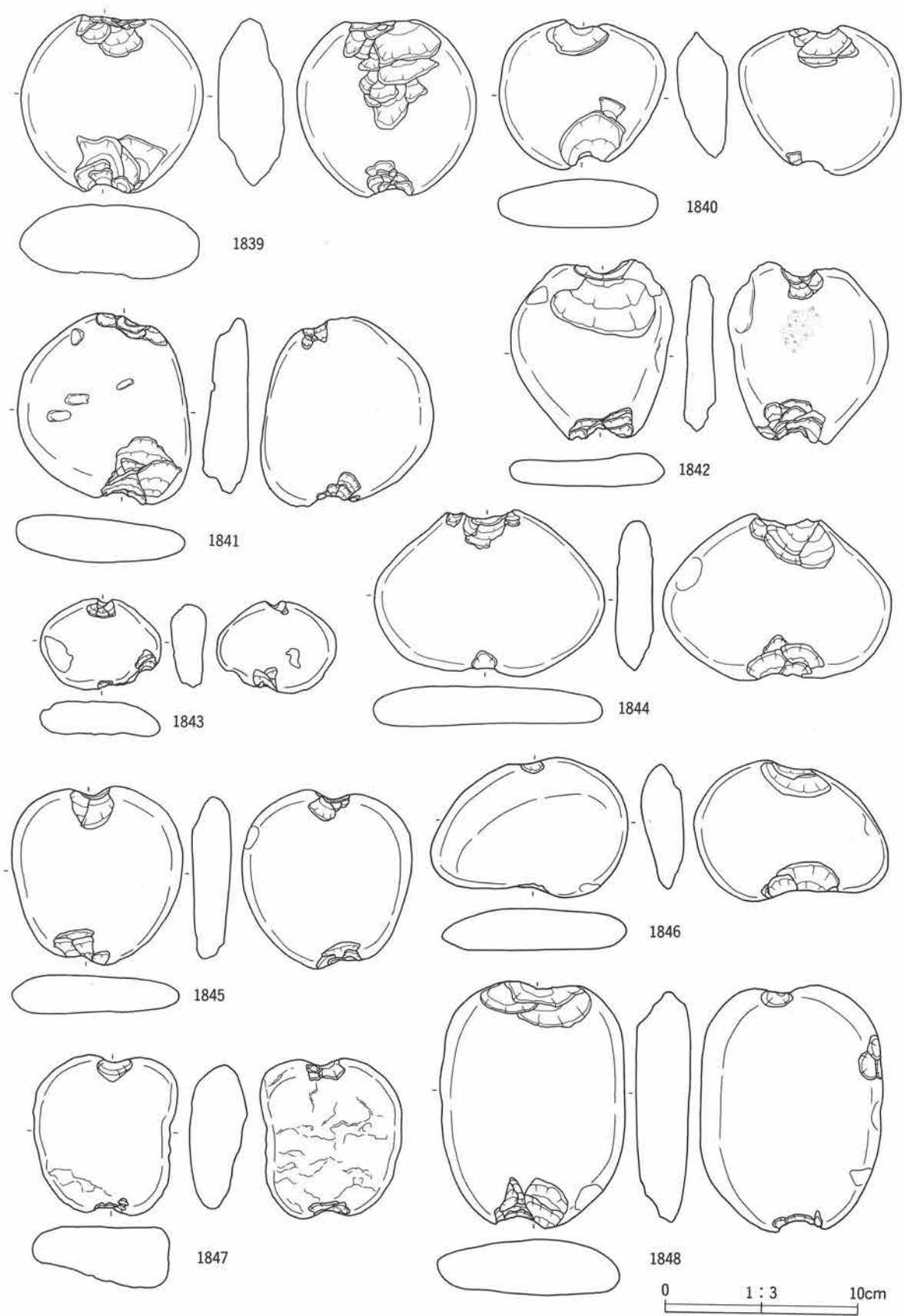


0 1:3 10cm

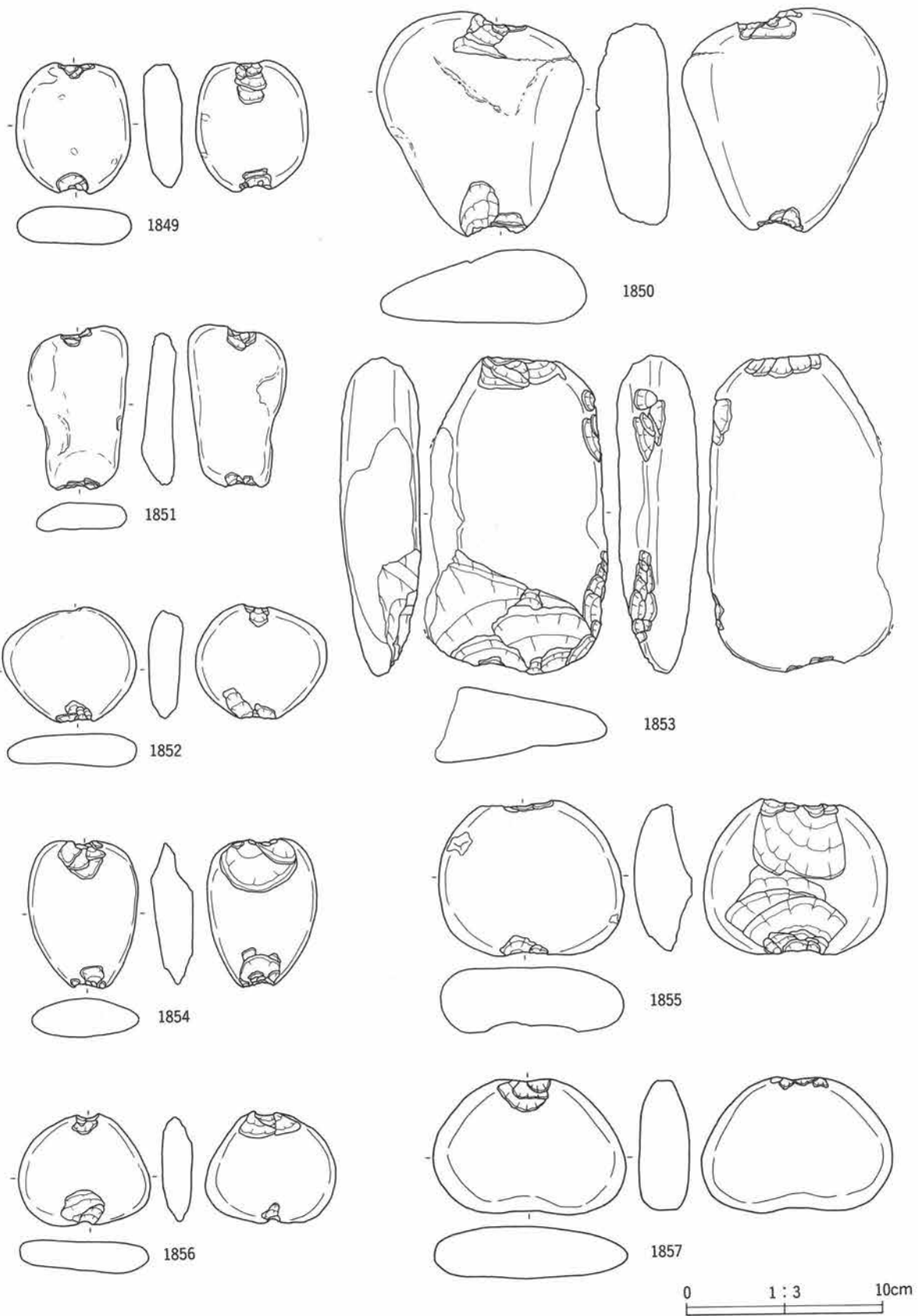
第255图 石器(42)



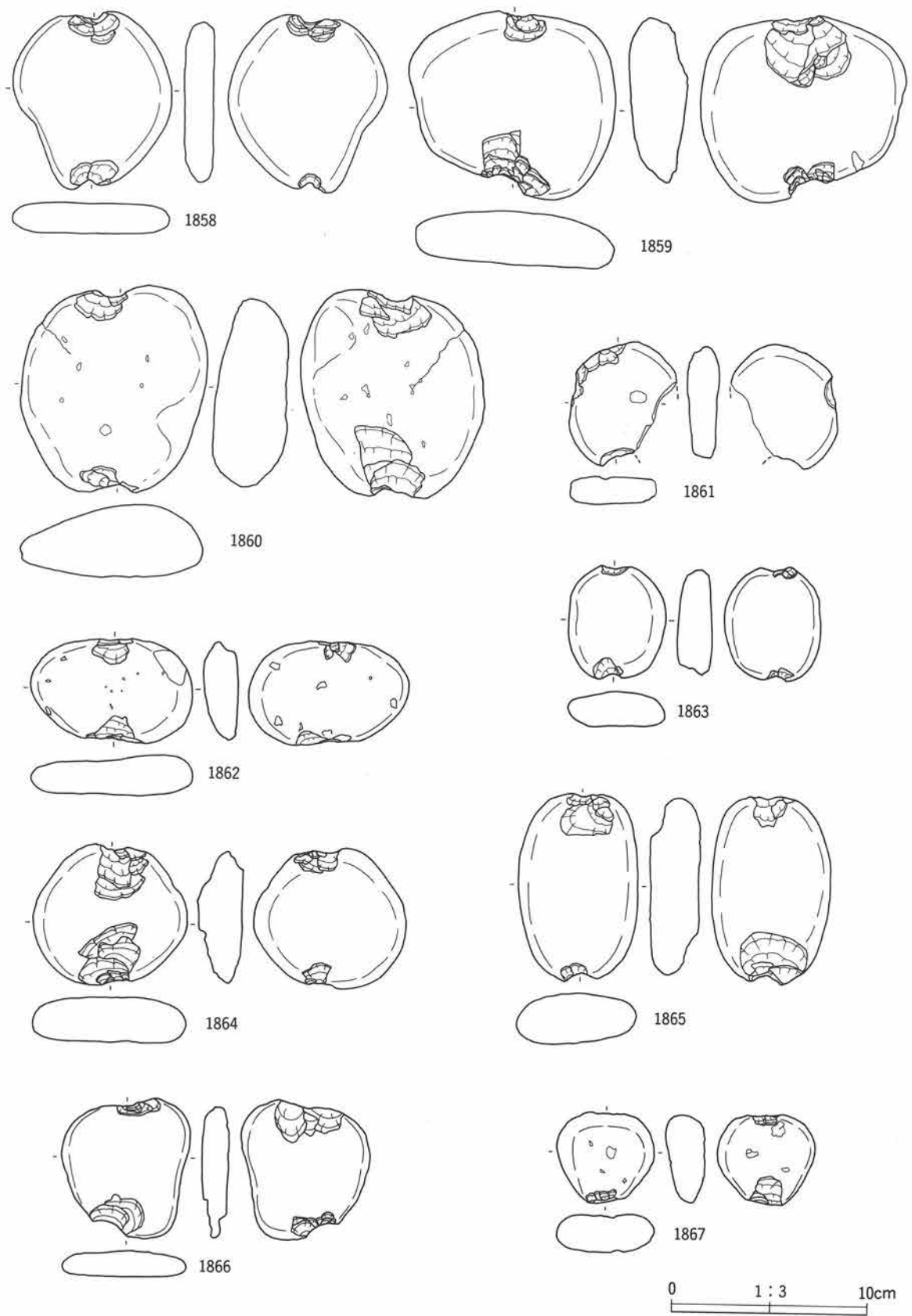
第256图 石器(43)



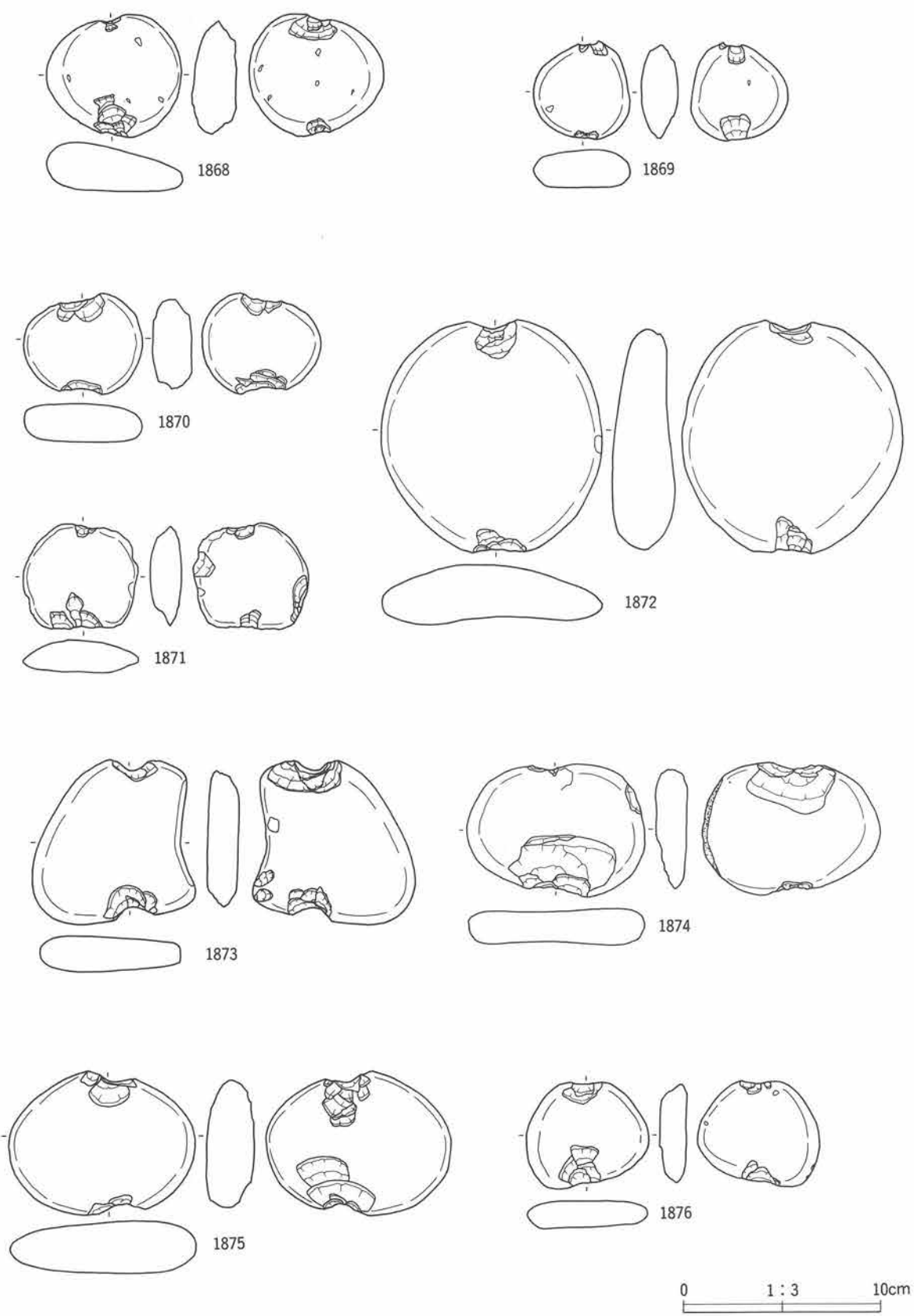
第257图 石器(44)



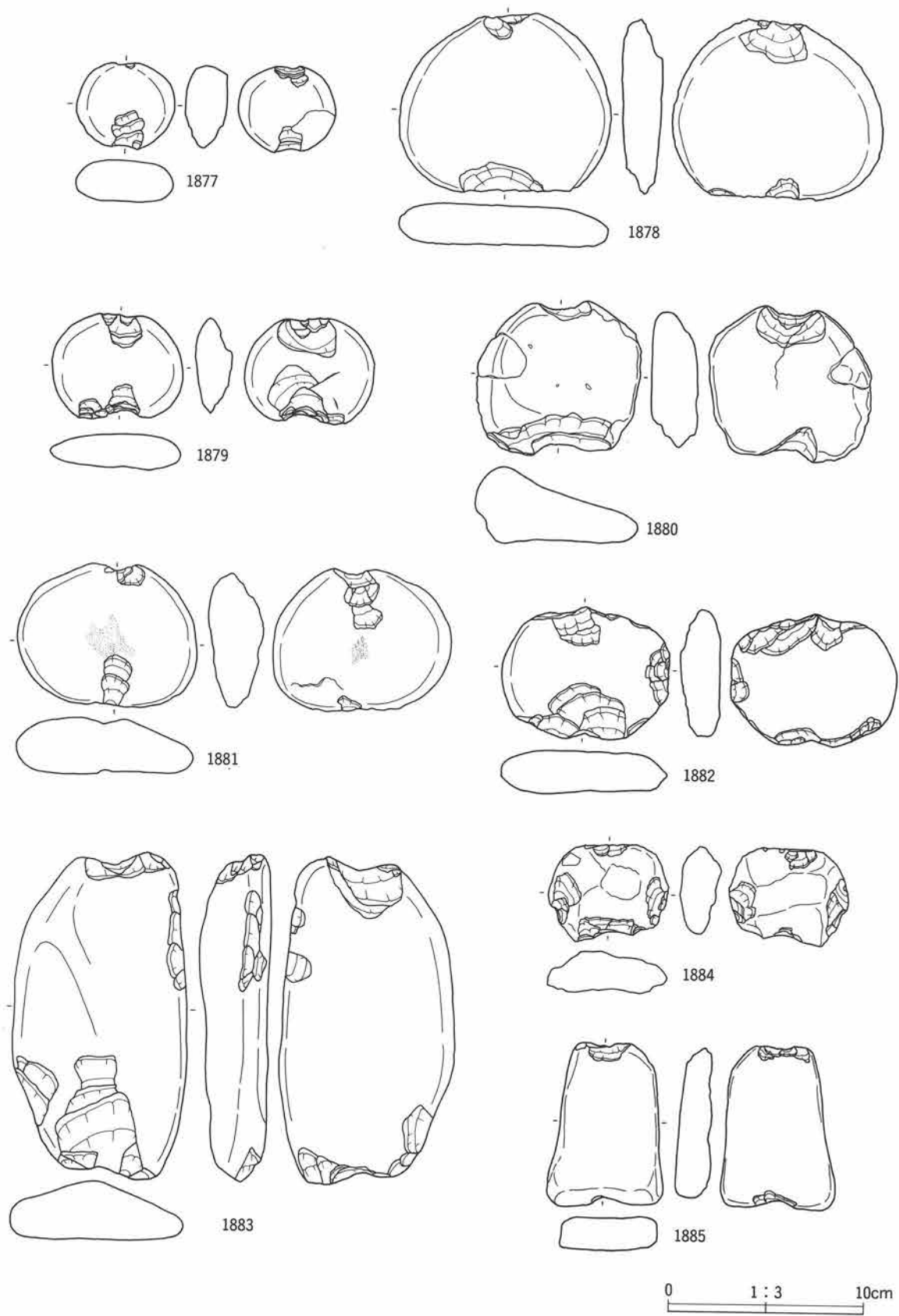
第258图 石器(45)



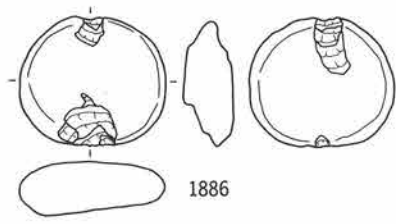
第259図 石器(46)



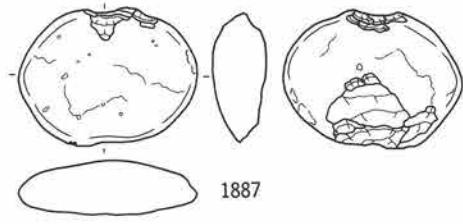
第260图 石器(47)



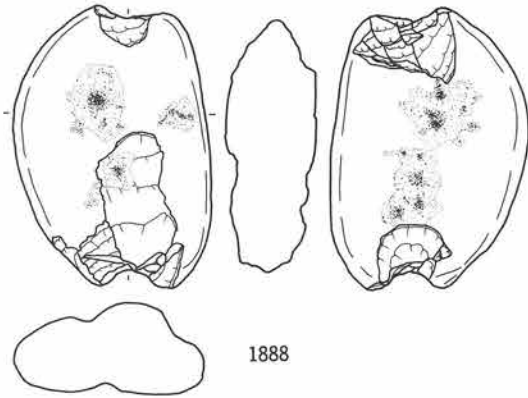
第261图 石器(48)



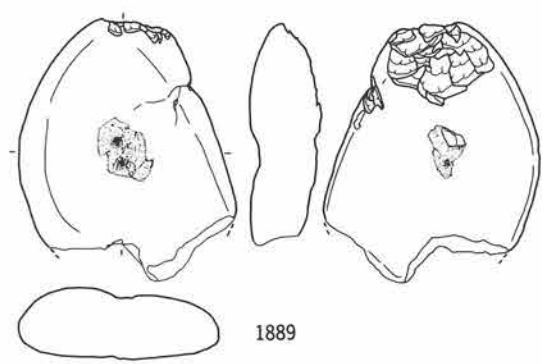
1886



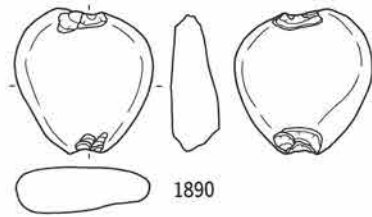
1887



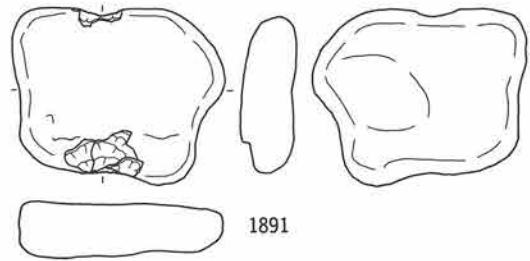
1888



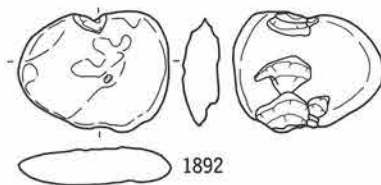
1889



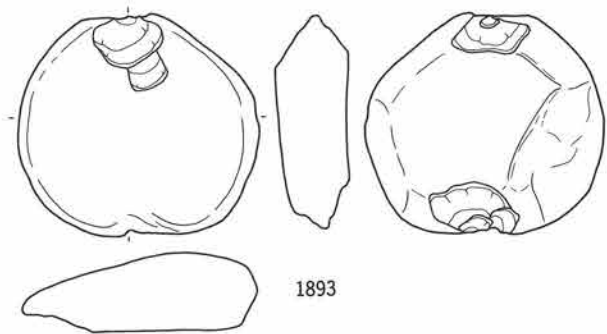
1890



1891

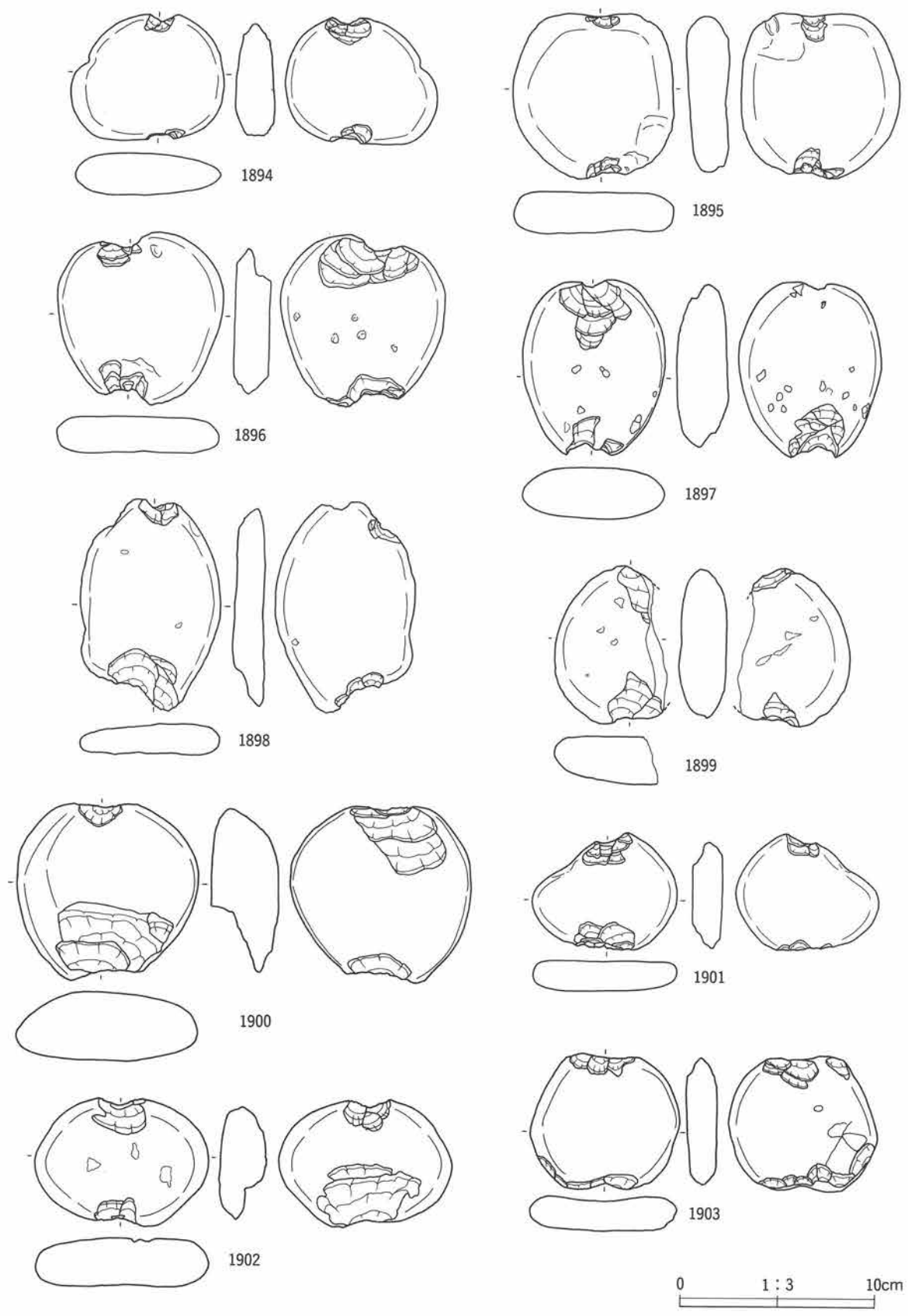


1892

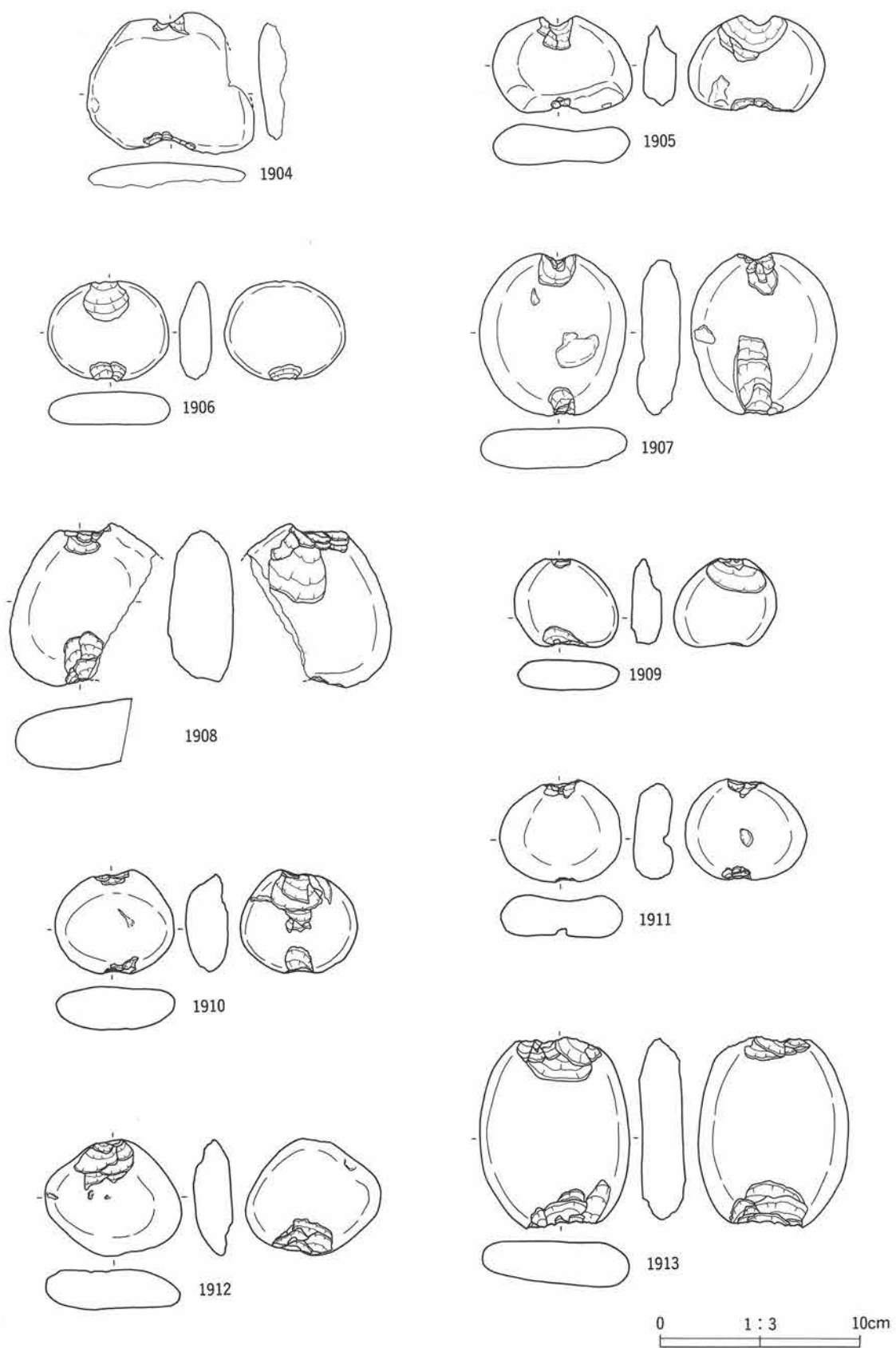


1893

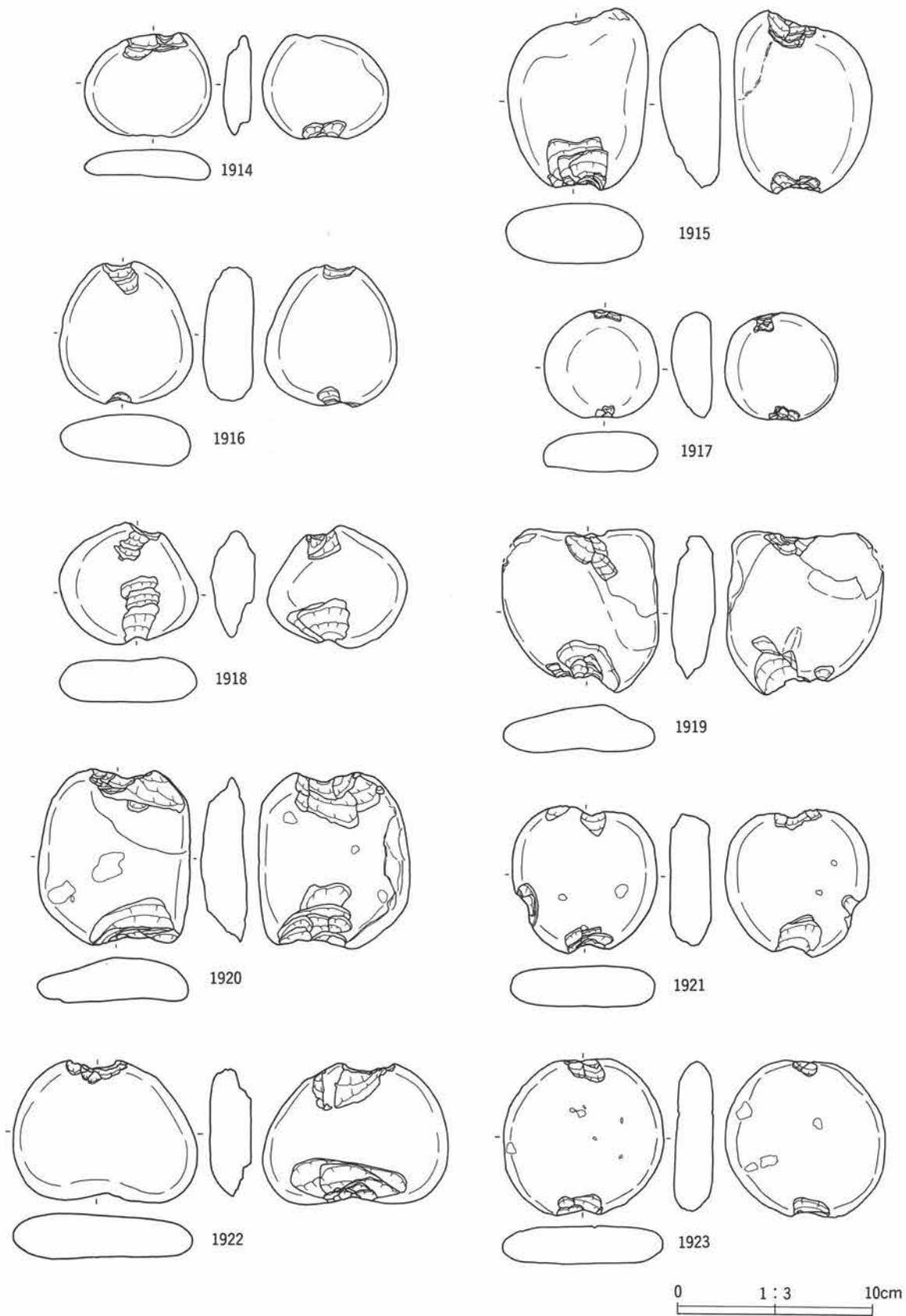
0 1:3 10cm



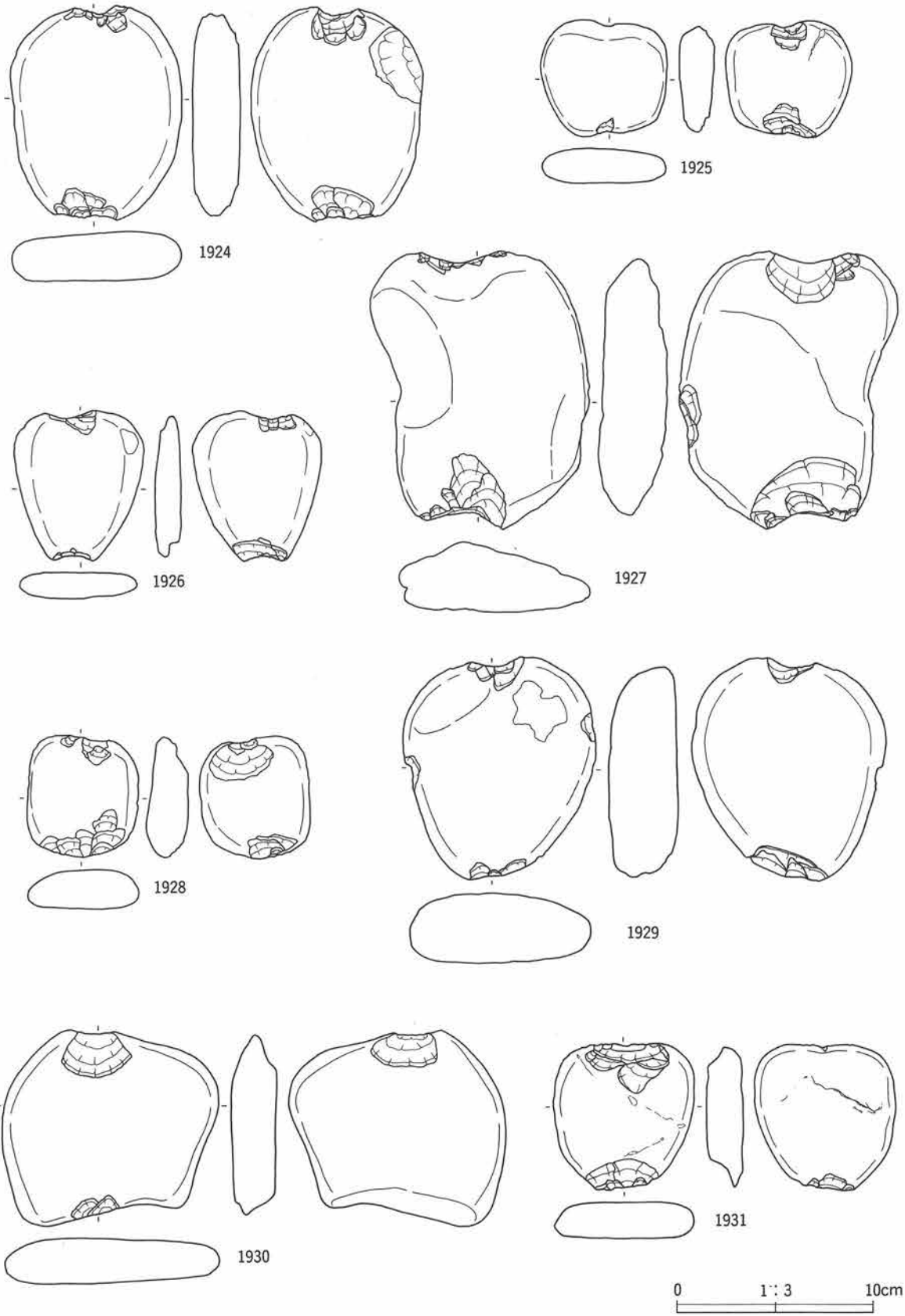
第263图 石器(50)



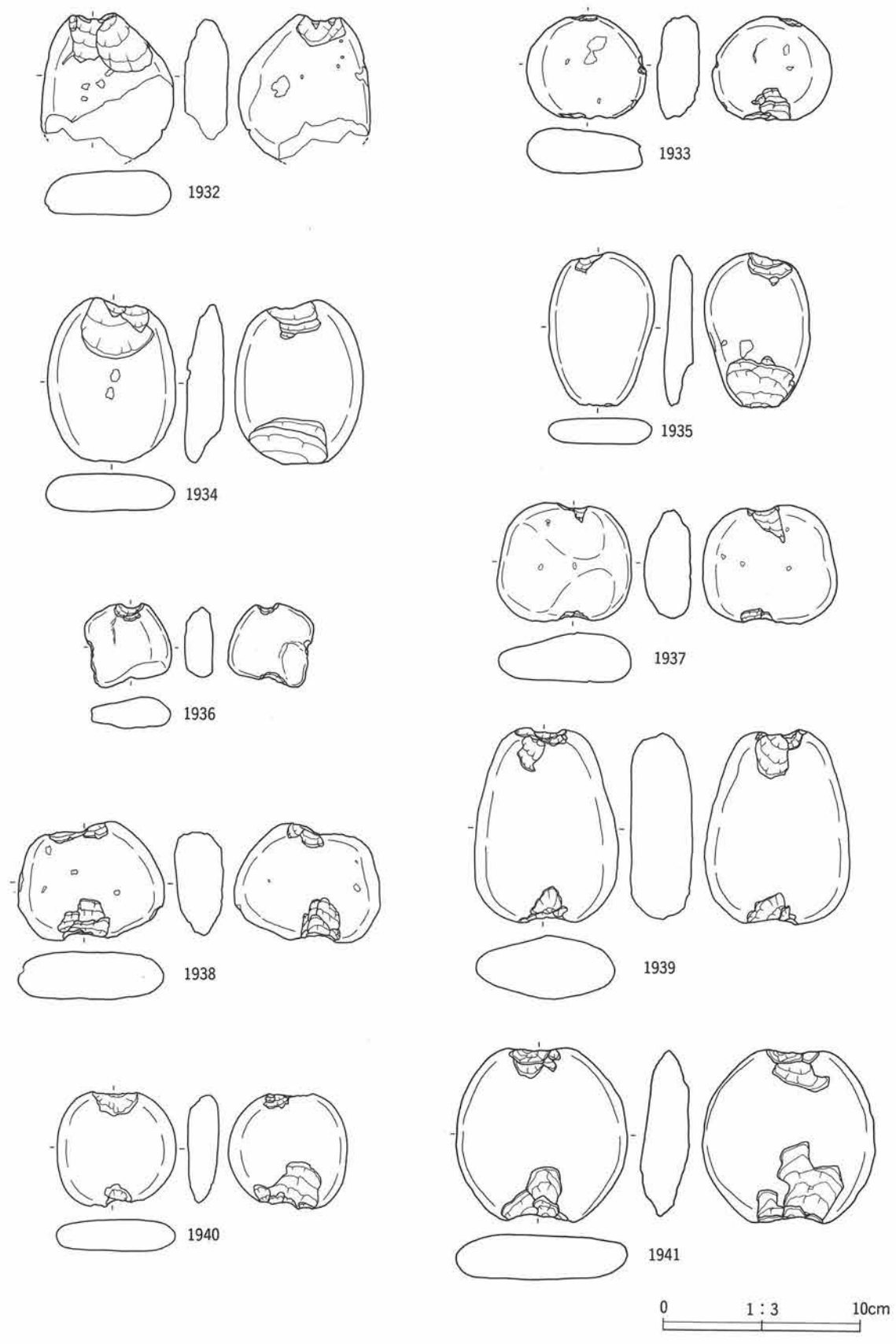
第264图 石器(5)



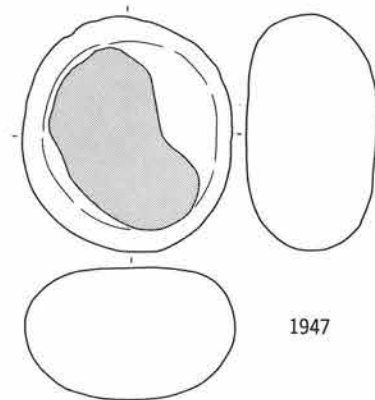
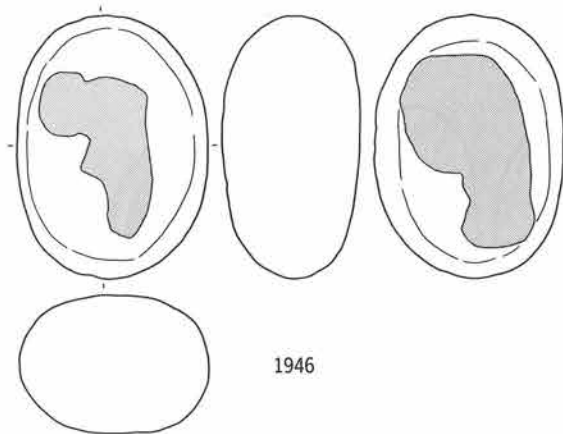
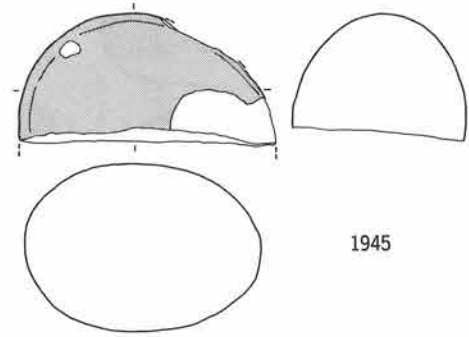
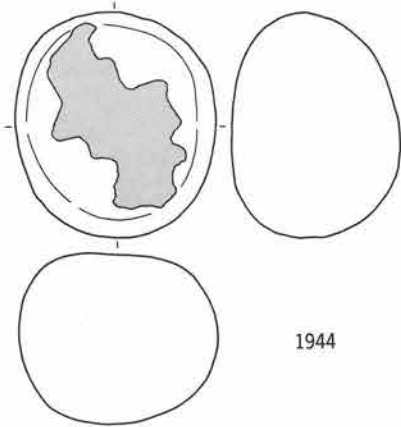
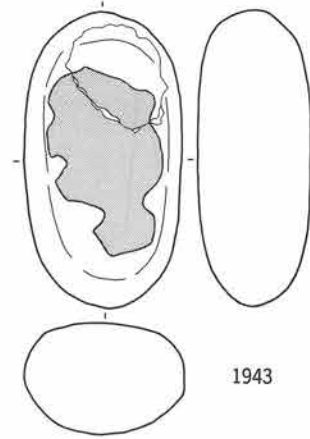
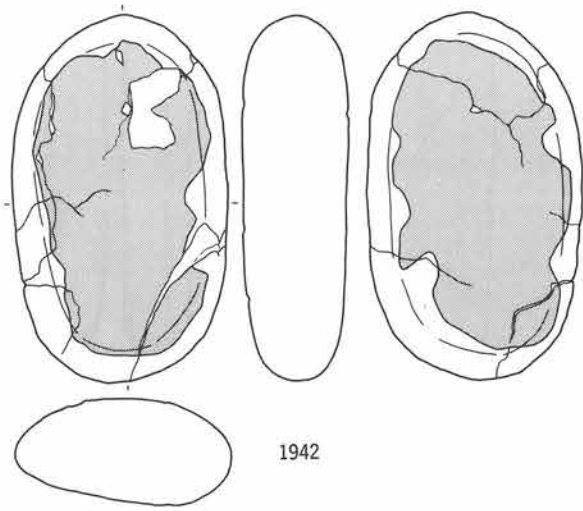
第265图 石器(52)



第266图 石器(53)

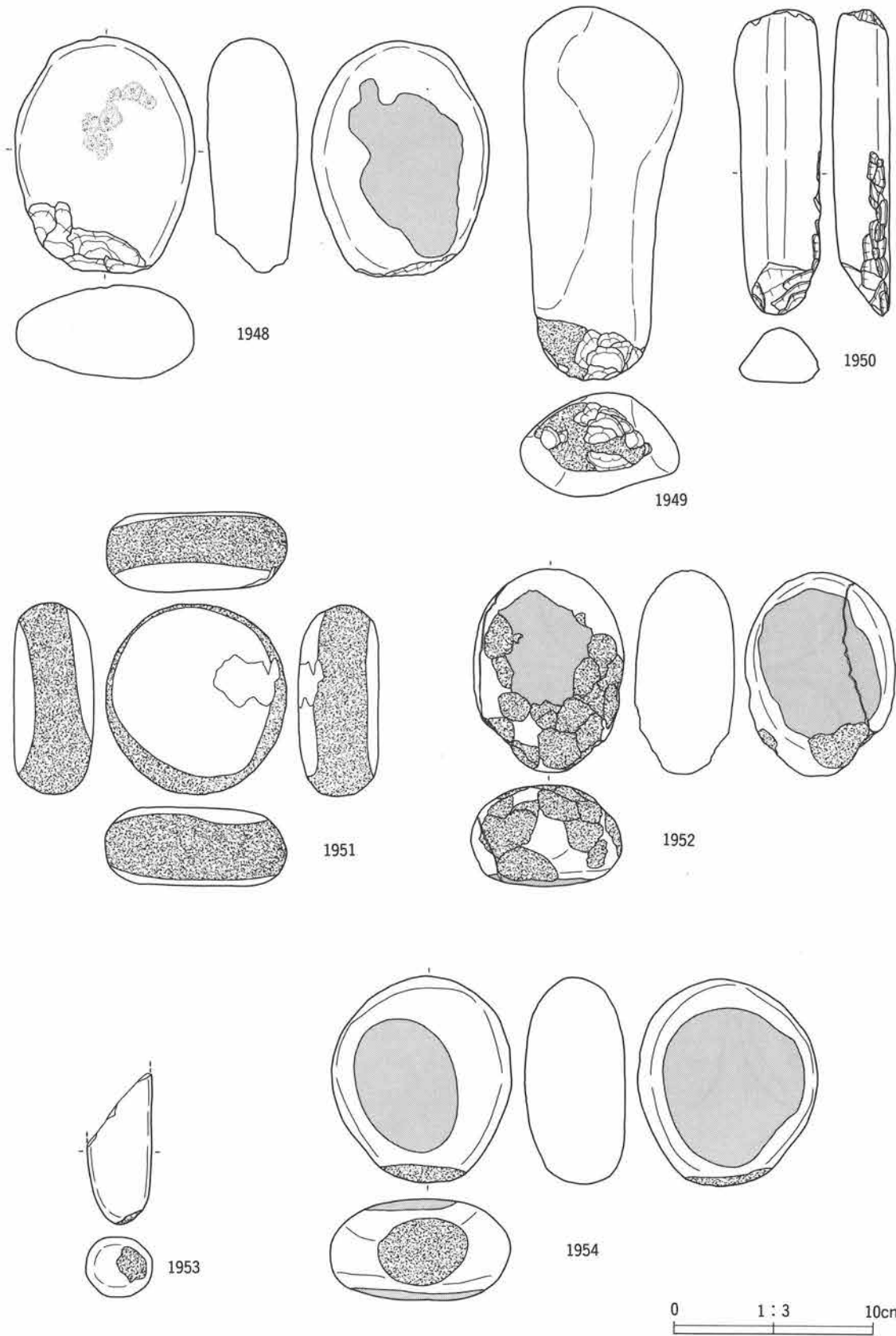


第267图 石器(54)

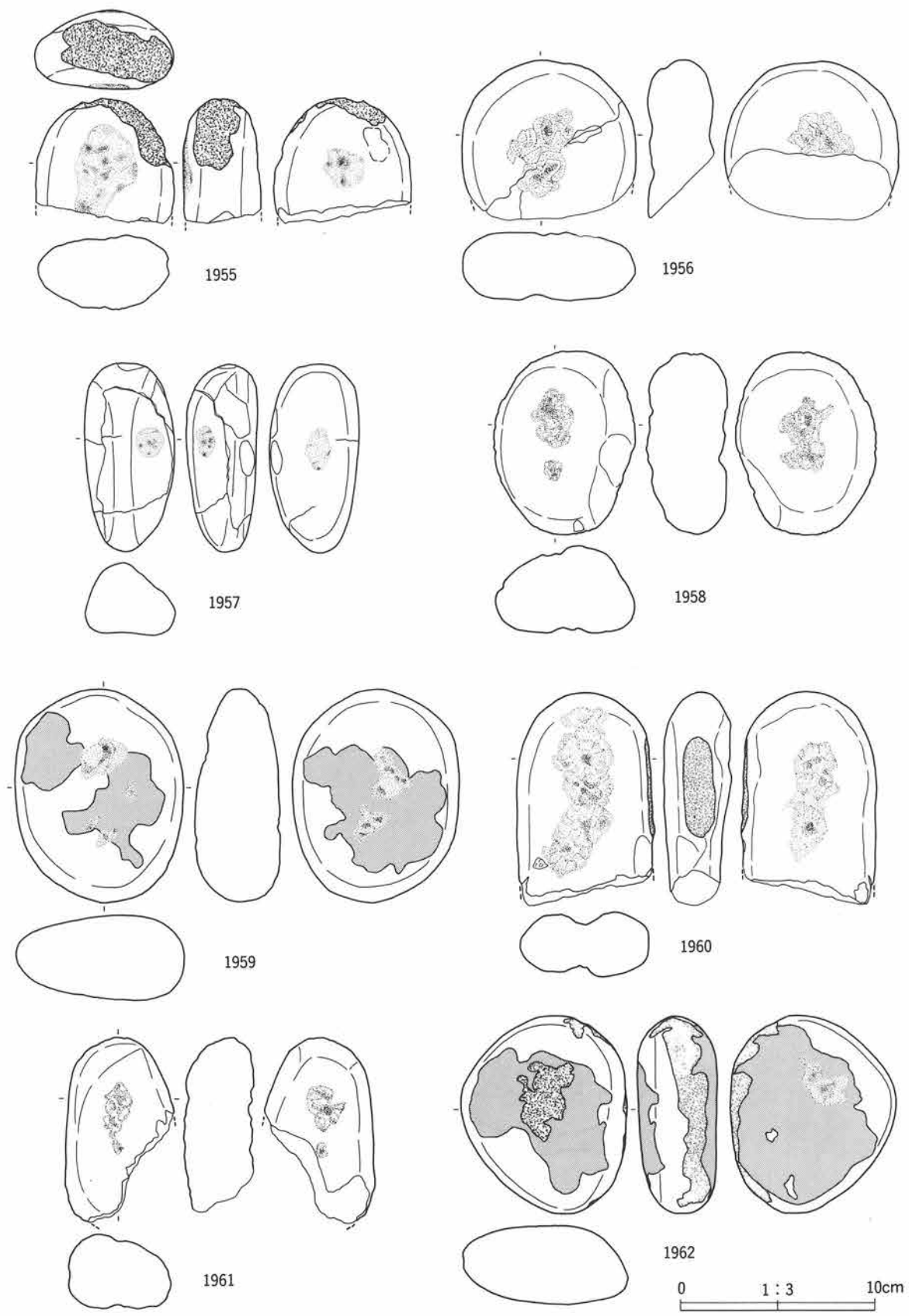


0 1 : 3 10cm

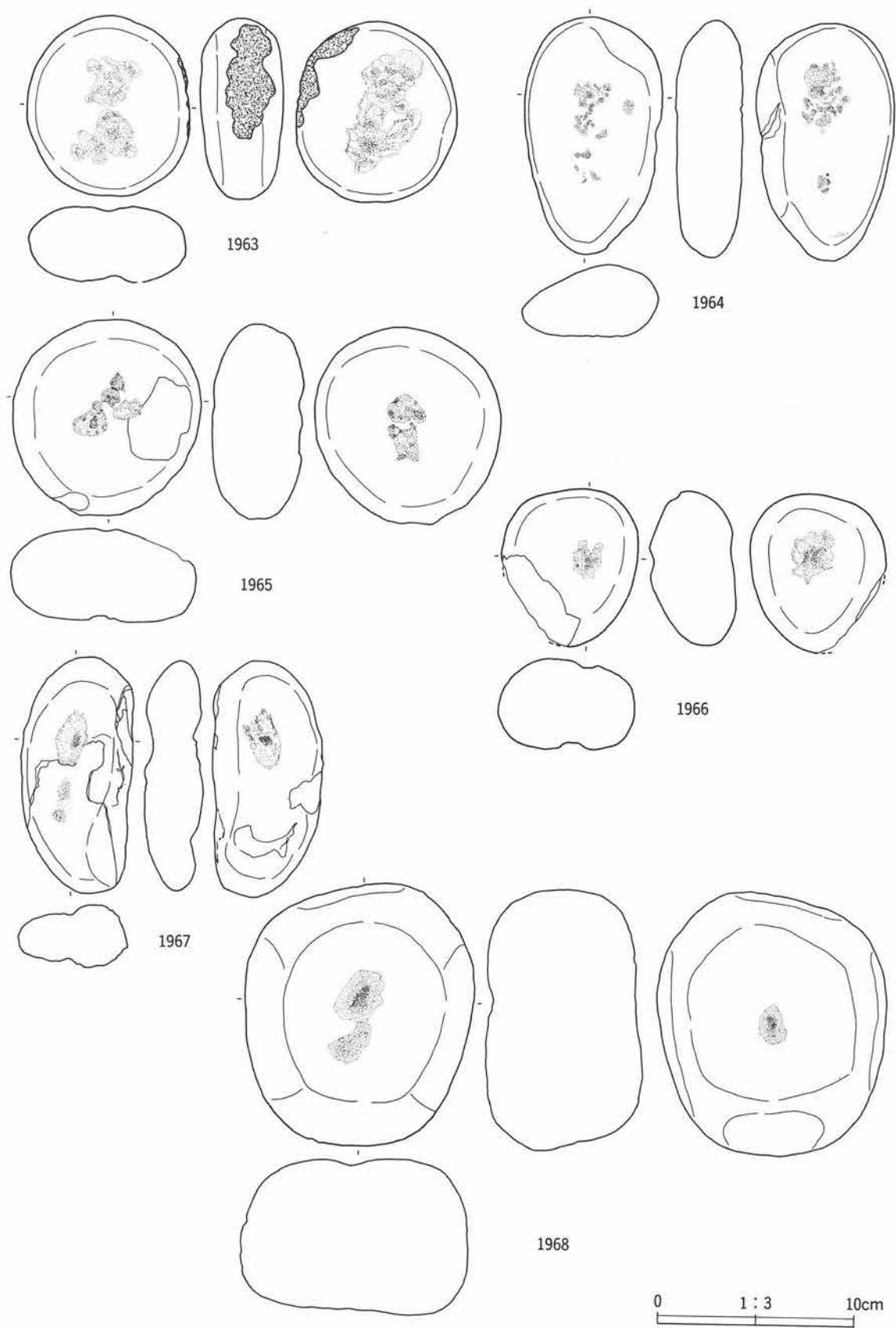
第268図 石器(55)



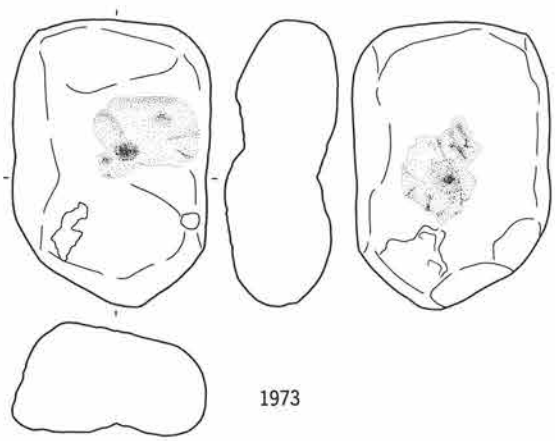
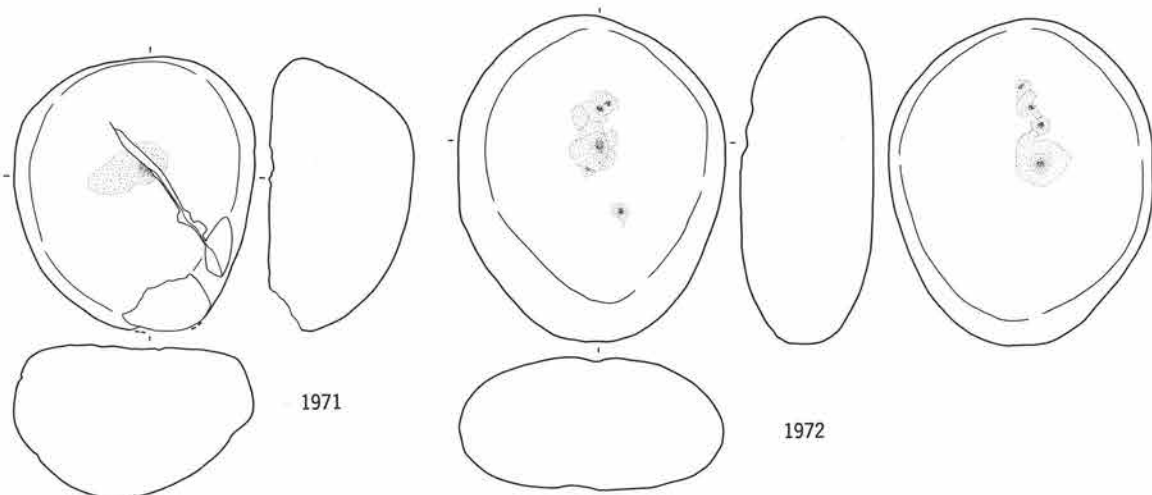
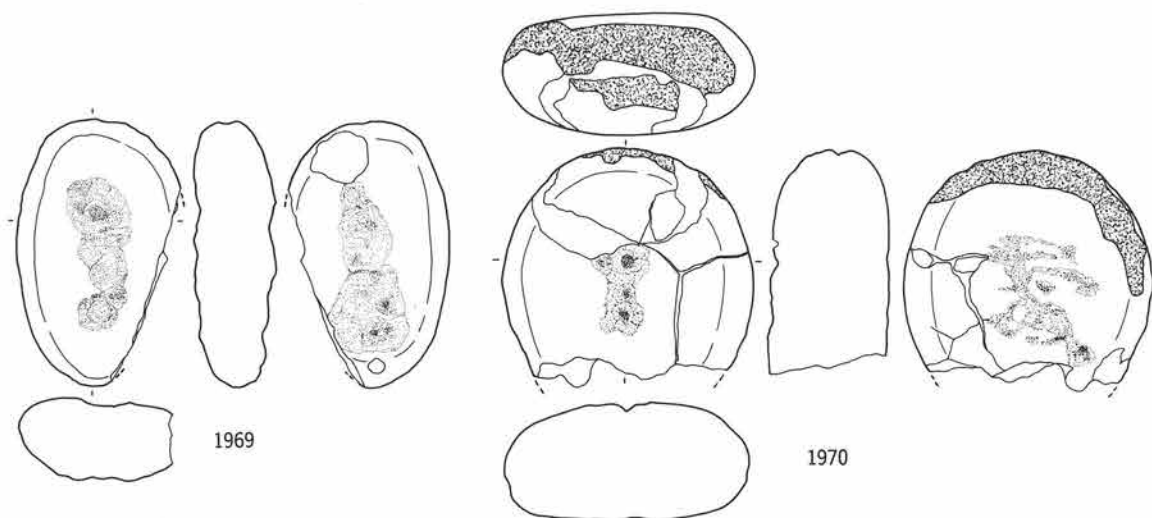
第269图 石器(56)



第270图 石器(5)

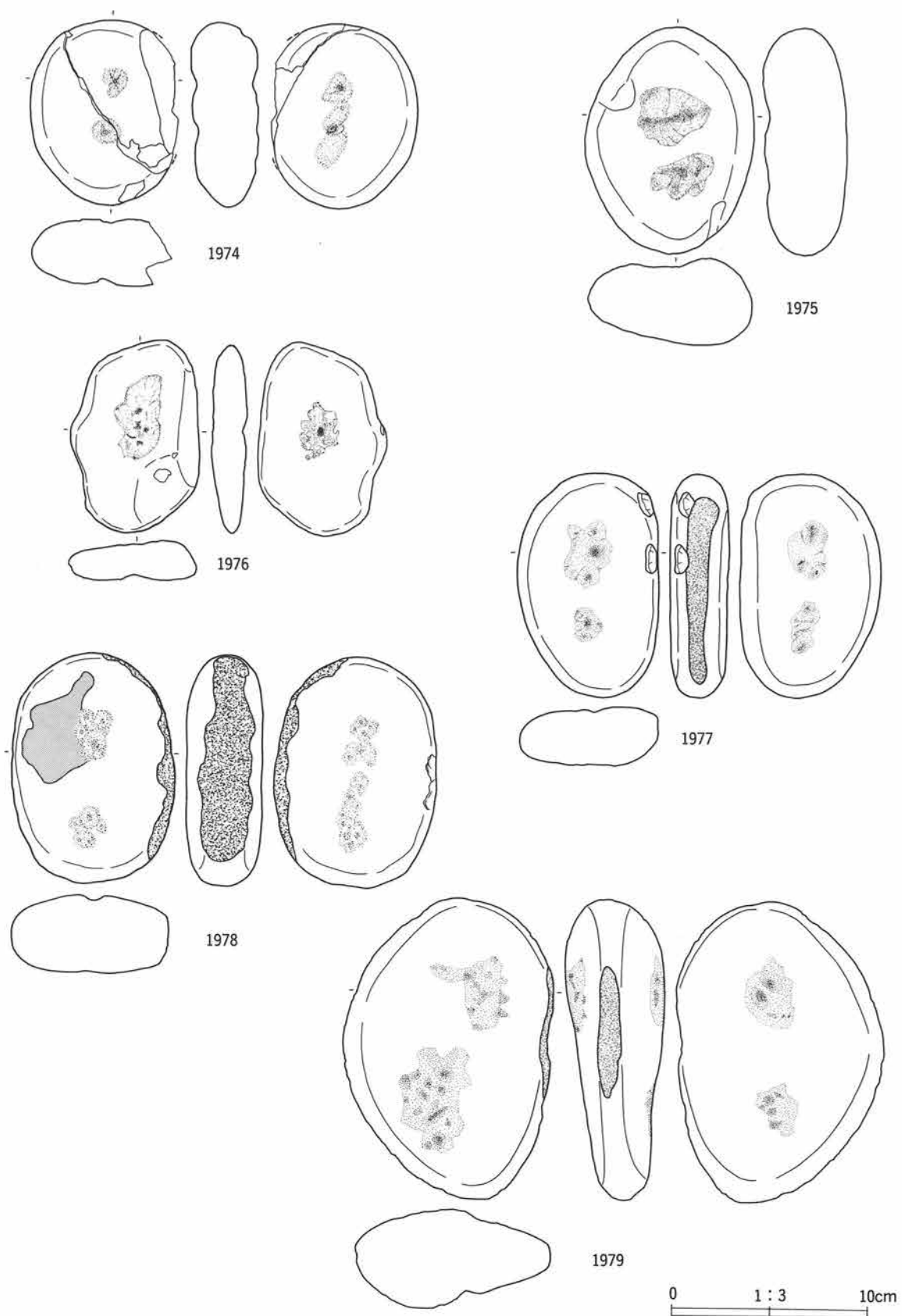


第271图 石器(58)

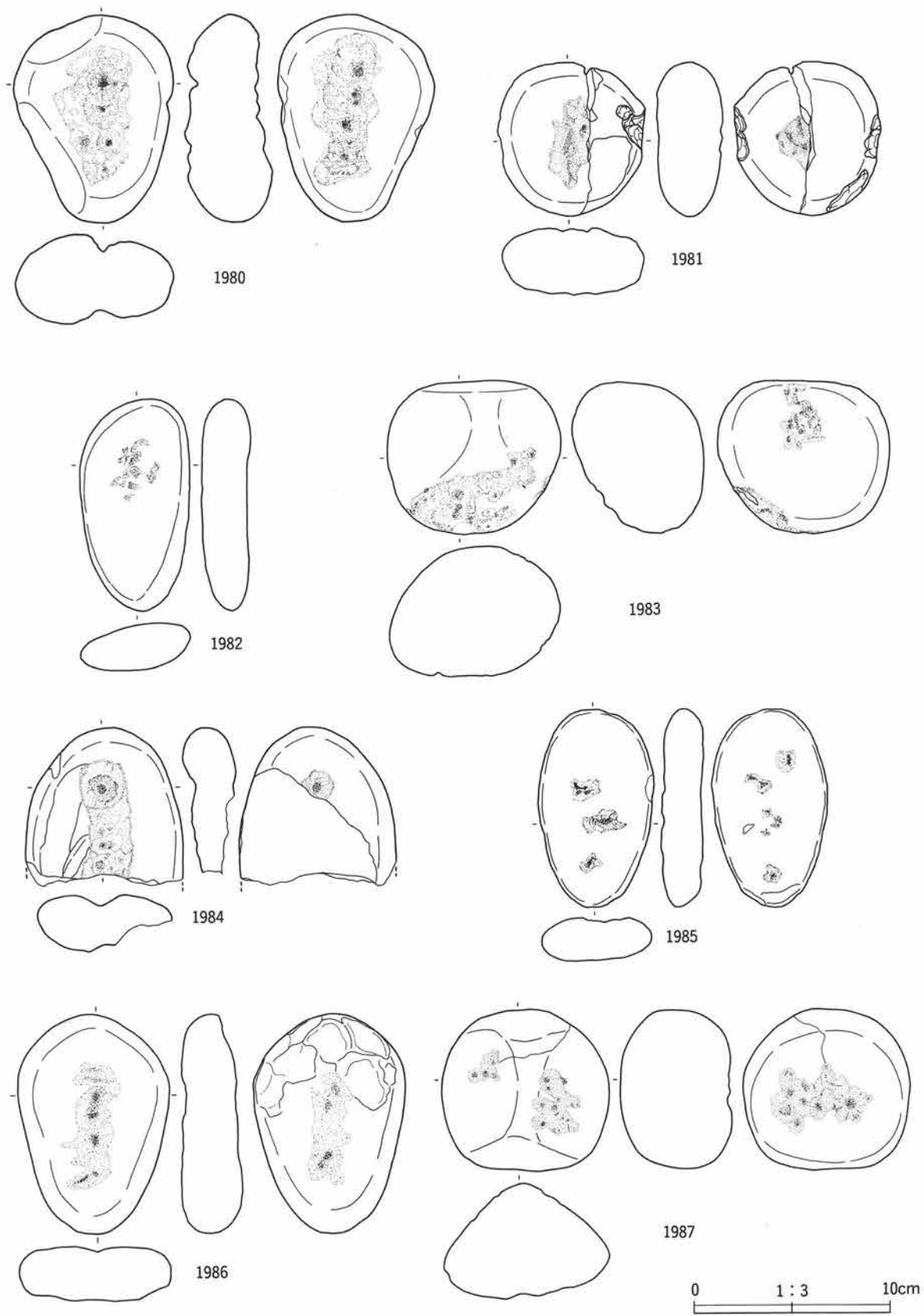


0 1 : 3 10cm

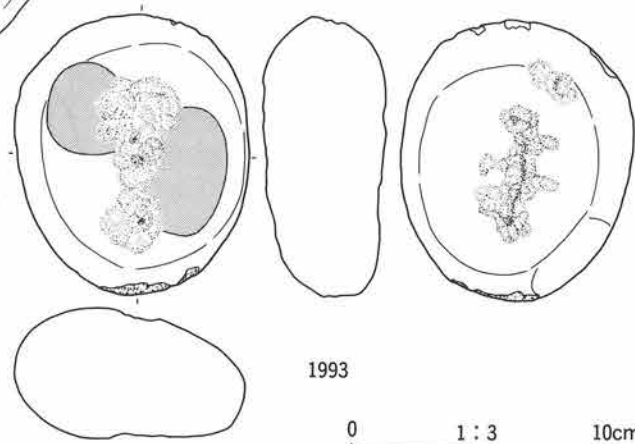
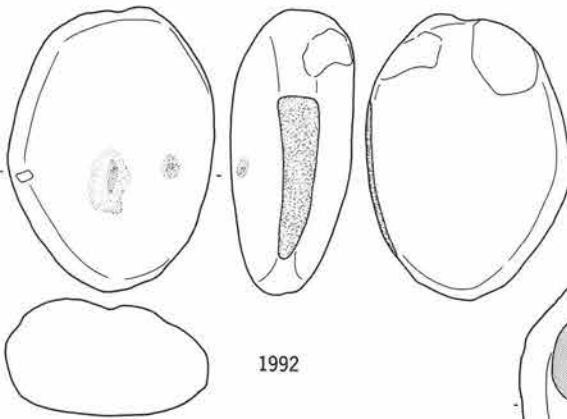
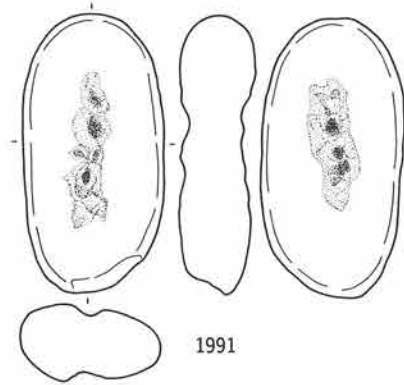
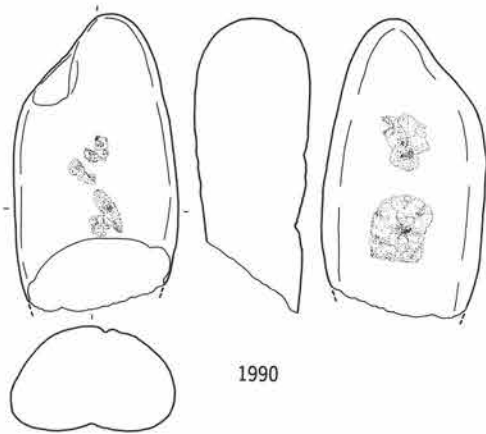
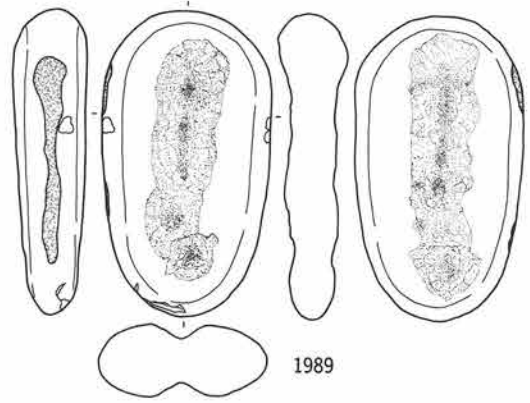
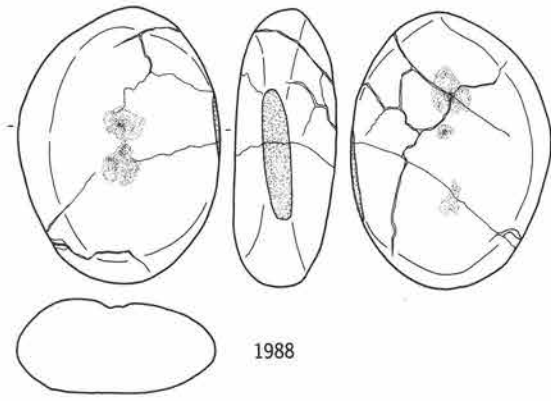
第272図 石器(59)



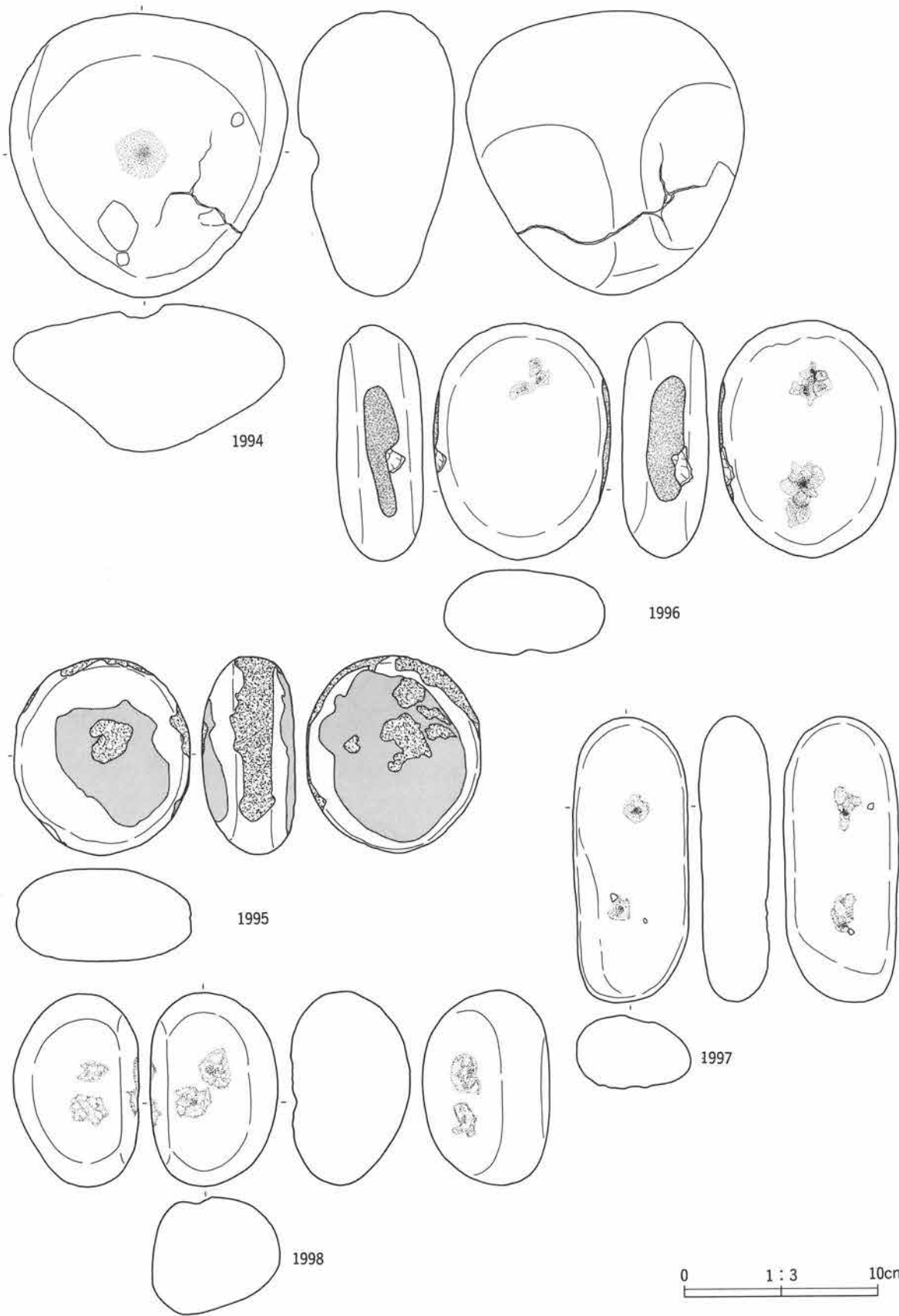
第273図 石器(60)



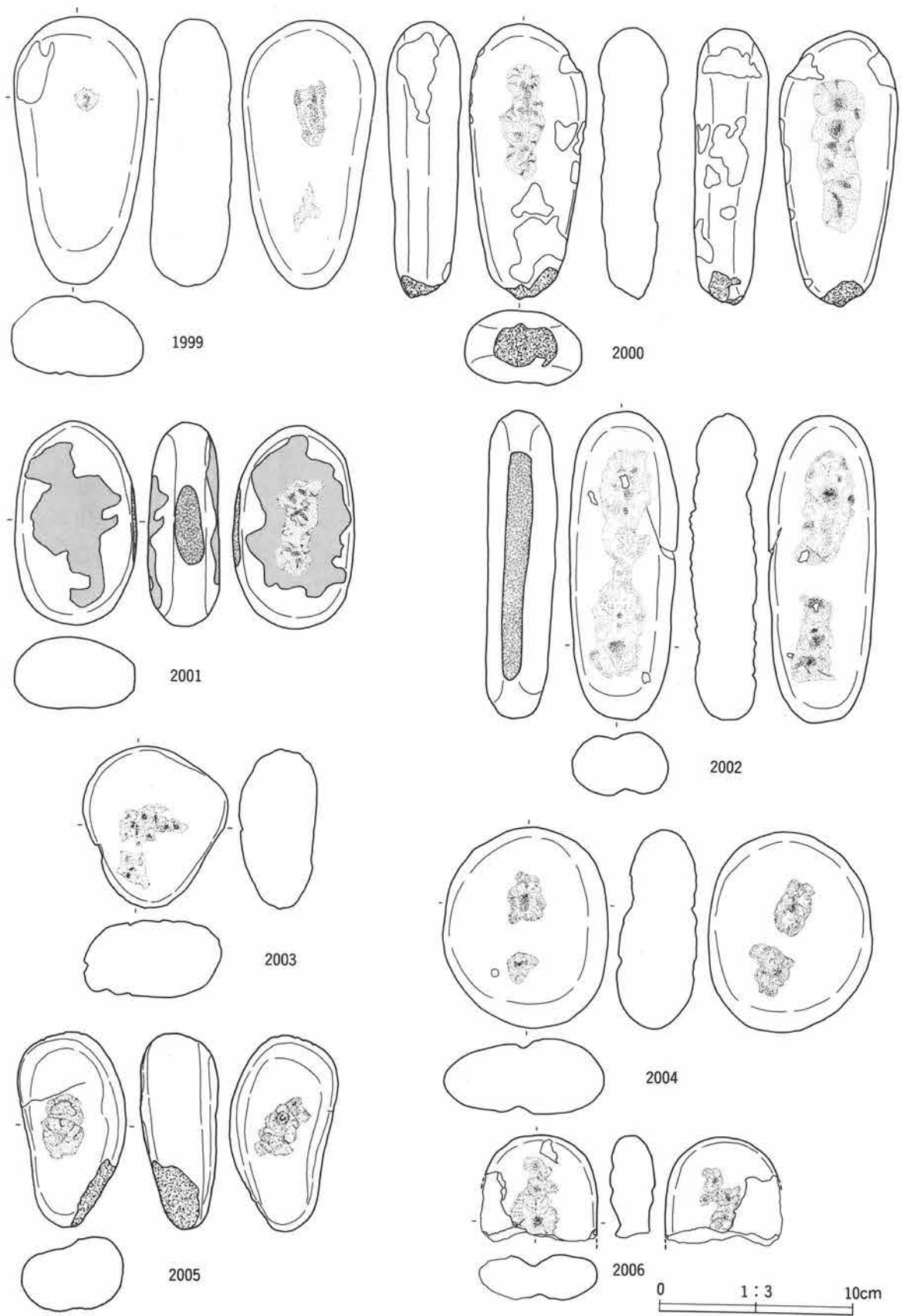
第274図 石器(61)



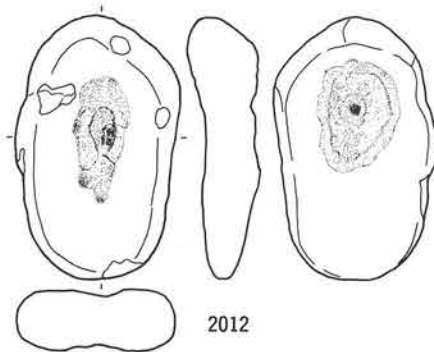
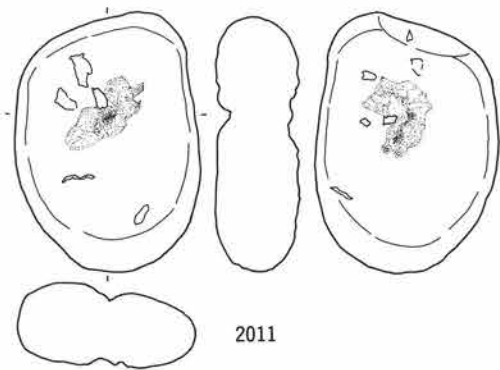
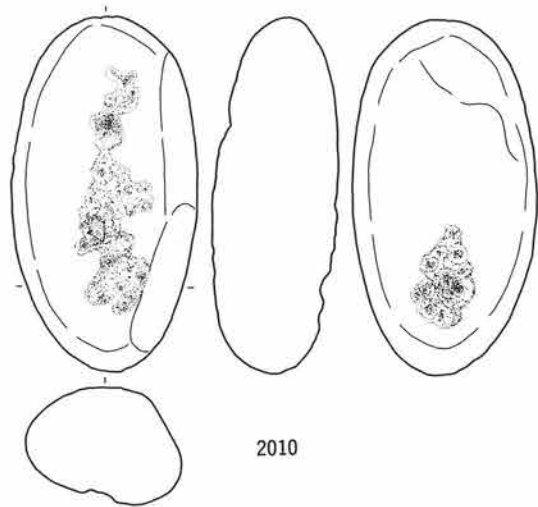
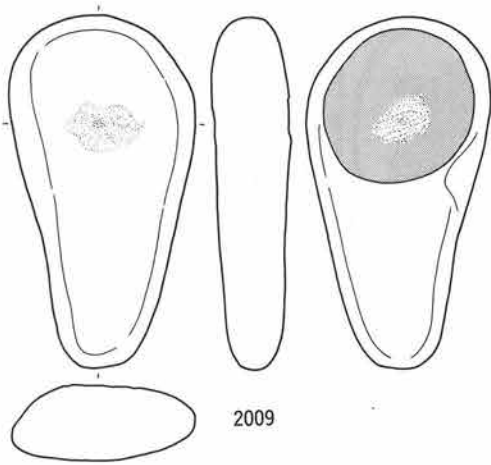
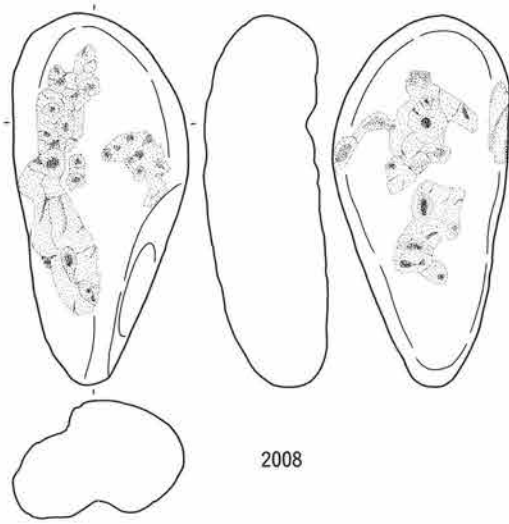
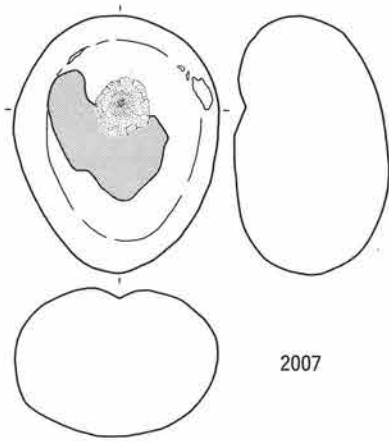
第275図 石器(62)



第276図 石器(63)

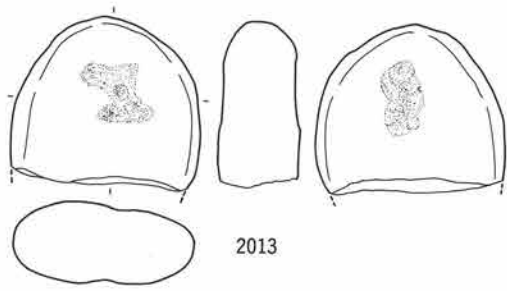


第277图 石器(64)

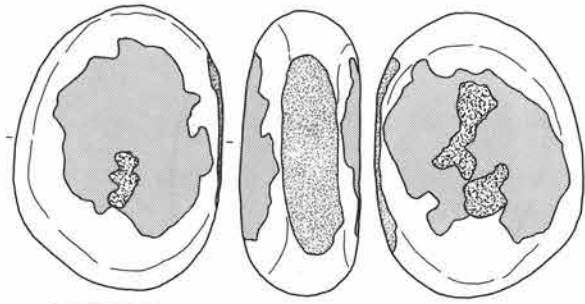


0 1 : 3 10cm

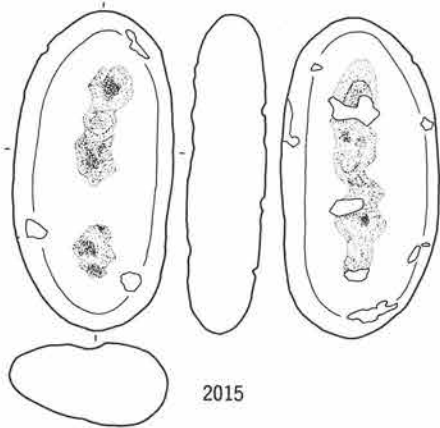
第278図 石器(65)



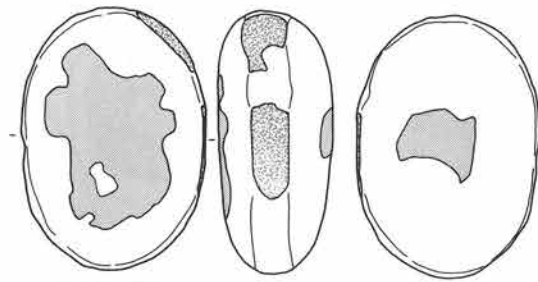
2013



2014



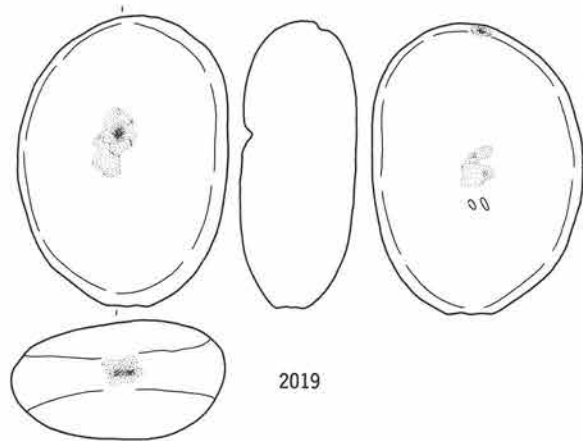
2015



2017



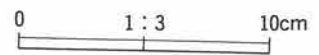
2016



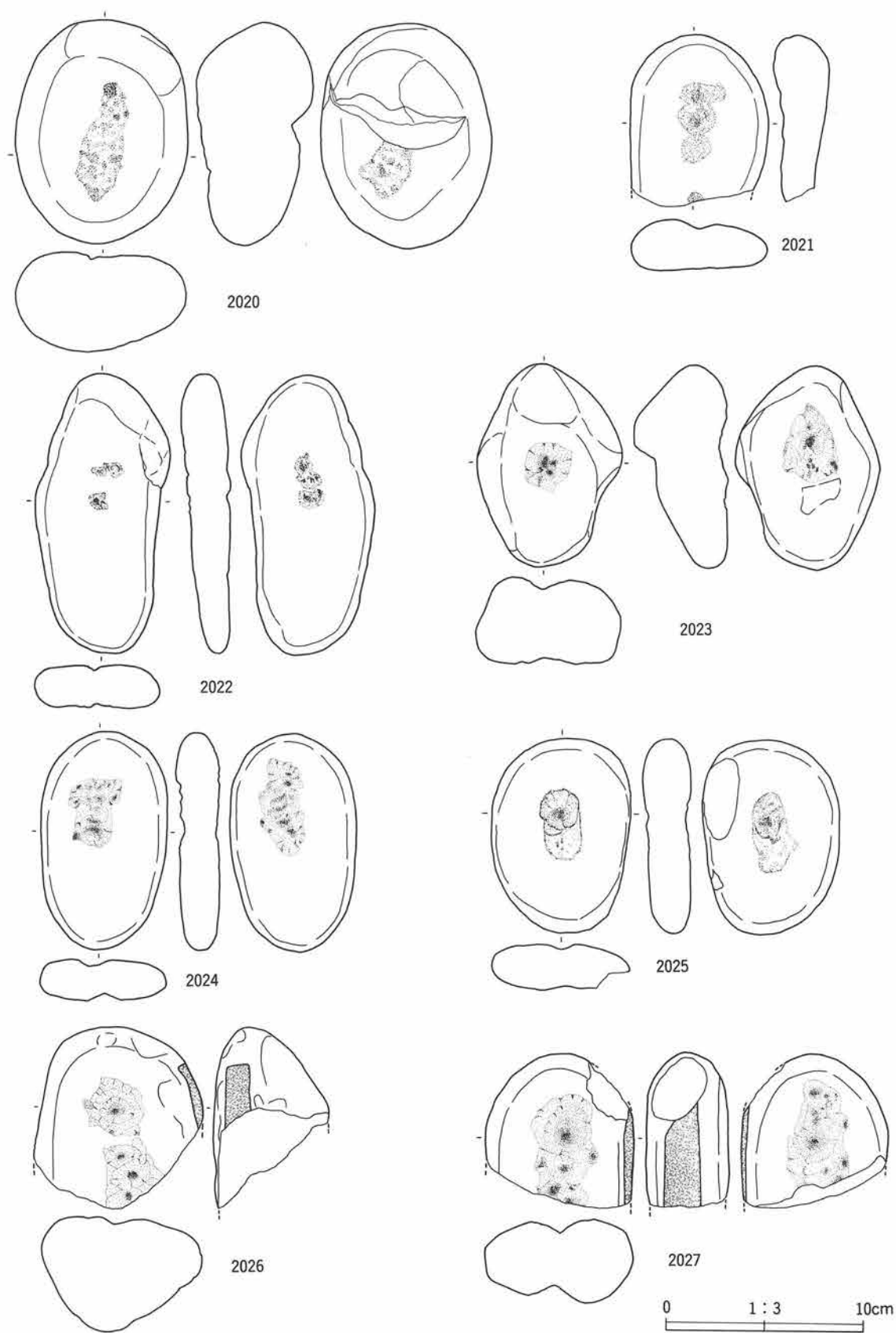
2019



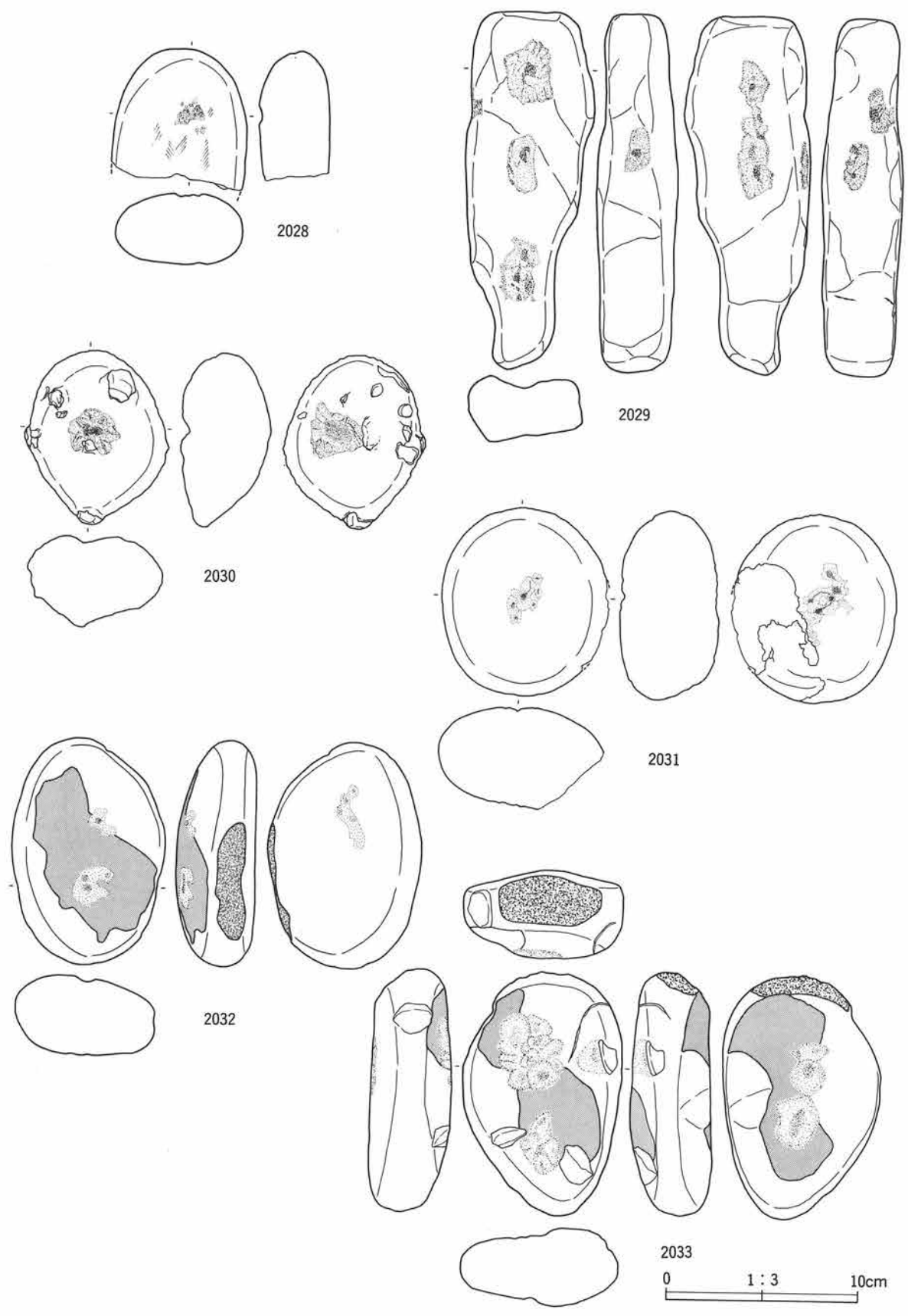
2018



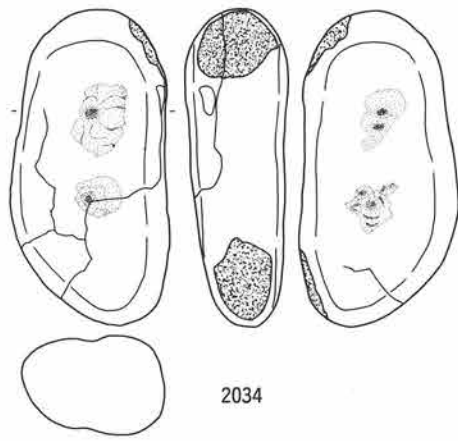
第279図 石器(66)



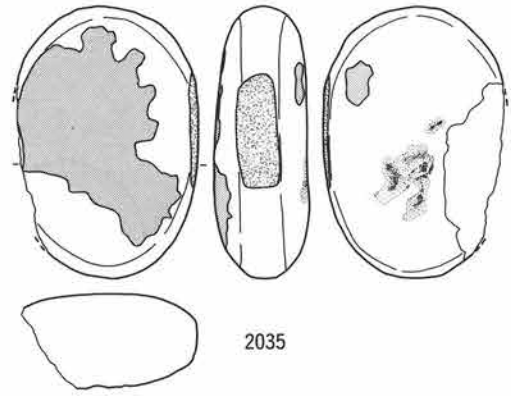
第280図 石器(67)



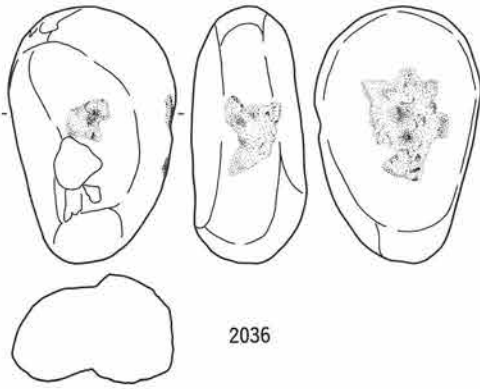
第281図 石器(68)



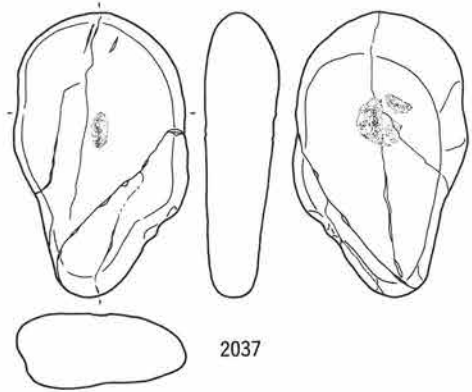
2034



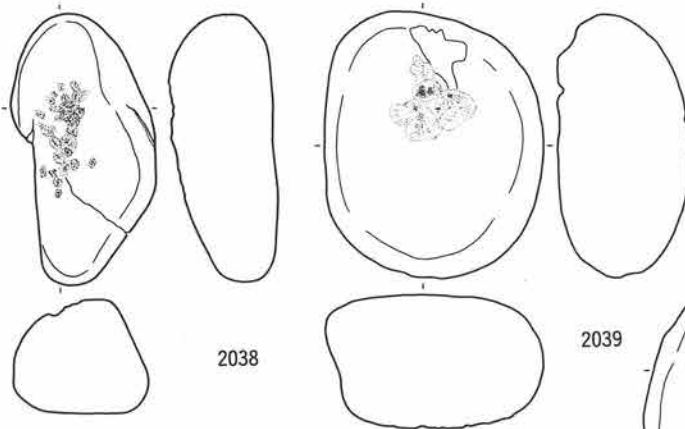
2035



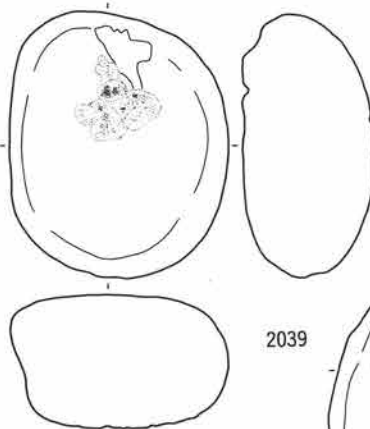
2036



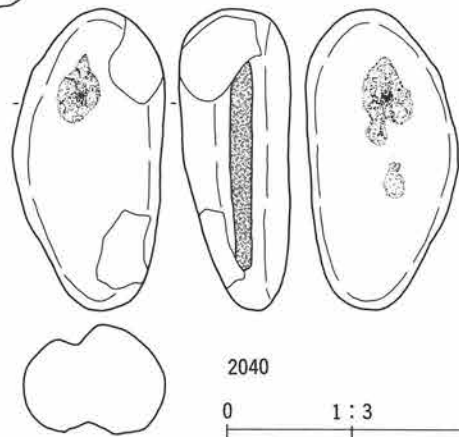
2037



2038

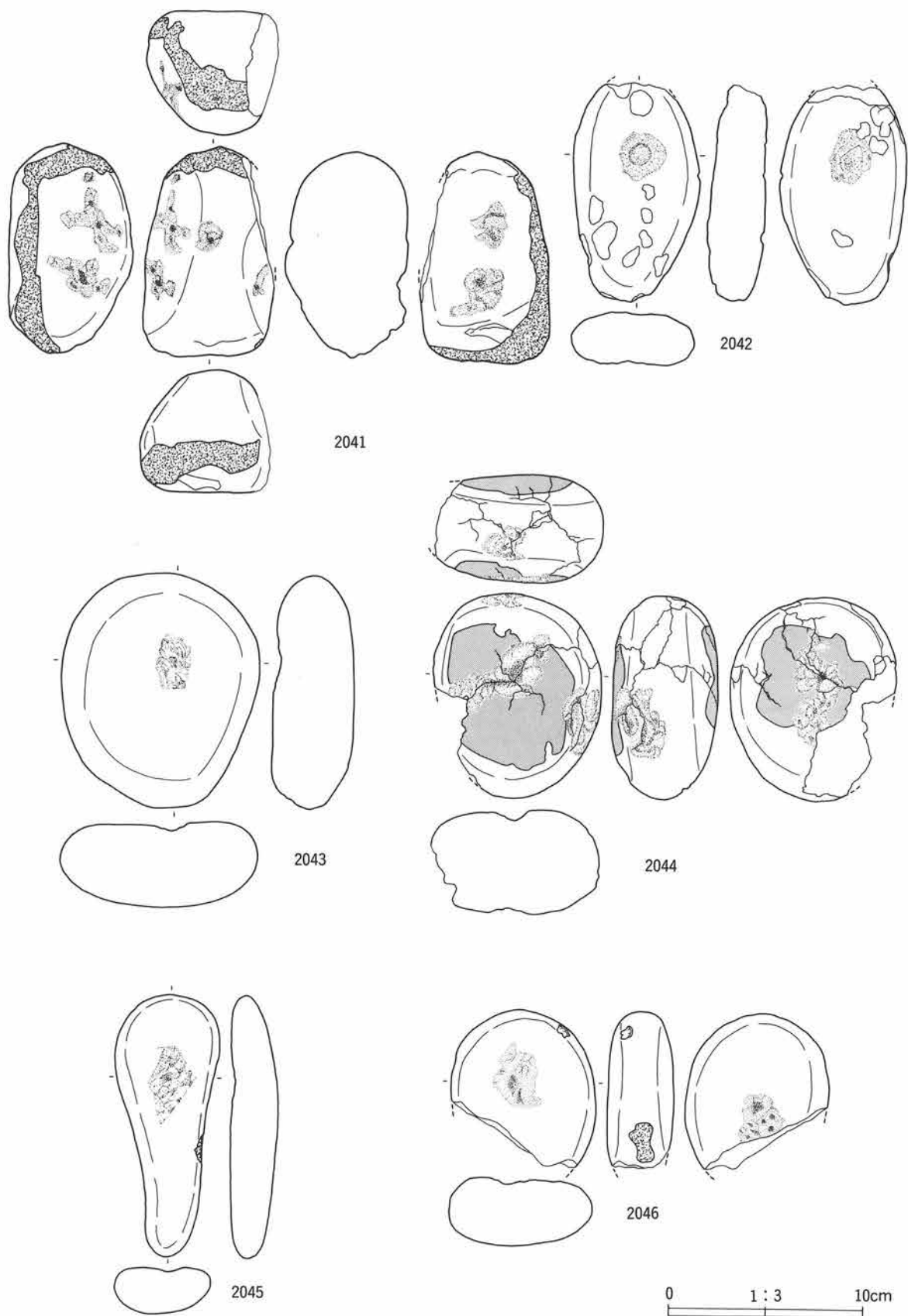


2039

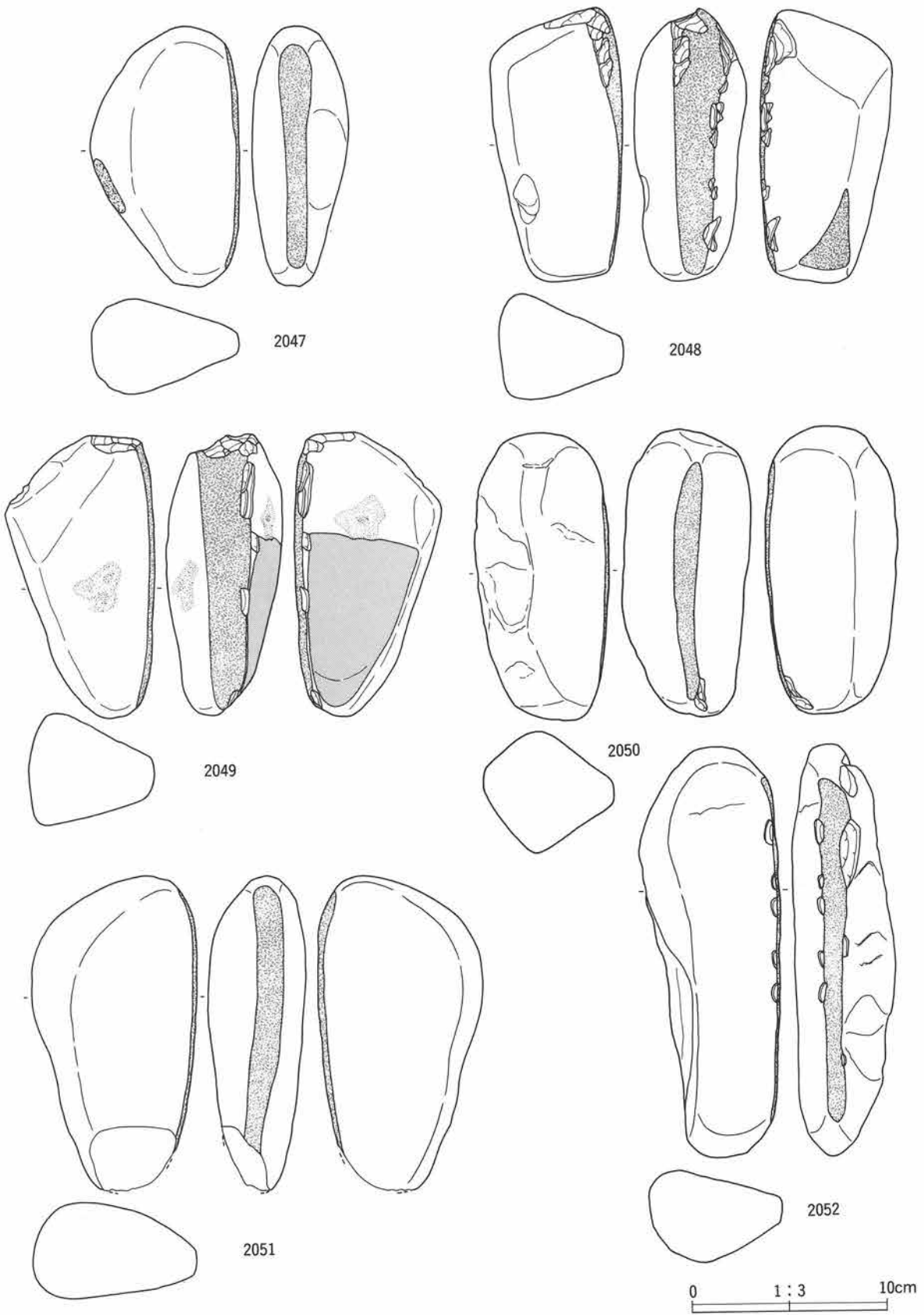


2040

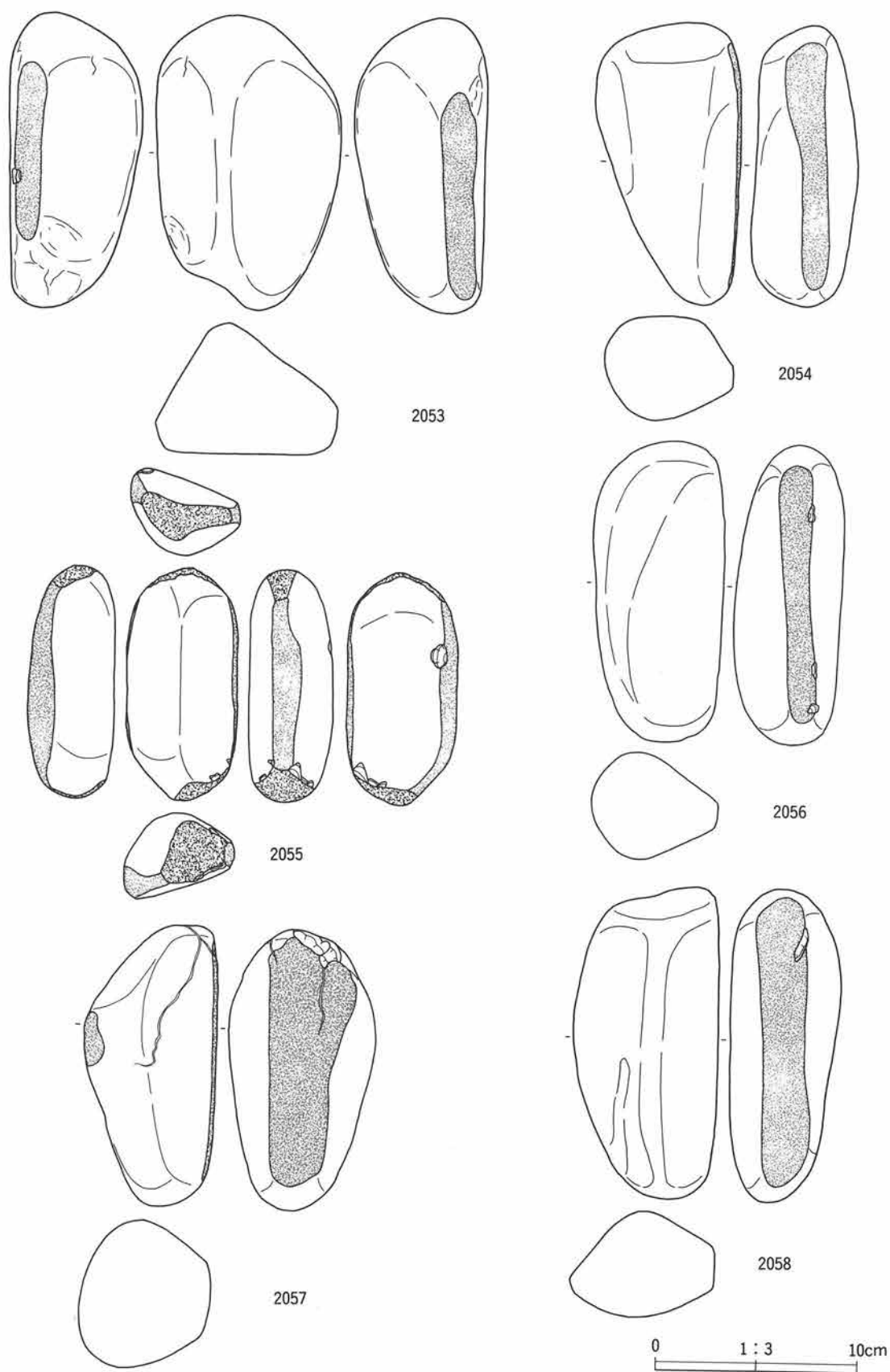
0 1 : 3 10cm



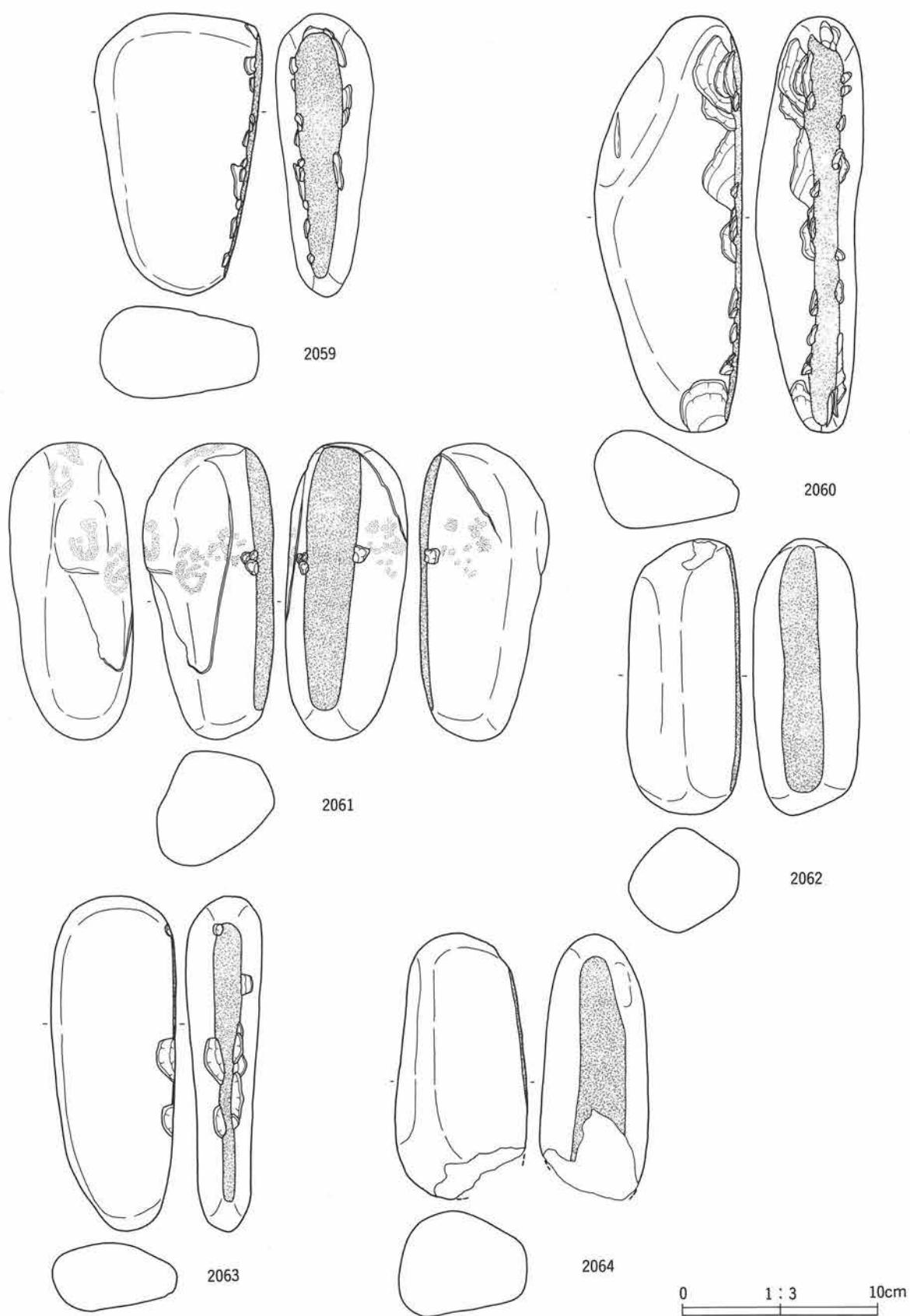
第283図 石器(70)



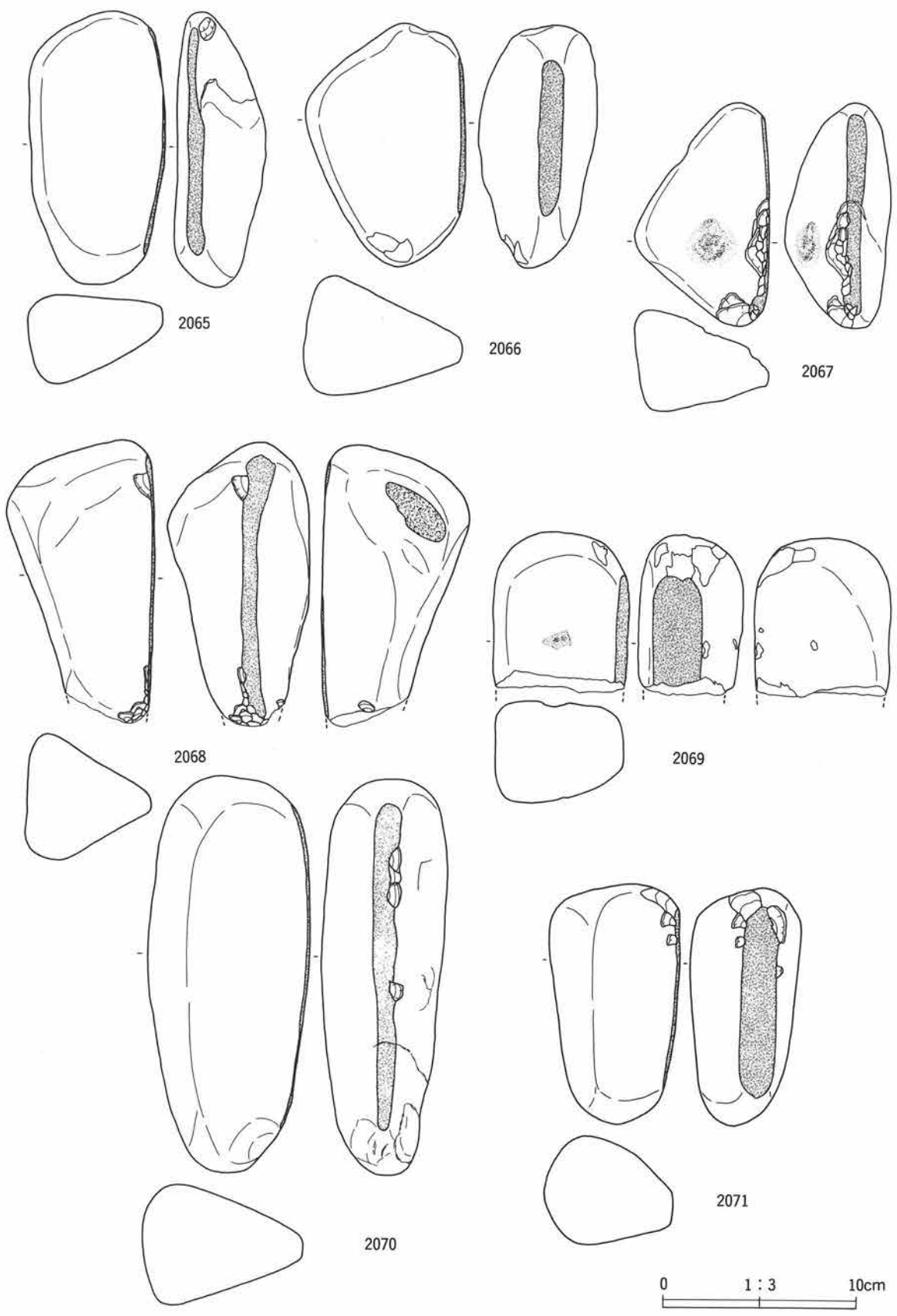
第284図 石器(7)



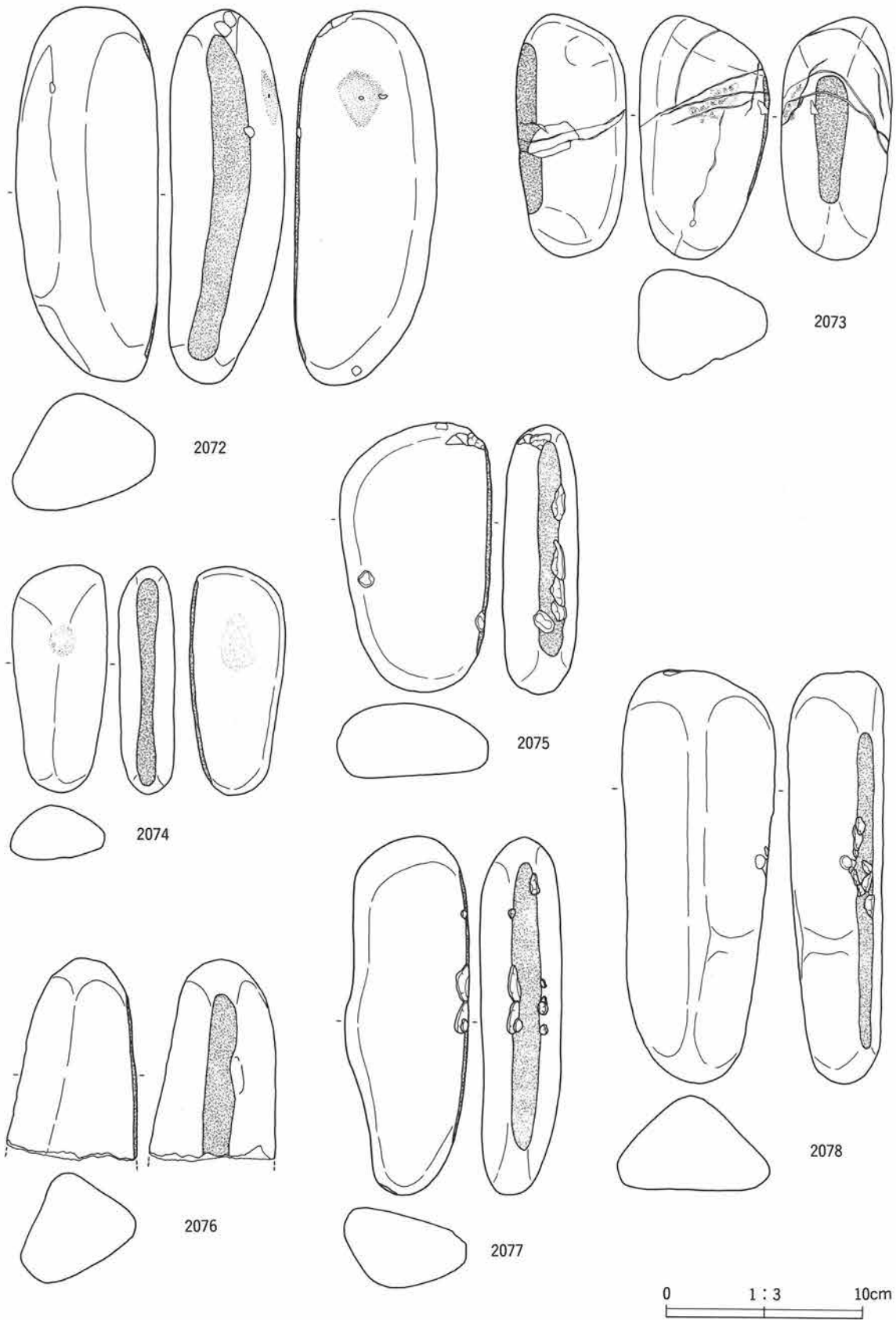
第285図 石器(7)



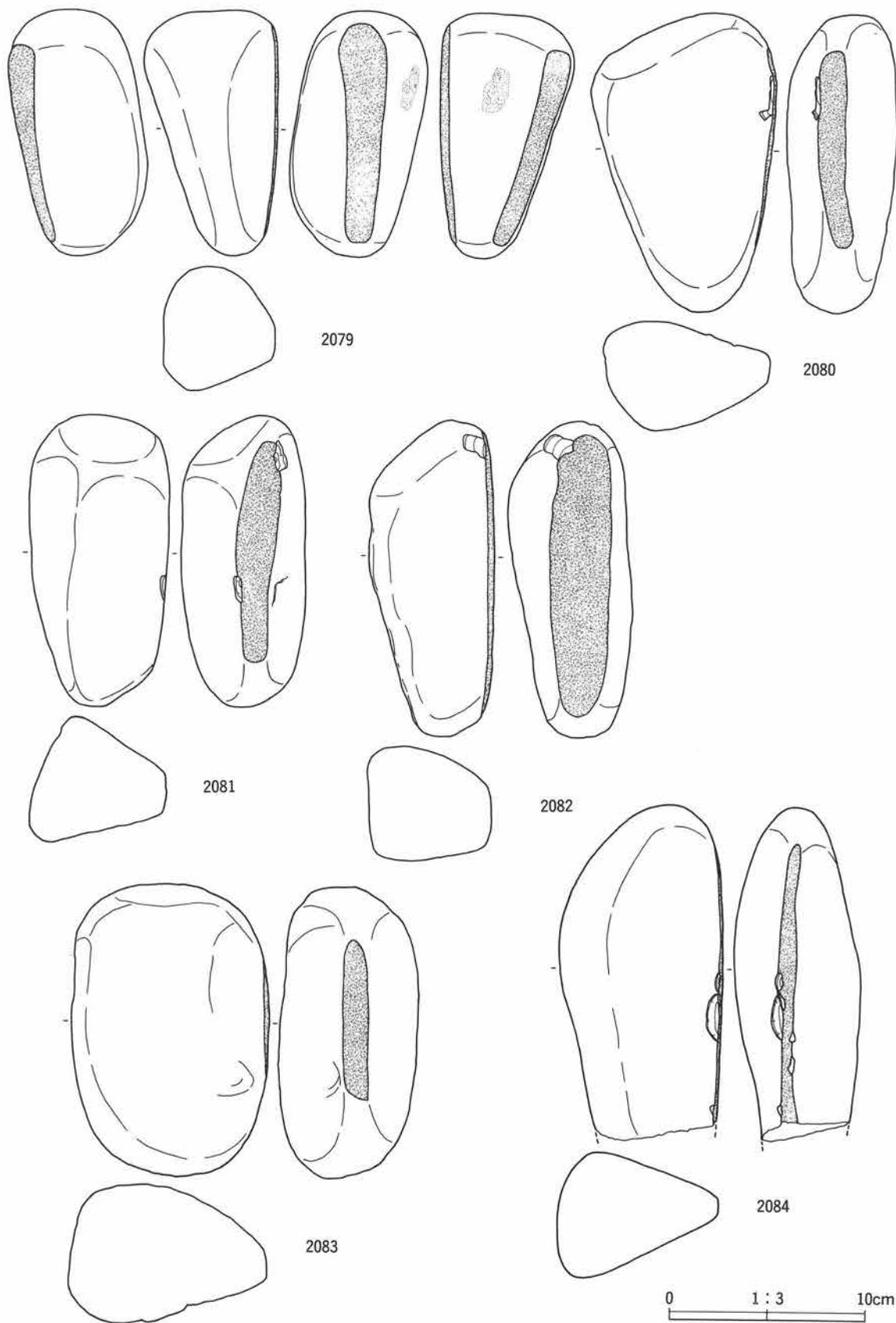
第286図 石器(7)



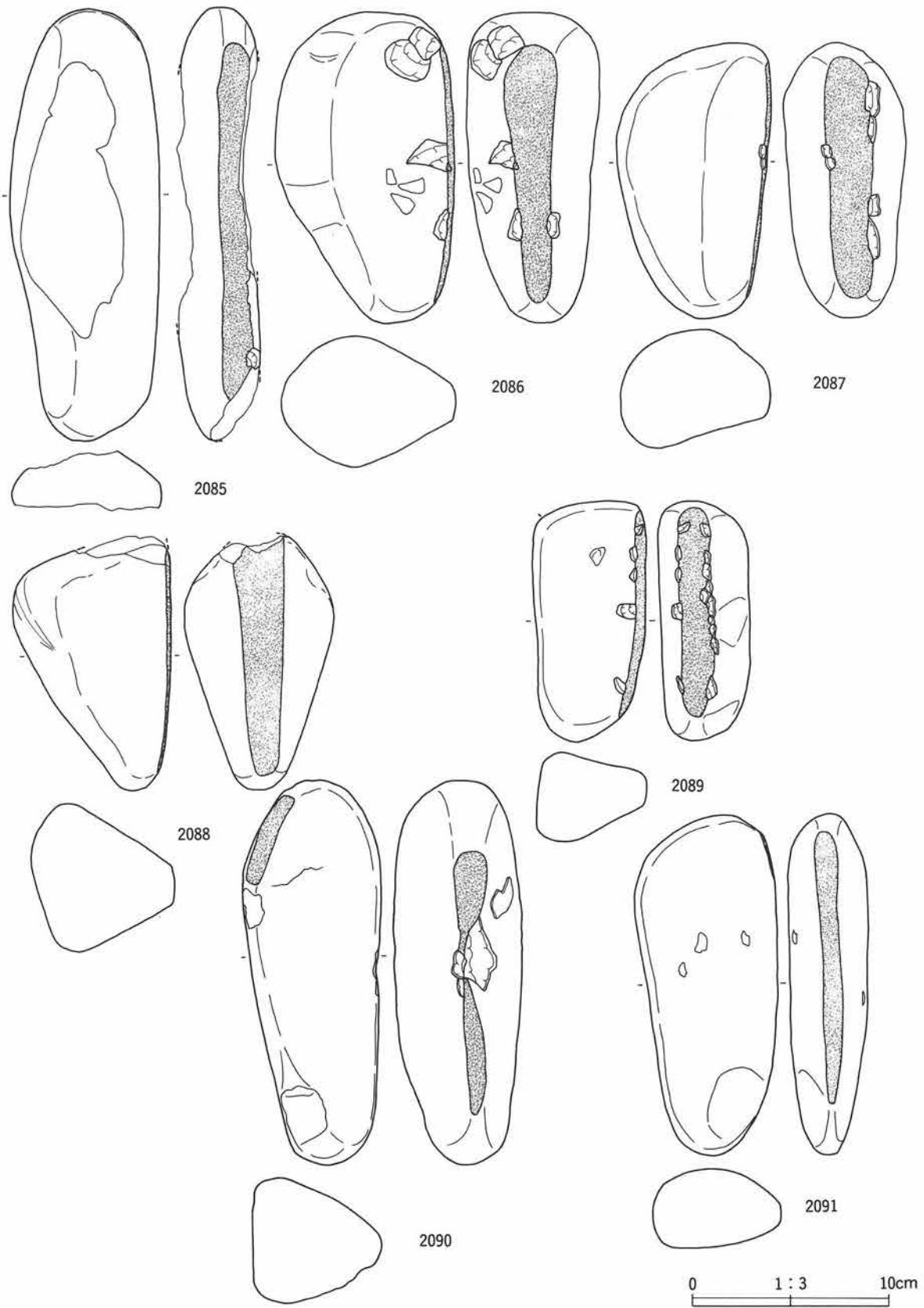
第287図 石器(7)



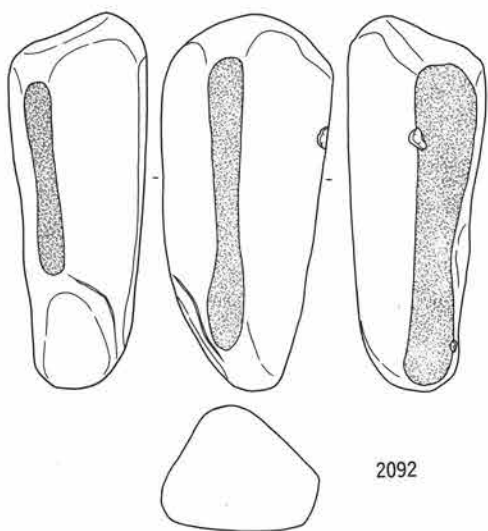
第288図 石器(75)



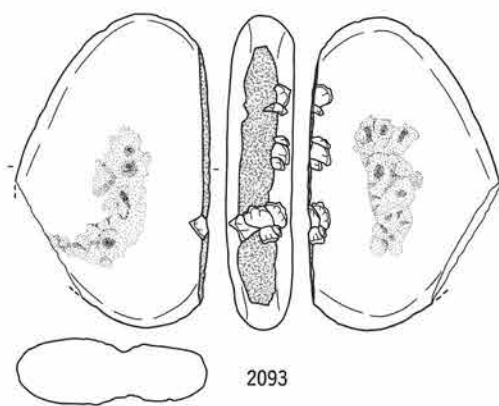
第289図 石器(76)



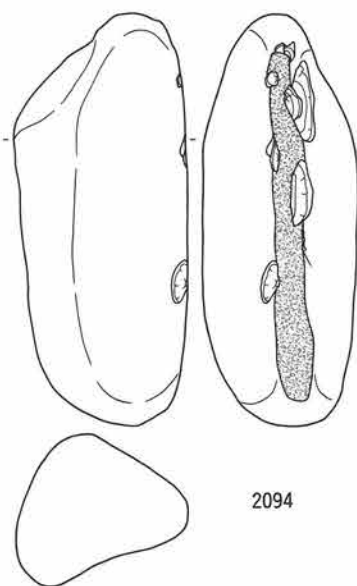
第290図 石器(7)



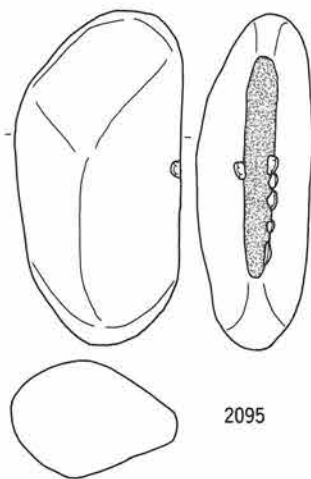
2092



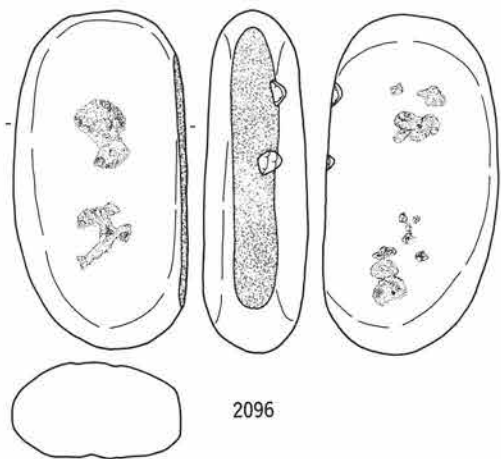
2093



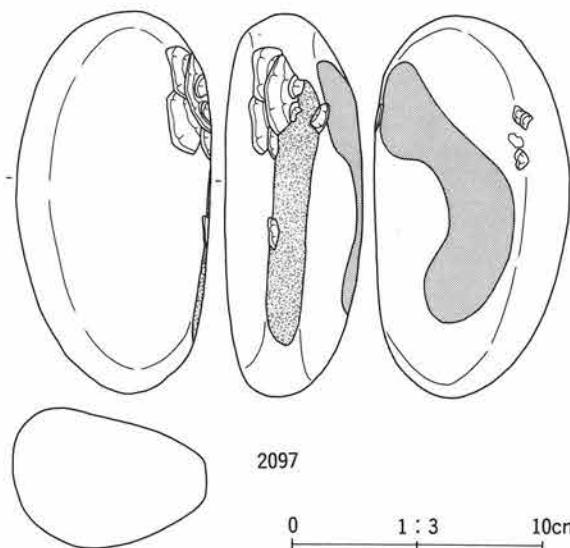
2094



2095



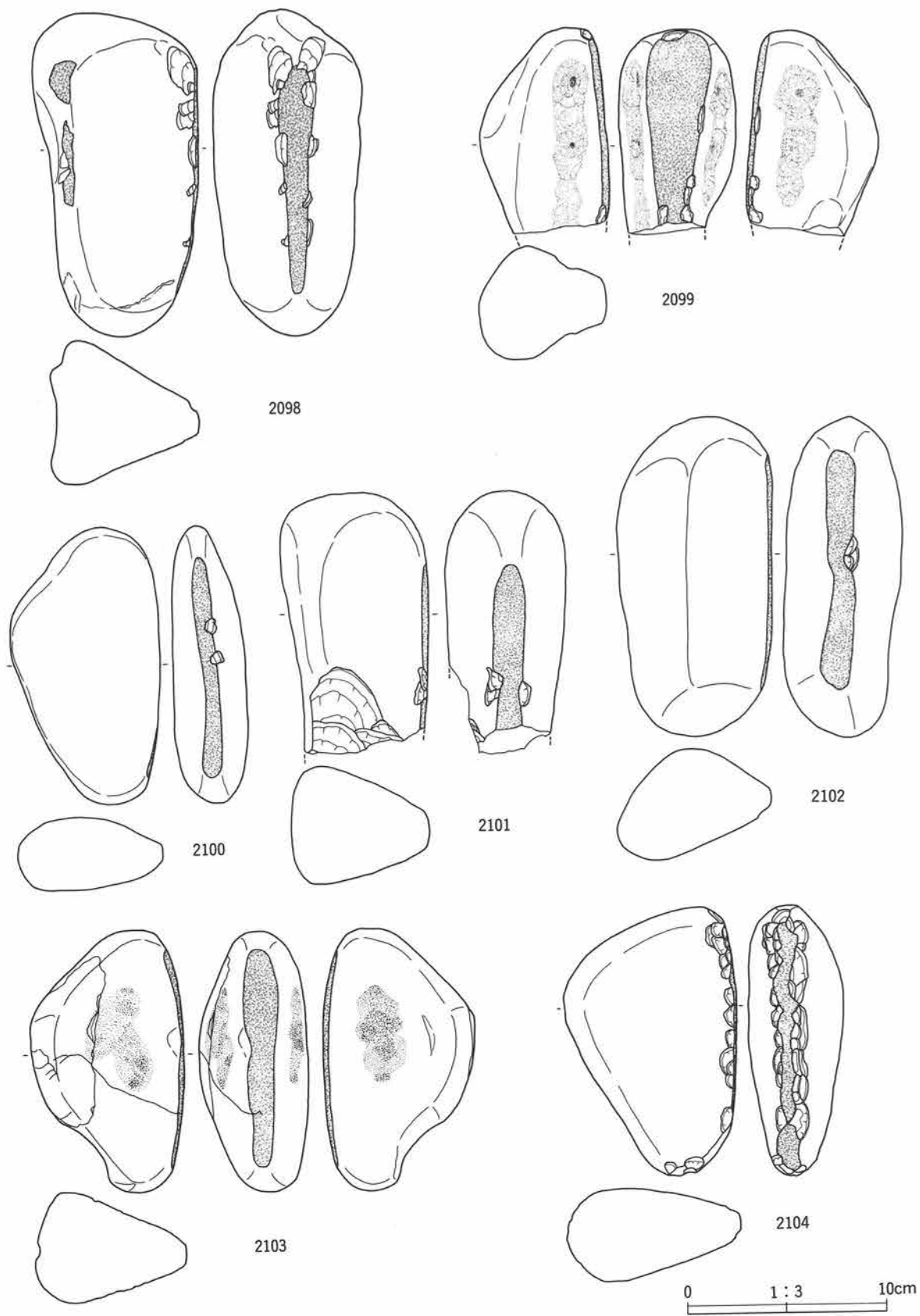
2096



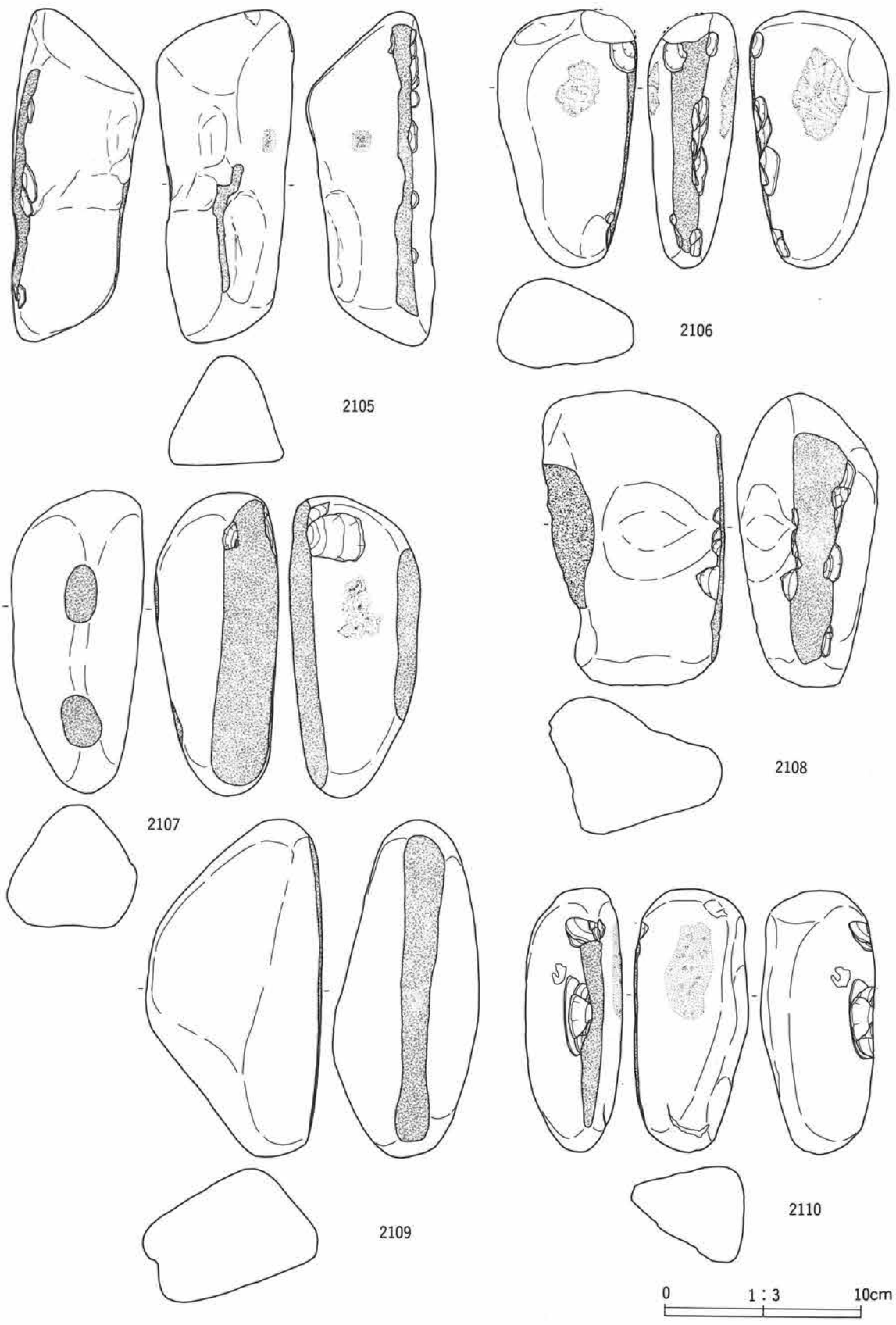
2097

0 1:3 10cm

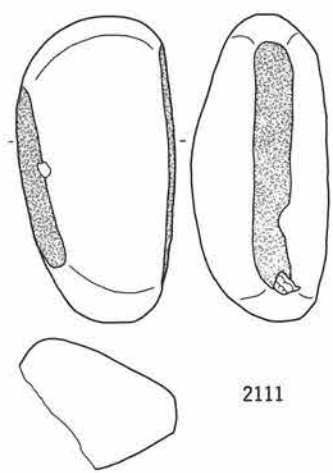
第291图 石器(78)



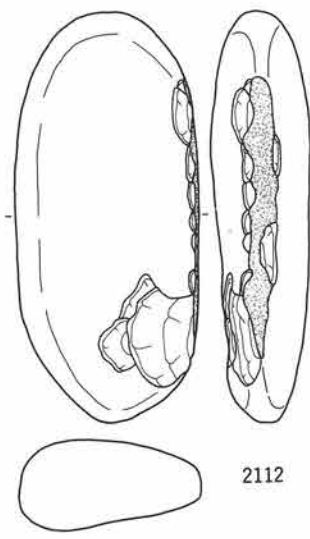
第292図 石器(79)



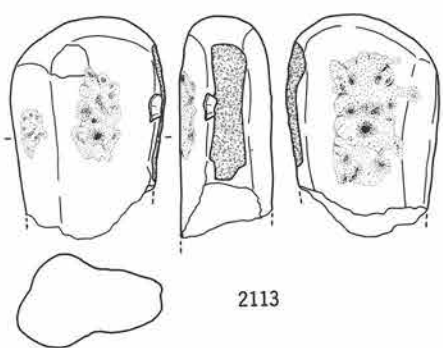
第293図 石器(80)



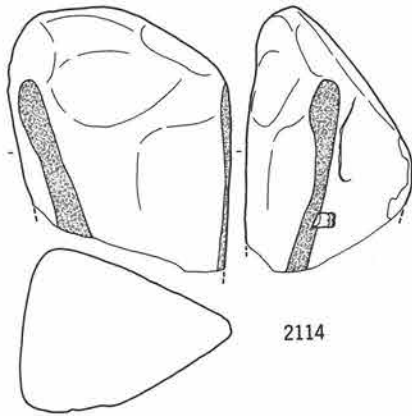
2111



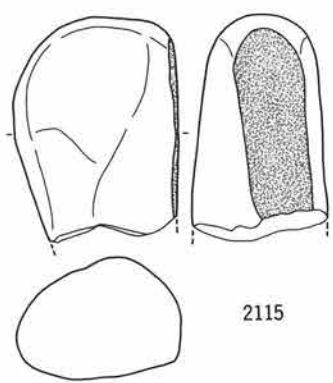
2112



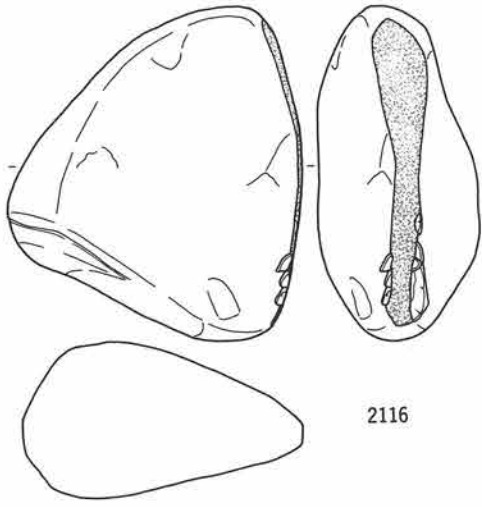
2113



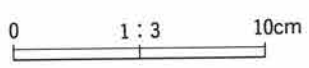
2114



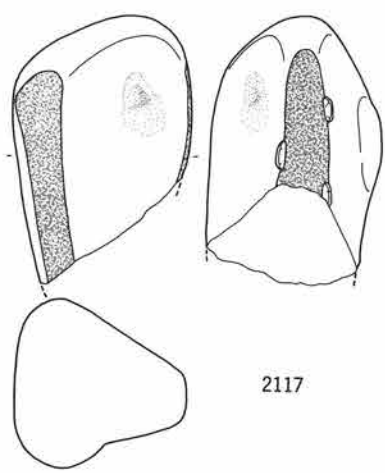
2115



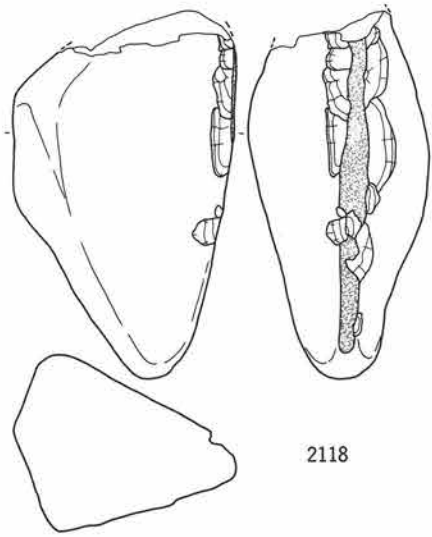
2116



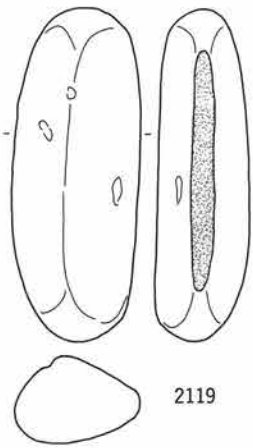
第294图 石器(81)



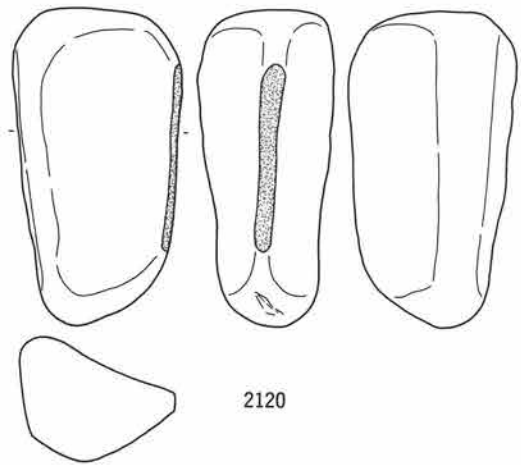
2117



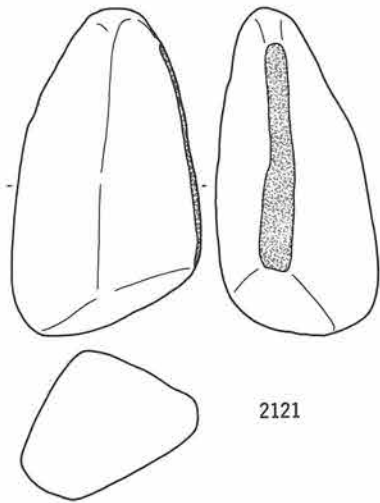
2118



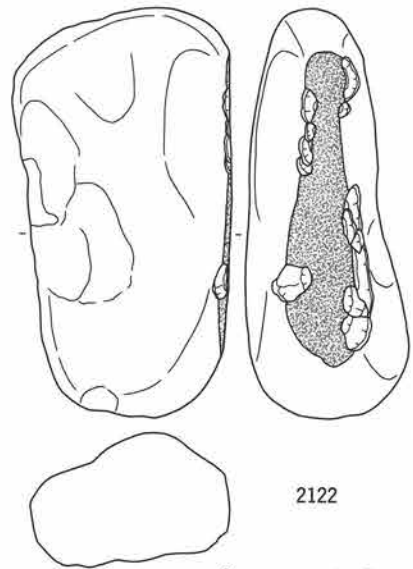
2119



2120



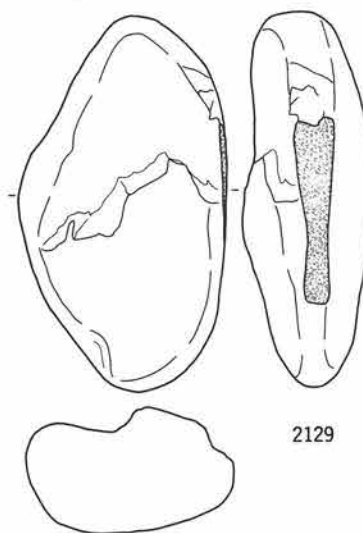
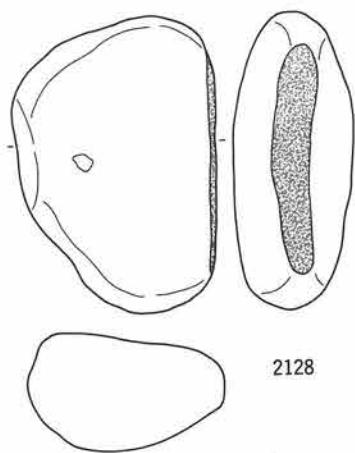
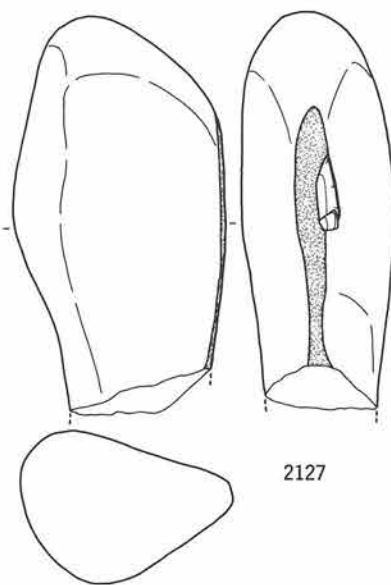
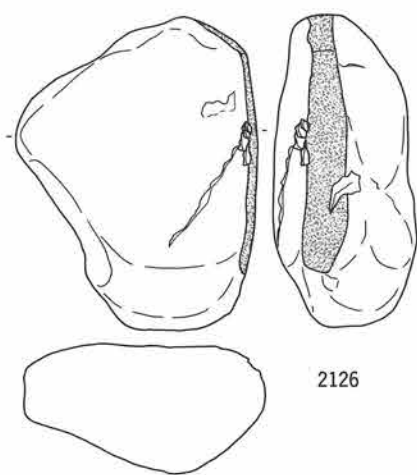
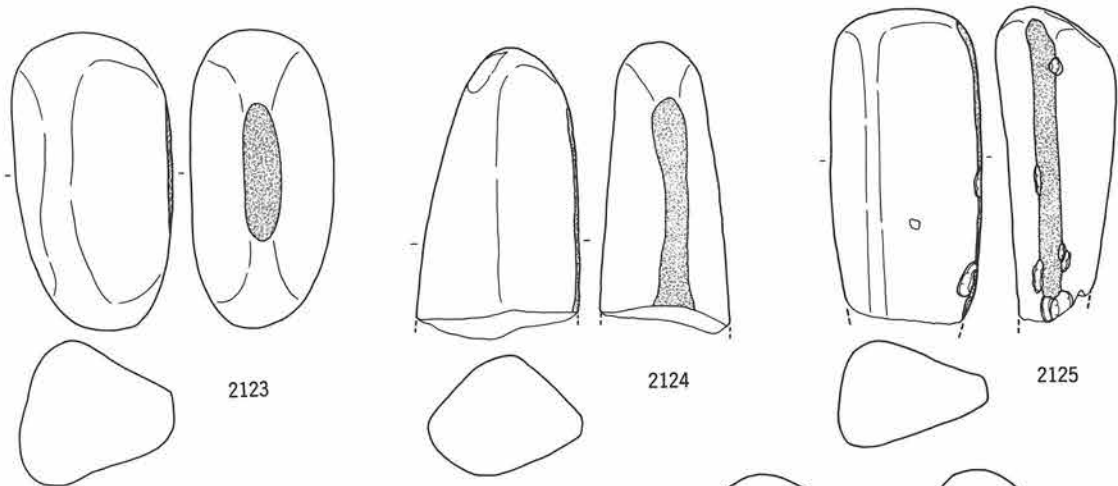
2121



2122

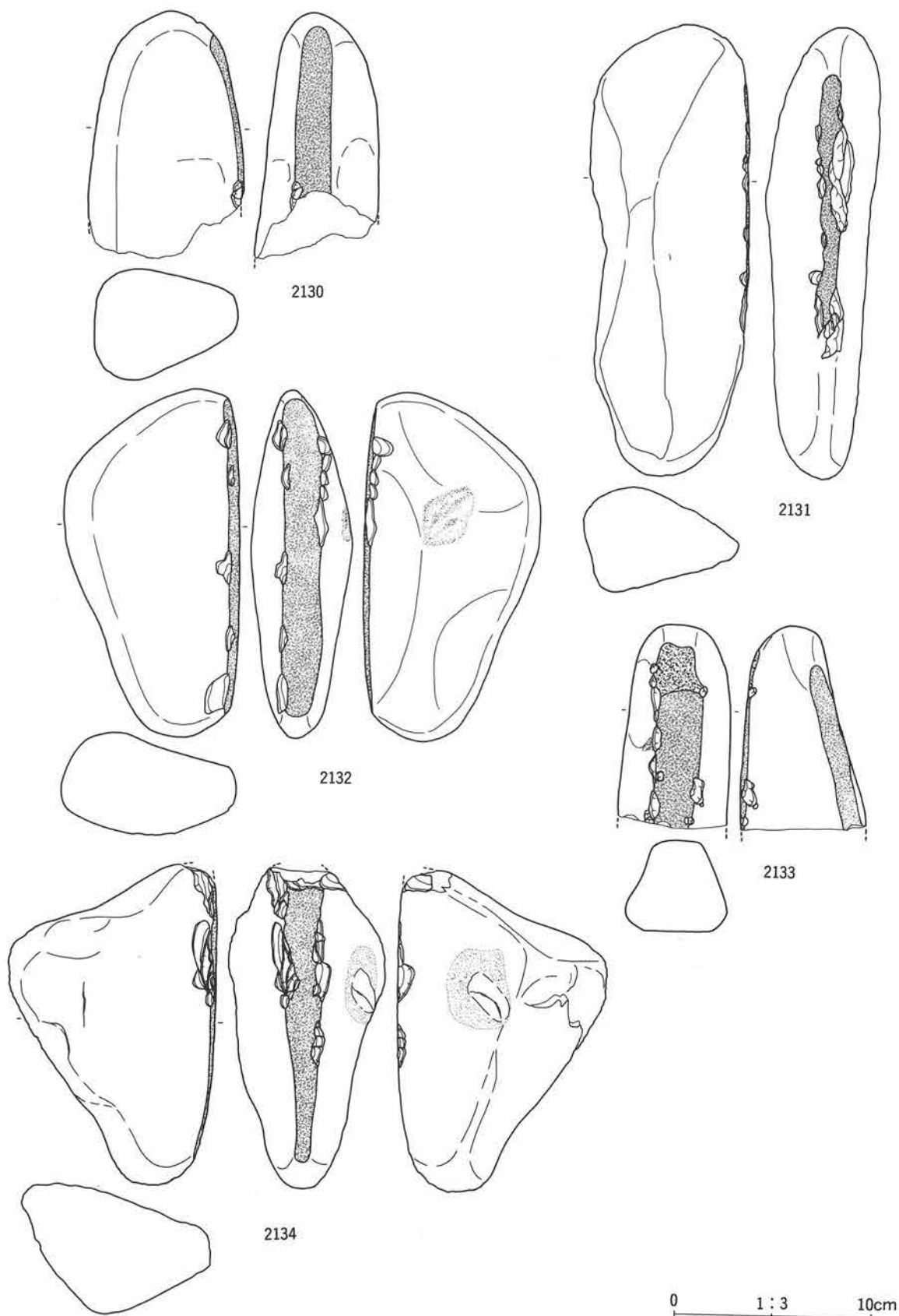
0 1:3 10cm

第295图 石器(82)

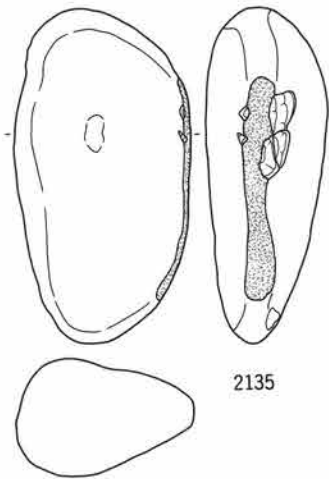


0 1 : 3 10cm

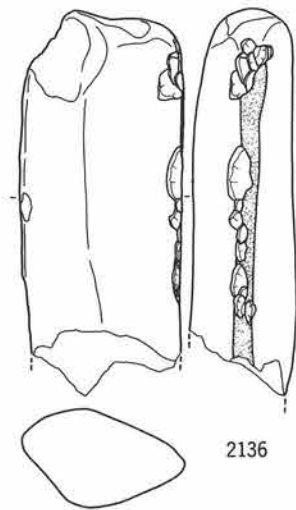
第296图 石器(83)



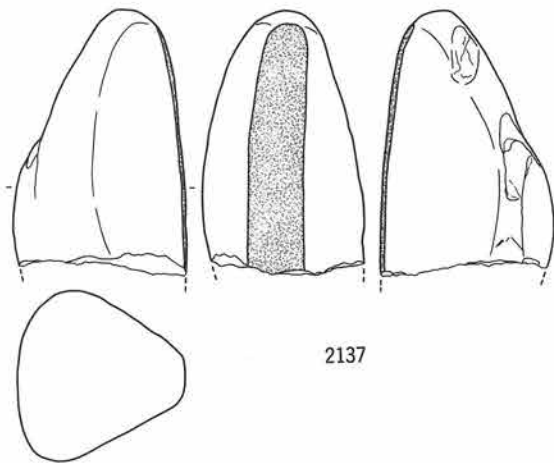
第297図 石器(84)



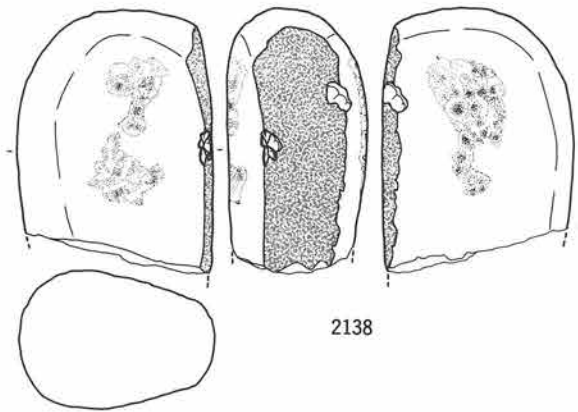
2135



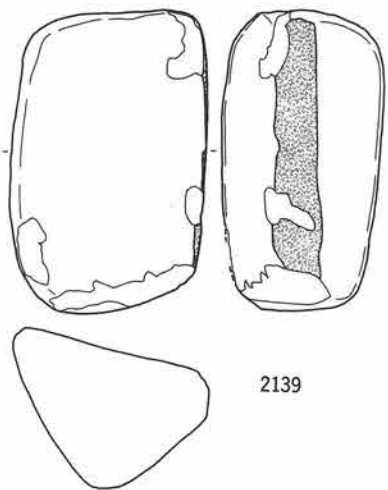
2136



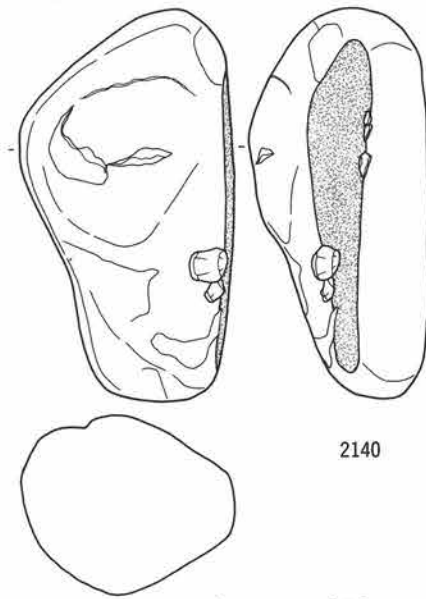
2137



2138



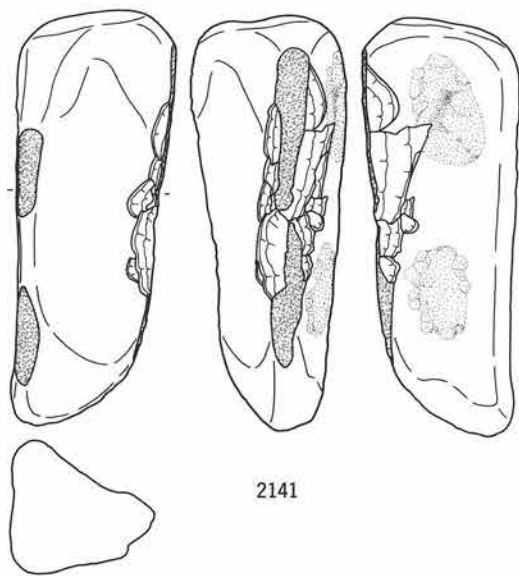
2139



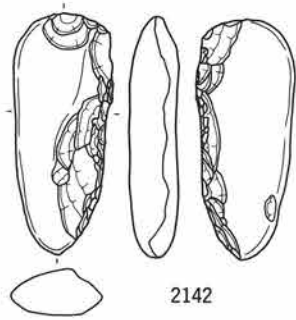
2140

0 1:3 10cm

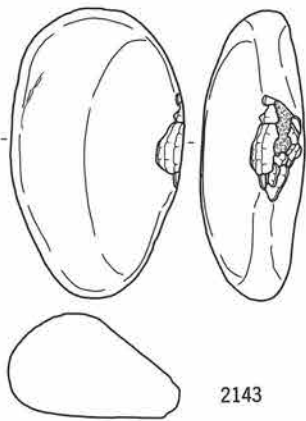
第298图 石器(85)



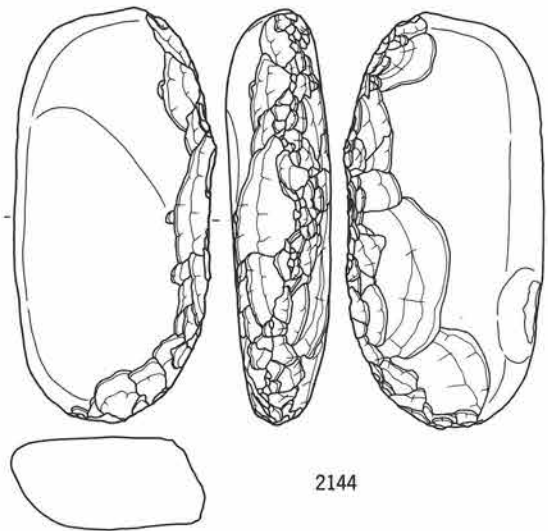
2141



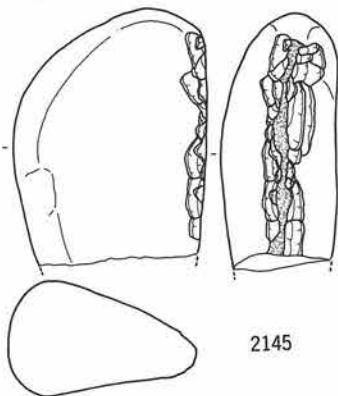
2142



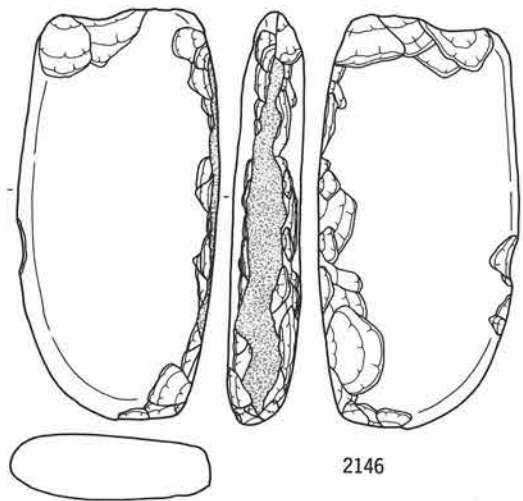
2143



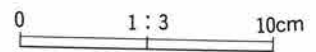
2144



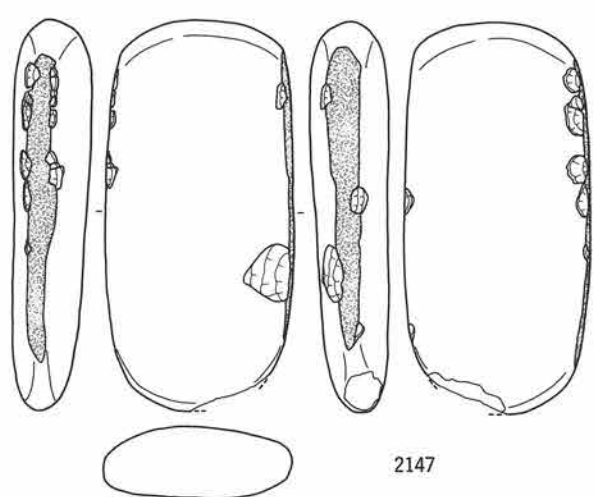
2145



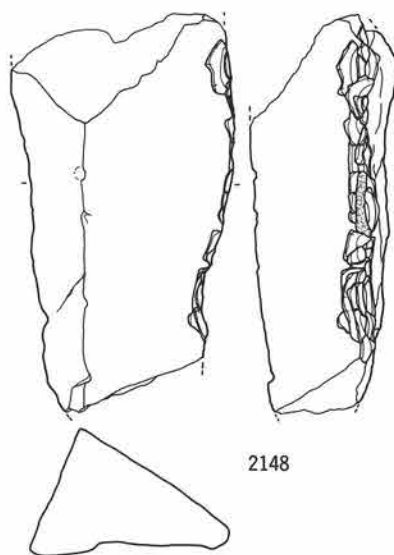
2146



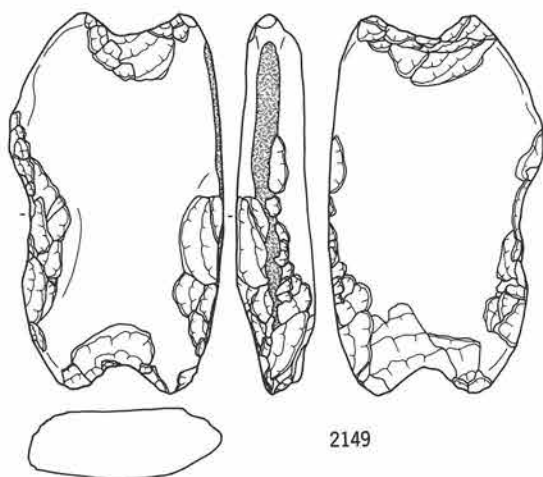
第299図 石器(86)



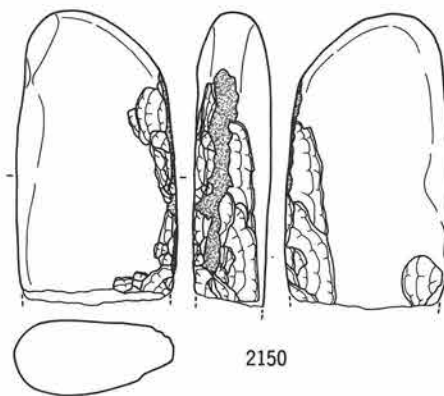
2147



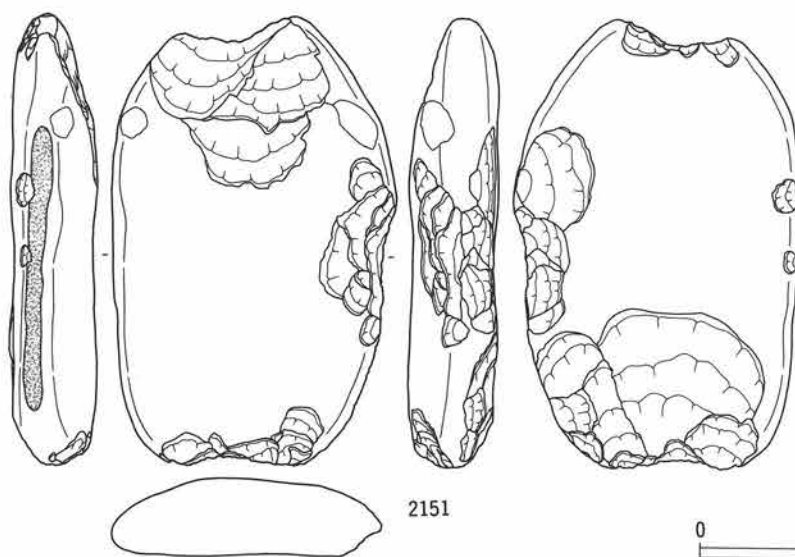
2148



2149



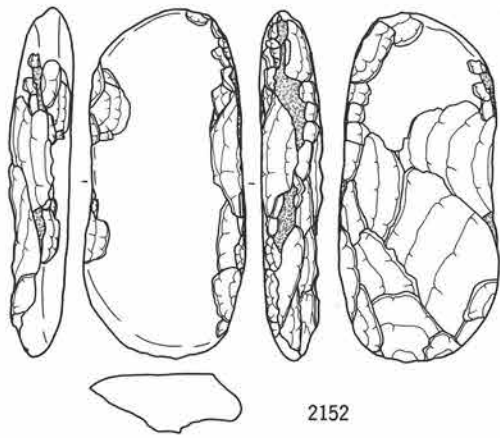
2150



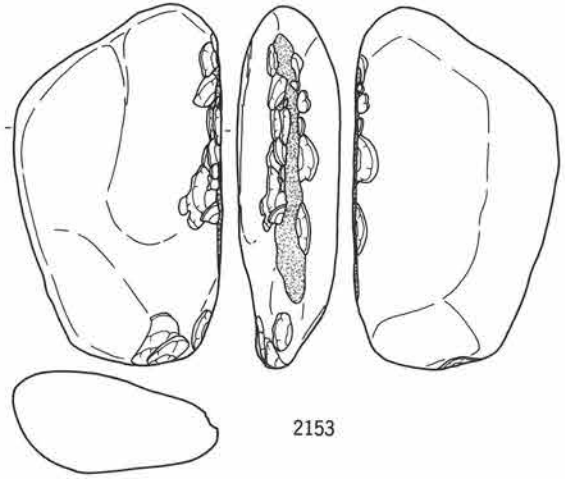
2151

0 1:3 10cm

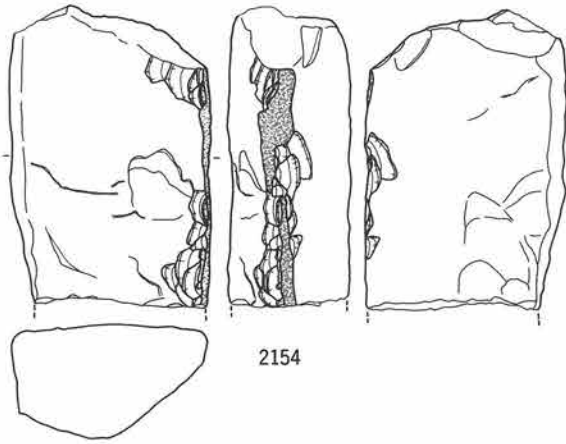
第300図 石器(87)



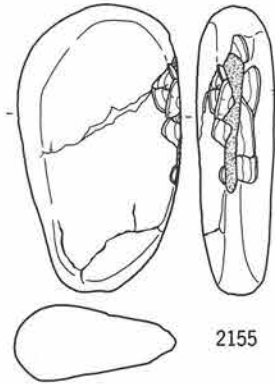
2152



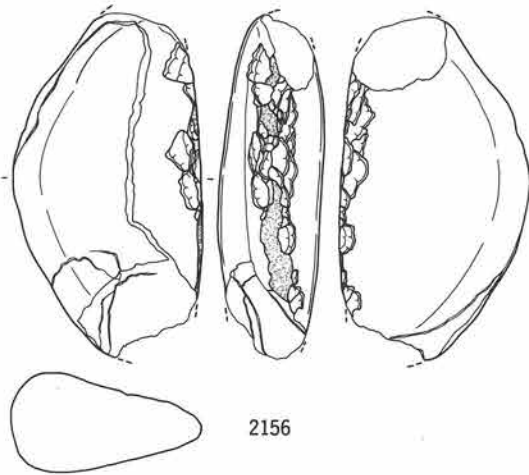
2153



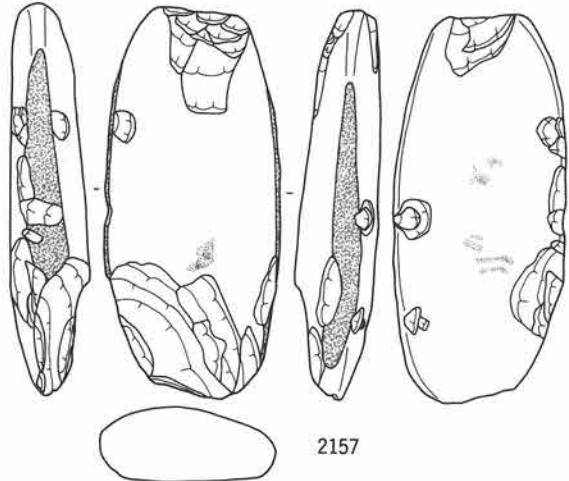
2154



2155

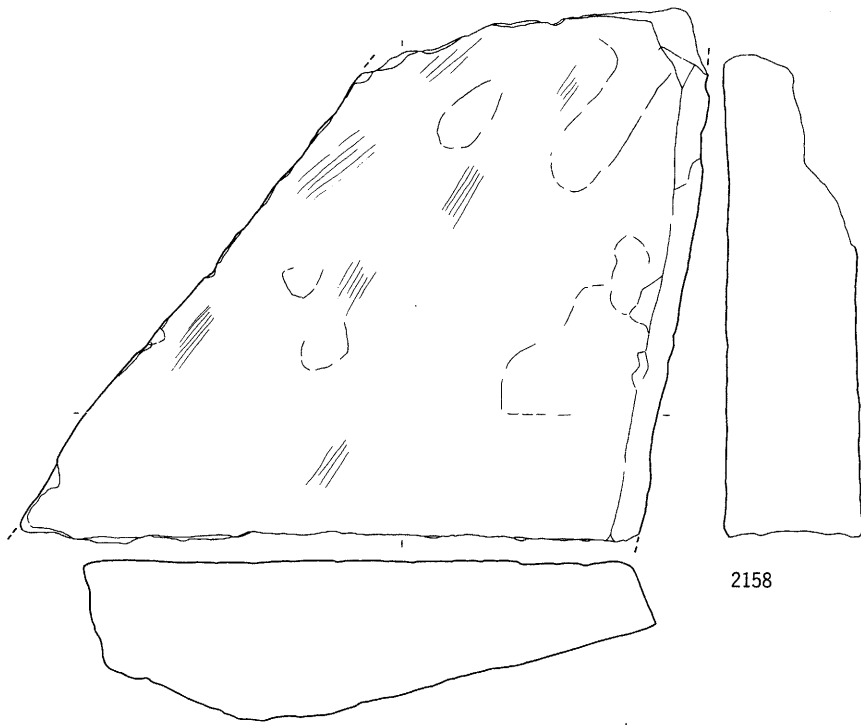


2156

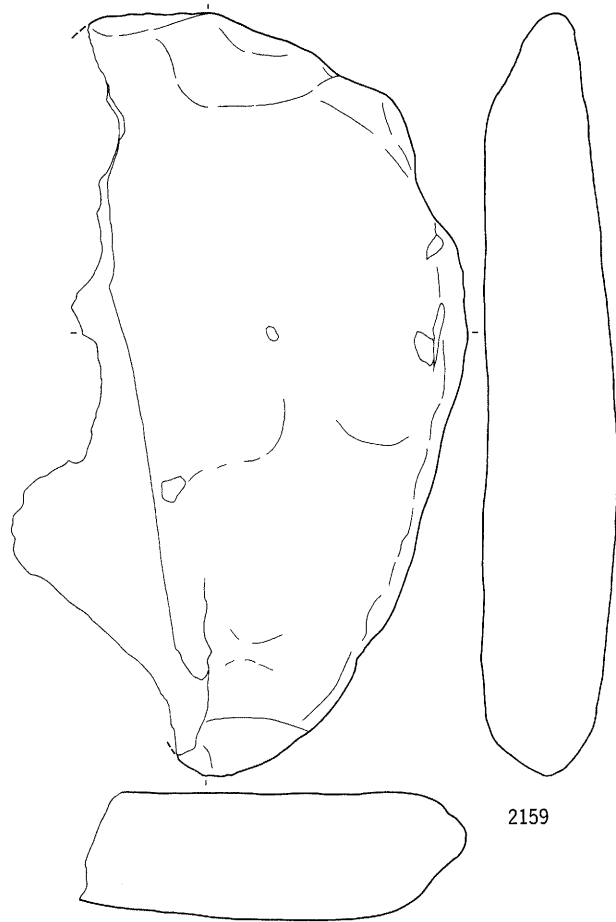


2157

0 1:3 10cm



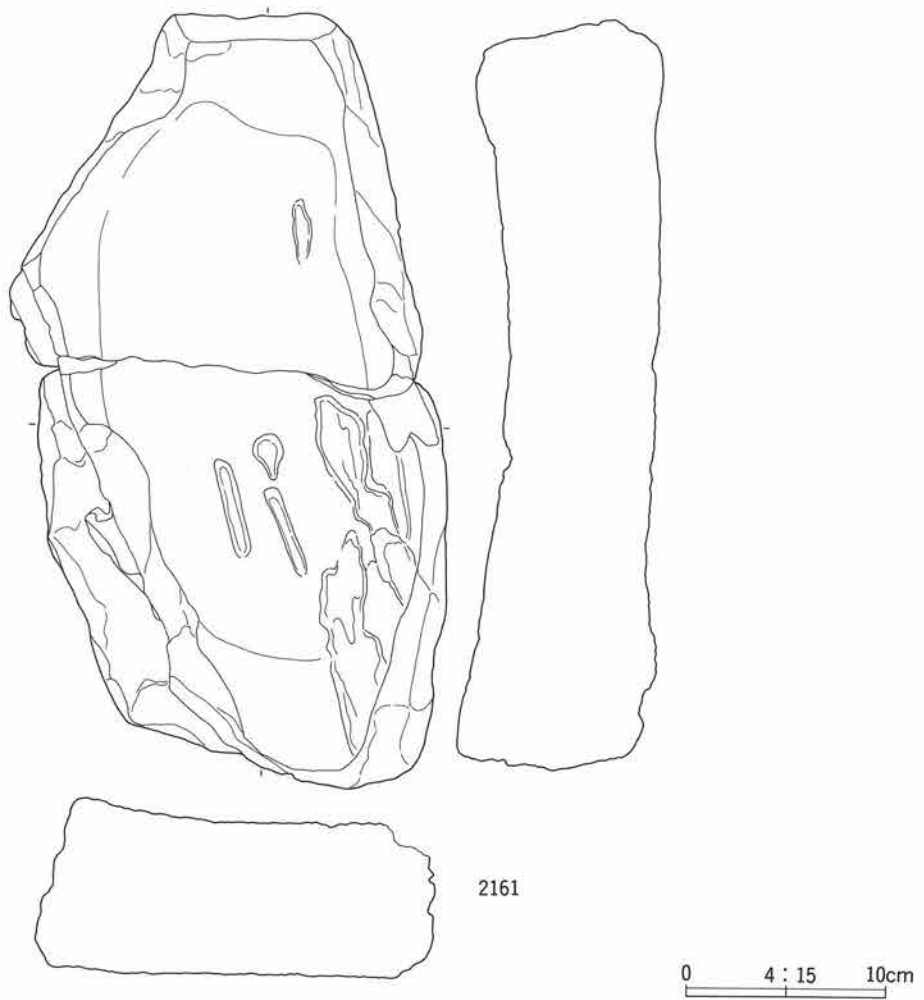
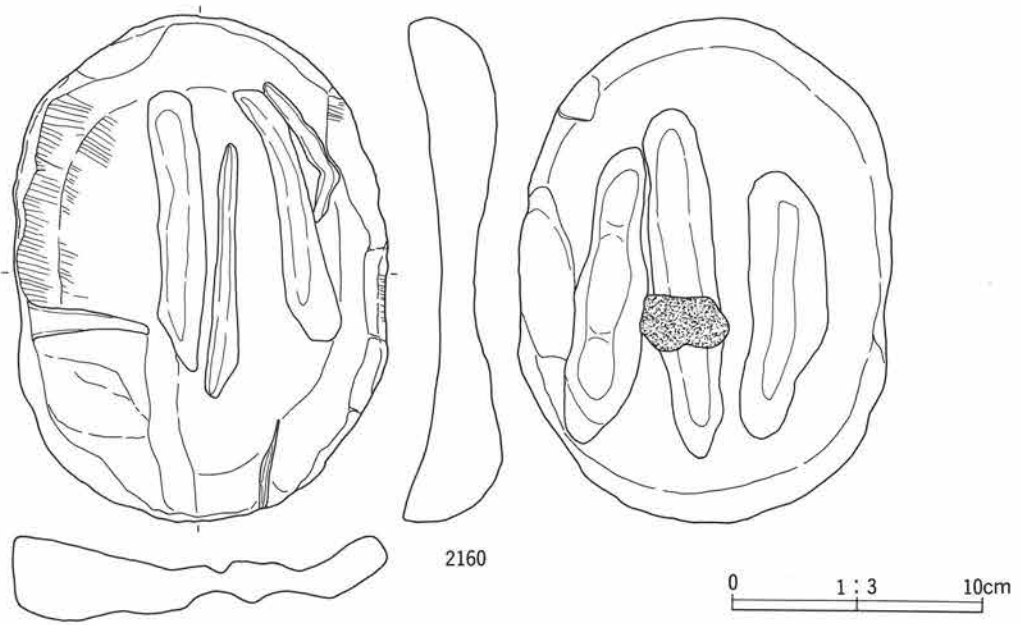
2158



2159

0 1:3 10cm

第302図 石器(89)



第303図 石器(90)

4. 石製品 (第304～309図、写真図版188～191：2162～2213)

石製品は、113点出土している。内訳は、石棒5点・石剣2点・鯉節形石器2点・燕尾形石製品2点・男根状石製品1点・線刻礫2点・岩偶2点・块状耳飾り19点・垂飾り4点・種類の形状に加工された石製模造品74点である。このうち52点を図化し、掲載した。

個々の石製品の出土地点・計測値・石材などについては観察表を参照されたい。以下、種別ごとに概要を述べていきたい。時期は、出土状況などからいずれも縄文時代前期末葉の可能性が高い。

石棒 (第304図、写真図版188：2162～2166)

棒状の石器で、加工の有無は明瞭でない。5点出土しており、5点図示した。断面形が方形や多角形の角柱状の礫を用いたもので、従来、角柱礫などといわれてきたものである。2162・2164・2165の3点はいずれも欠損品で、半切された状態である。長いものほど欠損する比率が高いようである。石材は、安山岩(1)・流紋岩(3)・デイサイト(1)である。

石剣類 (第305図、写真図版189：2167・2168)

形状は細長く、断面形は扁平で剣状の形を有する石製品である。出土した2点を図化した。いずれも欠損品である。2167は先端部分の尖頭部である。石材は、凝灰岩(1)・流紋岩(1)である。

鯉節形石製品 (第305図、写真図版189：2169～2170)

鯉節の形状に類する石製品で、この名称が付されている(註1)。2点が出土している。2169は欠損品で詳細は不明である。2170は、一部に剝落があるもののほぼ完形品で、擦痕が顕著である。色調は茶褐色である。石材は、粘板岩(2)である。

燕尾形石製品 (第305図、写真図版189：2171・2172)

燕尾の形状に類似する石製品で、この名称が付されている(註2)。2点出土している。2171は完形品で下端部に刻みが施され、上端部には穿孔が施されている。擦痕が顕著である。色調は水色～紺色である。2172は欠損品で詳細は不明であるが、類似するものとしてここに含めた。石材は、流紋岩(1)・粘板岩(1)である。

男根状石製品 (第305図、写真図版189：2173)

男根を模した石製品である。D IV q 6 グリッドのI層(遺物包含層)から1点が出土している。形状は断面形が円形で厚く、下端分に膨らみをもち、先端部に傘をもっている。擦痕が観察できるが、線刻などは施されていない。中央付近で欠損している。石材は、緑色凝灰岩(1)である。

線刻礫 (第306図、写真図版189：2174・2175)

意図的に線刻を施した礫で2点出土している。2174は、扁平な礫の一面に敲打による浅い窪みがあり、一端に敲打痕がある。線刻は、一側縁に鋸歯状の線刻が施されている。線刻の太さは0.5mmである。

2175は、横断面が隅丸方形で両端が丸みを帯びる棒状の礫である。一端に捻れた孔があるが、人為的なものか否かは不明である。線刻は、平坦な一面と一側縁に施されており、縦位に中心に線を引いた後に横位に

13本の線を5mm～2.5cmの間隔で描いている。線刻の太さは0.5mmである。

石材は、砂岩（1）・流紋岩（1）である。

岩偶（第307図、写真図版190：2176・2177）

2点出土している。2176は、小型で下半部が欠損している。板状のもので、頭部と腕部が括れをもって表現されている。2177は、菱形を呈する形状と思われるが、頂部と下半が欠損しており、詳細は不明である。

いずれも擦痕がみられるが、施文はみられず、無文である。

石材は、凝灰岩（2）である。

玦状耳飾り（第307図、写真図版190：2178～2190）

19点が出土しており、12点掲載した。出土状態はいずれも遺構の埋土から他の遺物と混在して出土している。欠損品が多く、ほぼ完形といえるものは2183の1点である。2183は形状から玦状とするには問題が残るが、耳飾りとしてここに含めた。欠損部位は抉れた部分が多く、補修孔も多くみられる。石材が軟質のためかいずれも擦痕が著しい。形状からいくつかのタイプに分けられそうである。

石材は、2183・2186・2190が滑石（3）で、他は凝灰岩（4）・流紋岩（4）・泥岩（1）である。不掲載の7点の石材は流紋岩（5）・凝灰岩（2）である。

垂飾り（第308図、写真図版190：2191～2194）

4点出土しており、4点掲載した。扁平な礫を整形して一端に穿孔している。厚さは、2191を除けば5mm前後で、穿孔された穴の大きさは径2～3mmほどである。平面の形状は楕円形・筥状・隅丸方形がある。

石材は、2193が滑石（1）、流紋岩（2）・凝灰岩（1）である。

石製模造品（第308・309図、写真図版191：2195～2213）

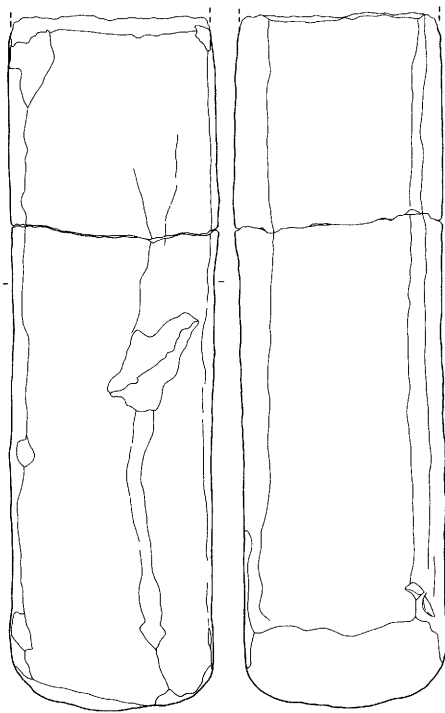
さまざまな形状に加工された石製品で模造品ともいえるものである。穿孔前の装飾品の未製品である可能性もある。74点出土しており、19点を掲載した。扁平な素材に整形を加えて様々な形状に加工している。平面の形状から楕円形、小判形、筥状、円盤状、隅丸方形、棒状、球状などに分けられる。石材が軟質のためか擦痕が著しい。

2195は沈線による施文が施されている。2205・2213は未穿孔部分があり、穿孔を意図した痕跡がある。

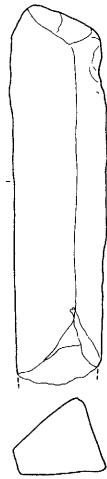
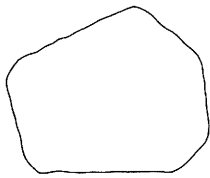
石材は、流紋岩（8）・凝灰岩（6）・緑色凝灰岩（4）・安山岩（1）である。不掲載の55点の石材は、凝灰岩（19）・流紋岩（14）・緑色凝灰岩（10）・粘板岩（5）・砂岩（4）・泥岩（1）・デイサイト（1）・桂化木（1）である。

註

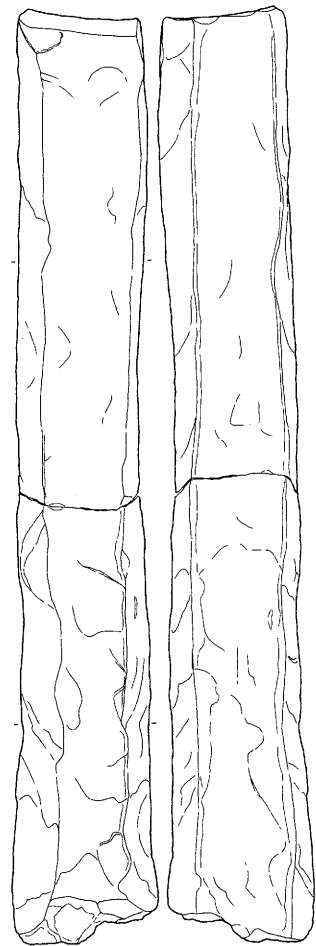
- (1) 「軟質凝灰岩の縦長の転石を研磨し、両端を砲弾状に削り出すことによって全体がカツオブシの形状に似ていること」から、この名称が付されている。前掲註1報告書。
- (2) 「全体を短冊状や棒状に研磨した後に長軸の一端に切れ込みを入れることで、一端が「燕の尾」状になっている」ことから、この名称が付されている。秋田県教育委員会1988『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書II一上ノ山I遺跡・館野遺跡・上ノ山II遺跡』秋田県文化財調査報告第166集。



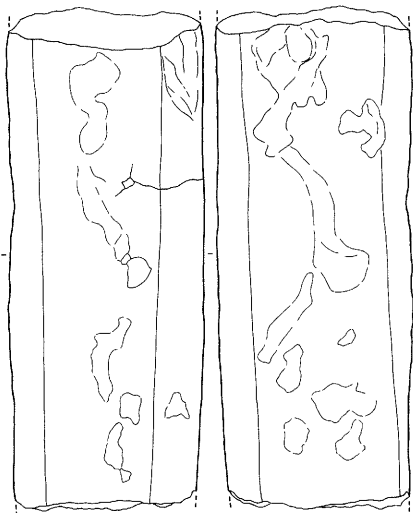
2162



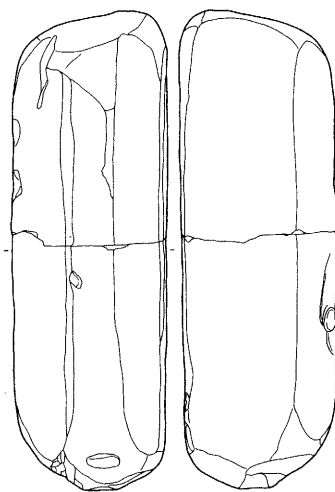
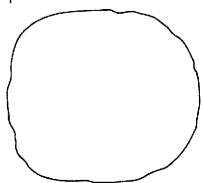
2163



2164 (S=1/5)



2165

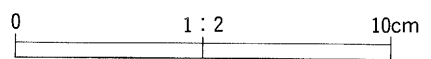
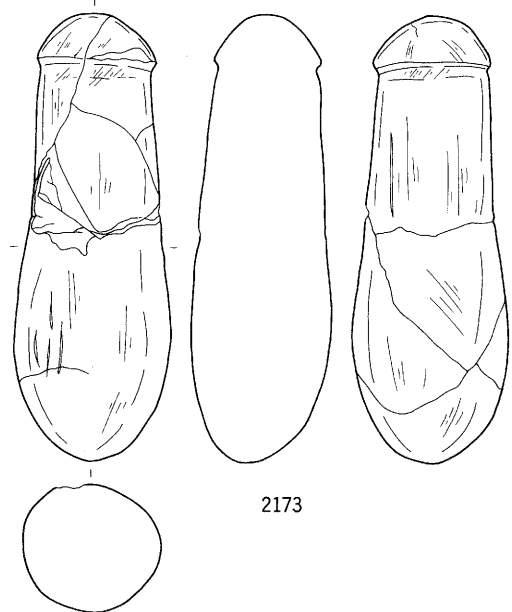
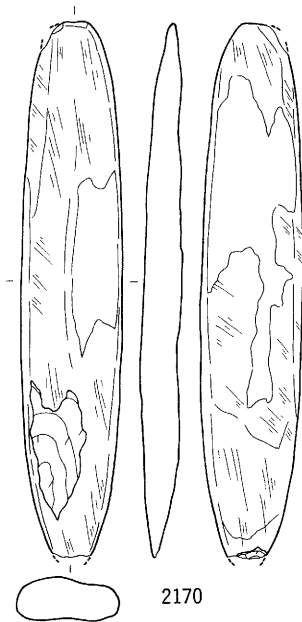
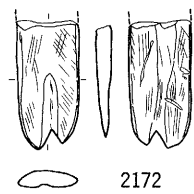
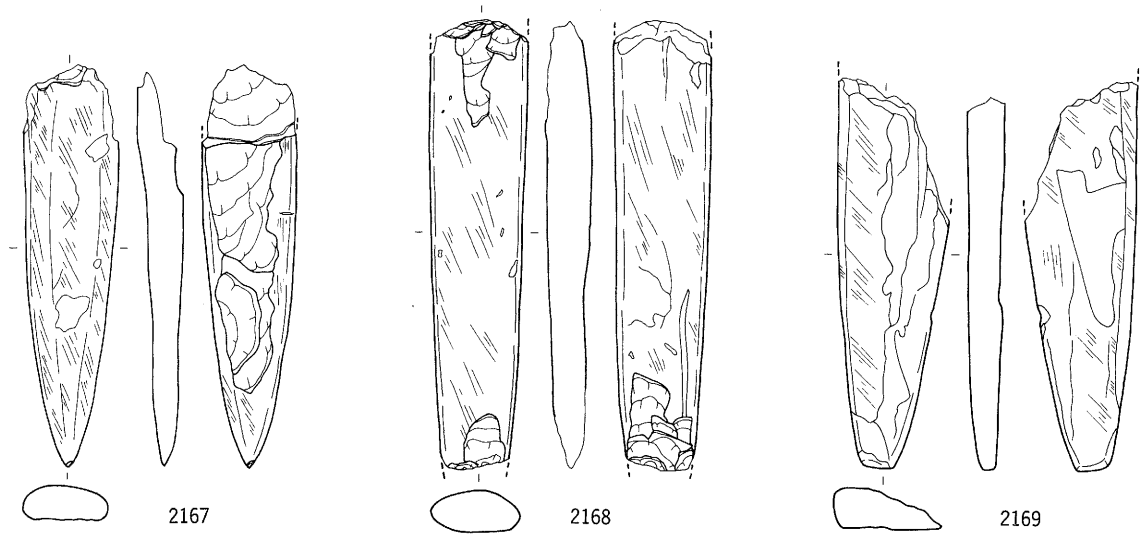


2166

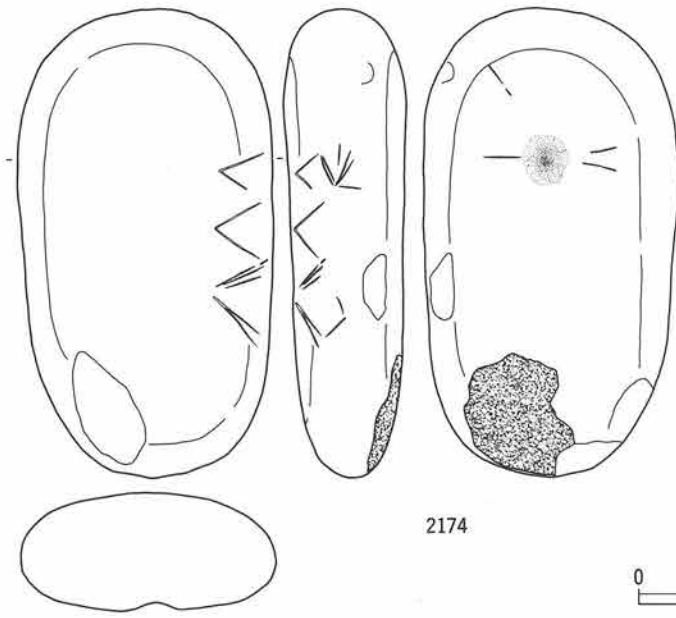


0 4 : 15 10cm

第304図 石製品(1)

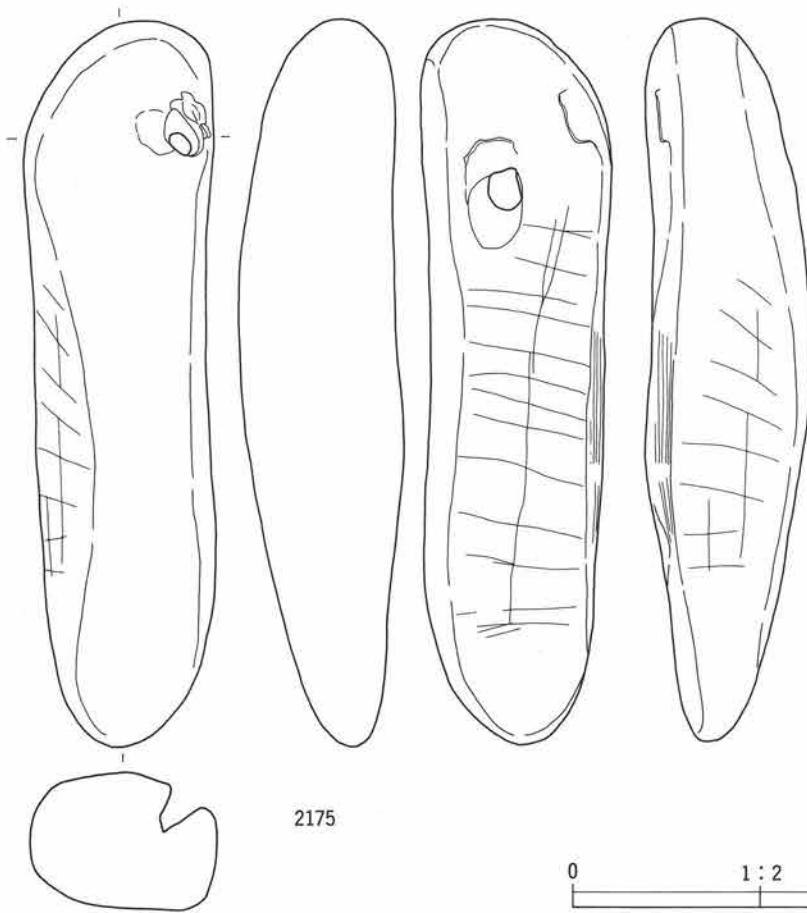


第305図 石製品(2)



2174

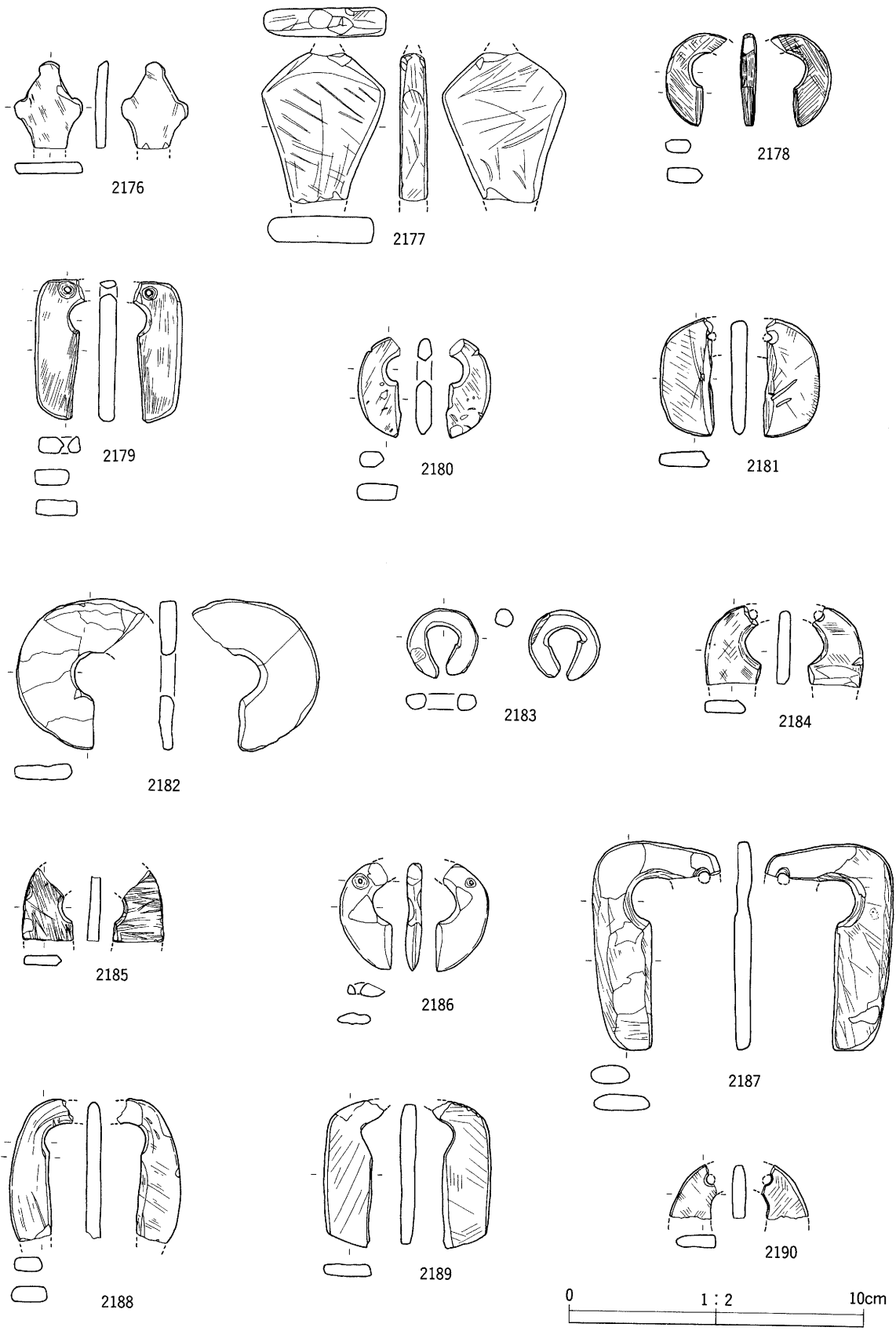
0 1:3 10cm



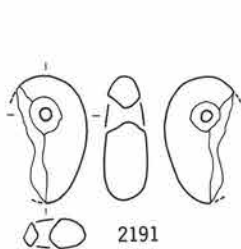
2175

0 1:2 10cm

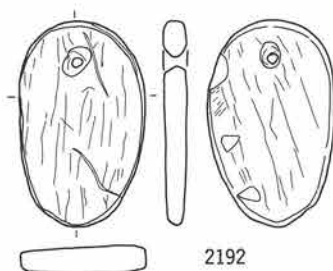
第306図 石製品(3)



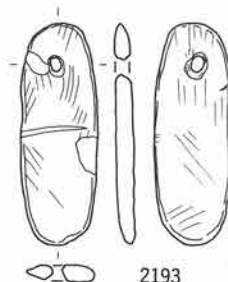
第307図 石製品(4)



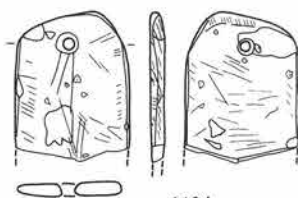
2191



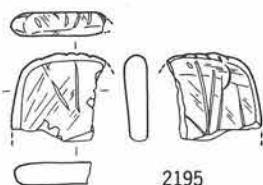
2192



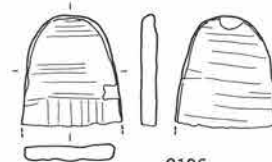
2193



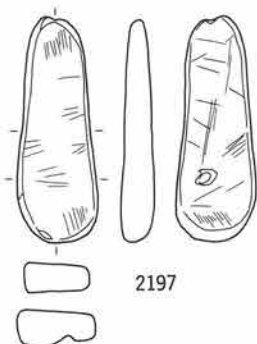
2194



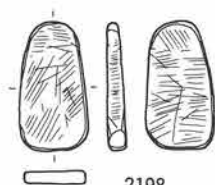
2195



2196



2197



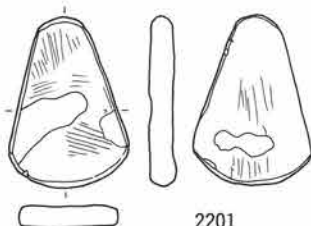
2198



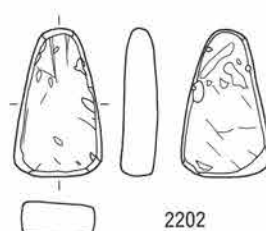
2199



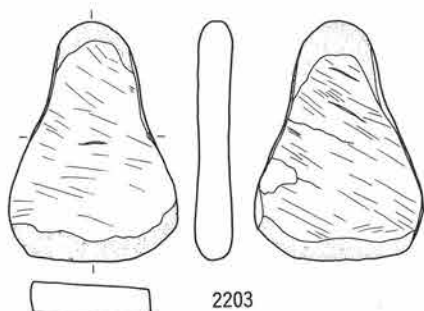
2200



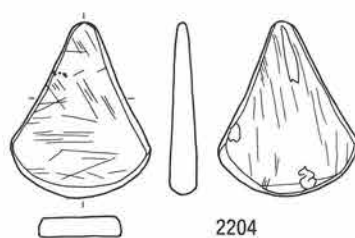
2201



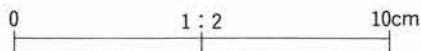
2202



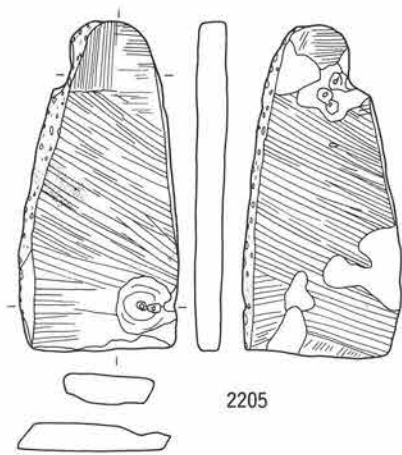
2203



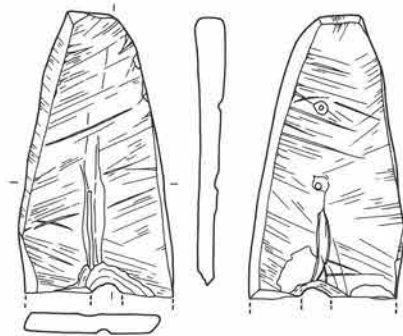
2204



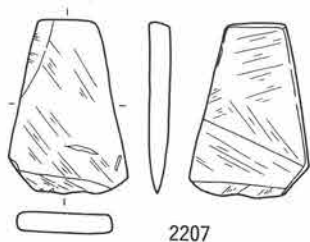
第308図 石製品(5)



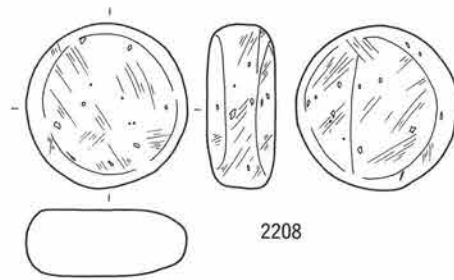
2205



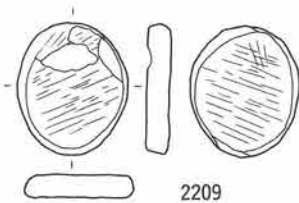
2206



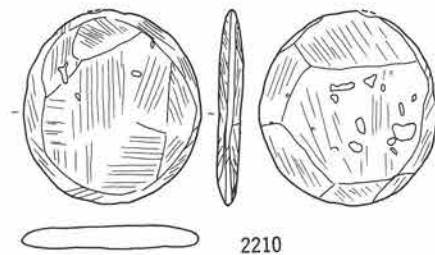
2207



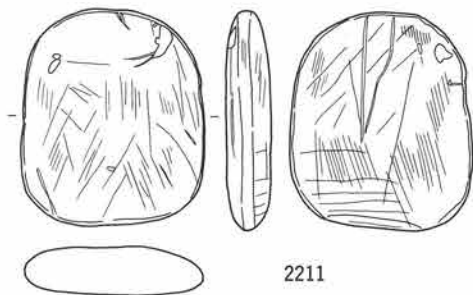
2208



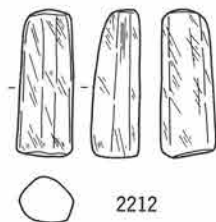
2209



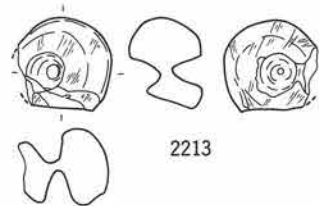
2210



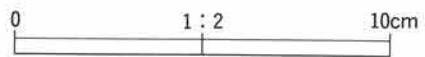
2211



2212



2213



第309図 石製品(6)

第6表 土器観察表

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
125	101	RA04	南西埋土	深鉢	平縁、口:結束1・2 RL・LR	—	?	4	I
125	102	RA04	南東埋土	深鉢	4波状、口:沈線/隆帯、頸:沈線+刺突列、胴:沈線、LR縦?	—	M	2	I 5
125	103	RA04	床直: Pot 1	深鉢	4波状、口:沈線・刺突列、胴:L縦・斜	—	M?	3	I 5
125	104	RA04	床直: Pot 2	深鉢	平縁、口:沈線・頸:沈線、胴:RL横・縦	—	M	3	I 5
125	105	RA05	南半埋土	深鉢小型	底:文様不明	—	N	3	I 5
125	106	RA05-PP1	北半埋土	深鉢	口:4波状突起?、胴:LR縦	—	—	3	I
126	107	RA05	床直: Pot 1	深鉢球胴	口:4単位・円文・沈線、頸部:沈線、胴:LR縦	◎	N	4	I 4
126	108	RA05	床直: Pot 2	深鉢	口:4波状隆帯、頸:RL縦→沈線、胴:RL縦→沈線・貼瘤	—	—	3	I 5
126	109	RA05	床直: Pot 3	深鉢	口:4単位、胴:LR縦	—	—	3	I 5
126	110	RA05	床直	深鉢	胴:RL斜、輪積痕	—	N	4	I 5?
126	111	RA06	東側埋土	深鉢	胴:無文?、底面:網代痕	—	N	4	I
126	112	RA06-PP1	埋土	深鉢小型	胴:L縦	—	N	2	I
127	113	RA07	埋土	深鉢	胴:LR縦	—	M	4	I
127	114	RA07	南東埋土上位	深鉢	平縁、口:原体側圧LR、胴:LR縦	—	—	3	I 2?
127	115	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴:LR横	—	M	3	I
127	116	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴:結束1 LR・RL縦	○	?	2	I
127	117	RA07-PP2	南東埋土	深鉢	胴:LR縦?/結節R縦	—	M?	3	I
127	118	RA07	北東埋土下位	深鉢	胴:無文?	—	M	3	I
127	119	RA07	東西ベルト3	深鉢	平縁、口:肥厚、胴部:無文	—	—	3	I
128	120	RA07	東西ベルト3	深鉢	口唇:LR、平縁、口:胴:LR横・斜・縦	—	—	2	I
128	121	RA07-PP2	北半埋土	深鉢	平縁、口~:LR縦	—	M	2	I
128	122	RA07	床直: No. 1	深鉢	胴:沈線?	—	N?	2	I
128	123	RA07	床直: No. 1	深鉢	口:6波状・圧痕、頸:沈線、胴:単軸絡1, R斜	—	M	2	I 5
128	124	RA07	床直: No. 2	深鉢	胴:沈線、単軸絡1, R縦	—	—	3	I
129	125	RA07	床直: No. 3	深鉢	平縁、口:刻目、胴:LR縦?	—	?	4	I 5
129	126	RA07	床直: No. 4	深鉢	8波状、口:LR縦・横・斜	—	M	3	I 5?
129	127	RA07	床直: No. 6・9	深鉢	4波状、口:圧痕、沈線・原体圧痕、頸:未穿孔、胴:結束1 RL・LR縦	—	—	3	I 5?
130	128	RA07	床直: No. 6・7	深鉢	平縁、口、胴部:LR縦・横	—	N?	4	I
130	129	RA07	床直: No. 8	深鉢	平縁、口:8単位の刻目、胴:沈線	—	M	3	I 5
130	130	RA07	床直: No.10	深鉢	4波状、口:沈線、頸:沈線、胴:沈線	—	M	2	I 5
130	131	RA07	床直: No.11	深鉢	平縁、口:肥厚、胴:無文、ミニチュア	—	M	2	IV
130	132	RA08	南西埋土下位	深鉢	平縁、口:沈線	—	M	3	I 5
131	133	RA08	南西埋土下位	深鉢	口:8波状?・沈線、頸:隆帯+刻目、胴:LR縦/結節R縦	—	M	3	I 5?
131	134	RA08-PP10	北半埋土	深鉢	胴:文様不明	—	N	3	I
131	135	RA08	埋設土器	深鉢	胴:LR縦	—	M?	3	I
131	136	RA09	埋土下位	深鉢	底面:網代痕	—	M	4	I
131	137	RA09	北半埋土	深鉢	底面:網代痕	—	M	4	I
131	138	RA09-PP2	北半埋土	深鉢	平縁、口:胴:沈線	—	M?	3	I 5?
131	139	RA09	埋設土器	深鉢	胴:LR縦/結節R縦	—	M	3	I
132	140	RA11	南半埋土	深鉢	胴:LR横	—	M	2	I
132	141	RA12	北半埋土	深鉢	平縁、口:沈線、頸:隆帯+圧痕、胴:沈線	—	N	4	I 4
132	142	RA12	北半埋土	深鉢	平縁、口:無文	—	M	4	I
132	143	RA13	北東埋土	深鉢	胴:LR縦、底面:網代痕	○	N	3	I
132	144	RA12	南側埋土	深鉢	胴:多軸絡(?), R縦	○	N	4	I
132	145	RA12	東側埋土	深鉢	胴:単軸絡5, L縦, 底縁:刻目	○	N?	4	I
132	146	RA12	Aベルト1	深鉢	胴底:不明	○	?	4	I
133	147	RA13	北東埋土	深鉢	底面:網代痕	—	M?	2	I
133	148	RA13	北西埋土	深鉢	胴:沈線	—	—	4	I 5
133	149	RA13	埋土下位	深鉢	胴:LR横/結節R横	—	M?	2	I
133	150	RA15	埋土: Pot06	深鉢	平縁、口:RL横/結節L横	—	M	4	I
133	151	RA15	埋土: Pot06	深鉢	胴:RL横/結節L横	—	—	2	I
133	152	RA15	埋設土器	深鉢	胴:RL横	○	N?	4	I
134	153	RA17	埋土	深鉢	胴:単軸絡5, L縦	—	M	4	I
134	154	RA18	北側埋土	深鉢	胴:LR縦	—	M	4	I
134	155	RA19	北東埋土	深鉢	胴:RL縦、底:網代痕	○	N	4	I 5
134	156	RA19	炉2 Pot1	深鉢	底:単軸絡1, L縦	○	N?	4	I
134	157	RA20	南北ベルト北埋	深鉢	平縁、口:刻目、頸:沈線、胴:LR縦/結節R縦	—	M	2	I 5
134	158	RA21	埋土	深鉢小型	胴:隆帯2/無文	—	—	4	I
134	159	RA21	埋土	深鉢	口:平縁/RL横	—	M	2	I
134	160	RA22	床直: Pot 1	深鉢	ミニチュア、口:4波状、胴:無文	—	N	3	IV

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
135	161	RA23	埋土	深鉢	平縁、口：原体側圧LR、頸：隆帯+刻目、胴：結節1 RL・LR縦	—	M	3	II?
135	162	RA23	埋土	深鉢	胴：L縦/結節L縦	—	M	3	I
135	163	RA23	(BIV V10.PotB)	深鉢	平縁、口：頸：オオバコ側面圧痕、胴：オオバコ回転文?	—	M	2	I
135	164	RA23	埋土下位：PotG	深鉢	口：4単位・貼瘤、頸：沈線+貼瘤、胴：LR横/結節R縦→貼瘤	—	M	3	I 5
136	165	RA23	埋土	深鉢	胴：沈線	—	M	3	I
136	166	RA23	埋土	深鉢	胴：文様不明	—	M	3	I
136	167	RA23	埋土	深鉢	胴：単軸絡1, L縦	○	—	3	I
136	168	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	4波状口：隆帯+刺突、頸：沈線、隆帯+沈線、胴：LR横斜→沈線	—	M	2	I 5
137	169	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	胴：単軸絡5, L縦/LR横斜	—	M	3	I
137	170	RA23	埋土下位：PotO	深鉢	口：4単位・貼瘤+刻目、胴：L縦横	—	N	3	I 5
137	171	RA23	埋土下位：PotO	深鉢球胴	4波状口：隆帯+刻目、頸：沈線+貼瘤、胴：LR横?	○	M	4	I 5
137	172	RA23	埋土下位：PotP	深鉢	平縁、口：L縦、頸部に括れ	—	M	3	I
137	173	RA23	埋土下位：PotS	深鉢球胴	口：4波状、頸：刺突列、胴：LR縦・斜→沈線	—	M	2	I 5
138	174	RA23	埋土下位：PotN	深鉢	口：緩い波状、隆帯、胴：L縦/結節r縦、底：網代痕?	○	M	2	I 5?
138	175	RA23	埋土下位：PotT	深鉢	平縁、口：胴：LR斜	—	—	2	I 5?
138	176	RA23	埋土下位：PotT	深鉢	平縁、口：LR縦/結節R縦	—	N?	3	II?
138	177	RA23	埋土中焼土1	深鉢	平縁、口：単軸絡1, R斜	○	M?	2	II?
139	178	RA24	1層：Pot1	深鉢	口：平縁、LR横/結節R横	—	M	2	I
139	179	RA24	1層	深鉢	口：4単位の環状突起+刺突、胴：LR(0段多条)横→沈線	○	M?	2	I 4
139	180	RA24	1	深鉢	底：文様不明、ミニチュア	—	N?	4	IV
139	181	RA24	1層	深鉢	底：文様不明	—	M	4	I
139	182	RA24	2	深鉢	底：単軸絡1, R縦	○	M	4	I
139	183	RA26-炉	東半焼土	深鉢	胴：隆帯+刺突→沈線→LR縦	—	M	1	II?
139	184	RA28	床直：Pot2	深鉢	胴：単軸絡1 A, RL縦	—	M	2	I
140	185	RA29-PP3	埋土	深鉢	胴：多軸絡(5), LR縦	—	M	3	I
140	186	RA29	床直：Pot1	深鉢	口：沈線・刺突、頸：沈線刺突、胴：L縦/結節L縦	—	M	3	I 4?
141	187	RD04	北半埋土2：Pot1	深鉢	底：文様不明	—	M	3	I
141	188	RD04	床直 a	深鉢	胴：LR横	—	M	2	I
141	189	RD04	床直 f.g	深鉢	口：平、原体側圧LR、胴：LR縦	—	M	2	I 5?
141	190	RD04	床直 o	深鉢	底：文様不明	—	?	4	I
141	191	RD04	床直 b.n	深鉢	平縁、口：4単位で挟り入る、胴：LR横/結節LR横	—	M	4	I 5?
142	192	RD05	Pot4	浅鉢	胴：LR横/結節R横	—	M	3	I
142	193	RD06	南半埋土 Pot01	深鉢	平縁、口：沈線、頸：沈線、胴：単軸絡1, R縦/結束1 R・L縦	—	M	3	I 5
142	194	RD06	南半埋土上位 Pot1	深鉢小型	胴：無文?	—	?	4	IV
142	195	RD06	北半埋土5	浅鉢小型	底：文様不明	—	N?	4	IV
142	196	RD06	床直 a.b	深鉢球胴	平縁、口：沈線、頸：沈線、胴：L横	—	M	3	I 5
143	197	RD07	I d-20cm	深鉢	平縁、口：LR縦横、頸：隆帯+圧痕(4単位)、胴：単軸絡1, R縦	—	N	4	I 4
143	198	RD07	I d-20cm	深鉢	底：文様不明	○	N?	4	I
143	199	RD07	I d-20cm	深鉢	胴：RL縦/結節L縦、底面：網代痕	—	M	3	I
143	200	RD07	I d-20cm	深鉢	平縁、口：胴：多軸絡(?), L縦	—	M	3	I 4
144	201	RD07	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡1 A, R縦	◎	M	4	I
144	202	RD07	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡1, r縦	○	M	3	I
144	203	RD07	I d-20cm	深鉢	平縁、口：胴：多軸絡(?), R縦	—	M?	4	I
144	204	RD08	西側埋土	深鉢	底：文様不明	○	N?	4	I
144	205	RD09	北側埋土	深鉢	底：LR縦/結節R縦、底面：網代痕	—	?	4	I 5?
144	206	RD12	南半埋土2	深鉢	平縁、口：圧痕・絡条体圧1, L、胴：L縦?	—	M	3	I 5
144	207	RD12	南半埋土2	深鉢	平縁、口：圧痕・沈線、頸：沈線、胴：結束1 RL・LR縦	○	—	4	I 5
145	208	RD16	北半埋土1	深鉢	平縁、口：単軸絡5、R縦?	—	N?	3	I 4?
145	209	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：文様不明	—	M	4	I
145	210	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：文様不明	○	M	3	I
145	211	RD16	北半埋土1	深鉢	胴：単軸絡1, R縦、底面：網代痕	○	M	2	I
145	212	RD17	南半埋土	深鉢	胴：LR横、底面：網代痕	○	M	4	I
145	213	RD19	埋土	深鉢	底：文様不明	○	M	2	I
145	214	RD34	南半埋土1	深鉢小型	底：文様不明	—	N	3	IV
145	215	RD34	南半埋土1	浅鉢	底：文様不明	○	N?	2	IV
145	216	RD36	南半埋土	深鉢	底：LR横?	○	N?	4	I
146	217	RD37	埋土上位	深鉢	底：文様不明	○	M	4	I
146	218	RD40	南半埋土	深鉢	胴：RL縦、底面：網代痕	—	M	2	I
146	219	RZ01	埋設土器	深鉢	胴：RL横・斜/結節・縦	—	M	4	I
146	220	RZ08	埋設土器	深鉢	胴：LR横、底面：網代痕?	●	M	3	I
146	221	RZ07	埋設土器	深鉢	胴：結束1 RL・LR縦	—	M	4	I

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
147	222	RZ05	埋設土器	深鉢	平縁、口：沈線・刺突、頸：沈線/隆帯+圧痕、胴：LR縦/結節R縦	—	M	3	II 1
147	223	RZ06	埋設土器	深鉢	胴：結束1 R・L縦	—	M	2	I
147	224	RZ09	埋設土器	深鉢	胴：RLR縦・横	—	N?	3	I
147	225	RZ10	埋設土器	深鉢	頸：沈線、胴：結束1 RL・LR横	◎	N	4	I 5
148	226	RZ12	埋設土器	深鉢	胴：結節L縦	—	M	3	I
148	227	RZ13	埋設土器	深鉢	胴：LR横	—	M	4	I
148	228	RZ14	埋設土器	深鉢	胴：LR縦	—	M?	4	I
148	229	RZ15	埋設土器	深鉢	胴：RL横/結節R縦	—	M	2	I
148	230	RZ16	埋設土器	深鉢	底：文様不明	—	?	3	I
148	231	B IV q22-PP2	埋土	深鉢	平縁、口：胴：L縦/結節L縦	○	N?	4	I
149	232	B III t23	II	深鉢	胴：単軸絡5, L縦、底面：網代痕?	○	M	3	I
149	233	B III u23	I d-10cm: Pot01	深鉢	平縁、4単位で凹み、口：LR縦、胴：LR横	●	N	3	I 5?
149	234	B IV u02	I d-30cm	深鉢	胴：沈線?	○	M	4	I
149	235	B IV v01	I b	深鉢	底：LR横	—	N	3	I
149	236	B IV v01	I d-10cm: Pot71	深鉢	胴：LR縦	○	N?	3	I
149	237	B IV v03	I	深鉢	平縁、口唇：圧痕、胴：単軸絡5, L縦	○	N?	3	I 4
150	238	B IV v10	I d-10cm: PotC	深鉢	口：突起(6単位?)、胴：L縦	●	M	3	I 5
150	239	B IV v10	I d-10cm: PotO	深鉢	平縁、口：肥厚、胴：沈線(8単位)	—	M	3	I 5
150	240	B IV v10	I d-10cm: PotE	深鉢	口：4単位、隆帯、胴：LR斜/横、底面：圧痕?	●	M	4	I 5
150	241	B IV v10	I d-10cm: PotF	深鉢	波状口縁(8単位)、口：無文、頸：沈線、胴：LR横・斜	●	M	3	I 5
150	242	B IV v10	I d-10cm: PotE	深鉢	平縁、口：圧痕、頸：沈線、胴：沈線	○	M	4	I 5
150	243	B IV v10	I d-10cm: PotG	深鉢	口：4単位、隆帯+刺突、頸：沈線、胴：LR縦	—	M	3	I 5
151	244	B IV v10	I d-10cm: PotH	深鉢	胴：RL・LR横/結節L横	○	M	4	I
151	245	B IV v10	I d-10cm: PotI	深鉢	口：突起(6単位?)、頸：沈線、胴：RLR縦・斜/沈線	—	M	4	I 5
151	246	B IV v10	I d-10cm: PotI	深鉢	平縁、口：原体側圧LR; 胴：LR横・斜、底面：圧痕?	○	M	4	II 2?
151	247	B IV v10	I d-10cm: PotK	深鉢	平縁、口：LR縦・斜	—	M	3	I
151	248	B IV v10	I d-10cm	深鉢	平縁、口：頸：沈線、胴：LR縦/結節R縦	—	?	4	I 5
152	249	B IV v11	I d-10cm	深鉢	胴：単軸絡1, R縦	—	?	3	I
152	250	B IV w01	I d-10cm	深鉢	胴：RL横、底面：網代痕	—	M	3	I
152	251	B IV w01	I d-10cm: Pot16	深鉢	胴：単軸絡5, R縦	○	M	4	I
152	252	B IV w01	I d-10cm: Pot17	深鉢	平縁、口：胴：単軸絡1, R縦	●	M	3	I 4
152	253	B IV w01	I d-10cm: Pot15	深鉢	口唇：隆帯4単位・頸：隆帯5単位、胴：LR横	◎	M	4	I 3
152	254	B IV w01	I d-20cm: Pot48	深鉢	平縁、口：胴：LR横/結節R横	○	M	2	I 4
153	255	B IV w02	I d-10cm: Pot03	深鉢	平縁、口：沈線・突起?、頸：刺突列2、胴：LR縦・斜	○	M	3	I 5
153	256	B IV w02	I d-10cm: Pot03	深鉢	平縁、口：沈線+隆帯、胴：LR縦	—	M	3	I 5
153	257	B IV w02	I d-10cm: Pot09	深鉢	平縁、口：沈線・圧痕：結束1 LR・LR縦	—	M	4	I 5
153	258	B IV w02	I d-20cm	深鉢	平縁、口：胴：R縦	—	M	3	I
154	259	B IV w02	I d-30cm	深鉢	底：文様不明	○	N	3	I
154	260	B IV w02	I d-30cm: Pot56	深鉢	口：沈線、頸：沈線、胴：LR縦	—	—	3	I 5
154	261	B IV w02	I d-30cm: Pot57	深鉢	平縁、口：胴：LR横・斜	—	N	3	I
154	262	B IV w03	I d-10cm	深鉢	平縁、口唇：圧痕、胴：LR横、結節R横	◎	M	4	I 4
154	263	B IV w03	I d-10cm	深鉢	底：結節L横	○	N	4	I 4
154	264	B IV w03	I d-10cm	深鉢	胴：LR斜、底面：圧痕?	—	M	4	I 4
155	265	B IV w03	I d-10cm: Pot06	深鉢	平縁、口~胴：LR横	—	M	2	I
155	266	B IV w03	I d-10cm: Pot08	深鉢	平縁、口：口唇に4単位で刻目、胴：結束2 RL・LR横	—	M	3	I 4
155	267	B IV w03	I d-10cm: Pot07	深鉢	底：LR横斜、底面：網代痕	—	N	3	I
155	268	B IV w03	I d-20cm: Pot41	深鉢	平縁、口唇：刻目、胴：直前段合擦?(異状縄文)	—	M	3	I 4
156	269	B IV w03	I d-20cm: Pot44	深鉢	平縁、口唇：隆帯、口：隆帯、胴：LRL横	○	M	3	I 3
156	270	B IV w03	I d-20cm: Pot43	深鉢	胴：LR横、底面：木葉痕?	○	M	2	I
156	271	B IV w03	I d-20cm: Pot44	深鉢	平縁、口：無文	—	M	2	I
156	272	B IV w03	I d-30cm	深鉢	底：LR縦	○	M	4	I
156	273	B IV w04	I d-20cm	深鉢	胴：単軸絡5, R縦	○	M	4	I
156	274	B IV w04	I d-20cm	深鉢	胴：LR横/結節横、底面：網代痕	○	M	2	I
157	275	B IV w04	I d-20cm: Pot20	深鉢	平縁、胴：RL縦・結節横	○	—	4	I
157	276	B IV w04	I d-20cm	深鉢	平縁、胴：単軸絡5, L縦	○	M	4	I
157	277	B IV w04	I d-30cm: Pot58	深鉢	胴：単軸絡1 L縦・斜	—	M	4	I
157	278	B IV w04	I d-30cm	深鉢	底：不明、底面：捺糸?	○	M?	3	I
157	279	B IV w05	I d-20cm: Pot26	深鉢	平縁、口~胴：単軸絡1, L縦・斜	—	N?	3	I
158	280	B IV w05	I d-20cm: Pot27	深鉢	口：4波状?、突起+圧痕、胴：単軸絡1, L縦	—	N?	4	I 4
158	281	B IV w05	I d-20cm: Pot26	深鉢	胴：L縦	—	M	3	I
158	282	B IV w05	I d-20cm: Pot27	深鉢	平縁、口~胴：無文	◎	M	4	I

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
158	283	B IV w05	I d-20cm:Pot29	深鉢	胴:単軸絡1, L縦	○	N	4	I
158	284	B IV w05	I d-20cm	深鉢	平縁:口~:単軸絡1, L縦	-	M	2	I
159	285	B IV w05	I d-20cm	深鉢	4波状、口~:単軸絡1 A, R縦→沈線	◎	M	2	I 4
159	286	B IV w05	I d-20cm	深鉢	平縁:2単位突起、口唇:刻目、口~胴:LR縦/結節縦	○	N	4	I 4
159	287	B IV w06	I d-10cm:Pot33	深鉢	底:沈線	○	N	4	I
159	288	B IV w06	II	深鉢	胴:単軸絡5, L縦	○	N	4	I
159	289	B IV w06	I d-20cm	深鉢	胴:単軸絡5, L縦、底面:木葉痕	-	M	2	I
159	290	B IV w07	I d-10cm	深鉢	4波状、口唇:刻目、口:隆帯+刻目、胴:無文	-	M	2	15?
160	291	B IV w08	I d-30cm	深鉢 <small>小型</small>	底:文様不明	○	N?	4	I
160	292	B IV w10	No.10 I d-10cm	深鉢	平縁、口唇:沈線、口:原体側圧LR、胴:LR縦	○	M	2	II?
160	293	B IV w11	I d-10cm:No.9	深鉢	底:文様不明	○	?	3	I
160	294	B IV w11	No.1 I d-10cm	深鉢	6波状、口:隆帯、圧痕、頸:沈線、胴:LR横	-	N?	2	I 5
160	295	B IV w11	No.4 I d-10cm	深鉢	胴:文様不明	○	M	4	I
160	296	B IV w11	No.5 I d-10cm	深鉢球胴	4波状、口唇:刻目、頸:沈線/刺突、胴:LR縦・横・斜→貼瘤	◎	M	3	I 5
161	297	B IV x04	I d-10cm	深鉢	底:文様不明	-	N?	4	I
161	298	B IV x04	I d-20cm	深鉢	底:文様不明	-	N	4	I
161	299	B IV x04	I d-20cm	深鉢	底:文様不明、底面:網代痕?	○	?	4	I
161	300	B IV w04	I d-20cm	深鉢	底:単軸絡5, R縦、底面:網代痕?	-	M	4	I
161	301	B IV x05	I d-20cm	深鉢	底:単軸絡5, R縦	○	M	2	I
161	302	B IV x05	I d-20cm:Pot25	深鉢	胴:単軸絡1, L縦	○	N	4	I
161	303	B IV x05	I d-30cm	深鉢	5波状、口~胴:単軸絡5、R縦?	◎	M	4	I
161	304	B IV x05	I d-20cm	深鉢	胴:L横	◎	M	4	I 4
161	305	B IV x05	I d-30cm	深鉢	4波状縁、口:隆帯、胴:単軸絡1 A, R・L縦	○	M	1	I 4
161	306	B IV x06	I d-10cm:Pot38	深鉢	底:文様不明	-	M	4	I
162	307	B IV x06	I d-20cm	深鉢	底:文様不明	-	M	3	I
162	308	B IV x06	I d-20cm:Pot	深鉢	平縁、口:単軸絡1, L縦	○	N?	4	I
162	309	B IV x06	I d-20cm:Pot31	深鉢	胴:LR斜	○	N	3	I
162	310	B IV x06	I d-20cm:Pot32	深鉢	平縁、口:無文、胴:沈線	○	M	4	I
163	311	B IV x06	I d-20cm:Pot36	深鉢	口:貼付突起、胴:LR縦	●	N	3	I
163	312	B IV x06	I d-20cm:Pot39	深鉢	平縁、口~胴:LR横/結節R横、底面:網代痕	○	N	4	I
163	313	B IV x06	I d-20cm:Pot39	深鉢	胴:R横→沈線、底面:網代痕	○	N?	4	I
163	314	B IV x06	I d-20cm:Pot39	深鉢	2波状、口唇:刺突、胴:RR横	○	M	3	I 4
163	315	B IV x06	I d-20cm:Pot40	深鉢	底:単軸絡1, R斜	○	N?	4	I
164	316	B IV x07	I d-10cm:No.4	深鉢	緩波縁、口唇:括れあり、胴:オオバコ回転文縦	-	N	4	I
164	317	B IV x07	I d-10cm	深鉢	平縁、口~胴:L縦/結節?縦	○	N?	4	14?
164	318	B IV x07	I d-20cm	深鉢	平縁、口~胴:単軸絡5, R縦	-	N?	4	I
164	319	B IV x07	I d-20cm:No.4	深鉢	胴:単軸絡5, R縦/沈線、底面:沈線?	-	M	3	14?
164	320	B IV x07	I d-20cm	深鉢	胴:単軸絡5, R縦、底面:網代痕	○	M	3	I
164	321	B IV x07	I d-20cm	深鉢	胴:単軸絡1, L縦、底面:網代痕?	○	?	3	I
165	322	B IV x08	I	深鉢	平縁、口:沈線、胴:沈線	●	N	4	I 5
165	323	B IV x08	I d-10cm	深鉢	平縁、口~:単軸絡1, L縦	○	M	4	I
165	324	B IV x08	I	深鉢	胴:文様不明	○	M?	4	I
165	325	B IV x08	I d-10cm:Pot53	深鉢	底:文様不明	○	M?	4	I
165	326	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	平縁、口:沈線、頸:沈線、胴:LR縦/結節R縦	-	M	2	I 5
165	327	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	4波状、口:頸:沈線/刻目、胴:単軸絡1, LR縦、底面:網代痕	◎	M	2	I 5
166	328	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢球胴	平縁、口:沈線・圧痕・原体側圧、胴:LR横/結節R横、底:網代痕	◎	M	3	I 5
166	329	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢	平縁、口:絡条体圧痕、頸:刺突、胴:単軸絡1, R縦→沈線	-	M	3	I 5
166	330	B IV x11	I d-10cm	深鉢	胴:LR縦・横・斜	○	M	1	I
166	331	B IV x12	I d-10cm	深鉢	底:文様不明、底面:網代痕	-	M	2	I
166	332	B IV y08	I d-10cm	深鉢	底:文様不明、底面:網代痕	○	M	3	I
166	333	B IV y11	I	深鉢	底:単軸絡1, R横?、底面:網代痕	○	N	4	I
167	334	B IV y12	I d~II: Pot63	深鉢	胴:単軸絡1, L斜	○	M	3	I
167	335	C IV a12	I d~II: Pot65	深鉢	胴:単軸絡1 A, R縦、底面:網代痕?	○	M	3	I
167	336	C IV g14	I b	深鉢	底:文様不明、底面:網代痕?	○	N	4	I
167	337	B IV q06	風倒木痕 北埋	深鉢	胴:文様不明	-	N	2	I
167	338	B IV s08	風倒木痕 北埋	深鉢	底:文様不明	○	N?	3	I
167	339	D IV r06	III	台付?	胴:LR縦、ミニチュア	-	M	3	IV

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
168	340	RA01-PP1	埋土	深鉢	胴:多軸絡(?),縦	—	—	4	I
168	341	RA02	西半埋土	深鉢	口唇:隆帯貼付+刺突、胴:単軸絡5?縦	—	N	3	I
168	342	RA02	西半埋土	深鉢	口:LR縦・横	—	N	4	I
168	343	RA02	西半埋土	深鉢	口唇:肥厚(貼付)+圧痕、胴:沈線	—	—	4	I
168	344	RA02	西半埋土	深鉢	胴:単軸絡1A, R2縦	—	—	3	I
168	345	RA02	北半埋土	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1, L縦	○	—	2	I
168	346	RA02	北半埋土	深鉢	口:原体側圧?	—	N	3	I
168	347	RA02	南半埋土	深鉢	口:沈線	—	—	4	I
168	348	RA02	東半埋土	深鉢	口:沈線	—	N?	2	I
168	349	RA03	東半埋土	深鉢	口:沈線	—	N	2	I
168	350	RA03-PP4	埋土	深鉢	口:刺突・沈線	—	—	3	I
168	351	RA04	埋土	深鉢	口:沈線・刺突	—	N	4	II1?
168	352	RA04	南西埋土	深鉢	口:貼瘤・沈線(半竹)、頸:刺突(半竹)	—	N?	2	II1?
168	353	RA04	南西埋土	深鉢	口:結束1RL・LR縦	—	N	2	I
168	354	RA04	南西埋土	深鉢	口:貼瘤/沈線(半竹)、刺突(半竹)	—	N	2	I
168	355	RA04	南西埋土	深鉢	口:隆帯貼付、隆帯+刻目、頸:沈線(半竹)	—	—	4	I5
168	356	RA04	南西埋土	深鉢	口:隆帯、沈線	—	M	1	I5
168	357	RA04	南西埋土	深鉢	口:沈線	—	N	3	I5
168	358	RA04	南西埋土	深鉢	口:沈線、刺突	—	—	2	I5
168	359	RA04	南西埋土	深鉢	頸:隆帯貼付・貫通孔	—	—	4	I
168	360	RA04	南側埋土	深鉢	底面:網代痕	○	—	4	I
169	361	RA04	南西埋土	深鉢	底:文様なし	—	N	3	I
169	362	RA04	南東埋土	深鉢	口:沈線(半竹)、刺突(半竹)、胴:L縦/結節縦	—	—	3	I5
169	363	RA04	南東埋土	深鉢	口:沈線、刺突、原体側圧RL	—	—	3	I5
169	364	RA04	南東埋土	深鉢	口:隆帯貼付(円状)+刻目、沈線	—	N	2	II1
169	365	RA04	南東埋土	深鉢	口:沈線	—	—	4	I5
169	366	RA04	東西ベルト3	深鉢	口:R横/結節LR横	—	—	4	I
169	367	RA04	東西ベルト4	深鉢	口:沈線、頸:沈線	—	N	3	I5
169	368	RA04	床直:Pot02	深鉢	口:原体側圧LR、胴:沈線(縦位)	—	—	4	II1?
169	369	RA04	床直:Pot03	深鉢	口:原体側圧LR、沈線、胴RL縦/結節縦	—	—	4	II1?
169	370	RA04	床直:Pot03	深鉢	口:貼瘤/沈線(半竹)、刺突(半竹)	—	M	2	I5
169	371	RA05	埋土	深鉢	口唇:刻目、口:単軸絡5縦、輪積痕	—	—	2	I4
169	372	RA05	埋土	深鉢	口唇:刻目、口:単軸絡1, L縦	○	—	4	I4
169	373	RA05	埋土	深鉢	口:LR縦?	—	N?	2	I4
169	374	RA05	埋土	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1A横?	—	—	2	I4
169	375	RA05	埋土	深鉢	口~:沈線(半竹)縦位・斜位	—	N	4	I4
170	376	RA05	北半埋土	深鉢	口:隆帯貼付+沈線、胴:LR横斜	—	N	2	I5
170	377	RA05	南側埋土	深鉢	口:LR横/結節R横	—	—	2	I
170	378	RA05	南側埋土	深鉢	口:LR斜・縦・横?	—	—	4	I
170	379	RA05	南側埋土	深鉢	口:RL横/結節L横?	—	N	2	I
170	380	RA05	東側埋土	深鉢	口:単軸絡5, R縦	—	—	2	I
170	381	RA05	南半埋土	深鉢	口:原体側圧LR/LR横	—	N	3	I
170	382	RA05	南半埋土	深鉢	底面:網代痕	—	—	4	I
170	383	RA05	床直	深鉢	胴:沈線→LR斜	—	M	2	I5
170	384	RA05-PP9	埋土	深鉢	底面:ナデ	—	—	3	I
170	385	RA05-PP9	埋土	深鉢	口:沈線(半竹)縦位	○	—	2	I
170	386	RA05-PP22	埋土	深鉢	口:刺突	—	—	4	I
170	387	RA06	東半埋土上位	深鉢	口:沈線(半竹)	—	N	4	I5
170	388	RA06	東半埋土	深鉢	口:沈線	—	N	4	I5
170	389	RA06	東半埋土	深鉢	口:隆帯貼付、RL縦	—	N	4	I5
170	390	RA06	東半埋土	深鉢	胴:沈線(半竹)	○	—	4	I5
170	391	RA06	東半埋土	深鉢	胴:LR横→隆帯 輪積痕	—	N	2	I4
170	392	RA06	東半埋土	深鉢	口唇:刻目、胴:LR横	—	—	1	I
170	393	RA06	東半埋土	深鉢	口:沈線(半竹)、胴:沈線(半竹)	—	N	2	I5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
171	394	RA06	東半埋土	深鉢	口唇:刻目、口:RL縦	-	N	2	I 4
171	395	RA06	南北ベルト埋土	深鉢	口~:LR横→沈線(半竹)	-	M	3	I
171	396	RA06	東半埋土	深鉢	口:原体側圧L	-	N?	4	I 5
171	397	RA06-PP17	埋土	深鉢	口:沈線、頸:隆帯+原体側圧LR	-	N	4	I 5
171	398	RA06-PP17	埋土	深鉢	口:沈線、頸:隆帯+原体側圧LR、胴:LR横	-	N	4	I 5
171	399	RA07	南北ベルト1	深鉢	口:隆帯、頸:沈線(半竹)、胴:LR縦	-	N	2	I 5
171	400	RA07	南北ベルト1	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+貼瘤、口:沈線、LR縦	-	-	2	I 5
171	401	RA07	南北ベルト1	深鉢	口:隆帯(円文)、沈線	-	N	4	I 5
171	402	RA07	南北ベルト1	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線・圧痕、頸:沈線(半竹)	-	N	3	I 5
171	403	RA07	北西埋土上位	深鉢	口:波線(半竹)	-	-	3	I 5
171	404	RA07	北西埋土上位	深鉢	胴:LR横→沈線	-	N	2	I 5
171	405	RA07	北西埋土上位	深鉢	頸:隆帯+刻目、胴:沈線	-	-	4	I
171	406	RA07	北西埋土上位	深鉢	口唇:刻目、口:原体側圧RL・LR	-	M	4	II?
171	407	RA07	北西埋土上位	深鉢	口:原体側圧LR、頸:刻目、胴:RL縦	-	M	3	II?
171	408	RA07	北西埋土上位	深鉢	胴:沈線(半竹)	-	M	4	I
171	409	RA07	北東埋土上位	深鉢	口:隆帯(肥厚)、刺突	-	N	4	I?
171	410	RA07	北東埋土上位	深鉢	底:文様なし 輪積	○	N	4	I
171	411	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:短沈線、口:沈線(半竹)	-	-	4	I 5
171	412	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+LR横、胴:LR縦	-	-	4	I
171	413	RA07	北東埋土上位	深鉢	口:沈線・刻目、胴:単軸絡1, r縦	-	N	4	I 4
172	414	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯、口:刺突、隆帯+刻目、胴:LR縦?	-	-	4	I 5
172	415	RA07	北東埋土上位	深鉢	口:隆帯(肥厚)+貼瘤、頸:沈線(半竹)、胴:RL縦?	-	N	2	I 5
172	416	RA07	北東埋土上位	深鉢	口:隆帯、胴:RL横	-	N?	3	I 4
172	417	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+沈線、口:沈線(半竹)/絡条圧?	-	M	2	I 5
172	418	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:刻目、口:沈線(半竹)	-	N	4	I 5
172	419	RA07	北西埋土上位	深鉢	口:隆帯(肥厚)刺突・沈線、頸:沈線	-	-	4	I
172	420	RA07	南東埋土上位	深鉢	底:文様なし 輪積痕	-	-	2	I
172	421	RA07	南東埋土上位	深鉢	胴:単軸絡1, L縦	-	N	2	I 4
172	422	RA07	南東埋土上位	深鉢	口:圧痕、沈線(半竹)、頸:沈線	-	N	4	I 5
172	423	RA07	南東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+LR横→圧痕、胴:LR斜・縦	-	N	3	I 4
172	424	RA07	南東埋土上位	深鉢	口:隆帯、沈線(半竹)	-	N	2	I 5
172	425	RA07	南東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯+刻目	-	-	3	I 4
172	426	RA07	南東埋土上位	深鉢	口:隆帯(肥厚)、沈線・圧痕	-	N	3	I 5
172	427	RA07	南東埋土上位	深鉢	口:圧痕・沈線	-	M	4	I 5
172	428	RA07	南東埋土上位	深鉢	口:隆帯(肥厚)+刻目、胴:LR斜	-	M	4	I 5
172	429	RA07	北西埋土	深鉢	口:隆帯貼付+原体側圧LR、頸:沈線(半竹)	-	N	4	I 5
172	430	RA07	北西埋土下位	深鉢	口:沈線(半竹)+貼瘤2、胴:L縦	-	M	3	I 4
172	431	RA07	北西埋土下位	深鉢	口:単軸絡1 A, 2縦	-	N	3	I 4
172	432	RA07	北西埋土下位	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刻目	-	-	2	I 4
172	433	RA07	北東埋土上位	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)、口:沈線(半竹)	-	-	4	I 5
172	434	RA07	北東埋土下位	深鉢	口唇:貼瘤	-	M	3	I 4
172	435	RA07	南西埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:原体側圧L?	-	N	3	I 4
172	436	RA07	南西埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+原体側圧、胴:結束1 RL・LR縦	-	-	4	II?
173	437	RA07	南西埋土	深鉢	口:沈線(半竹)、胴:RL縦?	-	N	4	I 5
173	438	RA07	南西埋土	深鉢	口唇:肥厚、頸:沈線	-	N	4	I 5
173	439	RA07	南西埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:沈線(半竹)	-	N	3	I 5
173	440	RA07	南西埋土	深鉢	口唇:隆帯+短沈線、胴:LR斜	-	M	2	I 5
173	441	RA07	南西埋土	深鉢	口:擦り戻し? RR→補修孔	○	M	2	I
173	442	RA07	東側埋土	深鉢	口唇:刻目、口:RL横、結節r横	-	N	2	I
173	443	RA07	南西埋土	深鉢	頸:隆帯+刺突	-	M	2	I
173	444	RA07	南西埋土	深鉢	口:刺突	-	M	2	I
173	445	RA07	床直:No.12	深鉢	口:圧痕・沈線(半竹)、胴:単軸絡1, L縦	-	N	4	I 5
173	446	RA07	床直:No.2	深鉢	底:文様不明、輪積痕	-	N	3	I
173	447	RA07	床直:No.8	深鉢	口:原体側圧RL、胴:RL縦?	-	-	4	II?
173	448	RA07	床直上埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+刺突	-	-	2	I 5

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
173	449	RA07-PP2	南側埋土	深鉢	口：圧痕・沈線(半竹)	—	N	4	I 5
173	450	RA07-PP28	北半埋土	深鉢	口：隆帯貼付、結束1 RL・RL 縦	—	N	2	I 5
173	451	RA08	東西ベルト1	深鉢	口：沈線?	—	—	4	I
173	452	RA08	東西 B1	深鉢	口唇：隆帯貼付	—	N	3	I 5
174	453	RA08	南西埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)、胴：単軸絡1, LR 縦	—	N	4	I 5
174	454	RA08	南側埋土上位	深鉢	胴：単軸絡1 A, L 縦	—	—	4	I
174	455	RA08	南東埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)、刺突	—	—	4	I 5
174	456	RA08	南側埋土上位	深鉢	口：単軸絡5, 縦、頸：隆帯+圧痕	—	N?	4	I 4
174	457	RA08	南西埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)、頸：隆帯+刻目、貼瘤	—	—	4	I 5
174	458	RA08	南西埋土上位	深鉢	口唇・突起：刺突、口：単軸絡1 A, RL 縦	—	N?	4	I 4
174	459	RA08	南西埋土下位	深鉢	口：貼瘤・沈線	—	N?	4	I 5
174	460	RA08	南西埋土下位	深鉢	胴：沈線(半竹)	—	—	4	I 5
174	461	RA08	南西埋土下位	深鉢	胴：多軸絡(?)、縦、輪積痕	—	N	4	I
174	462	RA08	南西埋土下位	深鉢	口：無文、頸：隆帯+圧痕	—	—	4	I 4
174	463	RA08	南西埋土下位	深鉢	底：簾状圧痕→ミガキ 輪積	—	N	3	I 5
174	464	RA08	北東埋土	深鉢	口：LR 横→沈線(円文)、頸：沈線	—	M	3	I 5
174	465	RA08	北東埋土	深鉢	口：LR 横、頸：沈線	—	M	2	I 5
174	466	RA08	南半埋土	深鉢	口：沈線	—	N	2	I
174	467	RA08	北東埋土	深鉢	胴：単軸絡1 A, RL 縦	—	—	3	I 4
174	468	RA08	北西埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)、沈線(半竹)、頸：沈線	—	M	4	I 5
174	469	RA08	南東埋土	深鉢	口：沈線	—	—	2	I 5
174	470	RA08-PP4	北側埋土	深鉢	胴：LR 縦→沈線(半竹)、貼瘤	—	N	4	I 5
175	471	RA09	東西ベルト1	深鉢	口：沈線(半竹)、刻目	—	M	3	I 5
175	472	RA09	東西ベルト1	深鉢	頸：沈線・刻目	—	—	2	I 5
175	473	RA09	東西ベルト1	深鉢	突起：刻目、貫通孔	—	—	3	I 5
175	474	RA09	東西ベルト2	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刺突、胴：単軸絡1, R 縦	—	N	4	I 5
175	475	RA09	南半埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)・RL 横?	—	—	4	I
175	476	RA09	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯(肥厚)+短沈線、沈線	—	—	4	I 5
175	477	RA09	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯(肥厚)、貼瘤、沈線、刻目	—	N	2	I 5
175	478	RA09	南半埋土上位	深鉢	口：無文、頸：沈線(半竹)	—	—	2	I
175	479	RA09	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯、頸：隆帯+刻目、刺突、貼瘤	○	M	3	I 5
175	480	RA09	埋土下位	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刺突、頸：沈線、胴：結束1 RL・LR 横	—	—	4	I 5
175	481	RA09	埋土下位	深鉢	口：沈線(半竹)、単軸絡1 A、R 縦	—	N	2	I 5
175	482	RA09	南半埋土下位	深鉢	口：無文、頸：隆帯	—	N?	3	I
175	483	RA09	南半埋土下位	深鉢	口：単軸絡5、R 横	—	—	2	I 4
175	484	RA09	南半埋土下位	深鉢	口：隆帯+沈線	—	N?	3	I 4
175	485	RA09	南半埋土下位	深鉢	口：圧痕、頸：沈線(半竹)、LR 縦斜?	—	N	4	I 5
175	486	RA09	南半埋土下位	深鉢	口：沈線(半竹)、隆帯+刻目、胴：沈線(半竹) / LR 縦	—	M	2	I 5
175	487	RA09	西半埋土	深鉢	口：原体側圧 LR、胴：LR 縦	○	—	4	II?
175	488	RA09	南半埋土	深鉢	口：単軸絡1 A, L 縦	—	N?	3	I 4?
175	489	RA09	北半埋土	深鉢	口：沈線(半竹)、頸：沈線	—	—	3	I 5
175	490	RA09	南半埋土	深鉢	口：隆帯・沈線	—	N	2	I 5
176	491	RA09	南半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：LR 斜	—	N	2	I 5
176	492	RA09	南半埋土	深鉢	口：沈線、頸：隆帯+刻目	○	N	4	I 5
176	493	RA09	南半埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)+原体側圧 RL・RL 横、胴：RL 縦	—	M	3	II?
176	494	RA09	南半埋土	深鉢	口：沈線	—	M	4	II?
176	495	RA09	南半埋土	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N	3	II?
176	496	RA09	南半埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)+原側 RL・LR 頸：沈線(半竹)	—	N	3	I 5
176	497	RA09	南半埋土	深鉢	口：沈線・圧痕	—	N	4	I 5
176	498	RA09	南半埋土	深鉢	口：原体側圧 LR、圧痕	—	M	4	I
176	499	RA09	南半埋土	深鉢	口：沈線(半竹)、頸：隆帯+刻目	—	—	4	I 5
176	500	RA09	南半埋土	深鉢	底：台付?	—	—	4	I
176	501	RA09	南半埋土	深鉢	底面：網代痕	—	—	4	I
176	502	RA09-PP	南半埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)、沈線、頸：沈線(半竹)	—	N?	3	I 5
176	503	RA09-PP4	南半埋土	深鉢	口：貼瘤、沈線、頸：沈線(半竹)	—	N	4	I 5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
176	504	RA10	南北ベルト1	深鉢	胴:LR・RL縦	—	—	4	I
176	505	RA10	東西ベルト1	深鉢	胴:RL横	—	—	4	I
176	506	RA10	東西ベルト1	深鉢	口唇:刻目、隆帯(渦文)	○	M	3	I
176	507	RA10	南東埋土	深鉢	口唇:隆帯、胴:単軸絡1, R縦	—	N	2	I 4
176	508	RA10	南東埋土	深鉢	口唇:LR縦横→隆帯	—	—	4	I 4
176	509	RA10	北東埋土	深鉢	胴:沈線(半竹)	—	N	3	I 5
176	510	RA10	南東埋土	深鉢	口唇:隆帯(山形)、口:LR縦	○	N?	4	I 4
176	511	RA10	北西埋土	深鉢	口唇:刻目、単軸絡1 L、縦→隆帯+刻目	—	N	2	I 4
177	512	RA10	南半埋土	深鉢	口:沈線	—	N	3	I 5
177	513	RA10	南半埋土	深鉢	口:沈線(半竹)縦位	—	N?	3	I
177	514	RA11	南半埋土	深鉢	口唇:刻目、口:沈線(半竹)	—	N?	4	I 5
177	515	RA11	南半埋土	深鉢	口:隆帯(円文?)+刻目	—	M	4	II?
177	516	RA11	南半埋土	深鉢	口唇:刻目、口:沈線(半竹)	—	M	4	I 5
177	517	RA11	南半埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:LR横?、結節L?	—	N	3	I
177	518	RA11	南半埋土	深鉢	口:原体側圧LR/沈線	—	M	2	I
177	519	RA11	南半埋土	深鉢	底:ナデ 輪積痕	—	M	3	I
177	520	RA11	南半埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+絡圧?、胴:単軸絡1?縦	—	N	3	I
177	521	RA11	南半埋土	深鉢	頸:刺突、LR横	—	M?	3	I 5
177	522	RA11	南半埋土	深鉢	口:沈線(半竹)	—	N	2	I 5
177	523	RA11	埋土	深鉢	口:沈線・刺突	—	N	3	I 5
177	524	RA10	埋土	深鉢	口:沈線、頸:刺突	—	N?	4	I 5
177	525	RA11	南半埋土下位	深鉢	口:隆帯(円文)	—	—	3	I 5
177	526	RA11	南半埋土下位	深鉢	口:原体側圧LR、頸:沈線(半竹)	—	N	3	I 5
177	527	RA11	南半埋土下位	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線、頸:沈線(半竹)	—	N	3	I 5
177	528	RA10	南半埋土下位	深鉢	口唇:刻目、口:LR横	—	N	3	I 4
177	529	RA11	南半埋土下位	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+圧痕	—	M	3	I 5
177	530	RA11-PP2	南半埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+原体圧LR、沈線(半竹)	—	N	4	I 5
177	531	RA11	Pot No.01	深鉢	口:隆帯+刻目、沈線、胴:結束1 RL・LR横	—	M	4	I 5
178	532	RA12	ベルト B 1	深鉢	胴:LR縦/結節R縦	—	—	4	I
178	533	RA12	ベルト A 1	深鉢	口唇:沈線(縦位)	—	—	4	I
178	534	RA12	ベルト A 1	深鉢	口:沈線	—	—	2	I
178	535	RA12	ベルト B 1	深鉢	胴:LR縦→隆帯	—	—	3	I 4
178	536	RA12	北半埋土上位	深鉢	胴:多軸絡(?), 縦	—	N?	4	I
178	537	RA12	西半埋土上位	深鉢	口唇:刻目	—	M	2	I 4
178	538	RA12	北半埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡5, R縦	—	N	4	I 4
178	539	RA12	北半埋土	深鉢	頸:単軸絡1 L, 縦?→隆帯+圧痕	—	M	3	I 4
178	540	RA12	北半埋土	深鉢	口:無文帯、胴:RL縦	—	M	2	II 3
178	541	RA12	北半埋土	深鉢	胴:刺突、沈線(半竹)、貼瘤	—	N	3	I 5
178	542	RA12	南半埋土	深鉢	口:沈線(半竹)	○	—	3	I 5
178	543	RA12	西半埋土	深鉢	口唇:刻目、口:刺突/沈線	—	N	3	I 5
178	544	RA12	北半埋土	深鉢	胴:単軸絡5, L縦	○	—	3	I 4
178	545	RA12	北半埋土下位	深鉢	胴:単軸絡1 A, L縦	—	N?	3	I 4
178	546	RA12	南半埋土下位	深鉢	胴:単軸絡1 A, L縦	—	N	3	I 4
178	547	RA12	北半埋土下位	深鉢	口:LR縦	—	N	4	I 4
178	548	RA12	北半埋土下位	深鉢	胴:LR縦	○	N?	3	I 4
178	549	RA13	南西埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)→LR横	—	—	3	I 4
178	550	RA13	南東埋土	深鉢	口唇:圧痕、胴:単軸絡1, r縦	—	—	4	I 4
178	551	RA13	埋土	深鉢	頸:隆帯+刻目	—	N?	2	I
178	552	RA13	埋土下位	深鉢	口:波線(半竹)	—	N	4	I 5
178	553	RA13	埋土下位	深鉢	胴:沈線(半竹)、縦位	○	—	4	I 5
178	554	RA13	埋土下位	深鉢	頸:隆帯+短沈線、沈線(半竹)、LR縦	—	N	3	I 5
179	555	RA13	Pot02	深鉢	頸:沈線・刺突、胴:沈線(縦位)、LR縦・結節縦	—	M	3	I 5
179	556	RA13	Pot03	深鉢	口唇:圧痕、胴:RL・LR横/結節横	—	—	3	I 4
179	557	RA13	Pot05	深鉢	胴:LR横/結節R横	—	—	3	I
179	558	RA13	Pot08	深鉢	口:沈線	—	—	4	I 5

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
179	559	RA14	ベルト A 1	深鉢	口:沈線、胴:単軸絡1, 1縦?	-	N	4	I
179	560	RA14	北西埋土上位	深鉢	口唇:肥厚、口:沈線、刺突	-	M	2	I 5
179	561	RA14	北西埋土上位	深鉢	底:輪積痕	○	-	2	I
179	562	RA14	北西埋土上位	深鉢	胴:	-	-	4	I
179	563	RA14	埋土上位:Pot1	深鉢	口:LR縦→隆帯	-	M	4	I 4
179	564	RA14	北西埋土	深鉢	口唇:隆帯(圧痕)	-	-	4	I
179	565	RA14	埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡5, R縦	-	N	4	I 4
179	566	RA14	南東埋土	深鉢	胴:S字状連鎖沈文	-	-	2	I 2
179	567	RA14	北東埋土下位	深鉢	口:単軸絡1, R縦→沈線	-	N	3	I
179	568	RA14	北東埋土下位	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1, R縦	-	N	4	I 5
179	569	RA15	埋土 2 B	深鉢	口:隆帯+沈線、LR横/結節横	○	-	3	I 4
179	570	RA15	北側埋土	深鉢	口:波線	-	N	3	I
179	571	RA15	埋土	深鉢	口:無文、胴:LR横/結節R横→隆帯	-	N?	2	I 3
179	572	RA15-PP6	埋土	深鉢	口:無文帯/LR横/結節R横→隆帯	-	N?	2	I 3
179	573	RA15	Pot04	深鉢	胴:LR縦/結節横→沈線	-	M	4	I
179	574	RA15	Pot04	深鉢	口唇:刻目、口:LR横	○	-	2	I 4
180	575	RA16	埋土上位	深鉢	胴:異条縄文横	-	N	2	I
180	576	RA16	埋土下位	深鉢	胴:?	-	N	4	I
180	577	RA16	埋土下位	深鉢	口:沈線	-	-	2	I
180	578	RA16	埋土下位	深鉢	口:隆帯+刻目、胴:RL横	-	-	2	I
180	579	RA17	埋土	深鉢	頸:沈(半竹)、胴:LR横	-	-	4	I 5
180	580	RA17-PP1	埋土	深鉢	口:隆帯+短沈、沈線(半竹)、頸:沈線、胴:隆帯+刻目、LR縦	-	-	4	I 5
180	581	RA18	埋土	深鉢	口:沈線・貼瘤+刻目	-	-	4	I 5
180	582	RA18	北東埋土	深鉢	口:隆帯+刻目、沈線	○	-	3	I 5
180	583	RA18-PP1	埋土	深鉢	口:沈線・刻目	-	N	3	I 5
180	584	RA19	北西埋土上位	深鉢	底:圧痕輪積	-	-	3	I
180	585	RA19	北半埋土	深鉢	口:隆帯+刻目、沈線	-	-	3	II?
180	586	RA19	北西埋土	深鉢	口:無文	-	N	3	I
180	587	RA19	北東埋土	深鉢	口:隆帯(突起)、LR斜?	-	N	3	I 5
180	588	RA19	北西埋土	深鉢	口:隆帯(突起)+沈線、胴:LR斜	-	-	4	I 5
180	589	RA19-PP5	埋土	深鉢	口唇:隆帯、口:RL横→隆帯	○	N	2	I 5
180	590	RA20	床直上	深鉢	底:網代痕?	-	-	4	I
180	591	RA21	埋土	深鉢	底:縁に刻目	-	N	2	I
180	592	RA21	埋土	深鉢	口:原体側圧LR	-	M	3	II?
180	593	RA21	埋土	深鉢	口:刻目(半竹)	-	-	3	I?
180	594	RA21	埋土	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節R横	-	-	2	I?
181	595	RA21	埋土	深鉢	口:隆帯/(円文)/沈線(半竹)	-	M	3	II?
181	596	RA21	埋土	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節R横	-	M	3	I
181	597	RA21	埋土	深鉢	口唇:内面:隆帯(巻文)	○	-	4	I 4
181	598	RA21	埋土	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節R横	-	-	3	I
181	599	RA21-PP5	埋土	深鉢	口:原体側圧LR、頸:隆帯+刻目、胴:結節+L縦	-	-	4	II?
181	600	RA22-PP1	埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)、頸:隆帯+刻目	-	M	2	I
181	601	RA23	南北ベルト1	深鉢	胴:沈線(半竹)	-	-	3	I 5
181	602	RA23	埋土1	深鉢	胴:結節1 RL・LR横縦	○	M	4	I 5
181	603	RA23	東西ベルト1	深鉢	口:RL縦→隆帯+圧痕	-	N	3	I 4
181	604	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)、沈線(半竹)	-	-	2	I 5
181	605	RA23	埋土	深鉢	口唇:突起、口:LR縦	○	N	2	I
181	606	RA23	埋土	深鉢	口:	-	N	3	I
181	607	RA23	埋土	深鉢	口:原体側圧LR、胴:単軸絡1, LR縦/LR縦	○	M	4	I
181	608	RA23	埋土	深鉢	口:LR縦	-	N?	3	I
181	609	RA23	埋土	深鉢	口:単軸絡1, L縦	-	-	2	I
181	610	RA23	埋土	深鉢	口:圧痕、沈線(半竹)	-	M	4	I 5
181	611	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線	-	M	3	I 5
182	612	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)、沈線(半竹)	-	-	2	I 5
182	613	RA23	埋土	深鉢	胴:単軸絡1 A, R 2縦→隆帯(円文)+圧痕	○	-	3	I 4

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
182	614	RA23	埋土	深鉢	口:原体側圧LR	—	M	2	I
182	615	RA23	埋土	深鉢	口:単軸絡1A, R2→隆帯+刻目/圧痕	—	N	3	I 4
182	616	RA23	埋土	深鉢	口:単軸絡5, R?縦	—	—	4	I
182	617	RA23	埋土	深鉢	口:原体側圧LR、胴:LR縦	—	M	4	I
182	618	RA23	埋土	深鉢	胴:S字状連鎖沈文	—	—	3	I 2
182	619	RA23	埋土	深鉢	口唇:隆帯(突起)+沈線、口:単軸絡1,R縦	—	—	3	I 4
182	620	RA23	埋土	深鉢	口唇:圧痕、口:沈線(半竹)	—	N?	3	I 5
182	621	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)、胴:LR縦	—	N	3	I 5
182	622	RA23	埋土	深鉢	口唇:刺突、頸:隆帯+刺突	—	—	2	I 4
182	623	RA23	埋土	深鉢	口:結節横	—	N?	2	I
182	624	RA23	埋土	深鉢	口:原体側圧LR	—	N	3	I
182	625	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯・貼瘤(円文)	—	N	3	I 5
182	626	RA23	埋土	深鉢	口:隆帯+刻目、結節ヨコ?	○	—	2	I
182	627	RA23	埋土B	深鉢	口:単軸絡5, R縦	—	—	2	I 4
182	628	RA23	埋土B	深鉢	口唇・口:LR縦→隆帯(波状)、頸:原体側圧LR	—	—	3	I 3
182	629	RA23	埋土南北B	深鉢	口:LR横→隆帯	○	N	2	I
182	630	RA23	埋土B	深鉢	口:LR異条?	—	—	2	I
182	631	RA23	埋土貼床上	深鉢	口:沈線(縦位)	—	N	2	I
182	632	RA23	貼床上	深鉢	底面:網代痕?	—	N?	4	I
183	633	RA23	埋土 貼床上	深鉢	口:LR縦・斜	—	N	3	I
183	634	RA23	Pot.P	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1、L縦	—	N?	4	I 5
183	635	RA23	埋土B	深鉢	口:沈線(縦位)	—	N	2	I
183	636	RA23	Pot.M	深鉢	口:LR縦	—	M	2	I
183	637	RA23	Pot.T	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線(半竹)、胴:LR縦	—	N	4	I 5
183	638	RA23	Pot.T	深鉢	口唇:圧痕、口:沈線(半竹)波平、LR縦	—	N	4	I 5
183	639	RA23	Pot.U	深鉢	胴:LR縦→沈線(半竹)	—	M	3	I 5
183	640	RA23	Pot.N	深鉢	口:RL横	—	N	3	I
183	641	RA23	焼土1内	深鉢	口:隆帯+刻目、S字状連鎖沈文?	—	—	3	I
183	642	RA23	Pot.Q	深鉢	胴:LR縦+沈線	—	M	3	I 5
183	643	RA23-PP3	埋土	深鉢	口唇:刻目?口:単軸絡1A、R2縦	—	—	4	I 5
184	644	RA24	Pot.02 1	深鉢	口唇:圧痕 口:LR横/結節R横→隆帯	—	N	2	I 4
184	645	RA24	Pot.01 1	深鉢	口:LR横・結節横?	—	N	2	I
184	646	RA24	Pot.02 1	深鉢	底:LR横、輪積痕	○	—	2	I
184	647	RA24	埋土1	深鉢	口:LR横、結節R横	○	—	2	I
184	648	RA24	埋土1	深鉢	口:単軸絡1, R縦、補修孔	—	—	3	I
184	649	RA24	埋土1	深鉢	口:	—	—	4	I
184	650	RA24	埋土1	深鉢	口~:LR横→沈線(半竹)	○	M	2	I
184	651	RA24	埋土1	深鉢	口:単軸絡1?L縦	—	—	4	I
184	652	RA24	埋土1	深鉢	口:単軸絡1, RR縦→隆帯+圧痕/刺突	—	N	2	I 4
184	653	RA24	埋土1	深鉢	口:隆帯+刻目、S字状連鎖沈文	—	—	2	I 2
184	654	RA24	埋土1	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1A、R2縦	—	N	2	I 4
184	655	RA24	埋土1	深鉢	口:LR横、結節R横、補修孔	—	—	2	I
184	656	RA24	埋土1	深鉢	口唇:刻目、LR横	○	—	2	I
184	657	RA24	埋土2	深鉢	口:LR横・結節R横?	—	N	2	I
184	658	RA24	埋土2	深鉢	底:輪積	○	—	4	I
184	659	RA26	炉東半埋土	深鉢	口:→無文帯、隆帯+刺突、	—	M	2	II 3?
184	660	RA29	埋土	深鉢	口:絡条体圧痕LR 頸:隆帯+圧痕	—	N	4	II 1?
184	661	RA29	埋土	深鉢	口:単軸絡1, R縦	○	—	3	I
184	662	RA29	埋土	深鉢	胴:RL横→沈線	—	—	4	I
184	663	RA29	内土坑埋土	深鉢	底:単軸絡1, 縦?	○	—	3	I
184	664	RA31-PP2	埋土	深鉢	頸:単軸絡5, LR縦→隆帯+圧痕	○	—	3	I 4
185	665	RD01	南半埋土	深鉢	口:刺突(半竹)/沈線	—	—	2	I
185	666	RD02	埋土	深鉢	胴:LR縦	—	N	4	I
185	667	RD02	北半埋土4	深鉢	胴:S字状連鎖沈文	—	—	2	I 2
185	668	RD02	南半埋土下位	深鉢	胴:R縦/結節L縦	○	N	3	I

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
185	669	RD02	南半埋土下位	深鉢	口：圧痕/沈線	—	N	2	I
185	670	RD03	埋土	深鉢	胴：単軸絡1, R縦	—	N	2	I
185	671	RD04	埋土	深鉢	突起?	○	—	2	I
185	672	RD04	南半埋土	深鉢	口：原体側圧LR、胴：RL横斜	—	N	3	II?
185	673	RD04	南半埋土	深鉢	口：単軸絡5、R縦	—	N?	4	I 4
185	674	RD04	南半埋土	深鉢	口唇：屈曲、口：多軸絡(?)縦	—	—	4	I
185	675	RD04	南半埋土	深鉢	口唇：刻目、口：無文?	—	N	2	I
185	676	RD04	南半埋土	深鉢	口：単軸絡1, L縦	○	—	4	I 4
185	677	RD04	南半埋土	深鉢	口：LR横	○	M	3	I
185	678	RD04	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡1、R斜	—	N	3	I
185	679	RD04	南半埋土	深鉢	口～：沈線(半竹)、縦位	○	N	4	I
185	680	RD04	床直：Potg	深鉢	口唇：隆帯(肥厚)+刺突、口：LR縦	—	M	2	I 5
185	681	RD04	床直：Potg	深鉢	口：沈線	—	N?	4	I 5
185	682	RD04	床直：Potj	深鉢	口：隆帯	—	M	1	I 5
185	683	RD04	床直：Potg	深鉢	口：無文?	—	N?	4	I
185	684	RD04	床直：PotL	深鉢	口：隆帯(肥厚)	—	N	4	I 5
185	685	RD05	南半埋土	深鉢	口：単軸絡5、R縦	—	N	3	I 4
185	686	RD05	南半埋土	深鉢	口：沈線	○	N	2	I 5
186	687	RD06	南半埋土	深鉢	頸：隆帯+原体側圧LR	—	N	3	I 4
186	688	RD06	南半埋土	深鉢	口：単軸絡1、L縦	—	N?	3	I
186	689	RD06	南半埋土：Potl	深鉢	口：沈線	—	M	3	I 5
186	690	RD06	北半埋土5	深鉢	口：隆帯(肥厚)+原体側圧LR、胴：LR縦	○	N?	3	I
186	691	RD06	北半埋土5	深鉢	口唇：刻目、口：沈線	○	M	3	I 5
186	692	RD06	北半埋土5	深鉢	口：貼瘤、刺突(円形)	—	N?	2	I
186	693	RD06	北半埋土5	深鉢	口：沈線	—	—	3	I 5
186	694	RD06-PP3	埋土	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N	3	I 5
186	695	RD08	東半埋土	深鉢	口唇：突起、口、沈線/刻目	—	—	2	II 1
186	696	RD08	南半埋土	深鉢	口：沈線、胴：単軸絡1, L縦	—	N	2	I 5
186	697	RD08	東半埋土	深鉢	口：沈線	—	N	2	I 5
186	698	RD09	南半埋土	深鉢	頸：隆帯+刻目	—	N	3	I 4
186	699	RD09	南半埋土	深鉢	口：圧痕/沈線	—	N	2	I 5
186	700	RD09	南半埋土	深鉢	口：単軸絡1、R縦	—	N?	3	I 5
186	701	RD09	北半埋土	深鉢	口：沈線/刺突	—	M	3	I 5
186	702	RD09	北半埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)+圧痕/沈線、胴：LR縦	—	N?	4	I 5
186	703	RD09	北半埋土	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刺突	—	—	4	I 5
186	704	RD09	北半埋土	深鉢	口：刺突	—	—	3	I 5
186	705	RD09	北半埋土	深鉢	口：LR横→隆帯+圧痕	—	N?	3	I 4
186	706	RD09	北半埋土	深鉢	口：隆帯、沈線/刻目、	—	N?	3	I 5
186	707	RD09	埋土	深鉢	口：沈線(半竹)/刻目/刺突	—	M	2	I 5
186	708	RD09	北半埋土4	深鉢	口：隆帯+刻目、沈線	—	N	3	I 5
186	709	RD09-PP6	北半埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：RL横?、L結節横	○	N	2	I 5
187	710	RD10	西半埋土	深鉢	胴：単軸絡1 A, L 2縦	—	M	3	I
187	711	RD10	西半埋土	深鉢	胴：単軸絡1 A, L 2縦	—	N	4	I
187	712	RD10	西半埋土上位	深鉢	胴：LR縦	—	—	4	I
187	713	RD10	西半埋土	深鉢	口：沈線(半竹)平	—	M	2	I 5
187	714	RD11	西半埋土2	深鉢	胴：沈線(半竹)	○	N	4	I 5
187	715	RD11	西半埋土2	深鉢	口唇：刻目、口：沈線(半竹)	—	M	4	I 5
187	716	RD11	西半埋土2	深鉢	口：隆帯、沈線	—	M	4	I 5
187	717	RD11	西半埋土2	深鉢	胴：LR縦→沈線(半竹)	—	N	3	I 5
187	718	RD11	西半埋土2	深鉢	口唇：圧痕、口：撚り戻しRR?縦	○	N	3	I 5
187	719	RD11	西半埋土上位	深鉢	口：無文、頸：隆帯+圧痕、胴：RL横	—	M	3	I 4
187	720	RD11	西半埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N?	3	I 5
187	721	RD11	西半埋土上位	深鉢	胴：結束1 RL・LR縦?	—	N?	3	I
187	722	RD11	埋土下位	深鉢	口：沈線	—	N	4	II?
187	723	RD11-PP5	埋土	深鉢	胴：単軸絡5, R縦、輪襷痕	○	—	2	I

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
187	724	RD11-PP4	埋土	深鉢	底 輪積痕	○	N	4	I
187	725	RD12	南半埋土	深鉢	口：圧痕、沈線(半竹)	—	M	2	I 5
187	726	RD12	南半埋土2	深鉢	口：ナデ? 調整痕	—	N	2	I 5
187	727	RD12	北半埋土2	深鉢	口：原体側圧LR	—	N	4	III?
187	728	RD12	北半埋土2	深鉢	口：RL横、結節L横	—	N	3	I
187	729	RD12	南半埋土2	深鉢	胴：沈線(半竹)	—	N?	2	I
187	730	RD12	南半埋土2	深鉢	底：	○	N	2	I
187	731	RD14	埋土	深鉢	口：単軸絡1, L縦	—	—	4	I
187	732	RD15	北半埋土	深鉢	口：LR横/結節R横	—	N?	4	I
187	733	RD15	北半埋土	深鉢	胴：単軸絡1A, RL横	—	N	2	I
187	734	RD15	北半埋土	深鉢	胴：RL横?→隆帯	—	—	4	I
188	735	RD16	北半埋土1	深鉢	口：単軸絡1, R縦	—	N	4	I
188	736	RD16	北半埋土1	深鉢	口唇：圧痕(両側)	—	N	2	I 4
188	737	RD16	北半埋土1	深鉢	口：隆帯	—	N	2	I 4
188	738	RD16	北半埋土1	深鉢	口：沈線/単軸絡5, R縦	—	—	4	I 4
188	739	RD16	南半埋土	深鉢	口：隆帯+圧痕、胴：単軸絡1, L縦	—	N	3	I 4
188	740	RD16	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡1、L→沈線	—	N	3	I 4
188	741	RD16	南半埋土	深鉢	口唇：貼付+刻目、口：RL横	—	N	4	I 4
188	742	RD16	西半埋土	深鉢	口：隆帯(突起)+刻目、胴：沈線(半竹)	—	—	2	I 4
188	743	RD16	南半埋土	深鉢	口：単軸絡1A, R縦、頸：隆帯+圧痕	—	N	4	I 4
188	744	RD16	南半埋土	深鉢	口：単軸絡5, R縦	—	N	2	I 4
188	745	RD16	南半埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：単軸絡1, L縦	—	N	2	I 4
188	746	RD17	南半埋土	深鉢	口：刺突	—	M	2	I 4
188	747	RD17	南半埋土	深鉢	口：沈線	—	—	2	I 5
188	748	RD17	埋土	深鉢	口唇：隆帯(肥厚)+刺突、口：単軸絡1, R縦。	—	—	3	I 4
188	749	RD18	北半埋土1	深鉢	胴：単軸絡5, R縦。	—	—	3	I 4
188	750	RD18	北半埋土1	深鉢	胴：LR縦、結節R横。	—	—	2	I
188	751	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯(肥厚)+沈線(波状)	—	—	3	I 5
188	752	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：隆帯(肥厚)、沈線(半竹)	—	N?	3	I 5
188	753	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線	—	M	3	I 5
188	754	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線	—	N	3	II 1
189	755	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：結束1, RL・LR/結節R縦	—	N	4	I
189	756	RD19	南半埋土	深鉢	口：沈線、頸：刺突、胴：結束1, RL・LR/結節R縦、輪積痕	—	M	2	II 1
189	757	RD19	南半埋土上位	深鉢	胴：沈線	—	—	2	I
189	758	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線(半竹)、頸：隆帯+刻目、胴：沈線	—	M	3	I 5
189	759	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線+貼瘤、頸：沈線(半竹)/刻目、胴：沈線	—	N	3	I 5
189	760	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線、短沈線、隆帯(円文)+刻目	—	M	4	II 1
189	761	RD19	南半埋土上位	深鉢	胴：沈線(半竹)	—	M	3	I 5
189	762	RD19	南半埋土上位	深鉢	頸：沈線、結節?	○	N	2	I
189	763	RD19	南半埋土上位	深鉢	口：沈線	—	M	4	I 5
189	764	RD19	南半埋土下位	深鉢	口唇：隆帯(肥厚)+貼瘤、頸：沈線	—	N	4	I 5
189	765	RD22	南半埋土	深鉢	口：沈線	—	N	3	I 4
189	766	RD22	南半埋土	深鉢	口：無文?	—	—	3	I
189	767	RD23	北半埋土	深鉢	胴：多軸絡(?), R縦?	—	N	4	I
189	768	RD23	北半埋土	深鉢	胴：RL横?	—	N	3	I
189	769	RD23	北半埋土	深鉢	底：	—	—	4	I
189	770	RD24	西半埋土	深鉢	口唇：圧痕	—	—	3	I
189	771	RD25	南半埋土	深鉢	口：隆帯+圧痕	—	M	3	I
189	772	RD27	北半埋土1	深鉢	胴：RL横/結節横?	○	—	3	I
190	773	RD28	埋土	深鉢	胴：RL斜	—	—	3	I
190	774	RD29	南半埋土	深鉢	胴：単軸絡1, LR縦	—	N	3	I
190	775	RD29	南半埋土	深鉢	単軸絡1, LR縦	—	—	4	I
190	776	RD30	北半埋土1	深鉢	口唇：刻目、口：原体側圧LR	○	N?	2	I
190	777	RD30	北半埋土1	深鉢	口：単軸絡1, R縦	—	—	2	I
190	778	RD30	北半埋土3	深鉢	口唇：刻目、口：沈線	—	—	3	I

図版 No	No	出土地点	層 位	器 種	文様 (原体) の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
190	779	RD30	北半埋土 3	深鉢	口唇: 隆帯、RL 横	—	—	3	I
190	780	RD30	北半埋土	深鉢	口: 沈線 (半竹)、頸: 沈線	—	M	3	I 5
190	781	RD30	南半埋土	深鉢	口: 隆帯 (肥厚) + 圧痕 / 沈線 (半竹)	—	N	3	I 5
190	782	RD30	北半埋土	深鉢	口: 隆帯 + 原体側圧 LR / RL 横・縦	—	N?	4	I
190	783	RD30	北半埋土	深鉢	口: 沈線	—	N	3	I
190	784	RD30	北半埋土	深鉢	口: 沈線 (半竹)	—	N	4	I 5
190	785	RD30	北半埋土	深鉢	口: 沈線 (半竹)	—	M?	4	I 5
190	786	RD30	南半埋土落込み	深鉢	頸: 隆帯 + 圧痕	—	—	4	I 5
190	787	RD31	北西埋土 1	深鉢	胴: S 字状連鎖沈文	○	—	2	I 2
190	788	RD32	埋土中央 Pot	深鉢	口: 隆帯 (肥厚)、胴: LR 縦、結節 R 縦。	—	N	4	I 5
190	789	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	口: 隆帯、口: 単軸絡 1 L, 縦?	—	—	4	I 4
190	790	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	胴: 多軸絡 (?), R 縦	—	—	4	I
190	791	RD32	北半埋土 Pot	深鉢	胴: LR 縦	○	—	4	I
190	792	RD33	南半埋土	深鉢	口: 無文?	○	N	2	I
190	793	RD33	東半埋土	深鉢	口: 沈線 (半竹)	—	—	4	I 5
190	794	RD34	南半埋土 1	深鉢	口: 原体側圧 LR	—	M	2	I
190	795	RD34	南半埋土 1	深鉢	口: 単軸絡 1 A, R 縦	—	N	4	I 4
190	796	RD34	南半埋土 1	深鉢	口: 隆帯、胴: RL 横?	—	N?	2	I 4
190	797	RD34	南半埋土 1	深鉢	口: 隆帯 (突起)、胴: RL 横	—	N	4	I 5
190	798	RD34	南半埋土 1	深鉢	口唇: 刻目、口: 沈線 (半竹)	—	M	2	I 5
190	799	RD34	南半埋土	深鉢	頸: 隆帯 + 圧痕、胴: 単軸絡 1 A, L 2 縦	—	—	4	I 4
191	800	RD35	埋土焼土上位	深鉢	口: 単軸絡 5, R 縦	—	—	2	I
191	801	RD35	北半埋土	深鉢	口: 刺突	—	—	2	I
191	802	RD35	南半埋土	深鉢		—	—	4	I
191	803	RD35	北半埋土	深鉢	口: 単軸絡 5, R 縦	—	N	3	I
191	804	RD35	北半埋土	深鉢	口: 沈線 / 刺突	○	—	2	I 5
191	805	RD35	南半埋土下位	深鉢	口: RL 横	—	M	2	I
191	806	RD35	南半埋土 6	深鉢?	突起?	—	—	2	I
191	807	RD36	南半埋土	深鉢	胴: 結束 1, RL・LR 縦	—	—	2	I
191	808	RD36	南半埋土	深鉢	胴: 結束 1, RL・LR 横	○	—	2	I
191	809	RD36	南半埋土	深鉢	底: 沈線、輪積	○	—	2	I
191	810	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口: 隆帯 + 圧痕 / 沈線 (半竹)	—	M	3	I 4
191	811	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口唇: 刺突、口: 沈線 (半竹)	—	—	4	I 5
191	812	RD37	埋土上位ベルト 1	深鉢	口: 刺突	—	—	4	I 5
191	813	RD37	埋土ベルト下位	深鉢	口: 沈線	—	—	4	I 5
191	814	RD37	埋土上位	深鉢	口: LR 縦斜	—	N	2	I
191	815	RD37	北半埋土	深鉢	胴: 沈線 (半竹)	○	—	3	I
191	816	RD37	南半埋土	深鉢	頸: 隆帯 + 短沈線、口: 沈線 (半竹)、胴: 単軸絡 1, R 縦	—	N	3	I 5
191	817	RD37	南半埋土	深鉢	胴: RL 縦 → 沈線	—	—	3	I 5
191	818	RD37	南半埋土	深鉢	頸: 隆帯 + 刻目、/ 沈線 (半竹)	—	N	3	I 5
191	819	RD37	南半埋土	深鉢	胴: 沈線 (半竹) 縦位	—	N	3	I
191	820	RD37	南半埋土	深鉢	口: 刻目	—	M	3	I
192	821	RD37	南半埋土	深鉢	口: 単軸絡 1, L 縦	—	N	4	I
192	822	RD37	南半埋土	深鉢	胴: 沈線 / RL 横	—	M	3	I
192	823	RD37	南半埋土	深鉢	胴: 単軸絡 1 A, L 2 縦	○	—	4	I
192	824	RD38	東側埋土	深鉢	胴: 多軸絡 (?), R 縦	—	N	3	I
192	825	RD38	東側埋土	深鉢	胴: 単軸絡 1 A, R・L 縦	—	N	2	I
192	826	RD39	北半埋土	深鉢	胴: 単軸絡 5, R 縦	○	—	4	I
192	827	RD39	南半埋土	深鉢	胴: RL・R 横	—	—	4	I
192	828	RD40	北半埋土 1	深鉢	口: LR 横、沈線	—	—	4	I 4
192	829	RD40	南半埋土	深鉢	胴: オオバコ回転文	○	—	3	I
192	830	RD41	埋土	深鉢	胴: RL 縦	—	M	3	I
192	831	RD41	埋土	深鉢	胴: S 字状連鎖沈文	—	—	3	I 2
192	832	RD42	埋土	深鉢	口: RL 横	—	—	3	I
192	833	RD42	南半埋土	深鉢	口: RL 横	—	N?	4	I

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
192	834	RD42	北半埋土1	深鉢	口:単軸絡1, R縦	○	N	2	I
192	835	RD43	南半埋土	深鉢	胴:単軸絡1, L縦	○	-	3	I
192	836	RD43	南側埋土	深鉢	胴:LR横?	-	-	4	I
192	837	RD44	西半埋土	深鉢	口:単軸絡1, R縦	-	N	4	I
192	838	RD44	北半埋土	深鉢	胴:LR横/結節横	-	N	4	I
192	839	RD45	東半埋土 Pot	深鉢	口:隆帯/刺突	-	M	2	II
192	840	RD46	南半埋土	深鉢	口:沈線(半竹)波平	-	-	3	I
192	841	RD46	北半埋土	深鉢	口:隆帯(肥厚)+圧痕、沈線(半竹)	-	N	3	I 5
192	842	RD47	埋土	深鉢	胴:LR縦	-	-	3	I
192	843	RD50	南半埋土	深鉢	胴:LR横	-	M	3	I
192	844	RD50	南半埋土	深鉢	口:	-	N	3	I
192	845	RD51	西半埋土1	深鉢	胴:単軸絡1 A, R 2縦	-	-	4	I
192	846	RD51	北半埋土1	深鉢	胴:沈線	○	N	4	I
192	847	RD51	北半埋土1	深鉢	胴:LR横	○	-	1	I
192	848	RD51	南埋土1	深鉢	口:LR縦、結節縦	-	-	2	I
192	849	RD51	南埋土1	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1, L縦→隆帯+圧痕	-	N	4	I 4
192	850	RD51	南半埋土1	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡5, 縦?	-	N	2	I 4
192	851	RD51	南埋土1	深鉢	胴:?	○	-	2	I 4
192	852	RD52	南半埋土	深鉢	胴:LR横、結節横	○	-	4	I
193	853	RF01	南半焼土	深鉢	口:無文?	○	M	3	I
193	854	RF01	北半焼土	深鉢	口唇:圧痕、口:沈線(縦位)	-	-	2	I
193	855	RF01	北半焼土	深鉢	口:隆帯	-	M	4	I
193	856	RF04	焼土	深鉢	口:隆帯(肥厚)、刺突	-	N?	4	I 5
193	857	RF04	焼土上位	深鉢	胴:単軸絡1, R縦?	-	N	3	I
193	858	RF04	焼土	深鉢	口:組紐	-	-	4	I
193	859	RZ02	埋設土器	深鉢	胴:結節R縦	○	N	3	I
193	860	RZ03	埋設土器	深鉢	口唇:刻目、口:単軸絡1, L縦	○	N	2	I 4
193	861	RZ03	埋設土器	深鉢	口:沈線(半竹)	○	-	3	I
193	862	RZ04	埋設土器	深鉢	口:隆帯/沈線	○	M	2	II 1
193	863	RZ05	埋設土器	深鉢	口唇:圧痕、口:LR縦	○	N	2	I
193	864	RZ05	埋設土器	深鉢	胴:単軸絡1, R縦	-	N?	2	I
193	865	RZ05	埋設土器	深鉢	口:沈線(半竹)	-	-	2	I
193	866	RZ07	埋設土器	深鉢	口:隆帯、胴:RL横→隆帯	○	M	2	I 5
193	867	RZ09	埋設土器	深鉢	底:	○	-	4	I
193	868	RZ10	埋設土器	深鉢	口:沈線、刺突	-	N?	4	I 5
193	869	RZ10	埋設土器	深鉢	口:隆帯、円文	-	-	4	I 5
193	870	RZ11	埋設土器	深鉢	底:網代痕→ミガキ	-	N?	3	I
193	871	B III m14-PP2	埋土	深鉢	頸:隆帯+圧痕、胴:多軸絡(?), R縦	-	N?	3	I
193	872	B III m15-PP1	埋土	深鉢	口:沈線	○	-	2	I
193	873	B IV q22-PP2	埋土	深鉢	口:沈線	-	-	4	I
193	874	B IV r23-PP4	埋土	深鉢	口:沈線	-	M	2	I
194	875	B III t23	I b	深鉢	口唇:刺突・沈線、口:単軸絡5, R縦→隆帯+沈線/刺突	○	-	2	I 4
194	876	B III t23	I c	深鉢	口唇:刻目、口:沈線(半竹)	-	M	3	I 5
194	877	B III t23	I	深鉢	口:単軸絡5, R縦	-	-	2	I 4
194	878	B III t23	II	深鉢	口唇:刻目、口:単軸絡1, R縦	○	N	2	I 4
194	879	B III t23	I d	深鉢	口:刻目/LR横	-	N?	3	I
194	880	B III t23	II	深鉢	口:LR縦	-	N	4	I
194	881	B III t23	II	深鉢	口:LR縦	-	N	2	I
194	882	B III u22	I d-10cm	深鉢	口:沈線	-	N	2	I
194	883	B III u23	I d-20cm	深鉢	口~:沈線(半竹)(縦位)	○	-	3	I
194	884	B III u23	I d-20cm	深鉢	口:刻目、頸:沈線(半竹)	-	M	3	I 5
194	885	B III u23	I d-20cm	深鉢	口:沈線	-	-	4	I 5
194	886	B III u23	I d-20cm	深鉢	口:沈線、刺突	-	-	2	I 5
194	887	B III u23	II a	深鉢	口:L縦	-	M	2	I
194	888	B III u24	I d-10cm	深鉢	口:沈線(半竹)	-	N	3	I

図版 No.	No.	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
194	889	B III u24	I d-10cm	深鉢	口：隆帯・沈線	—	N	4	I 5
194	890	B III u24	I d-10cm	深鉢	口：原体側圧LR、胴：LR斜横	○	N	3	II?
194	891	B III u24	I d-10cm No.03	深鉢	口：隆帯(肥厚)+圧痕、胴：結束1, LR・LR縦	—	M	3	I 5
194	892	B III u24	I d-10cm No.06	深鉢	口：隆帯(肥厚)	○	—	4	I
194	893	B III u24	I d-10cm No.03	深鉢	口：沈線(半竹)	—	—	4	I
194	894	B III u25	I d-20cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刻目、LR横	—	N	4	I 5
194	895	B III u25	I d-20cm	深鉢	口：沈線	○	—	3	I
195	896	B III u25	I d-20cm	深鉢	口：結束1, RL・RL縦	○	—	3	I
195	897	B III w25	II	深鉢	口：隆帯/沈線/刻目	—	N	3	I 5
195	898	B III w25	I d-10cm	深鉢	口：?	—	N?	4	I
195	899	B IV u02	I d-20cm	深鉢	口唇：刻目、頸：隆帯+刻目、胴：LR縦?	○	N	4	I 4
195	900	B IV u02	I d-20cm	深鉢	口：沈線	—	N	3	I 5
195	901	B IV u02	I d-20cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)+沈線・圧痕、胴：LR縦	—	M	3	I 5
195	902	B IV u02	I d-30cm	深鉢	口：沈線	—	—	3	I
195	903	B IV u02	I d-30cm	深鉢	口：隆帯+刺突/沈線、頸：隆帯+刺突	—	N	4	I 5
195	904	B IV u02	I d-30cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刺突/沈線	—	N	3	I 5
195	905	B IV u02	I d-30cm	深鉢	口：沈線	—	N	3	I 5
195	906	B IV u02	I d-30cm	深鉢	胴：沈線(半竹)	—	N	3	I 5
195	907	B IV u02	I d-30cm	深鉢	胴：RL縦→沈線(山形)	—	—	3	I 4
195	908	B IV u02	I d-30cm	深鉢	底：圧痕?輪積	—	M	3	I
195	909	B IV u02	I d	深鉢	口：LR斜	—	N	2	I
195	910	B IV u02	I d	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N	4	I 5
195	911	B IV u02	I d	深鉢	口：?縦、結節縦	○	N	4	I 4
195	912	B IV u02	I d	深鉢	口唇：刻目、口：単軸絡1, L縦→沈線	○	—	3	I
195	913	B IV u11	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1, R縦	—	—	4	I
195	914	B IV u11	I d-10cm	深鉢	口：LR横?	○	—	2	I
195	915	B IV u11	I d-10cm	深鉢	口唇：刻目、口：隆帯+刺突	—	—	2	I
195	916	B IV u11	I d-10cm	深鉢	口：隆帯・沈線	—	M	3	I 5
195	917	B IV v01	I c	深鉢	口：沈線/圧痕	○	—	3	I 5
196	918	B IV v01	I d-20cm	深鉢	口：隆帯+刻目、胴：LR横・結節横	○	N	4	I
196	919	B IV v01	I d-20cm	深鉢	口唇：波状、口：沈線(縦位)	○	—	4	I
196	920	B IV v01	I	深鉢	口：RL斜横・結節横	—	N	4	I
196	921	B IV v01	I	深鉢	口：沈線	—	—	4	I 5
196	922	B IV v01	I	深鉢	口：隆帯(肥厚)+沈線/刺突、胴：単軸絡1, R縦	—	M	2	I 5
196	923	B IV v01	I	深鉢	口：隆帯(肥厚)+沈線	—	—	3	I 5
196	924	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口唇：波状、口：単軸絡5, R縦	—	—	2	I 5
196	925	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：RL横?→隆帯(波状)	—	N	2	I 5
196	926	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)・沈線	—	—	2	I 5
196	927	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：隆帯(円状)	—	N	3	I 4
196	928	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡1, L縦	—	N	4	I
196	929	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：隆帯/沈線(半竹)	—	N	2	I 5
196	930	B IV v02	I d-10cm	深鉢	胴：単軸絡1, LR縦→沈線/隆帯	○	—	2	I 4
196	931	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：結束1, RL・LR縦	—	—	4	I 4
196	932	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口唇：突起(波状)、口：単軸絡1, 縦	—	—	4	I 4
196	933	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：RL横→隆帯	—	—	4	I 4
196	934	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口唇：突起(波状)+沈線	—	—	2	I 4
196	935	B IV v02	I d-10cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)+沈線	—	—	4	I 5
196	936	B IV v02	ベルト I d-20cm	深鉢	口：単軸絡1, R縦	○	—	2	I
196	937	B IV v02	ベルト I d-20cm	深鉢	口~：沈線(半竹)	—	N	4	I 5
196	938	B IV v02	I d-20cm	深鉢	口唇：刻目、口：刺突	○	—	3	I
196	939	B IV v02	ベルト I d-20cm	深鉢	胴：沈線(半竹)	—	—	4	I
196	940	B IV v02	I d-30cm	深鉢	口：隆帯	—	M	3	I 5
196	941	B IV v02	II a	深鉢	口唇：隆帯、口：圧痕/隆帯、頸：隆帯+圧痕/沈線	—	N	4	I 5
197	942	B IV v02	II a	深鉢	口唇：刻目、胴：LR縦	—	—	4	I 5?
197	943	B IV v02	II a	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刺突	—	—	4	I 5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
197	944	B IV v03	I d-10cm	深鉢	口：隆帯	—	N	2	I 5
197	945	B IV v03	I d-10cm	深鉢	口：沈線(半竹)	—	M?	2	I 5
197	946	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口唇：刻目、口：沈線(半竹)	—	M	2	I 5
197	947	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口唇：刻目(頂部に)、口：単軸絡5, R 縦	—	—	2	I 4
197	948	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口唇：隆帯	—	N	4	I 5
197	949	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)+圧痕/沈線、胴：LR 斜	—	N	3	I 5
197	950	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口：圧痕/原体側圧 RL	—	N	2	I 5
197	951	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口：RL 横	○	N	2	I
197	952	B IV v03	I d-20cm	深鉢	口：LR 横、結節 R 横	—	—	2	I
197	953	B IV v03	I -30cm	深鉢	口唇：貼瘤、口：沈線(半竹)、単軸絡1, L 斜?	—	M	2	I 5
197	954	B IV v03	I	深鉢	口唇：刻目、口：RL 横	○	—	2	I
197	955	B IV v03	I d	深鉢	口唇：刻目、口：RL 横	—	N	2	I
197	956	B IV v03	I	深鉢	口：突起(刺突)	○	N	3	I 4
197	957	B IV v03	I	深鉢	胴：沈線(半竹)/刺突	—	—	2	I 5
197	958	B IV v03	II a	深鉢	口：隆帯	—	N	2	I 5
197	959	B IV v03	I	深鉢	底：網代痕	—	N	2	I
197	960	B IV v03	II a	深鉢	底：網代痕?	—	N	2	I
197	961	B IV v03	II a	深鉢	口：沈線/原体側圧 LR	—	N	3	I 5
197	962	B IV v03	II a	深鉢	口：LR 横、結節 R 横	—	N	2	I
197	963	B IV v03	II a	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N	3	I 5
198	964	B IV v04	I d-10cm	深鉢	口：沈線/刻目、胴：LR 横?	—	N	3	I 5
198	965	B IV v04	I d-10cm	深鉢	口：沈線	—	M	3	I
198	966	B IV v04	I d-20cm	深鉢	口：原体側圧 R/隆帯+圧痕	—	N	3	I 5
198	967	B IV v04	I d-20cm	深鉢	胴：LR 横→沈線(半竹)/貼瘤凹文	—	N	3	I 5
198	968	B IV v04	I d-20cm	深鉢	口唇：突起、輪積痕	○	M	2	I 4
198	969	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：隆帯	—	M	3	I 5
198	970	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：沈線(凹文)	—	—	4	I 5
198	971	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：無文帯、頸部：隆帯+刺突、胴：RL 斜	—	N	2	I 4
198	972	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：沈線?	—	N	2	I
198	973	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：LR 斜	—	N	3	I
198	974	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：隆帯(肥厚)、沈線	—	M	2	I 5
198	975	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：LR 横、結節 R 横	—	N	2	I
198	976	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：沈線/刺突	—	N	2	I 5
198	977	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：LR 横、RL 横、輪積痕	○	—	2	I
198	978	B IV v10	I d-10cm	深鉢	口：隆帯/沈線	—	N	2	I 5
198	979	B IV v10	I d-10~20cm:PotF	深鉢	口：隆帯、頸：沈線(半竹)、胴：LR 横→沈線	—	M	3	I 5
198	980	B IV v10	I d-10~20cm:PotL	深鉢	口唇：隆帯、口：R 斜隆帯	—	N	3	I 4
198	981	B IV v10	I d-10~20cm:PotJ	深鉢	口：隆帯/LR 横→沈線(半竹)	—	N	4	I 5
199	982	B IV v10	I d-10~20cm:PotF	深鉢	口：隆帯/LR 横、沈線	—	—	3	I 5
199	983	B IV v10	I d-10~20cm:PotE	深鉢	口：原体側圧 LR、胴：LR 横、頸：隆帯+刻目	—	M	3	I
199	984	B IV v10	I d-10~20cm:PotF	深鉢	口唇：波状、単軸絡5, R 縦	—	N	3	I 5
199	985	B IV v10	I d-10~20cm:PotE	深鉢	口：隆帯、沈線	—	N	4	I 5
199	986	B IV v10	I d-20cm	深鉢	口：LR?	—	M	3	I
199	987	B IV v10	I d-20cm	深鉢	口：隆帯/胴：?	—	N	3	I
199	988	B IV v10	I d-20cm	深鉢	口：LR 横/LRR(燃り戻し)横	—	—	4	I
199	989	B IV v10	I d-20cm	深鉢	口：隆帯/沈線(半竹)	—	N	3	I 5
199	990	B IV v10	I d-20cm	深鉢	口：沈線(波状)	—	M	3	I 5
199	991	B IV v10	I d-20cm	深鉢	底：LR	—	N	3	I
199	992	B IV v11	I d-10cm	深鉢	底：網代痕	—	—	3	I
199	993	B IV v11	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕	—	M	2	I 4
199	994	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口：LR 横/結節横、補修孔	—	—	2	I
199	995	B IV w01	I d-10cm:Pot16	深鉢	口：単軸絡6? 縦	—	N	3	I
199	996	B IV w01	I d-10cm:Pot14	深鉢	口唇：隆帯、口：RL 横、結節横	—	—	2	I 4
199	997	B IV w01	I d-10cm:Pot17	深鉢	口：LR 横・結節 R 横	—	—	2	I
199	998	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口：沈線	—	—	2	I 5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
199	999	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯、口:LR 縦	-	-	2	I
199	1000	B IV w01	I d-10cm:Pot18	深鉢	口:沈線(円文)、圧痕、LR 横→沈線、沈線(半竹)	-	-	3	I
200	1001	B IV w01	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1, R 縦→隆帯+刻目	○	N	2	I 4
200	1002	B IV w01	I d-20cm:Pot49	深鉢	口:結節横	-	M	2	I
200	1003	B IV w01	I d-20cm:Pot49	深鉢	口唇:突起、口:LR 横+隆帯	○	N	3	I 4
200	1004	B IV w01	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1 A, L 3 縦	-	N	2	I
200	1005	B IV w01	I d-20cm	深鉢	口:隆帯+刺突	-	N	2	I
200	1006	B IV w01	I d-20cm:Pot47	深鉢	口唇:突起	-	N	2	I
200	1007	B IV w02	I d-10cm:Pot05	深鉢	口:沈線(半竹)、頸:刺突、胴:LR 横→貼付(瘤)	-	M	4	I 5
200	1008	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口:刻目、頸:隆帯+刻目/沈線	-	N	4	I 5
200	1009	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯、口:RL 縦→沈線(山)	-	-	2	I 4
200	1010	B IV w02	I d-10cm	深鉢	口:RR?	-	N	2	I
200	1011	B IV w02	I d-10cm:Pot10	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線	-	M	3	I 5
200	1012	B IV w02	I d-10cm:Pot03	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)、沈線(半竹)	-	N	4	I 5
200	1013	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:輪積痕	-	N	4	I 4
200	1014	B IV w02	I d-20cm	深鉢	胴:沈線(半竹)	-	M	2	I 5
201	1015	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口唇:刻目、口:?	-	N?	3	I
201	1016	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1 A, LR 縦	-	-	3	I
201	1017	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:隆帯/刻目/沈線 貼瘤	-	-	4	I 5
201	1018	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)、沈線	-	N	3	I 5
201	1019	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:隆帯/沈線	-	M	2	I 5
201	1020	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:沈線	-	N?	2	I 5
201	1021	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線・圧痕、頸:沈線	-	-	2	I 5
201	1022	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:刺突、頸:隆帯+刻目	-	N	2	I 5
201	1023	B IV w02	I d-20cm	深鉢	突起(環状):刺突	-	-	4	I 4
201	1024	B IV w02	I d-20cm	深鉢	口:原体側圧L/沈線/刺突	-	-	3	I
201	1025	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口:隆帯/沈線	-	M	2	I 5
201	1026	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口:LR 縦?異節?	-	M	2	I
201	1027	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口:刺突、頸:隆帯+刻目、沈線(半竹)	-	N?	2	I
201	1028	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口:沈線(半竹)	-	N	2	I 5
201	1029	B IV w02	I d-30cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線/圧痕	-	N	2	I 5
201	1030	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:隆帯、輪積痕	○	-	4	I 4
201	1031	B IV w03	I d-10cm:Pot12	深鉢	口唇:隆帯(S字状)、胴:LR 縦→隆帯	-	-	3	I 4
201	1032	B IV w03	I d-10cm:Pot06	深鉢	口唇:刻目、口:LR 横?	○	-	4	I 4
201	1033	B IV w03	I d-10cm	深鉢	沈線(半竹)、頸:隆帯/沈線	-	M	2	I 5
201	1034	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:隆帯	○	-	4	I 4
202	1035	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯、口:単軸絡L 縦+隆帯	-	-	2	I 4
202	1036	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)+圧痕/沈線、胴:LR 縦	-	-	2	I 5
202	1037	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:圧痕、口:結節L 横	○	-	2	I
202	1038	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:RL 横、結節横→補修孔	-	M	2	I
202	1039	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:LR 横+隆帯(梯子状)	-	N	2	I
202	1040	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1, L 縦	-	N	2	I
202	1041	B IV w03	I d-10cm	深鉢	突起(環状):刺突	○	-	2	I 4
202	1042	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口:隆帯→原体側圧LR	○	-	2	I 5
202	1043	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:刺突、口:沈線	-	M	4	I 5
202	1044	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1, L 斜	-	N	2	I 4
202	1045	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:圧痕、口:沈線、RL 横	-	-	2	I
202	1046	B IV w03	I d-10cm	深鉢	口唇:圧痕、口:隆帯+圧痕	-	-	2	I
202	1047	B IV w03	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡5, L 縦、頸:隆帯+圧痕	-	-	4	I 4
202	1048	B IV w03	I d-20cm:Pot43	深鉢	口:RL 横、結節横	○	-	4	I
202	1049	B IV w03	I d-20cm	深鉢	口唇:圧痕、口:LR 横、結節横	○	N	2	I 4
202	1050	B IV w03	I	深鉢	口:単軸絡1, 縦→隆帯+刻目	○	N	4	I 4
202	1051	B IV w03	I d-30cm:Pot41	深鉢	口:LR 横	-	-	3	I
202	1052	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1, R 縦	○	-	4	I 4
202	1053	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口~:沈線(半竹)	-	-	4	I 5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
202	1054	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1, R縦	-	N	3	I 4
202	1055	B IV w03	I d-30cm	深鉢	口:RL縦	-	N	2	I
202	1056	B IV w03	I d-30cm:Pot41	深鉢	底:木葉痕→M	○	-	3	I
202	1057	B IV w03	I e	深鉢	口唇:刻目、口:LR横	-	-	2	I
203	1058	B IV w04	I d-5cm	深鉢	口唇:沈線(半竹)	-	N	2	I 5
203	1059	B IV w04	I d-10cm	深鉢	口(内):隆帯	-	-	2	I 3
203	1060	B IV w04	I d-20cm	深鉢	口唇:刻目	-	-	2	I
203	1061	B IV w04	I d-20cm	深鉢	口:RL斜	-	-	3	I
203	1062	B IV w04	I d-30cm	深鉢	口唇:刻目、口:隆帯+刻目	-	-	2	I 4
203	1063	B IV w04	I d-30cm	深鉢	口:沈線(半竹)	-	N	2	I 5
203	1064	B IV w05	I d-10cm	深鉢	口:結束1, RL・LR縦	-	N	3	I
203	1065	B IV w05	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(円文)	-	N	4	I 5
203	1066	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口唇:刻目、口:LR縦	○	N	3	I 4
203	1067	B IV w05	I d-20cm:Pot30	深鉢	口唇:隆帯+刻目、口:単軸絡1, L縦	○	N	3	I 4
203	1068	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口唇:隆帯、口:単軸絡5, L縦	-	N	2	I 4
203	1069	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口唇:突起、口:LR縦	-	-	4	I
203	1070	B IV w05	I d-20cm	深鉢	口唇:隆帯	-	-	3	I
203	1071	B IV w05	I d-20cm:Pot26	深鉢	口:L縦	-	N	4	I
203	1072	B IV w05	I d-20cm:Pot26	深鉢	胴:縄文→隆帯(波状)	-	-	3	I 3
203	1073	B IV w05	I d-30cm	深鉢	口:隆帯+沈線、圧痕	-	N	4	I 6
203	1074	B IV w05	I	深鉢	口唇:突起+刺突	-	-	4	I 5
203	1075	B IV w05	II d-30cm	深鉢	口唇:突起(環状+刺突)、単軸絡1, L縦→隆帯+刺突	-	N	4	I 4
203	1076	B IV w05	I d-30cm	深鉢	口:隆帯/沈線	-	N	4	I 5
204	1077	B IV w06	I d-20cm	深鉢	口:円文	-	-	3	I
204	1078	B IV w06	I c	深鉢	口:単軸絡1, R縦	-	-	2	I
204	1079	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口:沈線+圧痕、頸:沈線	-	-	4	I 5
204	1080	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線	-	N	4	I 5
204	1081	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口:RL横/結節横	-	-	2	I
204	1082	B IV w06	I d-10cm:Pot70	深鉢	口:LR横	-	-	4	I
204	1083	B IV w06	I d-10cm:Pot70	深鉢	口:沈線+刺突	-	M	3	I 5
204	1084	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口:縄文→隆帯+沈線	-	N	4	I 4
204	1085	B IV w06	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1 A, R 2横	-	-	2	I
204	1086	B IV w06	I d-20cm	深鉢	口:RL横→隆帯+刻目	-	-	2	I
204	1087	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口:隆帯、頸:沈線(半竹)	-	-	4	I 5
204	1088	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口:隆帯、胴:LR縦	-	N	4	I 5
204	1089	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口~:S字状連鎖沈文、頸:隆帯+刻目	-	N	3	I 2
204	1090	B IV w10	I d-10cm	深鉢	胴:LR横→沈線	-	N	3	I 5
204	1091	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口:隆帯、胴:LR縦	-	N	3	I 5
204	1092	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口唇:貼瘤、頸:隆帯	-	-	2	I 3
204	1093	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口:圧痕/原体側圧LR、胴:LR縦	-	N	3	I
204	1094	B IV w10	I d-10cm	深鉢	口:LR縦→隆帯+刻目	-	N	4	I 4
204	1095	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)/貼瘤/沈線(半竹)	○	N	3	I 5
204	1096	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口唇:刻目(頂部)、胴:LR縦	○	N	3	I 5
205	1097	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口:沈線(半竹)、胴:LR縦 結節R縦	-	-	4	I 5
205	1098	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口:無文、頸:隆帯+刻目	-	N	2	I 5
205	1099	B IV w10	I d-20cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+貼瘤	○	-	2	I 5
205	1100	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口:沈線	-	M	3	I 5
205	1101	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+刻目/圧痕、頸:沈線	-	N	4	I 5
205	1102	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+原体側圧LR	-	N?	3	II?
205	1103	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口:押し沈線	○	-	4	I 5
205	1104	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口:LR縦+隆帯+刻目	-	-	4	I 4
205	1105	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+貼瘤	-	N	3	I 5
205	1106	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:刻目、胴:単軸絡5, RR縦	-	M?	4	I 5
205	1107	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口:隆帯	-	-	2	I 5
205	1108	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:沈線(半竹)	-	-	2	I 5

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
205	1109	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+圧痕	-	-	4	I
205	1110	B IV w11	I d-10cm	深鉢	胴:RL横→沈線+貼瘤(ボタン)	-	N	4	I 5
205	1111	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口:LR縦	-	N?	2	I
205	1112	B IV w11	I d-20cm	深鉢	口唇:隆帯、口:隆帯	○	-	2	I 4
205	1113	B IV w11	I d-20cm	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1 A, R 2縦	-	-	4	I 4
205	1114	B IV w11	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)+圧痕、口:沈線(半竹)	○	-	3	I 5
205	1115	B IV w12	I d-10cm	深鉢	胴:LR縦→沈線(半竹)	○	-	3	I 5
205	1116	B IV w12	I d-10cm	深鉢	口:隆帯+圧痕	-	N?	2	I
205	1117	B IV w12	I d-10cm	深鉢	底:上げ底	-	-	3	I
205	1118	B IV w12	I d	深鉢	胴:沈線(半竹)	-	-	3	I 5
205	1119	B IV x04	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡5, R縦	-	-	4	I 4
205	1120	B IV x04	I d-20cm	深鉢	胴:沈線(半竹)	-	M	2	I 5
206	1121	B IV x04	I d-20cm	深鉢	口:沈線(半竹)	-	N?	4	I
206	1122	B IV x04	I d-30cm:Pot59	深鉢	口:LR横+隆帯	-	N?	3	I 4
206	1123	B IV x04	I d-30cm:Pot59	深鉢	口唇:隆帯、口:LR横	-	N?	2	I 4
206	1124	B IV x04	I d-30cm:Pot59	深鉢	口:RL横?異節縄文	○	-	2	I
206	1125	B IV x05	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1, L縦	-	N?	2	I
206	1126	B IV x05	I d-10cm	深鉢	口:沈線	-	N	2	I 5
206	1127	B IV x05	I d-20cm:Pot25	深鉢	口唇:突起、口:単軸絡5, L縦	-	-	4	I 4
206	1128	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1 A, L 2縦→隆帯+圧痕	-	N	4	I 4
206	1129	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1 A, L 2縦→隆帯+圧痕	-	N	4	I 4
206	1130	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇:波状、口:単軸絡5, R縦?	-	N	2	I 4
206	1131	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇:オオバコ回転文?	-	-	4	I
206	1132	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇:圧痕、隆帯、頸:原体側圧LR、胴:LR斜横	-	N	3	I
206	1133	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡, L縦	-	N	3	I 4
206	1134	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口唇:RL、口:結束1 RL、LR縦	-	M	3	I
206	1135	B IV x05	I d-20cm	深鉢	口:結節R横?	-	-	2	I
206	1136	B IV x05	I d-20cm:Pot28	深鉢	口唇:圧痕、口:LR縦	-	-	3	I 4
206	1137	B IV x05	I d-30cm	深鉢	口唇:隆帯	-	-	3	I 4
207	1138	B IV x05	I d-30cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)+刻目、胴:組紐?	-	-	3	I 4
207	1139	B IV x05	I d	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡5, L縦	-	-	2	I 4
207	1140	B IV x06	I d-10cm:Pot38	深鉢	口:LR横、結節横	○	M	4	I
207	1141	B IV x06	ヘルト I d-10cm	深鉢	口:圧痕/隆帯(肥厚)	-	N	3	I 5
207	1142	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1, R縦	-	N	3	I
207	1143	B IV x06	I d-20cm:Pot37	深鉢	口:単軸絡5, R縦	-	-	2	I
207	1144	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口唇:隆帯(肥厚)、口:L横	-	N	2	I 4
207	1145	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口唇:突起、口:沈線	-	N	3	I 5
207	1146	B IV x06	I d-20cm:Pot40	深鉢	口唇:隆帯、突起、口:沈線	-	-	3	I 4
207	1147	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1, L縦→隆帯+刺突	○	N	3	I 4
207	1148	B IV x06	I d-20cm:Pot30	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節横	○	-	2	I 5
207	1149	B IV x06	I d-20cm	深鉢	口唇:圧痕	-	N	2	I 4
207	1150	B IV x06	I d-30cm	深鉢	口:隆帯、頸:隆帯、L縦	-	-	3	I 4
207	1151	B IV x06	I d-30cm	深鉢	口唇:圧痕、口:LR横	-	N	2	I 4
207	1152	B IV x06	I	深鉢	胴:RL縦→沈線(半竹)+貼瘤	○	N	2	I 5
207	1153	B IV x06	I	深鉢	口:LR縦+隆帯	-	-	2	I 4
207	1154	B IV x06	I	深鉢	口:隆帯(肥厚)、RL横、結節横	-	N	2	I
207	1155	B IV x06	I	深鉢	口:刺突・沈線	-	N	2	I 5
208	1156	B IV x07	I d-10cm:No.02	深鉢	口:刺突、胴:RL・LR縦	○	M	3	I 5
208	1157	B IV x07	I d-10cm	深鉢	口唇:波状、口:無文?	○	N?	4	I
208	1158	B IV x07	I d-10cm:No.04	深鉢	口:LR縦	-	N	3	I
208	1159	B IV x07	I d-10cm:No.01	深鉢	口:単軸絡1 A, L 2縦→隆帯+刻目	-	N	3	I 4
208	1160	B IV x07	I d-10cm:No.10	深鉢	口唇:刺突・沈線	-	N	2	I 5
208	1161	B IV x07	I d-10cm:No.08	深鉢	口:沈線	-	M	4	I 5
208	1162	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡1 A, RL縦	-	M	2	I 4
208	1163	B IV x07	I d-20cm:No.03	深鉢	口唇:LR縦、口:LR縦	-	N?	2	I 4

図版 No	No	出土地点	層 位	器 種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
208	1164	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1, L縦	-	N	2	I 4
208	1165	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口唇:突起、口:単軸絡1 A, L 2縦	-	-	4	I 4
208	1166	B IV x07	I d-20cm:No.01	深鉢	口:LR横	-	-	4	I 4
208	1167	B IV x07	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡5, L縦	-	N	4	I 4
208	1168	B IV x07	I	深鉢	口唇:刻目、口:単軸絡1, L縦	-	N	3	I 4
208	1169	B IV x07	I	深鉢	口:隆帯、沈線、頸;隆帯+原体側圧RL、胴:RL横+貼瘤	-	N	2	I 5
209	1170	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口唇:隆帯+沈線(突起)、口:単軸絡1 A, L 2縦、未補修孔	-	-	3	I 4
209	1171	B IV x08	I d-10cm:Pot51	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節横	-	N	2	I 4
209	1172	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡5 R縦→沈線	-	N	3	I 4
209	1173	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口唇:突起/刺突、口:LR横	○	N	2	I 4
209	1174	B IV x08	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1, L縦→隆帯	-	N	2	I 4
209	1175	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口:単軸絡?+刺突	-	-	3	I
209	1176	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	口:単軸絡1, L縦	-	N	3	I
209	1177	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口:隆帯	-	-	3	I 3
209	1178	B IV x08	I d-20cm	深鉢	口唇:突起、口:単軸絡1, 縦?沈線	-	N	3	I 4
209	1179	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	胴:RL横→沈線(半竹)+貼瘤	-	N	2	I 5
209	1180	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	口:隆帯	-	-	2	I
209	1181	B IV x08	I d-20cm:Pot61	深鉢	口:沈線	-	N	2	I 5
209	1182	B IV x11	I d-10cm:Pot67	深鉢	口:隆帯+沈線、刺突	-	-	3	I 5
209	1183	B IV x11	I d-10cm:Pot67	深鉢	胴:LR横→刺突/沈線	-	N	3	I 5
209	1184	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口:隆帯+刺突/沈線	-	N	3	I 5
209	1185	B IV x11	I d-10cm:Pot68	深鉢	口:沈線	-	-	3	I 5
209	1186	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口:原体側圧RL	-	N	3	I
209	1187	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:沈線/刺突	-	M	3	I 5
209	1188	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口:沈線、隆帯+圧痕	-	-	4	I 5
209	1189	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口唇:刻目、口:LR横、結節横	-	-	2	I 5
209	1190	B IV x11	I d-10cm	深鉢	口:隆帯+刺突	-	-	3	I 5
210	1191	B IV x11	I d-10cm:Pot66	深鉢	口:隆帯(肥厚)+沈線、胴:結束1, RL・LR縦	-	N	3	I 5
210	1192	B IV x11	I	深鉢	口:隆帯(肥厚)、口:沈線	-	N?	3	I 5
210	1193	B IV x11	I	深鉢	口:隆帯+圧痕/沈線	-	N?	3	I 5
210	1194	B IV x11	I	深鉢	口:刺突/沈線	-	M	3	I 5
210	1195	B IV x11	I	深鉢	口:刺突	-	N	3	I 5
210	1196	B IV x11	I	深鉢	口:沈線/隆帯、胴:LR縦	-	N?	3	I
210	1197	B IV x11	I	深鉢	口:単軸絡1, L縦	○	N	3	I
210	1198	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:突起/沈線	○	-	3	I 5
210	1199	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)/沈線	-	-	2	I 5
210	1200	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)/頸:刺突、沈線	-	-	3	I 5
210	1201	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡5, R縦	-	N	2	I 4
210	1202	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)/沈線/刻目	-	N	3	I 5
210	1203	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:隆帯+刻目	-	N	2	I
210	1204	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:結節横?	-	-	2	I
210	1205	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口唇:刺突、口:隆帯+刺突	-	N	2	I
210	1206	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:沈線	-	-	2	I
210	1207	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1 A, L縦	-	-	3	I
210	1208	B IV x12	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡5, R横	-	N	2	I
210	1209	B IV x12	I d-10cm	深鉢	突起:LR縦	-	-	3	I 4?
210	1210	B IV x12	I d-10cm	深鉢	胴:RL横+隆帯	-	N	2	I 3
210	1211	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口:波状、多軸絡?	-	M	3	I 4
210	1212	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口:単軸絡1, R縦	-	N	4	I
210	1213	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口唇:刺突、口:単軸絡1, L縦	-	N	3	I 4
210	1214	B IV y08	I d-10cm	深鉢	口:隆帯(肥厚)、口:単軸絡1 A, R縦	○	N	3	I
211	1215	B IV y08	I	深鉢	口:隆帯, RL縦、口:RL横	-	N?	3	I 4
211	1216	B IV y08	I	深鉢	底:単軸絡1, R	-	-	2	I
211	1217	B IV y08	I	深鉢	口:刺突	-	-	2	I
211	1218	B IV y08	II-10cm	深鉢	口唇:圧痕、口:単軸絡1, 縦	-	N	4	I 4

図版 No	No	出土地点	層位	器種	文様(原体)の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	分類
211	1219	B IV y08	II-10cm	深鉢	口唇：圧痕	—	—	2	I 4
211	1220	B IV y08	II(トレンチ)	深鉢	突起：刺突	—	—	3	I
211	1221	B IV y10	I d-10cm	深鉢	口：LR縦、結節R縦	—	N?	4	I
211	1222	B IV y10	I d-10cm	深鉢	突起：単軸絡1, 縦+隆帯(山状)	—	—	4	I 4
211	1223	B IV y10	I d-10cm	深鉢	底：網代痕	—	N	3	I
211	1224	B IV y10	I d-10cm	深鉢	口：沈線(半竹)	—	N?	3	I 5
211	1225	B IV y10	I下~II-10cm	深鉢	口：単軸絡5, 縦	—	—	3	I 4
211	1226	B IV y10	II	深鉢	口：単軸絡1, R縦	—	N?	2	I
211	1227	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5, R横?+隆帯	—	N?	2	I 4
211	1228	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口唇：圧痕、口：結束1, RL縦	—	N	4	I 5
211	1229	B IV y11	I d-10cm	深鉢	胴：LR横→貼付隆帯+沈線	—	N	3	I 4
211	1230	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：L横、結節横	—	N	3	I
211	1231	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口：単軸絡5, R縦	—	N	2	I
211	1232	B IV y11	I d-10cm	深鉢	口唇：隆帯、口：単軸絡1, 縦	○	—	2	I 4
211	1233	B IV y11	I	深鉢	口唇：刻目、頸：隆帯+刻目	—	N	3	I 4
211	1234	B IV y11	I	深鉢	底：網代痕	—	—	2	I
211	1235	B IV y12	I	深鉢	口：隆帯+圧痕	—	—	4	I 5
211	1236	B IV y12	I	深鉢	胴：LR横→+隆帯+沈線	—	—	3	I 4
211	1237	B IV y12	I d~II	深鉢	口唇：刻目、口：隆帯+刻目、胴：単軸絡1, L斜	○	—	2	I 4
211	1238	B IV y12	II	深鉢	口唇：刻目、口：隆帯+圧痕	—	—	4	I 5
212	1239	C IV a10	I	深鉢	口：単軸絡1 A, R縦→隆帯+刻目	—	N	2	I 4
212	1240	C IV a10	I	深鉢	口：隆帯	—	M	4	I 5
212	1241	C IV a10	I	深鉢	口唇：刻目、胴：単軸絡1 R→隆帯+圧痕	—	N	2	I 4
212	1242	C IV a10	I	深鉢	口唇：圧痕、胴：沈線	—	—	2	I 4
212	1243	C IV a10	I	深鉢	口唇：刺突、口：単軸絡5, R縦→沈線	○	N	2	I 4
212	1244	C IV a11	II	深鉢	口~：L横-隆帯	—	N	2	I 3
212	1245	C IV a12	I d~II: Pot65	深鉢	口唇：刻目、単軸絡1, R縦→隆帯+圧痕	—	N	3	I 4
212	1246	C IV a12	I d~II: Pot64	深鉢	頸：単軸絡1, L縦+隆帯	—	—	4	I 4
212	1247	C IV a12	I-10cm	深鉢	単軸絡5, L縦	—	N	2	I 4
212	1248	C IV v12	I b~c	深鉢	口：圧痕・短沈線、胴：LR横・縦	—	M	2	I 1?
212	1249	C IV d12	II	深鉢	口：LR横、沈線	—	M	2	III
212	1250	C IV g14	I d	深鉢	口：隆帯(肥厚)/刺突/沈線	—	N?	3	I 5
212	1251	C IV h15	I b	深鉢	口：隆帯(肥厚)+刻目、沈線	—	M	2	I 5
212	1252	C IV h15	I b	深鉢	口：隆帯	—	N?	4	I 5

部位の名称、口唇：口唇部、口：口縁部、頸：頸部、胴：胴部、底：底部。

文様、原体側圧：原体側面圧痕、絡条体：絡条体圧痕。

単軸絡：単軸絡条体、多軸絡：多軸絡条体、半竹：半截竹管

結束1：結束第1種、結束2：結束第2種、結節：結節縄文。

煤の付着、○：内面に付着、●：外面に付着、◎内外面に付着。

内面調整、M：ミガキ、N：ナデ、—：なし。

胎土、1：緻密である。

2：細礫を含まず、砂粒を含む。

3：細礫・砂粒をわずかに含む。

4：細礫・砂粒を多量に含む。

第7表 石器観察表

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
214	1301	RA01	東半埋土	石鏃	(3.3)	2.1	0.6	(2.12)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	I	W
214	1302	RA01pp4	埋土	石鏃	(2.8)	1.65	0.4	(1.53)	凹基無茎鏃	A	W
214	1303	RA02	西半埋土	石鏃	(2.3)	1.55	0.5	(1.12)	凹基無茎鏃	A	W
214	1304	RA02	東半埋土	石鏃	3.3	1.75	0.4	2.60	円基鏃	A	W
214	1305	RA02pp14	埋土	石鏃	(3.7)	1.75	0.85	(4.45)	平基無茎鏃	A	W
214	1306	RA03	東半埋土	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.17	基部欠損	I	W
214	1307	RA03pp4	埋土	石鏃	2.6	2.1	0.65	3.01	凹基無茎鏃	I	W
214	1308	RA04	南東埋土	石鏃	3.5	1.85	0.45	2.12	凹基無茎鏃	A	W
214	1309	RA04	南東埋土	石鏃	3.0	1.6	0.4	1.41	凹基無茎鏃	A	W
214	1310	RA04	南東埋土	石鏃	3.25	2.1	0.45	2.18	凹基無茎鏃	A	W
214	1311	RA04	南東埋土	石鏃	3.9	2.0	0.5	2.18	凹基無茎鏃	A	W
214	1312	RA04	南東埋土	石鏃	(2.8)	1.7	0.45	(1.91)	凹基無茎鏃	A	W
214	1313	RA04	南西埋土	石鏃	2.9	2.15	0.4	1.95	凹基無茎鏃	D	W
214	1314	RA04	南西埋土	石鏃	(2.5)	1.6	0.5	(1.69)	凹基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
214	1315	RA04	埋土南壁際	石鏃	3.9	1.55	0.5	2.54	凹基無茎鏃	A	W
214	1316	RA04	埋土南壁際	石鏃	(3.0)	1.5	0.5	(1.52)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
214	1317	RA04 南北ベルト	埋土2	石鏃	2.3	1.5	0.35	1.00	凹基無茎鏃	A	W
214	1318	RA04 東西ベルト	埋土4	石鏃	3.1	1.7	0.45	2.37	凹基無茎鏃	A	W
214	1319	RA04pp4	東半埋土	石鏃	3.45	1.7	0.6	2.47	凹基無茎鏃	A	W
214	1320	RA05 南北ベルト	埋土1	石鏃	3.9	2.25	0.5	2.94	凹基無茎鏃	A	W
214	1321	RA05	西側埋土	石鏃	4.2	1.8	0.6	3.02	凹基無茎鏃	A	W
214	1322	RA05	埋土	石鏃	(2.3)	1.7	0.5	(1.19)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
214	1323	RA05	床直	石鏃	3.9	1.9	0.55	2.75	凹基無茎鏃	A	W
214	1324	RA05	床直	石鏃	3.15	2.8	0.6	2.32	凹基無茎鏃	A	W
214	1325	RA05	貼床除去後	石鏃	(2.5)	1.7	0.75	(1.98)	凹基無茎鏃 欠損	I	W
214	1326	RA05	貼床除去後	石鏃	(4.0)	1.65	0.5	(2.96)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
214	1327	RA05pp3	埋土	石鏃	3.1	2.8	0.6	1.88	凹基無茎鏃	A	W
214	1328	RA05pp8	埋土	石鏃	(3.2)	1.75	0.6	(2.85)	平基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
214	1329	RA05pp23	埋土	石鏃	4.45	1.8	0.5	2.77	凹基無茎鏃	A	W
214	1330	RA06	東半埋土	石鏃	(2.8)	1.75	0.6	(2.04)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1331	RA06	東半埋土	石鏃	(2.7)	2.1	0.6	(3.17)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
215	1332	RA06	東側埋土	石鏃	(2.4)	1.6	0.45	(1.38)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
215	1333	RA06	東側埋土	石鏃	3.9	1.7	0.4	1.65	凹基無茎鏃	A	W
215	1334	RA06	東半埋土	石鏃	2.7	1.9	0.5	1.77	円基鏃	A	W
215	1335	RA06	西半埋土	石鏃	2.65	1.5	0.4	1.21	凹基無茎鏃	A	W
215	1336	RA06	西半埋土	石鏃	2.5	1.5	0.3	0.94	凹基無茎鏃	A	W
215	1337	RA07	南西埋土	石鏃	(3.0)	1.4	0.3	(0.99)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1338	RA07	南西埋土	石鏃	2.8	1.9	0.4	1.33	凹基無茎鏃	A	W
215	1339	RA07	西壁埋土	石鏃	3.6	1.2	0.5	1.35	凹基無茎鏃	A	W
215	1340	RA07	南西埋土上位	石鏃	(1.9)	1.25	0.3	(0.71)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
215	1341	RA07	南西埋土	石鏃	3.15	1.1	0.4	1.21	円基鏃	A	W
215	1342	RA07 南北ベルト	埋土1	石鏃	(2.9)	(1.1)	0.45	(1.49)	凹基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
215	1343	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.2	1.7	0.4	1.69	凹基無茎鏃	A	W
215	1344	RA07	南西埋土上位	石鏃	2.7	1.7	0.5	1.13	凹基無茎鏃	I	W
215	1345	RA07	南西埋土上位	石鏃	(2.3)	1.35	0.6	(1.08)	?基部、尖頭部欠損	A	W
215	1346	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.7	1.4	0.65	1.19	凹基無茎鏃	A	W
215	1347	RA07	南西埋土上位	石鏃	(3.1)	1.3	0.4	(1.08)	凹基無茎鏃	I	W
215	1348	RA07	南西埋土上位	石鏃	3.8	2.45	0.6	4.42	凹基無茎鏃	A	W
215	1349	RA07	南西埋土上位	石鏃	(3.5)	1.6	0.7	(2.22)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1350	RA07	北東埋土上位	石鏃	3.7	1.7	0.5	2.83	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
215	1351	RA07	北東埋土上位	石鏃	(4.1)	1.45	20.6	(2.76)	凹基無茎鏃 基部欠損	B	W
215	1352	RA07	北東埋土上位	石鏃	3.9	2.1	0.7	3.59	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
215	1353	RA07	北東埋土下位	石鏃	(3.45)	1.5	0.5	(1.76)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
215	1354	RA07	南東埋土下位	石鏃	(2.9)	1.6	0.4	(1.94)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
215	1355	RA07	南東埋土下位	石鏝	1.85	1.45	0.4	0.85	平基無茎鏝	A	W
215	1356	RA07	北東埋土下位	石鏝	(2.6)	(1.5)	0.5	(0.98)	凹基無茎鏝 尖頭部、基部欠損	I	W
215	1357	RA07	北東埋土下位	石鏝	(3.75)	(1.9)	0.4	(2.02)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
215	1358	RA07	北東埋土下位	石鏝	(3.4)	2.9	0.45	(1.81)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
215	1359	RA07	西壁埋土	石鏝	2.8	1.4	0.4	1.10	凹基無茎鏝	A	W
215	1360	RA07	北西埋土下位	石鏝	3.3	1.8	0.4	1.66	凹基無茎鏝	A	W
216	1361	RA07	埋土下位～床直	石鏝	(2.3)	(1.2)	(0.4)	(0.72)	凹基無茎鏝 尖頭部、基部欠損	A	W
216	1362	RA07	埋土 No.2	石鏝	3.1	1.8	0.45	2.18	凹基無茎鏝	A	W
216	1363	RA07	周溝南側埋土	石鏝	3.55	(1.6)	0.7	2.2	凹基無茎鏝	A	W
216	1364	RA07pp8	南半埋土	石鏝	(4.5)	1.75	0.6	(4.19)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1365	RA08 東西ベルト	埋土 1	石鏝	(2.3)	1.3	0.3	(0.74)	? 基部欠損	A	W
216	1366	RA08 東西ベルト	埋土 1	石鏝	2.45	1.5	0.3	0.66	凹基無茎鏝	A	W
216	1367	RA08	南西埋土上位	石鏝	3.65	1.8	0.6	2.55	凹基無茎鏝	A	W
216	1368	RA08	北東埋土	石鏝	3.0	1.7	0.5	1.97	凹基無茎鏝	A	W
216	1369	RA08	北東埋土	石鏝	(2.25)	1.65	0.35	(1.23)	凹基無茎鏝 尖頭部、基部欠損	A	W
216	1370	RA08	北西埋土	石鏝	(3.0)	2.1	0.7	(3.96)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1371	RA08	南東埋土	石鏝	3.55	1.6	0.7	2.80	凹基無茎鏝	A	W
216	1372	RA08	南東埋土	石鏝	(2.65)	(8.6)	0.6	(1.52)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	I	W
216	1373	RA08	南半埋土	石鏝	3.4	1.9	0.5	2.47	凹基無茎鏝	A	W
216	1374	RA08	南西埋土上位	石鏝	(2.4)	1.8	0.45	(1.85)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1375	RA08	南西埋土下位	石鏝	3.6	1.45	0.4	1.71	凹基無茎鏝	A	W
216	1376	RA08	南西埋土下位	石鏝	2.7	0.5	0.65	1.33	凹基無茎鏝	A	W
216	1377	RA08	南西埋土下位	石鏝	3.8	1.6	0.5	2.12	凹基無茎鏝	A	W
216	1378	RA08	床直上	石鏝	(3.2)	1.8	0.7	(3.77)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1379	RA08pp10	南半埋土	石鏝	3.45	1.7	0.5	1.80	凹基無茎鏝	I	W
216	1380	RA09	南半埋土上位	石鏝	(3.0)	1.6	0.4	(1.63)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
216	1381	RA09	南半埋土上位	石鏝	3.4	1.8	0.6	2.55	凹基無茎鏝	A	W
216	1382	RA09	南半埋土	石鏝	(3.3)	1.8	0.7	(2.52)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1383	RA09	南半埋土上位	石鏝	(3.8)	2.1	0.3	(2.39)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1384	RA09	南半埋土上位	石鏝	3.3	1.45	0.5	2.16	平基無茎鏝	A	W
216	1385	RA09	南半埋土	石鏝	3.2	1.7	0.4	1.31	凹基無茎鏝	A	W
216	1386	RA09	南半埋土	石鏝	(2.5)	1.2	0.3	(0.64)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
216	1387	RA09	南半埋土	石鏝	3.65	1.7	0.7	2.97	凹基無茎鏝	A	W
216	1388	RA09	南半埋土	石鏝	(3.6)	1.5	0.6	(2.38)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1389	RA09	南半埋土	石鏝	(3.45)	2.9	0.4	(2.19)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
216	1390	RA09 南西端	埋土	石鏝	(3.9)	1.9	0.5	(1.83)	?	I	W
217	1391	RA09	埋土	石鏝	(3.3)	(1.5)	0.45	(1.88)	凹基無茎鏝	A	W
217	1392	RA09	東西ベルト南側トレンチ	石鏝	(3.0)	1.95	0.85	(2.35)	凹基無茎鏝	I	W
217	1393	RA09	床直	石鏝	3.4	1.65	0.4	1.46	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
217	1394	RA09 南側周溝	埋土	石鏝	2.15	1.5	0.5	1.24	凹基無茎鏝	L?	W
217	1395	RA10 南北ベルト	埋土1	石鏝	(3.8)	1.6	0.5	(2.29)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
217	1396	RA10	南東埋土	石鏝	(2.2)	1.2	(0.35)	(0.71)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
217	1397	RA10	埋土	石鏝	(2.6)	1.75	0.7	(1.61)	凹基無茎鏝 基部欠損	I	O
217	1398	RA10pp1	埋土	石鏝	2.3	1.4	0.5	0.91	凹基無茎鏝	A	W
217	1399	RA11	南半埋土中位	石鏝	(4.2)	1.75	0.4	(2.28)	凹基無茎鏝	I	O
217	1400	RA11	南半埋土	石鏝	3.1	2.2	0.5	1.96	凹基無茎鏝	A	W
217	1401	RA12	西半埋土	石鏝	(3.2)	1.55	0.5	(1.55)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	O
217	1402	RA12	北半埋土下位	石鏝	(2.7)	(2.0)	0.5	(2.37)	凹基無茎鏝 尖頭部、基部欠損	A	W
217	1403	RA13	ベルト A-A' 1	石鏝	(2.3)	1.5	0.35	(0.8)	凹基無茎鏝	A	W
217	1404	RA13 ベルト B-B'	埋土 2	石鏝	2.8	1.7	0.6	1.94	凹基無茎鏝	A	W
217	1405	RA13	南東埋土	石鏝	2.05	1.7	0.5	1.24	凹基無茎鏝	A	W
217	1406	RA13	南東埋土	石鏝	(1.85)	0.6	0.5	(1.46)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
217	1407	RA13	南東埋土	石鏝	2.6	1.85	0.3	1.08	凹基無茎鏝	A	W
217	1408	RA13	北西埋土	石鏝	3.2	1.8	0.5	1.8	凹基無茎鏝	A	W
217	1409	RA13	北西埋土	石鏝	2.6	1.5	0.35	1.3	凹基無茎鏝	A	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	高さ				
217	1410	RA13	北西埋土	石鏝	2.8	1.45	0.5	1.35	凹基無茎鏝	A	W
217	1411	RA13	北西埋土	石鏝	3.7	1.9	0.6	2.8	凹基無茎鏝	A	W
217	1412	RA13	北西埋土	石鏝	(3.1)	(2.1)	0.5	(2.33)	円基鏝 尖頭部欠損	A	W
217	1413	RA13	北西埋土	石鏝	(2.9)	2.0	0.4	(1.75)	尖基鏝	I	W
217	1414	RA13pp2	埋土	石鏝	2.8	1.5	0.5	2.23	凹基無茎鏝	A	W
217	1415	RA14	南東埋土上位	石鏝	2.6	1.6	0.55	1.13	凹基無茎鏝	A	W
217	1416	RA14	南東埋土上位	石鏝	2.7	1.7	0.55	2.23	平基無茎鏝	A	W
217	1417	RA14	北西埋土上位	石鏝	(2.8)	0.4	0.35	(1.27)	平基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
217	1418	RA14	南東埋土上位	石鏝	3.35	1.45	0.4	1.9	平基無茎鏝	A	W
217	1419	RA14	南西埋土	石鏝	2.35	1.3	0.3	0.71	凹基無茎鏝	A	W
217	1420	RA15	南半埋土	石鏝	3.0	1.6	0.45	1.75	凹基無茎鏝	A	W
218	1421	RA15	北半埋土	石鏝	1.9	1.8	0.4	0.84	凹基無茎鏝	A	W
218	1422	RA15 埋土ベルト	埋土 2	石鏝	2.5	1.55	0.3	0.88	凹基無茎鏝	A	W
218	1423	RA15 埋土ベルト	埋土 2	石鏝	(2.7)	(1.4)	(0.65)	(1.95)	?尖頭部、基部欠損	A	W
218	1424	RA16	埋土上位	石鏝	(3.8)	2.3	0.5	(3.23)	?尖頭部欠損	A	W
218	1425	RA16	埋土下位	石鏝	(3.5)	1.65	0.45	(2.21)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1426	RA18	北半埋土	石鏝	2.5	1.5	0.5	1.21	凹基無茎鏝	A	W
218	1427	RA19	北西埋土上位	石鏝	3.1	1.8	0.5	1.72	凹基無茎鏝	A	W
218	1428	RA19	北西埋土上位	石鏝	(3.5)	1.6	0.5	(1.97)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1429	RA19	北西埋土	石鏝	2.4	1.5	0.3	0.96	凹基無茎鏝	A	W
218	1430	RA19	北西埋土	石鏝	3.4	2.9	0.5	2.71	凹基無茎鏝	A	W
218	1431	RA19pp5	埋土	石鏝	4.0	1.85	0.8	2.74	凹基無茎鏝	I	O
218	1432	RA21	埋土	石鏝	4.55	1.9	0.6	3.35	凹基無茎鏝	A	W
218	1433	RA21	埋土	石鏝	2.6	1.95	0.7	2.90	凹基無茎鏝	A	W
218	1434	RA23 東西ベルト	埋土 1	石鏝	(3.0)	1.6	0.4	(1.56)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1435	RA23 東西ベルト	埋土 1	石鏝	4.7	1.7	0.6	3.89	凹基無茎鏝	A	W
218	1436	RA23 ベルト	埋土	石鏝	3.5	2.3	0.5	3.00	凹基無茎鏝	A	W
218	1437	RA23	埋土	石鏝	(3.5)	1.8	0.6	(2.97)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1438	RA23	埋土	石鏝	(3.7)	2.0	0.6	(2.38)	凹基無茎鏝	A	W
218	1439	RA23	埋土	石鏝	3.1	1.9	0.6	2.23	凹基無茎鏝	A	W
218	1440	RA23	埋土	石鏝	(2.6)	1.6	0.5	(1.76)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1441	RA23	埋土	石鏝	(2.1)	1.7	0.4	(1.00)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
218	1442	RA23	埋土	石鏝	(3.1)	1.6	0.4	(1.25)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
218	1443	RA23	埋土	石鏝	2.65	1.4	0.45	1.18	凹基無茎鏝	A	W
218	1444	RA23	埋土	石鏝	3.3	1.7	0.4	1.80	凹基無茎鏝	A	W
218	1445	RA23	埋土	石鏝	(2.7)	(1.45)	0.3	(1.15)	凹基無茎鏝 尖頭部、基部欠損	A	W
218	1446	RA23	埋土	石鏝	2.9	1.5	0.4	1.08	凹基無茎鏝	A	W
218	1447	RA23	埋土	石鏝	(3.1)	1.9	0.5	(1.88)	凹基無茎鏝	I	O
218	1448	RA23	埋土	石鏝	(2.9)	1.7	0.7	(1.52)	凹基無茎鏝 基部欠損	I	O
218	1449	RA23	埋土	石鏝	3.7	1.5	0.5	2.40	凹基無茎鏝	A	W
218	1450	RA23	埋土	石鏝	4.8	2.0	0.7	4.59	凹基無茎鏝	A	W
219	1451	RA23	埋土	石鏝	3.1	1.6	0.4	1.84	凹基無茎鏝	A	W
219	1452	RA23	埋土	石鏝	2.35	1.55	0.4	1.20	凹基無茎鏝	A	W
219	1453	RA23	埋土	石鏝	(2.7)	1.55	0.3	(1.04)	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
219	1454	RA23 ベルト	埋土	石鏝	(1.9)	1.6	0.4	(0.87)	凹基無茎鏝 基部欠損	A	W
219	1455	RA23	埋土	石鏝	4.2	1.85	0.6	3.85	円基鏝	A	W
219	1456	RA23 ベルト	埋土	石鏝	3.8	1.5	0.7	3.00	円基鏝	A	W
219	1457	RA23 炉2	焼土	石鏝	3.2	1.75	0.7	3.25	凹基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
219	1458	RA23	埋土焼土 1	石鏝	(2.9)	1.6	0.5	(1.09)	凹基無茎鏝	I	W
219	1459	RA24	埋土 1	石鏝	(3.1)	2.0	0.4	(2.18)	凹基無茎鏝	A	W
219	1460	RA24	埋土 1	石鏝	3.7	1.7	0.6	1.93	凹基無茎鏝	A	W
219	1461	RA24	埋土	石鏝	(3.5)	1.8	0.7	(2.90)	凹基無茎鏝	A	W
219	1462	RA24	埋土 1	石鏝	(2.7)	1.7	0.5	(1.87)	平基無茎鏝 尖頭部欠損	A	W
219	1463	RA24	埋土 1	石鏝	2.4	1.5	0.4	1.16	凹基無茎鏝	A	W
219	1464	RA27pp4	埋土	石鏝	4.0	2.1	0.5	3.29	凹基無茎鏝	A	W

() は残存値

図版 No.	掲載 No.	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
219	1465	RA27pp4	埋土	石鏃	4.0	2.2	0.6	3.59	凹基無茎鏃	A	W
219	1466	RA27pp4	埋土	石鏃	3.8	2.1	0.4	2.09	凹基無茎鏃	A	W
219	1467	RA27pp4	埋土	石鏃	3.5	1.7	0.6	2.57	尖基鏃	A	W
219	1468	RD02	南半埋土上位	石鏃	2.6	1.25	0.5	1.31	凹基無茎鏃	A	W
219	1469	RD02	南半埋土上位-20cm	石鏃	(3.0)	1.6	0.4	(1.49)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
219	1470	RD04	埋土	石鏃	(3.4)	(1.7)	0.7	(3.77)	凹基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
219	1471	RD04	北半埋土 2	石鏃	3.0	1.8	0.5	2.78	凹基無茎鏃	A	W
219	1472	RD05	南半埋土	石鏃	3.35	1.6	0.5	1.91	凹基無茎鏃	I	O
219	1473	RD05	埋土	石鏃	(3.6)	1.9	0.4	(2.44)	凹基無茎鏃	A	W
219	1474	RD06	北半埋土下位	石鏃	(2.7)	1.8	0.3	(1.49)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
219	1475	RD08	南西埋土上位	石鏃	4.05	1.9	0.6	2.93	凹基無茎鏃	A	W
219	1476	RD08	南西埋土上位	石鏃	(2.9)	1.65	0.6	(1.85)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
219	1477	RD09	南半埋土	石鏃	(2.5)	2.0	0.5	(1.78)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
219	1478	RD09	南半埋土	石鏃	2.2	(1.7)	0.3	1.13	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
219	1479	RD10	西半埋土上位	石鏃	3.0	1.6	0.35	1.13	凹基無茎鏃	A	W
219	1480	RD10	西半埋土下位	石鏃	3.0	2.7	0.4	1.37	凹基無茎鏃	A	W
220	1481	RD12	北半埋土 2	石鏃	(3.1)	1.95	0.6	(2.80)	凹基無茎鏃	A	W
220	1482	RD13	西半埋土	石鏃	(2.8)	1.65	0.5	(1.65)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1483	RD15	北半埋土	石鏃	(15.0)	1.9	0.7	(4.27)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1484	RD16	南半埋土	石鏃	4.3	1.25	0.8	3.17	尖基鏃	A	W
220	1485	RD17	南半埋土	石鏃	(3.8)	1.7	0.55	(2.92)	凹基無茎鏃	A	W
220	1486	RD17	南半埋土	石鏃	5.3	2.2	0.6	3.93	凹基無茎鏃	A	W
220	1487	RD18	北半埋土	石鏃	(2.7)	1.4	0.5	(1.53)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
220	1488	RD30	南半埋土	石鏃	2.9	1.9	0.4	1.91	凹基無茎鏃	A	W
220	1489	RD34	南半埋土	石鏃	(3.1)	1.75	0.5	(1.88)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
220	1490	RD35	南半埋土	石鏃	(3.0)	2.3	0.7	(1.53)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	I	O
220	1491	RD35	北半埋土	石鏃	(3.2)	1.6	0.5	(1.49)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
220	1492	RD37	南半埋土	石鏃	3.7	2.15	0.7	3.30	凹基無茎鏃	A	W
220	1493	RD37	北半埋土	石鏃	3.4	1.55	0.5	1.94	平基無茎鏃	A	W
220	1494	RD39	北半埋土	石鏃	(4.3)	2.2	0.5	(3.99)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1495	RD42	南半埋土	石鏃	(2.3)	(1.8)	0.4	(1.32)	凹基無茎鏃 尖頭部、基部欠損	A	W
220	1496	RD42	南半埋土	石鏃	3.4	1.5	0.5	1.52	凹基無茎鏃	A	W
220	1497	RD42	南半埋土	石鏃	(3.3)	(1.8)	0.55	(2.52)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1498	RD42	南半埋土	石鏃	2.0	1.65	0.75	2.13	凹基無茎鏃	A	W
220	1499	RD51	南半埋土 1	石鏃	(3.8)	(1.5)	0.5	(2.63)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1500	RD51	北半埋土 2	石鏃	(1.6)	1.7	0.3	(0.61)	? 尖頭部、基部欠損	A	W
220	1501	RF04	焼土上位	石鏃	(1.95)	1.3	0.4	(0.59)	凹基無茎鏃 基部欠損	A	W
220	1502	B IV v03	I d-20cm	石鏃	(3.05)	1.55	0.65	(2.89)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1503	B IV w02	I d-10cm	石鏃	(3.8)	1.8	0.6	(3.24)	凹基無茎鏃 尖頭部欠損	A	W
220	1504	B IV x07	I d-10cm	石鏃	3.6	1.6	0.45	1.92	凹基無茎鏃	A	W
220	1505	B IV x07	I d-10cm	石鏃	(4.2)	(1.7)	0.6	(2.59)	凹基無茎鏃 基部欠損	B	W
220	1506	B IV x07	I d-10cm	石鏃	2.55	1.6	0.5	1.73	凹基無茎鏃	J	W
220	1507	RA13	南西埋土	尖頭状石器	4.0	2.4	0.9	7.30		A	W
220	1508	RA14 ベルト B-B'	埋土 1	尖頭状石器	(3.0)	2.1	0.6	(1.88)		I	O
220	1509	RA23	埋土	尖頭状石器	3.3	2.7	0.6	4.69		A	W
221	1510	RA26	炉東半部焼土中	尖頭状石器	3.4	2.0	0.8	5.39		A	W
221	1511	RA05	貼床除去後	尖頭器	(4.3)	1.3	0.5	(2.48)		A	W
221	1512	RA15	北半埋土	尖頭器	(8.9)	1.7	0.9	(11.65)		A	W
221	1513	RA08pp9	北半埋土	尖頭器	(5.6)	2.3	1.1	(15.16)		A	W
221	1514	B IV w10	I d-10cm	尖頭器	20.8	3.4	1.5	97.64		A	W
221	1515	RA06	東半埋土	石錐	4.5	1.6	0.8	5.02		A	W
221	1516	RA09	南半埋土	石錐	7.9	2.3	1.0	11.72		A	W
221	1517	RA10	埋土	石錐	5.35	1.8	1.2	5.12		A	W
221	1518	RA13	埋土	石錐	4.8	3.5	1.5	12.30		A	W
221	1519	RA13	埋土	石錐	6.0	1.45	0.5	3.75		A	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
221	1520	RA18	東西ベルト1	石錐	5.9	3.8	0.8	10.33		D	OK
221	1521	RA24	埋土1	石錐	(3.3)	2.0	0.65	(4.27)		B	W
221	1522	RA24	埋土1	石錐	2.5	1.0	0.4	1.02		A	W
221	1523	RF04	焼土上位	石錐	(2.5)	0.8	0.6	(1.09)		A	W
222	1524	RA04	南東埋土 埋土	石匙	5.8	(3.1)	1.2	18.42	縦型	B	W
222	1525	RA04	南東埋土 埋土	石匙	5.8	2.9	0.85	11.45	縦型	A	W
222	1526	RA04	南西埋土	石匙	6.2	3.3	7.6	16.10	縦型	A	W
222	1527	RA04	焼土上位	石匙	4.6	6.1	1.0	17.65	横型	A	W
222	1528	RA04	南西埋土	石匙	4.2	6	1.2	22.03	横型	A	W
222	1529	RA04 Pot03	埋土	石匙	5.8	3.7	1.0	20.63	縦型	A	W
222	1530	RA05	南側埋土	石匙	7.7	4.3	1.0	22.75	縦型	A	W
222	1531	RA05	南側埋土	石匙	6.1	2.5	0.5	8.14	縦型	A	W
222	1532	RA05	埋土 N0.3	石匙	10.0	4.3	1.55	43.66	縦型	A	W
222	1533	RA05	埋土 N0.4	石匙	4.8	4.8	0.6	12.7	横型	A	W
222	1534	RA05	周溝埋土	石匙	7.8	1.8	0.8	8.82	縦型	A	W
223	1535	RA05pp3	埋土	石匙	4.3	6.4	0.5	12.3	横型	A	W
223	1536	RA06	西半埋土	石匙	3.0	4.8	0.8	8.93	横型	A	W
223	1537	RA06	東側埋土	石匙	4.5	7.4	1.1	28.39	横型	A	W
223	1538	RA07 南北ベルト	埋土1	石匙	6.1	3.2	1.2	11.12	縦型	A	W
223	1539	RA07 南北ベルト	埋土1	石匙	8.8	2.7	1.5	34.74	縦型	A	W
223	1540	RA07	北西埋土上位	石匙	4.8	2.0	0.7	4.89	縦型	A	W
223	1541	RA07	埋土 No.07	石匙	6.9	2.4	0.9	10.58	縦型	A	W
223	1542	RA07	北東埋土下位	石匙	4.7	3.8	0.8	8.63	縦型	A	W
223	1543	RA07	北東埋土下位	石匙	9.0	2.4	1.2	24.02	縦型	A	W
223	1544	RA07	南西埋土下位	石匙	5.9	2.9	0.8	9.76	縦型	A	W
223	1545	RA07	南西埋土下位	石匙	4.5	4.9	0.7	13.82	縦型	H	—
223	1546	RA07	南東埋土下位	石匙	4.2	6.3	0.9	15.65	横型	A	W
224	1547	RA07	北西埋土下位	石匙	2.6	2.5	0.4	1.33	縦型	D	OK
224	1548	RA07	南東埋土下位	石匙	2.5	1.9	0.5	1.55	縦型	D	OK
224	1549	RA07	埋土 No.03	石匙	3.6	1.9	0.5	2.19	縦型	D	OK
224	1550	RA07pp1	埋土	石匙	5.2	4.1	1.0	14.65	縦型	A	W
224	1551	RA07pp11	南半埋土	石匙	5.8	2.3	0.6	6.57	縦型	D	OK
224	1552	RA08	南西埋土上位	石匙	5.9	3.5	0.9	16.46	縦型	A	W
224	1553	RA08	北西埋土	石匙	6.6	3.0	0.8	9.71	縦型	A	W
224	1554	RA08	南東埋土	石匙	6.6	2.6	1.0	10.03	縦型	A	W
224	1555	RA08	南半埋土	石匙	(4.7)	1.7	0.5	(3.76)	縦型	A	W
224	1556	RA08	南東埋土	石匙	5.1	1.2	0.7	3.06	縦型	A	W
224	1557	RA08	南東埋土	石匙	3.8	5.0	0.7	10.50	横型	A	W
224	1558	RA08	西側貼床	石匙	4.9	8.0	0.9	26.30	横型	L	O
224	1559	RA09 南北ベルト	埋土1	石匙	2.7	1.5	0.5	1.47	縦型	D	OK
224	1560	RA09	南半埋土上位	石匙	(5.0)	3.0	0.8	(6.52)	縦型	A	W
224	1561	RA09	南半埋土上位	石匙	0.4	3.7	1.2	36.80	縦型	A	W
225	1562	RA09	南半埋土上位	石匙	9.4	4.2	1.0	29.03	縦型	A	W
225	1563	RA09	南半埋土上位	石匙	2.7	4.9	1.0	12.87	横型	A	W
225	1564	RA09	南半埋土	石匙	3.1	3.1	1.1	7.52	縦型	D	OK
225	1565	RA09	南半埋土	石匙	3.7	4.6	0.7	6.36	縦型	A	W
225	1566	RA09	南半埋土	石匙	3.1	6.6	0.9	14.82	横型	A	W
225	1567	RA09	北半埋土	石匙	4.8	2.8	0.8	11.06	縦型	A	W
225	1568	RA09	床直	石匙	6.3	4.2	1.0	18.08	縦型	A	W
225	1569	RA09pp10	埋土3	石匙	7.8	2.8	1.0	17.25	縦型	A	W
225	1570	RA09pp12	埋土	石匙	2.7	2.0	0.7	2.65	縦型	D	OK
225	1571	RA09pp1	南半埋土	石匙	7.1	5.45	1.2	48.4	縦型	B	W
225	1572	RA10 南北ベルト	埋土1	石匙	6.7	4.3	1.1	22.67	縦型	A	W
226	1573	RA10	南東埋土	石匙	8.4	2.3	0.9	17.3	縦型	A	W
226	1574	RA11	埋土中位1 d 起源	石匙	4.3	5.4	1.0	16.07	縦型	A	W

() は残存値

図版 No.	掲載 No.	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
226	1575	RA12	北半埋土	石匙	6.6	4.4	1.0	20.38	横型	A	W
226	1576	RA12	北半埋土	石匙	3.2	6.7	0.8	13.2	横型	A	W
226	1577	RA12	西半埋土	石匙	4.0	6.5	1.4	29.31	横型	A	W
226	1578	RA13	北西埋土	石匙	6.9	3.1	0.85	19.8	縦型	D	OK
226	1579	RA13	北西埋土	石匙	6.8	2.4	1.6	16.05	縦型	A	W
226	1580	RA13	南東埋土	石匙	5.7	2.6	0.7	7.74	縦型	A	W
226	1581	RA18	北東埋土	石匙	(4.2)	(3.5)	0.9	(9.98)	縦型	A	W
226	1582	RA19	北西埋土上位	石匙	7.0	3.3	1.15	13.1	縦型	L	O
226	1583	RA20	北東部埋土	石匙	9.0	3.9	1.2	33.41	縦型	A	W
226	1584	RA20	南東半埋土	石匙	5.2	4.4	0.7	11.03	縦型	A	W
227	1585	RA21	床直	石匙	5.5	2.4	0.8	6.96	縦型	A	W
227	1586	RA23 南北ベルト	埋土 1	石匙	6.1	2.8	1.0	16.85	縦型	A	W
227	1587	RA23 東西ベルト	埋土 1	石匙	7.5	2.5	1.1	15.90	縦型	A	W
227	1588	RA23 炉上床	埋土上位	石匙	5.1	2.4	0.5	6.15	縦型	A	W
227	1589	RA23	埋土	石匙	7.0	2.6	0.7	11.29	縦型	A	W
227	1590	RA23 ベルト	埋土	石匙	5.7	3.6	0.5	7.53	縦型	A	W
227	1591	RA23	埋土	石匙	(5.5)	2.5	0.7	(8.18)	縦型	A	W
227	1592	RA23 ベルト	埋土	石匙	4.7	1.4	1.0	5.78	縦型	A	W
227	1593	RA23	埋土	石匙	4.0	6.2	1.0	16.15	横型	A	W
227	1594	RA23	埋土	石匙	4.3	6.1	1.3	14.14	横型	A	W
227	1595	RA23	埋土	石匙	4.6	7.0	1.0	17.87	横型	A	W
227	1596	RA23	埋土	石匙	2.9	2.5	0.8	5.07	縦型	G	-
227	1597	RA23	東壁際埋土	石匙	8.3	5.2	1.3	44.25	縦型	A	W
227	1598	RA27pp4	埋土	石匙	2.45	(1.6)	0.45	1.40	縦型	D	OK
228	1599	RD03	南半埋土	石匙	(4.0)	(3.0)	0.9	(5.94)	縦型	D	OK
228	1600	RD05	北半埋土 3	石匙	8.2	4.7	0.8	25.30	縦型	A	W
228	1601	RD05	埋土	石匙	4.2	5.1	0.9	13.23	横型	A	W
228	1602	RD06	北半埋土 2	石匙	4.3	6.75	0.9	14.88	横型	A	W
228	1603	RD06	南半埋土上位	石匙	6.5	2.6	0.7	13.41	縦型	B	W
228	1604	RD09	北半埋土 1	石匙	6.2	2.9	0.9	15.18	縦型	L	O
228	1605	RD16	南半埋土	石匙	(5.2)	5.3	0.7	(13.20)	縦型	A	W
228	1606	RD18	北半埋土	石匙	(5.8)	3.0	0.8	(10.42)	縦型	B	W
228	1607	RD19	南半埋土下位	石匙	5.9	3.1	0.9	8.68	縦型	A	W
228	1608	RD19	南半埋土下位	石匙	6.3	4.0	0.7	17.92	縦型	A	W
229	1609	RD19	南半埋土下位	石匙	3.8	4.9	0.8	10.04	縦型	A	W
229	1610	RD27pp2	埋土	石匙	(5.1)	2.1	0.6	(5.32)	縦型	A	W
229	1611	RD28	埋土	石匙	(4.8)	1.8	0.8	(6.10)	縦型	A	W
229	1612	RD29	北半埋土	石匙	(4.5)	3.9	1.0	(11.96)	縦型	A	W
229	1613	RD30	北半埋土	石匙	5.5	3.5	1.2	16.20	縦型	A	W
229	1614	RD35	東半埋土下位	石匙	4.8	(5.8)	1.2	27.81	横型	B	W
229	1615	RD46	南半埋土	石匙	4.9	3.4	1.0	7.83	縦型	E	-
229	1616	RD47	埋土	石匙	5.4	6.8	6.8	18.61	横型	A	W
229	1617	RD50	南半埋土	石匙	4.2	4.6	0.9	12.90	縦型	A	W
229	1618	RD51	南半埋土 1	石匙	7.5	3.8	1.2	30.58	縦型	A	W
229	1619	B III r23pp6	埋土	石匙	4.5	(4.7)	4.5	10.54	縦型	A	W
230	1620	B IV v02	I	石匙	6.5	3.5	1.0	13.20	縦型	A	W
230	1621	B IV v03	I d-10cm	石匙	7.6	1.6	0.7	5.84	縦型	A	W
230	1622	B IV v04	I d-10cm	石匙	4.3	2.7	0.8	7.75	縦型	D	OK
230	1623	B IV w03	I d-10cm	石匙	9.5	1.5	0.9	13.68	縦型	A	W
230	1624	B IV w06	I e	石匙	10.7	3.0	1.7	39.72	縦型	A	W
230	1625	B IV w07	I d 下位~II	石匙	6.3	1.5	0.7	5.02	縦型	A	W
230	1626	B IV w10	I d-10cm	石匙	6.9	1.8	0.8	6.86	縦型	I	O
230	1627	B IV w11	I d-20cm	石匙	5.9	1.5	0.9	5.72	縦型	A	W
230	1628	B IV y11	I d-10cm	石匙	6.35	9.1	1.5	61.55	横型	A	W
230	1629	C IV a10	II	石匙	3.17	1.7	0.7	4.31	縦型	D	OK

() は残存値

図版 No.	掲載 No.	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
231	1630	RA05	床直上	石篋	8.4	3.1	1.2	34.18	刃部：両面加工	A	W
231	1631	RA05	西半埋土	石篋	8.9	4.2	1.7	64.51	刃部：両面加工	A	W
231	1632	RA23	埋土	石篋	4.85	2.9	0.85	10.39	刃部：両面加工	A	W
231	1633	RA19	南半埋土	石篋	8.3	4.5	1.3	60.38	刃部：片面加工	A	W
231	1634	RA07	南東埋土下位	石篋	7.15	3.65	1.6	53.54	刃部：片面加工	I	W
231	1635	RA08	南西埋土上位	石篋	(5.0)	3.75	1.5	(30.34)	刃部：片面加工	A	W
231	1636	RA09	南半埋土	石篋	6.1	3.5	1.4	25.40	刃部：両面加工	A	W
231	1637	RA09	南半埋土	石篋	6.6	2.8	1.4	24.85	刃部：片面加工	A	W
232	1638	RA15	北半埋土	石篋	5.3	3.4	1.2	26.20	刃部：両面加工	A	W
232	1639	RA19pp6	埋土	石篋	10.2	4.1	2.0	78.98	刃部：両面加工	A	W
232	1640	RA23	埋土	石篋	4.85	2.9	0.85	10.38	刃部：両面加工	A	W
232	1641	RA23	埋土	石篋	5.7	3.5	1.3	23.40	刃部：両面加工	A	W
232	1642	RA24	床面	石篋	7.6	3.6	1.3	40.53	刃部：片面加工	C	W
232	1643	RA12	西半埋土	石篋	7.3	4.1	1.5	54.79	刃部：両面加工	A	W
232	1644	RD04	南半埋土	石篋	5.3	4.0	1.2	22.34	刃部：片面加工	B	W
232	1645	RA07	南西埋土	石篋	7.3	3.7	1.7	43.77	刃部：両面加工	A	W
233	1646	RA04	南西埋土	石篋	7.75	3.25	1.6	43.55	刃部：片面加工	A	W
233	1647	RD30	北半埋土 1	石篋	6.5	4.2	1.4	33.80	刃部：片面加工	J	W
233	1648	RF04	焼土	石篋	8.0	4.0	1.0	36.91	刃部：片面加工	A	W
233	1649	RF04 北側ベルト(c IV k16)		石篋	9.2	4.25	1.0	47.49	刃部：片面加工	A	W
233	1650	RF04	北側ベルト	石篋	7.5	4.0	1.6	37.84	刃部：両面加工	A	W
233	1651	RF04E-E'トレンチ	焼土	石篋	8.85	4.15	2.0	75.35	刃部：片面加工	A	W
234	1652	RA04	埋土	不定形石器	5.7	5.6	2.0	62.18	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1653	RA04	東西ベルトIV	不定形石器	7.6	4.6	2.1	71.00	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1654	RA04	埋土 (南壁際)	不定形石器	5.25	2.75	1.1	14.49	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1655	RA04	POT03	不定形石器	7.8	4.7	1.9	73.77	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1656	RA04pp5	埋土	不定形石器	8.4	6.1	2.1	99.86	刃部：片面の片縁加工	A	W
234	1657	RA05pp13	埋土	不定形石器	9.6	6.2	1.1	57.78	刃部：片面の周縁加工	A	W
234	1658	RA06pp1	埋土	不定形石器	10.1	4.4	1.5	55.16	刃部：片面の1側縁加工	A	W
234	1659	RA07	南北ベルト 1	不定形石器	6.0	3.7	0.9	21.48	刃部：片面の周縁加工	B	W
235	1660	RA07	北東埋土下位	不定形石器	6.75	4.7	1.0	31.11	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1661	RA07	東半埋土下位	不定形石器	5.55	2.5	0.8	10.64	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1662	RA07	北東埋土下位	不定形石器	4.5	6.75	0.8	23.73	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1663	RA07	北西埋土下位	不定形石器	9.35	5.1	2.0	70.28	刃部：片面の1側縁加工	A	W
235	1664	RA07	東半埋土下位	不定形石器	6.4	4.8	1.4	42.18	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1665	RA07	埋土下位～床直	不定形石器	6.5	5.0	1.7	57.44	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1666	RA07pp15	埋土	不定形石器	7.3	4.55	1.6	54.28	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1667	RA08	東西ベルト 1	不定形石器	3.4	2.9	0.7	5.17	刃部：片面の周縁加工	A	W
235	1668	RA08	北西埋土	不定形石器	8.0	4.4	1.8	47.94	刃部：片面の片縁加工	A	W
236	1669	RA08	南東埋土	不定形石器	5.3	10.3	1.7	78.44	刃部：片面の周縁加工	A	W
236	1670	RA09	南半埋土	不定形石器	9.1	3.9	1.6	53.98	刃部：片面の1側縁加工 急斜度	A	W
236	1671	RA09	南半埋土上位	不定形石器	7.6	5.0	1.7	69.55	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1672	RA09	南半埋土上位	不定形石器	8.9	4.0	1.5	43.67	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1673	RA09	東側周溝	不定形石器	9.7	7.5	1.0	80.44	刃部：片面の1側縁加工	A	W
236	1674	RA12	北半埋土下位	不定形石器	8.5	5.4	1.9	78.93	刃部：片面の周縁加工	A	W
237	1675	RA13	南西埋土	不定形石器	8.35	1.5	1.0	13.67	刃部：両面の端部加工 急斜度	A	W
237	1676	RA13	北西埋土	不定形石器	6.0	2.95	1.1	23.46	刃部：片面の両側縁加工	A	W
237	1677	RA14	南西埋土	不定形石器	7.2	4.9	1.6	50.96	刃部：片面の1側縁加工	A	W
237	1678	RA14	南東埋土上位	不定形石器	5.5	11.55	1.7	87.52	刃部：片面の1側縁加工	A	W
237	1679	RA15	埋土	不定形石器	13.3	9.3	1.85	336.28	刃部：片面の周縁加工	A	W
238	1680	RA16	埋土下位	不定形石器	3.95	4.5	1.1	18.19	刃部：片面の1側縁加工	A	W
238	1681	RA19	北西埋土	不定形石器	10.0	4.6	2.6	105.79	刃部：片面の1側縁加工	A	W
238	1682	RA19	埋土床直	不定形石器	8.65	3.4	1.0	21.39	刃部：片面の2側縁加工	I	W
238	1683	RA23	埋土	不定形石器	4.65	3.4	1.1	13.52	刃部：片面の1側縁加工 急斜度	A	W
238	1684	RD06	北半埋土 5	不定形石器	4.6	3.75	1.5	24.10	刃部：片面の周縁加工 急斜度	A	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
238	1685	RD10	西半埋土下位	不定形石器	4.2	2.5	1.5	10.25	刃部：片面の周縁加工	D	OK
238	1686	RD16	南半埋土上位	不定形石器	12.25	6.7	2.4	184.90	刃部：片面の1側縁加工 急斜度	A	W
239	1687	RD16	南半埋土	不定形石器	(8.5)	4.1	2.1	(78.80)	刃部：片面の1側縁加工	A	W
239	1688	RD17	南半埋土	不定形石器	10.0	5.0	2.3	83.46	刃部：片面の1側縁加工	A	W
239	1689	RD27pp2	埋土	不定形石器	6.3	4.7	2.0	57.16	刃部：片面の周縁加工 急斜度 凸刃	A	W
239	1690	RD37	埋土下位(ベルト)	不定形石器	6.9	2.0	0.6	10.17	刃部：片面の周縁加工	A	W
239	1691	B III w25	I d-10cm	不定形石器	(1.8)	1.4	0.4	(1.19)	刃部：片面の1側面の加工	A	W
239	1692	D IV s07	I	不定形石器	5.5	3.1	1.2	94.65	刃部：片面の1側面の加工	A	W
239	1693	RA24	I	両極石器	2.6	2.6	0.9	6.25	2辺一對の剝離	A	W
239	1694	RD08	南西埋土下位	両極石器	1.7	1.7	0.65	2.17	4辺二對の剝離	B	W
239	1695	RD11	西半埋土上位	両極石器	2.1	2.1	0.8	2.87	2辺一對の剝離	A	W
239	1696	RD11	西半埋土上位	両極石器	3.65	3.3	2.8	18.75	2辺一對の剝離	A	W
239	1697	RA09	南半埋土	異形石器	8.5	3.5	1.05	20.17	2段の尖頭部	E	-
240	1698	RF04	E-E' トレンチ焼土	接合剥片	2.4	4.0	1.1	7.35	接合資料1	A	W
240	1699	RF04	E-E' トレンチ焼土	石核	6.3	8.0	5.4	171.16	接合資料1	A	W
241	1700	RF04	焼土	接合剥片	4.2	5.1	1.4	26.65	接合資料2	A	W
241	1701	RF04	焼土中	接合剥片	3.8	5.5	1.0	21.08	接合資料2 細部加工あり	A	W
241	1702	RF04	焼土中	接合剥片	3.7	5.0	1.3	20.10	接合資料2	A	W
241	1703	RF04	焼土	接合剥片	3.9	4.4	1.4	18.85	接合資料2	A	W
242	1704	RF04	焼土	接合剥片	4.4	7.3	1.8	18.21	接合資料3	A	W
242	1705	RF04	焼土	接合剥片	4.3	3.5	1.0	12.85	接合資料3	A	W
242	1706	RF04	焼土	接合剥片	4.8	3.3	1.1	12.93	接合資料3	A	W
242	1707	RF04	焼土上位	接合剥片	5.0	5.2	1.8	33.31	接合資料4	A	W
242	1708	RF04	焼土	接合剥片	5.2	4.5	1.3	27.96	接合資料4	A	W
243	1709	RA04	南西埋土	打製石斧	8.0	2.7	1.85	41.38	両面加工	A	W
243	1710	RA04pp3	北半埋土	打製石斧	8.35	3.5	1.8	51.90	両面加工	X	A
243	1711	RA07	北半埋土	打製石斧	10.9	2.8	1.6	51.48	両面加工	A	W
243	1712	RA08	北半埋土	打製石斧	6.4	2.4	1.6	24.53	両面加工	X	A
243	1713	RA12	ベルト B-B' 1	打製石斧	8.5	5.3	2.3	110.02	両面加工 片刃?	L	M
243	1714	RA23	埋土	打製石斧	16.45	6.2	3.3	504.95	両面周縁加工	Y	OK
244	1715	RA04pp4	東半埋土	磨製石斧	(8.5)	2.6	2.3	(82.32)	縦に半載?	A	W
244	1716	RA05	貼床除去後	磨製石斧	8.5	4.0	1.7	87.0	刃こぼれ?	Y	OK
244	1717	RA06	床直	磨製石斧	(6.0)	4.3	2.2	(92.93)	基部欠損	A	O
244	1718	RA12ベルト B-B'	埋土	磨製石斧	22.05	7.8	4.0	1133.21	大型	Q	O
244	1719	RA18	南半埋土	磨製石斧	10.2	4.15	2.3	181.84	側縁を欠損	A	O
244	1720	RA18	北半埋土	磨製石斧	(7.1)	4.0	2.0	(104.59)	基部欠損	A	O
244	1721	RA22pp6	埋土	磨製石斧	(10.9)	4.75	2.6	(225.89)	基部・刃部欠損	A	O
244	1722	RF04 北側ベルト	埋土	磨製石斧	11.5	5.5	2.6	283.78	基部欠損	C	O
244	1723	RA04	南東埋土	磨製石斧	4.15	2.2	0.9	177.21	石鑿?	A	W
244	1724	RA09	南側床面	磨製石斧	5.7	3.5	0.8	33.27	石鑿?	L	M
245	1725	RA01	南側床面	石錘	7.3	6.8	2.3	150.60	I	N	W
245	1726	RA02	北半埋土	石錘	4.1	6.2	2.2	35.07	II	I	W
245	1727	RA04	南北ベルト2	石錘	7.7	6.8	1.9	146.67	I	R	W
245	1728	RA04	南西埋土	石錘	6.4	5.35	1.5	72.02	I	I	W
245	1729	RA04	南西埋土	石錘	(5.9)	(5.5)	2.1	(72.60)	I, a	T	W
245	1730	RA04	南西埋土	石錘	6.7	(4.45)	1.55	57.47	I, e	N	W
245	1731	RA04	南西埋土	石錘	7.8	6.2	3.25	207.98	I	V	W
245	1732	RA04	南西埋土	石錘	6.8	7.7	2.7	177.21	I	N	W
245	1733	RA04	埋土	石錘	5.8	8.2	2.1	136.84	II	N	W
245	1734	RA05	東半埋土	石錘	10.3	7.8	2.8	334.00	I	N	W
246	1735	RA05	西側埋土	石錘	8.8	6.9	2.35	155.24	I	I	W
246	1736	RA05pp3	埋土	石錘	5.8	5.6	1.6	61.56	I	I	W
246	1737	RA05	床直	石錘	21.1	8.6	2.45	783.07	I'	O	W
246	1738	RA05	貼床除去後	石錘	5.2	5.9	0.35	49.83	II	N	W
246	1739	RA06	東半埋土	石錘	9.5	7.85	1.55	205.10	I	R	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
246	1740	RA09	北半埋土	石錘	6.9	6.65	2.2	115.17	I, c	J	W
246	1741	RA06 南北ベルト	埋土	石錘	5.3	6.45	1.7	60.73	II	T	W
246	1742	RA07	南北ベルト1	石錘	(9.0)	7.05	2.2	(169.74)	I, b	N	W
246	1743	RA07	南北ベルト1	石錘	(8.15)	7.6	2.5	(142.89)	I, b	N	W
247	1744	RA07	東西ベルト1	石錘	6.0	7.4	2.1	108.41	II	N	W
247	1745	RA07	東西ベルト1	石錘	6.2	10.6	2.0	171.50	II	I	W
247	1746	RA07	東西ベルト4	石錘	7.1	7.3	3.1	228.24	II	L	W
247	1747	RA07	南東埋土上位	石錘	11.4	9.3	3.2	469.73	I	R	W
247	1748	RA07	南西埋土上位	石錘	4.7	9.15	2.65	152.08	II 両面に凹み	I	W
247	1749	RA07	南西埋土上位	石錘	7.2	9.1	1.9	209.18	II	R	W
247	1750	RA07	北東埋土上位	石錘	6.2	9.7	1.7	135.03	II	I	W
247	1751	RA07	北東埋土上位	石錘	8.1	6.9	2.5	222.02	I	R	W
247	1752	RA07	埋土	石錘	7.7	6.1	2.75	171.77	I	I	W
247	1753	RA07pp1	埋土	石錘	(5.7)	5.9	2.3	(88.37)	I, b	N	W
248	1754	RA07	埋土	石錘	7.4	10.3	3.5	347.44	II	T	W
248	1755	RA07	埋土	石錘	7.1	9.15	2.9	264.67	II	J	W
248	1756	RA07	埋土	石錘	(8.1)	(7.05)	(1.6)	(100.38)	I, d	M	W
248	1757	RA07	旧円溝埋土	石錘	6.9	8.8	2.2	157.15	II	N	W
248	1758	RA08	南西埋土	石錘	7.6	6.3	2.85	140.97	I	N	W
248	1759	RA08pp8	北半埋土	石錘	6.8	6.2	1.45	98.51	I	R	W
248	1760	RA08	南西埋土	石錘	7.9	5.4	2.55	113.51	I	T	W
248	1761	RA08	南東埋土下位	石錘	8.1	8.0	2.3	186.01	I	I	W
248	1762	RA08	南東埋土下位	石錘	7.35	6.6	2.0	106.26	I	I	W
248	1763	RA08	南東埋土下位	石錘	7.1	8.3	2.1	178.06	I	R	W
249	1764	RA08	埋土下位	石錘	7.5	9.7	2.1	241.79	II	R	W
249	1765	RA08	南西埋土下位	石錘	5.3	5.8	1.8	73.84	II	N	W
249	1766	RA08	南西埋土下位	石錘	7.5	9.85	2.1	277.78	II	R	W
249	1767	RA09	南半埋土上位	石錘	4.65	5.2	1.8	54.72	II	N	W
249	1768	RA09	埋土	石錘	7.8	6.7	1.6	87.34	I	I	W
249	1769	RA09	東西ベルト南側トレンチ	石錘	5.4	7.5	2.3	106.65	II 未製品?	N	W
249	1770	RD09	東西ベルト南トレンチ	石錘	(7.8)	6.1	2.5	(128.20)	I, f	I	W
249	1771	RA09	南半埋土	石錘	9.5	7.8	(2.2)	169.84	I, d	M	W
249	1772	RA09	南半埋土	石錘	5.7	7.9	2.1	152.47	II	N	W
249	1773	RA09	南半埋土	石錘	6.0	10.0	2.05	160.37	II 片面に擦痕あり	I	W
250	1774	RA09	南半埋土	石錘	7.8	9.45	3.2	241.81	II	J	W
250	1775	RA09	北半埋土	石錘	9.0	6.5	2.7	210.51	I	Z	W
250	1776	RA09	北半埋土	石錘	8.4	6.0	2.2	121.49	I	N	W
250	1777	RA09	南半埋土	石錘	9.3	12.2	2.3	341.97	III	M	W
250	1778	RA09	北半埋土	石錘	4.8	6.3	1.3	56.26	II	I	W
250	1779	RA09	南西端埋土	石錘	9.1	10.7	2.5	401.94	II	R	W
250	1780	RA09	北半埋土	石錘	7.9	8.5	2.3	152.07	I	I	W
250	1781	RA09	南半埋土下位	石錘	7.55	8.45	2.25	185.80	II	Z	W
250	1782	RA09pp3	北半埋土	石錘	9.8	7.5	2.6	284.11	I 片面に磨面	I	W
250	1783	RA09pp3	南半埋土	石錘	9.3	7.2	2.2	211.19	I	N	W
251	1784	RA09	床直	石錘	11.4	7.2	2.2	294.77	III	M	W
251	1785	RA09	床直	石錘	8.6	7.1	2.7	188.12	I	J	W
251	1786	RA09	南側床面	石錘	5.0	6.7	1.8	69.99	II	T	W
251	1787	RA10	南東埋土	石錘	7.9	9.3	3.45	231.61	II	Z	W
251	1788	RA10	南東埋土	石錘	9.2	8.6	1.9	206.78	I	N	W
251	1789	RA10	南東埋土	石錘	8.5	7.4	1.8	141.82	I	I	W
251	1790	RA10	南東埋土	石錘	7.9	12.45	2.45	250.97	II	N	W
251	1791	RA10	南東埋土	石錘	12.5	6.55	2.5	234.96	II'	T	W
252	1792	RA10	北西埋土	石錘	14.2	8.5	2.2	444.29	I	M	W
252	1793	RA10pp5	埋土	石錘	7.85	9.7	3.0	268.51	II	J	W
252	1794	RA11	南半埋土上位	石錘	10.3	7.8	3.4	300.13	I	I	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
252	1795	RA11	南半埋土中位1d 起源	石錘	8.25	10.1	2.3	261.64	II		R W
252	1796	RA11	南半埋土中位1d 起源	石錘	9.1	8.9	3.0	347.21	I		M W
252	1797	RA11	南半埋土	石錘	10.0	8.7	(2.65)	330.79	I, d		I W
252	1798	RA12	南半埋土下位	石錘	7.95	6.7	1.8	127.08	I		M W
252	1799	RA11pp1	西半埋土	石錘	4.4	6.1	1.25	45.66	II		J W
253	1800	RA12	ベルト A-A' 1	石錘	4.6	5.5	1.55	53.80	II		I W
253	1801	RA15	埋土	石錘	9.0	7.8	2.0	148.32	I		M W
253	1802	RA12	西半埋土	石錘	10.4	8.35	1.9	237.44	I		I W
253	1803	RA12	東半埋土上位	石錘	5.6	6.7	1.8	95.64	II		N W
253	1804	RA12	北半埋土	石錘	5.5	6.8	2.6	110.55	II		I W
253	1805	RA12	北半埋土	石錘	7.3	6.3	1.9	79.11	I		I W
253	1806	RA12	北半埋土	石錘	10.25	8.35	2.85	335.36	I		R W
253	1807	RA12	北半埋土	石錘	5.0	6.8	1.3	74.80	II		N W
253	1808	RA12	北半埋土	石錘	(11.0)	9.8	2.9	(453.23)	I, d		N W
253	1809	RA12	西半埋土	石錘	5.3	7.1	2.1	107.29	II		R W
254	1810	RA12	北半埋土下位	石錘	4.56	4.9	1.8	62.24	II		N W
254	1811	RA13	ベルト A-A' 2	石錘	7.8	5.5	2.7	134.08	I		I W
254	1812	RA14	北西埋土上位	石錘	8.9	9.8	(2.2)	256.95	II, d		R W
254	1813	RA14	南東埋土上位	石錘	5.4	6.2	1.6	82.44	II		R W
254	1814	RA15	南半埋土	石錘	10.1	9.35	2.3	318.66	I		N W
254	1815	RA15	南半埋土	石錘	(8.05)	(5.6)	2.5	(129.26)	I, c		N W
254	1816	RA15	南半埋土	石錘	5.9	5.8	2.3	100.34	I		R W
254	1817	RA15	埋土	石錘	9.4	8.1	3.1	323.36	I		L W
254	1818	RA15	南半埋土	石錘	6.75	7.2	2.2	141.53	II		N W
254	1819	RA15	南半埋土	石錘	6.7	4.75	2.6	86.92	I		M W
255	1820	RA15	南半埋土	石錘	6.3	9.8	3.1	217.88	II		R W
255	1821	RA15	北半埋土	石錘	6.7	9.1	1.6	152.12	II		R W
255	1822	RA15	南半埋土	石錘	10.1	9.35	2.3	318.66	I		N W
255	1823	RA15	埋土	石錘	7.8	7.5	3.0	188.72	I		O W
255	1824	RA15	埋土	石錘	10.1	7.2	2.4	254.04	I		N W
255	1825	RA15	埋土	石錘	16.15	10.1	2.3	533.47	I'		I W
255	1826	RA15	南半埋土	石錘	7.3	7.1	2.4	201.62	I	片面に擦痕あり	N W
255	1827	RA15	埋土	石錘	4.3	5.15	1.6	51.67	II		N W
255	1828	RA15	埋土	石錘	13.2	10.9	3.0	567.75	I		R W
256	1829	RA15	埋土	石錘	7.0	7.9	2.1	186.91	II		N W
256	1830	RA15	埋土	石錘	8.95	7.9	2.8	269.70	I		N W
256	1831	RA15	埋土	石錘	8.05	7.8	2.6	219.52	II	両面に凹み円錐状兼凹石	J W
256	1832	RA16	埋土下位	石錘	7.7	8.0	2.1	201.35	II		R W
256	1833	RA16	埋土下位	石錘	5.6	6.9	1.9	97.01	II		N W
256	1834	RA17	床面	石錘	9.75	11.55	2.7	453.86	II		R W
256	1835	RA17	床面	石錘	5.3	5.4	2.0	60.82	II		I W
256	1836	RA17	床面	石錘	(9.1)	8.5	2.8	(331.95)	I, b		J W
256	1837	RA18	北半埋土 pot005	石錘	8.3	9.0	2.8	269.00	I		N W
256	1838	RA18	北半埋土	石錘	5.0	6.7	2.7	95.08	II		N W
257	1839	RA19	北西埋土上位	石錘	9.0	9.3	3.7	367.60	I	凹面に凹み	I W
257	1840	RA19	北西埋土	石錘	7.7	8.6	2.7	240.34	II		V W
257	1841	RA19	北西埋土	石錘	9.4	9.55	2.4	254.28	I		N W
257	1842	RA19	北西埋土	石錘	9.1	8.5	1.6	130.09	I	片面に凹み	A W
257	1843	RA19	北西埋土	石錘	4.65	6.15	1.8	53.71	II	一部欠損	N W
257	1844	RA19	北西埋土	石錘	8.4	11.9	2.0	213.14	II		I W
257	1845	RA19	北東埋土	石錘	9.1	8.8	2.1	239.15	I		R W
257	1846	RA19	北東埋土	石錘	7.2	10.2	2.05	218.80	II		R W
257	1847	RA19pp5	埋土	石錘	8.0	7.3	3.3	251.84	I		Z W
257	1848	RA19 炉 2	埋土	石錘	12.5	9.5	2.8	533.01	I		R W
258	1849	RA21	埋土	石錘	6.5	5.7	1.9	91.94	I		I W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
258	1850	RA21	埋土	石錘	11.35	10.55	3.85	558.17	I	V	W
258	1851	RA21	埋土	石錘	8.2	5.05	1.55	74.08	I	I	W
258	1852	RA21	埋土	石錘	5.65	6.75	1.6	90.24	II	I	W
258	1853	RA21	埋土	石錘	(16.0)	(8.8)	(3.95)	(768.82)	I, b	R	W
258	1854	RA21	埋土	石錘	7.4	5.6	2.3	82.97	I	L	W
258	1855	RA21	埋土	石錘	8.0	9.45	3.3	245.49	II	I	W
258	1856	RA21	埋土	石錘	5.6	6.6	1.6	61.03	II	I	W
258	1857	RA21	埋土	石錘	6.9	9.8	2.7	284.25	II 未製品?	N	W
259	1858	RA21	埋土	石錘	8.75	8.0	1.6	158.28	I	R	W
259	1859	RA21pp1	埋土	石錘	9.25	10.6	3.4	434.67	II	V	W
259	1860	RA22pp3	埋土	石錘	10.45	9.2	3.6	405.09	I	I	W
259	1861	RA22pp5	埋土	石錘	(5.2)	(6.5)	1.6	(50.99)	II	N	W
259	1862	RA23	1層上位の攪乱	石錘	8.3	5.2	2.0	101.41	II	J	W
259	1863	RA23	1層上位の攪乱	石錘	5.65	4.9	1.8	69.13	I	J	W
259	1864	RA23	埋土	石錘	7.1	7.7	2.3	166.54	II	N	W
259	1865	RA23	埋土	石錘	9.4	6.0	2.6	156.93	I	I	W
259	1866	RA23	埋土	石錘	7.0	6.35	1.4	91.62	I	N	W
259	1867	RA23	埋土	石錘	4.55	4.95	1.95	53.86	II	Z	W
260	1868	RA23	埋土	石錘	6.1	6.8	2.4	123.46	II	N	W
260	1869	RA23	埋土	石錘	4.9	4.95	2.0	60.03	II	I	W
260	1870	RA23	埋土	石錘	5.0	6.0	2.05	82.88	II	T	W
260	1871	RA23	埋土	石錘	5.2	5.8	1.6	62.64	III	N	W
260	1872	RA23	埋土	石錘	11.6	11.2	3.2	620.45	I	R	W
260	1873	RA23	埋土	石錘	8.2	8.1	1.7	158.35	I	U	W
260	1874	RA23	埋土	石錘	6.5	8.9	1.95	153.40	II 1側縁に敲打痕	I	W
260	1875	RA23	埋土	石錘	7.2	9.6	2.6	260.73	II	M	W
260	1876	RA23	埋土	石錘	5.2	6.1	1.5	68.57	II	J	W
261	1877	RA23	埋土	石錘	4.35	4.95	2.1	65.54	II	U	W
261	1878	RA23	埋土(ベルト)	石錘	9.0	10.7	2.1	258.79	II	M	W
261	1879	RA23	埋土	石錘	5.3	6.6	1.7	64.86	II	I	W
261	1880	RA23	埋土	石錘	7.1	8.55	3.5	136.46	II	M	W
261	1881	RA23	埋土	石錘	7.2	9.1	2.8	161.04	II 片面に凹み、兼凹石	I	W
261	1882	RA23	埋土	石錘	6.7	8.55	2.2	143.60	II'	T	W
261	1883	RA23	埋土	石錘	16.6	8.8	3.2	629.89	II 敲磨器II c(1)2	W	W
261	1884	RA23	埋土	石錘	4.8	6.1	2.05	75.00	II	I	W
261	1885	RA23	埋土上位貼床上	石錘	8.3	5.8	1.8	128.65	I	J	W
262	1886	RA23 炉1	焼土中	石錘	5.1	5.9	2.0	82.99	II	T	W
262	1887	RA23pp3	埋土	石錘	5.4	7.1	2.1	102.60	II	Y	W
262	1888	RA24	埋土	石錘	11.3	8.0	3.8	329.00	I 片面に凹み、円錐状兼凹石	I	W
262	1889	RA24	埋土1	石錘	10.5	7.95	2.55	287.23	I 片面に凹み 円錐状 1端に打欠け	I	W
262	1890	RA24	埋土1	石錘	5.6	5.6	1.95	75.56	I	N	W
262	1891	RA24	埋土1	石錘	6.9	8.5	2.2	211.47	II	I	W
262	1892	RA24	埋土1	石錘	4.7	6.0	1.4	51.80	II	M	W
262	1893	RA24	埋土1	石錘	8.6	(9.5)	3.3	338.04	II, f	N	W
263	1894	RA24	埋土1	石錘	6.35	7.85	2.1	154.84	I	R	W
263	1895	RA24	埋土1	石錘	8.45	8.2	2.15	219.20	I	J	W
263	1896	RA24	埋土	石錘	8.7	8.45	1.95	199.66	I	N	W
263	1897	RA28	床直	石錘	8.9	7.35	2.4	194.90	I 片面に擦痕あり	N	W
263	1898	RA29pp2	埋土	石錘	10.5	7.3	1.7	160.32	I	N	W
263	1899	RD04	北半埋土2	石錘	7.9	(5.6)	2.45	137.32	I, c	N	W
263	1900	RD06	南半埋土中位	石錘	8.9	9.3	3.5	361.32	II	Y	W
263	1901	RD06	北半埋土	石錘	5.95	7.3	1.7	92.08	II	I	W
263	1902	RD06	北半埋土5	石錘	6.4	8.8	2.6	182.27	II 片面に擦痕あり	N	W
263	1903	RA06	北半埋土5	石錘	6.8	7.7	1.75	142.81	II	R	W
264	1904	RD06	南半埋土下位	石錘	6.9	(8.3)	(1.3)	93.16	II, d	R	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
264	1905	RD06	北半埋土下位	石錘	4.65	6.85	1.9	64.97	II	N	W
264	1906	RD09	西半埋土下位	石錘	4.9	6.0	1.6	60.83	II	I	W
264	1907	RD10	西半埋土上位	石錘	8.1	7.2	2.0	168.0	I	N	W
264	1908	RD11	西半埋土	石錘	(7.1)	(7.9)	3.25	(127.71)	II, d	I	W
264	1909	RD11	西半埋土2	石錘	4.35	5.2	1.55	44.35	II	I	W
264	1910	RD11	西半埋土	石錘	5.1	5.9	2.3	85.48	II	N	W
264	1911	RD11	西半埋土	石錘	5.0	6.0	2.05	89.67	II	N	W
264	1912	RD11	西半埋土	石錘	5.7	6.8	1.95	86.31	II	N	W
264	1913	RD11	南半埋土上位	石錘	9.25	7.45	2.2	222.62	I	N	W
265	1914	RD12	北半埋土1	石錘	5.3	6.5	1.45	69.61	II	I	W
265	1915	RD17	南半埋土	石錘	9.3	7.1	3.2	289.49	I	N	W
265	1916	RD19	南半埋土上位	石錘	7.0	6.7	2.65	160.93	I	N	W
265	1917	RD31	北半埋土1	石錘	5.4	5.85	2.15	102.28	II	U	W
265	1918	RD31	南半埋土	石錘	6.0	7.0	2.2	88.58	II	I	W
265	1919	RD32	南半埋土	石錘	8.2	7.8	2.55	193.82	I一部欠損	I	W
265	1920	RD37	埋土上位	石錘	9.0	7.75	2.3	227.16	I	I	W
265	1921	RD37	南半埋土	石錘	7.3	7.4	2.25	150.45	II'	I	W
265	1922	RD37	南半埋土	石錘	7.3	9.4	2.3	177.55	II	I	W
265	1923	RD37	南半埋土	石錘	7.9	8.2	1.95	168.22	II	I	W
266	1924	RD37	南半埋土	石錘	10.85	8.9	2.6	387.78	I	Z	W
266	1925	RD37	南半埋土	石錘	5.8	6.4	1.7	75.93	II	I	W
266	1926	RD37	南半埋土	石錘	7.5	6.5	1.4	94.69	I	R	W
266	1927	RD37	北半埋土	石錘	14.3	10.3	3.5	693.31	III	Z	W
266	1928	RD37	南半埋土	石錘	6.0	5.55	2.05	96.98	I	N	W
266	1929	RD37	埋土下位 (ベルト)	石錘	10.9	9.7	3.55	439.87	I	T	W
266	1930	RD37	埋土下位 (ベルト)	石錘	9.9	10.9	2.4	426.72	II	R	W
266	1931	RD42	南半埋土	石錘	7.6	7.15	1.9	159.83	I	N	W
267	1932	RD51	南半埋土1	石錘	(7.45)	(6.8)	2.2	(129.00)	II, b	N	W
267	1933	RD51	北半埋土	石錘	5.1	6.0	2.3	96.93	II	Z	W
267	1934	RF04	焼土中	石錘	8.2	6.4	1.95	127.80	II	T	W
267	1935	RF04	E-E付近焼土	石錘	7.7	5.3	1.5	64.92	I	T	W
267	1936	B III q23-pp1	埋土	石錘	4.0	4.2	1.5	23.11	I'	O	W
267	1937	B III q23-pp1	埋土	石錘	6.0	6.7	2.5	145.61	II	O	W
267	1938	B IV q07-pp2	埋土	石錘	5.75	7.25	2.4	149.05	II	J	W
267	1939	B IV n01-pp1	埋土	石錘	9.7	7.3	3.2	264.36	I	N	W
267	1940	B IV w03	I e	石錘	5.7	6.0	1.6	71.18	I	J	W
267	1941	B IV x07	I d-10cm	石錘	8.8	8.75	2.1	217.98	I	J	W
268	1942	RA05	西半埋土	敲磨器 Aa	14.5	8.5	4.3	737.84	両面に磨面	N	W
268	1943	RA19	北西埋土	敲磨器 Aa	11.8	6.3	4.5	457.85	片面に磨面	N	W
268	1944	RD02	南半埋土-20cm	敲磨器 Aa	8.9	8.1	6.9	690.78	両面に磨面	N	W
268	1945	RD03	南半埋土	敲磨器 Aa	(5.2)	(10.4)	(6.8)	(500.13)	片面に磨面	N	W
268	1946	RD04	北半埋土2	敲磨器 Aa	10.4	7.7	5.5	619.48	両面に磨面	N	W
268	1947	RD08	東半埋土下位	敲磨器 Aa	9.2	8.4	5.3	628.99	両面に磨面	N	W
269	1948	RA05pp2	埋土	敲磨器 Ab	(11.8)	9.0	4.7	(680.60)	両面に磨面 一端に敲打痕 焼成	U	W
269	1949	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ab	19.0	7.7	5.3	1061.93	一端に敲打痕	N	W
269	1950	RA07	南西埋土上位	敲磨器 Ab	15.2	3.9	2.7	265.57	両端に敲打痕	Y	A?
269	1951	RA09	南半埋土	敲磨器 Ab	9.5	9.0	3.85	424.28	周縁に敲打痕	N	W
269	1952	RA09	西側床直	敲磨器 Ab	10.1	7.5	5.0	484.52	一端に敲打痕、両面に磨面	N	W
269	1953	RA11	埋土中位 (I d 起源)	敲磨器 Ab	(7.4)	3.2	3.1	(73.36)	一端に敲打痕	J	W
269	1954	RA11	南側周溝埋土	敲磨器 Ab	10.2	9.0	5.0	666.81	一端に敲打痕	U	W
270	1955	RA02	東半埋土	敲磨器 Ac	(6.2)	(7.0)	(6.75)	(218.84)	両面に浅い凹み	Z	W
270	1956	RA04	埋土	敲磨器 Ac	(8.0)	9.0	3.4	(284.63)	両面に凹み 円錐状	N	W
270	1957	RA04	南西埋土	敲磨器 Ac	9.5	4.5	3.65	210.11	片面に凹み	N	W
270	1958	RA04	南西埋土	敲磨器 Ac	9.2	7.1	4.5	381.95	両面に凹み 円錐状	N	W
270	1959	RA04	南半埋土	敲磨器 Ac	10.8	8.6	4.5	595.37	両面に磨面 両面に凹み 焼成痕あり	U	W

() は残存値

図版 No.	掲載 No.	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
270	1960	RA04	南東埋土ウメ土	敲磨器 Ac	(10.8)	6.7	3.0	(269.38)	両面に凹み 溝状 1側縁に擦痕	I	W
270	1961	RA04	東西ベルト4	敲磨器 Ac	(9.0)	(5.5)	3.7	(210.31)	両面に凹み 溝状	N	W
270	1962	RA04	東西ベルトIV	敲磨器 Ac	10.0	8.5	4.1	489.55	両面に磨面 凹み	U	W
271	1963	RA04 pp6	埋土	敲磨器 Ac	9.15	8.25	4.15	461.12	両面に凹み 溝状 1側縁に敲打痕	U	W
271	1964	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	12.0	7.0	3.5	378.85	片面に敲打痕	N	W
271	1965	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	9.9	9.35	4.7	629.86	両面に浅い凹み 一部欠損	N	W
271	1966	RA05 pp1	北半埋土	敲磨器 Ac	(7.85)	6.85	4.65	(258.39)	両面に凹み 円錐状	I	W
271	1967	RA05 pp2	南半埋土	敲磨器 Ac	11.75	5.6	3.2	240.50	両面に凹み 溝状	N	W
271	1968	RA05 pp10	埋土	敲磨器 Ac	13.3	11.5	8.0	1985.55	S No.01 両面に凹み 円錐状	N	W
272	1969	RA05 pp14	埋土	敲磨器 Ac	(10.5)	(6.5)	3.3	(233.46)	両面に凹み 溝状	T	W
272	1970	RA05	周溝埋土	敲磨器 Ac	(9.1)	9.7	4.8	(551.13)	両面に凹み 溝状	N	W
272	1971	RA06	東側埋土	敲磨器 Ac	10.7	9.5	6.0	827.81	片面に凹み 浅皿状	N	W
272	1972	RA06	東側埋土	敲磨器 Ac	12.9	10.5	5.25	877.46	両面に凹み 円錐状	N	W
272	1973	RA06	西半埋土	敲磨器 Ac	11.3	7.7	4.4	485.18	両面に凹み 円錐状	T	W
273	1974	RA07	南北ベルト	敲磨器 Ac	9.3	(7.5)	3.5	309.75	両面に凹み 円錐状	N	W
273	1975	RA07	埋土	敲磨器 Ac	11.5	8.6	4.55	616.63	片面に凹み	N	W
273	1976	RA07	南西埋土	敲磨器 Ac	9.75	6.5	1.8	149.41	両面に凹み 円錐状	W	W
273	1977	RA07	北東埋土上位	敲磨器 Ac	11.25	7.25	2.95	380.24	両面に凹み 稜点状 1側縁に磨面	U	W
273	1978	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ac	11.6	8.3	4.0	597.84	両面に磨面 片面凹み	U	W
273	1979	RA07 No20	埋土	敲磨器 Ac	15.3	11.0	4.8	789.13	両面に凹み 溝状 1側縁が磨っている	N	W
274	1980	RA08	北西埋土	敲磨器 Ac	10.2	7.9	4.5	386.71	両面に凹み 溝状	J	W
274	1981	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	7.7	7.4	3.3	253.46	両面に敲打痕 両面に磨面	U	W
274	1982	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	10.7	5.7	2.5	220.91	片面に敲打痕	W	W
274	1983	RA08	南西埋土下位	敲磨器 Ac	8.8	7.8	6.7	564.22	両面に浅い凹み	N	W
274	1984	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	(8.1)	(7.8)	2.85	(176.74)	片面に凹み 溝状	N	W
274	1985	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	9.9	5.75	2.1	135.52	両面に浅い凹み	I	W
274	1986	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	11.0	7.7	2.9	371.66	両面に凹み 溝状	I	W
274	1987	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	8.5	8.0	5.8	484.04	片面に浅い凹み 円錐状	N	W
275	1988	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	10.9	7.7	3.9	455.16	両面に凹み 円錐状 1側縁に擦面	N	W
275	1989	RA09	南半埋土	敲磨器 Ac	12.0	6.7	2.95	276.76	両面に凹み 溝状 1側縁に敲打痕	M	W
275	1990	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	(11.7)	6.5	4.4	(413.80)	片面に凹み 円錐状	N	W
275	1991	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	10.95	5.7	2.9	240.80	両面に凹み 溝状	I	W
275	1992	RA09	南半埋土下位	敲磨器 Ac	11.2	8.1	5.0	654.75	片面に凹み 円錐状	N	W
275	1993	RA09	埋土	敲磨器 Ac	11.0	9.45	5.2	767.31	両面に凹み 溝状 片面に磨面	U	W
276	1994	RA09	埋土	敲磨器 Ac	14.4	14.0	8.6	2100.29	片面に凹み 円錐状	N	W
276	1995	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器 Ac	10.0	9.1	4.8	637.66	両面と磨面 側縁を磨っている焼成痕	U	W
276	1996	RA09 pp4	南半埋土	敲磨器 Ac	12.1	9.0	4.3	737.16	片面に凹み 円錐状 2側縁に磨面	U	W
276	1997	RA09 pp12	埋土	敲磨器 Ac	14.25	6.1	3.6	483.50	両面に浅い凹み	N	W
276	1998	RA09 pp16	埋土	敲磨器 Ac	9.7	7.0	5.7	512.43	両面に凹み 円錐状	N	W
277	1999	RA10	埋土	敲磨器 Ac	13.8	6.85	3.9	507.84	両面に凹み 溝状 片面に磨面	N	W
277	2000	RA10	南東埋土	敲磨器 Ac	14.1	6.2	3.75	442.08	両面に凹み 溝状 1端に敲打痕	N	W
277	2001	RA11	南東埋土	敲磨器 Ac	10.5	6.3	3.7	375.97	両面に磨面 凹み 溝状 1側縁に擦面	U	W
277	2002	RA11	床直 No.2	敲磨器 Ac	15.7	5.5	3.4	394.40	両面に凹み 溝状 1側縁に擦面	N	W
277	2003	RA12	西半埋土	敲磨器 Ac	11.2	6.9	3.2	293.27	両面に敲打痕	N	W
277	2004	RA12	南半埋土下位	敲磨器 Ac	10.2	8.4	3.8	418.85	両面に凹み 円錐状	N	W
277	2005	RA13	ベルト A-A' 2	敲磨器 Ac	10.0	5.0	3.95	234.44	両面に凹み 溝状	N	W
277	2006	RA13	炉焼土 Pit	敲磨器 Ac	(5.8)	6	2.3	(89.68)	両面に凹み 溝状	I	W
278	2007	RA14	北西埋土	敲磨器 Ac	10.1	8.1	6.3	572.89	片面に凹み 円錐状 片面に磨面	T	W
278	2008	RA14 pp2	埋土	敲磨器 Ac	15.65	7.0	4.7	519.26	両面に凹み 溝状	N	W
278	2009	RA15	埋土ベルト2	敲磨器 Ac	13.9	7.3	3.1	415.21	両面に敲打痕	L	W
278	2010	RA15	埋土	敲磨器 Ac	14.0	7.5	5.0	589.90	両面に凹み 円錐状	Z	W
278	2011	RA15	南半埋土	敲磨器 Ac	10.05	7.20	3.35	314.74	両面に凹み 円錐状	T	W
278	2012	RA16	埋土下位	敲磨器 Ac	10.3	6.25	2.5	219.51	両面に凹み 円錐状	N	W
279	2013	RA17	埋土	敲磨器 Ac	(6.8)	7.5	3.2	(250.15)	両面に浅い凹み	N	W
279	2014	RA18	南半埋土	敲磨器 Ac	11.2	8.3	4.8	701.66	両面に磨面 1側縁に擦面	U	W

() は残存値

図版 No.	掲載 No.	遺 構 名	層 位	器 種	計 測 値 (cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
279	2015	RA19	北西埋土上位	敲磨器 Ac	12.5	6.25	3.2	318.35	両面に凹み 溝状	N	W
279	2016	RA19	北西埋土	敲磨器 Ac	10.8	3.25	2.55	148.55	片面に凹み 溝状 擦痕あり	I	W
279	2017	RA20	東西ベルト埋土	敲磨器 Ac	10.4	7.5	4.6	468.95	両面に磨面	N	W
279	2018	RA21	埋土	敲磨器 Ac	11.9	5.5	3.2	200.39	両面に凹み 溝状	N	W
279	2019	RA21	埋土	敲磨器 Ac	11.4	8.6	4.7	587.13	両面に円錐状 1端に敲打痕	T	W
280	2020	RA22	埋土	敲磨器 Ac	11.25	8.5	5.2	722.25	片面に凹み 斑点状?	N	W
280	2021	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(8.5)	7.0	2.3	(233.12)	片面に凹み 溝状	N	W
280	2022	RA23	埋土	敲磨器 Ac	14.1	6.5	2.0	276.83	両面に凹み 斑点状	N	W
280	2023	RA23	埋土	敲磨器 Ac	10.2	7.3	5.0	347.79	両面に凹み 円錐状	I	W
280	2024	RA23	埋土	敲磨器 Ac	10.95	6.5	2.1	179.65	両面に凹み 溝状	M	W
280	2025	RA23	埋土	敲磨器 Ac	9.8	6.9	2.35	221.29	両面に凹み 円錐状 片面に磨面	N	W
280	2026	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(9.0)	(8.1)	(6.1)	(333.65)	片面に凹み 円錐状	I	W
280	2027	RA23	埋土	敲磨器 Ac	(7.7)	(7.5)	4.2	(240.45)	両面に凹み 溝状	I	W
281	2028	RA23	埋土上位貼床上	敲磨器 Ac	(6.9)	6.9	3.7	(233.89)	兼擦石 片面に凹み 円錐状	N	W
281	2029	RA24	埋土 1	敲磨器 Ac	18.5	6.5	4.4	591.57	4面に凹み	I	W
281	2030	RD02	北半埋土 2	敲磨器 Ac	9.0	7.4	5.2	293.0	片面円錐状	S	W
281	2031	RD05	北半埋土 3	敲磨器 Ac	9.7	8.7	5.2	457.74	両面に浅い凹み 片面に磨面	N	W
281	2032	RD12	南半埋土 2	敲磨器 Ac	11.5	8.0	4.0	539.38	一側縁に擦面 片面に磨面	U	W
281	2033	RD12	南半埋土 3	敲磨器 Ac	12.5	8.2	4.0	450.78	両面に凹み 円錐状 両面に磨面	Z	W
282	2034	RD13	西半埋土	敲磨器 Ac	12.4	6.3	4.1	451.83	両面に浅い凹み	M	W
282	2035	RD19	南半埋土上位	敲磨器 Ac	10.8	(7.2)	3.8	448.17	片面に磨面 片面に凹み 一側縁に磨面	U	W
282	2036	RD30	北半埋土	敲磨器 Ac	10.0	6.6	4.4	317.26	3面に凹み 円錐状	T	W
282	2037	RD32(A区)	埋土 No.9	敲磨器 Ac	8.2	7.5	4.2	307.15	両面に浅い敲打痕	T	W
282	2038	RD32	床直上床上5cmの埋土	敲磨器 Ac	10.7	5.6	4.8	351.85	両面に敲打痕	Z	W
282	2039	RD34	南半埋土 1	敲磨器 Ac	10.6	9.9	5.3	619.99	片面に凹み	N	W
282	2040	RD35	北半埋土	敲磨器 Ac	11.9	5.9	4.2	310.34	両面に凹み 円錐状	T	W
283	2041	RD35	北半埋土	敲磨器 Ac	10.75	(6.9)	6.3	552.04	2面に凹み 円錐状	I	W
283	2042	RD37	南半埋土	敲磨器 Ac	11.0	6.4	3.0	328.06	両面に浅い凹み 両端に敲打痕	I	W
283	2043	RF04	焼土	敲磨器 Ac	11.5	10.1	4.4	798.03	片面に凹み 円錐状	N	W
283	2044	RZ05	I d-30cm	敲磨器 Ac	(10.0)	(8.95)	5.4	(475.15)	両面に凹み 円錐状 両面に磨面	N	W
283	2045	B III u23 pp1	埋土	敲磨器 Ac	13.3	5.2	2.4	201.23	片面に凹み 円錐状	R	W
283	2046	B III u23 pp3	埋土	敲磨器 Ac	(7.9)	8.5	3.4	(259.48)	両面に凹み 円錐状	T	W
284	2047	RA01 pp1	埋土	敲磨器 B	13.2	7.6	4.85	583.63	II a(1)1	N	W
284	2048	RA04	北西埋土	敲磨器 B	13.85	6.8	5.5	713.52	I a(1)1	N	W
284	2049	RA04	北西埋土	敲磨器 B	14.3	7.9	5.6	750.91	I a(1)1e	N	W
284	2050	RA04 pp2	南半埋土	敲磨器 B	14.45	6.7	6.2	832.69	I a(1)1	N	W
284	2051	RA05	埋土	敲磨器 B	(16.0)	8.4	4.8	(923.75)	I a(1),b	R	W
284	2052	RA05	南側埋土	敲磨器 B	21.05	6.95	5.0	841.69	I a(1)1	N	W
285	2053	RA05	南側埋土下位	敲磨器 B	14.55	9.1	6.0	1111.43	I a(2)1	N	W
285	2054	RA05	埋土 No.5	敲磨器 B	13.95	7.3	5.3	713.38	I a(1)1	N	W
285	2055	RA05	床直	敲磨器 B	11.4	5.6	3.6	363.25	II a(2)1 両面に擦面	R	W
285	2056	RA05	埋土 Pot02	敲磨器 B	14.5	6.4	5.1	704.98	I a(1)1	W	W
285	2057	RA05	南側埋土(貼床下)	敲磨器 B	13.65	6.3	6.1	721.75	I a(1)1	N	W
285	2058	RA05	貼床除去後	敲磨器 B	15.3	7.2	5.15	879.27	I a(1)1	R	W
286	2059	RA11	南半埋土中位 1d起源	敲磨器 B	(15.2)	7.9	5.7	(811.91)	II a(1)1 片面に磨面	N	W
286	2060	RA05 pp2	北半埋土	敲磨器 B	21.5	7.5	5.1	1075.81	I a(1)1	M	W
286	2061	RA05 pp5	北半埋土	敲磨器 B	15.0	6.2	5.9	756.54	I a(1)1	N	W
286	2062	RA05 pp5	埋土	敲磨器 B	13.8	5.7	5.3	620.43	I a(1)1	N	W
286	2063	RA05 pp10	埋土 S No.2	敲磨器 B	16.9	6.45	3.45	595.32	II a(1)1	R	W
286	2064	RA06	西半埋土	敲磨器 B	(13.3)	6.6	5.6	(703.84)	I a(1)1,b	N	W
287	2065	RA07	南北ベルト 1	敲磨器 B	14.1	7.1	4.5	607.82	I a(1)1	W	W
287	2066	RA07	南西埋土	敲磨器 B	12.4	7.7	6.1	654.77	I a(1)1	N	W
287	2067	RA07	南西埋土	敲磨器 B	11.7	7.0	5.3	406.71	I a(1)1 片面に浅い凹み	N	W
287	2068	RA07	北東埋土	敲磨器 B	14.5	7.2	7.1	852.59	I a(1)1	N	W
287	2069	RA07	埋土 No.1	敲磨器 B	(8.2)	6.9	5.2	(481.42)	I a(1)1,e	N	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	高さ				
287	2070	RA07 pp15	南半埋土	敲磨器 B	20.45	8.4	6.0	1432.49	I a(1)1	N	W
287	2071	RA07 pp15	南半埋土	敲磨器 B	12.25	6.8	5.5	647.56	I a(1)1	N	W
288	2072	RA08 pp3	南半埋土	敲磨器 B	18.9	7.2	5.8	1143.26	I a(1)1,d	N	W
288	2073	RA09 pp7	埋土	敲磨器 B	19.6	7.0	6.2	1150.43	I a(2)1	N	W
288	2074	RA09	埋土1	敲磨器 B	11.4	4.9	2.7	234.59	II a(1)1	M	W
288	2075	RA09	南西端埋土	敲磨器 B	13.55	7.75	3.7	628.48	II a(1)1	N	W
288	2076	RA09	南半埋土	敲磨器 B	(10.2)	6.65	5.9	(445.40)	I a(1)1,d	Z	W
288	2077	B IV X11 pp1	埋土	敲磨器 B	15.5	8.1	7.1	1114.30	II a(1)1	W	W
288	2078	RA05	南半埋土(貼床下)	敲磨器 B	14.3	8.5	4.9	771.96	II a(1)1 片面に磨面	N	W
289	2079	RA09	南半埋土下位	敲磨器 B	12.5	7.1	5.8	735.42	I a(2)1	N	W
289	2080	RA15	埋土	敲磨器 B	15.3	6.0	6.7	701.43	I a(1)1 片面に浅い凹み磨面	N	W
289	2081	RA11	南半埋土	敲磨器 B	16.3	6.6	6.2	863.29	I a(1)1	N	W
289	2082	RA09	南側床直	敲磨器 B	15.8	6.4	5.8	843.96	I a(1)1	N	W
289	2083	RA09	南半埋土下位	敲磨器 B	15.1	9.35	5.5	951.79	I a(1)1	N	W
289	2084	RA09 pp2 北側	西側周溝埋土	敲磨器 B	(16.7)	8.4	6.2	(1121.54)	I a(1)1,d	W	W
290	2085	RA09 pp1	南半埋土	敲磨器 B	(22.1)	(7.5)	(3.2)	(897.81)	II a(1)1,f	R	W
290	2086	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器 B	15.8	8.8	6.85	1330.65	I a(1)1	N	W
290	2087	RA09 pp4	南半埋土	敲磨器 B	14.05	7.5	6.1	859.70	I a(1)1	N	W
290	2088	RA09 pp6	北半埋土	敲磨器 B	(12.45)	8.1	6.9	(848.40)	I a(1)1,e	N	W
290	2089	RA09 pp6	南半埋土	敲磨器 B	12.4	6.2	4.6	493.52	I a(1)1	L	W
290	2090	RA09	北半埋土	敲磨器 B	18.3	3.75	4.2	711.10	I b(1)1	R	W
290	2091	RA09 pp17	埋土	敲磨器 B	17.2	7.1	4.1	695.26	I a(1)1	N	W
291	2092	RA09	南半埋土下位	敲磨器 B	14.7	7.3	6.0	917.09	I a(1)1	N	W
291	2093	RA11	南半埋土	敲磨器 B	12.45	(7.65)	2.5	276.41	II a(1)1,b 両面に凹み 溝状 1側縁に磨面	N	W
291	2094	RA24	埋土1	敲磨器 B	11.8	6.2	5.8	566.90	I a(1)1	U	W
291	2095	RA09	南半埋土	敲磨器 B	21.0	7.75	4.8	986.50	I b(1)1	I	W
291	2096	RA11	南半埋土上位 1 d 起源	敲磨器 B	13.5	7.0	4.05	609.51	II a(1)1 両面に浅い凹み 1側縁に磨面	U	W
291	2097	RA23	埋土(RA29 貼床下)	敲磨器 B	16.2	8.6	5.9	957.21	II a(1)1	N	W
292	2098	RA12	ベルト B-B' 1	敲磨器 B	16.35	8.15	7.25	1227.01	I a(1)1	N	W
292	2099	RA12	ベルト B-B'	敲磨器 B	(9.9)	6.4	5.6	(491.98)	I a(1)1,d	N	W
292	2100	RA13	埋土下位	敲磨器 B	14.0	7.5	3.6	523.85	II a(1)1	N	W
292	2101	RA13	埋土	敲磨器 B	(13.2)	7.6	6.3	(893.85)	I a(1)1,d	U	W
292	2102	RA14	B-B' 1	敲磨器 B	16.3	8.0	5.5	953.76	II a(1)1	N	W
292	2103	RA14	北西埋土上位	敲磨器 B	13.5	7.7	5.5	675.76	I a(1)1 両面に浅い凹み	N	W
292	2104	RA14	北西埋土	敲磨器 B	13.65	8.75	4.7	643.35	I a(1)1	N	W
293	2105	RA15	埋土	敲磨器 B	17.2	6.9	6.4	885.07	I a(2)1	N	W
293	2106	RA11	南半埋土	敲磨器 B	13.3	6.7	4.5	516.86	II a(1)1	N	W
293	2107	RA15	埋土	敲磨器 B	(13.0)	6.9	4.5	(471.63)	II a(1)1 両面に敲打痕	N	W
293	2108	RA19	埋土下位	敲磨器 B	15.0	9.75	6.8	1189.50	I a(1)1,e	N	W
293	2109	RA19	北東埋土	敲磨器 B	7.2	8.75	7.55	1229.74	I a(1)1	N	W
293	2110	RA19 pp11	埋土	敲磨器 B	13.3	5.9	4.7	479.70	I b(1)1 片面に浅い凹み	N	W
294	2111	RA20 A 区	埋土上位	敲磨器 B	12.3	6.3	(4.3)	442.11	I a(2)1 一部欠損	N	W
294	2112	RA20	埋土上位	敲磨器 B	16.3	7.1	3.9	617.94	II a(1)1	N	W
294	2113	RA21	埋土	敲磨器 B	(8.5)	6.1	3.45	(237.18)	I a(1)1,d 面に凹み円縁状側縁に磨面	N	W
294	2114	RA21 pp1	埋土	敲磨器 B	9.9	8.8	6.9	667.54	I b(1)1,e	V	W
294	2115	RA22	埋土	敲磨器 B	8.6	6.7	5.3	430.28	I a(1)1,e	N	W
294	2116	RA23	1 上位攪乱	敲磨器 B	13.4	11.4	6.5	1117.52	I a(1)1	N	W
295	2117	RA23	埋土	敲磨器 B	(10.6)	7.0	7.0	(578.03)	I a(1)1,e	N	W
295	2118	RA23	埋土	敲磨器 B	(14.8)	8.5	6.8	(895.10)	I b(1)1,b	L	W
295	2119	RA23	埋土	敲磨器 B	13.2	5.15	3.6	354.74	II a(1)1	N	W
295	2120	RA23	埋土	敲磨器 B	12.3	6.6	5.2	577.85	I a(1)1	N	W
295	2121	RA23	埋土	敲磨器 B	12.7	7.4	5.1	671.33	III a(2)1	N	W
295	2122	RA23	埋土	敲磨器 B	16.2	8.6	5.9	957.21	III a(2)1	N	W
296	2123	RA09	東西ベルト 2	敲磨器 B	12.1	6.8	5.5	577.66	I a(1)1	N	W
296	2124	RA24	埋土 1	敲磨器 B	(11.5)	6.25	5.1	(427.87)	I a(1)1,d	M	W

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
296	2125	RA28 pp2	埋土	敲磨器 B	(12.5)	5.85	3.9	(472.12)	I a(1)1,b	R	W
296	2126	RA29	床直	敲磨器 B	12.35	9.6	6.1	683.46	II a(1)1	N	W
296	2127	RD01	北半埋土	敲磨器 B	(15.9)	8.65	5.55	(176.96)	I a(1)1	R	W
296	2128	RD02	南半埋土上位	敲磨器 B	11.6	8.0	4.55	594.91	II a(1)1	N	W
296	2129	RD02	南半埋土下位	敲磨器 B	15.0	8.2	5.2	754.92	II a(1)1 片面に磨面	N	W
297	2130	RD06	南半埋土上位	敲磨器 B	(12.6)	7.6	5.8	(674.20)	I a(1)1,d	Z	W
297	2131	RD14	埋土上位	敲磨器 B	23.05	8.0	4.3	1292.83	II b(1)1	Z	W
297	2132	RD19	南半埋土上位	敲磨器 B	17.9	9.0	5.25	1132.46	I a(1)1 片面に敲打痕	R	W
297	2133	RD19	南半埋土上位	敲磨器 B	(10.4)	(6.6)	5.5	(428.47)	I a(2)1,e	Z	W
297	2134	RD26	北半埋土	敲磨器 B	16.3	9.8	8.3	1184.65	I a(1)1 片面に凹み 円錐状	Z	W
298	2135	RD32	北半埋土	敲磨器 B	13.25	6.9	4.55	573.49	I a(1)1	N	W
298	2136	RD32	床直上~床直上5cmの雑土No.13	敲磨器 B	(15.3)	6.5	3.9	(579.07)	II b(1)1,b	N	W
298	2137	RD34	南半埋土 1	敲磨器 B	(10.4)	6.85	6.15	(517.04)	I a(1),d	I	W
298	2138	RD48	東半埋土	敲磨器 B	(10.4)	7.65	5.4	(672.15)	I a(1)1,e 両面に敲打痕	N	W
298	2139	RH01 No.15	埋土	敲磨器 B	12.0	6.8	6.3	726.81	I a(1)1	N	W
298	2140	RA09	埋土床面	敲磨器 B	14.85	9.8	6.8	1519.94	I a(1)1	N	W
299	2141	RA11	南半埋土	敲磨器 B	14.7	6.7	5.1	735.44	I a(1)1	R	W
299	2142	RA05	南側埋土	敲磨器 B	9.5	3.9	1.85	95.40	II c(1)1	A	W
299	2143	RA07	北西埋土	敲磨器 B	11.4	6.9	4.1	389.55	II b(1)1	N	W
299	2144	RA09	南半埋土	敲磨器 B	16.3	8.1	3.8	787.90	II c(1)1	I	W
299	2145	RA09	西脇 pp	敲磨器 B	(10.3)	7.6	4.5	(498.25)	II b(1),d	N	W
299	2146	RA09 pp3	南半埋土	敲磨器 B	16.3	8.0	2.6	616.99	III a(1)2	R	W
300	2147	RA11	南半埋土	敲磨器 B	(15.5)	7.5	2.8	(614.80)	III a(2)1 一部欠損	R	W
300	2148	RA11	南半埋土中位 1d 起源	敲磨器 B	16.1	8.7	5.3	616.35	I b(1)1	J	W
300	2149	RA13	北東埋土	敲磨器 B	15.0	8.5	2.9	530.73	II b(1)2 石錘IIIの転用	N	W
300	2150	RA15	埋土 1	敲磨器 B	(11.4)	(6.4)	2.85	(379.00)	II b(1)1,b	R	W
300	2151	RA15	埋土	敲磨器 B	17.7	11.3	3.3	1013.58	II a(1)2 石錘Iの転用	N	W
301	2152	RA15	床直	敲磨器 B	(13.9)	(6.3)	(2.15)	(308.69)	III b(1)1,f	R	W
301	2153	RA15 炉2	北側 pp	敲磨器 B	14.3	8.3	4.1	656.54	II b(1)1	Y	W
301	2154	RA19	北西埋土	敲磨器 B	(11.95)	7.95	4.55	(623.65)	II b(1)1,d	N	W
301	2155	RA23 pp2	焼土	敲磨器 B	11.3	6.5	2.95	282.12	II b(1)1	N	W
301	2156	RA24	埋土 1	敲磨器 B	(13.15)	7.5	4.0	(468.17)	II b(1)1,b	N	W
301	2157	RD06	北半埋土 6	敲磨器 B	(15.7)	7.1	2.8	(470.55)	II a(1)2,b 石錘Iの転用	R	W
302	2158	RA07	南西埋土	台石	21.4	(24.2)	6.2	2500	片面に平坦面 擦痕	J	W
302	2159	RA18	石囲炉 No.1	台石	(30.5)	(19.0)	5.2	(3500)	片面に平坦面 擦痕	N	W
303	2160	RA03	埋土下位~床直遺物	石皿	20.0	14.8	3.0	1004.24	両面に溝状の凹み	M	W
303	2161	RA18	石囲炉 No.3	石皿	39	20.5	8	9380	片面に凹み	Z	W

※敲磨器 B 類の分類 (P286 参照)

断面形 (I・II・III)・機能面 (数) (a・b・c)・周縁の加工状況 (1・2・3)・欠損状況 (a・b・c・d・e・f)

※石材略号

A: 頁岩 B: 珪質頁岩 C: 砂質頁岩 D: 赤色細粒珪質岩

E: 玉随 F: 滑石 G: 黒曜石 H: 桂化木

I: 凝灰岩 J: 緑色凝灰岩 K: 粘板岩

L: 流紋岩 M: 砂岩 N: 安山岩 O: 安山岩 (岩脈)

P: 角閃石安山岩 Q: 角閃石安山岩 (岩脈)

R: 細粒閃緑岩 S: 礫岩 T: 凝灰角礫岩

U: 花崗閃緑岩 V: 斑岩 W: 玢岩

X: ペグマタイト Y: ホルンフェルス Z: デイサイト

※産地略号

W: 和賀川流域、A: 当楽沢、M: 無地内沢、O: 奥羽山脈、OK: 奥羽山脈基盤。

第8表 石製品観察表

() は残存値

図版 No	掲載 No	遺構名	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	特徴・分類・備考	石材	産地
					長さ	幅	厚さ				
304	2162	RA09-PP10	南半埋土	石棒	(35.0)	10.0	8.0	(5000.0)	角柱礫?	N	W
304	2163	RA11	床直 No.3	石棒	19.2	4.9	4.0	400.0	角柱礫?	L	W
304	2164	RA12	埋土下位	石棒	68.8	8.7	6.5	5069.6	角柱礫?	L	W
304	2165	RA18	石囲炉 No.2	石棒	(25.0)	9.5	8.7	(4000.0)	角柱礫?	X	W
304	2166	RD16	北半埋土1層	石棒	23.8	7.8	7.1	2041.19	角柱礫?	L	W
305	2167	RA07	北西埋土上位	石剣	(10.6)	2.5	(1.0)	(25.66)	石剣	I	W
305	2168	RA18	北半埋土	石剣	(12.0)	2.5	1.2	(57.26)	石剣	L	W
305	2169	B IV w03	I d-10cm	鏢形石製品	(10.4)	3.1	1.1	(45.12)		K	OK
305	2170	RD17	南半埋土	鏢形石製品	14.4	2.7	(1.2)	69.48		K	OK
305	2171	RA24	埋土	燕尾形石製品	16.7	2.1	1.2	64.0	一端に貫通孔	L	W
305	2172	B III u22	I d-10cm	燕尾形石製品?	3.4	1.7	0.5	4.20	先端部のみ	K	OK
305	2173	D IV q06	I	男根状石製品	11.9	4.5	3.9	241.46	亀頭部あり・無文	J	W
306	2174	RA03-PP2	埋土	線刻礫	18.5	10.0	4.6	1118.10	一面に凹・一端に敲打痕・側門縁に線刻	M	W
306	2175	B IV w11	I d-10cm	線刻礫	19.3	5.1	4.1	470.15	貫通孔1・2面に線刻	L	W
307	2176	RD15	南半埋土	岩偶	(3.0)	2.3	0.4	(2.37)	無文・頭部・腕部の表現	I	W
307	2177	B III u20	I d-30cm	岩偶?	(5.1)	4.1	0.9	(19.62)	無文	I	W
307	2178	RA05	: No.2	玦状耳飾り	3.1	(2.0)	0.5	2.14	玦状耳飾り:片面に刻み5あり	L	W
307	2179	RA07	南西埋土上位	玦状耳飾り	4.7	(1.6)	0.5	5.37	補修孔1	I	W
307	2180	RA08	南東埋土上位	玦状耳飾り	(3.3)	1.4	0.6	(2.08)		I	W
307	2181	RA09	南半埋土	玦状耳飾り	(3.95)	1.7	0.5	(4.16)		L	W
307	2182	RA09	埋土: No.2	玦状耳飾り	5.0	4.3	0.6	10.96		V	W
307	2183	RA11	南半埋土下位	玦状耳飾り	2.4	2.5	0.6	4.13		F?	不明
307	2184	RA13	南西埋土	玦状耳飾り	(2.6)	(1.9)	0.5	(2.51)	補修孔1	L	W
307	2185	RA18	北半埋土	玦状耳飾り	(2.5)	1.7	0.4	(1.75)		I	W
307	2186	RA23	埋土1ベルト	玦状耳飾り	(3.6)	(1.8)	0.5	(3.89)	補修孔1	F	A
307	2187	RD16	北半埋土1	玦状耳飾り	7.0	(4.3)	0.6	11.13	補修孔1	I	W
307	2188	RD51	北半埋土1	玦状耳飾り	(4.6)	2.2	0.5	(4.75)		L	W
307	2190	B IV y10	I	玦状耳飾り	(1.9)	(1.4)	0.5	(1.94)	補修孔1	F	A
308	2191	RA08	南半埋土	垂飾り	3.4	(1.7)	1.2	4.89	貫通孔1	L	W
308	2192	B IV w03	I d-30cm	垂飾り	(5.4)	3.3	0.7	(13.39)	貫通孔1	L	W
308	2193	B IV w10	I d-10cm	垂飾り	6.0	2.1	0.5	10.48	貫通孔1	F	W
308	2194	B IV x11	I d-10cm	垂飾り	(4.0)	3.0	0.4	(6.67)	貫通孔1	L	W
308	2195	RA09	南半埋土	石製模造品	(2.3)	(2.2)	0.7	(4.99)	2面に線刻	L	W
308	2196	B IV w01	I d-10cm	石製模造品	(3.0)	2.7	0.4	(5.06)	楕円?	J	W
308	2197	RA08	南西埋土下位	石製模造品	6.0	2.1	0.8	12.49	楕円・未穿孔	J	W
308	2198	RA19	北西埋土上位	石製模造品	3.4	1.8	0.4	3.15	楕円	I	W
308	2199	RA19-PP9	埋土	石製模造品	3.6	1.5	0.4	2.40	楕円	L	W
308	2200	RA27-PP4	埋土	石製模造品	(3.9)	1.6	0.4	(4.51)	楕円	L	W
308	2201	RA07	東半埋土下位	石製模造品	4.5	3.1	0.7	10.38	涙目状	J	W
308	2202	RA09	南半埋土	石製模造品	4.0	2.3	1.0	8.79	涙目状	I	W
308	2203	RA13	北東埋土	石製模造品	6.3	4.4	1.1	30.37	涙目状	L	W
308	2204	RA23	埋土	石製模造品	4.6	3.6	0.7	10.91	涙目状	L	W
309	2205	RA05	南西埋土下位	石製模造品	9.0	4.3	0.8	44.82	板状・未穿孔2	L	W
309	2206	RA07	床直: No.16	石製模造品	(7.8)	4.0	0.6	(29.49)	板状・未穿孔2、未切断	L	W
309	2207	RA15	北半埋土	石製模造品	4.6	3.0	0.6	7.7	板状	I	W
309	2208	RA07	北西埋土上位	石製模造品	4.5	4.4	1.8	58.60	円盤状	N	W
309	2209	B IV w01	I d-10cm	石製模造品	3.5	3.0	0.7	8.80	円盤状	L	W
309	2210	B IV w24	I d-10cm	石製模造品	5.2	4.7	0.6	15.86	円盤状	J	W
309	2211	C IV I15	I c	石製模造品	5.7	4.9	1.2	38.09	隅丸形状・両面に線刻?	I	W
309	2212	B IV w02	I d-10cm	石製模造品	4.0	1.5	1.3	7.97	棒状	I	W
309	2213	RA07	南東埋土上位	石製模造品	(2.3)	(2.5)	2.1	(12.73)	石玉?・未穿孔1	I	W

※石材・産地の略号は石器観察表を参照のこと。

VII. 考察とまとめ

はじめに、調査成果の概要を述べ、次にいくつかの事項について若干の考察を行い、総括したい。

1. 遺跡の性格—調査成果の概要— (第310図)

(1) 遺跡の立地

遺跡は、和賀川右岸の河岸段丘上に立地する。標高289m～290mで、和賀川との比高は約60mである。遺跡の面積は約150,000m²でB地区は45,000m²である。遺跡の現況は山林である。

(2) 検出された遺構

旧石器時代の石器集中区2カ所、縄文時代の竪穴住居跡31棟、土坑類50基、墓墳1基、陥し穴状遺構2基、焼土遺構5基、集石遺構1基、土器埋設遺構16基、遺物包含層1である。

(3) 遺構の占地—縄文時代—

縄文時代の遺構は、和賀川に張り出した段丘の北側に占地しているようである。このことは検出された遺構の配置と遺物包含層の分布や遺物の出土状況から理解される。ただし段丘北西側は削平を受けて基本土層IV層まで削られており、遺物包含層は残存していない。併せて調査した範囲が部分的であるので遺物包含層と遺構の分布について明確にしえない部分があるが、縄文時代前期の集落の範囲は遺物包含層と遺構の分布の広がる段丘北側の約16,000m²と推定される。

(4) 出土遺物

出土した遺物は、旧石器・縄文土器・土製品・石器・石製品・炭化樹種・植物遺体(堅果類)である。

a. 土器：縄文土器は大コンテナ(T40：30×40×30cm)で100箱(総重量1460.651kg)が出土している。時期は、縄文時代前期に属するものが多く、後葉～末葉が主体を占める。他に中期・後期が少量ある。

b. 土製品：6点で、土偶3点、土玉3点が出土している。

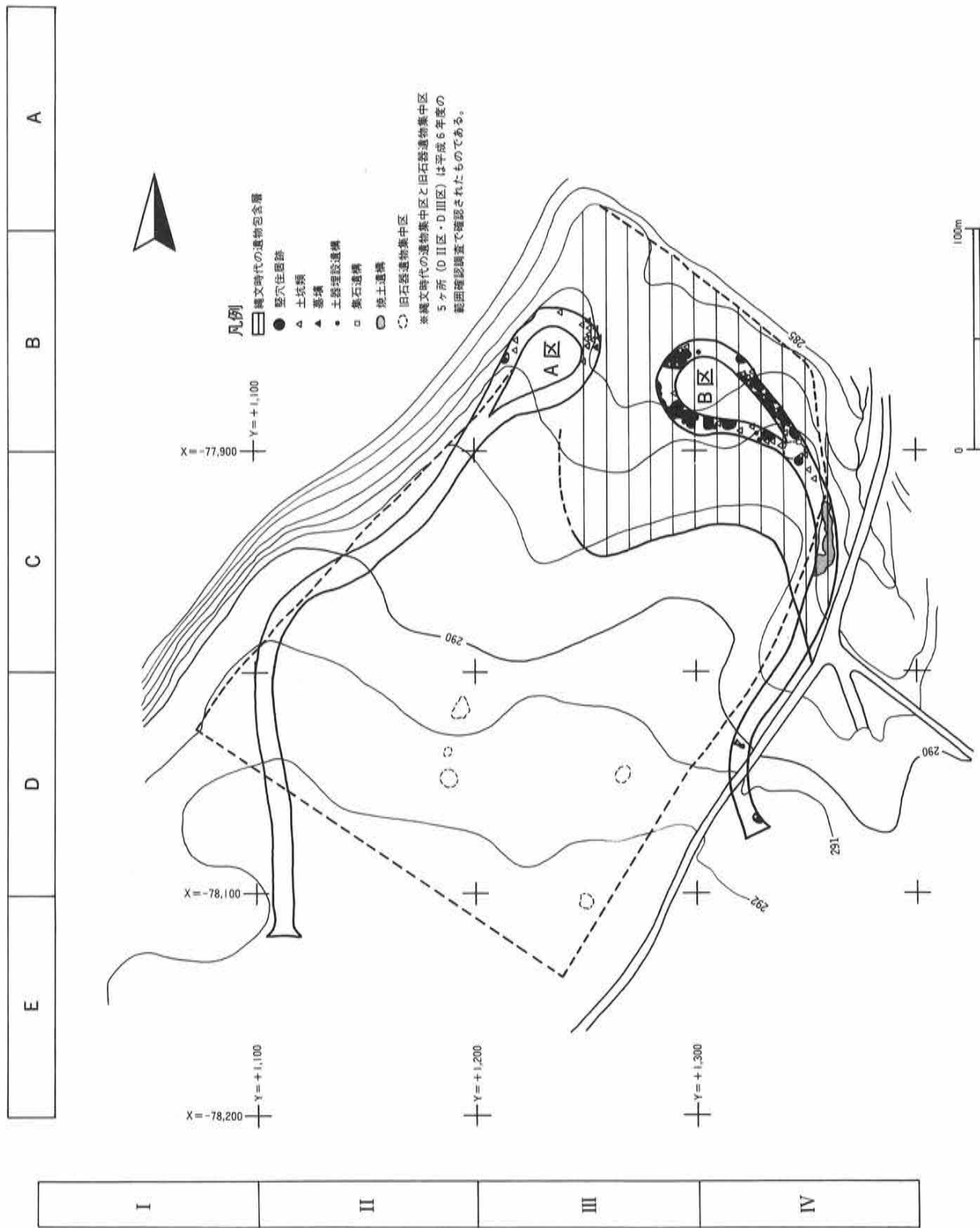
c. 石器：大コンテナ(T40：30×40×30cm)で20箱(総重量171.2467kg)が出土している。製品として登録した石器の総点数は3950点である。内訳は、石鏃601点、尖頭状石器23点、尖頭器4点、石錐43点、石匙275点、石篋237点、不定形石器1020点、両極石器37点、異形石器1点、打製石斧19点、磨製石斧25点、石錘566点、敲磨器類785点、台石・石皿類19点である。他に接合資料4点、石核295点がある。

石器の器種組成は、石器全体の中で剥片石器では石鏃、石匙、石篋、礫石器では石錘、敲磨器Ac類(凹石)と敲磨器B類(いわゆる特殊磨石)の占める割合が高い。石材は、剥片は頁岩、礫石器では安山岩、硬砂岩が多く使用されている。いずれも和賀川流域もしくは奥羽山脈産であることから、遺跡周辺から採取される原石を使用していたようである。黒曜石の石器と剥片も出土している。多数の剥片類や石核の出土状況から当地で石器製作が行われていたものと思われる。

d. 石製品：113点出土している。内訳は、石棒5点、石剣2点、鯉節形石製品2点、燕尾形石製品2点、男根状石製品1点、線刻礫2点、岩偶2点、块状耳飾り19点、垂飾り4点、石製模造品74点である。

石材は、一部に滑石が使用されている他、加工しやすい凝灰岩が使用されている。産地は和賀川流域産である。製品の素材となる未製石が出土していることから、当地で石製品が製作されていたものと思われる。

e. 自然遺物：炭化樹種・植物遺体が出土している。炭化材はナラ・クリが多く出土している。植物遺体の種類にはクルミ(RA15出土)・クリ(RD12・42出土)・ドングリ(RA09-PP10・RD11出土)がある。このうち、RD11土坑の埋土中位からまとめてドングリ類が出土している。琥珀片がRA07から出土している。



第310図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置図

2. 旧石器時代

今回の調査で確認された旧石器の集中区は2カ所である。以下に概要を記す。

段丘北側の調査区北側で2ヶ所の集中区が確認された。段丘の北側は縄文時代前期の集落跡であり、同時代の遺構の埋土からも旧石器の出土が認められたことから、段丘北側においては今回発見された地点以外に他にも集中区の存在が予想される。今回の発見された2地点は、縄文時代の遺構集中区にあつて遺構の空白域にあたり、同地点に縄文時代の遺構が構築されていなかったことから、集中区は破壊されず残っていたものと推定される。C IV b12グリッドで遺物の分布が極端に少ないのは、RA14住居跡が構築されたためである。

今回、確認された集中区2カ所（第1集中区・第2集中区）には以下のような特徴がある。

1. 峠山牧場 I 遺跡で発見された集中区では段丘の最も北側に位置する。
2. 第1・第2集中区の規模・平面形は径3m前後で、円形を基調とすると思われるが、詳細は不明である。
3. 第1・第2集中区の間は約5mほど離れている。
4. 遺物の出土層位はII（漸移層）～III a 層（ローム）の上位で出土している。
5. 石器の器種組成はナイフ形石器・彫刻刀形石器・削器・搔器・石刃などから構成される。
6. 石材は頁岩が卓越し、産地は和賀川流域である。

その他、今回の調査で確認された集中区2カ所の特徴として、彫刻刀形石器がまとまって出土したことが挙げられる。これらは規格性が高く、いずれも同一の技法により製作し、あるいは製作しようとした意図が読みとれるものである。

彫刻刀形石器の製作技法は、石刃技法により製作される石刃を素材とし、主要剥離面（腹面）の先端部に細部加工が施される。この細部加工は打面調整を目的に行われたものと思われ、（腹面の）左側縁上端にのみ施されることが多い。その後背面の右上方から一撃を加えて彫刻刀面を作っている。刃部を上からみるとZ字状になるこれらの彫刻刀は、いわゆる神山型彫刻刀に類似する。同様の彫刻刀形石器は、岩手県では、耳取 I 遺跡 A 地区や峠山牧場 I 遺跡 A 地区などで確認されているが、集中区としてまとまって確認された例はないようである。ナイフ形石器の製作技法は、基部の両側縁に細加工を施し、打面を取り除き、基部を尖らせるものである。欠損品が多く不明な部分が多いが、先端部は加工が行われないか、もしくは一側縁に行われているものと推定される。これらの技法によるナイフ形石器の製作技法は、いわゆる杉久保型ナイフと呼ばれるものに類似する。

集中区の性格としては、長さなど整えられた石刃、ナイフ形石器から転用された彫刻刀形石器、数度に及ぶ刃部再生を行っていること、石核が確認できないこと等から素材（石刃）を持ち込んでの製作跡または使用した場所と考えられる。問題点として、彫刻刀形石器の点数に対して彫刻刀削片が少ないことが挙げられる。集中区が両方とも調査区域外に広がる可能性をもっていることを考慮する必要もあるが、未製品の可能性がある彫刻刀形石器が多いこととも関わる問題かもしれない。

今回、検出された集中区2カ所の帰属する時代は、石刃技法の用いられた後期旧石器時代に属するものと考えられる。また原位置を留めていないが細石刃が出土していることから、2枚の文化層の存在が想定される。

今回の調査で確認された集中区2カ所は、平成6年度に範囲確認調査で確認された集中区5箇所とは地点が離れており、出土した石器の様相も異なるものである。峠山牧場 I 遺跡の旧石器時代の多様な性格の一端を確認することができたものと思われる。峠山牧場 I 遺跡の南側の A 地区や C 地区で確認された膨大な旧石器を含めて、広く峠山牧場 I 遺跡から出土した旧石器の特質を検討し、総括することが今後の課題である。

3. 縄文時代

縄文時代の遺構・遺物は、和賀川に張り出す台地の北端に集中する。調査区が遺跡全体に対して部分的なことから推測の域を出ないが、平成6年度の範囲確認調査の結果を併せて考えると、遺物包含層の広がり、遺構の分布などから、おおよその集落の範囲は推定が可能である。検出された遺構には、竪穴住居跡、土坑、墓塚、陥し穴状遺構、焼土遺構、集石遺構、土器埋設遺構などがある。以下、個々の遺構について述べる。

遺構（第311・312図）

（1）竪穴住居跡

竪穴住居跡は31棟確認されている。時期は前期後葉～末葉を主体とするが、中期末葉が1棟ある。いずれも部分的な調査であり不明な部分が多いが、規模・形状から大きく2種類に分類される。

A類：平面形は円形基調で、規模は径4～5m程の住居跡である。RA14・22住居跡などが相当する。

B類：平面形は方形基調で、規模は径4×8m以上の長方形を呈すると考えられる住居跡である。RA07・08・09住居跡など12棟が相当する。今回の調査で確認されたB類住居跡には以下のような特徴がある。

- ①棟数：12棟。
- ②位置：台地の北端。
- ③形態：隅丸長方形8・長楕円形1・不明3。
- ④規模：短軸4.6～5.65m×長軸8.8m以上（註1）。
- ⑤長軸方向：おおむね南北方向6、東西方向3、その他3。
- ⑥増改築有無：2～3回、長軸方向、短軸方向の両方向に見られる。
- ⑦炉跡の形態：地床炉で住居跡の長軸中心線上に直列に複数並ぶ。
- ⑧柱間：長軸中心線を中心にして壁際に対に配置される。2列6本以上、柱の規模は径40～60cm、深さ50cm～80cm、柱間280～350cm。住居跡間で若干の差がある。
- ⑨時期：縄文時代前期後葉～末葉を主体とし、遺構の重複や出土遺物から、3期以上の時間差をもつものと考えられる。
- ⑩その他として、B類の住居跡は、台地の先端である北側（調査区BIV p3グリッド付近）を中心に長軸が設定され、放射状に配されている。これらの住居跡は、中村良幸「大形住居」（『縄文文化の研究』8：1982）の分類によれば、B-d類（平面形は（隅丸）長方形・長楕円形を呈し、主たる炉跡が複数あり、直列に並ぶ）に相当する。個々の住居を時期別にみると平面形が不整形な形状（楕円）から定形（長方形）に推移する傾向がある。

今回、住居の出入口の施設や住居内における特殊な遺物の出土状況などは確認されていない。

（2）土坑類

土坑は50基検出されている。ここでは西側でまとまって検出された定形的な土坑群12基について検討する。ただし、この地点は著しく削平を受けており、消滅した土坑も少なからず存在する可能性があり、確認できた土坑についても深さなどに不明な部分が残ることを前提とする。土坑群は平面形から大きく二つに大別される。ひとつは平面形が円形を呈し、断面形がフラスコ状を呈するタイプ（RD01・06など）。規模は開口部径140～240cm、底部径130～230cm、深さ125cm以上である。底部には副穴を伴い、壁に向かって放射状に広がる溝をもつ。このタイプでは、RD11土坑の埋土の中位から炭化した堅果類が出土している。種実にはドングリであるとの鑑定結果を得ている。もうひとつは平面形が楕円形を呈するタイプ（RD02・03など）である。規模は短軸160cm～170cm×長軸240～260cmである。深さは50cm以上で、断面形は明確に把握していない。

これらの土坑の特徴として、底部中央の副穴よりも深い副穴が壁際に対し2本伴うこと（RD02・03・06・09）、副穴には柱あたりが確認できたことが挙げられる（RD06・09）。土坑の上屋構造に関わる柱穴状土坑の可能性はある。これらの土坑からは、主に縄文時代前期末葉の土器が出土している。

（3）墓壇

調査で、墓壇と認識したのはRD04墓壇の1基である。位置は土坑群がとまって検出された地点であるが、底部に副穴がないこと、平面形が隅丸方形であることから当初から墓壇として構築された穴の可能性が高いものと思われる。規模は235×165cm、平面形は隅丸長方形で、深さは60cmである。長軸はほぼ東西方向である。埋土は地山起源のロームで、埋め戻された人為堆積である。底部付近に土器が散在し、赤色顔料が散布されたと思われる痕跡があった。人骨などは出土していないが墓壇の可能性が高いものと思われる。

（4）焼土遺構

台地の東側を流れる沢に向かう東斜面で大形の焼土遺構（RF04）が検出されている。他の遺構との重複はない。焼土の範囲が調査区域外に広がることから、最終的な規模は不明であるが、最大長30m×4.6m以上で、厚さは20cmである。色調はにぶい明赤褐色で、同遺跡における住居内の炉跡の焼土と比較すると焼成が悪いのか、明瞭性に欠ける。出土遺物は、土器が少なく、石核・剥片（接合剥片）、石篋が比較的多く出土していることが特徴として挙げられる。時期は、縄文時代前期末葉の可能性が高い。

（5）集落跡

集落の範囲は、遺物包含層と遺構の広がりから、南北最大長150m、東西長最大150m、面積16,000㎡に及ぶものと推定され、舌状に張り出す台地の北端に占地している。集落は、大きく竪穴住居跡と土坑類で構成される。遺構の配置は、大きく西側に土坑群（貯蔵穴群）、東側には竪穴住居跡群が配置されている。竪穴住居跡B類については、台地先端にあたる調査区の北端（BIV p3グリッド付近）を中心に長軸が設定され、放射状の配列が認められる。BIV p3グリッド付近では土坑が2基検出されているが、他に遺構（集石等）は検出されず、総じて周辺より遺構の密度は希薄である。A類の住居跡はB類の住居跡の周囲に位置しているようである。上記の集落における遺構の配置は、調査の結果から考えられる可能性のひとつである。すなわち台地の北西側で土坑群がとまって検出された地点は、基本土層IV層まで削平されて、遺物包含層は残存しておらず、掘り込みの浅い遺構は消滅している可能性が高い。遺跡の現状と遺跡全体の一部について行われた調査の結果であることを踏まえて、ここで述べたことの妥当性は、今後、同地点を調査する際の課題になるものと思われる。

遺物

出土した遺物には、縄文土器、土製品、石器、石製品がある。特徴について以下にまとめてみたい。

（1）縄文土器

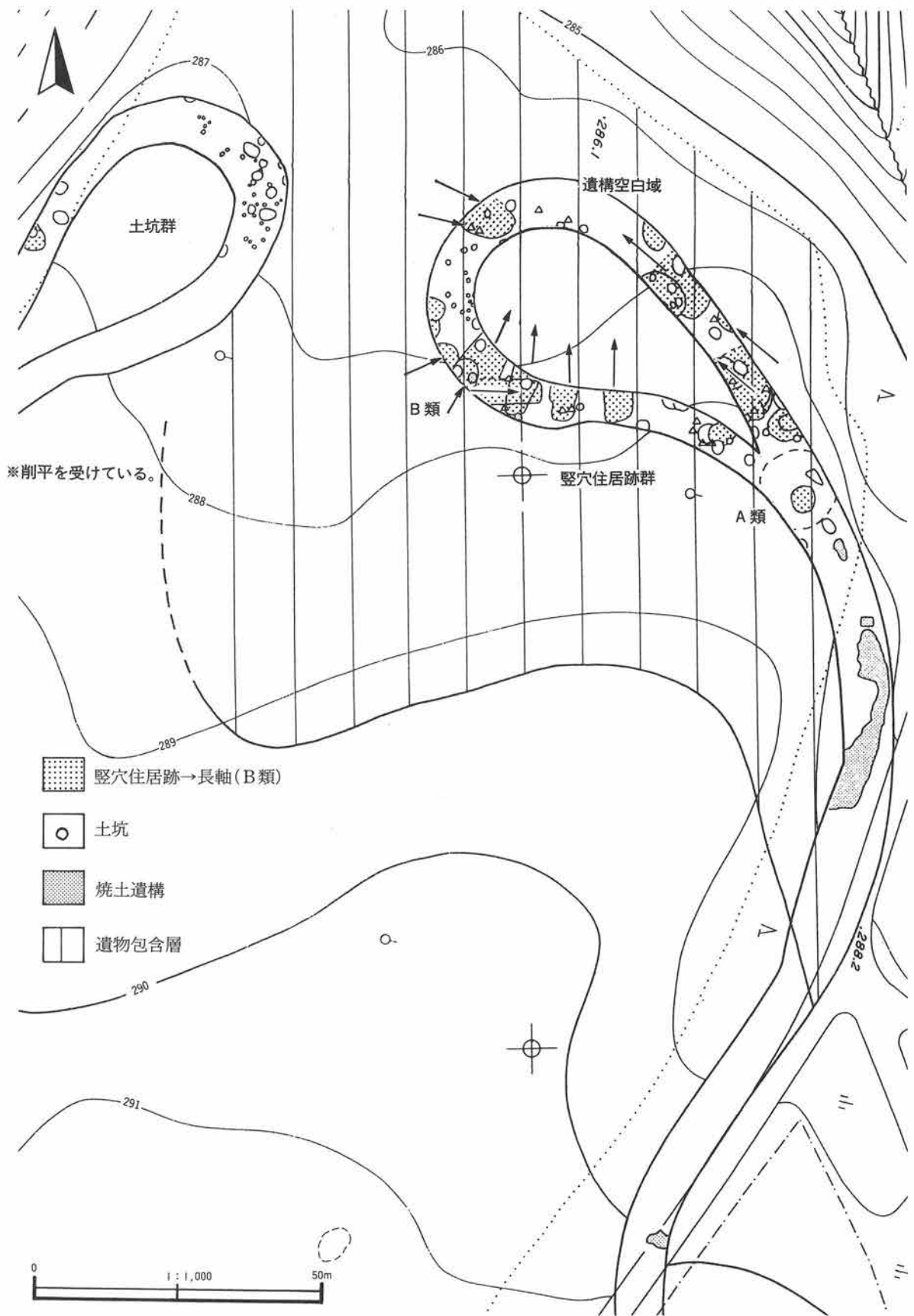
峠山牧場I遺跡B地区から出土した土器（掲載・不掲載含めて）の特徴として、以下の点が挙げられる。

a. 時期

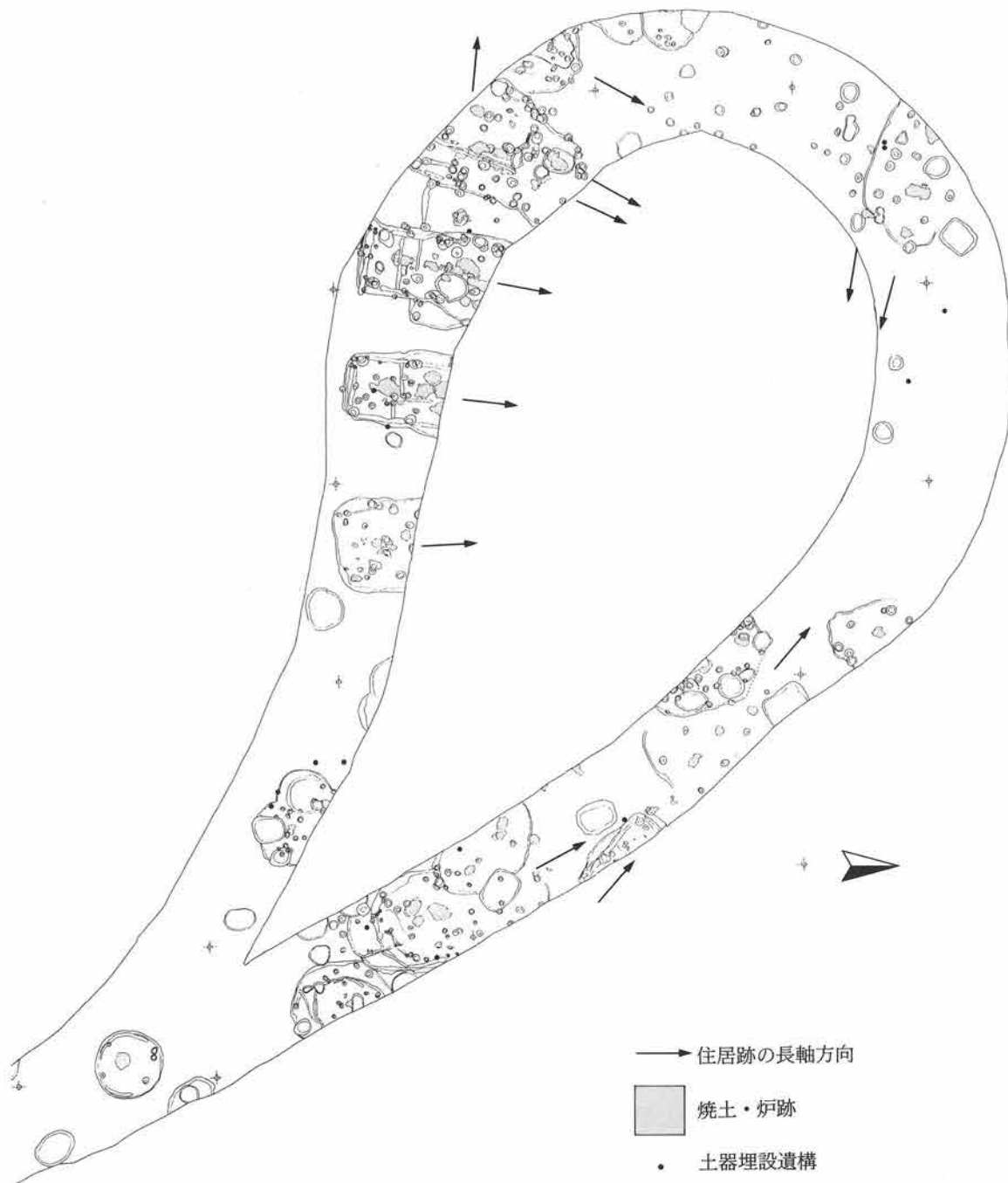
縄文時代前期・中期・後期の土器が出土しており、前期後葉～末葉を主体とする。従来の土器型式と照合すると、前期では大木2b・4・5・6式、中期では大木7a・7b・10式がみられる。これらは当地方における該期の土器型式であるが、この他に系統の異なる土器も少量ながらみられる。

b. 土器の胎土・焼成と使用の痕跡について

出土した土器の全般（とくに前期後葉～末葉の土器）について次のことが指摘できる。①胎土に礫が多く混入し、脆い。②摩滅が著しい。③煤の付着が多く、とくに球胴形深鉢の脚部内面に多い。①は、他の時期



第311図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区：縄文時代集落概念図



0 1 : 200 10m

第312図 峠山牧場 I 遺跡 B 地区遺構配置図(拡大)

に比較して、該期の土器に一応は言及できることと思われるが、②・③については、土器そのものの脆弱さが、胎土や焼成など製作技法に関わるものか、あるいは使用頻度に関わるものか、同時期の他遺跡から出土した土器との比較検討が今後の検討課題である。

c. オオバコを原体とする文様を施文する土器について

No.163・316の土器の文様については、繊維などに撚り加えた縄の押圧によるいわゆる縄文ではなく、「オオバコ」の回転圧痕文と指摘されている文様に類似する(註2)。No.163は口縁部に横位の側面圧痕、胴部に横位の回転圧痕文、No.316は胴部に縦位の回転圧痕文を施文している。岩手県内では、北上市滝ノ沢遺跡(縄文時代前期後葉～中期前葉)や盛岡市上八木田I遺跡(前期後葉～末葉)で出土例がある。本遺跡から出土した土器については、縄文時代前期後葉～末葉と考えられるが、この類の土器については県内ではまだ事例が少ない。原体そのものや時期的な問題について、今後、事例の増加を待って検討していく必要がある(註3)。

(2) 土製品

土偶が3点、土玉3点が出土している。土偶はいずれも欠損品である。特徴としては、短い腕を張り出す。頭部・胸部・腕部に貫通孔をもつ。頸部から胸部に横長の窪みを持つ。乳房の表現は行われぬ。腹部にはボタン状の貼付を伴う。文様は半截竹管や棒状工具による施文をすることなどが挙げられる。以上の特徴を持つ土偶は、従来、前期末葉から中期初頭の遺跡で出土する「板状O脚土偶」(註4)と呼ばれる形態の土偶に類似するものである。時期は、縄文時代前期末葉に属するものと思われる。今回の調査では、使用の状態を類推できる特徴的な出土状態の事例は確認できていない。

(3) 石器

峠山牧場I遺跡B地区から出土した石器の特徴には、次のことが挙げられる。

①石器の量が非常に多い。製品の他に剝片類・石核類も多数あることから、周辺より石材を運びこみ、石器を製作していたようである。

②器種では、石鏃、石匙、石篋、石錘、凹石、特殊磨石の占める割合が高い。また、従来から指摘されてきたことであるが、各器種により時期を反映する特徴的な形態がみられるようである。

石鏃は凹基無茎鏃が多い。石匙は縦型が多く、また先端が尖る形態(註5)や抉れる形態がある。後者は赤色に拘った石材の選択がおこなわれたようである(註6)。石錘は、他の石(敲磨器類)と併用しているものも多く、多量に必要とされた石器と思われる。今回の調査では、使用状態を類推できる出土状態を示すものはなかった。特殊磨石は、石器全体の中で占める割合はもとより、敲磨器類(円形を呈する擦石や半円状偏平打製石器)のなかで占める割合が高い。その起因するところについては、石器の用途についての問題とともに、今後、該期の周辺遺跡と比較しながら、検討していきたい。

(4) 石製品

石製品は113点出土している。該期は石製品の出土量の多い時期であるが、峠山牧場I遺跡も同様に、縄文時代前期に特徴的な男根状石製品や玦状耳飾り、日本海側との交流を示唆する燕尾形石製品・鯉節形石製品が出土している。石材は和賀川流域産で周辺の石材を使用しており、凝灰岩・緑色凝灰岩を多く用いている。

岩偶については、円筒式土器に伴う岩偶として稲野氏の集成がある(註7)。それによると、津軽・米代川流域において多く発見されており、分布域を反映したかたちで形態的な特徴が指摘されている。峠山牧場I遺跡B地区で出土したNo.2176は、小型、無文で、頭と腕を括れをもって表現しているのが特徴で、北上市蟹沢館遺跡出土の事例に近いようである。岩手県内における事例が少ないなかで、同一地域における事例を提示できたのものと思う。

4. 総括

ここでは、調査成果を総括し、今後の課題を提示しておわりとしたい。今回の調査で峠山牧場 I 遺跡 B 地区を特徴づけることになったのは、縄文時代前期後葉～末葉の集落跡としての性格である。遺構では、大形住居跡が放射状の配列を示し、貯蔵穴と思われる土坑群がまとまった配置を示すことに特徴がある。

大形住居跡の検出事例は県内でも多くあるが、その配置については遺跡によって様相が異なる。峠山牧場 I 遺跡 B 地区と同様に、大形住居が放射状の配列を示すことについては、既にいくつかの類例が報告されており、秋田県協和町上ノ山 II 遺跡、栃木県宇都宮市聖山根古谷台遺跡は全国的に著名であり、岩手県では、雫石町塩ヶ森 I 遺跡、北上市蟹沢館遺跡などの事例がある。放射状の配列を示すためには、集落を形成する際にある程度の広さ（面積）の土地を必要とするのは自明のことであるが、いずれの遺跡も周辺より高く、広い面積を有する台地上の地形に立地する傾向がある。

大形住居跡の用途については、集会所・公民館説、共同作業所説など諸説があり、従来、日本海側において類例が多く報告され、豪雪地帯における生活との関わりを指摘する根拠ともなってきた。岩手県においても内陸での事例報告がこれを指示してきたように思う。しかし、最近では岩手県でも太平洋側（北上山系）で、従来より古い時期の大形住居跡の検出事例が報告されつつある。大形住居の起源と、放射状を示す配置の問題は、別の属性として分けて考えていく必要がある。今後の課題としたい（註 8）。

遺物では、石器の量の多さが特徴のひとつであり、器種では石鏃、石匙、石篋、石錘、擦石、凹石が多い。石錘については、該期の遺跡では出土量の多い石器として報告されている（註 9）。擦石については、断面が三角形あるいは多角形を呈する特殊磨石といわれる石器に該当するものが多く、一方で半円状偏平打製石器と呼ばれるものに該当する石器は少ない。後者は東北北部の円筒土器文化圏に伴う特徴的な石器であり、このことは、該期の集落における地域相を反映している可能性もある。今後の検討課題である。

現在、峠山牧場 I 遺跡の立地する場所は、錦秋湖の南側において一際高く突出した段丘として、おそらく当時からの原風景を保って、今もなお我々にその存在感を示している。古くこの地に生きた人々の歴史を考えるうえで本報告書が一助になればと思う。

本報告をまとめるにあたり、多くの諸先生、職場の先輩・同僚に沢山の貴重なご指導をいただいた。また整理を担当していただいた期限付職員の方々には、拙ない指示にもかかわらず、的確・迅速に作業を進めていただいた。厚くお礼申し上げます。日本道路公団東北支社・湯田町教育委員会には、多くの便宜を図っていただいた。お礼申し上げます次第である。

註

- (1) 推定の域をでないが、長方形の住居跡の柱配置を 2 対 5 本の 10 本柱と想定した場合、RA07・09 住居跡を例にすると、長軸は 16m 程になるものと推定される。
- (2) 「オオバコ回転文」については稲野彰子氏のご教示による。
- (3) 北海道では、縄文時代中期末葉から後期初頭に「オオバコ回転文」を施文する土器が見られることが指摘されている（文献：北海道文化財研究所 1990『茶津貝塚』）。
- (4) 稲野 1998。
- (5) 「石匙のつまみ（撮）」と同様の作り方をしたつまみを有するが、両面あるいは半両面調整を主体とし、器中軸線で左右対称となる石器」で従来「有撮石器」と呼ばれてきた形態である。秋田県文化財調査報告第 166 集。
- (6) 該期の遺跡の石器の器種組成をみると石匙なかで多数ではないが一定の割合を占める形態と思われる。根古谷台遺跡では墓壇の副装品として使用されている。
- (7) 稲野 1997 では、前期大木式の土偶の形状に近いもので、その影響を受けたものではないかと推測している。
- (8) 近年、山田町沢田 I 遺跡など岩手県沿岸部でも前期前葉の大形住居跡が発見されている。山田町沢田 I 遺跡や遠野市新田

II遺跡は良好な資料になるものと思われる。

- (9) 北上市滝ノ沢遺跡・蟹沢館遺跡・煤孫遺跡・高畑遺跡などの事例がある。

参考文献

- 秋田県教育委員会 1981『杉沢台・竹生遺跡 発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告第83集。
- 秋田県教育委員会 1988『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ—上ノ山Ⅰ遺跡・館野遺跡・上ノ山Ⅱ遺跡—』秋田県文化財調査報告第166集。
- 秋田県教育委員会 1989『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅱ（補遺）—上ノ山Ⅱ遺跡—』秋田県文化財調査報告第186集。
- 岩手県立博物館 1982『岩手の土器—県内出土資料の集成—』。
- 岩手県立博物館 1996『野牛とその時代—旧石器時代のいわて—』。
- 宇都宮市教育委員会 1988『聖山公園遺跡V—根古谷台遺跡発掘調査概要—』宇都宮市埋蔵文化財調査報告第24集。
- 宇都宮市教育委員会 1992『よみがえる太古 うつのみや遺跡の広場—史跡根古谷台遺跡保存整備事業報告書—』
- 北上市教育委員会 1983『滝ノ沢遺跡』北上市文化財調査報告第33集。
- 北上市教育委員会 1985「高畑遺跡発掘調査報告」『北上市立博物館研究報告書』第5号。
- 北上市教育委員会 1989『滝ノ沢地区遺跡発掘調査概報』北上市文化財調査報告第53集。
- 北上市教育委員会 1991『滝ノ沢遺跡Ⅲ』北上市文化財調査報告第63集。
- 北上市教育委員会 1993『蟹沢館遺跡発掘調査概報』北上市埋蔵文化財調査報告第14集。
- 北上市教育委員会 1995『横町遺跡発掘調査概報』北上市埋蔵文化財調査報告第21集。
- 岩埋文 1982『塩ヶ森Ⅰ遺跡』岩埋文第31集。
- (財)岩埋文 1994『煤孫遺跡発掘調査報告書』岩埋文第196集。
- (財)岩埋文 1994『大渡Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第215集。
- (財)岩埋文 1995『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第225集。
- (財)岩埋文 1995『上八木田Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第227集。
- (財)岩埋文 1996『耳取Ⅰ遺跡A地区発掘調査報告書』岩埋文第232集。
- (財)岩埋文 1996『峠山牧場Ⅰ遺跡B地区範囲確認調査報告書』岩埋文第233集。
- (財)岩埋文 1996『鳩岡崎上の台遺跡発掘調査報告書』岩埋文第240集。
- (財)岩埋文 1997『本内Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩埋文第271集。
- 東北歴史資料館 1981『旧石器時代の東北』。
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1986『登別市川上B遺跡・C地区』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第27集。
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1987『木古内町建川2・新道4遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告第43集。
- 北海道文化財研究所 1990『茶津貝塚』北海道文化財研究所調査報告第5集。
- 稲野彰子 1991「大木式土器にみられる球胴形深鉢について—文様の多系統性に注目して—」『北上市立博物館研究報告書』第8号。
- 稲野裕介 1997「円筒土器に伴う岩偶(2)」『土偶とその情報』研究論集(1)』。
- 稲野裕介 1998「北上川中流域における板状O脚土偶とそれ以外の形態について」野村先生還暦記念論集『北方の考古学』。
- 小川 望 1985「縄文時代の「大形住居」について(その1)—その定義と機能をめぐる若干の考察—」『考古学研究室紀要』第4号。東京大学文学部。
- 菊池強一 1975「大台野遺跡」『日本の旧石器文化』2 雄山閣。
- 興野義一 1967~1970「大木式土器理解のために(I)~(VI)」『考古学ジャーナル』13・16・18・24・32・48。
- 興野義一 1970「大木5b式土器の提唱」『古代文化』22-4
- 工藤竹久 1982「北日本の石槍・石鏃について」『北奥古代文化』第9号。
- 佐藤浩彦 1999「岩手県遠野市新田Ⅱ遺跡—縄文時代前期の大型竪穴住居群—」『考古学ジャーナル』451。
- 白鳥良一 1991「前期大木式土器様式」『縄文土器大観』1、小学館。
- 富樫泰時 1996「杉沢台遺跡大形住居跡考」『画龍天晴—山内清男先生没後25年記念論集—』。
- 中村良幸 1982「大形住居」『縄文文化の研究』8 雄山閣。
- 山内清男 1979『日本先史土器の縄紋』先史考古学会。
- 山田晃弘 1984「彫刻刀形石器の製作技術」『考古学ジャーナル』229。

VIII. 分析・鑑定

1. 峠山牧場 I 遺跡 B 地区¹⁴C 年代測定

パリノ・サーヴェイ株式会社

(1) 試料

試料は、峠山牧場 I 遺跡 B 地区（岩手県和賀郡湯田町所在）より採取された炭化物 3 点（No. 1～3）である。試料が採取された層位は、縄文時代前期頃と考えられる土器を包含する黒褐色土層である。採取深度は、地表面から 30cm～50cm である。今回は、土器が出土した層の年代を確認するため、¹⁴C 年代測定を行う。

(2) 測定

測定は、学習院大学放射性炭素年代測定室が行った。なお、¹⁴C の半減期として、LIBBY の半減期 5570 年を使用した。

(3) 結果および考察

結果は、表 1 に示した。

表 1 ¹⁴C 年代測定結果

No.	試料の質	Code No.	年代（1950年よりの年数）	
1	炭化物	Gak-18454	4410±90y. B. P.	2460 B. C.
2	炭化物	Gak-18455	5460±90y. B. P.	3510 B. C.
3	炭化物	Gak-18456	4800±90y. B. P.	2850 B. C.

年代測定試料が得られた層位は、縄文時代前期頃の遺物包含層とされている。各試料の採取位置については、No. 2 と No. 3 がほぼ同一位置であり、No. 1 が No. 2・No. 3 よりやや上位とされる。今回、得られた年代値は、キーリー・武藤の研究事例にしたがえば、No. 2 と No. 3 は、縄文時代前期に相当し、No. 1 は、縄文時代中期に相当する。No. 1 が採取された位置（層位）は、No. 2・No. 3 よりやや新しい年代になるのではないかと推測されていることと調和的である。

<参考文献>

キーリー，C. T・武藤康弘（1982）縄文時代の年代，加藤晋平他編『縄文文化の研究』1，P. 249-250. 雄山閣。

2. 植物遺体

渡辺 誠

(1) 出土状態

岩手県埋蔵文化財センターより調査の機会を与えられた植物遺体は、同県和賀郡湯田町峠山牧場 I 遺跡 B 地区で1996年に発掘調査されたものである。その時期は縄文時代前期である。

資料は6件で遺構・層位は次のとおりである。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 : RD11土坑 | 西半埋土 5層 |
| 2 : RD12土坑 | 南半埋土 2層 |
| 3 : RD42土坑 | 北半埋土 1層 |
| 4 : RA09住居跡-PP10 | 北半埋土 2層 |
| 5 : RA15住居跡 | 南半埋土 |
| 6 : B III v23グリッド | I d層-20cm |

その時期は、縄文時代前期末～中期初頭である。

(2) 植物遺体の種類

出土した植物遺体は、次の3種子類である。

1. くすみ科オニグルミ *Juglans mandshurica* subsp. *Siebodiana* MAXIM.
2. ぶな科クリ *Castanea crenata* SIEB et Zucc.
3. ぶな科コナラ属 *Quercus* sp.

コナラ属はいわゆるドングリ(推定ナラ類)で、3種とも東北日本の落葉広葉樹林帯に代表的な樹木であり、それらの実は縄文時代の重要な食料資源であった。クリは甘みがあり、すぐ食べることができ、縄文時代草創期より食されている。これに対しオニグルミは一定の期間乾燥させる必要があるが、後期旧石器時代より食されている。ドングリ類の食用化はアク抜き技術と関係があり、その道具としての土器の起源・発達と密接な関係がある。

なお、これら以上に重要な食料資源であったトチがみられず、その食用化が縄文中期であることを、間接的に証明していると理解される。

これらの遺構・層位別の出土数量との関係は、第1表に示すとおりである。遺構による種類の片寄りが見られ、興味深い。

(3) 種別の検討

1. オニグルミ(写真1-5・6)

オニグルミは川沿いの適湿の地に群生する落葉高木で、東北日本の落葉広葉樹林帯の代表的な樹木である。その核内の種子は脂肪に富み美味で、9～10月に熟す。材も有用である。

酸化して黒色化した核が、完形に近い1例を含めてB III v23グリッド(I d層-20cm)より、16.97g出土している(第1表)。完形に近い例の重量は2.05gであり、総重量をこれで除すと約8個体分となる。RA15住居跡(南半埋土)では、破片0.57g出土している。

2. クリ(写真2・3・5)

山野に普通にある落葉高木で、同様に東北日本の落葉広葉樹林帯の代表的な樹木である。その種子は甘く美味であり、9～10月に熟す。材も有用である。

クリは、完形品2点の他に破片3.81gが出土している。いずれも小型で、長さの平均1.35cm、幅の平均1.47cmである(第2表)。平均重量は0.57gで、破片の重量を除すれば、約6個体分となる。

少量ながら、RD42土坑からは他の種子がみられず、本来この土坑はクリの貯蔵穴であった可能性が高い。

3. ドングリ類(写真1・4)

ドングリ類は、RD11土坑(西半埋土5層)、RA09住居跡(北半埋土2層)より、まとまって出土している。このうち前者はフラスコ状貯蔵穴であり、その意義については次項で検討することとする。

俗にドングリ類と総称される堅果類は、ぶな科のコナラ属、シイノキ属、マテバシイ属などの種子類である。それらにはそのまま食べることでできる種類と、アク抜きをしないと食べられない種類とがある。そしてアクの成分であるタンニンの含有量によってアク抜きの方法に違いがあり、製粉の有無によっても違いがある。これらに基づいて、筆者はドングリ類をA～D類に大別している(第3表)。

A類は、ドングリまなこの語源となったまんまるいクヌギの仲間である。これらは粒のままの場合は加熱処理+水さらし、製粉した場合は水さらしのみでアク抜きができる。

B類は、ナラ類で、側面が楕円形を呈す。アク抜きの方法はA類と同じである。岩手県下ではシダミなどと呼ばれ、近年でも食べていた地域がある。

東北日本に多いA・B類に対し、C類は西南日本に多いカシ類である。側面はB類と同じく楕円形を呈す。これは粒のままでも水さらしのみでアク抜きができる。

D類は、アク抜きの入らないシイの実の仲間で、カシ類中例外的にイチイガシもこれらに含められる。C類同様西南日本に多い。それらの側面形は、ツブラジイは小型円形、スダジイは水滴形、そしてマテバシイは、太くて長くて、マテバシイ形を呈する。

したがってアク抜き不要のD類や水さらしのみでC類は西南日本に、加熱処理+水さらしの方法も必要なA・B類は東北日本に多いというような地域性が認められるが、製粉すれば、そうした地域性とは無関係にすべて水さらしのみでアク抜きができるという側面もある。

本遺跡出土例の側面形はすべて楕円形で、B類またはC類である。ある特徴からカシ類とイチイガシとの区別は明確で、本遺跡にはまったくそれがみられず、D類は皆無である。そして中の実(子葉)だけになると、B・C類の識別は困難である。しかし食生活の研究には識別が必要であり、その一つの方法として筆者は計測値を記録することにしていく。

その計測値は第4表に示すとおりである。長幅指数の平均値は、RD11土坑例は1.60、RA09住居跡例は1.71で細長く、西南日本の諸例と比較するとその差は明らかである。例えば、鹿児島県加治木町千迫遺跡(縄文後期)では1.45、同垂水市柘原貝塚(同)では1.49、同鹿児島市草野貝塚(同)では1.45、福岡県椎田町山崎遺跡(同)では1.49である。この地域差を直ちにカシ類とナラ類の種の差ということはできないが、さらに資料を累積すれば明確になってくる可能性がある。

また本遺跡は、奥羽山脈のなかに位置しており、カシ類とは無縁の地域であることも考慮して、本遺跡出土のドングリ類はナラ類であると、推定しておくことにする。

(4) 貯蔵穴の意義

農山村の日本の伝統的な社会では、植物質食料の貯蔵に当たっておおまかにみて、

生貯蔵-短期貯蔵-穴貯蔵

乾燥貯蔵-長期貯蔵-屋根裏貯蔵

の2方法が行なわれてきている。現代でも冬期の生鮮な野菜は穴を掘って行われていて、特別なことではない。これは縄文時代でも同じであり、後者の場合、遺構として残りにくいだけにすぎない。そして縄文時代の貯蔵穴を検討すると、a. 取り出されないまま植物遺体が充満して残っている場合、b. 取り残しがみられる場合、c. 取り出されて空の場合、d. 廃棄穴に転用されている場合、そして、e. 墓壙に転用されている場合などがみられる。

本遺跡のRD11・42土坑はbの場合に相当する。

しかし、両者には貯蔵の目的に若干の差異がある。前者のドングリ類貯蔵は、よく乾燥させて長期保存させるのに対して、皮むきやアク抜きが手間にならないようにその冬食べる分だけを短期生貯蔵することに目的がある。

これに対して後者のクリ貯蔵は、生のクリを冬期の期間だけ穴に貯蔵し、貯蔵というより甘みを増やすことの目的がある。クリの実の穴貯蔵は、岩手県・福島県・新潟県・山梨県・京都府・および韓国の場合などについて調査したことがある。特に新潟県では砂グリと呼ばれ、砂と一緒に入れなければ芽が出てしまうという（渡辺1996）。これは貯蔵穴の土層の観察の仕方に、反省を迫ることになるであろう。

(5) おわりに

本遺跡の植物遺体は、東北日本の地域性をよく示している。またトチがみられなかったことは時期差をよく示している。そして今後の検討課題として、関連する水場などの遺構や石器の研究とともに、アク抜きの方法などの民俗学的な記録調査も緊急な課題であることを指摘しておきたい。

引用文献

渡辺誠 1996：クリの穴貯蔵。名古屋大学文学部論集，122．史学42・1～7頁、名古屋。

謝 辞

最後に、調査の機会を与えられ、種々ご教示下さった岩手県埋蔵文化財センターの高橋與右衛門、阿部勝則氏、および資料整理にご協力下さった名古屋大学考古学研究室学生の丹下昌之・長田友也・岡田賢の3君に対し、末尾ながら銘記して、深謝の意を表する次第である。

第1表 件別数量表

番号	オニグルミ		ク リ		ドングリ類	
	破 片	完 形	破 片	半	破片	
1	—	—	—	24	5.34g	
2	—	—	0.33g	—	—	
3	—	1	1.79g	—	—	
4	—	—	—	16	2.30g	
5	0.57g	—	—	—	—	
6	16.97g	1	1.69g	—	—	
平均	17.54g	2	3.81g	40	7.64g	

第2表 クリの計測値 (単位: cm, g)

番号 (件)	長さ	幅	厚さ	重量	写真
1 (3)	1.25	1.58	0.69	0.45	1-2
2 (6)	1.44	1.35	0.64	0.68	1-3
平均	1.35	1.47	0.67	0.57	

第4表 ドングリ類の計測値 (単位: cm, g)

件	番号	長さ	幅	厚さ	長さ/幅	重量	写真
1	1	1.22	0.73	0.42	1.67	0.12	1-1
	2	1.19	0.73	0.44	1.63	0.10	
	3	1.34	0.73	0.38	1.84	0.14	
	4	1.27	0.82	0.48	1.55	0.16	
	5	1.21	0.78	0.39	1.55	0.13	
	6	1.27	0.76	0.42	1.67	0.12	
	7	1.25	0.91	0.50	1.37	0.12	
	8	1.27	0.82	0.48	1.55	0.12	
	9	1.31	0.84	0.47	1.56	0.14	
	10	1.25	0.93	0.49	1.34	0.20	
	11	1.48	0.73	0.40	2.03	0.20	
	12	1.37	0.96	0.52	1.43	0.21	
	13	1.56	0.75	0.38	2.08	0.13	
	14	1.48	0.89	0.46	1.66	0.21	
	15	1.46	0.99	0.47	1.47	0.13	
	16	1.39	0.98	0.62	1.42	0.27	
	17	1.54	0.94	0.57	1.64	0.19	
	18	1.55	1.01	0.58	1.53	0.23	
	19	1.49	1.00	0.54	1.49	0.22	
	20	1.56	1.08	0.56	1.44	0.25	
	21	1.55	1.02	0.54	1.52	0.24	
	22	1.59	1.02	0.55	1.56	0.23	
	23	1.79	0.98	0.55	1.83	0.22	
	24	1.76	1.14	0.60	1.54	0.30	
平均		1.42	0.90	0.49	1.60	0.10	
4	1	1.02	0.63	0.33	1.62	0.14	1-4
	2	1.27	0.73	0.44	1.74	0.19	
	3	1.41	0.81	0.47	1.74	0.19	
	4	1.23	0.81	0.38	1.52	0.18	
	5	1.37	0.67	0.43	2.04	0.22	
	6	1.49	0.72	0.50	2.07	0.21	
	7	1.47	0.83	0.49	1.77	0.31	
	8	1.26	0.92	0.53	1.37	0.34	
	9	1.59	0.78	0.42	2.04	0.25	
	10	1.65	0.77	0.38	2.14	0.21	
	11	1.68	0.97	0.54	1.73	0.29	
	12	1.50	0.87	0.51	1.72	0.28	
	13	1.59	0.86	0.55	1.85	0.22	
	14	1.52	0.96	0.44	1.58	0.21	
	15	1.55	0.93	0.54	1.67	0.17	
	16	1.37	1.56	0.64	0.88	0.32	
平均		1.43	0.86	0.47	1.71	0.23	

第3表 ドングリ類の分類

民 俗 分 類	属	種 (出土例のみ)	森 林 帯
A. クヌギ類 製粉または加熱処理+水さらし	コナラ属	クヌギ カシワ	落葉広葉樹林帯 (東北日本) (韓国)
B. ナラ類 製粉または加熱処理+水さらし		ミズナラ コナラ	
C. カシ類 水さらしのみ	アカガシ属	アカガシ アラガシ	照葉樹林帯
D. シイ類など	シイノキ属	イチイガシ ツブラジイ・スダジイ	(西南日本) (韓国南海岸)
	マテバシイ属	マテバシイ	

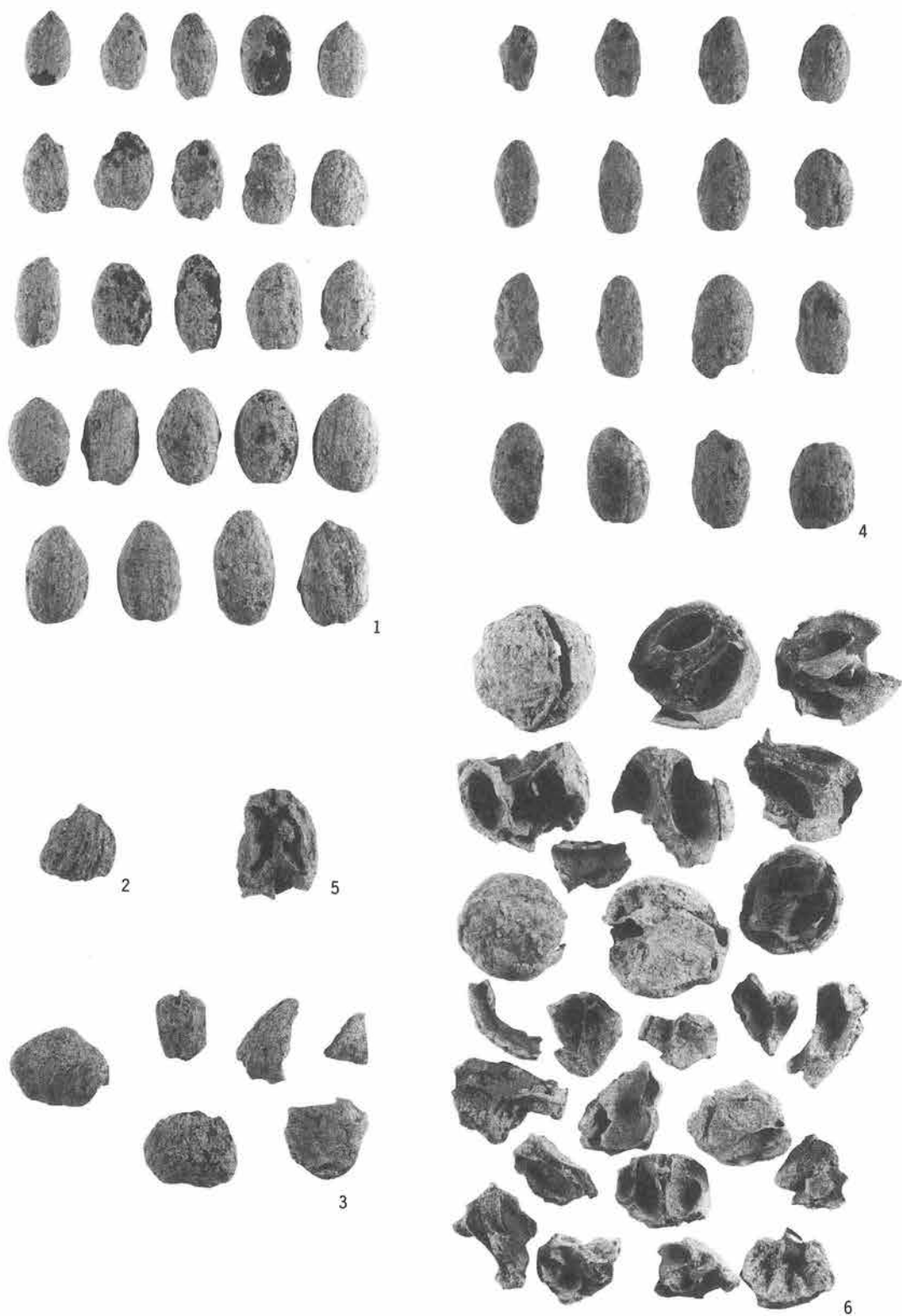


写真1 植物遺体1 (実大)

1 : ドングリ類 (RD11土坑), 2 : クリ (RD12土坑), 3 : 同 (RD42土坑),
 4 : ドングリ類 (RA09住居跡-PP10), 5 : オニグルミ (RA15住居跡), 6 : 同 (BIIIv23グリッド)

写 真 图 版

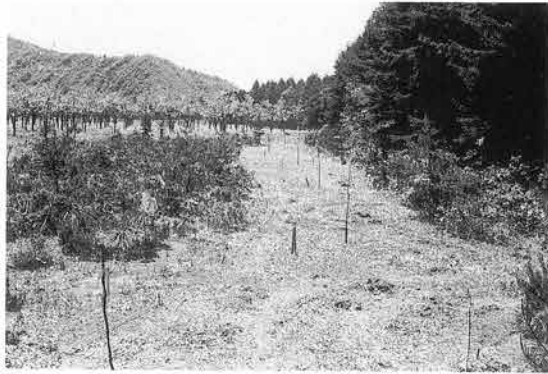


遺跡遠景（西から）



遺跡全景（東から）

写真図版 1 遺跡全景



(北側)



(南側)

A区調査前風景



(北側)



(南側)

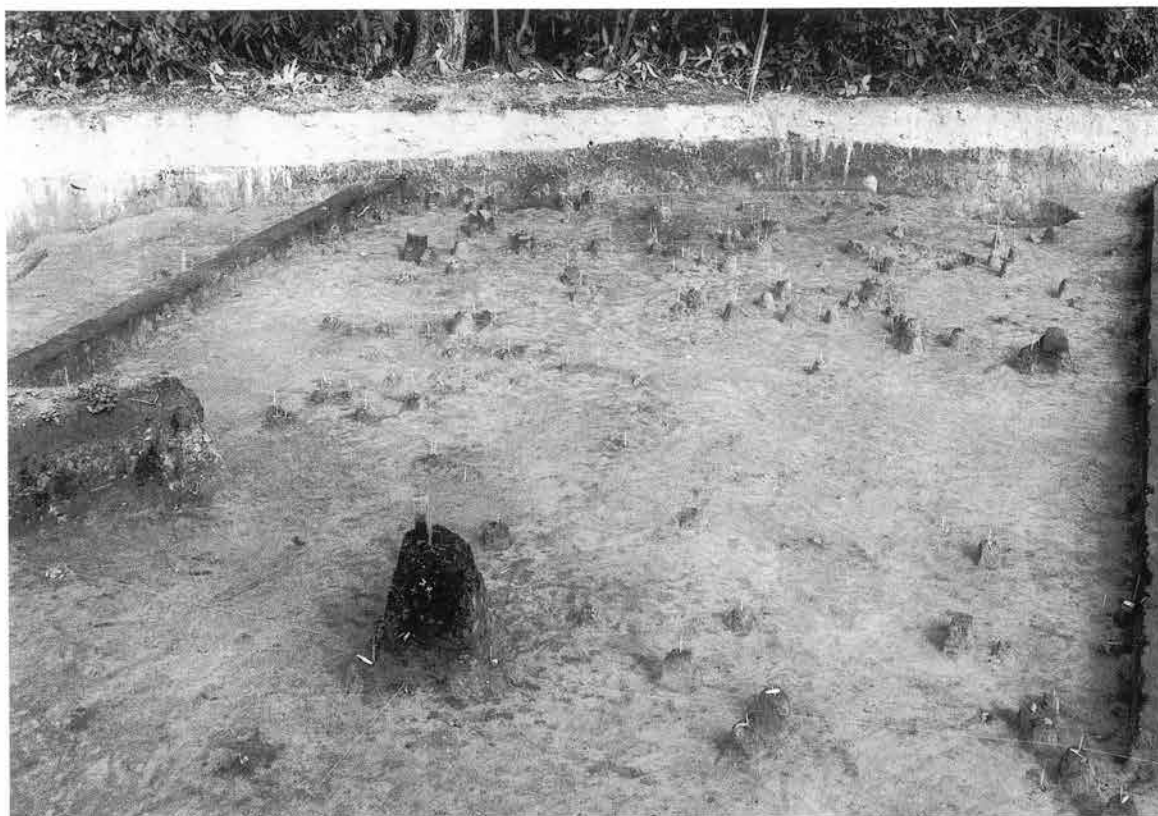
B区調査前風景



基本土層 (B IV x7)



基本土層 (C IV b11)



旧石器集中区遺物出土状況



B IV y12 遺物出土状況



C IV b11 遺物出土状況



RH01直下旧石器出土状況

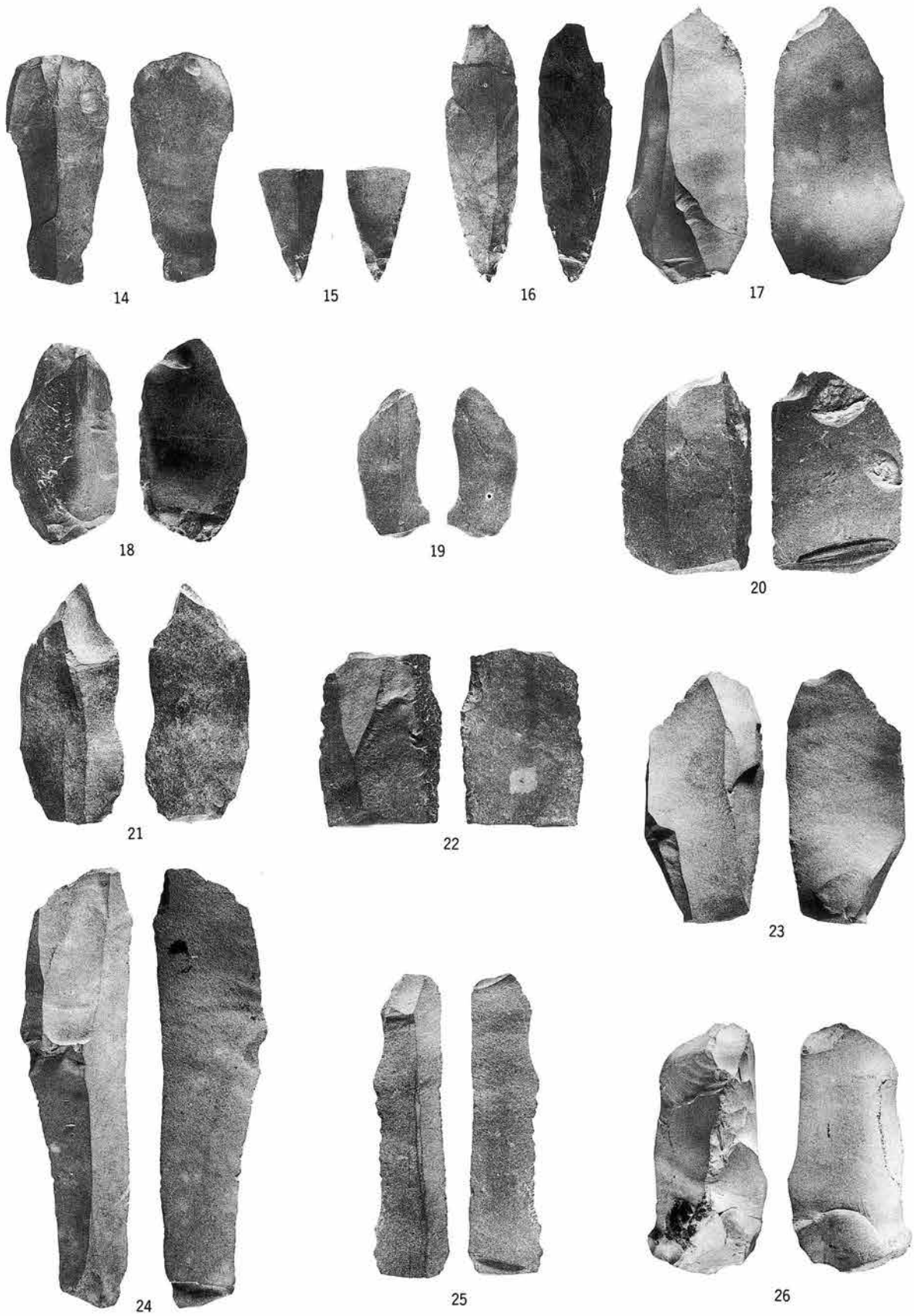


旧石器出土状況

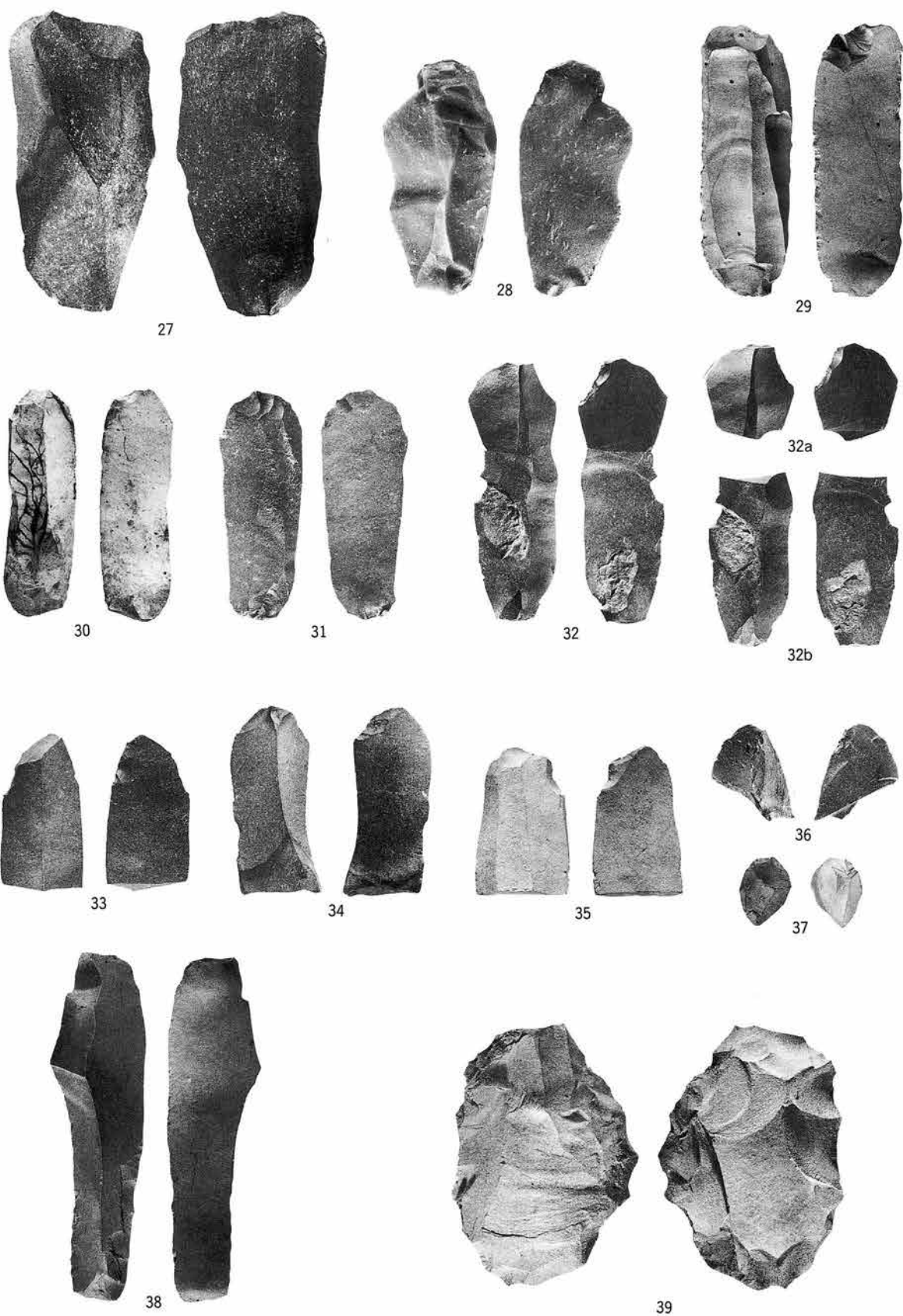
写真図版 3 旧石器出土状況



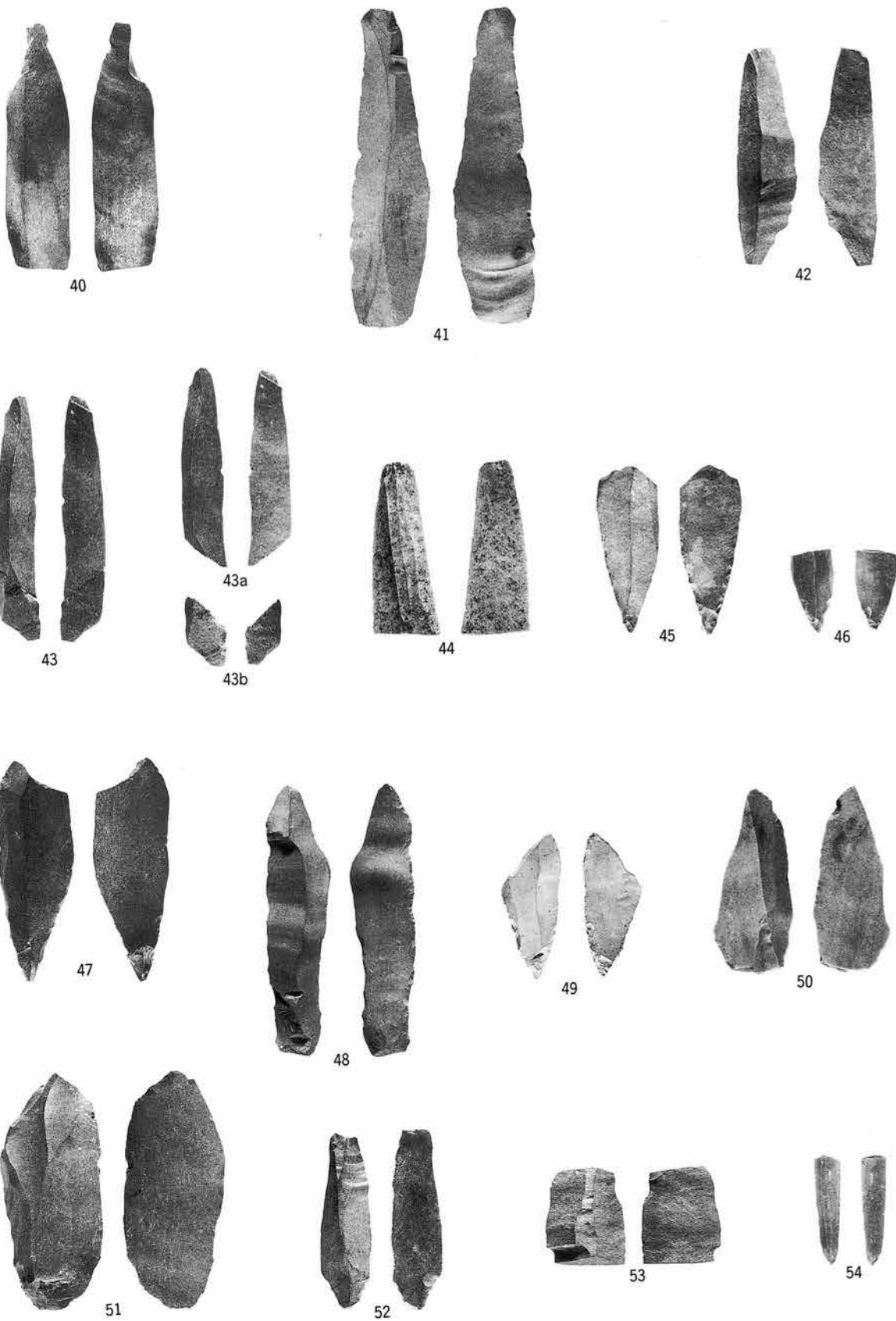
写真図版 4 旧石器(1)



写真図版 5 旧石器(2)



写真図版 6 旧石器(3)



写真图版 7 旧石器(4)

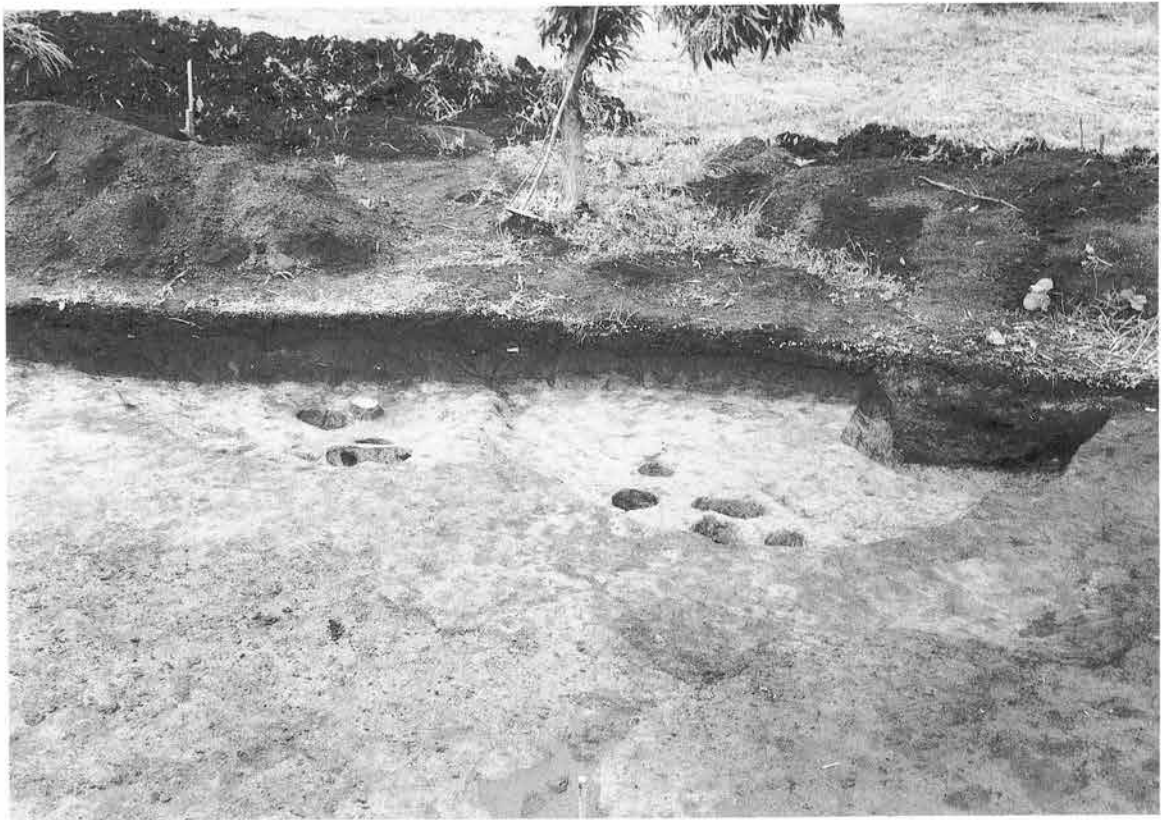


BIV区全景

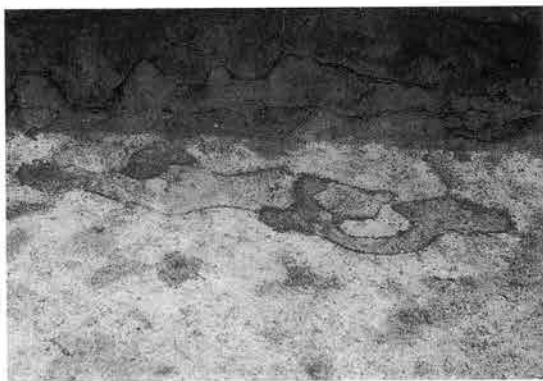


大形住居跡群

写真図版 8 BIV区全景・大形住居跡群



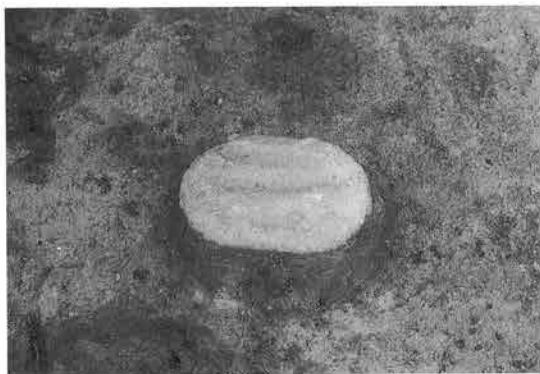
RA01・03 平面



RA01 炉 平面



RA01 炉 断面



RA03遺物(2160) 出土状況



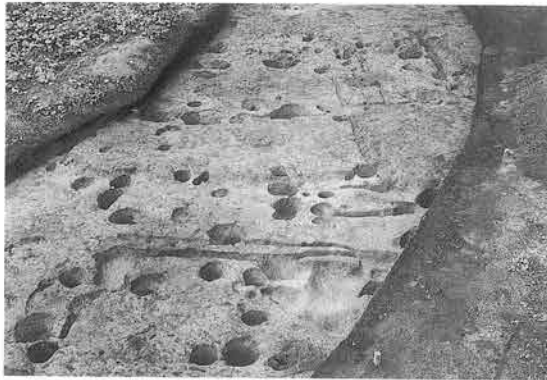
RA03-PP4 遺物出土状況



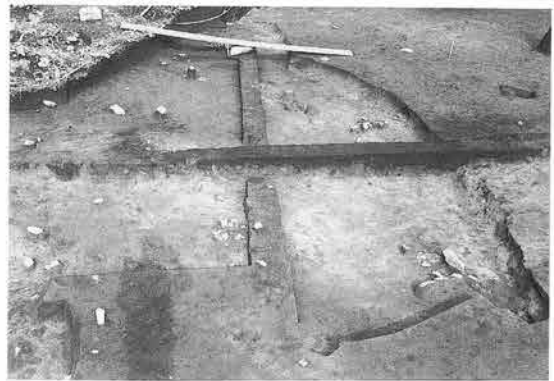
RA02 平面



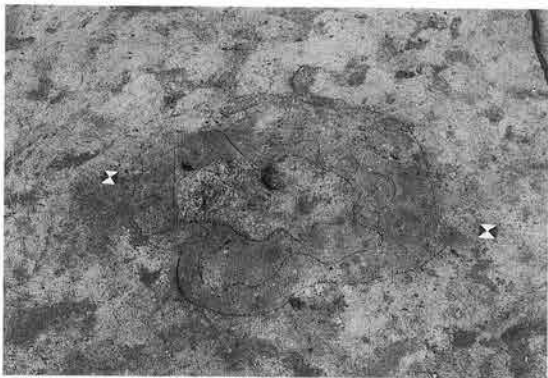
RA02 烧土



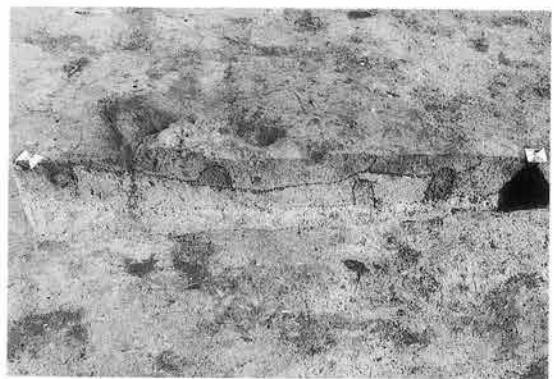
RA04 平面



RA04 断面



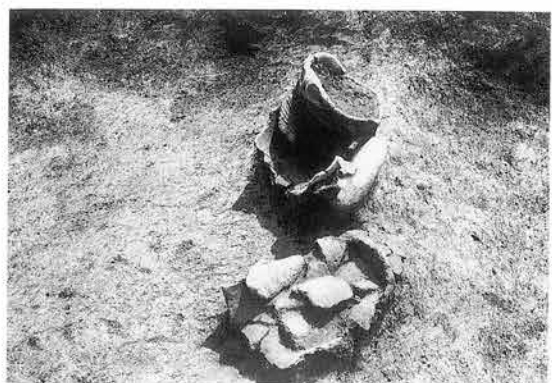
RA04 炉 断面



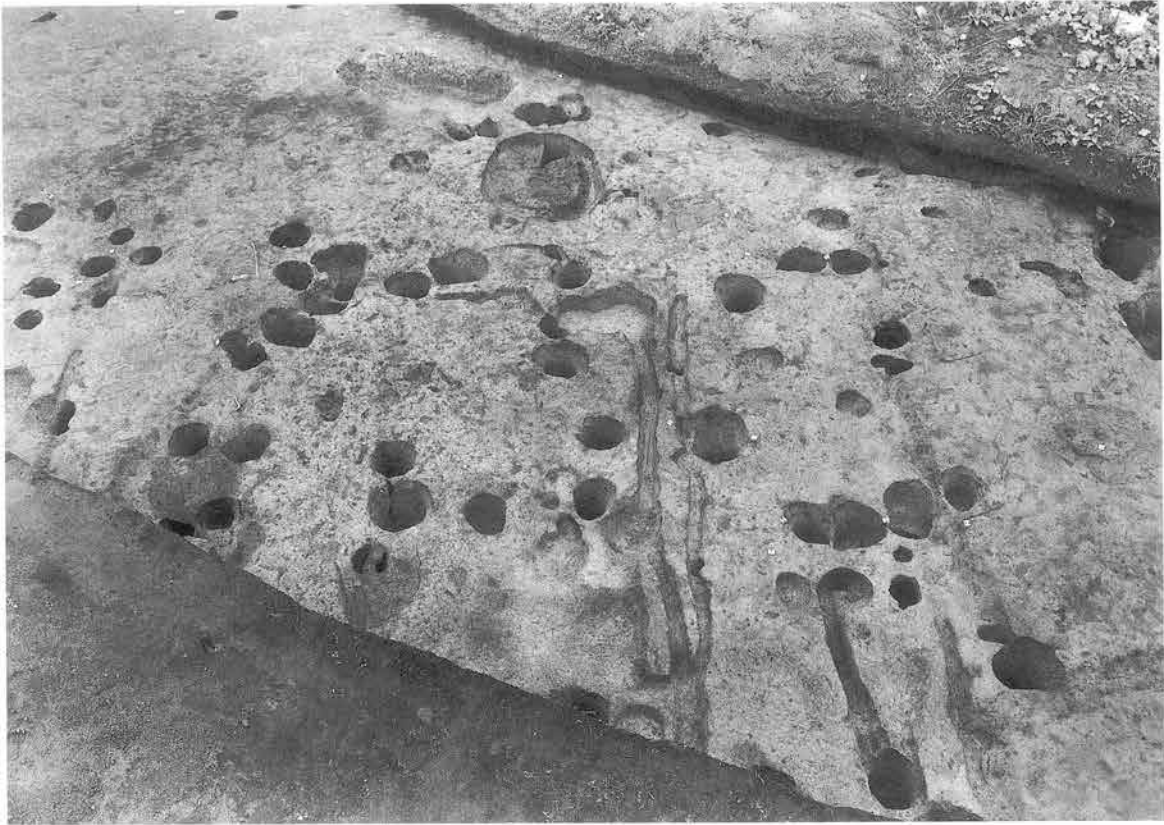
RA04 炉 断面



RA04 遺物(103)出土状況



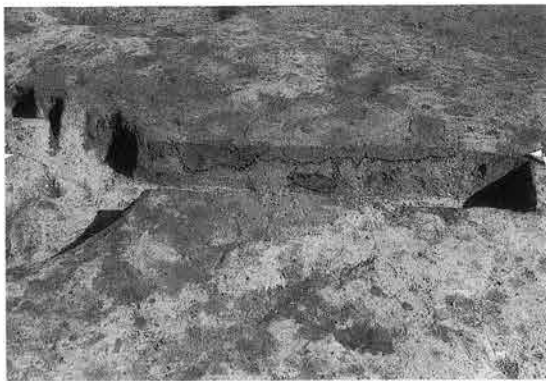
RA04 遺物(101・102)出土状況



RA05・06 平面



RA05・06 断面



RA05 炉 断面



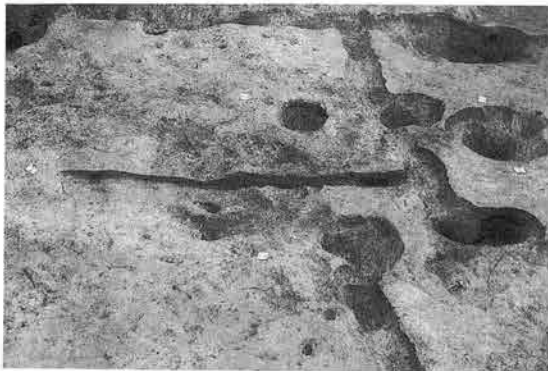
RA05 遺物(107)出土状況



RA07 平面



RA07 断面



RA07 炉1 断面



RA07 炉2 断面



RA07 遺物出土状況



RA07 遺物(122・123)出土状況



RA07 琥珀出土状況



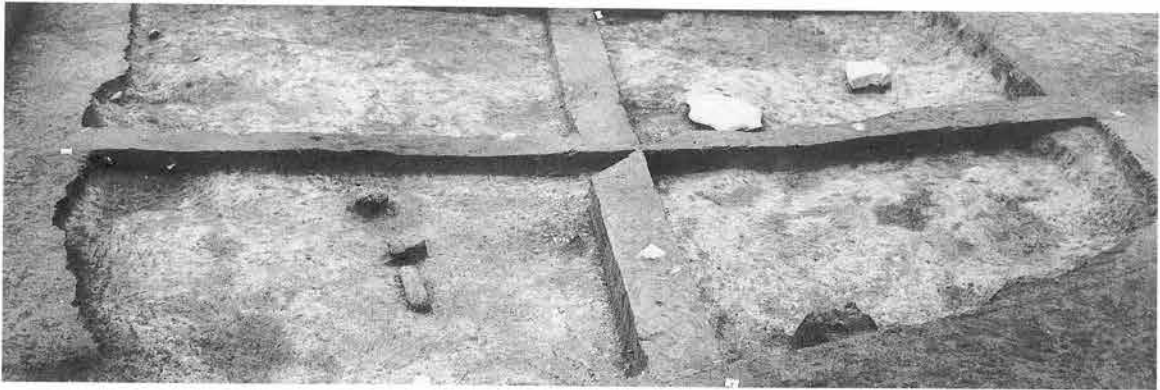
RA07 遺物(129・130)出土状況



RA07 遺物(125)出土状況



RA08 平面



RA08 断面

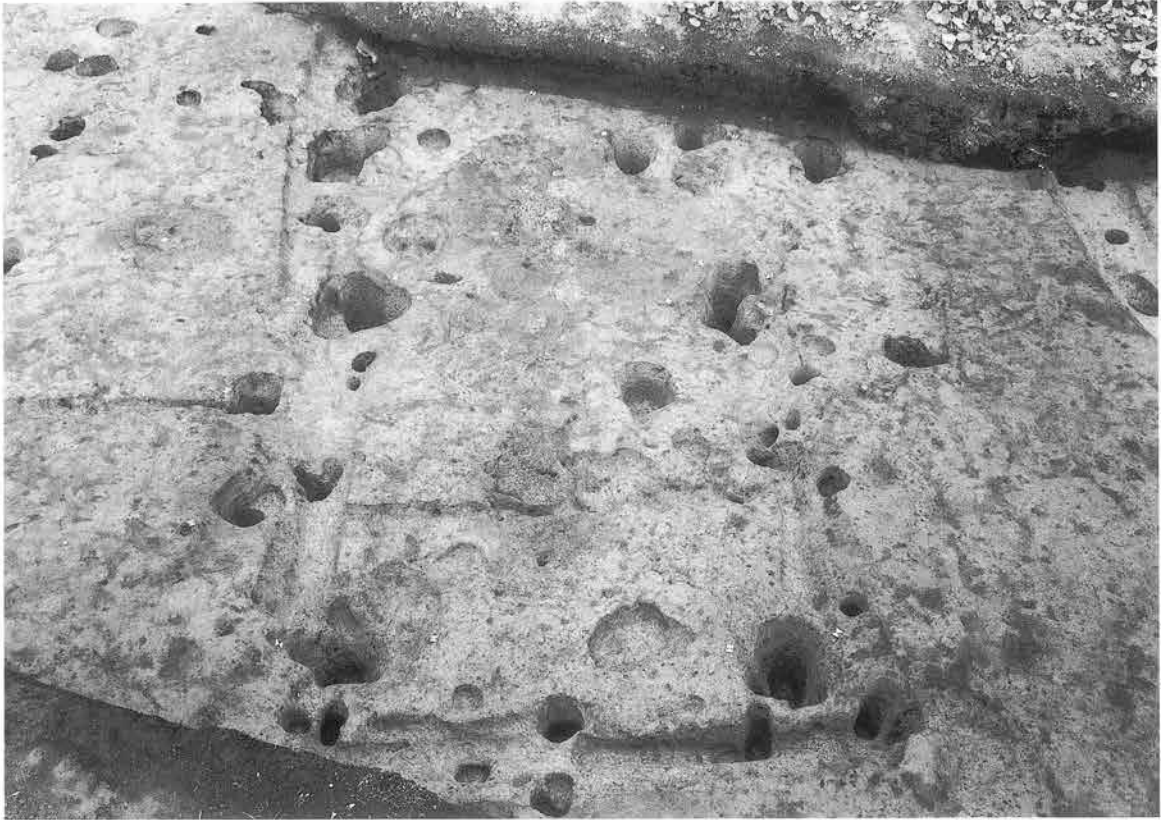


RA08 炉1 断面

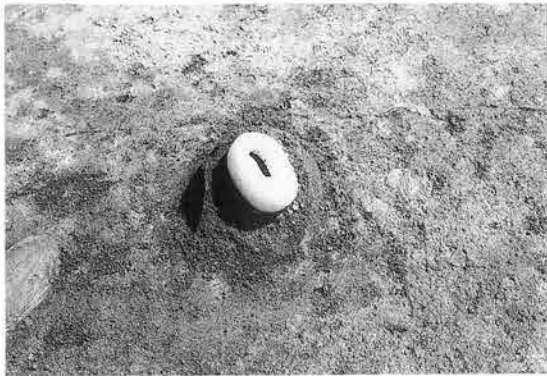


RA08内埋設土器 断面

写真図版14 RA08住居跡



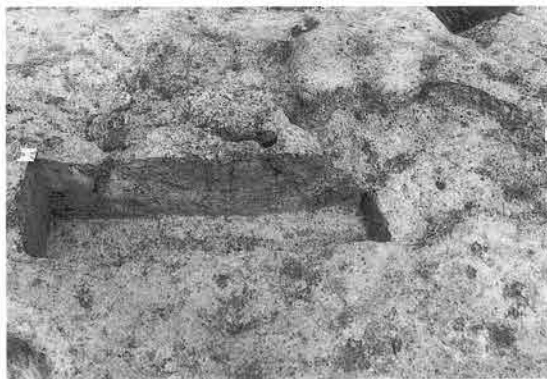
RA09 平面



RA09 遺物出土状況



RA09 遺物(2182)出土状況



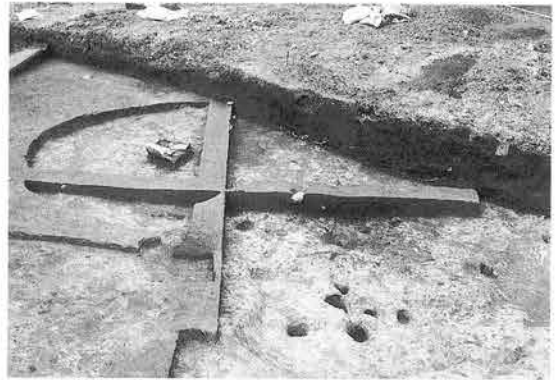
RA09 炉1 断面



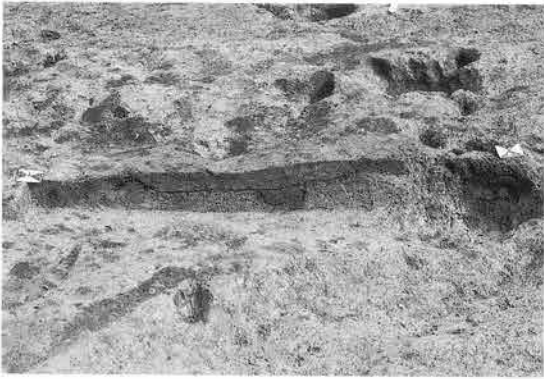
RA09 内埋設土器 断面



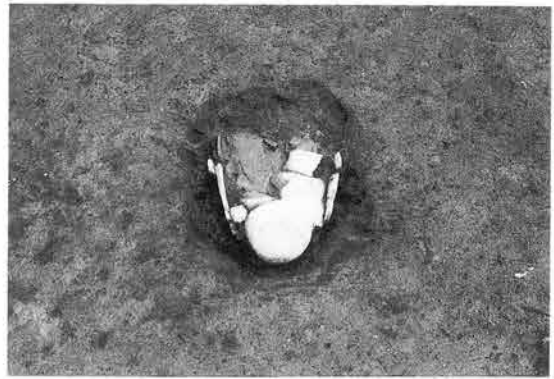
RA10・RD07 平面



RA10・RD07 断面



RA10 炉 断面



RD07 遺物(197)出土状況



RA11 平面



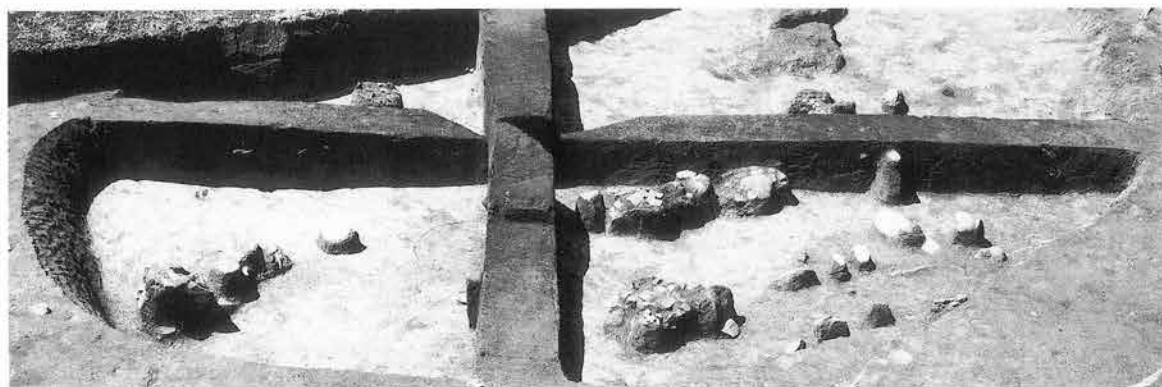
RA11 断面



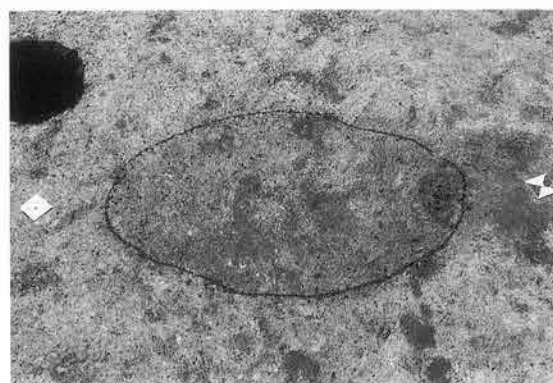
RA11 遺物(531)出土状況



RA13 平面



RA13 断面

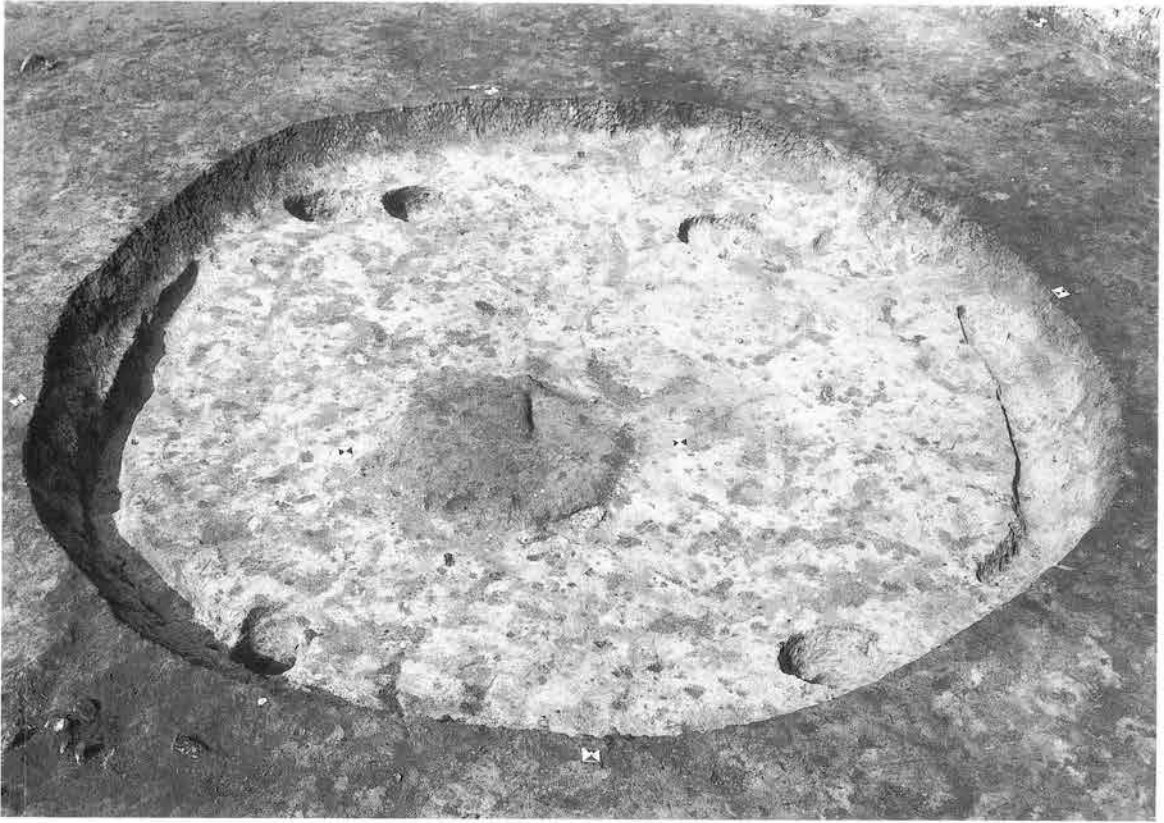


RA13 炉 平面

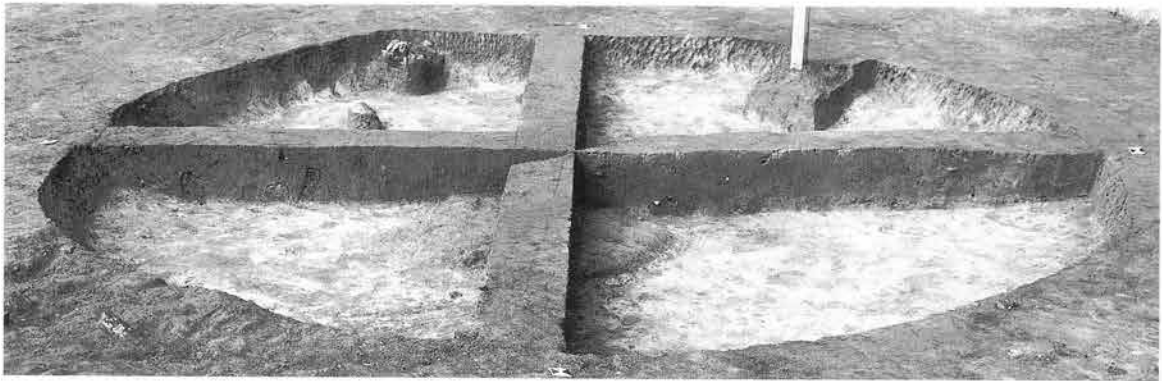


RA13 炉 断面

写真図版17 RA13住居跡



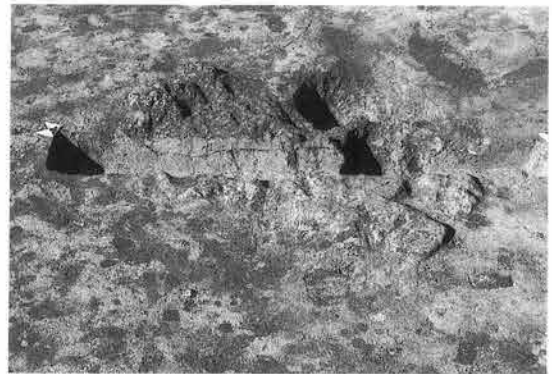
RA14 平面



RA14 断面



RA14 炉 平面

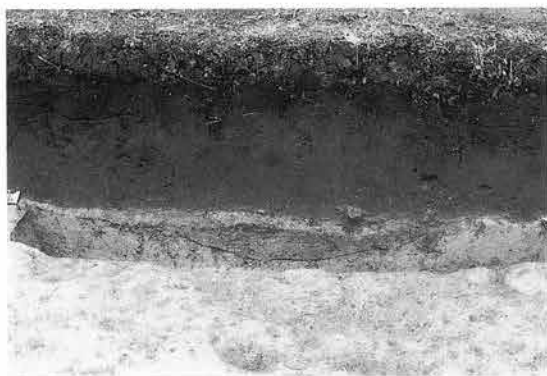


RA14 炉 断面

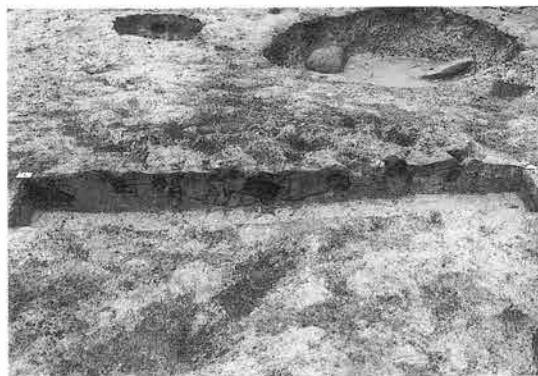
写真図版18 RA14住居跡



RA15・17 平面



RA15 炉1 断面



RA15 炉2 断面



RA17 炉1 断面



RA15 内埋設土器 断面



RA12・16 平面



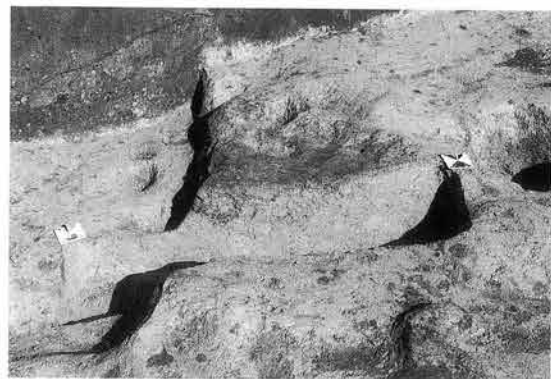
RA12 平面



RA12 断面



RA16 炉 平面



RA15 炉 断面



RA18 平面



RA18 断面



RA18 炉 平面



RA18 炉 断面



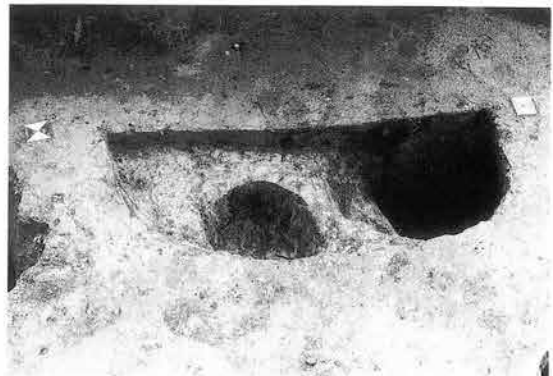
RA19 平面



RA19 断面



RA19 炉1 平面



RA19 炉1 断面



RA20 平面



RA20 断面



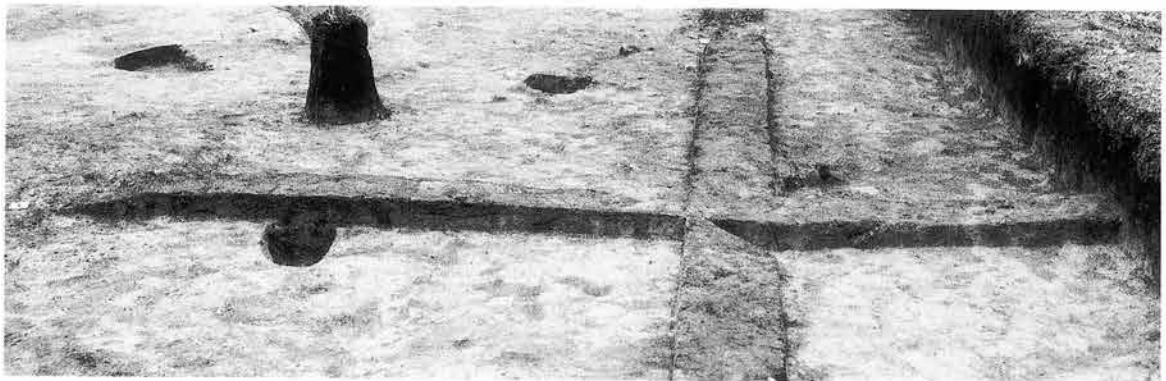
RA20 炉 断面



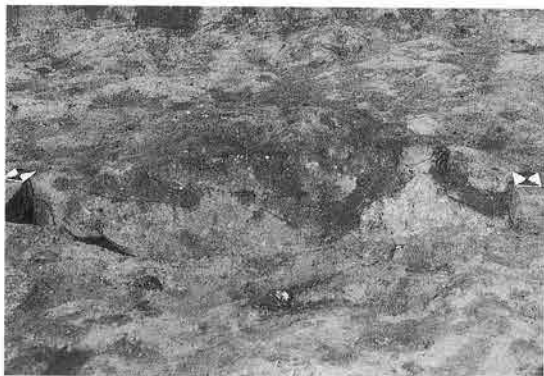
RA20 遺物(157)出土状況



RA22 平面



RA22 断面



RA22 炉 断面



RA22 遺物(160)出土状況



RA26 平面



RA26 断面



RA26 検出状況

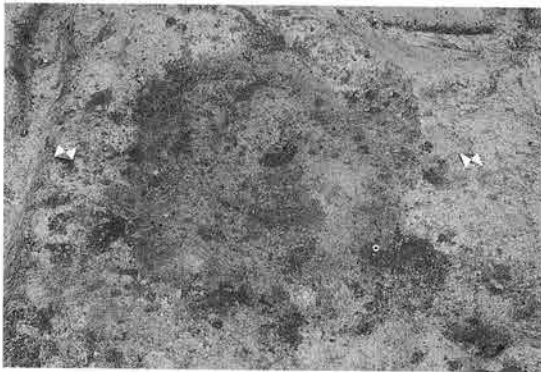


RA26、RD45 平面

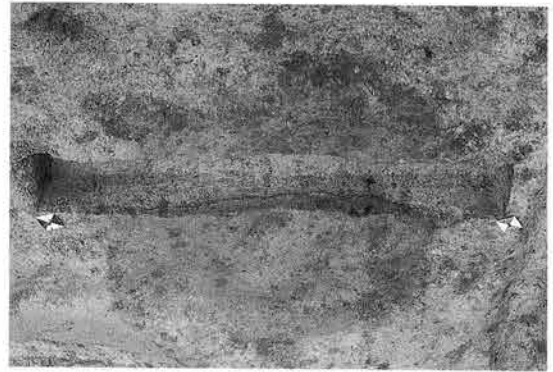
写真図版25 RA26住居跡



RA27 平面



RA27 炉 平面



RA27 炉 断面



遺構検出状況

写真図版26 RA27住居跡



RA28 平面



RA28 炉1 断面



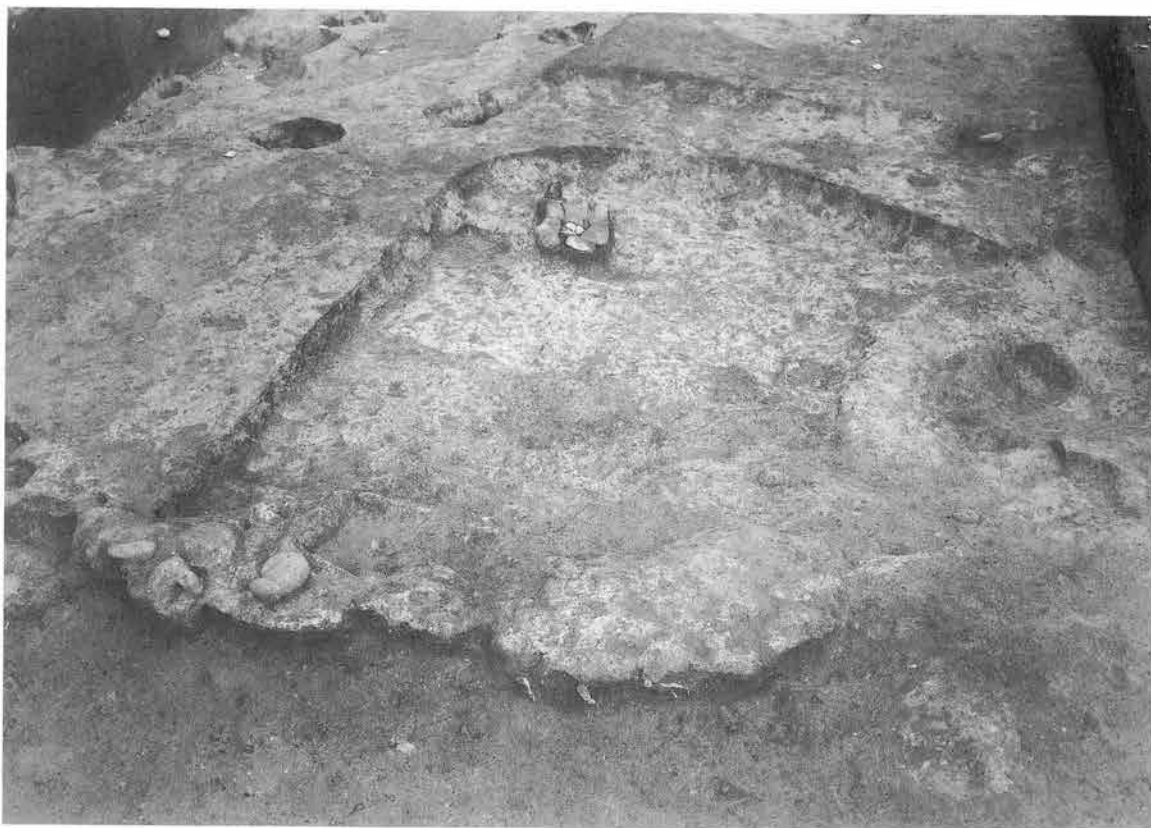
RA28 炉2 断面



RA28 炉3 断面



RA28 炉4 断面



RA29 平面



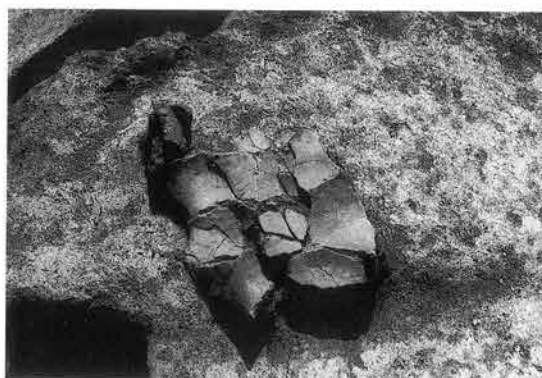
RA29 炉 平面



RA29 炉 断面



RA29-PP3 遺物(185)出土状況

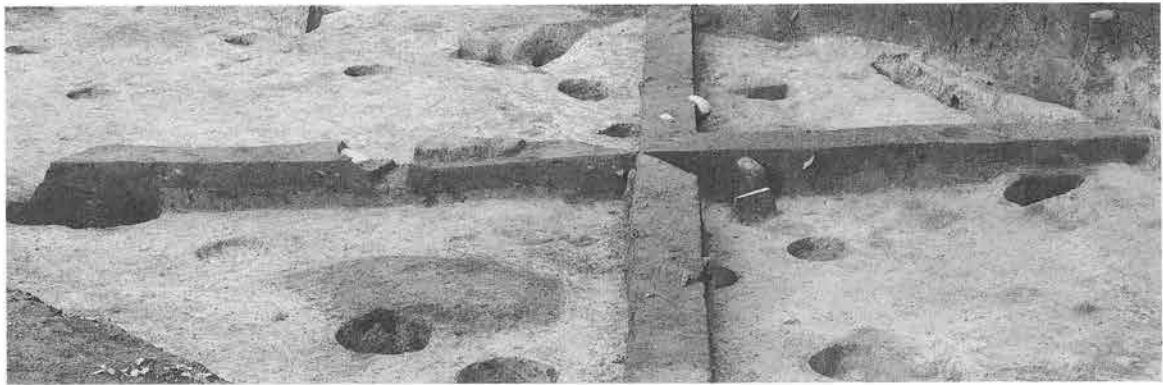


RA29 遺物(186)出土状況

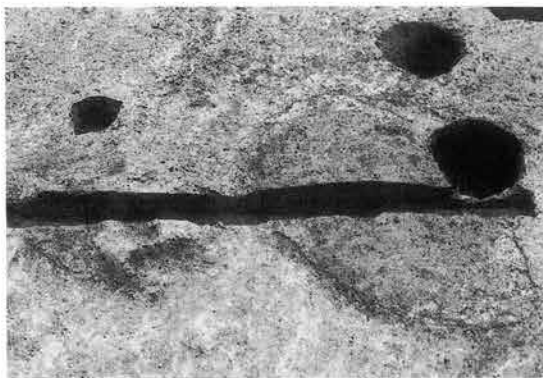
写真図版28 RA29住居跡



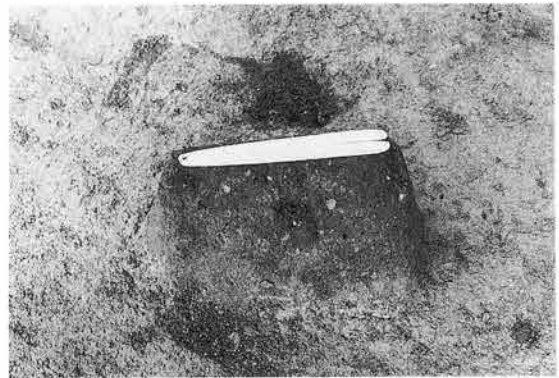
RA24・30 平面



RA24 断面



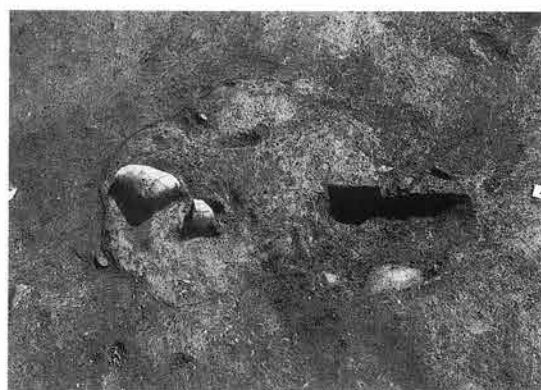
RA24 炉1・2 断面



RF24 (2171)遺物出土状況



RA23 平面



RA21 炉1 断面



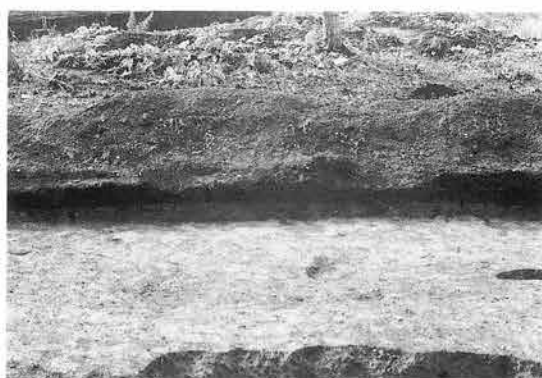
RA21 炉 断面



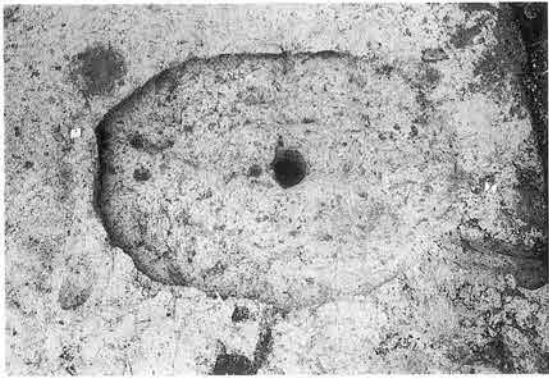
RA31 平面



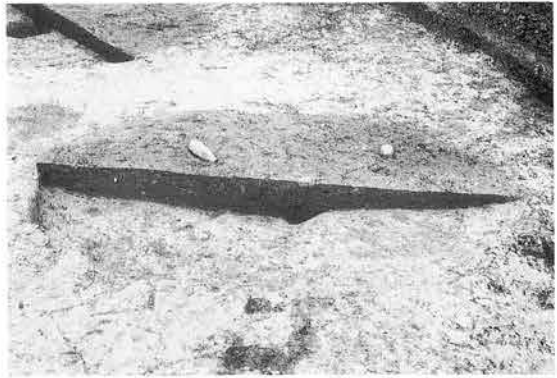
RA23 炉 断面



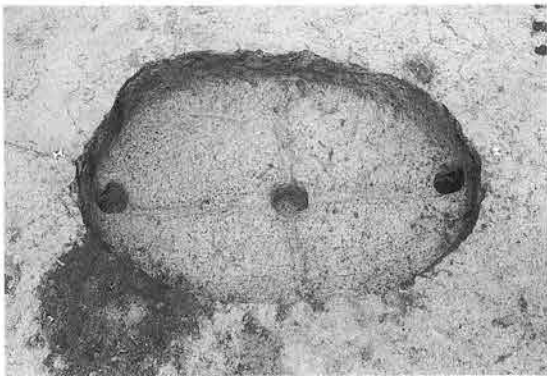
RA31 炉 断面



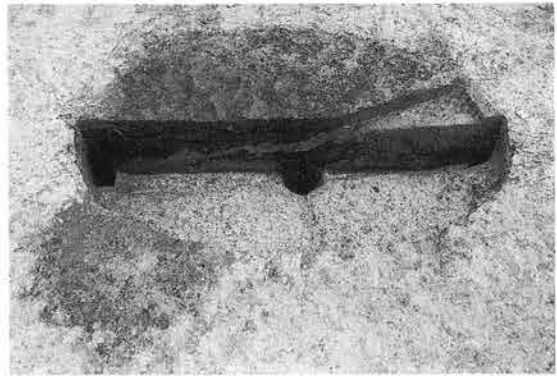
RD01 平面



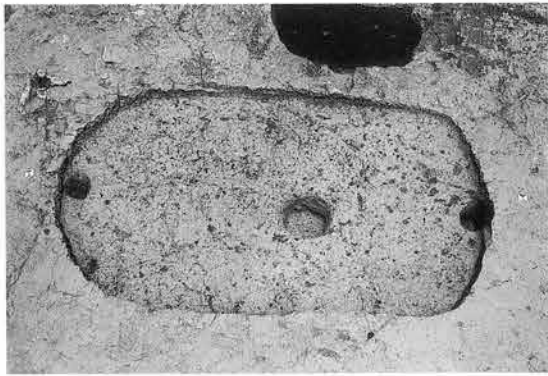
RD01 断面



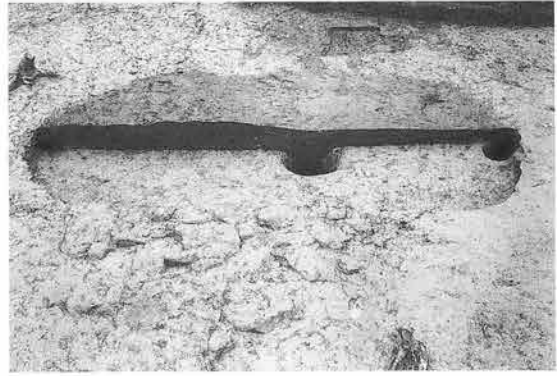
RD02 平面



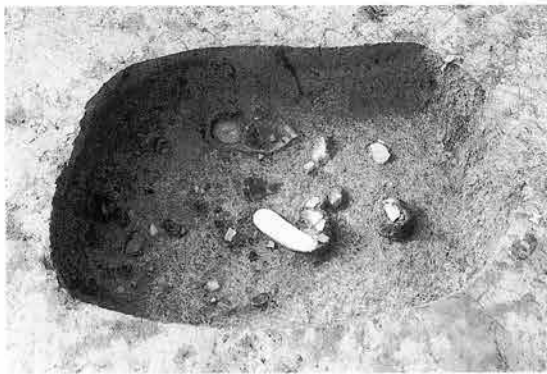
RD02 断面



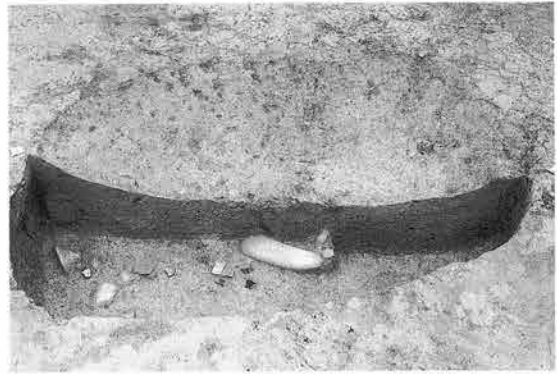
RD03 平面



RD03 断面



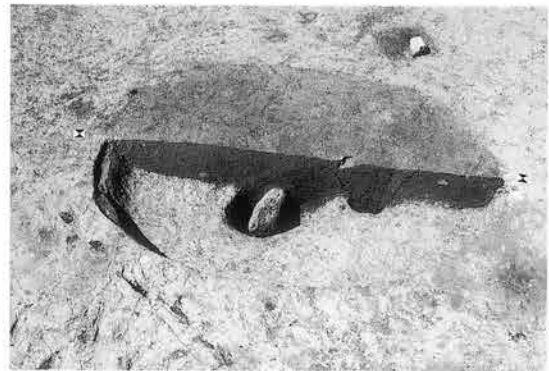
RD04 平面



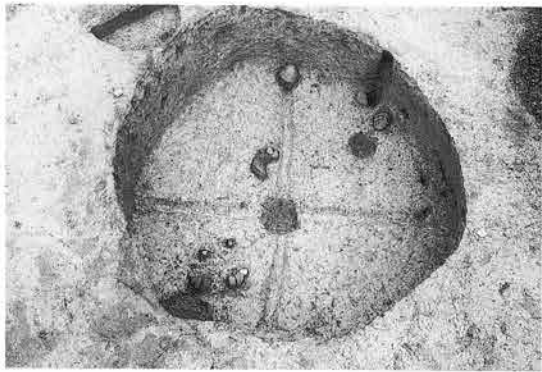
RD04 断面



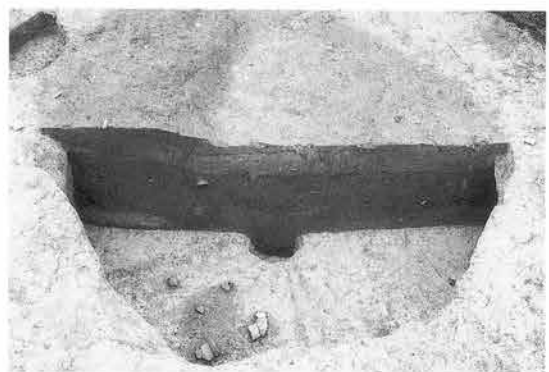
RD05 平面



RD05 断面



RD06 平面



RD06 断面



RD06 遺物出土状況



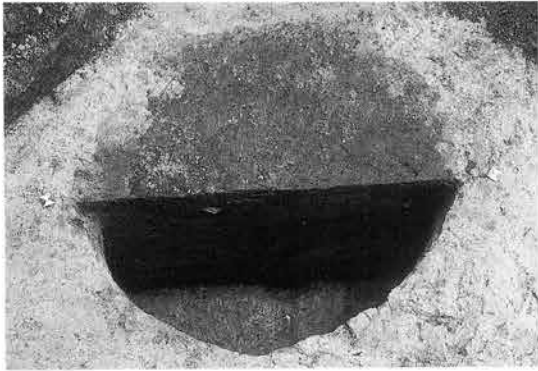
RD08 断面



RD09 平面



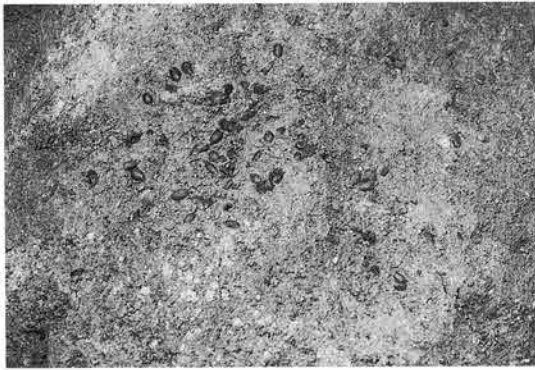
RD09 断面



RD10 平面



RD11 平面・断面



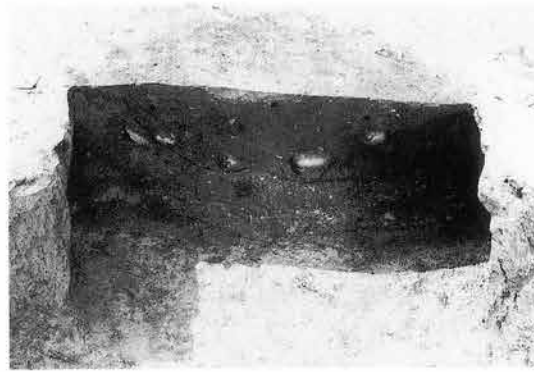
RD11 ドングリ出土状況



RD11 遺物出土状況



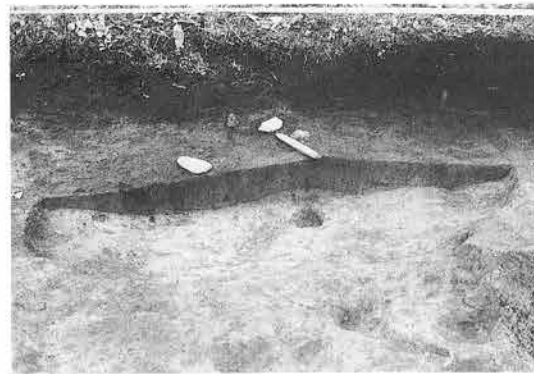
RD12 平面



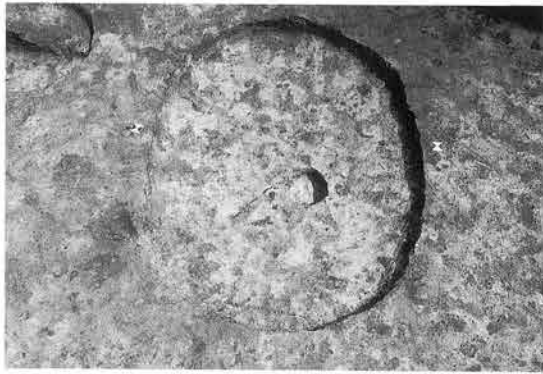
RD12 断面



RD13 平面



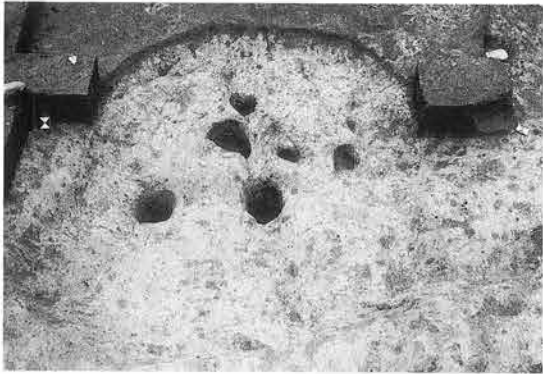
RD13 断面



RD14 平面



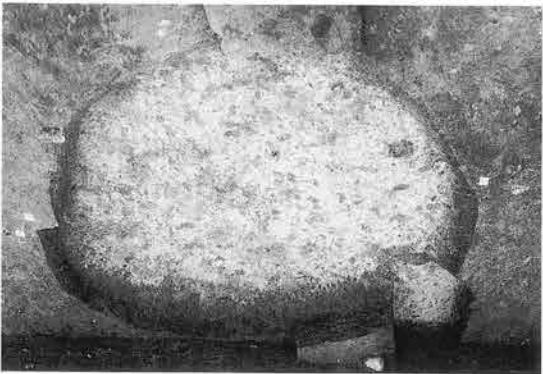
RD14 断面



RD15 平面



RD15 断面



RD16 平面



RD16 断面



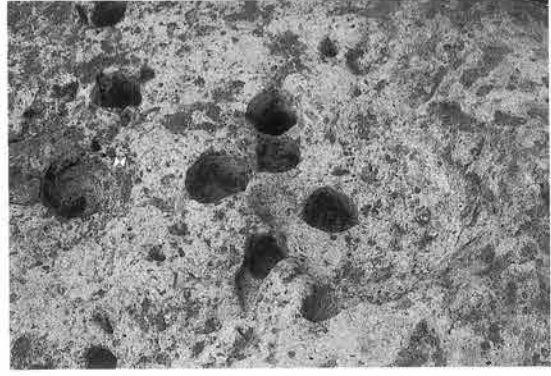
RD18 平面



RD18 断面



RD17・19 平面



RD20 平面



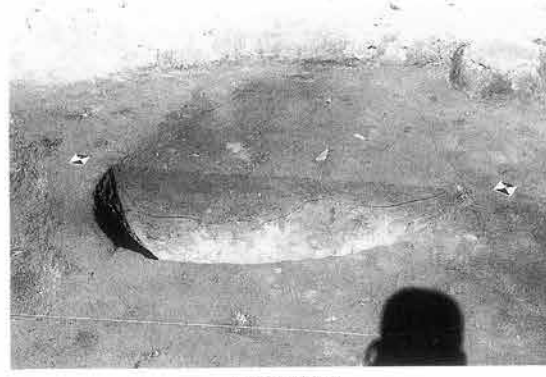
RD21 平面



RD21 断面



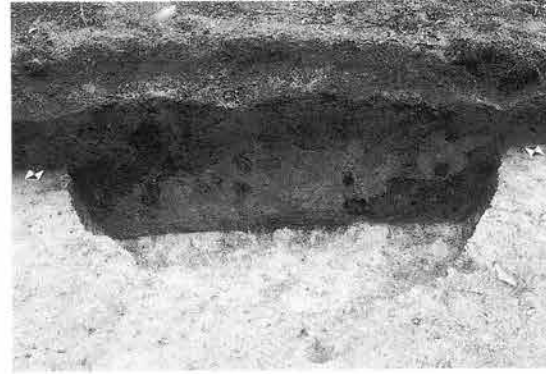
RD22 平面



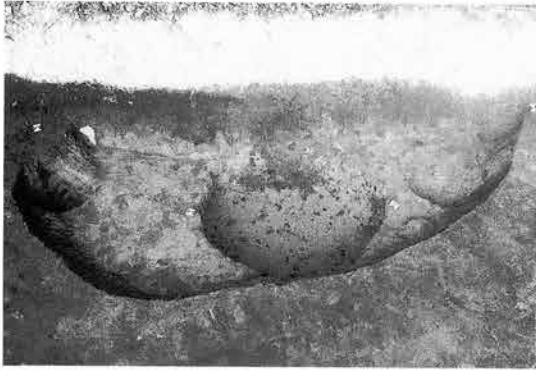
RD22 断面



RD23 平面



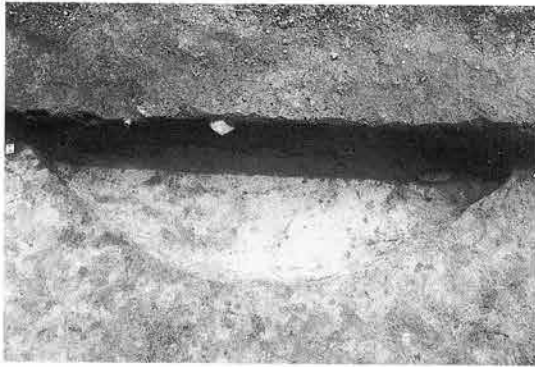
RD23 断面



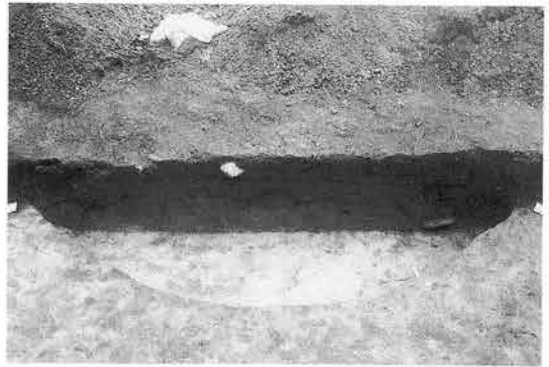
RD24・25 平面



RD24 断面



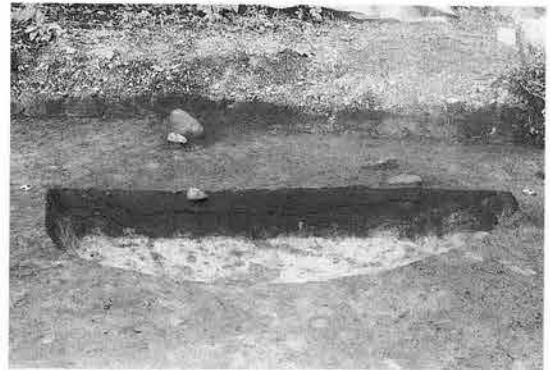
RD26 平面



RD26 断面



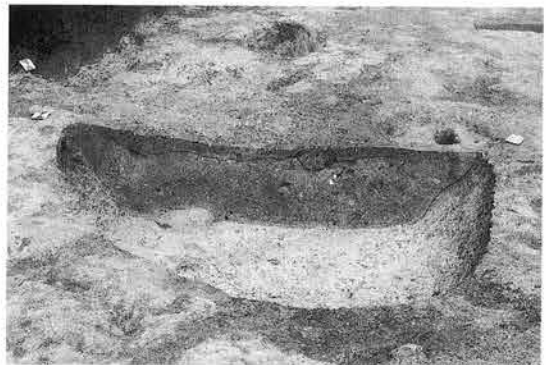
RD27 平面



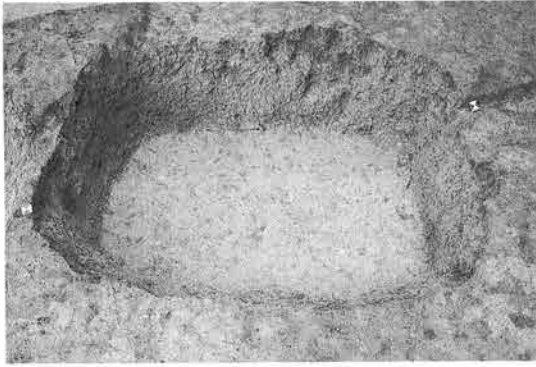
RD27 断面



RD29 平面



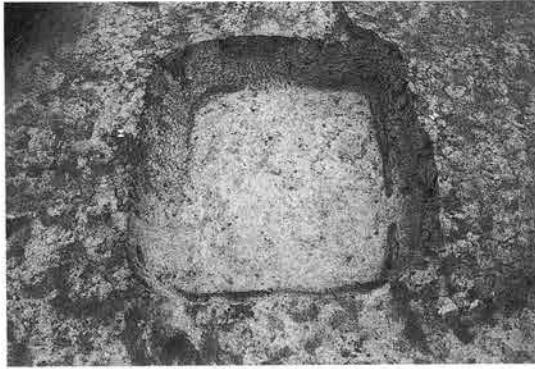
RD29 断面



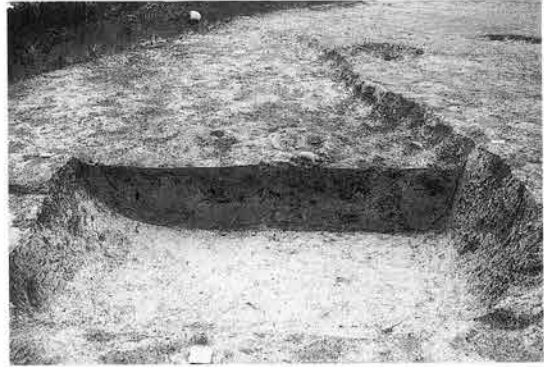
RD30 平面



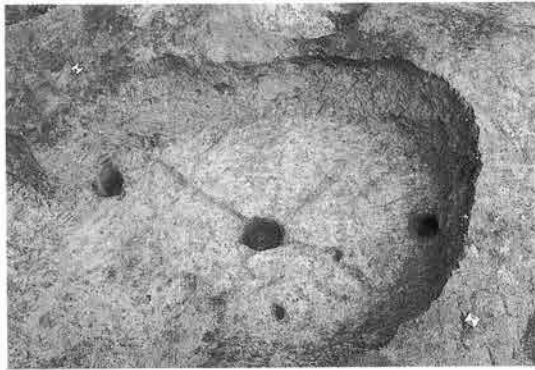
RD30 断面



RD31 平面



RD31 断面



RD32 平面



RD32 断面



RD33 平面



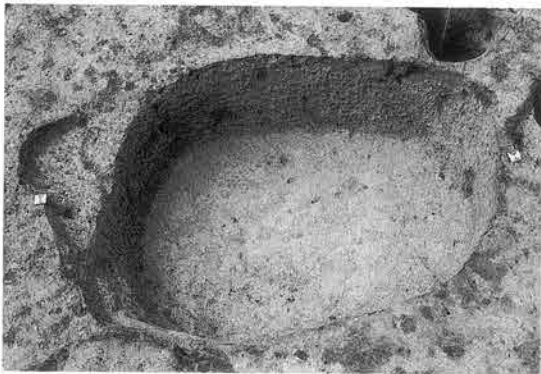
RD33 断面



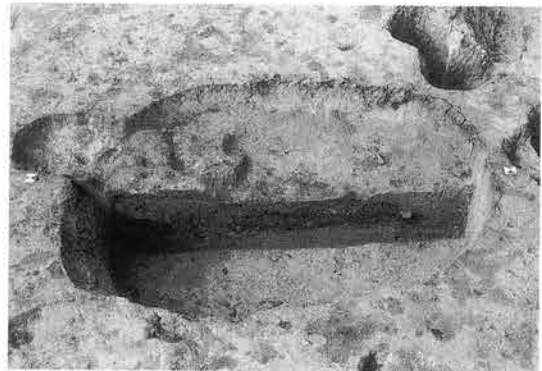
RD34 平面



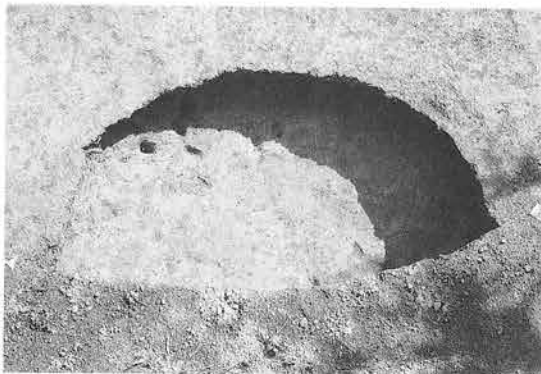
RD34 断面



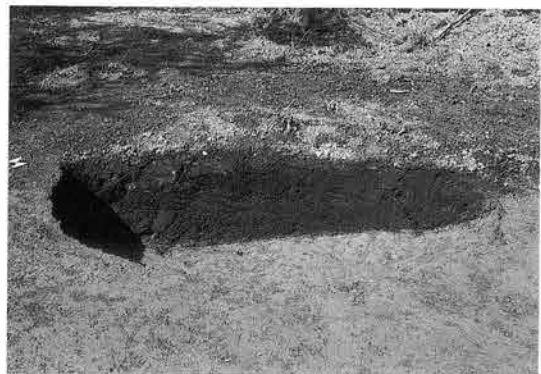
RD35 平面



RD35 断面



RD36 平面



RD36 断面



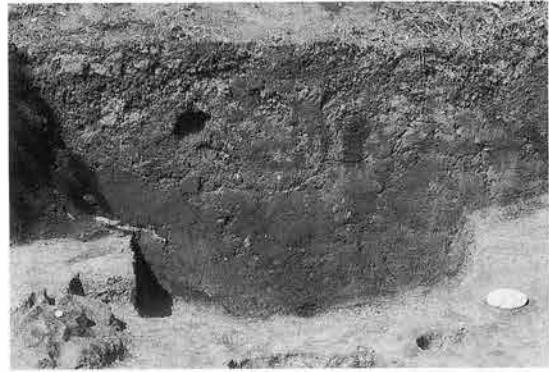
RD37 平面



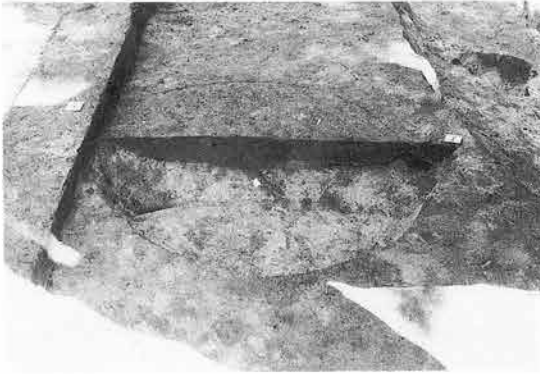
RD37 断面



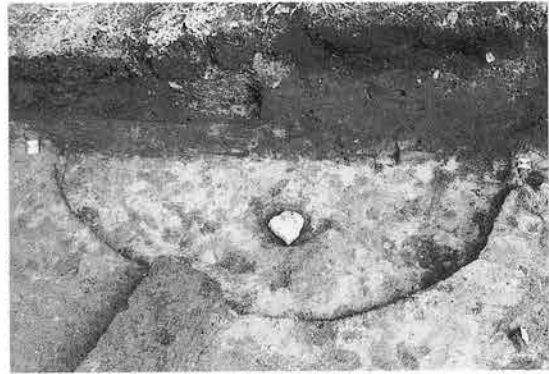
RD38 平面



RD38 断面



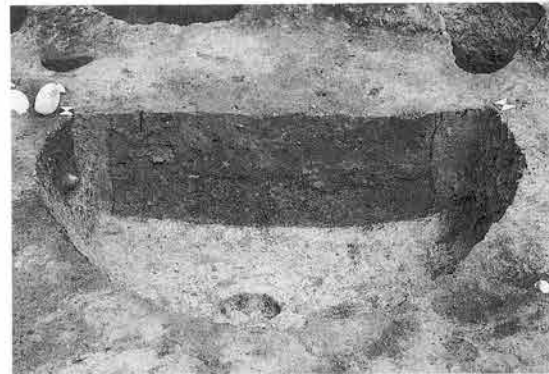
RD39 断面



RD41 平面・断面



RD40 平面



RD40 断面



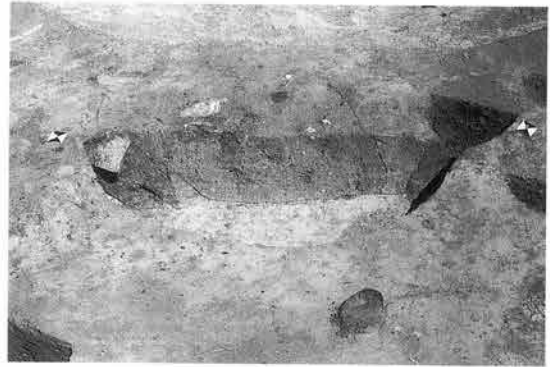
RD42 平面



RD42 断面



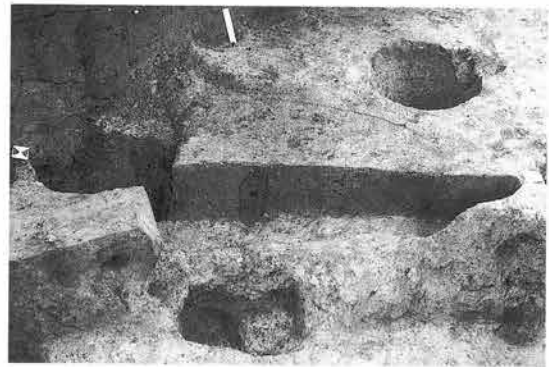
RD43 平面



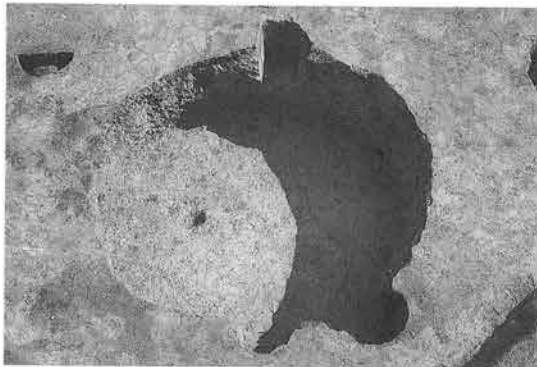
RD43 断面



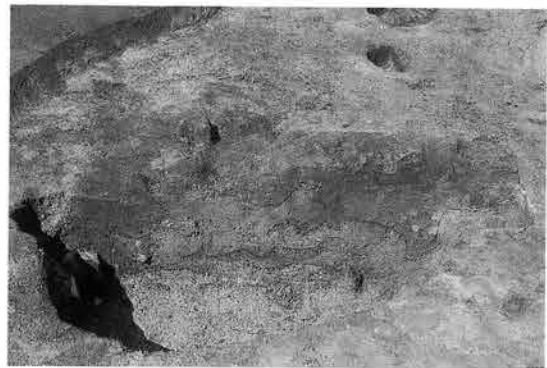
RD44 平面



RD44 断面



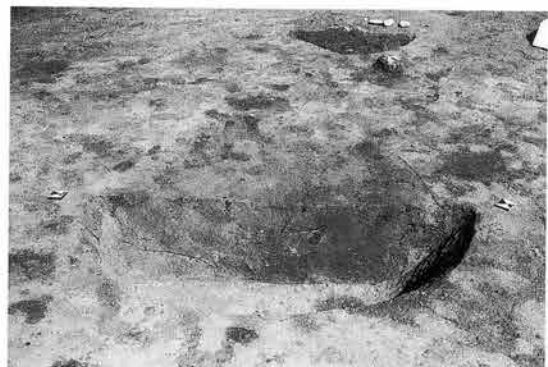
RD45 平面



RD45 断面



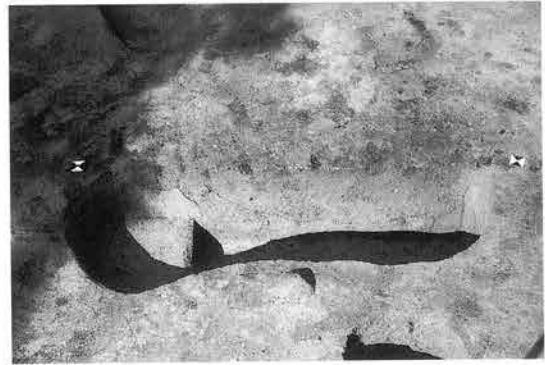
RD46 平面



RD46 断面



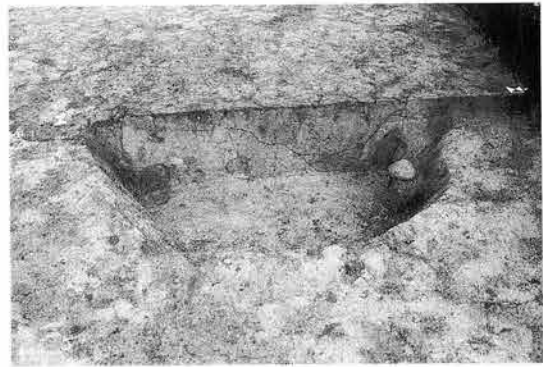
RD47 平面



RD47 断面



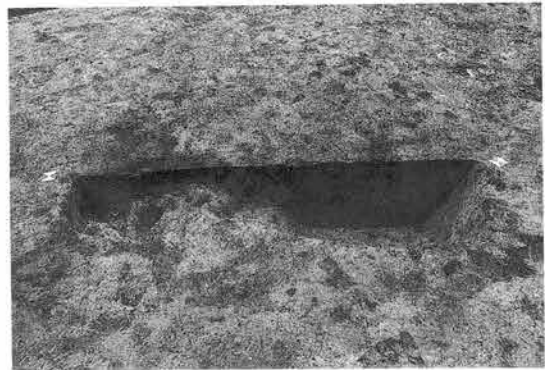
RD48 平面



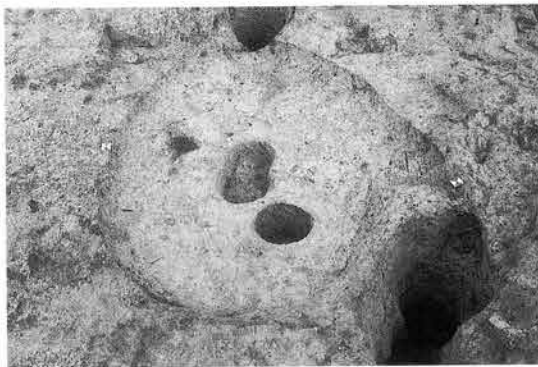
RD48 断面



RD49 平面



RD49 断面



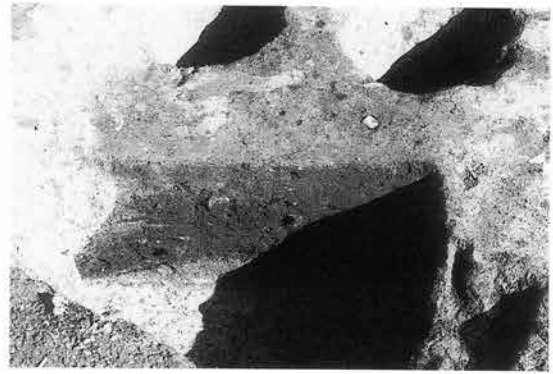
RD50 平面



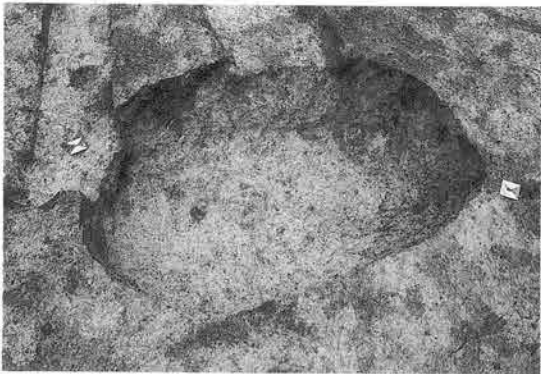
RD50 断面



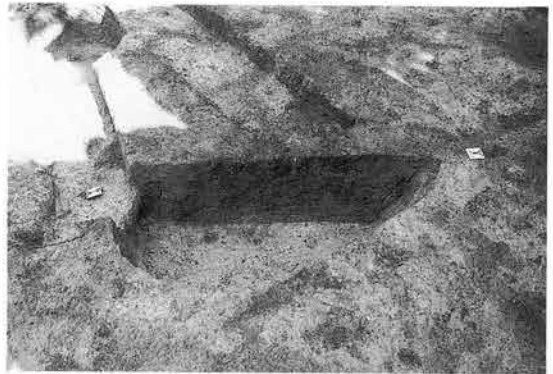
RD51 平面



RD51 断面



RD52 平面



RD52 断面



RD28 平面



RD53 平面



BIII区北端土坑群

写真図版42 RD51・52土坑、RD28・53陥し穴



RF01 平面



RF01 断面



RF02 平面



RF02 断面



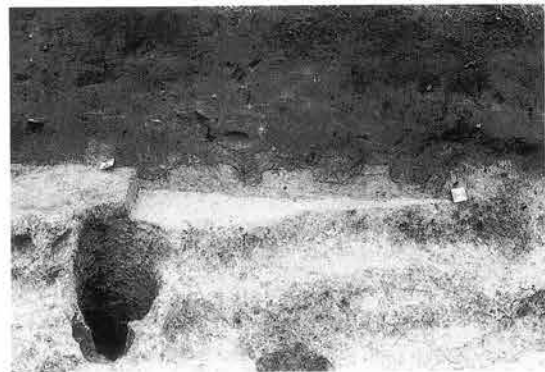
RF03 平面



RF03 断面



RF05 平面



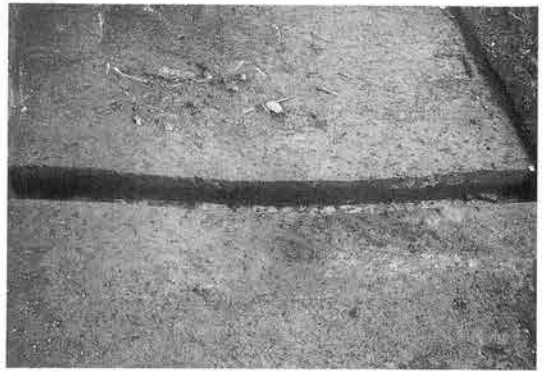
RF05 断面



RF04 平面



RF04 断面(A-A')



RF04 断面(D-D')



RH01 検出状況



RF04 断面(E-E')



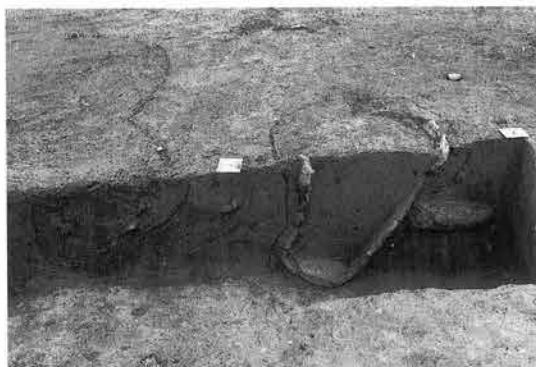
RH01 断面



RH01 集石除去後



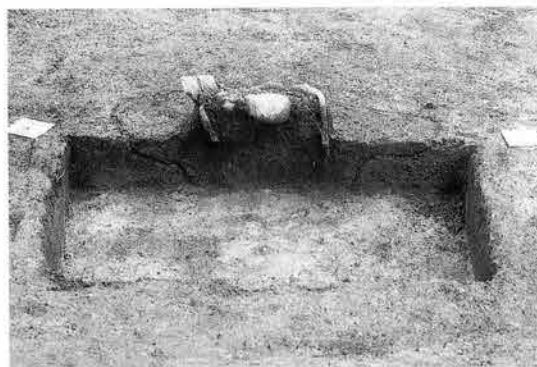
RZ01・03 平面



RZ01・03 断面



RZ02 平面



RZ02 断面



RZ04 平面



RZ04 断面



RZ05 平面



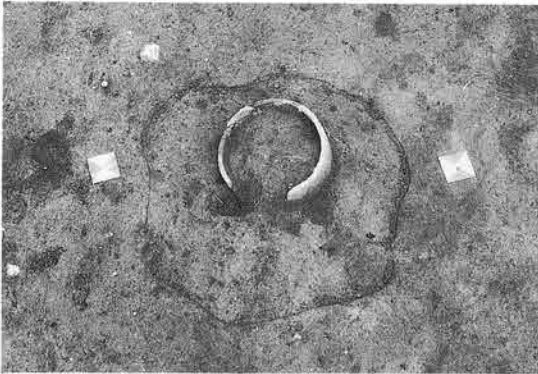
RZ05 断面



RZ06 平面



RZ06 断面



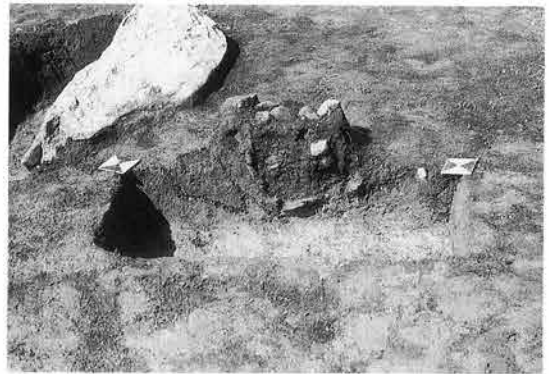
RZ07 平面



RZ07 断面



RZ08・09 断面



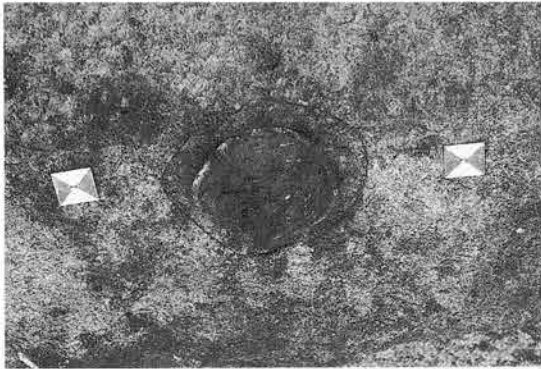
RZ10 断面



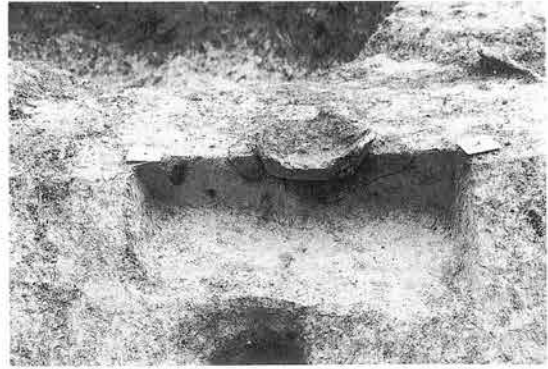
RZ11 断面



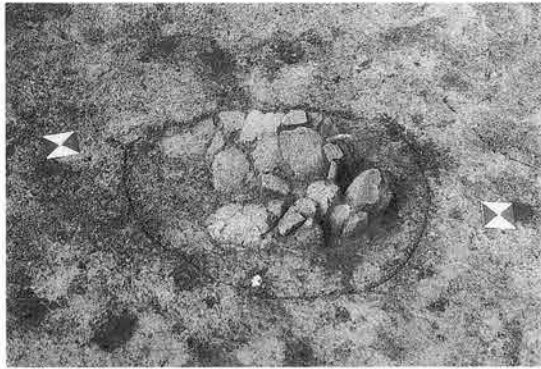
RZ12 断面



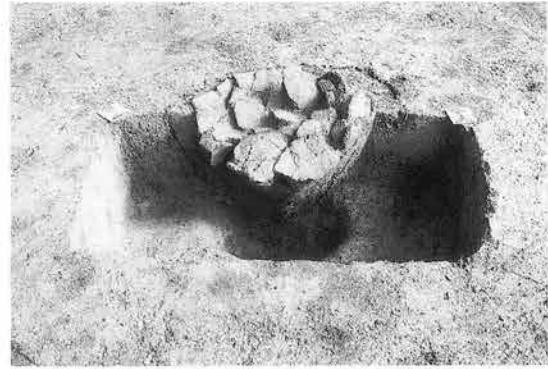
RZ13 平面



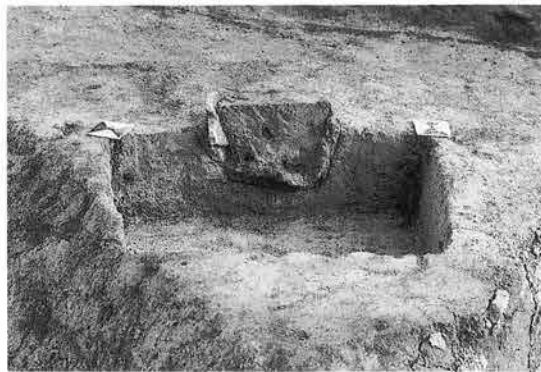
RZ13 断面



RZ14 平面



RZ14 断面



RZ15 断面



RZ16 断面



作業風景



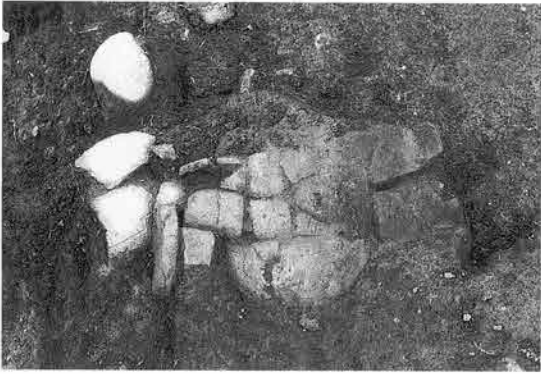
現地説明会



BIVw4 遺物(275)出土状況



BIVw5 遺物(279~282)出土状況



BIIIu23 遺物(233)出土状況



BIVw3 遺物(265)出土状況



BIVw1 遺物(253)出土状況



BIVw10 尖頭器(1514)出土状況



BIV w3 遺物(268・270)出土状況



BIV w10 石製品(2193)出土状況



101



102



103



104



106

S = 1/3



105



107



108



109



110



111



112

S = 1/3



113



114



115



117



116



118



119

S=1/3



120



121



122



123



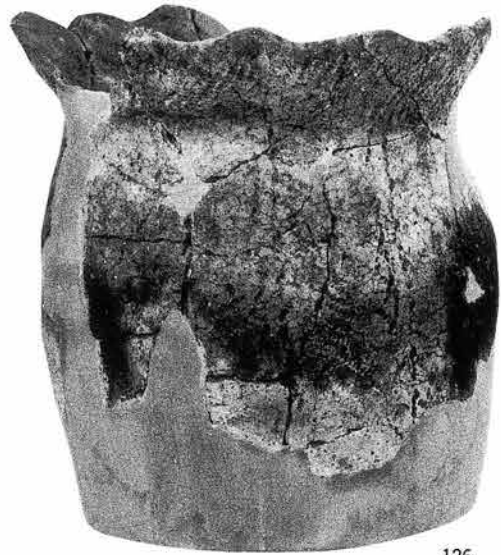
124

S = 1/3 (120 ~ 122 · 124)
S = 1/4 (123)

写真図版52 土器(4)



125



126



127



128

S=1/3(125・126・128)
S=1/4(127)



129



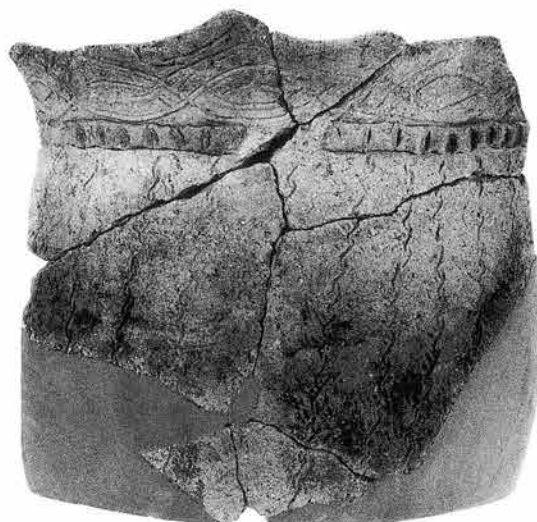
130



131



132



133



134

S = 1/2 (131)

S = 1/3 (129 • 130 • 132~134)



135



136



137



139



140



143



144



S=1/3



141



144



145



146



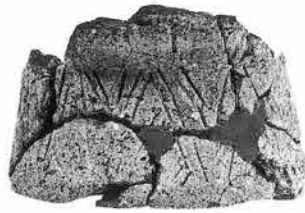
142



147



S=1/3



148



149



150



151



152



153

S=1/3



154



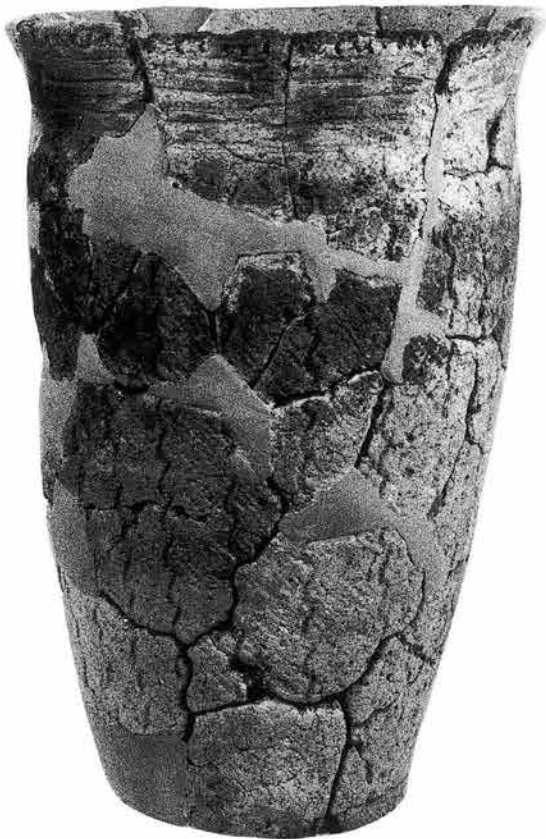
155



156



158



157



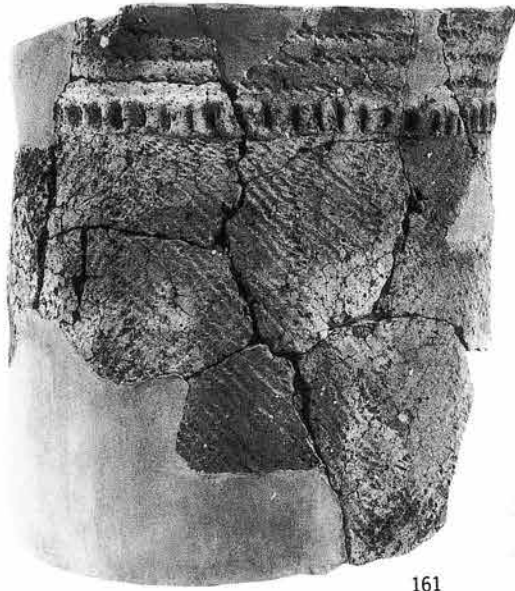
159



160

S = 1/2 (158 · 160)

S = 1/3 (154 ~ 157 · 159)



161



162



164a



164b

S = 1/3



163



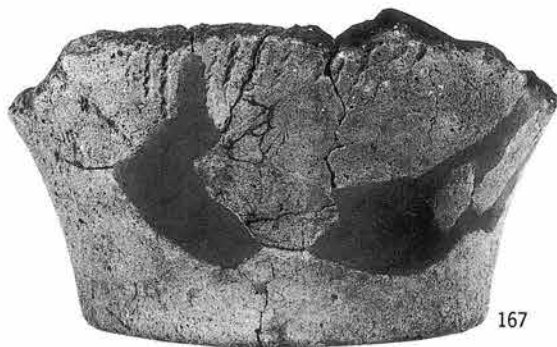
163文様拡大(原寸)



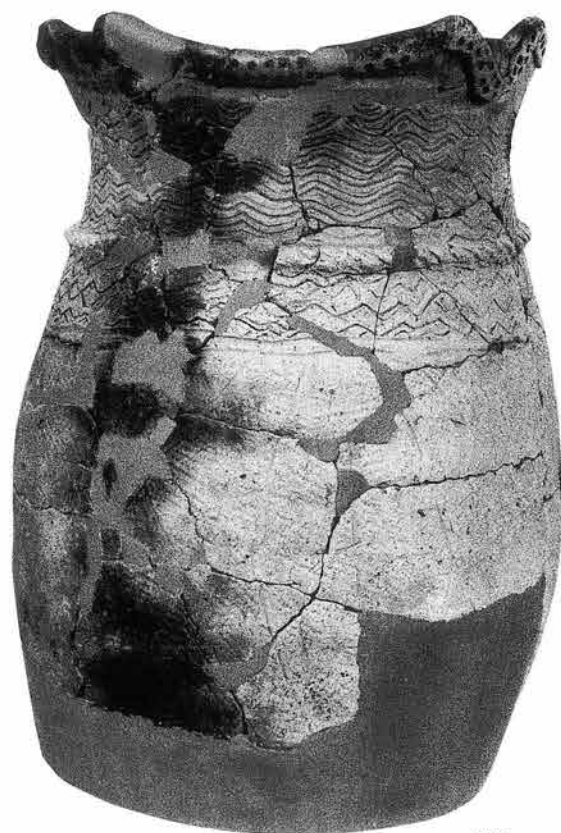
165



166



167



168

S = 1/3 (163~167)
S = 1/4 (168)



169



170



171



173

S=1/3



172



174



175



177

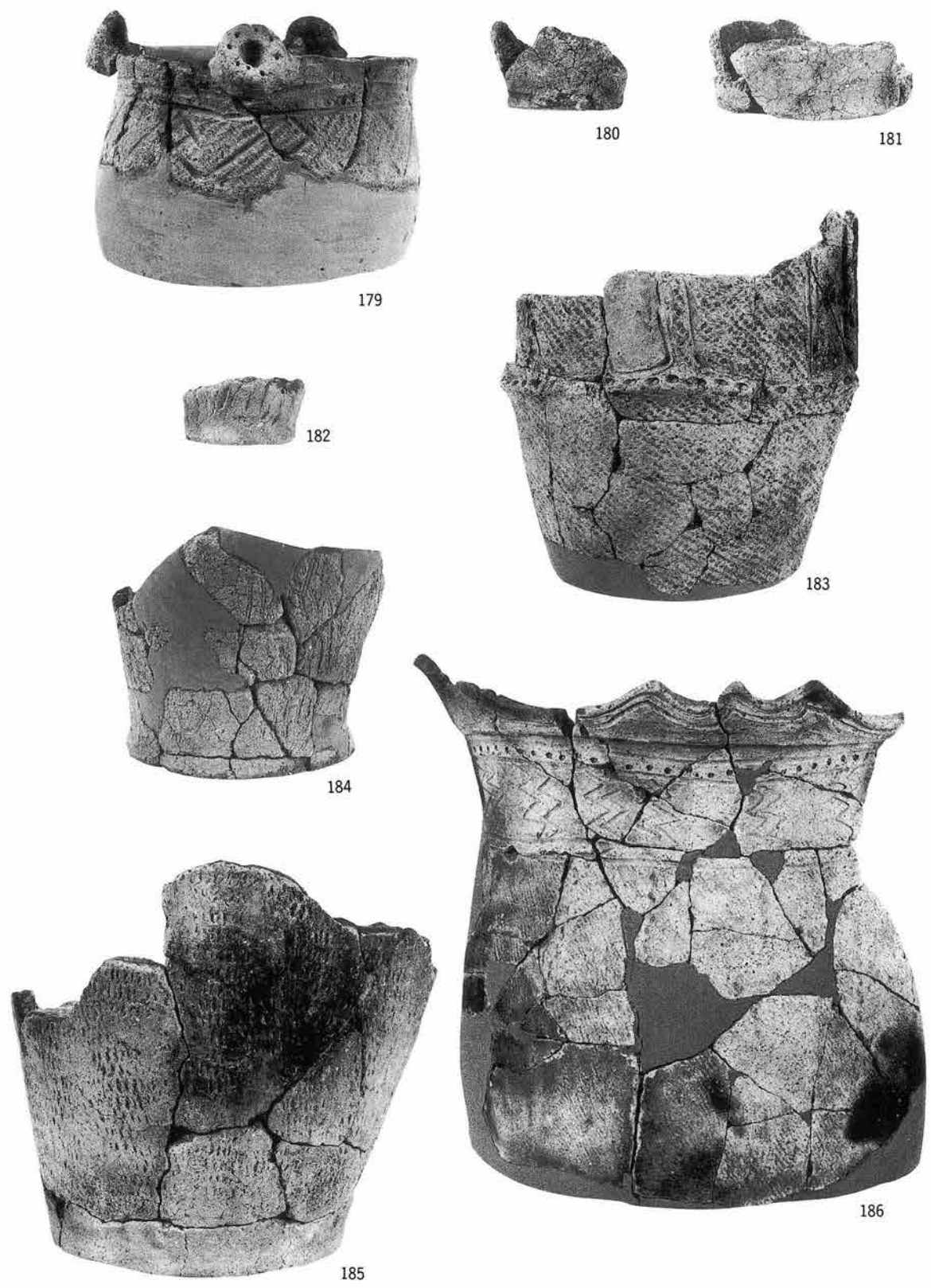


176



178

S=1/3



S = 1/2 (180)
 S = 1/3 (179, 181~185)
 S = 1/4 (186)

写真図版63 土器(15)



187



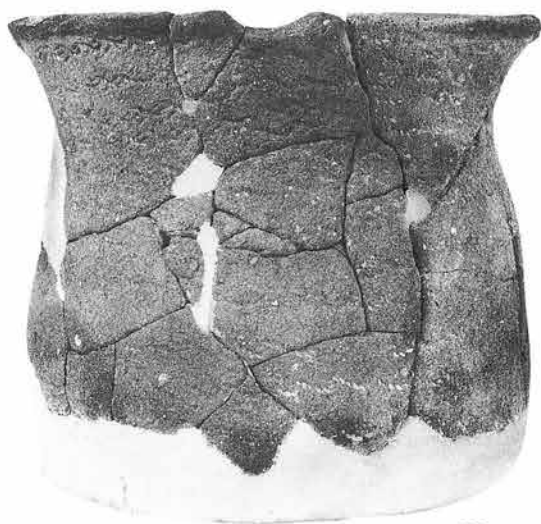
188



189



190



191



193



192

S = 1/3 (187~190, 192)
S = 1/4 (191, 193)



194



195



196



197



198



199



200

S=1/3(194~196、198、199)

S=1/4(200)

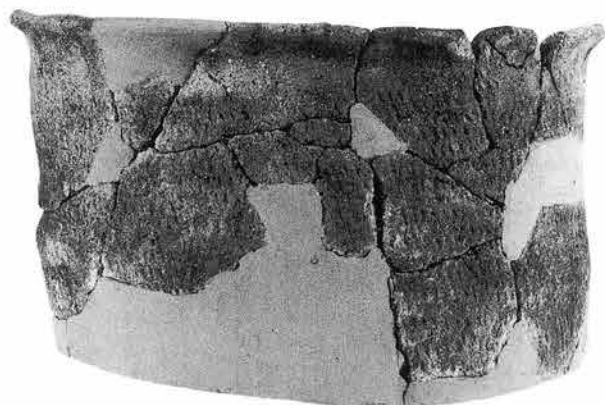
S=1/5(197)



201



202



203



204



205



206



207

S=1/3



208



210



211



209



212



214



215



213



216

S=1/3



217



218



219



220



221



S = 1/3 (217 · 218, 220 · 221)
S = 1/5 (219)



222



223



224



225

S = 1/3 (223~225)
S = 1/4 (222)



226



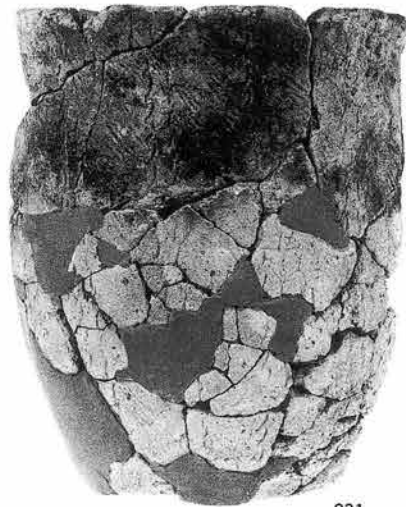
227



228



229



231



230

S = 1/3 (227~231)
S = 1/4 (226)



232



234



235



233



236



237

S=1/3



238



240



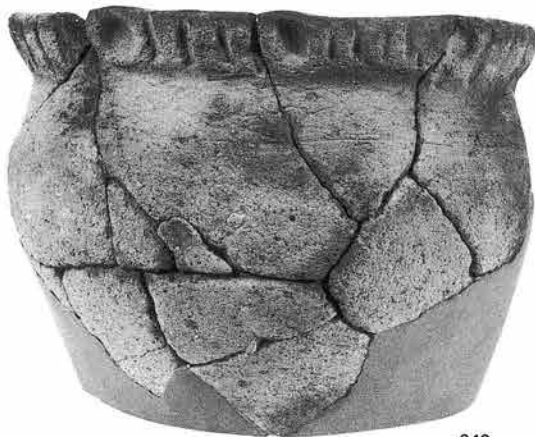
239



241



243



242

S = 1/3



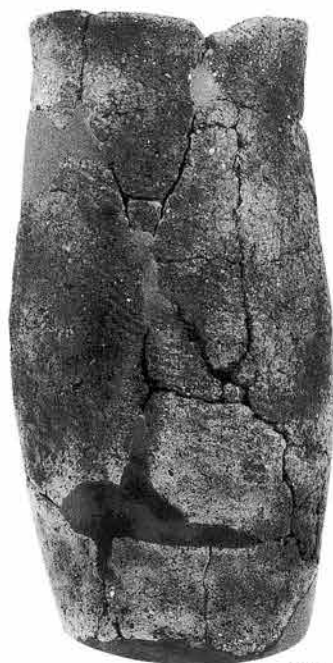
244



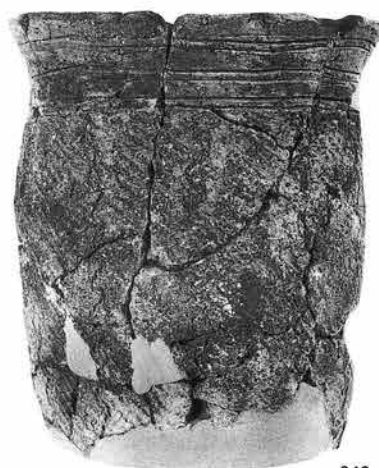
245



246



247



248

S=1/3



249



251



250



252



253



254

S = 1/3



255



256



257



258

S=1/3



259



261



260



263



262



264



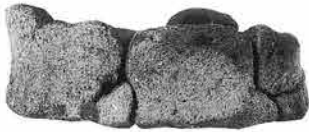
S = 1/3



265



266



267



268

S=1/3



269



270



271



272



274



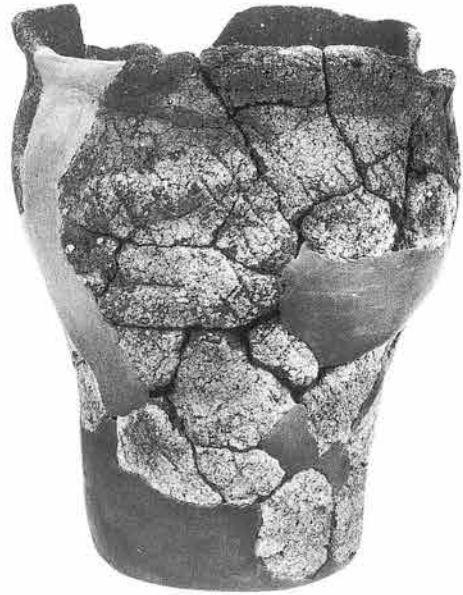
273



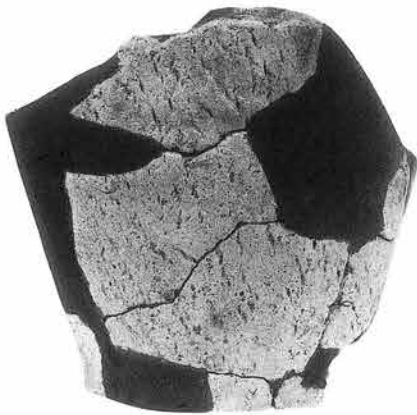
S=1/3



275



276



277



278



279



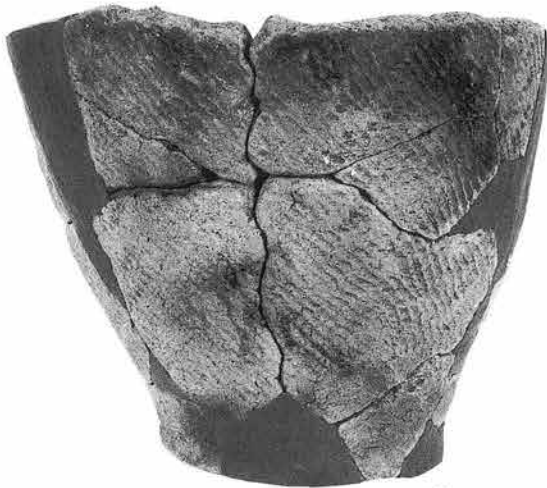
S=1/3



280a



280b



281



283



282



284

S=1/3(281~284)

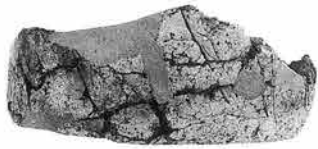
S=1/4(280)



285



286



287



288



289



290

S=1/3



291



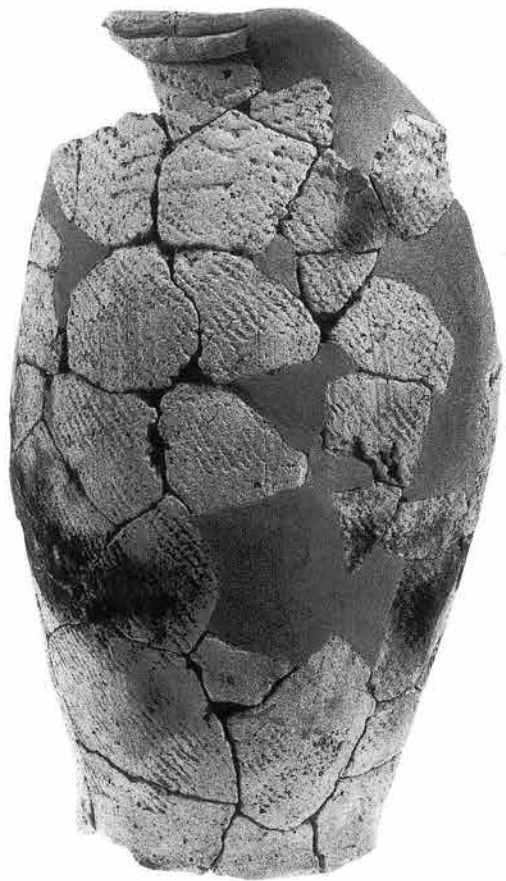
293



294



295



292



296

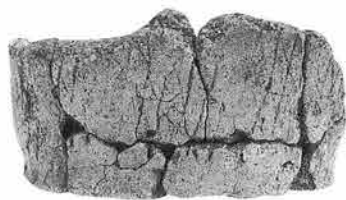
S=1/3



297



299



300



298



301



302



303



304

S = 1/3



305a



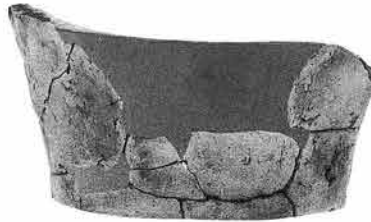
305b



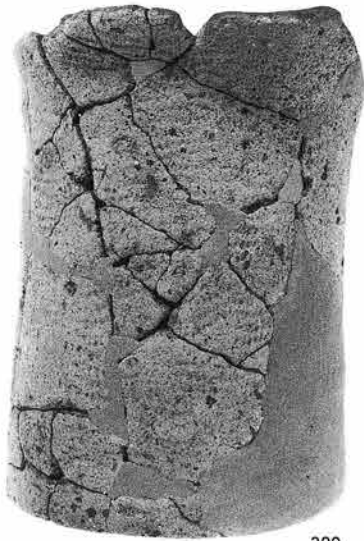
308



306



307

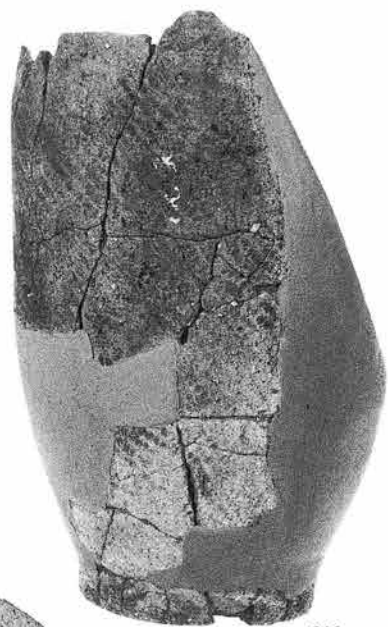


309



310

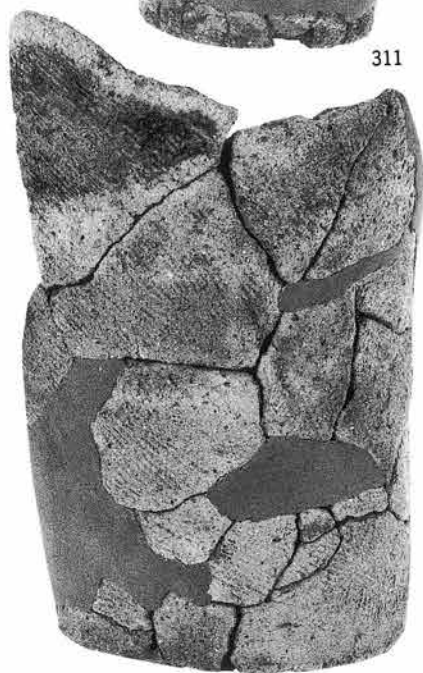
S=1/3



311



312



313



314



315

S=1/3



316



316文様拡大(原寸)



317



319



S=1/3



318



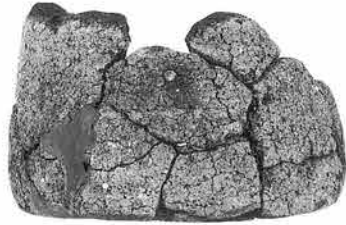
320



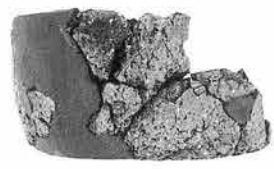
321



322



324



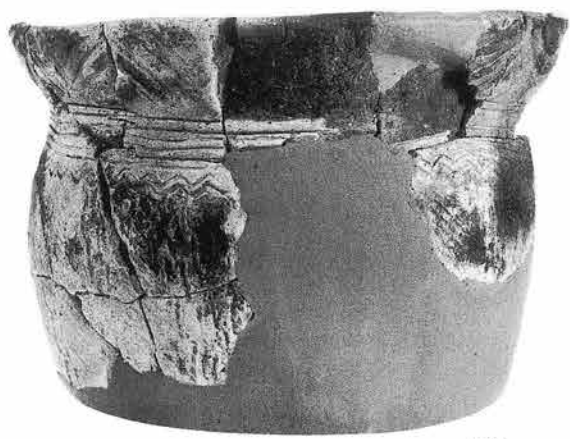
325



323



327



326



S=1/3



328



330



331



332



329



333



S=1/3



334



336



335



337



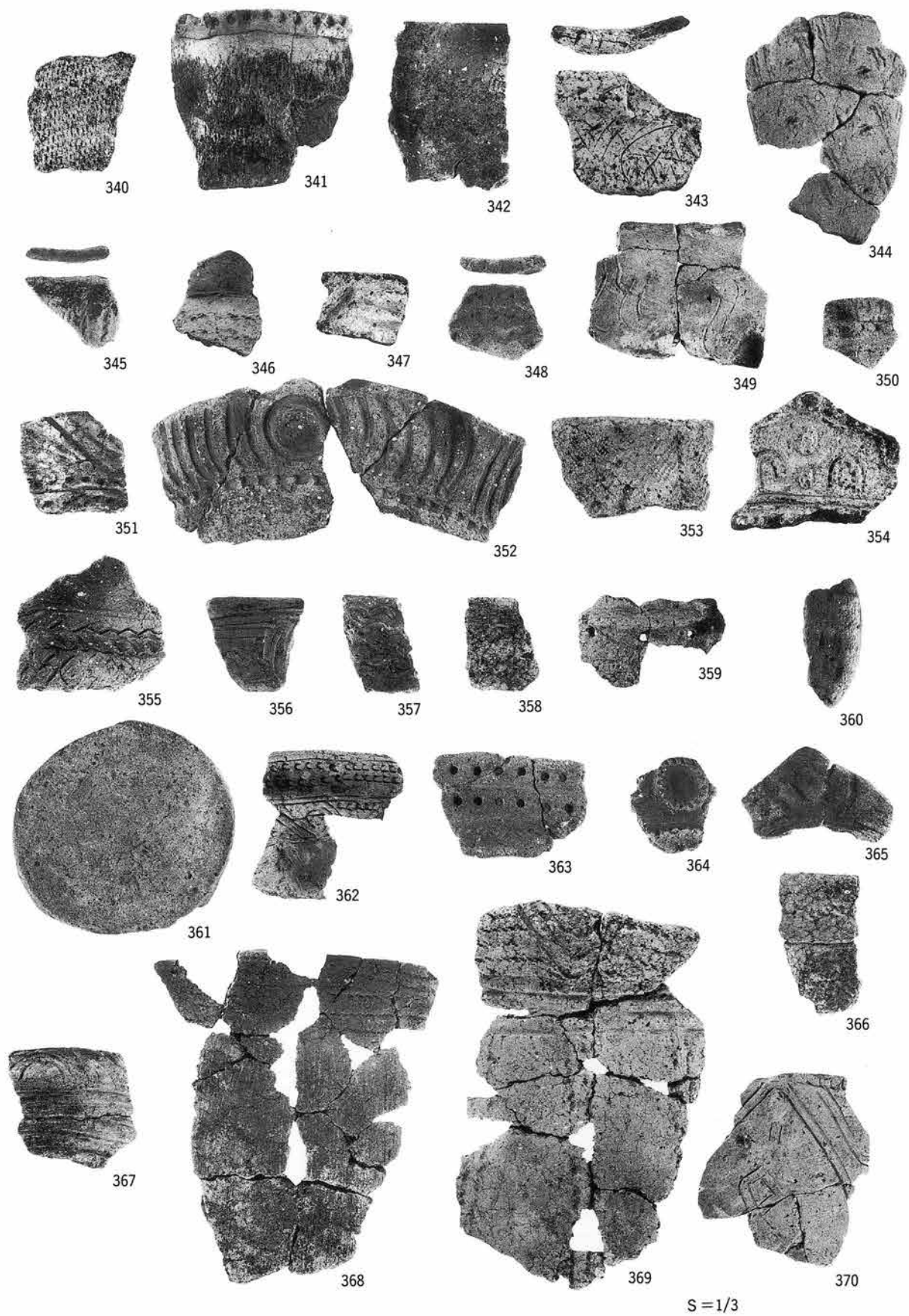
338



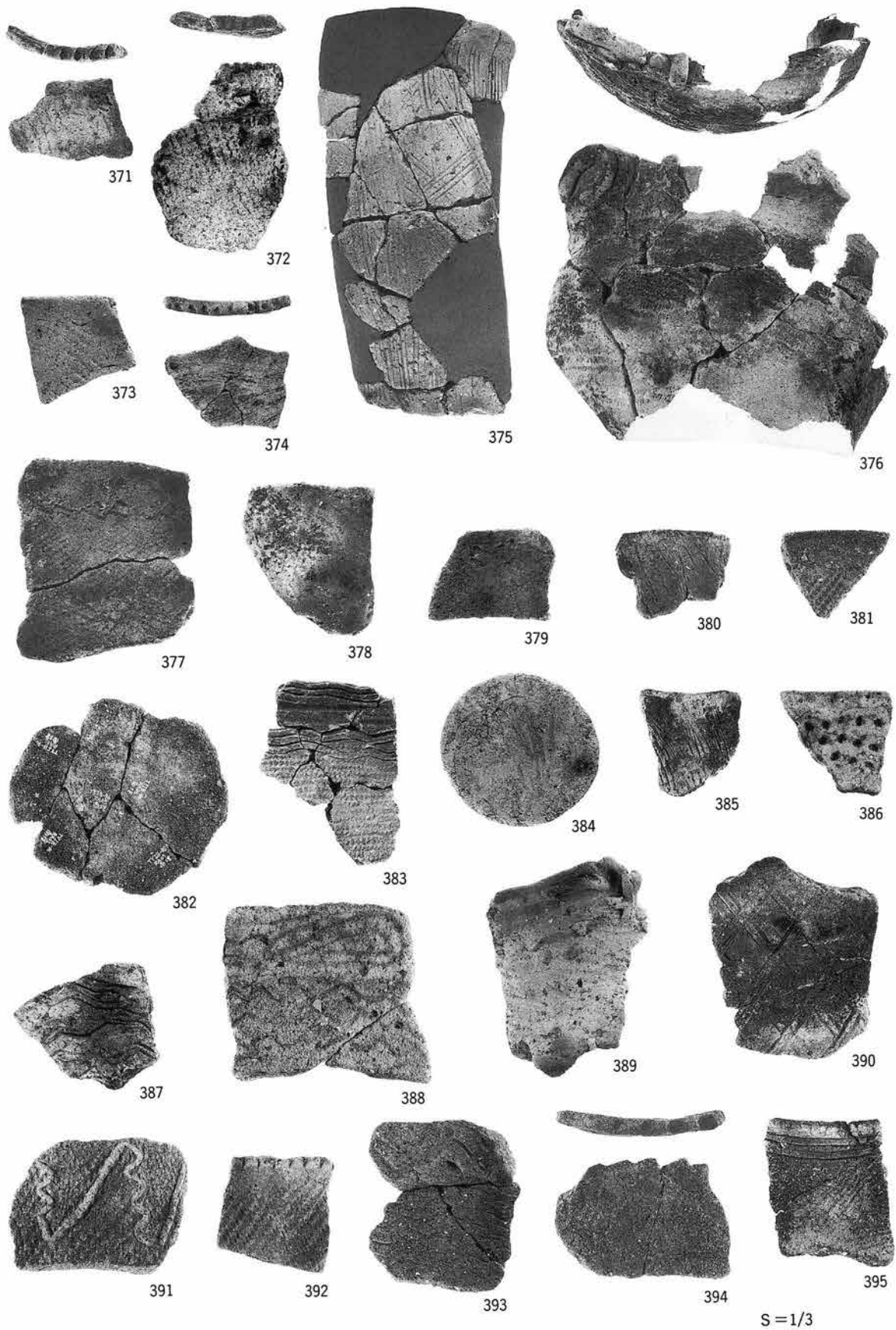
339

S = 1/2 (339)

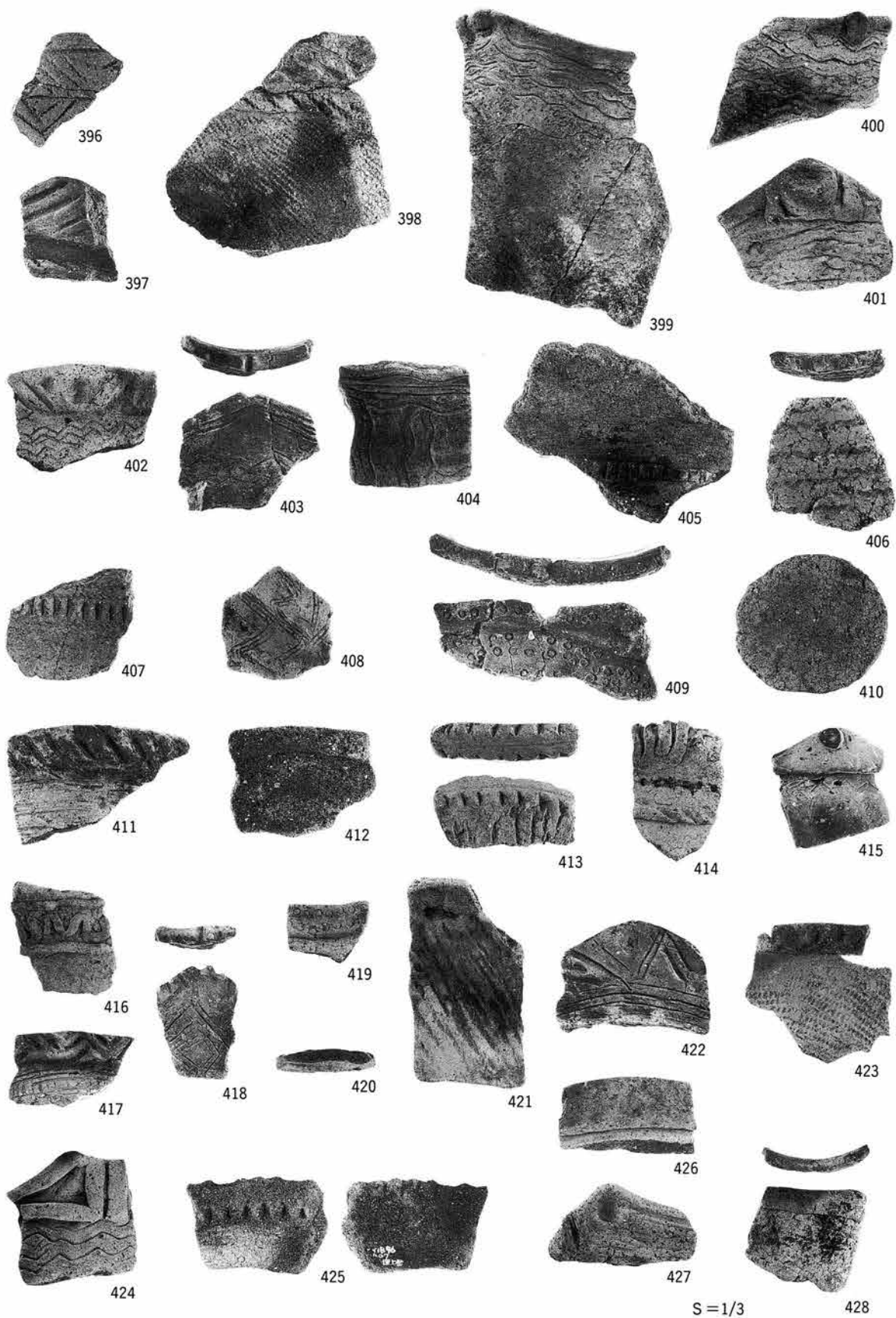
S = 1/3 (334~337)



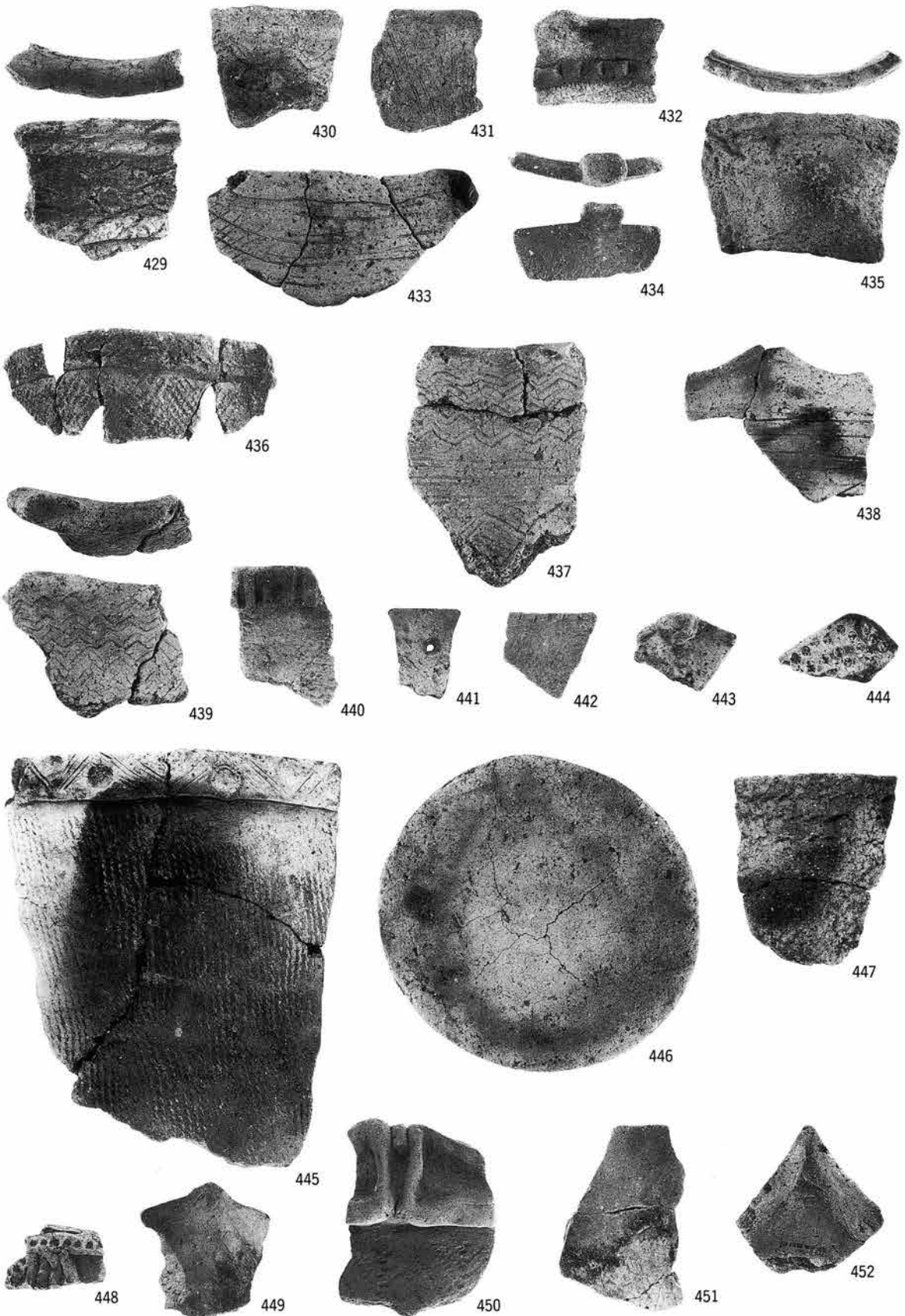
写真図版90 土器(42)



写真图版91 土器(43)

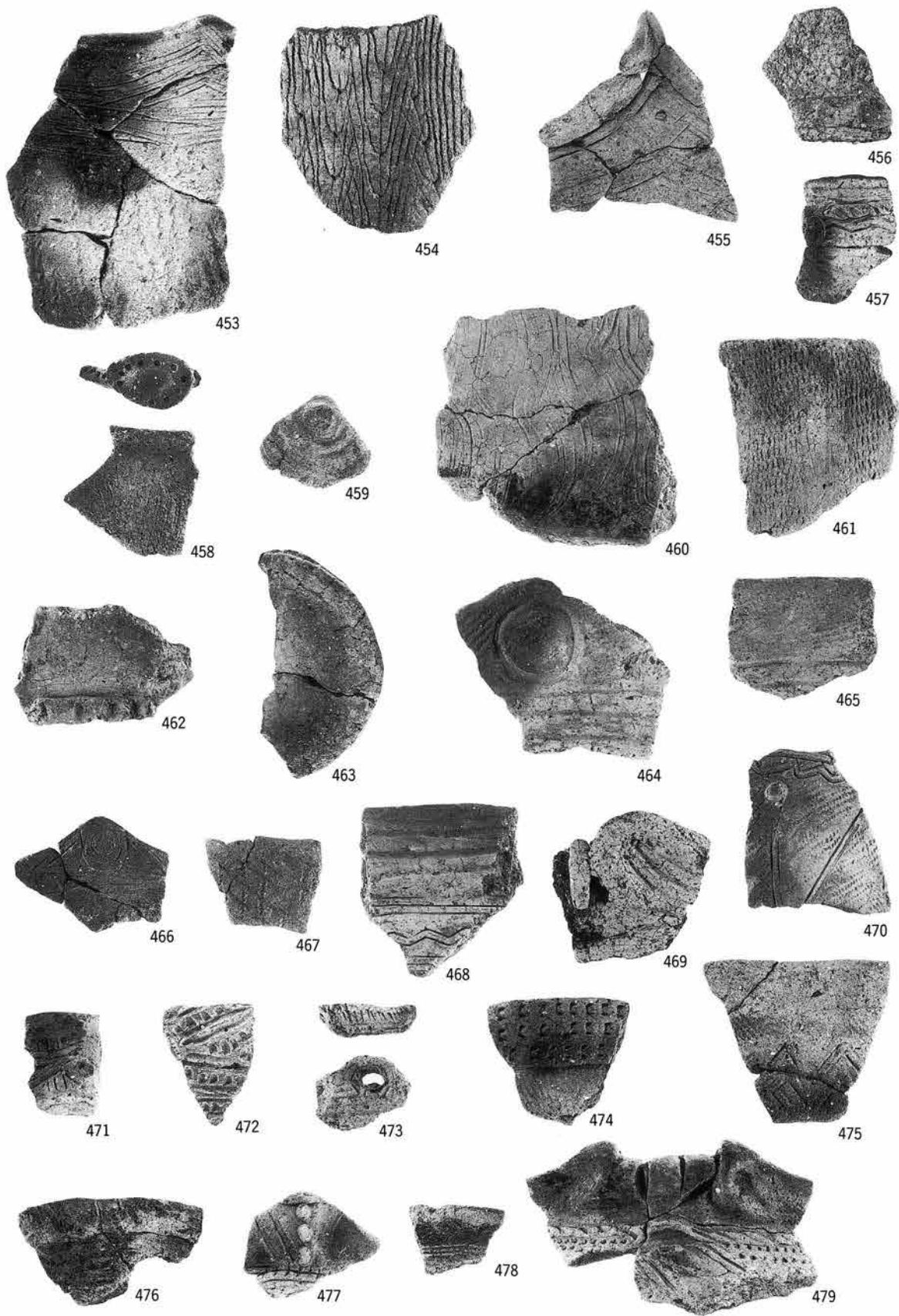


写真图版92 土器(44)



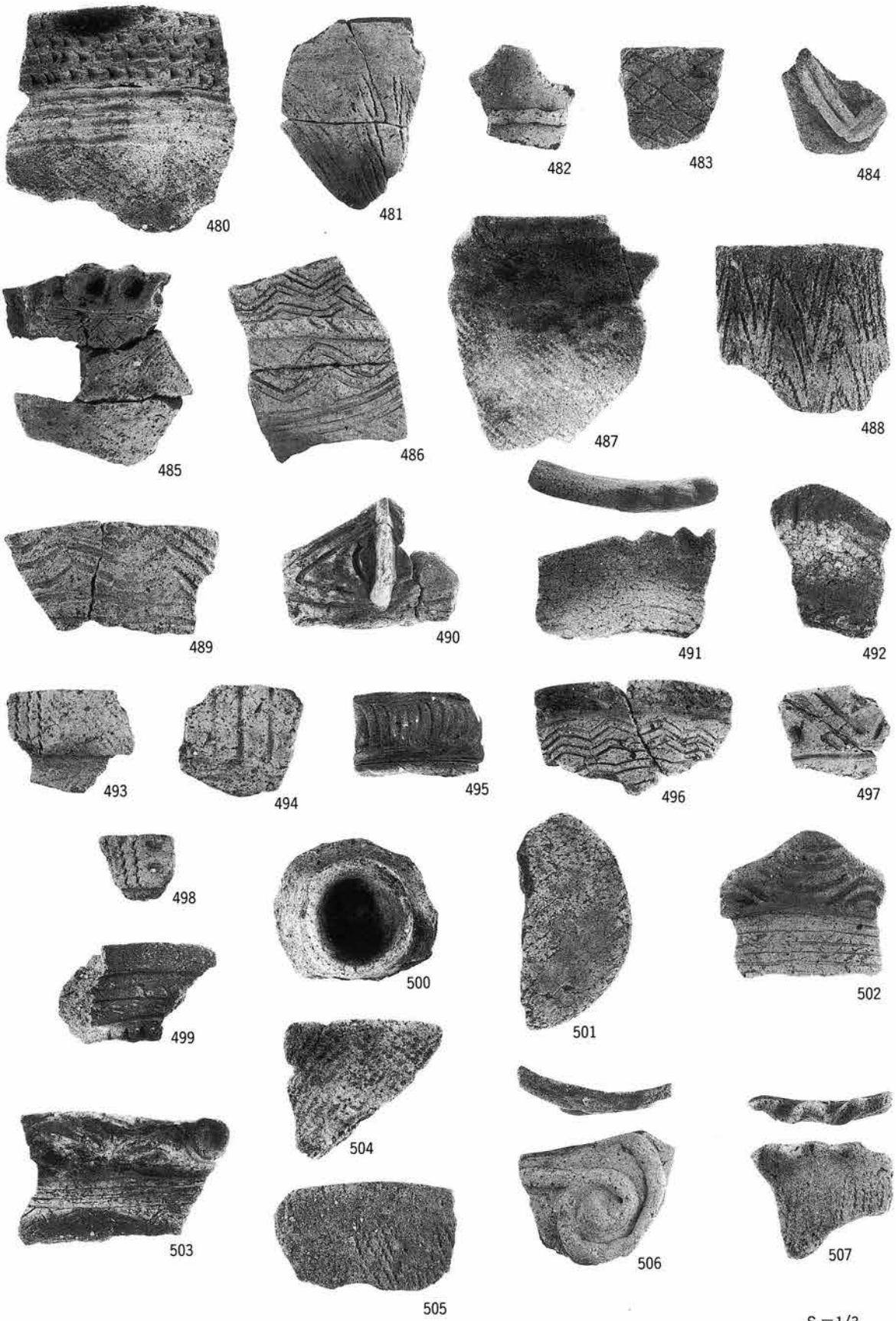
S=1/3

写真图版93 土器(45)



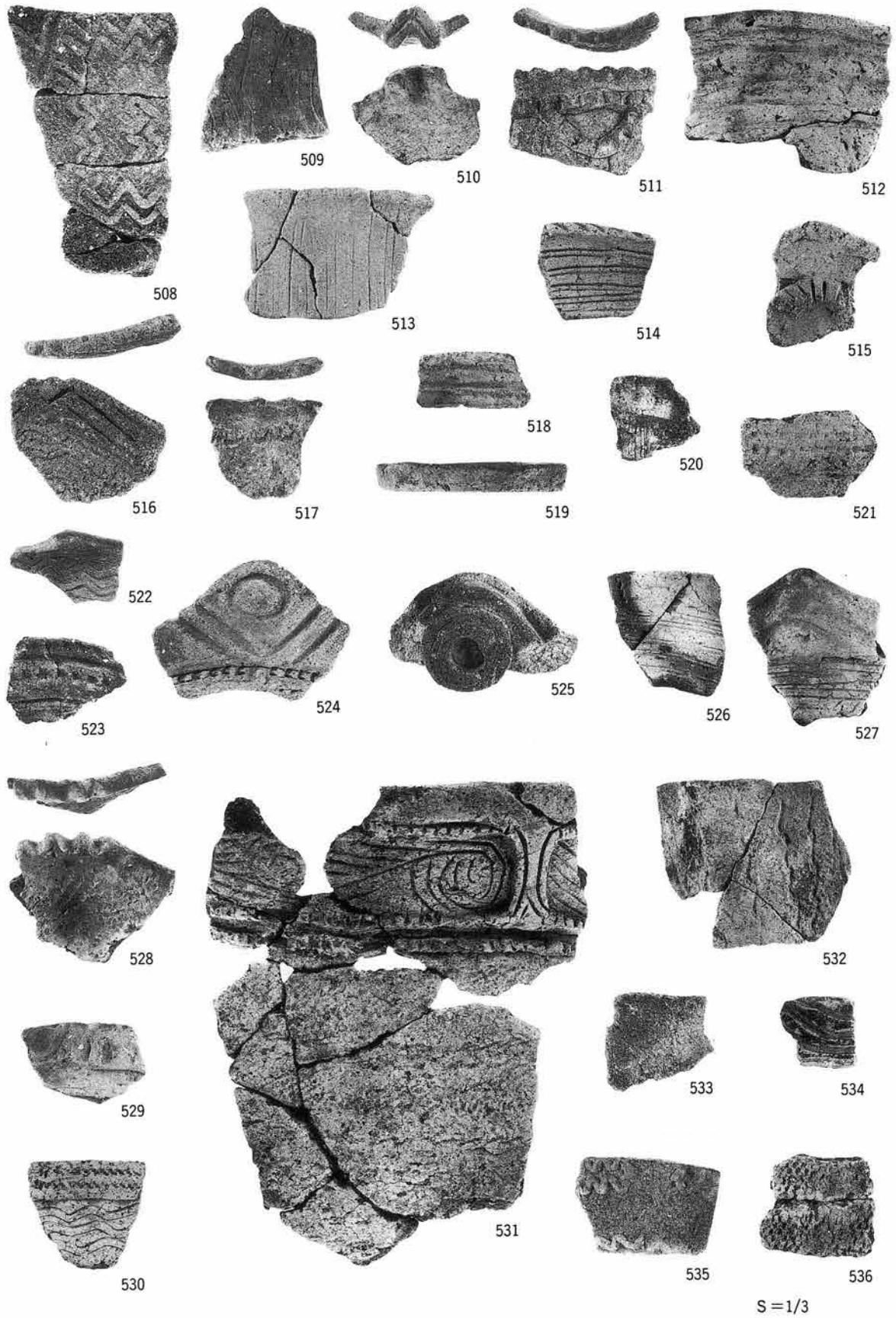
S=1/3

写真图版94 土器(46)

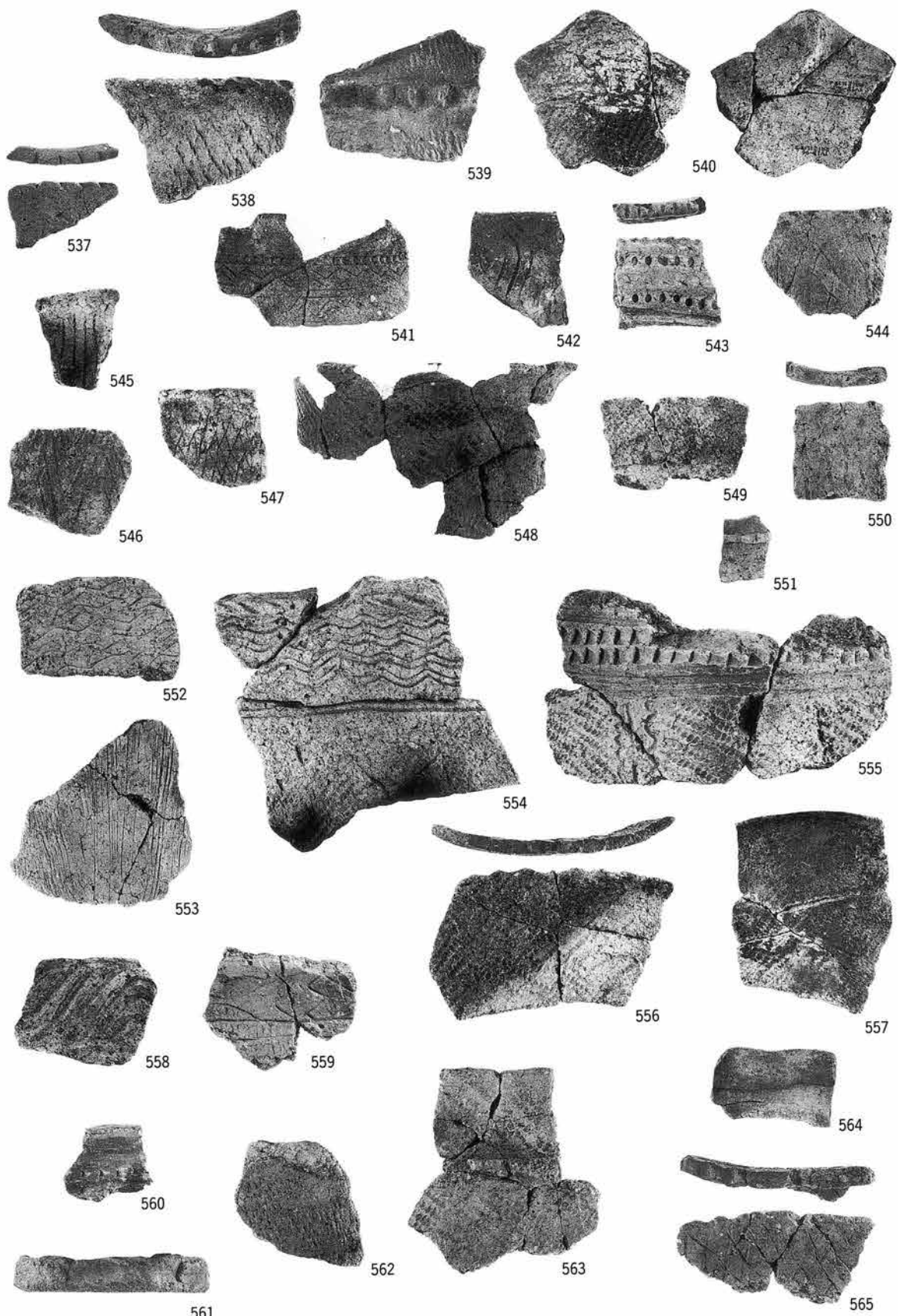


S = 1/3

写真図版95 土器(47)

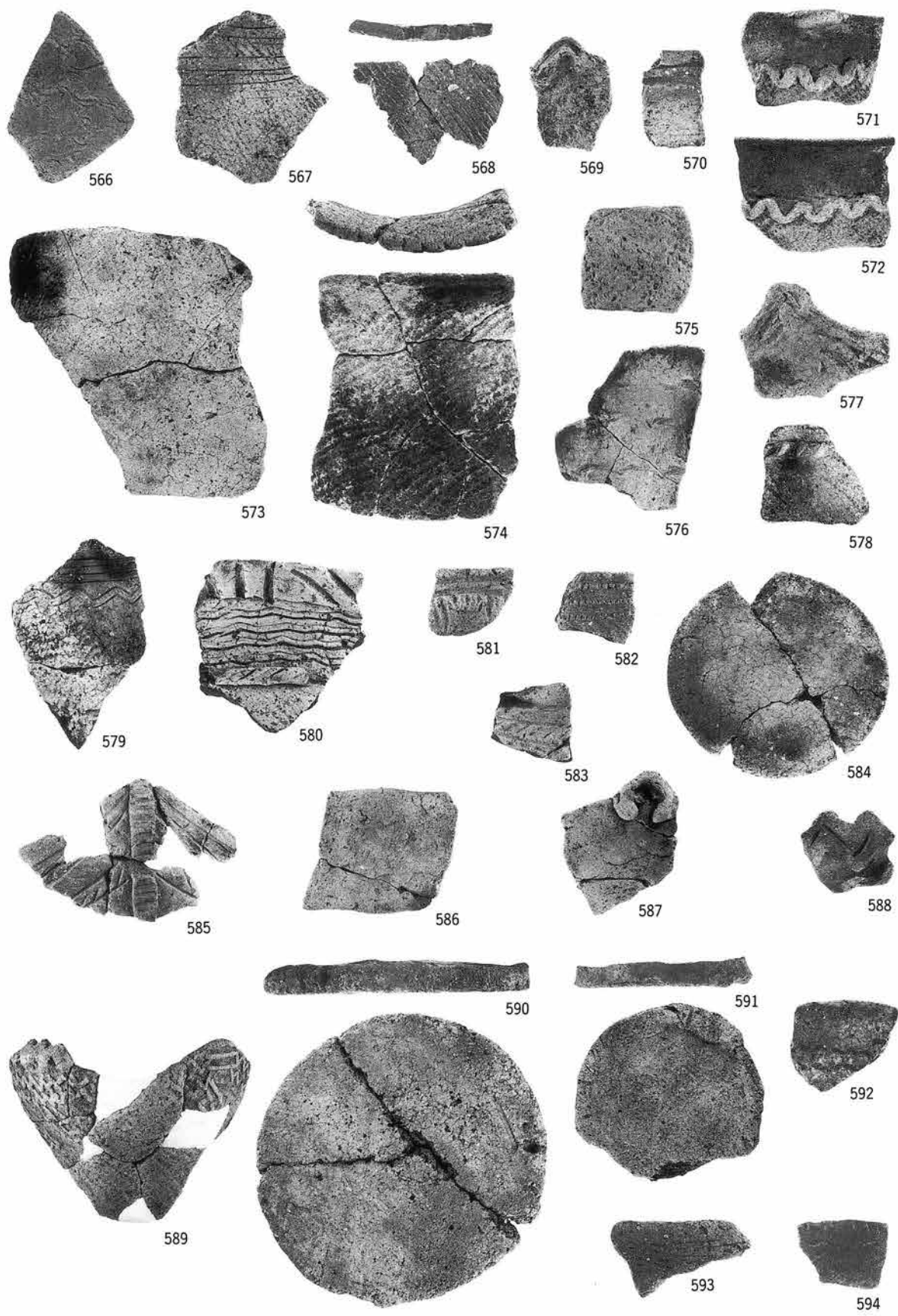


写真图版96 土器(48)



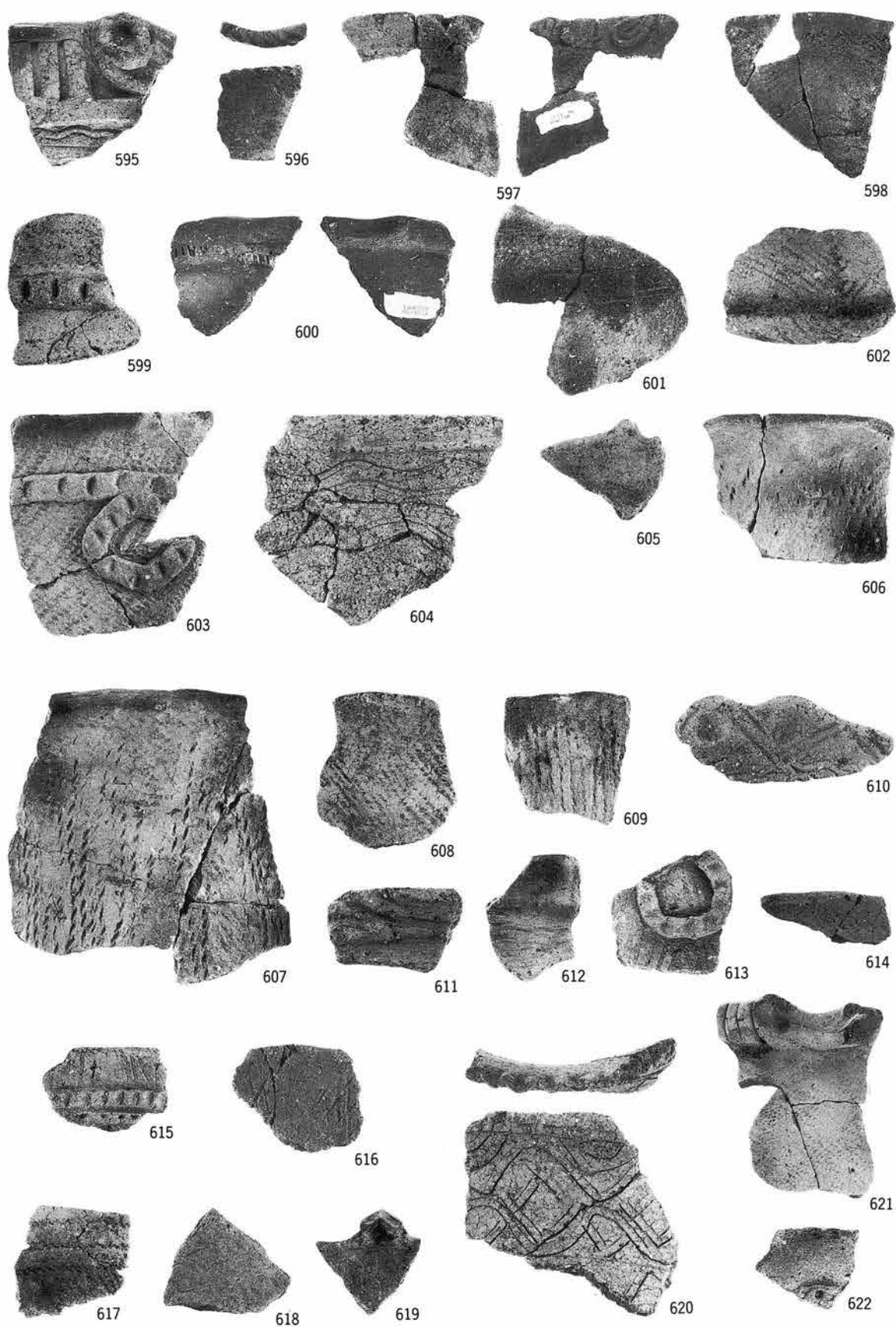
S = 1/3

写真図版97 土器(49)



S = 1/3

写真图版98 土器(50)

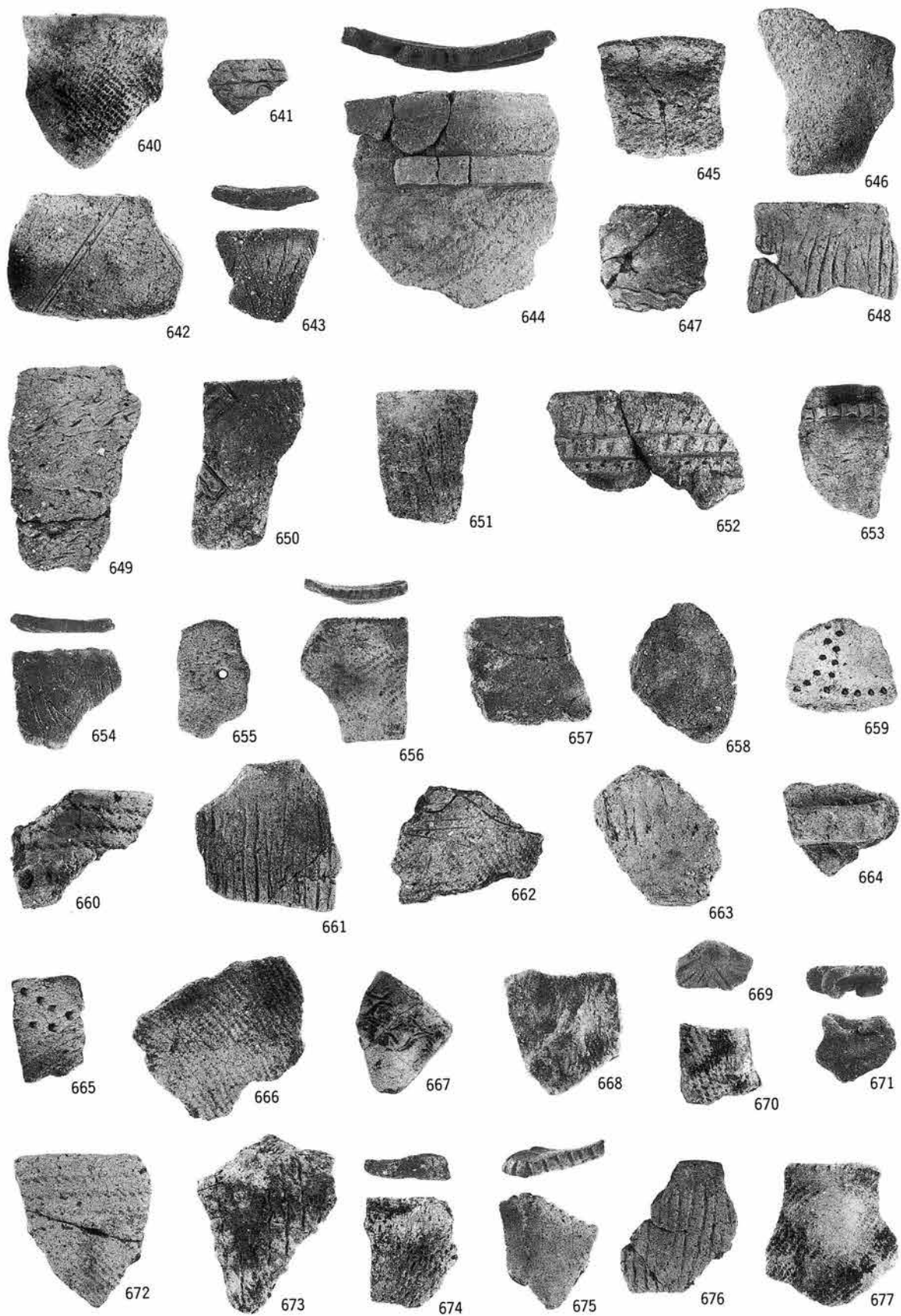


S = 1/3

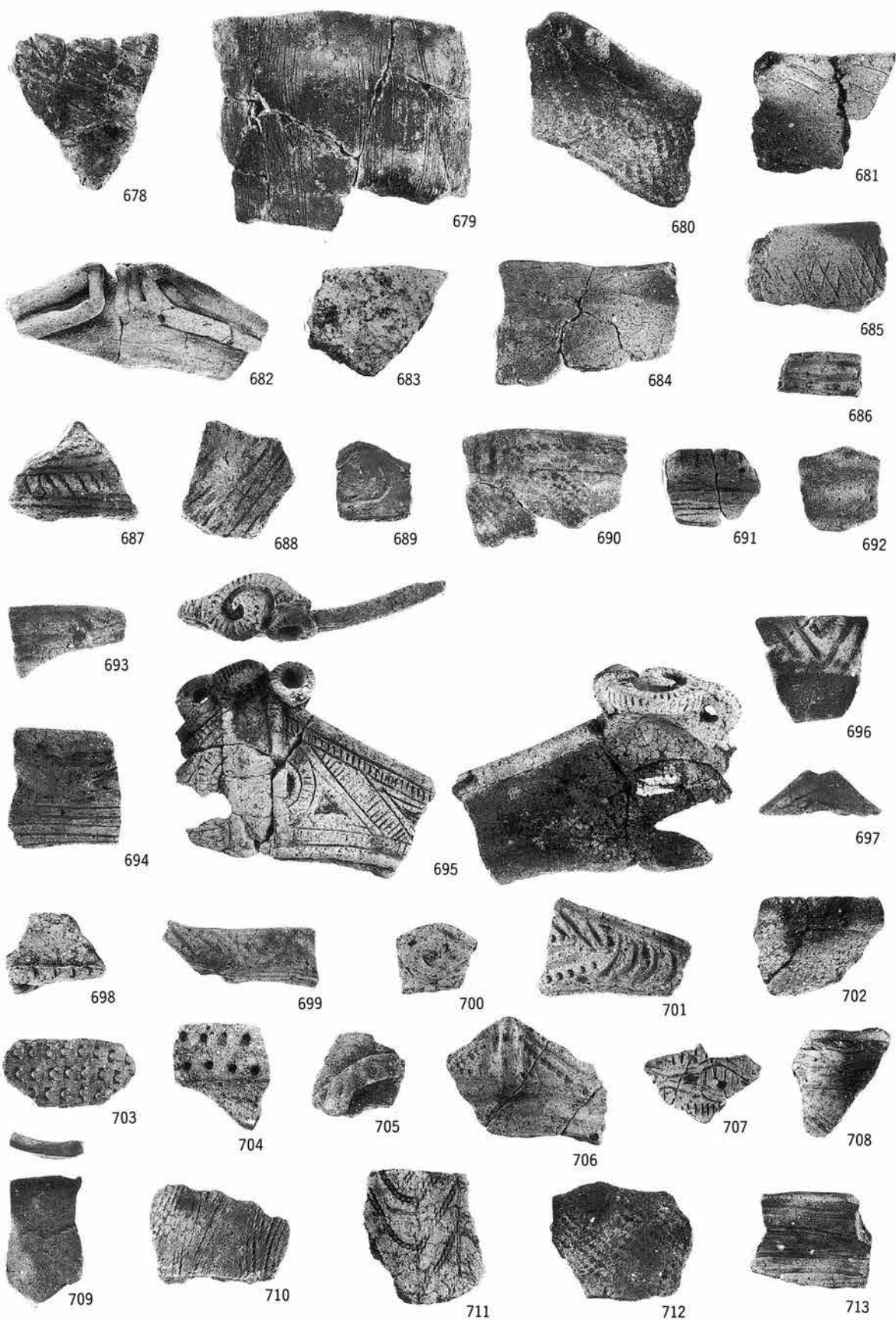
写真图版99 土器(51)



S=1/3

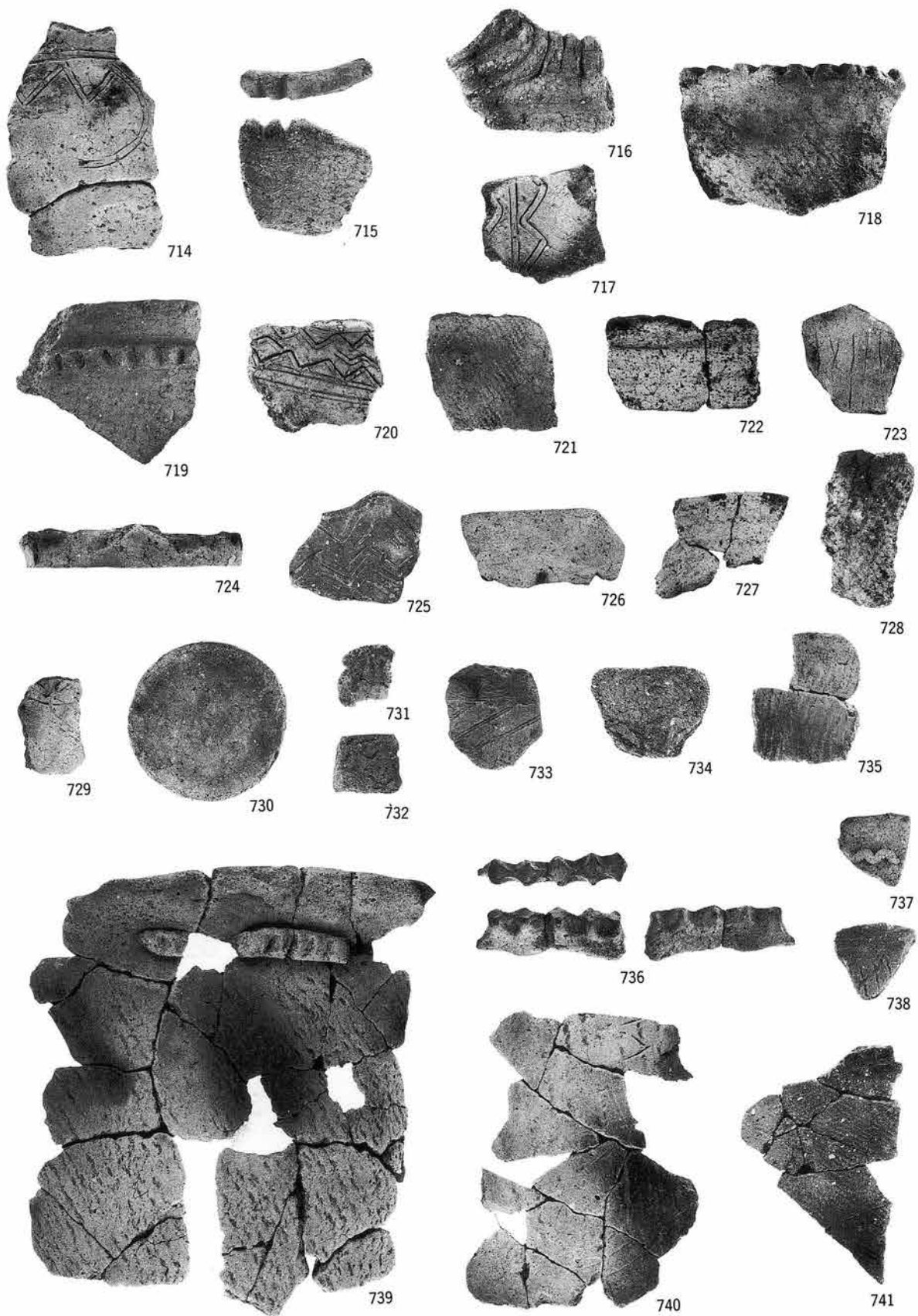


S=1/3

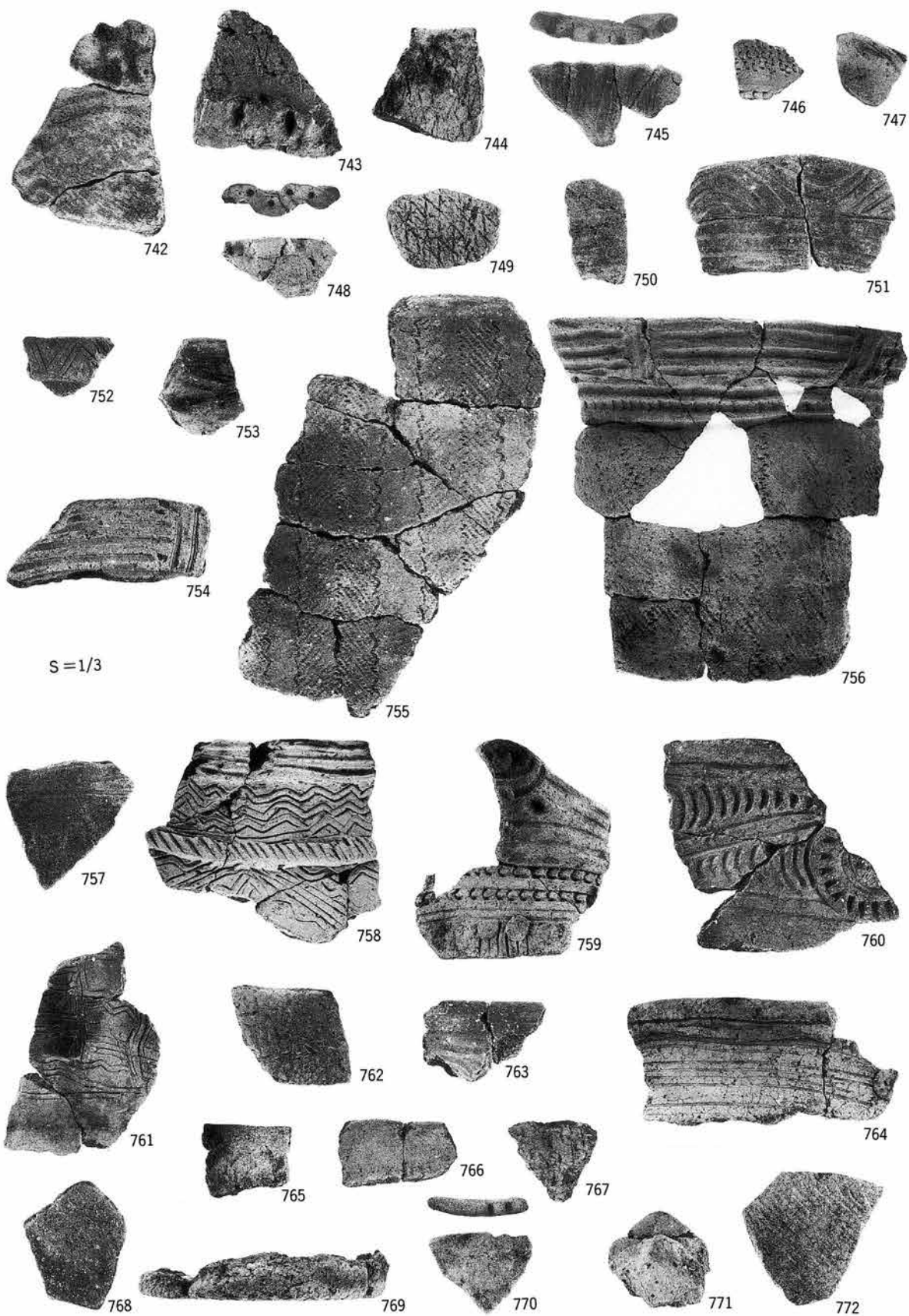


S=1/3

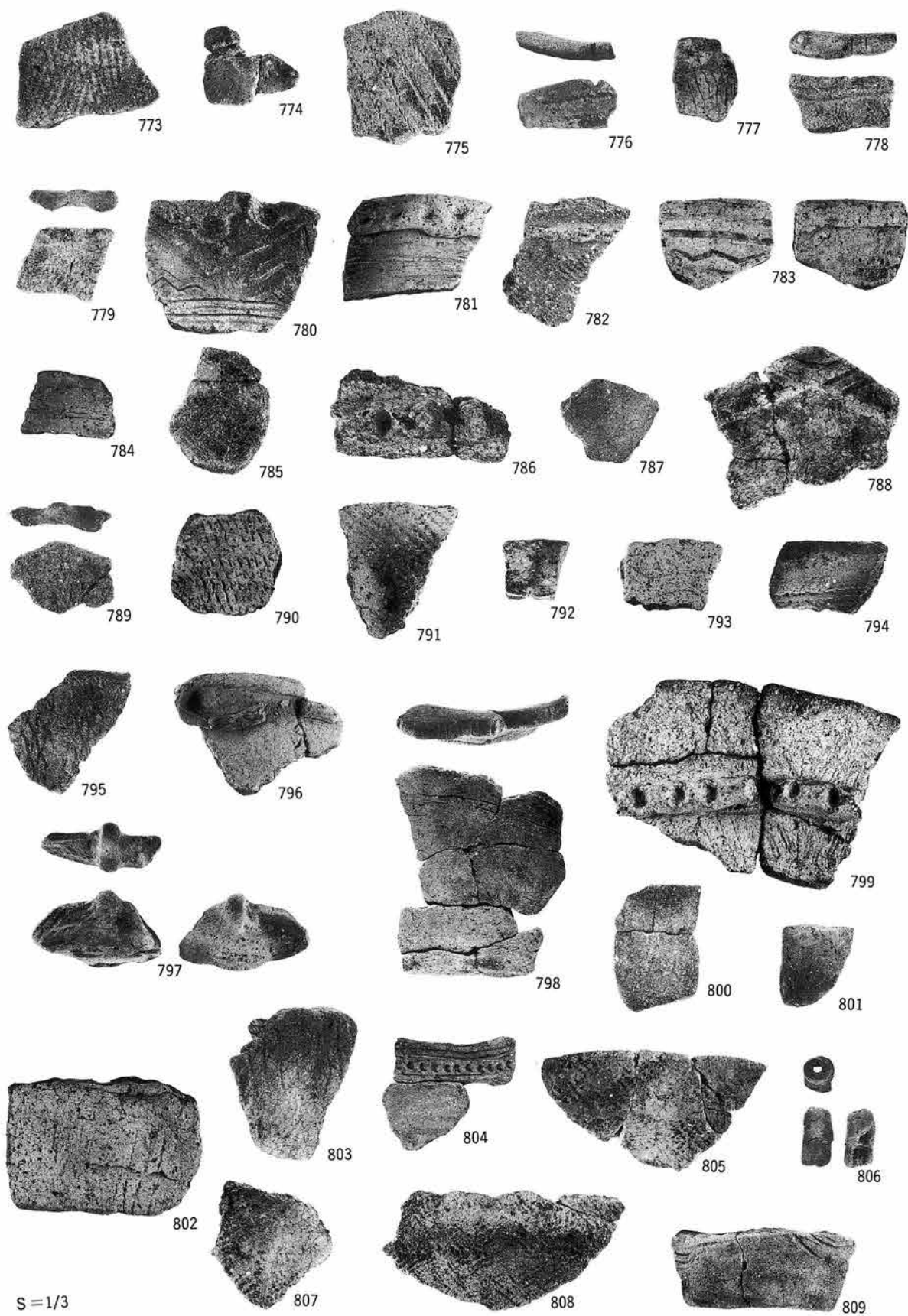
写真図版102 土器(54)



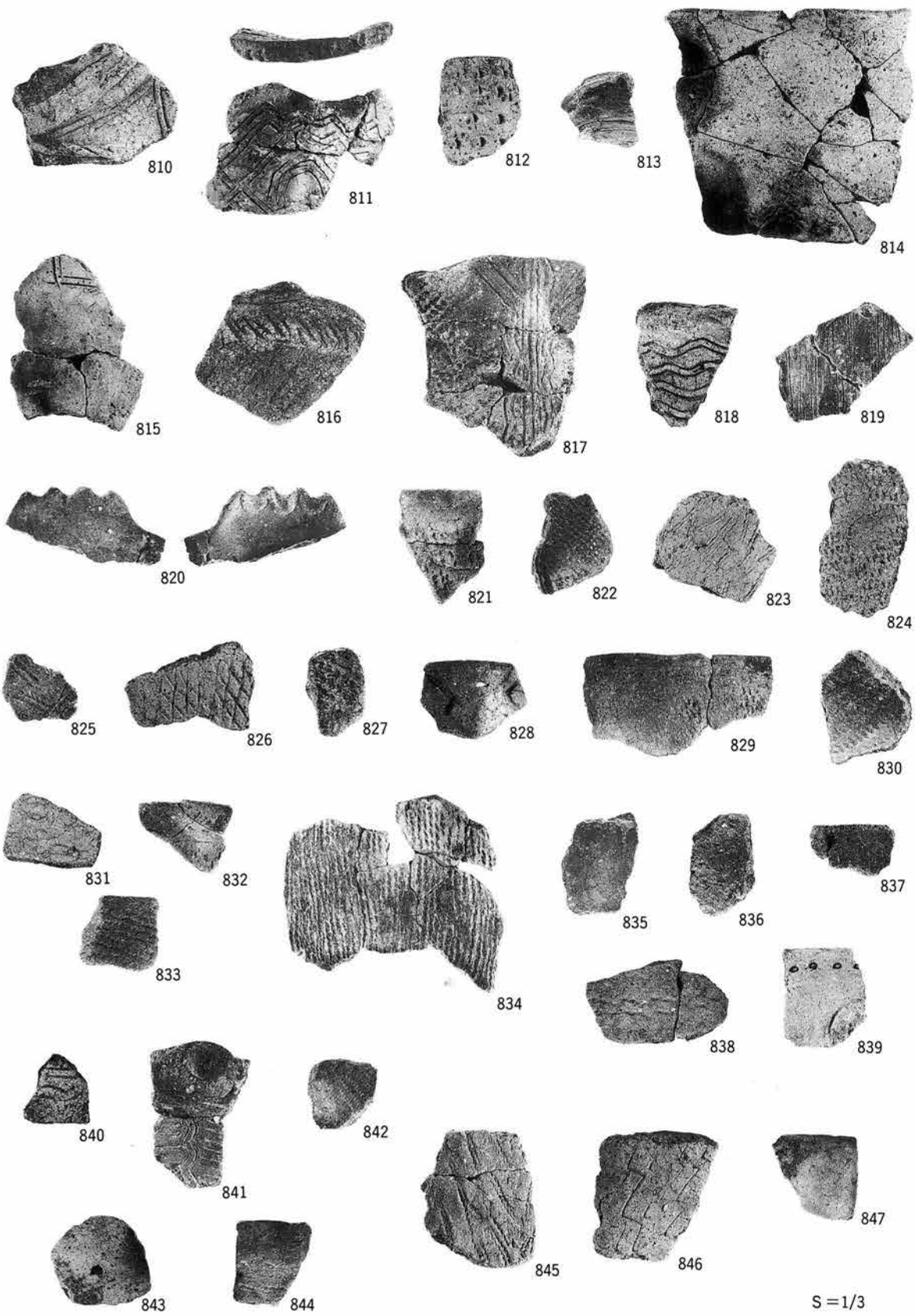
S=1/3



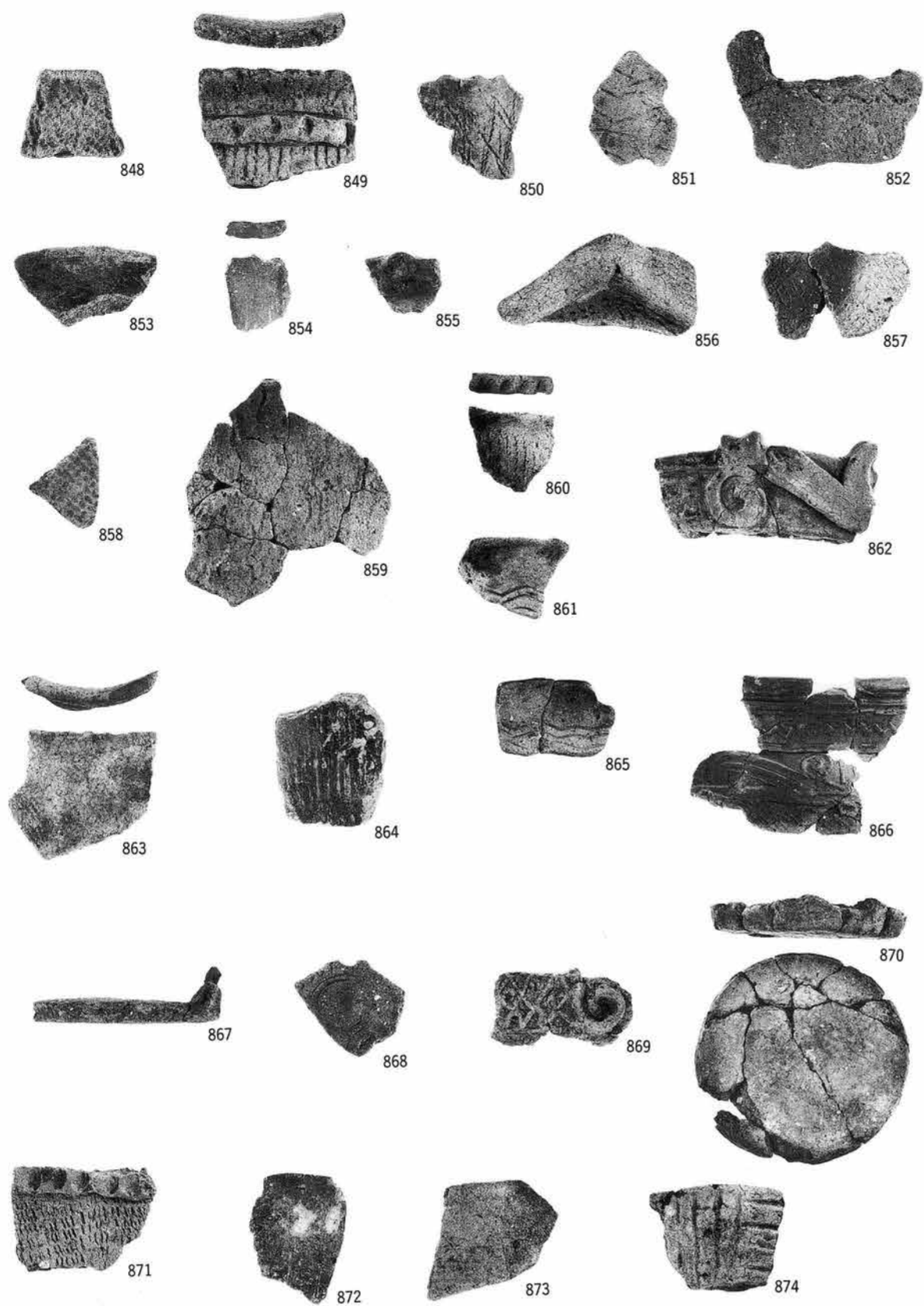
写真图版104 土器(56)



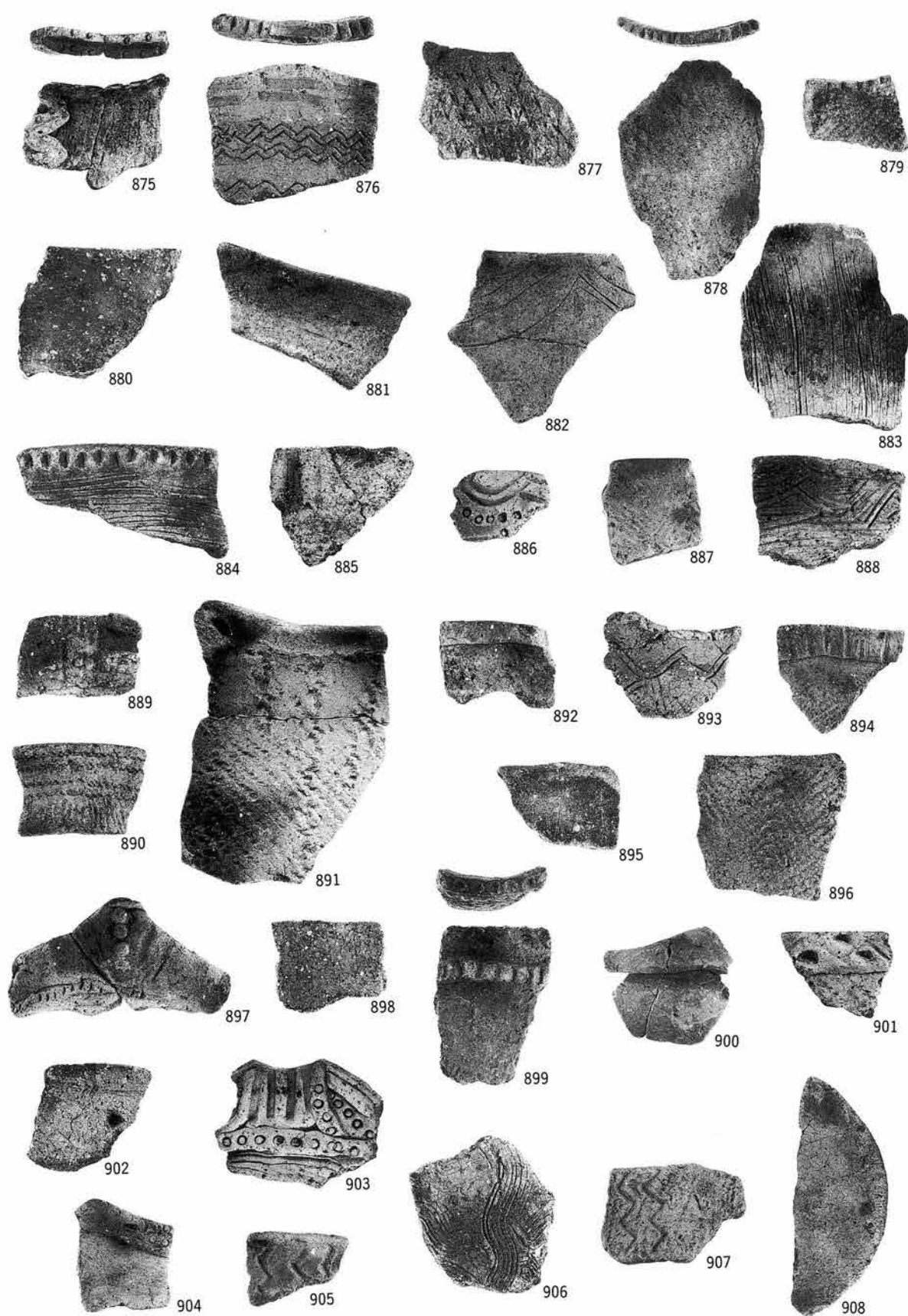
写真图版105 土器(57)



写真图版106 土器(58)

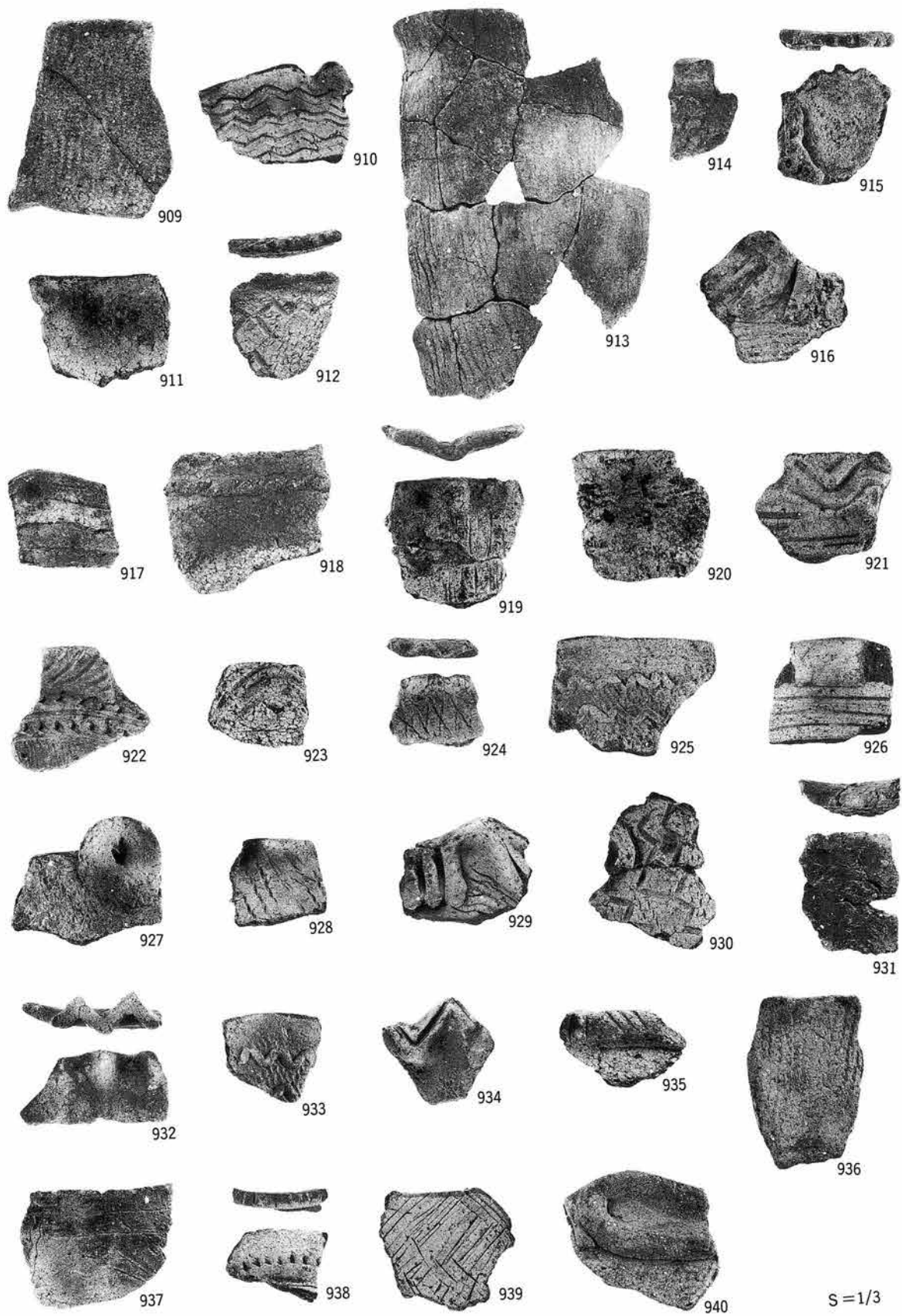


S=1/3

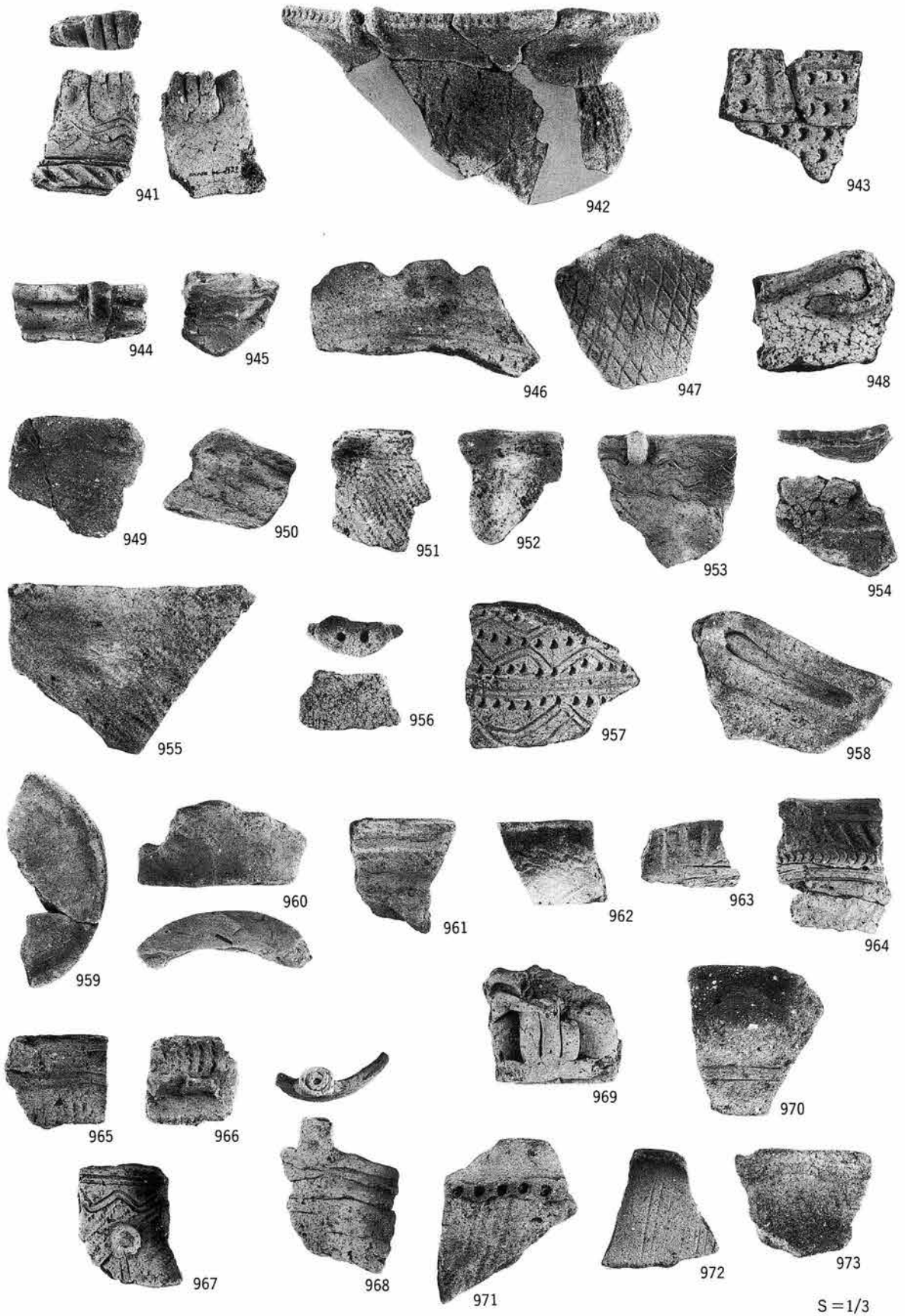


S=1/3

写真图版108 土器(60)

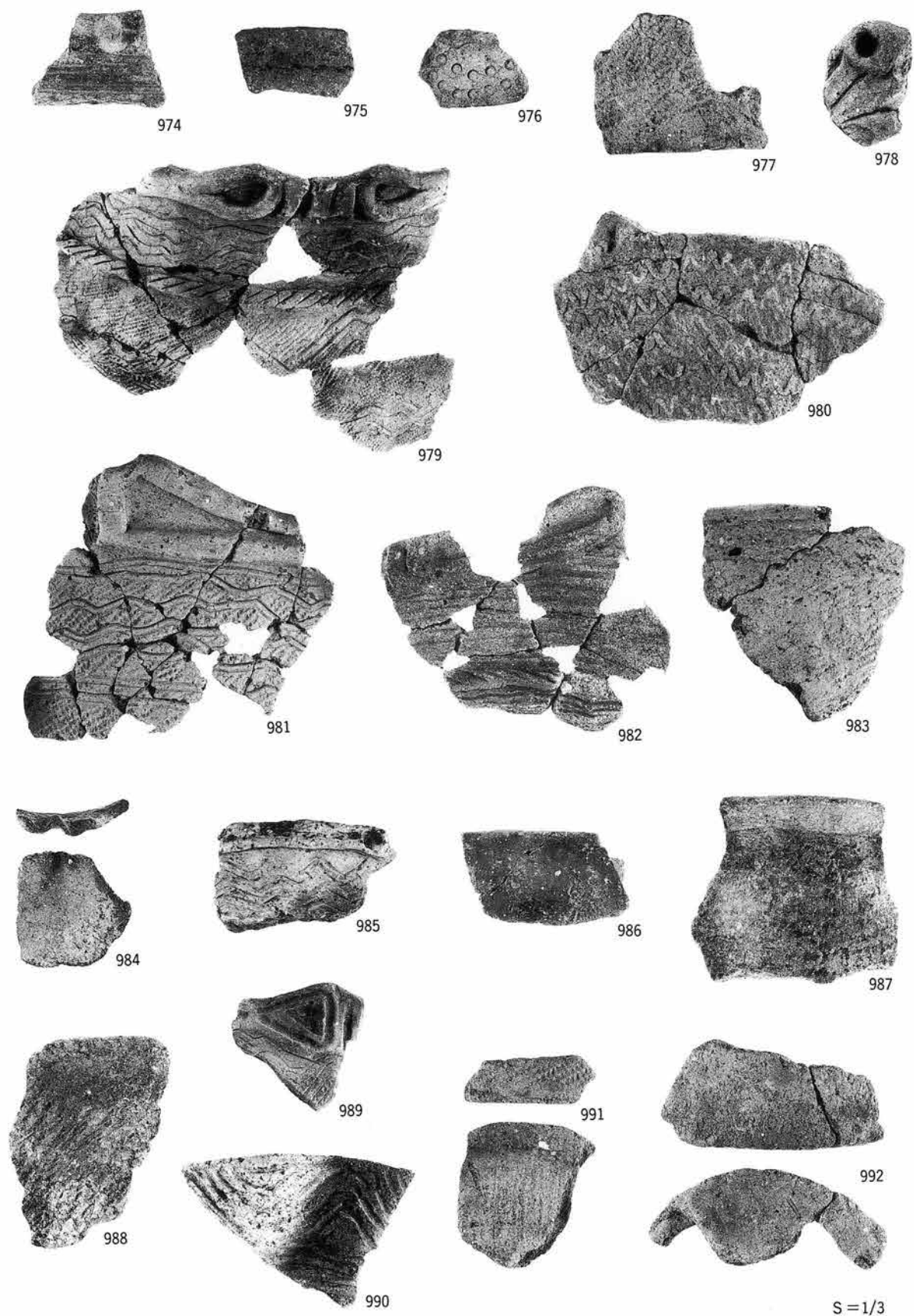


写真图版109 土器(61)

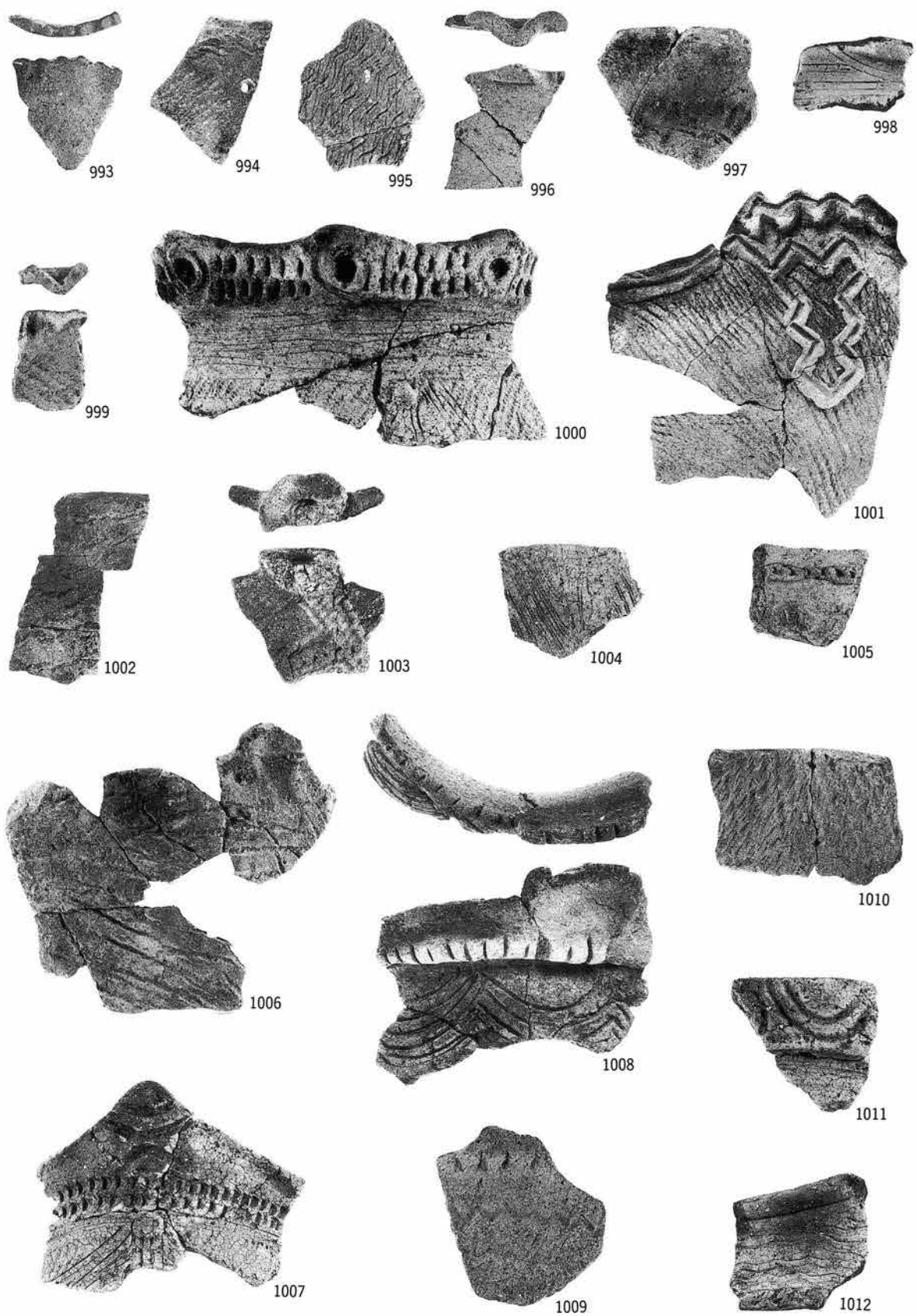


S=1/3

写真图版110 土器(62)

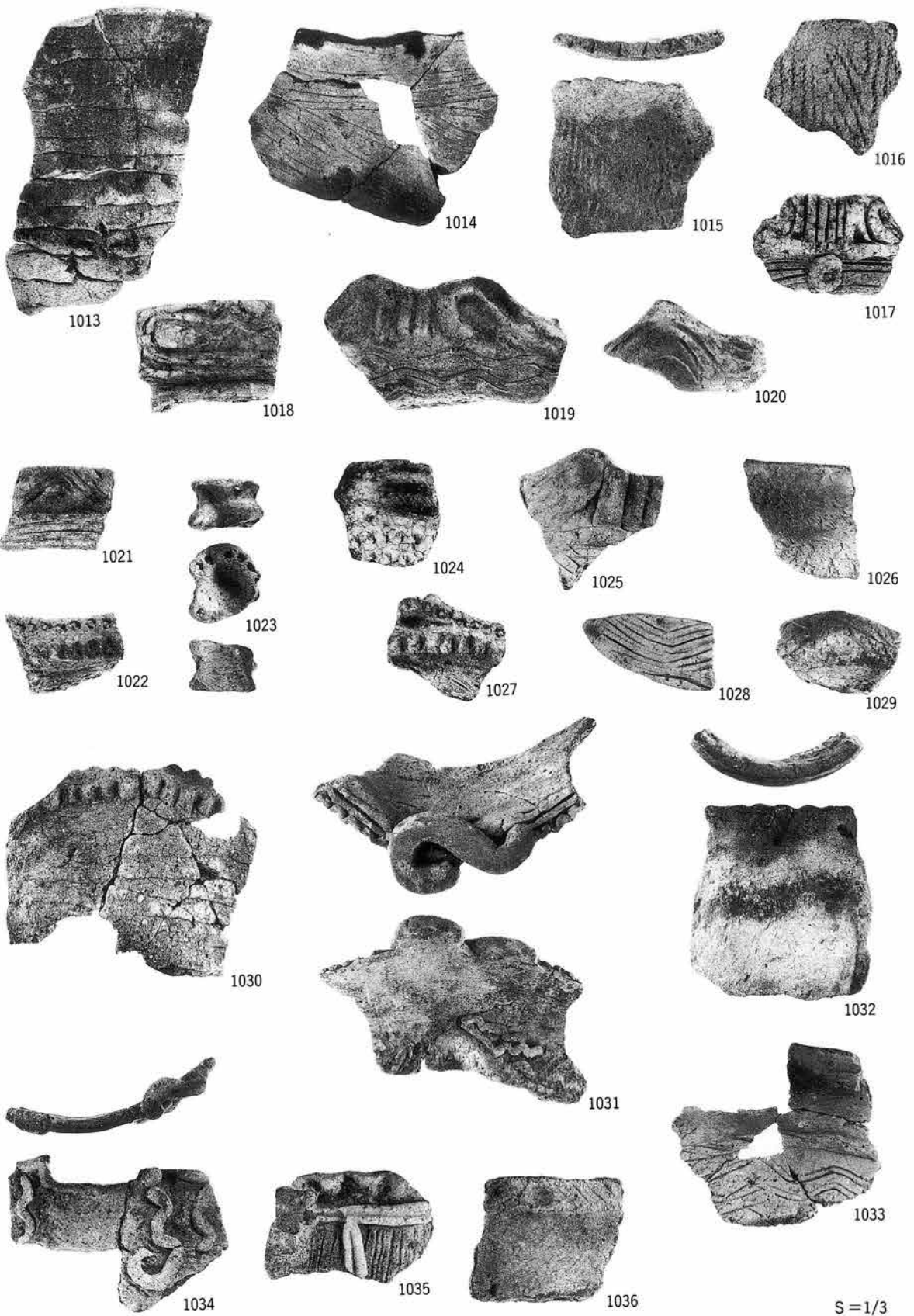


写真図版111 土器(63)



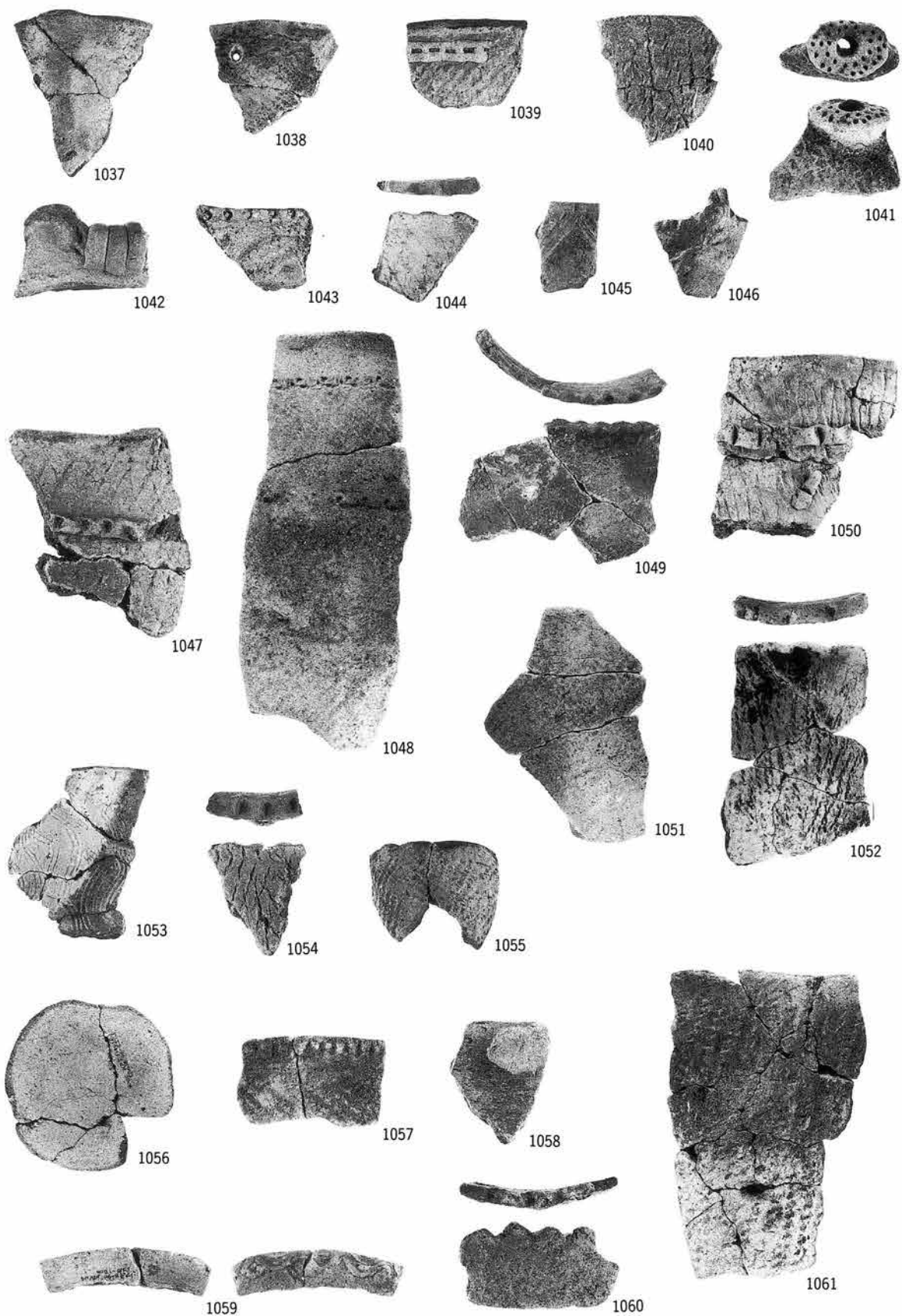
S=1/3

写真图版112 土器(64)

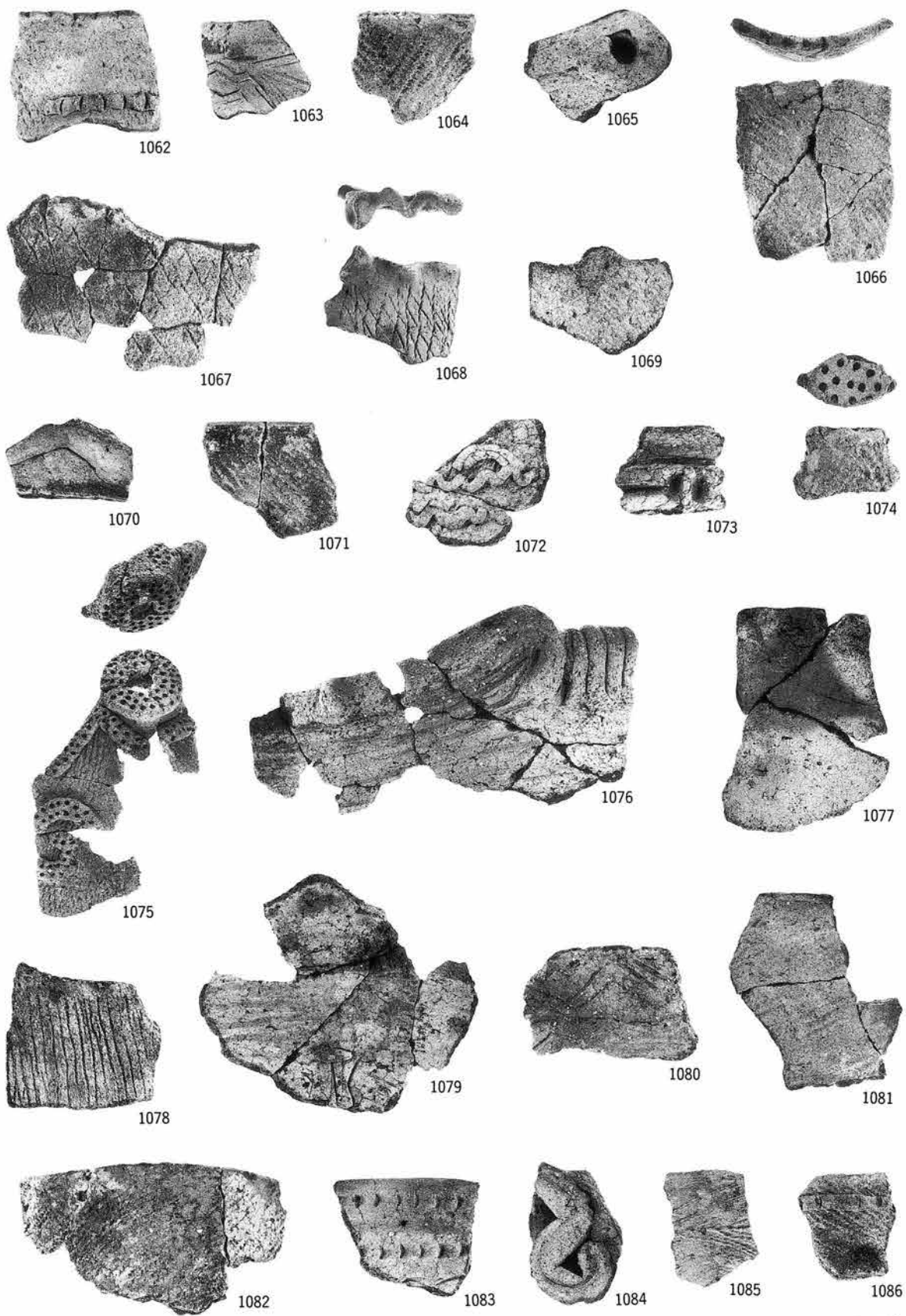


S = 1/3

写真图版113 土器(65)

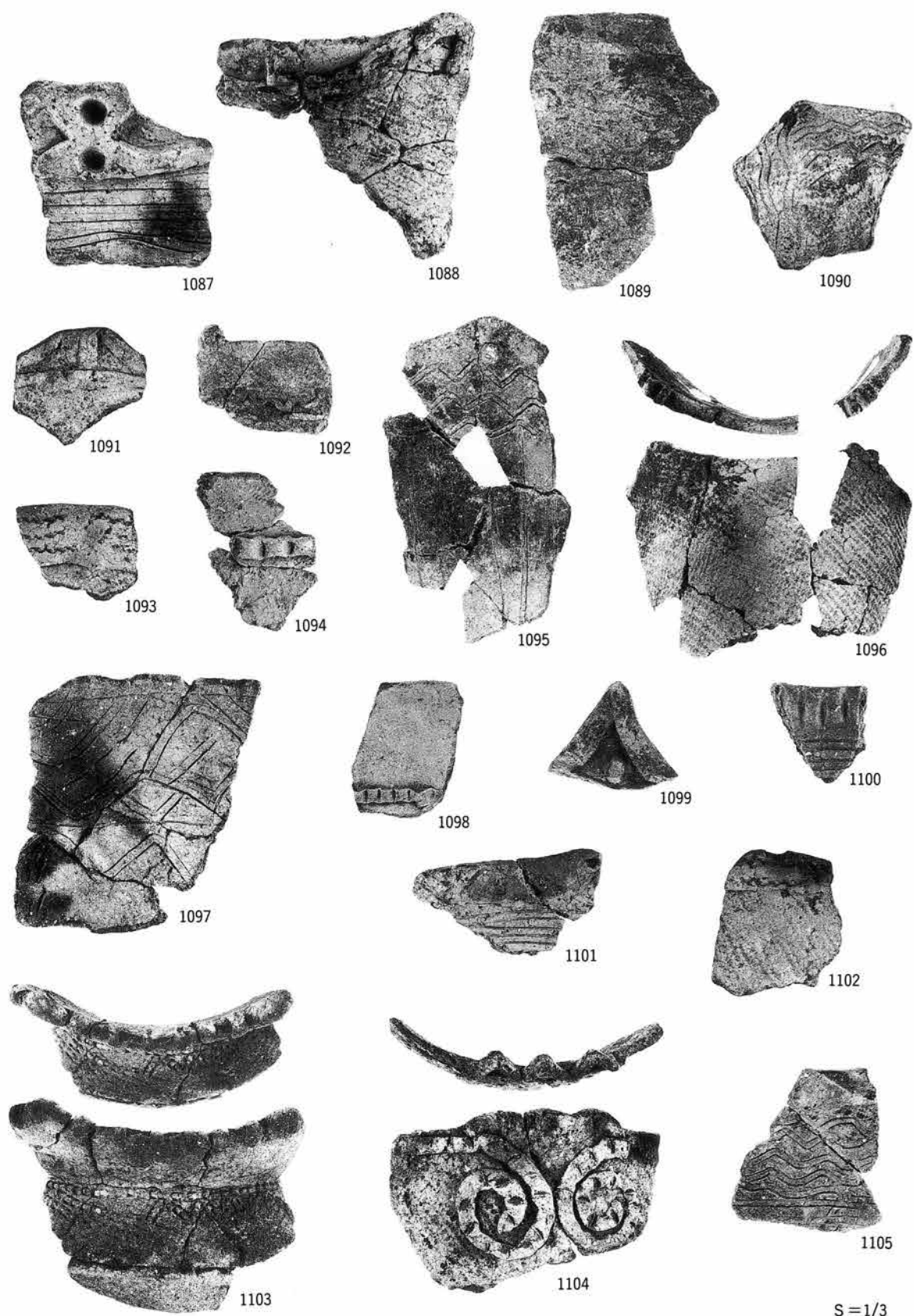


S=1/3



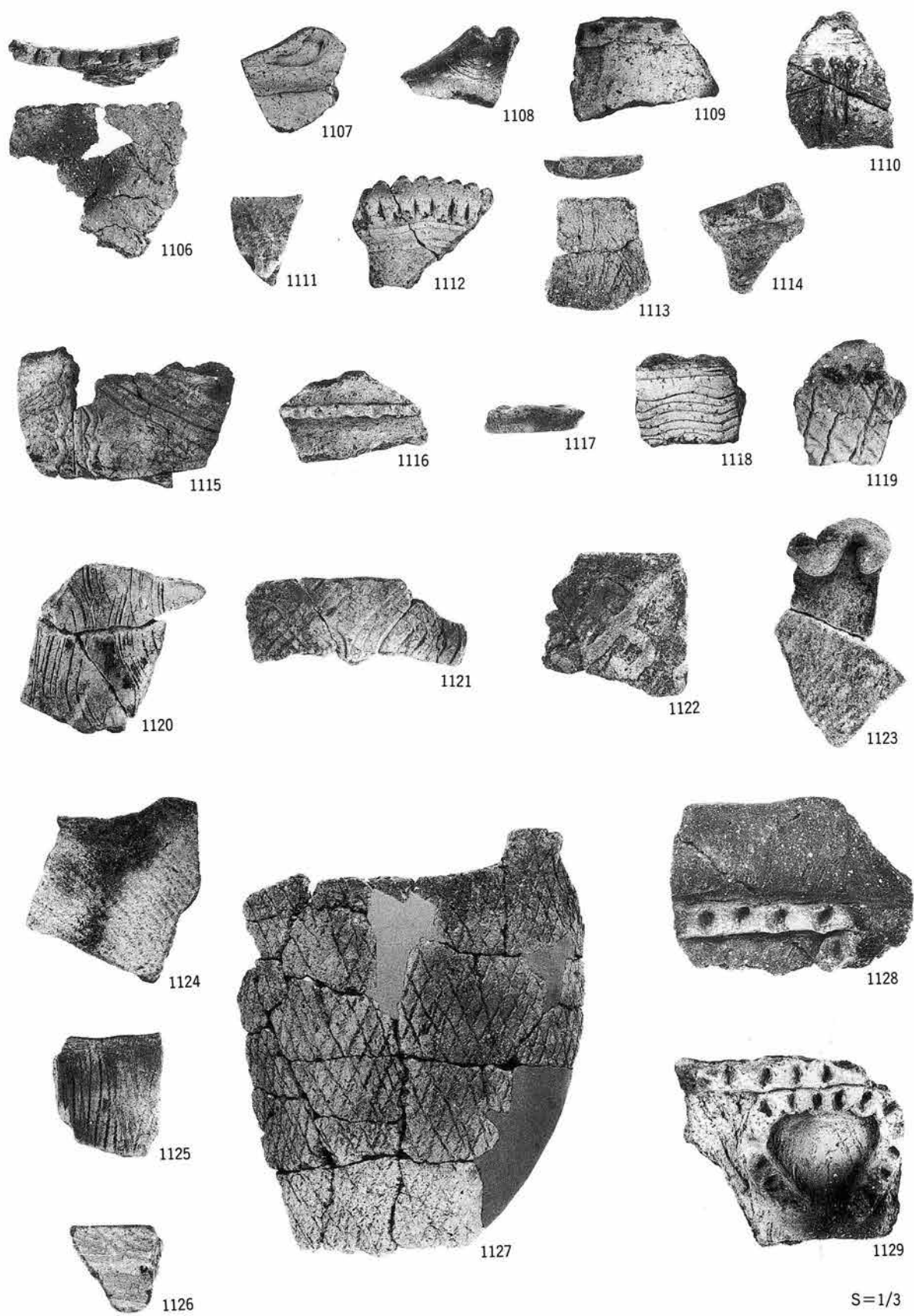
S = 1/3

写真图版115 土器(67)

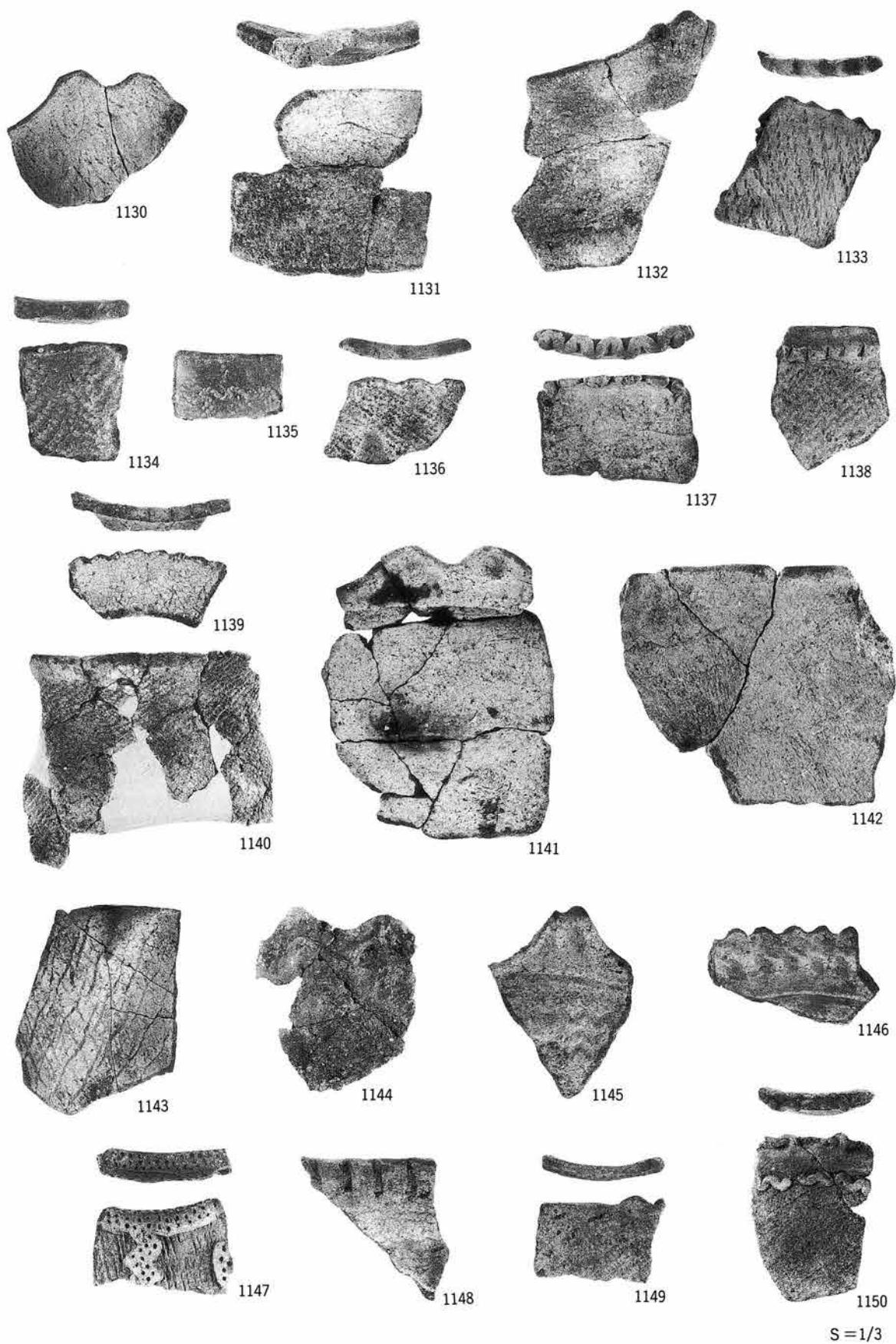


S = 1/3

写真図版116 土器(68)



写真图版117 土器(69)

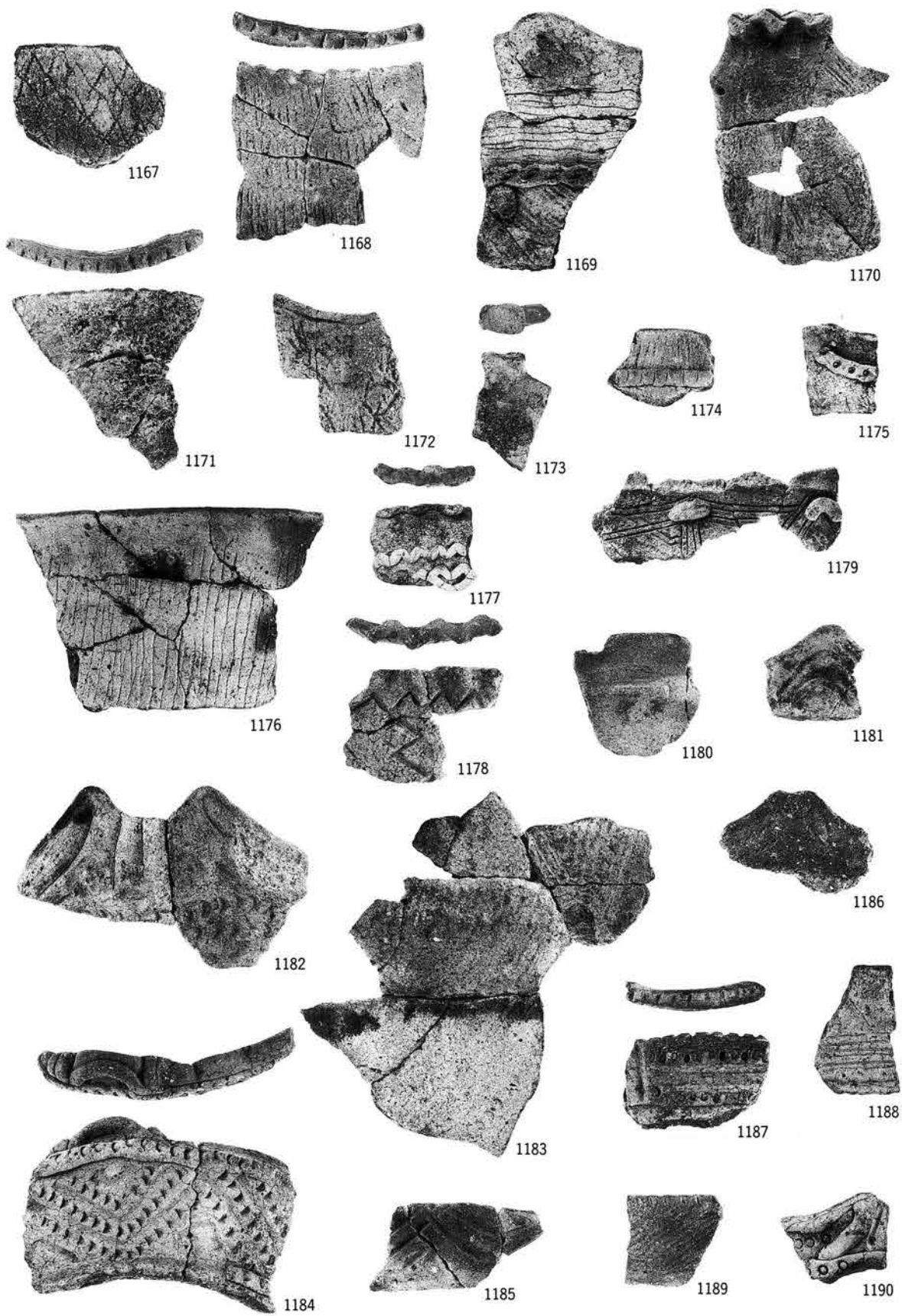


写真図版118 土器(70)

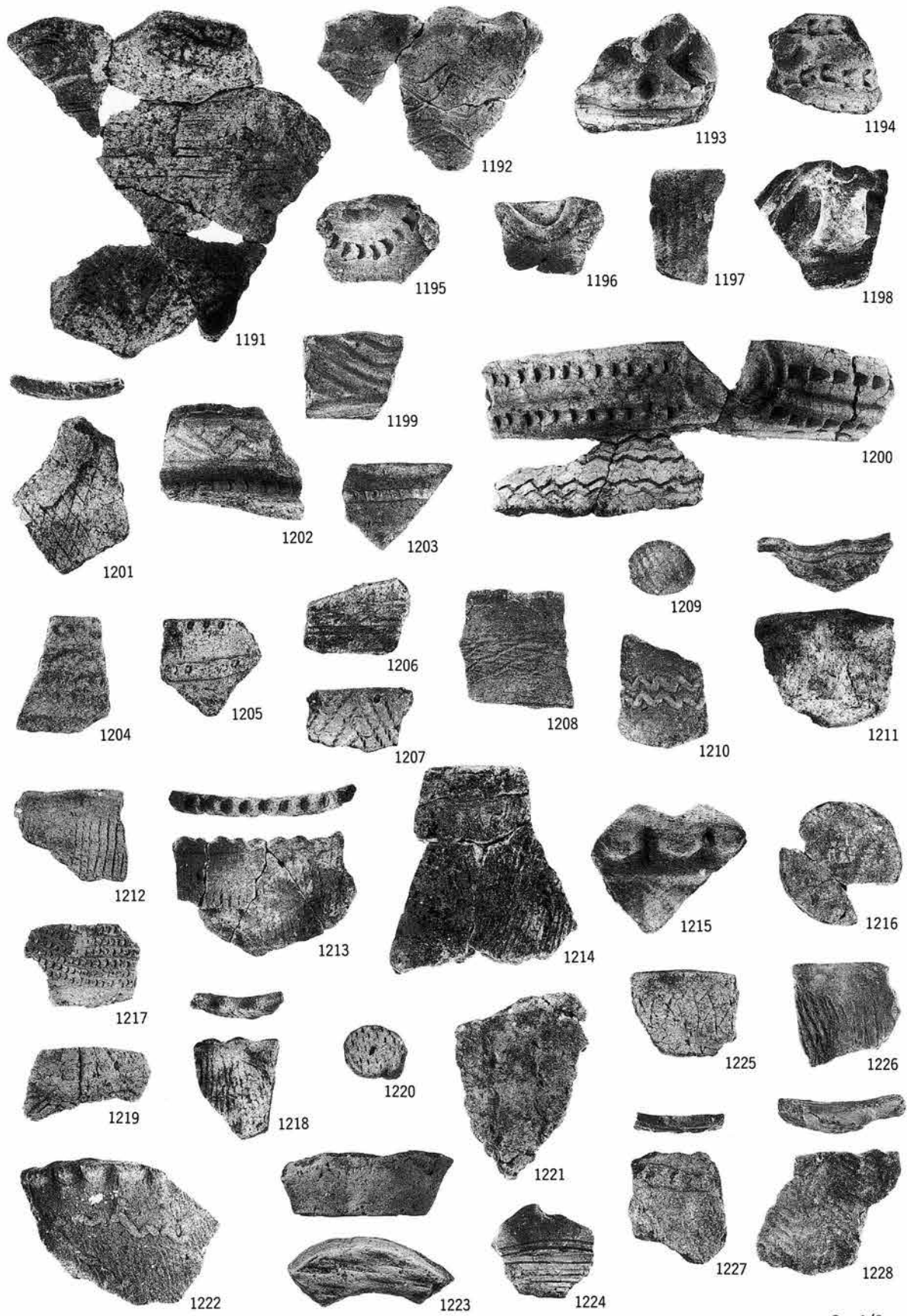


S=1/3

写真図版119 土器(7)

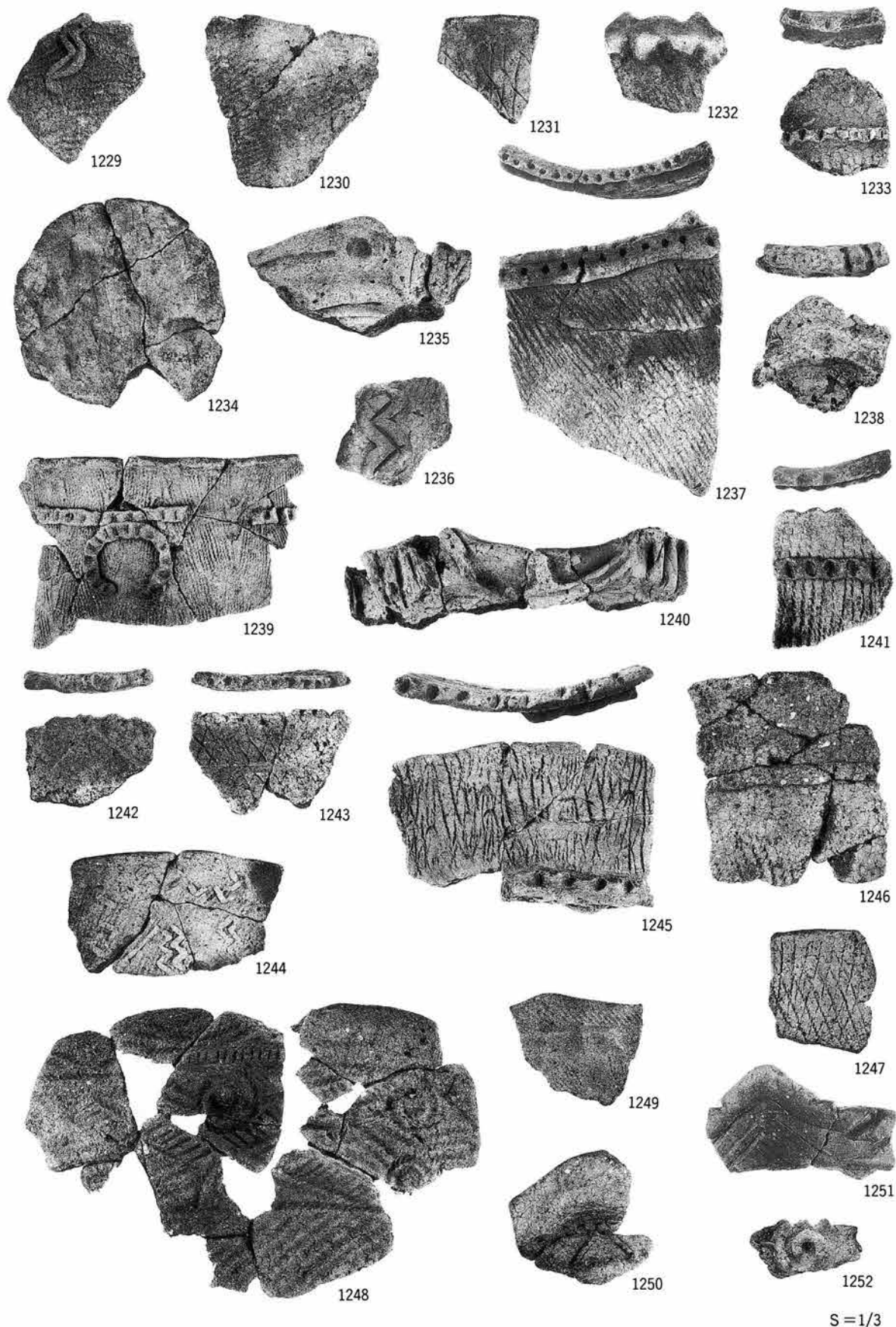


S = 1/3

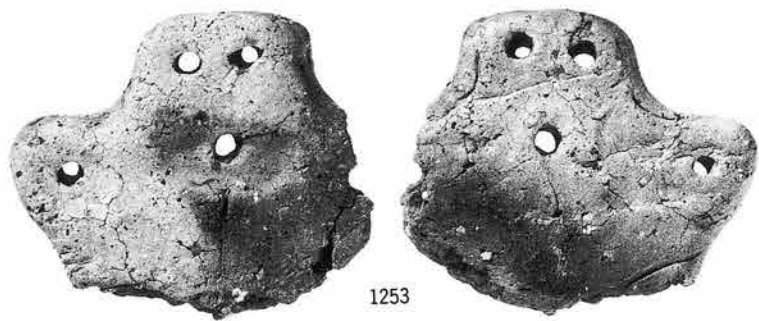


S=1/3

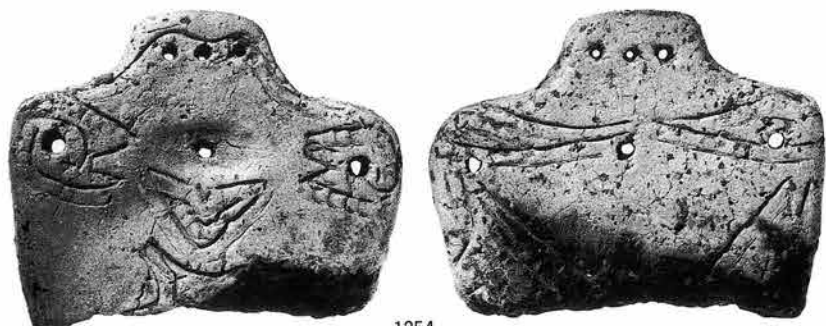
写真图版121 土器(73)



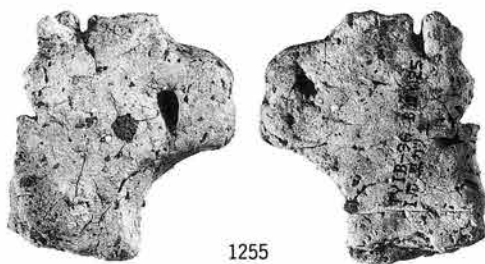
写真图版122 土器(74)



1253



1254



1255



1256

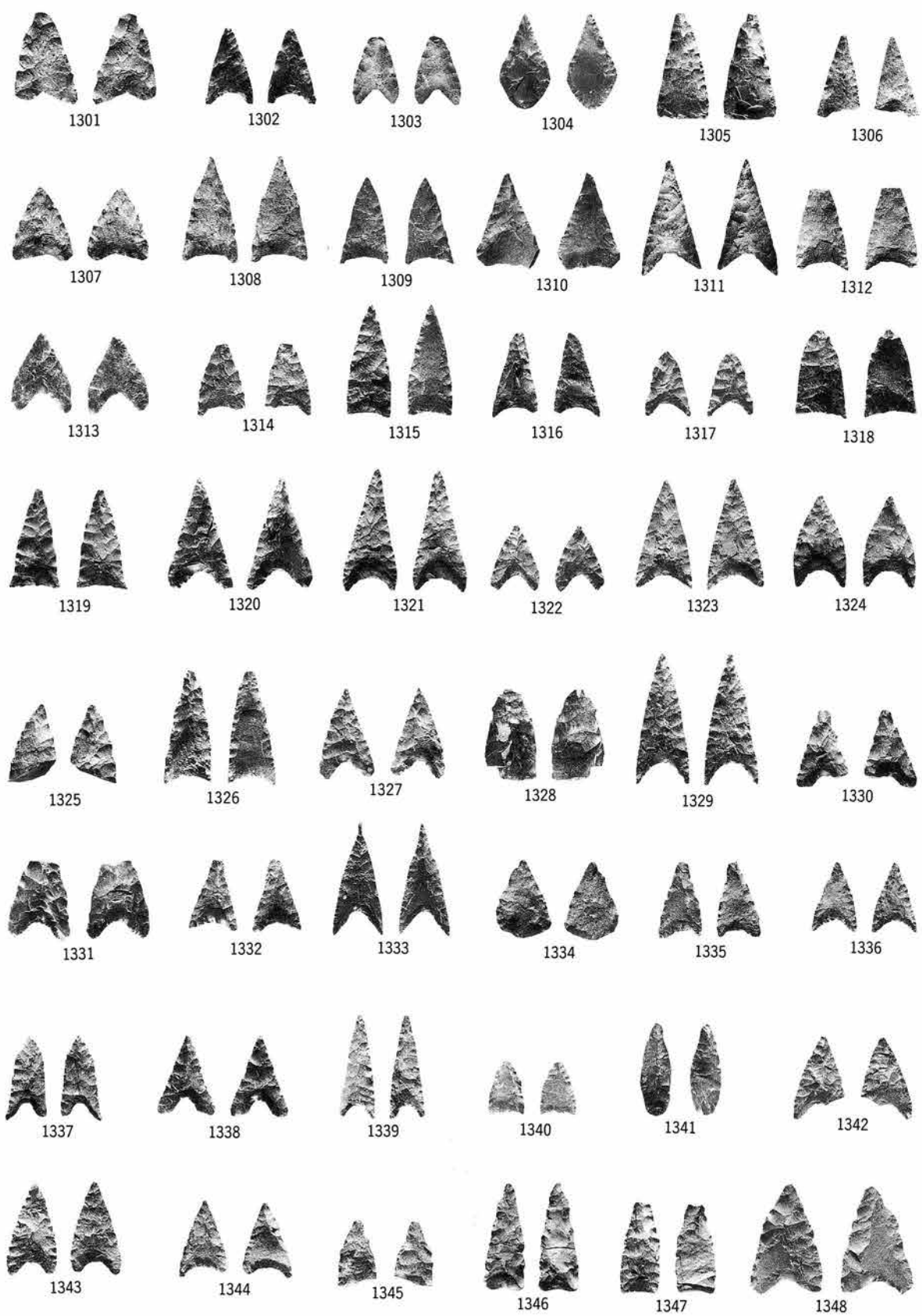


1257

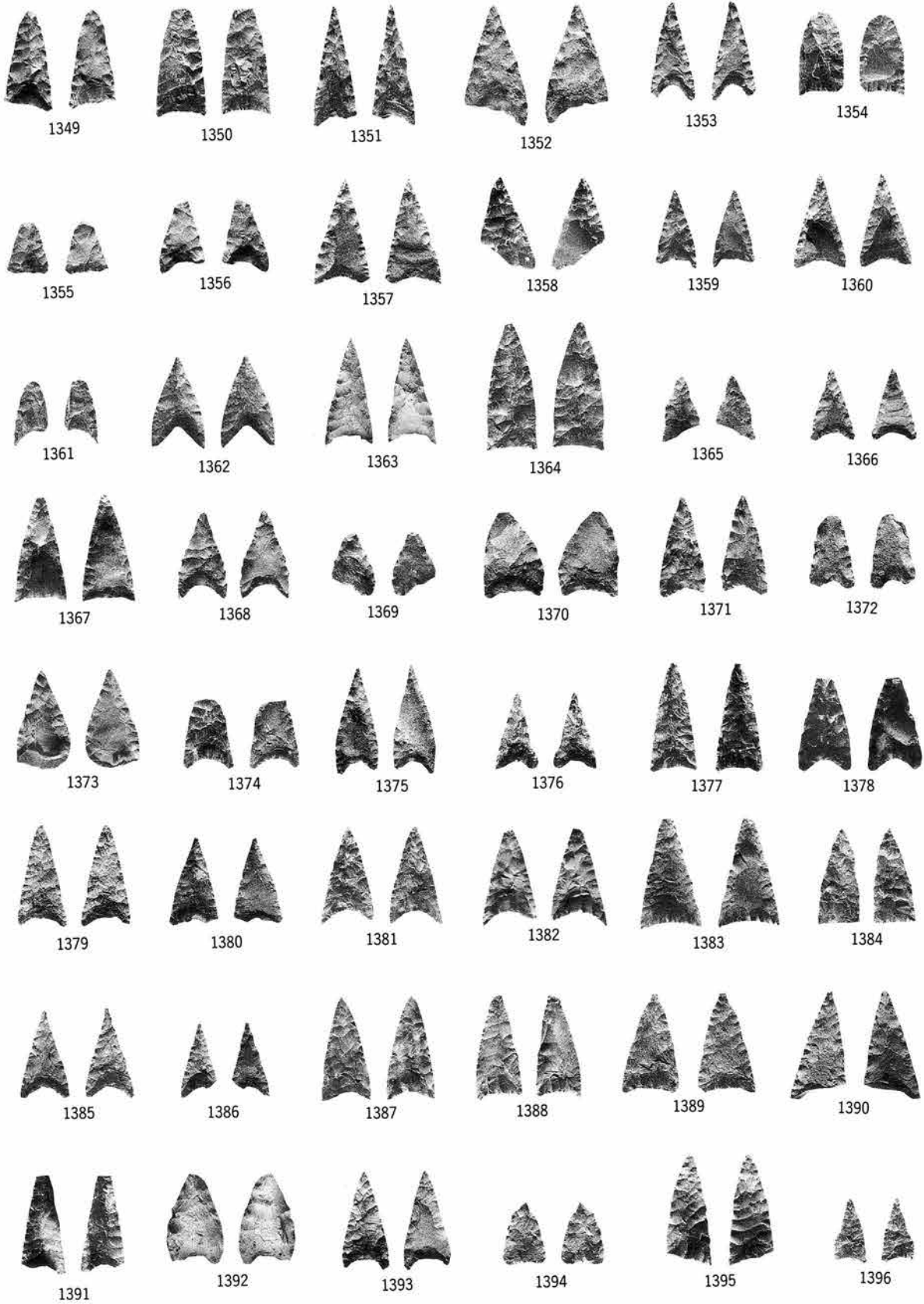


1258

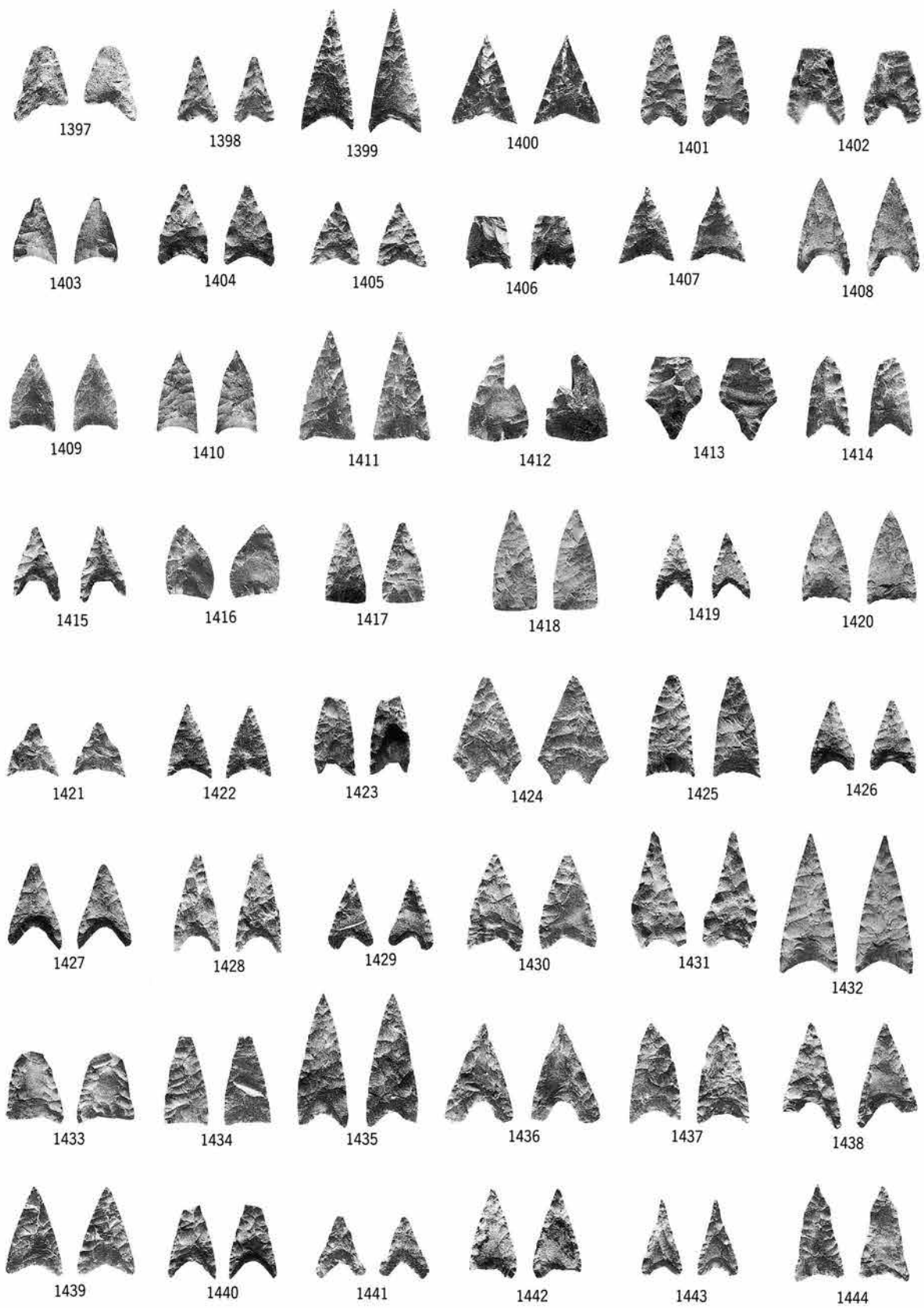
S = 2/3



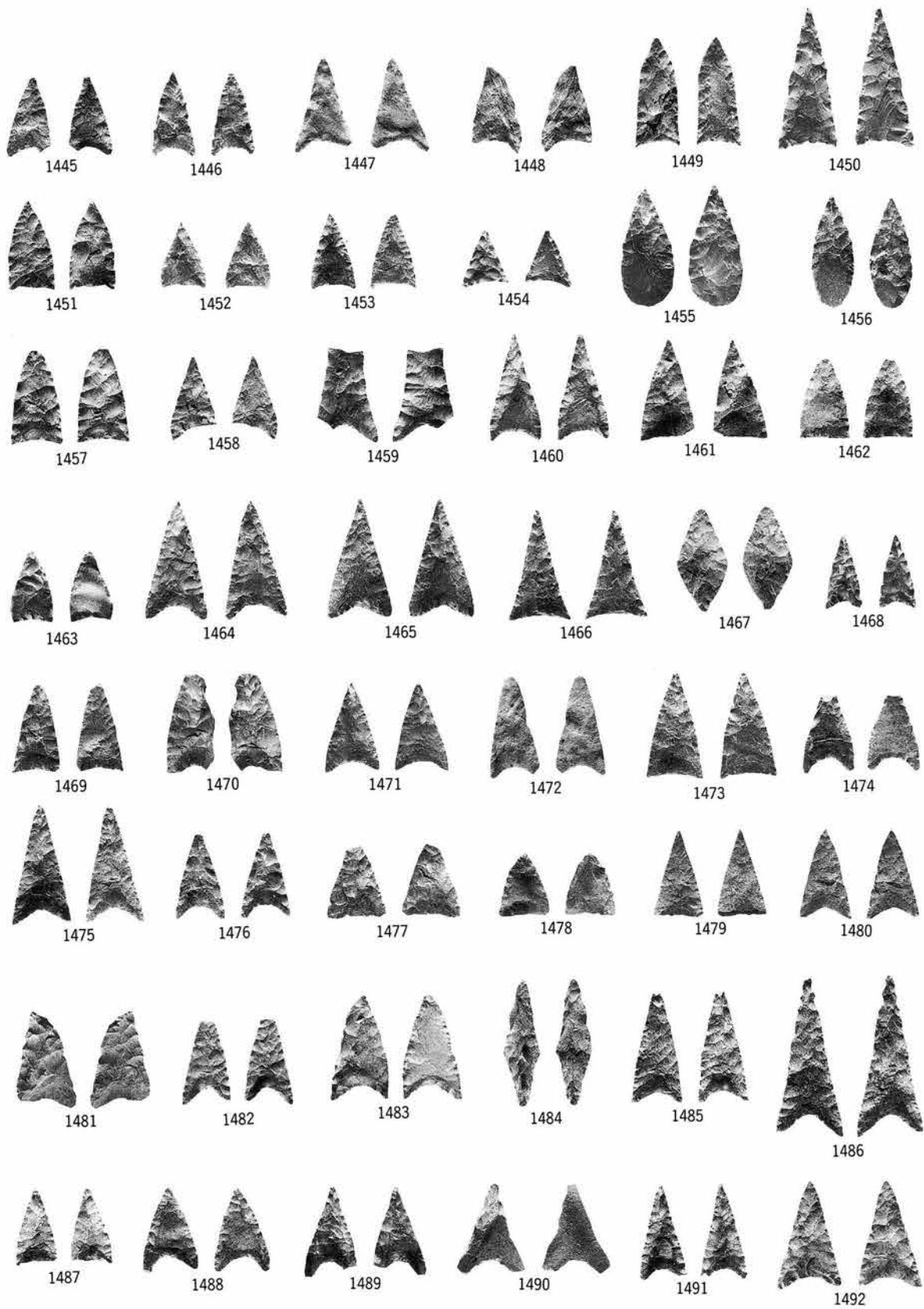
S=1/2



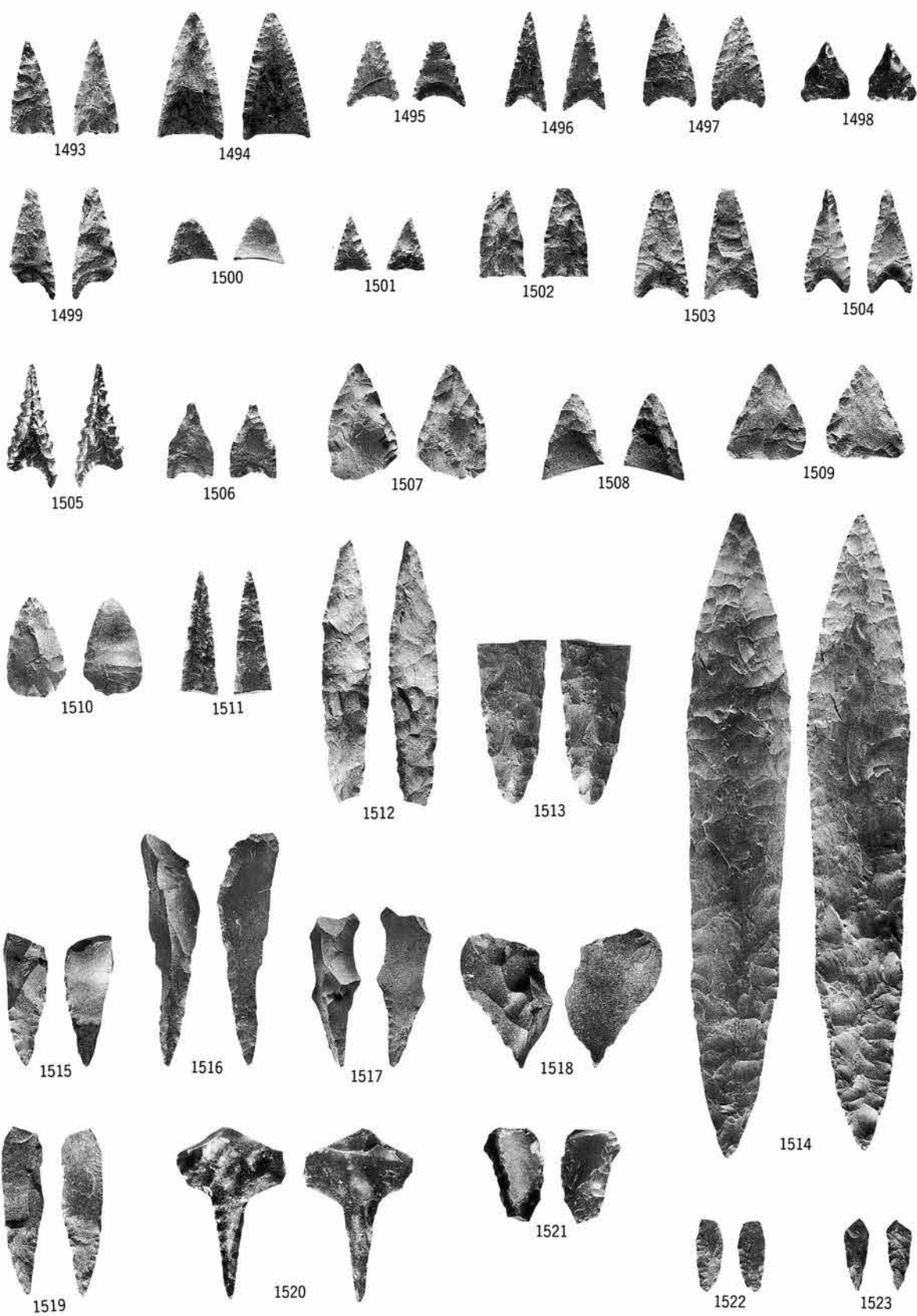
S = 1/2



S=1/2



S = 1/2



S=1/2



1524



1525



1526



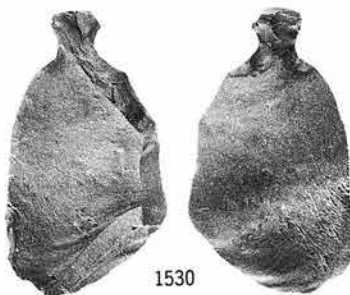
1527



1528



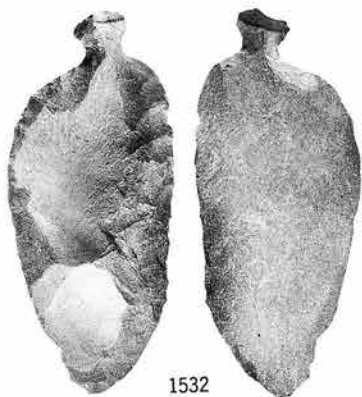
1529



1530



1531



1532



1533



1534



1535



1536



1537

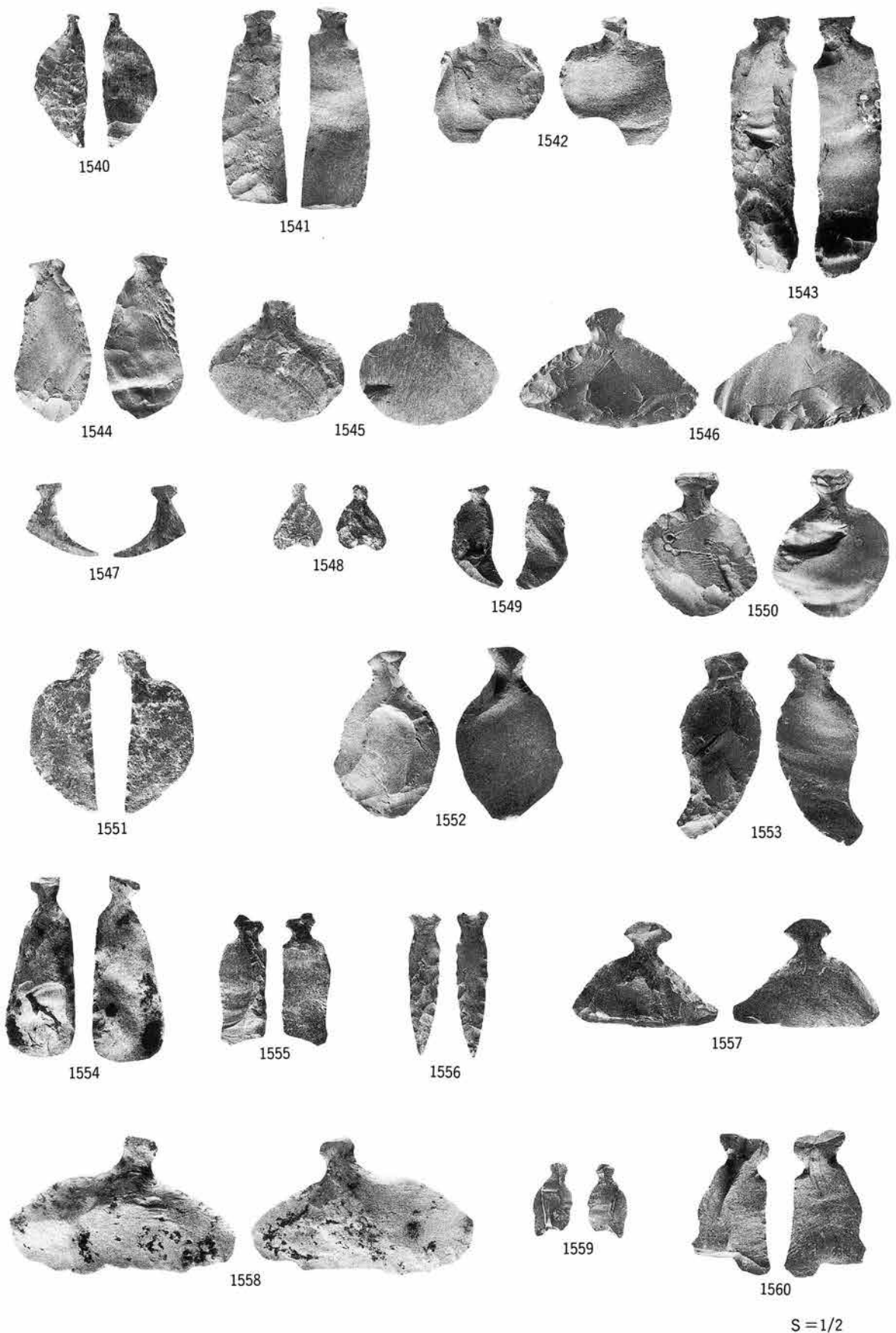


1538

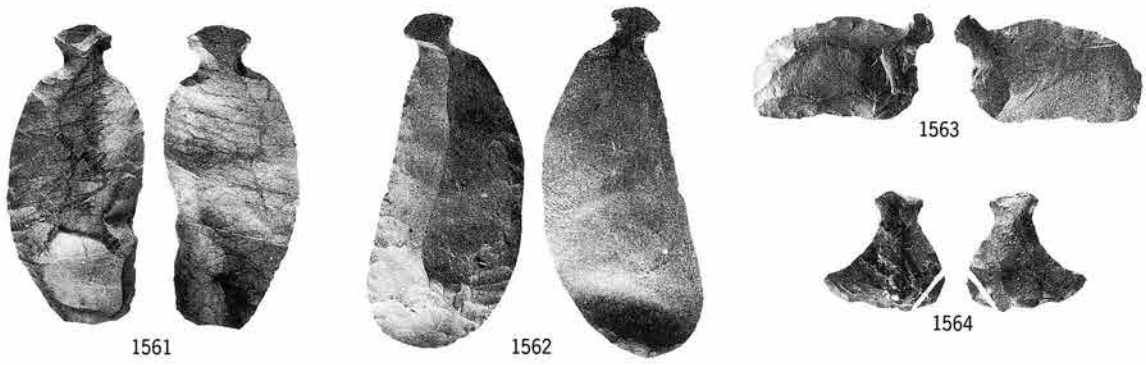


1539

S=1/2



写真图版130 石器(7)



1561

1562

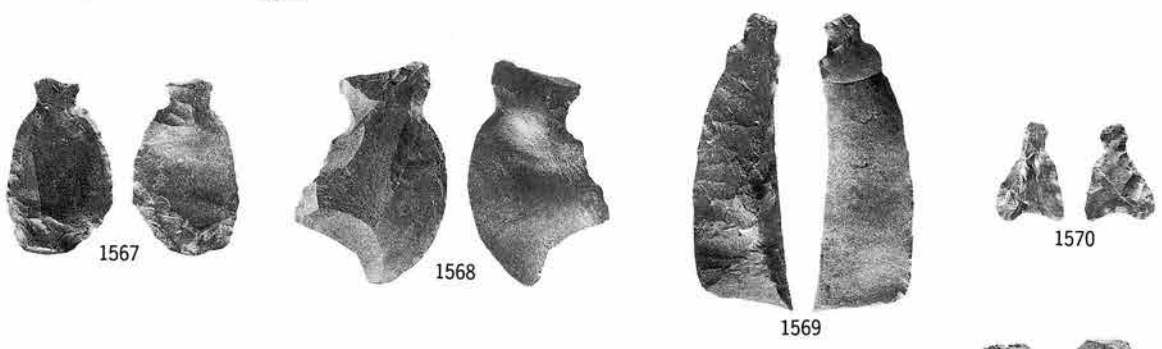
1563

1564



1565

1566



1567

1568

1569

1570



1571

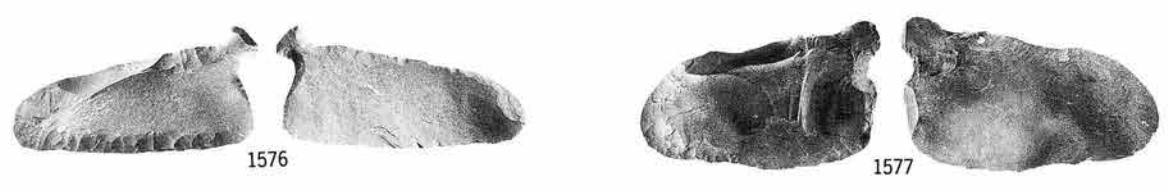
1572

1573



1574

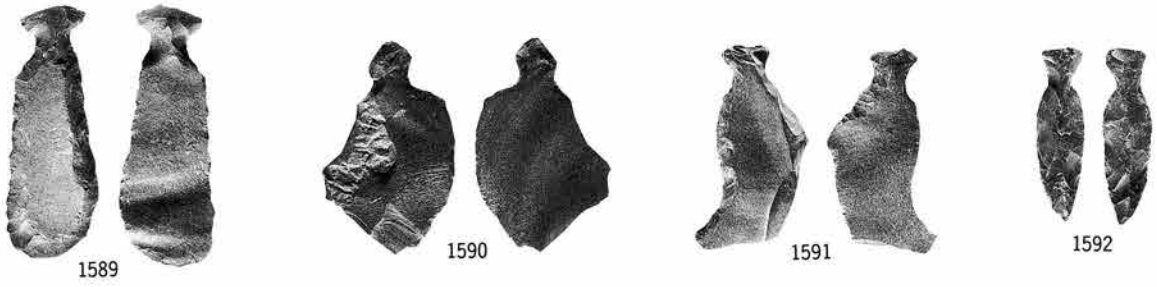
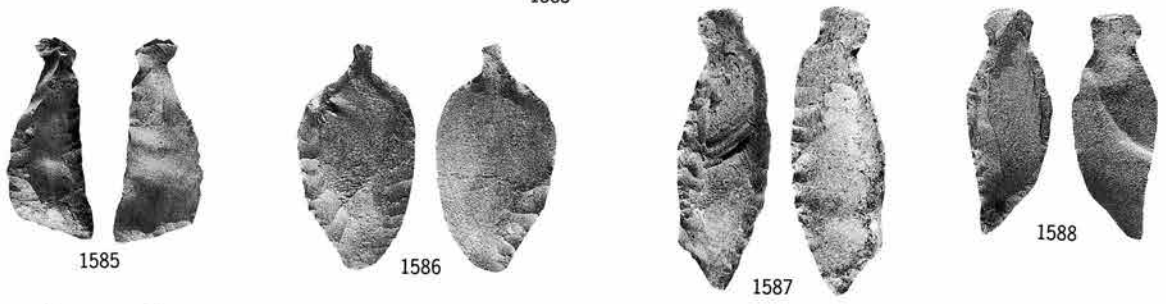
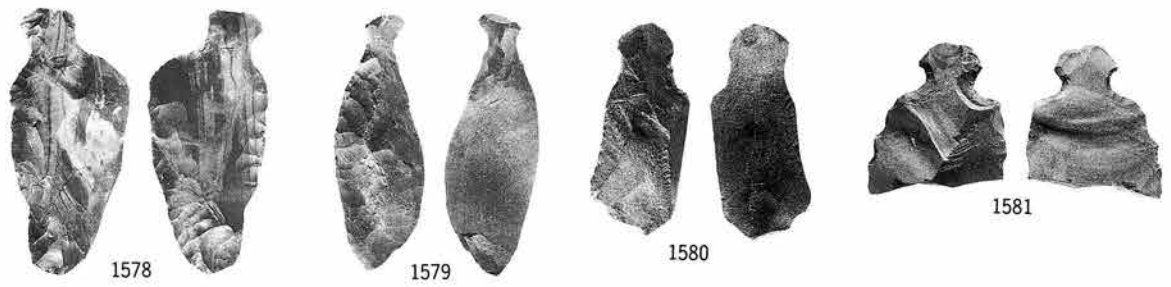
1575



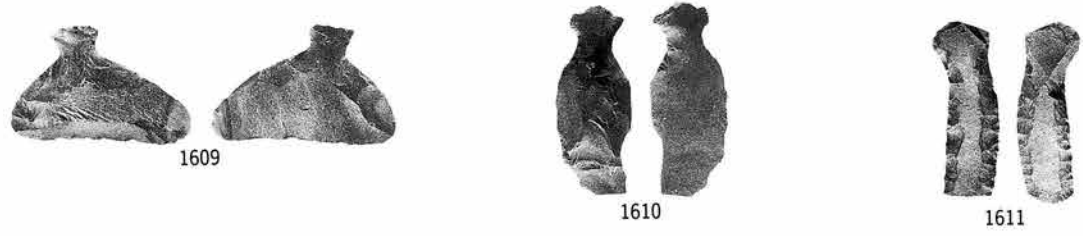
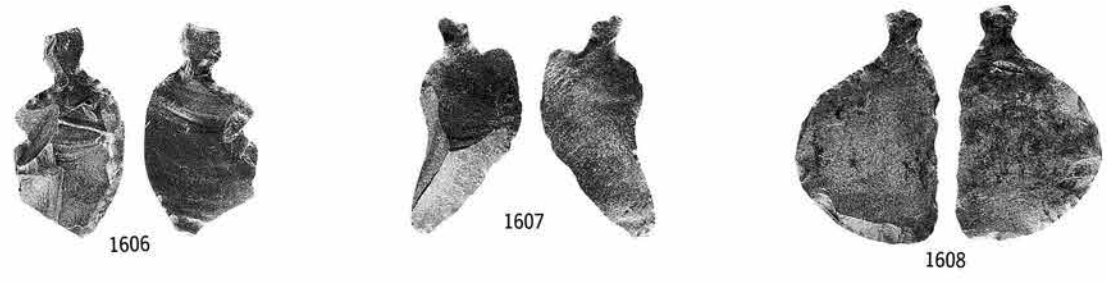
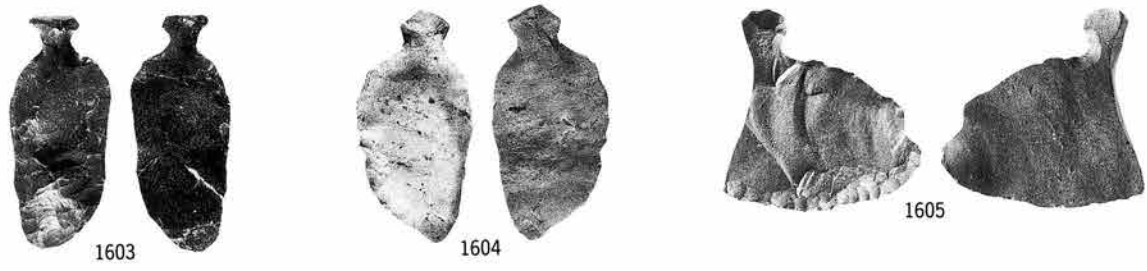
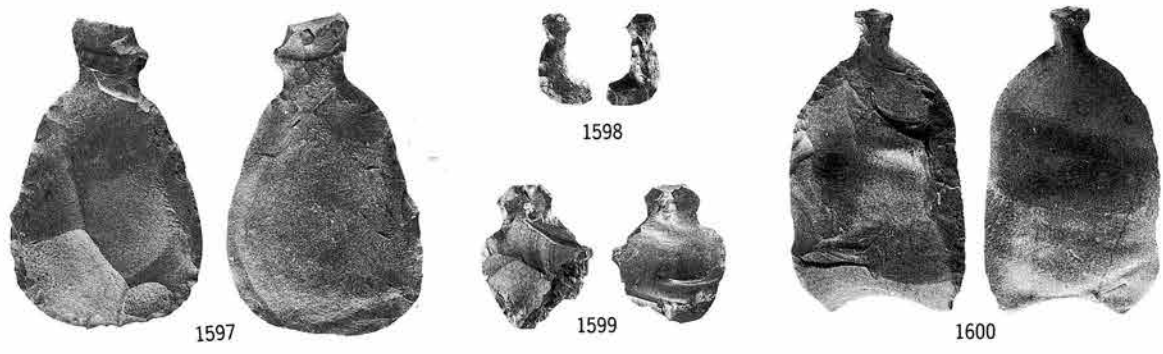
1576

1577

S=1/2



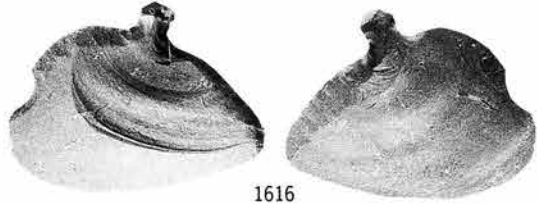
S = 1/2



S=1/2



1615



1616



1617



1618



1619



1620



1621



1622



1623



1624



1625



1626



1627



1628



1629

S=1/2



1630



1631



1632



1633



1634



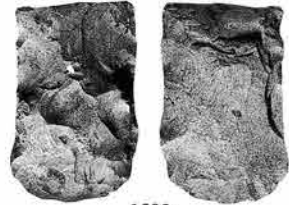
1635



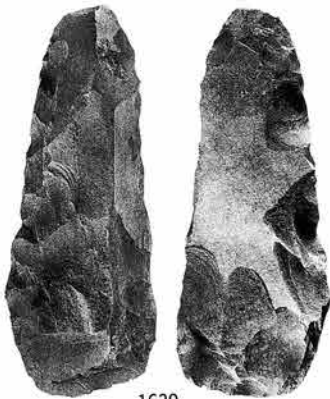
1636



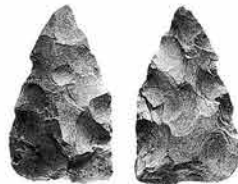
1637



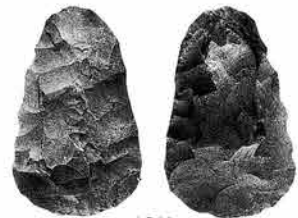
1638



1639

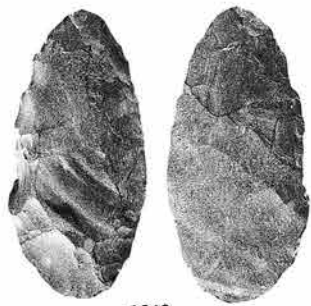


1640



1641

S = 1/2



1642



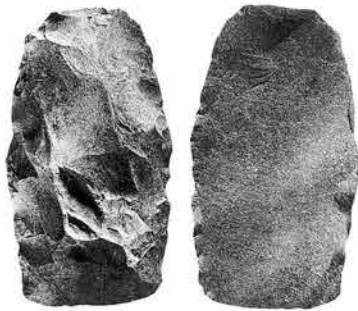
1643



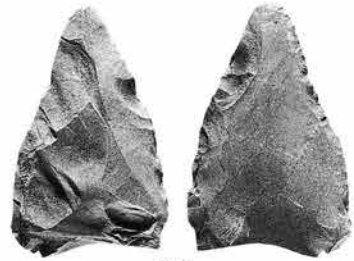
1644



1645



1646



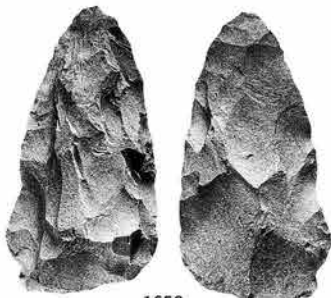
1647



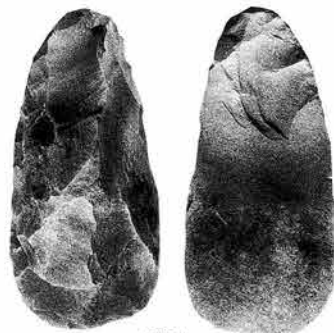
1648



1649

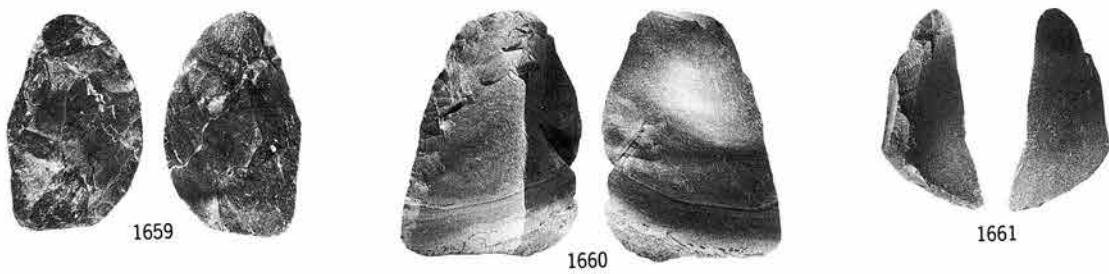
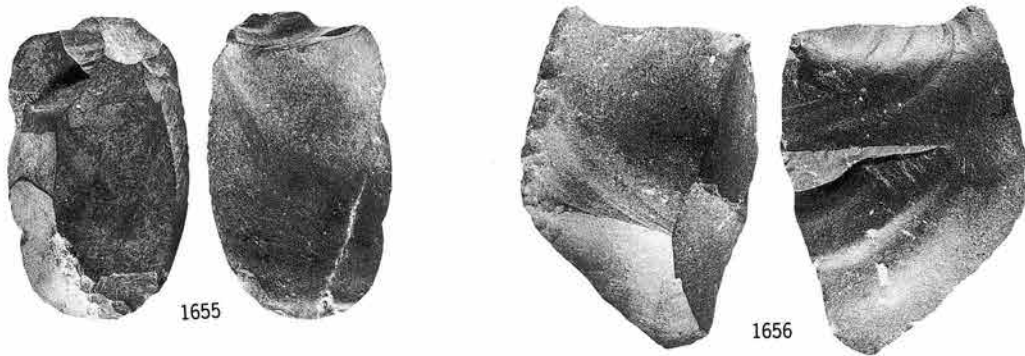
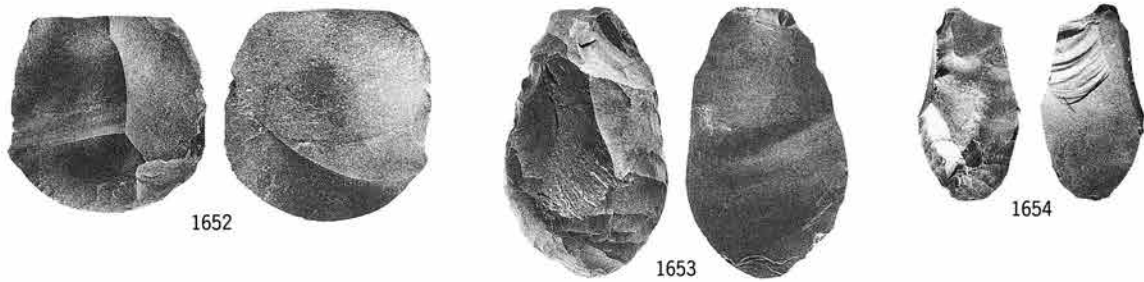


1650

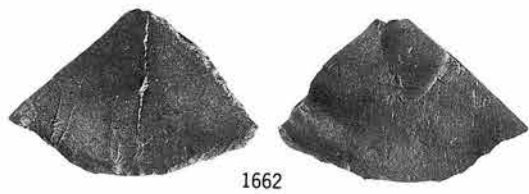


1651

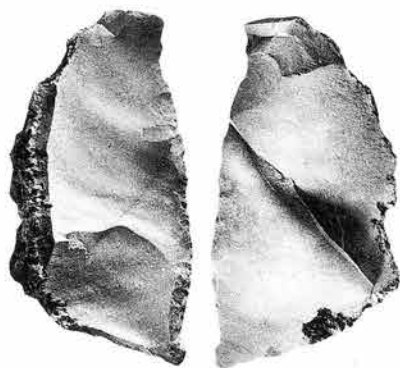
S=1/2



S=1/2



1662



1663



1664



1665



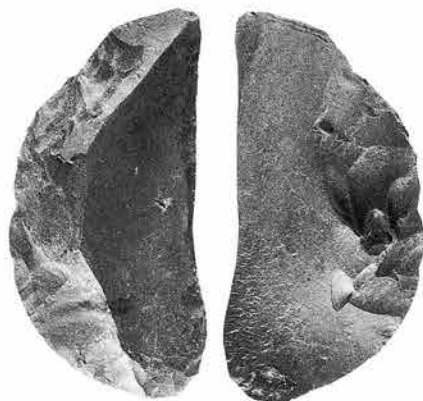
1666



1667



1668



1669



1670



1671



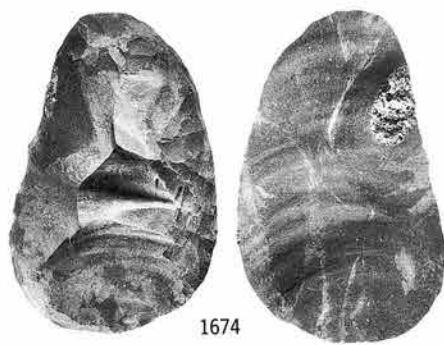
1672



S=1/2



1673



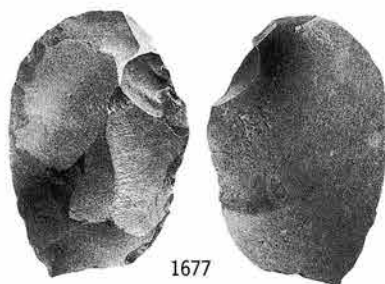
1674



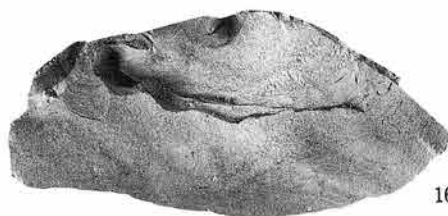
1675



1676



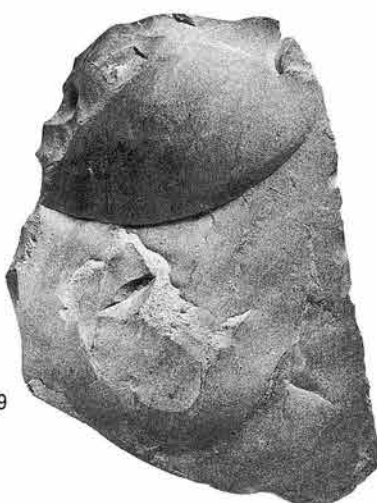
1677



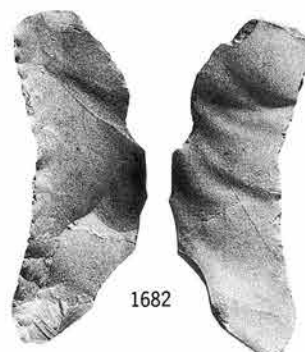
1678



1679

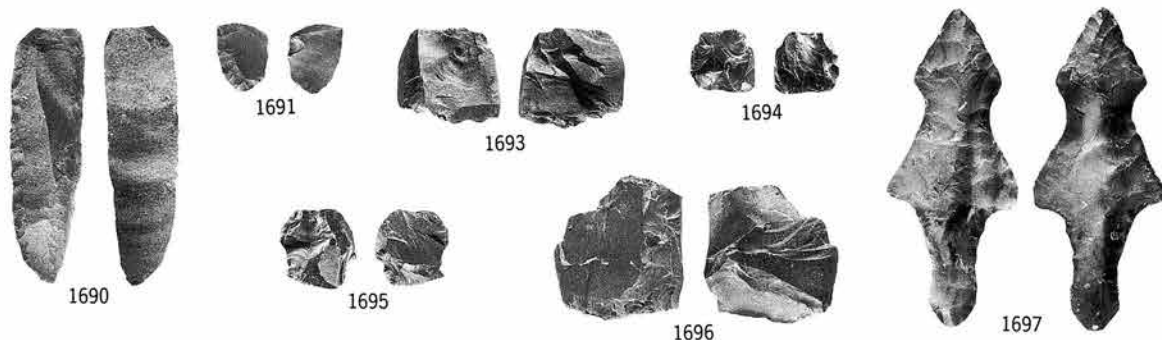
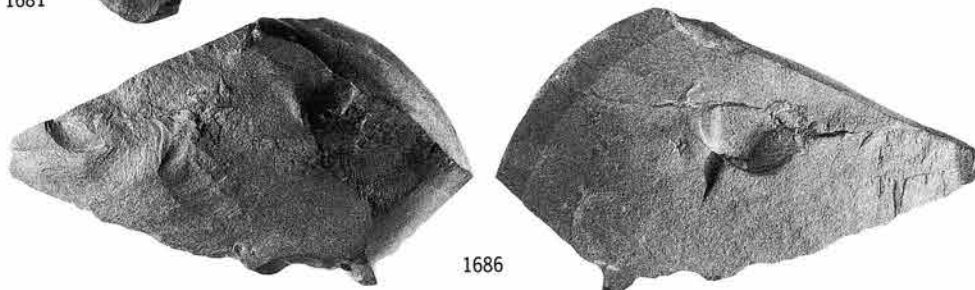
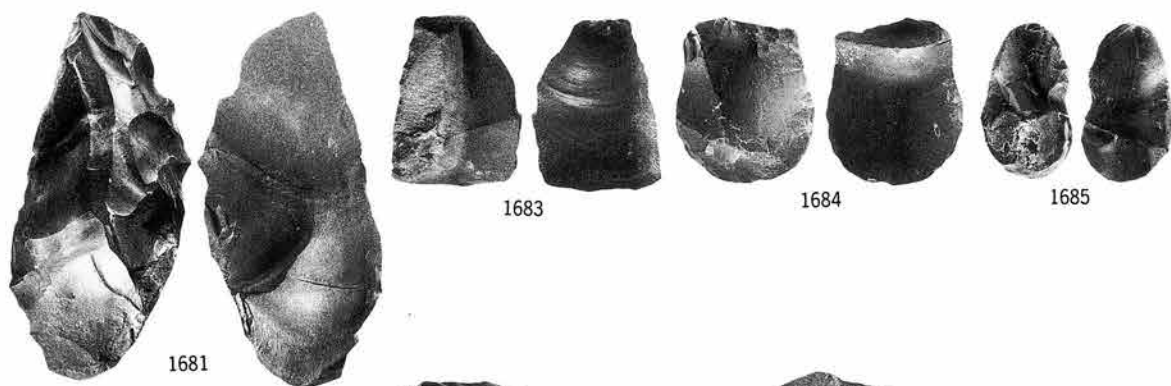


1680

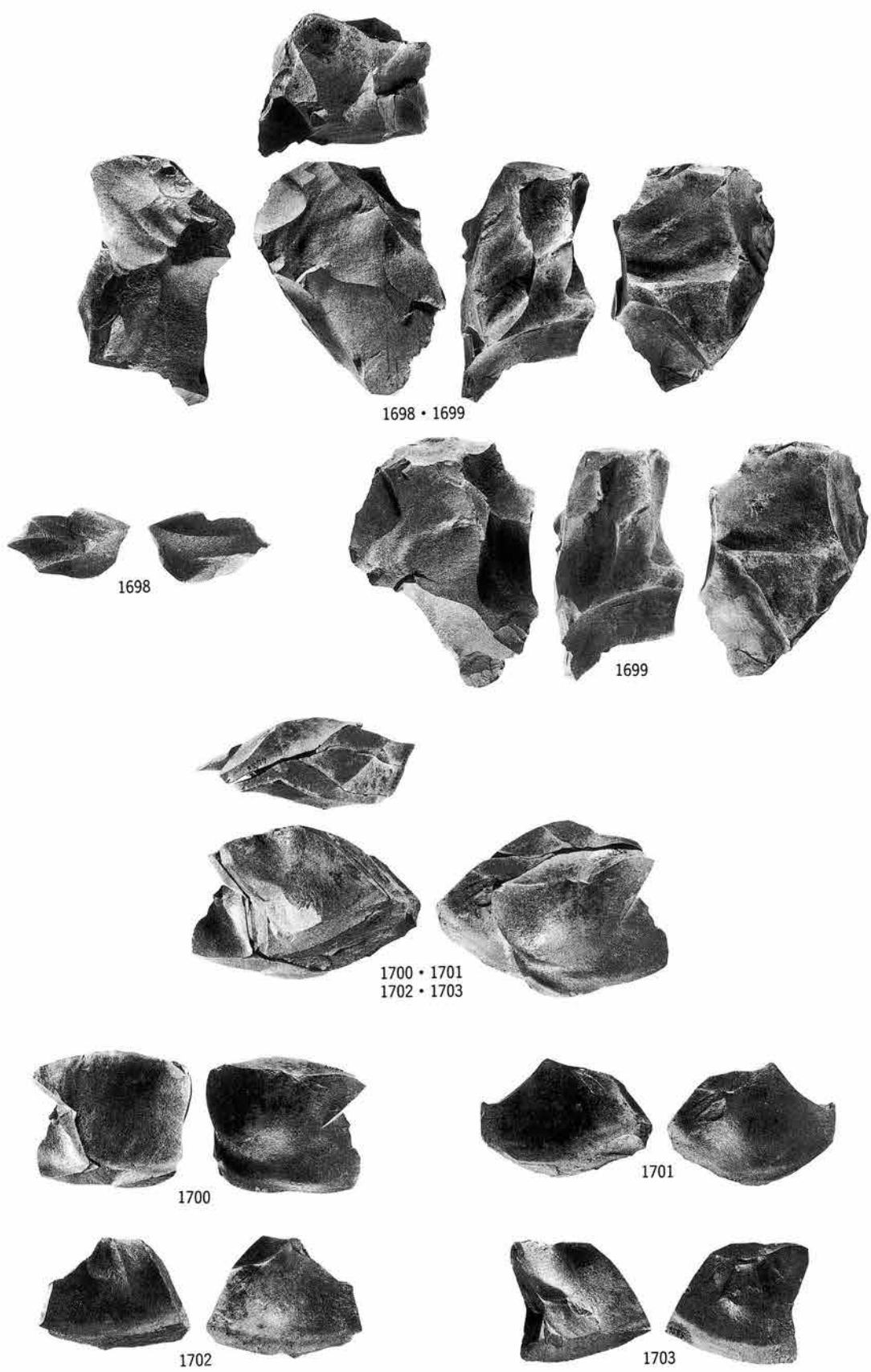


1682

S=1/2

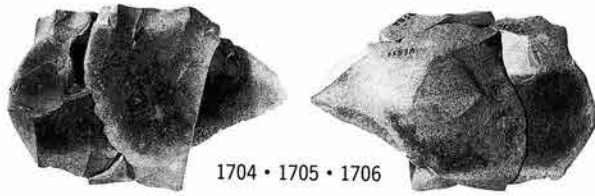


S=1/2

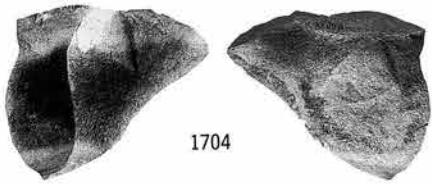


S=1/2

写真図版141 石器(18)



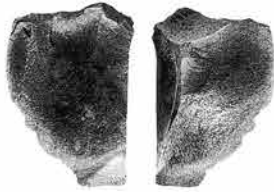
1704 · 1705 · 1706



1704



1705



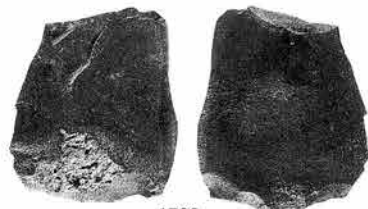
1706



1707 · 1708

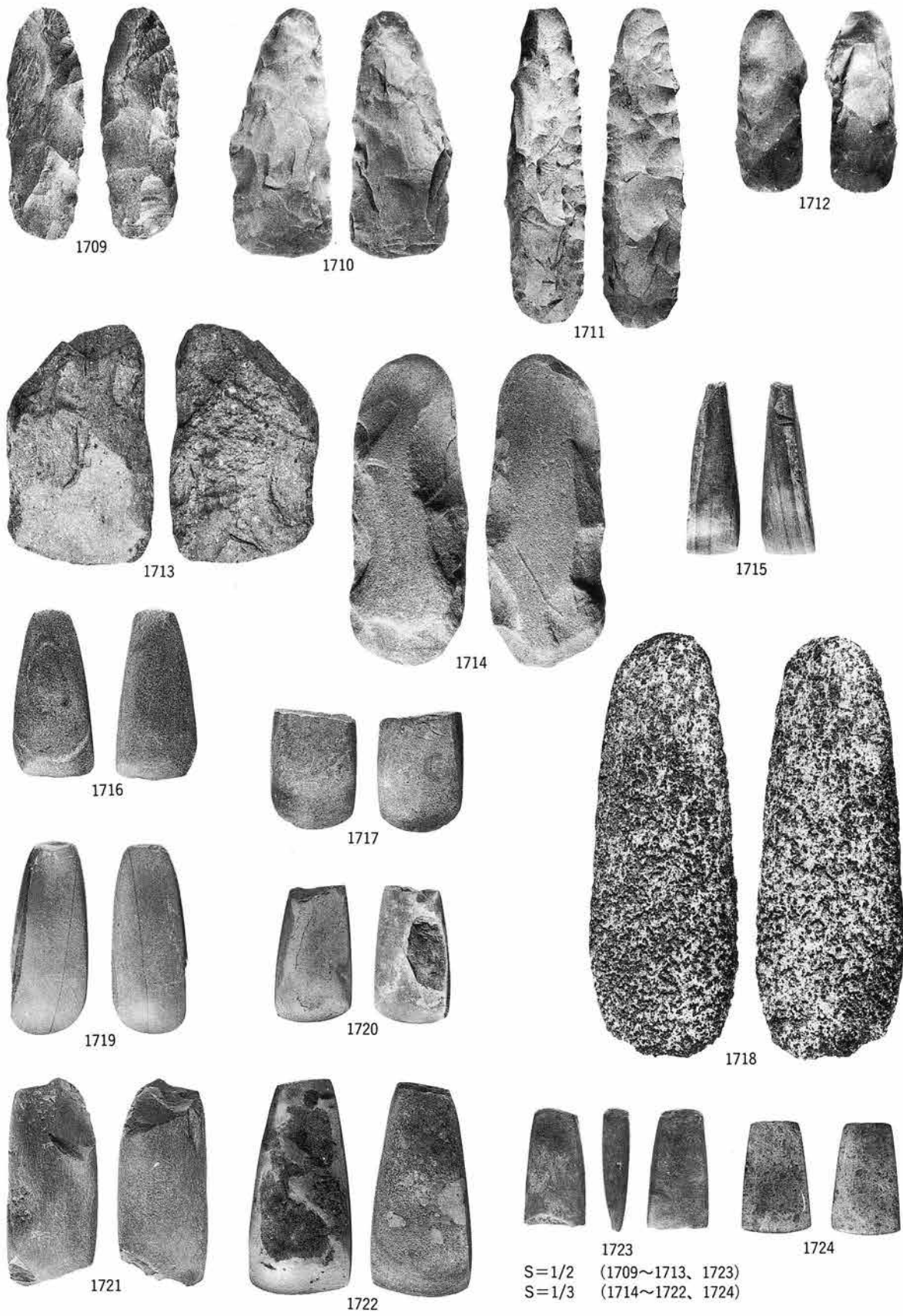


1707



1708

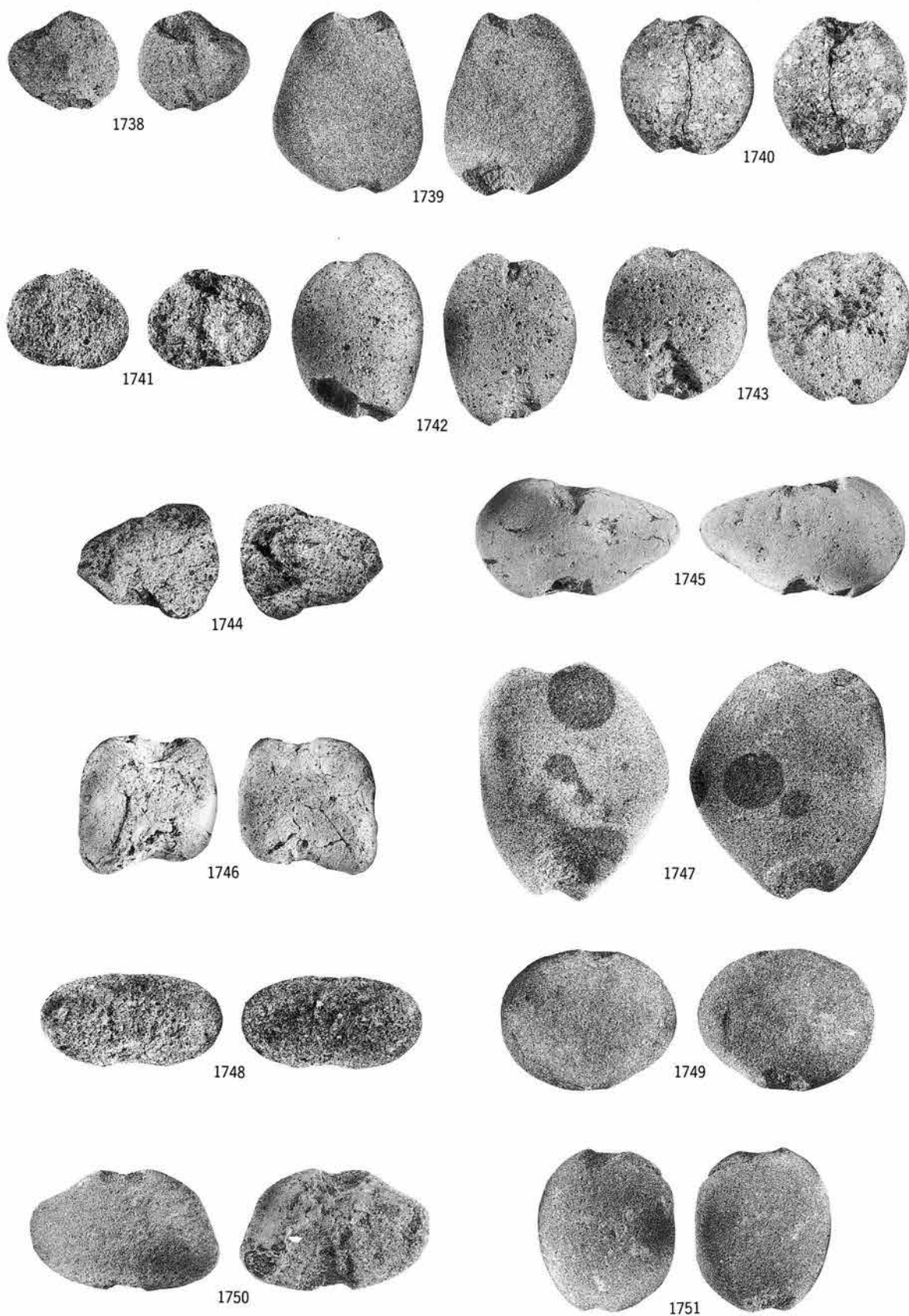
S = 1/2



写真図版143 石器(20)



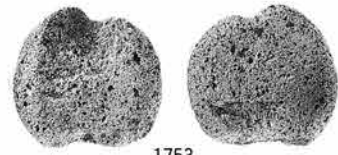
S=1/3



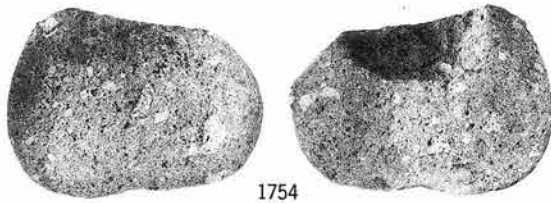
S = 1/3



1752



1753



1754



1755



1756



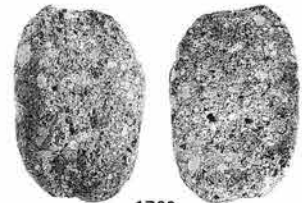
1757



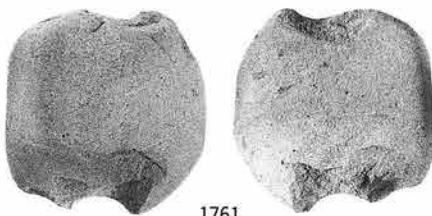
1758



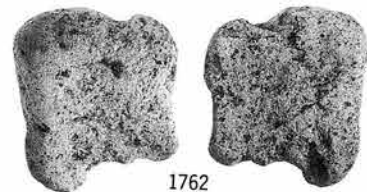
1759



1760



1761



1762

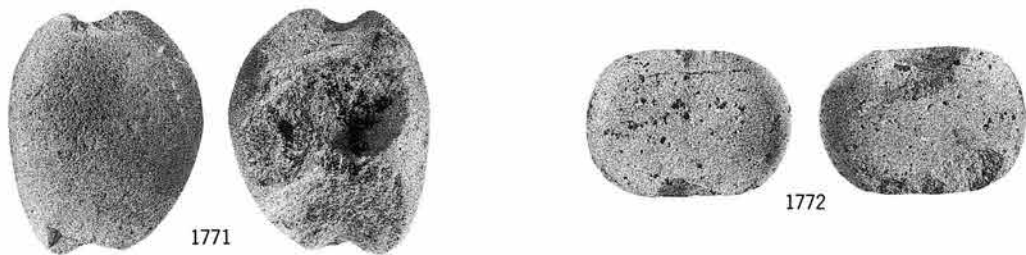
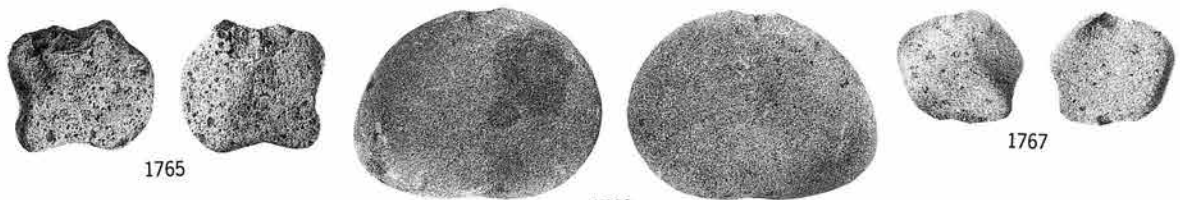


1763

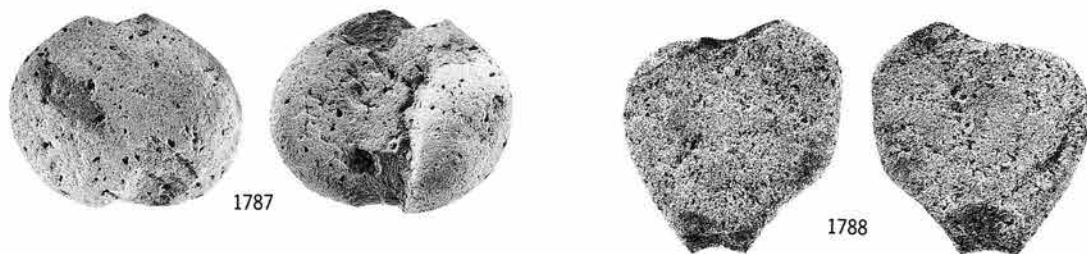
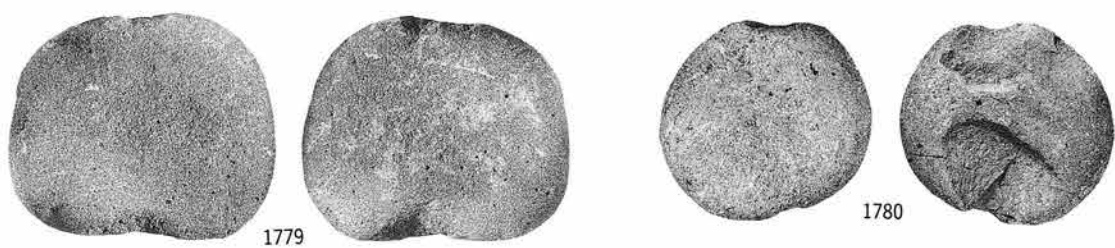


1764

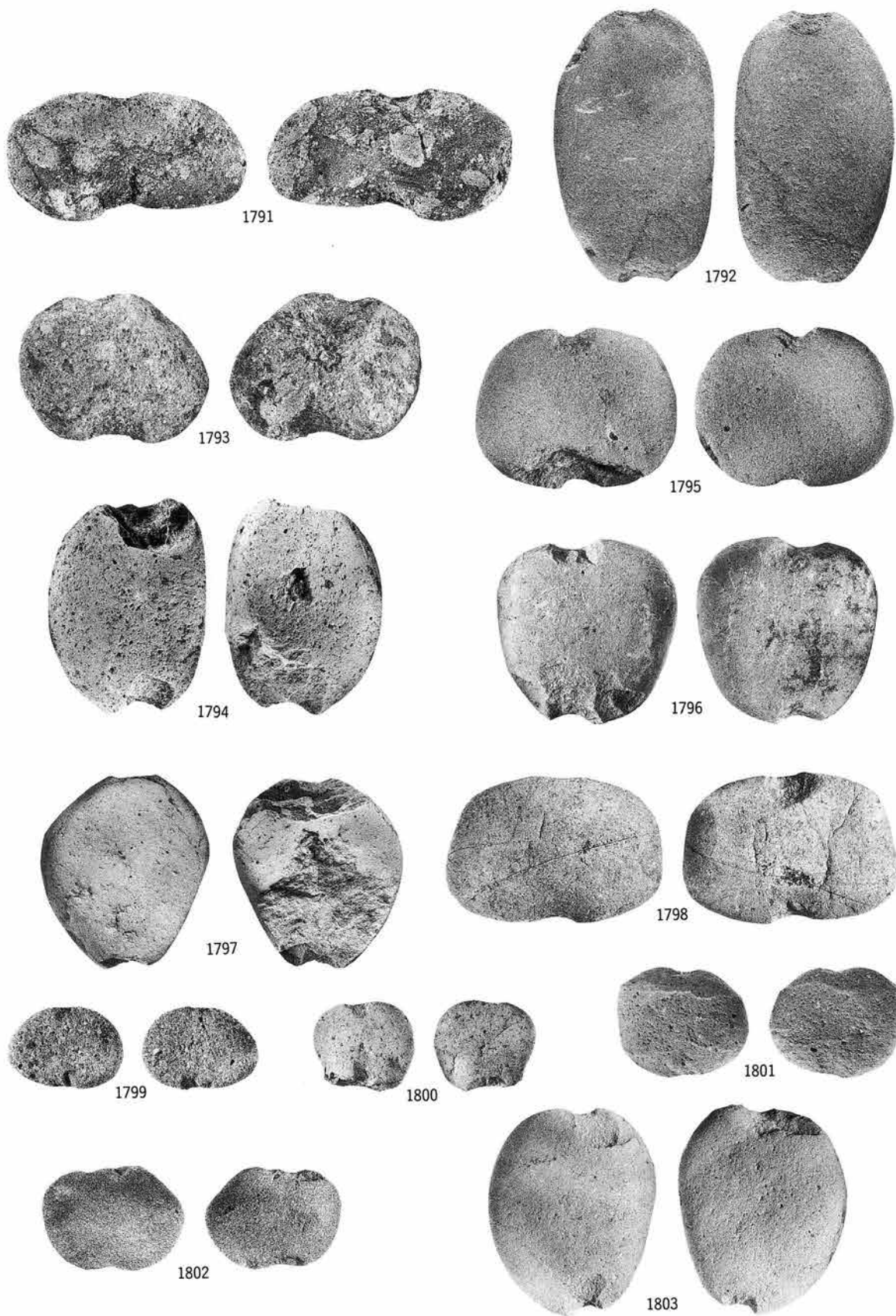
S=1/3



S = 1/3

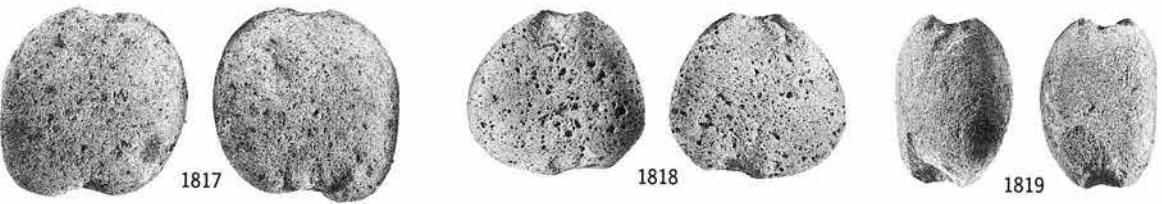
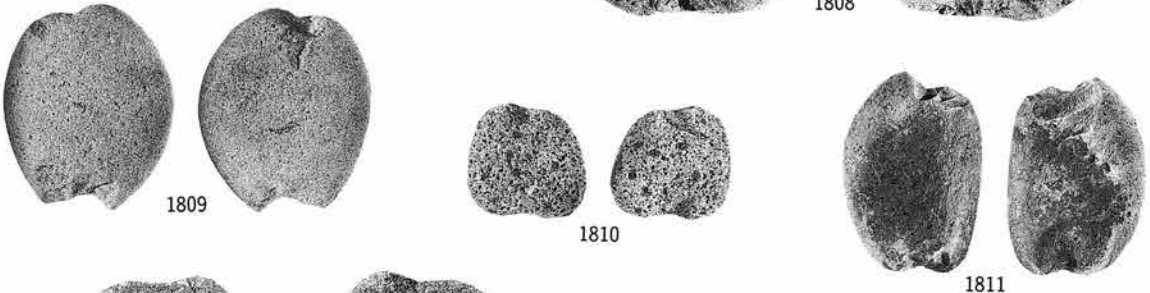
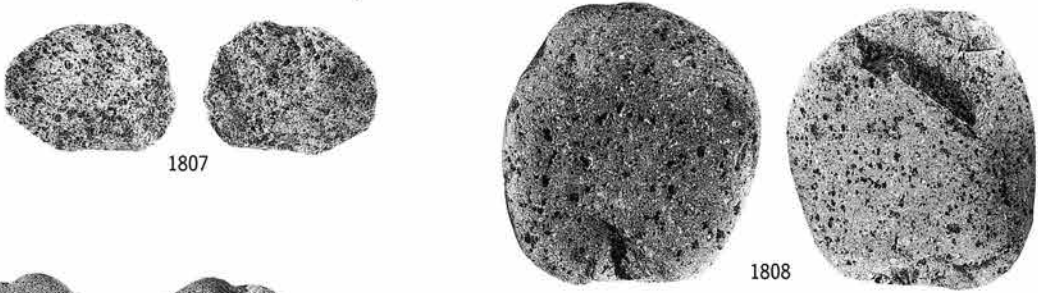
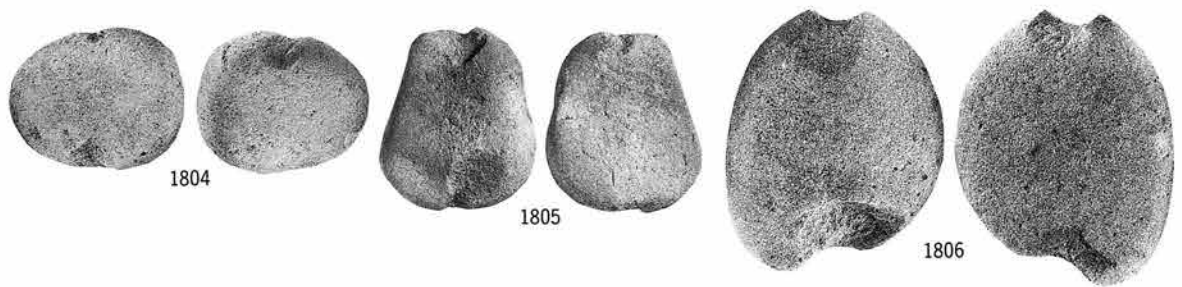


S = 1/3



S=1/3

写真図版149 石器(26)



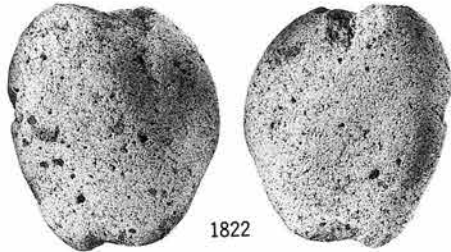
S=1/3



1820



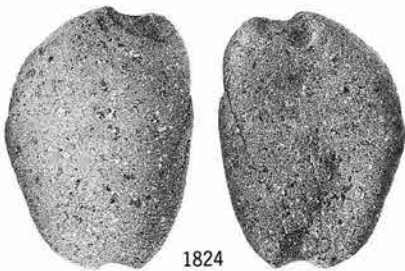
1821



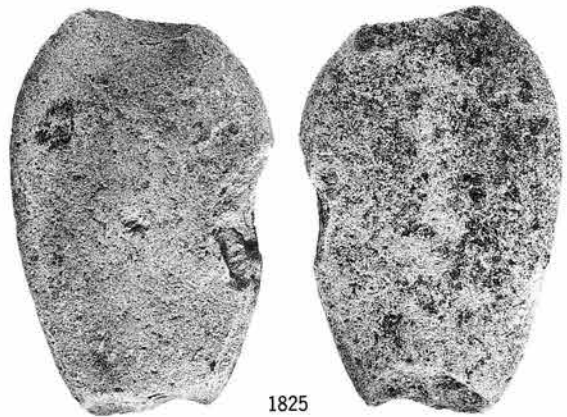
1822



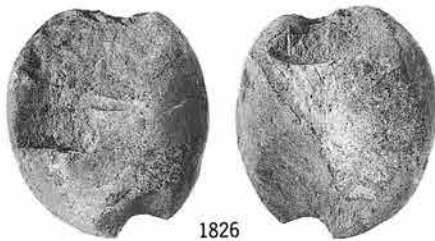
1823



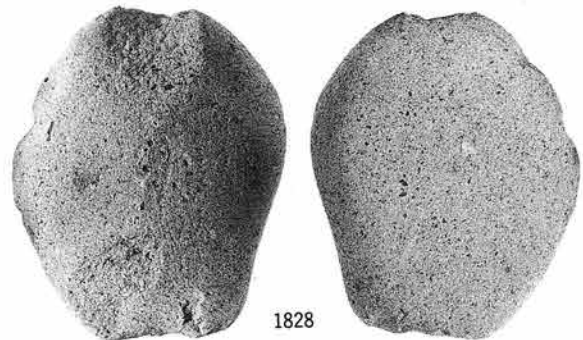
1824



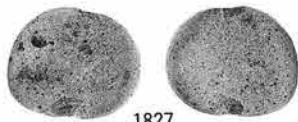
1825



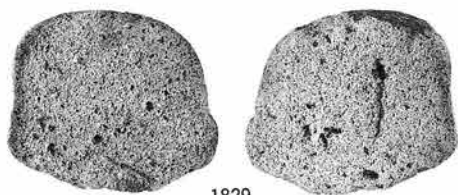
1826



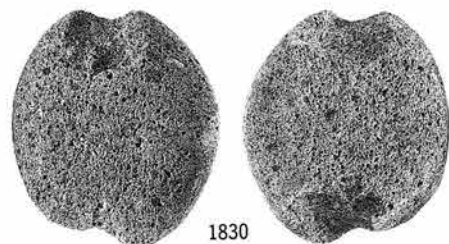
1828



1827



1829

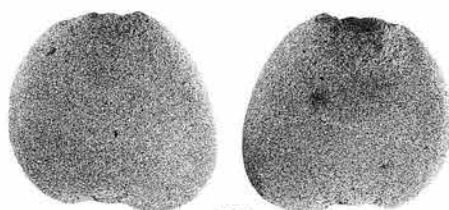


1830

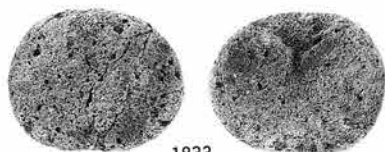
S=1/3



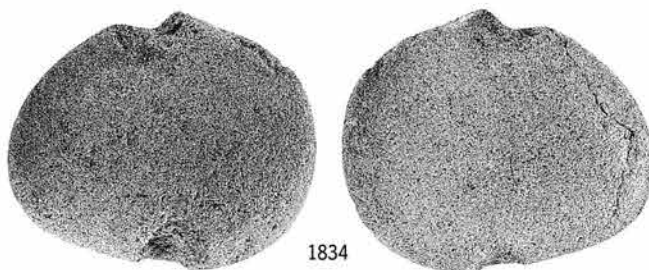
1831



1832



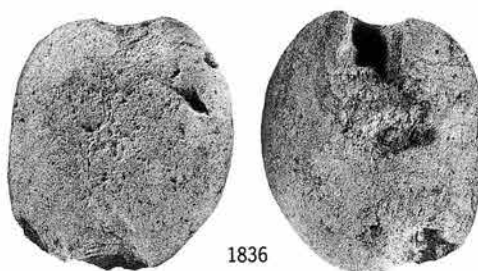
1833



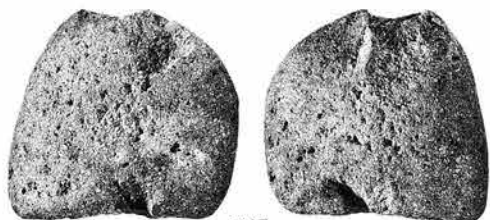
1834



1835



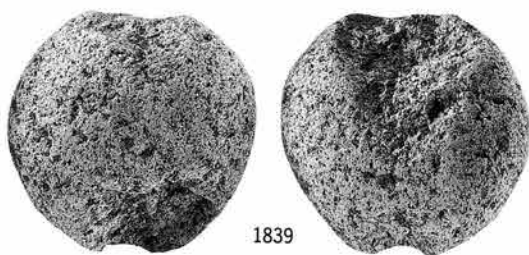
1836



1837



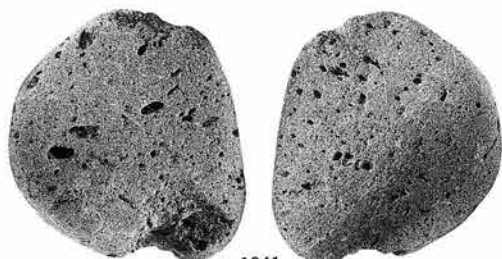
1838



1839



1840

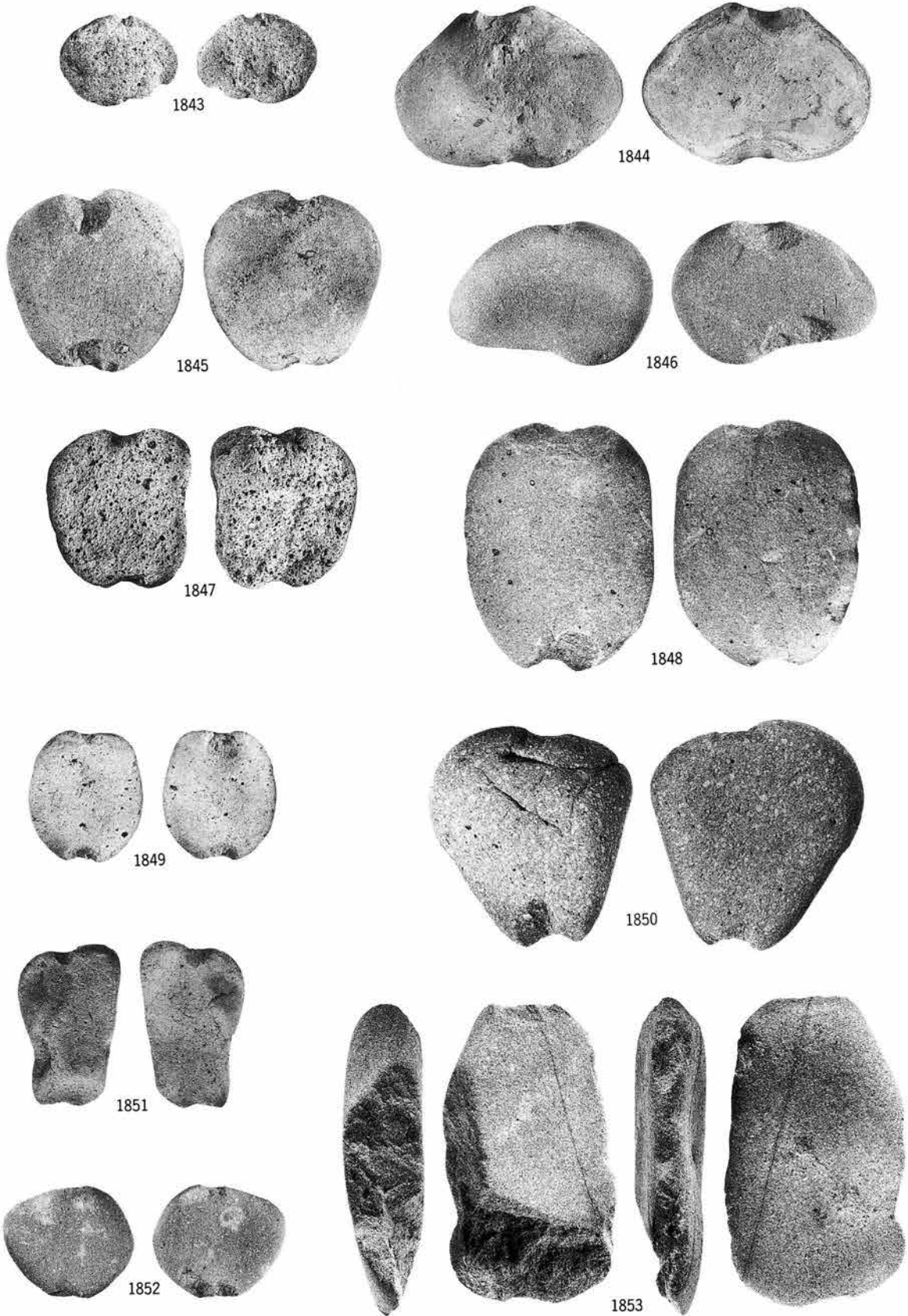


1841



1842

S=1/3



S=1/3



1854



1855



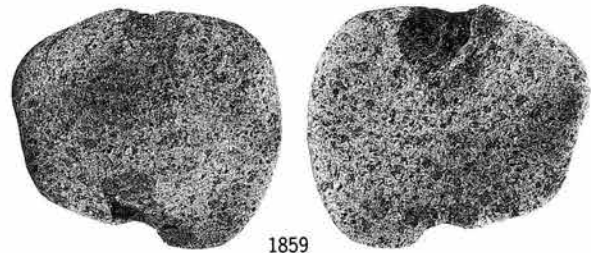
1856



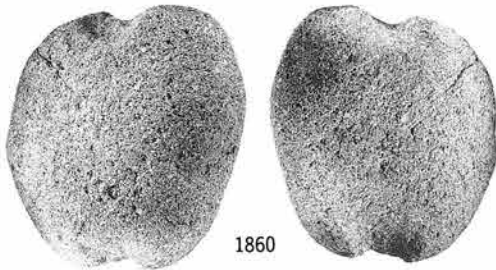
1857



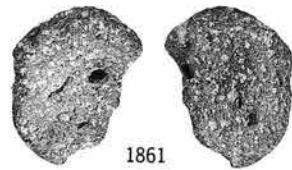
1858



1859



1860



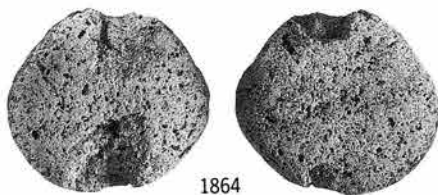
1861



1862



1863

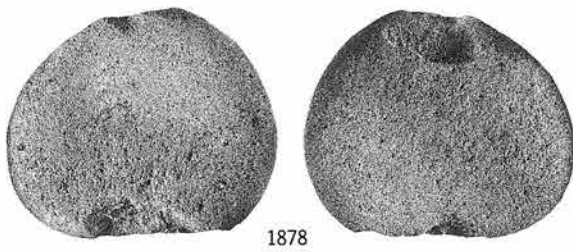
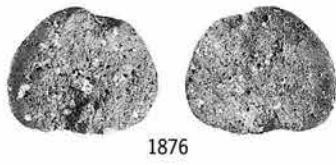
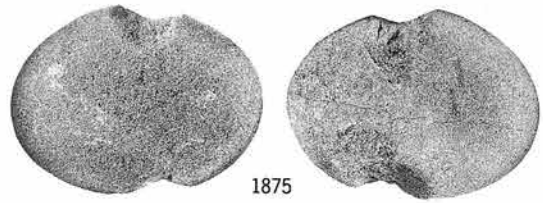
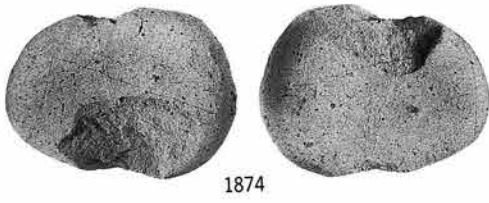
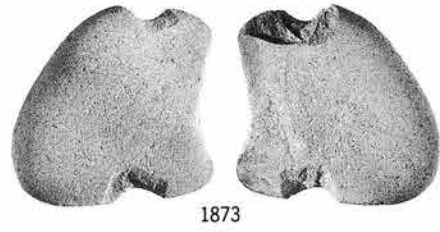
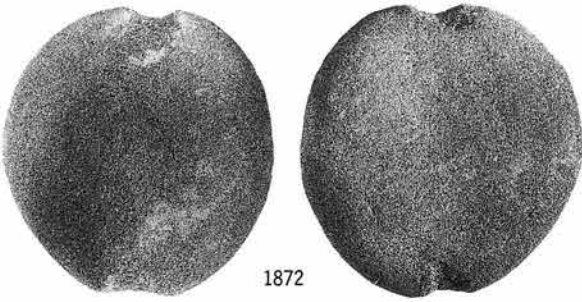
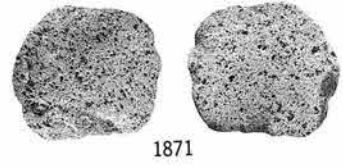
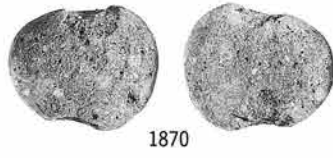
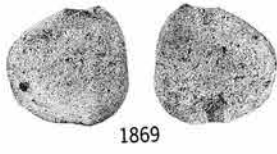
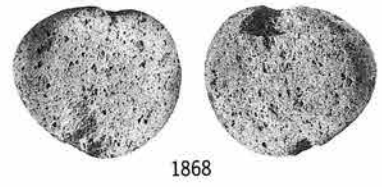
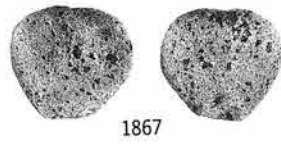
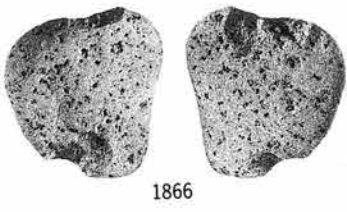


1864

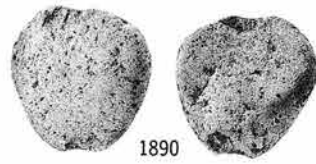
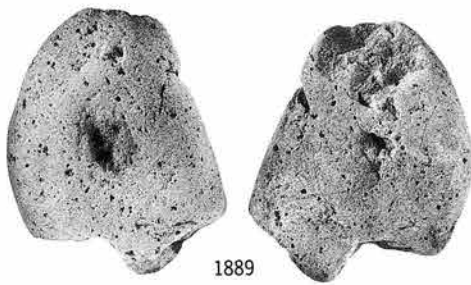
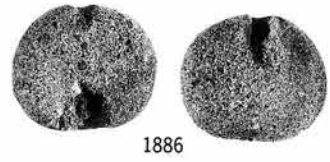
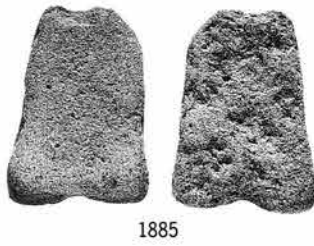
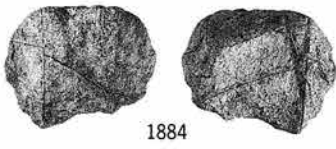
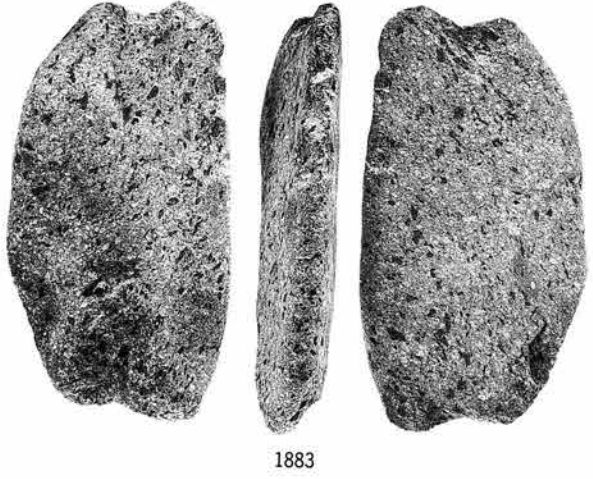
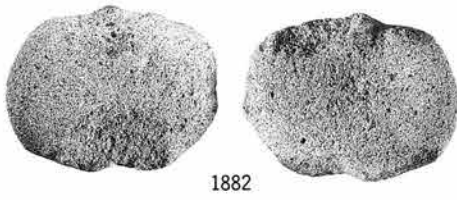
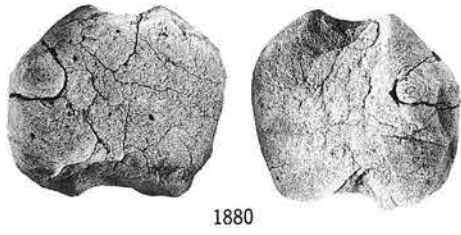


1865

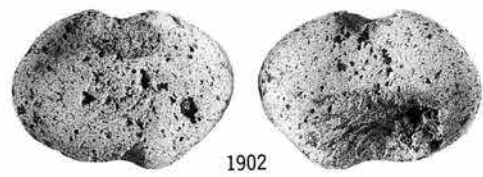
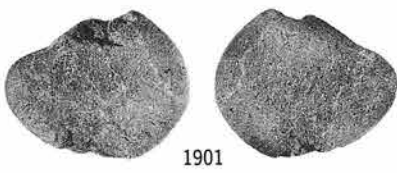
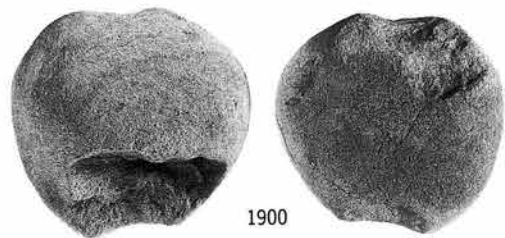
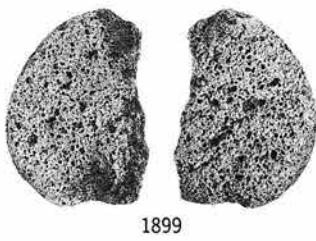
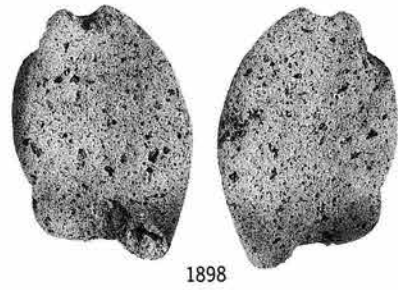
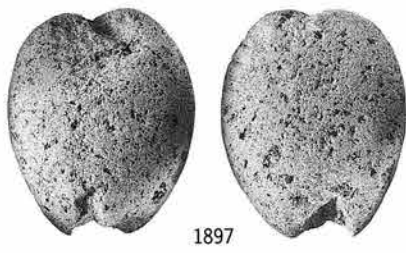
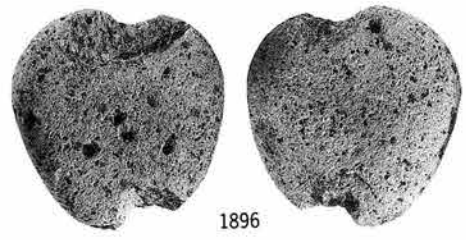
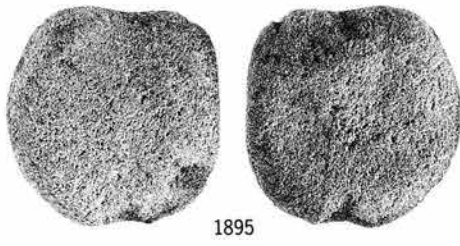
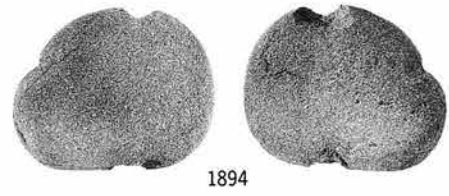
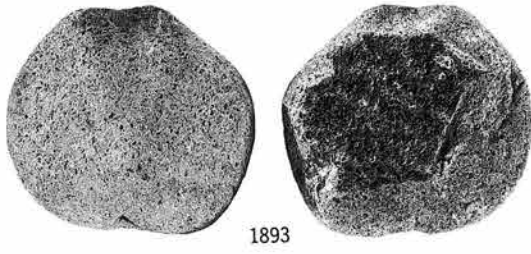
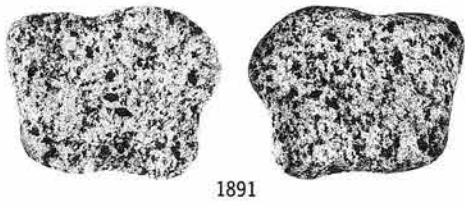
S=1/3



S=1/3



S = 1/3



S=1/3



1903



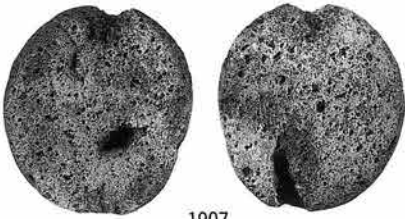
1904



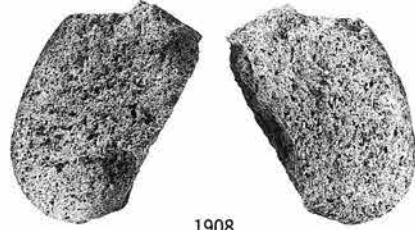
1905



1906



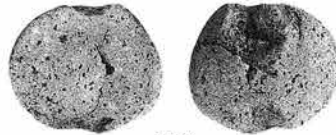
1907



1908



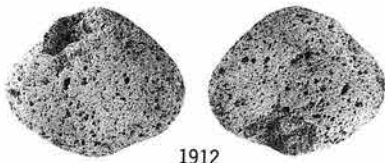
1909



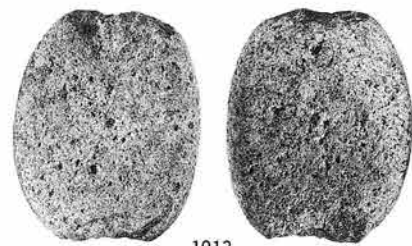
1910



1911



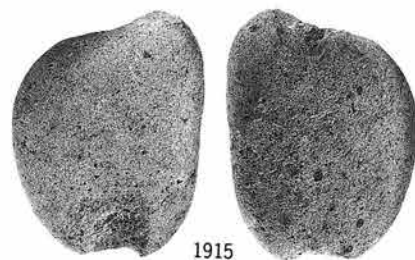
1912



1913



1914



1915

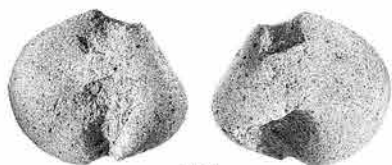
S=1/3



1916



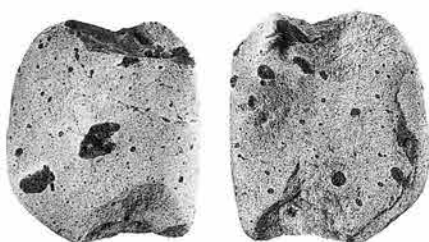
1917



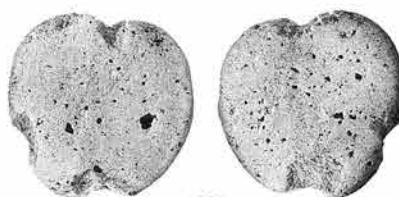
1918



1919



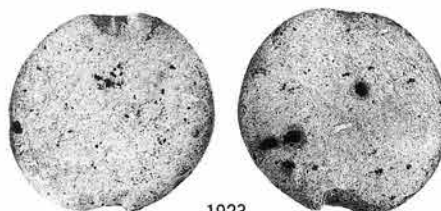
1920



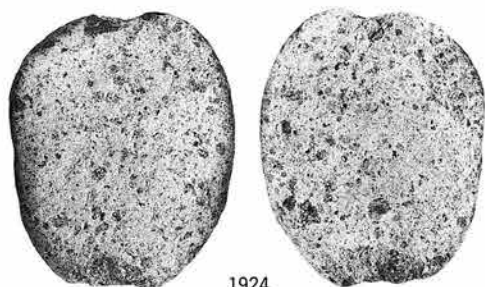
1921



1922



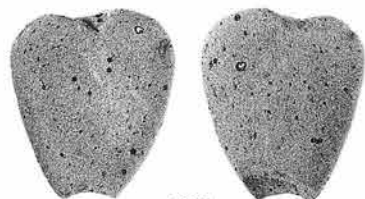
1923



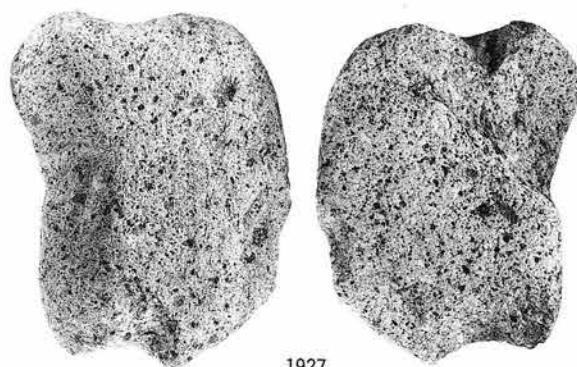
1924



1925

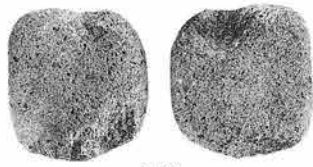


1926

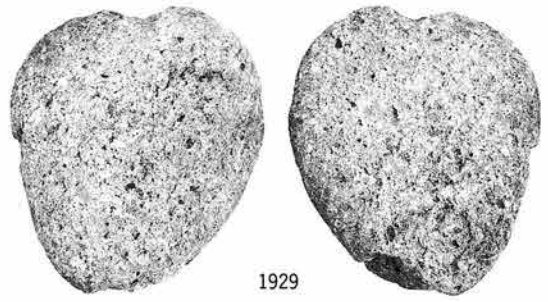


1927

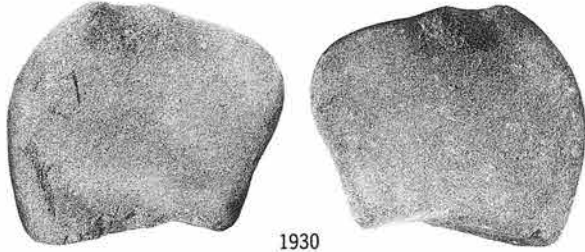
S=1/3



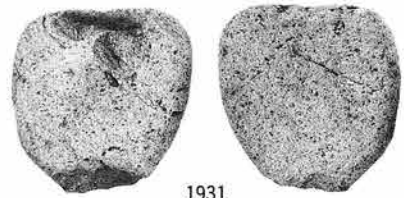
1928



1929



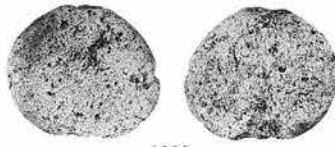
1930



1931



1932



1933



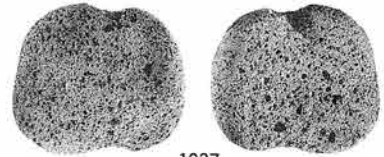
1934



1935



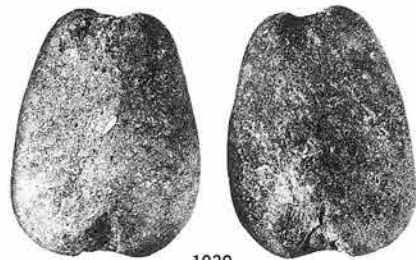
1936



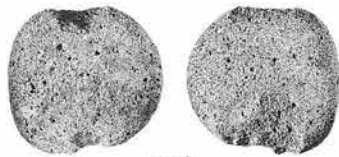
1937



1938



1939

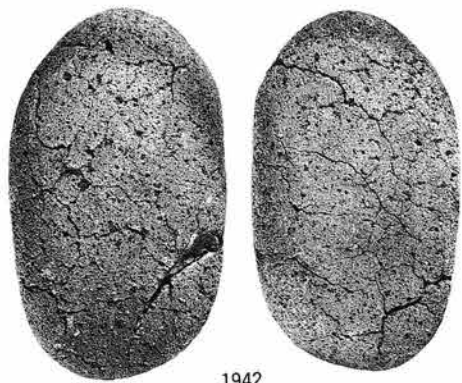


1940



1941

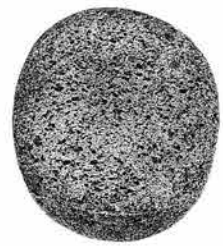
S = 1/3



1942



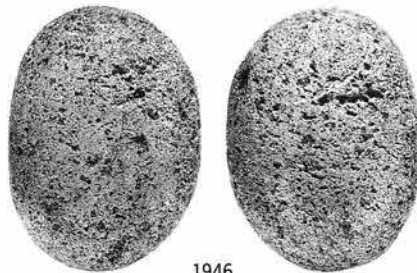
1943



1944



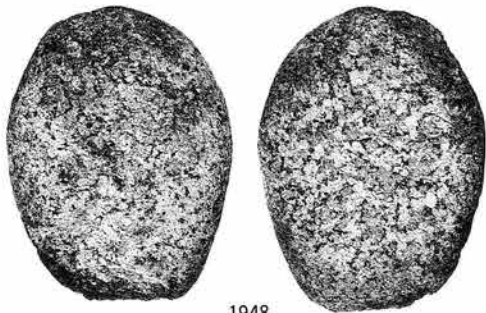
1945



1946



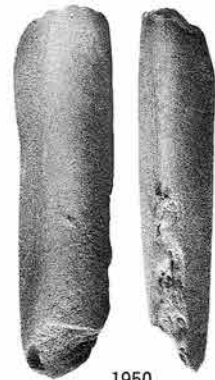
1947



1948



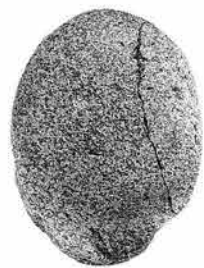
1949



1950



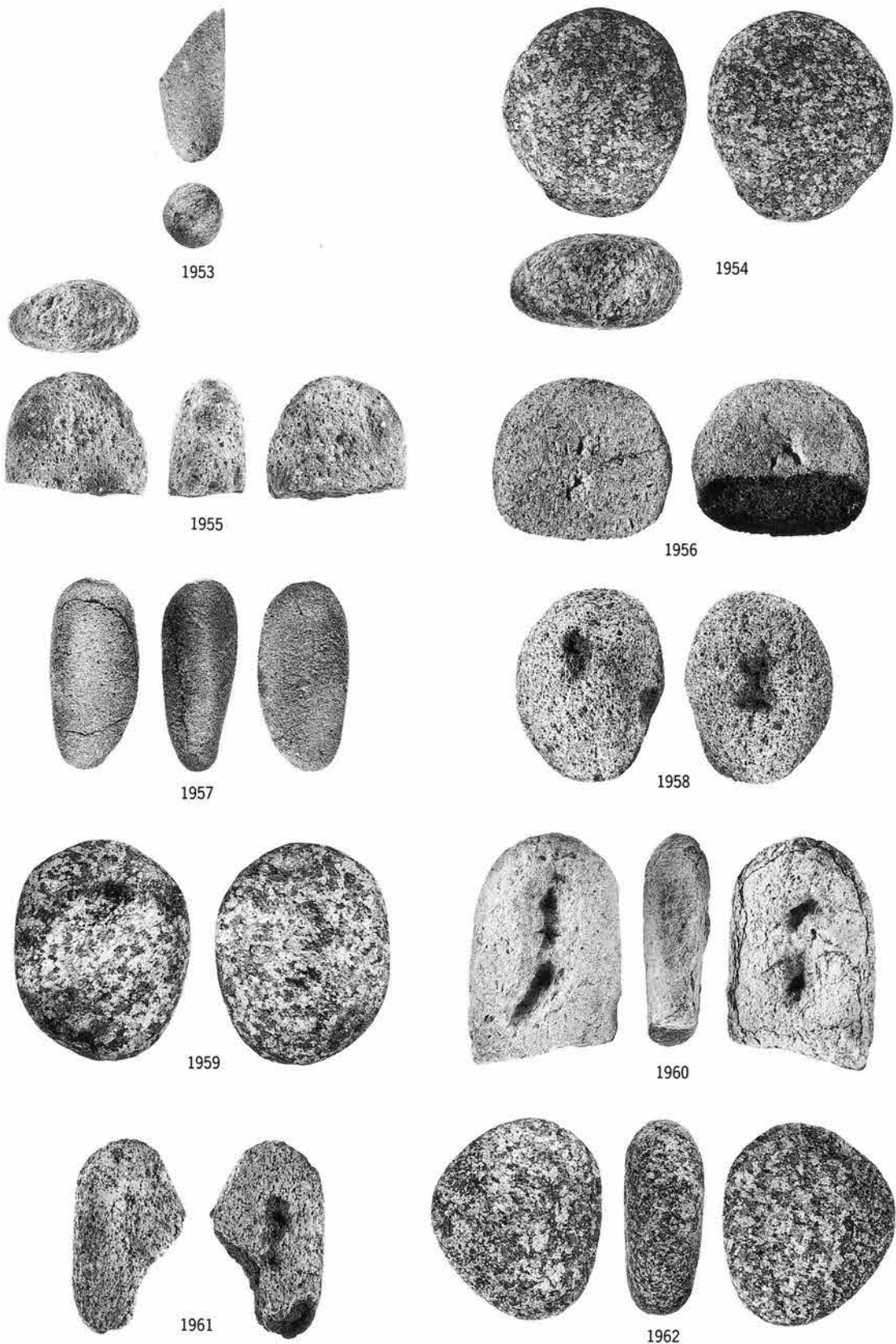
1951



1952



S=1/3



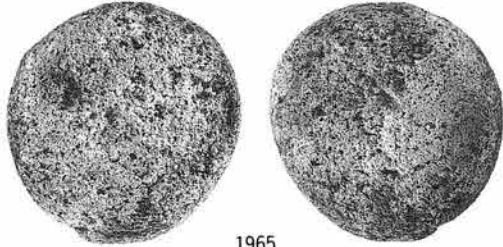
S=1/3



1963



1964



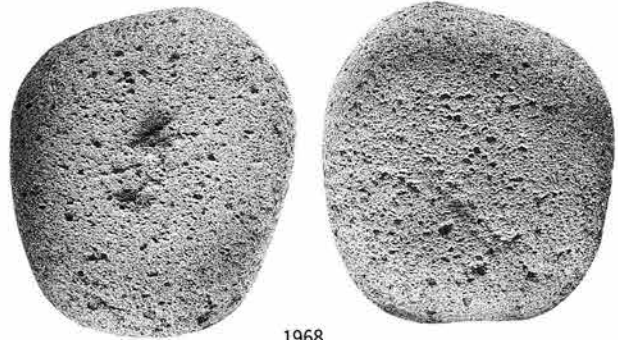
1965



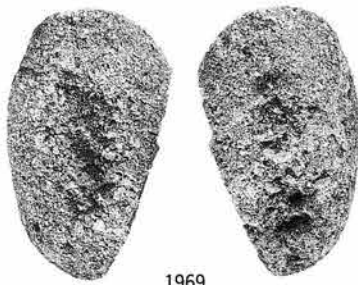
1966



1967



1968



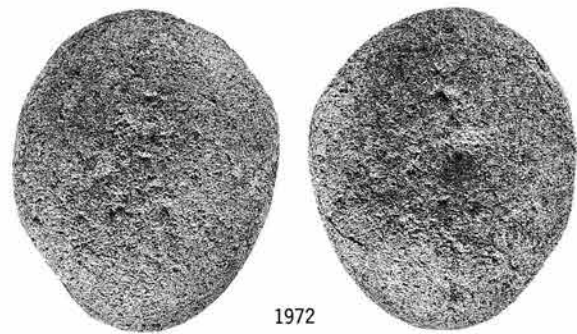
1969



1970

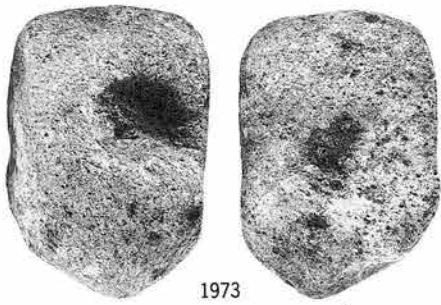


1971



1972

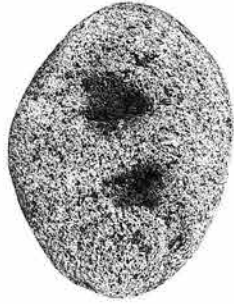
S=1/3



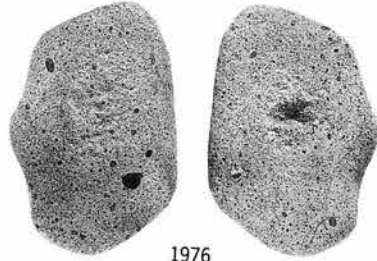
1973



1974



1975



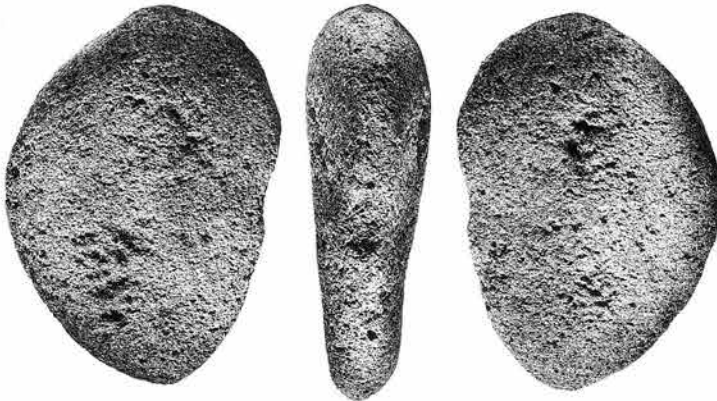
1976



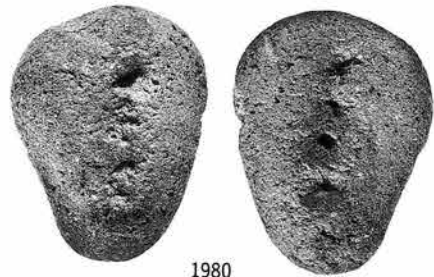
1977



1978



1979



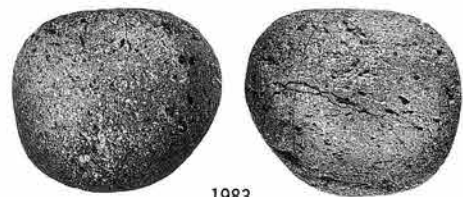
1980



1981



1982



1983

S=1/3



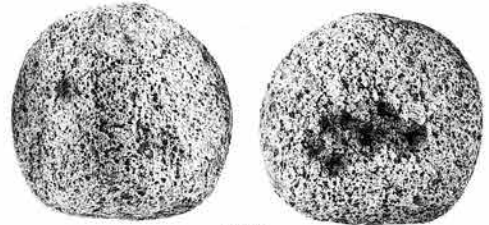
1984



1985



1986



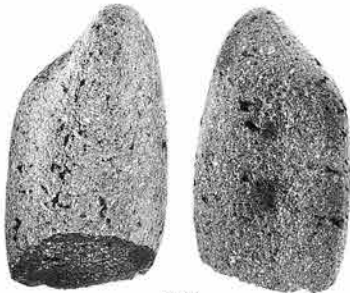
1987



1988



1989



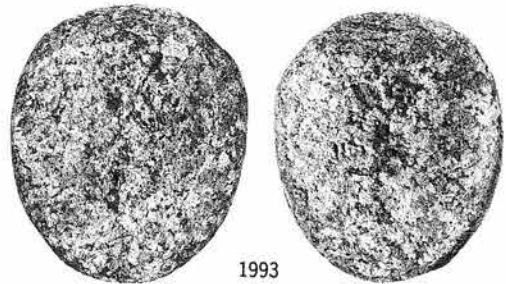
1990



1991

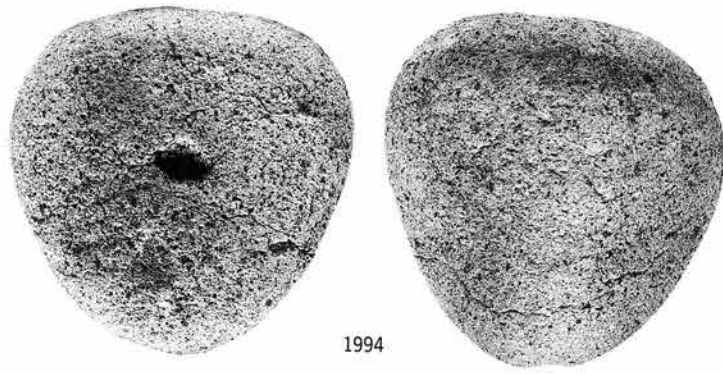


1992



1993

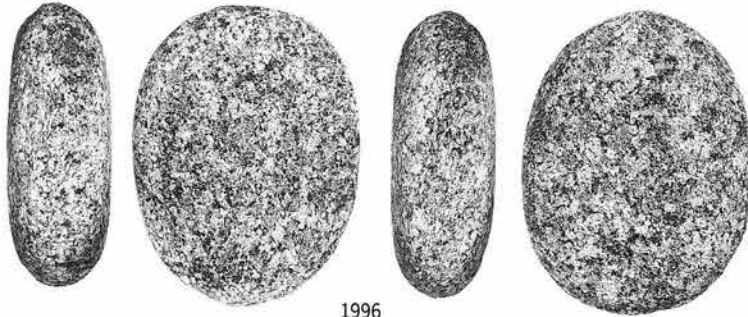
S = 1/3



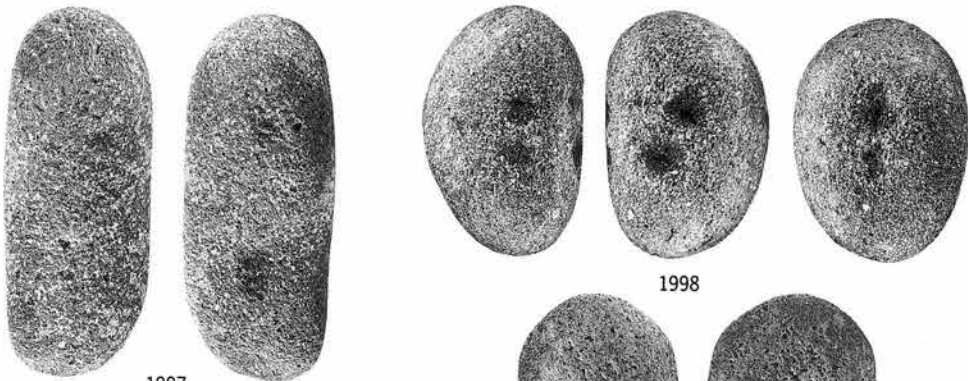
1994



1995



1996



1997

1998

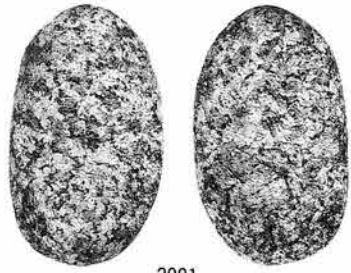


1999

S=1/3



2000



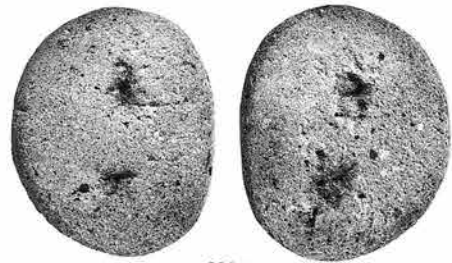
2001



2003



2002



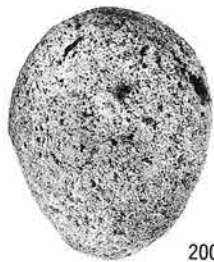
2004



2005



2006



2007



2008

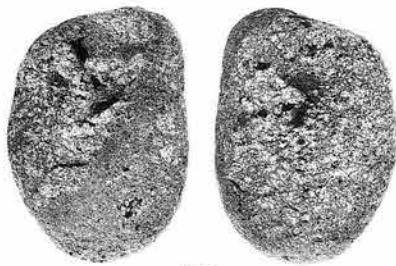
S = 1/3



2009



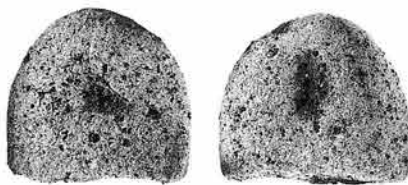
2010



2011



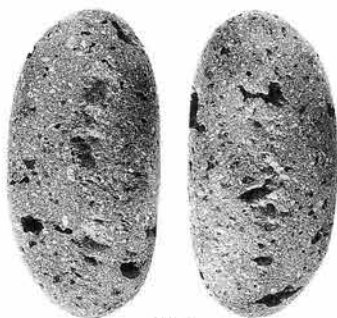
2012



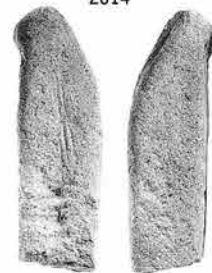
2013



2014



2015



2016



2017

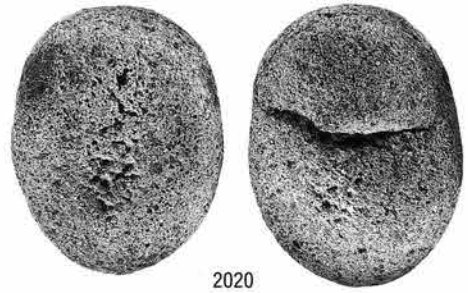


2018

S=1/3



2019



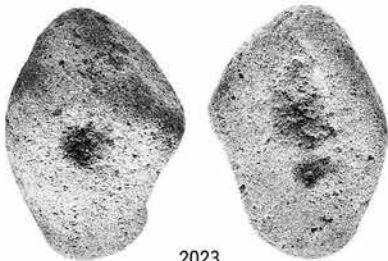
2020



2021



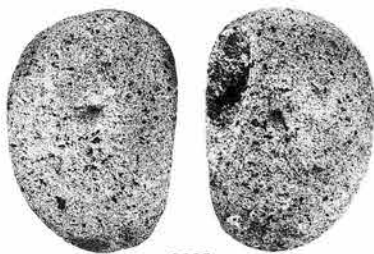
2022



2023



2024



2025



2026

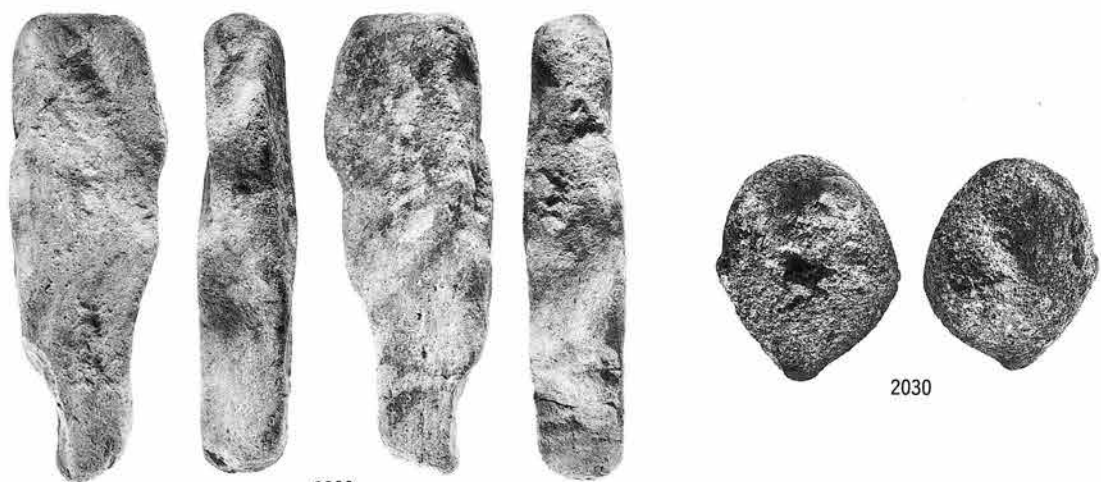


2027



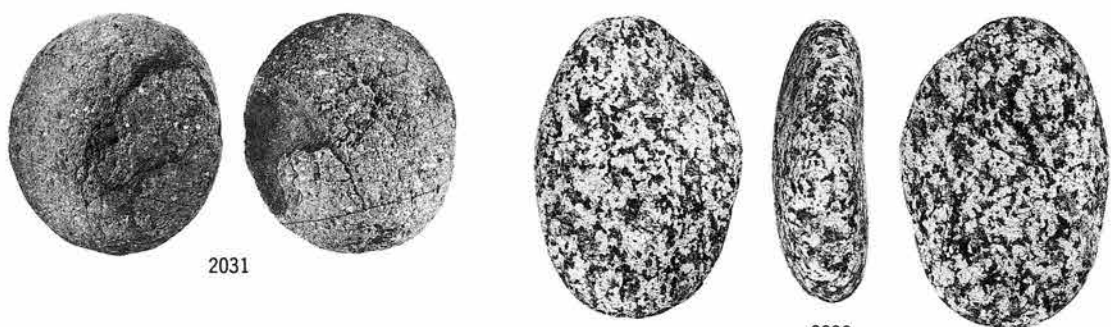
2028

S = 1/3



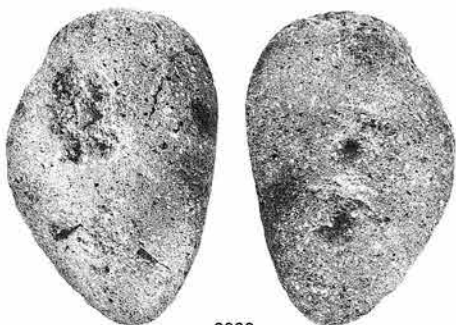
2029

2030



2031

2032



2033



2034



2035



2036

S = 1/3



2037



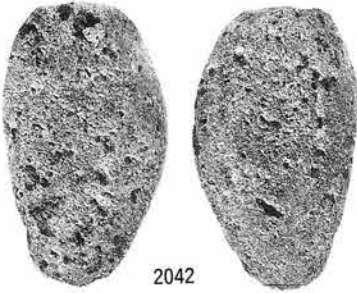
2038



2039



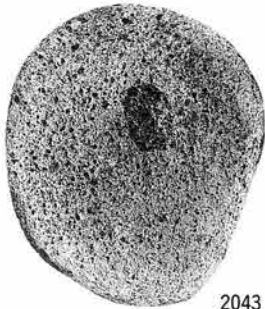
2040



2042



2041



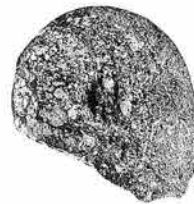
2043



2044



2045



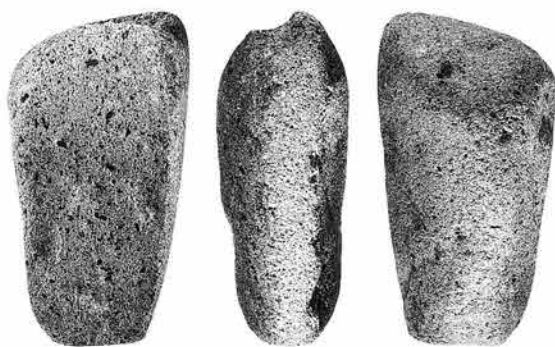
2046



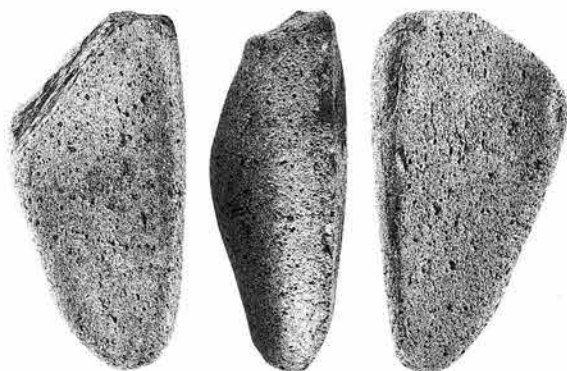
S = 1/3



2047



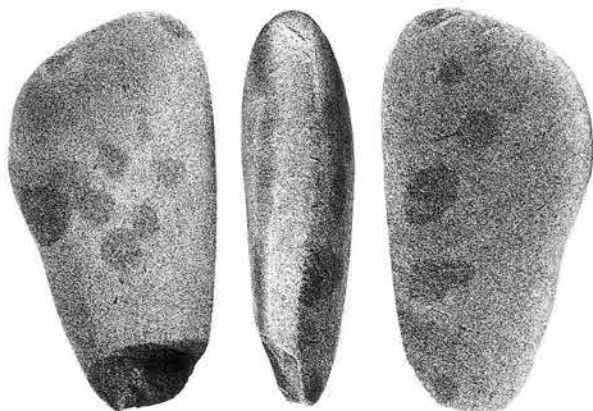
2048



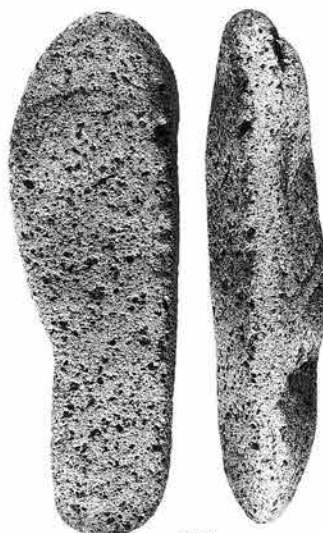
2049



2050



2051



2052



2053

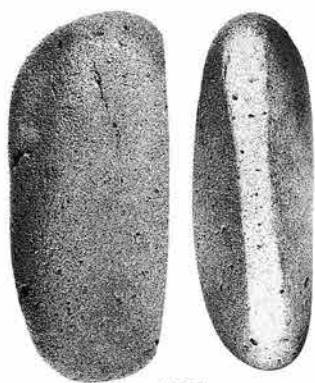
S=1/3



2054



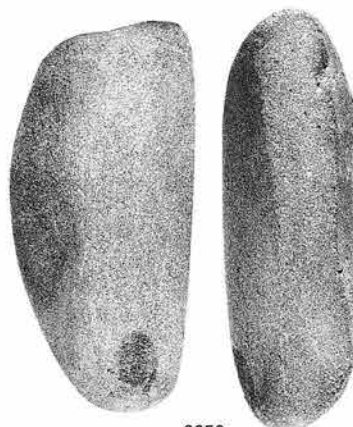
2055



2056



2057



2058



2059



2060

S=1/3



2061



2062



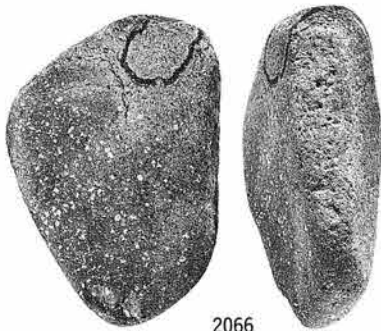
2063



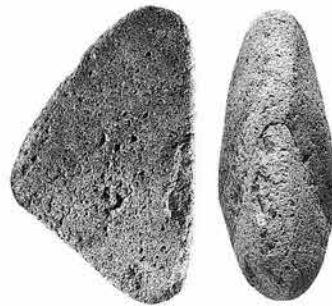
2064



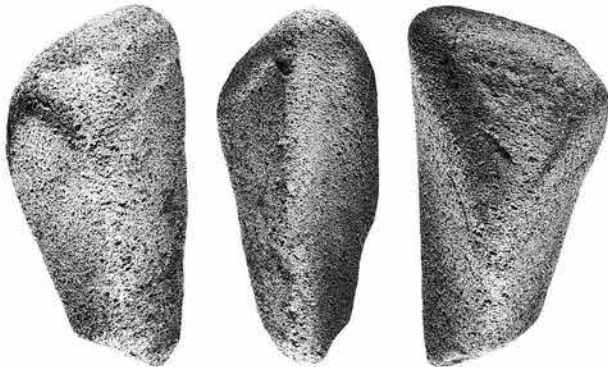
2065



2066



2067



2068



2069

S=1/3



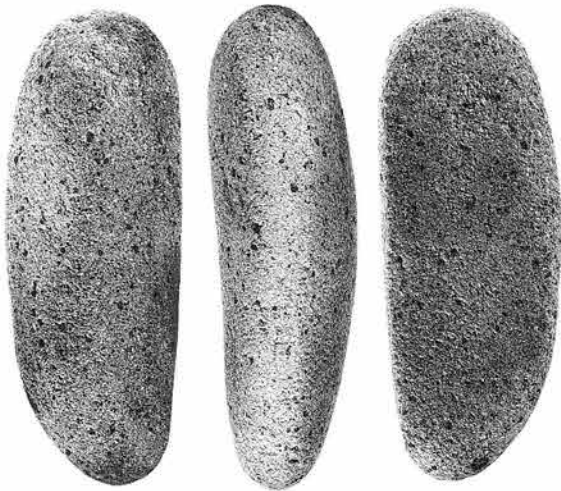
2070



2071



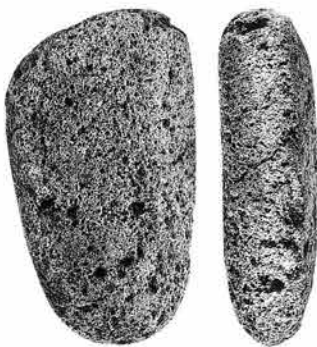
2073



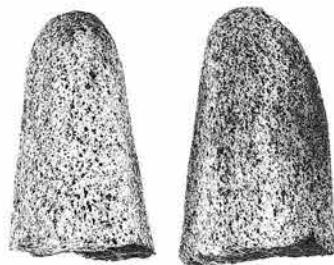
2072



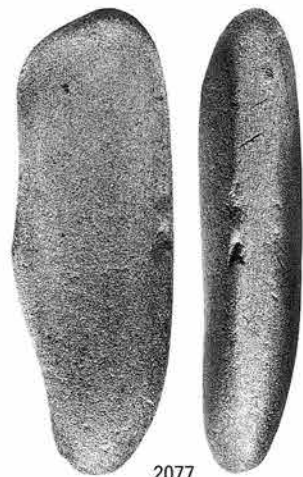
2074



2075

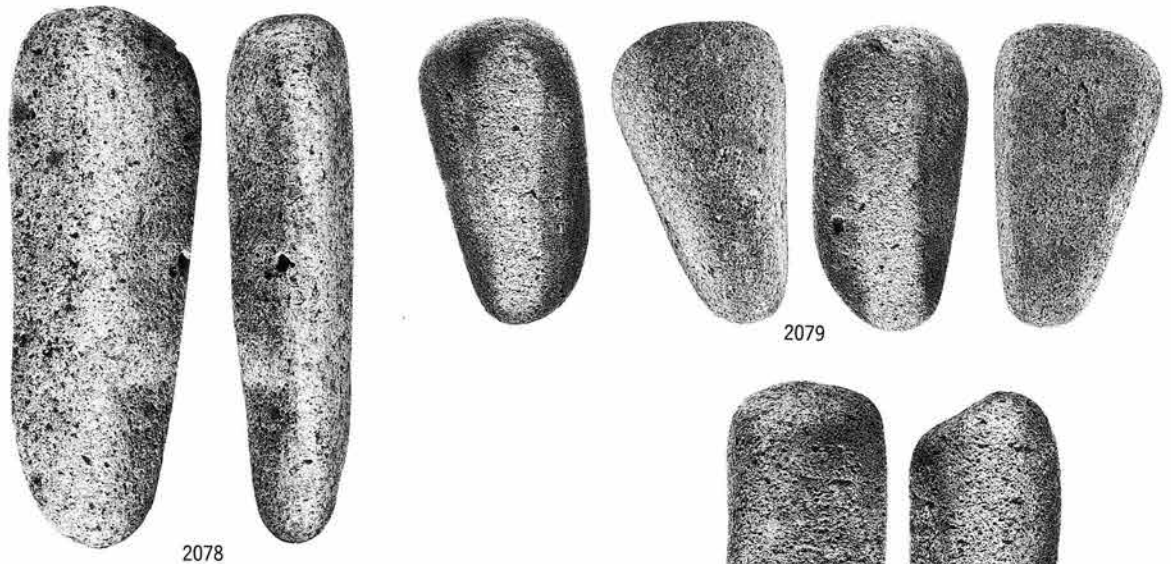


2076



2077

S=1/3

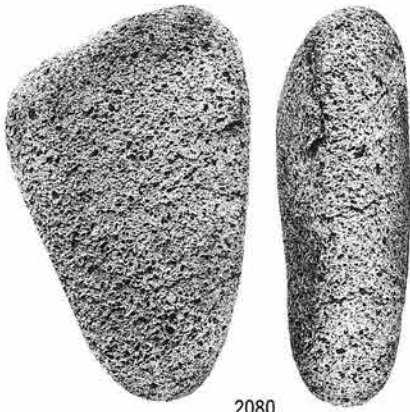


2078

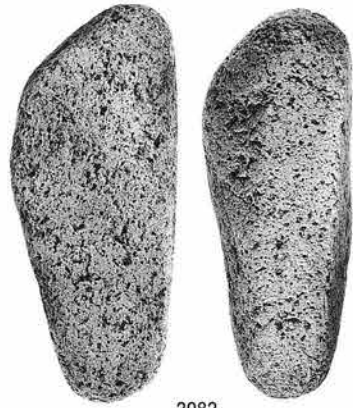
2079



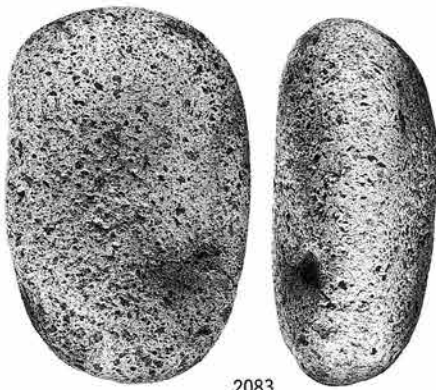
2081



2080



2082

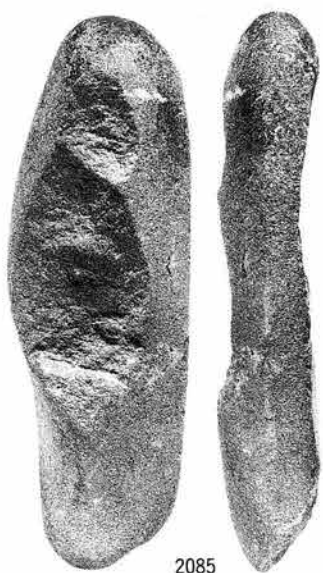


2083

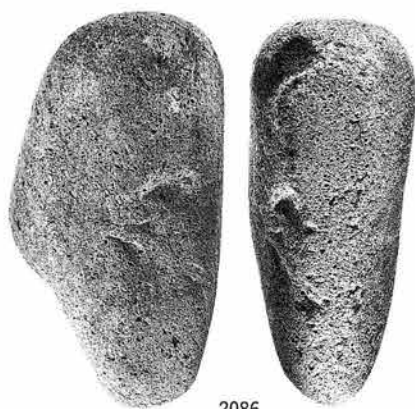


2084

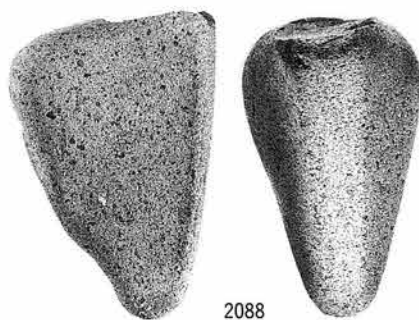
S=1/3



2085



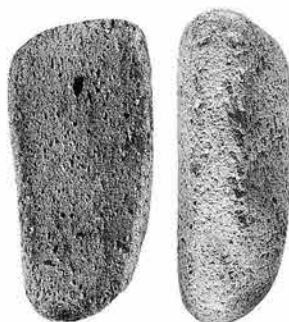
2086



2088



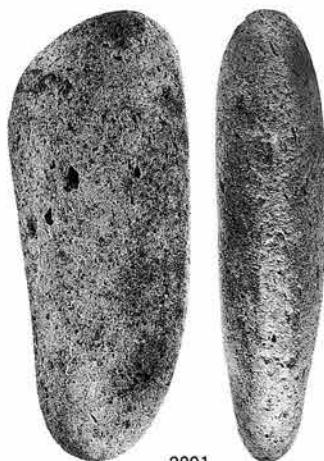
2087



2089

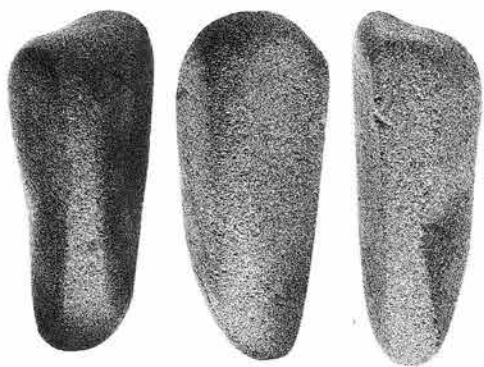


2090

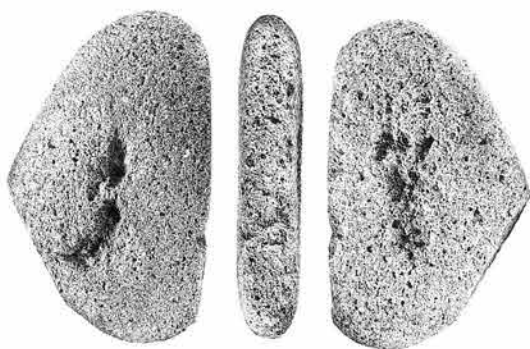


2091

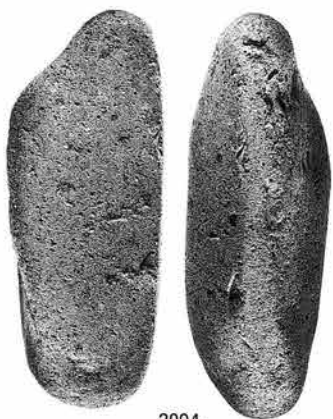
S=1/3



2092



2093



2094



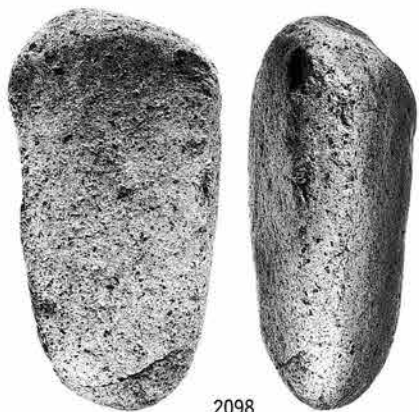
2095



2096



2097



2098

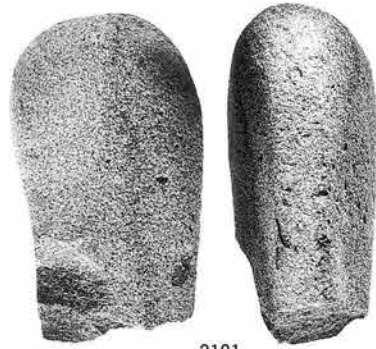


2099

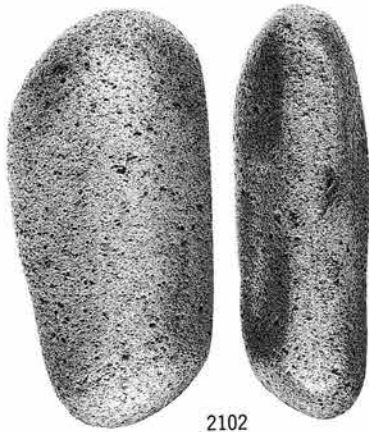
S=1/3



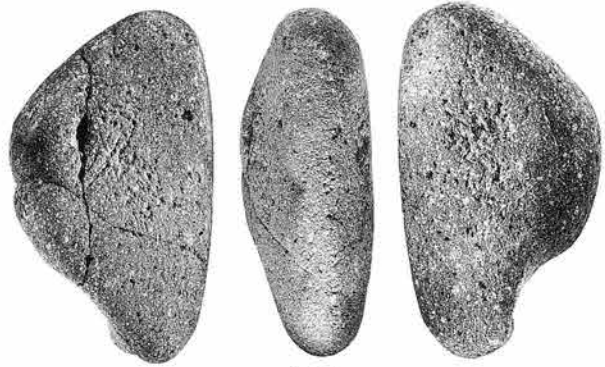
2100



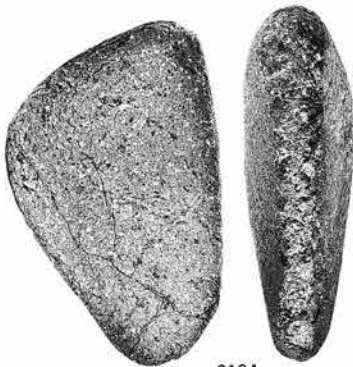
2101



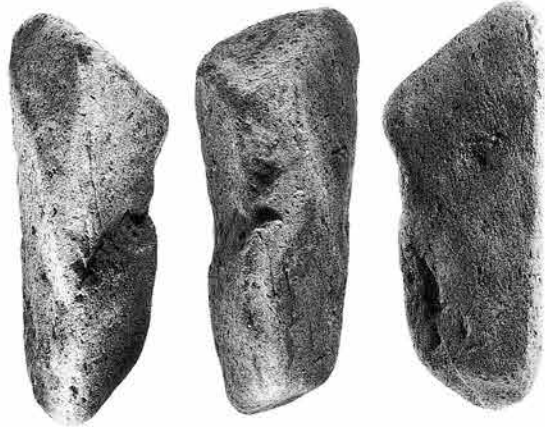
2102



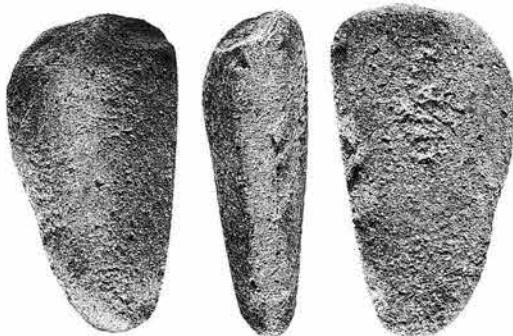
2103



2104



2105

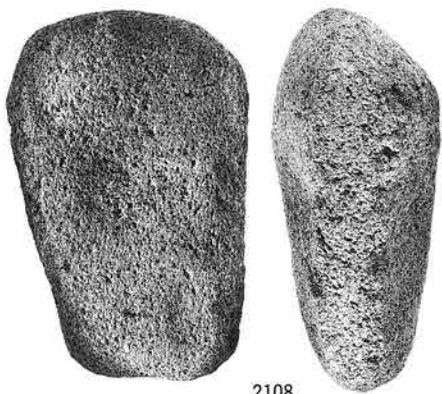


2106

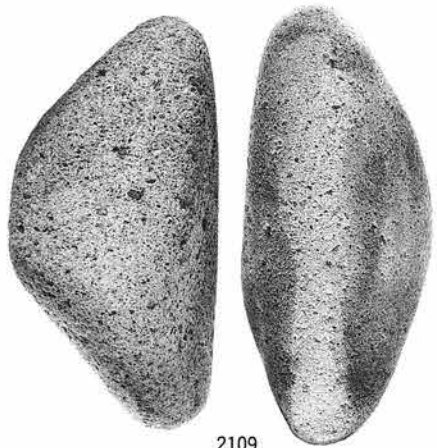


2107

S=1/3



2108



2109



2110



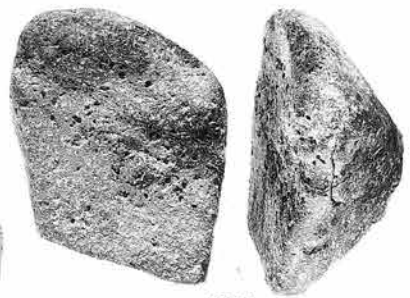
2111



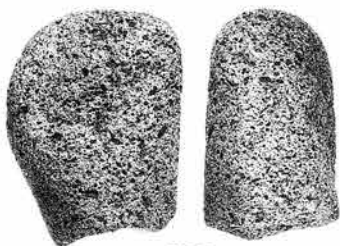
2112



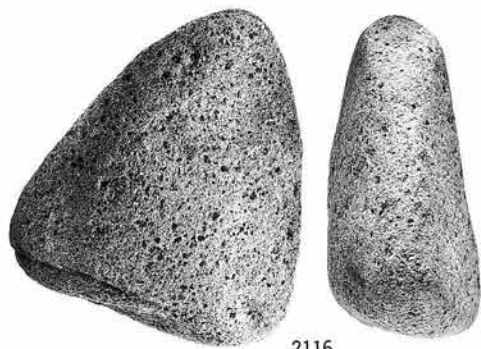
2113



2114

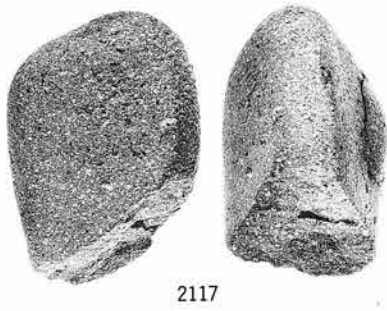


2115

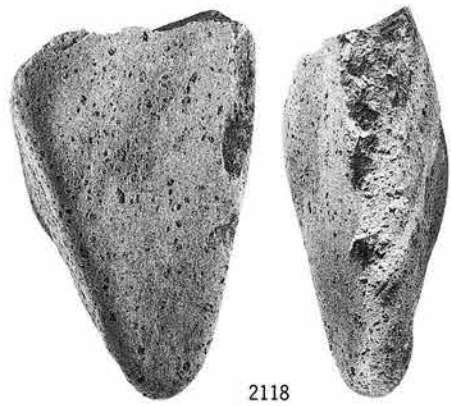


2116

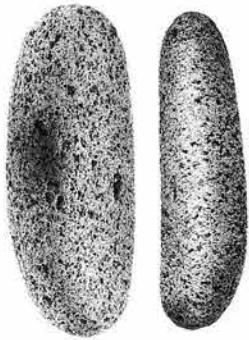
S = 1/3



2117



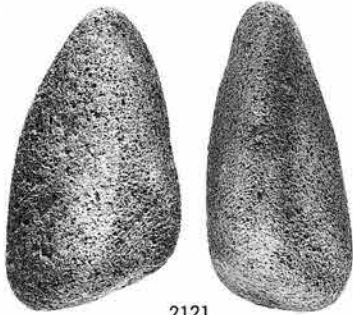
2118



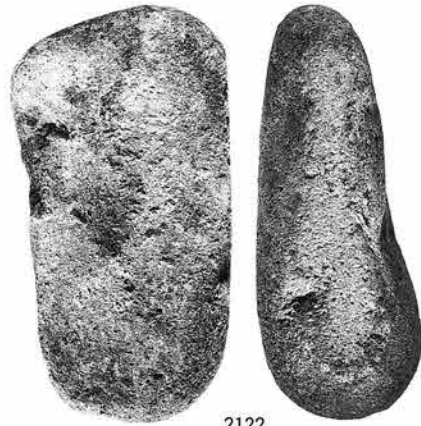
2119



2120



2121



2122



2123



2124

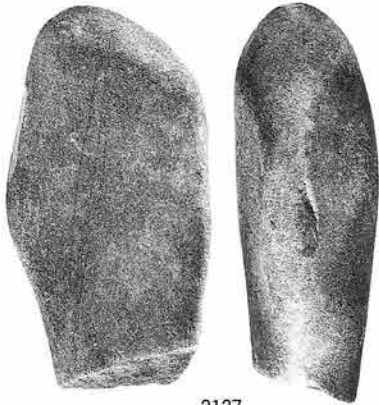
S=1/3



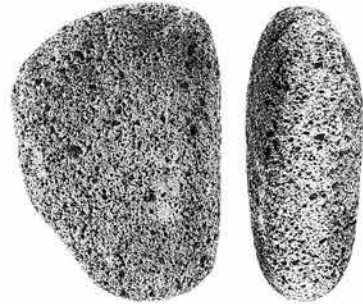
2125



2126



2127



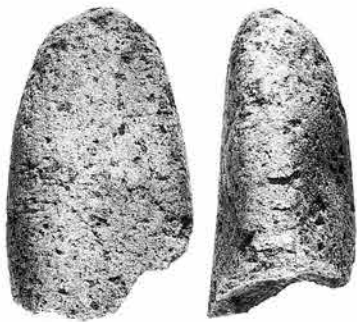
2128



2129

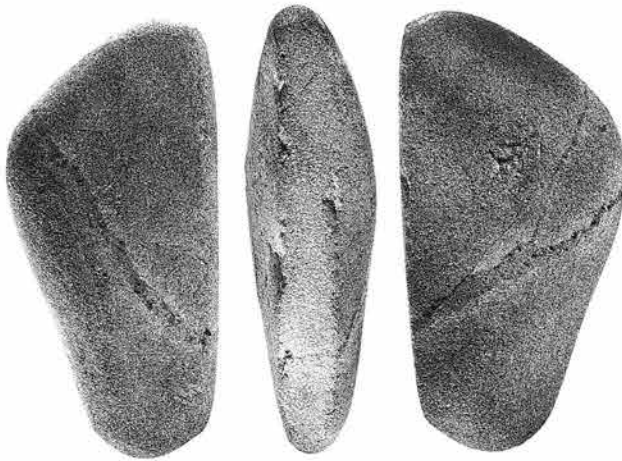


2131



2130

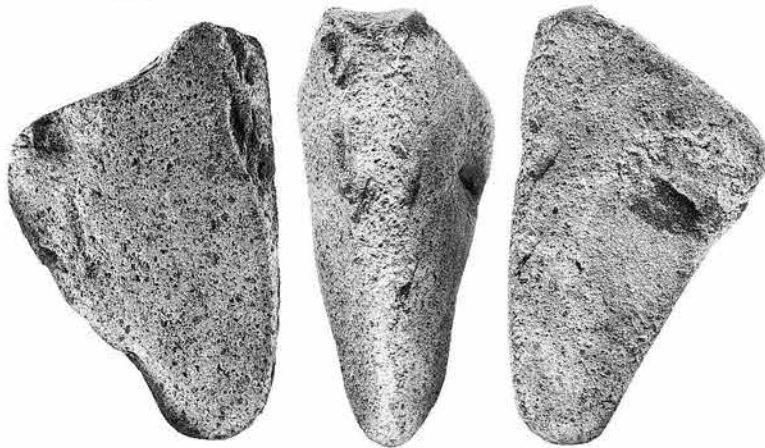
S = 1/3



2132



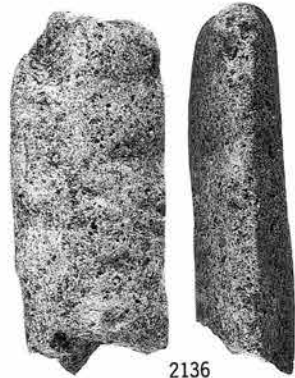
2133



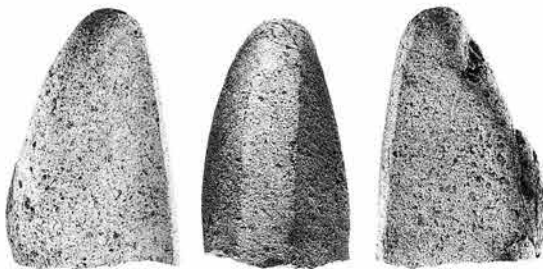
2134



2135



2136



2137



2138

S=1/3



2139



2140



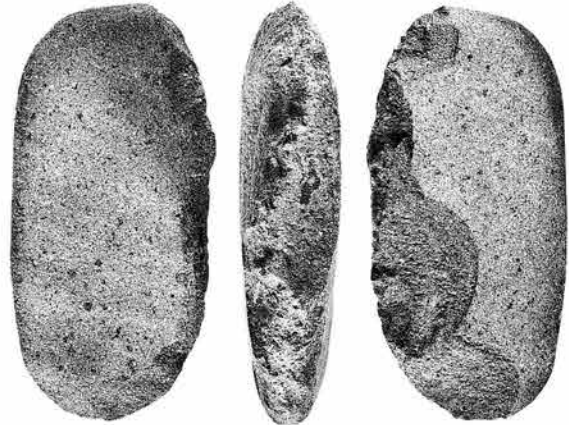
2141



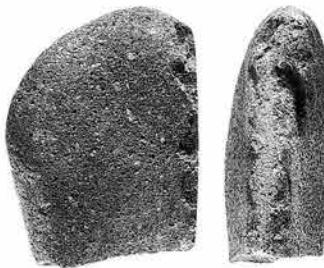
2142



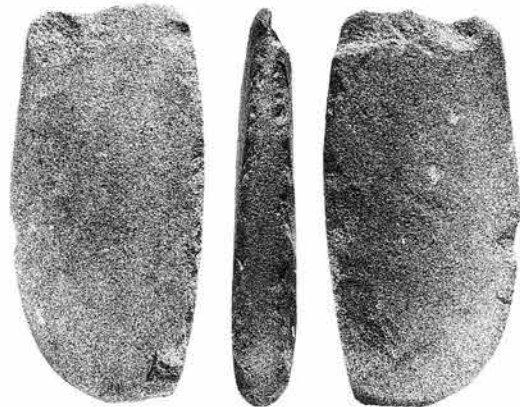
2143



2144

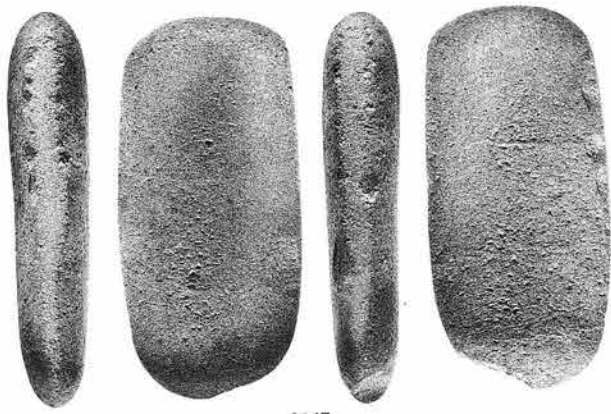


2145

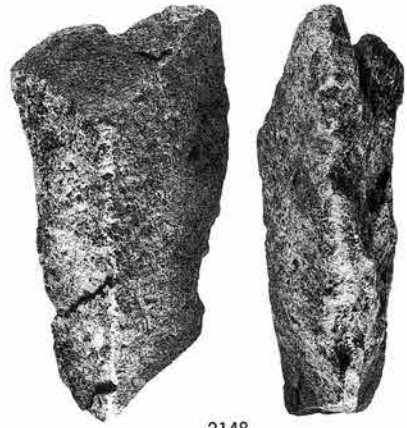


2146

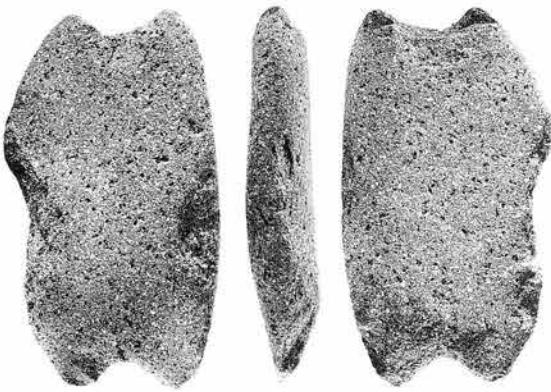
S=1/3



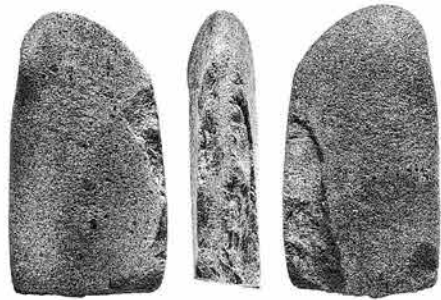
2147



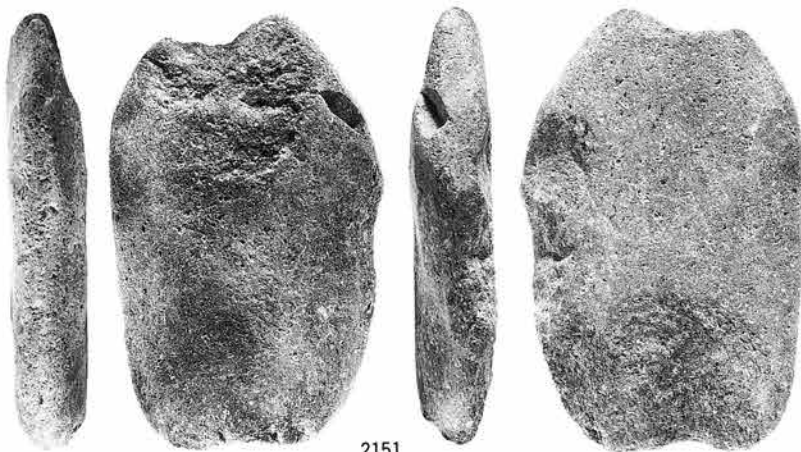
2148



2149

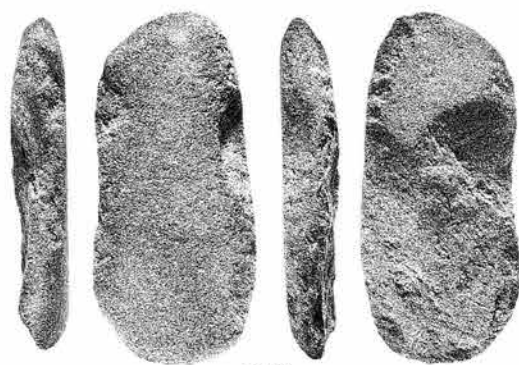


2150

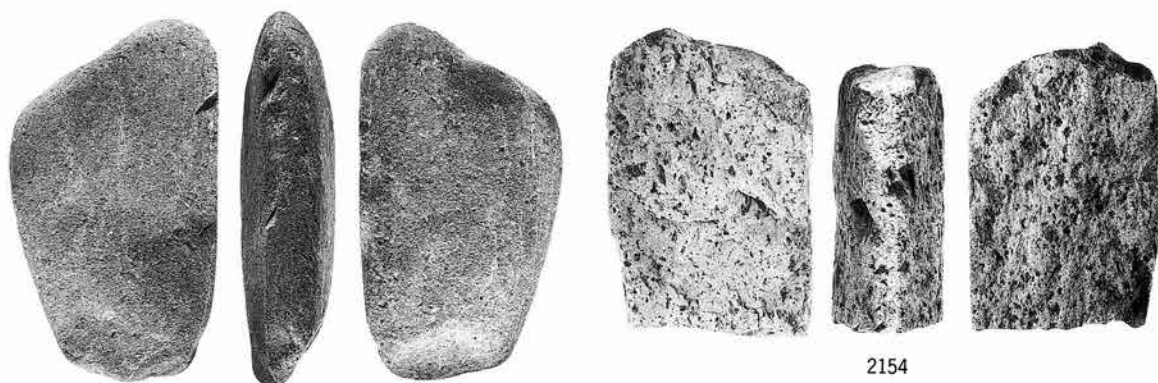


2151

S=1/3



2152

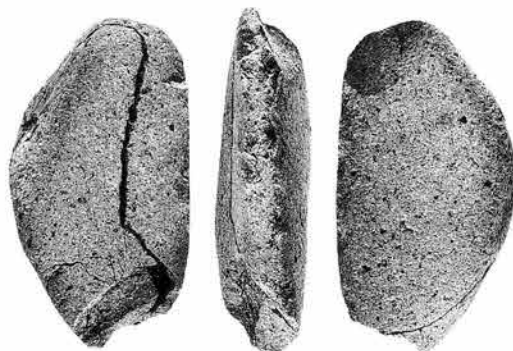


2153

2154



2155

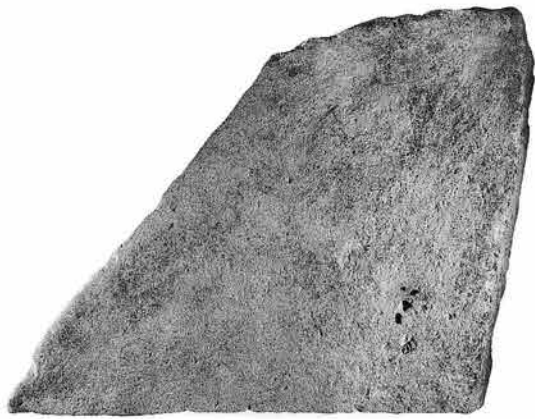


2156



2157

S=1/3



2158



2159

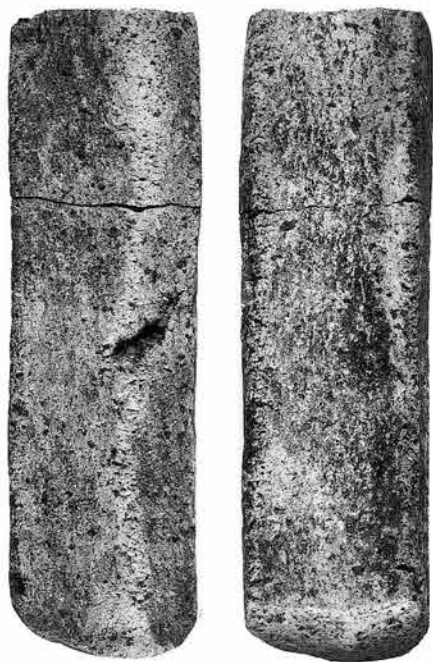


2160



2161

S = 1/4



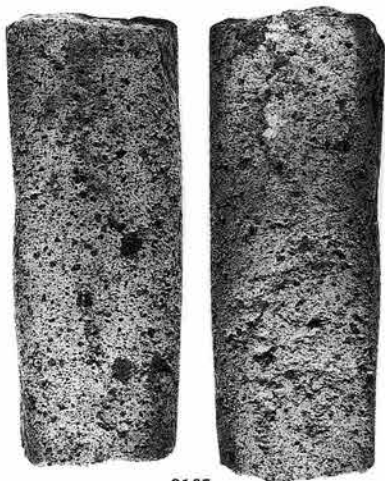
2162



2163



2164



2165

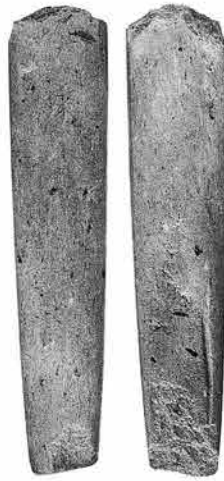


2166

S=1/4



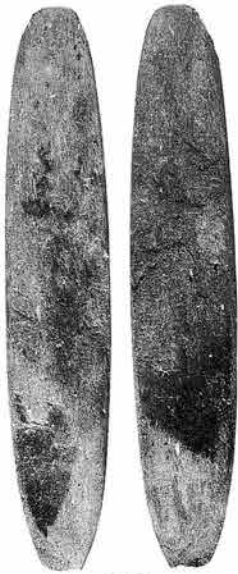
2167



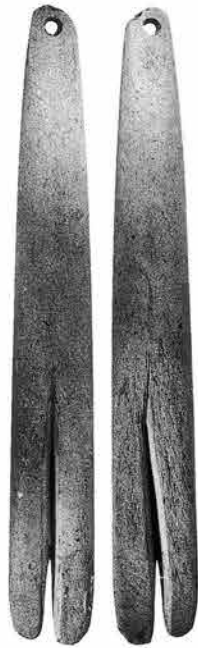
2168



2169



2170



2171



2172

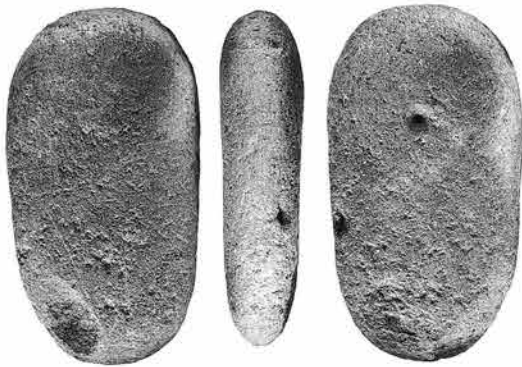


2173

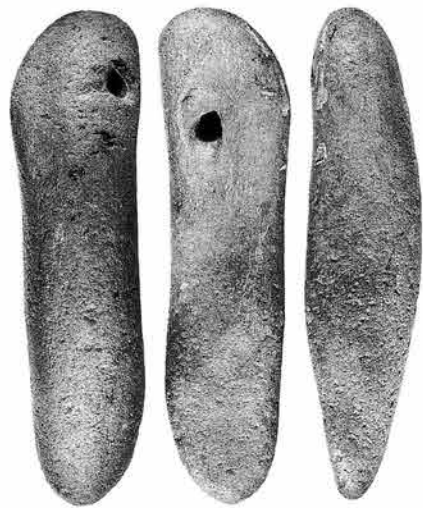
S = 1/2 (2167~2173)



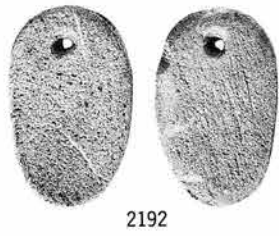
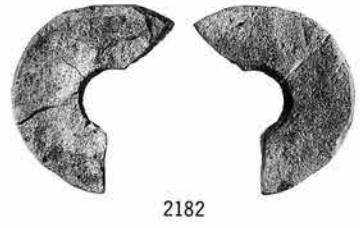
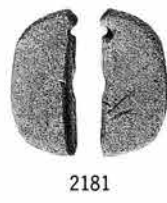
線刻部分拡大(原寸)



2174 (S = 1/4)



2175 (S = 1/3)



S=1/2



2198



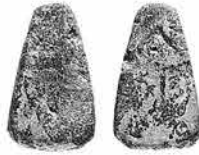
2199



2200



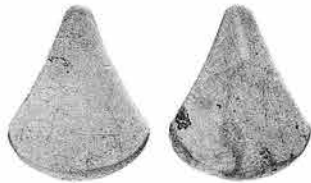
2201



2202



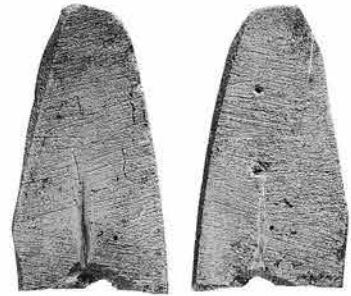
2203



2204



2205



2206



2207



2208



2209



2210



2211



2212



2213

S=1/2

報告書抄録

ふりがな	とうげやまぼくじょういちいせきびいちくはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	峠山牧場 I 遺跡 B 地区発掘調査報告書							
副書名	東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第320集							
編著者名	阿部勝則							
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL 019-638-9001・9002							
発行年月日	西暦 2000年3月24日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
とうげやまぼくじょう 峠山牧場 いちいせきびいち I 遺跡 B 地区	いわてけんわがぐん 岩手県和賀郡 ゆだちよう 湯田町第41地 割125-25ほか	03363	ME06 - 0106	39° 17' 51"	140° 50' 56"	19960603~ 19961022	6,120m ²	東北横断自動車道秋田線建設事業に伴う緊急発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
峠山牧場 I 遺跡 B 地区	集落跡	旧石器時代 縄文時代 前期 中期	旧石器時代 集中区 2カ所 縄文時代 竪穴住居跡 31棟 土坑類 50基 墓壇 1基 陥し穴状遺構 2基 焼土遺構 5基 集石遺構 1基 土器埋設遺構 16基 柱穴群 51基 遺物包含層 1カ所		旧石器 300点 彫刻刀形石器 ナイフ形石器 削器・搔器 縄文土器 100箱 土製品 6点 土偶 3点/土玉 3点 石器 3950点 石鏃・石匙・石籠・石 錘・擦石・凹石が多い 石製品 113点 石棒 5点 石剣類 2点 燕尾形石製品 2点 鯉節形石製品 2点 男根状石製品 1点 線刻礫 2点 塊状耳飾り 19点 垂飾り 4点 岩偶 2点 石製模造品 74点		和賀川流域の段丘に立地する旧石器時代と縄文時代の複合遺跡。 放射状の配置を示す大形住居跡を中心とする縄文時代前期後葉～末葉主体の集落跡。	

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長 佐 藤 基
副 所 長 伊 藤 直 司

[管理課]

管 理 課 長 川 浪 清 徳
主 査 立 花 多加志
主 事 日 影 睦 夫

嘱 託 藤 島 恵 子
〃 新 田 ト ヨ
〃 佐々木 光 重

[調査第一課]

課 長 小 田 野 哲 憲
課 長 補 佐 佐 々 木 清 文
主任文化財 酒 井 宗 孝
専門調査員
〃 小 山 内 透
文 化 財 中 田 迪
専門調査員
〃 吉 田 充
〃 鎌 田 勉
〃 小 笠 原 健 一 郎
〃 鳥 居 達 人
〃 濱 田 宏
〃 佐 々 木 進 悦
〃 安 藤 由 紀 夫
〃 木 戸 口 俊 子
〃 小 野 寺 正 之
〃 阿 部 勝 則 彦
〃 千 葉 正 彦 人
〃 羽 柴 直 晃
〃 高 木 淳 一 男
〃 菅 原 靖 武 彦
〃 半 澤 雄 大 広
〃 朝 倉 池 貴 拓
〃 村 上 準 一 郎
〃 本 多 直 美 治
〃 中 丸 山 浩 子
期 限 付 佐 藤 綾 子
專 門 職 員
〃 平 めぐみ
〃 藤 原 賢 徳
〃 江 藤 敦
〃 小 林 弘 卓
〃 小 原 広 幸

[調査第二課]

課 長 高 橋 與 右 衛 門
課 長 補 佐 中 川 重 紀
主任文化財 高 橋 義 介
専門調査員
文 化 財 古 館 貞 身
専門調査員
〃 阿 部 眞 澄
〃 松 尾 芳 幸
〃 小 原 眞 一
〃 工 藤 徹 稔
〃 前 田 稔
〃 金 子 佐 知 子
〃 岩 淵 計
〃 早 坂 悟
〃 佐 々 木 務 光
〃 晴 山 雅 光
〃 星 雅 之
〃 佐 々 木 琢
〃 杉 沢 昭 太 郎
〃 溜 浩 二 郎
〃 北 村 忠 昭 彦
期 限 付 金 子 昭
專 門 職 員 鈴 木 聡
〃 平 澤 里 香
〃 布 谷 義 彦
〃 山 口 俊 規
〃 熊 谷 佳 恵
〃 吉 田 里 和
〃 北 田 田 勲
〃 吉 川 徹

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第320集
峠山牧場 I 遺跡 B 地区発掘調査報告書
東北横断自動車道秋田線建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成 12 年 3 月 15 日

発行 平成 12 年 3 月 24 日

発行 財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

印刷 山口北州印刷株式会社

〒020-0133 盛岡市青山4丁目10-5

TEL (019) 641-0585

